

YEAR BOOK OF JAPANESE ART

# 日本美術年鑑

平成 27 年版 (2014.1—12)

独立行政法人国立文化財機構

東京文化財研究所

Independent Administrative Institution  
National Institutes for Cultural Heritage

TOKYO NATIONAL RESEARCH INSTITUTE FOR CULTURAL PROPERTIES  
13-43 UENO PARK, TAITO-KU, TOKYO



## 序

『日本美術年鑑』は、わが国美術界の1年間の動向について、基本となる資料を収集整理してまとめたものです。昭和11(1936)年10月に当研究所の前身である帝国美術院附属美術研究所によって第1冊が刊行されて以来、この出版事業は、昭和27(1952)年に美術研究所が東京国立文化財研究所になり、また平成13(2001)年4月、独立行政法人文化財研究所東京文化財研究所と改められ、さらに平成19(2007)年4月には独立行政法人国立博物館と統合し、新たに独立行政法人国立文化財機構の一施設として再編されるなど組織の改組、名称の変更が行なわれた中にも変わることなく受けつがれてきました。平成27年版となる本書は、その第72冊目となり、平成26年(2014年1月～12月)における美術界の動向を、年史・展覧会・文献目録・物故者の4項目に分けて編集しています。

昨秋、『日本美術年鑑』は創刊80周年という節目を迎え、刊行への思いを新たにしたところです。美術に関する基礎文献としての姿勢を崩さず、これからも刊行を続けていくことは勿論ですが、その一方で当研究所では、長年にわたり蓄積されたデータをインターネット上で活用できるよう、利便性の向上に努めております。とくに今年度は、世界的なサービス機関 OCLC(Online Computer Library Center, Inc.)と契約を締結し、海外における研究環境改善のための新たな一歩を踏み出しました。その最初の取り組みとして、同機関が運営するウェブサービス(World Cat. org)に収録すべく、当研究所が蓄積してきた展覧会図録所載文献に関する書誌情報を提供しました。展覧会図録は一般の書籍に比べて情報化が立ち遅れていたこともあり、その所載文献についてのデータは日本美術を専門とする世界中の研究者にとって大いに役立つものと思われまます。80年におよぶ『日本美術年鑑』の編集を経て蓄積された情報が、今後もますます広範に活用されるよう努めてまいりたいと存じます。

末筆となりましたが、この年鑑の編集にあたり、資料を提供して下さった多くの方々、国公私立の美術館・博物館、大学等の研究教育機関、美術団体、画廊等の美術関係諸機関に対し、心からお礼申し上げます。

平成 29 年 2 月

独立行政法人国立文化財機構  
東京文化財研究所

所 長 亀 井 伸 雄



## 凡 例

- 1 本年鑑は、平成26(2014)年の1月から12月に至る美術界の主要な出来事を記載した。
- 2 本年鑑は、わが国美術界の全般について、主要な事件、展覧会、物故者、発表された文献などを記載した。
- 3 本年鑑であつかう美術の範囲は、一般に行われる狭義の解釈に従い、絵画、彫刻・空間表現、工芸、書、写真、漫画、デザインおよび建築に限っている。ただし、書、写真、漫画、建築はわれわれの注意をひく範囲にとどめた。
- 4 人名を記す場合は、すべて敬称を省いた。
- 5 「美術展覧会」の欄は、「企画展」、「作家展」、「団体展」の3つに分類し、それぞれ展覧会名、作家名、主催団体名の50音順に配列した。これは、美術に対する関心の多様化にともない、従来の時代や地域の区分をこえた展覧会が増加しつつある近年の状況に対応するために行ったものである。なお、「企画展」は、古美術および近現代美術における企画性の高い展覧会を指す。「作家展」は、古美術から現代までの作家を主体とした展覧会および少人数の作家による展覧会を指す。「団体展」とは、定期的に、連続して開催される、美術団体主催の公募を原則とする主要な展覧会を指す。
- 6 「美術展覧会」の欄は、原則として「美術文献目録」欄の「収録定期刊行物誌名」にあげられた定期刊行物所載の展覧会関連記事を中心とし、これに本研究所が所蔵する展覧会図録から得られる情報も参照して記載している。データは、展覧会名、会期、会場の順に記載し、当該年から翌年にかけて開催された場合は、原則として翌年の年記を略した。巡回展は、展覧会関連記事のある会場と会期を掲載し、そのほかの巡回先を( )内に列記した。展覧会が複数会場で同時に開催されている場合は、会場をスラッシュで区切って列記した。
- 7 「美術展覧会図録所載文献」の欄は、展覧会図録に掲載された論文等をまとめた。詳細は、美術文献目録の始めに凡例を付したので参照されたい。
- 8 刊行物の名称は一部略称とした。略称については、104頁の一覧を参照されたい。
- 9 採録データの原典に付されているルビは、当該文字の直後に〔 〕を付して記した。ルビの平仮名、片仮名の別は原典に従った。
- 10 本年鑑は、塩谷純(文化財情報資料部近・現代視覚芸術研究室長)を編集主任とし、山梨絵美子(当研究所副所長)、佐野千絵(文化財情報資料部部長)、小林公治(同部広領域研究室長)、小林達朗(同部日本東洋美術史研究室長)、津田徹英(同部文化財アーカイブズ研究室長)、二神葉子(同部文化財情報研究室長)、皿井舞(同部主任研究員)、橋川英規(同部研究員)、安永拓世(同部研究員)、田所泰(同部アソシエイトフェロー)が編集作業にあたった。また、定期刊行物、美術展覧会図録の管理登録については、文化財情報資料部文化財アーカイブズ研究室の協力を得た。「物故者」記事の編集・執筆にあたっては、亀井伸雄(当研究所所長)、菊池理予(当研究所無形文化遺産部)、友田正彦(当研究所文化遺産国際協力センター)の協力を得るとともに、河合大介(当研究所文化財情報資料部客員研究員)、田中淳(同部客員研究員)、中野照男(同部客員研究員)、増田玲(東京国立近代美術館)、松原龍一(京都国立近代美術館)、三上豊(和光大学、当研究所文化財情報資料部客員研究員)、南雄介(国立新美術館)の7氏にご協力いただいた。  
なお、本年鑑の編集にあたっては、荒井孝則、河路悠歩、常松亜衣、西尾真名、花澤明優美、久野華歩、野城今日子、山本祥子の8氏の献身的な編集補助を得た。記して謝意を表する。

## 目 次

序 .....	i
凡 例 .....	iii
目 次 .....	iv
平成26(2014)年美術界年史 .....	1
美術展覧会 .....	7
企 画 展 .....	7
作 家 展 .....	43
团 体 展 .....	90
美術文献目録 .....	97
凡 例 .....	97
収録定期刊行物誌名 .....	98
定期刊行物所載文献 .....	105
目 次 .....	105
美術展覧会図録所載文献 .....	435
企 画 展 .....	435
作 家 展 .....	461
团 体 展 .....	480
物 故 者 .....	485

# 平成 26 (2014) 年 美術界 年 史

## 1 月

- 毎日芸術賞受賞者決定 芸術文化における優れた業績を顕彰する毎日芸術賞(主催:毎日新聞社)の第55回目の受賞者が1日に発表され、美術関係では、彫刻家の青木野枝(名古屋美術館・豊田市美術館での個展「青木野枝 ふりそそぐものたち」に対して)が受賞した。

## 2 月

- 第39回木村伊兵衛写真賞受賞者決定 写真家木村伊兵衛の業績を記念し、優れた新人写真家に贈られる木村伊兵衛写真賞(主催:朝日新聞社、朝日新聞出版)の第39回目の受賞者が5日に発表され、森栄喜に決定した。受賞対象は写真集『intimacy』(ナナロク社)。
- 「東京・ソウル・台北・長春 官展にみる近代美術」展の開催 13日より福岡アジア美術館で「東京・ソウル・台北・長春 官展にみる近代美術」展が開催された(3月18日まで)。日本、韓国(旧朝鮮)、台湾、中国東北部(旧満州)の官設の公募展覧会(官展)を通して、日本の実質的な統治下にあった地域における美術の側面を紹介するもので、日本の近代美術と関わりを持ちながら独自の近代性を模索する各地の様相が明らかにされた。同展は府中市美術館(5月14日～6月8日)、兵庫県立美術館(6月14日～7月21日)に巡回した。

## 3 月

- 石内都のハッセルブラッド国際写真賞受賞 スウェーデンのハッセルブラッド財団が先駆的業績を残した写真家に贈るハッセルブラッド国際写真賞に、写真家の石内都が選ばれ、6日に東京都内のスウェーデン大使館で授賞式が行われた。日本人の受賞は1987年の濱谷浩、2001年の杉本博司に続き三人目。
- 芸術選奨文部科学大臣賞受賞者決定 文化庁は13日、2013年度の芸術選奨文部科学大臣賞と同新人賞の受賞

者を発表した。芸術選奨文部科学大臣賞美術部門では美術家の大竹伸朗(「大竹伸朗展ニューニュー」に対して)、福田美蘭(「福田美蘭展」に対して)、メディア芸術部門では漫画家の諸星大二郎(「瓜子姫の夜・シンデレラの朝」に対して)が受賞。同新人賞美術部門では写真家の米田知子(「米田知子 暗なきところで逢えれば」展に対して)、芸術振興部門では建築批評・建築史家五十嵐太郎(「あいちトリエンナーレ2013 揺れる大地」に対して)、評論等部門では横山大観記念館学芸員の佐藤志乃(『朦朧』の時代—大観、春草らと近代日本画の成立』に対して)が受賞した。

- 国宝・重要文化財指定の答申 文化審議会(会長:宮田亮平)は18日、長野県茅野市の中ツ原遺跡で出土し「仮面の女神」と呼ばれる縄文時代後期の土偶を国宝に、浄土宗総本山の知恩院にある徳川家康、秀忠の木像や村上華岳の「裸婦図」(東京・山種美術財団蔵)等50件を重要文化財に指定するよう下村博文部科学相に答申した。
- 登録有形文化財登録の答申 文化審議会(会長:宮田亮平)は18日、レーモンド建築設計事務所が設計し、モダニズム建築に和風意匠を取り入れたゴルフ場施設である門司ゴルフ倶楽部クラブハウス(福岡県北九州市)など154件の建造物を新たに登録有形文化財にするよう下村博文部科学相に答申した。
- 平成26年度文化庁予算決定 平成26年度国家予算案が20日、成立した。文化庁予算は1035億9200万円となり前年度より0.24%、2億5000万円の増額となった。Ⅰ. 豊かな文化芸術の創造と人材育成、Ⅱ. かけがえのない文化財の保存、活用及び継承等、Ⅲ. 我が国の多彩な文化芸術の発信と国際文化交流の推進、Ⅳ. 文化発信を支える基盤の整備・充実の4つを柱とし、主な増額項目として、Ⅰで「文化芸術による「創造力・想像力」豊かな子供の育成」に5億8400万円、Ⅱで「文化財修理の抜本的強化・防災対策等の充実」に3億8300万円、Ⅲで「日本文化の発信・交流の推進」に4億3100万円が計上された。
- 第33回土門拳賞受賞者決定 前年に優れた成果を挙げた写真家に贈られる土門拳賞(主催:毎日新聞社)の第33回受賞者が、桑原史成に決定した。受賞対象は写真展「不知火 The Minamata disease Disaster」(ニコン

サロン)と写真集『水俣事件』(藤原書店)で、1960年から熊本県水俣市に足しげく通い、患者とその家族、裁判、漁村の営みなど、半世紀にわたり丹念に有り様を記録した点が高く評価された。

- 坂茂のプリツカー賞受賞 建築界のノーベル賞といわれ、優れた建築家に毎年贈られるプリツカー賞受賞者に坂茂が選ばれたことを、主催団体の米ハイアット財団が24日発表した。フランス北東部のポンピドゥーセンター分館をはじめとする創意工夫に富んだ設計とともに、世界中の被災地を回り、住民らと協力して低コストで再利用可能なシェルターや住宅を設計・建築したことが評価された。
- 高松塚壁画、保存・公開の方針決定 奈良県明日香村の高松塚古墳(国特別史跡)の壁画保存問題で、文化庁の検討会は27日、国宝の壁画について、2017年度までかかる見通しの修理が終了した後も当分の間は墳丘に戻さず、古墳の外で保存・公開する方針を決めた。カビ等を抑制する技術の確立が見込めず、また劣化した石材を石室の形に組み立てなおすのが困難であることが主な理由として挙げられた。

## 4 月

- 平等院鳳凰堂の落慶法要 56年ぶりの大規模修理をほぼ終えた京都府宇治市の平等院鳳凰堂(国宝)で2日、落慶法要が営まれ、翌日より約一年半ぶりに内部拝観が再開された。2012年に開始された修理では、傷んだ屋根瓦を光沢のない古色仕上げに替え、扉や柱を丹土(につち)で塗り直した。
- 「特別展 キトラ古墳壁画」の開催 22日より東京国立博物館で「特別展 キトラ古墳壁画」が開催された(5月18日まで)。奈良県高市郡明日香村にあるキトラ古墳の壁画は保存修理のため取り外され、修理作業が進められていたが、壁画片を画面として再構築する作業が本格化するのを前に、描かれていた四神のうち「朱雀」「白虎」「玄武」、十二支のうち「子」「丑」が展示された。同古墳壁画が明日香村以外の地で展示されたのは、これが初めて。

## 5 月

- 読売あをによし賞受賞者決定 保存科学・修復の現場で優れた業績をあげた個人・団体を顕彰する読売あをによし賞(主催:読売新聞社、特別協力:文化財保存修復学会)の第8回目の受賞者として、本賞に布の原材料となる草の「からむし」を生産し、繊維を採取する技術を継承する昭和村からむし生産技術保存協会(福

島県)、奨励賞に漆刷毛製作の泉清吉(埼玉県)、特別賞にNPO法人沖縄伝承話資料センター(沖縄県)が決定した。

- 国宝・重要文化財(建造物)指定の答申 文化審議会(会長:宮田亮平)は16日、京都市の本願寺御影堂と阿弥陀堂を国宝に、神戸女学院(兵庫県西宮市)や旧馬場家牛込邸(東京都新宿区)など建造物9件を重要文化財に指定するよう下村博文文部科学相に答申した。また宮城県村田町の土蔵造りの街並みなど2地区を重要伝統的建造物群保存地区にすることも求めた。
- 日本芸術院賞の選考見送り 日本芸術院(院長:三浦朱門)は21日、2013年度の芸術院賞受賞者を発表したが、美術部門の選考は見送られ、文芸部門と音楽・演劇・舞踊部門の選考結果のみの発表となった。2013年に過去の不正審査問題が発覚した日展の改革の行方をめぐり、文部科学省の意向を受けて投票を延期するなど美術部門の選考ができない事態に陥ったため。

## 6 月

- 「特別展 台北國立故宮博物院 神品至宝」の開催 24日より東京国立博物館で「特別展 台北國立故宮博物院 神品至宝」が開催された(9月15日まで)。台北にある國立故宮博物院の所蔵品を日本で本格的に紹介する初めての展覧会で、中国歴代の絵画、書跡、各種の器物、図書文献等が展示された。同展は九州国立博物館(10月7日~11月30日)に巡回した。
- 名勝・史跡指定の答申 文化審議会(会長:宮田亮平)は20日、東福寺本坊庭園(京都市)など5件を名勝に、「軍艦島」として知られる端島を含む高島炭鉱跡(長崎市)など9件を史跡に指定、今井氏庭園(長野市)など6件を登録記念物に登録、琵琶湖最北部にある蒲葦の湖岸集落景観(滋賀県長浜市)を重要文化的景観に選定するよう下村博文文部科学相に答申した。高島炭鉱跡については、2015年のユネスコの世界文化遺産登録に向けて政府が推薦した「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」の構成資産となっており、ユネスコの諮問機関による現地調査を前に、史跡指定で国による保護の体制を整えたもの。
- 富岡製糸場、世界遺産に決定 世界遺産一覧表への登録の可否を事前に審査する国連教育科学文化機関(ユネスコ UNESCO)の諮問機関である国際記念物遺跡会議(イコモス ICOMOS)は4月25日、世界の絹産業の発展に重要な役割を果たしたとして日本政府が推薦していた「富岡製糸場と絹産業遺産群」(群馬県)について、世界遺産一覧表への登録を勧告した。これを受けて6月21日、カタールのドーハで開催されたユネスコの第38回世界遺産委員会で、文化遺産として世界遺産一覧



表に登録することが決定した。

## 7 月

- 国宝・重要文化財109件所在不明** 文化庁は4日、国の重要文化財指定を受けた美術工芸品のうち、国宝の短刀「銘国光」1件を含む109件が所在不明になっているとの調査結果を発表した。33件は盗難で、所有者の転居や死亡で所在が分からなくなった事例も多かった。文化庁は2015年度から、はがきやメールによる年1回の状況確認や、4年ごとに各都道府県の教育委員会と連携して現物確認を行なう方針を打ち出した。
- 第9回西洋美術振興財団賞受賞者決定** 西洋美術の理解や研究発表などに貢献した展覧会に携わった個人・団体を顕彰する西洋美術振興財団賞の第9回目の受賞者が決定し、9日に発表された。個人に贈られる学術賞は牧口千夏・京都国立近代美術館研究員(「映画をめぐる美術—マルセル・ブロータースから始める」展に対して)、森園敦・長崎県美術館学芸員(「現代スペイン・リアリズムの巨匠：アントニオ・ロペス展」に対して)が、団体に贈られる文化振興賞は「あいちトリエンナーレ2013」の他、近年日本で開催される多くの映像展に機材提供や技術支援を行なっている NEC ディスプレイソリューションズが受賞した。
- 第26回世界文化賞受賞者決定** 世界の優れた芸術家を顕彰する高松宮殿下記念世界文化賞(主催：公益財団法人日本美術協会)の第26回受賞者が16日発表された。美術関係では、絵画部門でマルシャル・レイス(フランス)、彫刻部門でジュゼッペ・ペノーネ(イタリア)、建築部門でスティーブン・ホール(アメリカ)が受賞した。
- 人間国宝認定の答申** 文化審議会(会長：宮田亮平)は18日、伝統的な色鍋島に、上絵付に白金を施すプラチナ彩等、新たな技法を加えて新境地を開いた十四代今泉今右衛門、室町時代から刀剣研磨を生業とした本阿弥家に伝わる伝統技法を体得し、国宝や重要文化財の刀剣研磨を多数手がけた本阿弥光洲、切嵌象嵌と接合(はぎあわ)せを駆使した現代的な作風で高い評価を得た山本晃、高度な指物技法を駆使し、素材の色彩を生かした造形で独自の作風を確立した木工芸の須田賢司を含む7名を新たに重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定するよう下村博文文部科学相に答申した。
- 登録有形文化財登録の答申** 文化審議会(会長：宮田亮平)は18日、1963年に建設された展望塔で、港湾都市神戸のシンボルとして親しまれる神戸ポートタワー(兵庫県神戸市)など166件の建造物を新たに登録有形文化財にするよう下村博文文部科学相に答申した。
- 文化財防災ネットワーク推進本部の発足** 独立行政法

人国立文化財機構は23日、文化財防災ネットワーク推進本部を発足させた。これは東日本大震災等における文化財レスキュー事業等の経験をふまえ、大規模災害に対応した文化財等の救出・救援体制を確保するため、文化財等の防災に関するネットワークを構築するとともに、人材の養成、情報の収集・分析。発信を行なうもので、10月21日には東京国立博物館で第1回文化遺産防災ネットワーク推進会議を開催、文化財と防災に関する参画団体にネットワーク構築の必要性と今後の取り組みについて共通理解を求めた。

- 日展最終改革案を発表** 公益財団法人日展は29日、前年に発覚した書の部門での入選数有力会派別事前配分問題を受けて、組織、審査員・審査、展覧会運営に関する最終改革案を発表した。外部審査員の導入や審査の全過程のビデオ記録等、厳正な審査のあり方が示され、また2014年度展覧会名称を「改組 新 第1回日展」と改めることとなった。

## 8 月

- ヨコハマトリエンナーレ2014開催** 第5回目となるヨコハマトリエンナーレはアーティスティック・ディレクターに美術家の森村泰昌を迎え、「華氏451の芸術：世界の中心には忘却の海がある」をテーマに79名のアーティストが参加、1日から11月3日まで横浜美術館、新港ピアを主会場として行なわれた。富や情報が偏在する現代社会にあって見捨てられたモノや人々、場所を拾い上げるという着想で、国際展が全国に林立する状況に一石を投じる内容となった。
- 鷹野隆大作品への撤去指導** 愛知県美術館で開催された「これからの写真」展(8月1日～9月28日)で、写真家鷹野隆大の作品の一部が、わいせつ物の陳列に当たるとして11日、愛知県警に撤去を求められた。作品に男性の性器が写っているという県警への匿名の通報を受けたもので、同館はすでにゾーニングや注意書き等の配慮を行なっていたが、部分的に作品を布等で覆うことで展示を継続、美術館における表現の自由のあり方をめぐり論議を呼んだ。

## 9 月

- 京都国立博物館「平成知新館」の開館** 京都国立博物館で13日、「平成知新館」がオープンした。1965年に建設された平常展示館を建て替えたもので、谷口吉生の設計による。地上4階、地下2階、展示面積約3,600㎡。開館記念展として「京(みやこ)へのいざない」(9月13日～11月16日)が、第1期「肖像画」、第2期「桃山 秀

吉とその周辺」と二期に分けて開催された。

- 「**菱田春草**」展の開催 23日より東京国立近代美術館で「菱田春草」展が開催された(11月3日まで)。菱田春草の生誕140年を記念して開催された同展では、「王昭君」「落葉」「黒き猫」といった代表作をはじめとする108点が展示、また色材の科学調査や、新資料の発見による各作品の制作時期の見直し等、準備段階での研究成果が反映された内容となった。

## 10 月

- 上田市立美術館開館** 長野県上田市に2日、上田市立美術館(館長：滝澤正幸)が開館した。上田で活躍した洋画家・版画家の山本鼎の顕彰に努めてきた山本鼎記念館を継承。同日に開館した上田市交流文化芸術センターも含めた施設「サントミュージゼ」の設計は柳澤孝彦による。企画展示室(面積424㎡)、常設展示室(面積272㎡)の他、市民アトリエ・ギャラリーやアトリエ、子どもアトリエを設置し、市民の創作活動や展示発表の場としての機能を果たす。開館記念展として「山本鼎のすべて」(10月2日～11月9日)が開催された。
- 第26回国華賞受賞者決定** 日本・東洋美術に関する優れた研究を対象とする第26回国華賞は、泉万里(静岡県立美術館)の著書『中世屏風絵研究』(中央公論美術出版、2013年)と笠嶋忠幸(出光美術館)の著書『日本美術における「書」の造形史』(笠間書院、2013年)に、国華奨励賞は伊藤久美(東北大学)の論文「明恵上人樹上坐禅像に関する一考察」(『美術史』175号、2013年)に、国華展覧会図録賞はラワンチャイクン寿子(福岡アジア美術館)他による『官展にみる近代美術』展図録(福岡アジア美術館他、2014年)に贈られることが決定した。
- 国宝・重要文化財(建造物)指定の答申** 文化審議会(会長：宮田亮平)は17日、6月に世界文化遺産に登録された旧富岡製糸場(群馬県富岡市)の建物3棟を国宝に、昭和前期に建てられた名古屋市庁舎や愛知県庁舎(いずれも名古屋市)など9件を重要文化財に指定し、長野県千曲市の商家町を重要伝統的建造物群保存地区に選定するよう、下村博文文部科学相に答申した。
- 文化勲章受章者、文化功労者決定** 政府は24日、2014年度の文化勲章受章者7名と文化功労者17名を決定した。美術関係では、洋画家の野見山曉治が文化勲章受章者に、洋画家の絹谷幸二、漫画家のちばてつやが文化功労者に選ばれた。

## 11 月

- 第36回サントリー学芸賞受賞者決定** 第36回サントリ

ー学芸賞(主催：サントリー文化財団)が12日に発表、美術関係では歴史・思想部門で本田晃子(北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター共同研究員)の『天体建築論 レオドニフとソ連邦の紙上建築時代』(東京大学出版会)が受賞した。

- 第26回倫雅美術奨励賞受賞者決定** 優れた美術評論や美術史の研究を顕彰する倫雅美術奨励賞(主催：公益信託倫雅美術奨励基金)の第26回目の受賞者が発表され、美術史研究部門は田中修二(大分大学准教授)で、『近代日本彫刻集成』第3巻(国書刊行会)の編者を務めたことが評価された。美術評論部門は荒木夏実(森美術館キュレーター)で、同館で開催された「ゴー・ビトゥーンズ展 こどもを通して見る世界」の企画とカタログ論文が評価された。
- 名勝・史跡指定の答申** 文化審議会(会長：宮田亮平)は21日、東京大学の迎賓施設に利用されている旧加賀藩主邸庭園の懐徳館庭園(東京都文京区)など10件を名勝に、明治時代に首都防衛のために築かれた東京湾要塞跡の二つの砲台跡(神奈川県横須賀市)など13件を史跡に指定、南昌荘庭園(岩手県盛岡市)など5件を登録記念物に登録、三角浦の文化的景観(熊本県宇城市)など3件を重要文化的景観に選定するよう下村博文文部科学相に答申した。
- 登録有形文化財登録の答申** 文化審議会(会長：宮田亮平)は21日、モダニズム建築で知られる吉村順三の設計で1955年に建てられたピアニスト園田高弘夫妻の自宅兼スタジオである旧園田家住宅スタジオ(東京都目黒区)など133件の建造物を新たに登録有形文化財にするよう下村博文文部科学相に答申した。
- 東京都庭園美術館のリニューアルオープン** 東京都庭園美術館が約3年にわたる大規模な改修工事を経て、22日にリニューアルオープンした。旧朝香宮邸を継承した本館は大規模な設備更新の他、当時の資料を入念に調査し1933年建設当時の姿に近づけた。また本館に隣接して新たに建設された新館には現代的なホワイト・キューブの展示室を設置、写真家・現代美術家の杉本博司がアドバイザーとしてその構想に参加した。リニューアル記念展として、本館では「アーキテクツ／1933/Shirokane アール・デコ建築をみる」、新館では「内藤礼 信の感情」が開催された(11月22日～12月25日)。
- 日本芸術院新会員の選考見送り** 日本芸術院(院長：黒井千次)は26日、芸術活動に顕著な功績があったとして新たに4名を同院新会員に選出したと発表した。ただし美術部門からの会員選出は、日展の不正審査問題を考慮し、見送られた。
- 文化庁メディア芸術祭、受賞作品決定** 文化庁は28日、国内外の優れた映像作品などを表彰する第18回文化庁メディア芸術祭の受賞作品を発表した。エンターテイ

ンメント部門は地図と位置情報を融合した米国の携帯端末用ゲーム「Ingress」、アニメーション部門は少女の心の傷を描いたロシアの短編アニメ「The Wound」、マンガ部門は津原泰水の短編を原作とした近藤ようこの「五色の舟」がそれぞれ大賞を受賞した。アート部門は大賞該当者がなかった。

## 12 月

- 日本イコモス賞の創設、受賞者の決定 日本国内の国際記念物遺跡会議(イコモス ICOMOS)会員が組織する日本イコモス国内委員会は建造物、伝統的建造物群、文化的景観、遺跡である記念物及び歴史風土の保存、保全及び活用の振興を図るため、日本イコモス賞および若手研究者の育成と研究の奨励を目的とした日本イコモス奨励賞を創設した。13日に受賞者が発表され、日本イコモス賞に東京駅丸の内駅舎保存復原設計監理総括の田原幸夫、およびわが国の文化財庭園を保護し、維持管理する技術を後世に伝承する活動を続けてきた文化財庭園保存技術者協議会(代表:水本隆信)、日本イコモス奨励賞に『建築保存概念の生成史』(中央公論美術出版、2013年)を著した清水重敦が選ばれた。
- VOCA 賞受賞者決定 平面美術の若手作家を奨励する VOCA 賞の受賞者は「Hundred Layers of Colors」を制作した小野耕石に24日決定した。VOCA 奨励賞は岸幸太と水野里奈、佳作賞は松岡学と松平莉奈、大原美術館賞は川久保ジョイにそれぞれ贈られることとなった。受賞作等を展示する VOCA 展2015は2015年3月15日から3月30日まで東京都の上野の森美術館で開催された。



# 美術展覧会

## 企画展

(ア)

### ARCHEOLOGY OF THE FUTURE

—未来の考古学 8.22—11.14  
ディーゼル・アート・ギャラリー  
美術手帖 1014 編集部

### アーキテクツ／1933/Shirokane

アール・デコ建築をみる 11.22—12.25 東京都庭園美術館  
ギャラリー\* 355  
新美術新聞 1361

美術手帖 1016 白坂ゆり  
朝日夕刊 12.3 安齋耕一  
産経 12.7 黒沢綾子  
毎日 11.22 岸桂子

### アーティストブック展「木版絵本」

国際木版画会議2回 9.10—9.28 東京藝術大学 藝大アートプラザ／東京藝術大学美術館陳列館

### アートアイランズ TOKYO 国際現代美術展2014 4回 8.30—9.14 大島／新島

アート@つちざわ(土澤) 街かど美術館2014 10.11—11.9 岩手県花巻市東和町土沢地区・東晴山地区・谷内地区・田瀬地区4カ所

### アートが絵本と出会うとき—美術のパイオニアたちの試み— 7.17—8.31 下関市立美術館(うらわ美術館)

デアルテ 31 高橋菜津美／渡邊祐子

### アートで対決 コレクション展示 4.26—9.28 石橋美術館

デアルテ 31 森山秀子

### アートのMORIセレクション2回 5.18—5.24 ギャラリー・琥珀

新美術新聞 1347

### アートフェア東京2014 3.7—3.9 東京国際フォーラム

美術\* 462

アートプログラム青梅2014 まなざしを織る 11.8—12.7 青梅市立美術館／青梅織物工業協同組合施設／吉川英治記念館

あーと文化 特別絵画展 印象派・19世紀の名画に学ぶ 7.1—7.5 タワーホール船堀

東京 7.4 丹治早智子

アート・ランダム作品展5回 3.3—3.9 東京銀座画廊・美術館  
新美術新聞 1336

アール・ヌーヴォーとアール・デコ ヨーロッパのデザインと工芸 東京国立近代美術館工芸館所蔵名品巡回展 4.26—6.29 横須賀美術館  
産経 6.1 渋谷和彦

アール・プリュット☆アート☆日本 3.1—3.23 ボーダレス・アートミュージアム NO-MA／カネ吉別邸／旧吉田邸／奥村邸／まちや倶楽部／かわらミュージアム／旧八幡郵便局／尾賀商店  
読売 3.20 井上晋治

藍工房の仲間たち展 8.17—8.24

ギャルリ・サロンドエス 東京 8.8 小形佳奈

會津ハ一の奈良〜歌集『鹿鳴集』の世界〜 新潟市會津八一記念館メディアシップ移転特別展 8.1—9.28 新潟市會津八一記念館  
書道界 297

アイデンティティとオリジナリティ—現代陶芸新収蔵品展— 阪神・淡路大震災20周年展 7.5—8.24

兵庫陶芸美術館  
新美術新聞 1349

アイヌの工芸—東北のコレクションを中心に— 文化庁・北海道補助事業アイヌ工芸品展 7.19—9.15 福島県立博物館(帯広百年記念館)

アウグスト王 日本宮へのオマージュ 佐賀県共同特別記念展示 有田焼創業400年に向けて 7.1—7.31 京王プラザホテル・ロビー

ギャラリー 毎日 7.23 和田浩幸

青木繁「海の幸」オマージュ展 5.20—5.25 ギャラリー・ヒルゲート(永井画廊、館山市コミュニティセンター、渚の博物館、みぞえ画廊(福岡、東京))  
新美術新聞 1344

「赤毛のアン」と世界名作劇場の仲間たち展 8.8—9.15 放送ライブラリー  
読売夕刊 9.1

暁展2回 現代女流画家の集い 3.1—3.7 上野の森美術館  
新美術新聞 1337

安芸の刀工—正光 12.13—2.1 広島城

秋吉台国際芸術村レジデンス・サポート・プログラム Trans 2013—2014「この土地の魅力」 1.19—3.14 秋吉台国際芸術村

AGAIN—ST 4回 置物は彫刻か? 6.10—6.20 東北芸術工科大学  
東北芸術工科大学紀要 22 深井聡一郎

浅川伯教をよむ〜朝鮮古陶磁の神さま、その源流〜 没後50年特別展 8.9—11.3 浅川伯教・巧兄弟資料館

あさば会 仏像・仏画展 3.19—3.25 三越(日本橋)  
新美術新聞 1339

朝日の名付け親 館通因と壬申の乱 朝日町町制60周年記念 1.18—2.16 朝日町歴史博物館

アザミ革工芸展49回 7.24—7.30 京王(新宿)  
新美術新聞 1349

アジア・アナーキー・アライアンス 3.8—4.20 トーキョーワンダーサイト渋谷／トーキョーワンダーサイト本郷  
新美術新聞 1337

美術の窓 368 呉達坤 談  
毎日夕刊 4.9 岸桂子

平成26年美術展覧会(企ア、イ)

読売 4.10 井上晋治  
あしたのジョー、の時代展 7.20—  
9.21 練馬区立美術館  
朝日夕刊 9.17 西岡一正  
東京 8.29 杉戸祐子  
東京 9.14 坂崎重盛  
東京夕刊 8.8 石川翠  
読売 9.4 井上晋治  
AJAC 展40回 9.25—10.3 東京都  
美術館  
飛鳥の薨 写真コンテスト5回  
7.25—9.7 奈良文化財研究所飛  
鳥資料館  
飛鳥宮と難波宮・大津宮 10.11—  
11.30 奈良県立橿原考古学研  
究所附属博物館  
あそびのつくりかた 3.1—6.1 丸  
亀市猪熊弦一郎現代美術館  
新美術新聞 1337  
ア・テーブル!—ごはんだよ!食を  
めぐる美の饗宴— ART FEAST  
3.1—5.6 三重県立美術館  
芸術新潮 774 宮下規久朗  
REAR 32 古屋梨奈  
安土城への道 聖地から城郭へ  
4.26—6.15 滋賀県立安土城考古  
博物館  
天晴れ!ニッポン山風景 6.27—  
7.16 富士フィルムフォトサロン  
(東京)  
日経夕刊 7.3  
あつまる!アニマル! たまに…オ  
バケ? 6.28—8.31 立花家史料  
館  
デアルテ 31 横田優子  
アニマルワールド 美術のなかのど  
うぶつたち 7.29—9.7 静岡県  
立美術館  
毎日夕刊 7.25 清水有香  
アニメ制作会社スタジオゼロ展 ト  
キワ荘マンガ家たちのアニメの仕  
事 7.16—10.26 杉並アニメー  
ションミュージアム  
読売 10.13 岡本裕輔  
あの人の直筆 10.18—11.18 国立  
国会図書館  
毎日 11.15 因幡健悦  
アポリジニアート展 内田真弓プロ  
デュース 9.10—9.16 伊勢丹

(新宿)  
東京 9.13 渡辺陽太郎  
アメリカ現代美術の巨匠達~CCGA  
現代グラフィックアートセンター  
所蔵版画名品展~ 国際現代ア  
ート展なら2014 前期特別展  
4.12—5.25 奈良県立美術館  
新美術新聞 1340  
あらかわの伝統技術展35回 7.4—  
7.6 荒川総合スポーツセンター  
東京 7.5 原尚子  
新たな系譜学を求めて 跳躍/痕跡  
/身体 東京アートミーティング  
5回 9.27—1.4 東京都現代美  
術館  
朝日夕刊 12.10 大西若人  
産経 11.6 黒沢綾子  
読売 12.18 井上晋治  
新たな国民のたから 文化庁購入文  
化財展2014 8.5—8.31 鹿児島  
県歴史資料センター黎明館  
文化財\* 611 文化庁美術学芸課  
安房の干鯛—いわしと暮らす、いわ  
しでつながる— 2.1—3.16 館  
山市立博物館  
地方史研究 373 鎮目良文  
Ange de Noël 9 12.19—12.28  
ギャラリー絵夢  
新美術新聞 1363  
アンティークストックキングの世界  
~ストックキングは昔、男性のおし  
ゃれパーツだった~ 2.5—4.26  
アクセサリーミュージアム  
朝日夕刊 4.2 西村和美  
アンデルセン大好き 7.5—7.12  
ギャラリー枝香庵  
新美術新聞 1348  
UNKNOWNNS —作品と批評による  
交流展— 8.18—8.23 藍画廊/  
ギャラリー現  
朝日 8.12 斎藤智子  
アンリ・ルソー、グランマ・モーゼ  
スと素朴派の画家達 ハーモ美術  
館コレクション展 9.19—12.19  
ハーモ美術館  
ギャラリー\* 356

(イ)

イギリスの絵本原画展 ~時代を織

りなす画家たちの軌跡~ 3.1—  
6.9 軽井沢絵本の森美術館  
朝日夕刊 4.9 土田ゆかり  
池大雅 池大雅美術館コレクション  
寄贈記念 11.8—1.12 京都文化  
博物館  
イズミ博覧会 ようを+アートプロ  
ジェクト おおいたトイレナー  
レプレ・イベント 10.29—11.2  
iichiko 総合文化センター  
伊勢と熊野の歌 「熊野古道」世界遺  
産登録十周年 齋宮歴史博物館開  
館二十五周年記念 10.4—11.9  
齋宮歴史博物館  
イタヅクシ It a Zoo Kushi 5.17  
—7.19 See Saw gallery + cafe  
/愛知県立芸術大学サテライトギ  
ャラリー  
REAR 33 副田一穂  
板橋と馬 1.25—3.23 板橋区立郷  
土資料館  
伊丹国際クラフト展2014 11.15—  
12.23 伊丹市立工芸センター  
陶説 743 外館和子  
イタリアのガラス彫刻~現代巨匠と  
ヴェネチアの技~ 11.1—4.19  
石川県能登島ガラス美術館  
新美術新聞 1370  
イタリア・ボローニャ国際絵本原画  
展2014 7.5—8.17 板橋区立美  
術館(西宮市大谷記念美術館、石  
川県七尾美術館、長島美術館)  
伊藤若冲の名宝 相国寺・金閣寺・  
銀閣寺所蔵 6.15—9.23 相国寺  
承天閣美術館  
水墨画\* 305  
伊藤まさこのおやつ時間展 10.  
11—10.19 箱根菜の花展示室  
芸術新潮 778 伊藤まさこ 文・  
スタイリング  
いにしへの煌き—シルクロードの装  
身具たち— 10.11—3.16 平山  
郁夫シルクロード美術館  
新美術新聞 1363  
いにしへの匠たち—ものづくりから  
みた飛鳥時代 4.25—6.15 奈良  
文化財研究所飛鳥資料館  
犬のための建築 12.6—5.10 金沢  
21世紀美術館

新美術新聞 1370  
**INNOCENT～抽象の彼方～** 1.22  
 —1.28 高島屋(日本橋)(高島屋(大阪))  
 新美術新聞 1351  
**祈りの造形展** 6.28—8.3 五島美術館  
 書道界 296  
 読売夕刊 7.15 村木敬子  
**祈りの道へ—四国遍路と土佐のほとけ—** 四国霊場開創1200年記念  
 11.22—1.18 多摩美術大学美術館  
 目の眼 460 青木淳 談  
 東京 11.25 栗原淳  
**医は仁術** 3.15—6.15 国立科学博物館(長崎歴史文化博物館、東北歴史博物館、金沢21世紀美術館、いのちのたび博物館、山梨県立博物館)  
 読売夕刊 3.19 市原尚士  
**いばらきデザインフェア2013** 1.25—2.2 茨城県陶芸美術館(2k540 AKI—OKA ARTISAN)  
 陶説 732 外館和子  
**異文化の交差—富田万里子コレクションの長崎版画・古地図・陶磁器**  
 9.10—1.31 早稲田大学會津八一記念博物館  
 新美術新聞 1359  
**いま、台湾 台湾美術院の作家たち**  
 8.9—9.21 渋谷区立松濤美術館  
 新美術新聞 1351  
 新美術新聞 1352 島尾新  
**IMARI/伊万里 ヨーロッパの宮殿を飾った日本磁器** 1.25—3.16  
 サントリー美術館(松本市美術館、大阪市立東洋陶磁美術館)  
 陶説 731 安河内幸絵  
 読売 1.23 三好和義 談  
**今をいどる～現代日本画の世界**  
 10.31—12.14 岐阜県美術館  
 新美術新聞 1359  
**イメージのカ—国立民族学博物館コレクションにさぐる** 国立民族学博物館創設40周年記念 日本文化人類学会50周年記念 2.19—6.9 国立新美術館(国立民族学博物館)

新美術新聞 1336 長屋光枝  
 NACT Review\* 1 吉田憲司  
 美術手帖 1005 石岡良治 評  
 みんぱく 437 吉田憲司  
 みんぱく 437 小泉潤二  
 みんぱく 437 長屋光枝  
 みんぱく 444 長屋光枝/山田由佳子/上羽陽子/山中由里子/齋藤玲子  
 REAR 33 岡本源太  
 朝日夕刊 3.26 大西若人  
 東京夕刊 3.7 中村英樹  
 毎日夕刊 4.2 岸桂子  
 読売 4.17 榎木野衣  
**イメージのカ—国立民族学博物館コレクションにさぐる** 国立民族学博物館創設40周年記念 日本文化人類学会50周年記念 9.11—12.9 国立民族学博物館(国立新美術館)  
 読売夕刊 11.12 市原尚士  
**イメージメーカー展** 7.4—10.5  
 21\_21 DESIGN SIGHT  
 ギャラリー\* 351  
 芸術新潮 777  
 日経 9.11 平野啓一郎  
 毎日夕刊 9.17 永田晶子  
**いろ・うごき・かたち アートをめぐる夏の冒険** 7.12—9.15 神奈川県立近代美術館(葉山)  
 東京 8.31 三沢典丈  
**岩崎コレクション～孔子から浮世絵まで** 東洋文庫創設90周年 8.20—12.26 東洋文庫ミュージアム  
 芸術新潮 778  
 産経 9.7  
 毎日夕刊 9.9 岸桂子  
**印象派のふるさと ノルマンディー展～近代風景画のはじまり～**  
 9.6—11.9 東郷青児記念損保ジャパン日本興亜美術館(ひろしま美術館、熊本県立美術館、山梨県立美術館)  
 新美術新聞 1355  
 美術手帖 1008 竹見洋一郎  
 産経 9.14 黒沢綾子  
 日経 8.17  
 日経 9.10 宮川匡司  
 日経夕刊 9.4

平成26年美術展覧会(企イ、ウ)

**印象派を超えて一点描の画家たち**  
 ゴッホ、スーラからモンドリアンまで **クレラー＝ミュラー美術館**  
**所蔵作品を中心に** 2.25—4.6  
 愛知県美術館(国立新美術館、広島県立美術館)  
 新美術新聞 1338 中西園子  
 東京夕刊 3.1 石屋法道  
 (ウ)

**ウィリアム・ガウランドと明治期の古墳研究** 9.6—9.28 明治大学博物館  
 東京夕刊 9.17  
**上野の森美術館大賞展32回** 4.25—5.8 上野の森美術館(京都文化博物館)  
**上野の森美術館大賞展入賞者展31回** 4.25—5.8 上野の森美術館  
**ヴェロン會1回～フランス・ヴェロンの三岸節子アトリエで制作する画家たち～** 11.28—12.7 一宮市三岸節子記念美術館  
 新美術新聞 1361  
 美術屋・百兵衛 31  
**VOCA2014 現代美術の展望—新しい平面の作家たち** 3.15—3.30  
 上野の森美術館  
 新美術新聞 1339  
 朝日夕刊 3.26 大西若人  
 産経 3.20  
 読売 3.20  
**浮世絵・雑誌・絵はがきに見る幕末・明治の戦争イメージ** 11.15—1.21 北海道立函館美術館  
**浮世絵に描かれた子どもたち 江戸へようこそ!** 7.8—8.31 千葉市美術館  
**浮世絵にみる北区の近代 名所物語**  
 10.28—12.14 北区飛鳥山博物館  
**浮世絵の美 平木コレクションの名品** 7.18—9.1 島根県立美術館(岡崎市美術博物館)  
**歌麿とその時代 黄金期の浮世絵**  
 2.15—3.30 八王子市夢美術館(釧路市立美術館、ふくやま美術館、高崎市タワー美術館、明石市立文化博物館、新潟県立歴史博物館)

版画芸術 163  
朝日 2.25  
うた・ものがたりのデザイン—日本  
工芸にみる「優雅」の伝統—  
10.28—12.7 大阪市立美術館  
新美術新聞 1358  
宇宙兄弟展 Let's go to space, bro-  
ther! 5.1—5.6 三越(日本橋)  
(京都文化博物館、北九州市漫画  
ミュージアム、仙台市天文台、横  
手市増田まんが美術館)  
読売 4.30 小間井藍子  
美しい日本のデザイン 8.2—9.23  
島根県立石見美術館  
「美しい日本を撮ろう」フォトコンテ  
スト12回 入選・入賞作品写真  
展 10.6—10.12 葉山文化園(東  
武(宇都宮)、クリスタ長堀ギャラ  
リー、東京サンケイビル・ブリッ  
クギャラリー)  
産経 10.2  
美しい隸書—中国と日本— 中村不  
折コレクション 4.4—7.13 台  
東区立書道博物館  
朝日夕刊 5.14 宮代栄一  
毎日夕刊 4.17 桐山正寿  
美しき日本 瀬戸内の風景 瀬戸内  
海国立公園指定80周年記念事業  
7.12—8.31 香川県立東山魁夷せ  
とうち美術館  
新美術新聞 1349  
美しさの新機軸～日本画 過去から  
未来へ～ 公益財団法人芳泉文化  
財団文化財保存学日本画研究発表  
展2回 11.23—12.3 東京藝術  
大学大学美術館陳列館  
宇都宮美術の現在展4回 3.2—  
4.13 宇都宮美術館  
ウフィツィ美術館展 黄金のルネサ  
ンス ボッティチェリからブロン  
ズィーノまで 10.11—12.14 東  
京都美術館  
新美術新聞 1357 小林明子  
美術の窓 373 小林明子 談  
朝日 10.6 小佐野重利 寄稿  
朝日夕刊 11.19 安斎耕一  
産経 11.9 渋谷和彦  
東京 11.11 杉全美帆子  
読売 11.27 井上晋治

午年千支切手揮毫作家展 1.14—  
1.24 アートサロン毎日  
毎日 1.17  
海を越えた連詩 ファザーネン通り  
の縄ばしご 11.9—2.22 大岡信  
ことば館  
毎日夕刊 12.24 井上卓弥  
梅の美術 百花のさきがけ 三館連  
携「松・竹・梅」展 3.8—5.6 泉  
屋博古館  
聚美 10 竹浪遠／植松瑞希／外  
山潔  
書道界 292  
新美術新聞 1339  
読売 3.20 木村未来  
梅原猛と25人のアーティスト—梅  
原猛卒寿記念— 4.16—4.22 高  
島屋(京都)(高島屋(大阪、日本橋、  
横浜、名古屋))  
梅原猛と25人のアーティスト—梅  
原猛卒寿記念— 5.21—5.27 高  
島屋(日本橋)(高島屋(京都、大阪、  
横浜、名古屋))  
新美術新聞 1344  
産経 5.22  
うるしのかたち展2014 11.12—  
12.3 東京藝術大学 藝大アート  
プラザ  
うるしの近代—京都、「工芸」前夜か  
ら 7.19—8.24 京都国立近代美  
術館  
新美術新聞 1350 中尾優衣  
麗のとき 川口の匠 vol.4 10.4—  
11.16 川口市立アートギャラ  
リー・アトリア

(エ)

映画をめぐる美術 マルセル・プロ  
ーターから始める 4.22—6.1  
東京国立近代美術館(京都国立近  
代美術館)  
美術手帖 1006 松井みどり 評  
東京夕刊 5.16 中村英樹  
毎日夕刊 5.21 岸桂子  
読売 5.16 井上晋治  
EVOLUTION16 12回 1.15—1.21  
高島屋(日本橋)(高島屋(大阪、名  
古屋、京都))

描かれたチャイナドレス 藤島武二  
から梅原龍三郎まで 4.26—7.21  
ブリヂストン美術館  
芸術新潮 775 板倉聖哲  
新美術新聞 1342 貝塚健  
美術手帖 1005 永峰美佳  
朝日夕刊 5.28 山田優  
日経 5.21 宮川匡司  
毎日夕刊 7.9 岸桂子  
読売 5.15 前田恭二  
読売夕刊 6.17 貝塚健  
描かれた風景～絵の中を旅する～  
2.1—3.16 静嘉堂文庫美術館  
新美術新聞 1337 大橋美織  
水墨画\* 299  
毎日 3.4  
絵描き村と学校—衣笠に伝わる名画  
— 10.3—12.16 京都市学校歴  
史博物館  
新美術新聞 1358  
江上波夫のシルクロード 11.10—  
12.13 京都造形芸術大学芸術館  
EXHIBITION OF WONDERWALL  
ARCHIVES 02 10 PROJECT  
MODELS 4.18—5.25 ポーラ  
ミュージアム アネックス  
芸術新潮 773  
エスペランサ展 5.8—5.14 ギャ  
ルリー・コパンダール  
新美術新聞 1343  
Ezotic Caravan—国の北から—  
12.5—12.20 東京都美術館  
新美術新聞 1362  
江戸絵画の19世紀 3.21—5.6 府  
中市美術館  
水墨画\* 300  
江戸絵画の真髓 開館30周年記念  
・東京富士美術館所蔵—秘蔵の若  
冲、蕭白、応挙、呉春の名品、初  
公開!!— 4.8—6.29 東京富士美  
術館  
水墨画\* 301  
江戸川伝統工芸展31回 江戸川の  
伝統工芸の粋をあつめて 9.11—  
9.16 タワーホール船堀  
東京 9.13 小形佳奈  
江戸切子若手16人展 日本の伝統  
工芸を継承する職人たち 6.6—  
7.7 伊藤忠青山アートスクエア



美術手帖 1006 白坂ゆり  
 江戸時代の罪と罰 11.22—12.14  
 国立公文書館  
 毎日 11.24 近藤浩之  
 江戸時代を観光しよう～城下町和歌  
 山と寺社参詣～ 10.18—11.24  
 和歌山市立博物館  
 『江戸図屏風と行列』 特集展示  
 「もの」からみる近世 8.5—9.15  
 国立歴史民俗博物館  
 歴博 185 久留島浩  
 江戸とつながる川の道—近世下野の  
 水運— 10.11—11.24 栃木県立  
 博物館  
 江戸の異国万華鏡—更紗・びいどろ  
 ・阿蘭陀 3.15—6.8 MIHO  
 MUSEUM  
 ギャラリー\* 347  
 芸術新潮 781 板倉聖哲  
 新美術新聞 1340  
 産経 3.30  
 江戸の衣装競べ—国立歴史民俗博物  
 館 野村コレクション— 9.13—  
 11.3 町田市立博物館  
 江戸の面影 浮世絵は何を描いてき  
 たのか 1.25—3.2 千葉市美術  
 館  
 江戸のきもの 水田コレクション浮  
 世絵展 9.24—10.11 城西国際  
 大学水田美術館  
 毎日 9.25 吉村建二  
 『新収資料の公開—江戸の小袖—』  
 特集展示 「もの」からみる近世  
 12.9—1.18 国立歴史民俗博物館  
 歴博 187 澤田和人  
 読売 12.18 渡部恵子  
 江戸の食文化 1.25—3.16 練馬区  
 立石神井公園ふるさと文化館  
 江戸の相撲と力士たち—石黒和義コ  
 レクション 6.1—6.26 太田記  
 念美術館  
 朝日夕刊 6.18 岡山朋代  
 江戸の街道〔みち〕～絵図でたどる宿  
 場と関所～ にっぽん歴史街道  
 7.19—8.31 埼玉県立歴史と民俗  
 の博物館  
 水墨画\* 304  
 江戸文人画の彩り～高久露厩とその  
 師友～ 5.3—6.15 栃木県立博

物館  
 水墨画\* 302  
 江戸妖怪大図鑑 7.1—9.25 太田  
 記念美術館  
 水墨画\* 303  
 版画芸術 164 日野原健司  
 産経 7.17 渡沢和彦  
 読売夕刊 9.9 日野原健司  
 N+N展2014 油絵の魅力 うつく  
 しいいろ・かたち・マティエール  
 —世代を超えて伝わるもの 7.3  
 —7.13 練馬区立美術館  
 新美術新聞 1348  
 恵比寿映像祭6回 トゥルー・カ  
 ラーズ 2.7—2.23 東京都写真  
 美術館  
 美術手帖 1002 新川貴詩  
 美術手帖 1004 近藤亮介  
 朝日夕刊 2.12 大西若人  
 日経夕刊 2.6  
 毎日夕刊 2.19 岸桂子  
 EPISODE15～コレクションの軌跡  
 ～ 開館15周年記念 7.5—11.  
 30 諸橋近代美術館  
 朝日夕刊 8.27 塩田麻衣子  
 海老屋流茶箱 4.10—4.30 海老屋  
 美術店  
 目の眼 452  
 絵本・のりもの博覧会 3.1—5.13  
 安曇野ちひろ美術館  
 安曇野ちひろ美術館 美術館だよ  
 り 77 水谷麻意子  
 MOA岡田茂吉賞展19回 10.31—  
 12.24 MOA美術館  
 新美術新聞 1359  
 M's in M コレクション展2014  
 9.15—9.20 ギャラリームサン  
 新美術新聞 1354  
 MP1 拡張される網膜#2 8.8—  
 8.30 G/P+g<sup>3</sup>/gallery  
 美術手帖 1014 石川卓磨 評  
 絵を描くははじめ 7.8—7.14 上野  
 の森美術館ギャラリー  
 ギャラリー\* 352 小金沢智  
 円空大賞展7回 受け継ぎ挑む 独  
 創の表現者たち 1.24—3.9 岐  
 阜県美術館  
 新美術新聞 1336  
 陶説 732 井上隆生

平成26年美術展覧会(企エ、オ)

REAR 32 大長智広  
 艶美の競演—東西の美しき女性 木  
 原文庫より— 10.4—11.24 笠  
 岡市立竹喬美術館

(オ)

東日本大震災復興プロジェクト芸術  
 祭 19th OASIS 2014 in Sendai  
 & Osaka 4.4—4.8 せんだいメ  
 ディアテーク(OBPツイン21アト  
 リウム)  
 美術屋・百兵衛 29  
 おいしいアート展 おいしいアート  
 食と美術の出会い 9.13—11.3  
 横須賀美術館  
 王朝の雅—春日大社に伝わるファッ  
 ションと絵巻— 春日大社宝物殿  
 特別公開 5.28—9.30 春日大社  
 宝物殿  
 朝日 5.25 古沢範英  
 桜園名宝展 9.27—12.6 学習院大  
 学史料館展示室  
 ミュージアム・レター 26 小松  
 大秀  
 近江三都物語—大津宮・紫香楽宮・  
 保良宮— 2.8—4.6 滋賀県立安  
 土城考古博物館  
 2014青梅アート・ジャム 作家の  
 アトリエ展 7.19—8.31 青梅市  
 立美術館  
 毎日 7.25 柴田朗  
 大分・印象 武漢・印象— 写真絵  
 画、の諸相— 大分・武漢合同美  
 術展 1.10—2.16 大分市美術館  
 デアルテ 31 長田弘通  
 大江戸と洛中～アジアのなかの都市  
 景観～ 江戸東京博物館開館20  
 周年記念特別展 3.18—5.11 江  
 戸東京博物館  
 新美術新聞 1337  
 読売 3.28 斎藤慎一  
 読売 4.30  
 大きいゴジラ 小さいゴジラ展  
 2.25—3.30 川崎市立美術館  
 読売夕刊 3.17 (井)  
 大阪遺産 難波宮—遺跡を読み解く  
 キーワード— 難波宮発掘調査  
 60周年記念 6.21—8.18 大阪  
 歴史博物館

オオハラ・コンテンポラリー・アット・ムサビ 5.26—8.17 武蔵野美術大学美術館・図書館(美術館)朝日夕刊 7.23 山田優  
産経 6.5 黒沢綾子

大原美術館展 秋田魁新報創刊140年・秋田県立近代美術館開館20周年 7.19—9.15 秋田県立近代美術館  
新美術新聞 1350

Open Storage 2014—見せる収蔵庫— 11.8—11.24 MEGA ART STORAGE KITAKAGAYA  
美術手帖 1017 小吹隆文

おかえりなさい、伊藤若冲《菜蟲譜》—光学調査・修理完了披露展 11.1—12.14 佐野市立吉澤記念美術館  
美術屋・百兵衛 31  
朝日夕刊 11.26 安斎耕一  
読売 11.6

丘の上のタカラ箱 開館40周年記念 7.19—11.3 北九州市立美術館  
デアルテ 31 那須孝幸

岡本太郎現代芸術賞展17回 2.8—4.6 川崎市岡本太郎美術館  
美術手帖 1004 黒瀬陽平 評  
産経 3.6 渋谷和彦  
読売夕刊 3.31 (井)

岡本太郎とアール・ブリュット 生の芸術の地平へ 7.19—10.5 川崎市岡本太郎美術館  
朝日夕刊 8.20 西岡一正

おくてん2014 奥多摩アートフェスティバル6回 9.1—9.30 奥多摩各所  
朝日 9.20 松崎敏朗

驚くべきリアル スペイン・ラテンアメリカの現代アート MUSACコレクション 2.15—5.11 東京都現代美術館  
芸術新潮 772  
REAR 32 大澤慶久  
日経 2.26 窪田直子  
日経 4.10 平野啓一郎  
日経夕刊 4.3  
読売 4.17 井上晋治  
読売夕刊 4.19 近藤駿/中山知

香

お話し美術館—ストーリーの場面を描く 2014夏季展 7.19—9.15 逸翁美術館  
水墨画\* 304

Object Matters : 概念と素材をめぐる日本の現代表現 12.20—2.15 多治見市文化工房ギャラリーヴォイス  
陶説 744 井上隆生

お守り刀展覧会09回 9.19—10.26 備前長船刀剣博物館(大阪歴史博物館)

おもしろびじゅつワンダーランド in 東北 4.26—6.1 仙台市博物館  
新美術新聞 1341

親子で楽しむアートの世界 遠まわりの旅 2.15—3.30 名古屋美術館  
REAR 32 澤渡麻里

小山の仏教美術—仏像・仏画展— 小山市制60周年・車屋美術館開館5周年記念 4.26—6.1 小山市立車屋美術館

オランダ・ハーグ派展 近代自然主義絵画の成立 4.19—6.29 損保ジャパン東郷青児美術館(山梨県立美術館、新潟県立近代美術館、ひろしま美術館、下関市美術館、郡山市立美術館、福井県立美術館)  
新美術新聞 1344  
産経 5.11 黒沢綾子  
東京夕刊 5.9 古谷利裕  
日経 4.30 宮川匡司

オルセー美術館展 印象派の誕生—描くことの自由— 7.9—10.20 国立新美術館  
新美術新聞 1349  
美術手帖 1008 編集部 文/村上華子 翻訳  
美術の窓 371 宮島綾子 談  
美術屋・百兵衛 30  
朝日夕刊 9.3 山田優  
産経 7.13 黒沢綾子  
東京 8.12 杉全美帆子  
東京 8.31 三沢典丈  
東京夕刊 7.18 古谷利裕  
読売 1.1

読売 1.1 鷺田清一  
読売 6.11  
読売 7.1 カロリーヌ・マチュー/横山由季子  
読売 7.9  
読売 8.8 井上晋治  
読売 9.18 高階秀爾  
読売 9.20 秀島史香  
読売 9.21 中野京子  
読売 9.23 坂東三津五郎  
読売 9.27 山口晃  
読売夕刊 7.11 井上晋治  
読売夕刊 7.12 井上晋治  
読売夕刊 7.15 井上晋治  
読売夕刊 7.17 井上晋治  
読売夕刊 8.5 宮島綾子  
読売夕刊 9.12 前田恭二/三浦篤

尾張徳川家の名宝—優美なる茶と香の世界— 開館25周年記念 10.17—11.30 広島県立歴史博物館

女の貌展 6.5—6.17 ぎやらりい秋華洞  
新美術新聞 1346

おん祭と春日信仰の美術 威儀物—神前のかざり— 12.9—1.18 奈良国立博物館

(カ)

海外神社とは? 史料と写真が語るもの 3.25—3.30 サブウェイギャラリーM  
絵画の在りか 7.12—9.21 東京オペラシティアートギャラリー—ギャラリー\* 351  
ギャラリー\* 352 三田晴夫  
芸術新潮 777  
美術手帖 1010 榎田倫広 評  
朝日夕刊 9.3 大西若人  
産経 7.24 渋谷和彦  
毎日夕刊 8.20 岸桂子

絵画の時間 24のエピソード 8.2—9.23 プリズトン美術館  
新美術新聞 1351

開館80周年記念展 秋の部 9.13—12.7 白鶴美術館  
目の眼 457

開館40周年記念展1974 第1部 1974年ニ生マレテ 6.28—8.24

群馬県立近代美術館  
新美術新聞 1348  
美術手帖 1012 榎木野衣  
日経夕刊 8.4 窪田直子  
毎日夕刊 7.16 岸桂子

開館40周年記念展1974 第2部  
1974年一戦後日本美術の転換点  
9.13—11.3 群馬県立近代美術館

開館60周年特別展一序章— 3.8—  
6.15 藤田美術館  
目の眼 452

開館60周年特別展 9.13—12.7  
藤田美術館  
水墨画\* 306  
陶説 740 前野絵里  
目の眼 457

甲斐の黒駒—歴史を動かした馬たち  
— 10.11—12.1 山梨県立博物館  
朝日夕刊 12.22 宮代栄一  
貌 10.24—10.28 しぶや黒田陶苑  
カオス展 3.7—3.12 ギャラリー  
日比谷  
新美術新聞 1336

画家たちの上京物語 7.19—8.31  
熊本県立美術館  
ギャラリー\* 351

画家の目、彫刻家の手 コレクシ  
ョン展 1.18—4.13 プリヂェストン  
美術館  
新美術新聞 1336  
産経 3.30 渋谷和彦  
日経夕刊 3.6

画家の夢と世界の児童画 8.21—  
9.28 笠間日動美術館  
新美術新聞 1352

加賀蒔絵と京蒔絵—工芸教育の精華  
— 10.14—11.3 金沢美術工芸  
大学美術工芸研究所展示室

輝ける金と銀—琳派から加山又造ま  
で— 9.23—11.16 山種美術館  
新美術新聞 1355  
朝日夕刊 11.5 大西若人  
産経 9.25  
日経 9.21

燕子花図と藤花図 光琳、応挙 美  
を競う 4.19—5.18 根津美術館  
新美術新聞 1342

夏季展示—小平を訪問した芸術家た  
ち— 5.28—8.24 小平市平櫛田  
中彫刻美術館  
東京 6.16 林朋実

出雲国 浮浪山罽淵寺 修験の聖地  
10.10—11.24 島根県立古代出雲  
歴史博物館

拡張するファッショ 2.22—5.18  
水戸芸術館現代美術ギャラリー  
(丸亀市猪熊弦一郎現代美術館)  
朝日夕刊 4.16 山田優  
産経 3.9 黒沢綾子  
日経 3.12 窪田直子

笠間日動美術館名品展 2.12—3.14  
笠間日動美術館  
新美術新聞 1336

笠間の陶炎祭〔ひまつり〕33回  
4.29—5.5 笠間芸術の森公園  
陶説 735 外館和子

加地邸をひらく 継承をめざして  
10.4—11.30 加地邸  
日経 10.17

ガス燈が照らした東京の街～銀座か  
ら140年～ 9.13—12.23 GAS  
MUSEUM がす資料館  
東京 9.24 阿部博行

型紙の美 幕末から明治の染の世界  
—武蔵大学蔵朝田家型紙コレクシ  
ョン— 9.27—11.16 練馬区立  
石神井公園ふるさと文化館

花鳥画 公募展20回 2.11—3.2  
松伯美術館  
新美術新聞 1335

葛飾応為「吉原格子先之図」—光と影  
の美 2.1—2.26 太田記念美術  
館  
新美術新聞 1335  
朝日夕刊 2.12 増田愛子  
産経 2.6 渋谷和彦

活動のデザイン 10.24—2.1 21\_  
21 DESIGN SIGHT  
AXIS 171 土田貴宏  
美術手帖 1017 山内宏泰  
日経 10.29 窪田直子

金沢卯辰山工芸工房研修者作品展  
3.11—3.16 金沢21世紀美術館  
陶説 734 外館和子

狩野栄川院と徳島藩の画人たち  
10.19—11.24 徳島市立徳島城博

物館  
水墨画\* 303

歌舞伎と馬 4.26—6.8 馬の博物  
館  
毎日夕刊 4.24 小玉祥子

CAF ネビュラ展2014 10.17—  
10.22 せんだいメディアテーク  
新美術新聞 1362 赤津侃

CAF ネビュラ渋谷展2014 7.19—  
8.17 渋谷市美術館  
新美術新聞 1354

鎌倉の仏像 武家のみやこ 迫真と  
エキゾチズム 4.5—6.1 奈良  
国立博物館 新美術新聞 1340  
朝日 5.24 山口隆介

鎌倉ゆかりの天神さま 荏柄天神社  
宝物と常盤山文庫コレクション  
10.18—12.14 鎌倉国宝館

上方の浮世絵—大阪・京都の粋〔す  
い〕と技〔わざ〕— 4.19—6.1 大  
阪歴史博物館(山口県立萩美術館  
・浦上記念館)

神々への祈り 6.14—8.3 平野美  
術館  
新美術新聞 1346

カミノノクマノ—聖なる場所へ 世  
界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」  
登録10周年記念 9.20—11.24  
三重県立美術館  
REAR 33 榊戸雅彦

画楽多の会コレクション展 7.10—  
9.7 ギャラリー呼友館  
新美術新聞 1348 新井博

からくりアート展 7人のからく  
り作家による展覧会 5.5—5.11  
世田谷美術館区民ギャラリー  
東京 5.9 小形佳奈

カラフル 中国・明清工芸の精華  
5.31—7.13 根津美術館  
読売夕刊 6.24 多比羅菜美子

華麗なるジャポニスム展 ポスト  
ン美術館 印象派を魅了した日本の  
美 6.28—9.15 世田谷美術館  
(京都市美術館、名古屋ポスト  
ン美術館)  
ギャラリー\* 350  
新美術新聞 1352  
水墨画\* 303  
美術の窓 369 加藤純

平成26年美術展覧会(企カ、キ)

朝日夕刊 8.6 山田優  
産経 7.6 渋谷和彦  
東京 7.4 小形佳奈  
東京夕刊 7.25 中村英樹  
日経 7.16 宮川匡司  
毎日夕刊 7.28 岸桂子  
読売 8.14 前田恭二  
**画廊の夜会** 6.5—6.6 銀座駅周辺  
地域  
東京 5.27  
**特集** かわいい生き物たち 7.3—  
9.30 岡田美術館  
新美術新聞 1349  
**Kawaii〔かわいい〕日本美術—若冲・  
栖風・松園から熊谷守一まで—**  
1.3—3.2 山種美術館  
芸術新潮 771  
水墨画\* 298  
朝日夕刊 2.12 塩見圭  
産経 1.23 黒沢綾子  
読売 1.23  
読売夕刊 1.25 ヨミウリ・ジュ  
ニア・プレス取材班  
**変わり兜×刀装具 戦国アバンギャ  
ルドとその昇華** 1.7—2.11 佐  
野美術館(大阪歴史博物館)  
朝日夕刊 2.5 宮代栄一  
産経 12.31  
**関西大学名品万華鏡 館選イテオ  
シ! 関西大学創立130周年記念  
事業 関西大学図書館創設100周  
年・関西大学博物館開設20周年  
記念** 4.1—5.18 関西大学博物  
館  
**館所蔵による近代の美術・工芸・写  
真 平成26年度第3回** 7.16—  
8.31 京都国立近代美術館  
**感じる縄文時代 特別展** 12.13—  
2.8 名古屋市博物館  
書道界 302  
**漢籍と日本人 中国古典籍の伝来と  
受容** 5.18—6.15 天理ギャラリ  
ー  
**一館蔵浮世絵展 II—英雄幻想** 6.21  
—8.17 徳島市立徳島城博物館  
**館蔵 近世絵画名品展** 2.25—5.18  
九州国立博物館  
**関叟公銅像展 10代藩主・鍋島正  
直公生誕200年記念** 1.14—1.26

徴古館  
**館蔵 東南アジア美術展** 10.7—  
11.30 福岡市美術館  
**カンタと刺子 —ベンガル地方と東  
北地方の針仕事** 9.9—11.24 日  
本民藝館  
芸術新潮 779  
新美術新聞 1354  
毎日夕刊 9.17 岸桂子  
読売 10.9 井上晋治  
**官展にみる近代美術 東京・ソウル  
・台北・長春** 2.13—3.18 福岡  
アジア美術館(府中市美術館、兵  
庫県立美術館)  
あいだ 213 高山百合  
芸術新潮 776 宮下規久朗  
国華 1430 五十殿利治  
新美術新聞 1335  
新美術新聞 1337 ラワンチャイ  
クン寿子  
**官展にみる近代美術 東京・ソウル  
・台北・長春** 5.14—6.8 府中  
市美術館(福岡アジア美術館、兵  
庫県立美術館)  
ギャラリー\* 349  
書道界 291  
朝日夕刊 5.28 大西若人  
東京夕刊 5.23 藤田一人  
日経夕刊 6.2 窪田直子  
毎日夕刊 5.21 高階秀爾  
読売 3.6 白石知子  
**観音の里の祈りとくらし展—びわ湖  
・長浜のホトケたち—** 3.21—  
4.13 東京藝術大学大学美術館  
目の眼 451  
産経 3.27 黒沢綾子  
毎日 2.15 桑田潔  
毎日夕刊 4.7 岸桂子

(キ)

**祇園祭—浄妙山の名宝—** 10.23—  
1.12 京都文化博物館  
**KIZASHI 友禅の斬新、漆芸の大胆**  
1.10—2.2 ポーラミュージアム  
アネックス  
芸術新潮 771  
**喜多川歌麿 深川の雪** 4.4—6.30  
岡田美術館  
芸術新潮 773

新美術新聞 1341  
水墨画\* 301  
朝日夕刊 3.3  
朝日夕刊 6.11 大西若人  
読売 3.3  
読売夕刊 5.20 稲垣朋子  
**木と美術—木を描く、木を彫る、木  
に施す—** 12.13—12.28 青梅市  
立美術館  
毎日 12.20 柴田朗  
**キトラ古墳壁画** 4.22—5.18 東京  
国立博物館  
文化財\* 613 宇田川滋正/白井  
克也/川野邊渉  
文化財\* 613 高妻洋成/神庭信  
幸/荒木臣紀/川野邊渉/建石徹  
朝日 2.5 塚本和人  
朝日 4.6 天野幸弘 コーディネ  
ーター  
朝日 4.7 今井邦彦/宮脇修一  
朝日 4.12 塚本和人  
朝日 4.15 小滝ちひろ  
朝日 4.16 今井邦彦  
朝日 4.17 里中満智子 談/今  
井邦彦 聞き手  
朝日 4.17 今井邦彦  
朝日 4.17 塚本和人  
朝日 4.19 今井邦彦  
朝日 4.22 塚本和人  
朝日 4.23 塚本和人  
朝日 4.23 小滝ちひろ  
朝日 5.5 増田愛子  
朝日 5.9 塚本和人  
朝日 5.10  
朝日夕刊 5.14 山田優  
産経 5.8 篠原知存  
毎日夕刊 5.13 栗原俊雄  
**奇なるものへの挑戦 明治大正/異  
端の科学** 7.4—8.31 岐阜県博  
物館  
**キネティック・アート** 4.26—6.15  
山梨県立美術館(損保ジャパン東  
郷青児美術館、ふくやま美術館、  
埼玉県立近代美術館)  
**キネティック・アート** 7.8—8.24  
損保ジャパン東郷青児美術館(山  
梨県立美術館、ふくやま美術館、  
埼玉県立近代美術館)  
美術手帖 1006 竹見洋一郎

- 産経 7.10 渋沢和彦  
読売 7.24 井上晋治
- きのくにの城と館—紀中の戦国史—  
4.26—6.1 和歌山県立博物館
- 木の系譜—進化する奔流— 4.9—  
5.20 高島屋(日本橋)(高島屋(大  
阪、横浜))
- 岐阜が生んだ原三溪と日本美術 守  
り、支え、伝える 10.10—11.16  
岐阜市歴史博物館  
日経 10.19
- キャプテンクック探検航海と『バン  
クス花譜集』展 12.23—3.1  
Bunkamura ザ・ミュージアム(尾  
道市立美術館)
- ギヤマン あこがれの輸入ガラスと  
日本 7.5—9.15 神戸市立博物  
館  
神戸市立博物館だより 105 岡  
泰正
- キャラクターアート展1回 9.11  
—9.25 山脇ギャラリー  
毎日 9.12 山田大輔
- 九州古陶の美「食の器」 田中丸コレ  
クション 6.10—11.30 福岡市  
美術館
- 九州の戦国 10.17—11.24 大分県  
立歴史博物館
- 九州仏〜1300年の祈りとかたち〜  
10.12—11.30 福岡市博物館  
デアルテ 31 末吉武史  
デアルテ 31 井手誠之輔  
目の眼 459
- 宮廷の華 源氏物語 6.7—6.10  
実践女子学園香雪記念資料館  
読売 5.27
- KYOTOGRAPHIE 国際写真フェス  
ティバル2回 4.19—5.11 京  
都文化博物館別館/京都芸術セン  
ター他  
芸術新潮 775  
美術手帖 1005 編集部
- 京都国際映画祭1回 映画もア  
ートもその他も全部 アート部門  
10.16—10.19 京都市役所前広場  
/京都文化博物館/京都駅ビル/  
元・立誠小学校/イオンモール京  
都桂川/ホテルアンテルーム/京  
都市立芸術大学ギャラリー@
- KCUA/よしもと祇園花月  
瓜生通信 63  
芸術新潮 780  
美術手帖 1016 編集部  
美術の窓 375
- 京都銭湯芸術祭二〇一四 9.27—  
10.26 京都市北区・上京区にあ  
る銭湯8店舗  
瓜生通信 63
- 京都造形芸術大学卒業展/大学院修  
了展 2014年度 2.22—3.2 京  
都造形芸術大学内  
瓜生通信 61
- 京のうつろい—春から夏へ 4.4—  
6.15 京都府立堂本印象美術館  
新美術新聞 1342
- 今日もコロケ、明日もコロケ—  
“益田太郎冠者喜劇”の大正展  
3.1—8.3 早稲田大学演劇博物館  
朝日 4.9 増田愛子
- 玉器の名品—中国人の魂— 中国国  
立劉海粟美術館×岡田美術館 姉  
妹提携特別記念展 7.3—9.30  
岡田美術館  
新美術新聞 1349  
毎日夕刊 6.24 永田晶子
- 居住する美—千駄木—壁画第2研  
究室展 観光庁 文化財活用実証  
実験企画 日本ナショナルトラス  
ト×東京藝術大学 11.26—12.13  
旧安田楠雄邸庭園  
東京 12.8 竹上順子
- 清麿—幕末の志士を魅了した名工—  
生誕200年記念 特別展 2.26—  
4.6 根津美術館(佐野美術館、長  
野県信濃美術館、萩美術館)  
産経 3.20 黒沢綾子
- キラキラ・ざわざわ・ハラハラ展  
こどもと美術を楽しみたい! 井  
上涼/重田佑介/tupera tupera/  
西村正徳/ミロコマチコ 7.12—  
8.31 横須賀美術館
- 煌めきの美—東洋の金属工芸—  
1.5—2.16 大和文華館
- きらめく日本画コレクション 4.2  
—4.14 高島屋(大阪)
- キルト好きの仲間たちのパッチワー  
クキルト展 10.31—11.2 浅草  
公会堂
- 東京 10.31 丹治早智子
- 木をつかうらし 織田コレクショ  
ンを中心に 第I期 木にいれる  
4.18—6.22 北海道立旭川美術館
- 木をつかうらし 織田コレクショ  
ンを中心に 第II期 木であそ  
ぶ 7.1—8.20 北海道立旭川美  
術館
- 木をつかうらし 織田コレクショ  
ンを中心に 第III期 木であじ  
わう 8.30—10.19 北海道立旭  
川美術館
- 銀座井上画廊20周年記念展 6.2—  
6.28 銀座井上画廊  
ギャラリー\* 351 ワシオ・トシ  
ヒコ  
新美術新聞 1345
- 銀座柳画廊 20周年記念展 10.30  
—11.15 銀座柳画廊  
新美術新聞 1359
- 近世文人の世界—神辺に花開いた文  
化— 国重要文化財「菅茶山関係  
資料」指定記念 7.11—8.31 広  
島県立歴史博物館
- 近代日本の水墨画展 心眼で愛でる、  
水墨という色彩 5.24—7.21 講  
談社野間記念館  
水墨画\* 302
- 近代日本の幕開けと私立法律学校—  
神田学生街と法典論争—専修大学  
・中央大学・日本大学・明治大学  
共同企画展 1.24—2.28 明治大  
学博物館  
中国近現代文化研究 15 中川壽  
之
- 近代洋画にみる夢 河野保雄コレク  
ションの全貌 2.8—3.23 福島  
県立美術館(府中市美術館)  
新美術新聞 1336
- 近鉄電車展—日本最大の私鉄開業1  
世紀— 4.9—5.27 天理大学附  
属天理参考館
- 金の卵 オールスター デザイン  
ショーケース第9回 8.28—9.7  
AXIS GALLERY  
AXIS 172 長谷川香苗
- 禁門の変 150年記念 9.13—11.4  
若松城天守閣郷土博物館

(ク)

クインテット—五つ星の作家たち

1.11—2.16 損保ジャパン東郷青  
児美術館  
新美術新聞 1333  
朝日夕刊 2.5 大西若人  
産経 2.6  
東京夕刊 1.31 中村英樹  
毎日夕刊 2.5 岸桂子

クールな男とおしゃれな女—絵の中  
のよそおい 5.17—7.13 山種美  
術館

芸術新潮 773  
朝日夕刊 6.4 西岡一正

具体人 in Karuizawa 六つの個展

「2人は、ニュー・アート」シリ  
ーズII 10.1—9.23 梶井沢ニュー  
アートミュージアム  
ギャラリー\* 354  
ギャラリー\* 356  
新美術新聞 1363

口と足で表現する世界の芸術家たち

11.15—11.16 三菱電機ビルテク  
ノサービス株式会社(荒川区)(三  
菱電機ビルテクノサービス株式会  
社(小平市)、水村喜一郎美術館、  
金沢21世紀美術館、佐世保玉屋、  
高知市文化プラザかるぼーと)  
東京 11.17 志村彰太

国東半島芸術祭 10.4—11.30 大

分県豊後高田市/国東市各所  
ギャラリー\* 352  
芸術新潮 778  
新美術新聞 1351  
美術手帖 1010 吉田宏子  
美術手帖 1011 山出淳也  
美術手帖 1011  
美術手帖 1011 遠藤水城  
美術手帖 1011 中村茜  
美術手帖 1012 吉田宏子  
美術手帖 1014 吉田宏子  
美術手帖 1016 吉田宏子  
美術手帖 1017 土屋誠一 評  
美術手帖 1018 長谷川祐子  
美術屋・百兵衛 31

国宝久能山東照宮展 家康と静岡ゆ  
かりの名宝 徳川家康公顕彰四〇  
〇年記念事業 静岡市文化振興財

団設立二〇周年記念事業 10.4—  
11.24 静岡市美術館  
日経 11.16  
日経夕刊 10.2

凹地企画展1回「クレーター Vol.  
1」 4.5—4.20 遊工房アーツ  
スペース

東京 4.9 小林由比  
熊野 祈りと癒しの地 10.11—  
11.24 三重県総合博物館

熊野—聖地への旅— 世界遺産登録  
10周年記念特別展 10.18—12.7  
和歌山県立博物館

熊野那智大社の至宝—熊野十二所権  
現古神像を中心に 4.1—12.13  
熊野那智大社宝物殿  
産経 12.7

クリブランド美術館展 名画でた  
どる日本の美 1.15—2.23 東京  
国立博物館

新美術新聞 1334  
朝日 1.22  
朝日夕刊 12.24  
産経 1.30 黒沢綾子

Xmas Art Festa 2014 12.12—  
12.20 銀座・京橋の画廊23軒  
ギャラリー\* 356

グループ「幻触」と石子順造 1966  
—1971 —時代を先駆けた冒険  
者たちの記録— 2.1—3.23 静  
岡県立美術館

美術手帖 1004 福住廉 評  
REAR 32 尾野正晴  
朝日夕刊 2.19 大西若人/千葉  
成夫

黒白の美 駿府博物館移転記念コレ  
クション展II 5.17—6.29 駿府  
博物館

水墨画\* 303  
黒田官兵衛と城 8.16—9.28 九州  
歴史資料館

黒田家の美術 きらめきの大名道具  
大河ドラマ軍師官兵衛記念 9.2  
—9.28 福岡市美術館

水墨画\* 305  
クロニクル1995— 開館20周年記  
念 MOT コレクション特別企画  
6.7—8.31 東京都現代美術館  
美術手帖 1008 樺木野衣

朝日夕刊 7.23 大西若人  
日経夕刊 8.4 窪田直子  
毎日夕刊 7.16 岸桂子  
読売 6.13 井上晋治

軍師官兵衛 2014年 NHK 大河ドラ  
マ特別展 3.21—5.6 兵庫県立  
歴史博物館(江戸東京博物館、福  
岡市博物館)

産経 5.5 寺田理恵  
軍師官兵衛 2014年 NHK 大河ドラ  
マ特別展 5.27—7.13 江戸東京  
博物館(兵庫県立歴史博物館、福  
岡市博物館)

目の眼 455  
軍師官兵衛 2014年 NHK 大河ドラ  
マ特別展 7.26—9.21 福岡市博  
物館(兵庫県立歴史博物館、江戸  
東京博物館)

朝日夕刊 12.22 宮代栄一

(ケ)

慶應義塾と戦争II 残されたモノ、  
ことば、人々 10.7—10.31 慶  
應義塾大学図書館展示室/慶應義  
塾大学アート・スペース

毎日夕刊 10.22 栗原俊雄  
奎星展63回 10.30—11.6 東京都  
美術館

毎日夕刊 10.30 桐山正寿  
藝大コレクション 春の名品選  
3.21—4.13 東京藝術大学大学美  
術館

新美術新聞 1339  
競馬絵画展 英国ジョッキークラブ  
秘蔵 10.1—11.3 競馬博物館  
朝日夕刊 9.22

産経 10.17 兼松康  
ケータイ美術—もちあらく道具のか  
たちと機能— 5.31—7.21 徳川  
美術館

目の眼 454  
化粧—美の演出、社会的シンボル、  
コミュニケーション手段— 11.3  
—12.14 厚木市郷土資料館

GENOMICA【ゲノミカ】3回 12.1  
—12.7 東邦アート  
新美術新聞 1362

2014県展52回 8.2—8.23 兵庫県  
立美術館王子分館原田の森ギャラ

リー

現在形の陶芸 萩大賞展Ⅲ 1.2—2.2 山口県立萩美術館・浦上記念館

現代作家美術展 18回 4.1—4.13 浜松市秋野不矩美術館  
新美術新聞 1340

2014現代書作家展・しずおか 3.25—4.6 静岡県立美術館  
毎日夕刊 3.20 桐山正寿

現代女流書100人展45回 5.8—5.12 高島屋(日本橋)  
毎日夕刊 5.8 桐山正寿

現代茶陶展7回 4.12—4.20 セラトピア土岐  
陶説 735 井上隆生

現代抽象作家展—surprise7— 2.7—2.19 ギャラリー絵夢  
新美術新聞 1334

現代・陶芸現象 9.13—11.24 茨城県陶芸美術館  
東京夕刊 10.17 石川翠  
毎日夕刊 11.12 岸桂子

現代の具象絵画展 Without End 12.24—12.30 阪急(梅田)美術\* 472 編集部

現代の書 新春展—今いきづく墨の華— 1.5—1.13 東京セントラル美術館/和光ホール  
書道界 291  
毎日 1.1 桐山正寿  
毎日夕刊 1.6 桐山正寿

現代の書の至宝展 高知県安芸市立書道美術館所蔵作品展 12.9—12.14 セントラルミュージアム銀座  
毎日夕刊 12.11 桐山正寿

現代美術展—これからの美術界を見据えて— 6.2—6.11 ギャラリー絵夢  
新美術新聞 1345

現代美術のハードコアはじつは世界の宝である展 ヤゲオ財団コレクシオンより 6.20—8.24 東京国立近代美術館(名古屋市美術館、広島市現代美術館、京都国立近代美術館)  
ギャラリー\* 354 ワシオ・トシヒコ

芸術新潮 779 板倉聖哲  
朝日夕刊 7.30 西岡一正  
産経 7.3 黒沢綾子  
東京夕刊 8.1 藤田一人  
日経 7.9 窪田直子  
日経 8.7 平野啓一郎  
毎日夕刊 8.6 岸桂子  
読売 7.3 井上晋治  
読売夕刊 7.22 保坂健二郎

現代洋画サミット11展2014 5.28—6.3 三越(日本橋)(三越(名古屋))  
新美術新聞 1344 油井一人

原点を、永遠に。清里フォトアートミュージアム(K・MoPA)開館20周年記念 世界の若い写真家の情熱を未来に伝える“ヤング・ポートフォリオ”20年の軌跡 8.9—8.24 東京都写真美術館  
ギャラリー\* 352  
美術手帖 1008 島貫泰介 文・構成  
朝日夕刊 8.6 西岡一正  
毎日夕刊 8.13 岸桂子

## (コ)

小泉淳作記念2回 鎌倉芸術祭日本画公募展 11.22—11.30 建長寺法堂  
日経 11.16  
日経 11.24

工芸王国の實力! 魅惑の120選 北陸新幹線開業記念イベント 9.27—10.26 石川県立美術館  
新美術新聞 1355

工芸美術日工会24回 6.11—6.19 東京都美術館  
日経 6.15

香合 10.18—10.26 光芳堂  
陶説 741 井上隆生

高校生国際美術展15回 6.25—7.6 国立新美術館

巧術 デパート・リミックス・其之貳 6.25—7.14 美術画廊X  
読売夕刊 6.30 (睦)

興人会 日本画展50回 10.28—11.3 田中八重洲画廊  
新美術新聞 1358

構成と色彩展—composition et couleur— 第1回 4.19—4.25 埼玉画廊  
新美術新聞 1342

高知国際版画トリエンナーレ展9回 10.11—11.30 いの町紙の博物館  
版画芸術 166

国宝「紅白梅図屏風」と所蔵名品展 1.31—3.12 MOA 美術館  
書道界 291  
新美術新聞 1334

幸福はぼくを見つけてくれるかな? 石川コレクション 岡山 からの10作家 4.19—6.29 東京オペラシティアートギャラリー  
産経 6.5 渋谷和彦  
日経夕刊 5.1  
読売夕刊 5.19 (睦)

弘法大師空海展 四国霊場開創1200年記念 4.26—6.8 愛媛県歴史文化博物館

公募団体ベストセレクション 美術2014 5.4—5.27 東京都美術館  
自由美術 2014 大野修  
美術手帖 1004 竹見洋一郎

公募 日本の絵画2012 入賞・入選者 新作展 6.5—6.12 永井画廊  
新美術新聞 1345

公募 日本の絵画2014 12.8—12.20 永井画廊  
新美術新聞 1362

高野山の名宝 高野山開創1200年記念 10.11—12.7 サントリー美術館(あべのハルカス美術館)  
新美術新聞 1357  
美術の窓 372  
朝日夕刊 11.5 西岡一正  
読売 1.1  
読売 9.27  
読売 10.11  
読売 11.19 みうらじゅん  
読売 11.20 三好和義 談  
読売 11.20 今村真樹  
読売 11.21 家田莊子 談

高麗・李朝の工芸—陶磁器、漆器、金属器— 8.23—10.26 愛知県陶磁美術館

陶説 737 森達也  
**光琳を慕う中村芳中** 4.8—5.11  
 千葉市美術館(細見美術館、岡山県立美術館)  
 水墨画\* 301  
 日経 4.16 宮川匡司  
 毎日夕刊 4.16 岸桂子  
 読売 4.24 前田恭二  
**光琳を慕う中村芳中** 5.24—6.29  
 細見美術館(千葉市美術館、岡山県立美術館)  
 芸術新潮 775  
**一古往今来—中国青銅器展** 3.6—3.15  
 赤坂游ギャラリー  
 新美術新聞 1337  
**ゴッホ・ピトゥイーンズ こどもを通して見る世界** 5.31—8.31 森美術館(名古屋市美術館、沖縄県立博物館・美術館、高知県立美術館)  
 朝日夕刊 6.18 山田優  
 産経 6.26 渋沢和彦  
 日経 6.11 窪田直子  
 毎日夕刊 6.11 岸桂子  
 読売 7.10 荒木夏実  
 読売 7.17 荒木夏実  
 読売 7.24 荒木夏実  
 読売 8.23 谷本陽子  
**黄金町バザール2014 仮想のコミュニティ・アジア 東アジア文化都市2014横浜** 8.1—11.3 京急線「日ノ出町駅」から「黄金町駅」の間の高架下スタジオ/周辺スタジオ/既存の店舗/屋外他  
 芸術新潮 778  
 美術の窓 373 原万希子  
 朝日夕刊 9.3 西岡一正  
 毎日夕刊 8.27 岸桂子  
**古唐津・古武雄 桃山・江戸の華やぎ** 4.12—6.15 愛知県陶磁美術館  
 陶説 734 佐久間真子  
 陶説 736 井上隆生  
**五卿と志士—維新前夜の太宰府—**  
**五卿西竄150年** 1.5—2.16 九州歴史資料館  
**國藝展35回** 12.19—12.24 鎌倉芸術館  
 書道界 303

**国際高校生選抜書展22回** 1.28—2.2 大阪市立美術館  
 毎日 1.27 清水有香  
 毎日夕刊 1.28  
**国際水墨芸術大展2014** 2.16—2.21 東京都美術館  
 水墨画\* 301 沈和年  
**国際陶磁器展美濃10回 国際陶磁器コンペティション** 9.12—10.19 セラミックパーク MINO  
 陶説 740 井上隆生  
 REAR 33 井上隆生  
**国際木版画展2014 国際木版画会議2回** 9.11—9.25 東京藝術大学大学美術館陳列館  
**国宝のカー伝えられた武士[もののふ]の心** 平成26年度秋季展 10.4—12.23 永青文庫  
 美術の窓 375 竹田博志  
**国宝みうらじゅん いやげ物展 in TOKYO** 1.17—2.3 パルコミュージアム(パルコ(名古屋、札幌))  
 産経 1.17 昌林龍一  
**ここをホッチキスでとめてください。トラフ建築設計事務所** 1.17—2.13 クリエイションギャラリー G8  
 読売 2.6  
**児島虎次郎は見た! —オリエント文化 東西の架け橋—** 11.28—1.25 岡山市立オリエント美術館  
 紫明 36 弓場紀知  
**古代官道 山陽道と駅家[うまや]**  
**律令国家を支えた道と駅 風土記 1300年記念特別展 阪神・淡路大震災20年展** 4.19—6.22 兵庫県立考古博物館  
**古代の住まい—今と昔を結ぶ家のカタチを探る—** 9.20—11.16 島根県立八雲立つ風土記の丘資料館  
**古武雄 江戸陶磁のモダニズム～やきもの王国九州から～** 7.8—8.31 町田市立博物館  
 陶説 739 外館和子  
**後藤家文書 刀装金工の鑑定と記録2** 東京藝術大学附属図書館貴重資料展 公益財団法人出光文化福祉財団助成・修復事業報告 12.1—12.25 東京藝術大学附属図書

館  
**こども展 名画にみるこどもと画家の絆** 4.19—6.29 森アーツセンターギャラリー(大阪市立美術館)  
 芸術新潮 775 おーなり由子  
 朝日夕刊 6.18 山田優  
 産経 5.4 渋沢和彦  
 東京 6.10 杉全美帆子  
 日経夕刊 4.19  
 毎日夕刊 6.11 岸桂子  
 読売夕刊 5.17 ヨミウリ・ジュニア・プレス取材班  
**こども展 名画にみるこどもと画家の絆** 7.19—10.13 大阪市立美術館(森アーツセンターギャラリー)  
 新美術新聞 1352  
**こども+おとな工芸館 もようわくわく 所蔵作品展** 6.28—8.31 東京国立近代美術館工芸館  
 朝日夕刊 7.23 大西若人  
**近衛家の国宝 京都・陽明文庫展 華麗なる宮廷文化** 4.15—6.8 九州国立博物館  
 水墨画\* 302  
 デアルテ 31 墨信祐爾  
**個の原点5回** 1.22—1.28 高島屋(大阪)(高島屋(日本橋、名古屋))  
**個の原点5回** 2.5—2.11 高島屋(日本橋)(高島屋(大阪、名古屋))  
 新美術新聞 1335  
**個の地平8回** 8.27—9.2 高島屋(日本橋)(高島屋(大阪、京都、名古屋))  
 新美術新聞 1352 宝木範義  
 美術の窓 372 編集部  
**小林一三と松永安左衛門 茶の湯交遊録 逸翁と耳庵の名品コレクション** 1.5—2.16 福岡市美術館(逸翁美術館)  
 日経 2.7  
**五稜郭築造と箱館戦争** 6.15—8.31 市立函館博物館  
**これからの写真 光源はいくつもある** 8.1—9.28 愛知県美術館  
 愛知県美術館研究紀要 21 村田真宏/高橋秀治/中村史子  
 美術手帖 1008 島貫泰介



美術手帖 1012 土屋誠一  
 REAR 33 星野太  
 朝日夕刊 9.10 小林裕子  
 東京 9.24  
 東京 10.7 出田阿生  
 日経 9.3 窪田直子  
 毎日夕刊 9.4 岸桂子/山田泰生

コレクション展Ⅰ 透過と反射  
 4.12—9.21 金沢21世紀美術館

コレクション展 岡田文化財団設立  
 35周年記念 12.13—2.15 三重  
 県立美術館  
 新美術新聞 1363

コレクションの対話 近代美術の傑  
 作 10.11—1.12 神奈川県立近  
 代美術館(鎌倉)

KOWAII展Ⅳ 2.3—2.16 新井画  
 廊/art data bank  
 新美術新聞 1335

コンタクト 開館20周年記念 MOT  
 コレクション特別企画 第2弾  
 9.27—1.4 東京都現代美術館  
 ギャラリー\* 353  
 朝日夕刊 10.29 大西若人  
 朝日夕刊 12.24 渡辺鮎美

コンダンサシオン:アーティスト・  
 イン・レジデンス エルメスのア  
 トリエにて 3.20—6.30 メゾン  
 エルメス8階フォーラム  
 美術手帖 1004 児島やよい

「JP-CH 2014: コンテクストの中  
 で建てる—日本人が手がけたスイ  
 スの現代建築」展 10.8—10.15  
 スパイラルガーデン  
 産経 10.12 黒沢綾子

(サ)

再興院展100年によせて—収蔵品展  
 10.1—11.16 佐久市立近代美術  
 館油井一二記念館  
 新美術新聞 1357

再興 對州窯展 9.20—10.5 ぎや  
 らりい思文閣

埼玉ゆかりの芸術家展—郷土の表現  
 者たち・移りゆく時の中で—  
 4.12—8.31 サトエ記念21世紀美  
 術館  
 新美術新聞 1349

サイトと野性 9.6—11.3 ギャラ  
 リー湯山/まつだい「農舞台」他  
 ギャラリー\* 354

西都原の100年考古博の10年そして、  
 次の時代へ 展示会Ⅰ 西都原の  
 逸品たち 西都原古墳群発掘100  
 年 西都原考古博物館開館10周  
 年記念特別展 4.19—6.15 宮崎  
 県立西都原考古博物館

西都原の100年考古博の10年そして、  
 次の時代へ 展示会Ⅱ 埴輪を科  
 学する 西都原古墳群発掘100年  
 西都原考古博物館開館10周年記  
 念特別展 7.19—9.21 宮崎県立  
 西都原考古博物館

西都原の100年考古博の10年そして、  
 次の時代へ 展示会Ⅲ 日向の  
 神々と出雲の神々 西都原古墳群  
 発掘100年 西都原考古博物館開  
 館10周年記念特別展 10.11—  
 11.30 宮崎県立西都原考古博物  
 館

坂川・江戸川水景色 7.19—9.23  
 松戸市戸定歴史館  
 毎日 8.4 橋口正

さし絵のお宝大公開!展—弥生美術  
 館 開館30周年記念— 4.4—  
 6.29 弥生美術館  
 東京 5.28 原尚子

佐竹本三十六歌仙絵巻模写展 あき  
 たアートプロジェクト 10.18—  
 10.26 秋田県立美術館県民ギャ  
 ラリー  
 新美術新聞 1356

サッカー展、イメージのゆくえ。  
 開館15周年記念 4.26—6.22  
 うらわ美術館  
 ギャラリー\* 348  
 朝日夕刊 6.4 西岡一正  
 産経 6.12 伊藤洋一  
 読売 6.5 森田睦

作家とアトリエ展—作品を生み出す  
 身体、創造の場— 12.20—2.15  
 茨城県近代美術館  
 新美術新聞 1363

札幌国際芸術祭2014 7.19—9.28  
 北海道立近代美術館/札幌芸術の  
 森美術館/北海道庁赤れんが庁舎  
 /札幌大通地下ギャラリー—500m

平成26年美術展覧会(企コ、サ)

美術館/さっぽろテレビ塔/札幌  
 市資料館/札幌市教育文化会館/  
 さっぽろ芸術文化の館ニトリ文化  
 ホール/北翔大学北方圏学術情報  
 センター「ポルト」/その他周辺地  
 域

AXIS 172 暮沢剛巳  
 アルカディア 62 千葉真智子  
 ギャラリー\* 348

芸術新潮 777  
 水墨画\* 306

ZENBI 7 吉崎元章  
 美術手帖 1012 飯田高誉 評  
 美術の窓 368  
 美術の窓 373 竹澤雄三  
 朝日 7.16 吉住琢二  
 朝日夕刊 8.6 山田優  
 産経 8.31 松垣透  
 毎日夕刊 4.3 岸桂子  
 毎日夕刊 8.13 永田晶子  
 読売 8.21 井上晋治

Sapporo Conception 札幌現代ア  
 ート交流展2014 7.9—9.28  
 Gallery Retara  
 ギャラリー\* 354

サッポロ未来展13回 3.17—3.22  
 札幌時計台ギャラリー(青森県立  
 美術館)  
 美術の窓 369 磯部靖

茶道美術の玉手箱 —畠山記念館名  
 品展— 開館50周年記念 4.5—  
 6.15 畠山記念館  
 水墨画\* 302  
 読売 5.29 井上晋治

里見氏の遺産 城下町館山~東京湾  
 の港町~ 里見氏安房国替400年  
 特別展 9.6—10.19 館山市立博  
 物館

座の会 第3回 7.25—7.30 O美  
 術館  
 水墨画\* 306

佐野藤右衛門 櫻コレクション+小  
 松華功 櫻陶展 4.5—5.25 信  
 州高遠美術館  
 新美術新聞 1339

ザ・ビューティフル—英国の唯美主  
 義1860—1900 1.30—5.6 三菱  
 一号館美術館  
 新美術新聞 1334

平成26年美術展覧会(企サ、シ)

- 美術手帖 1001 野瀬明子ほか  
朝日夕刊 1.27 増田愛子  
朝日夕刊 3.19 増田愛子  
産経 2.16 黒沢綾子  
日経 2.12 窪田直子  
読売 2.27 富山太佳夫
- ザ・屏風—それは古くて新しい—  
富山県水墨美術館開館15周年記念 5.9—6.1 富山県水墨美術館
- THE MIRROR Hold the Mirror up to nature 10.16—11.9 銀座4丁目 THE MIRROR 館(名古屋商工会館)  
芸術新潮 780  
美術手帖 1012 編集部  
産経 11.6 洪沢和彦  
日経 10.19  
日経 11.1  
日経 11.3
- 侍アート・甲冑～戦国甲冑と兜の魅力～ 日本甲冑武具研究保存会近畿支部協力展 3.15—5.11 高槻市立しろあと歴史館
- 更紗の時代 10.11—11.24 福岡市美術館  
芸術新潮 781 板倉聖哲  
デアアルテ 31 岩永悦子  
デアアルテ 31 後小路雅弘
- サラブレッドとその美術 10.4—12.7 馬の博物館
- 三英傑と名古屋 10.25—11.30 名古屋市博物館
- 3がつ11にちをわすれない展2014 仮設住宅からの手紙 歌舞伎町2020 3.5—3.15 稲荷鬼王神社  
産経 3.14
- 産経国際書展31回 7.25—7.31 東京都美術館(せんだいメディアテークギャラリー、広島県立美術館、電気文化会館、大阪市立美術館)  
ギャラリー\* 354
- 三十三間堂プロジェクト—この中に会いたい人の顔がある、自分に似た顔がある— 4.5—5.12 3331 Gallery  
芸術新潮 774
- 3.11以後の建築 開館10周年記念特別展 11.1—5.10 金沢21世紀

- 美術館(水戸芸術館現代美術ギャラリー)  
AXIS 173 上條昌宏  
新美術新聞 1370  
美術手帖 1017 五十嵐太郎
- 3.11メモリアルプロジェクト～東日本大震災を未来へ語りついでくために～ 8.13—8.24 全労済ホールスペース・ゼロ 東京 8.17 原尚子
- サントリー美術館 おもしろびじゅつワンダーランド in東北 東日本大震災復興支援 4.26—6.1 仙台市博物館  
美術の窓 368 常安順子  
読売 3.6 井上晋治

(シ)

- 耳庵と茶道具展 戦前の収集品を探る 6.10—8.3 福岡市美術館
- J. arts BRIDGE/日本美術の架け橋展 1.11—1.13 阪急(梅田) 美術屋・百兵衛 29
- シエル美術賞展2014 12.10—12.23 国立新美術館  
芸術新潮 782
- しかけ絵本II 江戸から明治に見るあそびのしかけ 9.16—11.29 武蔵野美術大学美術館・図書館(図書館)
- 地獄と仏 10.25—12.14 上原仏教美術館
- 四国の大名—その美と心— 10.18—11.24 徳島市立徳島城博物館
- 四国へんろ展 空海の足音[高知編] 四国霊場開創一二〇〇年記念四県連携事業 8.23—9.23 高知県立美術館  
書道界 298  
新美術新聞 1351  
水墨画\* 305  
目の眼 458 白洲信哉
- 四国へんろ展 空海の足音[徳島編] 四国霊場開創一二〇〇年記念四県連携事業 10.25—11.30 徳島県立博物館
- 四国遍路 ぐるり今昔 2.18—4.6 愛媛県歴史文化博物館

- ～詩彩画美術展～松尾柳江と愛好会 11.14—11.16 東久留米市成美教育文化会館ギャラリー  
新美術新聞 1360
- 獅子と狛犬 神獣が来たはるかな道 9.2—12.14 MIHO MUSEUM  
芸術新潮 780  
目の眼 457
- 静岡文化芸術大学 デザイン学部 有志卒業制作展 3.21—3.23 AXIS GALLERY  
AXIS 169 高橋美礼
- 自然と生命への讃歌 寺田コレクション 10.4—11.30 茨城県天心記念五浦美術館
- シダときのこー牧野富太郎と川村清— 9.13—11.3 牧野記念庭園記念館  
新美術新聞 1354
- 6 colors—六彩— 12.17—12.23 アートサロンエスパス京都(ギャラリーエスパス(名古屋))  
新美術新聞 1363
- 漆芸の未来を拓く 生新の時2014 5.31—7.14 石川県輪島漆芸美術館
- 実験 ことばを展開させてみる 12.9—12.20 東京都美術館  
新美術新聞 1362  
毎日夕刊 12.11 桐山正寿
- 實の会3回 美と存在 2.26—3.4 高島屋(日本橋)  
新美術新聞 1334
- 室礼 游 李朝家具展 一軸一瓶一重 3.12—3.21 赤坂遊ギャラリー  
新美術新聞 1341
- 信濃大町2014 食とアートの廻廊 8.9—8.24 長野県大町市全域  
美術手帖 1012 編集部
- ジブリの立体建造物展 7.10—3.15 江戸東京たてもの園(長野県信濃美術館、豊田市美術館、熊本市現代美術館)  
芸術新潮 778  
美術の窓 373 青木貴之  
東京 12.30  
読売 7.11

- 紙片の宇宙 シャガール、マティス、ミロ、ダリの挿絵本 9.21—3.29  
ポーラ美術館  
新美術新聞 1356
- 市民創作展36回 4.26—4.27 狛江市立中央公民館  
読売 4.27
- JAALA 国際交流展19回—2014 6.7—6.15 川崎市市民ミュージアム
- 写実の眼 埼玉画廊名品展〜種詩く人〜 第二期 8.3—8.23 埼玉画廊  
新美術新聞 1351
- 社寺の風景—宮曼荼羅から祭礼図へ— 5.23—6.29 大和文華館
- ジャパン・アーキテクツ 1945—2010 開館10周年記念特別展 11.1—3.15 金沢21世紀美術館  
AXIS 173 上條昌宏  
建築史学 64 戸田穠  
美術手帖 1017 五十嵐太郎  
日経 11.26 窪田直子  
毎日夕刊 11.26 永田晶子
- ジャパン・アヴァンギャルド—アン  
グラ演劇傑作ポスター展 4.23—5.19  
ポスターハリスギャラリー  
& アツコバルー  
朝日 5.6 増田愛子
- 10月のエトランジェ 松本里見  
鈴木純郎 宮山正光 宮山リサ  
10.20—11.1 表参道画廊
- 秋季名宝展 戦乱と復興—古文書から読み解く戦国期の四天王寺—  
9.19—11.9 四天王寺宝物館  
読売夕刊 11.6
- 十五年戦争と早稲田 2014年度秋季企画展 10.1—11.8 早稲田大学125記念室  
毎日夕刊 10.22 栗原俊雄
- 珠玉の洋画コレクション展 開館5周年記念 3.1—7.31 山王美術館  
読売夕刊 4.16 (市)
- 祝宴の器展—華麗なるヴェネチアン・グラス— 4.19—11.24 箱根ガラスの森美術館  
新美術新聞 1343  
毎日 3.20
- 首都大学東京 システムデザイン学部 インダストリアルアート卒業・修士制作展 2.14—2.16  
AXIS GALLERY/SYMPOSIA  
AXIS 169 高橋美礼
- 樹木礼賛 日本絵画に描かれた木と花の美 9.26—11.9 仙台市博物館  
水墨画\* 306
- 上越水墨画フェスティバル5回 4.11—4.15 ミュゼ雪小町/本町ふれあい館  
水墨画\* 303 今岡琴子
- 荘園の景観と絵図 7.19—8.24 和歌山市立博物館
- 障害者アート企画展 「うふっ。どうしちゃったの、これ!?今年もよ!」感、歓、楽、愕 1.10—1.14 埼玉会館
- 障害者アート企画展 うふっ。どうしちゃったの、これ!? えへっ。こうしちゃったよ、これ!! 無条件な幸福 12.11—12.16 埼玉会館
- 将軍からのおくりもの 儀礼と拝領 4.12—5.25 徳川美術館
- 正倉院展66回 10.24—11.12 奈良国立博物館  
新美術新聞 1358  
目の眼 459 湯山賢一 談  
読売 7.26  
読売 10.13 柳生博、内藤栄 対談/坪倉善彦 司会  
読売 10.24  
読売 10.30 清岡央  
読売 11.5 平岩弓枝  
読売夕刊 10.15 松永喜代文  
読売夕刊 10.16 松永喜代文  
読売夕刊 10.17 松永喜代文  
読売夕刊 10.27 檀れい  
読売夕刊 10.28 吉田蓼助  
読売夕刊 10.29 石鍋裕  
読売夕刊 10.31 押尾コータロー  
読売夕刊 11.1 コシノヒロコ
- 正倉院展ポスター 昭和22—昭和63 9.17—11.30 奈良国立博物館
- 上代様からの再出発 現代かな書の流れ1 4.19—7.13 奈良市杉岡華邨書道美術館  
新美術新聞 1342
- 〈象の内・外〉2014 9.4—9.10 ギャラリー絵夢  
新美術新聞 1353
- 縄文! 岩手10000年のたび 5.3—6.29 大阪府立弥生文化博物館
- 縄文から弥生へ 船橋遺跡の縄文絵画土器が語るもの 7.5—8.31 柏原市立歴史資料館
- 縄文コンテンポラリー展 in ふなばし14回 縄文の手・現代の手 7.20—9.7 船橋市飛ノ台史跡公園博物館
- 縄文土器展 デコボコかざりのはじまり 11.29—2.1 長野県立歴史館
- 昇龍會展1回 日本美術院龍生會・旅人會合同記念 6.25—7.6 茨城県天心記念五浦美術館  
新美術新聞 1352
- 昭和女子大学 生活科学部 環境デザイン学科 プロダクトデザインコース 卒業制作展2013 2.7—2.9 SYMPOSIA  
AXIS 169 高橋美礼
- 昭和中華・後期に書壇院を支えた作家 4.8—6.8 書壇院ギャラリー  
毎日夕刊 5.22 桐山正寿
- 書縁會展3回 11.4—11.9 東京銀座画廊・美術館  
毎日夕刊 11.6 桐山正寿
- 初期伊万里 山武能—コレクション 7.12—12.14 石洞美術館  
目の眼 456
- with H. W. D. 女子美の石 2.24—3.1 ギャラリーせいほう  
新美術新聞 1336
- 助手展2014 武蔵野美術大学助手研究発表 11.17—12.13 武蔵野美術大学美術館・図書館(美術館)  
所蔵絵画と工芸作家巨匠展—東京美術倶楽部工芸鑑定発足記念 5.25—5.28 東美ミュージアム  
新美術新聞 1347
- 書のアート展29回 11.26—12.3 東京都美術館

書道界 303  
 書之美—平安古筆から光悦まで  
 4.4—6.1 出光美術館(門司)  
 デアルテ 31 笠嶋忠幸  
 女流画家協会創立・黎明期の人々  
 6.28—9.28 葦崎大村美術館  
 新美術新聞 1349  
 女流吉象展4回 7.21—7.27 ギ  
 ャラリーームサン  
 新美術新聞 1350  
 女流陶芸48回 11.19—11.25 京  
 都市美術館  
 陶説 742 森孝一  
 知られざる日本のノベルティ〜オキ  
 ュパイドジャパン、白雲陶器など  
 〜 6.21—8.17 愛知県陶磁美術  
 館  
 陶説 736 田村哲  
 REAR 33 宮田昌俊  
 シリーズ時代と美術2 1955〜70  
 年 大沢昌助《人物の構図》を中心  
 に 練馬区立美術館コレクション  
 展 6.13—7.13 練馬区立美術館  
 東京 6.15 三沢典丈  
 シルクロードの記憶 秋田県・甘肅  
 省友好提携30周年記念文化交流  
 展 2.15—3.23 秋田県立美術館  
 城 つわものどもが夢の跡 2.11—  
 3.27 姫路市立美術館  
 新美術新聞 1335  
 白絵 祈りと寿ぎのかたち 10.11  
 —11.16 神奈川県立歴史博物館  
 朝日夕刊 11.5 大西若人  
 読売 10.29  
 白き黄金—有田・伊万里・武雄・嬉  
 野の磁器の美と技— 有田焼創業  
 400年事業特別企画展 10.4—  
 11.24 佐賀県立九州陶磁文化館  
 (白書院)水墨画傑作選—将軍の居室  
 に描かれた風景・人物・花鳥—  
 7.11—9.15 元離宮二条城 築城  
 400年記念展示・收藏館  
 新美術新聞 1351  
 白の上の白—色・背景・余白 コレ  
 クション展2014—III 11.1—2.8  
 広島市現代美術館  
 新池袋モンパルナス 西口ましかど  
 回遊美術館 5.15—5.28 池袋西  
 口地区

東京 5.16 横井武昭  
 新印象派 光と色のドラマ 10.10  
 —1.12 あべのハルカス美術館  
 (東京都美術館)  
 日経 1.3  
 日経 1.12  
 日経 9.21  
 日経 10.19  
 日経 11.16  
 日経 12.21  
 新鋭作家展 6.12—6.18 ギャラリ  
 ー絵夢  
 新美術新聞 1346  
 新紀元 革新の視座—加賀谷武、木  
 下晋、久世建二、庄田雷寛、蓮田  
 修吾郎の創造— 4.20—5.18 石  
 川県立美術館  
 ギャラリー\* 357  
 新美術新聞 1343  
 神宮式年遷宮奉賛美術品展 7.8—  
 8.24 式年遷宮記念神宮美術館  
 瑞垣 229 中村潔  
 神護寺経—きらめく経文— 2.26—  
 4.6 根津美術館  
 書道界 292  
 震災から20年 震災 記憶 美術  
 12.16—3.8 BB プラザ美術館  
 ギャラリー\* 356  
 美術運動史研究会ニュース 147  
 山崎明子  
 震災で消えた小さな命展 複製画展  
 8.6—8.12 すみだリバーサイド  
 ホールギャラリー  
 東京 8.10 奥野斐  
 新収蔵作品展 4.5—6.22 神奈川  
 県立近代美術館(鎌倉別館)  
 新収蔵資料展 4.19—6.1 白根記  
 念渋谷区郷土博物館・文学館  
 読売 5.19 岡本裕輔  
 新収蔵品展 6.10—10.5 福岡市美  
 術館  
 新収蔵品展—福岡の美術(1970年以  
 後)を中心に 6.10—8.3 福岡市  
 美術館  
 信州大学×長野県信濃美術館コラボ  
 展 7.12—8.24 長野県信濃美術  
 館  
 真宗の美 親鸞と福井、ゆかりの名  
 宝 9.26—10.26 福井県立美術

館  
 新宿写真画壇展4回 9.25—10.1  
 ギャラリー絵夢  
 新美術新聞 1355  
 新宿・昭和40年代—熱き時代の新  
 宿風景 写真展 2.8—4.13 新  
 宿歴史博物館  
 読売 2.14  
 新春現代作家小品展22回 1.16—  
 1.25 千駄木画廊  
 新美術新聞 1332  
 新進芸術家育成交流作品展 FINE  
 ART University selection 2013—  
 2014 文化庁委託事業「平成25年  
 度次代の文化を創造する新進芸術  
 家育成事業」若手ファイナー  
 ティストの活躍の場の創生 —  
 「ファインアート・ユニバーシア  
 ード」開催の基盤構築— 3.8—  
 3.14 筑波大学交流会館多目的ホ  
 ール  
 新世紀の軌跡II—瀬戸市新世紀工芸  
 館修了生の現在— 6.28—9.21  
 瀬戸市新世紀工芸館  
 陶説 739 井上隆生  
 新陶彫名古屋展11回 3.11—3.16  
 愛知県美術館ギャラリー  
 陶説 734 井上隆生  
 新耀展12回 6.15—6.21 東京交  
 通会館2Fギャラリー  
 美術の窓 371 編集部

(ス)

水曜日会展40回 5.28—6.2 竹川  
 画廊  
 東京 5.29 丹治早智子  
 Super Open Studio 042 art area  
 project 2014 10.18—11.9 ア  
 ートラボはしもと/pimp studio  
 /LUCKY HAPPY STUDIO/青木  
 スタジオ/studio kelcova/STA-  
 CK ROOM/アトリエボイス/美  
 大生の理想の家プロジェクト/モ  
 ゲスタ Moge Studio/クンス  
 トハウス/ニDEC/Art space Kai-  
 kas'/STUDIO 牛小屋/REV/TANA  
 Studio/アトリエ481/ブース  
 スタジオ/STUDIO VOLTA/STU-  
 DIO カタクリコ/studio RMP/

studio ban/Shiotsu studio/福永大介

**SkyLight Project - Voices from Fukushima** 1.18—1.25 ギャラリー青藍  
新美術新聞 1333

**スサノヲの到来 いのち、いかり、いのり** 10.18—12.23 足利市立美術館(川村記念美術館、北海道立函館美術館、山寺芭蕉記念館、渋谷区立松濤美術館)  
毎日夕刊 12.15 岸桂子  
読売 12.18 渡部恵子

**洲之内徹と現代画廊 昭和を生きた目と精神** 4.12—6.8 新潟市美術館(宮城県美術館、愛媛県美術館/町立久万美術館)  
朝日夕刊 5.21 大西若人

**スピリチュアル・ワールド 平成26年度東京都写真美術館コレクション展** 5.13—7.13 東京都写真美術館  
朝日夕刊 6.18 大西若人  
産経 5.15 (存)  
日経 6.13

**Sprouting Garden 萌ゆる森** 7.5—11.3 札幌芸術の森(屋外スペース/佐藤忠良記念子どもアトリエ/野外美術館)/関口雄揮記念美術館

**墨イズム(四)** 2.15—3.15 北井画廊  
水墨画\* 302

**すみだ平和・原爆写真展19回** 8.12—8.15 すみだリバーサイドホール会議室  
東京 8.13 奥野斐

**墨のいろ〜モノクロームの世界に遊ぶ〜 豊橋市美術博物館収蔵品** 1.11—2.11 豊橋市美術博物館  
水墨画\* 298

**墨・無限展10回** 7.21—7.27 東京銀座画廊・美術館  
水墨画\* 306  
美術の窓 373 磯部靖

**スモールワールド** 7.8—8.31 千葉市美術館

**3D プリンティングの世界にようこそ！—ここまで来た！驚きの技術**

と活用— 3.11—6.1 印刷博物館 P & P ギャラリー  
東京 4.22  
毎日夕刊 5.22 岸桂子

**スリーピング・ビューティ— 開館25周年記念特別展** 5.17—7.21 広島市現代美術館  
ギャラリー\* 349

**諏訪—この土地と人へのまなざし—** 7.19—9.21 諏訪市美術館  
ギャラリー\* 354 小金沢智  
新美術新聞 1351

(セ)

**成安造形大学 日本画クラス卒業生展** 2.10—3.2 ライトギャラリー/G103/ギャラリーフォレスト/ギャラリーキューブ  
新美術新聞 1340

**静—歌会始御題によせて—** 2.19—3.23 式年遷宮記念神宮美術館  
瑞垣 228 本多久子

**世紀の日本画 日本美術院再興100年特別展** 1.25—4.1 東京都美術館  
新美術新聞 1334 古田亮  
新美術新聞 1335 島尾新美術\* 461  
美術\* 461 古田亮  
朝日 1.5  
朝日夕刊 1.21 古田亮  
産経 1.30 洪沢和彦

**青磁のいま 受け継がれた技と美**  
南宋から現代まで 9.13—11.24 東京国立近代美術館工芸館(兵庫陶芸美術館、静岡市美術館、山口県立萩美術館・浦上記念館)  
芸術新潮 778  
新美術新聞 1354  
陶説 738 唐澤昌宏  
目の眼 457  
毎日夕刊 11.11 岸桂子

**星星會展—日本画の伝統と未来へ** 1.2—1.13 高島屋(日本橋)(松坂屋美術館、広島県立美術館、京都文化博物館)  
新美術新聞 1332 野地耕一郎

**星星會展—日本画の伝統と未来へ** 4.17—5.25 広島県立美術館(高

平成26年美術展覧会(企ス、セ)

島屋(日本橋)、松坂屋美術館、京都文化博物館)  
新美術新聞 1342 浅木正勝

**青銅器と弥生人のまつり—祭具からみた祭りのすがた—** 9.27—11.24 下関市立考古博物館

**せいのもとで lifescape** 9.5—10.12 資生堂ギャラリー  
毎日夕刊 9.24 岸桂子

**製本ノチカラ カヴァーノチカラ6 オリジナル・ブックカヴァー展** 3.5—4.4 見本帖本店(海老名市立中央図書館)  
朝日 3.23 大上朝美

**西洋近代絵画と松方コレクション**  
鹿児島市制125周年・新生鹿児島市10周年記念 7.18—8.31 鹿児島市立美術館

**西洋への憧れ 個のめざめ 日本近代洋画の東西 国立美術館巡回展** 1.5—2.11 川崎市立美術館(佐倉市立美術館)

**青玲社現代南画展53回** 7.17—7.22 京阪(守口)  
水墨画\* 306 綾佳子

**清廉と革新の器 宋〜元 アートフェア東京2014** 3.7—3.9 東京国際フォーラム

**世界とつながる本当の方法 みて・きいて・かんじる陶芸** 11.8—3.15 岐阜県現代陶芸美術館  
書道界 302  
陶説 742 井上隆生

**世界の在りか—インドネシアと日本九大生 AQA プロジェクトによる現代美術展** 2.14—2.25 福岡アジア美術館  
デアルテ 31 後小路雅弘

**テーマでくらべる 雪舟と雲谷派 コレクション特別企画** 10.30—11.30 山口県立美術館  
日本大学芸術学部紀要創作篇 39 向井知子

**絶対のメチエ—名作の条件** 1.25—4.20 ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション  
版画芸術 162  
毎日夕刊 2.26 岸桂子

瀬戸染付の今 4.2—6.22 瀬戸市  
新世紀工芸館  
陶説 737 井上隆生  
背守り 子どもの魔よけ 6.5—  
8.23 LIXIL ギャラリー1 (LIXIL  
ギャラリー大阪)  
芸術新潮 776  
美術の窓 371 笈天留  
産経 6.12 黒沢綾子  
セラミック陶芸専攻科修了制作展  
愛知県立瀬戸窯業高等学校 3.4  
—3.9 愛知県美術館ギャラリー  
陶説 734 井上隆生  
ZEN 展12回 8.22—8.30 東京都  
美術館  
新美術新聞 1355  
禅画・禅籍を楽しむ—大学の知られ  
ざる逸品— 5.12—8.3 駒澤大  
学禅文化歴史博物館  
書道界 296  
全国高等学校考古名品展 7.15—  
9.23 九州国立博物館  
東風西声\* 10 市元壘/池内一  
誠  
東京夕刊 9.13  
戦国時代の金とガラス〜きらめく—  
乗谷の文化と技術〜 9.20—11.9  
福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館  
戦国武将と神仏 10.11—11.29 大  
谷大学博物館  
戦後日本住宅伝説 挑発する家・内  
省する家 7.5—8.31 埼玉県立  
近代美術館(広島市現代美術館、  
松本市美術館、八王子市夢美術館)  
建築史学 64 戸田穰  
新美術新聞 1348  
東京夕刊 8.22 古谷利裕  
日経 8.6 窪田直子  
読売 7.31 高野清見  
全収蔵作品展 オープニング企画  
4.12—6.1 心の花美術館  
新美術新聞 1342  
Sensations17[センセーションズセ  
プンティーン]—絹谷幸二と17人  
の仲間たち— 8.27—9.2 三越  
(日本橋)  
新美術新聞 1352  
仙台・東北の出張手しごと展 1.23  
—1.26 渋谷ヒカリエ

朝日 1.22  
全日国際展1回 12.15—12.18 シ  
アター1010ギャラリー  
書道界 304  
全日本アートサロン絵画大賞展23  
回 2.6—2.17 国立新美術館(大  
阪市立美術館)  
産経 2013.6.28 日比野克彦  
産経 1.18  
千墨会水墨画展19回 5.29—6.3  
ゴールデンギャラリー  
水墨画\* 304

(ソ)

造形衝動の一万年 縄文の宇宙 円  
空の衝撃 アール・ブリュットの  
情熱 9.20—11.30 滋賀県立安  
土城考古博物館  
総合水墨画展19回 8.7—8.16 国  
立新美術館  
雑司が谷 四季の愉しみ 1.1—  
3.26 雑司が谷案内処  
毎日 1.20 戸上文恵  
草創期の作家六人展 京都市立美術  
大学染織専攻の光芒 Part-I  
1.10—2.16 染・清流館  
新美術新聞 1334  
想像しなおし IN SEARCH OF  
CRITICAL IMAGINATION 1.5—  
2.23 福岡市美術館  
続・上黒岩岩陰遺跡とその時代—縄  
文時代早期の世界— 10.11—  
12.7 愛媛県歴史文化博物館  
存星—漆芸の彩り 10.25—12.7  
五島美術館  
朝日夕刊 11.26 安斎耕一  
毎日夕刊 11.5 岸桂子  
読売 11.27 渡部恵子

(タ)

TURN/陸から海へ ひとがはじめ  
からもっている力 日本財団アール・ブリュット美術館合同企画展  
2014—2015 11.8—1.12 みず  
のき美術館(柄の津ミュージアム、  
はじまりの美術館、薬工ミュージ  
アム)  
新美術新聞 1354

大浮世絵展 国際浮世絵学会創立  
50周年記念 1.2—3.2 江戸東  
京博物館(名古屋市博物館、山口  
県立美術館)  
浮世絵芸術 168 小林忠  
水墨画\* 298  
版画芸術 162  
美術屋・百兵衛 28  
産経 1.12 渋谷和彦  
毎日夕刊 1.8 高階秀爾  
読売 1.1  
読売 1.7 井上晋治  
読売 1.18 ジャニス・キャッツ  
読売 1.19 アレクサンダー・ホ  
フマン  
読売 1.21 坂東三津五郎 談  
読売 1.22 井浦新 談  
読売 1.24 篠山紀信 談  
読売 1.31 我妻直美  
読売 2.7 我妻直美  
読売夕刊 2013.12.24  
読売夕刊 1.8 井上晋治  
読売夕刊 1.9 井上晋治  
読売夕刊 1.11 ヨミウリ・ジュ  
ニア・プレス取材班  
読売夕刊 1.14 小澤弘  
大浮世絵展 国際浮世絵学会創立  
50周年記念 3.11—5.6 名古屋  
市博物館(江戸東京博物館、山口  
県立美術館)  
新美術新聞 1337  
朝日夕刊 2.12 増田愛子  
大おにぎり展 出土資料からみた穀  
物の歴史 10.11—11.24 横浜市  
歴史博物館  
大織部展 古田織部400年忌 9.6  
—10.26 岐阜県現代陶芸美術館  
陶説 739 榎本徹  
大学は宝箱! 京都・大学ミュージ  
アム連携の底力 出開帳 in 東北  
11.1—11.30 東北歴史博物館  
大観・春草・御舟と日本美術院の画  
家たち 開館一周年記念展 10.4  
—3.31 岡田美術館  
新美術新聞 1360  
大関展 鍋島直正生誕200年記念  
開館10周年記念特別展 10.4—  
11.30 佐賀県立佐賀城本丸歴史

- 館  
佐賀県立佐賀城本丸歴史館研究紀要 10 江口智徳
- 大館蔵品展 世田谷区立郷土資料館**  
開館50周年記念特別展 11.1—12.7 世田谷区立郷土資料館
- 大古事記展 語り継ぐココロとコトバ 五感で味わう、愛と創造の物語** 10.18—12.14 奈良県立美術館
- 朝日夕刊 9.25 菅谷文則／里中満智子／森正光
- 国宝 醍醐寺のすべて—密教のほとけと聖教— 醍醐寺文書聖教7万点 国宝指定記念特別展** 7.19—9.15 奈良国立博物館
- 書道界 296  
新美術新聞 1350  
水墨画\* 304  
目の眼 455  
日経 7.12 岡松卓也  
日経 7.20  
日経 8.17
- 大正乙女の密やかな愉しみ展** 5.24—10.6 高島華胄大正ロマン館  
大正イマジユリイ 10 高島麻子
- 台東区写真連盟展23回『写日記』**  
5.6—5.11 浅草公会堂  
東京 5.9 丹治早智子
- 大新潟展 新潟市歴史博物館開館10周年記念特別展** 3.21—5.18 新潟市歴史博物館
- 台北國立故宮博物院 神品至宝**  
6.24—9.15 東京国立博物館(九州国立博物館)  
芸術新潮 777 板倉聖哲  
紫明 35 弓場紀知  
書道界 297  
新美術新聞 1347 富田淳  
水墨画\* 303 塚本麿充  
ZENBI 7 塚本麿充  
陶説 735 三笠景子  
美術手帖 1007 板倉聖哲 監修／永峰美佳 文  
美術手帖 1007 出川哲朗 監修／沢田眉香子 文  
美術手帖 1007 友川綾子  
美術手帖 1007 岩切澤  
美術屋・百兵衛 30
- 目の眼 453  
目の眼 454 富田淳 談  
朝日 2013.10.17 宮代栄一／鶴飼啓  
朝日 6.17 中村俊介  
朝日夕刊 7.2 中村俊介  
朝日夕刊 7.30 中村俊介  
産経 1.3 中島誠之助／石川九楊  
産経 6.19 黒沢綾子／余佩瑾／蔡慶良／何傳馨  
産経 7.14 余佩瑾  
産経 7.15 塚本麿充  
産経 7.16 塚本麿充  
産経 7.25  
産経 8.2  
産経 8.5  
産経 8.12 富田淳  
産経 8.13 塚本麿充  
産経 8.14 三笠景子  
産経 10.7 馮明珠 談／田中靖人 聞き手  
東京 6.24 馮明珠  
東京 6.24  
東京 8.5  
東京夕刊 7.7 草間俊介  
東京夕刊 7.8 川瀬真人  
毎日 7.23 富田淳  
毎日 7.24 三笠景子  
毎日 7.25 竹内奈美子  
毎日 7.29 小山弓弦葉  
毎日 7.30 塚本麿充  
毎日 8.5 桐山正寿  
毎日 8.28 近藤浩之  
毎日夕刊 2013.11.19 鈴木玲子  
毎日夕刊 7.17 桐山正寿  
毎日夕刊 9.4 桐山正寿  
読売 1.1 一青窈  
読売 4.21 源一秀／井上晋治  
読売 4.22 井上晋治  
読売 4.23 井上晋治  
読売 5.31 向井ゆう子  
読売 6.13 島谷弘幸  
読売 7.23 板倉聖哲 談  
読売 7.24 板倉聖哲 談  
読売 8.9 山下裕二、余貴美子 談  
読売 8.14 谷原章介  
読売 8.17 北原照久
- 読売 8.20 高田万由子  
読売 8.22 中島歩  
読売 8.26 一青窈  
読売夕刊 6.24  
読売夕刊 6.26 蔡玫芬  
読売夕刊 6.27 塚本麿充  
読売夕刊 6.28 蔡慶良  
読売夕刊 6.30 川村佳男  
読売夕刊 7.2 富田淳  
読売夕刊 7.8 富田淳
- 台北國立故宮博物院 神品至宝**  
10.7—11.30 九州国立博物館(東京国立博物館)  
産経 10.7  
読売 10.30 井上晋治
- 大名茶人松平不昧の数寄—「雲州蔵張」の名茶器—** 10.4—12.14 島山記念館  
読売夕刊 11.18 水田至摩子
- 太陽展51回** 5.22—6.3 日動画廊
- 第4期収蔵品展 平成26年度** 12.20—4.19 横須賀美術館  
新美術新聞 1365
- 台湾の近代美術—留学生たちの青春群像(1895—1945)** 9.12—10.26 東京藝術大学大学美術館  
新美術新聞 1355  
日経 10.1 窪田直子  
読売 9.18 渡部恵子
- ダウン症 家族のまなざし—Shifting Perspectives—** 3.21—3.30 伊藤忠青山アトスクエア  
毎日 3.28 須田桃子
- 高島屋 幻想博物館** 7.23—7.29 高島屋(日本橋)(高島屋(大阪、京都、名古屋、新宿))
- 高須四兄弟 新宿・荒木町に生まれた幕末維新** 9.13—11.24 新宿歴史博物館
- 誰が袖図—描かれたきもの—コレクション展** 11.13—12.23 根津美術館  
読売 12.18 渡部恵子
- 鷹の会 日本画展2回** 4.7—4.12 太陽画廊  
新美術新聞 1340
- 宝塚歌劇100年展 夢、かがやきつづけて 宝塚歌劇100周年記念** 3.8—4.6 松坂屋美術館(阪急(博

多)、兵庫県立美術館、東京国際フォーラム)  
**宝塚歌劇100年展 夢、かがやきつづけて 宝塚歌劇100周年記念**  
 7.9—7.22 阪急(博多)(松坂屋美術館、兵庫県立美術館、東京国際フォーラム)  
 日経 6.15  
**宝塚歌劇100年展 夢、かがやきつづけて 宝塚歌劇100周年記念**  
 8.5—9.28 兵庫県立美術館(松坂屋美術館、阪急(博多)、東京国際フォーラム)  
 日経 7.20  
 日経 8.6  
 日経 8.17  
 日経 9.21  
**宝塚歌劇100年展 夢、かがやきつづけて 宝塚歌劇100周年記念**  
 12.16—12.28 東京国際フォーラム(松坂屋美術館、阪急(博多)、兵庫県立美術館)  
 日経 11.16  
**たぐ星☆ タグチ・アートコレクション**  
 7.19—9.28 松本市美術館  
**竹の美 三館連携「松・竹・梅」展**  
 2.21—3.30 大和文華館  
 聚美 10 竹浪遠/植松瑞希/外山潔  
 読売 3.20 木村未来  
**竹のめざめ 栃木竹工芸の精華**  
 11.1—12.23 栃木県立美術館  
**タケミヤからの招待状 アート・アーカイヴ資料展 XI** 3.3—3.28  
 慶應義塾大学アート・スペース  
**多治見市陶磁器意匠研究所 卒業制作展2014** 2.14—2.16 セラミックパーク MINO  
 陶説 733 井上隆生  
**種村季弘の眼 迷宮の美術家たち**  
**20世紀検証シリーズ No.4** 9.6—10.19 板橋区立美術館  
 新美術新聞 1353  
 朝日夕刊 10.8 西岡一正  
 日経 10.9 平野啓一郎  
 毎日夕刊 10.1 岸桂子  
 読売 9.18 前田恭二  
 読売 10.4 弘中智子

**旅に出よう 絵地図からはじまる物語 開館30周年記念特別企画展**  
 1.18—3.2 兵庫県立歴史博物館  
 塵界 26 鈴木敬二  
**タベルことにまつわること** 1.11—3.30 川崎市市民ミュージアム  
 朝日夕刊 3.5 神谷実里  
**だまし絵II** 8.9—10.5 Bunkamura ザ・ミュージアム(兵庫県立美術館、名古屋市美術館)  
 ギャラリー\* 352  
 芸術新潮 778  
 芸術新潮 782 宮下規久朗  
 朝日夕刊 9.10 西岡一正  
**産経** 8.10 渋谷和彦  
**東京** 5.5  
**東京** 7.8  
**東京** 8.4 坂根徹夫  
**東京** 8.7 木島俊介/廣川曉 解説  
**東京** 8.26 池上英洋  
**東京夕刊** 8.25 松岡正剛  
**東京夕刊** 8.26 杉原厚吉  
**東京夕刊** 8.27 山崎ナオコ  
**東京夕刊** 8.28 福田美蘭  
**東京夕刊** 8.29 茂木健一郎  
**東京夕刊** 9.10 山下裕二  
**東京夕刊** 9.26 古谷利裕  
**多摩美術大学大学院美術研究科絵画専攻版画修了制作展** 3.8—3.13  
 銀座洋協ホール  
 版画芸術 163 本江邦夫  
**多摩美術大学博士課程展2014** 3.5—3.23 多摩美術大学美術館  
**多摩美術大学美術学部絵画学科版画専攻卒業制作展** 3.10—3.15 文房堂ギャラリー  
 版画芸術 163 本江邦夫  
**TARO 賞の作家II 大巻伸嗣 天明屋尚 タムラサトル 藤井健仁 ヤマガミユキヒロ 開館15周年記念展** 10.18—1.12 川崎市岡本太郎美術館  
 朝日夕刊 12.24 安斎耕一  
**探検! 体験! 江戸東京** 12.2—3.8 江戸東京博物館  
 新美術新聞 1363 落合則子  
 読売 12.5 朴美姫

**丹波今昔物語** 3.4—2.18 兵庫陶芸美術館  
**探幽3兄弟展 狩野探幽・尚信・安信** 2.22—3.30 板橋区立美術館(群馬県立近代美術館)  
 水墨画\* 299  
**読売** 3.26 佐々木英理子  
**読売** 3.27 前田恭二  
**読売** 3.28 佐々木英理子  
**読売** 3.29 佐々木英理子  
**読売夕刊** 3.4 佐々木英理子  
**探幽3兄弟展 狩野探幽・尚信・安信** 4.19—6.1 群馬県立近代美術館(板橋区立美術館)  
 新美術新聞 1340

(チ)

**地震27回 南房総たてやまを描く 絵画展** 4.26—5.11 館山市立博物館分館渚の博物館  
 美術の窓 369 ワシオ・トシヒコ  
**竹心展53回** 4.8—4.13 東京銀座画廊・美術館  
 毎日夕刊 4.10 桐山正寿  
**茶道具取合せ展** 12.13—2.15 五島美術館  
 目の眼 461  
**茶湯の人と造形** 11.21—12.25 大和文華館  
**茶と美—柳宗悦の茶—** 1.10—3.23 日本民藝館  
 目の眼 450  
**茶の湯釜の美** 9.6—10.19 泉屋博古館(泉屋博古館分館)  
 目の眼 457  
**茶の湯釜の美** 11.1—12.14 泉屋博古館分館(泉屋博古館)  
 朝日夕刊 12.3 宮代栄一  
**茶の湯の名碗** 10.10—12.7 茶道資料館  
 淡交 849 降矢哲男  
**Challenge Art in Japan 2014 韓国人留学生による現代アート展**  
 11.11—11.29 韓国文化院  
**茶碗 現代作家新作展** 4.12—4.20 画廊光芳堂  
 陶説 735 唐澤昌宏



中国陶磁名品展 開館30周年記念  
・東京富士美術館所蔵 1.12—  
3.30 東京富士美術館  
朝日 2.11

中国の絵画 文人たちの肖像 4.1  
—5.11 東京国立博物館  
毎日夕刊 4.17 桐山正寿

中国の書跡 漢時代の書 4.8—6.8  
東京国立博物館  
毎日夕刊 4.17 桐山正寿

中国を旅した禅僧の足跡 旅の中の  
夢、夢の中の旅。時を歩む禅僧、  
無夢一清。 5.27—7.6 九州国  
立博物館  
目の眼 454

抽象の楽しみ 寺田コレクションよ  
り 収藏品展 No. 049 10.18—  
12.23 東京オペラシティアート  
ギャラリー

中世密教と〈玉体安穩〉の祈り 2.20  
—4.20 神奈川県立金沢文庫

チューリヒ美術館展 印象派からシ  
ュルレアリスムまで 9.25—12.  
15 国立新美術館(神戸市立博物  
館)  
新美術新聞 1356  
朝日 1.5  
朝日 7.20 安部美香子  
朝日 9.1 高木友絵  
朝日 9.20 荻原由希子/黒柳徹  
子  
朝日夕刊 9.27  
朝日夕刊 10.15  
朝日夕刊 10.21  
朝日夕刊 10.22 山田優  
産経 11.16 黒沢綾子  
日経 11.4 宮川匡司

澄懷堂の収蔵とその協力者たち  
9.7—12.7 澄懷堂美術館  
書道界 298

重源と東大寺 鎌倉時代の復興を支  
えた人びと 11.1—11.30 大阪  
府立狭山池博物館

長三賞常滑陶芸展31回 1.10—  
1.19 愛知県陶磁美術館(常滑市  
民文化会館)  
陶説 732 井上隆生

趙之謙の書画と北魏の書—悲愴没後  
130年— 7.29—9.28 東京国立

博物館/台東区立書道博物館  
台東区芸術文化財団紀要 1 鍋  
島稲子  
東京夕刊 9.12 石川翠  
毎日夕刊 8.14 桐山正寿

国宝 鳥獣戯画と高山寺 修理完成  
記念 10.7—11.24 京都国立博  
物館  
美術手帖 1013 沢田眉香子  
美術の窓 372  
文化財\* 610  
朝日 9.23 平野圭祐

超絶技巧!明治工芸の粋 村田コレ  
クション—拳公開 4.19—7.13  
三井記念美術館(佐野美術館、山  
口県立美術館、郡山市立美術館、  
富山県水墨美術館、岐阜県現代陶  
芸美術館)  
新美術新聞 1346  
美術\* 467 前原冬樹/諏訪敦/  
大塚麻央  
美術手帖 1006 福住廉 評  
美術手帖 1010 清水穰  
目の眼 452  
朝日夕刊 5.21 西岡一正  
産経 5.1 黒沢綾子  
毎日 7.9 明珍美紀  
毎日夕刊 5.7 岸桂子  
読売 6.5 井上晋治

挑戦する日本画 一九五〇〜七〇年  
代の画家たち 「日本画滅亡論」を  
超えて 7.5—8.24 名古屋市美  
術館  
新美術新聞 1348 山田諭

ちょっとバリまで、ず〜っとバリで  
渡欧日本人画家たちの逸品 住友  
グループの企業文化力II 3.15—  
5.11 泉屋博古館分館(泉屋博古  
館)  
新美術新聞 1340  
日経 4.20  
日経夕刊 4.3  
読売 4.24

(ツ)

つくったり考えたり—美術教育から  
のメッセージ—美術教育研究会  
第20回大会企画展 10.31—11.3  
東京藝術大学大学美術館

平成26年美術展覧会(企チヘテ)

ギャラリー\* 357 石川千佳子  
新美術新聞 1359

「つくられる」の実験 アーティスト  
・ラボ 7.19—8.31 川口市立ア  
ートギャラリー・アトリア

伝えたい「戦中・戦後」のくらし  
1.26—2.3 栃木県総合文化セン  
ター(京都府立総合社会福祉会館  
「ハートピア京都」、富山県民会  
館、熊本県立美術館分館、栃木県  
総合文化センター、佐賀県立博物  
館、金沢市文化ホール)  
毎日 1.20 柴田朗

つたえる はぐくむ えほんのえ!  
剣淵町絵本の館コレクションから  
7.1—8.20 北海道立旭川美術館

堤清二/辻井喬 オマージュ展  
7.5—11.24 セゾン現代美術館  
新美術新聞 1351  
産経 10.16 渋沢和彦  
毎日夕刊 8.13 高階秀爾

つながる。それから? Get in tou  
ch! 5.10—5.11 六本木ヒル  
ズ多目的スペース「umu」  
産経 5.8

椿会展2014—初心— 4.10—5.25  
資生堂ギャラリー

円谷英二 特撮の軌跡展 4.2—  
4.14 高島屋(新宿)(高島屋(横浜、  
大阪、京都))  
朝日夕刊 4.2

徒然草 美術で楽しむ古典文学  
6.11—7.21 サントリー美術館  
新美術新聞 1346  
産経 6.19 黒沢綾子  
東京 7.8 杉全美帆子  
日経 6.18 宮川匡司  
読売 6.17 待田晋哉

徒然草と兼好法師 4.24—6.22 神  
奈川県立金沢文庫  
読売 6.17 待田晋哉

(テ)

ディスカバー、ディスカバー・ジャ  
パン 「遠く」へ行きたい 9.13—  
11.9 東京ステーションギャラリ  
ー  
朝日夕刊 9.17 西岡一正  
産経 9.18 黒沢綾子

読売 9.4 井上晋治  
 テーマでくらべる 雪舟と雲谷派  
 コレクション特別展 10.30—  
 11.30 山口県立美術館  
 デアルテ 31 福田善子  
 デジタルデイ展9回 2014 7.29  
 —8.3 アートガーデンかわさき  
 新美術新聞 1351  
 手づくり本仕込みゲイジユツ 開館  
 記念企画展 6.1—10.13 はじま  
 りの美術館  
 朝日夕刊 8.20 西岡一正  
 TETSUSON 2014 卒業制作合同展  
 3.6—3.9 BankART Studio NYK  
 /横浜赤レンガ倉庫1号館  
 AXIS 169 長谷川香苗  
 鉄道がきた!一舟運・海運・馬車道  
 ・鉄道—大阪〜神戸鉄道開通  
 140年記念特別展 阪神・淡路大  
 震災20年展 10.4—11.30 兵庫  
 県立考古博物館  
 手のひらの中の漆 小を愛でる美意  
 識 7.19—9.28 石川県輪島漆芸  
 美術館  
 デミタス コスモス 宝石のきらめ  
 き☆カップ&ソーサー 3.8—  
 6.22 岐阜県現代陶芸美術館(細  
 見美術館、はつかいち美術ギャラ  
 リー、三井記念美術館)  
 天下の伊達 武将のモードと文化〜  
 大徳寺・高台寺の名宝を中心に〜  
 開館40周年記念特別展 9.6—  
 10.13 宇和島市立伊達博物館  
 点からはじまる墨の世界 あつまれ  
 墨画アーティスト 富山県水墨美  
 術館15周年記念 10.31—12.14  
 富山県水墨美術館  
 天才陶工 仁阿弥道八 12.20—3.1  
 サントリー美術館  
 芸術新潮 782  
 陶説 741  
 朝日 12.20 安齋耕一  
 天心の思い描いたもの—ぼかしの彼  
 方へ— 岡倉天心没後100年記念  
 展 2.15—3.21 茨城県近代美術  
 館  
 新美術新聞 1336  
 水墨画\* 299  
 毎日夕刊 3.12 岸桂子

Ten—ten 2014 IN SAPPORO 書  
 imagined! 7.22—8.3 コンチ  
 ネンタルギャラリー  
 毎日夕刊 7.24 桐山正寿  
 伝統工芸陶芸部会展42回 5.14—  
 5.20 三越(日本橋)  
 陶説 736 外館和子  
 伝統工芸陶葉会展10回 1.8—1.14  
 三越(千葉)  
 陶説 732 唐澤昌宏  
 天童城主 天童氏 8.8—9.7 天童  
 市美術館  
 天皇陛下昭和28年欧米14か国の旅  
 〜新たな感動と出会い〜 天皇陛  
 下傘寿記念特別展 10.18—12.23  
 宮内庁三の丸尚蔵館

(ト)

東欧アニメをめぐる旅 ポーランド  
 ・チェコ・クロアチア 9.27—  
 1.12 神奈川県立近代美術館(葉  
 山)  
 読売夕刊 12.2 初山昌夫  
 東欧の広場 海外都市広場調査21  
 年間の足跡 11.5—12.4 昭和女  
 子大学光葉博物館  
 東海伝統工芸展45回 5.8—5.13  
 丸栄(名古屋)(高島屋(岐阜))  
 陶説 736 井上隆生  
 東京駅100年の記憶 開業百年記念  
 12.13—3.1 東京ステーションギ  
 ャラリー  
 新美術新聞 1363 富田章  
 朝日夕刊 11.10 中野寛  
 東京 12.23  
 日経 12.24 宮川匡司  
 東京オリンピックと新幹線 東京オ  
 リンピック・パラリンピック 開  
 催50年記念特別展 9.30—11.16  
 江戸東京博物館  
 読売 10.24 行吉正一  
 読売 11.7 行吉正一  
 東京藝術大学卒業・修了制作展62  
 回 美術学部・大学院美術研究科  
 修士課程 1.26—1.31 東京都美  
 術館/東京藝術大学大学美術館/  
 東京藝術大学構内  
 美術の窓 368 編集部 座談

東京工芸大学 芸術学部 写真学科  
 創造写真研究室卒業生展「〇、」  
 3.13—3.19 SYMPOSIA  
 AXIS 169 高橋美礼  
 東京五美術大学連合卒業・修了制作  
 展37回 女子美術大学・東京造  
 形大学・日本大学芸術学部・武蔵  
 野美術大学・多摩美術大学 2.20  
 —3.2 国立新美術館  
 ギャラリー\* 348 椿原弘也、小  
 山登美夫、小川英晴 談  
 ギャラリー\* 349 椿原弘也、小  
 山登美夫、小川英晴 談  
 美術の窓 368 編集部 座談  
 TOKYO 書 2014 公募団体の今  
 1.4—1.16 東京都美術館  
 毎日夕刊 1.15 桐山正寿  
 東京デザイナーズウィーク2014  
 北斎漫画インスパイア展 10.25  
 —11.5 明治神宮外苑絵画館  
 東京 10.29 矢島智子  
 東郷青児(超現実派の散歩)と収蔵品  
 選 11.15—12.25 東郷青児記念  
 損保ジャパン日本興亜美術館  
 新美術新聞 1360  
 朝日夕刊 12.3 岩本恵美  
 日経夕刊 11.15  
 道後オンセンアート2014 4.10—  
 12.31 道後温泉およびその周辺  
 エリア  
 美術手帖 1000 青野尚子  
 東大寺 あべのハルカス美術館開館  
 記念特別展 3.22—5.18 あべの  
 ハルカス美術館  
 新美術新聞 1340  
 水墨画\* 300  
 美術屋・百兵衛 29  
 産経 5.1  
 東北芸術工科大学卒業・修了展 東  
 京展 2.23—2.27 東京都美術館  
 陶説 733 外館和子  
 東北芸術工科大学2013年度卒業/  
 修了研究・制作展 2.11—2.16  
 東北芸術工科大学  
 版画芸術 163 大橋紀生  
 東北のうつわ展 陶・漆・金属  
 1.25—2.23 伊丹市立工芸センタ  
 ー  
 陶説 733 外館和子

東洋汽船 そのあしどりー創業・発展・合併— 4.25—7.27 日本郵船歴史博物館

動乱の金沢～南北朝から戦国時代まで～ 6.26—8.17 神奈川県立金沢文庫

十果会36回 7.2—7.8 高島屋(日本橋)(高島屋(大阪、京都、名古屋))

新美術新聞 1348 中村隆夫

トーキョウアート絵画優美展 創業18周年特別企画 7.10—8.29

トーキョウアートアートギャラリー—

新美術新聞 1349

トーキョー・ストーリー2014 5.3—7.27 トーキョーワンダーサイト渋谷/トーキョーワンダーサイト本郷

産経 7.3 渋谷和彦

土岐市陶芸作家展 10.18—11.2

ファエンツァ市役所市民ギャラリー—

陶説 741 唐澤昌宏

徳川将軍の書画 4.26—6.8 江戸東京博物館

新美術新聞 1344

徳川宗春 歿後250年記念 4.12—5.25 徳川美術館

徳之島アートプロジェクト 奄美の島の芸術祭2014 3.8—8.31 徳之島

美術屋・百兵衛 28

独立穹展7回 10.6—10.18 始弘画廊

新美術新聞 1357

独立創人会5回 5.26—6.7 始弘画廊

新美術新聞 1345

戸越銀座の一人一冊。 8.29—9.10

フォトカノン

読売 9.4

土佐の紙 大濱紙に描いた日本画 2.19—2.25 松坂屋(静岡)

新美術新聞 1336

年の初めの錦絵展～琉球で見る江戸文化の華～ 1.6—3.12 那覇市歴史博物館

壺屋焼物博物館紀要 15 大城さ

ゆり

トッテのある形—Part II 4.26—6.1 多治見市文化工房ギャラリー—ヴォイス

陶説 736 井上隆生

とととと? きおく×キロク=

福岡県文化会館建設50周年記念 10.4—11.24 福岡県立美術館

デアルテ 31 竹口浩司

都美セレクション 新鋭美術家 2014 2.19—3.7 東京都美術館

ギャラリー\* 347

新美術新聞 1336

都美セレクショングループ展2回

Field of Painting 1.4—1.10 東京都美術館

新美術新聞 1332

都美セレクショングループ展2回

dot. 女性日本画家展 1.19—1.24 東京都美術館

新美術新聞 1332

水墨画\* 300

都美セレクショングループ展2回

覚の会—現代作家によるそれぞれの古典— 3.2—3.8 東京都美術館

新美術新聞 1337

都美セレクショングループ展3回

月火水木金土日「いろに想う」 11.26—12.7 東京都美術館

新美術新聞 1361

都美セレクショングループ展3回

祭、炎上、沈黙、そして…POST 3.11 11.26—12.7 東京都美術館

新美術新聞 1361

都美セレクショングループ展3回

Ezotic Caravan 国の北から 12.5—12.20 東京都美術館

都美セレクショングループ展3回

実験 ことばを展開させてみる 12.9—12.20 東京都美術館

都美セレクショングループ展3回

私たちの窓から見える風景 現代美術作家の視点からひもとく、イメージ共有のあり方 12.9—12.20 東京都美術館

DOMANI・明日展17回 未来を担う美術家たち 文化庁芸術家在外研

修の成果 12.13—1.25 国立新美術館

芸術新潮 783

新美術新聞 1364 本江邦夫

朝日夕刊 12.24 大西若人

産経 12.21 渋谷和彦

富岡鉄斎と近代日本の中国趣味 8.22—10.5 大和文華館

水墨画\* 305

美のたより 187 植松瑞希

DOMMUNE University of the Arts

—Tokyo Arts Circulation— 9.20—11.3 アーツ千代田3331メインギャラリー—

朝日夕刊 10.8

豊橋の金工展 8.26—9.28 豊橋市美術博物館

土楽 陶磁器展 2.1—3.9 うつわ

京都やまほん

陶説 733 梅田稔

鳥居龍蔵の国内調査—沖繩・南九州— 1.25—3.2 徳島県鳥居龍蔵記念博物館

トリエンナーレ豊橋6回 星野真吾賞展—明日の日本画を求めて— 8.23—9.21 豊橋市美術博物館

ギャラリー\* 353

新美術新聞 1353

水墨画\* 305

Traces of Disappearance 1.18—4.13 エスパス ルイ・ヴィトン 東京

芸術新潮 771

「ドローイングとは何か」4回 公募入賞・入選作品展 2.3—2.15

ギャラリー志門

トロールの森2014 まちと森をつなぐかたち 11.3—11.23 都立善福寺公園とその周辺

東京 11.20 杉戸祐子

泥とジェリー コレクションを中心とした小企画 1.21—4.6 東京国立近代美術館

朝日夕刊 3.5 大西若人

産経 3.27 渋谷和彦

東京夕刊 4.4 古谷利裕

毎日夕刊 3.19 岸桂子

(ナ)

- 内外物故作家展30回 2.19—2.22  
銀座洋協ホール  
ギャラリー\* 346
- 中山道広重美術館所蔵名品展 国際  
浮世絵学会創立50周年記念 4.3  
—6.15 中山道広重美術館  
芸術新潮 773
- 中長小西2014 6.6—7.5 中長小西  
長野県工芸展34回 9.18—9.21  
ホクト文化ホール  
陶説 740 外館和子
- 中房総国際芸術祭いちばらアート×  
ミックス2014 3.21—5.11 千  
葉県市原市南部地域／中房総エリ  
ア  
Cultivate 40 山城弥生  
美術手帖 1003  
美術手帖 1004 永峰美佳  
美術の窓 368  
朝日 4.8 増田愛子  
朝日夕刊 4.9 西岡一正  
東京 4.12 内田淳二  
毎日夕刊 4.3 岸桂子  
読売 5.1
- 中村屋サロン—ここで生まれた、こ  
こから生まれた— 中村屋サロン  
美術館 開館記念特別展 10.29  
—2.15 中村屋サロン美術館  
新美術新聞 1359  
朝日夕刊 11.19  
産経 12.11 渋沢和彦  
毎日夕刊 12.3 岸桂子  
読売 11.20
- 夏の夢・新宿の詩 vol.5 7.31—8.  
10 ギャラリー絵夢／ポルトリブ  
レ  
新美術新聞 1351
- 七つ星 近年の収蔵作家たち 9.9  
—10.19 千葉市美術館
- 鍋島直正の側近たち 10代藩主・  
鍋島直正公生誕200年記念 7.28  
—9.13 徴古館  
デアルテ 31 富田紘次

(ニ)

- ニイガタ・クリエーション—美術館  
は生きている— 2.15—3.30 新

- 潟市美術館  
朝日夕刊 3.19 大西若人
- 新潟地震 体験・記録・復興の50年  
6.14—8.24 新潟市歴史博物館  
肉筆浮世絵の美 氏家浮世絵コレク  
ション設立40周年記念 10.18—  
11.24 松坂屋美術館(鎌倉国宝館、  
いわき市立美術館)  
日経 11.16
- NISHIMURA GALLERY 40th Anni-  
versary Exhibition 6.25—8.2  
西村画廊  
新美術新聞 1348  
読売夕刊 7.14 (恵)
- 21世紀展14回 伝統からの創造  
4.23—4.27 東京美術倶楽部(京  
都美術倶楽部、金沢美術倶楽部、  
大阪美術倶楽部、名古屋美術倶楽  
部)  
新美術新聞 1342  
新美術新聞 1347  
美術\* 464 編集部  
美術の窓 368 編集部
- 21世紀空間思考展 VOL.3 7.30  
—8.12 三越(日本橋)  
新美術新聞 1350
- 日常／オフレコ展 1.11—1.30  
KAAT 神奈川芸術劇場  
水墨画\* 301 梶岡俊幸  
美術手帖 1002 畠中実 評
- 日美展18回 1.27—2.1 ギャラリー  
一せいほう  
新美術新聞 1333  
美術の窓 365
- 日美絵画展15回 8.7—8.16 国立  
新美術館
- 日清・日露戦争とメディア 10.4—  
11.24 川崎市市民ミュージアム  
読売 11.5
- 日中韓 棟梁の技と心 竹中大工道  
具館開館30周年記念巡回展  
9.11—10.24 Gallery A<sup>1</sup>(竹中大  
工道具館、トヨタ産業技術記念館)  
「二八会」京の宴—京都工芸の新世代  
展から20余年— 2.4—3.2 ギ  
ャラリーなかむら  
陶説 732 梅田稔
- 日本—美しい島・大三島をつくろ  
うプロジェクト2014 7.26—6.14

- 今治市伊東豊雄建築ミュージアム  
産経 9.4 黒沢綾子
- 日本 SF 展 7.19—9.28 世田谷文  
学館  
朝日夕刊 9.17 大西若人  
東京夕刊 7.9
- 日本絵画の魅惑 日本の美・発見  
IX 4.5—6.8 出光美術館  
新美術新聞 1340  
水墨画\* 301  
朝日夕刊 4.30 山田優／黒田泰  
三
- 日本家屋にみる至宝の饗宴—しつら  
えの美— 11.14—3.3 樂翠亭美  
術館  
新美術新聞 1363
- ニホンガ研究会 日本画〔ニホンガ〕  
っておもしろい! 7.12—8.24  
長野県信濃美術館
- 日本近代洋画への道 山岡コレク  
ションと高橋由一の名品を中心に  
1.11—3.23 栃木県立美術館(香  
川県立ミュージアム)
- 日本国宝展 10.15—12.7 東京国  
立博物館  
新美術新聞 1360  
美術手帖 1013 関弥生  
美術の窓 372 伊藤信二 談  
美術屋・百兵衛 31  
目の眼 459 金子啓明  
目の眼 459  
朝日夕刊 11.26 大西若人  
読売 1.1  
読売 8.13  
読売 9.11 渡部恵子  
読売 11.6 永井一正 談  
読売 11.8 守矢昌文  
読売 11.14 竹下景子 談  
読売 11.15 小堀宗実  
読売夕刊 10.16 松永喜代文  
読売夕刊 10.17 松永喜代文  
読売夕刊 10.18 渡部恵子  
読売夕刊 10.20 渡部恵子  
読売夕刊 10.21 渡部恵子  
読売夕刊 10.22 渡部恵子  
読売夕刊 10.23 渡部恵子  
読売夕刊 10.28 伊藤信二  
読売夕刊 11.6 山口晃

日本人が愛した官窯青磁 5.27—10.13 東京国立博物館  
 柴明 35 弓場紀知  
 陶説 735 佐藤サアラ  
 陶説 738 川瀬忍  
 目の眼 456 佐藤サアラ  
 毎日夕刊 7.9 岸桂子  
 読売 7.10 井上晋治

日本・台湾現代美術の現在と未来  
 ローカリティとグローバルの振幅  
 11.4—11.16 東京藝術大学大学  
 美術館陳列館/東京藝術大学美術  
 学部絵画棟アトスペース1・2  
 ギャラリー\* 355

日本陶芸倶楽部会員チャリティー作  
 品発表展47回 5.21—5.26 三  
 越(日本橋)  
 毎日 5.22 山田大輔

日本陶磁協会賞受賞作家展55回  
 2.1—2.11 和光ホール  
 陶説 733 唐澤昌宏

日本刀の美と技 葛飾の名工たち  
 4.26—6.15 葛飾区郷土と天文の  
 博物館  
 東京 5.6 志村彰太

日本の海洋画展29回 8.4—8.10  
 東京芸術劇場5階展示ギャラリー  
 1(北九州市立美術館)  
 新美術新聞 1350

日本の仮面 能面 創作と写し  
 11.5—1.12 東京国立博物館

日本の自然を描く展27回 8.7—  
 8.26 上野の森美術館(せんだい  
 メディアテーク、原田の森ギャラ  
 リー)  
 新美術新聞 1352

日本の地域産業の今 Vol.3 鶴岡  
 のきびそ・侍絹 デザインギャラ  
 リー1953企画展705回 5.14—  
 6.9 デザインギャラリー1953  
 産経 5.29 篠原知存

日本の抽象—その幾何学的側面  
 8.30—10.4 東京画廊+BTAP  
 新美術新聞 1353

日本の伝統工芸 人間国宝による竹  
 工芸と金工 4.8—6.29 資生堂  
 アートハウス  
 ギャラリー\* 349

日本発掘—発掘された日本列島2014  
 — 発掘された日本列島展20周  
 年記念 7.26—9.15 江戸東京  
 博物館(東北歴史博物館、堺市博  
 物館、長野市立博物館、九州国立  
 博物館)  
 毎日夕刊 8.26 栗原俊雄  
 読売 8.27

日本ファッション：不連続の連続  
 FUTURE BEAUTY 3.21—5.11  
 京都国立近代美術館  
 朝日夕刊 4.16 安部美香子  
 毎日夕刊 4.17 高階秀爾

日本・フランス現代美術世界展15  
 回 8.6—8.17 国立新美術館  
 美術の窓 373 編集部

日本報道写真連盟 都写研支部写真  
 展7回 10.8—10.13 九段ギャ  
 ラリー  
 毎日 10.9 潮田正三

New Eyes 2014 Our Place—歩く・  
 感じる・考える、私たちの生きる  
 場所— 6.7—9.28 本郷新記念  
 札幌彫刻美術館  
 新美術新聞 1345

人形芝居の幕が開く〜阿波木偶名品  
 展〜 徳島新聞社寄贈資料展  
 4.12—6.8 徳島市立德島城博  
 物館

人間国宝展—生み出された美、伝え  
 ゆくわが—日本伝統工芸展60回記  
 念 1.15—2.23 東京国立博物館  
 新美術新聞 1333  
 陶説 729 伊藤嘉章  
 朝日 1.5  
 朝日夕刊 2013.12.24  
 朝日夕刊 2.6  
 東京夕刊 1.17 藤田一人  
 毎日夕刊 2.20  
 読売 1.23 井上晋治

仁清・乾山と京の工芸—風雅のうつ  
 わ 10.25—12.21 出光美術館  
 陶説 740 柏木麻里  
 読売 11.21 前田恭二

## (ヌ)

布をめぐる知恵、布に込めた思い  
 5.27—9.28 瀬戸内海歴史民俗資  
 料館

## (ネ)

ネオ・ダダ新作展 2013—2014  
 2.17—3.8 ギャラリー58  
 新美術新聞 1336  
 朝日夕刊 2.19 大西若人/千葉  
 成夫  
 読売夕刊 3.3 (井)

「猫ねこ展覧会2014」〜走る・飛ぶ  
 ・じゃれる・寝る・猫達の楽園〜  
 4.18—6.29 松山庭園美術館  
 ギャラリー\* 350

ねこ・猫・ネコ リニューアル記念  
 特別展 4.5—5.18 渋谷区立松  
 濤美術館  
 朝日夕刊 4.23 塩田麻衣子  
 朝日夕刊 5.7 西岡一正  
 毎日夕刊 5.12 岸桂子  
 読売夕刊 4.15 味岡義人

## (ノ)

ノアの方舟 蒐集[コレクション]に  
 による作品たち 県美プレミアム収  
 藏品によるテーマ展 3.22—7.6  
 兵庫県立美術館

ノスタルジー&ファンタジー 現代  
 美術の想像力とその源泉 5.27—  
 9.15 国立国際美術館  
 美術屋・百兵衛 30  
 読売 8.28 木村未来

のぞいてびっくり江戸絵画 科学の  
 眼、視覚のふしぎ 3.29—5.11  
 サントリー美術館  
 版画芸術 163  
 朝日 3.27 西岡一正  
 日経 5.8 平野啓一郎  
 毎日夕刊 4.2 岸桂子  
 読売 5.1 前田恭二

野田で生まれた漫画たち 7.19—  
 9.23 野田市郷土博物館

野馬追のビジュアルいまむかし  
 6.28—7.28 南相馬市博物館  
 読売 7.13

## (ハ)

Perspective—MEXICO 3.8—4.6  
 Plaza Gallery & sagio

Heart Art in TOKYO 2014 エイズ  
 チャリティー美術展17回 1.23

—2.3 国立新美術館  
 「Heart in HaaT」テキスタイル展  
 8.31—9.8 LA COLLEZIONE  
 産経 9.4  
 パープルーム大学Ⅱ展 11.22—2.8  
 熊本市現代美術館  
 美術手帖 1019 筒井宏樹  
 ハイレッド・センター：直接行動の  
 軌跡 2.11—3.23 渋谷区立松濤  
 美術館(名古屋市美術館)  
 朝日夕刊 2.19 西岡一正／千葉  
 成夫  
 日経 2.16  
 日経夕刊 2.15  
 読売夕刊 3.3 (井)  
 はぎとり・きりとり・かたどり—大  
 地に刻まれた記憶— 奈良文化財  
 研究所埋蔵文化財センター設立  
 40周年記念 10.10—11.30 奈  
 良文化財研究所飛鳥資料館  
 博物館に初もうで—一年によせて—  
 1.2—1.26 東京国立博物館  
 産経 1.5 黒沢綾子  
 毎日夕刊 1.6 岸桂子  
 幕末佐賀名君誕生 10代藩主・鍋  
 島直正公生誕200年記念 5.19—  
 7.5 徴古館  
 デアルテ 31 富田紘次  
 幕末動乱—開国から攘夷へ— 四館  
 共同企画 3.21—5.6 土浦市立  
 博物館(日野市新選組のふるさと  
 歴史館、壬生町立歴史民俗資料館、  
 板橋区立郷土資料館)  
 幕末明治の京都の日本画 11.21—  
 2.1 京都文化博物館  
 箸墓以降—邪馬台国連合から初期ヤ  
 マト政権へ— 10.4—12.7 大阪  
 府立近つ飛鳥博物館  
 支倉常長像と南蛮美術 400年前の  
 日欧交流 2.11—3.23 東京国立  
 博物館  
 はちコレ 八幡のコレクション—松  
 花堂美術館の收藏品から— 10.  
 11—12.14 八幡市立松花堂美術  
 館  
 初音ミク実体化への情熱展 次元の  
 壁をこえて 1.31—6.1 明治大  
 学米沢嘉博記念図書館  
 毎日夕刊 3.27 山田俊幸

パテック フィリップ展—歴史の中  
 のタイムピース— 日本・スイス  
 国交樹立150周年記念／パテック  
 フィリップ創業175周年特別企画  
 1.17—1.19 聖徳記念絵画館  
 芸術新潮 768  
 芸術新潮 771 渋谷康人  
 読売夕刊 1.15 高橋直彦  
 花咲くジイさん 我が道を行く超経  
 験者たち 8.16—11.16 柄の浦  
 ミュージアム  
 美術手帖 1014 飯田豊 評  
 花の色風の音 開館30周年記念館  
 蔵日本画名品選 9.20—11.3 青  
 梅市立美術館  
 ギャラリー\* 353  
 毎日 9.28 柴田朗  
 ハニワールドへようこそ 大王の儀  
 礼の場—今城塚古墳にみる家・門  
 ・塚の埴輪— 7.12—8.31 今城  
 塚古代歴史館  
 はにわ大集合! 7.2—9.1 天理大  
 学附属天理参考館  
 ハマ展70回記念 11.4—11.16 横  
 浜市民ギャラリー  
 新美術新聞 1344  
 ハマの東海道 横浜市「横浜旧東海  
 道魅力づくり事業」連携企画 4.5  
 —5.18 横浜市歴史博物館  
 パラミタ陶芸大賞展9回 6.26—  
 7.27 パラミタミュージアム  
 陶説 738 井上隆生  
 美術フォーラム21 29 湯浅英雄  
 播磨と本願寺—親鸞・蓮如と念仏の  
 世界— 9.27—11.30 兵庫県立  
 歴史博物館  
 巴里を いのちを 謳歌しよう 松  
 岡清次郎生誕120年 4.20—9.28  
 松岡美術館  
 新美術新聞 1346  
 遥かなるメソポタミア—時空を超え  
 たヒトの営み— 7.8—8.31 大  
 阪府立弥生文化博物館  
 春の小品展2回 4.14—4.20 フ  
 ジキ画廊  
 美術\* 463  
 版画コレクションのあゆみ Ⅱ 戦  
 後美術の先駆者たち 9.8—12.5  
 Fuji Xerox Art Space

版画って何? 10.28—1.12 福岡  
 市美術館  
 版画フォーラム2014 和紙の里ひ  
 がしちちぶ展 6.21—6.28 東秩  
 父村和紙の里  
 版画芸術 164  
 万国学生芸術展覧祭 8.9—8.10  
 東京ビッグサイト  
 美術の窓 373  
 阪神・淡路大震災から20年 阪神  
 ・淡路大震災20年展 11.22—  
 3.8 兵庫県立美術館  
 ギャラリー\* 356  
 書道界 303  
 新美術新聞 1365 江上ゆか  
 反戦—来るべき戦争に抗うために  
 9.25—9.29 SNOW Contemporary  
 美術\* 471 土屋誠一 談  
 美術手帖 1016 榎木野衣  
 毎日夕刊 9.24 岸桂子  
 (ヒ)  
 東アジアの華 陶磁名品展 2014年  
 日中韓国立博物館合同企画特別展  
 9.20—11.24 東京国立博物館  
 陶説 738 横山梓  
 目の眼 458 横山梓  
 朝日夕刊 10.29 宮代栄一  
 毎日 9.20  
 東アジアの夢 BankArtLife IV 東  
 アジア文化都市2014横浜 8.1—  
 11.3 BankART Studio NYK／関  
 内外地区の歴史的建造物及び店舗、  
 空き地、空きビル他  
 朝日夕刊 9.3 大西若人  
 東川町国際写真フェスティバル30  
 回 8.5—9.3 東川町文化ギャラ  
 リー  
 毎日夕刊 8.14 光田由里  
 東山御物の美—足利將軍家の至宝—  
 10.4—11.24 三井記念美術館  
 芸術新潮 779  
 書道界 299  
 新美術新聞 1360  
 水墨画\* 306  
 陶説 739 赤沼多佳  
 目の眼 459  
 朝日夕刊 10.22 西岡一正  
 日経 10.8 宮川匡司

- 毎日夕刊 11.5 岸桂子  
読売 7.24 板倉聖哲 談  
読売 10.23 前田恭二  
読売夕刊 10.7 樋口一貴
- ヒカリ展 光のふしぎ、未知の輝きに迫る!** 10.28—2.22 国立科学博物館  
美術の窓 375 若林文高
- 光と灯り[後期]** 1.17—4.13 アサヒビール大崎山崎山荘美術館  
産経 1.19
- 光の時代 レイヨグラフを中心としたマン・レイと三條廣道辺り** 石原輝雄・純子コレクション 4.29—5.10 ギャラリー16
- 光の空—阪神・淡路大震災から20年—芦屋** 12.13—2.8 芦屋市立美術館  
ギャラリー\* 356  
新美術新聞 1365
- #BCTION** 9.1—9.15 ニュー麹町ビル  
東京 9.8 矢島智子  
毎日 9.11 梅村直承
- 彦根藩士の甲冑—赤備えの家臣団—** 7.25—8.26 彦根城博物館
- 美術工芸の明日を担う20人展—今瀬戸に KOUGEI カが結集!—** 6.7—7.27 瀬戸市美術館  
新美術新聞 1349
- 美術新人賞デビュー2014 入選作品展** 3.10—3.15 フジキ画廊/ギャラリー和田  
美術\* 462 財田翔悟ほか
- 美術する身体 ピカソ、マティス、ウォーホル** 9.20—11.30 名古屋ポストン美術館  
新美術新聞 1356 馬場駿吉  
美術の窓 373 三輪祐衣子
- 美術と印刷物 1960—70年代を中心に コレクションを中心とした小企画** 6.7—11.3 東京国立近代美術館
- 美術の冒険 国立国際美術館コレクション** 5.17—6.22 新潟県立万代島美術館(茨城県近代美術館)
- 美術は友だち ミュージアム大コレクション展2014** 8.2—9.28 香川県立ミュージアム
- 美少女の美術史 美少女なんているわけじゃない。** 7.12—9.7 青森県立美術館(静岡県立美術館、島根県立石見美術館)  
ギャラリー\* 348 工藤健志 談  
ギャラリー\* 351  
水墨画\* 305
- 美少女の美術史 美少女なんているわけじゃないじゃない。** 9.20—11.16 静岡県立美術館(青森県立美術館、島根県立石見美術館)  
美術手帖 1004 工藤健志  
REAR 33 コルペイユ・ステイープ  
朝日夕刊 10.15 大西若人  
読売 11.13
- 美少女の美術史 美少女なんているわけじゃないじゃない。** 12.13—2.16 島根県立石見美術館(青森県立美術館、静岡県立美術館)  
書道界 302
- 飛翔する輪島の漆芸作家たち20回** 10.3—12.14 石川県輪島漆芸美術館
- 秘蔵の名品 アートコレクション展 20回記念特別展 日本の美を極める—近代絵画が彩る四季・花鳥・風情** 8.8—8.31 ホテルオークラ東京別館  
産経 8.21  
毎日 8.9 山田大輔
- ひたむきに生きた朝鮮・韓国の女性たち 高麗博物館2014年企画展** 9.3—11.30 高麗博物館  
東京 10.29 辻潤智之
- 人思い、人想う。** 5.22—11.16 ホキ美術館  
読売夕刊 9.2 保木博子
- 人ノ性、酒ヲ嗜ム 神を招き、人を結ぶ** 12.20—3.15 滋賀県立安土城考古博物館
- 人—風景—人—春の収穫祭— 上野の森美術館コレクションより** 2.1—5.6 金谷美術館  
新美術新聞 1341
- ひな人形の世界** 2.1—4.6 徳島市立徳島城博物館
- 非日常からの呼び声 平野啓一郎が選ぶ西洋美術の名品** 4.8—6.15 国立西洋美術館  
AXIS 170 暮沢剛巳  
芸術新潮 774  
美術手帖 1006 原田裕規 評  
朝日夕刊 4.23 山田優  
産経 5.8 黒沢綾子  
日経夕刊 7.14 富田律之  
読売 6.5
- 美の最前線・現代アートなら～素材と知の魔術[マジック]～ 国際現代アート展なら2014 後期特別展** 6.14—7.21 奈良県立美術館  
新美術新聞 1340  
新美術新聞 1346 南城守
- 美の棲む処—i・act 展** 4.20—5.6 鹿追町民ホール  
新美術新聞 1342
- 美の世界～近現代美術の一〇〇年～ 上村松園、富本憲吉、田中一光… 開館40周年記念名品展** 1.25—3.9 奈良県立美術館  
産経 2.23
- 微の美術 日本・中国の小ささと緻密さの造形** 10.10—11.30 和泉市久保惣記念美術館
- 美の予感2014—Metamorphose—** 10.28—11.3 高島屋(新宿)(高島屋(京都、大阪、日本橋、名古屋))  
産経 10.30 渋谷和彦
- 百万塔及び無垢浄光陀羅尼経目録** 2.28—3.15 八木書店
- 白虎・玄武・朱雀・青龍 キトラ古墳壁画特別公開 発見30周年記念** 1.17—1.26 奈良文化財研究所飛鳥資料館  
文化財\* 613 石橋茂登
- 表現するうつわ—イギリス現代陶芸の精神—** 11.22—3.29 益子陶芸美術館 陶芸メッセ・益子  
新美術新聞 1366  
陶説 743 松崎裕子
- 兵庫の陶磁 多彩な窯場、その成立と発展を探る 阪神・淡路大震災20年展** 12.13—2.15 兵庫陶芸美術館
- 平戸松浦家名宝展 朝日町町制60年事業** 10.11—11.9 朝日町歴史博物館

平山郁夫 シルクロード紀行 ガン  
ダーラ、アフガニスタン、そして  
文化財保護活動 開館10周年記  
念特別展 6.28—10.6 平山郁夫  
シルクロード美術館  
読売 9.11

(フ)

ファエンツァ市陶芸作家展 9.29—  
10.6 セラテクノ土岐  
陶説 740 唐澤昌宏

ファッション史の愉しみ—石山彰  
ブック・コレクションより—  
10.18—1.6 神戸ファッション美  
術館(世田谷美術館)

ファン・デ・ナゴヤ美術展2014 虹  
の麓—反射するプロセス 1.9—  
1.26 名古屋市民ギャラリー矢田  
REAR 32 副田一穂

Field of Now 2014 2.5—2.8 銀  
座洋協ホール  
ギャラリー\* 346

フィフスディメンションアート展—  
新日本芸術院選抜コラボレーシ  
ョン— 10.23—10.28 ヒルトピア  
アートスクエア  
新美術新聞 1358

風景解剖学 古今東西風景画のしく  
み 11.26—1.4 静岡県立美術館  
朝日夕刊 12.24 大西若人

風刺漫画に見る明治～(笑い)のなか  
の日本近代～ 7.19—9.7 東京  
都町田市立自由民権資料館  
東京 8.2 小寺勝美

FACE2014 損保ジャパン美術賞展  
2.22—3.30 損保ジャパン東郷青  
児美術館  
新美術新聞 1336  
朝日夕刊 3.26 大西若人

“PHOTO IS” 30,000人の写真展

2013 7.12—7.17 東京ミッド  
タウン/フジフィルムスクエア  
(LACHIC、グランフロント大阪  
ナレッジプラザ、仙台駅/AER、  
紙屋町シャレオ、JRタワー、ソ  
ラリアプラザビル/ソラリアター  
ミナルビル)  
産経 3.20

福岡アジア美術トリエンナーレ  
2014 5回 未来世界のパノラ  
マ—ほころぶ時代のなかへ 9.6  
—11.30 福岡アジア美術館/周  
辺地域

あいだ 217 江上賢一郎  
ギャラリー\* 348  
ギャラリー\* 353  
ギャラリー\* 356 水間敏隆  
デアルテ 31 中尾智路  
美術手帖 1016 ダリル・ウィー  
/相磯展子 翻訳

美術屋・百兵衛 31  
朝日 10.28 星賀亨弘  
朝日夕刊 11.5 大西若人  
毎日夕刊 4.3 岸桂子  
毎日夕刊 10.28 岸桂子  
読売 9.18 白石知子

福岡市美術展48回 3.11—3.23  
福岡市美術館

福岡の神仏の世界—九州北部に華開  
いた信仰と造形— 10.10—11.30  
九州歴史資料館  
デアルテ 31 井形進  
デアルテ 31 井手誠之輔

福島現代美術ビエンナーレ2014—  
氣 circulate— 10.11—10.26  
道の駅あいづ湯川・会津坂下  
美術\* 469  
東京夕刊 8.27

福の神 大集合! 12.2—2.1 福  
岡市美術館

服の記憶—私の服は誰のもの?  
10.10—1.13 アーツ前橋  
読売夕刊 12.17 野倉早奈恵

武家の文人—秀頼・幽斎などから定  
信・海舟まで— 江東芭蕉記念館  
後期企画展 12.18—4.19 江東  
区芭蕉記念館  
東京 12.27 荘加卓嗣

富士山 10.25—11.30 古河歴史博  
物館

富士山 35人の富嶽百景 5.15—  
5.27 ギャラリー華沙里  
新美術新聞 1343

富士山—その景観と信仰・芸術—  
9.1—10.11 国学院大学博物館

富士山の下[ふもと]に灰を雨[ふ]ら  
ず—富士の噴火と古墳時代後期の

幕開け— 7.12—10.13 富士市  
立博物館

朝日夕刊 12.22 宮代栄一  
藤田美術館展 開館60周年記念  
1.15—1.20 阪急(梅田)  
目の眼 449

富士と桜と春の花 富士山世界文化  
遺産登録記念 3.11—5.11 山種  
美術館  
新美術新聞 1339  
産経 3.16

毎日夕刊 4.14 岸桂子  
富士と日本の名勝をたずねて 上野  
記念館第38回企画展 10.10—  
12.19 上野記念館  
文星紀要 26 木村訓子

富士の絶景 7.8—7.21 千葉市美  
術館

ふたつの時代—所蔵品でたどる「パ  
リの日本人」 第一部フジタのい  
る街角—巴里の誘惑、1910～30  
年代 10.25—12.7 目黒区美術  
館  
新美術新聞 1361

二つの緞織 MIHOの悲母観音と蓮  
華弥勒 7.19—8.17 MIHO MU-  
SEUM  
ギャラリー\* 351  
新美術新聞 1350

「二人の友情、繋がる交流」展—鈴木  
雅博と朴永大の30年に導かれて  
— 2014 ART WAVE 日韓交流  
展 10.13—10.18 ギャラリー暁  
/銀座ギャラリーアーチストスペ  
ース  
新美術新聞 1357

仏教—アジアをつなぐダイナミズム  
1.11—4.13 東洋文庫ミュージア  
ム  
新美術新聞 1337

復古やまと絵 新たなる王朝美の世  
界 —訥言・一蕙・為恭・清—  
10.4—11.9 徳川美術館  
読売 10.23 井上晋治

Boutique!—ファッションって何?  
アートと考える、その姿。 12.17  
—12.29 スパイラルガーデン  
ギャラリー\* 356  
毎日夕刊 12.24 岸桂子



船の旅と横浜港 秘蔵コレクション  
開館25周年記念展 4.19—5.18  
横浜みなと博物館

冬のワンダー☆ミュージアム2015  
どうぶつたち、大集合! 12.20  
—1.18 北海道立近代美術館

プライベート・ユートピア ここだ  
けの場所 プリティッシュ・カウ  
ンシル・コレクションにみる英国  
美術の現在 1.18—3.9 東京ス  
テーションギャラリー(伊丹市立  
美術館/伊丹市立工芸センター、  
高知県立美術館、岡山県立美術館)  
ギャラリー\* 345  
芸術新潮 771  
美術手帖 1002 近藤亮介  
目の眼 452 茂木健一郎  
朝日 1.22  
朝日夕刊 1.23 高木友絵  
朝日夕刊 2.5 西岡一正

プライベート・ユートピア ここだ  
けの場所 プリティッシュ・カウ  
ンシル・コレクションにみる英国  
美術の現在 11.2—12.23 高知  
県立美術館(東京ステーションガ  
ラリー、伊丹市立美術館/伊丹  
市立工芸センター、岡山県立美術  
館)  
東京夕刊 10.24 ジェフ・スト  
リーター

フライヤーで振り返る東京都写真美  
術館 1990—2014 9.2—9.23  
東京都写真美術館  
産経 9.11

Plastic? Plastic! 高度経済成長  
とプラスチック 10.11—11.30  
松戸市立博物館

ブラティスラヴァ世界絵本原画展  
絵本をめぐる世界の旅 7.19—  
8.31 平塚市美術館(高浜市やき  
ものの里かわら美術館、千葉市美  
術館、足利市立美術館、うらわ美  
術館)

フランス印象派の陶磁器 1866—  
1886—ジャポニズムの成熟—  
3.9—6.9 パナソニック汐留ミュ  
ージアム(岐阜県現代陶芸美術館、  
山口県立萩美術館・浦上記念館、  
岡山県立美術館、滋賀県立陶芸の

森陶芸館)  
日経 6.6 宮川匡司

不立文字—禅の書画と典籍・六〇〇  
年— 禅文化研究所創立50周年  
記念所蔵作品展 4.2—6.7 花園  
大学歴史博物館  
書道界 294

プリント・イン・ブルー:タイラー  
グラフィックス・アーカイブコレ  
クション展 Vol.26 3.1—6.29  
CCGA 現代グラフィックアートセ  
ンター  
ギャラリー\* 348

ブルー展 7.24—7.31 ギャラリー  
枝香庵  
新美術新聞 1350

フルーツ・オブ・パッション ポン  
ピドゥー・センター・コレクショ  
ン 1.18—3.23 兵庫県立美術館  
新美術新聞 1337

古田織部展 没後400年 12.30—  
1.19 松屋(銀座)(奥田元宋・小  
由女美術館、佐川美術館)  
陶説 741 荒川正明  
目の眼 461 名兎耶明、荒川正  
明 対談

古田織部と小堀遠州 12.20—3.8  
古田織部美術館  
新美術新聞 1366

Present for you 新収藏品展 1.5  
—2.16 町田市立国際版画美術館  
朝日夕刊 1.29 中村茉莉花

文化人・芸能人の多彩な美術展16  
回 6.25—6.29 スパイラルホー  
ル  
東京 6.14 山岸利行

新たな国民のたから 文化庁購入文  
化財展2014 8.5—8.31 鹿児島  
県歴史資料センター黎明館

文化庁メディア芸術祭受賞作品展  
17回 2.5—2.16 国立新美術館  
/シネマート六本木/東京ミッド  
タウン/スーパー・デラックス  
朝日夕刊 2.12 大西若人  
産経 2.13 戸谷真美  
東京夕刊 2.14 岡部あおみ

ぶんきょうの樹木いま・むかし  
10.25—12.7 文京ふるさと歴史  
館

平成26年美術展覧会(企フ、へ)

文藝絶佳—林忠彦、齋藤康一、林義  
勝、タカオカ邦彦—写真展 4.19  
—6.29 町田市民文学館ことばら  
んど  
東京 5.6 栗原淳

文人画の世界展 大雅から鉄斎まで  
4.14—6.21 敦井美術館  
水墨画\* 302

文人旧蔵の逸品コレクション 4.8  
—4.26 ギャラリー麟  
目の眼 452

(へ)

2011.3.11平成の大津波被害と博物  
館—被災資料の再生をめざして—  
2.8—3.23 江戸東京博物館(岩手  
県立博物館、昭和女子大学光葉博  
物館)  
産経 2.6 黒沢綾子  
東京 3.5 奥野斐  
東京夕刊 3.14

平和展～あなたは今、平和を感じて  
いますか?～ 8.4—8.17 港区  
役所/麻布地区総合支所/赤坂区  
図書館/高輪区民センター/港区ス  
ポーツセンター  
東京 8.13 鈴木久美子

ベストオブウッドワン美術館 春季  
展～美の森で会いましょう～ 財  
団設立20周年記念 3.21—6.8 ウ  
ッドワン美術館  
新美術新聞 1341

別品の祈り 法隆寺金堂壁画 4.26  
—6.22 東京藝術大学大学美術館  
陳列館  
朝日夕刊 5.14 山田優  
読売 6.5

ベルエポックのポスター サントリ  
ーポスターコレクションに見る  
10.27—12.26 京都工芸繊維大学  
美術工芸資料館  
大正イマジユリィ 10 前川志織

Persona 1965 グラフィックデザ  
イン展(ペルソナ)50年記念 11.  
5—11.27 ギンザ・グラフィッ  
ク・ギャラリー  
毎日夕刊 11.19 岸桂子

(ホ)

- 邦楽器が受け継ぐ 技・形・音 こめられた丹精 11.20—11.30 東京藝術大学大学美術館正木記念館
- 法隆寺一祈りとかたち 東日本大震災復興祈念・新潟県中越地震復興10年 3.1—4.13 仙台市博物館(東京藝術大学大学美術館、新潟県立近代美術館)  
書道界 292  
目の眼 452 白洲信哉
- 法隆寺一祈りとかたち 東日本大震災復興祈念・新潟県中越地震復興10年 4.26—6.22 東京藝術大学大学美術館(仙台市博物館、新潟県立近代美術館)  
朝日 4.21 西村令奈  
朝日夕刊 5.14 山田優  
朝日夕刊 5.23 佐藤真野子
- 法隆寺展 聖徳太子と平和への祈り 4.19—6.1 福岡市美術館(静岡市美術館、岡崎市美術博物館)  
読売 1.1
- 法隆寺展 聖徳太子と平和への祈り 6.14—7.27 静岡市美術館(福岡市美術館、岡崎市美術博物館)  
読売 7.16 清岡央
- ポーダレス・アート・コレクション —芸術がほどいてゆく境界— 4.12—5.25 高浜市やきもの里かわら美術館  
REAR 32 森田靖久
- ポーラミュージアムアネックス展 2014 —光輝と陰影— 3.14—4.6 ポーラミュージアム アネックス  
新美術新聞 1339
- ポーランドのポスター フェイスあるいはマスク 9.8—10.27 武蔵野美術大学美術館・図書館(美術館)
- 墨画7人展 8回 2.24—3.1 地球堂ギャラリー  
水墨画\* 301
- 北斎「富嶽三十六景」 9.6—9.24 MOA美術館  
新美術新聞 1353

- 北斎見立 KABUKU展 4.17—4.20 すみだパークギャラリーささや  
東京 4.18 丹治早智子
- ぼくたちの場所 沖縄来間島・来間小中学校 フォトプロジェクト写真展 8.1—8.7 ギャラリー・アートグラフ(ニコンサロンbis 大阪、那覇市民ギャラリー、宮古島市役所)  
読売 8.7
- 僕らの書展2014 8.28—8.31 東京芸術劇場5階展示ギャラリー1・2  
書道界 299  
毎日夕刊 8.28
- ポコラート宣言2014 4.5—5.18 アーツ千代田3331メインギャラリー  
朝日夕刊 4.23 大西若人  
東京夕刊 4.14 森本智之
- 北海道ロビー絵画展36回 9.11—9.17 ギャラリー絵夢  
新美術新聞 1354
- ボヘミアン・グラス 耀きの静と動 ブラハ国立美術工芸博物館所蔵 8.2—9.28 サントリー美術館(愛知県陶磁美術館、神戸市立博物館)  
新美術新聞 1352
- 本郷館—都市の未来を考える— 10.2—10.8 アイアイエーギャラリー  
読売 10.4
- 「本・ことば・デザイン」展 8.29—9.28 東京ミッドタウン・デザインハブ  
AXIS 172 土田貴宏  
東京 9.8
- 〈盆栽〉の物語 3.21—7.13 さいたま市大宮盆栽美術館
- 盆山—屏風に息づく中世の盆栽 10.31—11.30 さいたま市大宮盆栽美術館
- ボンジュール! フランスの絵本たち —カストール文庫やババール絵本の誕生を中心に— 7.12—9.7 うらわ美術館  
新美術新聞 1349
- 本法寺の名宝 光悦・等伯仲かりの寺 春季特別展 3.14—5.18 茶

道資料館  
毎日夕刊 4.24 岸桂子

(マ)

- 蒔田の吉良氏一戦後まぼろしの蒔田城と姫君— 7.19—8.31 横浜市歴史博物館
- 毎日写真コンテスト優秀作品展 2013年 2.14—2.20 富士フィルムフォトサロン(東京)  
毎日夕刊 2.14
- マインドフルネス! 高橋コレクション展 決定版2014 4.12—6.8 名古屋市美術館  
東京 4.22 池上英洋
- 前田寛治大賞展 9回 7.16—7.22 高島屋(日本橋)(倉吉博物館)  
新美術新聞 1347
- 馬駿藝術大賞展11回 12.20—12.25 すみだリバーサイドホールギャラリー  
新美術新聞 1363
- Mother/Land 小山市制60周年 車屋美術館開館5周年記念 現代美術展 6.28—9.7 小山市立車屋美術館  
朝日夕刊 8.6 大西若人
- 正木孝之コレクション特別展—文化の灯 世界を包め 赫々と— 正木孝之生誕120周年記念 その巻 第1部 請来絵画と古陶 8.23—10.19 正木美術館  
新美術新聞 1353
- 又兵衛「豊国祭礼図屏風」と「浄瑠璃物語絵巻」 9.26—10.28 MOA美術館  
新美術新聞 1355
- まだまだすごいぞ! 大原美術館 1.28—4.6 大原美術館  
新美術新聞 1336
- 待ち受ける虎たち ~〈遠侍〉虎の間の障壁画~ 4.24—6.22 元離宮二条城 築城400年記念展示・収蔵館  
新美術新聞 1345
- 町田市考古セレクション2 —新指定文化財を中心に— 4.19—6.8 町田市立自由民権資料館  
産経 4.20

松一美と徳の造形— 三館連携「松・竹・梅」展 4.19—5.18 黒川古文化研究所  
 聚美 10 竹浪遠／植松瑞希／外山潔  
 書道界 293  
 読売 3.20 木村未来

松山城下図屏風の世界 7.12—8.31 愛媛県歴史文化博物館

蘭と鋼—神奈川とフランスの交流史— 明治大学 クリスチャン・ポラックコレクション 4.26—6.22 神奈川県立歴史博物館  
 日経夕刊 5.1

マリリンとアインシュタイン—神話的アイコンに捧げる讃歌 6.7—10.5 インターメディアテク Ouroboros 51 大澤啓  
 朝日夕刊 9.17 大西若人

中学生まるびいアートスクール 2013年度 魔法のhome 1.4—1.13 金沢21世紀美術館

円山応挙と四条派 この絵師に敵なし 相国寺・鹿苑寺・慈照寺所蔵作品を中心に 9.12—10.26 富山県水墨美術館  
 新美術新聞 1354  
 水墨画\* 306  
 日経 9.21

円山応挙の門人たち 10.18—11.16 黒川古文化研究所

漫画家による仏の世界展2回 5.1—5.13 増上寺  
 産経 5.3

漫画家による仏の世界展4回 11.8—11.24 回向院  
 東京 11.20 丹治早智子

万葉集〜いにしへの心をたずねて〜 文学特別展 12.20—2.8 徳島県立文学書道館  
 書道界 302

(ミ)

ミーツ・アート 森の玉手箱 3.22—8.31 彫刻の森美術館  
 産経 4.24 渋谷和彦

三井寺 仏像の美 智証大師円珍生誕1200年記念企画展 10.11—11.24 大津市歴史博物館

MieMu 誕生物語〜みんなで作った博物館〜 4.19—6.22 三重県総合博物館

MieMu〔みえむ〕 発信! 三重県総合博物館開館記念企画展 4.19—5.18 三重県総合博物館

水と神と仏の近江 写真パネル展 「滋賀県立琵琶湖文化館が守り伝える美 近江巡礼 祈りの至宝展」関連事業 3.19—5.11 島根県立古代出雲歴史博物館

水の音—広重から千住博まで— 7.19—9.15 山種美術館  
 新美術新聞 1352  
 水墨画\* 304  
 日経 8.27 宮川匡司

水のシンフォニー 形なき水に形を、色なき水に色を。 8.2—9.28 茨城県天心記念五浦美術館  
 新美術新聞 1353

未知なる世界への憧れと挑戦〜大航海時代から伊能忠敬、ペリーまで〜守屋壽コレクションの粋〔すい〕受託記念 4.24—6.8 広島県立歴史博物館

みちのおくの芸術祭 山形ビエンナーレ2014 山をひらく 9.20—10.19 山形県郷土館文翔館／東北芸術工科大学キャンパス／やまがた芸術学舎他  
 ギャラリー\* 355

みちのくの書人達展3回 7.14—7.19 アートサロン毎日  
 毎日 7.15 山田大輔

未知の花を求めて—牧野富太郎が命名した希少な植物— 11.15—12.28 牧野記念庭園記念館  
 東京 11.25

ミッション〔宇宙×芸術〕—コスモロジーを超えて 6.7—8.31 東京都現代美術館  
 東京 7.27 杉戸祐子  
 読売夕刊 7.1 森山朋絵  
 読売夕刊 8.9 ヨミウリ・ジュニア・プレス取材班

見つめてシェイクスピア! 美しき装丁本と絵で見る愛の世界 9.28—11.30 練馬区立美術館(滋賀県立近代美術館)

平成26年美術展覧会(企マ、ミ)

見て・知って・行ってみようふるさとの島 11.13—12.25 香川県立ミュージアム

港をめぐる二都物語 江戸東京と横浜 1.25—4.13 横浜都市発展記念館  
 東京 4.6 杉原麻史

南からみる中世の世界〜海に結ばれた琉球列島と南九州〜 9.27—11.3 鹿児島県歴史資料センター黎明館  
 朝日夕刊 12.22 宮代栄一

南信州の煙火—火の芸術に魅せられた男たち— 7.19—10.13 飯田市美術館

南山城の古寺巡礼 4.22—6.15 京都国立博物館  
 目の眼 451

美濃のラーメンどんぶり展 12.27—1.26 デザインギャラリー1953 (多治見文化工房ギャラリーヴォイス、THE GIFTS SHOP)  
 東京 12.28 小倉貞俊

御法に守られし醍醐寺 リニューアル記念特別展 10.7—11.24 渋谷区立松濤美術館  
 朝日夕刊 11.12 西岡一正

三原の仏像展 瀬戸内海の十字路 9.4—10.13 三原リージョンプラザ

京〔みやこ〕へのいざない 平成知新館オープン記念展 9.13—11.16 京都国立博物館  
 新美術新聞 1354 松本伸之  
 水墨画\* 306  
 美術手帖 1013 沢田眉香子  
 美術の窓 372  
 文化財\* 610  
 目の眼 457  
 日経 10.19  
 日経夕刊 11.8 宮川匡司  
 読売 9.24 木村未来

みゆきのあと—明治天皇と多摩— 4.26—7.20 パルテノン多摩  
 地方史研究 372 牛米努

未来展—美大の競演— 8.1—8.11 日動画廊  
 ギャラリー\* 353

未来抽象芸術展 9回〜芸術家の挑戦〜新しい芸術は、小さなチャレンジから生まれる 7.11—7.20  
全労済ホールスペース・ゼロ  
新美術新聞 1348

未来に伝える山形の宝 ―精神[こころ]と美― 平成26年度山形県立博物館プライム企画展 6.7—9.15 山形県立博物館

ミラノ ポルディ・ペッツォーリ美術館所蔵 華麗なる貴族コレクション 4.4—5.25 Bunkamura ザ・ミュージアム(あべのハルカス美術館)  
新美術新聞 1341  
朝日夕刊 4.1 小佐野重利  
朝日夕刊 4.30 山田優  
東京 5.13 杉全美帆子  
読売 5.8 井上晋治

「見ること・描くこと」―油画技法材料研究室とその周辺の作家たち 佐藤一郎退任記念展関連特別企画 1.6—1.19 東京藝術大学大学美術館/東京藝術大学大学美術館陳列館/東京藝術大学学生会館

魅惑のコスチューム：バレエ・リュス展 現代の芸術・ファッションの源泉 ピカソ、マティスを魅了した伝説のロシア・バレエ 6.18—9.1 国立新美術館  
朝日夕刊 7.16 山田優  
日経 7.23 窪田直子  
読売 8.1  
読売夕刊 7.12 ヨミウリ・ジュニア・プレス取材班

魅惑の陶製人形〜ノベルティ、人物俑、はにわ、土人形、フィギュリン〜 6.21—8.17 愛知県陶磁美術館  
陶説 736 田村哲  
REAR 33 宮田昌俊

魅惑のニッポン木版画 開館25周年記念 3.1—5.25 横浜美術館  
ギャラリー\* 347  
版画芸術 163 太田雅子  
朝日夕刊 4.2 西岡一正  
産経 3.20 渋谷和彦  
日経 3.16  
日経夕刊 3.6

民家園ボランティア活動展 2.19—3.4 北沢タウンホールロビー(世田谷区立教育センターロビー)  
読売 2.21

民藝展 用の美とこころ 9.10—9.23 高島屋(日本橋)(高島屋(横浜、京都、大阪))  
産経 9.18 黒沢綾子

みんなで作るシリア展 Vol.6 8.1—8.31 ビア&カフェ BERG  
朝日 8.24 高橋友佳理

みんなくおもちゃ博覧会―大阪府指定有形民俗文化財 時代玩具コレクション 国立民族学博物館創設40周年 5.15—8.5 国立民族学博物館  
みんなく 447 日高真吾

珉平焼と蜂須賀家 8.23—10.13 徳島市立徳島城博物館

明末清初―動乱期を生き延びた文人たち― コレクション展 1.10—2.11 大阪市立美術館  
書道界 291

(ム)

Moving Distance : 2579枚の写真と11通の手紙 2.28—3.16 東京芸術劇場アトリエイースト/アトリエウエスト  
朝日夕刊 3.5 増田愛子

無窮の會 2回 6.18—6.24 三越(日本橋)  
新美術新聞 1347

シリーズ探訪・向島 向島・今昔ものがたり 江戸人の愛した行楽地 4.26—7.6 すみだ郷土文化資料館  
東京 5.16 奥野斐

武蔵野美術大学 工芸工業デザイン学科 インダストリアルデザイン専攻 2014年度卒業制作展示 2.1—2.3 AXIS GALLERY  
AXIS 169 高橋美礼

武蔵野美術大学 視覚伝達デザイン学科 2013年度卒業制作選抜展「shade CONTACT 2014」 2.27—3.4 AXIS GALLERY/SYMPOSIA  
AXIS 169 高橋美礼

武者塚古墳とその時代 重要文化財指定記念 10.18—11.30 上高津貝塚ふるさと歴史の広場

無人島にて「80年代」の彫刻/立体/インスタレーション 9.26—10.19 ギャラリー・オーブ  
瓜生通信 63

無人島∞ 無人島プロダクション8周年記念展 8.8—9.15 無人島プロダクション  
朝日夕刊 9.10 大西若人

宗像大社国宝展 神の島・沖ノ島と大社の神宝 8.16—10.13 出光美術館  
新美術新聞 1352  
目の眼 456 白洲信哉  
朝日夕刊 9.24 宮代栄一  
日経 8.17  
日経 9.13  
日経夕刊 8.7  
読売 9.12

村岡三郎へのオマージュ 1.12—1.31 ギャラリー16  
毎日夕刊 1.27 岸桂子

室生寺 奈良・国宝室生寺の仏たち 東日本大震災復興祈念特別展 7.4—8.24 仙台市博物館  
新美術新聞 1350  
日経 6.15  
日経 6.29 中沢義則  
日経 6.30  
日経 7.20  
日経夕刊 7.3  
読売 7.31 渡部恵子

(メ)

名画のあった場所 酒井抱一、小出楢重からデルヴォー、マグリットまで 4.12—6.1 姫路市立美術館  
新美術新聞 1341 山田真規子  
読売 5.8 木村未來

名画を切り、名器を継ぐ 美術にみる愛蔵のかたち 9.20—11.3 根津美術館  
芸術新潮 778  
書道界 299  
水墨画\* 306  
陶説 739 多比羅菜美子/後藤

修 聞き手  
UP 504 松原茂  
朝日夕刊 10.22 西岡一正  
日経夕刊 10.2  
読売 10.2 井上晋治

**Making Links : 25 years** 1.31—3.8  
SCAI THE BATHHOUSE  
明治を歩く 湘南と武蔵野 府中市  
美術館コレクションを中心に  
9.7—11.3 茅ヶ崎市美術館  
新美術新聞 1354

**メイド・イン・ジャパン 南部鉄器**  
伝統から現代まで、400年の歴史  
1.11—3.23 パナソニック汐留ミ  
ュージウム  
芸術新潮 771  
朝日夕刊 3.12 中村和歌菜  
産経 3.6 黒沢綾子  
日経夕刊 1.25  
毎日夕刊 3.17 岸桂子

**名品展 珠玉の仏教美術** 12.9—  
3.15 奈良国立博物館  
新美術新聞 1364 岩井共二

**名品に逢う 日本・中国美術の傑作**  
白鶴美術館開館80周年記念展  
春の部 3.1—6.8 白鶴美術館  
水墨画\* 300  
目の眼 453

**巡る人々、巡る信仰—讃岐を訪れた**  
木食、全国を巡った六十六部—  
四国霊場開創1200年記念「空海の  
足音 四国へんろ展」香川編関連  
企画 10.7—12.7 瀬戸内海歴史  
民俗資料館

**メタルズ! 変容する金属の美**  
6.28—8.31 高岡市美術館(碧南  
市藤井達吉現代美術館、北九州市  
立いのちのたび博物館、新潟市新  
津美術館)  
新美術新聞 1348

**MEDIA/ART KITCHEN AOMORI**  
—ユーモアと遊びの政治学 7.26  
—9.15 青森公立大学国際芸術セ  
ンター青森  
美術手帖 1012 岡村恵子 評

**メトロポリタン美術館古代エジプト**  
展 女王と女神 7.19—9.23 東京  
都美術館(神戸市立博物館)  
芸術新潮 777 近藤二郎

新美術新聞 1349  
目の眼 455  
朝日 1.5  
朝日 6.12  
朝日 7.14  
朝日 7.19  
朝日 8.2 松沢奈々子  
朝日 8.14 木村佳乃  
朝日夕刊 7.30 宮代栄一  
朝日夕刊 8.22 村治笙子/小林  
ひろ美/河崎多恵  
読売 8.7

## (モ)

**真岡発: 瑛九と前衛画家たち展—久**  
保貞次郎と宇佐美コレクションを  
中心に 4.19—6.22 栃木県立美  
術館  
産経 6.8 渋谷和彦  
日経 5.14 窪田直子

**木版ぞめき 日本でなにが起こった**  
か 国際木版画会議2回 8.30  
—9.14 東京藝術大学大学美術館  
新美術新聞 1353

**趣味家謹製 木版宝船絵はがき展**  
第117回ミニ企画展 12.9—1.18  
大津市歴史博物館  
書道界 302

**文字のチカラ 古代東海の文字世界**  
1.4—2.16 名古屋市博物館

**モダニズムと民藝 北欧のやきもの**  
: 1950's—1970's デンマーク、  
スウェーデン、ノルウェー、フィン  
ランド 1.11—3.23 愛知県陶  
磁美術館  
陶説 730 長久智子

**モダン仁川画** 12.6—1.12 北九州  
市立いのちのたび博物館

**MOT アニュアル2014 フラグメン**  
ト—未完のはじまり 2.5—5.11  
東京都現代美術館  
美術手帖 1005 森啓輔 評  
ギャラリー\* 346  
朝日夕刊 4.2 大西若人  
産経 2.26 黒沢綾子

**MOTコレクション 第1部 私た**  
ちの90年 1923—2013 2.15—  
5.11 東京都現代美術館  
東京 3.16 森本智之

**MOTコレクション 第2部 クロ**  
ニクル 1966—| 拡張する眼  
2.15—5.11 東京都現代美術館  
新美術新聞 1336

**もののふの美と心—八代城主・松井**  
家の刀剣と刀装具— 10.24—  
11.30 八代市立博物館未来の森  
ミュージウム

**MoMA ニューヨーク近代美術館映**  
画コレクション F シネマ・プロ  
ジェクト01 10.24—11.9 東京  
国立近代美術館フィルムセンター  
(神戸アートビレッジセンター、  
広島市映像文化ライブラリー、山  
口情報芸術センター、金沢21世紀  
美術館、高知県立美術館)

**MOMATコレクション 特集「何か**  
がおこってる: 1907—1945の軌  
跡」平成25年度所蔵作品展4回  
1.21—4.6 東京国立近代美術館  
読売 1.24 榊田倫広  
読売 2.14 保坂健二朗  
読売 3.14 蔵屋美香

**MOMATコレクション 特集「何か**  
がおこってるII: 1923、1945、  
そして」平成26年度所蔵作品展  
1回 4.15—6.1 東京国立近代  
美術館  
読売 4.11 都築千重子

**MOMATコレクション 平成26年度**  
所蔵作品展2回 6.7—8.24 東  
京国立近代美術館  
朝日夕刊 7.16 大西若人  
読売 6.13 鶴見香織

**MOMATコレクション 平成26年度**  
所蔵作品展3回 8.30—11.3  
東京国立近代美術館  
朝日夕刊 9.17 大野紗弥佳  
読売 9.12 保坂健二朗  
読売 10.10 榊田倫広

**MOMATコレクション 平成26年度**  
所蔵作品展4回 11.11—3.1  
東京国立近代美術館  
東京夕刊 12.5 古谷利裕  
読売 11.14 榊田倫広

**桃山・江戸の絵画名品** 4.4—5.18  
大和文華館

**もりおか発掘物語 盛岡市遺跡の学**  
び館開館10周年特別展 10.11—

1.18 盛岡市遺跡の学び館  
モンスターを探せ!! ピラネージ  
からゴヤ、そしてエルンストへ  
8.9-9.23 町田市立国際版画美  
術館

(ヤ)

やきものって何ダ?—陶芸美術館 8  
館の名品に学ぶ— 陶磁ネットワ  
ーク会議共同企画展 3.8-6.22  
兵庫陶芸美術館(山口県立萩美術  
館・浦上記念館、滋賀県陶芸の森  
陶芸館、茨城県陶芸美術館、岐阜  
県現代陶芸美術館)  
新美術新聞 1337

やきものの現在[いま] 土から成る  
かたち—Part XIII 1.25-2.23  
多治見市文化工房ギャラリーヴォ  
イス  
陶説 732 井上隆生

やきものの形II 皿 鉢 鉢 7.4  
—9.19 早稲田大学會津八一記念  
博物館  
東京 7.4

焼け跡と絵筆—画家の見つめた戦中  
・戦後展 4.12-6.15 板橋区立  
美術館  
朝日夕刊 6.11 西岡一正  
東京 4.20 三沢典丈

柳澤吉保とその時代—柳沢文庫伝来  
の品々を中心に— 没後300年記  
念 10.18-12.1 川越市立博物  
館/川越市立美術館

ヤマト王権と葛城氏 考古学からみ  
た古代氏族の盛衰 開館20周年  
記念特別展 4.26-6.29 大阪府  
立近つ飛鳥博物館

大和の仏たち—奈良博写真技師の眼  
— 仏像写真展 12.2-3.31 奈  
良国立博物館

ヤマノカタチノモノガタリ—地域文  
化遺産の保存と伝承— 東北芸術  
工科大学文化財保存修復研究セン  
ター研究成果展 12.13-12.23  
山形県郷土館

山の神仏 吉野・熊野・高野 「紀  
伊山地の霊場と参拝道」世界遺産  
登録10周年記念 4.8-6.1 大  
阪市立美術館

新美術新聞 1340 齋藤龍一

(ユ)

ゆーじん展19回 11.20-11.25  
コート・ギャラリ—国立  
新美術新聞 1360  
ユートピアを求めて ポスターに見  
るロシア・アヴァンギャルドとソ  
ヴィエト・モダニズム 松本瑠樹  
コレクション 9.30-11.24 世  
田谷美術館(神奈川県立近代美術  
館(葉山))  
東京 11.3

東京夕刊 11.5 亀山郁夫

幽霊・妖怪画大全集 美と恐怖とユ  
ーモア 5.21-7.13 名古屋市博  
物館(福岡市博物館、大阪歴史博  
物館、そごう美術館、山梨県立博  
物館)  
日経 5.18

雪と月と花—国宝「雪松図」と四季の  
草花— 12.11-1.24 三井記念  
美術館  
新美術新聞 1363

UNI展4回—それぞれの視座—  
2.28-3.12 ギャラリー絵夢  
新美術新聞 1336

指輪 神々の時代から現代まで一時  
を超える輝き 橋本コレクション  
7.8-9.15 国立西洋美術館  
新美術新聞 1344

目の眼 456

朝日夕刊 7.16 山田優

産経 7.17 黒沢綾子

東京 4.22

東京 5.5

東京 7.8 飯塚隆

東京 7.22 池上英洋

東京夕刊 7.23 橋本貫志

東京夕刊 7.28 菅沼知行

東京夕刊 7.29 小池寿子

東京夕刊 7.30 浜田久仁雄

読売 8.7 渡部恵子

夢見るフランス絵画 印象派からエ  
コール・ド・パリへ 4.12-6.1  
兵庫県立美術館(Bunkamura ザ  
・ミュージアム、北海道立近代美  
術館、宇都宮美術館)

夢見るフランス絵画 印象派からエ  
コール・ド・パリへ 10.18-12.  
14 Bunkamura ザ・ミュージア  
ム(兵庫県立美術館、北海道立近  
代美術館、宇都宮美術館)

産経 11.6

毎日 10.18 山本将克

毎日 11.6 宮澤政男

毎日 12.3 宮澤政男

(ヨ)

妖怪幻獣百物語 10.24-11.30 ぐ  
らんフロント大阪北館ナレッジキ  
ャピタルイベントラボ

読売夕刊 11.12 市原尚士

妖怪図—奇々怪々あやしの世界—展  
5.2-6.25 河鍋曉斎記念美術館  
朝日夕刊 6.4 中村さやか

洋画家たちの青春 白馬会から光風  
会へ 光風会100回展記念 3.21  
—5.6 東京ステーションギャラ  
リー(松坂屋美術館)

新美術新聞 1338 富田章

美術\* 463

美術\* 465 瀧悌三/笠井誠一/  
中村隆夫

美術の窓 367 編集部

朝日夕刊 4.9 大西若人

東京 3.3

東京夕刊 4.2 藤森兼明

東京夕刊 4.3 金山桂子

東京夕刊 4.4 寺坂公雄

日経 4.2 宮川匡司

読売 3.27

洋画家たちの青春 白馬会から光風  
会へ 光風会100回展記念 6.14  
—7.6 松坂屋美術館(東京ステー  
ションギャラリー)

美術\* 465

陽光の大地 ブラジルの日系人画家  
たちと大岩オスカル 兵庫県立  
美術館所蔵リカルド・タケシ・赤  
川コレクションを中心に 4.26-  
6.29 群馬県立館林美術館  
ギャラリー\* 348

美術の窓 369 大岩オスカル  
談

朝日夕刊 6.4 西岡一正

産経 5.18 渋谷和彦

読売 5.15  
**栄西と建仁寺 開山・栄西禪師800年遠忌** 3.25—5.18 東京国立博物館  
 書道界 293  
 水墨画\* 301 田沢裕賀  
 産経 4.6 黒沢綾子  
 読売 1.1  
 読売 4.9 新井光風  
 読売 4.22 千宗屋  
 読売 5.2 中谷美紀  
 読売夕刊 3.26 森田睦  
 読売夕刊 3.27 森田睦  
 読売夕刊 3.29 森田睦  
 読売夕刊 4.1 田沢裕賀  
**洋人奏楽図屏風と大航海時代 MO-MOYAMA** 3.29—6.29 永青文庫  
 永青文庫 86 仲宇佐ゆり  
 朝日夕刊 5.28 山田優  
**ヨーロッパ・モード** 2.7—5.24 文化学園服飾博物館  
 朝日夕刊 2.19 大野紗弥佳  
**横芝光町の絵馬 祈りの絵画** 4.12—6.22 横芝光町 町民ギャラリー  
**ヨコハマ砂の彫刻展 東アジア文化都市2014横浜** 7.19—10.7 横浜市中区本町6丁目  
 読売夕刊 8.9 ヨミウリ・ジュニア・プレス取材班  
**ヨコハマトリエンナーレ2014 華氏451の芸術：世界の中心には忘却の海がある** 8.1—11.3 横浜美術館／新港ピア／BankART Studio NYK／かいだん広場周辺地域  
 アルカディア 62 千葉真智子  
 ギャラリー\* 348  
 ギャラリー\* 352  
 ギャラリー\* 353 名古屋堂  
 ギャラリー\* 353  
 京都市立芸術大学美術学部研究紀要 59 高橋悟  
 芸術新潮 777 森村泰昌  
 芸術新潮 778 森村泰昌  
 芸術新潮 780 宮下規久朗  
 新美術新聞 1300  
 新美術新聞 1352

美術\* 471 アライ=ヒロユキ  
 美術手帖 980 小吹隆文  
 美術手帖 1010 大谷芳久 談／岩淵貞哉 聞き手・文／杉原環樹 編集協力  
 美術手帖 1012 キム・ヨンイク 談／古川美佳 聞き手・文  
 美術手帖 1014 エリック・ボードレール、足立正生 談／編集部 聞き手・構成／相磯展子 翻訳・編集協力  
 美術手帖 1014 マイケル・ラコウィッツ 談／神谷幸江 聞き手・文  
 美術手帖 1014 グレゴール・シュナイダー 談／大森俊克 聞き手  
 美術手帖 1016 富山由紀子 評  
 美術手帖 1017 島貫泰介 評  
 美術フォーラム21 30 吉村良夫  
 美術屋・百兵衛 30  
 朝日 8.6 大西若人  
 朝日 10.25 上田假奈代 談／高木智子 聞き手  
 朝日夕刊 1.8  
 朝日夕刊 4.30 西岡一正  
 朝日夕刊 8.1  
 朝日夕刊 9.3 大西若人／西岡一正  
 産経 8.17 黒沢綾子  
 東京 9.9 杉全美帆子  
 東京夕刊 9.19 岡部あおみ  
 日経夕刊 8.25 富田律之  
 毎日夕刊 4.3 岸桂子  
 毎日夕刊 8.13 岸桂子  
 読売 8.21 井上晋治  
**ヨコハマ・パラトリエンナーレ 2014** 8.1—11.3 象の鼻テラス  
 朝日夕刊 8.21 山田優  
**甞る鉄剣** 10.11—11.24 埼玉県立歴史と民俗の博物館  
 (ラ)  
**雷電と谷風展** 11.29—1.10 市立小諸高原美術館・白鳥映雪館  
 新美術新聞 1362  
**「楽園としての芸術」展** 7.26—10.8 東京都美術館  
 ギャラリー\* 353  
 新美術新聞 1350

美術の窓 370 中原淳行 談  
 朝日夕刊 8.20 西岡一正  
**楽ってなんだろう—手捏ねと轆轤制作—** 7.26—9.7 楽美術館  
 新美術新聞 1352  
**楽歴代 干支・動物たちの新春**  
 1.7—3.2 楽美術館  
 新美術新聞 1335  
**ラファエル前派 英国ヴィクトリア朝絵画の夢 テート美術館の至宝**  
 1.25—4.6 森アーツセンターギャラリー  
 新美術新聞 1334  
 美術手帖 1001 山口恵里子ほか  
 美術屋・百兵衛 28  
 朝日 1.5  
 朝日 1.18 増田愛子  
 朝日 1.22  
 朝日夕刊 2.19 増田愛子  
 朝日夕刊 3.7 高階秀爾／森村泰昌／桂由美  
 朝日夕刊 4.2 高階秀爾  
 産経 2.16 黒沢綾子  
 日経 2.12 窪田直子  
 読売 2.27 富山太佳夫

(リ)

**Realism complex Exhibition in Aoyama** 3.19—4.4 新生堂  
 新美術新聞 1338  
**LIONCEAUX PLUS 展 vol. 4～華咲け現代洋画の俊英たち～** 8.20—8.25 三越(日本橋)  
 新美術新聞 1352  
**利休とその系譜 千少庵没後400年記念** 1.18—3.16 島山記念館  
 読売夕刊 2.18 福田祐美  
**リモージュボックスの世界展 Home of Limoges Boxes** 5.9—5.18 和光ホール  
 毎日 5.11 山田大輔  
**稜の会6回** 9.17—9.23 高島屋(日本橋)(高島屋(大阪、名古屋))  
 新美術新聞 1354  
**涼風献上 コレクション展 絵とやきもので暑中お見舞い** 7.26—9.7 根津美術館  
 朝日夕刊 8.27 西岡一正  
 東京夕刊 8.22

「隣人」イスラエル現代写真展 5.3  
—6.15 東京アートミュージアム  
東京 5.6 小松田健一

(ル)

ルーヴル美術館展—地中海 四千年  
のものがたり— 7.20—9.23 東  
京都美術館  
日経夕刊 8.19 志村節子  
ルーヴル美術館の銅版画 カルコ  
グラフィックコレクション 11.15—  
1.18 うらわ美術館  
読売夕刊 12.16 山田志麻子

(レ)

歴史にみる震災 3.11—5.6 国立  
歴史民俗博物館  
水墨画\* 300  
美術手帖 1005 横木野衣  
東京 3.1  
レンズ付きフィルム展 未来技術遺  
産登録記念 10.28—1.25 日本  
カメラ博物館  
毎日 10.28 小山馨平  
連続・反復の美—文様に込められた  
想い— 7.4—8.17 大和文華館  
新美術新聞 1348

(ロ)

ロイヤル・アカデミー展 8.1—  
8.31 石川県立美術館(東京富士  
美術館、静岡市美術館、愛知県美  
術館)  
ロイヤル・アカデミー展 9.17—  
11.24 東京富士美術館(石川県立  
美術館、静岡市美術館、愛知県美  
術館)  
東京 8.4  
東京 9.1 荒川裕子  
東京 9.15 五木田聡/平谷美華  
子  
東京 9.23 池上英洋  
東京 11.3  
東京夕刊 9.30 本名陽子  
東京夕刊 10.1 林望  
東京夕刊 10.2 井形慶子  
東京夕刊 10.3 潮江宏三  
東京夕刊 10.4 松岡祐子  
東京夕刊 10.24 ジェフ・スト

リーター

ロイヤル・アカデミー展 12.6—  
1.25 静岡市美術館(石川県立美  
術館、東京富士美術館、愛知県美  
術館)  
芸術新潮 780  
朝日夕刊 12.24 安齋耕一  
浪人たちの大坂の陣 大坂の陣400  
年記念 10.11—11.24 大阪城天  
守閣  
ロシアコレクション・古写真展 明  
治の風景とそこにいた人々 6.1  
—6.10 毎日新聞ホール(新津美  
術館)  
毎日 5.28  
路地に建てられた都市 釜山 釜山  
市立美術館所蔵品展 11.11—1.  
12 長崎県美術館  
六甲ミーツ・アート芸術散歩2014  
9.13—11.24 六甲ガーデンテラ  
ス/自然体感展望台六甲枝垂れ/  
六甲カンツリーハウス/六甲高山  
植物園/六甲オルゴールミュージ  
アム/六甲山ホテル/六甲ケーブ  
ル/六甲山天覧台/六甲有馬ロー  
ブウェー六甲山頂駅  
ギャラリー\* 353  
美術屋・百兵衛 31  
六本木アートナイト2014 4.19—  
4.20 六本木ヒルズ/森美術館/  
東京ミッドタウン/サントリー美  
術館/21\_21 DEGSIN SIGHT/  
国立新美術館/六本木商店街/そ  
の他六本木地区周辺  
東京夕刊 12.5

(ワ)

ワカラナイノススメII 来て!見  
て!話して!アートがつなぐ—  
11.1—12.14 茨城県近代美術館  
朝日夕刊 12.3  
和歌を愛でる 1.9—2.16 根津美  
術館  
新美術新聞 1334  
産経 1.9  
輪島塗・三人の挑戦—小鼓筒を復元  
3.27—4.5 銀座一徳堂サロン  
目の眼 451

和食と現代陶芸—和食世界無形文化  
遺産登録記念— 6.4—9.10 茨  
城県陶芸美術館

早稲田のなかの韓国美術 9.26—  
11.3 早稲田大学津八郎記念博  
物館

私たちの窓から見える風景—現代美  
術作家の視点からひもとく、イメ  
ージ共有のあり方— 12.9—12.  
20 東京都美術館  
新美術新聞 1362  
美術の窓 375 畑正太

わたしのマーガレット展—マーガレ  
ット・別冊マーガレット 少女ま  
んがの半世紀— 9.20—10.19  
森アーツセンターギャラリー(三  
越(札幌)、めいてつ・エムザ、北  
九州市漫画ミュージアム、阪急梅  
田ギャラリー、新潟市マンガ・ア  
ニメ情報館、浦添市美術館、松坂  
屋美術館)  
東京 7.8  
東京 9.1 倉持佳代子  
東京 9.18  
毎日夕刊 10.7 内藤麻里子

輪の会5回 3.11—3.20 高輪画  
廊  
新美術新聞 1337

倭の五王と出雲の豪族 ヤマト王権  
を支えた出雲の豪族たち 7.25—  
9.15 島根県立古代出雲歴史博物  
館

われらの地平線3回—いま・新た  
なる二紀展からの発信— 7.30—  
8.5 三越(日本橋)  
新美術新聞 1350 土方明司

われわれは(リアル)である 1920s  
—1950s プロレタリア美術運動  
からルポルターージュ絵画運動まで  
:記録された民衆と労働 5.17—  
6.29 武蔵野市立吉祥寺美術館  
新美術新聞 1344

朝日夕刊 6.11 西岡一正  
ワンダーシード2014 2.1—3.2  
トーキョーワンダーサイト渋谷  
産経 2.20

ワンダフルワールド こどものワク  
ワク、いっしょにたのしもう み  
る・はなす そして発見!の美術



展 7.12—8.31 東京都現代美術館  
読売 8.23 谷本陽子

## 作家展

## (ア)

あいそ桃か個展 ももか♡3 12.5  
—12.10 ナオ ナカムラ  
美術手帖 1018 gnck 評  
会田誠展 世界遺産への道!! 会  
いにいけるアーティスト AMK  
48歳 7.18—9.23 霧島アートの森  
美術の窓 372 会田誠 談  
念ずれば花ひらく—坂村真実と相田  
みつをの世界— 相田みつを生誕  
90年 第1弾 3.4—6.8 相田みつ  
を美術館  
毎日夕刊 2.27 鶴谷真  
會田雄亮展 祈り旗練上彩器 4.23  
—4.29 伊勢丹(新宿)  
新美術新聞 1342  
相場のい児陶展 残像 3.22—4.5  
ギャラリー顕美子  
陶説 735 井上隆生  
青木九仁博陶芸展 2.27—3.4 妙  
香園画廊  
新美術新聞 1337  
ヒトのカタチ、彫刻 津田重紀子/  
藤原彩人/青木千絵 Shizubi  
Project 4 12.16—3.22 静岡市  
美術館  
新美術新聞 1366  
青木敏郎展 古典の継承とその美意識  
4.30—5.6 三越(日本橋)(三  
越(福岡、名古屋)、三越伊勢丹  
(大阪))  
新美術新聞 1343  
青木野枝展 原形質/2014 11.27  
—12.21 gallery21yo-j  
毎日夕刊 12.10 岸桂子  
読売夕刊 12.15 (井)  
UNSOLD—Hiroshi Sugimoto/Sophie  
Calle/Ryota Aoyagi[青柳龍  
太] 11.20—1.31 ギャラリー小柳  
芸術新潮 782  
美術手帖 1018 榎木野衣

読売夕刊 12.1 (阮)  
赤木明登 「茶の箱」展 10.18—  
10.31 ぎやらりい思文閣  
尾辻克彦×赤瀬川原平 文学と美術  
の多面体展 10.18—12.21 町田  
市民文学館ことばらんど  
芸術新潮 779  
芸術新潮 780  
美術手帖 1017 高山明 評  
東京 11.1 栗原淳  
毎日 10.19 藤原章生  
毎日夕刊 12.3 岸桂子  
赤瀬川原平の芸術原論 1960年代  
から現在まで 10.28—12.23 千  
葉市美術館(大分市美術館、広島  
市現代美術館)  
ギャラリー\* 354  
芸術新潮 780  
美術手帖 1017 高山明 評  
朝日夕刊 12.10 安斎耕一  
産経 12.11 黒沢綾子  
東京夕刊 11.13 森本智之  
毎日夕刊 12.3 岸桂子  
読売 11.13 井上晋治/渡部恵  
子  
赤堀尚展 11.19—11.25 三越(日  
本橋)  
新美術新聞 1361 宝木範義  
美術の窓 374 高山淳  
赤松陽構造と映画タイトルデザイン  
の世界 4.15—8.10 東京国立近  
代美術館フィルムセンター  
読売 6.20 恩田泰子  
画家 AKI 27歳 Birthday&福祉作業  
所ライフステージ 15周年記念  
個展 in 銀座 3.28—4.6 Gal-  
lery NOAH(京都・真宗佛光寺派  
大善院)  
東京 4.3 小形佳奈  
秋田雄峰展 第18回 4.8—4.13  
セントラル・アートギャラリー  
新美術新聞 1340  
書と刻の響き vol.2 3人展 書  
・表現の広がりを求めて —それ  
ぞれの貌—[秋山青桃] 11.4—  
11.9 鳩居堂画廊  
新美術新聞 1359  
Interactions: カナダ—日本木版画  
展[ダニエル・オコナー・アキヤ

マ] 8.6—9.12 カナダ大使館高  
円宮記念ギャラリー  
読売夕刊 9.1 (阮)  
秋山晩翠 水墨画展 5.9—5.22  
らぼーる  
水墨画\* 303  
秋山祐徳太子 大博覧会 1.9—  
1.25 ギャラリー58  
美術手帖 1002 榎木野衣  
朝日夕刊 1.15 大西若人  
読売夕刊 1.20 (井)  
秋吉風人 no secrets 3.15—4.5  
taimatz  
美術手帖 1005 沢山遼 評  
イザベル&アルフレド・アキリザン  
展[イザベル・アキリザン] 11.  
28—12.23 アートフロントギヤ  
ラリー  
芸術新潮 782  
浅井純介展—黒陶「建築の肖像」シリ  
ーズ 5.12—5.24 M・H・Sタ  
ナカギャラリー  
陶説 736 井上隆生  
浅井忠と京都の弟子たち 国立美術  
館巡回展 2.15—3.23 佐倉市立  
美術館  
浅井忠・武田五一と神坂雪佳—京都  
高等工芸学校・京都市立美術工芸  
学校の図案教育! 7.14—9.5  
京都工芸繊維大学美術工芸資料館  
佐倉学 浅井忠展 8.2—9.7 佐倉  
市立美術館  
新美術新聞 1356 星野清一  
読売 9.4 前田恭二  
個展 浅岡咲子 9.10—9.30 たけ  
だ美術  
ギャラリー\* 353  
浅香弘能彫刻展 6.5—6.15 靖山  
画廊  
ギャラリー\* 350  
浅賀理捷 和紙はり絵展 6.18—  
6.22 東京芸術劇場5階展示ギヤ  
ラリー  
新美術新聞 1347  
ふたつの故郷—朝地と谷中— 朝倉  
文夫展 歿後50年 9.13—12.14  
朝倉彫塑館  
東京 10.25 小形佳奈

朝倉優佳展 新世代への視点2014  
画廊からの発言 7.21—8.2 コ  
バヤシ画廊  
産経 7.24 渋沢和彦  
麻田家の三人—辨自・鷹司・浩—  
[麻田辨自/麻田鷹司/麻田浩]  
4.26—6.1 南丹市立文化博物館  
麻田辨自のもうひとつの素顔 5.31  
—7.13 南丹市日吉町郷土資料館  
麻谷宏展—物・皆ナ—点ニ集マル  
8.9—8.31 ギャラリーサラ  
陶説 739 梅田稔  
浅野秋月喜寿展～書画一致を求めて  
～ 10.20—10.24 小津ギャラリ  
ー  
新美術新聞 1358  
浅野輝一展 「現代の風景から…」  
8.25—8.30 シロタ画廊  
ギャラリー\* 352  
美術の窓 373 ワシオ・トシヒ  
コ  
～神社×彫刻～浅野暢晴 無何有の  
祭り 3.10—4.11 常陸國總社宮  
芸術新潮 773  
生誕100年浅野弥衛展 かたいのに  
・やわらかい 7.29—8.24 砂丘  
館  
REAR 33 大倉宏  
名品コレクションII 郷土の美術  
浅野弥衛と桜画廊の作家 9.6—  
12.23 名古屋美術館  
REAR 33 角田美奈子  
グラフィックトライアル2014 響。  
[浅葉克己] 6.7—8.24 印刷博  
物館P & P ギャラリー  
毎日夕刊 7.9 永田晶子  
朝比奈隆展 2.7—2.20 アスクエ  
ア神田ギャラリー  
美術\* 461  
浅見千鶴展 6.23—6.28 銀座スル  
ガ台画廊  
新美術新聞 1347  
味岡伸太郎展 垂直考 11.8—11.  
30 ギャラリーサンセリテ  
ギャラリー\* 355  
麻生三郎の装幀・挿画展 美術と文  
学の交流 9.27—1.12 神奈川県  
立近代美術館(鎌倉別館)  
新美術新聞 1356

阿曾沼明 洋画展—光、風、香り、  
音、そして色— 11.25—12.1  
三越(広島)  
新美術新聞 1361  
二人の安達展[安達時彦] 6.23—  
6.28 銀座井上画廊  
新美術新聞 1345  
二人の安達展[安達博文] 6.23—  
6.28 銀座井上画廊  
新美術新聞 1345  
我妻緑巢書展'14 11.18—11.23  
大丸藤井セントラルスカイホール  
毎日夕刊 11.20 桐山正寿  
アトリエ・ワン マイクロ・パブリ  
ック・スペース 2.15—5.6 広  
島市現代美術館  
日経夕刊 4.1  
読売 4.17 高野清見  
コレクション展 IV 101歳の阿部展  
也 1.2—4.6 新潟市美術館  
新美術新聞 1336  
阿部ひろ子 和紙ちぎり絵展 6.9  
—6.15 ギャラリームサン  
朝日夕刊 6.11 山田優  
東京 6.13 北爪三記  
—御神木—天野裕夫(彫刻) 9.3  
—9.9 高島屋(名古屋)(高島屋  
(京都、日本橋、横浜))  
陶説 740 井上隆生  
天野富美男個展 12.17—12.23 ギ  
ャラリーほりかわ  
新美術新聞 1363  
綾部好男個展 4.14—4.20 ギャラ  
リームサン  
新美術新聞 1341  
荒井経の仕事 模写そして創造へ  
11.15—12.23 さくら市ミュージ  
アム 荒井寛方記念館  
新美術新聞 1360  
あらいとしこ展9回 新・風花  
「日本の風景」北海道から沖縄まで  
9.21—9.27 東京交通会館ギャラ  
リー波瑠  
新美術新聞 1355  
荒井経の仕事 模写そして創造へ  
[荒井寛方] 11.15—12.23 さく  
ら市ミュージアム 荒井寛方記念  
館  
新美術新聞 1360

新井深 個展 5.12—5.17 養清堂  
画廊  
荒川修作の軌跡—天命反転、その先  
へ 5.12—6.14 早稲田大学津  
八一記念博物館  
朝日夕刊 6.4 大西若人  
日経 6.7  
荒木経惟 往生写集—顔・空景・道  
4.22—6.29 豊田市美術館  
ギャラリー\* 348  
芸術新潮 776  
REAR 32 中村史子  
朝日夕刊 6.11 大西若人  
毎日夕刊 6.25 岸桂子  
読売 5.22 森田睦  
左眼ノ恋[荒木経惟] 5.25—6.21  
タカ・イシイギャラリー(三菱地  
所アルティアム)  
芸術新潮 776  
朝日夕刊 6.11 大西若人  
産経 5.29 重松明子  
荒木経惟 往生写集—愛ノ旅 8.9  
—10.5 新潟市美術館  
芸術新潮 776  
アラキーの書 in 西荻窪[荒木経  
惟] 10.11—11.9 伊勢谷美術ほ  
かJR西荻窪駅周辺の11店舗  
朝日 10.23 斎藤智子  
荒木経惟 往生写集 東ノ空・PA  
RADISE 10.22—12.25 資生堂  
ギャラリー  
芸術新潮 776  
朝日夕刊 12.17 大西若人  
荒木富佐子展 陽だまりの想い  
1.13—1.18 画廊宮坂  
新美術新聞 1332  
MOTHERLANDS[荒木悠] 3.21—  
4.6 実家 Jikka  
美術手帖 1005 成相肇  
有賀明文日本画展 12.3—12.9 豊  
田画廊  
新美術新聞 1362  
有元利夫展 天空の音楽 12.14—  
2.15 高崎市美術館  
新美術新聞 1363  
有元容子日本画展—山の風・海の風  
— 3.12—3.18 三越(日本橋)  
美術の窓 368 高山淳

有吉宏朗展 8.18—8.23 ギャラリー  
一惣  
ギャラリー\* 352

安齊重男 写真展「MONO—HA  
by ANZAI」 1.17—2.22 ツァイ  
ト・フォト・サロン  
朝日夕刊 2.19 大西若人／千葉  
成夫  
毎日夕刊 2.10 岸桂子

安西水丸 セタの夜 4 7.7—7.  
23 山陽堂ギャラリー  
朝日夕刊 7.15 板垣麻衣子

安西水丸 地球の細道展 9.20—  
11.3 GA ギャラリー  
朝日夕刊 10.22 山田優

安西水丸展 10.17—11.20 クリエ  
イションギャラリーG8  
朝日夕刊 10.22 山田優  
東京夕刊 11.5

安藤郁子・沢村澄子展 陶とオブジ  
ェと書 4.16—4.27 ギャラリー  
ろば屋／にむらや菓子舗寺尾店  
新美術新聞 1342

安藤郁子展 5.18—5.25 Bienio  
陶説 737 井上隆生

安藤秀苑 卒寿展 11.25—11.30  
岡山県天神山文化プラザ  
新美術新聞 1361

第五回 安藤工 陶芸展 3.19—  
3.25 松坂屋(名古屋)  
陶説 735 井上隆生

安野光雅 御所の花 10.4—11.24  
奈良県立万葉文化館(高島屋(日本  
橋、大阪、京都)、そごう美術館、  
スズラン百貨店前橋店、三越(新  
潟)、下関市立美術館、東大阪市  
民美術センター、新見美術館、南  
砺市立福光美術館)  
新美術新聞 1356 安永幸史  
美術の窓 373 大矢頼音

(イ)

INCREDIBLE LEE kyung Photogra-  
phy[李京] 7.9—7.15 ぎゃら  
りー由芽

李貞演展 Re—Genesis 1.30—  
2.5 上野の森美術館  
ギャラリー\* 347 ワシオ・トシ  
ヒコ

李香淑個展 7.14—7.20 ギャラリ  
ームサン  
新美術新聞 1349

ベトナム大使館後援 砂の芸術家  
イー・ラン サンドペインティン  
グ展 8.28—8.30 ギャラリー銀  
座  
東京 8.29

飯島花奈展 新世代への視点2014  
画廊からの発言 7.21—8.2 ギ  
ャラリー現  
産経 7.24 洪沢和彦

パランプセスト 重ね書きされた記  
憶／記憶の重ね書き vol.1 飯  
嶋桃代 5.24—6.21 ギャラリー  
αM  
芸術新潮 776  
東京夕刊 6.13 古谷利裕

飯山由貴個展 あなたの本当の家を  
探しにいく／ムーミン一家になっ  
て海の観音さまに会いにいく  
9.13—11.1 waitingroom  
美術手帖 1016 島田浩太郎

世代を超えて 栗原一郎・木田詩子  
・五百住乙人 4.23—6.29 ART  
GALLERY 呼友館  
新美術新聞 1343

五百住乙人展 金井画廊15周年記  
念 5.26—6.4 金井画廊／ドゥ  
画廊  
新美術新聞 1345

L・イカール デビュー100年を超  
えて[ルイ・イカール] 1.9—  
1.17 ギャラリー・サロンドエス  
新美術新聞 1332

猪飼節子展 10.20—11.1 椿近代  
画廊  
ギャラリー\* 354  
新美術新聞 1358

井口優油絵展 第3回 11.26—  
12.2 小田急(新宿)  
美術の窓 375 高山淳

猪倉高志 かげを纏うかたち 2012  
—2014 11.28—12.13 中長小  
西  
芸術新潮 782  
陶説 743 唐澤昌宏

「平成東京図会」原画展[池八十次]  
1.24—1.26 西武ギャラリー

平成26年美術展覧会(作ア、イ)

産経 1.17

池上秀畝・島崎鶏二 没後70年  
6.7—7.6 長野県信濃美術館  
新美術新聞 1346

ネガ・アフター・イメージ[池島康  
輔] 9.13—10.25 アキバタマビ  
21  
東京夕刊 10.3 中村英樹

花のいろどり 木版画家池田修三没  
後10年作品展 11.21—11.30  
お休み処花の辻  
東京 11.21 丹治早智子

告発する美術1 池田龍雄 4.1—  
6.1 福岡市美術館

池田龍雄展 我が心のなかのメルヴ  
ェーユ 12.9—12.23 神田日勝  
記念美術館

池田満寿夫生誕80年記念展 東洋  
の幻影、大陸の記憶 7.26—12.16  
池田満寿夫美術館  
新美術新聞 1351

三岸好太郎と池田満寿夫 奇オア—  
ティストの系譜 9.6—10.19 北  
海道立三岸好太郎美術館  
朝日夕刊 10.8 西岡一正

池田学「原展」 7.7—8.3 Gallery  
Kart  
芸術新潮 777

池田光宏 HOMEMADE LAND—  
SCAPE 公開制作62 6.21—10.  
23 府中市美術館

イケムラレイコ PLOON 4.20—  
10.14 ヴェンツ彫刻庭園美術館  
芸術新潮 774

恵俊彦個展 武蔵野 5.12—5.18  
あかね画廊(ギャラリー唐橋)  
美術の窓 370 高山淳

井崎聖子展 12.8—12.13 コバヤ  
シ画廊  
芸術新潮 782

進撃の巨人展[諫山創] 11.28—  
1.25 上野の森美術館(大分県立  
美術館、グランフロント大阪、台  
北松山文創園區、札幌芸術の森美  
術館)  
産経 12.24 戸谷真美

石井松琴墨影画展 4.3—4.15 た  
ましんギャラリー  
新美術新聞 1340

KIZASHI—友禪の斬新、漆芸の大胆  
—[石井亨] 1.10—2.2 ポーラ  
ミュージアム アネックス  
新美術新聞 1333  
産経 1.16 篠原知存  
石井友子個展 10.13—10.18 千駄  
木画廊  
新美術新聞 1356  
石内都展 —幼き衣へ— 6.5—  
8.23 LIXIL ギャラリー2  
美術の窓 371 笈天留  
朝日夕刊 8.6 大西若人  
雲蝶作品パネルリレー展 石川雲蝶  
生誕200周年記念事業 2.1—  
2.16 雑司が谷地域文化創造館  
(南魚沼市民会館、小出郷文化会  
館、池田記念美術館、栃尾産業交  
流センター、新潟日報メディアシ  
ップ、燕三条駅観光物産センター  
燕三条 Wing)  
毎日 1.30 塚本恒  
石川珂旦 美の世界展 4.29—5.11  
岩崎ミュージアム(井筒屋(小倉)、  
東武(宇都宮)、天満屋(岡山)、松  
屋(銀座)、阪急(梅田))  
新美術新聞 1342  
石川恵助展 3.20—3.26 ギャラリ  
ー絵夢  
新美術新聞 1339  
石川忠一展 12.8—12.13 アート  
スペース羅針盤  
美術の窓 375 小森佳代子  
Makalu[石川直樹] 8.20—10.11  
IMA gallery  
東京 9.1  
日経夕刊 9.10 (達)  
石川文洋写真展 「ベトナム戦争と  
沖縄の基地」 10.25—12.21 日  
本新聞博物館  
毎日 12.12 鈴木加代子  
石川真生写真展 森花—夢の世界  
3.5—3.15 禪フォトギャラリー  
毎日 3.4 斎藤良太  
石川裕彰刻展 木からのメッセージ  
7.31—9.28 郡上八幡楽藝館  
美術の窓 372 高山淳  
石川竜一写真展 絶景のポリフォニ  
ー 12.3—12.16 銀座ニコンサ  
ロン(大阪ニコンサロン)

産経 12.11 篠原知存  
石澤久夫の仕事 自然への語らい  
2.8—3.23 高崎市美術館  
新美術新聞 1334  
111回石澤久夫作品展 「しろいの  
曼荼羅」シリーズ 7.8—7.19 21  
世紀堂書店「あそびの窓」  
新美術新聞 1348  
石田徹也 ノート、夢のしるし  
4.12—6.15 平塚市美術館(砺波  
市美術館、静岡県立美術館)  
読売夕刊 5.27 勝山滋  
石田亘・征希・知史 パート・ド・  
ヴェール作品展—ガラス幻想の美  
—[石田征希/石田知史] 3.19—  
3.25 高島屋(横浜)  
石塚三吾個展 4.1—4.7 みなとみ  
らいギャラリー  
新美術新聞 1340  
石原友明展 透明人間から抜け落ち  
た髪の透明さ 11.29—1.18  
MEM  
美術手帖 1018 近藤亮介  
石原七生個展 くさびらやまつみわ  
だつみ 2.17—2.28 銀座煉瓦画  
廊  
ギャラリー\* 346  
新しい女性美を描く 石本正展  
12.17—3.12 成川美術館  
新美術新聞 1367  
土思考 泉田之也展 4.20—10.19  
風の沢ミュージアム  
陶説 737 外館和子  
泉田之也 陶展 薄陶の行方IV  
7.12—7.27 ギャラリー芽楽  
陶説 738 井上隆生  
伊勢門水と高木大宇 道風記念館企  
画展 高木大宇コレクションより  
4.23—5.25 春日井市道風記念館  
書道界 294  
現代のリアリズム ロレンツォ・フ  
ェルナンデスと磯江毅 9.2—  
9.18 スペイン大使館ギャラリー  
芸術新潮 777  
磯崎新 都市ソラリス 平川紀道  
《円環の廃墟/Хар и》 1.15—  
2.8 NTT インターコミュニケー  
ションセンター  
朝日夕刊 1.22

磯崎新 12×5=60 8.31—1.12  
ワタリウム美術館  
朝日夕刊 12.3 大西若人  
産経 12.18  
読売 12.19 井上晋治  
板垣真実展 いと をかし 9.6—  
9.21 NANATASU GALLERY  
美術手帖 1010 竹見洋一郎  
板谷波山の夢みたまの〈至福〉の近  
代日本陶芸 没後50年・大回顧  
1.7—3.23 出光美術館  
陶説 731 柏木麻里  
朝日夕刊 2.5 大西若人  
産経 1.16 黒沢綾子  
毎日 1.8  
板谷波山 光を包む美しきやきもの  
没後50年回顧展 6.14—8.24  
泉屋博古館分館  
日経 8.13 宮川匡司  
毎日 6.13 荒川正明  
毎日夕刊 7.23 岸桂子  
市野長之介—フォーヴィスムの名古  
屋— 生誕110年 9.2—9.6 名  
古屋画廊  
市野雅彦 「望」展 4.17—4.26 西  
福ギャラリー  
陶説 736 唐澤昌宏  
一原有徳 1910—2010 版 無限  
の可能性 4.5—6.8 神奈川県立  
近代美術館(鎌倉)  
日経 4.23 窪田直子  
京都現代作家展 市原義之 自然讃  
歌 6.21—10.5 京都府立堂本印  
象美術館  
新美術新聞 1351  
市村緑郎彫刻展 2.4—3.29 ギャ  
ラリーカフェアルゴ  
新美術新聞 1335  
井手日出志 ミミズの穴 11.1—  
12.13 Gallery HAM  
ギャラリー\* 355  
糸井邦夫情景画展 3.31—4.6 銀  
座幸伸ギャラリー  
新美術新聞 1339  
伊藤あきえ金工展 12.15—12.20  
ギャラリーモーツァルト  
新美術新聞 1362

- 伊藤慶二展 9.27—10.13 ギャラリー数寄  
陶説 741 井上隆生
- 伊東豊雄展 台中メトロポリタンオペラハウスの軌跡 2005—2014 TOTO ギャラリー・間150回展 10.17—12.20 TOTO ギャラリー・間  
朝日夕刊 12.10 大西若人  
読売 12.4 高野清見
- 伊藤晴子展 7.9—7.15 高島屋(横浜)  
新美術新聞 1348
- 伊藤彦造という男 降臨! 神業絵師 1.3—3.30 弥生美術館  
朝日夕刊 2.5 東美美
- 無名異 伊藤栄傑 作陶展 10.8—10.14 三越(日本橋)  
陶説 741 唐澤昌宏
- 伊藤秀人作陶展 5.14—5.20 三越(日本橋)  
陶説 738 唐澤昌宏
- 美に濃ゆし[伊藤秀人] 7.30—8.5 高島屋(名古屋)  
陶説 739 井上隆生
- 伊藤弘之展 6.26—7.1 ギャラリー一ほりかわ  
新美術新聞 1347
- 伊藤弘之展—アドリア海の取材から— 7.8—7.13 ギャラリー恵風  
新美術新聞 1347
- いとうまり INVISIBLE 10.24—12.13 nap gallery  
産経 11.27 渋谷和彦
- 伊藤廉 もうひとつの『絵の話』 11.1—1.12 碧南市藤井達吉現代美術館  
新美術新聞 1358  
REAR 32 浅野泰子
- 稲垣考二展 2.17—2.22 画廊宮坂  
新美術新聞 1335
- 稲越泉美日本画展 9.24—9.30 Ginza yy ギャラリー  
新美術新聞 1355
- 稲邊智津子 第36回創作人形展 ～まなざしは愛を讀えて～ 4.2—4.8 大丸(京都)  
新美術新聞 1340
- 井上勝江展 10.1—10.9 京王プラザホテルロビーギャラリー  
美術の窓 373 ワシオ・トシヒコ
- 井上耐子 時空を越えて 11.17—12.13 武蔵野美術大学美術館・図書館(美術館)
- 建築家ガウディ×漫画家井上雄彦 シンクロする創造の源泉 7.12—9.7 森アーツセンターギャラリー(金沢21世紀美術館、長崎県美術館、兵庫県立美術館、せんだいメディアテーク)  
美術手帖 1010 編集部  
産経 7.16 戸谷真美  
毎日夕刊 8.20 永田晶子
- パランプセスト 重ね書きされた記憶/記憶の重ね書き vol.3 井上雅之 8.30—9.27 ギャラリーαM  
陶説 741 外館和子  
美術手帖 1014 富田康子 評
- 井上萬二白磁展—名陶無雑— 6.6—6.15 和光ホール  
新美術新聞 1346
- 絵師たちの視線[まなざし]—安治、清親、光逸— 井上安治生誕150年記念 4.27—6.8 茅ヶ崎市美術館  
版画芸術 163 西内裕詞
- 井上康徳白磁展 9.19—9.28 和光ホール  
新美術新聞 1354
- 井上洋介図鑑展—漫画、タブロー、絵本— 1.11—2.23 刈谷市美術館  
新美術新聞 1333  
REAR 32 丸地加奈子
- 猪熊佳子展 美しい風景・美しい日本画 1.10—3.2 佐藤美術館  
新美術新聞 1333  
日経 2.16
- 猪熊弦一郎展 どんなことをしても僕なんだ 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館所蔵作品による 5.30—7.6 筆の里工房(中村研一記念小金井市立はけの森美術館、大垣市スイトピアセンターアートギャラリー)
- ギャラリー\* 350
- 猪熊弦一郎展 どんなことをしても僕なんだ 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館所蔵作品による 7.19—9.7 中村研一記念小金井市立はけの森美術館(大垣市スイトピアセンターアートギャラリー、筆の里工房)  
新美術新聞 1352
- 公募—日本の絵画2012— 大賞・優秀賞各受賞者個展 伊庭広人 9.1—9.6 永井画廊  
新美術新聞 1353  
美術\* 468  
美術の窓 375 (紺)
- [立ちたさ\_]展2014[伊宝田隆子] 6.6—6.16 マキイマサルファインアーツ  
ギャラリー\* 350
- 今井幸子展 1.15—1.21 小田急(新宿)(小田急(町田))  
新美術新聞 1332
- 今井珠泉 日本画展 福屋創業八十五周年記念 11.27—12.3 福屋(八丁堀)  
新美術新聞 1362
- shiseido art egg vol.8 今井俊介 range finder 2.7—3.2 資生堂ギャラリー  
ギャラリー\* 346  
美術手帖 1004 飯前知子 評  
朝日夕刊 2.19 大西若人
- 今井信吾ドローイング展2014 5.19—5.24 銀座井上画廊  
新美術新聞 1344
- 文化功労者・日本藝術院会員 今井政之展 あべのハルクス近鉄本店タワー館オープン1周年記念 6.19—6.25 近鉄タワー館  
新美術新聞 1347  
美術の窓 369 高山淳
- 今井充俊展 6.20—7.2 日動画廊  
新美術新聞 1347
- 十四代 今泉今右衛門展 3.7—3.16 和光ホール  
新美術新聞 1338  
陶説 735 花里麻理
- 今岡紫雲英現代水墨画展 人間讃歌 天降川シリーズ 2.4—2.9 鳩居

堂画廊  
 新美術新聞 1334  
**今獅々貴美子展一刻一** 11.11—  
 11.16 兜屋画廊  
 新美術新聞 1359  
**今村圭 回顧展** 4.17—4.23 ギャ  
 ラリー絵夢  
 新美術新聞 1342  
**今村文 絵という肉体を持った幻**  
 2.1—2.24 YEBISU ART LABO  
 REAR 32 和田浩一  
 「アート・スコープ2012—2014」  
 旅の後もしくは痕[今村遼佑]  
 7.12—10.13 原美術館  
 毎日夕刊 8.26 岸桂子  
**井山庄司個展** 9.22—9.28 地球堂  
 ギャラリー  
 新美術新聞 1355  
**入江明日香展** 4.21—5.10 シロタ  
 画廊  
 新美術新聞 1342  
**入江泰吉と杉岡華邨—写真と書で綴  
 る會津八ーの世界—** 10.4—1.12  
 奈良市杉岡華邨書道美術館／入江  
 泰吉記念奈良市写真美術館  
 新美術新聞 1361  
**Phenomenon[入野陽子]** 6.24—  
 6.29 GALLERY KINGYO  
 ギャラリー\* 350  
**岩城大介展—明日への光—** 3.24—  
 3.29 薔薇画廊  
 新美術新聞 1338  
 美術\* 461  
**岩城大介展—希望の花—** 10.18—  
 10.26 ガレリアポンテ  
 新美術新聞 1358  
**書と刻の響き vol.2 3人展 書・  
 表現の広がり求めて —それぞ  
 れの貌—[岩切誠]** 11.4—11.9  
 鳩居堂画廊  
 新美術新聞 1359  
**岩熊力也展 Weight** 1.6—1.18  
 コバヤシ画廊  
 毎日夕刊 1.16 岸桂子  
**パランプセスト 重ね書きされた記  
 憶/記憶の重ね書き vol.2 岩  
 熊力也** 6.28—7.26 ギャラリー  
 αM

**岩佐又兵衛 36×2 ふた組の「三  
 十六歌仙絵」** 4.1—6.1 福岡市  
 美術館  
**没後50年 岩崎勝平** 4.26—6.15  
 川越市立美術館  
 新美術新聞 1342  
**岩崎貴宏 Out of Disorder** 2.15—  
 3.30 川崎市市民ミュージアム  
 産経 12.25 渋谷和彦  
**いわさきちひろ×佐藤卓=展 はじ  
 めてみる、ちひろの世界。** 8.6  
 —11.3 ちひろ美術館(東京)(安  
 曇野ちひろ美術館)  
 読売 8.23 谷本陽子  
**岩崎光子 油絵・パステル画展 光  
 をもとめて** 2.10—2.15 ギャラ  
 リームサン  
 新美術新聞 1334  
**岩田藤七・久利・糸子:スケッチブ  
 ックとガラス作品[岩田糸子]**  
 3.1—5.6 町田市立博物館  
 新美術新聞 1339  
 産経 3.3  
 読売夕刊 3.18 齊藤晴子  
**岩田壮平展~origin~** 9.24—9.30  
 高島屋(東京)(高島屋(横浜、京都、  
 大阪、名古屋、岡山))  
 新美術新聞 1355  
 美術\* 469  
**岩田藤七・久利・糸子:スケッチブ  
 ックとガラス作品** 3.1—5.6 町  
 田市立博物館  
 新美術新聞 1339  
 産経 3.3  
 読売夕刊 3.18 齊藤晴子  
**KIZASHI—友禪の斬新、漆芸の大胆  
 —[岩田俊彦]** 1.10—2.2 ポー  
 ラミュージアム アネックス  
 新美術新聞 1333  
 産経 1.16 篠原知存  
**岩田藤七・久利・糸子:スケッチブ  
 ックとガラス作品[岩田久利]**  
 3.1—5.6 町田市立博物館  
 新美術新聞 1339  
 産経 3.3  
 読売夕刊 3.18 齊藤晴子  
**岩田正巳展 生誕120年—新興大和  
 絵、その清澄なる世界—** 3.1—  
 4.13 新潟県立近代美術館

**岩谷雪子展 カラスムギの憂鬱**  
 5.3—5.21 Hasu no hana  
 東京 5.9 鈴木久美子  
**岩波昭彦日本画展—moment—**  
 4.10—4.23 ギャラリーエスパス  
 (名古屋) (アートサロンエスパ  
 ス京都)  
 新美術新聞 1340  
 美術\* 463  
**3つの視展[岩波昭彦]** 4.15—4.19  
 上野の森美術館  
 新美術新聞 1341  
**—evolution—岩波昭彦日本画展**  
 10.4—10.14 オンワードギャラ  
 リー日本橋  
 新美術新聞 1356  
**—都市の肖像—岩波昭彦日本画展**  
 10.29—11.4 三越(日本橋)  
 新美術新聞 1358  
**岩波昭彦日本画展—後期—都市の肖  
 像—** 11.29—1.12 北澤美術館  
 新美術新聞 1363  
**岩橋好男 4日間だけの「見納め  
 展」** 4.14—4.17 画廊宮坂  
 新美術新聞 1341  
**岩淵寛作陶展** 5.21—5.27 松坂屋  
 (名古屋)  
 陶説 737 井上隆生  
**岩松是親自選展** 9.24—10.4 高輪  
 画廊  
 新美術新聞 1355  
**岩村秀巖と近代日本画** 11.22—  
 12.23 知恵の環館芳賀町総合情  
 報館

(ウ)

**エヴァ・ヴァリエ FIBERS&  
 FRAGMENTS Selected works**  
 1998—2014 5.14—6.12 城西  
 大学水田美術館アートギャラリー  
**ヴァロットン展 冷たい炎の画家  
 [フェリックス・ヴァロットン]**  
 6.14—9.23 三菱一号館美術館  
 ギャラリー\* 350  
 新美術新聞 1346 杉山菜穂子  
 美術手帖 1010 岡崎乾二郎 評  
 朝日夕刊 8.20 大西若人  
 産経 6.29 黒沢綾子  
 東京夕刊 7.11 岡部あおみ

日経 5.18  
 日経 6.15  
 日経 6.25 窪田直子  
 日経 7.20  
 日経夕刊 6.5  
 毎日夕刊 7.9 高階秀爾  
 毎日夕刊 9.2 梅津時比古  
 読売 7.17 平倉圭

PHOTOPHOBIA アピチャッポン  
 ・ウィラーセタクン個展 京都市  
 立芸術大学ギャラリー@KCUA 開  
 館5周年記念展 6.14—7.27  
 京都市立芸術大学ギャラリー@  
 KCUA  
 ギャラリー\* 350  
 美術手帖 1008 清水稜

澁川喜一と植木茂 1.2—2.16 山  
 口県立美術館  
 新美術新聞 1332

植木茂 生誕100年 9.12—11.3  
 島根県立美術館  
 新美術新聞 1354

四神の書 上田桑鳩 手島右脚 金  
 子鷗亭 桑原翠邦 比田井天来門  
 下四書家の足跡を辿る 5.10—  
 6.22 釧路市立美術館(文化フォ  
 ーラム春日井、唐津市近代図書館、  
 安芸市立書道美術館)

金唐紙展〜上田尚作品展〜 3.15—  
 6.1 紙の博物館  
 東京 4.3

植松永次展—泥に咲く— 5.17—  
 5.28 ギャラリー島田  
 陶説 736 小吹隆文

土から 植松永次 11.15—11.30  
 gallery feel art zero  
 陶説 742 井上隆生

植松壺二：見えない軸—距離と角度  
 3.15—4.12 ギャラリーノマル  
 新美術新聞 1339

鳥と語る 上村淳之展 文化功労者  
 顕彰記念 5.20—8.3 松柏美術  
 館  
 新美術新聞 1344 高島佐句子

上村松園・松篁・淳之展〜上村三代  
 の系譜〜 10.2—10.6 天満屋  
 (岡山)  
 美術\* 468

上村松園・松篁・淳之〜松柏美術館  
 20年の歩み〜 12.9—2.1 松柏  
 美術館  
 新美術新聞 1364

上村松園の魅力 本画と下絵を一  
 堂に 1.18—3.9 名都美術館  
 新美術新聞 1334  
 美術の窓 366 鬼頭美奈子

上村松園—画道ひとすじ— 開館20  
 周年記念展 3.14—5.11 松柏美  
 術館  
 新美術新聞 1339

上村松園・松篁・淳之展〜上村三代  
 の系譜〜 10.2—10.6 天満屋  
 (岡山)  
 美術\* 468

上村松園・松篁・淳之〜松柏美術館  
 20年の歩み〜 12.9—2.1 松柏  
 美術館  
 新美術新聞 1364

上村松篁展 5.27—7.6 京都国立  
 近代美術館(富山県水墨美術館)  
 新美術新聞 1345  
 美術\* 465 小倉実子  
 日経 5.18  
 日経 6.15

上村松篁展 7.11—8.10 富山県水  
 墨美術館(京都国立近代美術館)  
 日経 7.20

上村松園・松篁・淳之展〜上村三代  
 の系譜〜 10.2—10.6 天満屋  
 (岡山)  
 美術\* 468

上村松園・松篁・淳之〜松柏美術館  
 20年の歩み〜 12.9—2.1 松柏  
 美術館  
 新美術新聞 1364

アンディ・ウォーホル展 永遠の  
 15分 森美術館10周年記念展  
 2.1—5.6 森美術館  
 新美術新聞 1335 近藤健一  
 新美術新聞 1339 島尾新  
 版画芸術 163  
 美術の窓 370 近藤健一  
 朝日夕刊 3.12 増田愛子/篠原  
 有司男 談  
 東京 4.8 杉全美帆子  
 毎日夕刊 2.12 高階秀爾  
 読売 1.1

読売 3.14 建島哲  
 読売 3.20 tetsuya  
 読売夕刊 3.11 近藤健一  
 読売夕刊 4.3 横尾忠則

鶴飼義丈展「より添う。」 5.9—  
 5.23 村越画廊  
 新美術新聞 1343

雨月陶齋作品展 11.24—11.30 法  
 然院本坊  
 新美術新聞 1360

Norway Photo Journey—風景とム  
 ンクな肖像[宇佐見健] 1.22—  
 2.3 リコーイメージングスクエ  
 ア新宿  
 産経 1.23

氏冢昂大展—凍陶 TOUTOU—  
 2.6—3.3 LIXIL ガレリアセラミ  
 カ  
 陶説 733 外館和子

臼井和成作陶展7回 4.16—4.22  
 松坂屋(名古屋)  
 陶説 736 井上隆生

歌川国貞 没後150年記念 10.1—  
 11.24 太田記念美術館  
 浮世絵芸術 169 神谷浩  
 ギャラリー\* 354  
 朝日夕刊 10.15 山田優  
 東京夕刊 9.17  
 読売 10.16 井上晋治  
 読売夕刊 9.13

宇田川宣人教授退任記念展—ぶっく  
 れ橋からハートへ— 画業55周  
 年記念 10.18—10.26 九州産業  
 大学美術館+芸術学部アートギャ  
 ラリー  
 新美術新聞 1358

追憶の広重—浮世絵歴史散歩[歌川  
 広重] 3.1—3.23 太田記念美術  
 館  
 読売 3.13

中山道広重美術館所蔵名品展 国際  
 浮世絵学会創立50周年記念[歌川  
 広重] 4.3—6.15 中山道広重美  
 術館  
 版画芸術 163

一日だけの広重展[歌川広重] 9.6  
 —9.6 足立区東岳寺  
 東京 9.1 奥野斐

打田翠展 10.3—10.21 Sophora  
陶説 741 小吹隆文

内田百音 「外務大臣賞受賞記念展」  
〜パリの香りにのせて〜 10.20  
—10.26 ギャラリー・アート・  
ポイント  
新美術新聞 1358

色彩と風のシンフォニー／内間安理  
の世界 沖縄ルーツシリーズ2  
9.12—11.9 沖縄県立博物館・美  
術館  
デアルテ 31 大城仁美

内山懋新作展 やすらぎの眼差し  
9.7—9.13 ギャラリー・コパン  
ダール  
新美術新聞 1340

宇野かこ展 4.9—4.15 高島屋(日  
本橋)  
産経 3.25

宇野マサシ—西成、飛田界限—  
11.5—11.11 アート・紀元  
毎日 11.6 江刺正嘉

梅津庸一 智・感・情・A 4.19—  
5.24 アラタニウラノ  
美術手帖 1006 近藤亮介

梅原龍三郎・安井曾太郎 デッサン  
展 4.8—4.25 永井画廊  
新美術新聞 1340

占部史人 7つの夜の海 10.9—  
1.12 愛知県美術館  
陶説 744 井上隆生

(エ)

頼川ゆう子展 11.20—11.25 ギャ  
ラリーほさか  
新美術新聞 1360

江崎城一郎 第5回 水彩スケッ  
チ展 2.23—3.1 新井画廊  
新美術新聞 1336

江添栄一郎展 3.18—3.24 万国橋  
ギャラリー  
新美術新聞 1337

オランダの奇オ M.C. エッシャー  
展[マウリッツ・エッシャー]  
2.15—4.7 ハウステンボス美術  
館  
新美術新聞 1336 林田早代

LSDF—014[榎忠] 10.4—11.22  
山本現代

朝日夕刊 10.22 安部美香子

都会派アクション劇画 江波じょう  
じの世界展 8.7—8.31 江東区  
森下文化センター  
東京 8.29 荘加卓嗣

海老原喜之助展 生誕110年 10.2  
—11.9 鹿児島市立美術館(下関  
市立美術館、横須賀美術館)  
新美術新聞 1357

デアルテ 31 山西健夫  
読売 10.16 白石知子

レアンドロ・エルリッヒ—ありきた  
りの? 開館10周年記念 5.3—  
8.31 金沢21世紀美術館  
芸術新潮 775  
美術屋・百兵衛 30

朝日夕刊 6.25 大西若人  
産経 5.22 黒沢綾子  
毎日夕刊 7.9 清水有香

遠藤彰子展 おりおりの刻を語る  
1.15—1.21 三越(日本橋)  
ギャラリー\* 345  
新美術新聞 1333 大村智/南島  
宏/田中正之/その他

遠藤彰子展 魂の深淵をひらく  
1.15—1.28 上野の森美術館  
ギャラリー\* 345  
芸術新潮 771  
新美術新聞 1333 大村智/南島  
宏/田中正之/その他

美術の窓 364 本江邦夫  
朝日夕刊 1.22 大西若人  
産経 1.23  
毎日夕刊 1.22 岸桂子

水、そして光[遠藤章子] 6.2—6.14  
村越画廊  
新美術新聞 1345

(オ)

大内田敬油絵展 色彩の交響詩[シ  
ンフォニー] 7.2—7.8 三越(日  
本橋)  
新美術新聞 1348

大江志織のおとことおんな展  
10.28—11.3 kara-Sギャラリー  
陶説 742 梅田稔

大久保澄子展—実りへの想い—  
5.31—6.10 紅椿それいゆ  
新美術新聞 1345

草木染 手織と絵画展[大澤武子]  
3.12—3.18 ヒルトピアアーツス  
クエア  
新美術新聞 1337

絵画と草木染・手織展[大澤武子]  
9.1—10.31 ダイヤモンド八ヶ岳  
美術館ソサエティ  
新美術新聞 1353

水彩画家 大下藤次郎 島根県立石  
見美術館所蔵 5.20—6.29 千葉  
市美術館  
日経 5.28 窪田直子

大島成己『haptic green/緑の触覚』  
出版記念展覧会 5.31—6.29  
SUNDAY  
美術手帖 1008 富山由紀子

大杉英郎作品展 3.5—3.11 ギャ  
ラリーび〜た  
新美術新聞 1336

太田三郎展 POST WAR 69 戦争  
遺児 8.11—8.23 コバヤシ画廊  
毎日夕刊 8.19 岸桂子

大竹彩奈展 4.11—4.19 ぎやらり  
い朋  
ギャラリー\* 348

水墨 玄 空 2014[大竹卓]  
11.16—11.29 シルクランド画廊  
新美術新聞 1360  
美術\* 470 小松謙一、中野嘉之、  
大竹卓、呉一駄、島尾新、野地耕  
一郎/顧定珍 進行

大竹山規 油絵展 3.19—3.25 小  
田急(新宿)  
新美術新聞 1338

大谷早苗展 10.20—10.25 銀座ギ  
ャラリーアーチストスペース  
新美術新聞 1357

墨相画 大谷笙紅展 魂のふるさと  
を求めて… 4.25—4.30 有楽町  
朝日ギャラリー  
新美術新聞 1342

大津英敏展 多摩美術大学教授退職  
を記念して〜画学生時代から近作  
までの全仕事〜 4.7—4.21 多  
摩美術大学美術館  
新美術新聞 1340 油井一人 聞き手  
美術\* 463 勅使河原純  
美術の窓 369 武田厚



- 大津英敏の小学宙展 9.24—9.30  
三越(日本橋)  
新美術新聞 1355  
美術\* 469 編集部
- 大津鎮雄展 6.20—7.2 日動画廊  
新美術新聞 1346
- 大津鎮雄展～西欧の誘惑・少年時代から辿る画家の生涯～ 9.27—3.15 サトエ記念21世紀美術館  
新美術新聞 1365 江口健
- 画家たちの上京物語 熊本→東京 坂本善三、大塚耕二、浜田知明の軌跡。 7.19—8.31 熊本県立美術館  
新美術新聞 1350  
デアルテ 31 西本匡伸  
デアルテ 31 林田龍太
- 大築勇吏仁→大岡信へのオマージュ 2.4—2.21 永井画廊  
美術\* 461
- 大槻悦康 日本画展 暁・朧・映 11.20—11.26 ギャラリーコンセプト21  
新美術新聞 1361
- おとおひでお展 8.10—8.17 鹿追町民ホール
- 大成哲個展 Tets Ohnari ∞ Egon Schiele 4.7—5.7 第一生命南ギャラリー  
読売夕刊 4.14 (陸)
- 大西康明 垂直の隙間 vertical emptiness 2.27—3.23 Gallery OUT of PLACE(東京)  
ギャラリー\* 348 小金沢智
- 風景の中の花・鳥→大野逸男 日本画展 12.10—12.16 三越(日本橋)  
新美術新聞 1362  
美術の窓 378 ワシオ・トシヒコ
- 「アート・スコープ2012-2014」旅の後もしくは痕[大野智史] 7.12—10.13 原美術館  
朝日夕刊 10.1
- トーキョー・アート・ナビゲーション・コンペティション受賞展3回[大野修平] 1.14—1.31 BTギャラリー  
美術手帖 1002 小山内あつこ
- 大野俊明展 成安造形大学退任記念 2.10—3.2 成安造形大学ギャラリーアートサイト/ギャラリーウィンドウ/スパイラルギャラリー  
新美術新聞 1336
- 大野昌男展 倉敷市文化連盟賞受賞記念 2.18—3.2 ギャラリー倉敷  
美術の窓 366 編集部
- 大庭英治展 5.12—5.24 高輪画廊  
新美術新聞 1343  
美術の窓 370 ワシオ・トシヒコ
- 大場再生展—光の伝説— 6.4—6.10 高島屋(日本橋)  
新美術新聞 1345
- 奥中章人・大橋史人 めぐるりアート静岡 ワタシとアートはきっとどこかでつながっている 3.5—3.23 静岡県立美術館
- 大樋年雄展 「温新知故」 4.9—4.15 三越(日本橋)(松坂屋(名古屋)、天満屋(岡山、広島、福山))  
新美術新聞 1341
- 第26回平柳田中賞受賞記念 大平實展—砂漠からの風・Santa Ana Wind— 井原市制施行60周年記念 1.24—3.16 井原市立田中美術館  
新美術新聞 1334
- 大平龍一 絶景 8.30—9.27 NA-NZUKA  
読売夕刊 9.22 (阮)
- 大淵繁樹油絵展—安曇野、長崎風景を中心に— 4.16—4.22 松坂屋(上野)  
新美術新聞 1341
- 世界のつくりかた 大巻伸嗣展 9.14—10.26 美濃加茂市民ミュージアム  
REAR 33 楠本亜紀
- 大亦観風 生誕120年 6.3—9.4 和歌山県立近代美術館  
和歌山県立近代美術館ニュース 81 奥村一郎
- 大見伸—この10年のあゆみ— 12.11—12.17 ギャラリー絵夢  
ギャラリー\* 356  
新美術新聞 1362
- 大森一生展 生誕115年 明治・大正・昭和・平成を生きた幻想世界 5.13—5.18 清月堂画廊  
新美術新聞 1343
- 大森克己展 sounds and things 2.6—3.9 MEM  
美術手帖 1004 清水穰
- 大森良三・京展[大森京] 6.17—6.22 川村記念美術館付属ギャラリー  
新美術新聞 1346
- 大森祥吾個展—素顔の風景— 1.23—1.31 創英ギャラリー  
美術\* 461 編集部
- 大森良三・京展 6.17—6.22 川村記念美術館付属ギャラリー  
新美術新聞 1346
- 大和田いずみ展 12.7—12.25 ギャラリー桜の木(銀座)  
新美術新聞 1362
- 岡靖知展 10.24—10.31 飯田美術ギャラリー\* 354  
新美術新聞 1358
- 岡崎乾二郎 Hand Painted Ceramic Tile/Painting 1.27—2.22 南天子画廊  
ギャラリー\* 347 三田晴夫
- 田中信太郎 岡崎乾二郎 中原浩大 かたちの発語展 4.25—6.22 BankART Studio NYK  
ギャラリー\* 349  
ギャラリー\* 350 三田晴夫  
芸術新潮 776  
美術手帖 1006 蔵屋美香 評  
朝日夕刊 6.4 大西若人  
産経 6.12 渋谷和彦  
東京夕刊 6.6 岡部あおみ  
毎日夕刊 6.4 岸桂子
- 小形香代子展 とおくをみる そしてちかくをみる 11.18—11.30  
ギャラリー・タイム  
ギャラリー\* 355
- 岡田三郎助—エレガンス・オブ・ニッポン— 9.19—11.16 佐賀県立美術館  
芸術新潮 778  
デアルテ 31 野中耕介  
デアルテ 31 吉田暁子  
美術屋・百兵衛 30

平成26年美術展覧会(作オ)

読売 11.6 井上晋治  
 岡田高弘・平田英子 洋画二人展  
 7.23—7.29 小田急(町田)(近鉄  
 (樞原))  
 新美術新聞 1350  
 モダンアート協会会員 岡田博幸展  
 10.13—10.18 ギャラリー・ア  
 ート・ポイント  
 新美術新聞 1357  
 Wildlife Art展 in 東京 動物画家  
 岡田宗徳 6.14—6.15 ギャラ  
 リー永谷  
 毎日 6.11 斉藤三奈子  
 岡田裕・泰 父子展～萩に生きる～  
 [岡田泰] 1.8—1.14 三越(日本  
 橋)  
 陶説 731 唐澤昌宏  
 岡野博洋画展2回 3.19—3.25  
 松坂屋(名古屋)  
 美術\* 462 編集部  
 岡野法世 作陶展 5.21—5.27 三  
 越(日本橋)  
 産経 5.20  
 岡部嶺男 火に生き土に生き 10.  
 11—1.12 菊池寛実記念智美術館  
 陶説 738 花里麻理  
 日経 11.19 宮川匡司  
 読売 12.25  
 読売夕刊 12.9 花里麻理  
 岡村昭彦の写真 生きること死ぬこ  
 とのすべて 7.19—9.23 東京都  
 写真美術館  
 東京都写真美術館紀要 14  
 朝日夕刊 9.3 西岡一正  
 読売 8.21 井上晋治  
 読売夕刊 8.19 金子隆一  
 岡本敦生展 “excavation” 12.1—  
 12.20 ギャラリー東京ユマニテ  
 ギャラリー\* 357 三田晴夫  
 産経 12.18  
 岡本健児展 9.22—10.4 Art Me-  
 dia Room  
 REAR 33 高橋綾子  
 ～Celebration～ 岡本優・岡本修  
 双子展20回 9.24—9.29 高島  
 屋(新宿)  
 毎日 9.25 山田大輔  
 岡本太郎とオリンピック展 常設展  
 1.17—4.6 川崎市岡本太郎美術

館  
 朝日夕刊 3.26 竹越萌子  
 創造のゆりかご 岡本太郎のアトリ  
 エ 3.15—6.30 岡本太郎記念館  
 読売 6.26  
 岡本太郎と潜在的イメージパリの  
 仲間たち 4.19—7.6 川崎市岡  
 本太郎美術館  
 岡本太郎の言葉 10.1—2.15 岡本  
 太郎記念館  
 美術の窓 375 平野晁臣  
 岡本光博 マックロポップ 10.25  
 —11.22 eitoeiko  
 美術手帖 1017 近藤亮介  
 ～Celebration～ 岡本優・岡本修  
 双子展20回 9.24—9.29 高島  
 屋(新宿)  
 毎日 9.25 山田大輔  
 小川健一展 1.18—2.22 ケンジタ  
 キギャラリー  
 芸術新潮 771  
 REAR 32 山本さつき  
 小川夕星作品展 市川市ゆかりの作  
 家展 3.4—3.9 八幡市民談話室  
 文化の広場  
 水墨画\* 302  
 小川千麿 縦横無尽に生きる  
 10.11—11.24 福島県立美術館  
 (泉屋博物館分館、京都文化博物  
 館)  
 新美術新聞 1359  
 読売 10.16 渡部恵子  
 小川泰生個展 1.6—1.26 画廊憩  
 ひ  
 ギャラリー\* 345  
 小川博史展 生誕100年 8.19—  
 8.24 愛知県美術館ギャラリー  
 新美術新聞 1352  
 月の上 On the moon[小川待子]  
 1.24—2.15 ギャラリー・ハシモ  
 ト  
 毎日夕刊 1.29 岸桂子  
 小川待子展 月のかけら On the  
 Moon 2.1—2.22 ギャラリー顕  
 美子  
 陶説 733 井上隆生  
 精神造形への挑戦 荻太郎展 1.19  
 —3.16 蕪崎大村美術館  
 新美術新聞 1333

小木曾誠展～光～ 9.10—9.16 三  
 越(日本橋)  
 新美術新聞 1354  
 荻野僚介 cannot see clearly 9.  
 13—10.19 galley COEXIST—  
 TOKYO  
 ギャラリー\* 355 小金沢智  
 荻野令子展 KABURIMONO 9.22  
 —10.4 ギャルリ・ブス  
 奥宣憲書作展—日本のこころと美—  
 5.20—5.25 銀座ギャラリーいず  
 (茨木市立川端康成文学館)  
 新美術新聞 1343  
 奥田小由女展 明けゆく平和 9.10  
 —9.16 高島屋(日本橋)  
 新美術新聞 1353  
 美術\* 468  
 美術の窓 372 一井建二  
 奥田真澄展一人をめぐる物語—  
 4.16—4.22 ギャラリーNEXT  
 新美術新聞 1341  
 奥田真澄展 9.8—9.20 ギャラ  
 リーせいほう  
 新美術新聞 1354  
 奥中章人・大橋史人 めぐるりア  
 ート静岡 ワタシとアートはきつと  
 どこかでつながっている 3.5—  
 3.23 静岡県立美術館  
 奥村彰一展 山水气氛 4.7—4.12  
 ギャラリーb. TOKYO  
 水墨画\* 303  
 奥村博美展 4.22—5.4 ギャラ  
 リーマロニエ  
 陶説 735 梅田稔  
 奥村美佳展～桃源郷を探して～  
 10.22—10.28 高島屋(日本橋)  
 (高島屋(横浜、大阪、京都))  
 新美術新聞 1358  
 奥山民枝展—雲— 4.12—4.27 み  
 ぞえ画廊(東京)  
 ギャラリー\* 348  
 新美術新聞 1341  
 遊亀と靱彦一師からのたまもの・受  
 け継がれた美— 安田靱彦生誕  
 130年、小倉遊亀生誕120年  
 10.11—11.24 滋賀県立近代美術  
 館(愛媛県美術館、宇都宮美術館)  
 新美術新聞 1357

遊亀と靱彦一師からのたまもの・受け継がれた美— 安田靱彦生誕130年、小倉遊亀生誕120年 12.13—1.25 愛媛県美術館(滋賀県立近代美術館、宇都宮美術館) 書道界 302

刑部人展 7.28—8.15 目白美術館 新美術新聞 1351 杉村浩哉

尾崎慎彫刻展～石彫と日記彫 11.7—11.30 THE BLUE BOX GALLERY 新美術新聞 1359

長船善祐油彩画展—写実を超えた詩情— 4.1—4.25 JR由布院駅アートホール(トキハ百貨店、三越(千葉、広島)、東急(吉祥寺)、タマヤサンローズショップ、丸井(今井一条)、岩田屋三越、まるひろ(飯能)、京成(水戸)、リウボウ百貨店) 美術\* 463 編集部

小田薫の彫刻—記憶の住処— 12.2—4.5 平塚市美術館

織田廣喜生誕100年記念展—織田ファミリー愛の軌跡— 6.21—8.31 東京アートミュージアム ギャラリー\* 351

織田廣喜生誕100周年記念展 9.13—10.19 嘉麻市立織田廣喜美術館 デアルテ 31 有江俊哉

小田野尚之 日本画展 4.23—4.29 三越(日本橋)(三越(広島)) 新美術新聞 1342 美術\* 464 編集部

水、そして光[越智波留香] 6.2—6.14 村越画廊 新美術新聞 1345

ジャン＝ミシェル オトニエル 「愛の遺伝子展—DNA of Love—」 軽井沢ニューアートミュージアム 開館3周年記念 7.11—9.23 軽井沢ニューアートミュージアム ギャラリー\* 352 新美術新聞 1354

尾野訓大個展 思春の森 5.17—5.31 アイソフィディスバッチ REAR 32 惣城友美

新発見、再発見の竹喬[小野竹喬] 5.31—7.21 笠岡市立竹喬美術館

小野月世 水彩展 9.29—10.11 ギャラリー一枚の繪 美術の窓 373 高山淳

オノ・ヨーコ「北海道のためのスカイTV」 1.16—3.22 P3 art and environment 朝日夕刊 2.12 西岡一正

交わる縁[えにし]～その作品と交流～ 前田青邨最後の弟子小山硬とからくり人形師玉屋庄兵衛 10.18—12.14 古川美術館 新美術新聞 1360

小山田二郎 生誕100年 11.8—2.22 府中市美術館 新美術新聞 1360 美術手帖 1019 黒瀬陽平 日経 12.10 宮川匡司

折笠勝之油絵展14回 11.12—11.18 小田急(新宿) 新美術新聞 1360

折元立身 500人のおぼあちゃんのランチ ポルトガル 11.2—11.30 CAPSULE ギャラリー\* 355

折元立身 子ブタをおんぶする 11.15—12.6 青山|目黒 ギャラリー\* 355

折本美禰子絵画展29回 10.9—10.15 京王(聖蹟桜ヶ丘) 新美術新聞 1357

『月映』 田中恭吉・藤森静雄・恩地孝四郎 11.16—12.28 宇都宮美術館(和歌山県立近代美術館、愛知県美術館、東京ステーションギャラリー) 新美術新聞 1362 伊藤伸子 版画芸術 165

(カ)

開田裕治 原画展 ART of ゴジラ 3.21—5.6 チーバズギャラリー 東京 4.15 竹島勇 読売夕刊 4.5 小椋勝男

建築家ガウディ×漫画家井上雄彦 シンクロする創造の源泉[アントニオ・ガウディ] 7.12—9.7 森アーツセンターギャラリー(金沢

平成26年美術展覧会(作オ、カ)

21世紀美術館、長崎県美術館、兵庫県立美術館、せんだいメディアテーク) 美術手帖 1010 編集部 産経 7.16 戸谷真美 毎日夕刊 8.20 永田晶子

キャラクラッシュ!展[カオス\*ラウンジ] 10.11—11.3 カオス\*ラウンジ アトリエ 美術手帖 1017 榎木野衣

放射線像展[加賀谷雅道] 4.23—4.28 Gallery やさしい予感(南相馬市市民文化会館ゆめはっと、郡山教組会館、中野ゼロホール西館 美術ギャラリー/中野共立病院、国分寺市本多公民館、東村山市中央公民館、佐藤油店) 東京 4.20 藤川大樹

加川広重 巨大絵画が繋ぐ東北と神戸2014 1.5—1.17 デザイン・クリエイティブセンター神戸 東京夕刊 3.14 石橋毅史 日経夕刊 1.4

垣内カツアキ新作展 3.20—6.6 伊那アルプス美術館 新美術新聞 1340

垣見久子個展 6.27—7.3 横浜画廊元町店 新美術新聞 1347

隠崎隆一 事に仕えて 1.18—3.30 菊池寛実記念智美術館 新美術新聞 1335 陶説 730 島崎慶子 朝日夕刊 3.19 大西若人 日経夕刊 3.6 毎日夕刊 1.29 岸桂子 読売夕刊 1.28 島崎慶子 読売夕刊 2.10 (陸)

掛井五郎展 3.8—4.27 東京アートミュージアム ギャラリー\* 347

掛川正治油絵展 1.9—1.18 ギャラリー芙蓉 新美術新聞 1332

松澤有子/寛有子 めぐるりアート静岡 ワタシとアートはきつとどこかでつながっている 3.4—3.23 静岡市美術館

中畔千嘉・影山あつこ二人展 12.  
15—12.27 ギャラリー福山  
新美術新聞 1362

籠橋宗範展 香炉 ZakuZaku 7.  
15—7.20 画廊ぐれごりお  
陶説 738 小吹隆文

葛西薫展 「ヒロシマ・アピールズ」  
第16回亀倉雄策賞受賞記念 4.8  
—5.15 クリエイションギャラリー  
—G8 (新潟県立近代美術館、Kita  
: Kara Gallery)  
ギャラリー\* 350 小金沢智  
毎日夕刊 4.23 永田晶子  
読売夕刊 4.21 (陸)

笠井誠——静物[もの]とのかたらい  
—— 11.19—11.25 高島屋(日本  
橋)(高島屋(横浜、大阪、京都、  
名古屋))  
新美術新聞 1360 土方明司

葛西千麗個展 5.29—6.3 ギャラ  
リー守玄斎  
水墨画\* 304

笠原鉄明彫刻展 揺らぐ月 9.15—  
9.20 GALERIE SOL  
新美術新聞 1354

天と地・熊野へささげる書巡礼[柏  
木白光] 1.9—1.15 京王(新宿)  
東京 1.9 半田滋

柏本龍太展 9.2—9.16 日動画廊  
ギャラリー\* 353

片岡鶴太郎展 還暦紅 画業20周  
年 8.27—9.8 松屋(銀座)(川徳  
百貨店、イオンモール下田、三越  
(星ヶ丘、札幌)、みやざきアート  
センター、ハートピア春江、阪急  
(博多)、阪急うめだギャラリー、  
しもだて美術館、新井浜市美術館)  
毎日 9.5 網谷隆司郎

片山浩展—in that room— 6.14—  
6.29 ギャラリー芽楽  
REAR 33 阿野文香

ヒロシマ 美しき清掃の具[ガタロ]  
1.14—1.27 ギャラリー古籐(ス  
ペースナナ)  
東京 1.14 土田修

勝井三雄展 兆しのデザイン 1.9  
—1.31 ギンザ・グラフィック・  
ギャラリー  
芸術新潮 771

香月泰男 シベリア・シリーズと原  
画 没後40年 4.17—5.6 山口  
県立美術館  
読売 5.1 白石知子

北斎漫画展[葛飾北斎] 4.24—4.26  
浦上蒼穹堂  
目の眼 452

ボストン美術館浮世絵名品展 北斎  
4.26—6.22 神戸市立博物館(名  
古屋ボストン美術館、上野の森美  
術館、北九州市立美術館分館)  
日経 4.20

ボストン美術館浮世絵名品展 北斎  
7.12—8.31 北九州市立美術館分  
館(神戸市立博物館、名古屋ボス  
トン美術館、上野の森美術館)  
日経 7.20  
日経 8.17

ボストン美術館浮世絵名品展 北斎  
9.13—11.9 上野の森美術館(神  
戸市立博物館、名古屋ボストン美  
術館、北九州市立美術館分館)  
産経 9.21 洪沢和彦  
日経 9.13 宮川匡司  
日経 9.21  
日経 10.19  
日経夕刊 9.4

SOFT VINYL SCULPTURES[加藤  
泉] 5.24—6.29 CAPSULE  
朝日夕刊 6.25 大西若人  
読売 6.19 森田陸

東山魁夷と東京美術学校有志—橋本  
明治・加藤栄三・山田申吾—  
10.11—11.30 市川市東山魁夷記  
念館  
新美術新聞 1358

加藤清之陶展 4.19—4.27 アート  
サロン光玄  
陶説 735 井上隆生

人間国宝加藤孝造陶展 6.11—6.17  
三越(日本橋)  
新美術新聞 1346

甞るラスター彩 七代加藤幸兵衛展  
2.26—3.4 松坂屋(名古屋)  
陶説 734 井上隆生

加藤正悟個展 7.7—7.12 スルガ  
台画廊  
新美術新聞 1348

加藤委展—サンカクノココロ—  
7.16—7.22 高島屋(大阪)  
陶説 738 梅田稔

加藤委展 His Ladder to the Be-  
auty 10.18—11.9 ギャラリー  
器館  
陶説 742 清水穰

加藤俊雄展 6.23—6.28 みゆき画  
廊  
新美術新聞 1347

加藤邦元日本画展32回 古稀記念  
～春の桜から始まる日本の四季II  
～ 3.20—3.25 ヒルトピアア  
ートスクエア  
新美術新聞 1338

加藤邦元日本画展 6.30—7.6 ギ  
ャラリー八重洲・東京  
新美術新聞 1347

加藤邦元日本画展34回 日本の四  
季—秋冬から桜の季節へ—  
11.27—12.8 ヒルトピアア  
ートスクエア  
新美術新聞 1361

加藤正嘉個展 8.30—9.28 なうふ  
現代  
REAR 33 古川秀昭

加藤松雄個展 相補する抽象と自然  
3.25—3.30 東桜会館  
REAR 32 日沖隆

加藤光代個展 9.23—9.28 銀座清  
月堂画廊  
新美術新聞 1355

加藤祐子個展 「宙の鏡」 7.2—  
7.12 ストライプハウスビル3階  
ギャラリー  
ギャラリー\* 351

加藤豊彫刻展 2.12—2.17 三越  
(日本橋)  
新美術新聞 1335 江口健  
美術の窓 365 武田厚

加藤由利子個展 9.25—10.5 三嶋  
大社宝物館ギャラリー  
新美術新聞 1355

加藤力之輔展 1.5—1.19 印象社  
ギャラリー  
新美術新聞 1332

加藤良子油彩画展 10.6—10.11  
地球堂ギャラリー  
新美術新聞 1356

- 美術の窓 373 高山淳  
 美に濃ゆし[加藤亮太郎] 7.30—  
 8.5 高島屋(名古屋)  
 陶説 739 井上隆生  
 門脇俊一 生誕100年 2.8—3.2  
 香川県立ミュージアム  
 金井訓志展 6.21—7.9 ギャラリー  
 一椿  
 新美術新聞 1347  
 金井清子展 第17回喜寿記念  
 7.28—8.3 地球堂ギャラリー  
 新美術新聞 1350  
 金沢翔子 善立寺展 9.20—9.28  
 善立寺  
 東京 9.24 丹治早智子  
 金澤麻由子 動く絵 1.5—3.30  
 ヤマザキマザック美術館  
 REAR 32 原久子  
 カナシキシンボウ展 ANVIL[金敷  
 駿房] 9.10—9.23 シアター  
 1010ギャラリー  
 書道界 300  
 毎日夕刊 9.11 桐山正寿  
 金丸悠児展 ホシノケシキ 12.15  
 —12.26 四季彩舎  
 ギャラリー\* 356  
 金森良泰展—フレスコ画— 7.14—  
 7.19 ぎやらりいサムホール  
 新美術新聞 1349  
 MATERIAL ANALYSIS[金氏徹平]  
 11.15—12.20 Shugo Arts  
 芸術新潮 781  
 金子孝信展 1930年代、青春、東  
 京、日本画、戦争。 6.21—7.27  
 新潟市美術館  
 新美術新聞 1349  
 朝日夕刊 7.16 大西若人  
 金子奈央展 新世代への視点2014  
 画廊からの発言 7.21—8.2 ギ  
 ャラリーQ  
 産経 7.24 渋谷和彦  
 金重有邦展—Forever— 1.8—1.14  
 天満屋(岡山)  
 陶説 732 花里麻理  
 伊奈信男賞受賞作品展39回 金村  
 修 Ansel Adams Stardust (You  
 are not alone) 12.2—12.8 新  
 宿ニコンサロン(大阪ニコンサロ  
 ン)  
 読売 11.27  
 shiseido art egg vol.8 加納俊輔  
 ジェンガと噴水 1.10—2.2 資  
 生堂ギャラリー  
 叶道夫松谷展 京都市立芸術大学退  
 任記念[叶松谷] 3.15—3.30 京  
 都市立芸術大学ギャラリー@KCUA  
 新美術新聞 1339  
 陶説 734 梅田稔  
 鎌木清方と江戸の風情 9.9—10.19  
 千葉市美術館  
 新美術新聞 1355 島尾新  
 日経 9.18 窪田直子  
 毎日夕刊 9.18 高階秀爾  
 GABOMI クリテリオム89 11.8  
 —2.1 水戸芸術館現代美術ギ  
 ャラリー  
 鎌田あや展 いずれ、いずれ、ある  
 ところで… 8.25—9.6 ギャル  
 リー—東京ユマニテ  
 ギャラリー\* 352  
 Mate Kamaras 絵画展[マテ・カマ  
 ラス] 11.15—12.21 スイサン  
 ス・ギャラリー  
 東京 11.17 矢島智子  
 浅井忠・武田五一と神坂雪佳—京都  
 高等工芸学校・京都市立美術工芸  
 学校の図案教育I 7.14—9.5  
 京都工芸繊維大学美術工芸資料館  
 神出睦子日本画展 いのちの煌めき  
 4.9—4.15 大丸(心齋橋)  
 新美術新聞 1340  
 上村卓大展 東アジアの夢 Bank-  
 ART Life IV 東アジア文化都市  
 2014横浜 UNDER35/2014  
 8.22—9.3 BankART Studio  
 NYK  
 亀井梓展 neo morph 12.4—12.  
 27 NODA CONTEMPORARY  
 ギャラリー\* 356  
 鴨頭みどり展 10.25—11.3 スベ  
 ース大原  
 陶説 742 井上隆生  
 茅野吉孝水彩画展 12.5—12.14  
 Gallery エル・ポエタ  
 新美術新聞 1362  
 UNSOLD—Hiroshi Sugimoto/So-  
 phie Calle/Ryota Aoyagi 11.20  
 —1.31 ギャラリー—小柳  
 芸術新潮 782  
 美術手帖 1018 榎木野衣  
 読売夕刊 12.1 (阮)  
 ジャック・カロ リアリズムと奇想  
 の劇場 4.8—6.15 国立西洋美  
 術館  
 新美術新聞 1344  
 産経 5.15  
 読売 4.27  
 読売夕刊 4.4  
 川上幸子 Lineament 線と生成  
 或いは解体 11.26—12.7 京都  
 芸術センター  
 川上澄生 東西のものがたり 7.12  
 —9.28 鹿沼市立川上澄生美術館  
 永瀬義郎と川上澄生—愛と浪漫と詩  
 情— 10.4—12.23 鹿沼市立川  
 上澄生美術館  
 朝日夕刊 11.12 中村茉莉花  
 川上和歌子展「赤い風船 白いコ  
 ロナ」 9.17—10.12 TRAU-  
 MARIS SPACE  
 産経 10.2  
 川喜田半泥子の書と絵画 4.18—  
 6.29 石水博物館  
 書道界 295  
 iichiko デザイン30年展 地下鉄10  
 年を走りぬけて 河北秀也 東京  
 芸術大学退任記念 11.13—11.26  
 東京藝術大学大学美術館  
 芸術新潮 781  
 美術の窓 374 編集部  
 川崎鈴彦展 収蔵作品展—自然と暮  
 らしへの旅— 12.13—2.22 佐  
 久市立近代美術館油井一二記念館  
 新美術新聞 1362 工藤美幸  
 陶の空間・草木の空間 川崎毅と関  
 島寿子展 7.12—9.28 菊池寛実  
 記念智美術館  
 朝日夕刊 8.20 大西若人  
 日経 8.17  
 日経夕刊 8.7  
 毎日夕刊 9.3 岸桂子  
 読売夕刊 8.4 (睦)  
 川島清 新作版画展 埠頭莖 6.2  
 —6.21 ギャラリー—東京ユマニテ  
 川島秀明展「come out」 2.19—  
 3.17 8/ART GALLERY/Tomio  
 Koyama Gallery

美術の窓 367 川島秀明 談  
 福島善三・川瀬忍展 日本陶磁協会  
 賞制定60年記念 8.1—8.10 和  
 光ホール  
 新美術新聞 1351  
 陶説 736 森孝一  
 陶説 739 唐澤昌宏  
 川瀬巴水展—郷愁の日本風景 生誕  
 130年 7.19—9.7 川越市立美  
 術館(千葉市美術館、高島屋(大阪、  
 横浜、京都、日本橋)、山口県立  
 萩美術館・浦上記念館)  
 新美術新聞 1352  
 東美アートフェア 川瀬伊人展—金  
 ・銀・墨— 10.17—10.19 東京  
 美術倶楽部  
 ギャラリー\* 354  
 川瀬伊人展—金・銀・墨— 10.23  
 —11.3 春風堂画廊  
 ギャラリー\* 354  
 「やまなしの戦後美術—四人の革新  
 者たち」展 橋田尚之 松田富彌  
 河内成幸 深沢軍治 9.20—11.3  
 山梨県立美術館  
 新美術新聞 1355  
 美術の窓 373 向山富士雄  
 川西英回顧展 生誕120年 10.4—  
 12.23 神戸市立小磯記念美術館  
 版画芸術 165 金井紀子  
 川端健太郎展—cry green— 4.8—  
 4.22 シルバーシェル  
 陶説 735 外館和子  
 川端健太郎 相展 7.19—8.3 ギ  
 ャラリー教寄  
 陶説 738 井上隆生  
 幻想へのいざない[川端龍子] 1.4  
 —5.6 大田区立龍子記念館  
 新美術新聞 1333  
 川村悦子 蓮×聯 6.21—7.6 ぎ  
 やらりい思文閣(思文閣(銀座、福  
 岡))  
 八代清水六兵衛×川村悦子展 謳歌  
 する生命のかたち 11.5—11.11  
 松坂屋(名古屋)  
 陶説 742 井上隆生  
 川村秀樹教授 退任記念展 11.18  
 —11.27 愛知県立芸術大学芸術  
 資料館  
 陶説 743 井上隆生

川村良紀水彩画展 6.9—6.14 ぎ  
 やらりいサムホール  
 ギャラリー\* 353 ワシオ・トシ  
 ヒコ  
 生誕120年 青華の世界 河本礫亭  
 展 3.21—3.30 アートサロン光  
 玄  
 陶説 735 井上隆生  
 佳麗なる近代京焼—有栖川宮家伝来、  
 幹山伝七の逸品 3.21—6.22 宮  
 内庁三の丸尚蔵館  
 神田日勝の造形思考〜キュビズムの  
 多視点〜 10.21—12.7 神田日  
 勝記念美術館  
 蒲原勝美展 10.27—11.2 ギャラ  
 リー一眺  
 新美術新聞 1358

(キ)

日本画家木内キミ江展 光明への道  
 7.5—10.19 茂原市立美術館・郷  
 土資料館  
 新美術新聞 1348  
 Genesis 菊地伸治展 11.10—11.  
 22 いらりや画廊  
 ギャラリー\* 355  
 もも猫工房 菊地信介個展 4.7—  
 4.12 繪画廊  
 ギャラリー\* 348  
 菊地武彦×武田州左展—藝にも晴れ  
 にも— 6.16—6.21 銀座井上画  
 廊  
 新美術新聞 1345  
 新美術新聞 1346  
 装幀=菊地信義 とある「著書50人  
 の本」展 5.31—7.27 神奈川近  
 代文学館  
 美術の窓 369 野見山暁治  
 菊池治子作品展 1.18—1.24 埼玉  
 画廊  
 新美術新聞 1333  
 菊池治子展 12.17—12.23 高島屋  
 (日本橋)  
 新美術新聞 1363  
 岸宏士〜ナイトクルーズ 6.21—  
 6.29 京王プラザホテルロビーギ  
 ャラリー  
 新美術新聞 1346

画家岸田劉生の軌跡 油彩画・装丁  
 画・水彩画などを中心に 6.21—  
 8.17 笠間日動美術館  
 岸田吟香・劉生・麗子 知られざる  
 精神の系譜[岸田劉生/岸田麗子]  
 2.8—4.6 世田谷美術館(岡山東  
 立美術館)  
 ギャラリー\* 346  
 芸術新潮 771  
 新美術新聞 1335  
 朝日夕刊 3.26 大西若人  
 日経 2.19 宮川匡司  
 毎日 2.2 岸桂子  
 毎日 3.4 高嶋雄一郎  
 毎日 3.7 杉山悦子  
 毎日 3.14 土屋礼子、鍵岡正謙  
 談/岸桂子 聞き手  
 毎日夕刊 2.18 酒井忠康  
 読売 3.13 前田恭二  
 岸野圭作日本画展—表具と共に—  
 6.11—6.17 高島屋(日本橋)  
 新美術新聞 1346  
 美術の窓 369 小森佳代子  
 世代を超えて 栗原一郎・木田詩子  
 ・五百住乙人 4.23—6.29 ART  
 GALLERY 呼友館  
 新美術新聞 1343  
 北蓮蔵 渡欧期の肖像画 6.30—  
 8.3 早稲田大学會津八一記念博  
 物館  
 ミュージアムコレクションII 北大  
 路魯山人展 塩田コレクション  
 9.28—12.21 世田谷美術館  
 朝日夕刊 12.10 曾根牧子  
 北川佳色 近作展 4.15—4.20 鳩  
 居堂画廊  
 新美術新聞 1341  
 北島敬三 "UNTITLED RECORDS  
 Vol. 1"展 3.21—4.20 フォトグ  
 ラファーズ・ギャラリー  
 毎日夕刊 4.16 岸桂子  
 北田克己日本画展 林泉遊楽 6.25  
 —7.1 三越(日本橋)(三越(名古  
 屋、仙台、広島))  
 新美術新聞 1347  
 北村堅治 守護神・土みかど様展  
 11.14—11.22 工芸ギャラリー手  
 児奈  
 陶説 742 井上隆生

北村真展 3.26—4.1 高島屋(高崎)  
新美術新聞 1339

人間国宝二人展—やきものとおりの鈴木藏・北村武資— 1.16—1.25 和光ホール(松坂屋(名古屋)、高島屋(京都))  
陶説 744 花里麻理

BIRDS[吉楽洋平] 7.12—7.27  
NANATASU GALLERY  
ギャラリー\* 351

「やまなしの戦後美術—四人の革新者たち」展 橋田尚之 松田富彌 河内成幸 深沢軍治 9.20—11.3  
山梨県立美術館  
新美術新聞 1355  
美術の窓 373 向山富士雄

城戸保個展 ある風景 4.3—4.26  
愛知県立芸術大学サテライトギャラリー  
REAR 32 鈴木俊晴

木戸龍介 スウィッチ 押すの 押さないの どっちなの 1.7—1.28 LIXIL ギャラリー2  
ギャラリー\* 345

ネガ・アフター・イメージ[木戸龍介] 9.13—10.25 アキバタマビ21  
東京夕刊 10.3 中村英樹

木藤純子展—ひるとよる 9.23—10.18 ギャラリーキャプション  
REAR 33 千葉真智子

木梨憲武展×20years INSPIRATION—瞬間の好奇心 5.20—6.8  
上野の森美術館(金沢21世紀美術館、盛岡市民文化ホール、兵庫県立美術館、長崎県美術館、福岡アジア美術館、岡山シティミュージアム、沖縄県立博物館・美術館)  
美術\* 465 イムラアートギャラリー 取材協力  
美術手帖 1005 島貫泰介  
朝日夕刊 5.31 安齋耕一  
産経 5.20  
産経 5.29

絹谷香菜子展—生命の樹— 2.26—3.4 高島屋(日本橋)(高島屋(京都、横浜、大阪、新宿))  
美術\* 462 編集部

毎日夕刊 2.26 岸桂子

絹谷香菜子展 11.12—11.28 新生堂  
新美術新聞 1360

絹谷幸太 創知彫刻 第19回名古屋大学博物館特別展 7.24—11.29 名古屋大学博物館前庭・テラス・特別展示会場  
新美術新聞 1351

鉛筆のチカラ—木下晋・吉村芳生展 12.6—2.8 熊本市現代美術館  
新美術新聞 1363

木原和敏水彩・素描画展 7.8—7.13 画廊宮坂  
新美術新聞 1348

金光男 White light White heat アペルト01 9.13—11.24 金沢21世紀美術館

金理有 Hypothalamaniac 8.20—9.8 高島屋(日本橋)

クリエイションの未来展1回 木村恒介展—光素[エーテル]の呼吸— 清水敏男監修 9.4—11.24 LIXIL ギャラリー2  
芸術新潮 779  
新美術新聞 1353

書と刻の響き vol.2 3人展 書・表現の広がりを求めて—それぞれの貌—[木村朱炎] 11.4—11.9 鳩居堂画廊  
新美術新聞 1359

ネガ・アフター・イメージ[木村剛士] 9.13—10.25 アキバタマビ21  
東京夕刊 10.3 中村英樹

木村秀樹展 Charcoal 京都市立芸術大学退任記念 3.15—3.30 京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA  
新美術新聞 1339  
版画芸術 163 清水稔

木村秀樹個展「Charcoal」 11.29—12.14 イムラアートギャラリー—東京  
読売夕刊 12.8 (阮)

江戸桜ルネッサンス～夜桜うたげ～ [木村英智] 3.7—3.30 日本橋三井ホール  
産経 3.23

平成26年美術展覧会(作キ、ク)

日本画家・木村光宏の世界展 3.15—5.11 古川美術館  
新美術新聞 1338

カジ・ギヤスディン展 1.13—1.25  
ギャラリーゴトウ  
新美術新聞 1333

カジ ギヤスディン展 9.22—10.4  
みゆき画廊  
新美術新聞 1356

101年目のロバート・キャバ 誰もがボブに憧れた 3.22—5.11 東京都写真美術館(九州芸文館、東京富士美術館)  
朝日夕刊 3.11 ジョン・モリス 談/稲田信司 聞き手  
朝日夕刊 4.16 鈴木逸弘  
朝日夕刊 4.23 西岡一正

KINFOLK The Shared Table featuring[カリッサ・ギャロ] 5.30—8.15 DIESEL ART GALLERY  
美術手帖 1008 編集部

印刷と美術のあいだ キヨッソーネとフォンタネージと明治の日本 [エドアルド・キヨッソーネ] 10.18—1.12 印刷博物館

八代清水六兵衛×川村悦子展 謳歌する生命のかたち 11.5—11.11 松坂屋(名古屋)  
陶説 742 井上隆生

双覚羅—全世界人類環境対話展[金醒石] 11.17—11.21 東京中国文化センター  
美術の窓 376 編集部

(ク)

郭徳俊 ニコッとシェー 1960年代絵画を中心に 2.1—5.11 国立国際美術館  
読売 2.20 木村未来

ステファニー・クエール 6.6—7.6  
POST  
芸術新潮 776

九鬼三郎 油絵展—古陶と花— 10.29—11.4 三越(名古屋)  
新美術新聞 1358

草津ローラン展 6.16—6.21 みゆき画廊  
ギャラリー\* 350

あなたの肖像 工藤哲巳回顧 2.4—3.30 東京国立近代美術館(国立国際美術館、青森県立美術館)  
 新美術新聞 1334 島敦彦  
 朝日夕刊 2.19 西岡一正/千葉成夫  
 産経 2.20 渋谷和彦  
 東京夕刊 3.14 石川翠  
 日経夕刊 1.28 窪田直子  
 読売夕刊 3.3 (井)

ヒト・ハナ 画集刊行記念展 國司華子 12.3—12.19 新生堂  
 新美術新聞 1362

国本泰英 4.11—5.12 ベイスギャラリー

ひろみの世界 in 銀座[久保田ひろみ] 11.23—11.29 美の起源  
 新美術新聞 1359

忘れられた画家シリーズ—35 久保田米僊遺作展 明治日本画の鬼才 11.5—12.6 星野画廊  
 新美術新聞 1361

熊谷守一展～画家がみつめた小さいのち 豊かなころ～ 3.8—4.20 ひろしま美術館  
 新美術新聞 1337

熊谷守一展 守一のいる場所 9.5—10.19 岐阜県美術館  
 美術\* 468  
 日経 9.21

久米亮子展—window— 5.23—6.6 名古屋画廊  
 新美術新聞 1344  
 REAR 32 喜田早菜江

倉重光則 未完の地図 10.18—11.16 奈義町現代美術館

倉地比沙支個展—no confidence man— 10.13—10.26 万画廊  
 ギャラリー\* 354

倉橋利明展 6.2—6.14 コバヤシ画廊  
 水墨画\* 304

星を賣る店 クラフト・エヴィング 商會のおかしな展覧会 1.25—3.30 世田谷文学館  
 朝日夕刊 3.19 西岡一正

世代を超えて 栗原一郎・木田詩子・五百住乙人 4.23—6.29 ART GALLERY 呼友館

新美術新聞 1343

アンドレアス・グルスキー展 2.1—5.11 国立国際美術館(国立新美術館)  
 美術屋・百兵衛 28

黒河兼吉陶磁器デザイン展 9.9—9.21 アートライフみつはし  
 陶説 740 梅田稔

黒川英夫展 11.10—11.15 ギャラリー・ルームサン  
 新美術新聞 1360

黒木国昭ガラス作品展16回 創作50年記念 7.30—8.5 高島屋(日本橋)  
 新美術新聞 1350

黒木洋子展 6.9—6.15 ギャラリー銀座  
 美術の窓 371 ワシオ・トシヒコ

黒崎彰新作展 木版画連作『万葉(近江)(大和)』とペーパーワーク 9.20—10.12 ギャラリー宮脇  
 版画芸術 165 宮脇豊

黒崎俊雄展 11.14—11.24 ギャラリーアピアント  
 新美術新聞 1360

告発する美術2 ジョージ・グロスとオットー・ディックス 8.5—10.26 福岡市美術館

近代日本洋画の巨匠 黒田清輝展 6.7—7.21 京都文化博物館  
 新美術新聞 1346

黒田征太郎 コヨーテ展 7.13—7.27 ぎやらりい思文閣(思文閣(福岡、銀座))

黒田辰秋の世界 目利きと匠の邂逅 生誕110年 2.1—3.10 そごう美術館  
 美術の窓 367 竹田博志  
 読売 2.27 富山太佳夫

黒田秀方 ミニチュア展 12.8—12.14 銀座渋谷画廊  
 ギャラリー\* 356  
 新美術新聞 1362

黒田真由美展 10.20—10.28 ギャラリー・サロンドエス  
 美術の窓 373 高山淳

美に濃ゆし[桑田卓郎] 7.30—8.5 高島屋(名古屋)

陶説 739 井上隆生

桑野純平個展—ファンタスティック・トラベル 2.26—3.2 ムーヴ町屋  
 朝日 2.19

桑原甲子雄の写真 トーキョー・スケッチ60年 4.19—6.8 世田谷美術館  
 朝日夕刊 5.14 西岡一正

桑原盛行展 11.14—12.6 gallery a-cube  
 ギャラリー\* 355

(ケ)

ウィリアム・ケントリッジ 時間の抵抗 2.8—3.16 元・立誠小学校 講堂  
 芸術新潮 772

見目陽一展 1.8—1.15 ギャラリーはなみち  
 版画芸術 162

(コ)

水墨玄空 2014[呉一騏] 11.16—11.29 シルクランド画廊  
 新美術新聞 1360  
 美術\* 470 小松謙一、中野嘉之、大竹卓、呉一騏、島尾新、野地耕一郎/嗣定珍 進行

鯉江良二展—A Resurrection— 7.12—7.27 ギャラリー器館  
 陶説 738 清水稔

小泉元生個展—南フランスだより— 6.23—6.29 ギャラリー・ルームサン  
 新美術新聞 1347

小磯良平展 10.25—12.7 稲沢市 荻須記念美術館

郷倉和子日本画展 12.24—1.6 三越(日本橋)  
 新美術新聞 1364 川口直宜

光嶋裕介 新作展—幻想都市風景 9.3—9.20 ときの忘れもの 毎日夕刊 9.10 岸桂子

甲谷武展 7.1—9.28 三重県立美術館

コウチ通信—河内大樹展— 2.10—2.17 Mizenka Gallery  
 ギャラリー\* 346



- 河野次郎と明治・大正の画人ネットワーク 9.6—10.5 足利市立美術館(栃木県立美術館)  
読売 10.2 渡部恵子
- 河野里枝の風船旅行 ファンタスティックイメージの交響詩 6.26—10.14 池田20世紀美術館
- 前田昌良×涙ガラス制作所×鉱物アソビ 輪唱—小川洋子へのオマージュ 4.4—4.12 Gallery SU(恵文社一乗寺店・ギャラリーアンフェール)  
芸術新潮 774
- 興 招優護 / 6.27—7.20 Yoshimi Arts  
ギャラリー\* 351
- コンラッド・ヨン・ゴードリー展 5.10—5.25 ぎやらりい思文閣(思文閣(銀座、福岡))
- ネガ・アフター・イメージ[古賀義浩] 9.13—10.25 アキバタマビ21  
東京夕刊 10.3 中村英樹
- 五木田智央 TOMOO GOKITA THE GREAT CIRCUS 8.31—12.24 川村記念美術館  
美術手帖 1016 五所純子 聞き手  
朝日夕刊 12.3 大西若人  
読売 11.20 前田燕二/井上晋治
- 國領経郎展 砂丘と群像を描く 10.19—11.30 ミウラート・ヴィレッジ  
ギャラリー\* 355  
新美術新聞 1361
- 國領経郎展 横浜国立大学寄贈記念 10.24—12.19 横浜国立大学 YNU ミュージアム  
ギャラリー\* 355  
新美術新聞 1361
- 小暮真望 版画展 10.13—10.18 文藝春秋画廊  
新美術新聞 1357
- 小阪謙造の世界展2014～風景・花・石佛・W.M.ヴォーリズ 建築文化遺産を描く～油彩・版画 11.5—11.10 アートデアート・ビュー  
新美術新聞 1359
- 小澤太一 写真展 ナウル日和 10.16—10.22 キヤノンギャラリー(銀座)(キヤノンギャラリー(仙台、名古屋))  
毎日 10.17 立花江里香
- 小柴悦子展 11.24—11.29 銀座井上画廊  
新美術新聞 1361
- 小島一郎 北へ、北から 8.3—12.25 IZU PHOTO MUSEUM  
朝日夕刊 9.24 大西若人  
毎日夕刊 12.10 岸桂子
- 郷土ゆかりの作家展 小島善太郎と藤本能道 6.7—7.13 青梅市立美術館  
毎日 6.7 柴田朗
- 小島孝子と女子美術大学同窓展～葎崎大村コレクションを中心に～ 7.26—9.15 北アルプス展望美術館  
新美術新聞 1353
- 夏休み子どものプログラム2014 こじまひさや—あっち?こっち?どっち?[小島久弥] 7.19—8.17 豊田市美術館  
REAR 33 中西園子
- 小島房子展 森羅万象 7.7—7.12 ギャラリー暁  
美術の窓 372 ワシオ・トシヒコ
- 小杉小二郎展 窓辺の物がたり 10.8—10.14 高島屋(日本橋)(高島屋(大阪、京都、横浜、新宿))  
新美術新聞 1357  
美術\* 469 渡辺正  
美術の窓 373 小森佳代子
- 小杉放菴展 没後50年 9.20—11.3 小杉放菴記念日光美術館  
新美術新聞 1355  
朝日夕刊 10.22 東英美  
読売 10.23
- 二世五姓田芳柳—その知られざる画業— 10.25—2.22 さしま郷土館ミュージズ/坂東市立猿島資料館
- 小谷博貞 絵画の冒険 近美コレクション 生誕100年記念 12.10—4.12 北海道立近代美術館  
新美術新聞 1366
- 児玉敏郎絵画展7回 7.29—8.4 東御市文化会館  
新美術新聞 1350
- ゴッホの《ひまわり》展 特別公開 東日本大震災復興支援[フィンセント・ファン・ゴッホ] 7.15—8.31 宮城県美術館  
新美術新聞 1349  
読売 7.31 渡部恵子
- ゴトウヒロシ個展 「青の薺めき」 6.6—6.11 HB Gallery  
毎日夕刊 6.4 鶴谷真
- 小西紀行「人間の行動」 8.23—9.27 アラタニウラノ  
美術手帖 1014 近藤亮介
- 小西真奈「Reflection」 5.31—6.28 アラタニウラノ  
産経 6.12 渋谷和彦
- 小西保文展 人間愛—人びとへのまなざし— 7.21—9.28 奈良県立万葉文化館  
新美術新聞 1350
- 此木三紅大の万華鏡 その2 油絵で描く日本の美 10.4—11.16 松山庭園美術館  
新美術新聞 1359
- 此木三紅大の七変化展—自由なる魂の賛歌— 10.4—12.23 ほくさい美術館  
新美術新聞 1359
- 木島櫻谷—京都日本画の俊英— 1.11—2.16 泉屋博古館分館(泉屋博古館)  
新美術新聞 1333 野地耕一郎  
水墨画\* 298  
朝日夕刊 1.29 西岡一正  
産経 1.26 渋谷和彦  
毎日夕刊 2.5 岸桂子  
読売 1.23
- 絵師たちの視線[まなざし]—安治、清親、光逸— 井上安治生誕150年記念[小林清親] 4.27—6.8 茅ヶ崎美術館  
版画芸術 163 西内裕詞
- 木版表現の広がり—吹田文明と小林敬生の世界— 5.10—6.22 東広島市立美術館  
新美術新聞 1344

小林賢太郎がコントや演劇のために  
 つくった美術 展 9.19—10.5  
 スパイラルガーデン(三菱地所ア  
 ルティアム)  
 美術手帖 1012 編集部  
 東京 9.23

パランプセスト 重ね書きされた記  
 憶/記憶の重ね書き Vol.4 小  
 林耕平 10.11—11.8 ギャラリ  
 ーαM  
 東京夕刊 10.31 古谷利裕

小林孝亘展 私たちを夢見る夢  
 11.15—12.23 横須賀美術館  
 ギャラリー\* 355  
 美術手帖 1018 福永信  
 産経 12.18 渋谷和彦  
 東京夕刊 12.12 中村英樹  
 毎日夕刊 12.17 岸桂子  
 読売 11.20 前田恭二/井上晋  
 治

小林正誠展—アクリル絵画による—  
 12.1—12.9 柴田悦子画廊  
 新美術新聞 1362

小林泰彦展 パブリックアート  
 30年の軌跡 9.1—10.3 天王洲  
 セントラルタワー・アートホール  
 (東北芸術工科大学本館7階ギャ  
 ラリー)  
 新美術新聞 1354

小堀令子展 —The Net— 4.24—  
 4.30 ギャラリー絵夢  
 ギャラリー\* 350 ワシオ・トシ  
 ヒコ

“エチュード” 駒井哲郎と、山中現  
 新作展 7.22—8.9 不忍画廊  
 ギャラリー\* 351

駒形克哉個展 AURUM AETER-  
 NUM(永遠の黄金) 3.7—3.30  
 STORE FRONT  
 ギャラリー\* 348 三田晴夫

小牧幹 ふるさと筑波賛歌作品展  
 4.24—4.30 京成百貨店  
 新美術新聞 1342

水墨玄空 2014[小松謙一]  
 11.16—11.29 シルクランド画廊  
 新美術新聞 1360  
 美術\* 470 小松謙一、中野嘉之、  
 大竹卓、呉一騏、島尾新、野地耕  
 一郎/顧定珍 進行

小松富士子 DRAWING 展 12.8—  
 12.13 ギャラリーセイコウドウ  
 新美術新聞 1362

小宮家親子四代 江戸小紋 京都帯  
 屋捨松の帯を合わせて[小宮康助  
 /小宮康孝/小宮康正/小宮康  
 義] 9.4—9.10 シルククラブ  
 東京 9.5

人間国宝 小森邦衛 茶器の世界展  
 9.17—9.30 三越(日本橋)  
 新美術新聞 1355

人間国宝(髹漆) 小森邦衛展  
 10.14—10.20 そごう(横浜)  
 新美術新聞 1357

安井曾太郎・小山敬三を囲む新春展  
 ～～水会の作家たち～ 1.8—  
 1.28 日動画廊  
 新美術新聞 1332

今道子作品展 Recent Works 1.8  
 —3.1 フォト・ギャラリー・イン  
 ターナショナル  
 朝日夕刊 2.19 大西若人

Wilfrido S. A. Gonzales めぐるり  
 アート静岡 ワタシとアートはき  
 っとどこかでつながっている[ウ  
 イルフリド・ゴンザレス] 3.4—  
 3.23 サールナートホール

NOWHERE PEOPLE : THE WOR-  
 LD'S STATELESS[グレッグ・コ  
 ンスタンティン] 11.21—11.23  
 羽田空港国際線旅客ターミナル5  
 階お祭り広場  
 毎日 11.14 吉富裕倫

contact Gonzo 展 様々な困難を伴  
 う作業の痕跡と音 4.18—5.17  
 山本現代  
 読売夕刊 5.12 (井)

アートフェア東京2014 PAP—AKI  
 CAFE PROJECT[近藤亜樹]  
 3.7—3.9 東京国際フォーラム  
 美術\* 471 加藤大輔

12ヶ月のための絵画[近藤恵介]  
 9.13—10.5 MA2 Gallery  
 美術手帖 1014 島貫泰介

ミシェル・ゴンドリーの世界一周  
 9.27—1.4 東京都現代美術館  
 読売夕刊 10.24 大木隆士

(サ)

斉と公平太 オオウチハジメ氏を探  
 す旅 9.13—9.28 みやぎきアー  
 トセンター  
 REAR 33 石川千佳子

斎藤玄之助風景画展 8.14—8.17  
 シアター1010ギャラリー  
 新美術新聞 1351

斎藤研 2014 10.22—10.28 高  
 島屋(日本橋)(高島屋(横浜、大阪、  
 京都))  
 新美術新聞 1358

古都鎌倉に魅せる 香坡の書画三昧  
 [齋藤香坡] 11.15—11.20 鎌倉  
 芸術館  
 書道界 302  
 美術屋・百兵衛 32  
 産経 11.13  
 産経 11.16

齋藤将 洋画展～ナイショのおはな  
 し～ 5.21—5.27 三越(日本橋)  
 新美術新聞 1344

齋藤将展—ここだけのはなし—  
 12.2—12.8 西武(大津)  
 ギャラリー\* 356

斎藤真一展 2.27—3.11 日動画廊  
 新美術新聞 1337

齋藤美洲 根付彫刻展～この難解で  
 轟惑的な化石・海象牙～ 3.15—  
 3.23 Gallery 花影抄  
 美術\* 462 添田達人

齋藤光晴 作品展～水彩～ 4.15—  
 4.20 ぎやらりー遊  
 新美術新聞 1341

齋藤芽生 「香星群アルデヒド」  
 4.19—5.24 ギャラリー・アート  
 アンリミテッド  
 毎日夕刊 4.15 岸桂子

齋藤良夫展 5.5—5.10 ギャラリ  
 ー白百合  
 新美術新聞 1343

斎藤義重 所蔵作品展 6.28—9.21  
 横須賀美術館

サイトウ良展 個展80回記念 9.  
 19—9.25 ジュンク堂書店(福岡)  
 新美術新聞 1354

佐伯祐三とパリ ポスターのある街  
 角 大阪新美術館コレクション

- 4.4—5.25 静岡県立美術館(島根県立美術館、宇都宮美術館、山梨県立美術館)  
新美術新聞 1341
- 小枝真人展 染付 12.17—12.23  
三越(日本橋)  
陶説 744 外館和子
- 嵯峨英二展 TAMA 4.7—4.12  
ギャラリー・オカベ  
新美術新聞 1343
- 酒井信義展 奏でる色—七彩—  
3.26—4.1 高島屋(日本橋)(高島屋(大阪、横浜、京都、名古屋、新宿))  
新美術新聞 1339
- 酒井博司作陶展 3.5—3.11 高島屋(名古屋)  
陶説 734 井上隆生
- さかいひろみ展 第24回個展 10.1—10.7 ぎやらりい西利  
新美術新聞 1356
- 酒井抱一—江戸情緒の精華— 10.11—11.16 大和文華館  
美術の窓 374 編集部
- 酒井祐二展—Bed sheet— 8.5—8.9 Gallery×Cafe ジャローナ水墨画\* 306
- 十五代酒井田柿右衛門展 襲名記念 7.23—7.29 三越(日本橋)  
新美術新聞 1349  
陶説 738 外館和子  
毎日夕刊 7.22 岸桂子
- 創造のゆりかご 岡本太郎のアトリエ[坂倉準三] 3.15—6.30 岡本太郎記念館  
読売 6.26
- 坂田基内 「私の中のビッグバン—出会いの妙・縄文の記憶 vol.2」 9.9—9.21 椿近代画廊  
新美術新聞 1353
- 坂爪厚生 銅版画展《黒の変容》メゾチントによる新作と秀作 3.29—4.13 GALERIE CINQ  
ギャラリー\* 348
- 遠く・UZAK—坂部隆芳展 2.22—3.7 画廊大千  
美術の窓 366 磯部靖
- 念ずれば花ひらく—坂村真民と相田みつをの世界— 相田みつを生誕90年 第1弾 3.4—6.8 相田みつを美術館  
毎日夕刊 2.27 鶴谷真
- 坂本一道展 10.10—10.18 アスクエア神田ギャラリー
- 画家たちの上京物語 熊本→東京 坂本善三、大塚耕二、浜田知明の軌跡。 7.19—8.31 熊本県立美術館  
新美術新聞 1350  
デアルテ 31 林田龍太  
デアルテ 31 西本匡伸
- 坂本直絵画個展 6.12—6.17 画廊ジュライ(兵庫県民会館県民アートギャラリー)  
新美術新聞 1346
- 坂本夏子の世界展 10.4—11.1 アラタニウラノ  
美術手帖 1016 原田裕規 評
- 先間康博 Aria 微風 9.13—10.11 Gallery HAM  
ギャラリー\* 353  
REAR 33 森本悟郎
- さきやあきら さきやみつえ 二人展 2.11—4.13 アートギャラリー—呼友館  
新美術新聞 1336
- サクサベウシオ展 浮かされた石と鉄2014 2.5—2.9 トキ・アートスペース  
ギャラリー\* 346
- 櫻井孝美—富士歳色— 1.20—1.30 ギャラリー和田  
美術の窓 365 武田厚
- 櫻井一 洋画展 印象派のバリ 魅力を探る 2.5—2.11 松坂屋(上野)  
新美術新聞 1335
- 櫻井靖子展 陶 9.6—9.14 楽空間紙をん小西  
陶説 740 小吹隆文
- 彫刻家桜井祐一 生命[いのち]の造形 木彫・ブロンズの世界 生誕100年 12.6—2.8 米沢市上杉博物館  
新美術新聞 1363
- 笹川春艸墨画展—越後の彩り— 8.19—8.25 三越(新潟)  
新美術新聞 1351
- 佐々木愛子展 ふるさと猪苗代にうまれて 6.7—6.29 猪苗代町図書館歴史情報館「和みいな」  
新美術新聞 1345
- メディウムの条件 『ART CRITIQUE』n.04刊行記念展[佐々木友輔] 5.20—6.1 HAGI ART  
美術手帖 1008 近藤亮介
- 佐々木豊展 震災三部作とこれから 薔薇に向かって泳げ 11.20—12.1 日動画廊(名古屋日動画廊)  
新美術新聞 1361  
美術の窓 375 高山淳  
美術の窓 377 ワシオ・トシヒコ
- 佐々木義文展 9.8—9.13 ギャラリーミハラヤ  
新美術新聞 1353
- 田島繁写真展 シェルバ遺族支援 [佐々木慶正] 11.13—11.19 アートギャラリーグランツ(AMS写真館)  
毎日 11.14 大迫麻記子
- 佐々木良三・畠山恭子作品展 10.1—1.11 亀田城佐藤八十八美術館  
美術の窓 376 高山淳
- 日本初の女性報道写真家 笹本恒子 100歳展 4.5—6.1 日本新聞博物館(福屋(八丁堀)、調布市文化会館たづくり、ミュゼふくおかカメラ館、O美術館、金沢21世紀美術館)  
朝日夕刊 4.30 山田優  
東京 5.5  
毎日 9.17 田辺拓也  
読売 5.22 井上晋治
- 日本初の女性報道写真家 笹本恒子 100歳展 11.22—12.25 調布市文化会館たづくり(日本新聞博物館、福屋(八丁堀)、ミュゼふくおかカメラ館、O美術館、金沢21世紀美術館)  
新美術新聞 1361  
東京 11.3
- 現代陶芸 笹山忠保展—反骨と才気の成せる造形— 4.26—6.29 滋賀県立近代美術館  
陶説 735 小吹隆文

- 佐竹雲遊水墨画展 11.12—11.18  
伊勢丹(府中)  
新美術新聞 1360
- 佐竹真紀子展 新世代への視点  
2014 画廊からの発言「記憶する皮膚」 7.21—8.2 ギャラリー  
東京ユマニテ  
産経 7.24 渋谷和彦
- 佐々亮瑛作品展 4.2—4.11 せんだあ画廊  
新美術新聞 1340
- 佐藤一郎 退任記念展 1.6—1.19  
東京藝術大学大学美術館  
美術の窓 364 編集部
- 佐藤一郎 挿絵原画展 9.29—10.4  
銀座スルガ台画廊  
新美術新聞 1356
- 佐藤京子個展 3.18—3.23 大分県立芸術会館  
新美術新聞 1338
- サトウサンペイの世界 四コマで切り取る昭和 5.26—8.9 京都工芸繊維大学美術工芸資料館  
朝日 7.16 安部美香子
- 佐藤信太郎 The spirit of the place 10.31—12.15 キヤノンギャラリーS  
朝日夕刊 11.19 大西若人
- 佐藤信太郎作品展「夜光」 11.7—12.20 フォト・ギャラリー・インターナショナル  
朝日夕刊 11.19 大西若人
- 佐藤大寛展 富士と対峙した孤高の画家 5.28—6.30 小田原市郷土文化館分館松永記念館
- 佐藤太清展 生誕100年 6.14—8.3 福知山市佐藤太清記念美術館(富山県水墨美術館、板橋区立美術館、京都文化博物館、茨城県天心記念五浦美術館、新見美術館)  
新美術新聞 1348
- 佐藤妙子版画展 5.24—6.1 鏡石鹿嶋神社参集殿  
版画芸術 163
- ～写真でまちを想うシリーズ～『本郷館—都市の未来を考える—』[佐藤隆行] 10.2—10.8 アイアイエーギャラリー  
東京 10.5 井上圭子
- いわさきちひろ×佐藤卓=展 はじめてみる、ちひろの世界。 8.6—11.3 ちひろ美術館(東京)(安曇野ちひろ美術館)  
読売 8.23 谷本陽子
- 佐藤哲展～人・花・海・山～ 9.3—9.9 三越(日本橋)  
新美術新聞 1353
- 佐藤時啓 光一呼吸 そこにいる、そこにはいない 5.13—7.13 東京都写真美術館  
芸術新潮 775  
美術手帖 1010 土屋誠一 評  
朝日夕刊 6.25 西岡一正  
産経 6.15 篠原知存  
東京夕刊 6.20 中村英樹  
日経 7.10 平野啓一郎  
毎日夕刊 7.2 岸桂子  
読売 6.8 鈴木佳子  
読売夕刊 6.2 (睦)
- 佐藤英行展 第30回上野の森美術館大賞展絵画大賞 2.17—2.27 上野の森美術館
- 佐藤美智子展 1.9—1.15 ギャラリー日比谷  
新美術新聞 1332
- 佐藤道子展—生きるそして描く— 11.1—11.16 龍ヶ崎市歴史民俗資料館  
新美術新聞 1359
- 佐藤翠個展 A June House 6.2—7.4 第一生命南ギャラリー  
新美術新聞 1347
- 佐藤有紀子—遺作展— 7.31—8.9 みゆき画廊
- 佐藤龍生展 11.8—11.15 ぎやらりい朋  
新美術新聞 1360
- ドリス・サルセド ヒロシマ賞受賞記念9回 7.19—10.13 広島市現代美術館  
美術手帖 1012 能勢陽子 評  
朝日夕刊 9.24 大西若人
- さわひらき UNDER THE BOX, BEYOND THE BOUNDS 1.18—3.30 東京オペラシティアートギャラリー  
芸術新潮 772  
美術手帖 1002 中村史子 評
- 東京夕刊 2.21 古谷利裕  
毎日夕刊 3.5 岸桂子  
読売 2.20 井上晋治
- 澤村祥展 マイガーデン 11.10—11.15 銀座井上画廊  
新美術新聞 1360
- 安藤郁子・沢村澄子展 陶とオブジェと書 4.16—4.27 ギャラリーろば屋／にむらや菓子舗寺尾店  
新美術新聞 1342
- 沢村澄子(一) 11.1—11.12 ギャラリーアピアント／柳嶋妙見山法性寺  
東京 10.31 丹治早智子
- コレクション・クッキング 近くを視ること／遠くに想いを馳せること—対話と創造[三瓶光夫] 7.19—9.15 福島県立美術館  
新美術新聞 1349
- 箆織鐵3人展 春浅し候 野に出ずる[山麓アトリエ] 2.11—2.19 京王プラザホテル・ロビーギャラリー  
毎日 2.14 柴田朗
- (シ)
- 椎葉聡子展—IL BIAGGIO— 12.7—12.13 ギャラリーモーツァルト  
新美術新聞 1362
- ジョン・ジェラード Sow Farm 11.14—2.28 RAT HOLE GALLERY  
美術手帖 1019 近藤亮介
- 塩澤玉聖水墨画展「絹と麻紙に描く和の美」 4.2—4.6 浦添市美術館  
新美術新聞 1340
- 嶋剛展 CONTEXT—日本列島 1.14—1.25 ガレリア・グラフィカ  
新美術新聞 1332
- 重松あゆみ—Moving Objects 10.27—11.1 ギャラリー・プス  
陶説 742 外館和子
- 設楽享良展 7.17—7.26 中長小西ヴィクトリア・ジットマン展「On the Surface」 3.19—4.14 8 / ART GALLERY/Tomio Koyama

- Gallery  
美術の窓 369 ヴィクトリア・ジットマン 談
- 篠塚聖哉 草原 9.13—11.30 つなぎ美術館  
デアルテ 31 楠本智郎
- 篠原愛 chimera 5.10—5.31 GALLERY MoMo Ryogoku  
芸術新潮 775
- 有司男+乃り子:篠原展[篠原有司男] 2.22—3.29 東京画廊+BTAP  
新美術新聞 1337
- 篠原貴之 水墨絵画展 水墨の新境地 1.18—1.26 Bunkamura Box Gallery  
水墨画\* 301 篠原貴之
- 有司男+乃り子:篠原展[篠原乃り子] 2.22—3.29 東京画廊+BTAP  
新美術新聞 1337
- 記憶の遠近術～篠山紀信、横尾忠則を撮る 阪神・淡路大震災20年展 10.11—1.4 横尾忠則現代美術館  
朝日夕刊 11.26 村瀬信也
- 柴田節郎展—フェイス— 5.17—6.1 ギャラリー芽染  
陶説 737 井上隆生
- 戸田守宣 柴田真理子 渡邊太郎 9.6—9.20 ギャラリー踵美子  
陶説 740 井上隆生
- 池上秀敏・島崎鷄二 没後70年 6.7—7.6 長野県信濃美術館  
新美術新聞 1346
- 向井修二・島村光 ふたり展 3.7—3.9 東京国際フォーラム(しぶや黒田陶苑)  
陶説 735 花里麻理
- 嶋本昭三展 10.30—11.24 ホワイトストーンギャラリー  
新美術新聞 1360
- 生きるものたちへ 現代郷土作家展 藤原向意・松田一戯・清水浄・東影智裕 11.15—12.23 姫路市立美術館
- 志水晃王個展:threshold 1.27—2.12 ギャラリー・オーブ  
瓜生通信 61
- 清水達三・由朗 日本画二人展[清水由朗] 4.24—4.30 あべのハルカス  
新美術新聞 1342
- パランプセスト 重ね書きされた記憶/記憶の重ね書き vol.5 志村信裕 11.15—12.13 ギャラリーαM
- 児嶋画廊所蔵 志村ふくみコレクション—光彩陸離— 11.3—12.14 丘の上APT  
絵と布の画廊歳時記 2014年9・10月合併号  
新美術新聞 1361
- 下岡蓮杖 日本写真の開拓者 3.4—5.6 東京都写真美術館(静岡県立美術館)  
朝日夕刊 3.12 西岡一正/千葉成夫  
日経 4.9 窪田直子  
毎日夕刊 3.26 岸桂子  
読売 4.10 前田恭二  
読売 4.18 鳥海早喜  
読売 4.20 鳥海早喜
- 下野薫子 Infinite Painting 1.14—1.30 ガーディアン・ガーデン  
美術手帖 1002 藤城嘘
- KANZAN 第3の男・下村観山 生誕140年記念駿府博物館特別展 1.18—3.2 駿府博物館  
新美術新聞 1335  
水墨画\* 299
- ベン・シャーンとジョルジュ・ルオー 7.5—9.15 神奈川県立近代美術館(鎌倉別館)
- シャガール[マルク・シャガール] 1.2—3.30 静岡市美術館(北海道立近代美術館、宮城県美術館、広島県立美術館、愛知県美術館)  
新美術新聞 1335  
日経 2.16
- マルク・シャガール 版画の奇跡∞ 無限大の色彩 4.12—6.8 目黒区美術館  
新美術新聞 1344
- マルク・シャガール展 語るシャガール、語られるシャガール 宇都宮美術館コレクション 4.27—6.22 宇都宮美術館
- 謝花翔陽展 女、彫刻家、音楽、5、好運と蕩尽 12.6—12.21 Bambinart Gallery  
ギャラリー\* 356
- じゃぼにかの誰でもデュシャン☆展 3.8—3.16 ギャラリーパルコ  
美術手帖 1004 榎木野衣
- ジャック・シャルティエ Testing 5.23—7.19 ベイスギャラリー  
芸術新潮 775
- 建築家ピエール・シャローとガラスの家 ポンピドゥー・センター・コレクションが魅せるアールデコ時代の革新 7.26—10.13 パナソニック汐留ミュージアム  
新美術新聞 1351  
産経 9.18  
東京 7.8  
東京 7.25 オリヴィエ・サンカルブル/大村理恵子 解説  
東京 7.26  
東京夕刊 8.5 藤森照信  
東京夕刊 8.7 石井幹子  
東京夕刊 8.8 中村好文
- ルドルフ・シュタイナー展 天使の国 3.23—8.23 ワタリウム美術館  
美術手帖 1008 岡部あおみ 評  
朝日夕刊 7.2 西岡一正  
産経 4.10 渋谷和彦  
東京夕刊 5.2 岡部あおみ
- ビネッテ・シュレーダー 美しく不思議な世界 4.19—6.1 小さな絵本美術館(本館/八ヶ岳館)(伊丹市立美術館、天童市美術館)
- 城ヶ崎悟展—白い刻— 5.24—6.8 みぞえ画廊(福岡)(みぞえ画廊(東京))  
美術の窓 369 磯部靖
- 白川昌生 ダダ、ダダ、ダ 地域に生きる想像☆の力 3.15—6.15 アーツ前橋  
AXIS 171 暮沢剛巳  
美術手帖 1006 島田浩太郎 評  
朝日夕刊 5.21 大西若人  
毎日夕刊 6.3 岸桂子  
読売 5.29 森田睦
- 白矢勝一油絵展 7.24—7.30 京王(新宿)

新美術新聞 1350  
 代田盛男油絵展 11.5—11.11 小田急(新宿)  
 新美術新聞 1359  
 金沙個展—Salute to Masters—  
 10.18—11.22 東京画廊+BTAP  
 読売夕刊 11.10 (阮)  
 新宮晋 地球の遊び方 特別展 東京芸術大学・小磯教室に学んだ美術家たち1 6.21—9.23 神戸市立小磯記念美術館  
 新美術新聞 1349  
 朝日夕刊 7.2 安部美香子  
 日経 8.7  
 しんじえりこ 東京新聞「東京どんぶらこ」イラストマップ原画展 緑と公園のあるまち東京 12.2—2.10 みどりのiプラザ 東京 12.20 増田恵美子  
 進藤環 飛び越える、道をつないで 7.9—8.9 ギャラリー・アートアンリミテッド  
 堆磁 神農巖 陶展 4.16—4.22 高島屋(大阪)(高島屋(横浜))  
 堆磁 神農巖 陶展 5.7—5.13 高島屋(横浜)(高島屋(大阪))  
 陶説 737 唐澤昌宏

(ス)

末永史尚「ミュージアムピース」APMoA Project, ARCH vol. 11 8.1—9.28 愛知県美術館  
 末宗恵美子展 10.11—10.22 ギャラリー壹零参堂  
 新美術新聞 1357  
 末吉美恵子展 考察一月について—12.1—12.6 ギャラリーモーツァルト  
 新美術新聞 1362  
 菅木志雄 1970/80年代 10.17—10.26 ギャラリー古今  
 ギャラリー\* 354 佐藤春喜  
 菅木志雄 11.2—3.24 ヴァンジ彫刻庭園美術館  
 ギャラリー\* 355  
 菅橋彦展 没後50年 浪速の粋 雅人のこころ 2.22—4.6 鳥取県立博物館

書家 菅原竹情展 生きた、描いた、形象に挑んだ。 9.9—9.14 東京銀座画廊・美術館  
 書道界 300  
 杉浦康益展 陶の博物誌—自然をつくる 6.7—8.3 西宮市大谷記念美術館  
 陶説 737 小吹隆文  
 入江泰吉と杉岡華邨—写真と書で綴る會津八ーの世界— 10.4—1.12 奈良市杉岡華邨書道美術館/入江泰吉記念奈良市写真美術館  
 新美術新聞 1361  
 杉本太郎展 10.21—11.2 ギャラリーにしかわ  
 陶説 741 梅田稔  
 杉本博司+京職人:メダカの学校 4.2—8.28 エントランスラウンジ  
 瓜生通信 61 中尾めぐみ  
 HIROSHI SUGIMOTO ON THE BEACH 8.21—9.30 ギャラリー小柳  
 朝日夕刊 9.24 大西若人  
 UNSOLD—Hiroshi Sugimoto/Sophie Calle/Ryota Aoyagi 11.20—1.31 ギャラリー小柳  
 芸術新潮 782  
 美術手帖 1018 榎木野衣  
 読売夕刊 12.1 (阮)  
 『聖奈の絵はコトバ』出版記念展〜こころの絵カードの世界〜[杉本聖奈] 10.25—11.3 スマートシッ  
 プギャラリー  
 毎日 9.22 近藤浩之  
 杉山泰平展 1.20—2.1 ギャラリー白3  
 陶説 732 小吹隆文  
 ヒュー・スコット=ダグラス A Broken Mule 1.16—2.14 Kai-kai Kiki Gallery  
 芸術新潮 772  
 美術手帖 1002 近藤亮介  
 人間国宝二人展—やきものとおりの 鈴木藏・北村武資— 1.16—1.25 和光ホール(松坂屋(名古屋)、高島屋(京都))  
 陶説 744 花里麻理

泥象 鈴木治の世界 「使う陶」から「観る陶」、そして「詠む陶」へ 7.26—8.31 東京ステーションギャラリー(京都国立近代美術館、愛知県陶磁美術館、山口県立萩美術館・浦上記念館)  
 陶説 736 大長智広  
 朝日夕刊 8.20 大西若人  
 日経 7.20  
 日経夕刊 8.7  
 毎日夕刊 8.13 岸桂子  
 泥象 鈴木治の世界 「使う陶」から「観る陶」、そして「詠む陶」へ 11.1—12.23 山口県立萩美術館・浦上記念館(京都国立近代美術館、愛知県陶磁美術館、東京ステーションギャラリー)  
 日経 11.16  
 鈴木五郎 五利部展 3.12—3.18 高島屋(日本橋)(高島屋(大阪、名古屋))  
 陶説 735 唐沢昌宏  
 鈴木青々展 生誕100年記念・陶祖 800年祭記念・瀬戸市美術館特別展 11.29—1.18 瀬戸市美術館  
 陶説 743 井上隆生  
 Transfer Land 渡される(移される)土地(世界)[鈴木孝幸] 4.26—5.25 旧門谷小学校  
 REAR 32 石崎尚  
 鈴木千賀子展—オルゴールに魅せられて— 6.4—6.17 高島屋(日本橋)  
 新美術新聞 1345  
 鈴木竹柏 小品展—日々是好日— 5.28—6.3 高島屋(日本橋)(高島屋(大阪、横浜、京都))  
 新美術新聞 1345  
 美術の窓 369 一井建二  
 鈴木千久馬展 鈴木千久馬生誕120周年特別企画 10.20—10.26 目白美術館  
 ギャラリー\* 354  
 新美術新聞 1358 高島穰  
 森羅一鈴木徹作陶展 10.22—10.28 三越(日本橋)  
 新美術新聞 1358  
 陶説 741 唐澤昌宏

鱸利彦 生誕120周年 11.1—  
12.14 都城市立美術館  
ギャラリー\* 359 石川千佳子  
デアルテ 31 祝迫眞澄  
鈴木麻紀 絵画展 9.25—9.30 東  
武(宇都宮)  
新美術新聞 1355  
鈴木雅明 風景と塊 9.23—10.10  
ガレリアフィナルテ  
REAR 33 田中由紀子  
鈴木まさこ めぐるりアート静岡  
ワタシとアートはきっとどこかで  
つながっている 3.4—3.23  
Gallery PSYS  
鈴木康広「見立て」の実験室 9.13—  
11.24 金沢21世紀美術館  
写真分離派展「日本」[鈴木理策]  
5.23—6.13 ギャラリー・オーブ  
瓜生通信 62  
須田国太郎 写真展 11.23—12.6  
白銅鞮画廊  
朝日夕刊 11.19 西岡一正  
須藤和之個展 風の煌めき 3.5—  
3.11 三越(日本橋)  
新美術新聞 1337  
須藤美保 洋画展 11.26—12.2  
三越(日本橋)  
新美術新聞 1361  
澄川喜一と植木茂 1.2—2.16 山  
口県立美術館  
新美術新聞 1332  
彫刻家澄川喜一と東京スカイツリー  
® 10.4—10.19 清瀬市郷土博  
物館  
新美術新聞 1355  
美術の窓 373 柳澤剛  
毎日夕刊 9.30 岸桂子  
隅田由子ことば展～生きることのす  
ばらしさを詩う～ 10.1—10.7  
伊藤忠青山アートスクエア  
東京 10.5 柏崎智子  
須山昇華 茶陶展 可憐なる色彩と  
愛らしいモチーフたち 9.17—  
9.23 高島屋(岐阜)(高島屋(横  
浜))  
コレクション・クッキング 近くを  
視ること／遠くに想いを馳せるこ  
と—対話と創造[three] 7.19—  
9.15 福島県立美術館

新美術新聞 1349  
好奇心のあじわい 好奇心のミュ  
ージアム フードクリエイション+  
東京大学総合研究博物館[諏訪綾  
子] 4.26—3.31 金沢21世紀美  
術館  
四代 諏訪蘇山展—季の青瓷・陶器  
天の文様— 6.18—6.24 高島屋  
(京都)(東玉堂)  
陶説 737 梅田稔  
九谷の陶彫—蘇山・加全・翠恒の織  
り成す具象の美—[諏訪蘇山]  
11.1—2.1 石川県九谷焼美術館  
陶説 741 蔵元敬大

### (セ)

清野光男展 福島から／福島へ  
2.11—3.15 原爆の図丸木美術館  
東京 3.1 中里宏  
関重一郎 バステル画展 11.20—  
11.26 ギャラリー絵夢  
新美術新聞 1361  
関口正浩「遠くの正面」 3.29—4.26  
児玉画廊(京都)  
美術手帖 1005 清水穰  
陶の空間・草木の空間 川崎毅と  
島寿子展 7.12—9.28 菊池寛実  
記念智美術館  
朝日夕刊 8.20 大西若人  
日経 8.17  
日経夕刊 8.7  
毎日夕刊 9.3 岸桂子  
読売夕刊 8.4 (陸)  
生誕百年 関野準一郎展 6.21—  
8.3 町田市立国際版画美術館  
新美術新聞 1348 和南城愛理  
日経 7.30 富川匡司  
関野準一郎展 戦後の版画家 生誕  
100年 10.4—11.24 青森県立  
美術館  
版画芸術 165 菅野晶  
関本麻己子個展 澄み切った空気、  
画家の呼吸 5.19—5.24 創英ギ  
ャラリー  
美術\* 465 編集部  
妹島和世+西沢立衛/SANAA 展  
十和田市現代美術館 開館5周  
年記念展 vol.3 2.1—3.30 十  
和田市現代美術館

平成26年美術展覧会(作ス～ソ)

毎日夕刊・3.5 永田晶子  
生誕120年 日本画家 瀬尾南海の  
世界～知られざる鹿児島ゆかりの  
画家～ 12.23—4.5 鹿児島県歴  
史資料センター黎明館  
書道界 304  
デザイナー 芹沢銈介の世界展 生  
誕120年記念 9.10—9.23 高島  
屋(日本橋)(高島屋(横浜、京都、  
大阪)、東北福祉大学芹沢銈介美  
術工芸館)  
目の眼 456 芹澤恵子  
朝日夕刊 9.9 長崎巖  
ゼロ・ヒガシダ彫刻展 5.5—5.17  
いりや画廊  
ギャラリー\* 349  
仙石裕美展 “明日はもっと遠くま  
で、次の日はさらにその向こうま  
で” 12.16—12.27 NICHE GA-  
LLREY  
ギャラリー\* 358 ワシオ・トシ  
ヒコ  
千住博 夏期特別展—初期の名作か  
ら見た、山水・花鳥画の世界—  
6.4—10.6 梶井沢千住博美術館  
朝日夕刊 9.10 中村茉莉花

### (ソ)

双覚羅—全世界人類環境対話展[邵  
戈] 11.17—11.21 東京中国文  
化センター  
美術の窓 376 編集部  
IN SITU—1 [ソ・ミンジョン]  
9.13—1.4 エスパス ルイ・ヴ  
イトン東京  
芸術新潮 781  
美術手帖 1017 白坂ゆり  
東京夕刊 10.24 岡部あおみ  
MEMORY GAP 記憶の間隔[ソ・  
ユンヒ] 4.1—4.20 海岸通りギ  
ャラリー CASO  
ギャラリー\* 349 三田晴夫  
曾勤個展—水墨と岩彩の世界 8.12  
—8.20 東京都美術館  
新美術新聞 1351  
不特定秘密絵画展 SOGO Masa-  
nori 2014[十河雅典] 10.6—  
10.18 Steps Gallery  
ギャラリー\* 356 ワシオ・トシ

ヒコ  
 ムサビのデザインIV 1980-1990's  
 エットレ・ソットサスとヌオーヴ  
 オ・デザイン 9.8-10.27 武蔵  
 野美術大学美術館・図書館(美術  
 館)  
 外林道子 體と臓 1.11-2.1 東  
 京画廊+BTAP  
 芸術新潮 771  
 新美術新聞 1333  
 毎日夕刊 1.29 桐山正寿  
 曾谷朝絵 浮かぶ パブリックビュ  
 ーイング 8.1-11.3 神奈川芸  
 術劇場アトリウム(KAAT)  
 東京夕刊 8.29 中村英樹  
 songs for a pigeon 日本・スイス  
 国交樹立150周年記念企画展  
 10.23-11.25 在日スイス大使館  
 (gallery COEXIST-TOKYO/  
 EARTH+GALLERY、ギャラリー  
 カメリア、a piece of space APS、  
 プラザギャラリー、N-MARK B1)  
 ギャラリー\* 355  
 (タ)  
 KINFOLK The Shared Table featur-  
 ing[ローラ・ダート] 5.30-8.  
 15 DIESEL ART GALLERY  
 美術手帖 1008 編集部  
 田井淳個展 7.21-7.26 光画廊  
 新美術新聞 1350  
 醍醐イサム個展 空音空光 7.17-  
 7.30 ギャラリー絵夢  
 新美術新聞 1349  
 大道文子展 CARPE DIEM 多摩  
 美術大学退職記念 5.1-5.10  
 アートスペース羅針盤  
 新美術新聞 1343  
 高笠幹 第9回パステル絵画個展  
 5.5-5.10 ギャラリー琥珀  
 新美術新聞 1343  
 高木彩展 BREATHE 2008-2014  
 10.7-10.13 足立区勤労福祉会  
 館  
 新美術新聞 1356  
 伊勢門水と高木大宇 道風記念館企  
 画展 高木大宇コレクションより  
 4.23-5.25 春日井市道風記念館  
 書道界 294

高岸まなぶ展 9.15-9.24 ギャラ  
 リー惣  
 ギャラリー\* 353  
 高砂淳二写真展 ASTRA 5.30-  
 6.24 コニカミノルタプラザ  
 東京 5.29 蒲敏哉  
 高島圭史作品展 『更正保護』表紙絵  
 と新作による 9.3-9.16 ナカ  
 ジマアート  
 新美術新聞 1354  
 高田哲士展 7.15-7.21 ノリタク  
 の森ギャラリー  
 新美術新聞 1349  
 高頭信子 日本画展 4.30-5.6  
 三越(日本橋)  
 新美術新聞 1342  
 美術の窓 368 編集部  
 のこりなつ。高臣大介ガラス作品展  
 8.21-8.31 紅椿それいゆ  
 新美術新聞 1351  
 高梨潔作品展 ミナト・ヨコハマを  
 描き続けた画家 8.21-8.30 せ  
 んたあ画廊  
 新美術新聞 1352  
 高波壮太郎展 THE BEGINNING  
 OF SPACE-神々の開闢 11.17  
 -12.6 吉井画廊  
 朝日夕刊 11.26  
 東京 11.25 尾崎行雄  
 高荷義之 鋼の超絶技巧画報 タカ  
 ニ・アートワークス 10.3-12.  
 25 弥生美術館  
 東京 10.28  
 タカノ綾個展 すべてが至福の海に  
 とけますように 3.6-4.2 Kai-  
 kai Kiki Gallery  
 芸術新潮 773  
 美術手帖 1004 北出智恵子 聞き手  
 美術の窓 367 タカノ綾 談  
 コレクション・クッキング 近くを  
 視ること/遠くに想いを馳せるこ  
 と-対話と創造[高野正晃] 7.19  
 -9.15 福島県立美術館  
 新美術新聞 1349  
 写真分離派展「日本」[鷹野隆大]  
 5.23-6.13 ギャラリー・オーブ  
 瓜生通信 62

高橋邦典 写真展 紛争地からのメ  
 ッセージ 7.10-7.16 キヤノン  
 ギャラリー(銀座)(キヤノンギャ  
 ラリー(梅田、仙台、札幌))  
 東京夕刊 7.12  
 史と詩と私と[高橋耕平] 2.8-3.9  
 京都芸術センター  
 美術手帖 1002 清水稜  
 高橋節郎展 生誕百年 4.26-6.1  
 安曇野市豊科近代美術館/安曇野  
 高橋節郎記念美術館(豊田市美術  
 館高橋節郎館、長野県信濃美術館)  
 新美術新聞 1343 三澤新弥  
 高橋節郎展 生誕百年 7.12-9.15  
 豊田市美術館高橋節郎館(安曇野  
 市豊科近代美術館/安曇野高橋節  
 郎記念美術館、長野県信濃美術館)  
 美術の窓 372 西崎紀衣  
 高橋節郎展 生誕百年 12.13-  
 1.12 長野県信濃美術館(安曇野  
 市豊科近代美術館/安曇野高橋節  
 郎記念美術館、豊田市美術館高橋  
 節郎館)  
 新美術新聞 1363  
 アール・ヌーヴォーとアール・デコ  
 ヨーロッパのデザイン、工芸と高  
 橋節郎 7.5-9.21 安曇野高橋  
 節郎記念美術館  
 新美術新聞 1348  
 タカハシノブオ あるがままに生き  
 た画家 叫ぶ原色・ものがたる黒  
 三浦徹コレクション 生誕100年  
 記念[高橋信夫] 9.23-11.24  
 BBプラザ美術館  
 ボールはともだち。キャブテン翼展  
 [高橋陽一] 6.14-7.6 上野の  
 森美術館(大阪南港 ATC)  
 産経 4.23 戸谷真美  
 東京 11.26 志村彰太  
 高島依子 Project N 58 10.18-  
 12.23 東京オペラシティアート  
 ギャラリー  
 芸術新潮 780  
 高松次郎 ミステリーズ 12.2-  
 3.1 東京国立近代美術館  
 ギャラリー\* 356  
 美術手帖 1018 沢山遼 評  
 美術手帖 1019 榎木野衣  
 朝日夕刊 12.10 安齋耕一



- 東京夕刊 12.26 石川翠  
日経 12.17 窪田直子
- 高村智恵子 紙繪展 3.3—3.20  
永井画廊  
新美術新聞 1337
- 高柳むつみ展 12.6—12.28 ギャ  
ラリー器館  
陶説 743 小吹隆文  
美術手帖 1018 清水穰
- 滝口和男展 陶—四季移ろう、四都  
での物語りを— 6.25—7.1 高  
島屋(名古屋)(高島屋(日本橋、大  
阪、京都))  
陶説 738 井上隆生
- 九谷の陶彫—蘇山・加全・翠恒の織  
り成す具象の美—[滝口加全]  
11.1—2.1 石川県九谷焼美術館  
陶説 741 蔵元敬大
- 滝沢具幸 より、彼方へ 3.29—  
5.11 信濃デッサン館別館槐多庵  
新美術新聞 1342
- 2人展 武井浩+マヤ展3 3.17—  
3.22 ギャラリー白百合  
新美術新聞 1338
- 武井政之展—或る日の夢と追憶—  
12.2—12.16 東京會館ギャラリ  
ー  
ギャラリー\* 356
- 2人展 武井浩+マヤ展3[武井マ  
ヤ] 3.17—3.22 ギャラリー白  
百合  
新美術新聞 1338
- 武市斉孝 水墨・墨彩・日本画展  
40回 桜巡礼～心の旅路 2.16  
—2.17 一畑百貨店(出雲)  
美術\* 461
- 武市斉孝 水墨・墨彩・日本画展  
44回 桜巡礼～心の旅路 4.30  
—5.5 丸井今井(札幌)  
新美術新聞 1342
- 武市斉孝 水墨・墨彩・日本画展  
47回 桜巡礼～心の旅路 7.16  
—7.22 大丸(京都)  
美術\* 466 編集部
- 京都現代作家展 竹内浩一 私の写  
生 6.21—10.5 京都府立堂本印  
象美術館  
新美術新聞 1351
- 武内枝雪 米寿記念書展 5.15—  
5.20 ゴールデンギャラリー/ギ  
ャラリー守玄齋  
新美術新聞 1343
- 竹内栖鳳 生誕150年記念 11.1—  
12.14 海の見える杜美術館(姫路  
市立美術館、碧南市藤井達吉現代  
美術館、小杉放菴記念日光美術館)  
芸術新潮 779 高階秀爾  
新美術新聞 1359 田中伝  
美術の窓 374 田中伝  
読売夕刊 8.30
- 武生弘子 絵画・ジュエリー展  
1.23—1.29 京王(聖蹟桜ヶ丘)  
新美術新聞 1333
- 平成の九谷 武腰潤 作陶展 6.4  
—6.10 松坂屋(名古屋)  
陶説 737 井上隆生
- 色絵磁器 武腰潤展 9.17—9.23  
三越(日本橋)  
新美術新聞 1355
- 菊地武彦×武田州左展—藝にも晴れ  
にも— 6.16—6.21 銀座井上画  
廊  
新美術新聞 1345  
新美術新聞 1346
- 浅井忠・武田五一と神坂雪佳—京都  
高等工芸学校・京都市立美術工芸  
学校の圖案教育I 7.14—9.5  
京都工芸繊維大学美術工芸資料館
- 竹田信平 ベータ崩壊 7.26—9.5  
原爆の図丸木美術館  
朝日夕刊 7.30 加戸靖史
- 竹田武史 写真展 ヘルマン・ヘッ  
セに捧ぐ シッタールタの旅  
4.4—4.14 コニカミノルタブラ  
ザ  
読売 4.10
- 武田光弘展～僕のいた時間(X)  
12.8—12.14 ギャラリー八重洲  
・東京  
新美術新聞 1362
- 武田陽介「Stay Gold」 3.22—4.19  
タカ・イシイギャラリー  
美術手帖 1005 星野太 評
- Stay Gold : Color Proof[武田陽介]  
3.26—4.19 タカ・イシイギャラ  
リー モダン  
美術手帖 1005 星野太 評
- Stay Gold : Digital Flare[武田陽介]  
3.26—4.25 空蓮房  
美術手帖 1005 星野太 評
- Stay Gold : Two Walls[武田陽介]  
3.26—4.27 TRAUMARIS SPACE  
美術手帖 1005 星野太 評
- 3つの視展[武田律子] 4.15—4.19  
上野の森美術館  
新美術新聞 1341
- 武田律子版画展2回—「旋」シリー  
ズより— 12.16—12.28 B-gallery  
新美術新聞 1362
- 竹留一夫自選展 4.22—4.27 東京  
銀座画廊・美術館  
新美術新聞 1342
- 竹中浩作陶展 8.2—9.15 福井県  
陶芸館  
陶説 740 森孝一
- 夢二の子ども絵とすぐろく展—大正  
～昭和初期の小さなワンダーラン  
ド—[竹久夢二] 1.3—3.30 竹  
久夢二美術館  
産経 3.14
- 竹久夢二展 ベル・エポックを生き  
た夢二とロートレック 生誕130  
年 9.26—10.6 高島屋(日本橋)  
(高島屋(京都、岡山、横浜))  
朝日夕刊 9.25 緒川たまき 談  
/高橋秀喜 聞き手
- 竹久夢二展 ベル・エポックを生き  
た夢二とロートレック 生誕130  
年 10.15—10.27 高島屋(横浜)  
(高島屋(京都、岡山、日本橋))  
朝日夕刊 10.1 山田優
- 再発見! 竹久夢二の世界【後期】ボ  
ヘミアン・夢二 大正ロマンの画  
家、知られざる素顔 生誕130年  
記念 10.3—12.25 竹久夢二美  
術館  
朝日夕刊 10.1 山田優  
読売夕刊 11.25 石川桂子
- 武部雅子 新作展 10.2—10.15  
ナカジマアート  
新美術新聞 1356
- 草木染 手織と絵画展[竹村 Bin]  
3.12—3.18 ヒルトピアアートのス  
クエア  
新美術新聞 1337

絵画と草木染・手織展[竹村 Bin]  
 9.1—10.31 ダイヤモンドハケ岳  
 美術館ソサエティ  
 新美術新聞 1353

武山剛士展 新世代への視点2014  
 画廊からの発言 7.21—8.2 ギャラリー川船  
 産経 7.24 渋沢和彦

松風水墨画展[太宰松風] 11.11—11.16 宮永岳彦記念美術館市民ギャラリー  
 新美術新聞 1360

田崎廣助 没後30年 1.11—2.23 九州芸文館

田澤茂展 11.3—11.9 画廊楽 I  
 新美術新聞 1359

田嶋悦子—Flowers— 11.18—11.30 アートスペース感  
 陶説 743 梅田稔

田島繁写真展 シェルバ遺族支援 11.13—11.19 アートギャラリーグラント(AMS 写真館)  
 毎日 11.14 大迫麻記子

田島征彦展 7.1—7.13 ギャラリーヒルゲート  
 新美術新聞 1348

インザスモーク YUMIKO TADA 写真展[多田裕美子] 10.21—11.16 浅草カフェバー鈴桜  
 東京 11.6 丹治早智子

忠隈宏子作品展 10.20—10.29 せんたあ画廊  
 美術の窓 375 ワシオ・トシヒコ

立川広己—時を歩く— 3.2—3.14 ギャラリー一枚の繪  
 美術の窓 378 高山淳

立川広己 油絵展 3.12—3.18 小田急(新宿)  
 新美術新聞 1337

橘京身展「發身」 10.28—11.2 銀座幸伸ギャラリー  
 新美術新聞 1358

立花博 洋画展 第89回白日展中沢賞受賞記念 4.9—4.15 天満屋(岡山)  
 美術の窓 367 高山淳

立原真理子展 新世代への視点 2014 画廊からの発言 7.21—

8.2 藍画廊  
 産経 7.24 渋沢和彦

辰巳寛 小品展 舞妓を描く 11.20—12.3 大雅堂  
 新美術新聞 1361

建島覚造と戦後の彫刻 かたちをさぐる 4.22—7.6 和歌山県立近代美術館  
 新美術新聞 1344

田中一村展 奄美群島日本復帰60年『田中一村作品集[増補改訂版]』刊行記念企画 1.10—1.30 永井画廊  
 ギャラリー\* 345  
 新美術新聞 1332  
 美術の窓 364 大矢頼音

『月映』田中恭吉・藤森静雄・恩地孝四郎 11.16—12.28 宇都宮美術館(和歌山県立近代美術館、愛知県美術館、東京ステーションギャラリー)  
 新美術新聞 1362 伊藤伸子  
 版画芸術 165

田中茂 個展 12.15—12.24 せんたあ画廊  
 新美術新聞 1362

田中真吾 個展 「す あ。ラ 火 一 見 極」—解体と構築の同時性— 10.3—10.31 eN arts  
 美術手帖 1017 清水穰

田中信太郎 岡崎乾二郎 中原浩大 かたちの発語展 4.25—6.22 BankART Studio NYK  
 ギャラリー\* 349  
 ギャラリー\* 350 三田晴夫  
 芸術新潮 776  
 美術手帖 1006 蔵屋美香 評  
 朝日夕刊 6.4 大西若人  
 産経 6.12 渋沢和彦  
 東京夕刊 6.6 岡部あおみ  
 毎日夕刊 6.4 岸桂子

田中峯展 いろいろ、そうそう 9.6—11.3 川崎市市民ミュージアム  
 新美術新聞 1353  
 東京夕刊 10.10 藤田一人  
 毎日夕刊 10.8 岸桂子

田中千智展 静かな夜の灯 3.4—3.11 Bunkamura Box Gallery  
 ギャラリー\* 347

箆織鐵3人展 春浅し候 野に出ずる[田中智子] 2.11—2.19 京王プラザホテル・ロビーギャラリー  
 毎日 2.14 柴田朗

田中望展—ものおくり 10.10—10.26 アートフロントギャラリー  
 読売夕刊 10.20 (阮)

田中雅文展 あつまり—動憶—to— National flags— 2.14—2.26 ギャラリーニア  
 陶説 733 小吹隆文

フィールド・リフレクション[田中みぎわ] 3.9—5.11 川口市立アートギャラリー・アトリア

田中みぎわ展 天つ空を映す水がめ 5.17—6.1 ギャラリー桜の木(銀座)  
 新美術新聞 1343

三条実美と岩倉具視 一代絵巻が物語る幕末維新 明治天皇を支えた二人[田中有美] 7.19—9.28 宮内庁三の丸尚蔵館

第1回瀬戸・藤四郎トリエンナーレグランプリ受賞者展 田中良和展 4.19—6.1 瀬戸市美術館  
 REAR 32 村山関

谷内恒子展 ミクロ・イヴェント 7.18—9.21 メゾンエルメス8階フォーラム  
 芸術新潮 777  
 読売夕刊 8.18 (恵)

谷口仙太郎展 5.27—6.3 永井画廊  
 新美術新聞 1345

谷口真人 Untitled 3.1—3.29 NANZUKA  
 美術手帖 1004 工藤健志

[谷口吉郎・谷口吉生]展—金沢が育んだ二人の建築家 11.15—12.21 金沢市民芸術村  
 読売 12.4 高野清見

谷口亘作陶展 6.23—6.28 ギャラリーミハラヤ  
 東京 6.24

書架 Lab. 「みんなの本棚を作ろう！」 公開制作61[谷田幸] 4.19—6.8 府中市美術館

谷中安規 1930年代の夢と現実

鬼才の画人 10.4—11.24 町田市立国際版画美術館(岩手県立美術館)  
朝日夕刊 11.12 大西若人  
産経 11.13 黒沢和彦  
東京 10.6  
東京 10.28 池上英洋  
東京夕刊 10.14 原田光  
東京夕刊 10.15 海野弘  
東京夕刊 10.16 金井田英津子  
読売 11.13 渡部恵子

Have a Good Appetite[谷中佑輔]

9.6—10.11 児玉画廊(京都)  
美術手帖 1014 長谷川新  
ARKO2014 谷保玲奈 8.8—9.28  
大原美術館  
新美術新聞 1352

谷本真理展 東アジアの夢 Bank-ART Life IV 東アジア文化都市2014横浜 UNDER35/2014 10.3—10.15 BankART Studio NYK

田沼武能写真展 「むさしの日記」 5.15—5.21 オリンパスギャラリー一東京(オリンパスギャラリー大阪)  
東京 5.6 田中哲男  
読売 5.16

思い出のマーニー×種田陽平展 7.27—9.15 江戸東京博物館(愛媛県美術館、愛・地球博記念公園、新潟県立近代美術館)  
毎日夕刊 7.23 勝田友巳

田端勝清 絵本原画・日本画展 9.7—9.21 三島バサディナ美術館  
新美術新聞 1353

田原良隆展一河へ・パリー 11.24—11.29 ギャラリー・オカベ  
新美術新聞 1361

田淵安一 知られざる世界 7.5—9.15 神奈川県立近代美術館(鎌倉)  
新美術新聞 1352

田淵行男作品展「自然と向き合う」 4.1—7.31 写真歴史博物館  
読売夕刊 6.10 堀久士

デジタル版画 田保橋淳展 曼陀羅

花鳥 10.3—10.9 Art Gallery M 84  
ギャラリー\* 354  
レスポワール新人選抜48回・玉井祥子個展 2.17—2.22 銀座スルガ台画廊  
水墨画\* 301

交わる縁[えにし]～その作品と交流～ 前田青邨最後の弟子小山硬とからくり人形師玉屋庄兵衛 10.18—12.14 古川美術館  
新美術新聞 1360

田村彰英 仙川の変遷1995—2012 街が生まれる一仙川展 1.11—3.2 東京アートミュージアム  
ギャラリー\* 345

田村玉鈴水墨画展～墨色に魅せられて 9.29—10.13 KTN ギャラリー一  
新美術新聞 1356

タムラサトル《真夏の遊園地》親と子と孫で楽しむ栃木国際芸術祭 2014 7.12—9.23 栃木県立美術館  
芸術新潮 777  
ZENBI 7 小泉淳一

能里子ミュージアムギャラリー[田村能里子] 10.14—10.30 ファンケル銀座スクエア  
美術\* 469

田村晴海展 からす天空十六羅漢とその守り神達 11.16—11.22 妙顕寺客殿  
新美術新聞 1360

LOVE STORY～ダリ 5つの愛の物語～[サルパドール・ダリ] 4.20—6.29 諸橋近代美術館  
ギャラリー\* 348

サルパドール・ダリ展 生誕110年記念 9.18—10.13 日動画廊(笠間日動美術館、名古屋日動画廊、福岡日動画廊)  
芸術新潮 777  
新美術新聞 1356

俵有作展—水墨の波動— レオナルドを慕い、山水に遊び、ミシオーを想う 12.6—2.8 練馬区立美術館

平成26年美術展覧会(作タ、チ)

書道界 302  
フィオナ・タン まなざしの詩学 7.19—9.23 東京都写真美術館(国立国際美術館)  
美術手帖 1012 村田大輔 評  
美術の窓 372 フィオナ・タン 談/後藤繁雄 聞き手  
朝日夕刊 9.10 大西若人  
産経 9.11 黒沢綾子  
毎日夕刊 9.10 岸桂子  
読売 8.28 前田恭二  
フィオナ・タン まなざしの詩学 12.20—3.22 国立国際美術館(東京都写真美術館)  
書道界 304

(チ)

チームラボと佐賀 巡る!巡り巡って巡る展 2.28—3.22 佐賀県立美術館/佐賀県立九州陶磁文化館/佐賀県立名護屋城博物館/佐賀県立宇宙科学館  
毎日夕刊 3.19 宇野常寛

チームラボ 踊る!アート展と、学ぶ!未来の遊園地 11.29—5.10 日本科学未来館  
ギャラリー\* 356  
芸術新潮 782

美術手帖 1019 石岡良治 評  
東京 11.29 小形佳奈  
東京夕刊 12.19 藤田一人

台湾絵画の巨匠 陳澄波油彩画作品修復展—國立台湾師範大學藝術學院文物保存維護研究發展中心・東京藝術大学大学院文化財保存学保存修復油画研究室共同研究発表— 9.12—10.2 東京藝術大学美術館正木記念館

智内兄助展 3.14—4.5 ギャラリー一ためなが  
ギャラリー\* 347

チャーリー磯崎 鉄の世界展 12.17—12.23 小田急(新宿)  
東京 12.12 村松権主 鷹

染色芸術の世界—鶴巻鶴一と中堂憲一— 1.14—2.28 京都工芸繊維大学美術工芸資料館  
新美術新聞 1334  
新美術新聞 1335 並木誠士

この人たちに光を一写真家趙根在が  
伝えた入所者の姿— 国立ハンセン病資料館2014年度秋季・2015年度春季企画展 11.16—5.31  
国立ハンセン病資料館  
毎日 11.28 江刺正嘉  
作品と共に偲ぶ—全日根陶展  
10.25—11.3 アートサロン光玄  
陶説 742 井上隆生  
ジョン・ヨンドウ 地上の道のように 11.8—2.1 水戸芸術館現代美術ギャラリー  
美術手帖 1019 北澤ひろみ 評  
美術の窓 378 荒木夏実  
十五代沈壽官展 10.1—10.7 高島屋(米子)(高島屋(横浜))  
鎮西直秀展—神秘の光彩— 画業40周年記念 3.17—3.29 ギャラリー一枚の繪  
新美術新聞 1338  
(ツ)  
築城則子—縞の今— 小倉織復元30周年 北九州市立美術館開館40周年記念 9.27—11.3 北九州市立美術館分館  
津江三千子—華のささやき— 9.8—9.14 銀座幸伸ギャラリー  
新美術新聞 1353  
司修・ミアチュール 11.11—11.23 ギャラリーヒルゲート  
新美術新聞 1360  
辻蔵人展—LOST ANIMALS— 7.25—8.23 Gallery Art Composition  
読売夕刊 8.11 (恵)  
辻司展 西域の菩薩とメキシコの生命の樹 5.7—5.18 画廊ぶらんしゅ  
美術の窓 368 高山淳  
辻野典代 小さな春展 2.10—2.16 ギャラリー・コパンダール  
新美術新聞 1335  
辻村寿三郎人形展 平家物語縁起〜清盛、その絆と夢〜 2.16—3.30 佐野美術館  
新美術新聞 1337  
ヒトのカタチ、彫刻 津田亜紀子/藤原彩人/青木千絵 Shizubi

project 4 12.16—3.22 静岡市美術館  
新美術新聞 1366  
津田洋 大和の美仏に魅せられて 9.12—9.28 奈良文化財研究所飛鳥資料館  
土田泰子個展 「と」 4.12—5.3 YUKI-SIS  
ギャラリー\* 348  
Remembrance 3.11 土田ヒロミ 写真展 フクシマ 2.26—3.11 ニコンサロン(銀座)(ニコンサロン(大阪))  
毎日夕刊 3.4  
Remembrance 3.11 土田ヒロミ 写真展 フクシマ 8.7—8.20 ニコンサロン(大阪)(ニコンサロン(銀座))  
美術手帖 1012 清水穰  
絵師たちの視線[まなざし]—安治、清親、光逸— 井上安治生誕150周年記念[土屋光逸] 4.27—6.8 茅ヶ崎市美術館  
版画芸術 163 西内裕詞  
筒井京子油絵展12回 8.4—8.9 文芸春秋画廊  
新美術新聞 1351  
筒井伸輔展 4.30—5.31 ミヅマアートギャラリー  
芸術新潮 775  
朝日夕刊 5.13  
染色芸術の世界—鶴巻鶴一と中堂憲— 1.14—2.28 京都工芸繊維大学美術工芸資料館  
新美術新聞 1334  
新美術新聞 1335 並木誠士

(テ)

タン・ディシン 7.5—8.9 オオタファインアーツ  
美術手帖 1012 近藤亮介  
告発する美術2 ジョージ・グロスとオットー・ディックス 8.5—10.26 福岡市美術館  
ヴォルフガング・ティルマンス “Affinity” 1.18—3.15 WAKO WORKS OF ART  
美術手帖 1000 清水穰  
日経 3.13 平野啓一郎

読売 2.13 前田恭二  
ジョルジョ・デ・キリコ展[ジョルジオ・デ・キリコ] 6.21—8.22 岩手県立美術館(浜松市美術館、パナソニック汐留ミュージアム)  
芸術新潮 778 宮下規久朗  
新美術新聞 1348  
朝日夕刊 10.8 高階秀爾  
ジョルジョ・デ・キリコ展 10.25—12.26 パナソニック汐留ミュージアム(岩手県立美術館、浜松市美術館)  
美術の窓 375 萩原敦子 談  
美術屋・百兵衛 31  
朝日夕刊 12.17 安齋耕一  
産経 11.2 渋谷和彦  
日経 12.11 平野啓一郎  
読売夕刊 12.17 池辺晋一郎  
ウィレム・デ・クーニング展 10.8—1.12 ブリヂストン美術館  
新美術新聞 1356 新畑泰秀  
美術手帖 1016 藤原えりみ 評  
朝日夕刊 12.3 大西若人  
産経 10.23  
東京 12.9 杉全美帆子  
東京夕刊 11.7 中村英樹  
日経 11.12 窪田直子  
読売 12.4 大島徹也  
四神の書 上田桑鳩 手島右脚 金子鷗亭 桑原翠邦 比田井天来門 下四書家の足跡を辿る 5.10—6.22 釧路市立美術館(文化フォーラム春日井、唐津市近代図書館、安芸市立書道美術館)  
憬色—手塚雄二展 11.12—11.18 三越(日本橋)(三越(仙台、福岡))  
新美術新聞 1360  
美術\* 470 本江邦夫  
デュフィ展 絵筆が奏でる色彩のメロディー[ラウル・デュフィ] 6.7—7.27 Bunkamura ザ・ミュージアム(あべのハルカス美術館、愛知県美術館)  
美術の窓 370 宮澤政男 談  
朝日夕刊 6.25 西岡一正  
産経 6.22 渋谷和彦  
東京 6.7  
東京 6.24 池上秀洋  
東京夕刊 6.5 木島俊介/黒田

和士  
 東京夕刊 6.16 千住真理子  
 東京夕刊 6.17 須藤玲子  
 東京夕刊 6.18 吉谷桂子  
 東京夕刊 6.23 池辺晋一郎  
 東京夕刊 6.24 こぐれひでこ  
 読売 7.17

寺久保文宣油絵展 12.3—12.9 三越(日本橋)  
 新美術新聞 1362

寺坂公雄展 10.22—10.28 三越(日本橋)  
 新美術新聞 1358 富田章  
 美術の窓 373 高山淳

寺崎広業展 明治の谷文晁とよばれた男 4.26—6.29 佐野市立吉澤記念美術館  
 ギャラリー\* 350  
 新美術新聞 1343

寺島裕二 陶展 鈍色の美 12.9—12.27 橋本美術  
 陶説 743 井上隆生

八木原由美・天狗寺陶白人 二人展 11.19—11.25 小田急(町田)  
 新美術新聞 1360

(ト)

ロベール・ドアノの写真 パリ・アルプス・幸せな時間 7.5—9.29 清里フォトアートミュージアム  
 読売夕刊 7.29 山地裕子

堂野夢酔・こむすい展[堂野こむすい] 4.15—4.20 銀座大黒屋ギャラリー  
 読売 4.12

堂本印象名品展 没後40年 12.10—4.12 京都府立堂本印象美術館  
 新美術新聞 1363

フルール・ファン・ドールデバルト 131 VARIATIONS 4.18—4.30 POST / limArt  
 美術手帖 1006 勝俣涼

アール・ヌーヴォーのガラス工芸 ドーム兄弟 開館30周年記念特別展[オーギュスト・ドーム/アントナン・ドーム] 4.3—3.29 北澤美術館  
 ギャラリー\* 352

美術\* 464

時井桂子個展 3.24—3.29 文藝春秋画廊  
 新美術新聞 1338

水、そして光[時任垂矢子] 6.2—6.14 村越画廊  
 新美術新聞 1345

spatial oblique 徳重道朗 7.15—7.27 Gallery noivoi  
 REAR 33 鈴木啓二郎

四代徳田八十吉 作陶展 襲名記念 10.29—11.4 三越(日本橋)  
 新美術新聞 1359

関東大震災・蘇った幻の大型絵画—徳永柳洲と大型震災画— 8.26—9.28 復興記念館  
 朝日夕刊 8.13 渡辺洋介

戸田守宣 柴田真理子 渡邊太郎 9.6—9.20 ギャラリー顕美子  
 陶説 740 井上隆生

戸田裕介 触れる壮観/spec・tactile 1.5—3.23 川崎市立美術館  
 新美術新聞 1334

利根川さよ子パステル画展 花シリーズ 3.14—3.19 ギャラリー日比谷  
 新美術新聞 1338

清須ゆかりの作家 鳥羽美花展 時空を超えて—辿りついた場所より 4.12—6.8 清須市はるひ美術館  
 新美術新聞 1342  
 REAR 32 柴辻政彦

鳥羽美花—禅を染める 開山栄西禅師八百年大遠諱慶讃特別展 11.29—12.14 建仁寺  
 美術\* 472  
 美術の窓 376 小森佳代子

富井大裕 ブラインドコンポジション SHOW—CASE PROJECT No.0 3.3—5.9 慶應義塾大学アート・スペース

富井大裕 3個の消しゴム SHOW—CASE PROJECT No.1 9.17—12.12 慶應義塾大学アート・スペース

画人 富岡鉄斎展 2.14—3.23 富山県水墨美術館  
 水墨画\* 299 浅地豊

鉄斎 TESSAI 没後90年 6.14—8.3 出光美術館  
 新美術新聞 1346 島尾新  
 水墨画\* 303  
 産経 7.20 洪沢和彦  
 東京夕刊 7.4 石川翠  
 日経 6.15  
 日経 7.2 宮川匡司  
 日経夕刊 6.5  
 読売 7.3

富岡鉄斎と近代日本の中国趣味 8.22—10.5 大和文華館  
 新美術新聞 1353

富永直樹彫刻展 生誕100年記念 7.16—7.22 三越(日本橋)  
 新美術新聞 1350 雨宮敬子

富張広司木版画展 画業55周年 1.20—2.15 富張広司木版画美術館(古河市とねミドリ館、埼玉会館)  
 版画芸術 162 室伏勇

豊増一雄茶陶展 泉石有情 10.28—11.3 野村美術館  
 陶説 743 清水穰

1日だけの鳥居清長 200回忌 6.21—6.21 回向院  
 東京 6.20 丹治早智子

鳥山玲 日本画展—祈り— 4.9—4.15 三越(日本橋)  
 新美術新聞 1340  
 美術\* 463 編集部  
 産経 4.3  
 東京 4.7 小田克也  
 読売 4.10

## (ナ)

内藤展 アタマの現場 1.18—3.22 TOTO ギャラリー・間  
 朝日夕刊 3.12 大西若人/千葉成夫  
 毎日夕刊 3.3 永田晶子  
 読売夕刊 2.17 (睦)

水墨画家 内藤藤久 追憶 8.12—8.17 鳩居堂画廊  
 新美術新聞 1351

タマ/アニマ(わたしに息を吹きかけてください)内藤礼 畠山直哉 写真 4.4—5.31 ギャラリー小柳

- 朝日夕刊 5.14 大西若人  
**内藤礼 信の感情** 11.22—12.25  
 東京都庭園美術館  
 ギャラリー\* 355  
 芸術新潮 781  
 新美術新聞 1361  
 美術手帖 1016 白坂ゆり  
 美術手帖 1018 岡部あおみ 評  
 朝日夕刊 12.3 安斎耕一  
 産経 12.7 黒沢綾子  
 東京夕刊 11.28 岡部あおみ  
 毎日 11.22 岸桂子  
**直野恵子展** 1.20—1.26 柴田悦子  
 画廊  
 水墨画\* 300  
**永井一正 POSTER LIFE 1957—**  
**2014** 4.19—6.1 富山県立近代  
 美術館  
 芸術新潮 774  
**長江重和+三原研一軌跡と未来**  
 1.24—2.8 西福ギャラリー  
 陶説 733 花里麻理  
**長岡美和子 墨象の世界—出版記念**  
**展—** 6.3—6.8 Hide Fukasaku  
 Gallery  
 新美術新聞 1345  
**長岡美和子個展32回** 10.26—11.1  
 滝不動スタジオM  
 新美術新聞 1358  
**オサム・ジェームス・中川写真展**  
**沖縄—GAMA/BANTA/REMA-**  
**INS** 6.2—8.3 写大ギャラリー  
 朝日夕刊 6.25 西岡一正  
**オサム・ジェームス・中川 GAMA**  
**CAVES** 6.6—7.19 フォト・ギ  
 ャラリー・インターナショナル  
 朝日夕刊 6.25 西岡一正  
**中畔千嘉・影山あつこ二人展** 12.  
 15—12.27 ギャラリー福山  
 新美術新聞 1362  
**ネガ・アフター・イメージ[中里洋**  
**介]** 9.13—10.25 アキバタマビ  
 21  
 東京夕刊 10.3 中村英樹  
**長沢明展** 5.12—5.24 ガレリア・  
 グラフィカ  
 ギャラリー\* 349  
**中澤弘光展—知られざる画家の軌跡**  
**生誕140年** 7.12—9.7 三重県  
 立美術館(そごう美術館)  
**中澤弘光展—知られざる画家の軌跡**  
**生誕140年** 9.12—10.13 そご  
 う美術館(三重県立美術館)  
 新美術新聞 1353  
 朝日夕刊 10.1 大西若人  
 読売 10.9 前田恭二  
**中嶋明展 終わらない旅** 7.26—  
 9.21 掛川市二の丸美術館  
 新美術新聞 1350  
**中嶋修・横浜にぎわい座を描く**  
**2014 “寄席のにぎわい”** 8.1—  
 9.15 横浜にぎわい座  
 東京 9.5 藤田一人  
**おもちゃ・野菜果物と花鳥画の競演**  
**中島千波展** 10.10—12.9 おぶ  
 せミュージアム・中島千波館  
 新美術新聞 1357  
**中島登詩子展“Japanese girls”** 7.  
 21—7.26 ギャラリー La Mer  
 ギャラリー\* 351  
**中島晴美・前田昭博展** 9.11—10.  
 19 多治見市文化工房ギャラリー  
 ヴォイス  
 新美術新聞 1354  
 陶説 740 井上隆生  
**中島由夫シンドローム ダダカン師**  
**へのオマージュ** 6.8—6.22 Ga-  
 lery Turnaround  
**グラフィックトライアル2014 響。**  
**[長鳴りかこ]** 6.7—8.24 印刷  
 博物館P & P ギャラリー  
 毎日夕刊 7.9 永田晶子  
**永瀬義郎と川上澄生—愛と浪漫と詩**  
**情—** 10.4—12.23 鹿沼市立川  
 上澄生美術館  
 朝日夕刊 11.12 中村茉莉花  
**なかだえり水彩画展15** 5.22—6.1  
 なかだえりアトリエ  
 東京 5.22 出田阿生  
**中田一於作陶展** 3.19—3.25 三越  
 (日本橋)  
 新美術新聞 1339  
 陶説 735 唐澤昌宏  
**永田義信個展** 6.30—7.6 ギャラ  
 リームサン  
 新美術新聞 1347  
**中谷晃展** 4.30—5.6 高島屋(横  
 浜)  
 新美術新聞 1342  
**永名二委水墨画展** 1.6—1.25 画廊  
 喫茶・サンマロー  
 新美術新聞 1332  
**永名二委水墨画展** 8.1—8.9 京王  
 プラザホテルロビーギャラリー  
 新美術新聞 1351  
**中西賢一展** 3.1—3.30 ギャラリー  
 ーアコスタージュ  
 新美術新聞 1337  
**中西夏之 キアスム/chiasme**  
 10.10—11.8 SCAI THE BATH-  
 HOUSE  
**中西和の世界19回** 11.9—11.23  
 ギャラリー桜の木(銀座)  
 新美術新聞 1360  
**中西良展—森の気配・街の気配—**  
 6.5—6.18 日動画廊  
 芸術新潮 774  
**長沼基樹展 新世代への視点2014**  
**画廊からの発言** 7.21—8.2 な  
 びす画廊  
 産経 7.24 渋谷和彦  
**水墨玄空 2014[中野嘉之]**  
 11.16—11.29 シルクランド画廊  
 新美術新聞 1360  
 美術\* 470 小松謙一、中野嘉之、  
 大竹卓、呉一駄、島尾新、野地耕  
 一郎/顧定珍 進行  
**田中信太郎 岡崎乾二郎 中原浩大**  
**かたちの発語** 4.25—6.22 Ba-  
 nkART Studio NYK  
 ギャラリー\* 349  
 ギャラリー\* 350 三田晴夫  
 芸術新潮 776  
 美術手帖 1006 蔵屋美香 評  
 朝日夕刊 6.4 大西若人  
 産経 6.12 渋谷和彦  
 東京夕刊 6.6 岡部あおみ  
 毎日夕刊 6.4 岸桂子  
**公募—日本の絵画2012— 大賞・**  
**優秀賞各受賞者個展 永松あき子**  
 9.8—9.13 永井画廊  
 新美術新聞 1353  
 美術\* 468  
 美術の窓 375 (紺)  
**中道芳美40年のあゆみ 命の薔薇**  
**画展—いのち・愛・希望—** 5.6  
 —5.11 豊田市美術館

- 新美術新聞 1343
- 中道芳美 希望の薔薇〜キリストの  
まなざし 9.29—10.6 ギャラリ  
ーステラ
- 新美術新聞 1355
- 海への旅 中村征夫 1.15—1.27  
三越(日本橋)  
朝日 1.22
- 中村一美展 3.19—5.19 国立新美  
術館  
ギャラリー\* 349 名古屋覚  
芸術新潮 773  
新美術新聞 1340  
水墨画\* 302  
美術手帖 1005 沢山遼 聞き手  
・構成  
朝日夕刊 4.30 大西若人  
産経 5.1 渋谷和彦  
日経 3.26 窪田直子  
毎日夕刊 4.30 岸桂子  
読売夕刊 3.29 井上晋治
- 中村一美展 M画廊25周年記念  
7.13—8.21 M画廊
- 中村一美個展 9.5—10.2 Kaikai  
Kiki Gallery  
ギャラリー\* 354 三田晴夫  
芸術新潮 779
- 中村佳代展 5.12—5.24 始弘画廊  
新美術新聞 1343
- 日々の花々 所蔵作品展[中村研一]  
3.29—6.1 中村研一記念小金井  
市立はげの森美術館  
朝日夕刊 5.14 塩見圭
- 中村ケンゴ個展 心文一致 “Our-  
selves in Today's World” 1.14—  
2.1 Showcase MEGUMI OGITA  
GALLERY  
ギャラリー\* 346 小金沢智
- 中村賢次展一街の風景— 7.9—  
7.15 高島屋(京都)(高島屋(大  
阪))  
新美術新聞 1348
- 中村康平五十碗展 3.18—3.29 橋  
本美術  
陶説 734 井上隆生
- 中村信喬展一祈りより生まれたひと  
がた— 12.25—1.7 三越(日本  
橋)  
新美術新聞 1332
- 九谷の陶彫—蘇山・加全・翠恒の織  
り成す具象の美—[中村翠恒]  
11.1—2.1 石川県九谷焼美術館  
陶説 741 蔵元敬大
- 中村智恵美の世界展 4.22—5.6  
神田日勝記念美術館  
新美術新聞 1342
- 中村誠の資生堂 美人を創る 6.3  
—6.29 資生堂ギャラリー  
朝日夕刊 6.18 山田優
- 中村マヤ展 9.29—10.4 シロタ画  
廊  
新美術新聞 1356
- 中村謙展 10.7—10.13 そごう(神  
戸)(そごう(横浜))  
新美術新聞 1357
- 中村豊作陶展 わが社の一押し  
1.29—2.4 高島屋(名古屋)  
陶説 733 井上隆生
- 中村陽子出版記念作品展 2.2—  
2.16 ギャラリーユニコン  
新美術新聞 1334
- 中村好文展 小屋においでよ!  
4.26—8.31 金沢21世紀美術館  
(TOTO ギャラリー・間)  
朝日夕刊 7.9 安部美香子
- 中谷有逸 碑を刻み、生命を謳う。  
10.3—12.3 北海道立帯広美術館
- ミニアチュール—中山忠彦×牧進—  
11.5—11.11 高島屋(日本橋)(高  
島屋(京都、大阪、横浜))  
新美術新聞 1359  
美術\* 470 編集部
- 存在の美学3回 伊達市噴火湾文  
化研究所同人展[永山優子] 4.23  
—4.29 高島屋(日本橋)(高島屋  
(大阪)、だて歴史の杜カルチャー  
センター、札幌芸術の森美術館)  
新美術新聞 1342 野田弘志/永  
山優子/小尾修
- 永山裕子 水彩画展 10.1—10.14  
ギャラリー青葉  
美術の窓 373 編集部
- なぎら健彦写真展2014「忘れそうな  
夏」 9.11—9.19 森下文化セン  
ター  
東京 9.17 荘加卓嗣
- グラフィックトライアル2014 響。  
[南雲暁彦] 6.7—8.24 印刷博  
物館 P & P ギャラリー  
毎日夕刊 7.9 永田晶子
- 名坂有子展 9.19—10.19 White-  
stone Gallery  
ギャラリー\* 353
- ナジルン展 The Breath of Nasirun  
伝統の変容 9.10—10.11 ミヅ  
マアートギャラリー  
芸術新潮 779
- 並木恒延 漆絵展 漆黒に魅せられ  
て 4.26—5.6 薬師寺東院堂  
新美術新聞 1343
- 並木恒延 漆芸展—漆に光と空気を  
求めて— 11.21—11.30 ギャラ  
リー長谷川  
新美術新聞 1361
- 色彩の画家 並木治予視回顧展  
7.5—7.20 湘南画廊  
新美術新聞 1349
- 前田昌良×涙ガラス制作所×鉱物ア  
ソビ 輪唱—小川洋子へのオマー  
ージュ— 4.4—4.12 Gallery SU  
(恵文社一乗寺店・ギャラリーア  
ンフェール)  
芸術新潮 774
- 奈良晋裕展 ALORS, ON Y VAI~  
DEUXIEME VOYAGE~ 9.8—  
9.13 新井画廊  
新美術新聞 1353
- 奈良原一高 王国 11.18—3.1 東  
京国立近代美術館  
読売 12.12 増田玲
- 榎原健三展 10.6—10.12 目白美  
術館  
ギャラリー\* 354  
新美術新聞 1356
- ナンシー関 顔面遊園地 消しゴム  
の鬼 見えるものしか見ない。そ  
して見破る。ましてや彫る。  
11.14—11.25 パルコミュージア  
ム(ロフトフォーラム(梅田)、パ  
ルコ(仙台)、富山市民プラザ)  
朝日 11.12 中島耕太郎
- 南場恭子油彩画展 5.13—5.18 福  
井県立美術館  
新美術新聞 1343
- 難波田龍起展 Tコレクションを中  
心に 10.4—12.14 大川美術館  
産経 11.23 渋谷和彦

難波田史男の世界 イメージの冒険  
12.6—2.8 世田谷美術館  
新美術新聞 1363  
東京 12.21 森本智之

(ニ)

新川美湖展—その時の風景— 2.15  
—4.13 相模原市民ギャラリー  
新美術新聞 1336

新里明士展 3.23—3.30 現代陶芸  
寛土里  
陶説 735 唐澤昌宏

美に濃ゆし[新里明士] 7.30—8.5  
高島屋(名古屋)  
陶説 739 井上隆生

新里明士 introspection×extro-  
spection 11.12—11.25 三越  
(日本橋)

陶説 743 唐澤昌宏

仁戸田典子展—生まれし時を結ぶ  
7.3—7.15 日動画廊  
新美術新聞 1348

西真里子個展 2.21—3.1 光画廊  
美術の窓 367 ワシオ・トシヒ  
コ

西澤知江子 絵画展 2.12—2.18  
小田急(新宿)  
新美術新聞 1335

西澤知江子 絵画展 5.8—5.14  
東急(渋谷)  
新美術新聞 1343

妹島和世+西沢立衛/SANAA 展  
十和田市現代美術館 開館5周  
年記念展 vol.3 2.1—3.30 十  
和田市現代美術館  
毎日夕刊 3.5 永田晶子

西田藤夫展 静けさが形となる時  
イタリア三十五年 10.16—1.13  
池田20世紀美術館

西田陽二油絵展 2.5—2.11 三越  
(日本橋)  
新美術新聞 1334  
美術\* 461

美術の窓 365 小森佳代子  
西谷勝輝ニューヨーク油彩展 5.23  
—6.1 ひろしんギャラリー  
新美術新聞 1344

西中千人ガラス展—伝統を呼び未来  
を継ぐ 3.15—5.11 古川美術館

分館爲三郎記念館

毎日夕刊 5.1 永田晶子

西野健太郎作品展 「いのちの詩」  
8.28—9.2 ギャラリーコワ  
東京 8.29 奥野斐

西原清繁書展 3.26—3.30 うらわ  
美術館  
毎日夕刊 3.26 桐山正寿

西房浩二展 10.15—10.21 高島屋  
(横浜)(高島屋(日本橋))  
新美術新聞 1357  
美術\* 469

西房浩二展 12.10—12.16 高島屋  
(日本橋)(高島屋(横浜))  
美術の窓 375 武田厚

絵本づくりのマイスター3人展—  
西巻茅子・馬場のぼる・わかやま  
けん— 7.4—9.4 Gallery A<sup>+</sup>  
新美術新聞 1349

西村健太「SUBLIMATE」 6.14—  
7.5 無人島プロダクション  
産経 6.26 渋谷和彦

金剛仏子西村公泉 木彫展—彫禅—  
如一 9.17—9.23 高島屋(大阪)  
新美術新聞 1355

西村沙由里展 11.24—12.6 ギャ  
ルリー志門  
芸術新潮 781

西村千太郎展—「日本的フォーブ」か  
ら20世紀の人間像へ— 没後20  
年 9.26—10.3 名古屋画廊

西村知恵個展 12.19—12.26 横浜  
画廊元町店  
新美術新聞 1363

西村紀子 自選展 10.27—11.1  
文藝春秋画廊  
新美術新聞 1357

西村玲子の「物語」展 11.11—11.22  
コーヒー&ギャラリー 糸いじう  
毎日 11.20 野村房代

二艘木洋行 プロミスフレンズ ニ  
アレストネイバーランド前 9.18  
—10.30 TALION GALLERY  
美術手帖 1016 gnck 評

新田コージ展 9.12—9.22 ボルト  
リブレ  
新美術新聞 1354

蜷川実花写真展 11.14—12.3 富  
士フィルムフォトサロン(東京)

新美術新聞 1360

APMoA Project, ARCH vol.10 丹  
羽康博 詩としての行為 6.20—  
7.21 愛知県美術館

REAR 33 都筑正敏  
空間概念/丹羽康博展 9.13—9.28  
L gallery

REAR 33 都筑正敏

(ネ)

根岸嘉一郎水墨画展 4.30—5.6  
松坂屋(上野)

新美術新聞 1342

根岸君夫油彩画展 2.9—2.15 東  
京交通会館ゴールドサロン  
新美術新聞 1334

根岸よしこ油彩画展 3.23—3.29  
東京交通会館シルバーサロンA  
新美術新聞 1337

ジョージ・ネルソン展 建築家・ラ  
イター・デザイナー・教育者  
7.15—9.18 目黒区美術館

新美術新聞 1351

朝日夕刊 8.27 山田優

読売 9.4 降旗千賀子

読売夕刊 8.26 降旗千賀子

読売夕刊 9.8 (阮)

(ノ)

野口哲哉 野口哲哉の武者分類(む  
しゃぶるい)図鑑 2.18—4.6 練  
馬区立美術館(アサヒビール大山

崎山荘美術館)

芸術新潮 772

新美術新聞 1337

美術\* 464 折井宏光/満田晴徳  
/藤田一人

美術\* 471 荒井繭

朝日夕刊 2.26 岡山朋代

朝日夕刊 3.26 西岡一正

産経 3.13 渋谷和彦

読売 3.27 森田睦

野口宏文展—春陽会会員— 10.6—  
10.11 東邦アート  
新美術新聞 1356

野口里佳 父のアルバム/不思議な  
力 9.19—11.5 Gallery 916

芸術新潮 779

朝日夕刊 10.22 西岡一正



野田哲也展 日記：軌跡をかえりみて1968—2014 5.23—6.28 ギャラリー五辻  
毎日夕刊 6.25 岸桂子

野田哲也 新作展 11.3—11.15  
ギャラリーゴトウ  
新美術新聞 1359

存在の美学3回 伊達市噴火湾文化研究所同人展〔野田弘志〕 4.23—4.29 高島屋(日本橋)(高島屋(大阪)、だて歴史の杜カルチャーセンター、札幌芸術の森美術館)  
新美術新聞 1342 野田弘志／永山優子／小尾修

ホキ美術館4周年企画—描くために生きる—全精神をかけたリアリズム 野田弘志展 11.21—5.17  
ホキ美術館  
ギャラリー\* 352  
美術屋・百兵衛 32

野田裕示 拡大の一例II 9.29—10.18 ギャラリー東京ユマニテ

怪談展 小泉八雲(ラフカディオ・ハーン)の開かれた精神と野田正明 伊豆高原アートフェスティバル22回 5.1—5.31 ヒロ画廊伊豆高原  
ギャラリー\* 349

野長瀬晩花 没後50年 9.13—12.7 和歌山県立近代美術館  
大正イマジユリィ 10 藤本真名美

山口長男☆野見山暁治と実専展6回 1.6—1.12 ギャラリームサシ  
新美術新聞 1332

野見山暁治展 いつかは会える 1.25—3.23 ニューオータニ美術館  
東京夕刊 2.28 藤田一人  
読売 3.6

「はじめまして百貨店 野見山暁治です。」 3.5—3.11 高島屋(大阪)(高島屋(京都、日本橋、横浜))  
美術の窓 366 武田厚  
美術の窓 368 野見山暁治、一井建二 対談

「はじめまして百貨店 野見山暁治です。」 4.30—5.6 高島屋(日

本橋)(高島屋(大阪、京都、横浜))  
朝日夕刊 4.23 大西若人

野見山暁治 イラスト展 11.10—11.22 みゆき画廊  
朝日夕刊 11.19 大西若人

野村佐紀子 写真展“TAMANO” 7.5—7.24 Bギャラリー  
読売夕刊 7.19

## (ハ)

「アート・スコープ2012—2014」  
旅の後もしくは痕〔ベネディクト・パーテンハイマー〕 7.12—10.13 原美術館  
毎日夕刊 8.26 岸桂子

ティム・パートンの世界 11.1—1.4 森アーツセンターギャラリー(グランフロント大阪)  
美術手帖 1014 編集部  
朝日 11.11 小原篤  
産経 11.30 藤井克郎  
東京 10.31 千足伸行  
東京 11.1  
東京 11.3 木村建哉  
東京 11.25 池上英洋  
東京 12.1  
東京夕刊 5.21 森本智之  
読売夕刊 10.24 大木隆士

サンギ・コレクション展 サンギ創立40周年記念〔マーク・ハウソン〕 9.17—9.21 セントラルミュージアム銀座  
美術\* 468 編集部

袴田京太郎展一人と煙、その他— 4.19—6.22 平塚市美術館  
美術手帖 1008 森啓輔 評  
朝日夕刊 6.4 大西若人  
毎日夕刊 4.23 岸桂子

朴正文個展&前橋教室パステル画展1回 10.16—10.19 ギャラリー・オーツ—  
新美術新聞 1357

白浪画伯水墨画展 東日本大震災復興チャリティー 5.10—5.12 玉泉寺(東京)  
毎日 5.2 柴田朗

橋爪彩 Beautiful Stranger 9.27—10.19 ポーラミュージアムアネックス

新美術新聞 1356  
毎日夕刊 10.8 岸桂子

橋本聡 Fw: The Successive President of the United States of America 9.1—9.13 表参道画廊  
セイ・ハシモト新作絵画展—バリ、多くの細道— 10.8—10.14 伊勢丹(新宿)  
新美術新聞 1356

橋本雅也 一草一木 12.2—12.25 ロンドンギャラリー(白金)  
美術手帖 1018 岡村幸宣

はしもとみお展 動物たちからの手紙 2.1—2.23 一宮市三岸節子記念美術館  
REAR 32 高橋秀治

東山魁夷と東京美術学校有志—橋本明治・加藤栄三・山田申吾— 10.11—11.30 市川市東山魁夷記念館  
新美術新聞 1358

長谷川等伯展 なんでも描いた なんでも描けた～その多彩な画業～ 4.26—6.1 石川県七尾美術館  
水墨画\* 301

長谷川利行展 11.8—11.27 フクヤマ画廊(羽黒洞)

長谷川喜久日本画展 花・人・風景そして墨 7.9—7.15 高島屋(名古屋)(高島屋(大阪))  
美術の窓 372 武田厚

佐々木良三・畠山恭子作品展 10.1—1.11 亀田城佐藤八十八美術館  
美術の窓 376 高山淳

タマ／アニマ(わたしに息を吹きかけてください)内藤礼 畠山直哉 写真 4.4—5.31 ギャラリー小柳  
朝日夕刊 5.14 大西若人

クヴィエタ・パツォウスカー 3.1—5.18 ちひろ美術館(東京)  
読売夕刊 4.22 松方路子

服部しほりの日本画—か弱き蒼氓ども— 11.8—11.22 蔵丘洞画廊  
美術\* 470 服部しほり、田島達也 対談

ザハ・ハディド 10.18—12.23 東京オペラシティアートギャラリー

- 産経 10.23 黒沢綾子  
東京夕刊 10.27 森本智之  
日経 11.13 平野啓一郎  
日経 12.13  
読売 12.12 前田恭二
- 英隆行 イヘーレン岩壁画写真展**  
9.17—9.21 タイムドーム明石  
(京都文化博物館)  
読売 9.17
- 灰色区域[花代] 2.13—5.15 Costume NATIONAL I LAB**  
美術手帖 1006 榎木野衣
- 絵本づくりのマイスター3人展—西巻茅子・馬場のぼる・わかやまけん— 7.4—9.4 Gallery A<sup>1</sup>**  
新美術新聞 1349
- 11ぴきのねこと馬場のぼるの世界 7.19—8.31 八王子市夢美術館**  
(仙台文学館、萬鉄五郎記念美術館)  
読売夕刊 8.12 浅沼墨
- 浜田浄個展 合板による最新作 画集刊行記念 9.1—9.10 ギャラリー一枝香庵**  
新美術新聞 1353
- 浜田浄個展—1982～1985の鉛筆による大作「DRAWING」画集刊行記念 9.1—9.13 ギャラリー一川船**  
新美術新聞 1353
- 濱田窯三代展 濱田庄司生誕120周年記念 4.26—5.11 ゲルト・クナッパ―ギャラリー**  
毎日夕刊 4.18
- 濱田庄司展 生誕120周年記念 6.17—8.31 日本民藝館**  
日経 8.13 宮川匡司
- 濱田窯三代展 濱田庄司生誕120周年記念[濱田晋作] 4.26—5.11 ゲルト・クナッパ―ギャラリー**  
毎日夕刊 4.18
- 画家たちの上京物語 熊本→東京 坂本善三、大塚耕二、浜田知明の軌跡。 7.19—8.31 熊本県立美術館**  
新美術新聞 1350  
デアアルテ 31 林田龍太  
デアアルテ 31 西本匡伸
- 濱田窯三代展 濱田庄司生誕120周年記念[濱田友緒] 4.26—5.11 ゲルト・クナッパ―ギャラリー**  
毎日夕刊 4.18
- 早川克己 Geometric Allegory—盆栽都市と蜃気楼— 4.5—5.6 GALLERY MoMo Ryogoku**  
芸術新潮 774
- 早川義孝 珠玉の0号作品展 1.4—1.13 ハヤシ画廊**  
新美術新聞 1332
- 早川倫永写真展 NUANCES 3.6—3.18 America-Bashi Gallery**  
COMMERCIAL PHOTO 611
- メディウムの条件 『ART CRITIQUE』n. 04刊行記念展[早川祐太] 5.20—6.1 HAGI ART**  
美術手帖 1008 近藤亮介
- 古典美の探求者 林功 日本画展 1.18—5.26 茂原市立美術館・郷土資料館**  
新美術新聞 1334
- 林友加+林恭助 2.20—2.26 柿傳ギャラリー**  
陶説 734 唐澤昌宏
- 林恭助展 12.3—12.9 高島屋(名古屋)**  
陶説 743 井上隆生
- 林忠彦写真展—日本の作家109人の顔 9.26—11.25 日比谷図書文化館**  
読売夕刊 10.14 下湯直樹
- 水辺の記憶—写真家 林辰雄のまなざし— 3.8—5.25 千葉県立中央博物館**
- 林友加+林恭助 2.20—2.26 柿傳ギャラリー**  
陶説 734 唐澤昌宏
- 酷寒の地シベリアを描く 早田貫一 抑留絵画展 6.24—9.21 平和祈念展示資料館**  
毎日夕刊 8.6 栗原俊雄
- 速水史朗展—古代から— 10.20—11.1 ギャラリーせいほう**  
美術の窓 374 小森佳代子
- 原勝四郎 没後50年 小企画展 12.6—1.25 田辺市立美術館**  
書道界 302
- 原憲司展 4.12—4.29 ギャラリー器館**  
陶説 735 清水穰
- 原大介展 11.10—11.22 椿近代画廊**  
新美術新聞 1360
- 原崇浩展 4.1—4.10 フジキ画廊**  
(蔵丘洞画廊)  
新美術新聞 1340  
美術\* 463
- 原広司: WALLPAPERS—2500年間の空間的思考をたどる(写経)— 10.4—12.28 市原湖畔美術館(梅田スカイビルタワー)**  
朝日夕刊 12.3 大西若人
- 原良介展「天然」 3.29—4.27 ゲルオルタナ**  
東京夕刊 4.18 中村英樹
- 原田和泉展 6.9—6.15 ギャラリー・コパンダール**  
新美術新聞 1345
- 原田康子展 6.2—6.7 文藝春秋別館地下画廊ザ・セラー**  
新美術新聞 1345
- 原田裕規展 lighthouse vol. 9 12.4—12.21 switch point**  
美術手帖 1019 gnck 評
- バルテュス展 4.19—6.22 東京都美術館(京都市美術館)**  
ギャラリー\* 348  
自由美術 2014 大野修  
新美術新聞 1341 小林明子  
美術\* 466 本江邦夫/佐々木豊/石黒賢一郎  
朝日 1.5  
朝日 3.17 河本真理  
朝日 4.16 板垣麻衣子  
朝日 4.28 江國香織  
朝日夕刊 5.20 節子・クロソフスカ・ド・ローラ 談/板垣麻衣子 聞き手  
産経 4.27 山根聡  
東京夕刊 4.25 石川翠  
日経 6.12 平野啓一郎  
毎日夕刊 5.14 岸桂子
- フィールド・リフレクション[伴美里] 3.9—5.11 川口市立アートギャラリー・アトリア**

## (ヒ)

日本画革新の追求者 稗田一穂×毛利武彦 4.26—6.8 浜松市秋野不矩美術館  
新美術新聞 1343

サビース ピガール TIMEQUAKES 時のかさなり 1.17—2.9 シャネル・ネクサス・ホール 芸術新潮 771

日影眩 新作展「ニューヨークの肖像」 6.16—6.28 ステップスギャラリー  
産経 6.19 渋谷和彦

生きるものたちへ 現代郷土作家展 藤原向意・松田一戯・清水浄・東影智裕 11.15—12.23 姫路市立美術館

巨匠の眼 川端康成と東山魁夷 4.12—6.1 静岡市美術館  
日経 5.18  
日経夕刊 5.1

東山魁夷 風景開眼1—東京美術学校での研鑽— 6.13—8.3 市川市東山魁夷記念館  
新美術新聞 1346

東山魁夷と東京美術学校有志一橋本明治・加藤栄三・山田申吾— 10.11—11.30 市川市東山魁夷記念館  
新美術新聞 1358

東山魁夷と日本の四季 没後15年記念 11.22—2.1 山種美術館  
新美術新聞 1362 山崎妙子  
日経 11.16

東山魁夷 わが愛しのコレクション展～美しさを知り、美を拓く～ 12.26—1.9 三越(日本橋)  
日経 12.21

ピカソの陶芸 地中海にはぐくまれて[パブロ・ピカソ] 4.5—5.18 埼玉県立近代美術館  
美術手帖 1006 清水穰

パブロ・ピカソ—版画の線とフォルム— 4.12—6.15 町田市立国際版画美術館(足利市立美術館)  
東京 4.12

樋勝朋巳新作銅版画展 3.21—3.30 画廊ビュッフェファイヴ

版画芸術 163

菱田春草展 9.23—11.3 東京国立近代美術館  
ギャラリー\* 348  
ギャラリー\* 353  
新美術新聞 1355  
新美術新聞 1358 手塚雄二  
水墨画\* 304 鶴見香織  
美術\* 470 川口直宜/村上裕二/原田裕規  
美術手帖 1017 塚田優 評  
朝日夕刊 10.8 大西若人  
産経 10.30 渋谷和彦  
東京 9.23 丹治早智子  
日経 1.12  
日経 8.17  
日経 9.20 富田律之  
日経 9.21  
日経 9.23  
日経 10.19  
日経夕刊 10.2  
毎日夕刊 10.15 岸桂子  
読売 10.16 前田恭二

箆織鐵3人展 春浅し候 野に出ずる[月出幸子] 2.11—2.19 京王プラザホテル・ロビーギャラリー  
毎日 2.14 柴田朗

日野耕之祐 遺作展 3.16—3.30 ギャラリーユニコン  
新美術新聞 1338

檜原和子油絵展～風の旅IX～モスクワからプルトーニューへ 1.6—1.11 地球堂ギャラリー  
新美術新聞 1332

日比野知三自選展—時代を刻む— 7.17—7.22 コート・ギャラリー 国立  
新美術新聞 1350

日比野ルミ展 Let There be Light 3.3—3.15 ガレリアフィナルテ REAR 32 高北幸矢

水辺のアルカディア ピュヴィス・ド・シャヴァンヌの神話世界[ピエール・ピュヴィス=ド=シャヴァンヌ] 1.2—3.9 Bunkamura ザ・ミュージアム(島根県立美術館)  
芸術新潮 770  
朝日夕刊 1.22 大西若人

産経 1.19 黒沢綾子  
日経 1.12  
日経 1.15 窪田直子  
日経 2.16  
日経夕刊 1.4  
読売 1.30 前田恭二

水辺のアルカディア ピュヴィス・ド・シャヴァンヌの神話世界 3.20—6.16 島根県立美術館 (Bunkamura ザ・ミュージアム) ギャラリー\* 350 薦谷典子 談 / 斎藤博美 取材・文

ニコラ・ピュフ ポリフィーロの夢 4.19—6.29 原美術館  
芸術新潮 774  
美術手帖 1008 島田浩太郎  
朝日夕刊 5.28 西岡一正

ケニア・タンザニア動物写真展[平岩道雄/平岩雅代] 4.26—5.11 コンドルグループ本社ギャラリー 東京 5.6 杉戸祐子

磯崎新 都市ソラリス 平川紀道 《円環の廃墟/Хар и》 1.15—2.8 NTT インターコミュニケーションセンター  
朝日夕刊 1.22

平澤重信展 時の還送 4.10—4.17 ギャラリー一枝香庵  
新美術新聞 1341

「ボクのじてんしゃ」と… 平澤重信展 6.16—6.27 あらかわ画廊 ギャラリー\* 350

岡田高弘・平田英子 洋画二人展 7.23—7.29 小田急(町田)(近鉄(樫原))  
新美術新聞 1350

Minoru Hirata ACTION, the 1960s [平田実] 4.25—5.31 タカ・イシイギャラリー フォトグラフィ—/フィルム  
毎日夕刊 5.14 岸桂子

平田良雄 油彩画展 11.24—11.30 月光荘画室2  
新美術新聞 1361

平松礼二 時空を超えた独創の美 モネへのオマージュ 3.14—6.17 成川美術館  
新美術新聞 1337

- 平山郁夫—文化財赤十字への道—  
4.8—6.1 広島県立美術館  
新美術新聞 1342 浅木正勝
- 平山郁夫展 次世代へのメッセージ  
6.6—7.13 八王子市夢美術館  
新美術新聞 1345
- 平山郁夫シルクロード紀行 ガンダ  
ーラ、アフガニスタン、そして文  
化財保護活動 開館10周年記念  
特別展 6.28—10.6 平山郁夫シ  
ルクロード美術館  
新美術新聞 1351 平山東子
- 平山郁夫展 没後5年—求道と鎮  
魂の絵画— 7.19—8.31 長崎県  
美術館  
新美術新聞 1350
- 平成26年度第1期所蔵品展 特集  
広瀬美帆 4.12—6.22 横須賀美  
術館  
ギャラリー\* 349
- 広田稔展—友部さんの色鉛筆—  
11.13—11.22 Gallery ARK  
美術\* 470 広田稔、友部正人  
対談
- 存在の美学3回 伊達市噴火湾文  
化研究所同人展[廣戸絵美] 4.23  
—4.29 高島屋(日本橋)(高島屋  
(大阪)、だて歴史の杜カルチャー  
センター、札幌芸術の森美術館)  
新美術新聞 1342 野田弘志/永  
山優子/小尾修
- 廣村正彰展 Junglin'2 無意識の  
中の意識 9.19—9.28 AXIS  
GALLERY  
AXIS 171 廣村正彰

(フ)

- 現代のリアリズム ロレンツォ・フ  
ェルナンデスと磯江毅 9.2—  
9.18 スペイン大使館ギャラリー  
芸術新潮 777
- ジャン・フォートリエ展 絵画なの  
か 5.24—7.13 東京ステーシ  
ョンギャラリー(豊田市美術館、国  
立国際美術館)  
ギャラリー\* 349  
芸術新潮 776  
新美術新聞 1345  
美術手帖 1008 出原均 評

- 産経 6.19 渋谷和彦  
東京 5.5 芳賀徹  
東京 5.24  
東京 5.27 池上英洋  
東京夕刊 6.3 高階秀爾  
東京夕刊 6.4 池田香代子  
東京夕刊 6.6 田中正之  
東京夕刊 6.7 堀江敏幸  
東京夕刊 6.9 坪内祐三  
東京夕刊 6.23 林道郎  
東京夕刊 6.27 藤田一人  
毎日夕刊 6.16 高階秀爾  
読売 6.26 前田恭二
- ジャン・フォートリエ展 絵画なの  
か 7.20—9.15 豊田市美術館  
(東京ステーションギャラリー、  
国立国際美術館)  
REAR 33 吉田映子
- Interactions : カナダ—日本木版画  
展[エリザベス・フォレスト]  
8.6—9.12 カナダ大使館高円宮  
記念ギャラリー  
読売夕刊 9.1 (阮)
- 印刷と美術のあいだ キヨッソーネ  
とフォントネージと明治の日本  
[アントニオ・フォントネージ]  
10.18—1.12 印刷博物館
- 深井隆展 6.9—6.21 ギャラリー  
志門  
新美術新聞 1345  
読売夕刊 6.16 (睦)
- 深尾尚子展 新世代への視点2014  
画廊からの発言 7.21—8.2 ギ  
ャラリーK  
産経 7.24 渋谷和彦
- 深作秀春版画展 2.24—3.14 f.e.i  
art gallery  
美術の窓 366 深作秀春
- 深作秀春展 2.25—3.9 FEI ART  
MUSEUM YOKOHAMA  
美術の窓 366 深作秀春
- 「やまなしの戦後美術—四人の革新  
者たち」展 橋田尚之 松田富彌  
河内成幸 深沢軍治 9.20—11.3  
山梨県立美術館  
新美術新聞 1355  
美術の窓 373 向山富士雄
- 深澤孝史 めぐるりアート静岡 ワ  
タシとアートはきっとどこかでつ

- ながっている 3.4—3.23 ギャ  
ラリーとりこ
- 深沢幸雄—銅版が奏でる詩— 1.18  
—3.2 市原湖畔美術館  
ギャラリー\* 346  
新美術新聞 1335
- 木版表現の広がり—吹田文明と小林  
敬生の世界— 5.10—6.22 東広  
島市立美術館  
新美術新聞 1344
- 吹田文明展—米寿記念— 11.17—  
11.29 シロタ画廊  
ギャラリー\* 354  
ギャラリー\* 355  
新美術新聞 1361  
美術の窓 374 高山淳
- 落谷虹児展—少女たちの憧れ—郵  
政博物館開館記念特別展 3.1—  
5.25 郵政博物館  
朝日夕刊 3.19 東美美  
読売夕刊 3.25 岩島美月
- 福井欧夏ドローイング展 9.25—  
10.4 ギャラリーアートもりもと  
新美術新聞 1355
- 福井爽人展 彩りのページII 1.9  
—1.22 ナカジマアート  
新美術新聞 1332
- 福井青士 生命譜—SEIMEIFU—  
12.7—2.1 茅ヶ崎市美術館  
ギャラリー\* 356
- 福王寺一彦 日本画展 11.19—  
11.25 大丸(福岡)  
新美術新聞 1361
- 福崎翼展 2.17—2.23 Oギャラリー  
—UP・S  
新美術新聞 1335
- 福沢一郎と山下菊二 師弟は時代と  
どう向き合ったか 開館20周年  
記念 11.2—11.30 福沢一郎記  
念館  
東京夕刊 11.21 石川翠
- EMI FUKUZAWA WORKS OF ART  
[福澤エミ] 2.22—2.26 代官山  
ヒルサイドテラス  
新美術新聞 1340
- 福島善三・川瀬忍展 日本陶磁協会  
賞制定60年記念 8.1—8.10 和  
光ホール  
新美術新聞 1351

陶説 736 森孝一  
 陶説 739 唐澤昌宏  
**福島万里子展 昭和会賞受賞記念**  
 2.13—2.25 日動画廊  
 芸術新潮 772  
 美術\* 471 佐々木豊  
**福田たねとその子供たち 絵と音楽  
 と書の母子像展 町制施行60周年  
 記念** 8.2—9.21 知恵の環館  
**福田豊四郎 描いても思っても尽き  
 ないふるさと** 5.20—6.29 三重  
 県立美術館  
**福田豊四郎展 生誕110年** 11.30  
 —2.1 秋田県立近代美術館  
 書道界 302  
**彫刻家藤井浩祐の世界 ジャパニー  
 ズ・ヴィーナス** 8.29—10.19  
 井原市立田中美術館(小平市平櫛  
 田中彫刻美術館)  
**彫刻家藤井浩祐の世界 ジャパニー  
 ズ・ヴィーナス** 10.25—12.7  
 小平市平櫛田中彫刻美術館(井原  
 市立田中美術館)  
 新美術新聞 1358  
 産経 10.25  
**藤井達吉の全貌 野に咲く工芸 宙  
 [そら]を見る絵画** 6.10—7.27  
 渋谷区立松濤美術館(宇都宮美術  
 館、岡崎市美術博物館)  
 朝日夕刊 7.9 大西若人  
 毎日夕刊 7.16 岸桂子  
**藤井たてき個展** 5.26—5.31 ギャ  
 ラリウムサシ  
 新美術新聞 1344  
**藤岡亜弥 写真展 Life Studies**  
 2.12—2.25 銀座ニコンサロン  
 (大阪ニコンサロン)  
 産経 2.20 (存)  
**書架Lab. 「みんなの本棚を作ろ  
 う！」 公開制作61[藤澤彩里]**  
 4.19—6.8 府中市美術館  
**藤田清孝展—諸々の表象** 5.22—  
 6.3 ギャラリータカノヤシキ/  
 ギャラリーR+  
 新美術新聞 1344  
 美術の窓 369 高山淳  
**藤田桜—『ぴのっきお』からの布貼り  
 絵—** 7.12—9.15 ふくやま美術  
 館

美術の窓 372 竹田博志  
**藤田潤ガラス新作展 色彩[いろ]の  
 ちから** 5.14—5.20 高島屋(大  
 阪)(高島屋(横浜、名古屋、高崎))  
 新美術新聞 1343  
**藤田嗣治デッサン展** 4.9—4.26  
 銀座柳画廊  
 新美術新聞 1341  
**ポーラ銀座ビル5周年記念企画  
 「フジタ、夢を見る手」[藤田嗣治]**  
 10.24—12.28 ポーラミュージア  
 ム アネックス  
 ギャラリー\* 355  
**藤田勇哉展 果実とアンティーク**  
 9.29—10.10 彌生画廊  
 新美術新聞 1356  
**藤波艸心 個展** 8.2—8.7 竹川画  
 廊  
 毎日夕刊 7.31 桐山正寿  
**藤野千鶴子追悼展** 11.10—11.15  
 札幌時計台ギャラリー  
 美術の窓 374 高山淳  
**藤原泰佑展 Re : Born** 6.22—7.  
 22 GALLERY M  
 ギャラリー\* 350  
**藤本能道 色絵に生きる** 4.12—  
 6.29 菊池寛実記念智美術館  
 陶説 734 高田瑠美  
 日経夕刊 6.5  
**郷土ゆかりの作家展 小島善太郎と  
 藤本能道** 6.7—7.13 青梅市立  
 美術館  
 毎日 6.7 柴田朗  
**藤本涼個展 untouched flower** 3.  
 6—4.6 G/P gallery  
 芸術新潮 773  
**藤森兼明展 永遠の祈り** 9.20—  
 10.30 富山県立近代美術館  
 新美術新聞 1355  
 美術\* 469  
**『月映』 田中恭吉・藤森静雄・恩地  
 孝四郎** 11.16—12.28 宇都宮美  
 術館(和歌山県立近代美術館、愛  
 知県美術館、東京ステーションギ  
 ャラリー)  
 新美術新聞 1362 伊藤伸子  
 版画芸術 165  
**藤森久一油彩展** 10.1—10.7 三越  
 (日本橋)

新美術新聞 1356  
**ヒトのカタチ、彫刻 津田亜紀子/  
 藤原彩人/青木千絵 Shizubi  
 project 4** 12.16—3.22 静岡市  
 美術館  
 新美術新聞 1366  
**生きるものたちへ 現代郷土作家展  
 藤原向意・松田一戯・清水浄・東  
 影智裕** 11.15—12.23 姫路市立  
 美術館  
**布施木多恵子展** 7.7—7.12 ギャ  
 ルリー志門  
 新美術新聞 1348  
**二木直巳 願望を求めて—小杉放菴  
 とともに—** 7.19—8.31 小杉放  
 菴記念日光美術館  
**沢沢照晃展 擬態 無限構築II**  
 3.19—3.29 ギャラリーf分の1  
 ギャラリー\* 347  
**武藤初雄展** 1.7—2.9 尼崎信用金  
 庫尼信会館  
 美術の窓 364 高山淳  
 美術の窓 367 松本由美子  
**舟越桂** 4.1—6.28 ANDO GAL-  
 LERY  
 美術の窓 369 舟越桂 談  
**舟越保武:長崎26殉教者 未発表  
 デッサン** 4.19—6.29 東京オペ  
 ラシティアートギャラリー  
 新美術新聞 1344  
 美術の窓 368 堀元彰  
 読売 5.22  
**舟越保武彫刻展 まなざしの向こう  
 に** 10.25—12.7 岩手県立美術  
 館(郡山市立美術館、練馬区立美  
 術館)  
 ギャラリー\* 354  
 新美術新聞 1359  
**舟田潤子展—FLOWERY CIRCUS—**  
 10.6—10.18 シロタ画廊  
 新美術新聞 1357  
**舟橋萬起 日本画展** 8.21—8.27  
 東急(渋谷)  
 新美術新聞 1352  
**船本芳書書展 沁みいる故郷[ふる  
 さと]** 4.3—4.8 そごう美術館  
 新美術新聞 1340  
 毎日 3.30 桐山正寿  
 毎日夕刊 4.3 桐山正寿

- ルイ・フランセン展 4.24—5.20  
町立湯河原美術館  
新美術新聞 1342
- 古井彩夏展 新世代への視点2014  
画廊からの発言 7.21—8.2 ギャラリーなつか  
産経 7.24 渋谷和彦
- コレクション・クッキング 近くを  
視ること／遠くに想いを馳せるこ  
と—対話と創造[古川弓子] 7.19  
—9.15 福島県立美術館  
新美術新聞 1349
- 古田恵美子展 何処へ DOKO e  
4.12—6.15 東御市梅野記念絵画  
館
- 古野恵美子展 9.23—9.28 ギャラ  
リーヒルゲート  
ギャラリー\* 355 ワシオ・トシ  
ヒコ
- shiseido art egg vol.8 古橋まどか  
木偶ノ坊節穴 3.7—3.30 資生  
堂ギャラリー  
産経 3.13 黒沢綾子
- Interactions : カナダ—日本木版画  
展[古谷博子] 8.6—9.12 カナ  
ダ大使館高円宮記念ギャラリー  
読売夕刊 9.1 (阮)
- シャルル・フレジェ展 “WILDER  
MANN” 3.15—4.13 MEM  
芸術新潮 773  
毎日夕刊 4.2 岸桂子
- アンドッシュ・ブローデル楽茶碗  
10.7—10.18 橋本美術  
陶説 741 井上隆生
- 文谷有佳里展 6.16—6.28 ガレリ  
アフィナルテ  
REAR 33 鈴木俊晴

(ハ)

- サンギ・コレクション展 サンギ創  
立40周年記念[カラン・ヘイマ  
ン] 9.17—9.21 セントラルミ  
ュージウム銀座  
美術\* 468 編集部
- Interactions : カナダ—日本木版画  
展[ブレンダ・ペティス] 8.6—  
9.12 カナダ大使館高円宮記念ギ  
ャラリー  
読売夕刊 9.1 (阮)

- 《CHAOS TO HOPE》展 “Untitled  
Aug. 15th, 1988” 人生最後の  
大作絵画初公開[キース・ヘリン  
グ] 3.21—1.5 中村キース・ヘリ  
ング美術館  
産経 10.19 渋谷和彦
- 「アート・スコープ2012—2014」  
旅の後もしくは痕[リタ・ヘンゼ  
ン] 7.12—10.13 原美術館  
毎日夕刊 8.26 岸桂子

(ホ)

- ホイッスラー展[ジェームズ・アボ  
ット・マクニール・ホイッスラ  
ー] 9.13—11.16 京都国立近代  
美術館(横浜美術館)  
新美術新聞 1354 池田祐子  
日経 10.22 宮川匡司  
毎日夕刊 10.16 高階秀爾  
読売 10.2 木村未来
- ホイッスラー展 12.6—3.1 横浜  
美術館(京都国立近代美術館)  
新美術新聞 1363  
産経 12.14 渋谷和彦
- 法貴信也 個展 10.10—11.8 タ  
カ・インイギャラリー  
美術手帖 1017 服部浩之
- 宝居智子展—日本と中央アジアを結  
ぶ新しい日本画— 3.20—4.20  
ちばぎんひまわりギャラリー  
東京 3.29 三輪喜人
- 黒部と槍 冠松次郎と穂苅三寿雄  
3.4—5.6 東京都写真美術館
- Hogalee 個展 原状回復/Resti-  
tution—Go Slowly Girl— 10.25  
—11.7 IID世田谷ものづくり学  
校 101 IID Gallery  
ギャラリー\* 356 小金沢智
- 星野友幸作陶展 6.25—7.1 三越  
(日本橋)  
陶説 737 唐澤昌宏
- クリスタル ラブ スターライト展  
[細倉真弓] 7.4—8.10 G/P  
GALLERY  
美術手帖 1010 富山由紀子
- フェルディナント・ホドラー展 日  
本・スイス国交樹立150周年記念  
10.7—1.12 国立西洋美術館(兵  
庫県立美術館)

- ギャラリー\* 357 ワシオ・トシ  
ヒコ  
芸術新潮 780  
新美術新聞 1357  
新美術新聞 1359 佐藤泰生  
美術手帖 1014 編集部  
朝日夕刊 12.10 大西若人  
産経 10.26 黒沢綾子  
日経 10.15 窪田直子  
毎日夕刊 11.12 高階秀爾  
読売 11.27 田中正之
- アレクサンドラ・マリア・ボナノッ  
テ写真展 10.2—10.13 ギャラ  
リー正観堂
- 堀浩哉展 起源 10.18—11.9 多  
摩美術大学美術館  
ギャラリー\* 354  
ギャラリー\* 355 三田晴夫  
新美術新聞 1358  
美術手帖 1018 黒瀬陽平 評  
朝日夕刊 11.5 大西若人  
毎日夕刊 10.29 岸桂子
- 堀俊郎作陶展 6.4—6.10 高島屋  
(名古屋)  
陶説 737 井上隆生
- 堀文子展 10.11—11.16 浜松市秋  
野不矩美術館  
新美術新聞 1357
- 堀文子展 2014…現在[いま]〜初  
夏[はつなつ]の白い花達〜  
11.13—12.3 ナカジマアート  
新美術新聞 1361  
朝日夕刊 11.19 安齋耕一  
産経 11.13 黒沢綾子
- 堀内康司展 忘れてはならない人が  
います 11.1—1.18 東御市梅野  
記念絵画館  
芸術新潮 780  
産経 11.27 渋谷和彦
- 堀江春美日本画展—墨の興趣—  
6.18—6.24 大丸(京都)(ギャラ  
リーエスパス)  
新美術新聞 1346
- 堀尾貞治 あたりまえのこと  
2000—2013の記録 3.21—6.1  
BBプラザ美術館
- 堀本恵美子絵画展 愛のメッセージ  
4.30—5.6 三越(名古屋)(三越  
札幌)、小田急(新宿)

ギャラリー\* 348  
 新美術新聞 1343  
**ミヒヤエル・ボレマンス** Girl with Hands 1.11—3.1 ギャラリー小柳  
 美術手帖 1002 桑久保徹 聞き手  
**ミヒヤエル・ボレマンス：アドバンテージ** 1.11—3.30 原美術館  
 芸術新潮 771  
 美術手帖 1002 桑久保徹 聞き手  
 朝日夕刊 3.12 西岡一正／千葉成夫  
 産経 2.20 黒沢綾子  
 読売夕刊 3.10 (陸)  
**彫刻のできるまで 本郷新の頭のなか** 12.13—4.19 本郷新記念札幌彫刻美術館  
 新美術新聞 1366  
**本田希枝展** 5.11—5.25 ギャラリー一ユニコン  
 新美術新聞 1344

(マ)

**前川寿々子個展** 5.26—5.31 光画廊  
 美術の窓 369 高山淳  
**珊瑚工芸の名匠 前川泰山と珊瑚工芸作家展** 1.15—1.21 大丸(東京)  
 新美術新聞 1332  
**中島晴美・前田昭博展** 9.11—10.19 多治見市文化工房ギャラリーヴォイス  
 新美術新聞 1354  
 陶説 740 井上隆生  
**人間国宝 前田昭博白瓷譜展** 11.21—11.30 和光ホール  
 新美術新聞 1361  
 陶説 742 唐澤昌宏  
 美術\* 471 三浦努  
 毎日夕刊 11.26 岸桂子  
**前田潤展** 6.23—6.29 ぎやらりいサムホール  
 新美術新聞 1347  
**前田昌良×涙ガラス制作所×鉱物アソビ 輪唱—小川洋子へのオマージュ** 4.4—4.12 Gallery SU

(ギャラリーアンフェール)  
 芸術新潮 774  
**前田有加里日本画展** 11.1—11.8  
 ギャラリー枝香庵  
 新美術新聞 1359  
**前田利昌展** 6.2—6.11 ギャラリー・サロンドエス  
 新美術新聞 1345  
**ミニアチュール—中山忠彦×牧進—** 11.5—11.11 高島屋(日本橋)(高島屋(京都、大阪、横浜))  
 新美術新聞 1359  
 美術\* 470 編集部  
**牧弘子展「途切れないように繋ぐ」** 12.11—12.20 ギャラリーアートもりもと  
 新美術新聞 1362  
**牧野良幸のロンリー・ハーツ・クラブ・バンド** 5.24—6.7 ギャラリーかわまつ  
 産経 5.20  
**孤高の道 馬越舛太郎** 9.13—11.24 町立久万美術館  
**真島明子展 EXISTENCE** 10.17—11.22 KOKI ARTS  
 ギャラリー\* 356 三田晴夫  
**間島秀徳 Cosmic Kinesis** 7.9—8.2 彩鳳堂画廊  
 水墨画\* 305  
**増田聡子新作展 Seven Years** 6.9—6.28 ヒノギャラリー  
 ギャラリー\* 351 三田晴夫  
**アウシュヴィッツ・不在の表象[増田常德]** 1.22—3.30 アウシュヴィッツ平和博物館  
 新美術新聞 1336  
**増田常德展 明暗の旅から一闇の羅針盤—** 3.18—4.12 原爆の図丸木美術館  
 新美術新聞 1336  
**増田敏也「いつかの風景」** 9.20—9.28 スペース大原  
 陶説 740 井上隆生  
 美術\* 471 マルテル坂本牧子  
**増田洋美 PLAY THE GLASS ヴェネツィアから小布施へ** 8.1—10.7 おぶせミュージアム・中島千波館  
 ギャラリー\* 352

平成26年美術展覧会(作ホ、マ)

**メディウムの条件 『ART CRITIQUE』n. 04刊行記念展[益永梢子]** 5.20—6.1 HAGI ART  
 美術手帖 1008 近藤亮介  
**とびだす／うつわ—榎本佳子の世界—** 10.25—11.30 龍野歴史文化資料館  
 陶説 742 小吹隆文  
**増山士郎 展覧会「毛を刈ったアルパカのために、そのアルパカの毛でマフラーを織る」** 4.12—5.6 B ギャラリー  
 毎日夕刊 4.28 岸桂子  
**又木啓子展—クエンカに生きて—** 3.8—3.19 ギャラリー島田  
 ギャラリー\* 346  
**町田博文油絵展 エキゾテシズム** だつ美 7.23—7.29 三越(日本橋)  
 新美術新聞 1350  
**松井智恵 プルシャ 平成26年春の有隣荘特別公開** 4.25—5.11 大原美術館 有隣荘  
**光の画家松井守男展 現代フランスを代表する日本人アーティスト** 6.7—7.13 長崎県美術館  
**松井陽水水墨画展** 4.27—5.3 東京交通会館ギャラリーパールルーム  
 新美術新聞 1342  
**松浦主税 日本画展2回 一光の中で** 10.8—10.14 松坂屋(名古屋)  
 新美術新聞 1357  
**写真分離派展「日本」[松江泰治]** 5.23—6.13 ギャラリー・オーブ  
 瓜生通信 62  
**松尾敏男展 現代日本画の巨匠** 10.11—11.30 平塚市美術館  
 新美術新聞 1358 勝山滋  
 美術の窓 373 勝山滋  
 朝日夕刊 11.26  
 毎日夕刊 11.5 岸桂子  
**松岡歩日本画展** 1.22—1.28 三越(日本橋)  
 新美術新聞 1333  
**松岡歩展** 10.20—10.30 ギャラリー一和田  
 新美術新聞 1358  
**松岡滋展** 10.26—11.9 ギャラリー一ユニコン

新美術新聞 1359  
**真月洋子写真展 floating signs**  
 10.10—10.19 Photo & Art Gallery プシユケ  
 REAR 33 中村暁子  
**スティーブ・マックイーン展** 4.26—8.17 エスパス ルイ・ヴィトン東京  
 美術手帖 1006 岡村恵子 聞き手  
**松澤有子/寛有子 めぐるりアート**  
 静岡 ワタシとアートはきつとどこかでつながっている 3.4—3.23 静岡市美術館  
**松澤宥 「最終美術思考工房」 世界蜂起展** 3.31—4.5 文房堂ギャラリー  
 あいだ 214 小坂真夕/伊丹裕/窪寺雄二/嶋田美子  
**松下誠子新作展** 7.7—7.26 東邦画廊  
 新美術新聞 1349  
**生きるものたちへ 現代郷土作家展**  
 藤原向意・松田一戯・清水浄・東影智裕 11.15—12.23 姫路市立美術館  
**松田憲一展** 3.13—3.19 ギャラリー・コパンダール  
 ギャラリー\* 347  
 新美術新聞 1337  
**松田正平** 5.15—5.24 瞬生画廊  
 芸術新潮 773  
**「やまなしの戦後美術—四人の革新者たち」展** 橋田尚之 松田富彌 河内成幸 深沢軍治 9.20—11.3 山梨県立美術館  
 新美術新聞 1355  
 美術の窓 373 向山富士雄  
**松永佳江水彩画展** 1.20—1.25 ぎやらりいサムホール  
 新美術新聞 1333  
**松林桂月—水墨を極め、画中に詠う**  
**没後50年** 4.13—6.8 練馬区立美術館(山口県立美術館、田原市博物館)  
 水墨画\* 300 加藤陽介  
 水墨画\* 304  
 産経 5.15 渋谷和彦  
 日経 4.20

日経夕刊 4.3  
**松村久美 写真展「コザ・照屋・銀天街」** 10.28—11.3 ポレポレ坐 東京 10.29 鈴木久美子  
**松村公嗣展 うつくしむ** 9.4—9.10 近鉄タワー館  
 美術\* 468  
**幕末下田の仏師 松本雲松** 4.19—6.1 上原仏教美術館  
**松本治幸 陶展** 5.6—5.11 ギャラリー恵風  
 陶説 736 梅田稔  
**松本勝日本画展—四季巡礼—** 6.4—6.10 三越(日本橋)  
 新美術新聞 1345  
**イエラ・マリ 字のない絵本の世界**  
 11.22—1.12 板橋区立美術館(刈谷市美術館)  
 読売 12.10 高木佳子  
 読売 12.18 高木佳子  
 読売 12.20 高木佳子  
**丸田記久子 HANGA 展—宮澤賢治へのオマージュ—** 7.2—7.12 ギャラリーf分の1  
 新美術新聞 1348  
**「丸山景観」全集大成展 丸山啓太 20周年祭** 8.8—8.17 表参道ヒルズ  
 読売夕刊 8.6 谷本陽子  
**丸山東子展~両様の窓~** 5.26—6.1 ギャラリー志門  
 水墨画\* 305 丸山東子  
 美術の窓 369 ワシオ・トシヒコ  
**万代進個展37回 雲は流れて水は行く 画集刊行記念** 11.3—11.8 シロタ画廊  
 新美術新聞 1359

## (ミ)

**三浦泉展** 3.17—3.22 みゆき画廊  
 美術の窓 368 高山淳  
**三浦ひろみ日本画展** 6.6—6.15 Gallery ジ・アース  
 新美術新聞 1345  
**三浦裕子展—Scene of Yuko's Homes—** 5.26—6.1 新井画廊  
 ギャラリー\* 349  
 美術の窓 369 ワシオ・トシヒ

コ  
**Kawaii Ceremony [三木みどり]**  
 3.20—4.6 東京国際フォーラム フォーラム・アート・ショップ内 ギャラリー  
 産経 4.24 渋谷和彦  
**MIKIKO Private Exhibition** 4.4—5.31 世界のメガネプリンス  
 新美術新聞 1342  
**MIKIKO Private Exhibition** 11.1—11.30 ギャラリー&カフェスペース座フランセ  
 新美術新聞 1360  
**三岸好太郎と池田満寿夫 奇オア—ティストの系譜** 9.6—10.19 北海道立三岸好太郎美術館  
 朝日夕刊 10.8 西岡一正  
**三沢厚彦 ANIMALS 2014 in 岩手**  
 9.6—10.13 岩手県立美術館  
**三嶋りつ恵 焔へ** 11.1—11.16 思文閣(銀座)  
**ミズテツオ MIZU in BLUE 2014**  
 11.14—12.14 ギャラリー古今  
 ギャラリー\* 355 佐藤春喜  
 ギャラリー\* 356 佐藤春喜  
**水野シゲユキ展 朽—残骸の美学—**  
 4.12—5.12 masayoshi suzuki gallery  
 REAR 32 都筑正敏  
**グラフィックトライアル2014 響。**  
**[水野学]** 6.7—8.24 印刷博物館 P & P ギャラリー  
 毎日夕刊 7.9 永田晶子  
**水野竜生展 vol.10 Pray for Someone** 8.2—9.1 ギャラリー桜の木(銀座)  
 新美術新聞 1351  
**三瀬夏之介—雨土の記 秋野不矩生誕105年企画—Part3** 2.8—3.16 浜松市秋野不矩美術館  
 新美術新聞 1334  
**三瀬夏之介 風土の記** 3.9—5.11 奈良県立万葉文化館  
 新美術新聞 1339  
 水墨画\* 304  
 日経 3.16  
**三瀬夏之介「画家の方舟」** 11.12—12.1 美術画廊 X  
 新美術新聞 1361



- 溝江勘二展 4.14—4.19 ぎゃらり  
いサムホール  
新美術新聞 1341  
美術の窓 367 ワシオ・トシヒ  
コ
- 溝口七生油絵展 8.13—8.19 小田  
急(町田)  
新美術新聞 1351
- 三嶽伊紗のしごと みているものの  
むこう 4.26—6.15 徳島県立近  
代美術館
- 三谷祐資展 太陽の画家 太陽を描  
いて四半世紀 富士山に臨む  
4.9—4.15 三越伊勢丹(大阪)  
新美術新聞 1340  
美術\* 463 編集部
- 三田村雨龍 第一回個展～漆と木  
命をみつめて～ 10.8—10.13  
パレットギャラリー麻布十番  
新美術新聞 1357
- 水戸岡鋭治からのプレゼント まち  
と人を幸福にするデザイン 6.28  
—9.15 熊本市現代美術館  
デアルテ 31 芦田彩葵
- 南桂子展 ノスタルジア 4.26—  
6.1 ミュゼ浜口陽三・ヤマサコ  
レクション  
新美術新聞 1342  
毎日 5.18
- 箕輪亜希子展 新世代への視点  
2014 画廊からの発言 7.22—  
8.2 gallery21yo-j  
産経 7.24 渋谷和彦
- みのわ淳展～宇宙の心象～ 1.21—  
1.29 ギャラリー絵夢  
新美術新聞 1333
- 三原捷宏 油絵展 10.19—11.5  
美術館あーとあい・きさ  
美術の窓 374 鷺尾実
- 長江重和+三原研一軌跡と未来  
1.24—2.8 西福ギャラリー  
陶説 733 花里麻理
- 宮忠子展 5.22—5.31 フォルム画  
廊  
美術\* 471 野地耕一郎
- American Boyfriend : Bodies of  
Water [ミヤギフトシ] 6.14—  
7.27 京都市立芸術大学ギャラ  
リー@KCUA/堀川団地
- 美術手帖 1006 ミヤギフトシ
- 三宅一樹 神像彫刻と板絵展 3.17  
—3.29 ギャラリーせいほう  
ギャラリー\* 347
- 三宅克己回顧展 水彩表現の開拓者  
生誕140年・没後60年記念  
10.11—12.7 徳島県立近代美術  
館
- 萬事気嫌よく・桂枝雀展[宮崎金次  
郎] 4.7—4.13 東京芸術劇場ア  
トリエイースト  
毎日夕刊 4.9 濱田元子
- 宮崎進展 立ちのぼる生命[いのち]  
4.5—6.29 神奈川県立近代美術  
館(葉山)  
ギャラリー\* 348  
ギャラリー\* 350  
ギャラリー\* 352 ワシオ・トシ  
ヒコ  
芸術新潮 774  
新美術新聞 1345  
美術手帖 1008 原田裕規 評  
美術の窓 368 初山昌夫  
美術の窓 369 竹田博志  
朝日夕刊 5.7 大西若人  
日経 4.23 窪田直子  
毎日夕刊 5.28 岸桂子  
読売 5.1 森田睦
- クシミわり人形とネズミの王さま展  
[宮崎駿] 5.31—5.17 三鷹の森  
ジブリ美術館  
芸術新潮 778
- 宮澤賢一展 10.27—11.2 ギャラ  
リー暁  
新美術新聞 1358
- 宮下圭介1970—2013 透視するま  
なざし 4.26—5.18 モンミュゼ  
沼津 沼津市庄司美術館
- 宮下優一小品展・油彩 7.2—7.7  
積雲画廊  
新美術新聞 1348
- 宮田記朱個展 in Paris 4.19—4.25  
エチエンヌ・ドウ・コーザンギャ  
ラリー  
新美術新聞 1347  
水墨画\* 305 宮田記朱
- 宮田為義個展 1.14—1.19 リーガ  
ロイヤルギャラリー  
新美術新聞 1332
- 宮田益榮展 第10回 4.12—4.17  
ドゥ画廊  
新美術新聞 1341
- クリエイションの未来展2回 宮田  
亮平展—海へ— 12.4—2.21  
LIXIL ギャラリー2  
ギャラリー\* 356  
新美術新聞 1353  
新美術新聞 1362
- DESIGN 展 宮永岳彦の視点 8.6  
—2.1 秦野市立宮永岳彦記念美  
術館  
新美術新聞 1357
- 宮永勝展 9.14—9.20 東京交通会  
館ギャラリーエメラルドルーム  
新美術新聞 1354
- 宮原麗子&むつ美 母と娘の二人展  
[宮原むつ美] 9.1—9.7 ギャラ  
リームサン  
新美術新聞 1353  
美術の窓 372 編集部
- 宮本沙海展 書・墨画 6.10—6.16  
田中八重洲画廊  
新美術新聞 1345
- 宮本三郎の仕事 1940's—1950's  
従軍体験と戦後の再出発 8.9—  
12.7 世田谷美術館分館宮本三郎  
記念美術館  
新美術新聞 1352  
産経 8.21 渋谷和彦
- 宮良瑛子展 沖繩—愛と平和と—  
4.19—7.12 原爆の図丸木美術館  
朝日夕刊 6.25 西岡一正  
東京夕刊 5.30 石川翠
- 宮脇愛子 1959—new works カス  
ヤの森現代美術館 開館20周年  
記念 3.26—5.25 カスヤの森現  
代美術館  
朝日夕刊 5.7 大西若人  
朝日夕刊 8.27 酒井忠康
- 宮脇晴の周辺 愛・知のリアリズム  
1.7—4.6 豊田市美術館  
新美術新聞 1335
- 三好愛 ざらざらをさわる 3.5—  
3.23 Gallery Jin Esprit+  
版画芸術 163
- ボストン美術館ミレー展[ジャン＝  
フランソワ・ミレー] 2.2—4.6  
高知県立美術館(名古屋ボストン

- 美術館、三菱一号館美術館)  
朝日夕刊 10.1 大西若人  
ボストン美術館ミレー展 4.19—  
8.31 名古屋ボストン美術館(高  
知県立美術館、三菱一号館美術館)  
新美術新聞 1341 井口智子  
ボストン美術館ミレー展 10.17—  
1.12 三菱一号館美術館(名古屋  
ボストン美術館、高知県立美術館)  
産経 10.23  
東京 10.6 中沢新一  
東京 10.16 安井裕雄/高橋明  
也  
東京 10.17  
東京 12.23 池上英洋  
東京夕刊 10.29 高木美保  
東京夕刊 10.30 玉村豊男  
東京夕刊 11.4 川井郁子  
東京夕刊 11.5 大津英敏  
ミレー展—愛しきものたちへのまな  
ざし— 生誕200年 7.19—8.31  
山梨県立美術館(府中市美術館、  
宮城県美術館)  
美術の窓 371 小坂井玲  
朝日夕刊 6.25 東美美  
産経 8.3 渋谷和彦  
読売 8.14 石谷治寛  
ミレー展—愛しきものたちへのまな  
ざし— 生誕200年 9.10—  
10.23 府中市美術館(山梨県立美  
術館、宮城県美術館)  
朝日夕刊 10.1 大西若人  
日経 9.24 宮川匡司

(ム)

- 向井修二・島村光 ふたり展 3.7  
—3.9 東京国際フォーラム(しぶ  
や黒田陶苑)  
陶説 735 花里麻理  
RESTART はじまりの場所 向井  
修二記号展 4.26—6.1 高梁市  
成羽美術館  
ギャラリー\* 348 向井修二/澤  
原一志  
向井潤吉 異国の空の下で 8.9—  
12.7 世田谷美術館分館向井潤吉  
アトリエ館  
読売夕刊 9.30 橋本善八

- 僕らが、写真でできること。[武川  
健太] 5.31—6.13 東京工芸大  
学中野キャンパス  
毎日 6.1 近藤浩之  
向山裕 砂の原野・霊告 9.8—  
9.27 ギャラリー東京ユマニテ  
産経 9.25 渋谷和彦  
美の宝庫〜油井コレクションにみる  
実篤作品〜[武者小路実篤] 4.26  
—6.8 調布市武者小路実篤記念  
館  
新美術新聞 1343 石井めぐみ  
父・実篤の周辺で〜家族の物語〜  
11.1—12.7 調布市武者小路実篤  
記念館  
連一清らかな東アジアのやきもの×  
写真家・六田知弘の眼 4.12—  
7.27 大阪市立東洋陶磁美術館  
陶説 735 鄭銀珍  
美術の窓 370 竹田博志  
目の眼 452  
写真家 六田知弘展 水ノ貌 偶然  
と必然の間に 地/水/火/風/  
空 9.9—9.30 加島美術  
新美術新聞 1353  
目の眼 457  
武藤順九の宇宙 3.11&人と自然  
悲しみと愛 1.17—1.26 和光ホ  
ール  
新美術新聞 1333  
棟方志功 安川電気カレンダーにみ  
る九州の姿 10.4—11.30 北九  
州市立小倉城庭園  
デアルテ 31 建島敦子  
ヴィック・ムニーズ個展 10.24—  
11.29 nca nichido contemporary  
art  
芸術新潮 780  
ムラカズユキ展—花と彫刻— 2.3  
—2.12 四季彩舎  
新美術新聞 1334  
ムラカズユキ展—私の水彩'14—  
9.4—9.13 ギャラリー広岡美術  
ギャラリー\* 353  
ムラカズユキ展 11.28—12.10 ギ  
ャラリー睦  
新美術新聞 1362  
Sublime Memory Garden[デイヴ・  
ムラー] 9.19—11.15 ブラム・

- アンド・ポー  
読売夕刊 10.6 (阮)  
手探りのリアリズム 村岡三郎の方  
へ/かわりゆくリアリズム 1.7  
—4.6 豊田市美術館  
REAR 32 大澤慶久  
村上華岳展 霊と艶をもとめて  
2.1—3.16 笠岡市立竹喬美術館  
新美術新聞 1335  
水墨画\* 299  
村上俊彦村上邦彦展 有田焼 玄輝  
陶房 8.7—8.13 近鉄(四日市)  
新美術新聞 1351  
村上祐二展 子供の頃にぼくたちは  
約束をしたね 5.13—5.19 そご  
う(大宮)  
美術\* 464 編集部  
村木千里展 10.20—10.25 ギャラ  
リームサン  
新美術新聞 1358  
村瀬都思 くどうをみつめる  
1.11—2.9 Gallery Forgotten  
Dreams  
ギャラリー\* 345  
創造のゆりかご 岡本太郎のアトリ  
エ[村田豊] 3.15—6.30 岡本太  
郎記念館  
読売 6.26  
村野藤吾 やわらかな建築とインテ  
リア 9.3—10.13 大阪歴史博物  
館  
村松和明 不可思議な梢 5.8—  
5.22 永井画廊  
日本画の改革者 村松秀太郎展  
2.8—3.16 市川市芳澤ガーデン  
ギャラリー  
新美術新聞 1334  
村山孝夫遺作展 7.13—7.19 ギャ  
ラリー青羅  
新美術新聞 1349  
美術\* 466 金子美樹

(メ)

- たよりない現実、この世界の在りか  
[目] 7.18—8.22 資生堂ギャラ  
リー  
美術手帖 1012 大崎晴地  
東京夕刊 8.15 岡部あおみ

(モ)

毛利武彦の世界 第3回 追悼・回顧展「都市風景」 3.14—6.17 成川美術館  
新美術新聞 1337

日本画革新の追求者 稗田一穂×毛利武彦 4.26—6.8 浜松市秋野不矩美術館  
新美術新聞 1343

母袋俊也 Qf・SHOH(掌)90・Holz 2009～2014 3.31—4.19 ギャラリーなつか  
読売夕刊 4.7 (陸)

持塚三樹 めぐるりアート静岡 ワタシとアートはきっとどこかでつながっている 3.4—3.23 GAL-LERY UDONOS

モディリアーニを探して—アヴァンギャルドから古典主義へ—[アメデオ・モディリアーニ] 4.12—9.15 ポーラ美術館  
芸術新潮 778 宮下規久朗  
朝日夕刊 8.20 大西若人

彫刻家 基俊太郎展 10.11—11.9 礪山美術館

本木ひかり展—衝突と光— 2.28—3.9 ギャラリーアートもりもと  
新美術新聞 1335

フィールド・リフレクション[本橋成] 3.9—5.11 川口市立アートギャラリー・アトリア

元村平展 三つの故郷 10.1—10.7 高島屋(日本橋)(高島屋(大阪、横浜))  
美術\* 469

百瀬文展 サンプルボイス 横浜美術館若手作家支援事業 3.8—3.30 横浜美術館

森克徳 陶芸展 10.1—10.7 松坂屋(名古屋)  
陶説 741 井上隆生

森真吾 汽水域に生きる 7.19—8.31 碧南市藤井達吉現代美術館  
碧南市藤井達吉現代美術館年報紀要\* H24・25年度/3 大長悠子 編  
REAR 33 石崎勝基

森正 陶展 土からのメッセージ 5.20—5.31 橋本美術  
陶説 736 井上隆生

森信雄木版画展 3.13—3.23 スペースガレリア  
版画芸術 163  
美術の窓 366 小森佳代子

森英恵 オートクチュールの精華 1.17—3.3 島根県立石見美術館  
島根県立石見美術館ニューズレター 19 田中志依

守美音展 1.14—1.19 ギャラリー枝香庵  
新美術新聞 1332

合羽版 森義利の世界 4.21—6.29 高崎市タワー美術館  
版画芸術 164

森相寛展 9.7—9.21 ギャラリーユニコン  
美術の窓 372 高山淳

森田加奈子展 新世代への視点 2014 画廊からの発言 7.21—8.2 ギャラリー58  
産経 7.24 洪沢和彦

森田元子展—近代を彩る女流画家— 10.4—1.12 菫崎大村美術館  
新美術新聞 1359

森田りえ子展 きよけく 花と人、生命(いのち)に潜む美しきもの 10.4—11.24 一宮市三岸節子記念美術館  
新美術新聞 1357  
美術\* 469 堤祐子  
日経 10.19

作陶60年 森野泰明展 響きあう彩りとフォルム 4.18—4.27 和光ホール  
新美術新聞 1341  
陶説 736 唐澤昌宏  
毎日夕刊 4.23 岸桂子

森本計一展—パリの街角を描く— スペイン国立装飾美術館作品収蔵記念 3.26—4.1 丸善(丸の内)  
新美術新聞 1339  
美術の窓 374 編集部

森本計一展 パリの街角を描く 6.3—6.8 ギャラリーミウラ  
新美術新聞 1345

平成26年美術展覧会(作モ、ヤ)

森本計一展 スペイン国立装飾美術館作品収蔵記念 10.4—11.9 尼崎信用金庫尼信会館  
新美術新聞 1356  
美術の窓 374 編集部

森本草介 ホキ美術館所蔵 2.5—2.17 三越(日本橋)  
読売 2.4

森本秀樹 斉藤実コレクション展 8.25—9.2 ギャラリーゴトウ  
新美術新聞 1352

森本秀樹新作水彩画展 8.25—9.2 ギャラリーゴトウ  
新美術新聞 1352

森本幹生展 「観自在」 4.17—4.28 たましんギャラリー  
新美術新聞 1341

森山大道 終わらない旅 北/南 1.23—3.23 沖縄県立博物館・美術館  
朝日夕刊 2.26 安斎耕一  
日経夕刊 2.24 干場達矢

モダン都市 銀座の記憶—写真家・師岡宏次の写した50年— 10.7—11.30 江戸東京博物館  
朝日 10.30  
読売 10.17 赤沢博行

The Reader[ジョナサン・モンク] 5.23—6.21 TARO NASU  
美術手帖 1012 熊倉晴子

(ヤ)

八木良太展 サイエンス/フィクション 12.21—1.17 神奈川県民ホールギャラリー  
美術手帖 1019 服部浩之 評

八木原由美・天狗寺陶白人 二人展 11.19—11.25 小田急(町田)  
新美術新聞 1360

矢崎秀行 風景のゆくえ 7.21—7.27 Place M  
新美術新聞 1353

矢崎博信展 幻想の彼方へ 生誕100年 7.26—8.31 茅野市美術館  
新美術新聞 1350 大島浩

安井曾太郎・小山敬三を囲む新春展—水会の作家たち— 1.8—1.28 日動画廊  
新美術新聞 1332

平成26年美術展覧会(作ヤ)

梅原龍三郎・安井曾太郎 デッサン展 4.8—4.25 永井画廊  
新美術新聞 1340

安井曾太郎の世界—人物画を中心に— 9.20—11.16 ふくやま美術館(佐倉市立美術館)

保井智貴 佇む空気/silence 9.20—3.1 彫刻の森美術館  
美術屋・百兵衛 32  
読売夕刊 11.4 黒河内卓郎

安喜万佐子 風景 LANDSCAPE SUICIDE 5.23—6.1 アートコンプレックス・センター

遊亀と靱彦一師からのたまもの・受け継がれた美— 安田靱彦生誕130年、小倉遊亀生誕120年 10.11—11.24 滋賀県立近代美術館(愛媛県美術館、宇都宮美術館)  
新美術新聞 1357

遊亀と靱彦一師からのたまもの・受け継がれた美— 安田靱彦生誕130年、小倉遊亀生誕120年 12.13—1.25 愛媛県美術館(滋賀県立近代美術館、宇都宮美術館)  
書道界 302

柳澤紀子 Pathos 9.6—10.19 鎌倉画廊  
ギャラリー\* 353

柳沢正人日本画展 悠久の大地 5.21—5.27 高島屋(日本橋)  
新美術新聞 1343  
美術\* 465 編集部

時代を越えて引き継がれたブルー父との二人展 柳瀬俊雄・柳瀬俊泰 9.16—11.30 パークホテル東京  
新美術新聞 1354  
美術の窓 373 編集部

柳瀬正夢 1900—1945 時代の光と影を描く 2.11—3.23 神奈川県立近代美術館(葉山)(北九州市立美術館、愛媛県美術館)  
AXIS 169 暮沢剛巳  
産経 2.23 渋谷和彦  
日経 3.19 宮川匡司  
毎日夕刊 3.12 高階秀爾

矢野静明一種差 ENCLAVE ICANOF 第12回企画展 8.22—9.15 八戸市美術館

新美術新聞 1353

八幡亜樹 楽園創造 芸術と日常の新地平 2.15—3.22 ギャラリーαM  
美術手帖 1004 島貫泰介 評

幕末大坂の絵師 藪長水 3.12—4.14 大阪歴史博物館  
水墨画\* 300

APMoA Project, ARCH vol. 9 山内崇嗣 くるみの部屋 4.17—6.8 愛知県美術館  
REAR 32 牧野駿吾

追悼 山内龍雄展 描かれた哲学 4.17—8.31 梶井沢現代美術館  
ギャラリー\* 348

山口勝弘展 水の変容 横浜 wo 発掘 suru vol. 5 10.18—11.9 横浜市民ギャラリーあざみ野  
毎日夕刊 10.22 岸桂子

Transfer Land 渡される(移される)土地(世界)[山口貴子] 4.26—5.25 旧門谷小学校  
REAR 32 石崎尚

山口長男☆野見山暁治と実専展6回 1.6—1.12 ギャラリームサン  
新美術新聞 1332

描かれた器 山口蓬春の眼差しと表現 1.8—3.23 山口蓬春記念館  
新美術新聞 1335

蓬春モダンの夏—修復後初公開《十二月月風俗図》とともに— 山口蓬春生誕120周年記念展Ⅰ 6.17—8.10 山口蓬春記念館  
朝日夕刊 7.16 西岡一正

山口蓬春と吉田五十八 山口蓬春生誕120周年記念展Ⅱ 8.22—10.19 山口蓬春記念館  
新美術新聞 1353

公募—日本の絵画2012— 大賞・優秀賞各受賞者個展 山崎鈴子 9.16—9.30 永井画廊  
新美術新聞 1353  
美術\* 468  
美術の窓 375 (紺)

福沢一郎と山下菊二 師弟は時代とどう向き合ったか 開館20周年記念 11.2—11.30 福沢一郎記念館  
東京夕刊 11.21 石川翠

山下清展 放浪の天才画家 7.26—9.7 山口県立美術館  
新美術新聞 1352

山下耕平展 6.23—6.28 Gallery58  
新美術新聞 1347

山下拓也展 東アジアの夢 BankART Life IV 東アジア文化都市2014横浜 UNDER35/2014 8.8—8.20 BankART Studio  
NYK

山田晶展—His own Colour and Texture— 8.2—8.17 ギャラリー器館  
陶説 739 小吹隆文

山田郁子個展 3.24—3.29 ギャラリームサン  
新美術新聞 1338

山田和作陶展 3.26—4.1 三越(日本橋)  
陶説 736 唐澤昌宏

山田和 陶展 12.31—1.13 松坂屋(名古屋)  
陶説 744 井上隆生

山田純嗣展 絵画をめぐって—理想郷と三遠法— 7.19—8.17 一宮市三岸節子記念美術館  
ギャラリー\* 353 小金沢智  
REAR 33 吉村有子

山田純嗣展 絵画をめぐって 反復・反転・反映 8.30—9.27 不忍画廊  
朝日夕刊 9.17

東山魁夷と東京美術学校有志—橋本明治・加藤栄三・山田申吾— 10.11—11.30 市川市東山魁夷記念館  
新美術新聞 1358

山田貴敏展 5.15—5.21 東武(池袋)東京 5.16 横井武昭

山田幸見展—12021— 1.20—2.1 ギャラリー一枚の繪  
新美術新聞 1333

“エチュード” 駒井哲郎と、山中現 新作展 7.22—8.9 不忍画廊  
ギャラリー\* 351

山中眞寿子展 10.29—11.7 画廊岳  
新美術新聞 1358

山波朋子展 11.21—11.26 O美術館

新美術新聞 1361  
山本愛展 新世代への視点2014  
画廊からの発言 7.21—8.2  
GALERIE SOL  
産経 7.24 渋谷和彦  
備前 山本出展 3.12—3.18 松坂屋(名古屋)  
陶説 734 井上隆生  
山本一弥展 相似の庭Ⅲ 3.15—4.6 L gallery  
REAR 32 三井知行  
ありがとう!山本鼎記念館 山本鼎記念館閉館特別展 2.6—3.25  
山本鼎記念館  
山本鼎のすべて展「自分が直接感じたものが尊い」の実像に迫る  
10.2—11.9 上田市立美術館  
芸術新潮 778  
新美術新聞 1357  
山本誓子展～油彩・水彩・パステル～ 10.20—10.26 銀座幸伸ギャラリー  
新美術新聞 1358  
山本直彰展 2.3—2.15 コバヤシ画廊  
ギャラリー\* 347 小金沢智  
芸術新潮 772  
水墨画\* 301  
山本二三展 日本のアニメーション美術の創造者—天空の城ラピュタ、火垂るの墓、時をかける少女—  
8.4—9.23 静岡市美術館(筆の里工房、新潟市新津美術館、鹿児島県歴史資料センター黎明館、みやざきアートセンター、出雲文化伝承館、福岡アジア美術館、石ノ森章太郎ふるさと記念館、金沢21世紀美術館、青森県立郷土館、北海道立帯広美術館、岡山シティミュージアム、長崎県美術館、イオンホール宮崎、大垣市スイトピアセンター、北野カルチュラルセンター、高知県立美術館、イオンモール森岡)  
毎日 7.4  
毎日 8.3 渡辺亮一  
山本智子—世界の取扱説明書—展  
1.31—2.15 コウイチ・ファインアーツ

ギャラリー\* 345  
山本弘展 7.15—7.21 ギャラリー403  
新美術新聞 1349  
山本文彦展 7.19—9.15 佐久市立近代美術館油井一二記念館  
新美術新聞 1349 市川政憲  
山本雄教個展 RICE LIFE 2.3—2.8 ギャラリー和田  
美術\* 461 編集部  
How is this connected to that? [山本雄教] 3.21—3.31 つくるビル  
水墨画\* 302 山本雄教  
山本雄三 洋画展 4.2—4.8 三越(日本橋)  
新美術新聞 1340  
山本容子展 アートインホスピタル  
6.25—6.30 伊勢丹(新宿)  
毎日 6.26 山田大輔  
山本佳子展—静かな日常— 10.20—11.1 ギャラリー一枚の繪  
新美術新聞 1358  
ぐりとぐら展 誕生50周年記念[山脇百合子] 2.27—3.10 松屋(銀座)(長島美術館、ひろしま美術館、高島屋(名古屋)、伊丹市立美術館、いわき市立美術館、宮城県美術館)  
朝日夕刊 2.26 中川李枝子、山脇百合子 談  
ムーミン展 MOOMIN! トーベ・ヤンソン生誕100周年記念[トーヴェ・ヤンソン] 9.13—10.26  
米沢市上杉博物館(松屋(銀座)、Nanak、米子市美術館、丸井今井札幌本店、広島県立美術館、あべのハルカス美術館、みやざきアートセンター、岡山県立美術館、松坂屋美術館)  
美術手帖 1015 白坂ゆり  
トーベ・ヤンソン展～ムーミンと生きる～ 生誕100周年 10.23—11.30 そごう美術館(北海道立帯広美術館、新潟県立万代島美術館、北九州市立美術館分館、あべのハルカス美術館)  
美術手帖 1015 白坂ゆり  
朝日 5.12 伊藤恵里奈  
朝日 10.11 寺下真理加

平成26年美術展覧会(作ヤ～ヨ)

朝日夕刊 10.21 トゥーラ・カルヤライネン/伊藤恵里奈  
読売夕刊 10.29 市原尚士/小間井藍子

(ユ)

米田和秀 VS 結城康太郎 2.3—2.8  
ギャラリーK  
新美術新聞 1334  
弓手研平展 不器用な普遍性 4.26—5.11 みぞえ画廊(福岡)(みぞえ画廊(東京))  
美術の窓 368 磯部靖

(ヨ)

横井弘三展 異端の天才 6.21—8.31 東御市梅野記念絵画館  
新美術新聞 1349  
横内賢太郎 Between the Lines  
2.22—3.29 ケンジタキギャラリー  
REAR 32 吉田映子  
横尾忠則 肖像図鑑 6.28—9.23  
川崎市市民ミュージアム(横尾忠則現代美術館)  
産経 9.11 黒沢綾子  
日経 6.15  
日経夕刊 7.3  
記憶の遠近術～篠山紀信、横尾忠則を撮る 阪神・淡路大震災20年展  
10.11—1.4 横尾忠則現代美術館  
朝日夕刊 11.26 村瀬信也  
横尾美展展 6.23—7.19 南天子画廊  
朝日夕刊 7.9 大西若人  
横田律子個展 4.21—4.26 光画廊  
新美術新聞 1342  
横浪修 1,000 CHILDREN 4.25—5.30 エモン・フォトギャラリー  
COMMERCIAL PHOTO 611  
横山真理個展—Over flow— 3.5—3.29 ギャラリーセラー  
ギャラリー\* 347  
世界遺産登録一周年記念 大観の富士[横山大観] 6.1—8.30 足立美術館  
水墨画\* 303

横山麻衣リトグラフ初個展 DAZ-ZLER 7.15—7.27 B-gallery  
新美術新聞 1349

横山光輝〜昭和から平成へ マンガの鉄人が駆け抜けた軌跡〜 生誕80周年記念 ミュージアム開設イベント1回 10.1—10.18 東京芸術劇場5階展示ギャラリー2  
日経 10.10  
毎日 10.15 近藤浩之

横山裕一展 これがそれだがふれてみよ 美術の中のかたち一手で見る造形 県美プレミアム館外品を中心とした小企画展 7.19—11.9 兵庫県立美術館

横山裕一×シュールレアリスム 11.1—12.7 宮崎県立美術館  
デアルテ 31 清水佳秀

吉岡耕二 色彩の旅 南イタリアを描く—アマルフィ、ナポリ、ソレント、そしてシチリアへ— Bunkamura 25周年記念 8.30—9.9 Bunkamura Gallery  
美術の窓 374 ワシオ・トシヒコ

吉岡正人のルネサンス イタリア・中世からルネサンス 6.21—6.28 埼玉画廊  
新美術新聞 1347

吉岡正人展 コート・ギャラリー国立 立画廊開廊20周年展 9.4—9.16 コート・ギャラリー国立  
新美術新聞 1353

吉賀伸展 UNFORMED SENSES 8.6—8.18 美術画廊 X

吉川民仁“rain or shine” 5.17—6.29 鎌倉画廊

ART OSAKA2014 芳木麻里絵展 7.12—7.13 ホテルグランヴィア大阪  
美術\* 471 加藤大輔

山口蓬春と吉田五十八 山口蓬春生誕120周年記念展Ⅱ 8.22—10.19 山口蓬春記念館  
新美術新聞 1353

メディウムの条件 『ART CRITIQUE』n.04刊行記念展[吉田和生] 5.20—6.1 HAGI ART  
美術手帖 1008 近藤亮介

吉田宏太郎展2014 6.16—6.21 ぎやらりいサムホール  
新美術新聞 1346

吉田重信展「聖」 5.17—6.29 POLARIS☆The Art Stage  
ギャラリー\* 349

無意識の直覚 吉田多最展 3.19—3.25 高島屋(日本橋)(高島屋(京都、横浜、大阪))  
新美術新聞 1338  
毎日 3.20 一條優太

吉田直展—禁句との対峙— 10.1—11.3 岩崎ミュージアム/横浜画廊  
ギャラリー\* 354

NIPPON パノラマ大紀行〜吉田初三郎のえがいた大正・昭和〜 7.26—9.15 名古屋市博物館  
水墨画\* 304  
朝日夕刊 9.1 上林格  
日経 8.17

ヨシダミノルの絵画 1964—1967 7.16—8.31 京都国立近代美術館

吉田康弘油彩画展5回 12.8—12.13 ギャラリーミハラヤ  
新美術新聞 1362

ミュージアムコレクションI 陶芸家・吉田喜彦 4.29—6.8 世田谷美術館

吉田喜彦 注ぐ器展 8.1—8.10 工芸ギャラリー手児奈  
陶説 739 井上隆生

吉野ヨシ子 彫刻展 9.20—9.28 船引公民館  
東京 10.21 井上能行

吉水快開展 7.9—7.15 高島屋(日本橋)(高島屋(京都、大阪))

鉛筆のチカラ—木下晋・吉村芳生展 12.6—2.8 熊本市現代美術館  
新美術新聞 1363

石川真生写真展 森花—夢の世界 [吉山森花] 3.5—3.15 禪フォトギャラリー  
毎日 3.4 斎藤良太

SIMONDOLL 四谷シモン 5.31—7.6 そごう美術館(西宮市大谷記念美術館)  
毎日 5.30 三岡昭博/佐野史郎 談/三岡昭博、立川明子 聞き手

／石間戸智恵  
アルベルト・ヨナサン Enshrined 3.19—4.19 ミヅマアートギャラリー  
芸術新潮 773

米田和秀 VS 結城康太郎 2.3—2.8 ギャラリーK  
新美術新聞 1334

(ラ)

ハンス・ライヒェル×内橋和久 Listen to the Daxophone あざみ野コンテンツポラリー vol.5 5.31—6.15 横浜市民ギャラリーあざみ野  
芸術新潮 776

楽山正幸 油絵展 3.19—3.25 小田急(新宿)  
新美術新聞 1338

楽山正幸展 パリ・アルザス・ブルゴーニュ紀行 9.28—10.4 ギャラリームサン  
新美術新聞 1355

3つの視展[クリス・ピエール・ラビュッシ] 4.15—4.19 上野の森美術館  
新美術新聞 1341

MATERIAL ANALYSIS[ケサン・ラムダーク] 11.15—12.20 シュウゴアーツ  
芸術新潮 781

(リ)

李禹煥個展 7.25—8.21 Kaikai Kiki Gallery  
芸術新潮 778  
毎日夕刊 8.19 岸桂子

李傑 By the way, 1.11—2.15 シュウゴアーツ  
美術手帖 1004 木村絵理子  
美術の窓 366 李傑 談

MATERIAL ANALYSIS[リー・キット] 11.15—12.20 シュウゴアーツ  
芸術新潮 781

リー・ミンウェイとその関係展: 参加するアート—見る、話す、贈る、書く、食べる、そして世界とつながる 9.20—1.4 森美術館

芸術新潮 780  
 美術手帖 1017 ダリル・ウィー  
 聞き手  
 美術の窓 374 リー・ミンウェ  
 イ 談  
 朝日夕刊 10.22 西岡一正  
 産経 9.25 渋谷和彦  
 毎日夕刊 12.8 岸桂子  
 読売 12.25 井上晋治  
 リギオン 逆転移 10.31—1.7 メ  
 ゾンエルメス8階フォーラム  
 龍まんじの世界展 キャラクターア  
 ート 6.27—7.9 山脇ギャラリー  
 ー  
 新美術新聞 1347  
 美術の窓 370 高山淳

## (ル)

ベン・シャーンとジョルジュ・ルオ  
 ー 7.5—9.15 神奈川県立近代  
 美術館(鎌倉別館)  
 スターリング・ルビー BC RIPS  
 9.7—10.4 タカ・イシイギャラ  
 リー  
 美術手帖 1016 後藤桜子  
 トーマス・ルフ ma. r. s and  
 negatives 10.4—11.15 ギャラ  
 リー小柳  
 美術手帖 1016 清水穰  
 トーマス・ルフ photograms  
 10.4—11.15 TOLOT/heuristic  
 SHINONOME  
 美術手帖 1016 清水穰

## (ロ)

竹久夢二展 ベル・エポックを生き  
 た夢二とロートレック 生誕130  
 年[アンリ・ド・トゥールーズ＝  
 ロートレック] 9.26—10.6 高  
 島屋(日本橋)(高島屋(京都、岡山、  
 横浜))  
 朝日夕刊 9.25 緒川たまき 談  
 /高橋秀喜 聞き手  
 朝日夕刊 10.1 山田優  
 マリー・ローランサン展～女の一生  
 ～ 4.12—6.22 三鷹市美術ギャ  
 ラリー  
 新美術新聞 1344  
 読売夕刊 6.3 朝倉祐一朗

榮榮&映里「妻有物語」 6.11—7.12  
 ミヅマアートギャラリー  
 美術の窓 371 榮榮&映里 談  
 産経 7.10  
 読売夕刊 7.7 (井)

## (ワ)

若尾経 作陶展 11.19—11.25 三  
 越(日本橋)  
 陶説 743 唐澤昌宏  
 若尾誠作陶展 10.15—10.21 松坂  
 屋(名古屋)  
 陶説 741 井上隆生  
 若佐慎一個展—みえざるモノの肖像  
 — 2.17—2.22 ギャラリー和田  
 美術\* 461 編集部  
 絵本づくりのマイスター3人展—  
 西巻茅子・馬場のぼる・わかやま  
 けん— 7.4—9.4 Gallery A<sup>1</sup>  
 新美術新聞 1349  
 和田的 作陶展 11.5—11.11 三  
 越(日本橋)  
 新美術新聞 1359  
 陶説 742 花里麻理  
 和田的 陶展 11.28—1.13 LIXIL  
 ギャラリー3  
 毎日夕刊 12.17 岸桂子  
 和田直樹展 10.2—10.11 ギャラ  
 リーアーク  
 新美術新聞 1356  
 和田誠ポスター展 1.10—1.19 あ  
 うるすぽっと  
 産経 1.17  
 和田義郎油絵展 5.14—5.20 松坂  
 屋(上野)  
 新美術新聞 1343  
 ヨセナベ展[渡辺篤] 6.28—7.19  
 アートラボ・アキバ  
 美術手帖 1010 福住廉 評  
 渡辺英司 複製の庭 5.24—6.28  
 ケンジタキギャラリー  
 読売夕刊 6.9 (睦)  
 渡辺おさむ Sweets Sentiment  
 2.7—3.9 ポーラミュージアム  
 アネックス  
 芸術新潮 772  
 渡辺克巳展 8.23—9.13 タカ・イ  
 シイギャラリー フォトグラフィ  
 ー/フィルム

美術手帖 1014 清水穰  
 渡辺玄一展 6.3—6.8 大黒屋ギャ  
 ラリー  
 新美術新聞 1345  
 渡辺幸子展 3.31—4.5 ガレリア  
 ・グラフィカ bis  
 新美術新聞 1339  
 美術の窓 368 ワシオ・トシヒ  
 コ  
 渡辺祥行作品展 5.23—5.25 朝日  
 画廊  
 新美術新聞 1344  
 戸田守宣 柴田真理子 渡邊太一郎  
 9.6—9.20 ギャラリー頭美子  
 陶説 740 井上隆生  
 渡辺千尋の仕事 3.14—6.8 長崎  
 県美術館  
 デアルテ 31 福満葉子  
 版画芸術 163 福満葉子  
 渡邊透真 個展 森の夢を見る  
 9.6—9.15 みんなのギャラリー  
 ギャラリー\* 353  
 渡辺豊重展 画楽60年 12.20—  
 2.15 岩手県立美術館(川崎市市  
 民ミュージアム、栃木県立美術館)  
 新美術新聞 1363  
 渡邊肇 人間浄瑠璃写真展 第一回  
 文楽至宝尽の段 5.10—5.23  
 ESPACE BIBLIO  
 読売夕刊 5.12  
 渡辺三絵子 水彩画展 4.16—4.22  
 小田急(新宿)  
 新美術新聞 1341  
 渡邊幹夫 新作版画展 4.7—4.19  
 村越画廊  
 新美術新聞 1341  
 渡部汀 人墨人展 12.14—12.20  
 東京交通会館ギャラリーパールル  
 ーム  
 新美術新聞 1362  
 わたなべゆう展 9.6—9.28 澗画  
 廊  
 新美術新聞 1358  
 書・墨・アート Vol.5 渡邊麗展  
 11.5—11.30 Gallery アソビバ  
 ギャラリー\* 355  
 綿引道郎展 禅とアンデルセンと子  
 供の世界 4.14—4.26 ギャラ  
 リーせいほう

美術の窓 367 高山淳

## 団体展

### (ア行)

Artist Group—風—小品展 2.19—  
2.25 高島屋(日本橋)(高島屋(大  
阪、京都))

新美術新聞 1335

Artist Group—風—3回 2014

10.21—10.28 東京都美術館  
ギャラリー\* 355

新美術新聞 1357

アート未来展19回 6.25—7.7 国  
立新美術館

新美術新聞 1351 (和)

美術の窓 372 高山淳

国際画家展8回[亜細亜国際美術  
会] 7.8—7.14 日中友好会館美術  
館

ギャラリー\* 352

アジア創造美術展2014 1.22—2.3  
国立新美術館

亜細亜現代美術展50回[亜細亜美術  
協会] 5.22—5.30 東京都美術  
館

新美術新聞 1350 (和)

美術の窓 370 高山淳

一陽展60回 10.1—10.13 国立新  
美術館(大阪市立美術館、石川  
県立美術館)

ギャラリー\* 354

新美術新聞 1360 (袴)

美術の窓 375 高山淳

一期展49回 10.1—10.13 国立新  
美術館

新美術新聞 1360 (和)

美術の窓 375 高山淳/編集部

毎日 10.2 山田大輔

一水会選抜展53回 2.26—3.4 三  
越(日本橋)

新美術新聞 1336

一水会展76回 9.18—10.3 東京  
都美術館(大阪市立美術館、愛知  
県美術館ギャラリー、金沢21世紀  
美術館)

新美術新聞 1358 (和)

美術の窓 374 高山淳

一線美術会展65回 10.22—10.28

東京都美術館(奈良県文化会館、  
愛知県美術館ギャラリー)

新美術新聞 1363 (磯)

美術の窓 375 高山淳

一創会展36回 10.13—10.19 東  
京都美術館

新美術新聞 1363 (能)

旺玄展80回 5.22—5.30 東京都  
美術館(愛知県美術館ギャラリー、  
秋田県立美術館、大阪市立美術館)

新美術新聞 1344

新美術新聞 1350 (能)

美術の窓 370 高山淳/編集部

### (カ行)

瓦・造形展19回 10.16—10.27

国立新美術館

近美展41回[近代日本美術協会]

10.30—11.6 東京都美術館

新美術新聞 1364 (橋)

近代美術協会展51回 8.21—8.30

東京都美術館

新美術新聞 1357 (能)

美術の窓 373 高山淳

群炎展53回 11.26—12.3 東京都  
美術館

新美術新聞 1367 (橋)

日本現代工芸美術展53回[現代工芸  
美術家協会] 4.18—4.23 東京  
都美術館

新美術新聞 1346 (松)

美術の窓 369 高山淳

ニュークリエイティブ展30回[現代  
手工芸作家協会] 2.23—2.28

東京都美術館

新美術新聞 1340 (袴)

現水展53回[現代水墨画協会]

10.22—10.28 東京都美術館

新美術新聞 1361 (磯)

美術の窓 375 編集部

現創展40回[現代創造美術協会]

11.26—12.3 東京都美術館

新美術新聞 1367 (橋)

美術の窓 376 高山淳

現代童画展40回 11.8—11.15 東  
京都美術館

新美術新聞 1365 (磯)

美術の窓 376 高山淳/編集部

現代パステル協会展26回 8.2—  
8.10 東京都美術館(大阪市立美  
術館)

新美術新聞 1354

美術の窓 373 編集部

現展70回[現代美術家協会] 5.28  
—6.9 国立新美術館(大阪市立美  
術館、愛知県美術館ギャラリー)

新美術新聞 1345

新美術新聞 1351 (和)

美術の窓 371 高山淳

現展第70回記念選抜展[現代美術家  
協会] 11.16—11.22 ギャラリ  
ー青羅/美術家連盟画廊/ギャラ  
リー檜

元陽展45回 10.30—11.6 東京都  
美術館(広島県立美術館、大阪  
市立美術館)

新美術新聞 1364 (和)

美術の窓 376 編集部

行動展69回 9.17—9.29 国立新  
美術館(大阪市立美術館、京都  
市美術館、福岡市美術館)

新美術新聞 1358 (袴)

美術の窓 374 高山淳

光風会100回記念選抜展 4.16—  
4.22 三越(日本橋)

光風会展100回 4.16—4.29 国立  
新美術館(愛知県美術館ギャラ  
リー、広島県立美術館、岡山天神  
山文化プラザ、新潟県民会館、石  
川県立美術館、栃木県総合文化セ  
ンター、京都市美術館)

光輝展II 2回[光風会] 8.6—  
8.12 三越(日本橋)

ギャラリー\* 349

新美術新聞 1346 (能)

美術の窓 367 本江邦夫ほか

美術の窓 369 高山淳

光陽展62回 4.9—4.16 東京都  
美術館(広島県立美術館、京都市  
美術館)

新美術新聞 1345 (能)

美術の窓 369 高山淳

国画展45回[国画院] 10.12—

10.19 東京都美術館

美術の窓 375 編集部

国展88回[国画会] 5.1—5.12 国  
立新美術館(愛知県美術館ギャラ



リー、大阪市立美術館)  
 ギャラリー\* 350  
 新美術新聞 1347 (和)  
 美術\* 466 藤田一人  
 美術の窓 370 高山淳／編集部  
**国展受賞作家展(版画・彫刻・工芸  
 ・写真)88回 未来への歩み2014  
 [国画会]** 11.8—11.15 東京都  
 美術館  
 新美術新聞 1363  
**国画会彫刻部秋季展37回** 11.8—  
 11.15 東京都美術館  
 新美術新聞 1363  
**ima 女流選抜34回[国際現代美術家  
 協会]** 3.3—3.8 地球堂ギャラ  
 リー  
 新美術新聞 1335  
**国際書画展36回** 1.22—2.3 国立  
 新美術館(愛知県美術館ギャラ  
 リー、兵庫県立美術館)  
**国際墨画会展14回** 6.11—6.23  
 国立新美術館  
 新美術新聞 1350 (能)  
**駒展43回** 8.21—8.30 東京都美  
 術館  
 美術の窓 373 高山淳  
 (サ行)  
**朔日会83回** 6.21—6.27 東京都  
 美術館  
 美術の窓 371 高山淳  
**日仏現代国際美術展18回[サロン・  
 プラン美術協会]** 4.1—4.6 東  
 京都美術館  
 新美術新聞 1345 (橋)  
 美術の窓 369 高山淳  
**三軌展66回** 5.14—5.26 国立新  
 美術館(せんだいメディアテーク、  
 愛知県美術館、京都市美術館、大  
 分県立芸術会館、金沢21世紀美術  
 館、東川町文化ギャラリー)  
 新美術新聞 1349 (磯)  
 美術の窓 370 高山淳／編集部  
**示現会展67回** 4.2—4.14 国立新  
 美術館(兵庫県立美術館王子分館  
 原田の森ギャラリー、熊本県立美  
 術館分館、北九州市立美術館黒崎  
 市民ギャラリー、和歌山県民文化  
 会館、徳島県郷土文化会館、福井

県立美術館、愛知県美術館ギャラ  
 リー、京都市美術館、岐阜県美術  
 館、山形美術館、青森市民美術展  
 示館、福岡市美術館、長岡市美術  
 センター、石川県立美術館)  
 新美術新聞 1344 (袴)  
 美術の窓 369 高山淳  
**写真画壇展42回** 4.1—4.7 上野  
 の森美術館  
 ギャラリー\* 347  
 新美術新聞 1347 (磯)  
 美術の窓 369 磯部靖  
**秋耕展38回** 2.5—2.17 国立新美  
 術館  
 新美術新聞 1338 (橋)  
**秀彩展7回** 11.16—11.24 東京  
 都美術館  
 新美術新聞 1365 (橋)  
 美術の窓 376 高山淳  
**東京自由美術展3回[自由美術協  
 会]** 5.22—5.30 東京都美術館  
 ギャラリー\* 350  
 自由美術 2014 大野修  
**自由美術展78回** 10.1—10.13 国  
 立新美術館(京都市美術館、愛知  
 県美術館ギャラリー、広島県立美  
 術館)  
 新美術新聞 1360 (能)  
 美術の窓 375 高山淳  
**主体展50回** 9.2—9.15 東京都美  
 術館(愛知県美術館ギャラリー、  
 京都市美術館、北海道立近代美術  
 館)  
 新美術新聞 1357 (橋)  
 美術の窓 374 高山淳／編集部  
**朱葉会93回** 6.29—7.6 東京都美  
 術館  
 ギャラリー\* 352  
 新美術新聞 1351 (能)  
 美術の窓 372 高山淳  
**純展44回** 9.26—10.3 東京都美  
 術館  
 新美術新聞 1363 (磯)  
 美術の窓 374 高山淳／編集部  
**春陽展91回** 4.16—4.29 国立新  
 美術館(愛知県美術館ギャラリー、  
 大阪市立美術館)  
 ギャラリー\* 348 石田勤一／す  
 ずきくみこ／田中俊行／井上直子

／高浦とみ子／篠田紀美代  
 新美術新聞 1347 (袴)  
 美術の窓 369 高山淳／小池伊  
 欧里  
**女流画家協会展68回** 6.29—7.6  
 東京都美術館  
 新美術新聞 1351 (袴)  
 美術の窓 371 高山淳／編集部  
**新槐樹社展58回** 2.5—2.17 国立  
 新美術館(大阪市立美術館、京都  
 市美術館)  
 新美術新聞 1337 (能)  
 美術の窓 368 高山淳  
**新協展57回** 10.5—10.11 東京都  
 美術館(米子市美術館、広島県立  
 美術館)  
 新美術新聞 1363 (橋)  
 美術の窓 375 高山淳／編集部  
**極美展20回[新極美術協会]** 9.26  
 —10.3 東京都美術館  
 新美術新聞 1363 (橋)  
**新芸術展39回** 11.16—11.24 東  
 京都美術館(愛知県美術館、京都  
 市美術館)  
 新美術新聞 1365 (和)  
 美術の窓 376 編集部  
**新構造東京展2回** 2.19—3.3 国  
 立新美術館  
**新構造展86回** 9.18—9.24 東京  
 都美術館  
 新美術新聞 1360 (橋)  
 美術の窓 374 高山淳／編集部  
**新興美術院富士支部展44回** 2.5—  
 2.9 富士市文化会館ロゼシアタ  
 ー  
 美術の窓 369 菊池柁寿  
**新興展64回** 5.22—5.30 東京都  
 美術館(京都市美術館)  
 新美術新聞 1350 (能)  
 美術の窓 370 高山淳  
**新作家展21回** 9.2—9.7 東京都  
 美術館  
 新美術新聞 1358 (能)  
 美術の窓 374 高山淳  
**新匠工芸会展69回** 10.23—10.28  
 東京都美術館(京都市美術館)  
 陶説 742 外館和子  
**新象展57回[新象作家協会]** 6.1—  
 6.9 東京都美術館(愛知県美術館

平成26年美術展覧会(団サ、タ行)

ギャラリー、京都市美術館、大阪市立美術館  
 美術の窓 371 高山淳／編集部  
**新世紀展59回** 5.2—5.10 東京都美術館(大阪市立美術館、北九州市立美術館、兵庫県立美術館王子分館原田の森ギャラリー、愛知県美術館)  
 新美術新聞 1347 (能)  
**新制作展78回** 9.17—9.29 国立新美術館(京都市美術館、愛知県美術館ギャラリー、広島県立美術館)  
 新美術新聞 1354  
 新美術新聞 1358 (和)  
 美術\* 470 藤田一人  
 美術の窓 374 高山淳  
**新美展45回[新生美術協会]** 4.24—4.30 東京都美術館  
 美術の窓 370 編集部  
 新美術新聞 1347 (橋)  
**農鳥社展67回** 6.3—6.8 京都府立文化芸術会館  
 美術の窓 371 小森佳代子  
**新院展46回[新日本美術院]** 9.25—10.3 東京都美術館  
 新美術新聞 1361 (袴)  
**新日美展38回[新日本美術協会]** 10.4—10.11 東京都美術館(京都文化博物館)  
 新美術新聞 1361 (能)  
 美術の窓 375 編集部  
**新美術協会展61回** 8.22—8.30 東京都美術館  
 新美術新聞 1355  
 美術の窓 373 高山淳  
**新平成美術展12回** 12.13—12.20 東京都美術館  
 美術の窓 377 編集部  
**新洋画会展36回** 5.11—5.20 東京都美術館  
 新美術新聞 1349 (和)  
**水彩人展16回** 9.25—10.3 東京都美術館  
 新美術新聞 1363 (袴)  
 美術の窓 374 編集部  
**水彩連盟展73回** 4.2—4.14 国立新美術館(愛知県美術館ギャラリー)

ギャラリー\* 349  
 新美術新聞 1344 (磯)  
 美術の窓 369 高山淳  
**青枢展41回** 10.22—10.28 東京都美術館  
 新美術新聞 1363 (和)  
 美術の窓 375 編集部  
**雪舟国際美術協会展21回** 12.10—12.22 国立新美術館  
**全国水墨画展21回** 8.6—8.18 国立新美術館  
**全日本水墨画秀作展43回[全国水墨画美術協会]** 3.5—3.16 国立新美術館  
**全日肖展61回[全日本肖像美術協会]** 6.29—7.6 東京都美術館  
 新美術新聞 1351 (橋)  
 美術の窓 372 高山淳  
**全展52回[全日本美術協会]** 8.21—8.30 東京都美術館  
 新美術新聞 1357 (磯)  
 美術の窓 373 高山淳  
**東京春季創画展40回[創画会]** 3.5—3.10 高島屋(日本橋)  
 新美術新聞 1341 (橋)  
**創画展41回** 10.22—10.28 東京都美術館(京都市美術館、愛知県美術館ギャラリー)  
 新美術新聞 1363 (袴)  
 美術の窓 375 高山淳／編集部  
**蒼騎展54回** 6.25—7.7 国立新美術館  
 新美術新聞 1353 (能)  
 美術の窓 372 高山淳  
**創型展62回** 6.1—6.9 東京都美術館  
 ギャラリー\* 351  
 美術の窓 371 高山淳  
**創元展73回** 4.2—4.14 国立新美術館(岡山県天神山文化プラザ、香川県文化会館、兵庫県立美術館王子分館原田の森ギャラリー、大阪市立美術館、福岡市美術館、クリエート浜松)  
 新美術新聞 1344 (和)  
 美術の窓 369 高山淳  
**創彩展34回** 10.30—11.6 東京都美術館  
 新美術新聞 1364 (能)

**創展48回[創作画人協会]** 9.25—10.3 東京都美術館  
 新美術新聞 1363 (能)  
 美術の窓 374 編集部  
**双樹展44回** 9.17—9.24 東京都美術館  
 新美術新聞 1360 (能)  
 美術の窓 374 編集部  
**蒼樹展50回** 10.22—10.28 東京都美術館  
 新美術新聞 1363 (和)  
**創造展67回** 6.11—6.19 東京都美術館  
 新美術新聞 1351 (磯)  
 美術の窓 371 高山淳

(タ行)

**第一美術展85回** 5.28—6.9 国立新美術館(安曇野市豊科近代美術館、京都市美術館、愛知県美術館ギャラリー)  
 新美術新聞 1350 (和)  
 美術の窓 371 編集部  
**大翔展38回** 10.13—10.19 東京都美術館  
 新美術新聞 1363 (橋)  
**大潮展76回** 11.26—12.3 東京都美術館  
 美術の窓 376 高山淳  
**大調和展53回** 6.1—6.9 東京都美術館(広島県立美術館、松本市美術館)  
 新美術新聞 1350 (袴)  
 美術の窓 371 高山淳／編集部  
**太平洋展110回** 5.14—5.26 国立新美術館(福岡市美術館、愛知県美術館ギャラリー、横浜市民ギャラリー、大阪市立美術館)  
 新美術新聞 1344  
 新美術新聞 1350 (袴)  
 毎日 5.15 真鍋光之  
**大洋展36回** 9.25—10.3 東京都美術館  
 新美術新聞 1363 (橋)  
 美術の窓 374 編集部  
**太陽美術展40回** 11.16—11.24 東京都美術館  
 新美術新聞 1365 (袴)  
 美術の窓 376 高山淳

**たぶろう展49回** 6.11—6.23 国立新美術館  
 ギャラリー\* 351  
 新美術新聞 1351 (袴)  
 美術の窓 371 高山淳

**中美展66回** 10.13—10.19 東京都美術館  
 新美術新聞 1363 (橋)  
 美術の窓 375 高山淳／編集部

**等迦展46回** 2.5—2.18 国立新美術館  
 新美術新聞 1338 (和)  
 美術の窓 368 磯部靖

**東京きりえ美術展33回** 4.1—4.6 東京都美術館  
 東京 4.2

**東京展40回[東京展美術協会]** 9.9—9.15 東京都美術館  
 新美術新聞 1357 (能)  
 美術の窓 374 高山淳／編集部

**都展50回[東京都民美術展運営会]** 11.18—11.24 東京都美術館  
 美術の窓 376 編集部

**陶芸財団展2014** 6.25—7.6 国立新美術館

**東光展80回** 4.25—5.10 東京都美術館(大阪市立美術館、天神山文化プラザ、鹿児島市立美術館、広島県立美術館、島根県立美術館、佐賀県立美術館、熊本県立美術館分館)  
 ギャラリー\* 350  
 新美術新聞 1342  
 新美術新聞 1349 (袴)  
 美術の窓 370 高山淳

**東方展48回** 2.26—3.6 大田区民ホールアブリコ(愛知県美術館)  
 新美術新聞 1341 (磯)  
 美術の窓 368 大澤景

**独立展82回** 10.15—10.27 国立新美術館(大阪市立美術館、京都市美術館、福岡市美術館、愛知県美術館)  
 ギャラリー\* 356  
 新美術新聞 1357 奥谷博  
 新美術新聞 1361 (和)  
 美術\* 471 藤田一人  
 美術の窓 375 高山淳

**土日会展39回** 12.10—12.23 国立新美術館  
 新美術新聞 1368 (磯)  
 美術の窓 377 高山淳／編集部

## (ナ行)

**21美術展9回** 10.12—10.19 東京都美術館  
 新美術新聞 1363 (橋)

**春季二科展2014** 4.17—4.23 東京都美術館  
 ギャラリー\* 349  
 新美術新聞 1347 (和)

**二科展99回** 9.3—9.15 国立新美術館(富山市民プラザ、愛知県美術館ギャラリー、大阪市立美術館、京都市美術館、広島県立美術館、福岡市美術館、鹿児島県歴史資料センター黎明館)  
 ギャラリー\* 355  
 美術の窓 374 高山淳

**二科会写真部展62回** 9.3—9.15 国立新美術館

**二紀展68回** 10.15—10.27 国立新美術館(愛知県美術館、京都市美術館、広島県立美術館、福岡市美術館、せんだいメディアテーク)  
 ギャラリー\* 356  
 新美術新聞 1357 山本貞  
 新美術新聞 1361 (袴)  
 美術\* 471 藤田一人  
 美術の窓 375 高山淳

**二元展53回** 6.11—6.19 東京都美術館(大阪市立美術館、愛知県美術館ギャラリー)  
 新美術新聞 1353 (橋)  
 美術の窓 371 高山淳／編集部

**日洋展28回** 5.28—6.9 国立新美術館(愛知県美術館ギャラリー、大阪市立美術館、福岡市美術館、広島県立美術館、せんだいメディアテーク)  
 新美術新聞 1350 (磯)  
 美術の窓 371 高山淳

**日輝展39回** 11.8—11.15 東京都美術館  
 新美術新聞 1365 (袴)  
 美術の窓 376 高山淳

**日春展49回** 4.9—4.14 松屋(銀座)(大丸(心齋橋、福岡)、松坂屋美術館)  
 新美術新聞 1343 (袴)  
 美術\* 465

**日展 改組新1回** 10.31—12.7 国立新美術館(京都市美術館、愛知県美術館ギャラリー、大阪市立美術館、福岡市美術館、富山県人会館美術館)  
 ギャラリー\* 355  
 ギャラリー\* 356  
 新美術新聞 1362 (袴)  
 新美術新聞 1362 (橋)  
 新美術新聞 1362 (能)  
 新美術新聞 1362 (和)  
 陶説 743 外館和子  
 美術\* 472 藤田一人  
 美術の窓 376 高山淳  
 朝日 11.24 大西若人  
 産経 10.30 黒沢綾子  
 東京夕刊 11.14 藤田一人  
 毎日夕刊 10.31

**日本画院展74回** 5.12—5.18 東京都美術館  
 新美術新聞 1349 (磯)

**日府展61回[日本画府]** 5.21—5.30 東京都美術館(愛知県美術館ギャラリー)  
 新美術新聞 1350 (橋)  
 美術の窓 370 編集部

**JAG展37回[日本芸術家協会]** 11.16—11.24 東京都美術館  
 新美術新聞 1365 (和)  
 美術の窓 376 高山淳

**日本伝統工芸染織展48回[日本工芸会]** 5.8—5.13 三越(日本橋)(天満屋(岡山)、岩田屋(福岡))  
 日経 4.20

**日本伝統工芸展61回[日本工芸会]** 9.17—9.29 三越(日本橋)(三越(名古屋、仙台、福岡、松山)、高島屋(京都)、あべのハルカス近鉄百貨店／大阪芸術大学スカイキャンパス、石川県立美術館、岡山県立美術館、島根県立美術館、香川県立ミュージアム、広島県立美術館)  
 新美術新聞 1355

平成26年美術展覧会(団六、八行)

- 朝日夕刊 9.16 小笠原小枝／石崎泰之／松原龍一／内田篤呉／黒川廣子
- 日本刻字展33回 2.16—2.21 東京都美術館  
毎日夕刊 2.20 桐山正寿
- 彩美展19回[日本彩美会] 5.12—5.20 東京都美術館  
新美術新聞 1347 (橋)
- 日本自由画壇展40回 6.11—6.23 国立新美術館  
ギャラリー\* 351  
新美術新聞 1351 (橋)  
美術の窓 371 高山淳
- 日本自由画壇秋季展 11.8—11.15 東京都美術館  
ギャラリー\* 357
- 日本新工芸展36回 5.14—5.25 国立新美術館(松坂屋美術館、北九州市立美術館、京都市美術館)  
新美術新聞 1347 (松)  
美術の窓 370 高山淳
- 日本水彩展102回 6.1—6.9 東京都美術館(せんだいメディアテーク、愛知県美術館、福屋(大阪)、京都市美術館、愛媛県美術館)  
新美術新聞 1350 (橋)  
美術の窓 371 高山淳
- 日本水墨院展29回 6.25—7.6 国立新美術館  
新美術新聞 1353 (磯)  
水墨画\* 305  
美術の窓 372 高山淳
- 日本水墨画展47回 4.18—4.23 東京都美術館
- 清興展36回[日本清興美術協会] 11.16—11.24 東京都美術館  
美術の窓 376 編集部  
新美術新聞 1365 (袴)
- 国際美術大賞展40回[日本選抜美術家協会] 11.7—11.15 東京都美術館  
新美術新聞 1364 (橋)
- 国際扇面展35回[日本扇面芸術協会] 4.18—4.23 東京都美術館  
新美術新聞 1346 (橋)
- 日彫展44回[日本彫刻会] 4.19—4.30 東京都美術館(愛知県美術館ギャラリー、富山市民プラザ)
- 新美術新聞 1346 (橋)  
美術の窓 369 高山淳
- 日本南画院展54回 3.19—3.31 国立新美術館(京都市美術館、大阪市立美術館)  
新美術新聞 1343 (磯)  
美術の窓 368 高山淳
- 板院展64回[日本板画院] 6.11—6.19 東京都美術館  
新美術新聞 1350 (能)  
美術の窓 371 高山淳
- 日本版画会展55回 11.18—11.24 東京都美術館  
美術の窓 376 編集部
- 版画展82回[日本版画協会] 10.5—10.19 東京都美術館  
新美術新聞 1363 (磯)  
美術の窓 375 高山淳／編集部
- 春の院展69回[日本美術院] 3.26—4.7 三越(日本橋)(松坂屋美術館、秋田県総合生活文化館、三越(札幌、福岡、新潟)、三越伊勢丹(大阪)、高島屋(京都)、天童市美術館、倉敷市美術館、そごう(広島、神戸)、一畑百貨店(松江))  
新美術新聞 1343 (和)  
美術\* 464
- 院展99回[日本美術院] 9.2—9.15 東京都美術館(京都市美術館、大丸(心齋橋)、足立美術館、福井県立美術館、松坂屋美術館、そごう美術館、天満屋(岡山)、福屋(広島)、クリエート浜松、茨城県天心記念五浦美術館、北九州市立美術館分館、今井美術館)  
美術\* 470 藤田一人  
美術の窓 374 高山淳
- 日本アンデパンダン展67回[日本美術会] 3.19—3.31 国立新美術館  
新美術新聞 1344
- 日本表現派展58回 10.13—10.19 東京都美術館(愛知県美術館ギャラリー、奈良県文化会館)  
新美術新聞 1363 (能)  
美術の窓 375 高山淳
- 日象展41回[日本表象美術協会] 6.25—7.7 国立新美術館  
新美術新聞 1351 (橋)
- 美術の窓 372 高山淳
- 新美協展5回[日本表象美術協会] 10.13—10.19 東京都美術館  
新美術新聞 1356
- 日本文人画府展43回 10.21—10.28 東京都美術館  
新美術新聞 1361 (磯)
- 日本遊印アート協会展24回 4.1—4.6 東京都美術館  
新美術新聞 1344 (能)  
東京 4.2 丹治早智子
- 日本和紙絵画展29回 11.26—12.3 東京都美術館  
新美術新聞 1367 (能)

(八行)

- 白亜展37回 11.7—11.15 東京都美術館  
新美術新聞 1364 (磯)  
美術の窓 376 編集部
- 白土会展50回 8.22—8.30 東京都美術館(愛知県美術館ギャラリー)  
新美術新聞 1355  
美術の窓 373 高山淳
- 白日会展90回 3.19—3.31 国立新美術館(愛知県美術館ギャラリー、岡山県天神山文化プラザ、熊本県立美術館、近鉄アート館)  
新美術新聞 1342 (袴)  
美術\* 464  
美術の窓 368 高山淳
- 白日会選抜展39回 12.17—12.23 三越(日本橋)  
新美術新聞 1363
- 汎美展2014 3.5—3.17 国立新美術館
- 美術文化展74回 5.12—5.20 東京都美術館(京都市美術館、愛知県美術館ギャラリー、大阪市立美術館)  
新美術新聞 1347 (和)
- 从展38回 2.23—2.28 東京都美術館  
水墨画\* 302
- 風子会展38回 11.7—11.15 東京都美術館  
新美術新聞 1364 (袴)

FAA 富士美術展32回〔富士美術協  
会〕 10.30—11.6 東京都美術館  
新美術新聞 1364 (橋)  
美術の窓 376 編集部

平泉展26回 1.22—2.3 国立新美  
術館  
新美術新聞 1337 (和)

(マ行)

モダンアート展64回 4.1—4.16  
東京都美術館(京都市美術館、愛  
知県美術館、福岡市美術館)  
新美術新聞 1344 (磯)  
美術の窓 369 高山淳

(ヤ行)

遙玄展41回 11.26—12.3 東京都  
美術館  
新美術新聞 1366 (磯)  
美術の窓 376 高山淳

(ラ行)

央展 立軌会 有志小品展 2.16—  
2.23 ギャラリームサン  
新美術新聞 1335

立軌展67回 10.13—10.28 東京  
都美術館  
新美術新聞 1363 (袴)  
美術の窓 375 高山淳

流形展64回 9.25—10.3 東京都  
美術館  
新美術新聞 1361 (能)

れん展41回 10.30—11.6 東京都  
美術館  
新美術新聞 1364 (和)

ローマン派美術協会展46回 11.16  
—11.24 東京都美術館  
新美術新聞 1365 (能)



# 美術文献目録

## 凡 例

- ここに採録した文献は平成26(2014)年中にわが国において発行された定期行物および諸新聞、主要美術展覧会図録に掲載されたものである。ただし定期行物により年外が含まれることもある。
- 「美術文献目録」の欄は、平成12年版より従来の「定期行物所載文献」とは別に、「美術展覧会図録所載文献」の一項を設けている。これは、近年、美術展覧会図録の内容の充実がめざましく、図録所載の論文等も、研究成果として価値の高いものになっている状況に対応して行ったものである。
- 「定期行物所載文献」の欄は、「古美術」、「近現代美術」に分類し、両分類に関わる記事については、「総説」および「その他」中の各項目に統合して記載した。
- 「定期行物所載文献」の欄における近現代美術に関する文献の採録は、概ね明治以降の美術を対象とし、海外の美術に関してはルネサンス以後の西洋美術を主たる対象とした。
- 「定期行物所載文献」の各項目の配列は、内容別に分類し、同一分類内では掲載誌名順に記した。なお、主題記載については、見出し易くするため多少変更していることがある。
- 「美術展覧会図録所載文献」の欄は、「企画展」、「作家展」、「団体展」の3つに分類した。美術展覧会の分類および配列は、巻頭の凡例に準じることとした。記載は、展覧会名、最初の開催会場名、文献名、執筆者名の順とした。なお、「作家展」中の二人展、三人展等、複数の作家による展覧会図録の場合、展覧会名、会場については複数作家各々について50音順で検索できるよう、複数回にわたりデータを採録している。その際、50音順で最初に現れるデータ部分に同展図録所載文献データを記し、その後に現れるデータにおいては、展覧会名、会場名のみを記載した。
- 「美術展覧会図録所載文献」の欄において、展覧会名と図録名が異なる場合、見出しに展覧会名を記載し、その後ろに( )で図録名を補った。
- 号数は主として通号を採用した。なお、757~759は、757号、758号、759号にわたることを示し、14・15は、14号と15号の合併号を示す。9.1、3、6は、平成26年9月1日、3日、6日の新聞を示す。
- 題目の記載されていない文献、および補足が必要と判断した文献については、便宜上編集部が仮題を付した。その題目は\$記号を両端に付して示した。便宜上編集部が補った内容は、題目の最後に[ ]で示した。
- 欧文の分綴については、スペースの都合上、分綴法に従っていない場合がある。

# 収録定期刊行物誌名

(50音順)

Archives(国立公文書館)	aprire(岩手県立美術館)	浮世絵研究 太田記念美術館紀要	大阪歴史博物館研究紀要
アート・ドキュメンテーション研究	アプローチ(季刊)	View(熊本県立美術館)	大阪歴史博物館年報
アート・ドキュメンテーション通信	アマリリス(静岡県立美術館)	瓜生通信(京都造形芸術大学)	大田区立郷土博物館紀要
アートペーパー(名古屋市美術館)	アルカディア(岡崎市美術館)	Ouroboros(東京大学総合研究博物館)	大谷大学真宗総合研究所研究紀要
ART LIBRARY(日本彫刻会)	アルフォンス・ミュシャ・ミュージアム・ニュース	AAC(愛知芸術文化センター)	大津市歴史博物館研究紀要
ARTRAMBLE(兵庫県立美術館)	あるむぜお(府中市郷土の森博物館)	散山学院研究紀要	大津歴博だより
ARTLET(慶応義塾大学アート・センター)	飯田市美術博物館研究紀要	永青文庫	大手前大学論集
EYES(東京都写真美術館)	石川県立美術館だより	エスプラナード(福岡市美術館)	大美和(大神神社)
あいだ	石川県輪島漆芸美術館紀要	江戸東京博物館 NEWS	岡崎市史研究
愛知県史研究	いすみあ 明治大学大学院教養デザイン研究科紀要	絵と布の画廊歳時記	岡山県立記録資料館紀要
愛知県美術館研究紀要	和泉市久保惣記念美術館紀要	NHK 放送博物館だより	岡山県立美術館ニュース
愛知県埋蔵文化財センター研究紀要	イタリア学会誌	愛媛県美術館年報・研究紀要	岡山市立オリエント美術館研究紀要
愛知県立芸術大学紀要	一乗谷朝倉氏遺跡資料館紀要	愛媛県歴史文化博物館研究紀要	岡山大学文学部紀要
青森県立郷土館研究紀要	一寸	えむえむ 熊田司個人誌	沖縄県立芸術大学紀要
青山学院女子短期大学紀要	五浦論叢(茨城大学五浦美術文化研究所)	黄檗文華	小樽市総合博物館紀要
青山史学(青山学院大学史学研究室)	出光美術館館報	大分県立先哲史料館研究紀要	お茶の水女子大学人文科学研究
秋田県埋蔵文化財センター研究紀要	出光美術館研究紀要	大分県立歴史博物館研究紀要	尾道市立大学芸術文化学部紀要
秋田県立博物館研究報告	いとくら(国際仏教学大学院大学)	おおいた歴博	オリエント(日本オリエント学会)
AXIS	伊那	大阪大谷大学博物館報告書	Kart-News(川崎市立美術館)
アクリラート(別冊)	茨城県近代美術館だより	大阪教育大学紀要	海港市研究(神戸大学大学院人文学研究科海港市研究センター)
アサヒビールメセナ	茨城大学人文学部紀要人文コミュニケーション学科論集	大阪城天守閣紀要	海事博物館研究年報
アジア遊学	岩手県立博物館研究報告	大阪市立美術館紀要	香川県文化財年報
葦火(大阪市文化財協会)	岩手県立博物館だより	大阪成蹊大学芸術学部紀要	香川県立ミュージアムニュース
明日の東洋学(東京大学東洋文化研究所附属東洋学研究情報センター)	印度学仏教学研究	大阪大学大学院人間科学研究科紀要	学習院大学史料館紀要
安曇野ちひろ美術館 美術館だより	上原近代美術館だより	大阪大学大学院文学研究科紀要	学習院大学人文学論集
跡見学園女子大学文学部紀要	浮世絵芸術(国際浮世絵学会)	大阪歴史博物館共同研究成果報告書	学習院大学哲学会会報



- 学叢(京都国立博物館)  
学鏡  
嶽山会報  
鹿島美術財団年報・別冊  
柏原市立歴史資料館館報  
春日(春日大社)  
ガス燈(大川美術館)  
かたりべ(豊島区立郷土資料館)  
神奈川県立近代美術館年報  
神奈川県立博物館研究報告  
神奈川県立歴史博物館だより  
かながわの考古学(かながわ考古学財団)  
金沢城を探る  
金沢大学考古学紀要  
金沢大学フレスコ壁画研究センターニューズレター  
金沢美術工芸大学紀要  
金沢文庫研究  
鎌倉(鎌倉文化研究会)  
Cultivate(文化環境研究所)  
川崎市市民ミュージアム紀要  
元興寺文化財研究所研究報告  
関西大学哲学  
関西大学東西学術研究所紀要  
関西大学年史紀要  
関西大学博物館紀要  
紀伊風土記の丘年報／紀伊風土記の丘研究紀要  
北区飛鳥山博物館研究報告  
岐阜県美術館年報 研究紀要  
岐阜市歴史博物館博物館だより  
ギャラリー(月刊)
- 九州産業大学芸術学会研究報告  
九州歴史資料館研究論集  
京都国立近代美術館研究論集  
京都国立博物館だより  
京都嵯峨芸術大学紀要  
京都産業大学日本文化研究所紀要  
京都市美術館ニュース  
京都市立芸術大学芸術資料館年報  
京都市立芸術大学美術学部研究紀要  
京都精華大学紀要  
京都府立総合資料館紀要  
京都府立総合資料館だより  
きよらさ(浦添市美術館)  
近代(神戸大学)  
近代画説(明治美術学会)  
クオリア アートコンシェルジュ通信  
釧路論集(北海道教育大学釧路校)  
久米美術館館報  
グラントワニュース  
グリーンルーフ(鹿児島市立美術館)  
CHRONOS クロノス[時の鳥]  
群馬県立近代美術館研究紀要  
群馬県立歴史博物館紀要  
群馬の森美術館ニュース(群馬県立近代美術館)  
慶応義塾大学アート・センター年報  
慶応義塾大学日吉紀要  
芸術学(三田芸術学会)  
芸術学研究(京都造形芸術大学)  
芸術学研究(筑波大学大学院人間総合科学研究科)
- 芸術学研究(明治学院大学芸術学会)  
芸術研究(広島芸術学会)  
芸術新潮  
芸術文化研究(大阪芸術大学大学院芸術研究科)  
芸叢(筑波大学大学院人間総合科学研究科芸術研究室)  
芸大通信(東京芸術大学)  
研究紀要金沢城研究(石川県金沢城調査研究所)  
現代の眼(東京国立近代美術館)  
建築雑誌(日本建築学会)  
建築史学(建築史学会)  
県美協力会会報  
工学院大学研究論叢  
皇学館大学神道研究所紀要  
皇学館論叢  
考古学雑誌  
KENBI LETTER(高知県立美術館)  
神戸市立小磯記念美術館だより  
神戸市立博物館研究紀要  
神戸市立博物館だより  
高麗美術館館報  
公立埋文協会報(全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会)  
国学院雑誌  
国学院大学学術資料センター研究報告  
国学院大学紀要  
国語と国文学(東京大学国語国文学会)  
国際交流研究  
国際日本学(法政大学国際日本学研究所)  
国文学研究資料館紀要 国文学研究篇
- 国文学研究資料館調査研究報告  
国立国際美術館ニュース  
国立国会図書館月報  
国立西洋美術館研究紀要  
国立西洋美術館報  
国立能楽堂調査研究  
国立民族学博物館研究報告  
古代アメリカ(古代アメリカ学会)  
古代文化(古代学協会)  
古代文化研究(島根県古代文化センター)  
国華  
国華清話会会報  
五島美術館研究紀要  
五風十雨(姫路市書写の里・美術工芸館)  
古文化研究(黒川古文化研究所)  
COMMERCIAL PHOTO  
コミュニケーション科学(東京経済大学)  
古文書研究(日本古文書学会)  
コリアナ(韓国国際交流財団)  
Corridart(横須賀美術館)  
齋宮歴史博物館研究紀要  
齋宮歴史博物館だより  
埼玉県埋蔵文化財調査事業団研究紀要  
埼玉県立歴史と民俗の博物館紀要  
埼玉県立歴史と民俗の博物館だより  
埼玉史談(埼玉郷土文化会)  
採蓮 千葉市美術館研究紀要  
佐賀県立佐賀城本丸歴史館研究紀要  
佐賀県立博物館・美術館調査研究書

美術文献目録

SAZAE 通信(長谷川町子美術館)	思想	書道文化(四国大学書道文化学会)	世田谷文学館ニュース
The Journal of Center for the Global Study of Cultural Heritage and Culture	実践女子学園香雪記念資料館館報	女流画家協会会報	説話文学研究
札幌大谷大学・札幌大谷大学短期大学部紀要	実践女子大学美学美術史学	書陵部紀要	ゼフュロス(国立西洋美術館)
茶道文化研究	島根県立石見美術館研究紀要	書論	セラミック九州(佐賀県立九州陶磁文化館)
The Newsletter I. J. S(法政大学国際日本学研究所)	島根県立石見美術館ニューズレター	資料館だより(世田谷区立郷土資料館)	泉屋博古館紀要
SARANIP(市立函館博物館)	市民と博物館(日立市郷土博物館)	史林(京都大学文学部内史学研究会)	せんだい市史通信
ザ・ルーフ(郡山市立美術館)	紫明 芸術文化雑誌	絲綢之路[シルクロード](文化財保護・芸術研究助成)	仙台市博物館調査研究報告
三康文化研究所所報	ジャポニスム研究	シルクロード研究(創価大学シルクロード研究センター)	ZENBI(全国美術館会議)
三康文化研究所年報	SHÛ(玉川大学教育博物館)	しろあとだより	全文連文化財通信(全国国宝重要文化財所有者連盟)
サントリー美術館研究紀要	史友	塵界(兵庫県立歴史博物館)	阡陵(関西大学博物館)
サントリー美術館ニュース	宗教文化研究	新美術新聞	崇城大学芸術学部研究紀要
三の丸尚蔵館年報・紀要	修士論文・修了作品 博士論文 研究集録(大東文化大学大学院文学研究科書道学専攻)	人文(京都大学)	ソカロ(埼玉県立近代美術館)
GCAS Report 学習院大学大学院人文科学研究科アーカイブズ学専攻研究年報	住総研研究論文集	人文学(同志社大学人文学会)	大正イマジユリ
しいのき(中野区立歴史民俗資料館)	聚美	人文研究(神奈川大学人文学会)	大正大学総合仏教研究所年報
史苑(立教大学史学会)	自由美術(自由美術協会)	人文論究(関西学院大学人文学会)	たいせつな風景(神奈川県立近代美術館)
史淵(九州大学大学院人文科学研究院)	修復	水墨画(月刊)	台東区芸術文化財団紀要
Shiodome Museum REVUE (パナソニック汐留ミュージアム)	秀明美術	椋山女学園大学研究論集	大日光(日光東照宮)
史学(三田史学会)	主体美術(主体美術協会)	椋山女学園大学文化情報学部紀要	太陽(別冊)
史学雑誌	首里城公園管理センター調査研究・普及啓発事業年報	朱雀(京都府京都文化博物館)	高梨学術奨励基金年報
滋賀県文化財保護協会紀要	純心人文研究(長崎純心大学)	すずかけの庭	高梁市成羽美術館だより
滋賀県立安土城考古博物館紀要	正倉院紀要	住友財団年次報告書	竹中大道具館研究紀要
滋賀県立琵琶湖文化館研究紀要	聖徳(法隆寺)	駿台史学	田原の文化(田原市教育委員会)
子規博だより(松山市立子規記念博物館)	情報知識学会誌	生活と文化(豊島区立郷土資料館)	玉川大学教育博物館紀要
此君 根津美術館紀要	続日本紀研究	生活文化研究所年報	たまのよこやま(東京都埋蔵文化財センター)
静岡県立美術館紀要	職場美術	成城美学美術史	多摩美術研究
静岡文化芸術大学研究紀要	書芸術研究(筑波大学人間総合科学研究科書研究室)	西洋美術研究	多摩美術大学研究紀要
死生学・応用倫理研究	女子美(女子美術大学)	世界遺産年報	淡交
史迹と美術	女子美術大学研究紀要	世田谷美術館紀要	地底の森ミュージアム・縄文の森広場研究報告
	書道界	世田谷美術館だより	千葉県文書館
	書道学論集(大東文化大学大学院書道学専攻院生会)		千葉県美術館ニュース C'n
			地方史研究

茶の湯文化学	東京大学史料編纂所研究紀要	徳島県立近代美術館研究紀要	南都仏教
中国近現代文化研究	東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター通信	徳島県立博物館研究報告	南游行
超越文化科学紀要	東京都江戸東京博物館紀要	徳島文理大学比較文化研究所年報	新潟県立近代美術館研究紀要
潮流(下関市立美術館)	東京都現代美術館年報・研究紀要	徳島文理大学文学論叢	新潟県立歴史博物館研究紀要
筑波大学芸術研究報告	東京都写真美術館紀要	図書館情報メディア研究	新潟市美術館・新潟市新津美術館研究紀要
土浦市上高津貝塚ふるさと歴史の広場年報	東京都庭園美術館ニュース	栃木県立博物館研究紀要	西アジア考古学
土浦市立博物館紀要	東京都美術館紀要	豊田市郷土資料館だより	日伊文化研究
土車(古代学協会)	刀剣美術	豊田市美術館紀要	日仏美術学会会報
壺屋焼物博物館紀要	同志社考古	敦煌写本研究年報	NICHIBUNKEN NEWS-LETTER
津山城だより	同志社大学博物館学年報	長崎県美術館研究紀要	日光山輪王寺
津山弥生の里	陶説	長崎県埋蔵文化財センター研究紀要	日展ニュース
デアルテ(九州芸術学会)	東風西声 九州国立博物館紀要	長崎歴史文化博物館研究紀要	日本画像学会誌
哲学会誌(学習院大学哲学会)	東方学報京都(京都大学人文科学研究所)	長野県信濃美術館紀要	日本研究(国際日本文化研究センター)
哲学年報(九州大学大学院人文科学研究院)	同朋大学仏教文化研究所紀要	長野県立歴史館研究紀要	日本建築学会計画系論文集
帝塚山学院大学研究論集	同朋大学仏教文化研究所報	長野県立歴史館たより	日本考古学年報
帝塚山大学考古学研究所研究報告	東北アジア研究	長浜城歴史博物館 博物館だより	日本史研究
帝塚山大学大学院人文科学研究科紀要	東北学院大学博物館年報	流山市史研究	日本宗教文化史研究
天閑図画(山口県立美術館)	東北芸術工科大学紀要	NACT Review 国立新美術館研究紀要	日本女子大学紀要 人間社会学部
伝国の杜だより	東北芸術工科大学文化財保存修復研究センター年報	名古屋芸術大学研究紀要	日本女子大学大学院人間社会研究科紀要
天理参考館報	東北大学東北アジア研究センターニューズレター	名古屋市博物館研究紀要	日本女子大学大学院文学研究科紀要
東海大学紀要教養学部	東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館年報	名古屋造形大学紀要	日本大学芸術学部紀要
東海大学国際文化学部紀要	東北歴史博物館研究紀要	名古屋大学文学部研究論集	日本大学芸術学部紀要創作篇
東京学芸大学紀要	東洋学報	七隈史学(福岡大学人文学部歴史学科)	日本の民芸(日本工芸館)
東京芸術大学大学院美術研究科文化財保存学専攻保存修復彫刻研究室年報	東洋史研究	鍋島報効会研究助成研究報告書	日本文化史研究(帝塚山大学奈良学総合文化研究所)
東京芸術大学大学美術館年報	東洋陶磁	奈良学研究(帝塚山大学奈良学総合文化研究所)	日本歴史
東京芸術大学美術学部紀要	東洋陶磁学会会報	奈良教育大学紀要	人間文化(滋賀県立大学人間文化学部)
東京芸術大学美術学部論叢	東洋文庫書報	奈良国立博物館だより	年報非文字資料研究(神奈川大学日本常民文化研究所非文字資料研究センター)
東京国立近代美術館研究紀要	東洋文庫年報	奈良大学紀要	野村美術館研究紀要
東京国立博物館紀要	どおむ(富山県立近代美術館)	奈良美術研究	PATIO(高岡市美術館)
東京国立博物館ニュース	遠山記念館だより	奈良文化財研究所紀要	
東京造形大学研究報			

美術文献目録

パラゴナー	美術フォーラム21	仏教大学文学部論集	埋文さいたま
パルテノン多摩博物館部門研究紀要	美術屋・百兵衛	仏教大学歴史学部論集	埋文とやま
版画芸術	美じょん新報	ふらんす	纏向学研究 纏向学研究センター研究紀要
阪急文化	美のたより(大和文華館)	ブリヂストン美術館・石橋美術館館報	待兼山論叢(大阪大学大学院文学研究科)
bandaly(明治学院大学大学院文学研究科芸術学専攻)	ビブリア(天理図書館)	文化学年報(同志社大学文化学会)	町田市立博物館年報/紀要
飯能文化財時報	姫路市立美術館研究紀要	文学(隔月刊)	松戸市立博物館紀要
BI	姫路市立美術館だより	文化財(月刊)	松本市美術館 NEWS あーとふる
美愛真(調布市武者小路実篤記念館)	非文字資料研究(神奈川県日本常民文化研究所非文字資料研究センター)	文化財学報(奈良大学文学部文化財学科)	まほろん通信
美学	百万塔(紙の博物館)	文化財と技術	万葉古代学研究所年報
美学芸術学(同志社大学美学芸術学研究室)	氷華(北海道旭川美術館)	文化財レポート(京都文化財団)	三重大史学
美学論究(関西学院大学文学部美学研究室)	兵庫県立考古博物館研究紀要	文化史学	瑞垣(神宮司庁)
東アジア文化交渉研究(関西大学大学院東アジア文化研究科)	兵庫県立美術館研究紀要	文化資源学	三田国文
彦根城博物館研究紀要	平泉文化研究年報(岩手県教育委員会)	文化情報学(同志社大学文化情報学会)	三井美術文化史論集(三井記念美術館)
彦根城博物館だより	平出博物館紀要	文化資料館調査研究報告	密教図像
美史研ジャーナル(武蔵野美術大学美学美術史研究室)	HILL WIND(三重県立美術館)	文化と芸術(静岡文化芸術大学文化・芸術研究センター)	密教文化
美術(月刊)	美連協ニュース(美術館連絡協議会)	文環研レポート(文化環境研究所)	港郷土資料館だより
美術運動史研究会ニュース	広島県立美術館研究紀要	文星紀要	MIHO MUSEUM 研究紀要
美術館だより(福井県立美術館)	広島県立歴史博物館研究紀要	碧南市藤井達吉現代美術館年報・紀要	宮崎県総合博物館研究紀要
美術京都(中信美術奨励基金)	フィロカリア(大阪大学大学院文学研究科芸術学・芸術史講座)	ぼいす(北区飛鳥山博物館)	宮崎県立西都原考古博物館研究紀要
美術研究(東京文化財研究所)	風伯(豊橋市美術博物館友会の会)	VOICE	宮崎大学教育文化学部紀要
美術史	フェリス女学院大学文学部紀要	蓬左(名古屋市蓬左文庫)	MUSEUM(東京国立博物館)
美術史学(東北大学大学院文学研究科美術史学講座)	福岡市美術館研究紀要	鳳翔学叢(平等院)	MUSEUM STUDY(明治大学学芸員養成課程紀要)
美術史研究(早稲田大学美術史学会)	府中市郷土の森博物館紀要	法政考古学	ミュージアム多摩
美術史論集(神戸大学美術史研究会)	府中市美術館研究紀要	北斎研究	ミュージアム調査研究報告(香川県立ミュージアム)
美術史論叢(東京大学大学院人文社会系研究科・文学部美術史研究室)	府中市美術館だより	北斗	ミュージアム発見伝(館山市立博物館)
美術手帖	仏教芸術	保存科学(東京文化財研究所)	みゅーじあむ・船橋
美術の窓	仏教史学研究	北海道開拓記念館研究紀要	ミュージアム・レター(学習院大学史料館)
	仏教大学宗教文化ミュージアム研究紀要	本郷(吉川弘文館)	MUSEOLOGY(実践女子大学博物館学課程)
	仏教大学総合研究所紀要	埋文群馬	MUSEOLOGIST(明治大学学芸員養成課程年報)
		埋文こうち	視る(京都国立近代美術館)

milsil(国立科学博物館)	山形県立博物館研究報告	立教大学日本学研究所年報	六所家総合調査だより
美をつくし(大阪市立美術館)	山口県文書館研究紀要	立正史学	和歌山県文化財センター年報
民具マンスリー(神奈川大学日本常民文化研究所)	大和文華(大和文華館)	龍谷史壇(龍谷大学史学会)	和歌山県立近代美術館ニュース
民俗学研究所紀要(成城大学民俗学研究所)	山梨県立博物館研究紀要	龍谷大学仏教文化研究所紀要	和歌山県立博物館研究紀要
みんぱく(国立民族学博物館)	山梨県立美術館研究紀要	歴史遺産研究	和歌山市立博物館研究紀要
民博通信(国立民族学博物館)	弥生文化博物館研究報告	歴史学研究(東北芸術工科大学歴史遺産学科)	早稲田大学會津八一記念博物館研究紀要
無形文化遺産研究報告	UP	歴史研究(大阪教育大学歴史学研究室)	早稲田大学大学院文学研究科紀要
夢香山	ユリイカ	歴史人	早稲田大学図書館紀要
武蔵野(武蔵野文化協会)	ヨーロッパ文化研究(成城大学大学院文学研究科)	歴史地理教育	朝日
武蔵野美術大学研究紀要	横浜市歴史博物館紀要	歴史と地理	朝日夕刊
ムゼイオン(立教大学学校・社会教育講座)	横浜市歴史博物館調査研究報告	歴史評論(歴史科学協議会)	産経
宗吉かわらの里展示館年報	横浜市歴史博物館ニュース	歴史文化研究(華頂短期大学歴史文化学科)	東京
mundi	横浜美術館研究紀要	歴博(国立歴史民俗博物館)	東京夕刊
明治大学博物館研究報告	横浜美術大学 教育・研究紀要	歴博だより(愛媛県歴史文化博物館)	日経
明治村だより	横浜ユーラシア文化館紀要	蓮花寺仏教研究所紀要	日経夕刊
明星大学研究紀要	横浜ユーラシア文化館ニュース	連盟ニュース(日本美術家連盟)	毎日
目の眼	横山大観記念館館報	LOTUS(日本フェノロサ学会)	毎日夕刊
文書館紀要(埼玉県立文書館)	ラビス	礪山美術館報	読売
	REAR		読売夕刊

美術文献目録

※なお、以下に記す刊行物の表記は略称を用い、末尾に\*を付した。

愛知県埋蔵文化財センター研究紀要

アプローチ(季刊)

アルフォンス・ミュシャ・ミュージアム・ニュース

いすみあ 明治大学大学院教養デザイン研究科紀要

茨城大学人文学部紀要人文コミュニケーション学科論集

浮世絵研究 太田記念美術館紀要

金沢大学フレスコ壁画研究センターニューズレター

紀伊風土記の丘年報/紀伊風土記の丘研究紀要

ギャラリー(月刊)

クオリア アートコンシェルジュ通信

国学院大学学術資料センター研究報告

埼玉県埋蔵文化財調査事業団研究紀要

採蓮 千葉市美術館研究紀要

The Journal of Center for the Global Study of Cultural Heritage and Culture

札幌大谷大学・札幌大谷大学短期大学部紀要

GCAS Report 学習院大学大学院人文科学研究科アーカイブズ学専攻研究年報

此君 根津美術館紀要

修士論文・修了作品 博士論文 研究集録

首里城公園管理センター調査研究・普及啓発事業年報

水墨画(月刊)

地底の森ミュージアム・縄文の森広場研究報告

帝塚山大学大学院人文科学研究科紀要

東京芸術大学大学院美術研究科文化財保存学専攻保存修復彫刻研究室年報

東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター通信

東風西声 九州国立博物館紀要

東北芸術工科大学文化財保存修復研究センター年報

東北大学東北アジア研究センターニューズレター

東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館年報

長浜城歴史博物館 博物館だより

NACT Review 国立新美術館研究紀要

新潟市美術館・新潟市新津美術館研究紀要

NICHIBUNKEN NEWSLETTER

日本女子大学大学院人間社会研究科紀要

美術(月刊)

仏教大学宗教文化ミュージアム研究紀要

ブリヂストン美術館・石橋美術館館報

文化財(月刊)

碧南市藤井達吉現代美術館年報・紀要

纏向学研究 纏向学研究センター研究紀要

早稲田大学會津八一記念博物館研究紀要

愛知県埋蔵文化財センター紀要\*

アプローチ\*

ミュシャ・ミュージアム・ニュース\*

いすみあ\*

茨城大人文学部紀要(コ)\*

浮世絵研究\*

フレスコ壁画研究センターニューズ\*

紀伊風土記の丘年報/研究紀要\*

ギャラリー\*

クオリア\*

国学院学術資料センター研究報告\*

埼玉県埋蔵文化財調査団紀要\*

採蓮\*

The journal of CHC\*

札幌大谷大学紀要\*

GCAS Report\*

此君\*

修論・修了作品 博論 研究集録\*

首里城公園管理センター年報\*

水墨画\*

地底の森ミュージアム研究報告\*

帝塚山大学院紀要\*

東京芸大保存修復彫刻年報\*

東大画像史料解析センター通信\*

東風西声\*

東北芸工大保存修復センター年報\*

東北アジア研究センターニューズ\*

芹沢銈介美術工芸館年報\*

長浜城歴博だより\*

NACT Review\*

新潟市美・新潟市新津美研究紀要\*

日文研 NEWS\*

日本女子大学大学院紀要(人)\*

美術\*

仏教大学宗教文化ミュージアム紀要\*

ブリヂストン・石橋美術館館報\*

文化財\*

碧南市藤井達吉現代美術館年報紀要\*

纏向学研究\*

早大會津八一記念博紀要\*

## 目 次

### 〔定期刊行物所載文献〕

<p>総 説……………106</p> <p>美 学……………106</p> <p>概 論……………106</p> <p>日本美術史……………112</p> <p>海外美術史(アジア)……………115</p> <p>海外美術史(その他)……………116</p> <p>保存修復……………121</p> <p>情報処理……………128</p> <p>文化財行政……………129</p> <p>美術教育……………133</p> <p>古美術……………138</p> <p>総 記……………138</p> <p>絵 画……………138</p> <p>  図 像……………157</p> <p>  文 様……………158</p> <p>  地図・絵図……………158</p> <p>彫 塑……………160</p> <p>  土偶・埴輪など……………165</p> <p>  面……………166</p> <p>書 蹟……………166</p> <p>  古文書・古記録……………169</p> <p>  金石文など……………170</p> <p>工 芸……………172</p> <p>  宗教工芸……………172</p> <p>  武具・馬具類……………173</p> <p>  茶 道 具……………173</p> <p>  装身具・化粧具……………174</p> <p>  文 房 具……………174</p> <p>  装潢・料紙装飾……………174</p> <p>  陶 磁……………174</p> <p>  土 器……………179</p> <p>  瓦……………180</p> <p>  金 工……………180</p> <p>  鏡……………181</p> <p>  青 銅 器……………182</p> <p>  刀剣・刀装……………182</p> <p>  染織・服飾……………184</p> <p>  漆 工……………185</p>	<p>  石 造 物……………186</p> <p>  木竹工芸……………187</p> <p>  ガラス工芸……………187</p> <p>  その他の工芸・民具……………187</p> <p>建 築……………188</p> <p>  都市・集落……………188</p> <p>  宮殿・官衙……………188</p> <p>  宗教建造物……………189</p> <p>  城 郭……………191</p> <p>  住 宅・館……………191</p> <p>  茶 室……………192</p> <p>  その他の建造物……………192</p> <p>  庭 園……………192</p> <p>  墳 墓……………192</p> <p>  建築部材など……………193</p> <p>  建築に付随するその他……………193</p> <p>近現代美術……………194</p> <p>  絵 画……………194</p> <p>  漫画・アニメーション……………196</p> <p>  版 画……………198</p> <p>  写真・映像……………199</p> <p>  彫刻・空間表現……………201</p> <p>  工 芸……………201</p> <p>  デザイン……………205</p> <p>  建 築……………207</p> <p>  その他のジャンル……………211</p> <p>  作 家……………211</p> <p>    日 本……………211</p> <p>    海 外……………341</p> <p>そ の 他……………384</p> <p>  美術関係者……………384</p> <p>  書 評……………394</p> <p>  時 評……………403</p> <p>  受賞・美術賞……………404</p> <p>  美術市場……………404</p> <p>  美術館・博物館・画廊……………406</p> <p>  海 外 展……………430</p>
--	---

## 定期刊行物所載文献

美 学	総 説	著 者	題 名	頁 数	刊 行 物	著 者	頁 数	
					シュマルゾウ芸術 学の哲学的源泉— 運動と演算の十九 世紀—	金田 千秋		
連載「19世紀後半の イタリア文学につい ての覚書」における クローチェのプラン 変更について	國司 航佑	イタリア 学会誌	64		アイロニーの解釈 からみる作者の意 図と作品の意味に ついて	河合 大介		
「小さきもの」と「大 なるもの」への愛着 —日中文化比較の試 み—	李 順剛	工学院大 学研究論 叢	51-2		バウムガルテンの 美学における蓋然 性と真実らしさ— 十七世紀中葉以降 の学問の拡張と美 学の成立条件—	桑原 俊介		
解釈／あるいは反解 釈	鈴木 正實	札幌大谷 大学紀要*	44		真理のプロセスと しての芸術—アラ ン・パディウの芸 術論—	武田 宙也		
目と手が育む精神— 第五章 〈間〉の主体 構造—	中村 英樹	思 想	1077		例会・研究会発表要 旨 西部会 第二九 八回研究発表会 霧 間気とイメージ—G ・ペーメのイメージ 論	立野 良介	” ”	
バロックの哲学—第 三章 オルテガ：ス ペインバロックの光 芒—	榎垣 立哉	”	1079		修了生論文 AUDIPHASMA	ロディオ ン・トロ フィム チェン コ	美史研 ジヤ ーナル	10
葉朗著『中国美学史 大綱』第9章 魏晉 南北朝の美学(上) 第5節～第6節 訳 注	河内 監訳 陳 柏仗、 孝幸、 龜澤 中村 川内 訳注	書道学論 集	11		第15回芸術評論募集 人選作発表 第一席 画像の問題系 演算 性の美学	gnck	美術手帖	1012
立体造形と触覚—「盲 獣」の触覚的彫刻と 「人間椅子」の技巧—	真銅 正宏	人 文 学	193		時空間的な環境認識 の形成に果たす視覚 的表象の役割とその 可能性—時計、主観 的体験の記述、過去 ・現在・未来の世界 像	大田 暁雄	武蔵野美 術大学研 究紀要	44
ニーチェ哲学におけ る多元主義と美学的 思考	五郎丸仁美	多摩美術 大学研究 紀要	28					
カントとジェラード における趣味の普遍 性	山口 遥子	東京芸術 大学美術 学部論叢	10					
ヴァレリー「エウバ リノス」にみる制作 論	田路 貴浩	日本建築 学会計画 系論文集	695					
「リリズム[lyrisme]」 概念の変容とその意 義—一九〇—二〇 年代の芸術諸理論に おいて—	宇多 瞳	美 学	245		第55回ヴェネツィア・ ピエンナーレとFUCK OFF 展2 (III～V)	宮本真左美	あ い だ	211～213
第六十五回美学会全 国大会報告 発表要 旨	”	”	”		多文化・多民族社会 でコミュニティア ートは可能か?	谷地田未緒	アサヒビ ールメ セナ	37
スローターダイク とシュリンゲンジ ーフ「新キニク 派の美学」構想の 原点としての「対 話」(2000年)—	岡林 洋	”	”		アジアでみる、アジ アからみる「美術」	森 仁史	一 寸	59
					Fine Artsから美術 へ—アジアにおける 概念と語彙の流通	”	”	60
					小倉正史の現代美術 講座 その10、18、 20	小倉 正史	ギャラ リ—*	345、354、 356



名古屋覚の管見ギャラリー5、10、12、15、16	名古屋 覚	〃	345、350、352、355、356	通信 J to A アジアへ	南條 史生	〃	
Art Report in Asia 国際アートシーンを駆け抜ける作家たちモンゴル最新アート事情 1、3	水間 敏隆	〃	345、347	6 台湾視察I 躍進する文化創意産業園区をみる			1336
わたし一人の美術時評 42~44	藤田 一人	芸術新潮	770~772	9 インドネシアの発展			1352
海外アート info-maniac 14 Ardèche 本当に3万年前?世界遺産壁画の古すぎる年代観	前橋 重二	〃	778	特別鼎談 アジアの アートを語る 東京五輪2020へ向けて一	高階 秀爾、 青木 保、 南條 史生	〃	1337
Global News	〃	〃		特集 震災から3年 一東北、そして福島 の現在[いま]	油井 一人 司会・進行	〃	1338
Barlston ウェッジウッドを救え! 英国民のカンパ作戦	内田 さり 取材		779	東北復興こそ日本の 将来像示す	青柳 正規 寄稿		
Berlin コレクションの政治と経済	かないみき 取材		780	再び、みちのくア ート巡礼へ	赤坂 憲雄 寄稿		
春画展はなぜ国内で 開けないのか	増田 愛子	国華清話 会報	23	ナチス略奪の絵画含 む1500点見つかる ピカソなど1千億円 超 旧松方コレクシ ョンから売却のマネ 作品が再発見に 所 有者グルリット氏は 「正統に相続」と自主 返還を拒否		〃	1347
作家と芸術家の大戦 一言葉とイメージに よる悲劇の象徴一	アネット・ベッケル 久保 昭博 訳	思 想	1086	現在通信 From NEW YORK ボンジャ現 態10周年シンポ	富井 玲子	〃	1356
美の随想 愛好の精 神[こころ]もて	池田 方彩	紫 明	34	「改組 新 第1回 日展」を成功に導く には一キーパーソン 公益社団法人 日展 副理事長 加藤種男 氏に聞く一改革する ことが日展存続につ ながる		〃	〃
特集「民藝 いまな ぜ(民藝)か	鞍田 崇	〃	35	アーティスト・イン ・レジデンスを展開 するフランスの国外 文化施設 「ヴィラ 九条山」リニューア ルオープン 10・4 京都山科 新たに工 芸分野開放&日仏2 人一組の「デュオ」企 画も導入		〃	1358
美の現場から 地域 の持続可能性に文化 が果たす役割	村上 裕道	〃	〃	色の力・明るさの力	三星 宗雄	人文研究	182
聚美夏題 ヘタウマ 考	千足 伸行	聚 美	12	特集 スペクタクル 座談会 スペクタクル をめぐって 秋山 聰+木下直之+芳賀 京子+古谷嘉章+京 谷啓徳		西洋美術 研究	18
並べられ、積み上げ られた物を、どう読 み取るか 記録を提 示する時の、表現行 為から考察すること	沼下 桂子	女子美術 大学研究 紀要	44	国際美術史学会「鳴 門コロキウム2013」 の顛末	三浦 篤	〃	〃
新美術時評	島尾 新	新美術新 聞					
「富士山一信仰の対 象と芸術の源泉」			1332				
美術における再現 性			1342				
美術を見ることの 再現性			1344				
世界遺産になった シルクロード			1349				
慌ただしい一年を 振り返る			1363				
年頭に際して 文化 ・芸術は、人間らし さを守る最後の砦	浅木 正勝	〃	1332				

平成26年定期刊行物所載文献(総／概論)

ブロック報告 四国 ブロック リエゾン [かけはし]としての アート—四国こども とおとなの医療セン ターをたずねて	牧野 裕二	ZENBI	6	特集 プロ&通[ツウ] の「イチオシ!」93点 この新人が、欲しい! 座談会 時代の証言 者になれ!—コレク ションが未来を開く	武内 竜一、 大阪 恵一、 仲世 佳伸、 新井 まる 編集部 構成	〃	467
「プリミティブ・ア ート」考—人類学の 文脈を通して—	高田 佳奈	多摩美術 研究	3	アート・メセナのバ イオニア カルティ エ現代美術財団の30 年 その歩みと展望	家名 田響子	〃	468
湯島聖堂孔子像の造 像当初における彩色 の想定—柴田良貴作 復元乾漆像への彩色 の試み—	程塚 敏明	筑波大学 芸術研究 報告	63	特集 「黒」の新世紀 —若き表現者たちの リアル		〃	470
カップリングの経験 化	村山 悟郎	東京芸術 大学美術 学部論叢	10	黒、それは創まり の色	木村 宗慎 談		
日本刀の美学(その 2)	金田 晋	刀剣美術	690	なぜいま人気? 新鋭たちの黒いア ート	編集部		
芸術・デザインと性 差によるスピリチュ アリティ—東北芸術 工科大学学生への意 識調査結果に対する 性別と学部別のクロ ス集計分析—	久保田 力 渡部 論	東北芸術 工科大学 紀要	21	特集 アート・オブ ・ザ・イヤ—2014 増加するコンクール と若手作家支援につ いて	〃	〃	471
非合理的な愚か者— ミクロ経済学からみ たアーティスト像	山本 和弘	〃	〃	WORLD NEWS	美術手帖		
特別寄稿		日展ニュ ース	154	サンパウロ 南の 盟主としての地位 を確立 30周年を 迎えた「ビデオブ ラジル」	仁尾 帯刀		999
公私一如と明日の 日展	齊藤 泰嘉			ニューヨーク ハ リケーン・サンデ イの悲劇から1年 300人以上が出品 したチャリティー 展開催	藤森 愛実		1000
日展に期待するこ と	篠 雅廣			デリー 多様化す るインドのアート シーン 現代作家 の回顧展から若手 作家企画まで	黒岩 朋子		1004
原点回帰—厳肅な る日展再興を祈っ て	富田 章 南郷 宏			ブリュッセル ギ リシャでいま、起 きていることとは 経済危機と作家た ち	かないみき		1006
例会・研究会発表要 旨 西部会 第三〇 〇回研究発表会 匂 いとアート—身体論 美学の拡張にむけて	岩崎 陽子	美 学	245	フランクフルト 天国か地獄か?ダ ンテ『神曲』によせ るアフリカ現代美 術展			
巻頭特集 再興院展 100年 その歩みと 次代の画家たち		美 術*	461	台北 台湾ひまわ り学運におけるア ーティストの役割 とはなんだったの か?	河合 純枝		〃
現在の院展をリー ドする同人たち				フォークストーン 金塊30個、総額1万 ポンド分が埋蔵! フォークストーンで パブリックアートの 祭典	岩切 滯		〃
院展で飛躍する次 世代の作家たち					伊東 豊子		1014
公募団体展における 事前指導について 洋画有力団体、白日 会の研究会を見て	編集部	〃	463				
Journal 揺らぐ日展 —不正審査問題の展 開と組織改革の課題	藤田 一人	〃	465				

メッセ+パリ「ある世代」の時代史と「ある個人」の蒐集史からみえる1990年代	三木あき子		1016	美のことごと 9 自分だけの名画を	中野 中	"	31
後美術論 (第2部・流浪編)	榎木 野衣	"		世界のアート事情		美連協ニ ュース	
第1、2回 再考「悪い場所」(前、中編)			1000、 1005	フィリピン現代アートの現在	平野 真弓		121
第3、4回 日本・列島・美術(前、中編)			1010、 1016	ボトムアップの必要性～マレーシアアート事情～	久貝 京子		123
Tokyo Art Navigation NEWS Vol. 13	杉瀬 由希	"	1008	カルコン美術対話委員会イニシアチブ『日米美術フォーラム～ミュージアムの未来～』	文化庁国際課 文化庁美術学芸課	文化財*	606
SPECIAL FEATURE 贋作ってなに? PART 2 真贋の現場から考える		"	1010	連載 文化財を活かす		"	
真贋事件ファイル 22	杉原 環樹 編集部			第36回 河内長野市の「ふるさと文化財の森」の継承と普及啓発	井上 剛一		610
知られざる実体と実情を学ぶ! 鑑定マニュアル	杉瀬 由希			第39回 国宝「信貴山縁起」・重要文化財「板絵神像」の復元模写で触れた先人たちの技法	富澤千砂子		613
アートと世界 第1話 ヒーリング・アートの先駆け	大村 智 談 編集部 文	美術の窓	364	活動紹介 「SUAC 芸術経営統計」による我が国のアートマネジメント向上への貢献	片山 泰輔	文化と芸術	19
視点		"		現代美術の裡の映画という署名	北野 圭介	視 る	468
文化による街の活性化を目指し活動した二十年『メセナ八幡浜』	井上 千秋		"	特集 夢か、うつつか 夢をみる／夢をかく	荒木 浩	みんぱく	438
「美の巨人たち」が放送七百年を迎えて	栗本 宏		373	誰にとつての「文化遺産」か? トルコにおける盗掘された文化遺産の返還問題	田中 英資	"	439
岡山を「文化と芸術の街」に	松田ゆかり		375	「文化遺産の人類学」とはなにか	飯田 卓	民博通信	145
特集 美術解剖学からの学び 頭部を描く ④技法講座 頭部の描写に活かしたい 美術解剖学でみる頭部 インタビュー・宮永美知代 Part. 1、2		"	373	先住民／少数者の工芸、衣装による表象—アイデンティティの政治学とモノ研究	窪田 幸子	"	"
特集 現代美術の歴史学—戦後の日本 13 女性作家たちの現代—美術におけるジェンダー—	加須屋明子	美術フォーラム21	30	NHKアーカイヴスの美術番組の系譜をめぐる研究	河原 啓子	武蔵野美術大学研究紀要	44
課外授業 美術のお時間	安井 収蔵	美術屋・百兵衛		試論	宝木 範義	明星大学研究紀要	22
24時間目 ビカソ4人の相続人			28	特集 本をとどける		R E A R	32
27時間目 アートと悪戯の違い			31	知の方向を示す出版社「読む」ことは考えること 水声社社主 鈴木宏	高橋 綾子 聞き手・まとめ		
音と絵 VOL. 4～7	高橋 周平 金舩 卓志	"	28～31	column アートブックにおけるインディペンデント・パブリッシングの現在	黒田 義隆		

平成26年定期刊行物所載文献(総/概論)

学術書への助成と出版における課題	栗田 秀法			戦後美術 見つめて10年「ボンジャ現戀」NYで記念シンポ	山田 優	〃	10.15
column イオス・アートブックの試み	筒井 宏樹			ノーベル賞の光で優しく「名画守れ」システィーナ礼拝堂にLED照明	石田 博士	〃	10.30
アートとしての本を見る/考える	森田 一			アートの祭り 成熟と課題と 忘れがちな存在に目/自然が舞台 10年代から急増 類似企画も	大西 若人	〃	11.12
絵画資料分析試論—絵巻物・肖像画—	大高 康正	歴史評論	768	アジアの村で一緒にアート 共同作業「社会を築く」	西岡 一正	〃	12.24
異分野からみた美術教育 シリーズ第5回 “見る”と“見える” 不思議な感覚	崎元 卓	連盟ニュース	451	全日展 14県に知事賞返還 架空人物問題「選考不自然」指摘		東 京	2.17
「全日展」書道部門 23県 架空人物に知事賞 主催者、偽名で出展 出品増狙い 権威付け	沢内 伸也 田内 康介	朝 日	2.15	全日展会長 「不備あったかも」 知事賞の返還、18県に		〃	2.18
知事賞 偽名使い回し 住所もいい加減 出品増えお金が入る 見逃した県、驚きと動揺	〃	〃	〃	東京芸大 新学生寮 お披露目 今どきの 学生生活反映 足立に完成 全個室、防犯対策を徹底 音楽室・アトリエも完備	奥野 斐	〃	5.13
すべて自分が書きました 全日展前会長 捏造を謝罪	田内 康介 沢 伸也	〃	3.1	お茶の水 風景画の聖地 変化に富む地形や建築	沢田 一朗	〃	9.29
文化の扉 はじめてのレプリカ 再現の技 触って感じて新発見 もっとおもろい見せ方を「海洋堂」社長 宮脇修一さん	今井 邦彦 宮脇 修一	〃	4.7	東北 復興日記 119 地域の宝物 図鑑にズラリ	及川奈七見	〃	12.12
日展、審査公開へ「改組新日展」に改称 不正問題受け 脱・序列へ役職廃止	大西 若人 山田 優	〃	4.11	コンパス 現代美術が定着するには？	宮川まどか	東京夕刊	2.1
日展改革 実現に不安 不正の認識 明言避ける 古い体質残ったまま	〃	〃	7.30	幻の女優 マダム・ハナコ 22 ヨーロッパへ 8 川上音二郎一座とパリ万博	大野 芳	〃	5.16
社説 アートの力 きっと何かと出合える		〃	9.1	歴史への冒険 考古学のいま	松木 武彦	〃	
福原義春の道しるべをさがして メセナの未来		〃	9.27	大きさが気になる			7.8
4〔読ん〕で知るアート		朝日夕刊		デザインの転換 規範と自己主張の間で			8.25
番外編 沖縄の表現 緩やかで多様な精神を伝えていく	翁長 直樹		3.5	古墳と労働 現象の本質 見つめてこそ			9.11
政治とアート 権力の象徴となった絶対秘伝	茂木健一郎		6.18	時空をこえた類似生物学的普遍性に由来？			12.9
美術を楽しむコツ 感性の違う友達を誘おう	と に ~		10.8	初めに言葉があった 十選 1~10	阿刀田 高 日 経		1.6,7,9,10,13,14,16,17,20,21
				日本美術に聴く音楽 十選 1~10	古田 亮	〃	1.23,24,27,28,30,31,2.3,4,6,7

日展、体質の改善 急務 慣行に嫌気、若 手離れる 入選数を 事前に配分 謝礼の 授受が常態化	富田 律之	〃	2.1	文豪が愛した美術十 選 1～10	池内 輝雄	〃	9.29、30、 10.2、3、6、 7、9、10、 13、16
妖しの美女十選 1 ～10	中村 圭子	〃	4.7、8、10、 11、15、17、 18、21、24、 25	老いの力十選 1～ 10	保坂健二郎	〃	10.17、20、 21、23、24、 27、28、30、 31、11.3
芸術と科学のあいだ	福岡 伸一	〃		芸術保護の伝統 企 業受け継ぐ		〃	11.4
10 一對の蛇、均 衡・互恵の象徴			4.20	日本の色	平田 浩司	〃	11.13
11 雌雄のトンボ が描くハート型			4.27	平安貴族の色彩コー ディネート 記憶に 残る私の色は…		〃	〃
15 人々が敬愛す る太古のカバ			5.25	結び人 アートの新 風 町再生 過疎地 区に若者が拠点	榎本 行浩	〃	11.16
18 金印、真偽の 謎越え燦然と			6.15				
20 卑弥呼が授か った金印、いずこ			6.29	絵画や音楽「美しい」 脳の一部 血流増加 ロンドン大、医療に 活用期待		〃	11.23
27 連続する渦、 生命の営み示す			8.17				
29 らせんの美し さ残す化石			8.31	列島NEWS 京の金 融機関、芸術で競演 京都中央信金は新収 納室		〃	12.8
文化往来 メセナ協 議会、新体制で文化 支援を拡大		〃	5.3	うつくしい武具十選 1～10	浅利 尚民	〃	12.9、11、 12、15、16、 18、19、22、 23、25
植物幻想十選 1～ 10	巖谷 國士	〃	5.16、19、 20、22、23、 26、27、29、 30、6.2	優れた芸術が人を呼 ぶ 地方に思い切っ た文化投資を フラ ンス元文化相ジャッ ク・ラングさん	干場 達矢	日経夕刊	2.26
海外芸術家いらっし ゃい 夫婦で滞在制 作支援四半世紀、20 カ国から200人	村田 達彦	〃	5.21				
アートで読む哲学史 十選 1～10	國分功一郎	〃	6.27、30、 7.1、3、4、 8、10、11、 14、15	世界いまを刻む 取 り戻せ古代秘宝 特 命「Gメン」奮闘 ト ルコ遺跡荒らし横行	花房 良祐	〃	5.25
シーラカンスの独り 言	富内 勝典	〃	7.6	入門講座 絵を買う 人々 5 画商 印 象派は新大陸が育て た	中野 京子	〃	5.29
世界いまを刻む 芸 術の自由へ開く ハ ノイ、施設閉鎖され 経営者ら 若い才能 発信へ新拠点	伊藤 学	〃	7.13	美術展に自主規制の 波 性的表現などの 解釈、入場制限議論	窪田 直子	〃	10.6
現代アートの観察十 選 1～10	成相 肇	〃	8.4、5、7、 8、12、14、 15、18、19、 21	弁護士・会計士 ア ート支える ネット 普及、ニーズ高まる 二次利用の規約づく り 著作権管理など 相談	岩本 貴子	〃	11.21
奇絶怪絶!幽霊画十 選 1～10	東 雅夫	〃	9.9、11、 12、15、17、 19、22、23、 25、26	Topics シンボ「富 士山をめぐる話」 世界が認めた美的感 覚 近藤前文化庁長 官ら4人が魅力語る	中澤 雄大	毎日夕刊	11.18
アートで神田 発信 東京芸大などイベン ト 気球飛行・名物 カレー再現		〃	9.18	記者ノート 日展新 体制 動播収まらず	井上 晋治	読 売	10.2

探Q! フェルメールの絵 落札額は? 真作論争の中 11億円 鑑定に疑問の表れか	前田 恭二 朽木ゆり子	読売夕刊	8.2	特集「近代日本画と工芸の流れ1868—1945」展記念シンポジウム「東西文化の磁場—日本画と工芸の視点から」	京都国立近代美術館研究集	6
<b>日本美術史</b>				日本画の近代	尾崎 正明	
実験工房—アートの創造		ARTLET	41	近代日本工芸の流れ1868—1945	松原 龍一	
1957年前後—実験工房の活動停止と瀧口修造	杉野 秀樹			日本美術 イタリアからの一視点	ロッセッラ・メネガッツォ	
「実験工房」再来	水沢 勉			建築における成長主義と持続主義	田中 充子	京都精華大学紀要 44
あいだのすみっこ不定期漫遊連載 第100回 12支神 牛一馬 イメージの日本的変貌	稲賀 繁美	あ い だ	211	制度としての美術と春画—明治春画・猥褻の発見・背景喪失	鈴木 堅弘	” 45
戦後日本社会における展覧会の史的考察	河原 啓子	青山史学	32	「占領期の美術展と展示空間」について	五十殿利治	近代画説 23
いわて文化ノート 明治期の博覧会と物産会	笠原 雅史	岩手県立博物館だより	140	駐留軍施設における美術展示空間—アーニー・パイル劇場と陸軍教育センター	桑原 規子	” ”
座談記録 清賞会 昭和17年(1942)10月10日 第22回清賞会於 牛込・反町氏邸 反町氏邸訪問	阿部 純子 編	永青文庫	86	一九四九年の雪舟展計画	志邨 匠子	” ”
小特集 鉄道 車輛架線	熊田 司	えむえむ	7	明治期博覧会における園芸振興と日本植物ブーム	山崎 菜末	” ”
昭和七年陸軍大演習における天覧と「清技会」—昭和戦前期の大阪における美術工芸振興のかたち—	中野 朋子	大阪歴史博物館共同研究成果報告書	8	研究発表(要約)		” ”
「臨幸記念 名家秘藏品展覧会」の開催と鴻池家による秘藏品の出品	”	大阪歴史博物館研究紀要	12	婦人雑誌にみる文展美人画	山本 由梨	
「もの派」の歴史的布置に関する考察—1968年前後の資料を中心として—	森 啓輔	鹿島美術財団年報・別冊	31	近代日本における死者表象—岩手県下の供養絵額を中心に	三宅 翔士	
石崎源六版『三五景一覽』の絵師たち—「人名録」を手がかりに—	桑山 童奈	神奈川県立博物館研究報告	41	特集 女と男のヌード 裸婦たちのおもかげ 戦後日本のヌード 欧米文化への憧憬から現実的欲求へ	藤田 一人	芸術新潮 776
ヨーロッパ人が描いたアジアの諸都市—日本の萬国図屏風を手がかりに—	蛭川 順子	関西大学東西学術研究所紀要	47	CIE 図書館と占領下の美術界	五十殿利治	芸 叢 29
名古屋覚の管見ギャラリー7 ヴァーカ展	名古屋 覚	ギャラリー	347	Re view 戦争とメディアと少女たち	大木 優子	現代の眼 606
100回展目前にした「新生二科」	”	”	353	日本の戦前建築界におけるジョン・ラスキン受容に関する研究	江本 弘	建築史学 63
				建築史学会二〇一四年度大会 研究発表会報告 三 賀茂別雷神社月奉行による宮繕活動	中西 大輔	” ”
				特輯 明治の彫刻		国 華 1426
				「明治の彫刻」特輯に当って	佐藤 康宏	
				像と彫刻—明治彫刻史序説	田中 修二	

デザイン・設計におけるオリジナリティの生成方法論—日本のデザイン史考察—	中山 定雄 藤澤 忠盛 梶浦 瑤子	静岡文化芸術大学 研究紀要	14	銃後 象徴 歴史主題 仏教主題 戦争美術史概説	” ” ” 迫内 祐司 ”		
日立美術協会 初期の足跡(2)	大森 潤也	市民と博物館	110	画家と戦争 日本美術史の空白 戦争美術をもっと知るために	”	”	”
悠悠閑閑	安村 敏信	聚 美	10~13	戦争美術のその後	平瀬 礼太		
法隆寺学入門(五十二)	高田 良信	聖 徳	219	プロレタリア美術運動と戦争美術	足立 元		
アジア・太平洋戦争下における美術雑誌統制(2) 第二次統制(1943年)を中心に	友岡あゆ子	女子美術大学研究紀要	44	女性画家たちの戦争	吉良 智子		
「書ハ美術ナラス」論争の再検討—日本近代書道史上の意義と影響—	柳田さやか	書 論	40	日本美術史入門	安村 敏信	”	日本美術史入門
美の伝承(6) 日本「筆」物語1 筆の発明がもたらしたものの	阿部 信治	絲綢之路	75	幕末・明治前期			
光風会の103年をひもとく		新美術新聞	1338	COLUMN 日本美術のエポック 「和」の革新と「洋」の吸収			
白日会90年の事	瀧 悌三	”	1339	日本美術の基礎知識9 擬洋風建築と写真技術の影響			
提言 美術団体の一世紀—その新たな展開に向けて	清水 康友	”	1356	雑誌『美術新報』改革と岩村透・坂井犀水—大逆事件とポスト印象派の時代に	今橋 映子	超域文化科学紀要	19
九月例会 実演と講演 街頭紙芝居の時代—その源流と変遷—	榎本 千賀	説話文学研究	49	東京美術学校と関東大震災	坂口 英伸	東京芸術大学美術学部紀要	52
日本における模造ルルド発生考	関根 浩子	崇城大学芸術学部研究紀要	7	不在の類型学 日本における概念的な芸術の系譜(1)	鈴木 勝雄	東京国立近代美術館研究紀要	18
論文 春台美術展と本郷絵画研究所—昭和期における官展系美術団体の一動向—	高山 百合	大正イマジユリイ	9	日本陶磁協会賞の六十年	乾 由明	陶 説	730
発表要旨 第十回全国大会・第二十八回研究会		”	”	茨城の陶芸4 笠間焼の歴史—震災と笠間焼—	久野 亘央	東洋陶磁	43
春台美術展と本郷絵画研究所—昭和期における官展系美術団体の一動向—	高山 百合			平成二十四年度第四回研究会 盆栽鉢の歴史—さいたま市大宮盆栽美術館所蔵品を中心に—	依田 徹	”	”
中世文学[美術]史用語の生成と内国勸業博覧会—奈良絵本をめぐる—	牧野 和夫			『旗本三嶋義日記』にみる幕末期中級旗本の居住様態及び家政変遷に関する小考	谷本 潤	日本建築学会計画系論文集	699
画家と戦争 日本美術史の空白 戦時の美術—美術史の空白か—	河田 明久	太陽(別冊)	220	随想民芸運動論(二十六、二十七、二十九)	西堀 寛厚	日本の民芸	649、650、652
画家と戦争 日本美術史の空白 戦争美術の世界		”	”	特集 「木版画の国」の伝統 幕末・明治から現代まで		版画芸術	163
戦争の光景	”			§ 前文 §			
占拠・大東亜	”						

浮世絵は庶民の「生活の芸術」				特集 美術解剖学からの学び 頭部を描く ④技法講座 column 人にも骨にも歴史あり! 日本美術の中の髑髏	安村 敏信	美術の窓	373
「創作版画」VS. 「新版画」				視点 木版画百年	小原 喜夫	〃	374
戦後から現代までの展開				特集 やまと絵と琳派の交流		美術フォーラム21	29
日本国際美術展(東京ビエンナーレ)再考—戦後日本における国際美術展の志向性—	山下 晃平	美 学	245	16 明治期やまと絵断章	塩谷 純		
近世の土佐派と復古大和絵—「復古大和絵」の定義の問題	日並 彩乃	東アジア文化交渉研究	7	17 「やまと絵」の二十世紀、その受容と変容のモード	野地耕一郎		
巻頭特集 再興院展100年 その歩みと次代の画家たち		美 術*	461	18 デザインからの琳派発見—その由縁と経路	森 仁史		
日本美術院前史 芳崖、フェノロサ、天心が交わった激動の時代				19 百貨店の着物図案と日本美術史研究—高島屋百選会趣意書にみる本阿弥光悦論	山本真紗子		
五浦への移転、天心の死、院展の再興				座談会 京都陶芸の歩みとこれから	中ノ堂一信、 洲鎌佐智子 原田 平作 司会	〃	〃
院展第二世代の台頭 靱彦、古径、青邸の挑戦				特集 現代美術の歴史学—戦後の日本		〃	30
革新的運動体からアカデミズムの担い手へ	藤田 一人			§ 前文 §	松本 透 編集		
特集 気高く、美しく理想の女性像 女性美を求めて—写真絵画における女性像の系譜 明治期の洋画家から小磯良平、伊藤清永まで	内呂 博之	〃	466	2 一九五〇年代〈線描絵画〉に関するノート—「制作者懇談会」を中心に	光田 ゆり		
特集 いまなお輝く昭和の洋画家たち 近代日本絵画の光彩を伝える良質な画家たち	金子 美樹	〃	468	3 具体の「価値」	ミカエル・リュッケン 吉田 朋子 訳		
爆弾三勇士と美術(上、中、下)	追内 祐司	美術運動史研究会 ニュース	141~143	4 具体美術協会はいかに歴史化されたか	尾崎信一郎		
モダニズムと児童画 横井弘三の大理想展と二つのアンデパンダン展を中心に	忠 あゆみ	〃	142	5 ハイレッド・センターを「歴史化」する	山田 諭		
明治20年京都新古美術会の開催と画家の動向	石井 香絵	〃	145	6 「色彩と空間」展から大阪万博まで—一六〇年代美術とデザインの接地面	伊村 靖子		
コラム 日本美術院草創期 1905(明治38)年のナショナル・アーツ・クラブ展について	佐々木美帆	美術館だより(福井県美)	143	7 日本における「コンセプチュアル・アート」元年—一九六九年の言説空間から	鈴木 勝雄		
研究資料 新出資料紹介『第八回白馬会展覧会出品目録』	植野 健造	美術研究	413	9 局所化〔ローカライズ〕されたミニマル・アート—批評的読解の試み	林 卓行		



10 テクスト論的 転回—「平面／立 体」という呼称	沢山 遼			特集1 藤田美術館 白鶴美術館 関西の 二大実業家が護った 東洋の宝 関西数寄 者のネットワーク 経済界と美術—「十 八会」と「篠園会」を 通して	田中 敏雄	目の眼	457
11 一九八〇年代 の日本の抽象絵画	大島 徹也			特集1 国宝の力 国宝を見出した目利 きたち		"	459
12 「アート・ナ ウ」と関西のニュー ウェイズ	山脇 一夫			「波」に兎か—「かた ち」の記憶の彼方へ	今橋 理子	U P	496
14 一九八〇年代 末から一九九〇年 代の日本における 現代美術表現—新 たなメディアとし てのリレーシヨナル な表現とその背 景	神谷 幸江			日本美術史不案内	佐藤 康宏	"	
				64 成人向け			502
				68 裏工作			506
15 メディアア ートという文化	吉岡 洋			特集 震災とミュー ジウム 震災情報の 中の「現実」	新田 太郎	R E A R	31
16 アレクサンド ラ・モンローに関 く日本の戦後美術 とアメリカ—展覧 会・研究・観衆	ジョシュア ・L・マッ ク インタビュー ・文 松本 透 訳			博士論文概要 近代 日本におけるリソル ジメント表象の伝播 と受容	尾崎有紀子	早稲田大 学大学院 文学研究 科紀要	59
読解絵画鑑賞講座25 明治以前の日本こそ、 球体絵画の宝庫— 「北野天神縁起絵巻」 (1219年頃)	ワシオ・ト シヒコ	美術屋・ 百兵衛	29	審査の透明性 先人 も苦慮 美術展めぐ る風刺漫画	宮代 栄一	朝日夕刊	1.27
九州派—その誕生を 人物交流から見る	山口 洋三	福岡市美 術館研究 紀要	2	4〔読ん〕で知るア ート 日本で見ると シヤの美	榊屋 友子	"	
関東大震災と美術— 震災は美術史にどの ような影響を与えた か	武居 利史	府中市美 術館研究 紀要	18	歴史を超える陶工 の交流			12.3
アーネスト・F・フ ェノロサと承久北野 天神縁起絵巻—承久 本絵巻の価値の「発 見」をめぐって—	竹居 明男	文化学年 報	63	タイルによみがえ る古代の王			12.17
「アイヌ文化の漆碗」 の形態分類に関する 基礎的検討(2)— 「熊図文入漆碗」と 「津軽塗(系)漆碗」に 注目して—	小林 幸雄	北海道開 拓記念館 研究紀要	42	美の美 温泉と絵画 上 秀逸ガイドが旅 心誘う 憧れの名湯 は色鮮やか	窪田 直子	日 経	11.9
近代美術教育と港区 一生巧館から葵橋洋 画研究所へ—	大坪 潤子	港郷土資 料館だよ り	74	筒井紘一の茶の湯つ れづれ 四百年忌 織部の新しさ	筒井 紘一	毎 日	6.29
資料紹介 博物館制 作「厳島神社蔵経模 本」—明治の人々が 見た「平家納経」—	恵美千鶴子	MUSEUM	651	<b>海外美術史(アジア)</b>			
絵画における物語性 の復権—平家物語の 図像化への試み—	田村 佳丈	武蔵野美 術大学研 究紀要	44	中国古典文学と挿画 文化 概説 中国木 版画史の流れ—唐か ら明清、近代へ	瀧本 弘之	アジア遊 学	171
				中国古典文学と挿画 文化 小説刊本にお ける版本挿絵の拡が り		" "	
				『封神演義』におけ るイメージの図像 化について	中塚 亮		
				孫悟空の図像イメ ージ—小説本文と 絵姿と	上原 究一		
				研究発表(要約) 朝 鮮美術展覧会の工芸 部創設とその意義	盧 ユリア	近代画説	23

On view 米色青磁 —日本人が見いだした官窯	佐藤サアラ	現代の眼	608	第101回 60年代 ポップ・アートとは何だったのか。 —広告産業の構造的変貌の関数としての民衆図像					212
特別企画 二楽荘と大谷探検隊—シルクロード研究の原点と隊員たちの思い 未完の大谷探検隊—シルクロード探検の旅へ	入澤 崇 聚 美		13	第104回 あやう い未成熟な少女は 宗教画の原点を… 神聖 sacré・犠牲 sacrifice として 冒瀆 sacrilège					215
第2特集 シルクロードの全容と登録の意義 「シルクロードとは何か？」を問う、33の構成遺産		世界遺産 年報	20	フランス・ナンシー 国立美術学校所蔵の 日本美術コレクション の形成とその役割	今井 朋	鹿島美術 財団年報 ・別冊			31
特集2 「민화 (MINHWA)」と大津 絵—(民画)という思 想—朝鮮美術から 民画を考える	片山真理子	大正イマ ジュリイ	9	ギリシア青銅器時代 印章印影の研究—牛 モチーフの図像学的 発展—	小石 絵美	〃	〃	〃	〃
『ジャワ新聞美術関 連記事』—蘭印にお ける日本軍政と「宣 撫工作」—	後小路雅弘	哲学年報	73	サルヴィアアーティ・ コレクション研究	坂本 篤史	〃	〃	〃	〃
『陶説』創刊六十周年 記念論文 朝鮮陶磁 部門 優秀賞 近代 における高麗青磁— 再発見から再現へ	鄭 銀珍	陶 説	735	イタリア・ロマネス ク聖堂装飾研究—ト ウスカーニア、サン ・ピエトロ旧司教座 聖堂をめぐる—	伊藤 怜	〃	〃	〃	〃
クメール黒褐釉陶器 の調査—ヴィール・ スヴァイ窯跡の発掘 —	佐藤 由似	奈良文化 財研究所 紀要	2014	中世末期のアンジュ —宮廷の写本芸術—	高木真喜子	〃	〃	〃	〃
外務省記録にみる 「唐宋元明名画展覧 会」(一九二八年)	久世夏奈子	日本研究	50	ボードレール『一八 四六年のサロン』に ついての覚書	築山 和也	慶応義塾 大学日吉 紀要			58
矢代幸雄とシックマ ン—20世紀におけ る中国絵画観の変容—	塚本 鷹充	B I	7	聖なる画中画—ペト ルス・クリストゥス 作《若い男性の肖像》 に描かれた「聖顔」と 贖宥	杉山美耶子	芸 術 学			17
近代における仏教界 と仏画の制作	崔 燁 日比野民蓉 訳	美術研究	413	失われたパリの復元 XXIV~XXXV	鹿島 茂	芸術新潮			769~780
藏品紹介—常設展示 室から— 鳥文皿	福原 庸子	横浜ユー ラシア文 化館ニュー ース	21	特集 英国ヴィクト リア朝美術の陶酔 [エクスタシー] ラ ファエル前派から唯 美主義まで ヴィク トリア朝美術、反撃 の50年!	荒川 解説 裕子	〃			770
統治下の朝鮮で画家 たちは「交流」と植 民地の現実 日韓の 学芸員らが協力し研 究	西岡 一正	朝日夕刊	11.5	Part 1 われら ラファエル前派兄 弟団!					
Part 2 P. R. B. セカンド・ジェネ レーション、結集 す									
Part 3 ただ美し いって罪なこと?									
特集 メキシコ・ル ネサンス、もうひと つの美術運動—1930 年メキシコのカレン ダーを巡って	竹葉 丈	アートペ ーパー	95	特集 英国ヴィクト リア朝美術の陶酔 [エクスタシー] ラ ファエル前派から唯 美主義まで		〃	〃	〃	〃
あいだのすみっこ不 定期漫遊連載	稲賀 繁美	あいだ							

英国カルチャーシ ーンの19世紀リヴ アイヴァル	新谷 洋子			アステカ人の供養— 頂くことと捧げるこ と—	岩崎 賢	古代アメ リカ	17
もしかしたら“ヴ イジュアル系”?	嶽本野ばら			ナポレオンの地中海 域遠征と「アンビー ル様式」—パリにお ける古代エジプト・ ローマ文明—	浜本 隆志	The journal of CHC*	1
World Venezia 「ヴ ェネツィア共和国の 総督 ドージェと夫 人の歴史と物語」展 ヴェネツィア共和国 を率いた歴代ドー ジェの華麗なる遺産	高橋 恵理 取材	〃	771	革命期の文化イデオ ロギー—ベルナルデ ィーノ・ドロヴェッ ティと文化遺産(1) —	柏木 治	〃	〃
特集 もっと素敵に ジャボニスム なぜ 日本文化は世界で人 気なの? special issue 教えて! ジャボニス ム		〃	775	勉強会報告 第3回 勉強会 近現代芸術 における芸術と科学 との相互作用につい て	鈴木 裕輔	The Newslet- ter I. J. S	20
はじめに ジャボニ スムは誰のもの?	宮崎 克己 解説			調査報告 トロス司 教座聖堂発掘報告 (二〇一三)—考古学 ・建築学の知見から	浦野 聡	史 苑	191
絵画篇	〃			西洋中近世のキリス ト教儀礼における像 と人との共演をめぐ って—比較美術史的 視点から	秋山 聡	死生学・ 応用倫理 研究	19
グラフィック・デ ザイン篇	〃			メランコリー、省察 の表象とデカルト	谷川多佳子	思 想	1086
column 2 “自然” に開眼	編 集 部			『十三世紀フランス語 聖書』(Bible française du XIIIe siècle) 彩飾 写本研究：地域展開 の諸相(2)	駒田亜紀子	実践女子 大学美学 美術史学	28
工芸篇	宮崎 克己 解説			水墨のジャボニスム ・外観—筆の線、墨 の黒をめぐって	宮崎 克己	ジャボニ スム研究	33
column 3 ジャボ ニスム各国事情	〃			西洋における水墨画 の受容—コレクション 紹介と文献絵画史 の時代	南 明日香	〃	〃
里帰りと終焉篇	〃			現在通信 From NEW YORK	富井 玲子	新美術新 聞	
特集 もっと素敵に ジャボニスム なぜ 日本文化は世界で人 気なの? ネオ・ジ ャボニスムの到来 古美術 ジャボニス ム発、現代美術経由 で愛でられる日本の 美	藤森 愛実	〃	〃	元祖アーモリー・ ショウ			1334
特集 女と男のヌード ヨーロッパ最新 ヌード事情 2つの 展覧会を遠望する 男のハダカ・女のハ ダカ—裸体像をめぐ る誤解と真実	高橋 明也	〃	776	未来派の全体像			1353
特集 イタリア・ル ネサンスの宝宝箱 ウフィツィ美術館も のがたり フィレン ツェ 歴史を歩く 早わかりメディチ家	編 集 部	〃	778	ウィーン・アクシ ョン派			1359
ラ・シェーズ・ディ ユ修道院聖堂壁画 「死の舞踏」につい ての考察	小池 寿子	国学院雑 誌	1291	PARIS 発	安部 雅延	〃	
フランス=ベルギー 系漫画小史 黎明期 から今日まで	笠間直穂子	〃	〃	シュルレアリスム と左翼思想			1335
アントナン・ブル ーストと共和国の芸術 政策	泉 美知子	国際交流 研究	16	初代ローマ皇帝と 芸術			1343
				ベル・エポックの 意味			1346
				カテドラルと芸術			1349
				多様性の追及—フ ランスの現代美術			1360

1492年ローマにおける聖母被昇天の祝祭行列 2つのアイコンが出会う夜	フィリーネ・ヘラス、ゲアハルト・ヴォルフ 秋山 聡 監訳 太田泉フロランス 訳	西洋美術研究	18	共通タイトル:『15世紀から19世紀のヨーロッパ絵画における伝統と革新—ファン・エイクからルノワールまで』	平岡 洋子		
エウカスティリアの祭儀の典礼空間における聖性の強調と信徒の参加 フランスの事例を中心に	奈良澤由美	〃	〃	共通タイトル:『15世紀から19世紀のヨーロッパ絵画における伝統と革新—ファン・エイクからルノワールまで』 講演レジュメ 第1部 「ヨーロッパ絵画におけるモデリング技法とイリュージョニスム—ファン・エイクからヴァトーまで、ルーベンスの技法と17、18世紀の画家たちへの影響をめぐって」			
ヴェネツィアの祝祭と都市イメージ	森田 優子	〃	〃	シンポジウム	カトリーヌ・ペリエニエ ディエラ		
パノラマ 19世紀的多幸症の装置	尾関 幸	〃	〃				
研究ノート シュルレアリスムとスペクタクル シュルレアリスム国際展(ロンドン)の「幽霊」をめぐるノート	石井 祐子	〃	〃				
原典資料紹介 1492年ローマにおける救世主イコンの行列次第	藤崎 衛	〃	〃	「戦争と芸術:第一次世界大戦期における日仏の芸術的様相」報告	石谷 治寛		
十字架の道行き信心の史的概観(2)	アメデー・テータールト・ドゥ・セデルヘム 関根 浩子 訳	崇城大学芸術学部研究紀要	7	ヴェルサイユ宮とその芸術 ラ・ヴリリエール邸の絵画コレクションと建築家マンサール	木村 三郎		
イギリスの現代美術にみる表象の差異—イギリス美術と文化的多様性に関わる文化政策のあいだで—	石松 紀子	デアルテ	30	例会発表要旨 第127回例会:美術批評家とフランス近代美術		〃	〃
シエナ大聖堂下堂壁画連作におけるキリストの受難および復活場面の図像に関する考察	小野 迪孝	東海大学紀要教養学部	44	エルネスト・シェノーと印象派—新たな美術批評家研究に向けて	齋藤 達也		
カールシュティン城の祭壇の下の殉教者の魂—聖母マリア教会祭壇壁装飾体系の復元と1357年の献堂問題	大野 松彦	東京芸術大学美術学部論叢	10	ギュスターヴ・ジェフロワと国立ゴブラン製作所における改革	岡坂 桜子		
メソアメリカ南東部太平洋側の動物形象祭壇についての一考察	伊藤 伸幸	名古屋大学文学部研究論集	179	例会発表要旨 第128回例会:文学者による美術評論		〃	〃
銃後のパリの美術シーン—第一次世界大戦期の美術展の文化的動員と(秩序への回帰)	河本 真理	日仏美術学会会報	33	一色彩と空間性の問題をめぐって—ボードレール、騙し絵の彫刻	小倉 康寛		
講演会 日仏美術学会講演会報告		〃	〃	—エミール・ゾラ、1867年のマネ擁護論の芸術観—ボードレール美学の継承と発展	實谷総一郎		
				サン・ドニ大修道院聖堂シュジェールの内陣の支柱配列—線条化のプロセス(その6)—	佐藤 達生	日本建築学会計画系論文集	703

オステリア, ミューズの家におけるモザイク・壁体配置と空間構成 オステリア・ローマ都市研究II	堀 賀貴	〃	705	《ハドリアヌスの円形浮彫り群》の図像解釈について—犠牲式と狩猟の図像伝統に照らして—	坂田 道生	美術史	176
フランス革命期における「友愛」の図像について	木村 三郎	日本大学芸術学部紀要	60	《カールシュテイン城の黙示録》—十四世紀ポヘミアの壁画制作、その図像的起源—	大野 松彦	〃	177
アーツ・アンド・クラフツ運動	岸田 準二	日本の民芸	651	第67回全国大会研究発表要旨	〃	〃	〃
15世紀~16世紀初頭の時祷書における黄道十二宮の表現の変遷	高橋 達史	パラゴナー	1	レオンの『九六〇年聖書』における「パウロの肖像」をめぐって	毛塚実江子		
「ローマ文化」の建設—トラヤヌス記念柱の犠牲式図像に関する一考察—	坂田 道生	美学	244	《コルビー詩編》に於ける文字装飾の伝統と異教図像の源泉—第五十一編イニシアルQ「アンチキリスト」を中心に—	安藤さやか		
ウィリアム・クームが見たピクチャレスク美学—『ドクター・シンタックスの旅、ピクチャレスクを求めて』(一八—二)を読む—	近藤 亮介	〃	〃	フランス王家ゆかりの携帯用ポリプティック型聖遺物容器《リプレット》についての—考察	太田泉フロランス		
第六十五回美学会全国大会報告 発表要旨	〃	〃	245	神々の臨席—パルテノン・フリーズにおける見えない神	中村 るい 長田 年弘		
シュルレアリスムにおけるオブジェの両義性—「いざなうもの」から「人形」へ—	河上 春香			ラヴェンナの皇帝モザイク—造形原型的・発展史的考察—	越 宏一		
『ラ・リュミエール』に見る—一八五九年フランス写真協会の写真展	横野佳奈子			サン・ボネ・ル・シャトー参事会聖堂礼拝堂壁画研究—ブルボン家との関わりについて—	勝谷 祐子	美術史研究	52
フランソワ・トロンシャン『絵画に関する公演』について—18世紀ジュネーヴの美術愛好家とフランス語圏ヨーロッパの絵画論の関係—	宮崎 匠			アルトエッティングのマリア像について—その認識の変遷—	藪田 淳子	美術史論集	14
例会・研究会発表要旨 西部会 第二九回研究発表会 最古の美術を求めて	小川 勝	〃	〃	ヘルマテナの一形態における足下に描かれたモチーフの機能	川上 恵理	〃	〃
教員随想 ディアトレータと呼ばれるページ・カップ	北澤 洋子	美史研ジャーナル	10	特集 ラファエル前派 PART 1 ラファエル前派徹底解剖	伊東 豊子	美術手帖	1001
平成二十五年度 修了生論文要旨 ガッラ・プラチディア廟におけるモザイク装飾	古澤かおり	〃	〃	Special Interview テート・ブリテンキュレーター アリソン・スミス	山口恵里子 監修 森本 由紀文		
ウィメン・アーティスツ・オブ・カラーの苦悩とストラテジー	岡部あおみ	美術運動史研究会ニュース	143	HISTORY ラファエル前派、誕生から終焉まで	伊東あゆみ		

考察1 理想に萌える若者たちの序章— PRB「誕生前夜」から「結成」まで	山口恵里子			ESSAY 猥褻／猥奇／風刺 市場価値としてのポップ	〃		
特集 ラファエル前派 PART 2 ラファエル前派 第二世代から唯美主義へ		美術手帖	1001	CASE STUDY iPOP! 脱物質＝情報共有時代のポップ・アート	楠見 清		
HISTORY 伝説の人ロセッティとラファエル前派第二世代	岡坂 桜子			SPECIAL FEATURE ポップアート PART 4 グローバル・ポップ	〃	〃	
キュレーター解説入門 唯美主義とは? 「芸術のための芸術」に迫る	加藤 明子 解説 小林 馨子 構成			ポップは地球をめぐる	編集部		
考察2 硬直した美術界への処方箋— ラファエル前派が参照した中世美術	田中久美子			ESSAY 世界的視野から問い直されるポップ	池上 裕子		
考察3 「挿しっ挿されっ」、物語と挿絵の関係	大森 弦史			SPECIAL FEATURE パルテュス SPECIAL EDITION Column 少女像の系譜	さやわか	〃	1004
特集 ラファエル前派 PART 3 もっとよく知る! ラファエル前派の時代 画像資料とキーワードで見る ヴィクトリア朝のファッションと暮らし	小林 馨子	〃	〃	1 多様化する少女の表現 2 ポピュラー化する少女愛			
SPECIAL FEATURE ポップアート PROLOGUE ポップってなんだろう?	楠見 清	〃	1002	SPECIAL FEATURE 世界一受けたい! 印象派の授業		〃	1008
SPECIAL FEATURE ポップアート PART 1 プリティッシュ・ポップ・アート	伊東 豊子	〃	〃	HR ホームルーム 印象派に出会うための6つのQ&A	賀川 恭子		
ポップの夜明け				3時間目 都市社会学 印象派が描いたパリ市民のアーバンライフとは?	坂上 桂子		
ESSAY いま立ち返る、ポップアートの黎明期				5時間目 政治学 印象派の誕生を促した時代情勢を探る	中野 京子		
SPECIAL FEATURE ポップアート PART 2 アメリカン・ポップアート		〃	〃	6時間目 芸術社会学 ゴッホの“聖人”伝説はどのようにしてつけられたのか?	ナタリー・エニック 野口 沢子 翻訳		
ポップ旋風の到来!	編集部			特集 光の表情を描く ④技法講座 vol. 38		美術の窓	375
ESSAY 日常の再発見と生への視線	松井みどり			中世彩飾写本に見る 光の表現	田中久美子		
CASE STUDY アート・ディーラーが牽引した華麗なる「ポップ・アート」時代	藤森 愛実			プチ技法講座 中世彩飾写本の金箔貼り〜ギルドイング〜	八木 健治 監修		
SPECIAL FEATURE ポップアート PART 3 ポスト・ポップ		〃	〃	研究調査報告 『ヨーロッパ近代生活絵引』編纂共同研究 ミュンヘンとウィーン—18世紀ヨーロッパにおける二つの首都の肖像—	ステファン・ブッヘンベルグ	非文字資料研究	31
拡張するポップ	大森 俊克						

アクロポリス：近代ギリシアの象徴と記憶	中井 義明	文化学年報	63	ビザンティン余白詩篇研究—『テオドロス詩篇』とストゥディオス修道院工房	辻 絵理子		
アンジェの黙示録—そのモノメンタリティーについて—	田中久美子	文星紀要	25	4〔読ん〕で知るアート		朝日夕刊	
バクトリア・マルギアナ考古文化複合—その地理的な境について	ラプチュエフ・セルゲイ	MIHO MUSEUM 研究紀要	15	ロシア・アヴァンギャルドと構成主義	岩本 憲児		7.2、9、16
驚異の体系化	山中由里子	民博通信	144	番外編 日本で見るベルシヤの美術屋友子さんインタビュー 胸痛む文化財の喪失	榎屋 友子		12.24
ギリシア青銅器時代印章印影研究—ライオンモチーフのポーズの発展—	小石 絵美	武蔵野美術大学研究紀要	44	芸術と科学のあいだ 23 ヒトが初めて作った美の形	福岡 伸一	日 経	7.20
イメージの歴史人類学に向けて1～3	水野 千依	U P	496～498	美の美 「南蛮」の故郷 上、中、下	内田 洋一	〃	12.14、21、28
イメージの記憶 35 過去に触れる—ホイッニングの秋、ヴァールブルクのニンフ	田中 純	〃	497	第一次大戦100年 世界はいま 「幻惑迷彩」英で再現 民間船の塗装 現代美術にも影響	坂井 隆之	毎 日	8.3
特集 サド 没後二〇〇年・欲望の革命史 サドとアレゴリー 『ジュスチヌ』と『閨房哲学』の扉絵をめぐって	伊藤 博明	ユリイカ	650	オルセー美術館展 印象派の誕生 サロン審査に不満「印象派展」	横山由季子	読 売	7.1
サン・ドニ修道院教会堂におけるシュジュールから建築工匠ピエール・ド・モントロイユまで—『H・ハマーの画譜』(その22)—	坊城 俊成	横浜美術大学教育・研究紀要	4	<b>保存修復</b>			
横浜ユーラシア文化館開館10周年記念特別展「マルコ・ポーロが見たユーラシア」関連講演会 マルコ・ポーロが開いた扉	権山 紘一	横浜ユーラシア文化館紀要	2	美術館の周縁	相澤 邦彦	ART RAMBLE	
読書案内 ジャポニズムとシノワズリ 西洋における日本美術の受容	日高 薫	歴史と地理	671	福島県における文化財レスキューについて—帰宅困難区域内の博物館収蔵品撤収作業に参加して—			42
『冬物語』におけるアポロと彫像の象徴性をめぐって	冬木ひろみ	早稲田大学大学院文学研究科紀要	59	『全国美術館会議 東日本大震災美術館・博物館総合調査報告』について			44
博士論文概要	〃	〃	〃	木製彩色 能面『翁面』『増女』保存修理報告書	株式会社文化財保存	愛知県美術館研究紀要	20
モンソネスのサン・クリストフ聖堂とトゥールーズ周辺地域の12世紀後半の彫刻制作の動向について	大森なお子			調査報告書(木村定三コレクション工芸品の科学調査)	元興寺文化財研究所	〃	〃
ビザンティン世界におけるエレウサ型聖母子像の受容	菅原 裕文			豊田市乙ケ林出土銭の蛍光X線分析	堀木真美子 鈴木 正貴	愛知県埋文センター紀要*	15
				活動レポート		岩手県立博物館だより	
				仮設陸前高田市立博物館被災文化財等保存修復施設の設置	赤沼 英男		142

平成26年定期刊行物所載文献(総/保・修)

被災紙製資料の安定化処理と保管	川又 晋		143	平成修理落成記念大特集 王朝のかがやき、ふたたび 平等院鳳凰堂 第1章 平等院のひみつ	神居 文彰	〃	780
所蔵品紹介 重要文化財 洋人奏楽図屏風の修理報告	三宅 秀和	永青文庫	86	(修復トピックス)		建築史学	
狹井神社ご本殿修理工事完了・本殿遷座祭斎行			大美和 127	重要文化財旧岩崎家住宅 壁の実大実験により明らかになった耐震性能と補強工事	加治屋嘉文		62
重要文化財建造物の屋根葺替等保存修理工事報告—伊賀八幡宮・瀧山寺本堂・三門・天恩寺山門—	岡崎市教育委員会 公益財団法人文化財建造物保存技術協会	岡崎市史研究	34	重要文化財旧下関英国領事館 本館ほか二棟の保存修理工事について	太田 英一		〃
旧本多忠次邸のステンドグラス及び家具修理報告	岡崎市教育委員会		〃 〃	重要文化財小林家住宅—東京都の山岳民家—	鈴木 誠		63
岡山城の保存をめぐる一花房端連・新庄厚信・西穀一宛蜂谷熊男書簡から—	山下 香織	岡山県立記録資料館紀要	9	国宝 桜ヶ丘銅鐸・銅戈の保存・保護を目的とした総合診断調査について—最先端の精密計測技術を活用した九州国立博物館との共同研究の取り組み—	橋詰 清孝	神戸市立博物館研究紀要	30
瀬上旭江筆《五畿七道図》の修復について	中村麻里子	岡山県立美術館ニュース	104	文化財を活かすために護る	村本 聡子	国立国会図書館月報	636
日本オリエント学会だより エジプト・アメンヘテプ3世王墓第3期壁画保存修復プロジェクト	吉村近藤西坂高橋 作治二郎朗子寿光	オリエン	56-2	蛍光X線分析による和鏡の金属組成調査—黒川古文化研究所の所蔵品を中心に—	川見 典久	古文化研究	13
修理報告 須磨家旧蔵の木造菩薩坐像と像内納入品	浅湊 毅	学 叢	36	文化財施設環境中の空中浮遊微粒子と浮遊カビの相関性	高島村松芳太田久米高橋士戸 浩介利子裕子淳子哲明	The journal of CHC*	1
香川県善通寺市生野本町所在落亀金毘羅燈籠の保存修復について	佐藤海邊	垂聖博史	2013	一平成二十四年度収蔵品修理報告—		三の丸尚蔵館年報・紀要	19
積川神社所蔵神輿の修復報告	桃井 宏和	〃	〃	保管資料の劣化と環境対策	中川 正人	滋賀県文化財保護協会紀要	27
調査・研究(概要)		〃	〃	修理報告 絹本著色五老図 紀煤亭筆	藤本 淳三	滋賀県立琵琶湖文化館研究紀要	30
日韓における保存処理後木製品の経年変化と保管管理の比較研究	伊藤 健司			資料保存の取り組み 収蔵庫の燻蒸消毒	菅野 和郎	S H Ū	42
出土木製品のマイクロ波加熱凍結乾燥法による保存処理の研究	川本 耕三			修理報告		修 復	9・10
アーカイブにおける短命資料の保存に関する研究	金山 正子			1 国宝 釈迦如来像(赤釈迦)	梶谷 誠		
福島県岩瀬牧場におけるランドスケープ遺産の動態保全	大島鈴木安藤 卓雅和邦廣	芸術学研究(筑波)	19	2 国宝 古今和歌集序	大山 昭子		
大特集 大人の修学旅行は、京都国立博物館で。 僕らの京博70選! 京博コラム1 修理	編集部	芸術新潮	779	3 重要文化財 駿牛図断簡	〃		
				4 重要文化財 朝鮮国書	伊加田剛史		



5 重要文化財 弁才天梵天帝釈天 四天王像	亀井 亮子		IPMに準拠した歴史的建造物の日常管理 3—シロアリ・モニタリング—	白田 詠子	生活と文化	23	
修理技術	"	"	文化財建造物修理現場 日より		全文連文化財通信		
1 典籍冊子の補修—冷泉家典籍類の修理のあゆみから	森 香代子		門司港駅本屋及び附連絡上家保存修理	今岡 武久		91	
2 補彩について	小笠原具子		国宝賀茂別雷神社本殿ほか32棟保存修理工事について	小宮 睦		92	
3 初期洋風画の修理について—永青文庫蔵 重要文化財「洋人奏楽図」を例として	伊加田剛史		中国における歴史的な町並みの保存と活用に関する基礎的概念整理と問題把握のための現地調査	張 伊欣	崇城大学芸術学部研究紀要	7	
4 高粘度の布海苔を用いた肌裏紙除去	梶谷 誠		素描・版面の修復	山領 まり	たいせつな風景	19	
「白密陀菊蝶箔絵盆」保存修復報告	上江洲安亨 室瀬和美 鷺野谷一平	首里城公園管理センター年報*	4	文化財建造物彩色の保存—どのように遺し後世へ伝えるか—	山内 章	" "	
紙本着色「馬執宏筆花鳥図」保存修復報告	上江洲安亨 當間 巧	" "	" "	藤原 徹	" "	" "	
書跡「馬執宏書」掛軸装修理に伴う本紙塗布赤色染料の科学分析	佐々木良子	" "	" "	伊藤 由美	" "	" "	
年次報告	成瀬 正和 ほか	正倉院紀要	36	非破壊分析による鉄遺物の産地推定—国内外から出土した鉄遺物に含まれる微量重元素の測定—	田中真奈子	高梨学術奨励基金年報	H25年度
第22回年次大会予稿 東日本大震災後の文化財救出活動記録の計量的分析	村井 源 ほか	情報知識学会誌	24-2	リーフキャストによる紙資料の修復と保存	坂本 勇	千葉県文書館	19
資料紹介 博物館資料としての石膏模型—唐古遺跡出土木器の保存と活用—	東村 純子 村上由美子	史 林	507	動向 史料保存問題人間文化研究機構連携研究シンポジウム「災害に学ぶ—歴史文化情報資源の保全と再生」参加記	藍原 怜	地方史研究	369
平成修理における国宝平等院鳳凰堂	神居 文彰	絲綢之路	75	東日本大震災と地方史研究 東日本大震災の被災状況と文化財保全—福島県双葉町に於ける現状—	吉野 高光	" "	370
特集 震災から3年—東北、そして福島の現在[いま]		新美術新聞	1338	日本歴史学協会・日本学術会議史学委員会 史料保存利用問題シンポジウム「アーキビスト認定制度をめぐる現状と公文書管理制度」参加記	佐藤 勝巳	" "	372
救援から支援へ—全国美術館会議の活動	村上 博哉 寄稿			首都圏形成史研究会シンポジウム「歴史災害を伝える—“災害史”展示の現状と課題—」参加記	落合 功	" "	" "
震災から3年の通過点	伊藤 匡 寄稿			首都圏形成史研究会シンポジウム「歴史災害を伝える—“災害史”展示の現状と課題—」に参加して	榎本 博	" "	" "
国立競技場設置の記念作品等、全25点が保存へ—長谷川路可や北村西望、宮本三郎ら近代の巨匠の手による美の遺産の行方		"	1351				
「文化財」守る姿勢が新たな文化を生む	佐々木丞平	"	1363				

東京美術学校西洋画 科卒業制作作品・自画 像の技法材料、保存 修復に関する基礎的 研究 XI	佐藤 一郎 ほか	東京芸術 大学美術 学部紀要	52	平城京二条大路出土 墨面板のマイクロフ ォーカス X線 CT を用いた非破壊年輪 年代調査	大河内隆之 安治洋成 星野高妻 高妻康次郎	"	"
迎賓館赤坂離宮天井 絵画修復事業に関わ る損傷と劣化原因の 解明(1)	木島 隆康 ほか	"	"	薬師寺食堂と西大寺 旧境内における放射 性炭素年代測定第一 500次・第505次	芝 康次郎 諫早直人 星野安治	"	"
1000年後の未来にバ トタッチ! 保存 と修理情報		東京国立 博物館ニ ュース		龍光院虫干之覚	加藤 祥平	南 游行	0
21 いまも福島県 下で続く文化財レ スキュー事業	神庭 信幸		723	研究ノート 震災の 被災文化財修復につ いてー長岡市荅柴神 社の備前焼狛犬の例 からー	山本 哲也	新潟県立 歴史博物 館研究紀 要	15
22 国宝 檜図屏 風の修理	"		724	寺宝修理報告 木造 軍荼利夜叉明王立像 徳川家光筆紙本墨画 『山水図』 紙本淡彩 慈眼大師持中啓		日光山輪 王寺	83
23 新生17室の注 目展示「収納棚」	和田 浩		725				
24 被災文化財の 修理にむけた調査 分析	荒木 臣紀		726	重要文化財輪王寺本 堂の大規模被覆ガス 燻蒸ー実施までの 経緯概要と燻蒸につ いてー	原田 正彦	"	"
25 被災文化財の 修理にむけた調査 分析	土屋 裕子		727				
26 温湿度計の仕 組み	和田 浩		728	解説 装潢文化財の 保存修復	大林賢太郎	日本画像 学会誌	210
寒河江慈恩寺本堂の 絵馬調査と応急処置	大山 龍顕	東北芸術 工科大学 紀要	21	解説 写真修復技術 と震災における被災 写真の救済	白岩 洋子	"	"
文部科学省 私立大 学戦略的研究基盤形 成支援事業『複合 的保存修復活動によ る地域文化遺産の保 存と地域文化力の向 上システムの研究』 最終年度に向けて	岡田 靖	東北芸工 大保存修 復センタ ー年報*	5	解説 大型二次元文 化財のデジタル化と その活用	中杉 高志 池庄司伸夫 森岡 隆行	"	"
天童市願行寺所蔵 「桜図」の保存修復	大山 龍顕 永井 泊	"	"	白川郷の合掌造り集 落における景観保全 の新たな手法に関す る研究 岐阜県大野 郡白川村萩町を対象 として	麻生 美希 西山 徳明	日本建築 学会計画 系論文集	700
気仙沼市リアス・ア ーク美術館所蔵「山 水図」の保存修復	"	"	"	本居宣長旧宅の移築 工事にみる保存理念 本居宣長旧宅保存事 業にみる保存理念と 手法に関する研究 その1	加藤 旭光	"	"
立体作品の保存修復	藤原 徹	"	"				
白鷹町塩田行屋所蔵 「木造如来形立像」の 保存修復	岡田 靖	"	"	イタリア・イブリア 市におけるデザイン ・ガイドランによる 近代建築物群の保護 手法に関する研究 保護手法の整備過程 と保護手法にみられ る真正性の考察	北尾 靖雄	"	701
活動風景 NPO法人 宮城歴史資料保全ネ ットワークにおける 被災資料修復作業	友田 昌宏	東北アジ ア研究セ ンターニ ュース*	61				
三次元計測器および 3Dプリンターを用 いた銅剣の復元～諫 早農業高校遺跡出土 銅剣の例～	片多 雅樹 吉井 康史 白石 溪牙	長崎県埋 蔵文化財 センター 研究紀要	4	時評 二〇一一年九 月の紀伊半島大水害 時における資料レ スキュー活動とその 後の取り組み	前田 正明	日本史研 究	625
藤原宮・京出土瓦の 胎土分析	降幡 順子 森崎 一貴	奈良文化 財研究所 紀要	2014	特別寄稿 膠の実体 とこれから	宇高健太郎	美 術*	468

特集 国宝のすべて 日本一有名な国宝 「鳥獣戯画」文化財 修理の現場を訪ねて	沢田眉香子	美術手帖	1013	温湿度環境測定調査 からみた文化財保存 施設としての“土蔵”	〃	〃	〃
油彩画の「洗浄」をめ ぐる諸問題	相澤 邦彦	兵庫県立 美術館研 究紀要	8	東日本大震災の震災 遺構について考える	齊藤 恵理	文環研レ ポート	34
東日本大震災による 弘道館記碑の被災と 復旧	内田 和伸	文化財*	605	報文 仁王胴具足に みられる桃山文化期 の一塗装技術——宮 市博物館保管仁王胴 具足を例として——	北野 信彦 本多 貴之	保存科学	53
重要文化財(建造物) 保存活用計画の策定 について	下間久美子	〃	607	報文 装飾古墳のお かれた「環境」と保存 の歴史	朽津 信明	〃	〃
連載 文化財を活か す 第38回 塩尻宿 小野家住宅「保存と 活用」十余年のあゆ み	小野 良文	〃	612	報文 展示ケース内 有機酸の低減対策の 評価法	佐野 千絵 古田嶋智子 呂 俊民	〃	〃
特集 古墳壁画の保 存と活用2014		〃	613	報告 蛍光エックス 線分析による伊藤若 冲 菜蟲譜の彩色材 料調査	早川 泰弘 城野 誠治	〃	〃
国宝高松塚古墳壁 画修理後の当分の 間の保存管理方針	建石 徹			報告 モノクローム 写真の明暗から直接 彩色情報を取得する 可能性の検討	吉田 直人 鷹野佳世子	〃	〃
装飾古墳ワーキン ググループの活動	建石 徹 林 正憲			報告 白杵市・下藤 キリシタン墓地にお ける遺構の凍結防止 策	朽津 信明 森井 順之 伊藤 広宣 山路しのぶ 神田 高士	〃	〃
史跡清戸迫横穴の 保存管理の現状と 課題	吉野 高光			報告 うきは市内装 飾古墳の保存環境に ついて	森井 順之 犬塚 将英 石井 東明 吉田	〃	〃
高松塚古墳・キト ラ古墳に関する保 存・活用事業の進 捗状況について	文化庁古墳 壁画室			報告 文化財の表面 における水分蒸発量 の非接触測定システ ムの開発	犬塚 将英	〃	〃
日伊文化財保護協 力事業にかかる専 門家ワークショップ ・国立フィレン ツェ修復研究所等 の視察概要報告	宇田川滋正 林 正憲 田村 朋美 宮下 孝晴			報告 タジキスタン 国立古代博物館が所 蔵するフルブック都 城址出土壁画断片の 保存修復	杉原 朱美 藤澤 明 島津 美子 増田 久美 山内 和也	〃	〃
特集 近代和風建築 その魅力と保護の展 望 事例紹介・保存 修理		〃	614	報告 アジャンター 石窟第2室における 壁画の保存状態と保 存修復のための調査	島津 美子 鈴木 環 樋上 将之 ステファニー・ボ ガン 杉原 朱美 山内 和也	〃	〃
公開活用に配慮し た耐震補強 重要 文化財 旧岩崎家 住宅大広間	加治屋嘉文			報告 アルメニア共 和国ルシャチェン 遺跡から出土した考 古金属資料の腐蝕状 態に関する科学的調 査	藤澤 明 有村 誠 邊羊木尚美 山内 和也 Anelka GRIGORYAN	〃	〃
歴史が息づく「現 役」幼稚園 重要 文化財 愛珠幼稚 園園舎	植木 久			報告 アヤ・イリニ 聖堂の保存環境に関 する調査報告	佐々木淑美 小椋 大輔 吉田 直人 安福 勝 石崎 武志	〃	〃
豪商の大邸宅の修 理 重要文化財 諸戸家住宅	水谷 芳春						
時代の異なる建物 群の修理 重要文 化財 旧鍋島家住 宅	比嘉 健						
水濡れ紙資料の真空 凍結乾燥処理～阪神 ・淡路大震災で被災 した資料の処理例～	魚島 純一	文化財学 報	32				

報告 フィルム保存庫における酢酸霧閉気の改善の試み(2) 酢酸発生源の推定および紙製写真包装材料からの酢酸除去	古田嶋 智子 呂井上 さやか 佐野 千絵	保存科学	53	重要文化財 慈尊院 弥勒堂の保存修理	"	"	"
報告 展示ケース内有機酸濃度のギ酸/酢酸比	呂井上 俊民 佐野 さやか 千絵	"	"	重要文化財 旧西村 家住宅の保存活用計画	"	"	"
報告 津波等で被災した文書等の救済法としてのスクウェルチ・ドライイング法の検討—処理後の塩分残留量について—	小野寺 裕子 古田嶋 智子 佐藤 嘉則 稲葉 政満 木川 りか	"	"	国史跡 熊野三山史跡等保存整備～熊野本宮大社神門ほか4棟の保存修理～	下津健太郎	"	"
トルクメニスタンの考古学と文化財保存学の成果	M. A. マメ ドフ	MIHO MUSEUM 研究紀要	15	国史跡 丹生都比売神社境内史跡等保存整備～若宮・玉垣・玉垣鳥居・木柵の保存修理～	結城 啓司	"	"
アジナ・テパ佛涅槃大像の復元修復(タジキスタン)	V. A. フォ ミヌイフ	"	"	よみがえれ極彩色 ミャンマー バガン遺跡 フン・落書き…進む劣化 日本の修復技術、伝授へ	塚本 和人 朝 日	3.19	
宮崎県総合博物館での害虫モニタリング結果と今後の対策	山田真太郎 佐藤 省吾 岩切 勝彦	宮崎県総合博物館 研究紀要	34	消えゆく壁画 § ミャンマー・バガン遺跡 §	"	"	"
われ発見せり Funori?	福岡安都子	ユリイカ	643	名宝細見 パシェリエンブタハのミイラ エジプト・テーベ出土 布製の棺から古代の若者	後藤 健	"	7.26
美術品のおしゃべりに耳を傾ける Spring—8での分析実験について	四角 隆二	ラピス	34	やっぱり ペルシャ伝来 奈良・古墳出土のガラス碗分析	塚本 和人	"	8.1
特集 震災とミュージアム シンポジウム探録「大震災と文化財 場所、記憶、そして…」	山内 宏泰 村田 眞宏 大島 徹也 清家 三智	R E A R	31	デジタルで文化財保護 遺跡の計測・石室内を再現 シンポで活用例報告	藤井 裕介	朝日夕刊	2.3
科学運動通信 ヤマト政権初期の巨大前方後円墳二基について考える—著墓古墳と西殿塚古墳への立ち入り観察—	白谷 朋世	歴史評論	771	陽明門 浮かぶ素顔 日光東照宮「平成の大修理」彩飾壁画 下地の絵に力感	服部 肇	"	10.9
歴史の眼 文化財保全活動四年目の新展開—長野県北部地震の現場から—	白水 智	"	774	兵庫・朝来 竹田城跡 保護か 活用か 揺れる「天空の城」 年44万人来訪、遺構に傷みも	東 京	1.28	
歴博けんきゅう便 第51回 第八十八回 歴博フォーラム「築何年?炭素で調べる 民家の年代研究最前線」	坂本 稔	歴 博	187	「新装」正倉院 お目見え 100年ぶり修理 11月から公開	"	"	5.17
重要文化財 丹生都比売神社本殿の保存修理	結城 啓司	和歌山県文化財センター年報	2013	微ニモ負ケズ 錆ニモ負ケズ 四年目の被災地から 2 泥中から文化財救う 手掛かりは「小山さんのタグ」	東京夕刊	5.15	
重要文化財 琴ノ浦 温山荘浜座敷ほか2棟の保存修理	下津健太郎	"	"	被災の「吉田家文書」修復終了 国会図書館 岩手に返還	"	"	10.8
重要文化財 東照宮 唐門ほか3棟の保存修理	多井 忠嗣	"	"	四年目の被災地から 師走に祈る 4 再建を区切りに前へ 守った本尊と位牌 つなぐ	"	"	12.26

コロッセオ修復 賛否 敷、コンサート会場に活用か 財源難航も伊						富岡製糸場 世界遺産へ 売らない 貸さない 壊さない 前所有企業、維持に億単位	田ノ上達也		4.27
現代美術修復・再現に苦心 素材にプラウン管 TV チョウが羽化する展示 対応策の共有国内外で進む 生物学者が協力 過程を映像化 予備の機材購入	窪田 直子	日 経	3.22			よみがえった7万ページ 津波で被害 岩手の古文書 国会図書館 2年かけ修復	野島 康祐		9.17
国宝楽器の台座 古文書扱い復元 奈良・興福寺、大理石で			4.6			鄭道昭と縁の刻石「郭静和題字」保存へ 名筆 奇跡の生還 工事中 半世紀ぶり 発見 日中 保護に手を携え	鈴木 義典		11.25
平安期の金字経から真鍮 制作者、材料費ごまかす? 奈良大学が分析			4.22			考古学協会の蔵書 奈良大が受け入れ 6万2000冊分	栗原 俊雄	毎日夕刊	5.29
城を元の姿に 平成の大修復 姫路城「白鷺」の色甦る/名古屋城 木造で本丸再現	田村 広濟		6.21			薬師寺東塔の「心柱遷坐式」奈良	松本 博子		9.8
アンコール遺跡修復カンボジア人主導へ道 開始20年 日本の人材育成策実る			7.12			重文修復現場 公開の動き 滋賀県が先駆け 知名度アップ、職人の技披露	辻本 芳孝	読 売	1.8
芸術と科学のあいだ 25 絵画修復は情報の上書き	福岡 伸一		8.3			野中古墳 甲冑修復 終える	関口 和哉		2.12
敦煌の美 映像で再現 仏像・壁画、現地に見学施設	桑原 健		9.11			装飾古墳 積極的に公開へ 有識者会議が方針			3.19
写真家団体 保存へ動く 作品継承へ体制作り フィルムの劣化・散逸防げ	干場 達矢		9.13			歩く 文書の修復保存@国立公文書館 133万冊 この手で守る 「後世への説明責任 果たす場」	益田 耕平		3.30
文化往来 上賀茂・下鴨両神社、式年遷宮の準備進む			9.27			高松塚古墳壁画 戻すめど立たず 現地保存の原則 揺らぐ地道な研究必要	早川 保夫 清岡 央 関口 和哉		4.2
「弘道館」全面復旧 旧水戸藩校 震災で損壊、耐震補強		日経夕刊	3.27			青銅の発祥 古代コーカサス? 高い合金技術裏付け	清岡 央		6.11
瓦ぶき10万枚 完了 京都 東本願寺			9.12			ニケ舞い戻る 修復作業が終了	三井 美奈		7.9
あすへの話題						西夏文字の文書 保存修復 九州国立博物館、中国と協力	関口 和哉		7.30
修復家	馬淵 明子		9.13			震災後の文化財 2014年夏 下 岩手修理の前に「安定化処理」 津波かぶった資料 「あと10年かかる」	辻本 芳孝		8.13
南蛮屏風下張	古川 洽次		12.8			日本と仏領インドシナ 戦時中の美術品交換 行方不明品 ベトナムで保管	関口 和哉		8.27
デジタル文化財発信 産学官・神社から担い手 保存と公開 両立目指す	茂木 祐輔		11.7			同時出土 ガラス器に「国際色」 奈良県の古墳 原料にササン朝やローマ帝国の特徴	清岡 央		11.26

金剛力士像を保存修理 東大寺		読売夕刊	10.6	古代エジプト神官文字文書のアノテーション付与型データベース：Hieratic Database Project (HDB)の取り組み	永井 正勝				
<b>情報処理</b>									
大英図書館との共同企画によるインターネット特別展「描かれた日清戦争～錦絵・年画と公文書～」	平野 宗明	Archives	54	特集 SNSが拓くミュージアムリテラシー SPECIAL ES-SAY ソーシャルメディアの進化が、ミュージアムを真にソーシャル化する	渡邊 創	Cultivate	43		
国際型ARCモデルによるヴェネチア東洋美術館浮世絵コレクションのデジタル・アーカイブとその全容紹介	赤間 亮 齊藤 ちせ	アート・ドキュメンテーション研究	21	アーカイブと前衛表現の非永続性ephemeralityと資料体の(非)物質化	上崎 千	慶応義塾大学アート・センター年報	21		
SAA2013 ニューオーリンズ大会参加報告記 グティ財団アーカイブズのAV資料保存の事例報告から	筒井 弥生	アート・ドキュメンテーション通信	100	京都市立芸術大学芸術資源センターの活動	加治屋健司	国立国際美術館ニュース	203		
研究会「アート・アーカイブの諸相」に参加して	渡邊 美喜	〃	101	電子展示会「錦絵でたのしむ江戸の名所」	展示委員会 電子展示小委員会	国立国会図書館月報	636		
「ディスカバリー」が開く新たな美術文献探索手段	川口 雅子	〃	102	美術館の情報活動に関する一考察	川口 雅子	国立西洋美術館研究紀要	18		
「ディスカバリー」が開く新たな美術文献探索手段	川口 雅子	〃	102	イドゥートのマスターバ調査プロジェクトにおけるアーカイブシステムの提案	安室 喜弘 松下 亮介 西形 達明 吹田 浩	The journal of CHC*	1		
日本美術院彫刻等修理記録データベースの公開と文化財アーカイブズ	宮崎 幹子	〃	103	建築レコードの目録編成モデル「スタンダード・シリーズ」から考える	齋藤 歩	GCAS Report*	3		
東京文化財研究所「研究資料総合検索システム」リニューアル	橘川 英規	〃	〃	地域に伝わる仏像のハイビジョン映像化とその活用に関する研究	見田 隆鑑 榑 優二	椋山女学園大学研究論集	45		
美術館の周縁 画廊史とアーカイブー最近の関西の動きから	江上 ゆか	ART RAMBLE	43	「牧村史陽氏旧蔵写真」の研究とデジタルアーカイブ化	内田 吉哉	阡 陵	69		
旧・満州で撮影されたチベット仏教美術に関する画像データベース	森 雅秀	明日の東洋学	32	アジアからの美術書誌情報の発信ー東京国立近代美術館・国立西洋美術館 OPACのartlibraries.netにおける公開の経緯とその意義	水谷 長志 川口 雅三 丸川 雄三	東京国立近代美術館研究紀要	18		
パブリック・ドメインを利用した UGC の広がり と著作権法上の制約	清水 利明 鈴木 香織 安田 和史	浮世絵研究*	4	参考資料 メディア連携を企図する館史としての『東京国立近代美術館60年史』ー「美術館の歴史を一冊の参考図書とする」試み再々論 「企画展出品作家総索引」の編集・刊行・公開を中心に	水谷 長志 渡邊 美 布施 喜環	〃	〃		
日本オリエント学会だより		オリエント	56-2	ミュージアムアーカイブズの構築に向けて	佐々木 秀彦 川越 仁恵	東京都美術館紀要	20		
古代エジプト壁画資料のデジタル化：アムドゥアト書の史料化を例として	菊地 敬夫								
東地中海地域の初期キリスト教会堂遺構のデータベース化	江添 誠								

話題 文化財を守り伝えるー日本美術院彫刻等修理記録データベースの公開ー	宮崎 幹子	奈良国立博物館だより	90	宮内庁 所蔵資料ネット公開 デジタル画像約1万点	栗原 俊雄	"	2.19
データベース移行作業	森 洋久	日文研NEWS*	89	資料のデジタル保存で連携 神奈川近代文学館と立命館大	鶴谷 真	"	6.11
シリーズ 新自由主義時代の博物館と文化財 師範学校関係アーカイブスの保存と歴史研究	藤本清二郎	日本史研究	628	<b>文化財行政</b>			
長岡宮復元・体感アプリケーション 在りし日の長岡宮を現地で体感 AR長岡宮	渡辺 博	文化財*	610	from the World 「アブダビ・アート」に見る文化と教育を軸にした国家戦略	長谷川香苗	A X I S	167
特集 古墳壁画の保存と活用2014 装飾古墳の「情報公開」の在り方とは	柳澤伊佐男	"	613	文化財保護の理念と財産権	宮本 知幸	柏原市立歴史資料館館報	26
宇治平等院鳳凰堂4K撮影の試み 2013年6月26日～28日	牟田口章人 宇佐美貴士	鳳翔学叢	10	GHQ/SCAP と工芸技術ー(無形文化財)という概念の誕生をめぐる考察ー	佐藤 直子	京都国立近代美術館研究論集	6
民族学資料の情報化とデジタル化	佐々木四郎	民博通信	147	中世城館調査の現状と課題	京都市市民文化局文化財保護課	公立埋文協会報	52
オリエンタ美術館所蔵品情報の活用	須藤 寛史	ラピス	34	平成25年度研修会事例報告		"	"
特集 本をとどけるcolumn アーカイブの本をとどける	橘川 英規	R E A R	32	1 中世城館の分布調査方法ー佐賀県における調査の方法とプロセスー	宮武 正登		
シリーズ3.11からの歴史学 史料と展示「ひなぎく(国立国会図書館東日本大震災アーカイブ)」の概要とその意味	福島 幸宏	歴史学研究	916	2 分布調査成果ー京都府を例としてー	石崎 善久		
史料紹介 中央アジアのシルクロード都市ダブシア城 ハイテクでアジアの交流史を考える	宇野 隆夫	歴史と地理	674	3 中世城館の整備と活用ー越後国史跡奥山荘城館遺跡の事例からー	水沢 幸一		
特集 正倉院文書の過去・現在・未来		歴 博	185	平成25年度研修会特別報告 東日本大震災復興支援ー支援の現状と課題ー	西岡 誠司	"	"
正倉院文書研究と歴博複製事業の役割	仁藤 敦史			平成26年度総会記念講演 埋蔵文化財行政の現状と課題	禰亘田佳男	"	53
正倉院事務所における古文書調査のあゆみ	佐々田 悠			原発事故下の福島県文化財レスキュー活動	菅野 忠男	絲綢之路	74
正倉院文書の情報化とその意義・未来	後藤 真			文化庁長官就任から1年 2020東京オリンピック・パラリンピック開催と文化振興に向けて 青柳正規長官に新たな施策・方針を聞く	編集部	新美術新聞	1349
宮内庁が政宗書状など公開 あす午後からHPで		東京夕刊	2.27	文化庁の「優れた現代美術の海外発信促進事業」についてー現代美術研究の包括的プラットフォームを目標に	南條 史生	"	1353
国宝の画像ネット公開 京都「東寺百合文書」信長の印入り文書など		日 経	3.2	PARIS 発 世界遺産ー文明論的の視点	安部 雅延	"	1357
電子版の英文機関誌考古学協会が創刊	佐々木泰造	毎日夕刊	2.6				

「文化遺産防災ネットワーク推進会議」が初会合 大規模災害に備え 防災・救出に関する情報共有へ 文化庁補助事業から文化財機構に常置の体制を目指す	栗原 祐司	新美術新聞	1360	歴史的町並みを活用したまちづくり実施地区における地域居住の維持 重要伝統的建造物群保存地区と未選定地区との比較分析	齋尾 直子 齋尾 慈明	日本建築学会論文集	695
2013年度「文化財維持・修復事業助成」事業概要		住友財団 年次報告書	2013年度	修理・修景型の自治体自主制度による修景実態に関する研究	北山めぐみ 山本直彦 平尾和洋 増井正哉	"	706
第1特集 富岡製糸場と絹産業遺産群		世界遺産 年報	20	一名古屋市有松町並み保存地区における外観意匠の類型化と伝統的建造物との対応関係一			
Topic 3 富岡製糸場と絹産業遺産群の登録までの歩み	松浦 利隆			新指定文化財「町田家阿弥陀三尊庚申講供養画像板碑」(上名栗)	(有馬)	飯能文化財時報	142
Topic 5 日本の産業遺産	北河大次郎						
第2特集 シルクロードの全容と登録の意義 “平和の道、シルクロード”の世界遺産登録と日本の関わり		"	"	特集 国宝のすべて 国宝を知るための基礎 Q & A	田端 広英	美術手帖	1013
2014年登録の世界遺産		"	"	TOPICS 2013年から2014年へ向けて 文化政策の新しい展開へ		美術の窓	365
もっと知りたい UNESCO が行う文化・自然関連事業	編集部	"	"	新登録の登録美術品一登録美術品制度発足から15年の年を一	松本 純子	文化財*	604
第38回世界遺産委員会ニュース	"	"	"	新指定の文化財 記念物	文化庁文化財部	"	
				特別史跡の追加指定			605
				史跡の追加指定			"
日本ユネスコ協会連盟の世界遺産活動 アンコール遺跡 石像修復プロジェクトーパイヨン寺院ナーガ像・シンハ像	日本ユネスコ協会連盟 アンコール遺跡の保全と周辺地域の持続的発展のための人材養成支援機構 (JST)	"	"	史跡の指定			612
				名勝の指定			"
				名勝の追加指定			"
				新登録の文化財 記念物	"	"	
未指定の菅公遺品について	南坊城光興	全文連文化財通信	91	名勝地関係・遺跡関係の登録			605
				名勝地関係の登録			613
国立美術館政策の行政改革への対応過程の検証と今後のあり方に関する一考察ー「他法人との統合、業務の民営化」議論と美術館の本質を踏まえた方向性を中心に	小松 弥生	NACT Review*	1	新指定の文化財 建造物	"	"	
				国宝の指定			611、615
				重要文化財の指定			"
				重要文化財の追加指定			611
文化財から市民遺産へ	城戸 康利	七隈史学	16	新選定の文化財 伝統的建造物群 重要伝統的建造物群保存地区の選定	"	"	611、615
遺跡保存とまちづくり	小倉 正五	"	"				
動向 アルメニアの文化遺産分野における日本の国際協力	有村 誠 藤井 純夫	西アジア考古学	15	〈文化財〉取材日記 国境の島で神仏のことを考える	伊藤 和史	本郷	109



とっておき埋文講座 東日本大震災の復旧・復興事業に伴う埋蔵文化財調査に参加して	岡本淳一郎	埋文とやま	127	歴史 海底の文化遺産を探せ 技術・費用の壁/効率的な手法を研究 音波や磁器を活用、データ集め解析	中村 俊介	〃	12.1
特集・武蔵野と富士 志木市田子山富士塚の保存と史跡指定	井上 國夫	武蔵野	353	歴史 文化財調査官ってどんな仕事? 現場重視、保存に奔走 魅力も伝える	藤井 裕介	〃	〃
特集1 国宝の力		目の眼	459	私説 論説室から宝の流出を止めた人々	桐山 桂一	東京	1.22
国宝をもつということ—国宝太刀熊野三所権現長光所有者にきく				変質する「平和」はだしのゲン 都内で撤去請願 教委・議会に14件		〃	2.21
知っておきたい文化財Q&A 美術工芸品編							
高松塚壁画「古墳外で当面保存を」文化庁の検討会、委員の大半、本社調査「劣化防ぐ技術ない」		朝 日	3.9	TOKYO 発 スカイタワー一足元に集まる「お宝」 墨田にミュージアム続々 知られざる「産業観光」にも光	奥野 斐	〃	6.26
「世界貢献」アピール成功 富岡製糸場、登録へ 日本勢のモデルに 市民有志、夢実現へ一体 観光客増への対応手探り	藤井 裕介 選藤 雄二 馬場由美子 長屋 護	〃	4.27	すみだの文化財マップ 6年ぶりに改訂 写真増え分かりやすく	〃	〃	7.24
国宝・重文109件、行方不明 盗難や所有者転居	藤井 裕介	〃	7.5	国際公募展「アートオリンピック」 来年、豊島区で初開催 区役所新庁舎を展示会場に	横井 武昭	〃	9.5
記者有論 シルクロード世界遺産 文化で隣国とつながろう	中村 俊介	〃	9.20				
あのとときそれから失われた宝、文化財保護の礎に 法隆寺長老 高田良信さん 強烈な刺激臭、涙出た	牧村健一郎	朝日夕刊	3.22	来て! 見て! ほくりく 富山・高岡で巡る 銅器や漆器 来月ツアー ものづくりの現場	飯田 克志	〃	9.13
糸の街 喜び紡いだ「ご先祖の遺産、世界の宝に」 富岡製糸場、世界遺産へ 老朽化補修に100億円超も	藤井 裕介	〃	4.26	隅田川兩岸のアート巡り、撮影 きょうからフォトラリー 芸大、台東・墨田区	小形 佳奈	〃	10.4
富岡製糸場 世界遺産へ 絹産業を革新「日本近代化の鍵」 群馬、10年越しの夢	藤井 裕介 長屋 護	〃	〃	消費税首都圏の今 上 公共料金 鉄道など転嫁準備本格化 文化施設、据え置き多く		日 経	1.29
富岡製糸場 世界遺産へ 絹産業を革新「日本近代化の鍵」 群馬、10年越しの夢				文化往来			
国宝・重文 大修理150年ごと 文化庁良好保存へ予算要望	藤井 裕介	〃	7.7	国際交流基金に「アジアセンター」再設立			2.6
京都非公開文化財特別公開 京の宝 あすへ 未来へ	馬場 秀司 司会 伊藤 惟真、 後藤由美子、 田中安比呂、 冷泉貴実子 パネリスト	〃	9.26	ミュージアム・サミット、投資拡大など訴え			2.18
				東京都がアートマネージャー養成講座開催			8.1

平成26年定期刊行物所載文献(総／行政)

おいでよ名作漫画の街 五輪見据えPR 豊島区 区道を「トキワ荘通り」に練馬区 アニメ史体感広場		日 経	2.7	歌舞伎町 アートで彩り 新宿区がプロジェクト 個性的な作品発表の場に	大迫麻記子	〃	4.4
五輪 文化事業も担う ロンドン、都市丸ごと祝日演出 東京、2020年へ議論始動	内田 洋一	〃	3.8	富岡製糸場 世界遺産へ「奇跡的」保存評価 「絹の大衆化」技術を強調	三木 陽介 塩田 彩	〃	4.27
壁画管理徹底し装飾古墳公開を 文化庁部会		〃	3.11	近代化のシルクロード 中日仏の力合わせてアビール	角田 直哉	〃	4.28
石室復元を事実上断念 高松塚壁画、古墳に戻さず 文化庁「現在の技術では困難」		〃	3.28	東京都 漫画を不健全図書に指定 新規制初適用「近親相かん肯定」	川口 裕之	〃	5.13
2020 TOKYO 上野拠点に文化発信 若手芸術家を発掘 「鵜外・漱石とゆかり、遺産色々」 舛添知事に聞く		〃	12.20	富岡製糸場 世界遺産へ「絹産業に革新」 ユネスコに登録勧告 6月正式決定	三木 陽介	毎日夕刊	4.26
障害者のアート支える 独自の配色・造形で注目 厚生省展示や権利の相談窓口		日経夕刊	4.17	バーミヤン大仏「足」で論争 本物の保護か 再建の一步か イタリアで専門家会議	山内 和也	読 売	2.5
琳派、来年で400周年 「価値 世界に伝える」 記念祭委員会を設立		〃	6.2	アニメの画像 歩いてゲット 杉並で開催中 スマホにかざして「一緒に」パチリ		〃	2.21
20年へ文化芸術も強化 文化白書 東京五輪を特集		〃	6.27	富士浅間神社 大雪で破損 世界遺産構成資産 「北口本宮」の屋根		〃	2.25
遠みち近みち 文化施設は誰のものか	中沢 義則	〃	8.9	3年後の記憶 中残された写真 復元の途上 福島文化財救出 なお課題	辻本 芳孝 森田 睦	〃	3.5
広角鋭角 文化財としての景観 1～5		〃	10.15～ 17、20、22	高松塚壁画 古墳に戻さず 文化庁 カビ再発防止 不可能		〃	3.28
輪島塗 金メダル入れにいかが？ 世界へPR 東京五輪の採用目指す		〃	12.25	記者ノート		〃	
高松塚壁画 古墳戻さず 文化庁方針 石室の強度足りぬ	矢追 健介	毎 日	2.1	「古墳県」群馬 県民が調査員	辻本 芳孝		4.2
社説 高松塚古墳壁画 今後に教訓を生かそう		〃	2.2	隠れキリシタンと世界遺産	池田 和正		5.15
府中・武蔵台遺跡 漆紙文書 都文化財に 都内出土で唯一、文字確認	斎川 瞳	〃	3.7	「国立」の意義大きい アイヌの「象徴空間」整備	辻本 芳孝		6.18
高松塚壁画 戻さぬ決定 文化庁検討会「当分の間」	矢追 健介	〃	3.28	世界遺産・ペトラ遺跡 ODAで博物館建設	清岡 央	〃	4.9
				現代美術 台湾勢に存在感 政策が支える才能・需要	井上 晋治	〃	4.10

				美術教育	
日本版「産業革命」の足跡 「世界遺産」富岡製糸場 当初の構成 量産化促した鉄道／「養蚕の神」信仰	辻本 芳孝	〃	6.11		
マンホール 五輪意匠に 都「盛り上げに一役」		〃	6.20	領域の拡大を狙うシンガポール国立大学DICと子供のためのデザイン教育を推し進めるデザインシンガポールカウンシル	中山 雄太 A X I S 167
富岡製糸場 世界遺産決定 ユネスコ「近代化」国内で初近代化遺産の評価向上期待	榎野 健 笹島 拓哉	〃	6.22	産学連携の正しいやり方 プロジェクト	〃
トミオカ 世界の宝文化遺産決定 市民の保全運動 実る6000人パレード 保存と活用の両立を世界史的意義が明快		〃	〃	32：東京藝術大学&花王「GEIDAI DESIGN PROJECT 10年後のライフスタイル」	高橋 美礼 〃
文化財移動 把握進まず 国宝・重文不明 個人所有、半数の62件		〃	7.5	33：女子美術大学&DHC「若者が欲しいと感じる、化粧品と美容家電の提案」	〃 168
文化財レスキュー本部発足 東日本大震災の経験生かす		〃	9.10	34：多摩美術大学、成城大学&東新製作所「研究開発ベースに生まれたプロダクトと市場ニーズをマッチングさせるデザイン開発」	〃 169
伝統芸 無形文化遺産 風化憂える声 大震災3年 記録保存など関係者協議		読売夕刊	3.10	35：首都大学東京&ミサワホーム総合研究所「KADENプロジェクト 未来の住居のための5つの提案」	長谷川香苗 170
富岡 紡いだ宝 世界遺産確実 観光客もお祝い 連休初日朝から続々 研究者「40年の成果認められた」		〃	4.26	36：日本大学芸術学部&タイズ「完全吸引循環式ハンドドライヤーのデザイン開発」	高橋 美礼 171
富岡製糸場 世界遺産へ 網の量産化 評価 6月決定「近代化」国内初 構成施設絞り「完璧」勧告	辻本 芳孝	〃	〃	37：京都精華大学&島津製作所「Feel×ハカル 新しい試験機の提案」	〃 172
製糸場 世界遺産登録待ち 富岡ワクワク 午後にも審議、決定へ	榎野 健	〃	6.21	特集 デザイン思考の誤解	〃 168
国宝・重文109件不明		〃	7.4		
探Q! 所在不明の国宝・重文 刀剣が半数 GHQ 接収 国外流出も「赤羽刀」各地の博物館で公開	辻本 芳孝	〃	10.4	考え、行動しながら、自らを開拓していく 米ハイテクスクールに見るデザイン思考のエッセンス	瀧口 範子
手すきの里 万歳 無形文化遺産 岐阜「本美濃紙」 埼玉「細川紙」 技術伝承に感謝 生産者激減 全国301戸		〃	11.27	カオスパイロットに学ぶ、渾沌な状況を突破するクリエイティブリーダーシップ	大木 綾

特集 ニュークラフ ィディー新たなクラ フトへのアプローチ アレクシス・ゲオル ガコボロス(ICAL学 長)に聞く クラフ トから学ぶべきは何 か	鴨澤 章子 インタビュー ・文	A X I S	170	プロジェクト型教育 と地域伝統産業振興 のためのワークショ ップ・プログラム	佐藤 佳代子 青木 幹太 青木 佳代子 星野 浩司 荒巻 大樹	170	170
from the World 変 わりゆくRCAデザ インプロダクト学科	中島 恭子	"	171	地域産業プロモーシ ョンにおけるプロジ ェクト型教育の実際	青木 幹太 井上 友子 佐藤 佳代子 星野 浩司 荒巻 大樹	"	171
インスピレーション グラフィック 発想 力を喚起するデザ イン—森永製菓「お かしな自由研究」	深沢 慶太	"	172	希望のあかりプロジ ェクト2012	青木 幹太 榎 泰輔 開 理	"	172
projects 学生が設 計する、京料理の新 しいかたち 京料理 しつらえプロジェクト	中村 江里 文 牧野絵理香 編集	瓜生通信	61	地域産業プロモーシ ョン2012—博多人形 のり・デザイン—	青木 幹太 井上 友子 佐藤 佳代子 星野 浩司 荒巻 大樹	"	61
こんな授業やってま す	"	"	"	企業と大学が連携し たキャリア教育・専 門教育を目的とする 人材育成教育プロ グラムの開発	星野 浩司 野藤 彰 佐藤 慈 栗田 融 黒岩 俊 満生 慎二	"	"
演技者としての幅 を広げるために。	川崎 弘果 企画・編集	"	"	地域産業プロモーシ ョンにおける写真作 品制作について	荒巻 大樹	"	"
子どもとつくる、 ファンタジー	"	"	62	ドローイング—その 考察と教育実践	寛 有子 中井 浩史	京都嵯峨 大学 紀要	39
自分のためのワゴ ンをつくる	"	"	"	中国の義務教育「美 術課程標準(2011年 版)」翻訳	張 亜寧	京都市立 芸術大学 美術学部 研究紀要	58
ディスプレイとワ ークショップを通 して、ビジネスを 学ぶ	"	"	"	英語とマンガで表現 する—マンガ専門英 語の取り組み—	リッチモン ド・ステ ーブン 乾 由紀子 渡辺 紀子	京都精華 大学紀要	44
共同研究「小学1年 生を対象とした対話 型鑑賞法による連続 授業の実践について」	鈴木 有紀 吉崎 文子	愛媛県美 術館年報 ・研究紀 要	13	シンガポールにおけ る芸術教育の系譜— 1959年「美術と工芸」 シラバスに基づいて —	佐々木 宰	釧路論集	46
講義におけるアンダ ーグラウンドコミッ クス研究に関する実 践内容と成果	市毛 四朗	大阪成蹊 大学芸術 学部紀要	10	研究小話 「赤のさ わるコレクション」 の作成と活動につ いて	熊谷 ゆう子	群馬の森 美術館ニ ュース	156
芸術大学における法 教育—芸術作品で教 える法教育概念と法 教育教材—	高橋 理子	沖縄県立 芸術大学 紀要	22	特集 美術大学を歩 こう 1 オープン キャンパスを歩いて みよう!	ギャラリー 一*	351	351
大学院教育に於ける 映像メディア演習科 目の実施に向けた研 究	鈴木 浩之 鈴木 康雄 大谷 正幸	金沢美術 工芸大学 紀要	58	企業連携を通じた美 術領域の可能性	井上 友子 佐藤 佳代子 青木 幹太 星野 浩司 荒巻 大樹	九州産業 芸術研究 学会報 告	45
企業連携を通じた美 術領域の可能性	井上 友子 佐藤 佳代子 青木 幹太 星野 浩司 荒巻 大樹	九州産業 芸術研究 学会報 告	45	イスラム世界の美術 教育における人物・ 動物表現 学習者の もつ意識の側面から	箕輪 佳奈恵	"	"

特集 住むことから考える 第3部 住むことからの考える一住むことの現在 今なぜ病院アートー Hospitable in hospital, and beyond...	五十嵐徹也	建築雑誌	1653	研究報告 東京美術学校臨時写真科の経緯について	亀海 史明	東京芸術大学美術館年報	H24年度
特集 教育考—暮らしと社会のエンライトメント 第1部 義務教育と建築教育暮らしを表現する「ビーンズ・ハウス」	玉置 一仁	〃	1657	特集：参加、体験、そして相互作用—教養ゼミナール(ワークショップ)の挑戦		東北芸術工科大学紀要	21
特集 教育考—暮らしと社会のエンライトメント 第2部		〃	〃	教養ゼミナール(ワークショップ)のねらいと展望	白杉 悦雄		
建築専門教育の導入教育としての建築教育 京都大学における設計課題と導入教育—ドローイングとぞうきんがけ	竹山 聖			教養ゼミナール(ワークショップ)での試みと成果	青山ひろゆき		
建築専門教育の導入教育としての建築教育 建築スタジオとその導入部	稲葉 武司			アナログコミュニケーション アートプロジェクトの可能性	花澤 洋太		
特集 教育考—暮らしと社会のエンライトメント 第3部 市民教育としての建築教育 COLUMN 3 建築を語る子どもから学ぶ—「生きた建築ミュージアム・大阪セレクション」 子ども建築鑑賞ツアー	倉方 俊輔	〃	〃	「考え方」を学ぶためのワークショッププログラムの考案と実践	松村 泰三		
遠く目の美術教育を通しての私の韓国との交流	福田 隆眞	コリアナ	21-2	表現者になるための基礎力を身に付ける	屋代 敏博		
インダストリアルデザイン教育の新展開に向けて	黒田 宏治 佐井 磯村	静岡文化芸術大学研究紀要	14	コミュニケーション能力の育成を目指したワークショップの試み	古賀 伸		
領域の統合を目指すデザイン学部教育の試み	的場ひろし	〃	〃	電子黒板を使った幼児参加型デジタル紙芝居の検討	加藤 智也	名古屋芸術大学研究紀要	35
ワークショップ共同討議「なぜ水墨だったのか」報告	南 明日香	ジャポニスム研究	33	イタリア、ピストイア市の統合的な乳幼児教育：「素材」を使った教育活動の発達の意義	星 三和子 上垣内伸子 向井 美穂	〃	〃
自画像の指導における評価に関する実験的研究	西前田 公美 基成	女子美術大学研究紀要	44	幼児教育における玩具を用いたオートマティズム絵画製作について—保育者養成校での造形実践の事例を中心に—	松實 輝彦	〃	〃
講演 創作に向けて—変化と統一	辻 尚子	書道文化	10	教職レディネスを視点とした中等美術科教員養成における実技指導—版表現での実践的指導力形成を図る大学授業の取組を通して—	竹内 晋平	奈良教育大学紀要	63-1
英国の中等教育における美術カリキュラムの編成・実施動向 イングランド中西部の学校における調査から(1994年・2010年)	直江 俊雄	筑波大学芸術研究報告	63	研究室訪問—明日のシーズを訪ねて—大林賢太郎研究室 京都造形芸術大学芸術学部歴史遺産学科文化財保存修復コース		日本画像学会誌	209
				子どもと美術		美術手帖	
				104 木枯らしがふく前に	伊部 玉紀		998

105	中学校編 願いを込めた指輪 づくり	伊部 玉紀	999	「洞窟探検画」—絵画 の起源を探る実験的 ドローイング授業と 絵画基礎授業の両立 の試み	横湯 久美	〃	〃	
106	ゆめ色えのぐ	〃	1000					
107	プラントラ イフ	〃	1002	異分野からみた美術 教育 シリーズ第4 回 歯学と美術	大山 喬史	連盟ニユ ース	450	
108	まどにつく って 楽しくかざ って	〃	1004					
109	和紙ポコン	〃	1005	学校現場における文 化遺産教育の現状と 課題—タイ北部ブレ ー県を事例として—	池田 瑞穂	早稲田大 学大学院 文学研究 科紀要	59	
110	広がれ！ひ らひらシート	〃	1006					
111	芝生とお空 でルンルン♪	木薮 愛	1008	学びを語る 美術教 育 新しい見方に基 づく「鑑賞」	上野 行一 河原田慎一	朝 日	10.22	
112	ふわモコッ hour～	〃	1010	美大 連携で知恵出 す時代 合同の「卒 展」仕事につながる 場に 志願者減で6 大協も発足	大西 若人	朝日夕刊	2.26	
113	土のずこう 土 はみんなの宝物♡	伊部 玉紀	1012					
114	中学校編 先輩の絵に 響く 詩をつける	〃	1014	ジモトカ アート 驚く 地域再生 孫 世代と絵筆 寸劇な ど通じ担い手育てる	安食美智子	東 京	6.28	
115	さわって かわって…そのあ とは？	〃	1016	ぶら～りキャンパス 研究編		〃		
WORLD NEWS				東京工芸大 マン ガ研究 人間観察 や体験に力	沢田 一朗		9.8	
	Players in Art Mar- ket クリスティエ ーズが運営する教育機 関に聞く グローバ ルな視点でアート界 を活性化する方法	藤高 晃右	美術手帖 1000					
	四谷アート・ステュ ディウム開校を／から 考える。	編 集 部	〃 1008	駒沢大・仏教学部 仏画や仏像など幅 広く研究 込めら れた意味を探る	石井紀代美		12.22	
	巻頭特集 デッサン を極める！実践編 (秘技法講座 vol.32 デッサンを考える 美術解剖学とデッサ ン—「かたち」から学 ぶ意義	宮永美知代	美術の窓 366					
	視点 アドビ美術大 学開校	鈴木 依子	〃 369	世界の名門丸ごと誘 致 教授・院生 研 究室単位で 京都工 芸大・北大で始動 日本の研究者に刺激 地道な関係構築 成 功のカギに 政府、 国際評価向上狙う		日 経	6.12	
	創造力・想像力の教 育としての美術教育 の可能性(3)—マキ シン・グリーンの教 育理論より—	幸 秀樹	宮崎大学 教育文化 学部紀要 29・30					
	〔教育実践の報告〕 中学生のための美術 教室「美術部やろう ぜ！」実施内容とま とめ	辻 康介	横浜美術 大学 教育・研究 紀要 4					
	『学習指導要領』の 〔共通事項〕と「基礎 ・基本」に関する一 考察	長谷川 昇	〃 〃					
				京都美術工芸大 文 化財修復プロ育てる 京の伝統産業に即戦 力 3年後、京都市 内に新拠点 職人と 交流進める 新谷理 事長に聞く	岩田 敏則	〃	7.10	
				キャンパスウォーク これが評判！ 明星 大 人財育成目標に デザイン学部開設	柴田 朗 每 日		2.6	
				「子どもの絵は心を 表す」出版	小島 正美	〃	2.20	

くらしナビ 学ぶ 新聞で学ぼう 美術 の授業にも活用 大 阪府立登美丘高校が 「近現代アートに挑 戦」を实践	城島	徹	〃	6.3
こころの書 親子で 学ぶ書の魅力 創玄 書道会の大井錦亭会 長 一人一人丁寧に 指導	上東 中嶋	麻子 真希	〃	8.28
ポップカルチャー アジアへ 角川 台 湾などに専門学校			読 売	7.3

古 美 術		馬瀧本 孟晶之		馬瀧本 孟晶之	
総 記		戯曲本挿絵の世界 明刊本『西廂記』 一挿絵本の華麗なる 発展		馬瀧本 孟晶之	
中 国		版本挿絵の発展と 伝播・拡散 勸戒 図説の図について		小川 陽一	
仏教遺跡「雲岡石窟」 報告書刊行 日中の 研究成果を増補	関口 和哉 読 売	11.6			
日 本			明代の旅游文化と実 景山水図一張宏筆 「越中真景図冊」を中 心に	植松 瑞希	鹿島美術 財団年報 ・別冊 31
テーマ展 新指定文 化財展2010-2014	岩手県立 博物館だ より	142	明代顔輝派の形成と 展開	森橋なつみ	〃 〃
日本美術史入門	太陽(別冊)	日本美術 史入門	特集 日本美術の七 不思議ベスト1「風 神雷神図」に見る宗 達のすべて コラム 宗達、わたしの見方 その2 中国絵画 馬脚を現さないひと	板倉 聖哲	芸術新潮 772
日本美術史へのい ざない	河野 元昭		大特集 大人の修学 旅行は、京都国立博 物館で。僕らの京博 70選! 中国絵画 リニューアルなあ なた	山下 裕二 千 宗屋	〃 779
平安時代	佐野みどり 上野 友愛 永井久美子 三戸 信恵 柳澤恵理子		鄭文英筆 竹石図	海老根聰郎	国 華 1423
鎌倉・南北朝時代	黒田 泰三		高棟筆 夏山雨後図	〃	〃 1428
室町時代	島尾 新		「瀟湘臥遊図巻」から 趙孟頫へ	宮崎 法子	実践女子 大学美学 美術史学 28
京都府文化財保護条 例に基づく新指定・ 登録文化財(第31回)	文化財レ ポート	27	「雲溪仙館図」「仙山 樓閣図」から見る仇 英の山水画風の展開	宮崎 法子 須貝美紗貴	〃 〃
絵 画			欧米美術館における 中国絵画コレクション ーボストン美術館 を例に	板倉 聖哲	ジャポニ スム研究 33
東 ア ジ ア			面賛の楽しみ 第3 回 江天遠意図	芳澤 勝弘	聚 美 11
「連続・反復の美」展 によせて 連続する 文様と反復された図 像の展開について	瀧 朝子	美のた より 187	特集 東山御物の魅 力 日本美の規範 美意識としての「東 山御物」ー中国絵画 を中心に	板倉 聖哲	〃 13
中 国			講演『金瓶梅』挿図 に描かれた生活空間 ーテキストとの比較 から	高井たかね	人 文 61
中国古典文学と挿画 文化		アジア遊 学 171	蔵出し 水墨画の逸 品		水 墨 画*
小説刊本における 版本挿絵の拡がり 周曰校刊『三国志 演義』の挿図につ いて	中川 論		24 馬遠散《竹燕 図》	植松 瑞希	299
小説刊本における 版本挿絵の拡がり 『全相平話』のビジ ュアルワールドー 「上」からみる作品 の素顔	廣澤 裕介		25 沈銓《雪中遊 兔図》	実方 葉子	300
戯曲本挿絵の世界 弘治本『西廂記』 の挿絵について	金 文京		26 湯貽汾《坐石 聽松図巻》	竹浪 遠	301
戯曲本挿絵の世界 明代戯曲刊本の挿 絵について	小松 謙				



河野元昭が選ぶ水墨画50選	河野 元昭	〃		話題 斑文が描かれた如意	永井 洋之	奈良国立博物館だより	88
拾遺編1 人生の孤独に胸を締め付けられる想い 李迪《雪中帰牧図》			303	文徵明《石湖清勝図卷》(嘉靖十一年[一五三二]、上海博物館蔵)について—呉派文人画における名勝図の様相—	都甲さやか	美術史	176
拾遺編2 静の中の動、不動の中の変化—益荒男振りの山水画 伝馬遠《風雨山水図》			304	第67回全国大会研究発表要旨		〃	177
拾遺編3 包容力の大きさ、奥深さをもつ南宋絵画 梁楷《雪景山水図》			305	瀟湘八景の受容の観点からみる伝狩野元信「四季花木草花図下絵山水図押絵貼屏風」	武 瀟瀟		
最終回 拾遺編4 羅漢の心の迷いをイメージ化した個性的作品 牧谿《羅漢図》			306	「山水の変」の新解釈—呉道玄、李思訓、李昭道の役割及び文人山水の起源について—	張 嘉慧		
栄西禅師800年大遠謙記念 栄西と臨済禅『十牛図』を読む—禅修行のプロセス	西村 恵信	太陽(別冊)	215	沈周の早期作画における仿古意識—「九段錦画冊」(京都国立博物館)を中心に—	板倉 聖哲	美術史論叢	30
「画山水序」に潜む論理及び背景	王 俊鈞	多摩美術研究	3	丹青閑話	島尾 新	美術の窓	
2013年、南嶽漫遊	近藤 秀實	多摩美術大学研究紀要	28	第40話—王蒙「具区林屋図軸」			371
唐物と茶の湯 第4回 牧谿の柿	彭 丹	淡 交	841	第43話—梁楷「雪景山水図」			374
総合文化展見どころ案内		東京国立博物館ニュース		相国寺承天閣美術館名品紹介 兪増筆《花鳥図》研究	河野 道房	美術フォーラム21	30
2014年4月・5月 理想の姿で描かれた文人たちの肖像	塚本 鷹充		724	「竹の美」展によせて馬遠款「竹燕図」の位置付けについて	植松 瑞希	美のたより	185
2014年8月・9月 乾隆帝ゆかりの中国絵画 国宝 瀟湘臥遊図巻	〃		726	研究ノート 敦煌莫高窟(早期窟)における莊嚴の一解釈	熊谷 貴史	仏教大学総合研究所紀要	21
2014年8月・9月 後世に影響を与えた斬新な表現 特集 趙之謙の書画と北魏の書—悲翁没後130年—	富田 淳		726	名宝細見 瀟湘臥遊図巻(部分) 李氏筆南宋時代(12世紀) 皇帝が愛した理想郷の姿	塚本 鷹充	朝 日	8.9
「倭寇と倭寇図像をめぐる国際研究集会」報告		東京大学史料編纂所研究紀要	24	神品至宝—台北・故宮展から—2、3、7	〃	産 経	7.15、7.16、8.13
『倭寇図巻』研究の現状と課題—趣旨説明にかえて	須田 牧子			台北故宮「神品至宝」展から 桃花図頁と杏花図頁 南宋時代13世紀	〃	毎 日	7.30
「乍浦・沈荘の役」再考—中国国家博物館所蔵『抗倭図巻』の虚実にせまる	山崎 岳			蕪村幻の水墨画「蜀栈道図」発見 92年ぶり	村松 洋	〃	9.25
				はやわかり「中華の美」上 至高の動機は「気の表現」	板倉 聖哲	読 売	7.23
				中華文明の深さ、広さ 皇帝と文物 多様な関わり	井上 晋治	〃	10.30

平成26年定期刊行物所載文献(古/絵画)

ぎやらいいモール 三井記念美術館「東 山御物の美一足利将 軍家の至宝」から「鴨 図」	樋口 一貴	読売夕刊	10.7	フランス国立図書 館写本室蔵『酒飯 論絵巻』について	ヴェロニッ ク・ペラン ジェ		
日本				中世寺社の空間・テ クスト・技芸 コラ ム 掛幅縁起絵から 見る寺社・景観	田光美佳子	〃	174
江戸時代の望遠鏡と 拡張された視覚の絵 画化	副田 一穂	愛知県美 術館研究 紀要	20	研究ノート 館蔵品 紹介《都鄙図屏風》を めぐって	浦澤倫太郎	アマリス	114
秋田城跡出土の龍絵 塀と人物絵塀の評価	利部 修	秋田県埋 藏文化財 センター 研究紀要	28	眼の極楽10、11、13	榊原 悟	アルカデ イア	59、60、62
中国古典文学と挿画 文化		アジア遊 学	171	駒ヶ根市・光前寺所 蔵の仏教絵画	織田 顕行	飯田市美 術博物館 研究紀要	24
小説刊本における 版本挿絵の拡がり 江戸の『絵本三国 志』は明の『三国 志演義』呉観明本 ・周曰校本をどう 受容したか—人物 描写からみるその 実相	梁 蘿嫻			特集 わける「日本の 絵解き」の諸相	林 雅彦	いすみあ*	6
版本挿絵の発展と 伝播・拡散 明清 版本は日本におい てどう和様化され たのか—日中韓の 比較からみる17世 紀の諸相	入口 敦志			《乗輿舟》の異版と拓 版画作品群について —新出本《乗輿舟》の 紹介を兼ねて—	後藤健一郎	和泉市久 保惣記念 美術館紀 要	19
『酒飯論絵巻』の世界 日仏共同研究 I テ クストとしての『酒 飯論絵巻』			〃 172	近代日本画の構図決 定格子	金子 一夫	一寸	
『酒飯論絵巻』を読 む—イメージの (饗宴)	小峯 和明			(19)一幾何学的構 図形式・狩野興以 と山楽			57
コラム 異本『酒 飯論』の存在	石川 透			(20)一天球院障壁 画・狩野山雪			58
狩野派における「酒 飯論絵巻」の位相 —文化庁本を中心 に	土谷 真紀			(21)一狩野探幽			59
『酒飯論絵巻』の世界 日仏共同研究 II 『酒 飯論絵巻』をめぐ るエクリチュール 食 物本草からみる描か れた食物—『酒飯論 絵巻』から錦絵まで	畑 有紀		〃 〃	(22)一白隠			60
『酒飯論絵巻』の世界 日仏共同研究 III 16世紀：変動する世 界/時代			〃 〃	「芸海余波」から(3) ~(6)銅・石版画遺 聞52~55	森 登	〃	57~60
『酒飯論絵巻』の時 代の都市社会	高谷 知佳			肥満の散聖、二重ま ぶたの美人—喜多川 歌麿筆「娘と童子図」	廣海 伸彦	出光美術 館館報	167
『酒飯論絵巻』から 見た遊びの世界	ワタナベ・ タケシ			私の長谷川等伯研究 ノート	黒田 泰三	〃	168
				仙厓禅師本来の面目 —ある画題の帰結問 題について—	智誠 運	〃	169
				狩野尚信筆「猿曳・ 酔舞図屏風」	宗像 晋作	出光美術 館研究紀 要	19
				俗中の雅—勝川春章 の肉筆美人画に関す る試論	廣海 伸彦	〃	〃
				仙厓晩年の古社寺へ の旅—宗像大社をめ ぐる仙厓作品紹介	八波 浩一	〃	〃
				田能村竹田研究総論	黒田 泰三	〃	〃
				絵師川口月嶺の職務 —盛岡藩「覚書」「御 側雑書」を中心に—	齋藤 里香	岩手県立 博物館研 究報告	31
				智光曼荼羅正本の復 元的考察	高間由香里	印度学仏 教学研究	132

日蓮の本尊論は大曼荼羅か一尊四土か	花野 充道	"	134	平成26年度企画展「桃源郷」一心をあらわす、文化をつなぐ一	"	おおいた 歴博	45	
歌川豊春による浮絵の画歴について	野村 文乃	浮世絵芸術	167	福岡県行橋市・北九州市 豊臣時代資料・史跡調査概報	跡部 北川	信央	大阪城天守閣紀要	41
春梅斎北英画「里見八犬子内一個」の独創性と特異性	持丸 眞弓	"	"	大阪市立美術館蔵「洛中洛外図屏風」(田万家旧蔵本)の研究	知念 理		大阪市立美術館紀要	14
神奈川県立歴史博物館蔵「摺物東海道」について—絵半切の作品群の一例	桑山 童奈	"	168	北斎と名所図会	秋田 達也	"	"	"
講演録 国際浮世絵学会50周年記念・江戸東京博物館20周年記念「大浮世絵展 国際シンポジウム」浮世絵の共同作業と師第一鳥山石燕と喜多川歌麿	ジュリー・ネルソン・デイヴィス	"	"	平成24年度博士論文(課程)要旨 明恵上人と華嚴経絵画	森實久美子		大阪大学大学院文学研究科紀要	54
資料紹介 柳亭種彦「七変化女眼髪」影印と翻刻、解題	佐藤 悟	"	"	大津社寺調査報告 1 新知恩院 新知恩院の絵画	鯨井 清隆		大津市歴史博物館研究紀要	19
研究ノート	浅野 秀剛	"	"	研究ノート 新知恩院本涅槃図における新出の軸木銘について	"	"	"	"
鈴木春信の『絵本鑑艸』 「玉花子」についての記事				收藏品紹介 沙羅双樹の花の色、盛者必衰の理をあらはす。絹本着色仏涅槃図 小野・上品寺所蔵 南北朝時代	"		大津歴博だより	95
海外事情 最近の欧文による浮世絵研究文献 連載13	及川 茂	"	"	学芸員のノートから三井寺の近世仏画、悉皆調査継続中	"	"	"	"
葛飾北斎「諸国瀧廻り」をめぐる一「写生」と「奇想」	日野原健司	浮世絵研究*	4	洲上旭江筆<<五畿七道図>>の修復について	中村麻里子		岡山県立美術館ニュース	104
三代歌川広重に関する一考察—伊東家所蔵資料を中心に—	渡邊 晃	"	"	特別展「光琳を慕う中村芳中」関連特設コーナー 芳中と交流した備讃ゆかりの大坂画人	"	"	"	106
浮世絵から見た歌舞伎、吉原俄、天下祭における相互の関わりと吉原男芸者の役割—河東節 山彦新次郎父子を例として—	日比谷孟俊	"	5	新收藏品紹介 File 03 浦上春琴筆『山水画帖』	"	"	"	107
ハーバード大学の摺物：アーサー・B・デュエルのコレクションに関して	キャサリン・ブルックス	"	"	小樽市総合博物館蔵「林家旧蔵画稿」の成立についての研究ノート	長澤 政之		小樽市総合博物館紀要	27
歌川国貞(三代豊国)《江戸名所百人美女》について	赤木 美智	"	"	翻刻『贈答百人一首』(1)	尾崎玉田 保手宮下 藤川 良介 春香里沙 淳子 巧		尾道市立大学芸術文化学部紀要	13
牛頭山弘福寺所蔵・喜多元規筆「稲葉正則(泰応)像」と伝稲葉正則筆「宝舟図」	藤元 裕二	黄檗文華	133	調査研究ノート vol.18 高松松平家の博物図譜—江戸の動植物図—	松岡 明子		香川県立ミュージアムニュース	24
大楽寺所蔵「仏涅槃図」について	高宮なつ美	大分県立歴史博物館研究紀要	15	『心学早染草』善玉悪玉の影響—天保から幕末まで—	関原 彩		学習院大学人文科学論集	23

平成26年定期刊行物所載文献(古/絵画)

平成25年度 研究発表会発表梗概 権力をもたらす風—『源氏物語』須磨帖・野分帖をめぐる—	菊地 絢子	学習院大学哲学会報	27	元信様山水図の研究	金子 明代	〃	〃
作品研究「京洛三十六家 山水花鳥人物図貼交屏風」(仏教大学附属図書館蔵)	水谷 亜希	学 叢	36	ペリー来航に関わる情報収集活動とその伝播について—画像資料を中心に—	嶋村 元宏	神奈川県立博物館研究報告	41
画家渡辺崋山の心象	鈴木 利昌	崋山会報	32	特別展「白絵—祈りと寿ぎのかたち—」前章	小井川 理	神奈川県立歴史博物館だより	197
渡辺崋山『毛武遊記』9、10	加藤 克己	〃	32、33	神奈川県立近代美術館所蔵 歓喜天曼荼羅について	向坂 卓也	金沢文庫研究	333
田原市博物館収蔵品から 渡辺崋山筆「客坐掌記(天保九年)」9、10		〃	〃	美術交渉としての日本美術史研究と東アジア	中谷 伸生	関西大学東西学術研究所紀要	47
絵巻模写研究の射程—「後三年合戦絵詞」模写群を手がかりに—	楊 曉捷	鹿島美術財団年報・別冊	31	平成25(2013)年度日本及び東洋美術の調査研究報告		関西大学博物館紀要	20
江戸時代の紀州画壇における中国絵画学習の様相	安永 拓世	〃	〃	浦上春琴による文化5年の《蘭亭図》	中谷 伸生		
池田孤邨研究—幕末から明治における江戸琳派の展開の一例として—	太田 佳鈴	〃	〃	横山清暉筆《竹隱幽棲之図》	施 燕		
曾我蕭白筆「雪山童子図」について—『釈迦の本地』、捨身飼虎、庚申信仰との関係を中心に—	ミウオシユ・ヴォズニ	〃	〃	関西大学図書館所蔵《役者絵・相撲絵・風俗画・武者絵・横浜絵等木版画集》	中山 創太		
鈴木其一の画業における画風確立期に関する研究	竹林 佐恵	〃	〃	狩野永岳《牡丹図》	日並 彩乃		
葛飾北斎の相撲絵に関する研究	大久保範子	〃	〃	「飛鳥山暮雪」考	増田 由貴	北区飛鳥山博物館研究報告	16
謠本挿絵の様式的特質とその史的展開	中野 志保	〃	〃	研究ノート 白隠さんの観音さま	中島 雄彦	岐阜市歴史博物館博物館だより	87
狩野探幽「新やまと絵」様式における「同時代的視覚」の問題	柴橋 大典	〃	〃	大願憲海と長谷川家の粉本	松尾 芳樹	京都市立芸術大学芸術資料館年報	23
円山応挙の洋風画学習について	橋本 寛子	〃	〃	平安時代における絵巻物の発生と展開に関する基礎的研究—〈信貴山縁起絵巻〉に関する問題を中心に—	吉田 卓爾	京都市立芸術大学美術学部研究紀要	58
18世紀京都における禪宗寺院復興運動と芸術活動に関する研究—伊藤若冲筆「鬮籠図」(臨江寺蔵)を中心に—	森下 佳菜	〃	〃	石見美術館わたしのおすすめ The Collection 谷文晁《滝図》1827年	椋木 賢治	グラントフニュース	38
周文派の研究—岳翁と五山文学を手がかりに—	城市真理子	〃	〃	作品ひとつ	野田 麻美	群馬の森美術館ニュース	
経絵様式の研究—与田寺本紺紙金字法華経并開結見返絵にみる特殊描法から—	小林 知美	〃	〃	狩野探幽《山水図》(江天暮雪図)			155
				長谷川宗宅《柳橋水車図屏風》			158

伝周文筆「四季山水図屏風」(真宗大谷派名古屋別院蔵)の西湖イメージ	城市真理子	芸術研究	27	大特集 大人の修学旅行は、京都国立博物館で。僕らの京博70選!	山下 裕二 千 宗屋	〃	779
歌川広重の風景表現について一複数の透視図が共存する重層的透視図法一	中曾 政行	〃	〃	平安絵画 美麗仏画とのぞきみ絵巻 鎌倉絵画 写実と理想のあいだ			
特集 日本美術の七不思議ベスト1「風神雷神図」に見る宗達のすべて		芸術新潮	772	雪舟 乱暴力で水墨キング 室町・桃山絵画 狩野ファミリーとその時代			
《風神雷神図屏風》9つのキーワード	安村 敏信			江戸絵画 ひしめくスター画家たち			
1 「琳派」への疑問 光琳は宗達を理解できなかった?	〃			平成修理落成記念大特集 王朝のかがやき、ふたたび 平等院鳳凰堂		〃	780
2 俵屋 都で大評判の「絵屋」	〃			第3章 関白・藤原頼通が求めたものの 鳳凰堂の空間を読む	富島 義幸		
年譜 宗達について知られている7つの事柄				コラム 鳳凰堂は九品曼陀羅だった!?	編集 部		
3 モティーフかたちよければすべてよし	安村 敏信			資料紹介 明和『御蔭参り百人一首』翻刻・影印と解説	所 功	皇学館大学神道研究所紀要	30
コラム 宗達、わたしの見方 その1 医学「絵になる」姿勢の発見	久保 孝富			講演 掛幅縁起絵の世界一中世日本の信仰と絵画一	佐野みどり	皇学館論叢	279
4 ルーツ 大事なことは『平家納経』から教わった	安村 敏信			北山寒巖と馬道良の伝記と画業	勝盛 典子	神戸市立博物館研究紀要	30
5 技法 中国水墨画から「和様の水墨画」へ	〃			研究ノート 鶴亭の印章	石沢 俊	〃	〃
グラフ 養源院で宗達に出会う				絵入根本の成立から定着まで	木越 俊介	国語と国文学	1086
6 形式と構図 宗達のお得意フォーマット	安村 敏信			山陰地域の三十六歌仙絵一手銭家所蔵資料を始発として一	原 豊二	国文学研究資料館紀要 文学研究篇	40
コラム 宗達、わたしの見方 その3 人間関係 京狩野と接点あり!?	五十嵐公一			今月の一冊 June 国立国会図書館の蔵書から 俳優楽屋双六 パーチャル楽屋見学の楽しみ	伊藤 りさ	国立国会図書館月報	639
7 色彩と背景 決め手はコントラスト	安村 敏信			海北友雪と新出の龍虎図屏風	河合 正朝	国 華	1419
コラム 宗達、わたしの見方 その4 金箔 金地画面のつくりかた	野口 康			乾山文人画試論	河野 元昭	〃	〃
8 後継者たち 多才な絵師集団「俵屋」	安村 敏信			雪舟筆 摘星楼図	島尾 新	〃	〃
9 制作年代の謎 《風神雷神図屏風》は晩年の到達点なのか	〃			与謝蕪村筆 四季山水図	佐藤 康宏	〃	〃
わしは浪花の琳派やさかい 中村芳中	〃		775	酒井抱一筆 兎に秋草図襖	樋口 一貴	〃	〃
				伝雪舟筆「四季花鳥図屏風」の成立	中島 純司	〃	1422

平成26年定期刊行物所載文献(古／絵画)

松桜図屏風	佐野みどり	国華	1422	(14)一障壁画一			23
酒井抱一筆 燕子花 図屏風	河野 元昭	" "	" "	(15)一風俗画一			24
葛飾北斎筆 江戸風 俗図 行楽人物図、 楼上座敷図	小林 忠	" "	" "	逸品紹介		"	
日本初期文人花鳥画 試論	河野 元昭	" "	1423	葛飾北斎筆 潮干 狩図	山本ゆかり		23
鈴木春信筆 見立白 衣観音普門童子図 見立玄宗皇帝楊貴妃 図	小林 忠	" "	" "	長沢蘆雪筆 群雀 図	横尾 拓真		24
春日宮曼茶羅	石川 温子	" "	1424	画のなかの文字(6)、 (7)	島尾 新	"	23、24
菱川師宣筆 源氏物 語帯木図	阿美古理恵	" "	" "	歌麿肉筆画の大作「深 川の雪」との邂逅	小林 忠	"	24
研究余録 伊藤若冲 「鳥獣花木図屏風」に ついて一佐藤康宏氏 の問題提起に応じる 一	辻 惟雄	" "	" "	八代将軍・徳川吉宗 の時代における中国 絵画受容と徂徠学派 の絵画観一徳川吉宗 ・荻生徂徠・本多忠 統・服部南郭にみる 文化潮流一	杉本 欣久	古文化研 究	13
池大雅筆 九霞山樵 北遊紀行	岡田 秀之	" "	1427	新収品紹介 松双鶴 文鏡	川見 典久	"	"
平家物語図屏風	柳澤恵理子	" "	" "	平成二十六年度春季 企画展 王朝人の遊 び	中川 明	齋宮歴史 博物館だ より	72
喜多川歌麿筆 深川 の雪	浅野 秀剛	" "	" "	歴史のしおり		埼玉県立 歴史と民 俗の博物 館だより	
研究資料 志水文庫 蔵『六道変相八大地 獄図』一十王・十三 仏信仰にもとづく預 修齊・融通念仏の遺 品一	本井 牧子	" "	" "	江戸の「写」文化	浦木 賢治		25
狩野探幽筆 海棠に 尾長鳥図	松島 仁	" "	1428	歴史のしおり 農 耕図絵馬をどう見 るか?	大久根 茂		26
池大雅筆 武陵桃源 図	河野 元昭	" "	" "	江戸の南嶺派末流 岡本秋暉	伊藤 紫織	採 蓮*	17
予楽院の庭一陽明文 庫所蔵「花木真写」考 一	小野真由美	" "	1429	木崎盛標著作『肥前 国産物図考』の原本 と構成について	山崎 和文	佐賀県立 博物館・ 美術館調 査研究書	38
元信印 四季花鳥図 屏風	辻 惟雄	" "	" "	研究会報告 第2回 研究会 地獄草紙の カリカチュアとして の勝絵	鈴木 裕輔	The Newslet- ter I. J. S.	20
富士浅間曼茶羅図	矢島 新	" "	" "	サントリー美術館蔵 『御ひいな形』につ いて	丹羽理恵子	サントリ ー美術館 研究紀要	2
伝祥啓筆「観音図」 (32幅)にみる鎌倉地 方様式と観音儀法	高橋 真作	" "	1430	サントリー美術館所 蔵「邸内遊楽図屏風」 一その(作者)と制作 場所・年代	池田 芙美	"	"
伝狩野雅楽助之信筆 松下麿香猫図屏風・ 樹下麿香猫図屏風	石田 佳也	" "	" "	礼拝図としての参詣 曼茶羅一御正体に注 目して	上野 友愛	"	"
酒井抱一筆 東下り ・牡丹菊図	松尾 知子	" "	" "	のぞいてびっくり江 戸絵画一科学の眼、 視覚のふしぎ一	池田 芙美 内海 陽子 インタビュー 一構成	サントリ ー美術館 ニュース	249
研究資料 曾我蕭白 ・自画像入り手紙、 2通	木村 重圭	" "	" "	今に通じる人間観	上野 友愛 内海 陽子 インタビュー 一構成	"	250
学芸員から 名品と の出会い[異春]	仙海 義之	国華清話 会会報	23				
鑑賞の勘どころ	河野 元昭 松島 仁 聞き手	" "	" "				

コレクションの扉一 サントリ―美術館の 知られざる名品たち	〃			「後水尾天皇縁起 図屏風(金台皇子 御誕生並御元服ノ 図)」	松島 仁		
vol.1 西川祐信 筆《美人図》—ある いは夢の中の女	久保佐知恵	250		夕霧物語の封印 野分帖の場面選択 が物語るもの	菊地 絢子		
vol.2 高崇谷《雨 宿り図屏風》雨に 集う一降る雨、亮 る鮎	池田 美美	252		狩野家の異変・天文 14年一元信と三人の 息子たち—	松木 寛	〃	10
資料紹介「東洋風俗 画」一巻	稲田 素子	30	滋賀県立 琵琶湖文 化館研究 紀要	聚美滴滴 第9~11 回 宗達経験 第4 ~6回	杉本秀太郎	〃	10~12
特集 光琳画の展開 と受容	此 君*	5		画賛の楽しみ 第2、 4、5回	芳澤 勝弘	〃	10、12、13
法橋叙任以前の光 琳作品について	中部 義隆			聚美トピックス 喜 多川歌麿「深川の雪」 66年ぶりに公開		〃	11
光琳の江戸下りの 成果と意味	仲町 啓子			特集 豊臣の“風景” と洛中洛外図		〃	〃
八橋図屏風考 燕 子花図屏風からの 図様継承をめぐる 問題を中心に	野口 剛			豊臣、その失われ た風景を求めて— 「洛中洛外図屏風」 と「豊国大明神像」 をめぐる試論—	松島 仁		
奢侈と蕩尽へのあ こがれ 「八橋図」 の受容と転生	玉蟲 敏子			太閤時代を偲ぶ屏 風 新出八曲一隻 洛中洛外図屏風	マシュー・ フィリップ ・マッケル ウェイ		
光琳芸術の軌跡 シンポジウム・ 「燕子花図屏風」と 「八橋図屏風」を めぐる検討の試み	河合 正朝			豊臣秀吉の吉野の 花見と吉野花見図 屏風 秀吉の事蹟 と屏風絵の意味	三宅 秀和		
高芙蓉筆 富士川西 岸望富嶽図	福士 雄也	29	静岡県立 美術館紀 要	建築という“工芸 品”—豊臣期大坂 城の装飾に関する 考察—	アントン・ シュヴァイ ツァー 松島 仁 訳		
「紫式部石山詣図」 (宮内庁書陵部蔵)と 『源氏物語寛宴記』	片桐 弥生	14	静岡文化 芸術大学 研究紀要	円山応挙論(前、後 編)	冷泉 為人	〃	11、12
狩野派の組織論	寺本 健三	843	史迹と美 術	特集 東山御物の魅 力 日本美の規範		〃	13
例会報告		6	宗教文化 研究	足利将軍家の肖像 の語るもの—義満 ・義持を中心に	橋本 雄		
(1)十一尊天得如 来について	神崎 寿弘			特集 東山御物の 魅力 日本美の規 範 東山御物から 近世絵画へ—日本 人画家の受容と変 奏	樋口 一貴		
(3)『大和名所図 会』のおもしろさ	森田 恭二			聚美名宝鑑		〃	〃
特集 源氏絵	聚 美	10		I 東山・北野遊 楽図屏風—近世初 期風俗画の傑作	松島 仁		
『源氏物語』の造 形—豊饒なる世界	佐野みどり			II 与謝蕪村筆 蜀棧道図—幻の大 作92年ぶりに確認	岡田 秀之		
狩野光信とやまと 絵、そして源氏絵	三宅 秀和			グラビア解説 金堂 再現壁画	聖 徳		
源氏物語図屏風と 岩佐派の絵師	雨宮六途子						
土佐派源氏絵の一 様相 伝土佐光元 筆源氏物語画帖	野口 剛						

平成26年定期刊行物所載文献(古/絵画)

第1号壁 釈迦浄土図 1面	谷口 耕生	219	蔵出し 水墨画の逸品		〃
第6号壁 阿弥陀浄土図 1面	北澤 菜月	220	27 宮本武蔵《枯木鳴鶴図》	上仁理恵子	302
第9号壁 弥勒浄土図 1面	〃	221	28 久隅守景《笹に菟図》	村瀬 博春	303
第10号壁 薬師浄土図 1面	谷口 耕生	222	29 伝周文《望海楼図》	平木しおり	304
史料紹介 木母寺旧蔵「梅若丸画像」の模写絵について	武田庸二郎	資料館だより	30 桑山玉洲《雪館集飲図》	安永 拓世	305
中世後期の宍粟と仏画	相田 愛子	塵 界	最終回 林十江《花魁遣手婆図》	藤 和博	306
将軍を守る虎たちが睨みを利かせて勢揃い 待ち受ける虎たち～(遠侍)虎の間の障壁画～ 元離宮二条城「築城400年記念展示・収蔵館」平成26年度第1期展示事業		新美術新聞	続水墨画の風景 第17回 水墨画における「水」と表現	島尾 新珠	〃 305
京都・東山・将軍塚青龍殿建立と国宝「青不動明王」御開帳 同時開催 青蓮院青不動復元模写を公開		〃	熊野観心十界曼荼羅とそのルーツ(X)一階層的クラスター分析による別本・模写本の位置づけ	宮川 充司	椋山女学園大学研究論集 45
墨への憧憬		水墨画*	牛馬似絵の意味と機能—中世絵画における畜獣表現と「駿牛図」をめぐる一試論—	森 道彦	朱雀 26
雪村周継《龍虎図屏風》『日本美術の祭典 クリブランド美術館展 名画でたどる日本の美』より	松嶋 雅人	298	6月大会シンポジウム 寛文・延宝期の文化的動態—再編される文と武—		説話文学研究 49
能阿弥《白衣観音図》東京国立博物館本館3室『禅と水墨画』より	救仁郷秀明	301	大名家の絵本享受と絵巻・絵入り本制作の隆盛について	龍澤 彩	
《雪舟自画像(模本)》藤田美術館『開館60周年特別展—序章—』より	前野 絵里	302	寛文・延宝期の軍記物語—延宝5年版『平家物語』から考える—	出口 久徳	
伝小栗宗湛《周茂叔愛蓮図》『コレクション展 涼風献上』より	野口 剛	304	9月例会 実演と講演 消えゆく話芸の世界 絵解き—唱導から見た説話と絵画	林 雅彦	〃 〃
曾我蕭白《鷹図》『曾我蕭白 鳥獣画の探究』より	郷司 泰仁	305	屏風のなかの動物たち—伊藤若冲とその周辺作品をめぐる—	内山 淳一	仙台市博物館調査研究報告 34
酒井抱一《隅田川雪月花図》『酒井抱一—江戸之情緒の精華—』より	宮崎 もも	306	会員通信 梵王山大光明寺	矢野 謙堂	全文連文化財通信 92
《鳥獣人物戯画》『修理完成記念 国宝鳥獣戯画と高山寺』より	赤尾 栄慶	307	平成26年度夏季企画展「角倉素庵と俵屋宗達」を終えて	林 進	阡 陵 69
河野元昭が選ぶ水墨画50選 46～50(最終回)	河野 元昭	〃	陽明門の壁面に宝暦年間の絵画出現		大日光 84
			浮世絵図鑑 江戸文化の万華鏡		太陽(別冊) 214
			江戸のモード	岡本 祐美	
			第1章 美人画の見方	田辺 昌子	
			コラム 江戸の女浮世絵師たち	安村 敏信	



第2章 粋な男たち	〃			第6章 玩具になった妖怪たち	額 綱 くり		
コラム 狩野派VS浮世絵師	〃			コラム 器物の妖怪たち モノに魂が宿ったら	〃		
第3章 豪傑と英雄	田辺 昌子			特集1 幽霊画の名品	安村 敏信		
コラム 「女装」で読み解く役者絵の歴史	安村 敏信			特集2 歌舞伎の幽霊画	〃		
第4章 怪奇と驚異	奥田 敦子			特集3 北斎読本の妖怪・幽霊	日野原健司		
コラム 江戸の妖怪凶鑑	額 綱 久里			日本美術史入門	〃		日本美術史入門
第5章 名所絵をめぐる	大久保純一			COLUMN 日本美術のドラマ 末法の世に釈迦を描く	永井久美子		
コラム ルーツ 浮世絵の岩佐又兵衛	安村 敏信			COLUMN 日本美術のエポック やまと絵の誕生	三戸 信恵		
第6章 日本のかたち	〃			COLUMN 日本美術の謎 源頼朝像の謎	黒田 泰三		
コラム 浮世絵師の墓	大久保純一			COLUMN 日本美術のエポック 都市を描く、土地を描く	島尾 新		
第7章 芸能と興行	森山 悦乃			COLUMN 日本美術のドラマ 描かれた人々	〃		
コラム 浮世絵師のパフォーマンス	大久保純一			COLUMN 日本美術の謎 豊臣家のメディア戦略	〃		
第8章 玩具になった浮世絵	岩崎 均史			COLUMN 日本美術のこころ 写生の意味と楽しみ	河野 元昭		
コラム 一年十二カ月を隠してみました	〃			COLUMN 日本美術のエポック やまと絵と洋風画	〃		
第9章 超絶した技巧	樋口 一貴			COLUMN 日本美術のドラマ 都市のメディア誕生	〃		
コラム 錦絵の値段	大久保純一			日本美術の基礎知識4 仏画のいろいろ	三戸 信恵		
第10章 江戸のネットワーク	樋口 一貴			日本美術の基礎知識5 絵巻の主題と表現の展開	黒田 泰三		
栄西禅師800年大遠諱記念 栄西と臨済禅 第3章 禅と日本文化 禅宗絵画の諸相―禅機図と禅画を中心に	藤元 裕二	〃	215	日本美術の基礎知識6 水墨画の画題	島尾 新		
妖怪図譜 江戸の化物大集合	〃	〃	219	日本美術の基礎知識7 屏風絵の展開と海外のBIOMBO	奥平 俊六		
第1章 江戸の妖怪絵師	日野原健司			日本美術の基礎知識8 墨摺絵から錦絵へ	河野 元昭		
第2章 化物絵巻の名品	安村 敏信			桃山時代	奥平 俊六		
第3章 なごみ系化物の名品	〃			江戸時代	河野 元昭		
第4章 春画の妖怪	白倉 敬彦						
第5章 跳梁跋扈する妖怪たち	日野原健司						

平成26年定期刊行物所載文献(古/絵画)

幕末・明治前期	安村 敏信			2014年2月・3月 日本肖像画史上の 最高傑作 国宝 伝藤原光能像	土屋 貴裕	723
祖師図の研究・東福 寺画僧明兆の作例を 中心に	立畠 敦子	高梨学術 奨励基金 年報	H25年度			
北斎と鳥羽絵	秋田 達也	〃	〃	2014年4月・5月 特別展「栄西と建 仁寺」とあわせて 見たい名画 重文 翠棋書画図屏風	田沢 裕賀	724
館長のつれづれだよ り	河合 正朝	千葉県美 術館ニユ ース C'n				
～浮世絵は何を描 いてきたか～			69	2014年6月・7月 一日の終わり、穏 やかな家族のひと とき 国宝 納涼 図屏風	松嶋 雅人	725
～犬も歩けば ス コットランドでの 狩野一信との出会 い～			70			
江戸の面影 浮世絵 は何を描いてきたの か	田辺 昌子	〃	69	2014年6月・7月 思わず「ぎよつ」と するリアリティ 魚づくし・鮎	田沢 裕賀	〃
新収蔵品作品展 画 人たちの1万時間～ 写生、下絵、粉本類 を中心に～	松尾 知子	〃	〃	2014年8月・9月 博物館で歩く聖地 ・春日野 特集「春 日権現験記絵巻本 I—美しき春日野 の風景—」	土屋 貴裕	726
光琳を慕う 中村芳 中 指頭画とたらし 込みと芳中と	伊藤 紫織	〃	70			
春爛漫 千葉県美術 館所蔵版画100選 I 江戸の桜—浮世絵に 描かれた春	田辺 昌子	〃	〃	2014年8月・9月 歌麿ファン待望! お江戸の美人が勢 ぞろい 重美 青 楼仁和嘉女芸者部 大万度 荻江 お いよ 竹次	田沢 裕賀	〃
江戸へようこそ 浮 世絵に描かれた子ど もたち	〃	〃	71	2014年10月・11月 本館 日本に出会 う 秋風そよぐ黄 金色の野原 重文 秋草図屏風	松嶋 雅人	727
スモールワールド	松尾 知子	〃	〃			
那覇市歴史博物館が 所蔵する横内家資料 の錦絵について～展 覧会に際した資料整 理からの報告～	大城さゆり	壺屋焼物 博物館紀 要	15	史料紹介と研究 村 垣家所蔵の蝦夷地巡 視関係巻子本につい て	東 俊佑	東大画像 史料解析 センター 通信* 66
『平家物語』の絵画化 —個人蔵「一の谷合 戦図屏風」について—	岡部恵理子	哲学会誌	38	玉畹梵芳と墨蘭—室 町時代の禅僧が絵画 に求めたもの—	太田 孝彦	同志社大 学博物館 学年報 45
茶の湯と雪舟作品	影山 純夫	天開図画	10	方広寺大仏殿と三十 三間堂をつなぐ道— 象のいる洛中洛外図 屏風の景観分析—	並木 晴香	〃 〃
茶掛としての日本絵 画—雪舟等楊と松花 堂昭乗	依田 徹	〃	〃			
永青文庫所蔵の伝雪 舟筆山水図について	三宅 秀和	〃	〃	沈南蘋門弟・熊斐の 作品変遷についての 一考察	隈川 明宏	〃 〃
狩野常信筆「草花魚 貝虫類写生図巻」の 制作背景—所収写生 図の年代順の動向と 被写体の提供者につ いて—	小野真由美	東京国立 博物館紀 要	49	根津美術館 新創開 館五周年記念特別展 「名画を切り、名器 を継ぐ—美術にみる 愛蔵のかたち」展	多比羅菜美 子	陶 説 739
総合文化展見どころ 案内		東京国立 博物館ニ ュース		戦国期真宗寺院の本 尊—本願寺実如裏書 の尊形と尊号—	小山 正文	同朋大学 仏教文化 研究所紀 要 33

「柳田賞を受賞して、二題」	蒲池 勢至	同朋大学 仏教文化 研究所報	28	資料紹介 石井文峰 筆「佐渡金山稼方 之図」～二代目歌川 広重の佐渡金山関 係浮世絵との関連を 含めて～	渡部 浩二	新潟県立 歴史博物 館研究紀 要	15
戦国画人郷目貞繁試 論	山田 烈	東北芸術 工科大学 紀要	21	鎌倉後期富延の密教 儀礼と王家重宝―清 浄光寺藏「後醍醐天 皇像」の背景―	坂口 太郎	日本史研 究	620
館藏品紹介 松花堂 昭乗「布袋彈琴図」	久保木彰一	遠山記念 館だより	48	喜多川相説筆「秋草 図屏風」に関する一 試論	岡田 梓	日本女子 大学大学 院紀要 (人)*	20
平成24年度博士論文 要旨 日本近世小説 における挿絵の効力 について―『世間娘 気質』と『滑稽富士 詣』を中心に―	王 学鵬	徳島文理 大学文学 論叢	31	歴史手帖		日本歴史	
長崎の南画家・三浦 梧門の画業について	植松 有希	長崎歴史 文化博物 館研究紀 要	8	高松塚古墳随感― 壁画公開に参加し て―	大津 透		794
口絵 史料紹介 絹 本着色―光三尊像	福島 正樹	長野県立 歴史館研 究紀要	20	パリへ渡ったキリ シタンの聖画―外 海の聖母マリア画 が語るもの―	岡 美穂子		799
新収藏品からII 絹 本着色―光三尊画像		長野県立 歴史館た より	78	調査報告 与謝蕪村 筆「草廬三顧・蕭何 追韓信図屏風」につ いて	鄭 涵云	野村美術 館研究紀 要	23
極楽に往くための絵	山田 伸彦	名古屋市 博物館だ より	211	高松塚古墳壁画見学 断想	浅井 和春	バラゴー ネ	1
《蒙古襲来絵詞》画面 構成の特質	池田 洋子	名古屋造 形大学紀 要	20	例会・研究発表会要 旨 東支部 平成25 年度第5回例会(平 成26年3月8日、学 習院大学)「玉取り 説話」の絵画化につ いて―原基と変成―	谷嶋美和乃	美 学	244
話題 寄付金による 「重要文化財 絹本 著色安東門憲像」(当 館蔵)の修理	谷口 耕生	奈良国立 博物館だ より	89	喜多院本「職人尽 絵 屏風」の制作意図に ついて―近世初期風 俗画との比較からの 考察―	奈良 葉子	〃	245
展示品のみどころ 北斗法作壇用意記	齋木 涼子	〃	90	『君台観左右帳記』と 中国品第論	河野 道房	美学芸術 学	29
奈良絵本「徒然草」の 挿絵について―「な ぐさみ草」との関係 ―	塩出貴美子	奈良大学 紀要	42	2012年度同志社大学 大学院修士論文梗概		〃	〃
高松塚古墳壁画の色 料に関する材料調査 報告	赤田 昌倫 田村 朋美 脇谷 草一郎 降幡 順子 高妻 洋成 吉田 直人 早川 典子 朽津 信明 早川 泰弘 岡田 健	奈良文化 財研究所 紀要	2014	狩野雅楽助之信筆 《松に麝香猫図》屏 風についての考察 ―「山水花鳥画」に みる元信傘下の絵 師の「古様」への志 向―	森 光彦		
『法然上人行状絵図』 に描かれた月輪殿の 庭園	小野 健吉	〃	〃	光琳の歌意図―近 世絵画の一視座―	大竹 悦子		
東大寺大仏蓮弁毛彫 図について	外村 中	南都仏教	99	蘭亭曲水図―狩野山 雪から浦上春琴へ―	中谷 伸生	東アジア 文化交渉 研究	7
連載 龍光院ゆかり の絵画(1)松花堂昭 乗筆「十六羅漢図」	門脇むつみ	南 游 行		歌川国芳の画面構成 ―ワイドスクリーン 作品を中心に―	中山 創太	〃	〃

平成26年定期刊行物所載文献(古/絵画)

新出資料紹介 京狩野家第9代狩野永岳ほか筆 書画貼交屏風	高木 文恵	彦根城博物館研究紀要	24	東京国立博物館所蔵十二月花鳥和歌巻の制作背景について—後水尾院との関係を中心に—	遠藤 楽子		
資料紹介 鷺図 佐竹永海筆 当館蔵	〃	彦根城博物館だより	104	池大雅筆「楡坊園図巻」について—中国の園林文化・別業図の受容と真景図への展開—	横尾 拓真		
研究資料 国立ギメ東洋美術館蔵 大政威徳天縁起絵巻一詞書公刊ならびに影印(中、下)一	綿田 穂 土屋 貴裕 大月 千直 佐藤 冬子	美術研究	411	积迦金棺出現図—所依たるテキストと制作背景—	富岡 優子		
展覧会評 狩野山楽・山雪	鈴木 廣之	〃	412	《餓鬼草紙》(京都国立博物館蔵)の制作背景について—大徳寺伝来《五百羅漢図》を手がかりに—	井並林太郎		
「当麻曼荼羅縁起絵巻」の制作意図をめぐる一試論	成原 有貴	美術史	176	高階隆兼の画業再考—「絵仏師」としての一面に注目して—	橋本 遼太		
相合傘図像の生成—菱川師宣『やまとゑの根元』まで時代を遡りながら考える—	金 志賢	〃	〃	逸見一信筆「五百羅漢図」と増上寺学僧の戒律思想—袈裟と十八物の観点から—	白木菜保子		
京都画壇における鶴派の意義	中野 慎之	〃	177	第67回全国大会招待講演要旨 物語る絵画—絵説きと造形—	村重 寧		
浮世絵師・溪斎英泉錦絵美人画に関する一考察—歌川国貞との比較を中心に—	松田美沙子	〃	〃	埼玉・常光院蔵阿彌陀聖衆来迎図について	西川真理子	美術史研究	52
清原雪信の伝記に関する考察—『古画備考』雪信伝の再検討と「清原氏」をめぐる問題を中心に—	大平有希野	〃	〃	英一蜂の絵俳書『両兔林』について	梅田 真代	〃	〃
第67回全国大会研究発表要旨	〃	〃	〃	安田雷洲の没年及び画業について	内田 洸	〃	〃
「北条氏康像」の筆者について	四宮美帆子	〃	〃	浮世絵師勝川春章の教養と機知—肉筆浮世絵『雪月花』(MOA美術館蔵 重文)に見る古典文学の受容—	横山 昭	美術史論集	14
金刀比羅宮本「なよ竹物語絵巻」に関する一考察—似絵との関係性を中心に—	藤田 紗樹	〃	〃	研究ノート	〃	〃	〃
京都国立博物館蔵「阿国歌舞伎図屏風」に描かれた人々	館野まりみ	〃	〃	岐阜における南嶺派の広がり—一日比野鶴翁と弟子・鶴嶮の活動から—	木下明日香	〃	〃
久隅守景筆「四季耕作図屏風」についての一考察	井上 海	〃	〃	壳立目録にみる蒔絵の琳派意匠	矢野 節子	〃	〃
『松浦屏風』の構図と描写における光琳作品との近似性をめぐって	小田 茂一	〃	〃	論文要旨《修士》長澤盧雪筆《群猿図襖》について	堀 明希	〃	〃
絵俳書『両兔林』を読む	梅田 真代	〃	〃	特集 国宝のすべて—日本—有名な国宝「鳥獣戯画」400年ぶり修理後初、全4巻でお目見え!	赤尾 栄慶 沢田眉香子	美術手帖	1013
鳥文斎栄之の美人画—画風の形成と、独自の表現の確立—	染谷 美穂	〃	〃	連載 日本美術のススメ 今月の逸品	〃	美術の窓	
宮廷御用の幕末	福田 道宏	〃	〃				

重要文化財 伝雲谷等顔「花見鷹狩図屏風」(部分)	尾瀬 和泉	366	酒井抱一の歌仙絵一抱一のやまと絵学習に注目して	宮崎 もも		
喜多川歌麿「深川の雪」	稲垣 朋子	368	浮世絵におけるやまと絵と琳派受容一師宣、春信、そして北斎	藤澤 紫		
伊藤若冲「象図」	宮川 謙一	369				
丹青閑話 第35、38、41話	島尾 新	366、369、372	狩野栄川院典信のやまと絵	小川 裕久		
戌も歩けばbeauに当たる 第53、60回	竹田 博志	366、373	表 表紙解説 尾形光琳《松島図屏風》(部分)	原田 平作	〃	〃
美術解剖学からの学び 頭部を描く コラム 人にも骨にも歴史あり! 日本美術の中の觸體	安村 敏信	373	画聖・雪舟の横顔24~27	島尾 新	美術屋・百兵衛	28~31
			美術の窓127、129	浅野 秀剛	美のたより	185、187
資料紹介1 狩野養川院惟信・伊川院栄信筆《月次図屏風》(東京戸江戸東京博物館蔵)	玉蟲 敏子	美術フォーラム21	研究ノート		〃	
		29	玄証本の転写画像をめぐって	古川 攝一		185
特集 研究報告 宗達の金銀泥絵	滝沢 具幸	〃	江戸時代前期における白描(淡彩)物語絵の展開の一端一住吉派系の作品に注目して一	宮崎 もも		186
特集 やまと絵と琳派の交流	玉蟲 敏子	〃				
§前文§	玉蟲 敏子		桃山・江戸の絵画名品展によせて 光琳筆「鶴図」(大和文華館蔵)について	中部 義隆	〃	186
仏画に見る荘厳とやまと絵	有賀 祥隆					
やまと絵の広がりから尾形流の成立へ	玉蟲 敏子		「社寺の風景」展によせて 聖と俗のあわいの風景一宮曼茶羅から祭礼図へ一	古川 攝一	〃	〃
御伽草子一「語りかける物語絵」展からの報告	渡辺 雅子		酒井抱一展によせて 酒井抱一の初期作品「夢・蝶図」に見る抱一絵画の特質	宮崎 もも	〃	188
中近世移行期のイメージをめぐる一考察一小画面絵画が生み出した造形感覚	龍澤 彩		京都の紙 第2章 平安文芸と紙(3)、(4)	河野 徳吉	百万塔	148、149
伝俵屋宗達筆《月に秋草図屏風》の構成原理一料紙装飾と景物画の観点から	宗像 晋作		蕭白ショック!!その後	道田 美貴	HILL WIND	34
俵屋の宗達	本田 光子		福山市・胎蔵寺木造釈迦如来坐像胎内施入品中の仏教版画について	白井比佐雄	広島県立歴史博物館研究紀要	16
尾形光琳の懐事情	五十嵐公一		小田富彌旧蔵・月岡芳年下絵について	曾田めぐみ	フィロカリア	31
光琳のデザイン	江村 知子		寄稿 蘆雪画の魅力	後藤 清司	風 伯	88
円山応挙とやまと絵の伝統一《藤花図屏風》の基盤をもとめて	野口 剛		收藏品紹介 諸国御札ふり出し双六	増山真一郎	〃	89
中村芳中と琳派一芳中を琳派に位置付けることの意味	福井 麻純		春の江戸絵画まつりと「江戸絵画の19世紀」	金子 信久	府中市美術館だより	39
中村芳中『光琳画譜』をめぐる諸問題	伊藤 紫織		所蔵品から 太田洞玉《神農図》	〃	〃	40
			作品紹介 亀甲山立政寺所蔵・四条堀河下野法印筆「当麻曼茶羅」	藤元 裕二	仏教芸術	332

平成26年定期刊行物所載文献(古/絵画)

山東京伝の黄表紙に見る馬と『仮多手綱忠臣鞍』	津田 眞弓	文学*	15-1	三井文庫本「伊勢参詣曼荼羅」の制作年代について—神宮徴古館本とJ・パワーズ本との比較による—(再録)	清水 実	三井美術文化史論集	7
口絵解説		文化財*					
紙本墨画淡彩寒山拾得図 狩野山雪筆	朝賀 浩		609	鯉絵 災害を乗り越えた笑いの力	小沢絵理子	港郷土資料館だより	73
史跡 清戸迫横穴(七六号墓)壁画	吉野 高光		613	伊藤若冲一族の過去帳、位牌、墓碑銘と『中魚屋町文書』中の記録について	岡田 秀之	MIHO MUSEUM 研究紀要	14
新指定の文化財 美術工芸品 重要文化財の指定 絵画	文化庁文化財部	文化財部	609	若冲派について	〃	〃	〃
表紙解説 キトラ古墳壁画 朱雀	筒井 忠仁	〃	613	清原雪信筆「女房三十六人歌合画帖」について	高垣 幸絵	〃	〃
「源氏物語歌カルタ」考一 『女源氏教訓鑑』との関係一	塩出貴美子	文化財学報	32	調査報告 狩野晴川院養信の宝物模本制作—天保十四年、熱海湯治に関わる模本—	安藤 香織	MUSEUM	648
文化資源学の展望プロジェクト報告 春画展示研究会	木下 直之	文化資源学	12	狩野山雪の蘭亭曲水図—再発見された写真資料を手がかりに—	多田羅多起子	〃	650
表紙 奈良絵本 つれづれ草	つれづれ草	蓬 左	89	歌川国芳「源頼光公館土蜘蛛妖怪図」における図像と構想の源泉をめぐって	曾田めぐみ	〃	653
口絵 職人尽絵 仏師 笛打師 按摩	神居 文彰	鳳翔学叢	10	資料紹介 小綱寺降三世明王像		ミュージアム発見伝	88
平等院鳳凰堂西面扉の彩色材料に関する分析調査	早川 泰弘	〃	〃	研究ノート 豊臣家の哀しみ	知念 理	美をつくし	181
富田文庫における葛飾北斎とその一門の狂歌本について(4)—狂歌本『時鳥三十六歌仙』の書誌紹介、翻刻—柳々居辰斎一門の活動に注目して—	奥田 敦子	北斎研究	53	黄表紙挿絵に見られる「店先の描写」について—看板類を手掛かりに—	鶴岡 明美	武蔵野美術大学研究紀要	44
翻刻 高島千春・魚屋北溪画『三都酒友会』・『得吉方洒瀧』	奥田 敦子 竹村 誠	〃	〃	浦上玉堂・春琴父子の画業を後世に		目の眼	455
小島雪晴筆「ツキノエ肖像画」について	山際 晶子	北海道開拓記念館研究紀要	42	中山道本庄宿戸谷(中屋半兵衛)家所蔵の俳諧一枚摺	兼子 順	文書館紀要	27
『蝦夷古記』について—滋賀県大津市西教寺所蔵の蝦夷地関係資料—	〃	〃	〃	山水屏風と山水図屏風	武田 恒夫	大和文華	126
「倭寇図巻」研究の新展開—「描かれた倭寇」発刊に寄せて—	須田 牧子	本郷	112	司馬江漢の錦絵	浅野 秀剛	〃	〃
高階隆兼の画業再考—彫像への彩色について—	橋本 遼太	待兼山論叢	48	「波」に兔か—「かたち」の記憶の彼方へ	今橋 理子	U P	496
大英博物館蔵『源氏物語小鏡七』の本文と解説	辻 英子	三田国文	59	日本美術史不案内 59、63、68	佐藤 康宏	〃	497、501、506
				名画を切り、明器を継ぐ—美術にみる愛蔵のかたち—	松原 茂	〃	504
				「東山御物の美」展—足利将軍家周辺に展開した中国画のイメージ	樋口 一貴	〃	505

寛政期から文政期初頭における勝川派の相撲絵に関する考察—春英・春亭・春和の検討を通じて—	大久保 範子	横浜美術教育・研究紀要	4	なぜ「キトラ」と呼ばれるのか？	今井 邦彦	4.12
特集1 2013年度国際シンポジウム「幻の「源氏物語絵巻」を求めて・続」		立教大学日本学研究所年報	12	不思議いろいろいつ描かれた？	小滝ちひろ	4.15
「幻の「源氏物語絵巻」を求めて・続」総括	小嶋 菜温子 吉川 美穂 松岡 知華 エステル・レジェール =ポエール 海野 圭介			極彩色の四神 描かれた理由は？	今井 邦彦	4.16
メトロポリタン美術館蔵断簡「葬礼図」試論—個人蔵「源氏物語絵巻」との関連—	松岡 知華			男女の群像 なぜないのか？	〃	4.17
史料・文献紹介『一遍聖絵』	遠山 元浩	歴史と地理	677	どんな画師が描いたのか？	〃	4.19
特集展示 「江戸図屏風」と行列	久留島 浩	歴 博	185	なぜ壁画は取り外されたのか？	小滝ちひろ	4.23
資料 松山城下図屏風		歴博だより	78	名宝細見	〃	
中国画譜と日本文人画—紙閩南海の場合—	近藤 壮	和歌山市立博物館研究紀要	29	天橋立図 雪舟筆室町時代(16世紀)名勝を活写 完成画は焼失？	山本 英男	4.12
当麻寺の綴織当麻曼茶羅図と曼茶羅堂の造営について	金 志虎	早大會津八一記念博紀要*	15	群童遊戯図屏風 曾我蕭白筆 江戸時代(18世紀)のどかな情景 漂う不気味さ	鷺頭 桂	7.19
市島春城印章コレクションから画家の用印—池田孤邨を中心に—	浅井 京子	〃	〃	釈迦金棺出現図 平安時代(11世紀)中国への憧れ 和風の美に	大原 嘉豊	9.6
吉野・吉水神社蔵両界種子曼茶羅—後醍醐天皇と文親房弘真—	内田 啓一	早稲田大学院文学研究紀要	59	山水図 雪舟等楊筆 1495(明応4)年 弟子に贈った「卒業証書」	救仁郷秀明	11.22
身延山久遠寺の伝狩野元信筆障壁画群	古俣 諒	〃	〃	十一面観音像 平安時代(12世紀)華麗な迫力 仏画の傑作	谷口 耕生	12.13
博士論文概要 近世後期の漢詩人研究—菅茶山を中心に—	小財 陽平	〃	〃	松林図屏風 長谷川等伯筆 安土桃山時代(16世紀) 見る人を取り込む空気感	松嶋 雅人	12.20
古都ナビ 宝物編	久保 智祥	朝 日		京都非公開文化財特別公開 双壁が輝いた時 躍動的かつ繊細な等伯一門 江戸狩野の瀟洒端麗な画風 直木賞作家・安部龍太郎さんと巡る		
襖絵「鉢杉図」			3.16			
伝源頼朝像			9.14			
重なる知と欲 秘められた遊び心	増田 愛子	〃	3.17	茂木健一郎さんと見るキトラ古墳壁画 大陸と向き合う日本へのメッセージ 茂木の目 死者への愛、現代人を癒やす	増田 愛子	〃 5.5
特別展 キトラ古墳壁画 シンポジウム「飛鳥美の発見」古代からの絵手紙	青柳 正規 松村 恵司 来村多加史 川野辺 渉 森川 裕一 沢田 正昭	〃	4.6	蕪村「幻の大作」92年ぶり姿「蜀棧道図」シンガポールで発見	〃	9.27
特別展 キトラ古墳壁画		〃		酒井紀美の夢の歴史学 夢は誰のもの見た人のものとは限らない	酒井 紀美	〃 11.15

平成26年定期刊行物所載文献(古/絵画)

be ランキング 北斎が描いた富士山カメラのごとく一瞬を激写	進藤 健一 朝 日	11.22	躍動感あふれる「等伯の馬」	黒沢 綾子 産 経	1.5
キトラ壁画 東へ		朝日夕刊	歴博 千支ちなむ特集展 説話、神事、競馬、軍馬、馬刺し…日本人と深い関わり	磨井 慎吾	1.6
1 中国・朝鮮の文化内包	塚本 和人	1.6	美の扉		1.12
2 研究のバトン 教え子へ	今井 邦彦	1.7	美人・歌舞伎・旅…庶民の夢とともに「大浮世絵展」江戸東京博物館	黒沢 和彦	4.6
3 天文図 源流はどっちか	源流	1.8	宗達が生んだ元祖ゆるキャラ「柴西と建仁寺」東京国立博物館平成館 友松の寺		9.21
美の履歴書		1.8	知性とアイデアが生む鮮烈な色彩 ポストン美術館浮世絵名品展 北斎娘の応為も才能	黒沢 綾子	1.30
337 遠近感を強調したわけ「駿河町越後屋正月風景図」鳥居清長	西岡 一正	1.8	雪村「龍虎図屏風」里帰り	黒沢 綾子	2.6
342 なぜ紅葉しているか「鶯の細道図屏風」深江蘆舟		2.12	葛飾応為「吉原格子先之図」太田記念美術館 浮かび上がる幻の女絵師	黒沢 綾子	5.8
345 なぜ滝が逆巻くのか「那智山大瀑雨景図」鈴木芙蓉		3.5	村外初 東京国立博物館「キトラ古墳壁画」展 実物前に1300年の時を超え	黒沢 綾子	6.19
363 何を話しているのか「徒然草絵巻」第二十巻 海北友雪	山田 優	7.9	「徒然草—美術で楽しむ古典文学」展 今に通じる完成 絵と文で再発見	黒沢 綾子	7.3
376 女性は何をしているのか「今風化粧鏡(眉をかくす女)」歌川国貞		10.15	敗者烈伝 高師直(下) 伝統破壊「南北朝の信長」	伊東 潤	7.17
380 本当に戦っているのか「過去現在絵因果経」作者不詳	西岡 一正	11.12	浮世絵が結ぶ もう一つの世界「江戸妖怪大図鑑」展	黒沢 綾子	1.8
4 [読ん]で知るアート			江戸庶民の旅土産「大津絵」展示会	福岡 範行 東京	2.26
沖縄の表現 中国に学んだ琉球王府の絵師たち	翁長 直樹	2.5	江戸期庶民本 ハワイで発見 九大など調査団 民話「物くさ」ほか貴重21冊		2.10
狩野派	安村 敏信	5.14、5.21、5.28	ライトアップ【伊藤若冲 竹に雄鶏図】		9.17
あのとときそれから失われた宝、文化財保護の礎に	牧村健一郎	3.22	歌川国貞 貴重な初期作 初公開 渋谷・太田記念美術館		11.13
「光琳を慕う 中村芳中」おおらかな「浪花の琳派」	西岡 一正	4.16	歌麿のうちわ絵か		1.22
楽しい鑑賞のスズメ「日本絵画の魅惑」テーマなし「自由に感じて」	山田 優	4.30	庶民芸術の大河を見渡す 大浮世絵展	宮川 匡司 日 経	
酒宴の様 筆致細やか 狩野派の屏風2点発見	佐藤 剛志	12.6	美の美		1.26、2.9
			熊野三山 異界の宝物 上、下	田村 広済	



浮かれ一蝶上、 下	内田 洋一		5.18、 5.25	目は語る 1月 世 界の芸術 浮世絵 遊び心ある知的活動	高階 秀爾	毎日夕刊	1.8
魚との対話上、 中	宮川 匡司		7.13、 7.20	のぞいてびっくり江 戸絵画 激変の時代、 敏感に	岸 桂子	"	4.2
長崎の洋風画上、 中、下	吉田 俊宏		8.24、 8.31、9.7	キトラ古墳壁画 東 京・上野で公開	栗原 俊雄	"	5.13
文化往来 葛飾北斎 の娘、応為の3作品 を日本で展示	"		2.13	江戸博蔵めぐり		読 売	
歌麿 幻の大作見つ かる 1948年から所 在不明「深川の雪」汚 れ修復、箱根で公開 へ	"		3.3	三保松原図 広重 10歳にして富士名 所	江里口友子		1.10
画風の確立 鮮明に 「ボストン美術館 浮世絵名品展 北斎」	宮川 匡司	"	3.5	文政十三寅年閏三 月中伊勢参宮の老 若宮川渡船と往来 人数惣高「御蔭参 り」念願の旅	沓沢 博行		1.17
批評文学の精髓 再 発見「徒然草」展	"	"	6.18	尾張町恵美須屋店 頭図 客寄せの工 夫 今も昔も	我妻 直美		1.31
浮世絵の影響力検証 「ボストン美術館 華麗なるジャポニズ ム展」	"	"	7.16	当時全盛美人揃 若松屋内若鶴 立 て膝にほのかな色 気	"		2.7
ボストン美術館浮世 絵名品展 北斎 独 創の美、鮮麗に 北 斎の魅力 凝縮 秘 蔵の錦絵 初の里帰 り 希少な逸品、魅 力再発見	"	"	9.13	武蔵野小金井桜 順道絵図 花見客 誘う「観光ガイド」	小酒井大悟		2.28
芸術と科学のあいだ (37)北斎、瀑布にベ クトル見いだす	福岡 伸一	"	10.26	都築十左衛門宅 普請絵図 与力屋 敷 トイレ5つ	田原 昇		3.21
渡辺崋山を想う	芳賀 徹	"	12.21	鷄図 絵画好んだ 將軍しのぶ	"		5.9
江戸の面影 画面に 追跡 生活風俗に迫 る浮世絵研究	宮川 匡司	日経夕刊	2.3	中村座三階図 見 せませ 役者の舞 台裏	丸山はるか		5.30
「竹に雄鷄図」は若冲 作 京都・宝蔵寺、 あす一般公開	"	"	2.5	ペリー使節への賜 物書上力士米俵運 搬図入り 黒船に 見せた 日本人の 力	小酒井大悟		6.27
鳥獣戯画全巻 33年 ぶり展示 修理完成 で今秋	"	"	5.27	江戸高名会亭尽 日本橋柏木 料亭 から粋な七夕見物	小山 周子		7.4
歌麿のうちわ絵か 珍しい風景画 江戸 描く 群馬の古書店、 見つける	"	"	11.8	向ふ島ほたるかり の図 夏の風物詩 庶民の娯楽に	遠藤あかね		7.25
狩野派の屏風絵 新 たに2点発見 京都 で報道陣に公開	"	"	12.6	正受院の奪衣婆 流行神どんな願い 事でも	吉田奈緒子		10.31
あすへの話題 南蛮 屏風下張	古川 洽次	"	12.8	名所江戸百景 浅 草田甫西の町詣 格子窓から見た 冬の市	朴 美姫		12.5
歌麿大作 66年ぶり 公開 来月箱根で 晩年の肉筆「深川 の雪」	岸 桂子 小松やしほ 芝村 侑美	毎 日	3.3	野馬追屏風 里帰り 発見の北海道から南 相馬へ 江戸中期の 作か	"		7.13
イタチ愛らしく 江 戸中期・芦雪の大作 発見	清水 有香	"	7.25				

平成26年定期刊行物所載文献(古/絵画)

蕪村の大作 92年ぶり確認「蜀棧道図」シンガポールの会社所蔵		読 売	9.23	朝鮮王朝成宗代における王室周辺仏事の側面—《三帝釈像》(福井・永平寺所蔵)を中心に—	李 智英	デアアルテ	30
狩野派屏風「武士の宴会」重文級 来春に公開		読売夕刊	12.6	資料紹介 豊臣秀吉の朝鮮侵略戦争を描く二種の新出図像資料—「東征図」と『朝鮮日本図説』—	鄭 潔西	年報非文字資料研究	10
ぎやらりいモール	樋口 一貴		1.7	第67回全国大会研究発表要旨 15世紀、朝鮮王朝仏画にみられるチベットの要素をめぐって—昭恵王后による明仏教文化受容の側面—	李 智英	美術史	177
三井記念美術館「楽茶碗と新春の『雪松図』」から 国宝「雪松図屏風」	佐々木英理子		3.4	世界発2014 朝鮮仏画 時経て帰国 半島由来の文化財級 日米から次々 ネットで韓国寺院が購入 日韓交流「こんな時こそ」	中野 晃 朝 日		2.18
板橋区立美術館「探幽3兄弟展」から重要文化財「松図襖・壁貼付」	田沢 裕賀		4.1	その他			
東京国立博物館平成館「榮西と建仁寺」から 重文「雲龍図」	黒田 泰三		5.13	スルターン・アフマド・ジャラーイル詩集の彩飾画	榎屋 友子	国 華	1428
出光美術館「日本絵画の魅惑」から「桜下弾弦図屏風」	稲嶋 朋子		5.20	総合文化展見どころ案内		東京国立博物館ニュース	
岡田美術館「再発見 歌麿『深川の雪』」から「深川の雪」	村木 敬子		7.15	2014年4月・5月 西域のエンジェル 有翼天使像	勝木言一郎		724
五島美術館「祈りの造形展」から「重要文化財 過去現在因果経」	日野原健司		9.9	2014年10月・11月 東洋館 アジアを旅する 天上を優雅に進むインドの神々 ダヤマンテー 姫の婿選びへ行く神々	小泉 惠英		727
太田記念美術館蔵「江戸妖怪大図鑑」から「相馬の古内裏」	森田 睦	読 売	3.26	キジル石窟仏伝図壁画における女人供養図の主題	井上 豪	仏教芸術	333
「榮西と建仁寺」展から 海北友松筆「雲龍図」 爪の先まで宿る迫力	松永喜代文	上、中、下	10.15~17	クジャクのいる風景—レバノン共和国ブルジュ・アル・シャマリ所在T.01-I地下墓の壁面を中心に—	栗田美由紀	文化財学報	32
樹下美人を求めてシルクロード行	大塚 秀高	アジア遊学	171	『ヴァジュラーヴァリー』と「ミトラ百種」曼荼羅集の新資料	田中 公明	密教図像	33
朝鮮				パキスタン岩壁画ピンチ ダム予定地に3万点 調査・移設めど立たず	宮代 栄一	朝日夕刊	3.24
中国古典文学と挿画文化 版本挿絵の発展と伝播・拡散 『中国小説絵模本』に見る中国小説の挿絵	朴 美姫	大阪歴史博物館年報	H25年度	美の美「南蛮」の故郷 上、下	内田 洋一	日 経	12.14, 12.28
新取館蔵資料紹介「朝鮮通信使関係資料 文房具図屏風 李氏朝鮮王朝時代」	石附 啓子	鹿島美術財団年報・別冊	31	世界最古の芸術作品? 約4万年前 インドネシアの壁面		毎日夕刊	10.10
近世における日韓絵画交流の研究—狩野梅笑筆「牡丹流水図」(韓国・国立古宮博物館蔵)を中心に—							
鄭敷筆 七先生詩画帖							

図 像							
アジア全体				敦煌莫高窟唐前期諸窟における西方浄土変相図の展開		八木 春生	" 335
仏教史学会第64回学術大会記念講演「仏像を読み解く—ガンダーラから中国へ—」	宮治 昭	仏教史学研究	57-1	仏像の三段八角蓮華座に秘められた象徴—崑崙山・須弥山・三段台座—	林大澤 玲愛 沢 信	"	336
東アジア				研究ノート 敦煌莫高窟壁画にみるモチーフの関連性—第二八五・二四九窟について—		長谷川智治	仏教大学総合研究所紀要 21
東アジアの音楽文化物語と交流と V 音楽文化史からの視座 迦陵頻伽の美声と図像	淵田 雄	アジア遊学	170	郭巨図攷—呉強華氏藏北魏石床脚部の孝子伝図について—	黒田 彰	仏教大学文学部論集	98
守門像などに見られる鬼面・獣頭、蛇を伴う装身具の表現に関する一考察—特に象頭皮の膝当てについて—	見田 隆鑑	椋山女学院大学文化情報学部紀要	13	日 本			
当麻寺金堂の邪鬼—7世紀~10世紀の東アジア作例の形式分類をもとに—	山田 美季	高梨学術奨励基金年報	H25年度	西明寺系立像十二天像の研究—真長寺本図像復元を中心として—	阪野 智啓	愛知県立芸術大学紀要	43
空飛ぶ馬—東方ユーラシアにおける名馬伝承の起源と展開	杉田 英明	文学*	15-1	『酒飯論絵巻』の世界日仏共同研究 II 『酒飯論絵巻』をめぐるエクリチュール 『酒飯論絵巻』に描かれる食物について	伊藤 信博	アジア遊学	172
中 国				日中韓の武将伝 日本 武将・武士 描かれた異国合戦—『絵本朝鮮軍記』『絵本和田軍記』の挿絵について		藤沢 毅	" 173
隋唐時代における道教・仏教と国家祭祀—皇帝の図像と宗教祭祀を中心に—	雷浅見直一郎	大谷大学真宗総合研究所研究紀要	31	『東福仏通禅師十牛訣』における第7図の解釈	加藤みち子	印度学仏教学研究	132
北京市周辺における遼塔の第一層塔身荘嚴モチーフについて—北京天寧寺塔再考の第一段階として—	水野 さや	金沢美術工芸大学紀要	58	醍醐寺五重塔と両界曼荼羅壁画の表現	真鍋 俊照	" "	
ベルリン国立アジア美術館所蔵トルファン・コレクションの千手千眼観音画像に関する研究	羅 翠恂	高梨学術奨励基金年報	H25年度	綴織当麻曼荼羅の九品来迎図に関する復元的考察	大西磨希子	"	134
興教寺所蔵の唐代石刻線画「搗練図」に関する考察—唐代仕女図における搗練の図様をめぐる—	古田 真一	帝塚山学院大学研究論集	49	「蝦蟇妖術 大蛇怪異 児雷也豪傑譚」図考—蛙の折形とその連続	服部 仁	浮世絵芸術	167
空間論理と視覚意味(下)—宋遼金墓「婦人啓門」図新論—	李西林 清 泉 孝 浩	美術研究	411	玄奘三蔵像研究—中世釈迦十六善神図を中心に—	レイチエル・サンダーズ	鹿島美術財団年報・別冊	31
トルファン・トユク石窟の考古学的新発見—5世紀高昌の仏教図像に関する試論—	李森 裕 群 美 智 代	"	412	清水寺式千手観音の四十手図像に関する調査研究	濱田 瑞美	" "	
「応現観音図」と五台山図	増記 隆介	美術史論集	14	飛天光背の展開	津田 徹英	芸術学	17
京都・知恩院所蔵(観世音菩薩三十二応)のトポグラフィー	呉 永三	仏教芸術	334	曾我蕭白の朝田寺杉戸絵—「猿図」を中心に—	ミウオシユニ・ヴォズニ	国 華	1424
				月をめぐる和歌と絵画—「武蔵野図」と「柳橋水車図」再考	石田 佳也	サントリ—美術館研究紀要	2

美術史料紹介 東寺 観音院金剛藏本(建 武二年写)『諸説不 同記』巻第六(下)翻 刻・校註・影印	津田 加藤 石井 鹿間	徹英 詩乃 千紘 奈	史 友	46	興福寺天燈鬼・竜燈 鬼像の造形的系譜を めぐって	植村 拓哉	仏教大学 宗教文化 ミュージ アム紀要*	10	
失われた法隆寺壁画 の再現研究(統編9 ~12)	松田	真平	聖 徳	219~222	口絵 国宝雲中供養 菩薩像 南24号近代 の変遷	神居 文彰	鳳翔学叢	10	
『是害房絵』の近世一 愛知教育大学チェン パレン・杉浦文庫蔵 『和漢天狗会話』につ いて一	久留島	元	説話文学 研究	49	名宝細見 出山釈迦 如来立像 南北朝時 代(14世紀) 山下り る「人間」ブツダの姿	岩井 共二 朝 日		6.21	
そ の 他									
幽霊画にみる境界の 表現	荒井	保洋	多摩美術 大学研究 紀要	28	クチャ地域の仏教壁 面に見られる花綱モ チーフについて	檜山 智美	仏教芸術	333	
京都・万寿寺所蔵涅槃 変相図試論一兼修 寺院における涅槃図 の可能性一	富岡	優子	デアルテ	30	縁起法頌を伴った泥製 奉獻板(votive tablet) における意匠	那須真裕美	密教図像	33	
《餓鬼草紙》(京都国 立博物館蔵)につい て一第5段の図像と 典拠経典との関係を 中心に一	井並林太郎		美学芸術 学	29	アフガニスタン・カ ーピシーの弥勒菩薩 の図像とその信仰	打本 和音	" "	" "	
文 様									
アジア全体									
2012年度同志社大学 大学院修士論文梗概 蓮華王院宝蔵「六道 絵」再考一(救済)を 見るために一	"	"	"	"	アジアの東西を結ぶ 三五文様の諸相	奥村 純代	京都国立 近代美術 館研究論 集	6	
久隅守景の四季耕作 図に関する考察一東 京国立博物館蔵「耕 作図屏風」の図像と 主題を中心に一	帯刀	菜緒	美術史	176	日本				
第67回全国大会研究 発表要旨 醍醐寺閣 魔天画像に関する一 考察	樋口	美咲	"	177	やきものにみる文様 (45) 桜樹馬文	藤原 友子	セラミック 九州	50	
地 図 ・ 絵 図									
日 本									
《マリア十五玄義図》 再考一「神殿奉獻」場 面を中心に一	宇埜	直子	美術史論 集	14	中世寺社の空間・テ クスト・技芸 寺社 と空間 中世日吉社 の空間と言説	橋本 正俊	アジア遊 学	174	
論文要旨《博士》 北 斗曼荼羅の成立と展 開に関する図像学的 研究	宇代	貴文	"	"	史料紹介 伏見組町 名を載せる近世大坂 絵図	大澤 研一	大阪歴史 博物館研 究紀要	12	
「平治物語絵巻」と 「橘直幹申文絵巻」に 見える「年中行事絵 巻」からの図様転用 について	五月女	恵	美術史論 叢	30	野崎家塩屋歴史館所 蔵「備前国絵図」につ いて	倉地 克直	岡山大学 文学部紀 要	61	
関戸家本「病草紙」に ついての一考察	小林	学	仏教芸術	332	名所図会に記された 京都の「名宝」(1)一 『都名所図会』巻之一 一	市川 彰	尾道市立 大学芸術 文化学部 紀要	13	
「彦火々出見尊絵巻」 の制作動機に関する 一考察一絵巻の基と なった説話と仏画の 図様との共通性に着 目しながら一	五月女晴恵		"	334	館蔵品紹介11 四国 偏礼絵図 全	渋谷 啓一	香川県立 ミュージ アムニュ ース	24	
春日大社所蔵《春日 社寺曼荼羅》の仏尊 表現について	鷹野佳世子		"	336	鎌倉の至宝(17) 重 要文化財 紙本墨書 鶴岡八幡宮修營目論 見絵図 一鋪	浪川 幹夫 鎌 倉		117	

史料紹介 大聖寺藩 土高橋家旧蔵の金沢 城絵図について	庄田 孝輔	研究紀要 金沢城研 究	12	史料散歩 東北大学 附属図書館野文庫 蔵・松原右仲『万国 輿地全図』	桐原 健真	日本歴史	791
特集 フィールドワ ークとツール 古地 図	伊藤 毅	建築雑誌	1665	研究余祿 天文台が 描かれた「江戸城吹 上御庭図」	松尾美恵子	〃	793
談話室「金輪御造営 差図」の合理性—出 雲大社大遷宮にご奉 仕しての所感—	西岡 和彦	国学院雜 誌	1283	收藏品紹介 [新訂 万国全図]	増山真一郎	風 伯	88
談話室「正保寺社絵 図」という仮説—國 學院大學図書館蔵「山 門大絵図」によせて	吉田 敏弘	〃	1286	東大寺山堺四至図の 基礎的研究(2)—絵 図の北半分を中心に—	奥村 茂輝	仏教芸術	335
石見銀山「柵之内」の 推定復元—19世紀前 半絵図史料にみる 「垣松」から—	鳥谷 芳雄	古代文化 研究	22	『五山十刹図』制作 ・将来者再考	野村 俊一	〃	336
口絵写真解説 武州 松山古城之図	大圖 口承	埼玉史談	317	近世中期越前大野城 下町の免割絵図に関 する考察	渡邊 秀一	仏教大学 歴史学部 論集	4
資料紹介 慶長小城 内絵図	竹下 江口	佐賀県立 佐賀城本 丸歴史館 研究紀要	9	『尾張名所図会』と 「清須絵図」	木村 慎平	蓬 左	88
竹内(新)家文書絵図 類の紹介—「羅城門 の記憶展」によせて—	村野 正景	朱 雀	26	栗林荘関連絵図につ いて	御厨 義道	ミュージ アム調査 研究報告	5
「武江染井翻紅軒霧 島之図」の成立年代 について—朝鮮人參 の試作と普及をめぐ って—	秋山 伸一	生活と文 化	23	近世街道絵図「中国 行程記」について	山田 稔	山口県文 書館研究 紀要	41
公開研究集会「海図 と歴史」慶応3年作 成の佐渡「淺淺深絵 図」—近世絵図と近 代海図の狭間—	吉岡 誠也	東京大学 史料編纂 所研究紀 要	24	教室レポート「洛東 高校本山科古図」を 用いた授業	島田 雄介	歴史と地 理	672
業務報告 善光寺地 震により発生した水 害を伝える資料につ いて	山浦 直人	長野県立 歴史館研 究紀要	20	民俗 四国順拝大絵 図	今村 賢司	歴博だよ り	76
文献史料をよむ 絵 図が語る世界		長野県立 歴史館た より	80	考古 石城・竹城図	土居 聡朋	〃	〃
享保日本図作成事業 の一事例—見当山美 濃国笹ヶ岳からの望 視	種田 祐司	名古屋市 博物館研 究紀要	37	名宝細見 日本沿海 輿地図 東北 伊能 忠敬作 江戸時代(19 世紀) 測量の成果 美しさと迫力	田良島 哲 朝 日		7.12
資料紹介 春日井郡 辻村絵図	〃	名古屋市 博物館だ より	208	吉宗命じた日本地図 1725年ごろ完成の測 量原図	目野 創 每 日		5.11
史料紹介 奈良文化 財研究所蔵『古市 氏由来并古市新城之 絵図』について	前嶋 真吾	奈良学研 究	16	伊能の北海道図 測 量は間宮か、1次版 と完成版 全域にず れ 2団体が分析	栗原 俊雄	〃	8.19
萩城下絵図の年代推 定と、18世紀中後期 の藩による武家屋敷 所有・居住状況の把 握について	妻木 宣嗣 曾我 友良 橋本 孝成	日本建築 学会計画 系論文集	703	伊能図の写し 忠敬 との縁	辻本 芳孝	読 売	6.25
				徳川吉宗の日本地図 原図 広島博物館		読売夕刊	5.9
<b>朝 鮮</b>							
				邑の空間構造と絵図 表象—慶尚道・全羅 道を事例に—	上島 智史	海港都市 研究	9

彫 塑							
				大津社寺調査報告1 新知恩院 新知恩院 の彫刻	寺島 典人	大津市歴史博物館 研究紀要	19
中 国				学芸員のノートから ただ今、三井寺の仏 像、仏画の調査と撮 影を実施中	〃	大津歴博 だより	95
東アジアの音楽文化 物語と交流と III 中国音楽の展開 中 国出土の古代楽器と 音楽文化—隋唐墓か ら出土した伎楽俑と 楽器を中心として	王 維坤	アジア遊 学	170	「調査ノート」をめぐ って	中田利枝子	岡山県立 美術館ニ ュース	104
龍門石窟敬善寺洞地 区造像に関する一考 察	八木 春生	泉屋博古 館紀要	30	初公開の仏像と仏画	〃	〃	105
二眼の二郎神	二階堂善弘	東アジア 文化交渉 研究	7	文化財の指定等 新 指定の文化財[木造 智証大師坐像]		香川県文化財年報	H24年度
研究ノート 大和文 華館所蔵の金銅板仏 について—遼の可能 性から	瀧 朝子	美のたよ り	188	修理報告 須磨家旧 蔵の木造菩薩坐像と 像内納入品	浅湫 毅 学 叢		36
雲岡石窟曇曜五窟開 鑿期の仏龕について	熊坂 聡美	仏教芸術	332	高野山麓に所在する 仏像・神像に関する 総合的研究—薬師寺 ・大福寺の仏像群と 感応山—	大河内智之	鹿島美術 財団年報 ・別冊	31
北京天寧寺塔について	水野 さや	密教図像	33	平安時代における吉 祥天信仰・造像に関 する考察—法会と造 像の関連を中心に—	海老澤るり は	〃	〃
研究ノート ひなび た菩薩立像について —一本館蔵山口コレク ション中国彫刻作品 紹介—	齋藤 龍一	美をつく し	182	浄瑠璃寺九体阿弥陀 像を中心とした平安 時代後期の信仰と造 像に関する研究	深沢麻亜沙	〃	〃
名宝細見 弥勒仏立 像 中国・北魏時代 (443年) 迫害逃れた 希少な古代仏	楠井 隆志	朝 日	5.10	飯降薬師磨崖仏の復 原	狭川 真一 柳澤 一宏	元興寺文化財研究 所研究報告	2013
日 本				光明と蓮華	小林 裕子	CHRONOS	36
中世の対馬 ヒト・ モノ・文化の描き出 す日朝交流史 II モノから見た中世の 対馬 対馬の仏像の 諸相	井形 進	アジア遊 学	177	大特集 大人の修学 旅行は、京都国立博 物館で。僕らの京博 70選! 彫刻 京の 個性派たち	山下 裕二 千 宗屋	芸術新潮	779
収蔵品紹介 日吉山 王社神像	浦野加穂子	アルカデ イア	60	平成修理落成記念大 特集 王朝のかがや き、ふたたび 平等 院鳳凰堂 第2章 鳳 凰堂の仏たち 日本の 美の原点	山本 勉	〃	780
口絵解説 立石寺・ 十一面観音立像	織田 顕行	伊 那	1039	ロスからお里帰りし た狛犬も 秋の信楽 で出会う 十犬十色		〃	〃
中世禅宗の土地伽藍 神について—建長寺 ・永平寺像を中心に —	広瀬 良文	印度学仏 教学研究	132	資料紹介 ラトビア 国立美術館蔵の釈迦 如来坐像について	神野 祐太	国際日本 学	11
東寺の立体曼荼羅の 構想	真鍋 俊照	〃	134	特輯 越後の仏像		国 華	1420
木造大応国師坐像と 像内納入品	櫻井 成昭	大分県立 歴史博物 館研究紀 要	15	「越後の仏像」特輯 に当って	関口 正之		
平成26年度企画展 ふるさとのみほとけ —豊前の念仏—	高宮なつ美	おおいた 歴博	46	越後の仏像 関山神社蔵 銅造 菩薩立像	水野敬三郎 藤岡 穰		

日光寺蔵 木造阿 弥陀如来坐像	松田誠一郎			日本美術史入門	太陽(別冊)	日本美術 史入門
寛益寺蔵 木造十 二神将立像	熊田由美子			飛鳥・白鳳時代	金子 啓明	
天昌寺蔵 木造聖 観音菩薩坐像 木 造二天立像	根立 研介			COLUMN 日本美 術のドラマ 仏頭 一数奇な歴史のド ラマ	"	
大泉寺蔵 銅造千 手観音菩薩坐像	"			COLUMN 日本美 術のエポック 當 麻寺の、最古の丈 六の塑像	"	
善導寺蔵 木造善 導大師立像	井上 大樹			COLUMN 日本美 術のこころ 理想 の仏像、薬師寺薬 師三尊像	"	
称念寺蔵 木造一 鎮上人倚像	松田誠一郎			日本美術の基礎知 識2 飛鳥・白鳳 時代の仏像の技法	"	
西照寺蔵 木造親 鸞聖人坐像	武笠 朗			奈良・天平時代	長岡 龍作	
宝蔵寺蔵 木造地 蔵菩薩坐像	水野敬三郎			COLUMN 日本美 術のこころ 大仏 と国分寺	"	
木造釈迦如来坐像	清水 眞澄	"	1424	COLUMN 日本美 術のこころ 室町 時代の仏像	島尾 新	
埼玉・今宮坊蔵飛天 像について—古代の 光背飛天の実例とし て	佐々木康之	サントリ ー美術館 研究紀要	2	興福寺北円堂諸像に 関する研究	高橋沙矢佳	高梨学術 奨励基金 年報
人々の心を支えた宝 物	佐々木康之 内海 陽子 インタビュー ・構成	サントリ ー美術館 ニュース	252	鎌倉における薬師造 像に関する調査研究	西木 政統	" "
佐賀・堀江神社神像 群の造形的特徴とそ の意義について	山下 立	滋賀県立 安土城考 古博物館 紀要	22	美作の狛犬(5)	田淵千香子	津山弥生 の里
江戸六地藏の鑄物師、 太田駿河守藤原正儀 (3)—出自を追う—	石塚 雄三	史迹と美 術	845	学生研究博士後期課 程		東京芸大 保存修復 彫刻年報*
口絵裏解説 木喰作 「弘法大師像」山梨県 立博物館蔵	近藤 暁子	紫 明	35	奈良時代木心乾漆 像における心木構 造の計画性につい て—東京国立博物 館日光菩薩像及び 東京芸術大学月光 菩薩像の模刻制作 を通して—	白澤 陽治	
聚美名宝鑑	伊東 史朗	聚 美		東大寺中性院弥勒 菩薩立像の造像工 程の研究	小島 久典	
獅子狛犬			10	学生研究修士課程	" "	
地藏菩薩半跏像 (木彫)			12	奈良国立博物館蔵 「獅子」—收藏品番 号1311-0 一模刻 制作	井村 香澄	
木食作の聖徳太子像	小松 光江	聖 徳	220	長野県興正寺薬医 門出桁彫物「子持 ち龍」	小野貴登司	
當麻寺中之坊の太子 像	"	"	222	京都府禅林寺(永 観堂)蔵阿弥陀如 来 模刻制作	田之上 愛	
史料紹介 『御開帳 御宝録帳』について —一方広寺大仏に関す る二・三の考察—	芦原 義行	しろあと だより	8	修復研究実績	" "	
引っ越しする仏さま		せんだい 市史通信	32			
会員通信 国宝修理 第1号の御神像	上野 顯	全文連文 化財通信	92			
会員通信 虚空蔵菩 薩と法輪寺	藤本 高全	" "	"			
日光東照宮正面唐門 彫刻小考	入口 敦志	大 日 光	84			

平成26年定期刊行物所載文献(古/彫塑)

千葉県那古寺木造 阿弥陀如来坐像				文化財シリーズ88 市指定文化財 聖観 音菩薩立像		増崎 勝仁	流山市史 研究	91
個人蔵木造天部立 像				流山市旧長福寺愛染 明王坐像の奉納物に ついて		増崎 勝仁	流山市史 研究	22
東京都龍岩寺木造 伝中興上人坐像				展示品のみどころ			奈良国立 博物館だ より	
千葉県那古寺木造 閻魔王頭部								
制作研究実績		東京芸大 保存修復 彫刻年報*	2013年度	菩薩坐像	山口 隆介			88
				弁才天坐像	岩田 茂樹			89
				地藏菩薩坐像	〃			〃
				大威徳明王騎牛像	岩井 共二			90
岩手県天台寺聖観 音菩薩立像				シンポジウム報告 「文化財の解析と保 存への新しいアプロ ーチX」			奈良美術 研究	15
奈良県東大寺法華 堂執金剛神立像3 D及び彩色復元に おける総合的研究				法隆寺西円堂薬師 如来像について	小林 裕子			
東大寺戒壇堂四天 王立像3D及び彩 色復元における総 合的研究				飛鳥大仏のX線分 析と製作技法につ いて	櫻庭 裕介			
調査研究実績		〃	〃					
岩手県天台寺聖観 音菩薩立像				磚積擁壁復原に向け た磚の検討—第一次 太極殿院の復原研究 15—	中川 二美		奈良文化 財研究所 紀要	2014
奈良県靈園山聖林 寺十一面観音菩薩 立像				三徳山三佛寺所蔵木 造勝手権現像につ いて	吉川 聡 児島 大輔		〃	〃
京都府仏華山宝菩 提院願徳寺菩薩半 脚像				運慶の眼と「対比」の 造形思考—興福寺北 円堂無著・世親像お よび東大寺重源上人 像細見一	鈴木 喜博	南都仏教		99
東京芸術大学大学 美術館 興福寺旧 蔵十大弟子心木				左甚五郎	岸田 準二	日本の民 芸		650
奈良県東大寺十二 神将 子神立像				口絵 鉄造阿弥陀如 来立像	川瀬 由照	日本歴史		797
京都府金剛心院如 来立像				観心寺如意輪観音像 再考	佐藤 全敏	美術研究		413
山形県慈恩寺普賢 菩薩騎象像				東寺八幡三神像の制 作背景に関する考察	高橋早紀子	美術史		177
総合文化展見どころ 案内	浅見 龍介	東京国立 博物館ニ ュース		第67回全国大会研究 発表要旨				〃
2014年2月・3月 桜の木から生まれ ました 如意輪観 音菩薩坐像			723					
2014年4月・5月 どこが違う?お顔 を見比べてみよう 不動明王立像			724	唐招提寺伝衆宝王 菩薩立像・伝獅子 吼菩薩立像の造立 意図について	真田 尊光			
白鷹町塩田行屋所蔵 「木造如来形立像」の 保存修復	岡田 靖	東北芸工 大保存修 復センタ ー年報*	5	浄瑠璃寺吉祥天立 像の作風—鎌倉時 代的体勢表現と立 体造形にみられる 特質について—	内山美代子			
白鷹町文化交流セン ター主催「白鷹町の 仏像3 相応院の文 化財」展に関する調 査研究と展示補助業 務	岡田 靖 長坂 一郎		〃	第67回全国大会招待 講演要旨 神像研究 とわたし	伊東 史朗	〃	〃	
				広島・善根寺収蔵庫 の諸像について	濱田 恒志	美術史学		35



連載 ススメ 日本美術の今月の逸品		美術の窓		歴史人 TOPIC 菩薩像頭部に足利尊氏の遺髪か	深谷 美和	歴史人	28
千手観音立像	太田 浩司		367	妖怪化する仏像—江戸期“仏像信仰”の副産物—	今井 秀和	蓮花寺仏教研究所紀要	7
丹青閑話 第36話「亀膠墨」「清頼入雲」墨型	島尾 新	〃	367	探訪古き仏たち		朝 日	
作品紹介 滋賀・西願寺阿弥陀如来坐像について	桑野 梓	仏教芸術	332	普賢菩薩騎象像 大倉集古館 高い品位追求 平安朝の洗練	岸根 一正		1.4
作品紹介 金銅製誕生仏の新例	村田 靖子	〃	336	薬師如来 醍醐寺・靈宝館 草創期しのぼせる厳しい表情	沖 真治		1.11
興福寺南円堂不空罽索観音像の来歴	谷本 啓	〃	334	薬師如来 獅子窟寺 山中に坐す 温和さと厳しき	岸根 一正		1.18
奈良・西方寺薬師如来立像について	奥 健夫	〃	335	千手観音 道成寺 異色の44手、伝説の寺の本尊	〃		2.1
調査報告 知恩院藏阿弥陀如来立像	植村 拓哉	仏教大学宗教文化ミュージアム紀要*	10	阿弥陀如来 願成就院・大御堂 壮年の運慶に北条氏が依頼	沖 真治		2.8
勢観房源智「阿弥陀如来像造立願文」について	工藤美和子	仏教大学歴史学部論集	4	阿弥陀如来 浄楽寺 新時代を体現 運慶の円熟を示す	〃		2.15
観心寺如意輪観音坐像追考—観音の女性性という視点から—	井上 一穂	文化学年報	63	秘仏十一面観音 東大寺・二月堂 光背からしのぶ本尊の麗姿	岸根 一正		2.22
新指定の文化財 美術工芸品 重要文化財の指定 彫刻	文化庁文化財部	文化財*	609	十一面観音 長谷寺 右手に錫杖 高さ10メートルの迫力	〃		3.1
円成寺大日如来坐像 光背 調査報告—平安時代末期の光背とその構造について—	藤曲 隆哉	鳳翔学叢	10	兜跋毘沙門天 東寺(教王護国寺)・宝物館 平安京の正門固めた守護神	〃		3.15
6 竹林寺 木造文殊菩薩及び侍者像(重要文化財)	梶尾 瑞司	埋文こうち	27	仏足石 薬師寺・大講堂 仏陀への思慕 託した古代人	沖 真治		3.22
読売新聞社所蔵の木造妙見菩薩立像について	清水 眞澄	三井美術文化史論集	7	十大弟子 興福寺・国宝館 個性ある6体、遊行聖思わす	岸根 一正		3.29
九条兼実の仏舍利奉納願文にみる興福寺南円堂不空罽索観音像再興の意義	神野 祐太	密教図像	33	古都ナビ 宝物編	〃		
野中寺弥勒菩薩像について—蛍光X線分析調査を踏まえて—	藤岡 穰	MUSEUM	649	五大虚空蔵菩薩像	久保 智祥		1.26
広島・南宮神社神像群と神像の物語性	丸山 士郎	〃	652	東大寺・不空罽索観音坐像	古沢 範英		5.11
愛知県全昌寺藏鉄造地藏菩薩立像に関する総合的研究	黒川 亨 水野明 弘毅 さや素也 松本 隆	武蔵野美術大学研究紀要	44	矢田寺・試地藏菩薩立像	〃		6.22
特集 1 目の眼的春の京都をめぐる旅 白洲正子『十一面観音巡礼』をたどる	青柳 恵介	目の眼	451	名宝細見	〃		
				愛染明王坐像 快成作 鎌倉時代(1256年) 密教儀式通じ 煩惱を悟りへ	岩田 茂樹		4.19

平成26年定期刊行物所載文献(古/彫塑)

十二神将立像 鎌倉時代(13世紀) 精彩を放つ頭上の獣たち	山口 隆介	5. 24	東日本大震災復興祈念特別展 奈良・国宝 室生寺の仏たち被災地に集う五重塔復旧 篤い志に恩返し	中沢 義則	〃	6. 29
菩薩立像 鎌倉時代(13世紀) 水晶の唇、写真しのぐツヤ	丸山 士郎	5. 31	「国宝 醍醐寺のすべて」展		〃	
十一面観音像 お披露目 京都・海住山寺	久保 智祥 朝 日	10. 25	五大明王 山下る憤怒の相 みなぎる盡力 快慶の技 間近に	岡松 卓也		7. 12
奈良時代の面 ドイツで見え 法大教授ら再び 法隆寺から流出か	渡辺 延志 朝日夕刊	9. 27	国宝・重文含む約190件 一堂に多彩な密教の美を凝縮			7. 20
若狭の秘仏 特別公開 福井・1市3町来月24日まで	宮代 栄一	〃	醍醐寺創設者の座像 内部に五輪塔 遺骨も?奈良国立博物館がX線調査		〃	9. 2
京ものがたり はなと東寺の帝釈天さま クールなダーリンに会いたくて	は な	〃	14世紀の木製親鸞像 北陸最古、保存状態 良く 福井の本覚寺		〃	9. 18
美の履歴書 379 何を見つめているか 「制多加童子像」運慶	西岡 一正	〃	白杵の石仏 往時の色復元 60余体すべて描き、言い伝えも添えて冊子に	藤沢 勝美	〃	11. 21
夫婦の日本史 第45回 山内忠義 阿姫幕府と土佐藩結んだ「政略結婚」	渡辺 裕明 産 経	2. 12	雲蝶の彫刻に息のむ躍動感と繊細さ魅力 新潟・魚沼市	土井 誠司 日経夕刊		4. 9
蜂子皇子像初の一般公開	杉浦 美香	〃	らいふプラス トラベルナビ サクランポの里に古刹あり 山形・寒河江市 秘仏 22年ぶり一般公開	川鍋 直彦	〃	5. 14
観音の里の祈りとくらし展 びわ湖・長浜のホトケたち 平安時代から守り継がれて	黒沢 綾子	〃	アート小路 観音の里の祈りとくらし展 独特の仏教文化築き	岸 桂子 毎日夕刊		4. 7
極小 涅槃像 胸に水晶、快慶作?大津の新知恩院で見え		東 京	「紙製地蔵」内に地蔵17体 子供守り仏 女性が願主か 奈良・元興寺		読 売	8. 20
熱気球[興福寺板彫 十二神将像]		〃	醍醐寺開祖像内に五輪塔 内部の空洞に紙包みも		〃	9. 2
江戸期の像内に鎌倉彫刻の頭部 京都・建仁寺塔頭		東京夕刊	運慶・快慶の迫力 「高野山の名宝」展		〃	10. 11
美の美		日 経			〃	
熊野三山 異界の宝物 中一熊野速玉大社 祖霊崇拜の象徴 像に威厳 神宿る岩に火の滝流れる	田村 広濟	2. 2	朝 鮮			
毘沙門天をゆく 上、中、下	吉田 俊宏	3. 16、3. 23、3. 30	総合文化展見どころ案内2014年12月・2015年1月 東洋館 アジアを旅する お墓を守る、かわいい石像 羊	白井 克也 東京国立博物館ニュース		728
手のひらサイズ 快慶作?の涅槃像 大津の新知恩院		〃	シンポジウム報告「文化財の解析と保存への新しいアプローチ X」		奈良美術研究	15

韓国慶州の四天王寺址の創建伽藍と緑釉神将壁塼の復原	李金訳	柱憲志			ガンダーラの出家跡 城図における女神テューケーの図像—そのタイプ分類とヘレニズム時代ギリシアの視座からの新解釈—	芳賀 満	仏教芸術	333
韓国の小金銅仏の材質分析および鍍金技術—慶州地域出土品を中心に—	丁李金訳	珉鎬宝志			アンコール時代の彫像にみる人と神—刻文史料の検討から—	松浦 史明	"	337
東京トリビア 忘れワイド 下 江戸時代 泉鴨で牧羊300頭… 田沼意次 産業化へ挑戦	横井文越田構成	武昭 普之	東京	12.31	アンコールのブレア・カーン寺院における尊像配置とその意味—出入口の浮彫図像と碑文の比較を通して—	久保真紀子	"	"
その他					北西インドにおける金剛手・金剛薩埵と、多臂半跏思惟観音の作例について—インド密教図像形成の様相—	安元 剛	密教図像	33
常設展紹介・その2 小像が伝える壮大な奇蹟	後藤 恒	エスプラナード		177	南インドのヒンドゥー教寺院におけるダクシナー・ムールティ像について	袋井由布子	"	"
岡山市立オリエント美術館所蔵の仏伝浮彫「出家跡城」	前田たつひこ	岡山市立オリエント美術館研究紀要		28	<表紙>翼鬘頭精霊像浮彫 イラク、ニムルド遺跡 紀元前9世紀頃		ラピス	34
マトゥラー—仏の起源と大衆部	西村 実則	三康文化研究所年報		45	土偶・埴輪など			
インド仏教美術における寄進者像	秋山 光文	生活文化研究所年報		27	日 本			
Aspects of Sri Lanka's Footprints of the Buddha	楠本香代子	崇城大学芸術学部研究紀要		7	最近の発掘調査 縄文時代中期の河童形土偶	中山 真治	あるむせお	109
マトゥラーにおける仏誕生の情況について—マトゥラーの神像崇拜をめぐって—	永田 郁	"		"	川合大塚山古墳群表採埴輪の検討	村瀬 陸	関西大学博物館紀要	20
総合文化展見どころ案内	小泉 恵英	東京国立博物館ニュース			収蔵資料紹介 動物土偶	小林 貢	SARANIP	53
2014年2月・3月クメールの超絶技法 榴				723	日本美術史入門 旧石器～古墳時代	原田 昌幸	太陽(別冊)	日本美術史入門
2014年10月・11月東洋館 アジアを旅する 東西交流が生み出したイケメン仏 如来坐像				727	縄文時代中期末葉における土偶衰退・消滅の意義	阿部 昭典	高梨学術奨励基金年報	H25年度
ガンダーラ紀年銘彫刻の製作年代	内記 理	美術史		176	新指定の文化財 美術工芸品 国宝の指定 考古資料	文化庁文化財部	文化財*	609
戌も歩けば beau に当たる 第61回 狛犬のご先祖は獅子だった。	竹田 博志	美術の窓		374	表紙解説 国宝 土偶	原田 昌幸	"	"
福岡市美術館所蔵 アンコール時代の青銅弥勒菩薩頭部について	後藤 恒	福岡市美術館研究紀要		2	特集1 国宝の力 注目のニューフェイス 土偶～東博「日本国宝展」の土偶展示によせて	上野 修一	目の眼	459
					大阪教育大学歴史学研究所蔵の考古資料について(その三)—「仁徳陵附近」と注記のある埴輪資料の紹介—	平田 政彦	歴史研究	51

平成26年定期刊行物所載文献(古/彫塑、書蹟)

関連研究・資料紹介	丹野 拓	和歌山県文化財センター年報	2013	乾武俊氏の収集仮面について—中世在銘資料の紹介とともに—	大河内智之	朝 日	〃	〃
平井遺跡で発見された埴輪窯				名宝細見		朝 日		
双脚輪状紋形埴輪と胡録形埴輪の新資料—平井遺跡出土例について—				伎楽面 呉女・崑崙・力士 飛鳥時代(7世紀) 国際色豊かな 古代の仮面劇	浅湊 毅			11.8
名宝細見 埴輪 掛甲武人 群馬県太田市出土 古墳時代(6世紀) 完全武装、細部まで表現	古谷 毅		朝 日 4.5	行道面 梵天 平安時代(10世紀) 阿闍梨に随行を輝かす	浅見 龍介			11.15
中空土偶頭部を展示 町田市考古セクション				美の履歴書 371 表情が豊かなわけは「孫次郎(オモカゲ)」伝孫次郎作	西岡 一正	朝日夕刊		9.10
カジュアル美術館 火焔土器 東京国立博物館 エネルギーの塊 岡本太郎が見いだした芸術	森本 智之	東京 5.18		和のかたち 能面 200種類以上、表情様々	塩崎淳一郎	読 売		12.26
美の美 土偶の1万年 上、中、下	田村 広済	日 経	8.3,8.10,8.17	<b>書 蹟</b>				
<b>面</b>				<b>中 国</b>				
<b>日 本</b>				日本における張即之書法の受容について—「手鑑」所収の断簡を中心に—	峯岸 佳葉	鹿島美術財団年報・別冊		31
木村定三コレクション 仮面目録	田邊三郎助 小池富雄 長崎久保 智康	愛知県美術館研究紀要	20	究極の印字書体の研究	高橋トオル	京都精華大学紀要		44
大分県の宇佐神宮が所蔵する能面の彩色に関する科学的調査	石川 優生 平尾良光 元永裕喜	大分県立歴史博物館研究紀要	15	漢代における瓦当の文字の多様な書法について	安生 成美	芸術学研究(筑波)		19
面袋に見る能面の伝来	杉山未菜子 花田美穂 門脇幸恵	国立能楽堂調査研究	8	修士論文概要・修了作品		修士論文・修了作品 博士論文 研究集録		H25年度
正倉院乾漆伎楽面の構造・技法についての研究—試作・実験による考察—	山崎 隆之 岡田文男	正倉院紀要	36	信行禪師碑書法の研究—薛稷評価の再検討—	大嶋 英里			
乾漆伎楽面の製作技法—乾漆第20号を中心として—	山片唯華子	〃	〃	趙孟頫の書法観—王羲之に関する題跋を中心に—	中村亜由視			
平成二十五年度下総歴史民俗資料館企画展『迎接寺の鬼舞面』		資料館だより	6	王鐸の書法論—軸線を中心に—	入山 征弘			〃
制作研究実績 早稲田大学坪内博士記念演劇博物館 正倉院「婆羅門(木彫1号)」復元模造事業		東京芸大保存修復彫刻年報*	2013年度	〈勢〉に関する術語の研究—漢より唐にかけての書論を中心に—	陳 柏仗			
調査報告 野村美術館蔵の能面について	田邊三郎助	野村美術館研究紀要	23	米芾の平淡の研究	中村 薫			
素描 仮面位相論	乾 武俊	和歌山県立博物館研究紀要	20	書写内容から見た楚系肉筆文字の書法差について	天野 太輔	書芸術研究		7
				西泠八家の印譜編纂史における『西泠七家印譜』	正岡 知晃			〃

現代中国書法事情267 榮寶齋美術館	種谷 萬城	書道界	293	ルボ「郭静和題字」半 世紀ぶり発見 書道 史残る貴重な刻石 鄭道和の書か?意見 割れる	桐山 正寿	毎日夕刊	7.7
修士論文要旨 出土 資料から見る書体 の変遷—簡牘類を中心 として—	大住論紀仁	書道文化	10	書の世界	〃	〃	
書の時代性に関する 学説の展開(1)	杉村 邦彦	書論	40	趙之謙の書画と北 魏の書 人物や故 事来歴に誘われて			8.14
戦国秦～漢初における 書体の変遷—秦隸 ・草隸の発生をめぐ って—	横田 恭三	〃	〃	故宮博物院の特別 展「神品至宝」皇帝 の粋を体感			9.4
顔真卿書法を受容と その転換点	成田健太郎	〃	〃	ぎやらりいモール 東京国立博物館平成 館「台北故宮博物院 —神品至宝」から「草 書書譜巻」	富田 淳	読売夕刊	7.8
董其昌「書の時代性」 説成立の背景—唐人 書に存する「法」の称 揚に着目して—	尾川 明穂	〃	〃	日 本			
阮元の「南北書派論」 執筆背景にあるもの	草津 祐介	〃	〃	『酒飯論絵巻』の世界 日仏共同研究 I テ クストとしての『酒 飯論絵巻』『酒飯論 絵巻』の詞書と『和漢 朗詠集』—典拠をめ ぐる試論	増尾伸一郎	アジア遊 学	172
「帖学期」・「碑学期」 再考—清代に著され た書法史論の高潮期 について—	菅野 智明	〃	〃	すぼっと展示 発掘 された奈良時代の暦	深澤 靖幸	あるむぜ お	110
唐物と茶の湯 第5 回 破れ虚堂	彭 丹	淡交	842	日本古写経本『統高 僧伝』	池 麗梅	いとくら	9
晚清官僚の応酬書法	白松村 謙慎 茂樹 訳	中国近現 代文化研 究	15	岩屋寺高僧伝頭注— 引書考証ならびに切 韻系韻書考—	佐藤 礼子	〃	〃
総合文化展見どころ 案内2014年4月・5 月 書は、芸術へと 発展する 漢時代の 書	富田 淳	東京国立 博物館ニ ュース	724	古写経紹介	池 麗梅	〃	〃
聖語蔵の『宝雨経』— 則天文字の一資料	大西磨希子	敦煌写本 研究年報	8	その9 鶴見大学 蔵石山寺一切経本 『統高僧伝』巻8	上杉 智英	〃	〃
特集 台北國立故宮 博物院 PART 1 COLUMN 1 台北 國 立故宮博物院 副院 長 何伝馨に聞く 書の楽しみ方とは?	岩切 滢	美術手帖	1007	その10 本学日本 古写経研究所蔵 『統高僧伝』巻22	南 宏信	〃	〃
名宝細見		朝 日		調査日記 佼成図書 文書館	伍 小劼	〃	〃
樵隱悟逸墨蹟 与 無夢—清僞 中国 ・元時代(1332年) 大陸で悟り得た禅 僧の足跡	丸山 猶計		6.7	「日本古写経を利用 した仏典研究への助 成」成果紹介 日本 古写経を用いた『大 灌頂経』の研究	野本 覚成	叡山学院 研究紀要	36
行書三帖巻 米芾 筆 中国・北宋時 代(11～12世紀) 古典に学んだ奇行 の大家	富田 淳		9.27	基衡経千部『妙法蓮 華経』の写経速度に ついて	〃	〃	37
神品至宝—台北・故 宮展から—6 「草書 花気詩帖頁」書の奥 深さ味わう名品	富田 淳	産 経	8.12	所蔵品紹介 足利義 持書「徳巖」	三宅 秀和	永青文庫	87
				資料紹介 瀧山寺所 蔵大般若経について —南宋版(積砂版)経 ・応永6年写経—	服部 光真	岡崎市史 研究	34

平成26年定期刊行物所載文献(古/書蹟)

南北朝・室町時代における世尊寺家の書法継承—絵巻物・古筆切を中心として—	橋本 貴朗	鹿島美術財団年報・別冊	31	日本書道史における時代区分考	永由 徳夫	書 論	40
新収資料紹介 土屋宗直軍忠状 一幅	古川 元也	神奈川県立歴史博物館だより	196	日本書道史の時代区分に関わる事例と名教「寛永の三筆」について	森岡 隆	” ”	”
よみもの 出版と料紙の調査	赤尾 栄慶	京都国立博物館だより	183	貫名菘翁、幻の碑稿が書壇院ギャラリーで公開「松居遊見叟碑」四種一堂に—11月2日より		新美術新聞	1358
大特集 大人の修学旅行は、京都国立博物館で。僕らの京博70選! 書跡 和様唐様、筆じまん	山下 裕二 千 宗屋	芸術新潮	779	4月例会シンポジウム 白河院金峯山寺御幸の記録と記憶—新出「江記逸文」をめぐって—新出「江記逸文」紹介—白河院の寛治6年金峯詣をめぐって	ヘザー・ブ レーア	説話文学研究	49
第48回貴重書等指定委員会報告 新たな貴重書のご紹介	貴重書等指定委員会	国立国会図書館月報	642				
重要文化財指定資料紹介『弘安禮節』	利用者サービス部人文課	”	”	豪商における大燈国師墨蹟の受容—谷安股旧蔵「一帆風」墨蹟を起点として—	宮武 慶之	茶の湯文化学	21
覚書 東大寺献物帳(21)~(23)(最終回)	米田 雄介	古代文化	595	平安時代の宗教画における画中色紙形に関する基礎的考察	沖松健次郎	東京国立博物館紀要	49
特別展「光悦—桃山の古典[クラシック]を終えて 光悦特集		五島美術館研究紀要	2	総合文化展見どころ案内	恵美千鶴子	東京国立博物館ニュース	
本阿弥光悦の書について—光悦展に見た光悦の書—	名児耶 明			2014年2月・3月古写経のなかで最も雄大な書風 賢愚経断簡(大聖武)			723
『群印宝鑑』について	村木 敬子			2014年10月・11月本館 日本に出会う 文字、配置、料紙 三拍子そろった美しさ 重美深養父集断簡(名家家集切)			727
『にぎはひ草』の持徳斎	島野 順子						
修士論文概要・修了作品		修士論文・修了作品博士論文研究集録	H25年度				
比較芸術からみえる書の特徴	青木 豊			研究報告 イェール大学所蔵『手鑑帖』所収、極札「源俊頼朝臣ねかはくは」の一葉について	和田 幸大	東京大学史料編纂所研究紀要	24
内藤湖南の跋文についての考察	塩島 敏子			史料紹介と研究		東大画像史料解析センター通信*	
藤原佐理自筆書状の書法的特質	吉田 修						
紙の万華鏡Vol.10、11	増田 勝彦	聚 美	10、11				
最新科学で書を鑑定する Vol.10 伝藤原佐理筆教忠集切について	池田 和臣	”	10	加藤清正のクセ字—自筆文書の紹介と考察	鳥津 亮二		65
空海の書跡にみる入唐前後の変化に関する考察	岡 直樹	書芸術研究	7	久我晴通の花押と文書	金子 拓		66
近衛信尹の「三藐院流」形成に関する一考察	浜野真由美	”	”	『新三十六人歌合』(一首本)とその周辺	大伏 春美	徳島文理大学比較文化研究所年報	30
細川林谷作「墨竹図巻」における詩書と刻印(1)	田淵 元博	書道文化	10	新収資料紹介 織田信長判物・織田信雄判物 二通一卷	岡村 弘子	名古屋博物館だより	211

資料紹介 祖録写本にみる青年期の宗峰妙超墨蹟	宮武 慶之	野村美術館研究紀要	23	利ざや稼ぐ? 発色のため? 平安の金字経に黄銅	東京	4.22
研究ノート 国宝『金剛場陀羅尼経』の書風とその源流について	加藤 詩乃	パラゴネ	1	「寛永の三筆」の1人本阿弥光悦の直筆書状 福井・円寿寺前田利家の側室へ揮毫依頼の礼	中田 誠司	東京夕刊 12.22
紙百態 備中檀紙と諸国名紙鏡	河野 徳吉	百万塔	148	平安期の金字経から真鍮 奈良大学が分析 制作者、材料費ごまかす?	日 経	4.22
「漢字」誕生の一齣—「梵字」から「漢字」へ—	王 勇	仏教史学研究	56-2	経文の文字に真ちゅう 荒川経 平安後期、金の代わり 奈良大調査	松本 博子	毎日 "
研究ノート 藤原良相邸跡出土墨書土器の仮名表記に関する考察	南條 佳代	仏教大学総合研究所紀要	21	書の世界「美しい隷書—中国と日本—」よく分かる隷書の変遷	桐山 正寿	毎日夕刊 4.17
新指定の文化財 美術工芸品 重要文化財の指定 書跡・典籍	文化庁文化財部	文化財*	609	平安の長編文学 末尾の一部判明『夜の寝覚』古筆切発見	鶴谷 真	" 6.24
ミュージアム・コレクション 宮本武蔵の「アポ取り」	鳥津 亮二	本郷	109			
<b>古文書・古記録</b>						
<b>中 国</b>						
シリーズ収蔵品紹介 19 いわき市大猿田遺跡出土の木簡	本間 宏	まほろん通信	53	宋代文人士大夫の詩文集にみる絵画関連資料 北宋編1	竹浪 遠	古文化研究 13
平山文庫所蔵「尊氏将軍御教書」	池田 浩貴	民俗学研究紀要	38	〈勢〉の特性—漢より唐までの書論を基礎に—	陳 柏伎	書道学論集 11
角筆文献の可能性	西村 浩子	歴史評論	768	再論「吐蕃論董勃蔵修伽藍功德記」—羽689の分析を中心に—	岩尾 一史	敦煌写本研究年報 8
史料紹介「今川氏勝書状」について	井坂 武男	六所家総合調査だより	13			
金字写経の意味するもの—法華経を中心として—	磯貝 誠	早稲田大学大学院文学研究科紀要	59			
<b>日 本</b>						
名宝細見		朝 日		『酒飯論絵巻』の世界 日仏共同研究 II 『酒飯論絵巻』をめぐるエクリチュール 宗論からみる『酒飯論絵巻』の特徴—第四段詞書を中心に—	三好 俊徳	アジア遊学 172
久能寺経 信解品 平安時代(12世紀) 鉄舟寺蔵 趣向凝らし極楽往生願う	高橋 裕次		5.17	中世寺社の空間・テクスト・技芸 寺社と空間 袋中と民衆の信心—西寿寺蔵「当麻寺供養図」軸木内蔵品を端緒として	日沖 敦子	" 174
古今和歌集 卷第十二残卷(本阿弥切) 平安時代(11~12世紀) 極上の料紙「野の花」の筆跡	羽田 聡		9.20	難波宮で日本最古級の荷札木簡が出土	柴原永遠男 高橋 工	葦 火 171
升色紙 伝藤原行成筆 平安時代11世紀 リズミカルな「筆の音楽」	島谷 弘幸		12.6	研究の散歩道 広重の辞世—遺言状と辞世の句—	江里口友子	江戸東京博物館 NEWS 87
日本の書	手島 泰六	産 経		史料紹介 正倉院宝物盗難事件に関する一史料—大阪府立中之島図書館蔵「南都東大寺宝物」について—	伊藤 純	大阪歴史博物館研究紀要 12
16~19 中世篇 4~7			1.11、2.1、3.1、4.5			
20~23、25、27 近世篇 1~4、6、8			5.3、6.7、7.5、8.2、10.4、12.6			

平成26年定期刊行物所載文献(古/書蹟)

五大堂明王院の伽藍と縁起―「[五大堂記録]」を通して―	坪内 綾子 鎌 倉	116	善通寺調査(6) 善通寺文書調査について(5)	〃	〃	〃
学芸員のノートからNo. 101 収納箱からさぐるギヤマンの伝来―びいどろ史料庫コレクションを中心に―	中山 創太	神戸市立博物館だより	106	地藏寺調査(2)	〃	〃
古文書めぐり 奈良国立博物館の古文書	野尻 忠	古文書研究	76	地藏寺密英の廻国巡礼について―新出納経帳の紹介と検討	三好 賢子	
狩野甚丞後家の証言	五十嵐公一	塵 界	25	地藏寺所蔵「日本回国御納経受取之帳」翻刻	三好 賢子 芳地 智子	
第65回(埼玉)大会共通論題 問題提起14 板碑と地域の仏教史	有元 修一	地方史研究	371	日本史のひろば 東寺百合文書と記憶遺産	小森 浩一	歴史と地理 677
史料紹介		東京大学史料編纂所研究紀要	24	下張文書	小瀬 玄士	歴史評論 768
称名寺所蔵『聖天五』紙背文書について	永井 晋			特集 中世の古文書		歴 博 184
宮内庁書陵部所蔵『策彦周良等往来雑記』	岡本 真 須田 牧子			印章から花押へ―古代の文書と中世の文書―	小倉 慈司	
史料紹介と研究 兵庫県立歴史博物館所蔵の「〔第七櫃絵目録〕」―宝蔵絵の可能性―	藤原 重雄	東大画像史料解析センター通信*	66	コラム 正倉院文書にみえる手紙	仁藤 敦史	
『御伝鈔』本文の形成について	塩谷 菊美	同朋大学仏教文化研究所紀要	33	中世文書の機能とカタチの変化	高橋 一樹	
資料紹介「依田家資料」―知行目録・書簡の紹介を中心に―	山崎 会理	長野県立歴史館研究紀要	20	コラム 保存用の制札―「木に書かれた文書」の意味	小島 道裕	
正倉院北倉の納納体制について	鷲森 浩幸	奈良学研究	16	中世文書の作成から伝来まで	久留島典子	
史料紹介 文久二年春日大社神鏡落御始末(2)	岡本 彰夫	〃	〃	中世文書の料紙形態の歴史の変遷を考える	富田 正弘	
研究ノート 細身美術館蔵「東寺食堂千手事」(嘉禄三年成賢注進状)をめぐって	杉崎 貴英	日本宗教文化史研究	35	歴史の証人 写真による収蔵品紹介		〃
日本古代の「酒」字墨書土器と在地仏教	門田 誠一	仏教大学宗教文化ミュージアム紀要*	10	「中世公家の文書」	井原今朝男	184
新指定の文化財 美術工芸品 重要文化財の指定 古文書	文化庁文化財部	文化財*	609	歴博所蔵の庫外正倉院文書	小倉 慈司	185
史料紹介 明治十四年の正倉院御物還納目録―新出の正倉院関係史料―	東野 治之	文化財学報	32	歴博けんきゅう便第50回 古代文字研究	平川 南	〃 185
法然寺調査(2) 法然寺文書翻刻(2)	御厨 義道	ミュージアム調査研究報告	5	李文馥系の「二十四考」と『日記故事』	佐藤トウイ ウェン	東アジア文化交渉研究 7
				<b>金石文など</b>		
				<b>東アジア</b>		
				唐人郭行節墓誌からみえる羅唐戦争―671年の新羅征討軍派遣問題を中心に―	植田喜兵成	東洋学報 96-2
				<b>中 国</b>		
				南山新城碑の調査報告	篠原 啓方	関西大学東西学術研究所紀要 47



バスバ文字の刻文をもつ須弥山研墨について	高田 時雄	〃	〃	蔵書印で迎える武士の学問—幕末の京都を中心として—	松田万智子	京都府立総合資料館紀要	42
表紙解説 曲阜のスター碑—漢魏碑刻陳列館—11～21	日守菜穂子	書道界	290～301	仏書から見る日本の古典籍	落合 博志	国文学研究資料館調査研究報告	34
現代中国書法事情266 山東省石刻芸術博物館	種谷 萬城	〃	292	表紙写真解説		埼玉史談	
中国印論研究序説	川内 佑毅	書道学論集	11	さいたま市櫛引観音堂 年不詳阿弥陀三尊板碑断片	四方田 悟		316
燕国長細形—璽印の釈読	栗 躍崇	〃	〃	平田家屋敷出土の板碑群—坂戸市小山所在—	大圖 口承		318
西晋における墓誌成立の時代的背景—張朗墓誌を例として—	福原 啓郎	書論	40	「木百年妻深井氏墓」碑と石工「中慶雲」について(上)	嘉津山 清	史迹と美術	850
総合文化展見どころ案内2014年10月・11月 東洋館 アジアを旅する 皇帝の勅令を封じたシール「皇帝信璽」封泥	川村 佳男	東京国立博物館ニュース	727	資料紹介 九条家本『北山抄』に捺された猿顔様印について	図書館文庫第二図書調査室	書陵部紀要	65
北朝石刻資料選注Ⅱ(1)	「北魏石刻資料の研究(Ⅱ)」班	東方学報 京都	89	富士講行衣の御朱印を読み解く—富士山登拝と聖地巡礼路—	北村 春香 佐久間かおる	生活と文化	23
共同研究 隋代における造塔・造像銘文の調査・研究	佐藤 智水	龍谷大学 仏教文化研究所紀要	52	会員通信 鉄眼版一切経	池田 俊明	全文連文化財通信	92
美の履歴書		朝日夕刊		歴史手帖 多賀城碑文文字への加刀	中山 薫	日本歴史	798
355 これも隸書なのか「張遷碑」作者不詳	宮代 栄一		5.14	特集(渡来系)工人ネットワーク 第1部(渡来系)工人ネットワーク 九州の円弧状なめくりたがねと(渡来系)工人ネットワーク—江田船山銀象嵌銘鉄刀など円文を持つ鉄製品—	鈴木 勉	文化財と技術	6
362 なぜ天地が逆なのか「鷹文玉圭」作者不詳	中村 俊介		7.2				
名筆 奇跡の生還 鄭道昭と緑の刻石「郭静和題字」保存へ 工事中 半世紀ぶり発見	鈴木 義典	毎日	11.25	資料紹介 野呂介石自筆の「四碧斎印譜」(和歌山県立博物館蔵)	安永 拓世	和歌山県立博物館研究紀要	20
日 本				會津八一の戦前蒐集品に関する調査報告(4)—こけら経について—	下野 玲子	早大會津八一記念博紀要*	15
中世の対馬 ヒト・モノ・文化の描き出す日朝交流史Ⅱ モノから見た中世の対馬 対馬に伝来する朝鮮半島系の経典—高麗版(含毫岐・安国寺経)と元版	小松 勝助	アジア遊学	177	経文刷り師 伝承の営み 330年前の版木、手作業で数万枚の印刷手掛け37年	矢野 俊行	日 経	10.31
永青百冊 第23冊 太平広記500巻	高橋 智	永青文庫	86	南山新城碑研究の軌跡	篠原 啓方	東アジア文化交渉研究	7
江の島の中世石碑—「大日本国江島靈迹建寺之記」碑の紹介と分析—	古田土俊一 大塚 紀弘	鎌 倉	116	高句麗の王制・陵墓 全容は 好太王時代の石碑?進む研究	早川 保夫	読 売	1.22
朝 鮮							

工 芸							
日本	大特集 大人の修学旅行は、京都国立博物館で。僕らの京博70選! 工芸 見よ、職人の町の実力	山下 千	裕二 宗屋	芸術新潮	779	金銅幡一玉幡との関わりにおいて一	伊藤 信二 東京国立博物館紀要 49
	正倉院宝物を十倍楽しむ(2)~(5)	山本 忠尚		古代文化	595~598	展示品のみどころ 扁額	清水 健 奈良国立博物館だより 91
	日本美術史入門 日本美術の基礎知識3 正倉院宝物とその意味	長岡 龍作		太陽(別冊) 日本美術史入門		(続)日光山輪王寺大猷院銅燈籠一失われた鑄物師を求めて一	石塚 雄三 日光山輪王寺 83
	新指定の文化財 美術工芸品 重要文化財の指定	文化庁文化財部		文化財*	609	銭弘俵八万四千塔の伝世についての新知見一京都・金胎寺塔と大阪・来迎寺塔一	服部 敦子 日本文化史研究 45
	工芸品					研究ノート 造花考一造花発生の起源について一	江木 淳人 // //
	考古資料					鳳凰堂の飾金具一平成大修りに伴う分類調査一	久保 智康 鳳翔学叢 10
	正倉院フォーラム2014 東京 対談 正倉院宝物に見る鳥たち 鳥の美 日本らしく表現 鳥瞰への憧れ 今と通じる 海外文化の再現 工夫重ね	柳生 内藤 博、 善彦	博、 栄、 善彦	読 売	10.13	平等院鳳凰堂の装飾金具および梵鐘の材料調査	早川 泰弘 // //
宗教工芸						特集・武蔵野と富士 富士山信仰にみる中世武蔵野びとの想い一鯉口・懸仏から一	加藤 功 武蔵野 353
東アジア	歴史の証人 写真による収蔵品紹介 東アジアの黄金の輝き	上野 祥文		歴 博	186	資料紹介 横浜市歴史博物館所蔵 法隆寺百万塔・陀羅尼・譲与関係資料	柳沼 千枝 横浜市歴史博物館紀要 18
日本	中世の対馬 ヒト・モノ・文化の描き出す日朝交流史 II モノから見た中世の対馬 コラム 失われた対馬国分寺の「朝鮮鐘」	伊藤 幸司		アジア遊学	177	研究ノート 會津八一記念博物館所蔵の三基の楞塔について	清水 紀枝 早大會津八一記念博紀要* 15
	国宝 古神宝類の復元模造事業について	伊東 哲夫		春 日	92	四天王寺、秀吉再建裏付け「文禄七年」寄進の厨子確認	産 経 9.23
	表紙解説 法隆寺献納宝物 金銅小幡(部分)東京国立博物館蔵	加島 勝		国 華	1426	知恩院天蓋 寛永年間の作 繊細な文様・輝き、修復へ	日 経 4.23
	百万塔論攷(上、下)	岡 成寛		史迹と美術	846~847	半世紀ぶり「時の鐘」 墨田・第一寺島小開校135年の校舎に響く 毎日新聞の記事を元に、同窓会長らが寺探し	毎 日 10.9
	身延町大野山本遠寺、幻の銅燈籠を追う	石塚 雄三		〃	850	ぎゃらりいモール 東京国立博物館平成館「日本国宝展」から「国宝 金銅透彫舍利容器」	伊藤 信二 読売夕刊 10.28
	聚美名宝鑑 金銅蓮華形 柄香炉	原田 一敏		聚 美	11	その他	
	衣裳に纏わることば 今昔 絆をめぐる言葉	長崎 巖		〃	〃	7・8世紀の「入れ子型」舍利容器の空間構成一発想の源泉と伝播の問題を中心として一	ウォーリー 朗子 鹿島美術財団年報・別冊 31

武器・馬具類			金銅壺 福岡県 宮地獄古墳出土 つつましく漂う異 国趣味			河野 一隆	10.18
所蔵品紹介243 花 色裾紫糸威六枚胴具 足		石川県立 美術館だ より	368	美の履歴書 341 なぜこんな形なのか 「黒漆塗燕尾形兜」	宮代 栄一	朝日夕刊	2.5
中国初期のくつわを めぐって一西周時代 のいわゆる角形鏝を 中心に一	高濱 秀	金沢大学 考古学紀 要	35	形・色がグッツや折 り紙に 黒田官兵衛 の「合子形兜」が注目 赤合子と官兵衛所用 兜が巡回中	寺田 理恵	産 経	5.5
学芸員ノート コー ナー展示一雑兵の姿 一	野北 啓介	埼玉県立 歴史と民 俗の博物 館だより	26	歴史への冒険 考古 学のいま 日韓研究 者交流 隔たり知り 議論深まる	松木 武彦	東京夕刊	11.10
総合文化展見どころ 案内	池田 宏	東京国立 博物館ニ ュース					
2014年2月・3月 武将だって、おし ゃれしたい 重文 黒韋肩妻取威胴丸			723	総合文化展見どころ 案内2014年10月・11 月 東洋館 アジア を旅する 旗をなび かせた新羅の馬 寄 生	白井 克也	東京国立 博物館ニ ュース	727
2014年12月・2015 年1月 本館 日 本に出会う 甲冑 のトレンドは「南 蛮風」! 重文 紺 糸威南蛮胴具足			728				
研究余録 金亀玉鶴 赤備えの武器と武器 一軍法と現存作例を 通じて一	古幡 昇子	彦根城博 物館だよ り	106	唐物と茶の湯 第7、 11、最終回	彭 丹 淡 交		844,849、 850
特集(渡来系)工人ネ ットワーク 第3部 復元研究報告		文化財と 技術	6				
いわき市中田横穴 出土馬具の復元製 作の概要	鈴木 勉			《瀬戸茶入 銘 八 重垣》(江戸時代・ 17世紀) 付属の仕覆 について	長崎 巖	愛知県美 術館研究 紀要	20
中田横穴 鉄地金 銅貼 鋳飾り鞍木部 製作	河井 良三			特集 島津家の数寄 風流 島津家の茶の 湯	田村 省三 淡 交		843
中田横穴出土馬具 の皮革製障泥の想 定復元研究報告書	住 綾乃 村上佳濃 渡邊深和			特集 茶の湯の名碗 名碗を語る	有馬 頼底 林屋 晴三	"	849
古代の移鞍について	片山 寛明	MIHO MUSEUM 研究紀要	14	調査報告		野村美術 館研究紀 要	23
小木原1号地下式横 穴墓出土短甲の検討 一三次元計測技術を 活用して一	吉村 和昭	宮崎県立 西都原考 古博物館 研究紀要	10	野村得庵と竹の茶 道具一その3 茶 杓そのほか一	池田 瓢阿		
七右衛門家・早川家 の火縄銃と「紀州筒」	太田 宏一	和歌山市 立博物館 研究紀要	29	野村美術館所蔵の 茶臼	桐山 秀穂		
名宝細見		朝 日		資料紹介 新発田御 道具帳にみる溝口家 旧蔵の茶道具	宮武 慶之	文化情報 学	12
樫鳥糸肩赤威胴丸 室町時代(15世紀) 多様な素材と色、 精緻に	池田 宏		6.14	資料紹介 黒楽茶碗 銘ムキ栗 長次郎作	齊藤 孝正	MUSEUM	648
				美の履歴書 383 茶 席の主役といえるの か「大講堂釜」作者 不詳	宮代 栄一	朝日夕刊	12.3

装身具・化粧品

日 本					
石見美術館わたしのおすすめ The Collection 清水巖《根付「蓮葉に襲亀」》1792年	椋木 賢治	Grant フニユース	37		
作品紹介 石見根付(島根県立石見美術館保管)	"	島根県立石見美術館研究紀要	8		
明治の細密工芸 驚異の超絶技巧! 根付	渡邊 正憲	太陽(別冊)	217		
総合文化展見どころ案内2014年6月・7月「祈り」のための特別な装飾品 シトキ(首飾り)	品川 欣也	東京国立博物館ニュース	725		
丹青閑話 第44話—根付	島尾 新	美術の窓	375		
平泉文化と北海道—アイヌ文化の装身具の成立を考える—	越田賢一郎	平泉文化研究年報	14		
いにしえからの贈り物 よくぞ残った、木製の耳飾り	(鈴 木)	ぼいす	32		
西都原4号地下式横穴墓出土の装身具	橋本 達也	宮崎県立西都原考古博物館研究紀要	10		

文 房 具

中 国					
修士論文概要・修了作品 燕国璽印研究—長細形璽印とその用途を中心に—	栗 躍崇	修士論文・修了作品 博士論文研究集録	H25年度		
日 本					
続水墨画の風景 第14、15回	島尾 紫	新珠 水墨画*	302、303		
蹄脚円面硯Bの出現とその特質	青木 敬	奈良文化財研究所紀要	2014		

装 潢 ・ 料 紙 装 飾

中 国					
清代中国から欧米に輸出された扇子	松浦 章	東アジア文化交渉研究	7		
日 本					
衣裳に纏わることば 今昔 扇にまつわる言葉いろいろ	長崎 巖 聚 美		13		

研究ノート 表具にみえる文化的価値の再検討—春日大社所蔵水谷川家旧蔵の掛軸群を中心に—	高田 智仁	野村美術館研究紀要	23		
研究ノート 小倉色紙「天の原」(大和文華館蔵)の料紙装飾について	中部 義隆	美のたより	187		
茶湯の人と造形展によせて 小倉色紙の木版雲母刷料紙をめぐって	"	"	188		
館蔵大津絵にみる表具について	西井 智美	町田市立博物館年報/紀要	2012年度		

陶 磁

アジア全体

4「読ん」で知るアート 日本で見えるペルシャの美 中国磁器への憧れ	榊屋 友子	朝日夕刊	12.10		
-----------------------------------	-------	------	-------	--	--

東 ア ジ ア

『陶説』創刊60周年記念論文 日本陶磁部門 優秀賞 オランダにおける磁器陳列室の誕生とオラニエ=ナッサウ家の女性	櫻庭 美咲	陶 説	737		
2014年日中韓国立博物館合同企画 特別展「東アジアの華陶磁名品展」に寄せて	横山 梓	"	738		

中 国

ケニア海岸州ゲディ古城遺跡出土の中国陶磁器	秦劉 大樹 岩・ハーマン・キリアマ 金沢 陽 訳注	出光美術館報	166		
平成版 中国陶磁見聞録(25) 定窯白磁—1941年の発見から73年—	弓場 紀知	紫 明	34		
四川省・重慶市における漢代俑の研究	脇山 佳奈	高梨学術奨励基金年報	H25年度		
唐物と茶の湯 第1~3回	彭 丹	淡 交	838~840		
「天目」の由来再考—「天目」碗名が使われ始めた時期と、その背景について—	岩田 澄子	茶の湯文化学	21		
学位論文要旨 中国南北朝隋唐陶俑の研究	小林 仁	帝塚山大学院紀要*	16		

総合文化展見どころ案内2014年8月・9月 蒐集家の審美眼にふれる「横河コレクション—中国青磁のすべて」横河コレクション—日本人が愛した万暦・天啓赤絵	三笠 景子	東京国立博物館ニュース	726	遺跡から出土する清朝陶磁器	堀内 秀樹		
表紙図版解説		陶 説		清朝輸出陶瓷の生産地について	森 達也		
(第22回やきもの文化講座「日本人が愛したやきもの第9回 古染付」より)青花栗鼠唐草文輪花鉢	森 孝一		732	日本人による青磁の鑑賞と研究について	今井 敦	735	
(台北・国立故宫博物院「定州花瓷」展より)白磁刻劃花鋪首龍耳方壺	蔡 玫芬		733	龍泉窯古窯址(大窯、金村)訪問記	島田 文雄		
豆彩八吉祥唐草文天球瓶	福永 愛		734	東京国立博物館・東洋館 特集展示「日本人が愛した官窯青磁」に寄せて	佐藤サアラ		
(東京国立博物館・東洋館 特集展示「日本人が愛した官窯青磁」より)米色青磁瓶	佐藤サアラ		735	座談会 青磁を観る—官窯青磁を中心に	今井 敦、 矢島 律子、 佐藤サアラ、 後藤 修司		
(巡回展「青磁のいま—受け継がれた技と美—南宋から現代まで」展より)青磁下蕪形瓶	唐澤 昌宏		738	珠玉の中国陶磁—特別展「台北 国立故宫博物院—神品至宝—」横河コレクション—	三笠 景子		
古染付に想う	林 克彦		732	川端康成旧蔵「汝窯盤」をめぐって	川島 公之	738	
第22回やきもの文化講座「日本人が愛したやきもの 第9回 古染付」に寄せて 古染付—その鑑賞にあたって—	中澤富士雄			三菱一号館美術館「静嘉堂の東洋陶磁コレクション」展について	山田 正樹	740	
台北・国立故宫博物院「定州花瓷」展—台北・国立故宫博物院所蔵の定窯白磁	蔡 玫芬、 小林 沢		733	長崎奉行所出土品にみる「異国風おもてなし」—近世日本における「チュリーン」の受容について—	川口 洋平	長崎歴史文化博物館研究紀要	8
河北白瓷窯址研究の最前線—邢窯と井陘窯の発見と研究	韓 立森、 黄 信、 徳 大輔、 留 留			文祿の役(1592)の直前に作った大井戸茶碗300個が最近出土した	李 慶熙	日本の民芸	651
台北・国立故宫博物院所蔵の定窯白磁—「定州花瓷」展参観記	小林 仁			巻頭特集 原寸で見ると！現代作家の技 column 清朝陶磁の超絶技巧を見る	湯浅 英雄	美術の窓	371
台北故宫の清朝展 [2013]	中澤富士雄		734	首里城および中城御殿出土の清朝官窯陶磁について	矢島 律子	町田市立博物館年報/紀要	2012年度
一輝く磁器の花園—岡田美術館の清朝陶磁室	小林 優子、 福永 愛、 口絵図版解説			日本人が愛した官窯青磁—東京国立博物館東洋館特集によせて—	佐藤サアラ	MUSEUM	651
巡回展「魅惑の清朝陶磁」に寄せて				中国青磁研究史ノート—横河コレクションの意義について—	三笠 景子		
いわゆる「新渡物」にみる茶の湯の中国趣味	尾野 善裕			茶陶閑談 第4、7回	衾霞軒主人	目の眼	452、455
				特集1 台北国立故宫博物院の名宝をみる 汝窯の魅力	伊藤郁太郎		453
				名宝細見	朝 日		

平成26年定期刊行物所載文献(古/工芸)

青磁輪花鉢 中国・南宋時代(12～13世紀) 皇帝の窯が生んだ釉調の美	三笠 景子	8.30	学芸員のノートから膳所焼茶入にみる寛永の茶の湯文化	横谷賢一郎	天津歴博だより	94
緑釉犬 中国・後漢時代中～後期(2～3世紀) 力も宿した?愛すべき番犬	川村 佳男	10.11	よみもの「魅惑の清朝陶磁」展に寄せて	渡辺 芳郎	京都国立博物館だより	182
4 [読ん]で知るアート 沖繩の表現 やさしく美しい 独特の絵柄	翁長 直樹	朝日夕刊	2.12	千宗屋の飲みたい茶碗、点てたい茶碗 第1、2、4、6、7回	千 宗屋	芸術新潮 773、774、776、778、779
神品至宝一台北・故宮展から		産 経		特別展「光悦一桃山の古典[クラシック]を終えて 光悦特集 光悦の陶芸について	砂澤 祐子	五島美術館研究紀要 2
1「青花龍文大瓶」濃厚な青 東西交流で進化	余 佩瑾	7.14	染付鍋島藩窯図大皿の図案とその作者について	福井 尚寿	佐賀県立佐賀城本丸歴史館研究紀要	9
8「青磁植形瓶」雨後の空に重ねた憧れ	三笠 景子	8.14	乾山における内と外一蓋物と角皿を中心に	柴橋 大典	サントリ一美術館研究紀要	2
台北故宮「神品至宝」展から 青磁輪花碗 汝窯 北宋時代・11～12世紀	三笠 景子	毎 日	7.24	楽しいやきもの	安河内幸絵 内海陽子 インタビュー・構成	サントリ一美術館 ニュース 253
日 本				作品紹介「修学院焼 ふくべ形香炉」について	岡本 隆志	三の丸尚蔵館年報・紀要 19
講演抄録 愛知県陶磁資料館特別企画展 茶人のあそび心 形物香合番付の世界 記念講演会「見立番付表からみた形物香合番付」	青木美智男	愛知県史研究	18	特集 桃山のやきもの	聚 美	12
研究ノート 常滑窯製品の形体的特徴と使用状況の検証—中世尾張地区出土資料を中心として—	青木 修	〃	〃	桃山文化の創造と革新—大变革期における縄文的表現—	熊倉 功夫	
古伊賀水指 銘「破袋」の変形プロセスについて—CT画像からの仮説—	関口 敦仁	愛知県立芸術大学紀要	43	桃山茶陶—美濃窯という視点から—	伊藤 嘉章	
中国古典文学と挿画文化 版本挿絵の発展と伝播・拡散 “意匠”の宝庫—明清挿絵本と工芸品—清朝(琉球)漆芸、陶磁器の作例初探—	長谷川祥子	アジア遊学	171	桃山陶器の革新性—変貌するかたちと意匠—	荒川 正明	
中世の対馬 ヒト・モノ・文化の描き出す日朝交流史 II モノから見た中世の対馬 中世対馬の陶磁器—遺跡出土の貿易陶磁と伝世品	川口 洋平	〃	177	特集 東山御物の魅力 日本美の規範 「君台観左右帳記」に見る足利将軍家の御道具—足利将軍家の蒐集品目録	赤沼 多佳	〃 13
大田区立郷土博物館所蔵「緑釉壺」調査報告	新井野口 悟舞	大田区立郷土博物館紀要	20	2013年秋季特別展『朱漆「根来」—中世に咲いた華』講演会「根来」の美	河田 貞	秀明美術 21
				ヨーロッパの肥前陶磁器を訪ねて10 17、18世紀にスペイン統治下にあったシシリーのパレルモとキューバのハバナに残る色絵の肥前磁器	田中 恵子	セラミック九州 50
				やきものの技法(45) 楡描	藤原 友子	〃 〃

やきもの見聞録 5 小石原焼(福岡県)・ 小鹿田焼(大分県)民 芸のやきものを訪ね て	熊 博毅 阡 陵 68	日本陶磁部門 審 査員特別賞 箱書 紀年銘による鍋島 作品の一考察	小木 一良	734
近世鎖国期における 先駆的輸出工業製品 の考古学的研究—五 大陸に渡った有田焼 —	野上 建紀 高梨学術 奨励基金 年報 H25年度	愛知県陶磁美術館 特別企画展「桃山・ 江戸の華やき 古唐 津・古武雄」に寄 せて	佐久間真子	734
美濃窯と肥前窯から みた近世窯業の成立 と変遷(1)	張替 清司 " "	「大織部展」に寄せて	榎本 徹	739
坪沢10号窯の窯詰め 状況の復元—渥美窯 2b期の甕窯の焼成 実態—	増山 禎之 田原の文 化 40	三井記念美術館「東 山御物の美—足利将 軍家の至宝」展に寄 せて	赤沼 多佳	" "
特集 茶の湯と阿蘭 陀焼 ヨーロッパから の新風「阿蘭陀」— 茶陶にみる見立て、 注文、そして写し	畑中 章良 淡 交 844	表紙図版解説  (出光美術館「仁清 ・乾山と京の工芸— 風雅のうつわ」 展より)色絵若松 図茶壺	柏木 麻里	740
特集 楽宗人と尾形 乾山—雁金屋の従兄 弟ども	" 846	(サントリー美術 館「天才陶工 仁 阿弥道八」展より) 色絵寿星立像		741
楽家五代宗人と尾 形乾山の作陶	楽美術館学 芸部	京焼—雅遊のうつわ —	荒川 正明	740
五代宗入を語る	楽吉左衛門	出光美術館「仁清 ・乾山と京の工芸— 風雅のうつわ」展に寄 せて	柏木 麻里	" "
特集 茶の湯の名碗 茶道資料館開館35周 年秋季特別展「茶の 湯の名碗」展につい て	降矢 哲男 " 849	藤田美術館「開館60 周年特別展」に寄 せて	前野 絵里	" "
総合文化展見どころ 案内	東京国立 博物館ニ ュース	日本磁器における色 絵技術の始まり—有 田町山辺田遺跡の調 査成果—	大橋 康二	" "
2014年2月・3月 日本に伝わった龍 泉窯の名碗 青磁 輪花碗 銘馬蝗 絆	伊藤 嘉章 723	「只今」	重根 弘和	" "
2014年4月・5月 庭園の茶室・軒合 庵ゆかりの茶入 耳付茶入 銘 於 大名	横山 梓 724	仁阿弥と頼川—京焼 陶工にとっての建仁 寺—	尾野 善裕	741
古田織部の伝記史料 (1)~(7)	佐藤 節夫 陶 説 730、731、 734、736 ~739	仁阿弥道八の文人ネ ットワークについて	森下 愛子	" "
考古学から見た名物 瀬戸茶入(5)~(11)	井上喜久男 " 730~732、 738~741	サントリー美術館「天 才陶工 仁阿弥道八」 展について		" "
肥前における三島手 の変遷—窯跡出土資 料を中心として—(9) ~(12)	東中川忠美 " 730~732、 736	巡回展「没後400年 古田織部展」に寄 せて「織部」と呼ばれた やきもの	荒川 正明	" "
『陶説』創刊60周年 記念論文	"	青木木米と田中鶴翁	佐藤 節夫	" "
考古部門 優秀賞 中世美濃国におけ る初期四耳壺生産 についての一考察	山本 智子 733	近世の平戸焼と現川 焼の特質について	大橋 康二 東洋陶磁	43
		近世前半期の肥前平 戸焼	松尾 秀昭	" "
		ヨーロッパに現存す る平戸焼についての一 考察	松下 久子	" "

平成26年定期刊行物所載文献(古/工芸)

研究ノート 長与皿山窯跡の発掘調査について—現状と課題—	中村 幸	東洋陶磁	43	瀬戸の磁器 その造形と意匠の精華				
出島和蘭商館にて使用された陶磁器の様相—発掘調査資料の構成を基に—	山口美由紀	〃	〃	スペシャル対談 名碗のこころを知る	林屋 晴三、中村 康平	〃	452	
オランダ東インド会社従業員による個人貿易—西洋向け肥前磁器輸出の考察—	櫻庭 美咲	〃	〃	日本人が見出した青磁の品格	佐藤サアラ	〃	456	
藤四窯の発掘始末記	七原 惠史 森 泰通	豊田市郷土資料館 だより	90	史料紹介 萩焼の史料	吉積 久年	山口県文書館研究紀要	41	
製糸用鍋について—拳母城跡発掘調査補遺—	松井 孝宗 児玉 文彦	〃	91	江戸中期に輸出 日本へ買い戻し 里帰りカップの世界 千葉・市川の男性コレクション紹介	奥野 斐	東京	1.14	
館蔵の一品 経塚から出土した灰釉四耳壺		長野県立歴史館 たより	79	6700万円「茶つぼ」米で初公開 フリーア美術館 09年落札の名品「千種」		東京夕刊	2.21	
肥前磁器における漆装飾の変遷と展開	松下 久子	鍋島報効会研究助成報告書	6	織部の大胆さに憧れ 漫画・茶会・美術館 秩序崩す美脚光	木村 未来	読 売	6.26	
展示品のみどころ 青白磁碗	岩戸 晶子	奈良国立博物館 だより	88	青磁の名窯に迫る研究史 東京国立博物館で特集展「東窯」や「修内司」日本独自の鑑賞眼		〃	7.10	
2012年度同志社大学大学院修士論文梗概 唐物趣味の形成史—相国寺旧境内出土の龍泉窯青磁を手がかりに—	吉富真知子	美学芸術学	29	朝鮮				
資料紹介 湖東焼 染付騎馬図煎茶碗	奥田 晶子	彦根城博物館 だより	106	総合文化展見どころ案内2014年12月・2015年1月 東洋館 アジアを旅する 戦国武将のハートをキャッチ！朝鮮時代の茶碗	三笠 景子	東京国立博物館ニュース	728	
特集 やまと絵と琳派の交流 仁清と乾山—その形と文様—	岡 佳子	美術フォーラム21	29	『陶説』創刊60周年記念論文 朝鮮陶磁部門 優秀賞 近代における高麗青磁—再発見から再現へ—	鄭 銀珍	陶 説	735	
山陽道における三彩陶の出土とその背景	亀井 明德	兵庫県立考古博物館研究紀要	7	表紙図版解説		〃		
ミュージアム・コレクション いにしへの化粧道具「お歯黒壺」	新井 英之	本 郷	110	(愛知県陶磁美術館「高麗・李朝の工芸—陶磁器、漆器、金属器—」展より)青花秋草文瓜形壺	森 達也		737	
新出の眉間寺銘天目形碗について	桑原 康郎	MIHO MUSEUM 研究紀要	14	(岐阜県現代陶芸美術館「古田織部400年忌 大織部展」より)御所丸茶碗 古田高麗	立花 昭		739	
県立美術館所蔵の“坂本城跡出土”古備前壺について	永友 良典	富崎県総合博物館研究紀要	34	愛知県陶磁美術館企画展「高麗・李朝の工芸—陶磁器、漆器、金属器—」の開催に寄せて	森 達也	〃	737	
茶陶閑談 第1～3、6、8～10回	黍霞軒主人	目の眼	449～451、454、456～458					
特集1 やきものの国瀬戸を旅する		〃	450					
日本のやきものの源流・瀬戸	服部 文孝			韓国・東亜大学校博物館所蔵の釜山窯出土片について	片山 永井 まび 正浩	東洋陶磁	43	



丹青閑話 第33話— 青井戸茶碗 銘「柴 田」	島尾 新	美術の窓	364	研究ノート 身体表 現を持った土器とそ の考古学的課題—小 野良弘氏所蔵の顔面 把手・動物形象突起 ・顔面付土版を例に —	中村 耕作	国学院学 術資料セ ンター研 究報告*	30
謎と魅力に満ちた井 戸茶碗	西田 宏子 白洲 信哉 聞き手	目の眼	448				
茶陶閑談 第5回 奥高麗茶碗	衾霞軒主人	〃	453	加曾利 B1 式の横帯 文系紐線文土器につ いて	大屋 道則 上野 真由美	埼玉県埋 文調査団 紀要*	28
美の履歴書 378 なぜ亀形なのか「青 磁亀形水注」作者不 詳	宮代 栄一	朝日夕刊	10.29	沖縄出土滑石混入系 土器からみた東シナ 海の対外交流	宮本 一夫	史 淵	151
その 他				日本海に沈んだ陶磁 器—新潟県内海揚が り品実態調査—	寺崎 裕助	高梨学術 奨励基金 年報	H25年度
出光美術館所蔵 エ ジプト・フスタート 遺跡出土 イスラム 陶器胼の自然科学的 研究	村上 夏希 新免 歳靖 二宮 修治	出光美術 館館報	169	福井市糞置・二上遺 跡の土器	山本 亮	土 車	127
カンボジア王国、ア ンコール地域におけ るクメール黒褐釉陶 器窯の発掘と出土資 料の考古学的研究	田畑 幸嗣	高梨学術 奨励基金 年報	H25年度	研究報告 立体的な 土器装飾への道—縄 紋時代中期、勝板式 土器の成立過程—	寺内 隆夫	長野県立 歴史館研 究紀要	20
安南染付茶盃「多保 羅」	梅田美津子	陶 説	740	神鍋遺跡における縄 文早期土器の始まり と終わり—和田長治 氏書簡と和田コレク ション—	和田 長治 大本 朋弥 補筆	兵庫県立 考古博物 館研究紀 要	7
アンコール朝の交易 と産業—陶磁器研究 の視点から—	田畑 幸嗣	仏教芸術	337	大国魂神社宮司家の 伝世かわらけ	小林 謙一 小川 望 深澤 靖幸	府中市郷 土の森博 物館紀要	27
4 [読ん]で知るア ート 日本で見るペル シャの美 歴史を超 える陶工の交流	榎屋 友子	朝日夕刊	12.3	平成25年度文化財収 蔵施設 収蔵資料 縄文土器作りの匠(所 沢市膳棚遺跡出土の 中期土器)		埋文さい たま	57
幻のイスラム陶器 確認 岡山的美術館 所蔵 専門家「世界の 資料」		毎日々刊	1.10	ギメ東洋美術館所蔵 の縄文土器—フオリ ー神父蒐集品の調査 報告を兼ねて—	鈴木 希帆	武蔵野美 術大学研 究紀要	44
土 器				特集1 目の眼的六 古窯の旅 備前の里 を訪ねて		目の眼	458
近畿出土の円窓付土 器をかんがえる	永井 宏幸	愛知県埋 文センタ ー紀要*	15	故郷に息づく古備 前たち			
学芸員こだわりの逸 品3 やらこいすり ばち	市川 創	葦 火	170	概論 備前焼の深層 に秘められたDNA	臼井 洋輔		
リアル! 干柿の形を した土製品が見つかり ました	谷崎 仁美	〃	173	茶陶閑談 第11回 古信楽矢管口水指	衾霞軒主人	〃	459
砥部川下流域の縄文 時代早期の土器—長 田遺跡と城ノ向遺跡 出土資料群の再検討 —	兵頭 勲	愛媛県歴 史文化博 物館研究 紀要	19	龍絵画土器小考	永野 仁	弥生文化 博物館研 究報告	7
研究ノート 瓶の観 察点—長原遺跡で出 土した古墳時代中期 の資料の検討を基に —	寺井 誠	大阪歴史 博物館研 究紀要	12	瘤付土器に見られる 刺突・刻目手法に関 する一考察	中門 亮太	早大會津 八一記念 博紀要*	15
				土器の字は古今和歌 集 最古級平仮名に 新説「いくよしも」		産 経	9.22

<b>朝鮮</b>				滋賀県の考古学23 最新の成果と課題(第 23回)石山国分遺跡 藤原宮所要瓦を焼成 した瓦窯の調査成果		田中 久雄	人間文化	35
朝鮮半島の古陶磁窯 (1、2)	宇都宮 宏	日本の民 芸	648,649	鳳凰堂平成修理発見 の平安期平瓦		杉本 鈴尾 宏 乃織	鳳翔学叢	10
<b>瓦</b>				遺構・遺物から考察 した信濃の古代寺院 跡		倉澤 正幸	法政考古 学	40
<b>中国</b>				宗古瓦窯の丸瓦につ いて		宮武 尚美	宗吉かわ らの里展 示館年報	3
中国の古代瓦 II	太田 三喜	天理参考 館報	27	名宝細見 大宰府の 鬼瓦 福岡県太宰府 市出土、奈良時代 憤怒の形相、量感豊 かに		小嶋 篤	朝 日	4.26
遼寧省北票市金嶺寺 遺跡および大板宮子 遺跡出土遺物の調査	諫早 直人	奈良文化 財研究所 紀要	2014	<b>朝鮮</b>				
<b>日本</b>				シンポジウム報告「文 化財の解析と保存へ の新しいアプローチ X」百済の造瓦技術 の伝播過程―興輪寺 と飛鳥寺の比較を中 心に―		李金 訳 炳鎬 志虎	奈良美術 研究	15
鉛瓦小稿―金沢城の 鉛瓦―	小澤 一弘 堀木真美子	愛知県埋 文センタ ー紀要*	15	<b>金 工</b>				
愛知県における中世 瓦の展開とその特徴	永井 邦仁	〃	〃	<b>東 ア ジ ア</b>				
大阪城本丸を掘る(そ の2) 徳川期大阪城 の瓦	市川 創 華	火	168	特集(渡来系)工人ネ ットワーク 第2部 古代日朝の装飾技術 金工技術から見る南 北朝・百済・倭の交 渉―百済金銅大香炉 ・藤ノ木古墳出土馬 具をめぐる技術移転 ―		鈴木 勉	文化財と 技術	6
平泉町花立II遺跡出 土の瓦について(そ の1)	鎌田 勉	岩手県立 博物館研 究報告	31	<b>中 国</b>				
相模における国分寺 造営以降の瓦生産体 制について―国分寺 ・国府・国内諸寺間 における瓦工人の動 向について―	高橋 香	かながわ の考古学	19	近江出土の渡来銭貨		小島 孝修	滋賀県文 化財保護 協会紀要	27
関西大学博物館所蔵 朝鮮瓦―文字瓦を中 心として―	高熊谷 安原 正龍 舞子 葵	関西大学 博物館紀 要	20	「煌めきの美」展によ せて 金工品にあら わされた人物文様につ いて		瀧 朝子	美のたよ り	185
備後における奈良時 代の軒瓦―「備後国 府系古瓦」の再検討 ―	妹尾 周三	考古学雑 誌	98-3	李希宗墓出土銀碗に おける東西文化交流 ―装飾文様の淵源と 東伝をめぐる―		石渡 美江	仏教芸術	333
古代瓦葺き寺院の衰 退―国分寺創建後の 寺院像を瓦から考え る―	昼間 孝志	埼玉県埋 文調査団 紀要*	28	<b>日 本</b>				
般若寺跡出土の中世 瓦について	比毛 君男	土浦市上 高津貝塚 ふるさと 歴史の広 場年報	19	所蔵品紹介246 段々 釜		石川県立 美術館だ より		372
渡地村跡出土瓦の分 析―琉球近世瓦の定 義に関して―	石井 龍太	壺屋焼物 博物館紀 要	15	姫路伝統の技23 大 流行の播磨鍋―野里 鋳物師による名物―		岡崎 美穂	五風十雨	76
展示品のみどころ 鬼面文鬼瓦	岩戸 晶子	奈良国立 博物館だ より	91					
飛鳥地域等の調査 藤原宮出土の鬼瓦と 面戸瓦	今井 晃樹	奈良文化 財研究所 紀要	2014					

資料紹介 金木場遺跡「子」型の焼印	猪狩 俊哉	市民と博物館	110	鏡				
総合文化展見どころ案内		東京国立博物館ニュース		中 国				
2014年6月・7月 エキゾチック!でも実は日本製? 国宝 竜首水瓶	伊藤 信二		725	後漢鏡製作工房の一形態	森下 章司	大阪大谷大学博物館報告書	61	
2014年12月・2015年1月 平成館 考古で遊ぶ 王の足を飾る美しい装飾 国宝 金銅製香	古谷 毅		728	漢鏡と戦国鏡の宇宙表現の図像とその系譜	曾布川 寛	古文化研究	13	
特集(渡来系)工人ネットワーク 第3部 復元研究報告		文化財と技術	6	研究の窓 子どもがすごい鏡を発見した!—『信濃奇勝録』の記録より—	原 明芳	長野県立歴史館たより	78	
中田横穴出土花卉型飾金具の復元製作に関して	山田めぐみ			三角縁神獣鏡の銘文(その2)(Rc 銘文の詳論)	林 裕己	横浜ユーラシア文化館紀要	2	
群馬県山王金冠塚出土金銅製冠の復元1~3	鈴木 勉			古都ナビ 宝物編 春日大社・禽獣葡萄鏡	古沢 範英 朝 日		9.28	
シリーズ收藏品紹介 18 高堂太遺跡出土の青銅製提子	佐藤 啓	まほろん通信	52	日 本				
美の履歴書		朝日夕刊		後期倭鏡研究序説—旋回式獣像鏡系を中心に—	加藤 一郎	古代文化	597	
338 リアルに作ったわけ「自在置物伊勢海老」明珍宗清	増田 愛子		1.15	製作技術からみた三角縁神獣鏡	清水 康二	駿台史学	150	
373 どこで作られたのか「金銅製心葉形杏葉」作者不詳	宮代 栄一		9.24	日本美術史入門 COLUMN 日本美術の謎 古代人を魅了した鏡の力	原田 昌幸	太陽(別冊) 日本美術史入門		
朝鮮				総合文化展見どころ案内2014年8月・9月 日常のコスメアイテムにも意匠を凝らします 柄鏡	伊藤 信二	東京国立博物館ニュース	726	
特集(渡来系)工人ネットワーク 第2部 古代日朝の装飾技術		文化財と技術	6	塩尻市野辺沢出土の毛抜形太刀と瑞花双鳥八稜鏡をめぐって	原 明芳	長野県立歴史館研究紀要	20	
製作技法からみた百済銀花冠飾考	崔 基殷			日光二荒神社中宮祠宝物館所蔵・男体山頂遺跡出土鏡の調査	中川 降幡 中川 順子	奈良文化財研究所紀要	2014	
百済漢城期装飾大刀の製作技法の検討—水村里と龍院里例を中心に—	李 鉉相			三角縁神獣鏡(1)~(4)	宇都宮 宏	日本の民芸	650~653	
韓半島出土筒形銅器の製作技術復元	細川晋太郎			和歌山市加太春日神社伝来鏡に関する考察	清水 梨代	和歌山市立博物館研究紀要	29	
古代金工品製作における協業体系の一例—技術移転論における基準精度の有効性について—	金 眺咏			「卑弥呼の鏡」隠れた顔 光当てると…あ不思議 3Dプリンターで複製し確認 京都		朝 日	1.30	
朝鮮半島三国時代の彫金技術 その7~13	鈴木 勉			「卑弥呼の鏡」は魔鏡 三角縁神獣鏡レプリカ 太陽光反射、壁に文様		産 経	1.30	
				「卑弥呼の鏡」は魔鏡 3Dレプリカで再現 太陽光反射 文様浮かぶ		東 京	1.30	

「卑弥呼の鏡」は魔鏡 光当て壁に反射…背 面の文様、浮かぶ 3Dプリンターで復 元	日 経	1.30	方頭大刀の生産と古 代国家	豊島 直博	考古学雜 誌	98-3
「卑弥呼の鏡」は魔鏡 三角縁神獸鏡 背面 文様を投影 祭祀に 使用か	読 売	1.30	三の丸尚蔵館所蔵の 刀剣類について(1)	原田 一敏	三の丸尚 蔵館年報 ・紀要	19
			生誕200年記念特別 展 清麿—幕末の志 士を魅了した名工— 源清麿なぜ、「四谷 正宗」と呼ばれたか	渡邊 妙子	新美術新 聞	1336
<b>青 銅 器</b>			土屋家刀剣の伝来と その背景	中澤 達也	土浦市立 博物館紀 要	24
<b>中 国</b>			名刀鑑賞	石井 彰	刀剣美術	
青銅 鐸形器につい て—中国北方の青銅 器の一例—	橋詰 文之	和泉市久 保惣記念 美術館紀 要	国宝 太刀 銘 延吉			684
館蔵中国青銅器実測 図・拓本選(35)～ (38)	徐 天進	出光美術 館館報	重要刀剣 太刀 銘 一(吉岡)			685
良渚文化の王冠—人 獸図像の意味するも の	小南 一郎	泉屋博古 館紀要	国宝 太刀 銘 延吉			685
三星堆祭祀坑の縦目 銅人面具・金杖と金 沙遺跡の金冠帯—古 代蜀王国祖靈信仰の 図像学的考察—	曾布川 寛	〃	短刀 銘 兼氏			686
名宝細見 鳳凰文直 中国・商末周初期(紀 元前11～前10世紀) 精巧かつ複雑 満ち る靈力	吉澤 悟 朝	日	特別重要刀剣 太 刀 銘 信包(一文 字)			687
<b>日 本</b>			重要文化財 太刀 銘 正恒			688
海峽を渡る旗	田平 徳栄	佐賀県立 博物館・ 美術館調 査研究書	重要美術品 脇指 銘 相模国住人広 光 貞治三年三月 日			690
奈良県大淀町佐名伝 某家所蔵銅鐸の調査	橋本 輝彦 奥田 尚誠 奥山 誠義	纏向学研 究*	重要美術品 刀 銘 河内守藤原国 助 寛永十九年二 月吉日			691
<b>朝 鮮</b>			重要美術品 刀 銘 於大坂和泉守 国貞			692
青花龍文壺について の考察補遺—朝鮮王 朝『世宗実録』五札 の史料について—	金沢 陽	出光美術 館館報	特別重要刀剣 刀 銘 摂州住藤原助 広			693
<b>刀 剣 ・ 刀 装</b>			特別重要刀剣 脇 指 朱銘 行光(名 物大島行光)困圃 (花押)(光室)(附 宝永元年本阿弥光 忠折紙			694
<b>日 本</b>			重要刀剣 刀 銘 備前国住長船与三 左衛門尉祐定 天 文六年二月吉日			695
秋季展 国宝の刀— 伝えられた武士の心	仲宇佐ゆり	永青文庫	重要刀装 潤漆竹塗 鞘合口短刀拵 小柄 銘 なつを 割筭 銘 夏雄作 鯉口 銘 夏雄 栗形 銘 (花押) 鑑 銘 なつ を 作 目貫 無銘	飯田 俊久	〃	684
座談記録 清賞会 肥後鐸に付いて	阿部 純子	〃	重要刀装具		〃	
大特集 大人の修学 旅行は、京都国立博 物館で。僕らの京博 70選! 京博コラム 4 初公開	編 集 部	芸術新潮				779

社寺風景図鑑 銘 細野惣左衛門政守 (花押)	飯田 俊久	686	刀装・刀装具初学教室 余話(1)~(4)	福士 繁雄	”	686、688、 689、691
関羽図小柄 銘 長常(花押)	黒滝 哲哉	687	武家身分の可視化と 刀剣	宮崎 政久	”	687
明烏図鑑 銘 藤 原清寿(花押)	久保 恭子	690	牡丹図縁頭 銘 橋 本一至(花押)	飯田 俊久	”	688
筒井筒図縁頭 銘 辛酉冬日夏雄(花 押)	飯田 俊久	691	江戸時代前期出版の 刀剣書	奈良原和夫	”	689
竹透鑑 無銘 又 七	黒滝 哲哉	692	仙台藩刀匠考(23) 仙 台刀工「奥州太郎宗 利」を探る	佐藤 一典	”	691
十二支図鑑 銘 藻柄子入道宗典製 江州彦根住	飯田 俊久	695	出会い「権藤」と号の ある薙刀	明治 達憲	”	692
表紙解説 金銅造御 太刀・銅黒造御太刀 皇大神宮別宮・荒祭 宮神宝	黒滝 哲哉	”	虹図小柄 銘 仙 斎 篤興造	飯田 俊久	”	693
肥前刀雑記(41)~ (43)	横山 学	”	刀剣書に見る代付け	奈良原和夫	”	693
資料紹介	”	684、686、 692	奥州刀工綱重につい ての一考察	井本 悠紀	”	693
泰龍齋宗寛の銘と 伊賀乗重の裁断銘 について	井本 悠紀	684	關鷄図目貫 割短冊 銘 春・貫	久保 恭子	”	694
刀装と服装—江戸 幕府の官位制と服 飾の関係	飯山 嘉昌	685	会津兼定と越後加茂	外山 登	”	694
コンプトン・コレ クション(8)	横山 学	688	赤城軒元孚の代別に 関する考察	中野 秀哉	”	694
弥門直諒による切 付銘がある次郎太 郎直勝の刀につい て	井本 悠紀	689	「蟻通宮図鑑」二題	”	”	695
珍しい合作刀を発 見	金井 秀人	692	江戸期の下緒につい て	飯山 嘉昌	”	695
世直し大明神、江 川太郎左衛門英龍 の作刀	井本 悠紀	695	鎌倉時代における刀 身彫刻の研究	酒井 元樹	仏教芸術	334
立馬図小柄 銘 庚 申孟冬夏雄(花押)	久保 恭子	”	特集(渡来系)工人ネ ットワーク 第2部 古代日朝の装飾技術 岡山市西山3号墳出 土刀装具の装着状況 復元	上椋 武	文化財と 技術	6
史料紹介『止戈要』 (2)、(3)	近藤 好和	”	丹生都比売神社所蔵 葦手絵兵庫鎮太刀の 葦手絵の解釈につい ての一試論	酒井 元樹	MUSEUM	652
正月刀剣定例鑑賞会	久保 恭子	”	日本刀 五ヶ伝の旅 山城物の作風とその 展開21~23	田野邊道宏	目の眼	449、451、 458
2月刀剣定例鑑賞会	大井 岳	”	源平合戦図三所物鑑 定顛末記(前、後)	萩原 守	”	449、451
3月刀剣定例鑑賞会	檜山 正則	”	特集1 ニッポン男 児の日本刀入門	”	”	455
4月刀剣定例鑑賞会	石井 彰	”	「軍師官兵衛」岡田 准一 戦国武将の 愛刀を打ち振るう 特別対談 岡田准 一×深海信彦	”	”	”
5月刀剣定例鑑賞会	飯田 俊久	”	初級編 日本刀の 魅力	田野邊道宏	”	”
6月刀剣定例鑑賞会	日野原 大	”	中級編 黒田家ゆ かりの名刀—特別 展「軍師官兵衛」に よせて	”	”	”
7月刀剣定例鑑賞会	黒滝 哲哉	”	”	”	”	”
9月刀剣定例鑑賞会	久保 恭子	”	”	”	”	”
10月刀剣定例鑑賞会	井本 悠紀	”	”	”	”	”
11月刀剣定例鑑賞会	大井 岳	”	”	”	”	”

特集1 国宝の力 「国宝 太刀 熊野三 所権現長光」につい て	田野邊道宏	目の眼	459	陝西省智果寺永樂北 蔵とその表装に用い られた染織品につい て	呉 爽	早稲田大 学大学院 文学研究 科紀要	59
名宝細見		朝 日		台北故宮「神品至宝」 展から 刺繍九羊啓 泰図軸 元時代・13 ~14世紀	小山弓弦葉	毎 日	7.29
太刀 銘 助真 一文字真作 鎌倉 時代(13世紀) 格 調高く変化に富む 刃文	酒井 元樹		9.13	日 本			
刀 無銘(名物 島 津正宗) 鎌倉~南 北朝時代(14世紀) 名刀中の名刀 謎 多い来歴	末兼 俊彦		10.4	中世寺社の空間・テ クスト・技芸 寺社 と空間 禅僧が神に 袈裟を授ける話一説 話の系譜をめぐって	大塚 紀弘	アジア遊 学	174
美の履歴書 346 な ぜ人気があったのか 「一期一腰の大・小」 源清麿	宮代 栄一	朝日夕刊	3.12	日本禅宗における袈 裟一東福寺伝法衣を 一例として一	山川 暁	学 叢	36
「地鉄の強きこと限 りなく、すがたは霸 気に溢る。古今無双 の出来ばえ也」根津 美術館「清麿一幕末 の志士を魅了した名 工」展	黒沢 綾子	産 経	3.20	宮崎友禅齋と友禅染	河原田康史	京都産業 大学日本 文化研究 所紀要	19
古代の金文字鮮やか に 福岡で出土の象 嵌大刀		毎 日	1.24	「天寿国繡帳」の刺繍 技法について	大崎 綾子	芸術学研 究(筑波)	19
名刀「島津正宗」150 年ぶり確認 皇女和 宮降嫁 徳川家が献上	野宮 珠里	毎日夕刊	9.6	黒輪子地若松紅葉鹿 小花文様絞縫小袖	丸山 伸彦	国 華	1422
				特集展示「名物 裂と 裂箆笥」を終えて 資料紹介「新出・鴻 池家伝来 名物裂コ レクション」	佐藤 留実	五島美術 館研究紀 要	2
染織・服飾				鍋島更紗の技法と染 料について	宇治 章	佐賀県立 博物館・ 美術館調 査研究書	38
東アジア				衣裳に纏わることば 今昔 名物裂	長崎 巖	聚 美	12
7世紀モンゴル遺跡 の染織 正倉院宝物 と同じ文様		読売夕刊	6.20	正倉院所在の法隆寺 献納宝物染織品一錦 と綾を中心に一	沢田むつ代	正倉院紀 要	36
中 国				更紗本諸本の研究	横山 學 解題 蜂谷 綾乃	生活文化 研究所年 報	27
唐物と茶の湯 第9 回 蜀江の錦	彭 丹	淡 交	846	日本美術史入門 COLUMN 日本美術 のエポック 人気の 光琳デザイン	河野 元昭	太陽(別冊)	日本美術 史入門
総合文化展見どころ 案内	小山弓弦葉	東京国立 博物館ニ ュース		天理参考館所蔵 蹴 鞠資料1一鞠水干 紅 上一	幡鎌 真理	天理参考 館報	27
2014年4月・5月 複雑な織物の組織 にご注目 連時代の 染織			724	総合文化展見どころ 案内2014年8月・9 月 古代の鮮烈な色 彩に驚く! 特集「魅 了した飛鳥・奈良染織 の美一初公開の法隆 寺裂一」	沢田むつ代 三田 覚之	東京国立 博物館ニ ュース	726
2014年6月・7月 これが刺繍で書か れているの?! 織 繡 珍品選			725	小袖雛形本にみる謡 曲意匠一「かきつば た」模様を中心に一	遠藤 貴子 綿抜 豊昭	図書館情 報メデイ ア研究	11-2
2014年10月・11月 東洋館 アジアを 旅する 憧れの舶 載裂は、ステータ スの証拠 「加賀藩 前田家伝来名物裂」			727				

売立目録にみる鍋島 緞通	上田 香苗 (宮原香苗)	鍋島報効 会研究助 成研究報 告書	6	アジアにおける緞織 物の伝播に関する研 究—インドから琉球 王国への経緯緞の影 響を中心に—	森西 麻衣	高梨学術 奨励基金 年報	H25年度
江戸時代における絵 本類の染織意匠への 影響に関する一考察— 絵入俳書の花鳥画 風意匠参考書として の位置づけを中心に—	大久保尚子	美 学	245	静岡市立芹沢銈介美 術館所蔵の魚皮衣に ついて	梶原 洋	芹沢銈介 美術工芸 館年報*	5
古裂に、学ぶ—齋藤 コレクション寸揃—	河上 繁樹	美学論究	29	特集2 日本人の知 らないインド更紗の 世界 前、後編	オフエル・ シャガン	目 の 眼	454、455
丹青閑話 第42話— 鳥獸文様陣羽織	島尾 新	美術の窓	373	<b>漆 工</b>			
飛鳥・奈良時代にお ける紫色の特質	小倉久美子	万葉古代 学研究年 報	12	<b>中 国</b>			
「御所解模様」に関 する一考察—その概念 と実態—	鈴木 理子	MUSEUM	653	唐物と茶の湯 第6 回 堆朱牡丹	彭 丹 淡 交		843
染織技法の分業に関 する研究序説	菊池 理予	無形文化 遺産研究 報告	8	特集「稀なる」存星を 知る		〃	848
歴史の証人 写真に よる収蔵品紹介 婚 礼衣裳	澤田 和人	歴 博	183	存星一失われたも の	彭 丹		
特集展示 新収資料 の公開—江戸の小袖 —	〃	〃	187	存星 稀なるもの の系譜	福島 修		
名宝細見 小袖 染 分縷子地若松小花鹿 紅葉模様 江戸時代 (17世紀) デザイン の系譜、現代まで	小山弓弦葉	朝 日	10.25	宋時代の彫彩漆を 見直す—伝世の日 本現存作から	小池 富雄		
ライトアップ[鳥獸 文様綴織陣羽織]		東京夕刊	7.10	唐物と茶の湯 第10 回 真贋祥瑞	彭 丹	〃 〃	
江戸博蔵めぐり 白 天鶯絨地胴服 松平 家ゆかりの人物所用	斎藤 慎一	読 売	3.28	台北故宮「神品至宝」 展から 花卉堆朱長 頸瓶 明時代 永楽 年間(1403~1424)	竹内奈美子	毎 日	7.25
江戸時代 衣装から 探る美意識 男女と も小袖 文様で性差	渡部 恵子	〃	12.18	<b>日 本</b>			
正倉院宝物97点 法 隆寺由来 明治期に 紛れ込む		読売夕刊	4.23	調査報告 木村定三 コレクション M 1134付属《秋草蒔絵 面箱》について	小池 富雄	愛知県美 術館研究 紀要	20
<b>朝 鮮</b>				中世能登における漆 器生産について—七 尾城跡シッケ地区の 分析を中心に—	高橋 敦 久田 正弘	石川県輪 島漆芸美 術館紀要	9
展覧会への誘い 2014 年新春企画展 「ボ ジャギとチュモニ展」 に寄せて—女性たち の糸と針の造形—	山本 俊介	高麗美術 館館報	97	館蔵品紹介 新指定 重要文化財 小川破 笠「春日野蒔絵硯箱 柏に木菟蒔絵料紙 箱」	柏木 麻里	出光美術 館館報	166
<b>そ の 他</b>				テーマ展 漆絵のデ ザイン—浄法寺塗菓 子盆の魅力—	瀬川 修	岩手県立 博物館だ より	143
帯 銀地花卉段文様 モール錦	小山弓弦葉	国 華	1428	作品紹介 九曜紋松 橋蒔絵婚礼調度	土井久美子	大阪市立 美術館紀 要	14
				調査報告 ルーヴル 美術館蔵アドルフ・ ティエール(1797~ 1877)蒔絵コレクシ ョン	永島 明子	学 叢	36

琉球漆器に描かれた山水図に関する一考察—18世紀から19世紀頃の貝摺奉行所製作例を中心に—	當山 綾乃	芸術学研究(京都造形)	5	報告 桃山文化期における輸入漆の調達と使用に関する調査(III)—日本国内の出土漆器における輸入漆塗料の使用事例—	北野 信彦 小椋山一正彦 電子本多貴之 宮腰 哲雄	保存科学	53
特輯 根来塗		国 華	1421	特別陳列—左三ッ巴紋花鳥円文蒔絵鞍・鏡	吉廣 さやか	ミュージアム・レター	25
「根来塗」特輯に当って	河野 元昭			沃懸地青貝金貝蒔絵群鹿文笛筒の意匠構成	中部 義隆	大和文華	126
朱漆器と「根来塗」	小松 大秀			特集 結婚のすがたコラム 家紋入りの婚礼道具	山崎 会理	歴 博	183
朱漆飾太刀箱	猪熊 兼樹			古都ナビ 宝物編		朝 日	
朱漆塗高杯	永島 明子			春日大社・黒漆平文根古志形鏡台	古沢 範英		5.25
朱漆瓶子	土井久美子			花唐草螺鈿経箱	久保 智祥		12.21
朱漆折敷・撃子	小池 富雄			名宝細見 花鳥蒔絵螺鈿聖龕 桃山時代(16世紀末~17世紀初) 欧州人を魅了した漆器の美	川畑 憲子	〃	11.29
練行衆盤	高橋 隆博			幕府お抱え蒔絵師の正体 山田常嘉8代目の経歴、解明して論文に 作品あるが文献残らず 折り畳まれた継紙発見 望まれる再評価	高尾 曜	日 経	4.11
漆塗菜桶	川畑 憲子			四天王寺の漆器 秀吉贈る 寺の學術調査「重文級の品」		読売夕刊	11.6
漆塗布薩盥	小林 祐子			<b>朝 鮮</b>			
朱漆輪花盤	竹内奈美子			韓国の漆文化(1)—輪島市海外漆文化調査補遺・4—	関次 俊雄	石川県輪島漆芸美術館紀要	9
朱漆葉壺	内田 篤呉			表紙について 黒漆塗螺鈿花鳥文箱	(須)	高麗美術館館報	97
特別展「光悦—桃山の古典[クラシック]を終えて 光悦特集「光悦蒔絵」の文字表現	福島 修	五島美術館研究紀要	2	<b>石 造 物</b>			
特集 源氏絵 優雅な王朝的美意識 源氏物語意匠蒔絵香箱	渡辺 雅子	聚 美	10	<b>日 本</b>			
出土漆器からみた桃山文化期における漆文化の解明に関する調査研究	北野 信彦	高梨學術奨励基金年報	H25年度	中世の対馬 ヒト・モノ・文化の描き出す日朝交流史 II モノから見た中世の対馬		アジア遊学	177
アイヌ文化期における漆碗の基礎的研究	清水 香	〃	〃	対馬の砥石	佐伯 弘次		
特集「稀なる」存星を知る 玉楯象谷と存清(存星)	住谷晃一郎	淡 交	848	石塔類から見た中世・対馬の様相	大石 一久		
桃山時代蒔絵様式における意匠研究—妙法院「秋草蒔絵文台」を中心に—	近藤 雄紀	哲学会誌	38	燈籠百話 12、13	伊吹 順章	春 日	91、92
総合文化展見どころ案内		東京国立博物館ニュース		資料紹介 千葉県市川市 下総国分寺出土板碑	小松崎百恵	国学院學術資料センター研究報告*	30
2014年8月・9月 鮮やかで美しい、琉球工芸の世界 樹下人物螺鈿沈金食籠	品川 欣也		726				
2014年12月・2015年1月 本館 日本に出会う 祝意を詠み込んだ和歌の意匠 重文 男山蒔絵硯箱	竹内奈美子		728				
古代の漆工	古尾谷知浩	名古屋大学文学部研究論集	179				
「高台寺蒔絵」とは	田川真千子	美術京都	45				



特輯 古代大隅国の歴史的展開 史跡隼人塚とその石造物	鈴木 景二	古代文化	597
元荒川以北の同型板碑	四方田 悟	埼玉史談	317
熊本県北部、鎌倉時代造立五輪塔様式の変遷について(上、下)	佐藤 誠	史迹と美術	841、842
百塔自然石塔婆群及び大乗院自然石塔婆群について(上、中、下)	〃	〃	847
出羽三山参道における中近世石塔の考古学的調査	荒木 志伸	高梨学術奨励基金年報	H25年度
第65回(埼玉)大会共通論題 問題提起15北武蔵地域における板碑造立に関する一視点	滝澤 雅史	地方史研究	371
法雲寺学術調査について	比毛 君男	土浦市上高津貝塚ふるさと歴史の広場年報	19
資料紹介「源政行」銘板碑(雄島海底採集の板碑)		東北学院大学博物館年報	2012年度
異質石塔にみる中世の大村湾・有明海の海運	大石 一久	長崎歴史文化博物館研究紀要	8
埋文あらかると 魚津産黒曜石の利用	山本 正敏	埋文とやま	129
特集・武蔵野と富士人穴碑塔群に見る武蔵富士講の願い	渡井 一信	武蔵野	353

その他

中世モンゴルにおける石材利用と加工技術	坂本 俊	高梨学術奨励基金年報	H25年度
高梁市成羽美術館蔵「石製碗」について	四角 隆二	高梁市成羽美術館だより	30

木竹工芸

日本

平城京と寺院等の調査 平城宮東方官衙地区 SK19189出土の木製品一第440次	芝 康次郎	奈良文化財研究所紀要	2014
資料紹介 笙 銘海浦 頼尊作	茨木 恵美	彦根城博物館だより	107
ミュージアム・コレクション 能島村上家に伝わる二つの「横笛」	櫛部 大作	本郷	112

ガラス工芸

日本

中世の対馬 ヒト・モノ・文化の描き出す日朝交流史 II モノから見た中世の対馬 中世博多のガラスと対馬	比佐陽一郎	アジア遊学	177
逸品紹介 型吹き黄色十字文丸形ガラス三段重	山本ゆかり	国華清話会会報	24
飛鳥地域等の調査 キトラ古墳出土ガラス小玉一135次	降幡 順子	奈良文化財研究所紀要	2014
ライトアップ[切り子ガラス碗]		東京夕刊	7.25

その他

岡山市立オリエント美術館所蔵 突起装飾ガラス碗をめぐる考察	四角 隆二	岡山市立オリエント美術館研究紀要	28
奈良のガラス皿 ローマに通ず?古墳で出土、化学組成ほぼ一致	塚本 和人	朝日	11.13
同時出土 ガラス器に「国際色」奈良県の古墳 原料にササン朝やローマ帝国の特徴	清岡 央	読売	11.26

その他の工芸・民具

中国

漢族の「天工開物型」腰機と、麻用腰機、竿付き高機、馬毛用腰機	内海 涼子	大阪成蹊大学芸術学部紀要	10
特集 台北國立故宮博物院 PART 1 COLUMN 2 台北 國立故宮博物院 器物処助理研究員 蔡慶良に聞く 人々が思いを込めた玉の姿	岩切 滯	美術手帖	1007
特集 1 台北 國立故宮博物院の名宝をみる 玉の生命感～中国の人々に愛される玉のひみつ	谷 豊信	目の眼	453
特集 1 文房四宝の世界		〃	454
東洋の心を知る 健筆! 乾隆帝の文房具	富田 淳		
東洋文化を知る 知っておきたい文房四宝	北畠 五鼎		

日本					右京七条一坊・藤原宮外周帯の調査一第173-4次・第178-2次	若杉 智宏 廣瀬 寛		
大阪市内のベンガラ利用とその生産	田中 裕子	葦 火	173					
総合文化展見どころ案内2014年12月・2015年1月 法隆寺宝物館 宝物に浸る 奈良時代の貴重な象牙彫刻 重文 紅牙撥鏝尺	竹内奈美子	東京国立博物館ニュース	728		左京五条三坊の調査一第178-3次	清野 孝之 山野ケン 次郎 陽 大澤 正吾 森崎 一貴		
平城宮・京出土備羽口の製作技法と皮革	木沢 直子 小村 眞理	奈良文化財研究所紀要	2014		左京三条三坊・東二坊大路の調査一第178-7次	南部 裕樹 大澤 正吾		
紙博收藏の正倉院御物「紙縋編合子」	辻本 直彦	百万塔	147		平城京と寺院等の調査		〃	〃
組上灯笼—江戸のペーパークラフト	香川 雅信	みんぱく	447		左京三条一坊九坪の調査一第510次	松下 迪生 神野 惠 川畑 純 芝 康次郎		
東北地方の水晶製切子玉—日本列島東北部の切子玉の特質—	福島 明恵	歴史遺産研究	9		左京一条二坊十五坪の調査一第511次	川畑 純		
その他					左京二条二坊十五坪の調査一第514次	神野 惠 川畑 純 芝 康次郎 渡辺 晃宏 松下 迪生		
総合文化展見どころ案内2014年6月・7月 美しいのは、影だけではない インドネシアのワヤン	白井 克也	東京国立博物館ニュース	725		左京三条一坊・二・八坪の調査一第515次・第522次	川畑 純 小田 裕樹 芝 康次郎		
建築					右京一条二坊四坪・二条二坊一坪の調査一第518次	神野 惠 箱崎 和久 馬場 基		
日本					滋賀県の考古学24 最新の成果と課題(第24回) 紫香楽宮跡—29年間の調査成果から—	鈴木 良章	人間文化	37
日本の塔百選(21)～(30)	中西 亨	史迹と美術	841～850		四面廂建物からみた平泉の都市景観	荒木 志伸	平泉文化研究年報	14
都市・集落					修士論文概要 纏向遺跡の変遷	児玉 駿介	文化情報学	9-2(別冊)
日本					特集 先史・古代の日本列島と朝鮮半島 日本都城の形成過程と新羅都城	林部 均	歴史博	186
四天王寺南方で見つかった難波京条坊跡	平田 洋司	葦 火	168		「都城制」の系譜 斬新解釈 江戸東京博物館の特別展		読 売	4.30
図版解説 平城宮における幢旗の遺構の発見—奈良県奈良市平城宮跡—	海野 聡	古代文化	597		宮殿・官衙			
史跡西部北側における掘立柱建物の再検討	泉 雄二	斎宮歴史博物館研究紀要	23		日本			
平成二十五年度の斎宮跡発掘調査の成果	伊藤 文彦	斎宮歴史博物館だより	72		難波大宮既に停む—難波宮址の平安時代—	谷崎 仁美	葦 火	170
南門の柱間装置の検討—第一次太極殿院の復原研究13—	中島 咲紀	奈良文化財研究所紀要	2014		研究ノート 難波宮の区画施設、特に複廊について	杉本 厚典	大阪歴史博物館研究紀要	12
回廊の柱配置—第一次太極殿院の復原研究14—	井上 麻香	〃	〃		草梁倭館の修理・改建における資材調達	木村 和代	史 学	83-2・3
藤原京の調査		〃	〃					

藤原宮の調査 朝堂院 朝庭の調査—第179 次	桑田 今井 森川 廣瀬 山崎	訓也 晃樹 実寛 健	奈良文化 財研究所 紀要	2014	上淀廃寺石造相輪考	狭川 真一	元興寺文 化財研究 所研究報 告	2013
平城宮の調査			”	”	鉢伏山金剛寺跡—脊 振山系の山岳霊場遺 跡の様相—	岡寺 良	九州歴史 資料館研 究論集	39
東院地区の調査— 第503次	小田 川畑	裕樹 純			戦国期甲斐国におけ る建築工匠の近世的 展開	山岸 吉弘	建築史学	62
第一次太極殿院広 場の調査—第520 次	海野	聡			発掘！埋蔵文化財調 査から見えた歴史— 国際子ども図書館の 新たな幕開けへ向け て—	安田 隆昭	国立国会 図書館月 報	638
神社建築の源流—纏 向から飛鳥の宮殿ま で—			東 京	9.20	崇徳寺跡と鎌倉街道 (苦林宿)	内野 勝裕	埼玉史談	316
基調講演 黒田龍 二氏 ヤマト王権 探る手がかり 前 方後円墳と深い関係					国昌寺の創建と修造 について—大津市鳥 居川霊園採集遺物の 整理から—	小松 葉子	滋賀県文 化財保護 協会紀要	27
講演 木下亘氏 柱つくる技 権力 と関連					古代の開発と神社本 殿遺構—金貝遺跡の 調査より—	内田 保之	”	”
講演 林部均氏 新時代へ転換示す 遺跡					特集「間」 信仰のあ り方と仏堂の空間	上野 勝久	紫 明	34
そ の 他					会員通信		全文連文 化財通信	92
阮朝フエ王朝におけ る隆徳殿の番付につ いて 隆徳殿の建築 技法 その2、3	白井 佐々 中川	裕泰 木昌 孝武	日本建築 学会計画 系論文集	696,698	普通寺の金堂・五 重塔について	榎原 禅澄		
宗教建造物					「寶華殿」陽徳院靈 屋修復に思う	吉田 道彦		
中 国					重要文化財池上本 門寺宝塔について	酒井 日慈		
北京の通州塔とその 伝説	松木 民雄		東海大学 国際文化 学部紀要	6	日光東照宮元録の大 修理と長畑産の亀腹 石	田邊 博彬	大 日 光	84
日 本					栄西禪師800年大遠 諱記念 栄西と臨濟 禪 第3章 禪と日 本文化 禪宗建築	佐々木日嘉 里	太陽(別冊)	215
中世寺社の空間・テ クスト・技芸			アジア遊 学	174	日本美術史入門 COLUMN		”	日本美術 史入門
総論 「寺社園」の パースペクティヴ	大橋 直義				日本美術の謎 山 中の密教寺院と美 麗な浄土寺院			
寺社と空間 寺社 の空間と言説— 「寺社園」としての 南都に及ぶ	”				日本美術のドラマ 日光東照宮と桂離 宮	河野 元昭		
寺社と空間 宴曲 (熊野参詣)と熊野 信仰—二つの起源 説を巡って	源 健一郎				冠木門跡の発掘調査 を実施しました。		津山城だ より	18
コラム 法華山寺 の経蔵	太田有希子				北陸道の初期神宮寺	脊古 真哉	同朋大学 仏教文化 研究所紀 要	33
寺院紹介 岩屋寺	上杉 智英	いとくら	9		研究ノート 明科廃 寺造営の背景	西山 克己	長野県立 歴史館研 究紀要	20
伊勢松阪の黄檗廃絶 寺院	石渡 吉彦	黄檗文華	133					
大神神社の鳥居と赤 玉	土生田純之	大 美 和	127					

平成26年定期刊行物所載文献(古／建築)

国分尼寺の造営過程に関する基礎的考察	梶原 義実	名古屋大学文学部研究論集	179	特集 京都国立博物館・平成知新館の全て 平成知新館と埋蔵文化財	宮川 禎一	文化財*	610
寺院遺構からみた背振山上宮・東門寺跡と中宮・靈仙寺跡の研究	岡寺 良	鍋島報效会研究報告書	6	本願寺御影堂・阿弥陀堂の国宝指定に思うこと	山岸 常人	"	611
薬師寺東塔彩色の材料調査報告	高妻 洋成 鈴木 智大 降幡 順子 脇谷 章一郎 田村 朋美 赤田 昌倫	奈良文化財研究所紀要	2014	新指定の文化財 建造物 国宝の指定 重要文化財の指定 重要文化財の追加指定	文化庁文化財部	"	"
藤原京の調査 本薬師寺旧境内の調査—第178—1次	今井 晃樹 荒田 敬介	"	"	表紙解説 本願寺御影堂、本願寺阿弥陀堂	西岡 聡	"	"
飛鳥地域等の調査 檜隈寺周辺の調査—第180次	森崎 一貴	"	"	京都府指定文化財の紹介「本満寺蓮乗院 霊屋」について	引間 俊彰	文化財レポート	27
平城京と寺院等の調査		"	"	根来寺遺跡の発掘調査	寺西 朗平	和歌山県文化財センター年報	2013
西大寺旧境内の調査—第505・第521次	諫早 直人 小田 裕樹 星野 安治 渡辺 丈彦 渡辺 晃宏 鈴木 智大	"	"	関連研究・資料紹介 重要文化財丹生都比売神社本殿保存修理工事—塗装工事における新発見—	結城 啓司	"	"
法華寺阿弥陀浄土院跡の調査—第512次	松下 迪生 川畑 純	"	"	博士論文概要 日本古代の阿弥陀堂の研究	三宮 千佳	早稲田大学大学院文学研究科紀要	59
興福寺西室の調査—第516次	番 光 神野 惠 川畑 純 石田 由紀 芝 康次郎	"	"	古都ナビ 宝物編 十輪院本堂	古沢 範英	朝 日	7.20
薬師寺十字廊の調査—第519次	庄田 慎矢 星野 安治 児島 大輔 脇谷 章一郎 小田 裕樹 石田 由紀 田村 朋美 箱崎 和久	"	"	美の履歴書 382 何のために造られた「元興寺極楽坊五重小塔」作者不詳	大西 若人	朝日夕刊	11.26
東大寺における実忠の造営事績とその活動形態	小岩 正樹	日本建築学会計画系論文集	696	東京新聞フォーラム よみがえる古代の大和 パネル討論 黒田龍二氏 林部均氏 木下互氏 渡辺真理氏 神との「同居」から発展 大王 生活と儀式が一体 ヒビキ遺跡 半島とつながる出土品 飛鳥宮と似る伊勢神宮		東 京	9.20
文京区駒込の寺地の変遷	渡邊 美樹	"	697	平等院鳳凰堂 創建時の姿 1年半ぶり内部拝観		東京夕刊	4.3
近世初期三輪山における禁足の制定とその景観 神社の禁足地とその景観に関する研究	是澤 紀子	"	700	奈良時代 東大寺で地鎮? 旧境内北限 つばからと同開珎		"	7.1
八脚門にみえる棟持柱構造の建築的意義	滝澤 秀人 土本 俊和	"	701	木造山門26.9メートル 高さ日本最大級 東本願寺の御影堂門		日 経	2.20
文化財レポート 北部九州の中世山林寺院跡・国史跡 首羅山遺跡について	江上 智恵	日本歴史	795	唐招提寺 金堂回廊は東西78メートル 西面で遺構発見		"	5.2
基調講演 仏教建築にみる平泉文化の特質	清水 擴	平泉文化研究年報	14				

薬師寺東塔の「心柱遷坐式」	松本 博子	毎日夕刊	9.8	5 南国市 岡豊城跡—表玄関の曲輪の調査—	油利 崇	埋文こうち	27
日本史を歩く 宗像大社 福岡県宗像市 古代信仰の自然木	植田 滋	読 売	2.12	連載企画 とやま発掘物語32 安田城跡—よみがえった越中攻め前線拠点—	島田 修一	埋文とやま	128
<b>そ の 他</b>				訪ねてみよう! ご近所の遺跡—「兵どもが夢のあと」市内に残る城跡—金杉城跡		みゅーじあむ・船橋	2
ブレア・ヴィヘア寺院山頂伽藍の寸法計画 クメール建築の造営尺度と設計技術に関する研究(7)	溝口中川下田佐藤石塚	明則 武 一太 桂 充雅	日本建築学会計画系論文集	697			
阮朝フェエ王宮における世祖廟の寸法計画について	白井中川	裕泰 武	〃	705		歴史と地理	
アヌタヤ遺跡 タイ 壮麗な都 今は昔	森 耕一	東 京	4.24	小田原北条氏の相武四支城体制と在地世界 城跡の管理権と親子城郭論の試み	伊藤 正義		672
アンコール王朝 繁栄の背景 地方「五大遺跡」と道路網 寺院建立して経済活性化	清岡 央	読 売	10.8	肥前名護屋城と諸将の陣屋 発掘された秀吉の教寄空間	松尾 法博		675
<b>城 郭</b>				佐土原藩「広瀬転城」の経緯・背景	瀧川 哲哉		677
<b>日 本</b>				江戸の台場について	浅川 道夫		680
谷町6丁目で見つかった豊臣時代の石垣	南 秀雄	葦 火	168	城館の構造から歴史を読む	齋藤 慎一	歴史評論	768
大坂城本丸を掘る		〃		和歌山城跡の発掘調査	高橋 智也	和歌山県文化財センター年報	2013
その3 再び姿を現した秀吉の大坂城石垣 豊臣期大坂城の詰ノ丸石垣の再発掘	絹川 一徳		170	豊臣家ゆかり 郡山城天守は高さ20メートル		産 経	9.13
その4 徳川期大坂城の新発見	桜田小百合		173	<b>住 宅 ・ 館</b>			
細川家の建築15 勝龍寺城	藤森 照信	永青文庫	88	<b>日 本</b>			
初期金沢城の発掘 II		金沢城を 探る	13	東アジアの音楽文化物語と交流と V 音楽文化史からの視座 楽奏の場としての平安建築—『うつほ物語』『源氏物語』に示された御遊の空間構成	赤澤 真理	アジア遊学	170
調査研究 金沢城二ノ丸からの移築遺構について—中村神社拝殿および尾山神社東神門—	正見 泰	研究紀要 金沢城研究	12	蔵屋敷の蔵—中・小藩の場合—	吉田市川 悠歩 創	葦 火	172
平成25年度研修会 特別講演 中世城館跡調査の現状と課題	鋤柄 俊夫	公立埋文協会報	52	御成小学校内発掘調査により検出された中世武家屋敷の建築	鈴木 亘 鎌 倉		117
湖西地域における山寺の城郭化	小林 裕季	滋賀県文化財保護協会紀要	27	研究ノート 近世東国民家の柱間寸法と畳割の分布(1)—関東地方—	清水 擴	建築史学	62
北東北地域における近世初頭の城郭の研究—津軽氏城跡を中心に—	岩井 浩介	高梨学術奨励基金 年報	H25年度	遺跡だより102 新宿区 市谷本村町遺跡	小林 裕	たまのよこやま	98
弘化期・万延期における江戸城本丸御殿大奥御殿向の室内意匠による殿舎の格	服部佐智子	日本建築学会計画系論文集	697				

天保9年の越前における公料巡見使宿越前における巡見使の宿に関する研究その2	国京	克己	日本建築学会計画系論文集	695	朝鮮	慶州羅井の八角形建物址における柱配置計画に関する研究	李溝口	延敏明	日本建築学会計画系論文集	698
『一乗寺村文書』の普請願書にみる愛宕郡一乗寺村の民家型式	丸山	俊明	〃	696	庭園					
近世九條家の屋敷について—近世公家住宅の復古に関する研究 4—	藤田	勝也	〃	697	日本	大坂の町屋にあった庭園跡!?	大庭	重信	葦 火	169
泊の御宿, 本陣について—越前国における藩主の休息・宿泊施設に関する研究(その2)	増田	晴夫	〃	698	研究報告 戦国武将の居館に配された複数の庭園空間	藤田	若菜		一乗谷朝倉氏遺跡資料館紀要	2012
三階蔵の増築とその技法について	久保奈緒子		人間文化	36	特集「間」日本庭園と「間」	小野	健吉	紫	明	34
1 追手筋遺跡—武家屋敷の池跡を発見!	徳平	涼子	埋文こうち	27	栄西禪師800年大遠謙記念 栄西と臨済禅 第3章 禅と日本文化 禅の庭	町田	香	太陽(別冊)		215
10 重要文化財安岡岡家住宅	小松	誠	〃	〃	室町時代の将軍の庭園	中島	義晴		奈良文化財研究所紀要	2014
学問の図像とかたち164 思考の模型開かれた学校	松本	文夫	U P	502	連載 大徳寺龍光院の庭—龍光院十境 日本庭園史のなかの禅の庭と境致	町田	香	南 游 行		
小松原II遺跡・湯川氏館跡の発掘調査	川崎	雅史	和歌山県文化財センター年報	2013	『江戸図屏風』から読み解く寛永期の江戸の庭園	小野	健吉		日本研究	50
経向遺跡 4つ目の建物跡「卑弥呼宮殿」の説 3棟と方向・中軸線そろう			日 経	2.7	和歌山城西の丸及び「西之丸庭園」について	武内	善信		和歌山市立博物館研究紀要	29
					夫婦の日本史 2人で造った名園「桂離宮」	渡部	裕明	産	経	6.4
<b>茶 室</b>					<b>墳 墓</b>					
<b>日 本</b>					<b>日 本</b>					
『山上宗二記』にみる茶室	桐浴	邦夫	茶道文化研究	6	日本美術史入門 日本美術の基礎知識 1 古墳の種類と発展	原田	昌幸	太陽(別冊)		日本美術史入門
特集 島津家の数寄風流 旧島津氏玉里邸の茶室	矢ヶ崎善太郎		淡 交	843	飛鳥地域等の調査キトラ古墳の調査—第173—8次・第178—6次	若杉	智宏		奈良文化財研究所紀要	2014
水屋の歴史	神津	朝夫	〃	847	山口古墳群の発掘調査	村田	弘		和歌山県文化財センター年報	2013
千少庵について—近畿例会シンポジウム—少庵の茶室	中村	昌生	茶の湯文化学	22	<b>そ の 他</b>					
<b>その他の建造物</b>					<b>日 本</b>					
口絵裏解説 重要文化財 春日神社能舞台	中西	薫	紫 明	34	ソグド人と東ユーラシアの文化交渉 1 ソグド人の文化と思想(信仰) ソグド人の墓と葬具—中国とソグディアナ	影山	悦子	アジア遊学		175
小連載 表御殿のみどころ2 江戸時代の能舞台	茨木	恵美	彦根城博物館だより	107						

蒼き狼の都2014 鉄  
 剣 高位武官の副葬  
 品 墓の造営に「規  
 制」期間か 辻本 芳孝 読 売 10.1

### 建築部材など

#### 日 本

古代建築の架構・天  
 上・組物にみる「見  
 せる」要素と「隠す」  
 要素—第一次太極殿  
 院の復原研究12— 海野 聡 奈良文化  
 財研究所  
 紀要 2014

法隆寺所蔵古材調査  
 4—昭和の大修理と古  
 材の整理— 大林 潤 " "

日本民家の梁組にお  
 ける部材名称の多様  
 性とその標準化 伝  
 統木造用語に関する  
 比較研究 その1 堀江 亨 日本建築  
 学会計画  
 系論文集 703

### 建築に付随するその他

#### 日 本

刃痕にみる飛鳥時代  
 から鎌倉時代のオノ  
 の形状と工作技術  
 建築生産工程におけ  
 る道具刃部の形状と  
 使用法の研究 その  
 2 植村 昌子 " 702

賀茂別雷神社修理方  
 による営繕予算管理 中西 大輔 " 706

『木碎之注文』『重々  
 ノ間之事』における  
 柱間運減の規定方法  
 —14世紀末の三重塔  
 に関する記述からみ  
 た史料価値の再検討— 伏見  
 中川 唯武 " "

#### 朝 鮮

韓国における大工道  
 具研究の現況 崔 ゴウン 竹中大工  
 道具館研  
 究紀要 25

近 現 代 美 術

絵 画				編 集 部	
一 般				戦争という記憶を伝える 福富太郎コレクションの戦争画が果たすこと	
アフリカ人作家・画家がつくった児童書の日本での受容について	さくまゆみこ	青山学院女子短期大学紀要	68	画家と戦争 日本美術史の空白 column	河田 明久 " "
特集2 「민화(MINHWA)」と大津絵—(民画)という思想—		大正イマジユリイ	9	書く兵士 戦時下の靖国神社 戦争画の“レプリカ”	
図案・模様・民画—(近代絵画)から疎外されたもの—	土田 真紀			昭和30年代に製造された油絵具・レモンイエローディープおよびカドミウムイエローペールの微細構造	北田 正弘 東京芸術大学美術学部紀要 伊坂 紀子 52 西嶋 雅彦
「民画」への視点	岸 文和			明治初期海図の製図法について—西洋地図学との出会いとその導入をめぐって—	今井 健三 東京大学史料編纂所研究紀要 24
個人研究 国際的要素のみられる仏教絵本の諸作品	森 寛	大正大学総合仏教研究所年報	36	館蔵「浜御殿より品川新宿迄江戸往還道絵巻」について	小澤 弘 東京都江戸東京博物館紀要 4
ETC理論からみた描画法における「素材」と創作過程—考案者の表現空間に対する意図の検討から—	市来百合子	奈良教育大学紀要	63-1	研究余録 戦時下の紙芝居にみる軍事郵便の「理想像」	後藤 康行 日本歴史 796
SPECIAL FEATURE 贋作ってなに? PART 2 真贋の現場から考える 絵画を元素レベルで科学する!? 真贋鑑定を助ける科学調査の最前線	編集 直義、米村 祥央、監修	美術手帖	1010	【資料紹介】 当館所蔵「玉川鮎狐鶴飼之図(鮎狐鶴飼実施之景況危図)」の考察～日野市郷土資料館所蔵「武洲玉川鮎狐鶴飼之絵図」との比較を通じて～	橋場万里子 バルテノン多摩博物館部門研究紀要 12
あすへの話題 自然が芸術を模倣する	馬淵 明子	日経夕刊	11.29	特集 心に染みる風景 風景画再考—生命(いのち)と切り結ぶ風景を求めて	金子 美樹 美術* 465
日 本				もっと知りたい! ちよっと気になるこの一品 王子名園名主の滝遊園地案内図	(久保埜) ぼいす 32
月刊ギャラリー創刊25周年記念 小川英晴のアート縦横 No. 47 世代間の断絶を越えて絵画の王道を求める 後編	長谷川智恵子、小川 英晴 対談	ギャラリー*	352	喜多方の農耕絵馬(続) 一 館稲荷神社明治四〇年奉納絵馬を中心に— その一、その二	佐々木長生 民具マンスリー 556、558
歌の裸体画 「明星」にみる与謝野晶子のうた	古澤夕起子	CHRONOS	36	特集1 目の眼的 春の京都をめぐる旅 日本画で訪ねる京都の桜	山崎 妙子 目の眼 451
「日本野鳥の会」会誌からみる昭和初期の「野鳥画」について	伊地知栄美	芸術文化研究	18	一誠会制作街頭紙芝居について	刈田 均 横浜市歴史博物館調査研究報告 10
レポート墨 第30回記念 遊墨会展		水墨画*	298	特集 本をとどける	REAR 32
続水墨画の風景 第十三、十六回	島尾 新 紫 珠	"	301、304	最高を、丁寧に。月刊「母の友」と「こどものとも」の歩みより	高松 夕佳
画家と戦争 日本美術史の空白		太陽(別冊)	220		
戦争美術展へようこそ!	河田 明久				



名古屋豆本のゆめ	岡本 信也			Art Report in Asia 中国・最新アーティ スト事情第29回 新 水墨の予感	梶川 強	ギャラリー 一*	352
母の愛 点字版「ぐ りとぐら」初の 大作 出版実現 大阪 市の岩田さん 30年 前から点訳活動	中沢 幸彦	東京夕刊	6.16				
浄瑠璃・能をうたう 十選 1~10	尾崎 眞人	日 経	3.18、20、 21、24、25、 27、28、31、 4.3、4	アルフレッド・ジャ リの『砂時計覚書』を 読む—テキストとイ メージの関係を中心 に—	合田 陽祐	慶応義塾 大学日吉 紀要	59
200年企業—成長と 持続の条件 234 日本画1200色 伝統 を守る 上羽絵惣、ネ イルにも彩り	竹田 忍	〃	4.7	ようこそ、心躍るひ とときへ—藤原英了 コレクションの世界 — 1. バレエ	鬼塚 通子	国立国会 図書館月 報	634
未来の風景 SFア ート十選 1~10	大橋 博之	〃	11.7、11、 13、14、17、 18、20、21、 24、25	美の伝承(5)岩絵具 現代中国の岩絵具3	荒井 経	絲綢之路	74
入門講座 戦後70年 と日本の絵本 1 シリーズ物から名作 民主主義下の新しい 作品模索	石井 光恵	日経夕刊	12.4	新教皇のスペクタク ル ポッセッソの行 列をめぐって	京谷 啓徳	西洋美術 研究	18
「竹島の歴史に関心 を」 島根・隠岐の 島 元小学校教師 杉原さん22日出版 盛んだったアシカ が絵本に あす立川 で読み聞かせ	山田 奈緒	毎 日	2.14	オレヴァノ・ローマ ノと近代風景画の成 立? 近頃の関心事 から	加藤 哲弘	〃	〃
ブックウオッチング 街の本屋さん 本の 家(群馬県高崎市) 絵本の原画展で感動 共有	須藤 晃	〃	4.16	特集2 「민화 (MINHWA)」と大津 絵—(民画)という思 想— 韓国絵画史に おける民画(MINHWA) の地位—韓国におけ る民画ブームをどの ように見るか—	鄭 柄模 朴 美蓮 訳	大正イマ ジュリィ	9
夢つなぐ 千代田・ 布に被災児童の思い	河嶋 浩司	〃	10.15	「本を読む女性」像に ついて その2	江本菜穂子	名古屋造 形大学紀 要	20
40メートルのちぎり 絵 神戸 東北復興 願い「世界一」		毎日夕刊	2.3	前衛と古典主義： 1910-1920年代のフ ランスとイタリアに おける画家たちの作 品と著述	阿部 真弓	日仏美術 学会会報	33
繊細な美 和紙ちぎ り絵 新宿で教室オ ープン		読 売	9.23	ヤオ族儀礼神画の研 究—広西チワン族自 治区恭城ヤオ族自治 県蓮華鎮黄泥岡村盤 王祭を事例として—	譚 静	年報非文 字資料研 究	10
<b>海 外</b>							
ルート5 矩形とルネ サンス絵画	篠塚二三男	跡見学園 女子大学 文学部紀 要	49	特集 「黒」の新世紀 —若き表現者たちの リアル 黒に魅せら れた巨匠たち—西洋 美術における黒[ノ ワール]	中村 隆夫	美 術*	470
翻訳 ヨーロッパに おける素描の歴史と 技法(6)	シャルル・ ド・トルナ イ 森田 義之、 上月 裕子 訳	五浦論叢	21	マルパーガ城プレス コ画連作より《饗宴》 図をめぐって	鈴木 幸野	美術史学	35
モダニズム絵画にお ける「オーヴァーレ イ効果」に関する研 究	副田 一穂	鹿島美術 財団年報 ・別冊	31	フェリペ三世時代の エル・パルド宮とス 페인・ハブスブル ク家の王宮装飾	松原 典子	美術史研 究	52
				特集 ラファエル前 派		美術手帖	1001

PART 1 ラファエル前派徹底解剖 主要作品解説 “アヴァンギャルド” な13作品の核心に 迫る		山口恵里子 解説				漫画・アニメーション	
PART 2 ラファエル前派 第二世代から唯美主義へ 主要作品解説 “ビューティフル”な 7作品を堪能する		野瀬 明子 構成				一 般	
特集 今あらためて 巨匠に学ぶデッサンの 技 布の質感				美術の窓	364	国語科におけるマンガ教材の可能性—その扱い方をめぐって—	町田 守弘 学術研究 62
特集 美術解剖学からの学び 頭部を描く ④技法講座 column ヴァニタス画に見る 髑髏の表現				”	373	SPECIAL FEATURE ボーイズラブ column 2 ボーイズラブ世界一周	長池 一美 美術手帖 1016
見せられる怪談(絵 図貼説[イラストレーション])のある近代中国		武田 雅哉	文学*		15-4	ポピュラーカルチャーから「女らしさ」、「男らしさ」を考える	福岡まどか 民博通信 144
特集 中国地域の文化—その多様性と伝統の展開 工芸セレクトション 土の香りのモダンアート		韓 敏	みんぱく		440	クールジャパン 世界に満ちたネット時代 草の根で広がる @ 中国 情熱、「海賊版」も生む @ アメリカ 日本政府の支え「弱い」@ フランス	竹端 直樹 朝 日 11.11
18世紀フランスのミニチュール—作品評価と制作方法の多角的な研究		宮崎 匠	武蔵野美術大学研究紀要		44	「殿堂」リベンジなるか マンガ・アニメ 議連発足 作品資料の収集と公開 5年前、構想とん挫	三沢 典丈 東京 11.23
日本史のひろば ローマから長崎へ里帰りした「伊東マンシヨ肖像画」		海江田義広	歴史と地理		672	「新世代」アニメ監督 世界へ デジタル駆使自由で表現 音楽と抽象画融合 個人で創作可能に	関原のり子 日経夕刊 2.10
教室レポート 諷刺画から覗いた世界—一九世紀のヨーロッパを中心に		山川 志保	”		674	セリフなしマンガ 世界から募集 主催社の堀江信彦社長 言葉に頼らない演出力に期待	小林 佑基 読 売 9.25
海外通信 @北京 十人十色でよみがえる「伝統」 水墨画めぐる現代アートの試み		多田 麻美	朝日夕刊		1.29	空をこえて 5 アトム 国境を超え広がる	高梨しのぶ ” 11.22
4 [読ん]で知るアート 美術を楽しむコツ 描かれた時代にタイムスリップ		と に ~	”		10.15	数士直志のアニメ月評 人気作に日米時差なし	数士 直志 読売夕刊 8.13
まなざしのポエジー 十選 1~10		杉本真維子	日 経		2.10、11、13、14、17、18、20、21、24、25	近代漫画の成長—一九〇〇—一〇年代—俳句から新聞漫画へ	森 仁史 一 寸 58
カメラの目十選 近代フランス絵画より 1~10		鷹野 隆大	”		4.28、29、5.1、2、5、6、9、12、13、15	SPECIAL FEATURE ボーイズラブ	美術手帖 1016
不穏な空間十選 1~10		高橋 明也	”		8.22、25、26、28、29、9.1、2、4、5、8	萌える座談会 金田淳子×福田里香×山本文子 column 1 ボーイズラブの歴史	編集部 構成 金田 淳子
						SPECIAL FEATURE ボーイズラブ Essay ボーイズラブから考える	” ”
						1 少年の器、少女の愛	松井みどり

2 趣味の共同体の外側で	暮沢 剛巳								いろんな百合が咲けばいい、わたしは血の色の百合が見たい	玉木 サナ				
3 恋の心のシミュレート	泉 信行								マンガの世界を構成する塵のような何か。百合はジャンル境界を描きかえるのか	日高 利泰				
特集 週刊少年サンデーの時代 トキワ荘から『うる星やつら』『タッチ』『名探偵コナン』そして『マギ』『銀の匙』へマンガの青春は終わらない サンデーの時間			ユリイカ	641					戦闘美少女と叫び、そして百合	石田 美紀				
少年週刊マンガ誌・風雲五五年史	斎藤 宣彦								内なる少女を救い出すこと『シムーン』の孤独と連帯	上田麻由子				
くりかえすこと、まえへすすむこと	中田健太郎								あなたの痛みは私そのもの 共関する(魔法)少女たちのやすらぎ	須川亜紀子				
少年サンデーには許されていた	さやわか								百合文化に分け入るために 作品・人物・メディアガイド	青柳美帆子 玉木 サナ 長門 裕介				
七〇年代の『少年サンデー』終末論的SFから恋愛の時代へ	樋口ヒロユキ								サザエさんは豊かだな 残したい心の風景がある 執筆2000話 原作の力大きい脚本家・雪室俊一さん	小原 篤 朝 日	1.1			
つい明日のこのようになります “半歩”のゆうき	市川 真人								文化の扉 はじめての4コマ漫画「起承転結」日本人好みの定型	藤崎 昭子		6.16		
特集 週刊少年サンデーの時代 トキワ荘から『うる星やつら』『タッチ』『名探偵コナン』そして『マギ』『銀の匙』へマンガの青春は終わらない			”	”					文豪マンガ 素顔にきゅん! 鷗外・漱石…テーマは恋愛や食 戦闘ものに大胆デフォルメ	野波 健祐	朝日夕刊	1.4		
ノスタルジーを超えて ラブコメと青春のゆくえーあだち充の形式的洗練、高橋留美子の特異点的存在	東伊藤 浩紀、剛 対談								茶話アニメ	藤津 亮太	”			
サンデーの進化と変容 優等生が夢に見た格闘技「繊細なよい子」のためのカンフー漫画	泉 信行								方言リアルに再現			8.23		
資料『サンデー』を彩ってきたマンガたち 主要作品 解題	さやわか 中田健太郎								業界の内幕 キラキラと			11.15		
特集 ムーミンとトールベ・ヤンソン スナフキンの言葉	瀬戸 一夫	”	649						純マンガ誌からのメッセージ 月刊誌「IKKI」14年で休刊 編集長・江上英樹さんに聞く 作家の個性 発揮する舞台	鈴木 繁	”	”		
特集 百合文化の現在		”	653						世界と日本 大図解シリーズ No.1164 The マンガ 社会的評価の変遷 表現のいろは マンガと日本人のカ・ン・ケ・イ Let's go ミュージアム	石井 友恵 吉村 和真	東 京	9.14		
「百合」の来し方 「女どうしの愛」をマンガはどう描いてきたか?	藤本由香里								大波小波 まだ描けない東北の物語	猿 田	東京夕刊	6.6		
女の子たちの突破口	川口 晴美													

「終戦の記憶」復刊へ戦後70年の来夏 漫画家らの「8月15日」作品集 故高倉健さん文章も加え	東京夕刊	12.22								
アニメ映画祭、日本橋で 文化都市、世界へ発信 「鷹の爪」「鉄腕アトム」…新旧30本以上 「コレド室町2」シネコンが舞台 幅広い年代集客	日 経	3.20								海外 特集 マーベル映画『X-MEN』『スパイダーマン』『アイアンマン』から『アベンジャーズ』、そして『キャプテン・アメリカ/ウィンター・ソルジャー』へ スパイダーマンはバイセクシャルになりえるか 光岡三ツ子
アニメで街おこし続々 稲城市「ガンダム」の大型像 久喜市「らきすた」の舞台	〃	〃								ユリイカ 643 マーベル映画の黎明期—コミックから映画への翻訳 小野 耕世、石川 裕人 対談
文化往来 東京から世界へ アニメ映画祭が再始動	〃	4.3								映画の素材としてのコミックブック マーベルコミックスを軸に 石川 裕人
大学で広まるマンガ研究 日本文化の強み理解を 明治大学教授 藤本由香里氏	太田 康夫 聞き手	〃	〃	〃						マーベル映画はなぜ「マーベル」映画なのか？ 小田切 博
昭和アニメ 味残し高画質 名作の鮮明なデジタル版続々	瀬崎久見子	日経夕刊	4.1							X-メン増殖と拡大を続ける新人類たち 堺 三保
9カ国語で漫画が話す 電子書籍大手音加え配信	柴沼 均	毎日	12.22							パンツとマントとツノはヒーローの象徴だ！ コヤマシゲト、柳 亨英 対談
スーパー歌舞伎におれはなる!! 猿之助さん主演「ワンピース」		〃	〃							虚構にリアリティを持たせた「アイアンマン」のデザイン論 石井 誠
サンキュータツオのただアニ 蟲師続章 正座して見たい映像美	サンキュータツオ	読売夕刊	4.24							映画『アベンジャーズ』と帰納的世界観 海法 紀光
数士直志のアニメ月評	数士 直志	〃								北欧神話の雷神ソールと『マイティ・ソー』 伊藤 壺
2DとCG 相互に行き来			6.11							二十一世紀マーベル・ユニヴァースにおけるロキの変貌 古典的スーパーヴィランから「セックス・シンボル」へ 鷲谷 花
「ジョジョ」マンガ的表現の解釈			7.9							Topics 欧州漫画のユマノイド社が支社バンド・デシネ日本進出 出版通じ互いに影響、共作も模索 内藤麻里子 毎日夕刊 6.26
音楽の存在感は大きく			9.10							
原作はソーシャルゲーム			10.8							版 画
業界からのメッセージ			11.12							一 般
完結するもの、始まるもの			12.10							世界20カ国から木版面に携わる人々が集う 第2回国際木版画会議 ギャラリ ー* 353

日 本

浮世絵今昔五近代版画を商う	浅野 秀剛	浮世絵芸術	167
見世/店/boutique	熊田 司	えむえむ	8
三段なぞのおもちゃ絵資料二種紹介	小野 恭靖	大阪教育大学紀要	62-2
日本近代の木版彫師、摺師にかんする基礎調査研究—明治期春陽堂の木版職人たち—	岩切信一郎	鹿島美術財団年報・別冊	31
資料紹介 名古屋名所団扇絵集 宮船着春景	津田 卓子	名古屋市博物館だより	209
Editor's Eye	松山 龍雄	版画芸術	
「木版画の国」の伝統の現代性			163
宝石のような「本」の美しさ			164
日本の銅版画の「技術力」			165
文明開化パノラマ 浮世絵の面白さ			166
特集 銅版画家25人新時代を切り開く精鋭たち			165
§ 前文 §			
現代銅版画の展開	松山 龍雄		
特集 文明開化パノラマ 浮世絵 幕末・明治の東京・横浜			166
§ 前文 §			
東京の明治文明開化			
横浜の開化名所絵「横浜絵」			
文明開化のパノラマ 浮世絵	岩切信一郎		
口絵 源三位頼政宇治橋合戦組上	田中 正流	鳳翔学叢	10
海 外			
中国古典文学と挿画文化 版本挿絵の発展と伝播・拡散 『三国志演義』の年画 一楽しみを反芻するために	三山 陵	アジア遊学	171
アートウォッチング 中国版画の美人たち	中城 正堯	横浜ユーラシア文化館ニュース	20
口絵解説 館蔵資料紹介 19世紀イギリスの私家版印刷工房刊本		早稲田大学図書館紀要	61

写真・映像

一 般

Digital Cultural Heritageを用いて家族写真の特性を明らかにする方法の提示とその検証に関する研究	研谷 紀夫 川島 隆徳	アート・ドキュメンテーション研究	21
特集 未来の“撮り方” 撮像デバイスがもたらす新たな価値		A X I S	171
最新の撮像デバイスと、それらが生み出す新たなビジュアル表現	大谷 和利		
その瞬間の中に立ち入り、そのシーンを切り開いていく ライトロが生み出すクリエイティブティ	コルヴィン・ピッツ 瀧口 範子 インタビュー・文		
裸眼で見えないものを超高解像度に再現 ギガマクロ「マグニファイ2」	瀧口 範子		
「今」をタイムカプセル化する全天球イメージング	大谷 和利		
小倉正史の現代美術講座 その12	小倉 正史	ギヤラリー	347
人物写真のフォトコラージュに関する法的問題	鈴木 康平 松縄 正登	図書館情報メディア研究	12-1
オリジナルからアルゴリズムとともにある「ソース」へ—常に変化していくデジタル画像を捉えるための枠組みの転換	水野 勝仁	名古屋芸術大学研究紀要	35
第六十五回美学会全国大会報告 発表要旨 写真における時間性と意味成立の関係—時間経過による撮影者と観者の時間的隔たりの点から—	江本 紫織	美 学	245
逆立ちする映画、存在しない果実の汁	岡田 秀則	視 る	468
映像民族誌の新たな時代	川瀬 慈	民博通信	146
写真表現の可能性『写真の空間軸』についての研究ノート	三橋 純	横浜美術教育・研究紀要	4
4「読ん」で知るアート レコードと美術「なりきりポートレート」の面白さ	楠見 清	朝日夕刊	11.5

平成26年定期刊行物所載文献(近/写・映)

写真文化の支援に新潮流 収集、雑誌創刊…続いて複合スペース デジタル映像企業 アマナが活発に ゲッティは博物館	森田 睦 読 売	4.3	日清戦争写真にみられる戦争イメージとその意義	市村 茉梨	東アジア文化交渉研究	7
デザイン季評「魚主観」も撮るカメラ	生井 英考	〃	特集 本をとどけるcolumn 「もの」としての写真集の復刻	金子 隆一	R E A R	32
日本			窓 近現代メディアの中の天皇・皇族写真一大正・昭和戦前期の事例から	小山 亮	歴史地理教育	826
関野貞大陸調査等にかかる竹島卓一旧蔵建築写真	田良島 哲 関 紀子 三輪紫都香	明日の東洋学	4〔読ん〕で知るアート 沖縄の表現 写真で問い続ける、戦後の姿	翁長 直樹	朝日夕刊	2.19
戦後天皇「ご一家」像の創出と公私の再編	北原 恵	大阪大学大学院文学研究科紀要	琉球処分後 古写真29枚 庶民の肖像、沖縄最古か		東京	5.4
戦前期女性雑誌における口絵写真の分析—『婦人世界』および『主婦之友』から—	坂本佳鶴恵	お茶の水女子大学人文科学研究	「写真一枚の力」継ぐ「DAYS JAPAN」広河編集長が退任 後任に公募 丸井さん「女性ならではの視点で」	小寺 勝美	〃	8.30
古写真に見る春日大社の風景(7) 水谷橋	中野 和正	春日	音楽劇や映像で戦争を語り継ぐ きょうから「秋の平和文化祭」 戦災資料センター	奥野 斐	〃	11.1
関西大学の創設に関わった人々—初代校長小倉久の残したアルバムから—	徳田 誠志	関西大学年史紀要	卑弥呼の墓説ある箸墓など 最古の古墳写真 墳丘の姿鮮明に 宮内庁 来年にも一般公開		東京夕刊	5.19
資料紹介 谷井コレクションに残る古写真群	富加見泰彦 藤森 寛志	紀伊風土記の丘年報/研究紀要*	諸国探訪 城撮り物語 CS番組で84城、カメラワークで魅力引き出す	秋場たけお	日 経	7.30
再録“メルマガコラム「写真資料から」”	大塚 活美	京都府立総合資料館紀要	「ひとり出版社」写真集に新風 大衆受け狙わず・凝った造本	窪田 直子	日経夕刊	5.12
作品紹介 写真帖「明治二十四年同二十五年千島探検諸島之実景」	松谷 英美	三の丸尚蔵館年報・紀要	日報連 月例入選作2月度	潮田 正三	毎 日	3.28
館蔵資料紹介90 子規・河東静溪ほか集合写真 明治二十四年八月二十三日撮影	平岡 瑛二	子規博だより	織物で栄えた青梅を立体映像で プロジェクションマッピング あすまで	柴田 朗	〃	12.20
資料紹介 絵はがき「河原子ホテル龍宮風呂」	荻原 明子	市民と博物館	藤田氏が撮った長崎竜巻Fスケール考案者 原爆投下11~15日後 爆風の跡鮮明	小畑 英介	毎日夕刊	1.25
画家と戦争 日本美術史の空白 column 写真と戦争	河田 明久	太陽(別冊)	イマ推しっ! 映像アート トランプ柄のシンデレラ城	小間井藍子	読売夕刊	6.11
シンポジウム「日本写真の1968」全記	倉石 信乃 モデレータ— 土屋 誠一、富山由紀子、小原 真史、金子 隆一、パネリスト	東京都写真美術館 紀要	海外			
新進作家から見るデジタル時代における身体とその思考~表現の時代背景から~	山峰 潤也	〃	特集 英国ヴィクトリア朝美術の陶酔[エクスタシー] ラファエル前派から唯美主義まで 写真と絵画の蜜月	前橋 重二	芸術新潮	770
			イメージの記録	田中 純	U P	

36 迷い子の写真たち[ストレイ・フォトグラフィス]—W・G・ゼーバルトによる「歴史の構築」	500
37 『明るい部屋』のサスペンス—「温室の写真」のアナモルフォーズ	503

特集 マーベル映画『X-MEN』『スパイダーマン』『アイアンマン』から『アベンジャーズ』、そして『キャプテン・アメリカ/ウィンター・ソルジャー』へ デジタル・ヒーローの倫理的な身体 マーベル映画とデジタル表現のゆくえ	渡邊 大輔 ユリイカ	643
--	------------	-----

総特集 シャーロック・ホームズ コナン・ドイルから『SHERLOCK』へ コナン・ドイルの心霊主義と探偵小説 不完全なメディア/メディウム	岡室美奈子	647
---	-------	-----

4 [読ん]で知るアート ロシア・アヴァンギャルドと構成主義 衝撃的な映画のモンタージュ	岩本 憲児 朝日夕刊	7.23
--	------------	------

彫刻・空間表現

一般

「場」に根差した現代アートの魅力—現代アートシーンにおける彫刻固有の力に注目して—	八田 典子 ART LIBRARY	15
小倉正史の現代美術講座 その11	小倉 正史 ギャラリー*	346
立体造形作品とその支持体との関係性 設置における確実性に関する考察	木方 高 女子美術大学研究紀要	44

日本

近代木彫をめぐり一考察	石川 哲子 ART LIBRARY	15
注目のアート&デザイン紹介します 白く彩られた「京造ねぶた」の夜	瓜生通信	63
projects 粟田大燈 呂復興7年目の挑戦	松内 桃子	”
日本神話に関する銅像をめぐり「伝説」の様相—意匠と受容を中心に—	小林 真美 国学院雑誌	1290

滋賀県における近現代戦争記念碑—基礎的整理と課題の提示—	辻川 哲朗	滋賀県文化財保護協会紀要	27
------------------------------	-------	--------------	----

「浮遊感」を感じる空間演出の方法について 「たんねのあかり」プロジェクトの実践を通じて	下田 倫子	女子美術大学研究紀要	44
---	-------	------------	----

街角アート	星野 清一	新美術新聞	
東京の御嶽山			1340
隅田川新大橋のレリーフ			1343
手は口ほどにものを言う			1353

画家と戦争 日本美術史の空白 column 競作と合作	河田 明久	太陽(別冊)	220
-----------------------------	-------	--------	-----

研究実績制作 薬師寺東京別院 薬師如来坐像台座及び脇侍制作研究		東京芸大保存修復彫刻年報*	2013年度
---------------------------------	--	---------------	--------

銅像歴史さんぽ 「白虎隊」 福島県会津若松市 幕末の少年たちの悲劇		東京夕刊	5.10
-----------------------------------	--	------	------

手彫りの円空仏で供養を 岐阜の同好会 1300体被災地に寄贈	加藤 沙波	毎日	9.12
--------------------------------	-------	----	------

1300人ノミ入れ、被災地に菩薩	望月 一夫	毎日夕刊	7.22
------------------	-------	------	------

海外

聖なる形：ナルボンヌの「聖墳墓のメモリア」をめぐる研究	奈良澤由美	鹿島美術財団年報・別冊	31
通信 J to A アジアへ ヤンゴンのシュエダゴン・パゴダ	青木 保	新美術新聞	1339

工芸

一般

特集 ニュークラフト—新たなクラフトへのアプローチ		A X I S	170
3Dプリンターがもたらすクラフトの進化—タクトプロジェクト「サンプリングプロジェクト」	土田 貴宏		
PVCに見る、新たなクラフトインダストリーの可能性	深沢 慶太		
第四十一回大会研究発表		東洋陶磁	43

平成26年定期刊行物所載文献(近/工)

西洋の現代陶芸 1 芸術×陶芸により 新しい陶芸へ 西洋～日本	三浦 弘子			千宗屋の飲みたい茶 碗、点てたい茶碗 第3回 カフェオレ ボウル	千 宗屋	〃	775
西洋の現代陶芸 2 イタリア的な造形 思考のすすめ	唐澤 昌宏			姫路伝統の技22 弥 七焔炉—東山焼棟梁 による人気商品—	岡崎 美穂	五風十雨	75
学芸員ノート 小林 桂子氏ご寄贈の染織 コレクションについて 第1報	井上 則子	遠山記念 館だより	48	新収蔵品紹介 薩摩 切子紅色被鉢につい て	土田ルリ子	サントリ ー美術館 研究紀要	2
コラム 招聘研究員 レポート 日本の外 国人陶芸家たち	Liliana Granja Pereira de Morais	非文字資 料研究	32	旧東宮御所(迎賓館 赤坂離宮)の室内意 匠及び家具調度品の 研究	小泉 和子	住総研 研究論文 集	40
新たな「手芸」の構築 をめざして	上羽 陽子	民博通信	147	美の伝承(7)日本 「筆」物語2 原毛を めぐる様々な問題点	阿部 信治	絲綢之路	76
あすへの話題 伊勢 型紙	馬淵 明子	日経夕刊	7.19	21世紀の新しい“用 の美”を追求 「一般 社団法人ザ・クリエ イション・オブ・ジ ャパン:COJ」発足 代表理事に林田英樹 ・前国立新美術館館 長が就任		新美術新 聞	1359
日本 匠のかたち 結城紬	石黒 知子	A X I S	168	豊島区郷土資料館所 蔵戦時下の代用品— 陶磁器を中心として —	広瀬 三村 純 宣敬	生活と文 化	23
インスピレーション グラフィック 異文 化の交点から地場産 業の未来を切り拓く 試み—「ものほら」	深沢 慶太	〃	〃	明治の細密工芸 驚 異の超絶技巧!		太陽(別冊)	217
伝統と現在	湯谷 翔悟	アルカデ ィア	62	いま、なぜ、明治 の細密工芸なのか	山下 裕二		
瓜生山レポート 京 都のロングライフデ ザインを発見する		瓜生通信	63	対談★村田理如× 山下裕二 いま、 明治工芸に学ぶ	編 集 部 構 成 ・ 文		
ピーボディ・エセ ックス博物館所蔵 モース・コレクション の麦わら細工につ いて	藤塚 悦司	大田区立 郷土博物 館紀要	20	明治工芸の匠たち コラム 尾張七宝	武藤夕佳里		
寺内正毅・寿一新収 資料について—皇室 下賜工芸品の来歴調 査—	長佐古美奈 子	学習院大 学史料館 紀要	20	追真の生人形—も うひとつの明治工 芸—	富澤 治子		
寺内家より受贈の漆 芸品二件について	小松 大秀	〃	〃	コラム 煙管筒と 袋物商	土井久美子		
明治期の出雲焼の研 究—米国ロックウッ ド・ポタリーとの影 響関係をめぐって—	河野 克彦	鹿島美術 財団年報 ・別冊	31	明治の細密工芸 驚 異の超絶技巧! 世 界を魅了した日本の KOUGEI		〃	〃
館蔵資料紹介 上絵 桜に提灯図花瓶		岐阜市歴 史博物館 博物館だ より	87	近代工芸の幕開け	黒川 廣子		
日本におけるキルト についての—考察— なぜ、キルトは日本 の女性たちに受け入 れられたのか—	片桐真佐子	芸術学研 究(京都 造形)	5	コラム 明治工芸 の図案制作	〃		
MUNI CARPETS 20 世紀初頭の巨匠も魅 了した幻のチャイニ ーズ・ラグを受け継 ぐ MUNI の技		芸術新潮	773	七宝 艶やかな光 沢、豊かな色彩	武藤夕佳里		
				金工 江戸の装剣 金工からの脱皮	原田 一敏		
				自在置物 自由自 在に動く金属工芸	〃		
				陶磁器 明治輸出 工芸の華	佐藤 一信		



漆芸 伝統を踏襲し、新たな造形・装飾へ	小林 祐子			アートと世界 第3、4話 温泉と窯巡り(前、後編)	大村 智 談文 編集部	美術の窓	366,367
細密彫刻～牙彫・木彫～ 高度な洞察力と技量	黒川 廣子			表紙解説 裏《訪問着、百万ドル》	原田 平作	美術フォーラム21	29
印籠 実用品から美術品へ	村田 理如			美術の窓130 夏祭りの灯籠絵	浅野 秀剛	美のたより	188
根付 欧米人を魅了した江戸の装飾美	渡邊 正憲			特集 沖縄のくらし 神女の衣装	小禄 裕子	みんばく	442
染織 絵画作品と見間違えるほどの精緻な技術	太田 彩			文化遺産おもてうらもの作りの技術を後世に伝える一奥羽山地の正藍染	小谷 竜介	〃	447
コラム 明治宮殿を彩った明治の染織	〃			特別講義抄録 伝統的工芸品の経営とマーケティング Vol.8 備前焼の歴史・産地形成と最新動向一伝統陶器産地における市場動向と商品開発の変容一	木村 宏造 講師	明治大学博物館研究報告	19
竹工・木工 独創性と作家性が開花	諸山 正則			薩摩藩のガラス技法書について(9)	岡本 文一	明星大学研究紀要	22
問題提起12 北武蔵地域に残る伝統と文化継承に関する一考察	瀬藤 貴史	地方史研究	370	特集1 やきものの国 瀬戸を旅する 瀬戸陶器の歴史を受け継ぐ・瀬戸本業窯		目の眼	450
輸出陶磁の華・幻の瀬戸ノベルティ～いま、目覚める“愛とほほえみの造形”～	中村 儀朋	陶 説	736	特別対談 中田英寿×白洲信哉 快走! 型紙自転車～風雲波論～伝統と最新技術の融合		〃	457
唐津の陶片—そこから見えてくるもの—	森 孝一	〃	737	KŌGEIの可能性探る陶芸・漆・金工、展覧会相次ぐ	大西 若人	朝日夕刊	1.8
第四十一回大会基調講演		東洋陶磁	43	4〔読ん〕で知るアート 日本のステンドグラス 輝くガラスの世界の出会い	田辺 千代	〃	7.30
現代陶芸の形成と理論—産業と表現	金子 賢治			江戸型紙と町工場の技術PR 独の国際見本市に手鏡など出展		産 経	2.4
日本の現代陶芸 萩焼の近代—「茶陶萩」をめぐる道具論的造形観へのアンチテーゼ—	石崎 泰之			伝統×デザイン 手仕事の日本ふたたび		〃	
アジアの現代陶芸 アジアの現代陶芸—新世代の交感展の十年—	大長 智広			京黒紋付染 より際立つ黒	黒沢 綾子		2.13
画像閑話 (手すき) 和紙	TN	日本画像学会誌	212	石川の伝統工芸 住空間に活路求めて	〃		3.20
ジャパン・ブルー	岸田 準二	日本の民芸	649	藍染め 歴史の先の未来作る	篠原 知存		4.24
郷土玩具	〃	〃	653	信楽焼 琵琶湖の恵み、軽やかに表現	黒沢 綾子		11.27
日本伝統工芸におけるサブライヤー・システムとプロダクト生産の実態—愛知県「有松絞り」を事例として—	藤木 庸介 宮尾 香帆 上田 彰	人間文化	35	印刷できるハイテク 漆インク 明大理工学部で研究	吉田 薫	東京	11.20
研究余録 金亀玉鶴まからずや焼—大正・昭和時代の彦根における製陶活動—	奥田 晶子	彦根城博物館だより	105				

平成26年定期刊行物所載文献(近/工)

美術評 「工芸から KOUGEIへ」展と「人 間国宝展」 「伝統工 芸」なるものの矛盾	藤田 一人	東京夕刊	1.17	折形礼法教室主宰 山根一城さん 桃 の節句に「折形」の 作法	上原 三和	2.19
パリを魅了した藍木 綿の「筒描き」	下重 暁子	〃	7.25	鋳物メーカー社長 能作克治さん 錫 で味わう気品と機 能	大石由佳子	10.29
コンパス 作品の裏 に	野村由美子	〃	12.20			
西陣織で「風神雷神」 再現 京都		〃	12.22			
今ニッポン流 伝統 海外巻き込む ヴィ トンやディオール… 店内彩る 生産額、 5分の1に減少 外国 人ファン、見本市 でつかめ	古川 知事 日 経		1.1	from the World 伝 統技術の未来を探る 多彩なアプローチ ヴェルクラウム・ブ レーゲンツァーヴァ ルト	小町 英恵	A X I S 170
200年企業—成長と 持続の条件 228 高岡の銅器 変化を 好機に 塩崎商衛、 計量器で技継ぐ	竹田 忍	〃	1.13	ミャンマーの漆芸— タヨー技法 I—	中村 有希	金沢美術 工芸大学 紀要 58
加賀工芸の今昔十選 1～10	秋元 雄史	〃	6.10、12、 13、16、17、 19、20、23、 24、26	千宗屋の飲みたい茶 碗、点てたい茶碗 第8回 モロッコ色 絵茶碗「新邊宿」	千 宗屋	芸術新潮 780
金沢駅 伝統工芸で お出迎え 北陸新幹 線開業控え		〃	7.29	新収蔵作品 橋本コ レクション	飯塚 隆	国立西洋 美術館報 47
京友禅の図案 デジ タル化 明治～昭和 期の紙製原画を収集、 後世に	木立 雅朗	〃	10.8	ボヘミアの耀き	高嶺エヴァ 内海 陽子 インタビュー・構成	サントリ ー美術館 ニュース 251
亀綾織 再び幻にさ せぬ 山形の復元プ ロジェクトメンバー、 伝統の技を次代へ	中部 道子	〃	10.24	紙の万華鏡	増田 勝彦	聚 美
和紙再興 新たなペ ージ 「無形文化遺産」 機に PR 産地「技術 継承に責任」		〃	11.4	Vol.12 透かし文 様は針金細工		12
哲学者鷺田清一 か たちのレビュー 「徳 利」	鷺田 清一	〃	11.13	Vol.13 透かし文 様は紙の顔		13
あすへの話題 柳の 下のフットボール	馬淵 明子	日経夕刊	7.26	総合文化展見どころ 案内2014年6月・7 月 東洋館 アジア を旅する 個性に富 んださまざまな織物 インドネシアの染織	小山弓弦葉	東京国立 博物館ニ ュース 726
「風神雷神」西陣織で 躍動 俵屋宗達の屏 風 7年かけ再現		〃	12.22	平成26年度第42回総 会特別報告「世界の 陶磁史研究動向」(要 旨) 中国における 2013年度陶磁研究事 情	伊藤郁太郎	東洋陶磁 学会会報 81
伝統工芸品をテーマ に討論 日本橋法人 会	太田 誠一	毎 日	11.15	研究ノート 清代中 国から欧米に輸出さ れた扇子	松浦 章	東アジア 文化交渉 研究 7
宮辻政夫のみや美 西陣織	宮辻 政夫	毎 日 夕刊	5.28	パリ グランパレ； サロン・ドヌールを 舞台に壮麗な「カル ティエ、スタイルと 歴史」展が開催中	家名田馨子	美 術* 461
人間国宝 美の未来 形へ 制度60年 海 外進出の流れ	井上 晋治	読 売	1.23	トルクメン絨毯と染 色	Z. スルマ メドワ	MIHO MUSEUM 研究紀要 15
いま風 水曜日 粋 ナビゲーター		読売夕刊		タイ東北部における 土器製作者の移住と 技術伝播	北野 博司	歴史遺産 研究 9

4〔読ん〕で知るアート 日本で見るベルシャの美 歴史を見守った絨毯	栢屋 友子	朝日夕刊	11.26
米庶民が紡ぐ敷物文化 移民が考案、キルトと並ぶ「ラグ」を日本にも紹介	小林 恵	日 経	7.9
心紡ぐインド刺しゅう 女性の思いつまった美しさに魅了、80回現地に通い収集	岩立 広子	〃	9.19
世界の王たちの食器	〃	〃	11.13

デザイン

一般

特集 デザイン思考の誤解 「デザイン思考とは、0から1の実際のモノをつくり出すこと」 慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科教授 奥出直人氏インタビュー	石橋 勝利 インタビュー・文	A X I S	168
台湾だけでなくアジアの資産をデザインに向けていく 台湾デザインセンターCEO 陳文龍氏インタビュー	〃	〃	〃
インスピレーショングラフィック 「オープンソースファニチャー」―理念を“拡散”するグラフィック	深沢 慶太	〃	169
特集 ニュークラフティ―新たなクラフトへのアプローチ インテリアシーンに見る、クラフト×デザインの先端	土田 貴宏	〃	170
京都工芸繊維大学がデザインで起こす国際化 KYOTO Design Lab が始動	平塚 桂	〃	〃
超小型モビリティのデザイン研究	北島己佐吉	九州産業大学芸術学会報告	45
生活環境における仮説空間の事例調査に基づく空間装置のデザイン研究	栗田 融	〃	〃
わたし一人の美術時評 第41回 成熟社会のデザインに御上のお墨付きは不要だ	藤田 一人	芸術新潮	769
観察調査とDEMATEL法によるビーラーデザインの要素研究	鳥宮 尚道	札幌大谷大学紀要*	44

自動車デザインにおける普遍性と新規性	吉村 等	静岡文化芸術大学研究紀要	14
世界を変えた広告十選 1~10	杉山恒太郎	日 経	2.27、28、3.3、4、7、10、11、13、14、17
革新力 The Company 2 製造業ネクスト 脚立もインテリア 美まじくあること	〃	〃	12.10
定番物語 金の指輪「三位一体」	高橋 直彦	読 売	8.18

日本

青森県内における戦前の水産缶詰業と関連資料の紹介	増田 公寧	青森県立郷土館研究紀要	38
特集 クルマは想像を加速させる！ 人間に立ち返ることで見えてくる、未来のクルマ―寺尾玄(パルミューダ代表)	猪飼 尚司	A X I S	167
インスピレーショングラフィック	深沢 慶太	〃	〃
情報を正しく伝える自動車広告の試み 「アウトランダー PHEV インフォグラフィックスカタログ」	〃	〃	〃
ビジュアルデザインスタジオの新たな挑戦―絵本『ムーム』	〃	〃	171
オピニオン	〃	〃	〃
中邑賢龍 これからは、エコからボコです。	谷口真佐子 編集部	〃	167
“エモーショナル・サステイナビリティ”を持つものこそが、いいデザインなのです	レオニード・ラート 小町 英恵 インタビュー・文	〃	168
クルマの未来を語り合う、デザイナーたちの宵 オートモティブ・デザイナーズナイト東京2013	神吉 弘邦	〃	167
インスピレーションインテリア	土田 貴宏	〃	〃
デザイナーの日常 感覚を感じる家具	〃	〃	168
新しいシボネが体现する現在の生活観	〃	〃	171

企業に根ざすデザイン思考のリアルブリヂストン、日立システムズ、東芝、ヤフー・ジャパン、デンソーの最新動向	廣川 淳哉	A X I S	169	5 「ピクタソン」主宰者 カズワタベさん 単純だから、ごまかせない	吉田 貴文 聞き手	9.23	
トーヨーキッチンスタイル、100年に向けて 代表取締役社長 渡辺孝雄氏インタビュー 前、後編	深沢 慶太 インタビュー・文	"	171、172	9 スバル360オーナーズクラブ会員 小坂朋子さん 必然的に生まれた卵形	永持 裕紀 聞き手	10.8	
from the World 都心部でユニバーサルデザインを実地調査「48時間デザインマラソン」	長谷川香苗	"	172	伝統×デザイン—手仕事の日本ふたたび	黒沢 綾子 産 経		
またまた寝たまま書物探偵所・続《一九四〇年代本》あらかると 前編	山田 俊幸	一 寸	59	富山の売薬 「先用後利」進取の精神いまでも		5.15	
竹素材(筍皮)装幀本の話	岩切信一郎	"	60	府中家具 組み木の技で世界市場へ		11.6	
戦後本メモ	山田 俊幸	"	"	東京駅開業100年 限定版 Suica デザインは女性車掌 高校で日本画、異色の経歴 制作3カ月、細部まで描き込み	花房 壮	"	12.20
進水記念絵葉書にみる船の変遷	藤村 洋	海事博物館年報	41	東京セレクト いち押しの一品 文庫屋大関 文庫カバー 本包むやわらかさ	服部 夏生 東 京	4.6	
わが国の進水記念絵葉書—その誕生と特徴—	碓崎 貞雄	"	"	視覚障害者と一緒に遊べる 国分寺の会社がボードゲーム きょうから墨田のイベントで販売	林 朋美	"	11.1
進水記念絵葉書に見る船の変遷—ドライ貨物船と客船・貨客船—	"	"	"	良きデザイン 草創の面々 「生活の中で身近に」めざしコミッティ—創設60周年	松本 哲夫 日 経	1.31	
進水絵葉書に見るタンカーの進化	石津 康二	"	"	独自の欧文書体 JDCが初制作		読 売 1.16	
浜松市におけるものづくりとまちづくりを融合するデザインの研究 その1	磯村 克郎 海野 敏夫 吉井 国夫	静岡文化芸術大学研究紀要	14	海 外			
人と社会の活性化を促すアート・デザインについて~シンプルな形体生成システムによる神輿デザイン	下山 肇	実践女子大学美術史学	28	特集 クルマは想像を加速させる！ ロール・モーターズ、共創型イノベーションで自動車製造に変革を起こす	瀧口 範子	A X I S 167	
資料紹介 オリンピック国民運動推進連絡会議のDUST BOX	(山 口) ぼいす		33	from the World	"		
横浜美術大学サイン・システム基本計画 共同研究進捗報告 屋内サインシステム 実施計画及び現状における問題点	辻 康介 田崎 冬樹	横浜美術大学教育・研究紀要	4	市・企業・住民が一体となって築く、デザイン都市の未来	長谷川香苗	"	
特集 本をとどけるcolumn 持つための本 記録と伝達と	服部 清人	R E A R	32	最新マテリアルに潜むモビリティデザインの可能性—BASFの取り組み	小町 英恵	"	
リレーおびにおんデザインの方		朝 日		メゾン・エ・オブジェなどの開催で期待が膨らむデザインハブとしての役割	上條 昌宏	169	

ライフスタイル レンドを360°の視 点で見せるメゾン ・エ・オブジェと パリ・デザインウ ィーク	"		172		旅するスイスデザイ ン 上 激しい自然 を「天国」に	黒沢 綾子 産 経	9.25
				<b>建 築</b>			
				<b>一 般</b>			
特集 デザイン思考 の誤解 デザイン思 考とは“デザインド ウイング”にほか ならない スキルズ ・ディベロップメン ト・スコットランド	中島 恭子	"	168	特集 住むことから 考える 第4部 住 むことから考える一 情報・構造・環境 「建築情報学」の必要	豊田 啓介	建築雑誌	1653
デザイントレンドは、 異郷へのまなざし メゾン・エ・オブジ ェ2014	上條 昌宏	"	"	連載 海図の切れ端 —現代建築批評再考 2 『生きられた家 —経験と象徴』多木 浩二	吉本 憲生	"	1661
香港ビジネス・オブ ・デザインウィーク (BODW)より 歴史 を今に伝える 2つの コンプレックス	石橋 勝利	"	"	消えゆく近代建築を 見納める	小林 一郎	本 郷	112
インスピレーション インテリア	土田 貴宏	"		特別掲載 「らしい」 建築批判 1～5	飯島 洋一	ユリイカ	641～646
壁面のデザインの 自由度を上げる			169	オピニオン 耕論 どうする 歴史ある 建築物 近代建築の 寿命 短すぎる 共 感の広がりを吟味し て 長い目で残す価 値考えて	松隈 洋、 土居 文朗、 菊川 怜 談 高橋 福子、朝 日 古屋 聡一、 田嶋 慶彦 聞き手		11.21
今年のミラノに見 る、新進デザイナ ーのセンス			170				
				<b>日 本</b>			
特集 英国ヴィクト リア朝美術の陶酔[エ クスタシー] ラフ ァエル前派から唯美 主義まで 生活のな かの唯美主義 「ハ ウス・ビューティフ ル」	加藤 明子	芸術新潮	770	あいだのすみっこ不定 期漫遊連載 第105、 106回 「あいだ」は どこから出現したの か? 「あいだ」には 何が堆積するのか? 日本の木造建築をめ ぐるふたつの国際シ ンポジウムから(上、 下)	稲賀 繁美	あいだ	216,217
金子秀之の世界の広 告ベストセレクショ ン 第25回 シャン プー篇	金子 秀之	COMMERCIAL PHOTO	611	特集 浪花の賑わい を明日につなぐ—天 王寺・阿倍野界限		アプロー チ*	205
研究ノート 集合住 宅の環境色彩デザイ ン手法の研究02—H 建設社の象徴色の開 発およびその活用—	申 珠莉	東海大学 紀要教養 学部	44	タワーのある街 天王寺・阿倍野橋 の近代	橋爪 紳也		
研究報告 19世紀末 の自転車ポスターに みる女性像	下東 佳那	東京芸術 大学大学 美術館年 報	H24年度	天空へ向かう賑わ いの大阪	中沢 新一		
チェコの映画ポスタ ー	マルタ・ス ィルヴェス トロヴァー	視 る	470	特集 水を守る—共 生の暮らし 水辺を 取り戻す為に	篠原 修	"	207
イソstattにおける ウィーン・メソッ ト	小林 昭世	武蔵野美 術大学研 究紀要	44	研究の散歩道 栄光 の学び舎—震災復興 小学校—	米山 勇	江戸東京 博物館 NEWS	85
特集 ムーミンとト ーベ・ヤンソン 北 欧デザインとムーミ ン 普遍性と国籍の 曖昧さ	渡部 千春	ユリイカ	649	学芸員ノート 放送 の殿堂・内幸町放送 会館の解説	佐藤 紘司	NHK放送 博物館だ より	60
				旧本多忠次邸のステ ンドグラスについて —近代建築のステ ンドグラス—	金田 美世	岡崎市史 研究	34

平成26年定期刊行物所載文献(近/建)

日本のデザインのモダニズム(5)―童謡の家	柏木 博 学 鏡	111-1	明治末期に建設された千葉県庁舎・県会議事堂の特徴と設計関係者―千葉県文書館所蔵「後藤(健)家文書」を用いた一考察―	山崎 綱介	千葉県の文書館	19
特集 地域と美術「ヴィラ九条山」リニューアルオープン 京都・山科	ギャラリー*	355	明治期～昭和戦前期における東京の小学校建築に関する館蔵絵葉書資料―館蔵絵葉書に関する建築史的研究・1―	米山 勇	東京都江戸東京博物館紀要	4
名勝庭園における植物管理制度に関する考察―「都立文化財庭園」を例として―	浦崎 真一 芸術文化研究	18	古写真から見た大正期までの日本街並み史概観―日本の街並みの形成と消滅―	相羽 康郎	東北芸術工科大学紀要	21
連載 次代を拓く建築展 1 理念を伴った建築展―分離派建築会	天内 大樹 建築雑誌	1660	山形県大江町左沢地区の歴史的建造物分布調査について―重要文化的景観選定に向けての取り組みとその成果―	志村 直愛	〃	〃
〈記念シンポジウム〉“町並み”か“景観”か―町並み・集落・都市・景観保存の現在と建築史学―	建築史学	63	京都の社家と民家型式の関係についての試論	丸山 俊明	日本建築学会計画系論文集	695
建築史学会二〇一四年度大会 研究発表会報告 五 明治の日本版 Vignola 『経営五範』は何を翻訳したのか	西田 雅嗣	〃	近代における雁木通りの構成要素について	菅原 邦生	〃	697
〈修復トピックス〉重要文化財翠ノ浦温泉山荘 浜座敷ほか二棟―近代和風建築と黎明期の工業製品―	多田 忠嗣	〃	熊本、萩及び若松における城址での模擬天守閣の建設構想とその背景―戦前の地方都市における模擬天守閣の建設に関する研究 その4―	野中 勝利	〃	700
第九九二回例会 大阪中之島の近代建築	矢ヶ崎善太郎 史迹と美術	843	明治四十年山陰行啓における東宮一行の滞在施設に関する建築史的考察 ―島根県内の滞在先を中心に―	山根中野小林 大知茂夫 久高	〃	701
特別企画 二葉荘と大谷探検隊―シルクロード研究の原点と二葉荘の全貌―建築界の異彩	和田 秀寿 聚 美	13	上野博物館の平面計画について 明治初期の博物館計画に関する研究	河田 健	〃	704
街角アート	星野 清一 新美術新聞		文化的景観の調査事業と学術	上杉 和央 文化財*	608	
銭湯―絶滅危惧種建築		1337	連載 文化財を活かす 第35回 町並みとともに「活きる」―亀山市関宿伝統的建造物群保存地区―	村田 和隆	〃	609
現代都市のランドマーク		1348	宮城県村田町村田の町並みと見世蔵(店蔵)について	河東 義之	〃	611
旧奈良県庁舎建設と古都のゲニウス・ロキ―長野宇平治の可及的建築―	清瀬みさを 人文学	193	特集 近代和風建築 その魅力と保護の展望		〃	614
色彩のハイブリッド：京都の色彩断片	三星 宗雄 人文研究	184	近代和風建築の設計と意匠―普遍性に独自性を取り込む試み―	藤岡 洋保		
第1特集 富岡製糸場と絹産業遺産群	世界遺産年報	20				
Topic 2 日本の近代産業の礎となった富岡製糸場と絹産業遺産群						
Topic 4 富岡製糸場を世界遺産に導いた片倉工業の信念と熱き思い						

耐震技術からみた近代和風建築	源 愛日児				3 元名護市議 宮城康博さん 豊かな風土刻む 護の庁舎	萩 一晶 聞き手		9.10
近代庭園における和風の革新	栗野 隆							
現状解説 近代和風建築に関する成果と展望	文化財部参事官(建造物担当)調査部門				10 三菱地所設計大西康文さん タイル50万枚が生むオーラ	永持 裕紀 聞き手		10.15
特集 近代和風建築その魅力と保護の展望 事例紹介・管理活用		〃	〃		板垣康介 聖火は照らす 芸術の秋 国立の未来	編集委員	〃	11.29
地域の核としての活用と周辺整備 重要文化財 旧森家住宅	堀沢 祐一				江戸城天守閣 再建の夢 木造5階建て 高さ59メートル 費用350億円試算 NPO旗振り「世界的名所に」基準満たす耐久性必要	山下 龍一	朝日夕刊	8.1
大規模和風住宅の見せ方 重要文化財 旧津島家住宅	今 幸樹				建築 改築で揺れた国立競技場		産 経	12.25
大建築ならではの活用法 重要文化財 旧毛利家本邸	柴原 直樹				主なく3年…重文に震災後空き家 最高裁長官公邸		東 京	5.17
史跡・名勝・都市公園と建築 重要文化財 披雲閣(旧松平家高松別邸)	大嶋 和則				歴史見つめた80年に幕 二・二六事件、GHQ 接収…九段会館 震災では犠牲者民間ビル建設へ	新開 浩	〃	5.24
口絵解説 名古屋市府舎・愛知県庁舎	稲垣 智也	〃	615		旧成瀬仁藏住宅 100年の趣感じて 文京区指定文化財 洋風書齋など特別公開 日本女子大	原 尚子	〃	6.24
新指定物件に関する寄稿論文		〃	〃		皇居養蚕所 完成100年 歴代3皇后が作業拠点に		〃	11.9
築地本願寺本堂の重要文化財指定の意義	倉方 俊輔				TOKYO 発		〃	
A La Meiji-mura	明治村だより				消えぬ惜別の残響 室内楽の聖地・津田ホール 再開発で来春閉館	萩原 誠		12.5
桜に込められた思い			75		ホテルオークラ 来年建て替え 「和の美」結集 五輪遺産	鈴木久美子		12.9
ドイツの面影			78					
学問の図像とかたち 157、168 思考の模型	松本 文夫	U	P	495、506	12・20 東京駅100周年 誕生時の証人ここに	吉田 薫	〃	12.17
富岡製糸場の歴史・価値と遺産マネジメント	岡野 雅枝	歴史と地理		680	新国立競技場 基本設計発表を受けて開く「屋根」がはらむ問題	森山 高至	東京夕刊	6.4
特集 結婚のすがたにっぽんの結婚式教会	五十嵐太郎	歴 博		183	大波小波 新国立競技場が奪うもの	金の 字 塔	〃	7.18
国立競技場 引き返す勇気を 環境アジェンダ違反 「もつたない」で改修	森 まゆみ	朝 日		6.25	手続きごまかす新国立競技場 「美観」以前のルール破り	松原隆一郎	〃	8.8
リレーおびにおん デザインの力		〃			東京五輪と国立競技場 公的な価値はどこに	〃	〃	11.21

今ニッポン流 建築、 新旧同居が粋 高層 ビル×赤れんがの駅 舎 29階建てタワー ×唐破風の屋根 新 旧併存型建築	日 経	1. 1	2 あこがれのカ リフォルニア住宅運 動との遭遇—CSH 展に見た建築展の 可能性	降旗千賀子	1661
建築家の着想 模型 で表現 コンペへの 提出や保存・展示を 目的に、石膏で制作	植野 彰規	〃	6 「メディアと しての建築」とい う問題提起	暮沢 剛巳	1665
芸術と科学のあいだ 42 新陳代謝は建築 と細胞で違う	福岡 伸一	〃	建築史学会二〇一四 年度大会 研究発表 会報告 一 台湾寺 廟建築の彩色・塗装 復元における『対場 作』の理念について —彰化元清觀前殿・ 正殿復元工事を通じ て—	李 長蔚	建築史学 63
野村証券ビル 美術 館に衣替え? 東京 ・日本橋2.5万平方 メートル再開発	日経夕刊	1. 23	韓国のイメージ 扉 も壁も無い、月光に 満ちた家	金 華榮	コリアナ 21-2
らいふプラス トラ ベルナビ 激動の100 年見つめた駅舎 東 京 千代田・中央 ドーム・れんが、独 特の美	辻本 浩子	〃	フォーカス DDP 未来に向けたソウル の新ランドマーク	ク・ボンジ ユン	〃 〃
建築季評	中川 理 読 売		ブレナヴァン製鉄所 (南ウエールズの世 界遺産)—その歴史 と遺跡建造物の保存	藤田 憲一	静岡文化 芸術大学 研究紀要 14
改修 アイデア必 要		6. 26			
新たな表情生む壁 面緑化		9. 25		鳥越 輝昭	人文研究 183
社会との接点 ど う探るか		12. 25			
タイムトラベル 異 彩を放つ「霞が関 の女王」 法務省旧 本館	(誠)	読売夕刊 3. 27	中国・瀋陽周辺の歴 史的色彩と環境色彩	三星 宗雄	〃 〃
海 外			ゴシック練条化の第 1段階：円柱組織の 発生—練条化のプロ セス(その5)—	佐藤 達生	日本建築 学会計画 系論文集 695
都市と建築のピエン ナーレ	長谷川香苗	A X I S 168	フォロ・ロマーノに おけるティトウスの 凱旋門の修復背景 社会面と過去の破壊 の考察	大場 豪	〃 704
クリエイターズワー ク&ソウル アラ・ アーキテック	〃	〃 〃			
from the World	〃	〃	第六十五回美学会全 国大会報告 発表要 旨 ロレンツォ・デ ・メディチの宇宙論 的自然観—ポッジョ ・ア・カイアーノ正 面入口フリーズの解 釈をめぐって—	秦 明子 美 学	245
3Dプリンターを 駆使して伝統建築 を更新する試み	清水 花笑	170	第67回全国大会研究 発表要旨 十七世紀 におけるポッツオー リ大聖堂内陣装飾画 の主題と配置に関す る復元的考察	川合真木子	美術史 177
クラーケンウェル のもう一つのデザ インワーク	中島 恭子	〃			
永遠のための作品 ナウムブルグ大聖 堂の「ハイライト」 展	小町 英恵	172			
ドイツにおける都市 デザインの今日的課 題	坂本 英之	金沢美術 工芸大学 紀要 58	学問の図像と私たち 162 思考の模型 地中の棲家	松本 文夫 U P	500
連載 次代を拓く建 築展	建築雑誌		特集 サド 没後二 〇〇年・欲望の革命 史 サド、建築家	小澤 京子 ユリイカ	650



旅するスイスデザイン 中 都市再生のダイナミズム実感 黒沢 綾子 産 経 10.2

世界の街 海外リポート 英ノリッジ 寛容? 敵格? どっち 小嶋麻友美 東京夕刊 11.7

その他のジャンル

一 般

あいだのすみっこ不定期漫遊連載 第102、103回 アウトサイダー・アートとアール・ブリュットとのあいだ(前、後) 稲賀 繁美 あいだ 213、214

日 本

'14国際文化学園卒業記念発表会 若さ弾ける華麗な公開制作(?) ワシオ・ト シニコ ギャラリー\* 349

日本におけるサウンド・アートの展開—80年代後半の「サウンド・アート」の展覧会をめぐる— 中川 克志 金子智太郎 京都国立近代美術館研究論集 6

九月例会 実演と講演 消え行く話芸の世界 からくり歌「八百屋お七」について 上島 敏昭 説話文学研究 49

明治期の教育を題材にしたおもちゃ絵と絵双六の諸相—玉川大学教育博物館所蔵資料から— 柿崎 博隆 玉川大学教育博物館紀要 11

覗きからくり、「からくり」考 坂井 美香 年報非文字資料研究 10

視点 「取手アート不動産」スタート 奥村圭二郎 美術の窓 369

異聞逸聞 表現手段としてのラッピング車両 金田 純平 みんぱく 437

現代臨書考 日本から探る書の過去・未来 栗本 高行 R E A R 31

TOKYO 発 街変わり生まれる「無用」不滅のトマソン 不思議物件を収集・記録 杉戸 祐子 東 京 2.11

東京の記憶 旧博物館動物園駅 上野の廃駅 アート発信 闇を彩った 光の演出 武田 裕芸 読 売 4.7

海 外

World special New York NYのパフォー マンス・ピエンナーレ回遊記 芸術新潮 769

Global News Avignon 刑務所インスタレーション! 永島 章雄 取材 779

WORLD NEWS 美術手帖

ニューヨーク 「パフォーマー13」が開催! 3週間をかけて様々なパフォーマンスが展開 藤森 愛実 999

ベルリン 実験的なインスタレーションが提示する浮遊するドロイングの世界 かないみき 1002

作 家

日 本

(ア)

特集 女と男のヌード スードの現在 4 会田誠 すっぽんぼんの絵筆 会田 誠 談 芸術新潮 776

SPECIAL FEATURE バルテュス Artist meets Balthus 03 会田誠 バルテュスと僕 会田 誠 美術手帖 1004

現代美術の歩き方 異論反論・現代美術インタビュー・会田誠 霧島アートの森で公開制作中 美術の窓 372

特集 バルテュス 20世紀最後の画家 少女という瞬間—(ヨーロッパ)を凝固した絵画 会田 誠、平野啓一郎 対談 ユリイカ 642

新国立競技場 建て替えより改修 中身で勝負の賢さを各界に賛同広がる[会田誠] 森本 智之 東京夕刊 6.25

ひと 第8回安吾賞を受賞した美術家 会田誠さん 岸 桂子 毎 日 1.10

アンディ・ウォーホル展:永遠の15分 私の見たウォーホル 横尾忠則さん 「虚無」 禪に通じる 秋山祐徳太子さん 静かで地味な印象 会田誠さん 自虐的な役割 自覚 横尾 忠則 秋山祐徳太子 会田 誠 読売夕刊 4.3

popstyle vol.403 ALL ABOUT アレハン ドロ・ホドロフスキー 精神世界によ うこそ[会田誠]	小椋 勝男 市原 尚士	読売夕刊	6.4	石元泰博著「桂離宮」				8.31
				成田亨著「成田亨作品集」				9.28
Kawagoe city art museum collection 相原求一朗《広場—オンフルール》	横山 りえ	Kart-NEWS	23	天体建築論 レオニドフとソ連邦の紙上建築時代 本田晃子著 抹消された最先端 評・青木淳	〃	〃	〃	4.27
世界中に愛されるよう育てたい あいはらひろゆきさん 絵本「くまのがっこう」12年 海外出版、ぬいぐるみ、アニメ…	戸谷 真美	産 経	10.15	写真講義 ルイジ・ギッリ著 透明感と静謐さ	青木 淳 評	〃	〃	8.24
作品研究 燧光の細密素描《作品》の制作時期をめぐって	大谷 省吾	現代の眼	607	「あま絵」通り 人集まる 高校生らシャッターにペイント 漫画家7人 原画を提供[青木俊直]			〃	1.22
燧光《眼のある風景》をめぐって(下)	〃	美術研究	411	日々好日 囲碁の湖	青木 野枝	新美術新聞		1363
無名の画家に光 遺志継ぐ 絵画収集に人生かけた父、地元を支えられ美術館を運営[燧光]	佐藤 雅子	日 経	11.13	第55回毎日芸術賞 受賞者6人の業績 卓抜した構成力 青木野枝さん	高階 秀爾	毎 日		1.1
第27回奨学者のレポート 純粋な世界	青木恵美子	アクリラート(別冊)	2014	第55回毎日芸術賞 贈呈式 受賞6人 喜びの声 美術1部門(絵画・彫刻・デザイン) 個展「青木野枝 ふりそそぐものたち」(愛知・豊田市美術館、名古屋市美術館) 青木野枝さん(55) いつも新鮮な喜びがある	青木 野枝 岸 桂子 まとめ	〃		1.30
平成二十五(二〇一三)年度 日本及び東洋美術の調査研究報告 青木繁《椿の花をもつ女》	高橋 沙希	関西大学博物館紀要	20	毎日芸術賞の人々 3 青木野枝さん「諸行無常」すべてを受け止め	岸 桂子	毎日夕刊		1.8
月刊ギャラリー創刊25周年記念 小川英晴のアート縦横 No.48 青木繁の「海の幸」を描いた家—青木繁「海の幸」会	入江 観 吉武 研司 吉岡友次郎 小川 英晴	ギャラリー*	353	第27回奨学者のレポート 不在の不在	青木 豊	アクリラート(別冊)		2014
特輯 石橋コレクション 日本近代洋画篇 図版七 青木繁 大穴 幸知命	貝塚 健	国 華	1425	画材考14 万能な素材—漆—	青木 洋介	新美術新聞		1353
青木繁の短歌—「うたかた集」にみる絵画と短歌の交感—	中野久美子	待兼山論叢	48	中特集 もっとと墨を知ろう	青木 芳昭 立島 恵	水 墨 画*		305
NPO 法人青木繁「海の幸」会レポート	吉武 研司	連盟ニュース	450	レポート墨 絵画表現のための膠を科学的に考察 青木芳昭氏が膠文化研究会で		〃		306
無名の画家に光 遺志継ぐ 絵画収集に人生かけた父、地元を支えられ美術館を運営[青木繁]	佐藤 雅子	日 経	11.13	山下裕二の今月の隠し球 Vol.109, 110 蒼野甘夏 これぞ日本画、北の大地の正統派(上、下)	山下 裕二	美術の窓		364,365
建築と美術館12 ポストモダン美術館のリノベーション[青木淳]	五十嵐太郎	美連協ニュース	121	「20年後の横の会展」講演会の記録—日本画研究グループ「横の会」の軌跡—[青山亘幹]	小熊千佳子	新潟市美・新潟市新津美研究紀要*		2
本よみうり堂 国立競技場の100年 後藤健生著 波瀾の近代スポーツ史	青木 淳	読 売	1.5	表紙のことば 牡丹	青山 博之	大 日 光		84

平成26年定期刊行物所載文献(近/作ア)

「工芸な人」に聞く 第二十一回「稲畑 人形作家」赤井君 江さん	高濱登代子 聞き手	五風十雨	74	悼む 赤瀬川原平さん 新しい表現し続け	松田 哲夫	"	12.29
作家の目 異端の果 実	赤木 範陸	美術の窓	375	視覚表現の究極求め る 赤瀬川原平さん を悼む	藤森 照信	毎日夕刊	10.30
原平原論 赤瀬川流 「反芸術」の手口(前) [赤瀬川原平]	渡邊くらら	あいだ	217	時代の証言者 建築 探偵 藤森照信[赤 瀬川原平]	柴田 文隆	読 売	
Loeil 美は語る20 赤瀬川原平 現代の 利休が観た世界		美術の窓	375	19 純粋で不思議 な仲間			2.5
赤瀬川原平さん死去 77歳 画家・作家「老 人力」 全力で面白 いこと 言語化 天 才だった		朝 日	10.27	22 赤瀬川邸は屋 根にニラ			2.10
芸術の核心 巧みな 言葉で 画家・作家 赤瀬川原平さんを悼 む	山下 裕二	"	10.28	赤瀬川原平さん死去 美術家、芥川賞作家 「老人力」「トマソン」	松田 哲夫	"	"
ニュースの本棚 建 築史家・建築家 藤 森照信 赤瀬川原平 の目 目玉でザラリ と触るように	藤森 照信	"	12.7	赤瀬川原平さんを悼 む 雑談から生まれ た「老人力」	井上 晋治 渡部 恵子	"	11.13
赤瀬川原平 鋭く、 温かく 本紙に語っ た言葉 知らないこ とをやる快感 法廷 が展覧会場みたい に 落し物に本音隠 れてる		朝日夕刊	10.29	「赤瀬川原平の芸術 原論展」 3人の思 い入れ	井上 晋治 渡部 恵子	"	11.13
赤瀬川原平氏 死去 前衛芸術家で作家「老 人力」 77歳 「よく 観察する」表現の根 本		産 経	10.27	白日会 90年の歴史、 これからの10年 白 日会との不思議な出 会い	阿方 稔	新美術新 聞	1339
赤瀬川さん死去 遊 び、闘い、芸術した 千円札模写で裁判も 好奇心旺盛な「原平 ちゃん」	井手 和子 大日方公男	東 京	"	幻の女優 マダム・ ハナコ 65~67 花 子像の行方 7~9 [赤塚秀雄]	大野 芳	東京夕刊	7.16~18
大波小波 尾辻克彦 が消えた[赤瀬川原 平]	トマソン	東京夕刊	10.28	トキワ荘の時代 感 じて 記念碑5周年 トークや散策ツアー [赤塚不二夫]		読 売	4.18
赤瀬川さんのこと 冗談から発明 たの しんだ	南 伸坊	"	11.4	赤塚不二夫ゆかり「紫 雲荘」 2期生が入 居なのだ 地域住民 あれこれ支援		"	4.30
偲ぶ 前衛芸術家で 芥川賞を受賞した作 家 赤瀬川原平さん 独創的表現を追求		"	11.29	漫画家になるのだ 「紫雲荘」2期生入所 [赤塚不二夫]		"	6.13
喪友記 赤瀬川原平 さんを悼む 画家・ 作家、職人	藤森 照信	日 経	11.7	瞬 アーティスト 赤摩千穂 ハッピー になれる靴	渋谷 和彦	産 経	2.6
赤瀬川原平さん死去 美術家、作家「老 人力」、路上観察 並外れた面白がり方	藤原 章生	毎 日	10.27	純粋なる芸術 アー ル・ブリュットの世 界 赤松直樹「えが お」	中村 政人	東京夕刊	11.19
				映画タイトルの職人 赤松陽構造の仕事と は？		芸術新潮	775
				島から世界をみつめ ている	安岐 理加	アサヒビ ールメセ ナ	37
				ナンセンス 今に通 じ 北斎漫画 日本 マンガの原点 清水 勲著	秋 竜山	東 京	8.24

平成26年定期刊行物所載文献(近/作ア)

時代の証言者 建築 探偵 藤森照信 23 尾根に降りてきた聖 地[秋野不矩]	柴田 文隆 読 売	2.11	運動会 快汗快笑 昼食も弾む	5.29
巻頭特集 原寸で見 る!現代作家の技 画面を埋め尽くす線 の運動	秋山 泉 美術の窓	371	棟上げ 晴れ舞台 ご近所で祝福	6.5
しっくりはまる瞬間 に出会いたい。[秋 山さやか]	立古 和智 女子美	178	梅雨入り 青い実 わが家の味に	6.12
館蔵品紹介 vol.12 新収蔵「秋山泰計関 連資料」奇才、秋 山泰計からのメッセ ージ	田口 慶太 香川県立 ミュージ アムニ ース	26	煙突 道案内に欠 かせない	6.26
秋山武雄の懐かし写 真館	秋山 武雄 読 売		たばこ 吸い殻 紫煙あつた街	7.3
正月の子供 新し い足袋 晴れ晴れ		1.9	盆踊り 自慢の扮 装 お披露目	7.10
1964年 発展との どかさ同居		1.16	路上の職人 憧れ の技に うっとり	7.17
団地の暮らし に ぎわう最先端の家		1.23	モノレールと羽田 新しい物 ひと目 でも	7.24
銀座の街 数寄屋 橋の夜 鮮明に		1.30	盛夏 お楽しみ「軒 先プール」	7.31
孫とのふれあい ぬくもりと優しさ と		2.6	子供の遊び 跳ん で跳んで爽快	8.28
新宿駅南口 首都 の顔 ほのぼの		2.13	芸人の町 名人芸 に心つかまれ	9.4
湯島早春 梅の香 りに誘われて		2.20	朝の光景 「おは よう」で始めよう	9.11
「暖かさ」発見 日 差し 体に溜めて		3.6	お金入れ 商店街 の「プチ金庫」	9.18
屋上遊園 心弾む パラダイス		3.13	彼岸の風物 大漁 の秋 ハゼすだれ	9.25
お彼岸 ぼた餅せ っせ 母思う		3.20	交通ルール ヒヤ リ まねしないで	10.2
春休みの路上 子 供の声 より明る く		3.27	大根 年末近し「べ ったら市」	10.16
お花見 春風に酔 う上野公園		4.3	神田界限 団子っ 鼻がお出迎え	10.23
交通事情 車擦り 合うのも縁?		4.10	洗濯 衣替え 手 間かけて	10.30
通勤・通学 同じ 道 同じ仲間と		4.17	着物 腕に覚え 軒先に札	11.6
水ぬるむ 休日に 響く子供の声		4.24	七五三 晴れ姿に くぎ付け	11.13
改札 厚紙切符、 ハサミの音		5.8	擦り半 街を一望 危険を察知	11.20
後楽園 娯楽の殿 堂 にぎやか		5.15	商人の町 客と語 る 粋な段差	11.27
実用自転車 質実 剛健 愛着寄せ		5.22	映画館 3本立て 娯楽の王様	12.11
			暮れの光景 疊職 人 口がスプレー	12.18
			赤瀬川原平氏 死去 前衛芸術家で作家「老 人力」77歳 「よく 観察する」表現の根 本[秋山祐徳太子]	産 経 10.2

「赤瀬川原平の芸術原論展」3人の思い入れ[秋山祐徳太子]	井上 晋治 渡部 恵子	読 売	11.13	災後の風景2014 美術 子供に注がれた光[浅井裕介]	井上 晋治	読 売	3.6
アンディ・ウォーホル展:永遠の15分 私の見たウォーホル 横尾忠則さん「虚無」禪に通じる 秋山祐徳太子さん 静かで地味な印象 会田誠さん 自虐的な役割 自覚	横尾 忠則 秋山祐徳太子 会田 誠	読売夕刊	4.3	朝倉摂さん死去 独創的な舞台美術・画家	朝	日	3.28
練馬のアトリエ村交流史 戦争を駆け抜けた芸術家たち、青春の日々を語り継ぐ [朝井閑右衛門]	中井 嘉文	日 経	10.23	天井裂いた 闘う装置家 朝倉摂さんを悼む	蛭川 幸雄 山口 構成	”	4.1
時に抗いし者たちー私の小菩薩峠(15) [浅井忠]	大谷 芳久	一 寸	59	朝倉摂さんを悼む 多彩に「場面を創る人」	吉井 澄雄	日 経	”
特輯 石橋コレクション 日本近代洋画 篇 図版三 浅井忠 グレーの洗濯場	田所 夏子	国 華	1425	朝倉摂さん死去 舞台美術家 文化功労者		毎 日	3.28
資料紹介2 浅井忠の新出作品《早春》について	島田 康寛	美術フォーラム21	29	美博ピックアップ 朝倉彫塑館[朝倉文夫]	竹越 萌子	朝日夕刊	5.28
新出の「野分文庫」についてー浅井忠の図案とその作品化をめぐってー	和田 積希	MUSEUM	650	特集 森博嗣『すべてがFになる』『スカイ・クロラ』から『MORI LOG ACAD-EMY』まで…クラフトマンの機知 犀川先生が飛んでいく	浅田 寅ヲ	ユリイカ	652
日本美術史不案内 65海を渡り外国人を殺しに行く[浅井忠]	佐藤 康宏	U P	503	4 [読ん]で知るアート 家族写真	浅田 政志	朝日夕刊	
生誕200年 ミレー再発見 下 生涯の神話化 日本に影響画壇超え文学・社会にまで[浅井忠]	宮川 匡司	日 経	12.7	写真年賀状が原点			1.8
だいあるへぐー東京彩人記 石州流盆石家元八世 浅井濤子さん 一瞬の出会いに感動	岡 礼子	毎 日	1.8	アルバムは人生の座標			1.15
Next Eco Design 展 2013 ダイエットプレート「BM22」	浅井 治彦	明星大学 研究紀要	22	年に一度は家族で撮ろう			1.22
特集 新人大図鑑 2014 未来のスター450名を一挙紹介! 評論家・ジャーナリストが選ぶ注目の新人13 浅井保宏	山下 裕二	美術の窓	368	写真を形に残しませんか			1.29
30年の歴史に幕 映画館に壁画でエール 浅井裕介が制作	渋谷 和彦	産 経	5.22	美の美 日本の家族写真 下 帰らぬ人、ありし日の記憶 喪失を越えて生きる力に[浅田政志]	千場 達矢	日 経	10.12
玉川高島屋に巨大絵画 岩手の小中学生と若手画家合作[浅井裕介]	大迫麻記子	毎 日	10.17	特集 プロ&通(ツウ)の「イチオシ!」93点 この新人が、欲しい! Part 1 手に入れるなら今のうち! 注目の最新世代34点 浅野恵理子	浅野恵理子 幕内 政治	美 術*	467
				書く人 2014 私の3冊 木下直之の『コンクリート魂ー浅野祥雲大全』(大竹敏之著・青月社)	木下 直之	東 京	12.28
				中特集 現代の心象表現を考える 浅野輝一	赤津 侃	美術の窓	369
				触覚による造形と鑑賞に基づく教材技術	朝野 浩行	東京学芸大学紀要	66
				「Jo Kley と学生たちの国際彫刻シンポジウム2013」の考察	朝野 浩行 高橋 来春 荒川 新一郎 黒田 千紘 板垣 大地	”	”

平成26年定期刊行物所載文献(近/作ア)

特集 浅野弥衛 生誕百年	北斗 610	浅野弥衛先生と出会えたこと	山 弘之	
特集 浅野弥衛 生誕百年	棚橋 鏡代	『生きている』線	奥村 泰彦	
「北斗」誌における浅野弥衛	衣斐 弘行	浅野弥衛さんの思い出	木本 文平	
浅野弥衛の時間割	清水 信	出合い—別れ—出合い	谷 哲夫	
浅野弥衛さんのおみちびきにすぎりて	海谷 寛	生誕百年でのご縁	衣斐 弘行	
北斗とyae.aとぼく	渡辺 康允	浅野弥衛の文献と作品をめぐる覚書	石崎 勝基	
浅野弥衛・融通無碍の世界	棚橋 鏡代	美術新人賞デビュー 2014 第2回	浅野 遊子 美術*	462
モノクロームの美学	尾関 忠雄	特集 新人大図鑑 2014 未来のスター 450名を一挙紹介! 木彫表現の最前線 自然との深い親和力 浅野井春奈	浅野井春奈 談	美術の窓 368
名古屋画廊にて	山中 幸盛	明治の細密工芸 驚異の超絶技巧! 明治工芸の匠たち 旭玉山 生き物に対する鋭い観察眼	黒川 廣子 太陽(別冊)	217
浅野弥衛特集に寄せて	駒瀬 銚吾	朝見香城の画業について	平瀬 礼太	姫路市立美術館研究紀要 14
浅野家の人々	秋野 信子	特集 光の表情を描く ④技法講座 vol.38 油彩 技法講座3 モチーフを取り巻く光の空気や温度を描き出す	浅村 理江	美術の窓 375
驚いたこと	橋本 玄也	特集 トーベ・ヤンソン PART 2 なぜ世界中に愛されているの? 「ムーミン」の魅力 地球最後の日を予兆する寓話、その自然観	芦田みゆき 文 白坂 構成 ゆり	美術手帖 1015
むごいものから	竹中 忍	連載 未来にココにあってほしいから—名建築を支える名オーナーたち 6 インタビュー 東利恵塔の家		建築雑誌 1659
人工天文台	内藤 司 吉田かよ子 松村 豊資 石川 晴子 竹中 忍 清水 成子 大西 亮	視線 畦地梅太郎版画集 「山男」	保坂健二郎 朝 日	10.5
特集 弥衛さん	REAR 33	特集 プロ&通(ソウ)の「イチオン!」93点 この新人が、欲しい! Part 2 見逃せない最新作も! 人気の若手作家40点 麻生知子	麻生宅 知子 一樹 美 術*	467
浅野弥衛の弁証法	生田 ゆき	まんがの力—日本の20世紀と麻生豊—	菅野 剛宏	おおいた 歴博 43
浅野弥衛試論	石崎 尚	戦争と漫画家麻生豊—従軍経験と日本漫画奉公会への関わりを中心に—	佐藤 美弥	埼玉県立歴史と民俗の博物館紀要 8
桜画廊、浅野さんとの2人展	庄司 達			
弥衛先生の画材とアトリエから 佐藤史郎	高橋 綾子 聞き手・まとめ			
浅野弥衛を「見て」もらうために	成瀬 美幸			
浅野弥衛の初期作品について	生田 ゆき			
職人的文人とおじいちゃんの落書き	吉本 作次			
レポート「浅野弥衛の世界」をめぐる 清水信 永見隆幸 生田ゆき	増田 千恵 まとめ			
浅野弥衛先生と私	久田 修			
無私 of 精神—浅野弥衛と野田理一—	高井 儀浩			
浅野弥衛先生の余徳	中山 真一			
10度目の浅野弥衛展	熊谷寿美子			

レポート墨 OASIS 一描き手を支える裏 方の存在—[足立正 平]	水墨画*	298	特集 百合文化の現 在—女子と／の恋愛 —百合という観測問 題	天野しゆに んた 青柳美帆子 聞き手・構 成	ユリイカ	653	
ミラノ在住57年、彫 刻家・吾妻兼治郎の 生き方	藤田 一人	芸術新潮	769	特集 ラファエル前 派 PART 2 ラフ アエル前派 第二世 代から唯美主義へ Artist Interview 天 野喜孝が語る ラフ アエル前派の魅力	野瀬 明子 構成	美術手帖	1001
本づくし「真実を 突いた言葉たち」 『ムナーリのことば』 ブルーノ・ムナーリ 著、阿部雅世訳	安積 朋子	A X I S	172	中特集 スペシャル 対談 天野喜孝×夢 枕猿		美術の窓	374
巻頭特集 見て楽し む、描いて楽しむ風 景画 ④技法講座 vol.34 実践!風景 画をマスターする④ 技法講座 1 講師 : 安彦文平 リアリ ティあふれる岩肌と 水の表現	安彦 文平	美術の窓	369	生誕100年記念 富 永直樹彫刻展 素晴 らしい師に巡り会え た幸せ	雨宮 敬子	新美術新 聞	1350
研究発表(要約) 写 真にみる阿部碧海の 足跡—資料紹介を中 心に	森 仁史	近代画説	23	特集 日本の国宝 アートのちから 現 代作家の作品に見る Part.1 雨宮敬子 雨宮敬子氏の彫刻	土方 明司	美術の窓	372
この人 釜石で再生 の壁画をデザインし た阿部恭子さん	伊東 誠	東京	5.15	特集 フィールドワ ークとツール 環境 の触り方、言葉の探 し方	飴屋 法水、 朝吹真理子、 話し手 徹平 藤原聞き手	建築雑誌	1665
北海道文化考 コラ ージュで表現する自 身の内面 阿部國良		美術屋・ 百兵衛	30	資料 朝鮮美術展 覧会における日本人 画家・安保道子につ いて	荒井 経 日比野民馨	東京芸術 大学美術 学部紀要	52
水墨の最前線27 石 炭の墨に見る絵画表 現の粋 阿部啓明	立島 恵	水墨画*	298	Loeil 美は語る19 菱田春草 最新科学 が解き明かす、新た な世界 インタビュ ー 荒井経		美術の窓	373
茶話マンガ 希望と 絶望 入れ子に[阿 部共実]	伊藤 剛	朝日夕刊	11.1	面材で探る日本画ら しき 近代の歩み、 絵の具や紙、筆から 科学的・歴史的に研 究	荒井 経 日 経		10.21
デザインシンガポ ール・カウンスル 子 供のためのデザイン 教育「いろいろなも のの見方」というプ ロジェクト[阿部雅 世]	谷口真佐子 編集部	A X I S	167	コミック 空也上人 がいた 新井英樹(作) 山田太一(原作) ず しりと腹に響く人間 の業	南 信長	朝 日	10.19
シンポジウム 『戦 後民主主義から生ま れた職美展』	中橋 肇 司会 坂下 雅道、 阿部 正義、 井上 克己、 遠藤 昭一 パネラー	職場美術	143	ひと 高校生ならで はの粗削りな個性に 期待 荒川明照さん	荒川 明照 談	美 術*	466
第27回奨学者のレポ ート なぜ風景を選 択するのか	阿部未奈子	アクリラ ート(別 冊)	2014	第六十回日本伝統工 芸展入選作品	織田 阿奴 荒川 智也 石山 哲也 神崎 秀策 松田 和子	秀明美術	21
特集 日本の国宝 アートのちから 現 代作家の作品に見る Part.3 天児奎子 竹・篋・想	天児 奎子	美術の窓	372	「Jo Kley と学生たち の国際彫刻シンポジ ウム2013」の考察	朝野 浩 高橋 来春 荒川 新一 黒田 千紘 板垣 大地	東京学芸 大学紀要	66
帰郷願う草木染 特 定失踪者の姉 20年 かけ1000枚「掲げ て妹 迎えたい」[天 内みどり]	石灘 早紀	毎日	10.30				

平成26年定期刊行物所載文献(近/作ア)

「似セモノ(偽者)」と「写し」の価値転換—昭和30年代の「永仁の壺」事件と荒川豊蔵作《随縁》をめぐる—	藤原 貞朗	茨城大人文学部紀要(二)*	17	特集 日本の国宝アートのちから 現代作家の作品に見るPart.3 荒木典子 今を生きる証	荒木 典子	美術の窓	372
こころの玉手箱 陶芸家 加藤孝造	加藤 孝造	日経夕刊		フォーカス 文化庁メディア芸術祭マンガ部門で大賞受賞 荒木飛呂彦氏「ジョジョ」四半世紀貫く人間賛歌		日経夕刊	3.11
3 荒川豊蔵先生の推薦文 心より重い「思い」教わる			12.10	白日会 of 精神—24人の作品と言葉から「白い森」	有田 巧	新美術新聞	1339
4 茶わん「茄子」熊谷守一さんが絵付け よしあし 自分の物差しで即断[荒川豊蔵]			12.11	特集 まちづくりのタイムライン ねじれた「縁」をつむぎ直すまちづくり—大阪釜ヶ崎/暴動の街からコレクティブなまちへ	ありむら潜寺川 政司	建築雑誌	1664
「死を生きてゆく」アラキーの「純」文学 [荒木経惟]		芸術新潮	769	INFORMATION BOOK 時代を超えた前衛コラボレーション『すてたろう』粟津潔の劇画×秩父前衛派の音楽	編集部	美術手帖	1014
ひと 右目を失明しても撮り続ける写真家 荒木経惟さん	大西 若人	朝 日	5.29	2013(平成25)年度川崎市民ミュージアム・スタジオプログラムによる滞在制作の成果(報告)[安西剛]	深川 雅文	川崎市市民ミュージアム紀要	26
視線 道[荒木経惟]	〃	〃	11.2	イラストレーション、粹に 安西水丸さん悼む声	朝 日		3.25
美を楽しむ アラキーのニッポン		東 京		安西水丸さんを悼む酒飲みで人情家 仕事一途 嵐山光三郎作家 一本線使い、自在に表現	嵐山光三郎	〃	3.26
家庭の味求めて…命つないで「イタダキマス」デリ〜シャス!			4.22	安西水丸さん死去		朝日夕刊	3.24
宇宙の図書館か! 知を刺激するガラスの惑星			5.27	惜別 イラストレーター・作家 安西水丸さん 流れる車窓のような人間に	山田 優	〃	6.21
現場に笑顔絶えず ドボジョ大志を抱く			6.24	安西水丸さん死去 イラストレーター「村上朝日堂」		毎 日	3.25
オレの筋肉 どう?公園で鍛えるシニア			7.22	追悼・安西水丸さん 都市の幽愁へ向かった奇才	嵐山光三郎	読 売	4.3
新しい家族だな アンドロイド漫透			8.26	キラリ人生 郷土の文化財—身近に 教員から絵本作家へ [安藤邦緒]	寺本 康弘	東 京	2.26
礼拝 にぎやかに 東京・江戸川 ヒンズー教の寺			9.23	人間発見 木の家が 優しく伝える 1~5 筑波大学名誉教授 安藤邦広さん	安藤 邦広	日経夕刊	3.31~4.4
気持ち充実103歳 日野原重明さん			10.28	美術館での出会い	安藤 真司	ザ・ルー	44
お菓子でカワイく 原宿 流行より個性			11.25				
美の美 日本の家族写真 中 夫婦は互いに永遠の他者 視線に交じる愛着と疎外[荒木経惟]	干場 達矢	日 経	10.5				
「予期せぬ1枚」が面白い 日常を撮るそこに時代が写る[荒木経惟]	〃	日経夕刊	1.8				



1000年プリントにな った 安藤忠雄のド ローイング		芸術新潮	776		(イ)		
アヴァンギャルドに 敬意を[安藤忠雄]	松葉 一清	新美術新 聞	1363			古賀 重樹 日 経	4.20
第1回 くない忌 世界のGUTAI元永定 正と芸術 発起人代 表の挨拶—発起人を 代表して	安藤 忠雄	美術屋・ 百兵衛	28				
パリの百貨店で安藤 忠雄展 瀬戸内・直 島での建築を柱に			読 売	7.10		飯沼 春子 中村 祐子 鷺尾美陽子	美 術* 469
初代ハチ公原型 戦 火越え 都内で発見 結婚記念に贈られ保 管[安藤照/安藤士]	牛尾 梓	朝日夕刊	5.2				水 墨 画* 305
戦災逃れた 初代ハ チ公 設置から80年 原型見つかる 杉並 区の女性が保管 「よ くぞ」制作者長男 感 慨[安藤照/安藤士]	小形 佳奈	東京夕刊	4.18			鈴木久美子	東 京 5.8
ハチ公像 初代の原 型 戦火逃れた石こ う 見つかる 正面 見つめ がっしり骨 太 「幻」の銅像 鮮 明に[安藤照/安藤 士]	岡本 裕輔	読 売	5.19			飯山 園子	秀明美術 21
明治の細密工芸 驚 異の超絶技巧! 明 治工芸の匠たち 安 藤緑山 謎のスーパ ー牙彫師	黒川 廣子	太陽(別冊)	217			呉 智英	東京夕刊 2.14
古典探遊	増田 愛子 開き手	朝日夕刊				高山 淳	美術の窓 372
これ以外ない踊り 子の姿 映画「嘆 きの天使」×画家 ・安野光雅			4.8			北澤 憲昭 朝 日	3.9
鷗外の文語訳 飾 らず磨き上げる アンデルセン[即 興詩人]×画家・ 安野光雅			4.22				水 墨 画* 301
皇后さまの歌 思い 重ね 安野光雅さん、 133首選び出版	北野 隆一	〃	7.8				〃 302
被災地に心を寄せて 画家の安野光雅さん 安野光雅「気仙沼の 水揚げ」 活気が戻 った魚市場 弱音を 吐いていられない	安野 光雅	東 京	1.1				〃 303
会えてよかった 安 野光雅著			日 経	1.5			〃 304
資料 朝鮮美術展覧 会における日本人画 家・安保道子につい て	荒井 経 日比野民蓉	東京芸 術学 部紀要	52				〃 305
							〃 306
							〃 307

平成26年定期刊行物所載文献(近/作イ)

コミック 羊の木 山上たつひこ(原作) いがらしみきお(作 画) 圧倒させられ る心理ドラマ	ササキバラ ・ゴウ	朝 日	6.8	特集 心に染みる風 景「旅すれば、風の 形がみえてくる…」 小野竹喬の(奥の細 道)と池田遥邨の山 頭火に想う	勅使河原純 美 術*	465
平成26年、今美術教 育を考える 美術教 育に関する拡大研究 委員会開催報告 後 編	本郷 寛 田中康二郎 東良 雅人 岡田 京子 中島 千波 松坂 芳助 米林 入江 佐藤 泰生 山本 貞三 五十嵐 芳三	連盟ニユ ース	451	白日会の精神—24人 の作品と言葉から 「牧童」	池田 良則 新美術新 聞	1339
作家の目 あこがれ の大草原 モンゴル スケッチの旅	井口 優	美術の窓	364	食卓を彩る四季の魚 貝10~17、最終回	池田 蘭径 水墨画*	298~306
91歳現役「日曜画家」 都内の名所50カ所 画文集を刊行[池八 十次]	齊藤 光二	産 経	2.16	わたしのマーガレッ ト展—マーガレット ・別冊マーガレット 少女まんがの半世紀 —あこがれの媒体で した 池田理代子さ ん	池田 蘭径 東京	9.18
この人 小杉焼を「復 興」させた窯元 池上 栄一さん	青木 孝行	東 京	12.2	土曜訪問 「ベルば ら」描き続ける 池 田理代子さん 常識 外れても自由に	岩岡 千景 東京夕刊	8.30
日々好日 発想の引 き出し	池川 直	新美術新 聞	1334	池原昭治氏と埼玉の 民話—企画展「絵で 語る埼玉の民話」を 通じて—	大明 敦 埼玉県立 歴史と民俗の博物 館紀要	8
白日会の精神—24人 の作品と言葉から「月 光」	〃	〃	1339	総特集 岩明均『風 子のいる部屋』寄生 獣『七夕の国』から 『ヒストリエ』まで ヒストリエに魅せら れて	池辺 葵 ユリイカ	654
受賞学生インタビュー —第11回 第17回 JPPA AWARDS 2013 学生部門 ドキュメ ンタリー・その他部 門ゴールド賞受賞	池尻 貴尚	芸大通信	28	隣人 日中韓 5 「共感」が乗り越えた 壁[諫山創]	「隣人」取材 班 毎 日	1.5
ヒロインは強し 池 田薫園 創作と夫を 愛した絵師	木内 昇	日 経	7.5	特集 美術解剖学か らの学び 頭部を描 く ④技法講座 技 法講座1 講師：石 井武夫 ダミー人形 をモチーフに頭部の 形態と量感を豊かに 表現する	石井 武夫 美術の窓	373
REIJINSHA GALLERY 池田純夫展～記憶の 構造～	池田 純夫	美術屋・ 百兵衛	30	フェイス21世紀180 石井亨 “平成の浮 世絵”を目指して	橋爪 勇介 新美術新 聞	1334
特集 気高く美しく 理想の女性像 美は 女性のなかに発見さ れるもの	池田 清明	美 術*	466	壁彩る 江戸美人 上野公園ライトアップ [石井幹子]	東 京	10.31
美の美 20世紀の美 神—マリリン・モン ロー 下 柔らかさ、 悲しみ、生命力、今 も芸術家を突き動か す[池田満寿夫]	古賀 重樹	日 経	4.20	建築家ピエール・シ ャローとガラスの家 中 照明デザイナー 石井幹子さん テー ブルランプ 独創的 光のデザイン	石井 幹子 東京夕刊	8.7
魔法のような細密画 「予兆」池田学さん 展覧会@NY	中井 大助	朝 日	11.12	スイス広場に巨大浮 世絵 国交150年記 念 床面に映像浮か び[石井幹子]	毎日夕刊	10.8
アクリリックス・ワ ールド83 池田光宏	石井 芳征 取材・文	美術手帖	1010	私の先生 照明デザ イナー 石井幹子さ ん 熱心な後押し 美術へ導く	伊藤 史彦 聞き手 読 売	2.13

歌麿 上野を照らす あかりパーク2014開 幕[石井幹子]	"	10.31	特集 日本の国宝 アートのちから 現 代作家の作品に見る Part.3 石川茂 感 謝と共にアートと生 きる	石川 茂	美術の窓	372	
スイス広場に巨大浮 世絵 国交150年記 念 床面に映像浮か び[石井リーサ明理]	毎日夕刊	10.8	この1年 漫画 幅 広い表現の豊かさ いしかわじゅん	いしかわじ ゅん	毎日夕刊	12.10	
小特集 フリーダ・ カーロとの対話inメ キシコ 石内都、原 田マハカメラとペ ンを携えて	原田 マハ	芸術新潮	778	写真というゴースト MP1「拡張される網 膜#2」展	石川 卓磨	美術手帖	1014
インタビュー連載 原田マハ、美のバイ オニアに会いに行く 番外編 石内都	原田 石内 対談	マハ、 都	"	collection-vol.86 《風 景》 石川寅治	植田 憲司	KENBI LETTER	86
石内さんに国際写真 賞	朝 日	3.7	ダムに沈む村を撮り 続けた全身写真家・ 増山たづ子	石川 直樹	芸術新潮	771	
核といのちを考える 被爆国から2014秋 5 人類の問題 撮 る 伝える 写真家 石内都さん	岡本 玄 聞き手	朝日夕刊	12.1	津田直、石川直樹が 語り合う 異色の修 道院 ドキュメンタ リー映画を今、私た ちが見るべき理由	"	776	
写真家との旅[石内 都]	与那原 恵	日 経	12.7	新しい世界の入口と して	"	美術手帖	1011
着物文化の奥深さ 写真と現物で表現[石 内都]	日経夕刊	6.18	国東半島芸術祭への 誘い 見たことのない 日本列島 その横 顔に触れられるかも	"	美連協ニ ュース	124	
ひと「写真界のノー ベル賞」に選ばれた 石内都さん	岸 桂子	毎 日	3.12	視線 髪[石川直樹]	北澤 憲昭	朝 日	11.16
顔 ハッセルブラッ ド国際写真賞を受賞 した 石内都さん	森田 睦	読 売	3.13	第45回日展 新入選 者寄稿一喜びと抱負 一 制作の壁を乗り越 えて	石川 晴菜	日展ニ ュース	152
息づく女性表現者の 日常 フリーダ・カ ーロを撮る 石内都 物語でもロマンスで もなく	石内 都	"	5.15	ひと 米従軍取材か ら50年のカメラマン 石川文洋さん	青島 顕	毎 日	6.19
本よみうり堂 石内 都著「From ひろしま」	若松 英輔	"	8.24	本江邦夫の「今日は、 ホンネで」 第74回 洋画家 石黒賢一郎	石黒賢一郎、 本江 邦夫 対談	美 術*	465
石垣栄太郎一生誕120 年、本貫の地で考え たこと	熊田 司	和歌山県 立近代美 術館ニ ュース	77	展覧会レビュー part 1 三つの視 点 バルテュス展 画家の視点II 霧の ペールに包まれた具 象絵画	石黒賢一郎	"	466
「伊東建築」先鋭の柱 薄くて透明 世界が 評価 師第3代、軽 さ受け継ぐ[石上純 也]	窪田 直子	日経夕刊	7.18	新しいコレクション 石黒宗麿《失透釉茶 碗》	木田 拓也	現代の眼	608
彫刻師「日本のミケ ランジェロ」石川雲 蝶 尽きぬ魅力 生 誕200年 沸く新潟	江川慎太郎	朝日夕刊	9.20	特集1 国宝の力 伝統技術という宝 人間国宝一重要無形 文化財保持者[石黒 宗麿]	小野 公久	目の眼	459
石川欽一郎《駿河湾》	村上 敬	アマリス	113	特集 日本の国宝 アートのちから 現 代作家の作品に見る Part.2 石阪春生 蠱惑	高山 淳	美術の窓	372

特集 第91回春陽展 6人の作家と作品	石田 勤一 すずきくみ 田中 俊行 井上 直子 高浦とみ子 篠田紀美代	ギャラリー 一*	348	特集 近代建築再読 ヴェネチア・ビエン ナーレ 日本の建築 は、いかに世界や社 会のなかで位置付け られてきたのか—映 像作品“Inside Archi- tecture—A Challenge to Japanese Society” から[石山友美]	寺田真理子	建築雑誌	1662
特集 気高く美しく 理想の女性像 身近 な人物だからこそア プローチできる女性 のイメージ	石田 淳一	美術*	466	イギリスの展覧会 人間国宝四人展[伊 勢崎淳]	外館 和子	陶 説	730
極北の地をはしるパ イプラインを追いか けて[石塚元太良]		芸術新潮	770	東京国立博物館「特 集陳列 人間国宝の 現在[いま]」作家イ ンタビューより8 伊 勢崎淳 重要無形文 化財「備前焼」保持者	伊藤 嘉章	〃	731
視線 PIPELINEICE- LAND/ALASKA[石 塚元太良]	北澤 憲昭	朝 日	2.2	REVIEWS EX 17年 間の空白を埋めるも の「磯崎新 都市 ソラリス」展	黒瀬 陽平 評	美術手帖	1002
おやじのせなか 人 生の勝負時「やっ てみる」石塚真一さ ん	岡 雄一郎 聞き手	〃	9.24	文化の扉 はじめて の風水 「西洋近代」 超えるヒント	磯崎 新 朝 日	2.10	
特集 プロ&通[ツ ウ]の「イチオシ」 93点 この新人が、 欲しい! Part 1 手に入れるなら今の うち!注目の最新世 代34点 石野平四郎	石野平四郎 満田 晴穂	美術*	467	上海交響楽団に新ホ ール 音響設計・豊 田さん「能力100% 引き出す」建築設 計・磯崎さん「ホ ール自体が楽器」	金 順姫	〃	11.11
宮城文化考 マンガ の王様 石ノ森章太 郎		美術屋・ 百兵衛	29	国立競技場建て替え 建築家争鳴 新提案 も「ダイナミズム 消えた」修正案に落 胆 やるなら誇れる もの 屋根なし純粋 競技場[磯崎新]	大西 若人	〃	12.17
トキワ荘の時代 感 じて 記念碑5周年 トークや散策ツアー [石ノ森章太郎]		読 売	4.18	「建築の危機」打開せ よ 建築界のリーダ ー3氏が公開討論 情報化の波 都市と の接点に変化[磯崎 新]		朝日夕刊	1.22
TOKYO 発 絶妙の バランス 石積みア ート 立川の石花さ ん「地球と一体感」 [石花ちとく]	栗原 淳	東 京	9.1	新国立「粗大ごみ化 も」建築家・磯崎 新さん意見発表 五 輪開会式「皇居二重 橋前で」		東 京	11.6
ホテルの客室からア ート発信 パークホ テル東京[石原七生]		産 経	10.16	建築家・磯崎新さん に聞く「新国立 八方ふさがり」		〃	12.21
特集 心に染みる風 景 風景に想うこと	居島 春生	美術*	465	核心 新国立競技場 問題 磯崎新さんに 聞く「国威発揚型」 脱却を 転用念頭に 仮設活用	森本 智之	〃	〃
落ち葉[石元泰博]	影山 千夏	KENBI LETTER	83	美の美 20世紀の美 神—マリリン・モン ロー 下 柔らかさ、 悲しみ、生命力 今 も芸術家を突き動か す[磯崎新]	古賀 重樹	日 経	4.20
本よみうり堂 石元 泰博著「桂離宮」	青木 淳	読 売	8.31				
作風のごとく豪快に 石山修武 早大退任 シンポ	大西 若人	朝日夕刊	4.9				
孤立を恐れぬ情熱家 建築史家、鈴木博之 氏を悼む	石山 修武	毎日夕刊	2.12				
第六十回日本伝統工 芸展入選作品	織田 阿奴 荒川 智也 石山 哲也 神崎 秀策 松田 和子	秀明美術	21				

上海交響楽団に新ホール「究極の音色」どの席も磯崎新氏ら設計	菅原 透	日経夕刊	9.5	現代作家の視線01 市川裕司		ギャラリー一*	348	
虚構を都市へ持ち込む 磯崎新さん 個展と著作集	高野 清見	読 売	2.6	コミック 白い街の夜たち 1 市川ラク(作) トルコの異文化に魅せられ	南 信長	朝 日	7.20	
巻頭特集 原寸で見る!現代作家の技 鉛筆の重ね描きで金属の質感を生む	磯部勝士郎	美術の窓	371	郷土の作家たち 市野長之介 清水九兵衛	山田保崎	論 裕徳	アートペーパー	97
純粋なる芸術 アール・ブリュットの世界 磯部涼「つるべえ」	中村 政人	東京夕刊	5.7	写真の隅々まで景色の光 市橋織江展	西岡 一正	朝日夕刊	2.5	
所蔵作品追跡レポート 井田照一“間”の思想 あるいは、作者と鑑賞者の“間”	小泉 淳一	茨城県近代美術館だより	99	白日会 90年の歴史、これからの10年 制作に夢中だったあの頃	市村 緑郎	新美術新聞	1339	
「Jo Kley と学生たちの国際彫刻シンポジウム2013」の考察	朝野 浩行 高橋来春 荒川新一郎 黒田千紘 板垣大地	東京学芸大学紀要	66	「海中のクリエイティブ・アーティスト」の代表作展示[伊東昭義]		ギャラリー一*	350	
世界蜂起展—松澤宥「最終美術思考工房」をめぐって《世界蜂起》いまこそ松澤宥—その思考の原点	伊丹 裕	あいだ	214	その頃のこと	伊藤 和子	自由美術	2014	
第290回水曜講演会 板谷波山がめざしたもの	木田 拓也	出光美術館報	167	個の歩みからたどる現代陶芸の四半世紀—伊藤慶二と鯉江良二の軌跡から— I. 1950年代—1980年代現代陶芸の高度成長時代	正村 美里	岐阜県美術館年報研究紀要	31	
板谷波山の意匠設計(1)チューリップ—逃れゆく花、多義性の花	柏木 麻里	出光美術館研究紀要	19	現代四君子講座 基本を習熟し創作へ繋げる 第十~十二回 ステップ3【創作編】	伊藤 昌	水墨画*	298~300	
板谷波山作 彩磁月桂樹撫子文花瓶	”	国 華	1429	作家通信 伊藤昌 大学での講義に向けて	”	”	300	
開かれた波山研究を目指すために	荒川 正明	陶 説	731	現代水墨画作家手本集2 伊藤昌 葡萄図	”	”	307	
板谷波山の作品に見る有職故実意匠	田中 潤	”	”	北斎門人 葛飾北俊について[伊藤晴雨]	根岸 美佳	北斎研究	53	
茨城の陶芸5 板谷波山と里中英人一産地と産業をめぐって	花井 久穂	東洋陶磁	43	東京国立博物館「特集陳列 人間国宝の現在(いま)」作家インタビューより7 伊藤赤水 重要無形文化財「無名異焼」保持者	伊藤 嘉章	陶 説	731	
先人を訪ねて 板谷波山 東西の美 陶芸に融合	田坂 誠	読 売	1.7	現代美術の歩き方 異論反論・現代美術 大和日英基金+ART Institute による7名の日本人アーティストのグループ展がロンドンで開催[伊藤存]		美術の窓	364	
純粋なる芸術 アール・ブリュットの世界 市川航也「森世界」	中村 政人	東京夕刊	11.5	クリエイターズワーク&ソウル 伊藤孝紀	伊藤 孝紀	A X I S	172	
市川崑監督の幻アニメ発見「弱虫珍選組」米にフィルム	伊藤恵里奈	朝 日	4.23	味な建物舞台職人が撮る 全国回り壁の汚れなどに目配り、セット作りに生かす	伊藤 隆之	日 経	4.23	

平成26年定期刊行物所載文献(近/作イ)

表紙解説 築地本願寺本堂[伊東忠太]	西岡 聡	文化財*	615	特集 今あらためて巨匠に学ぶデッサンの技 デッサンとは何か?伊藤廉の定義をめぐって	寺久保文宣	美術の窓	364
純粋なる芸術 アール・ブリュットの世界 伊東鉄也「無題」	中村 政人	東京夕刊	12.10	伊藤廉 絵の話	浅野 泰子	R E A R	32
特集 教育考—暮らしと社会のエンライトメント 第3部 市民教育としての建築教育 建築の教育何かを実現し、何かがわかる	伊東 豊雄、木下 勇、仲 綾子、話し手 藤原 徹平、石黒いづみ聞き手	建築雑誌	1657	遠みち近みち ポルトで見た非効率の美德[伊藤廉]	内田 洋一	日経夕刊	11.22
ニュースの扉 伊東豊雄さんと歩く五輪選手村予定地 伊東の目「公共」を考え、表情ある街に	野波 健祐、伊東 豊雄	朝 日	2.17	描くとゆうこと	糸田 玲子	女流画家協会会報	2
国立競技場 伊東氏が改修案 議論再び活性化か	大西 若人	〃	5.21	現代美術の歩き方 今月の一品 稲崎栄利子「ヒカリについてII」	牧野 裕二	美術の窓	373
「五輪 改修国立競技場で」伊東豊雄氏ら代替案公表へ「新築は費用莫大」	森本 智之	東 京	5.10	北海道文化考 染色家・稲村範子		美術屋・百兵衛	30
伊東豊雄さんに米財団がメダル 建築で社会貢献		東京夕刊	4.4	受賞教員インタビュー第9回 被災地で取り組んだ「陸前高田のみんなの家」の共同設計の過程を展示した「ここに、建築は、可能か」でヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展「金獅子賞」を受賞。			
「新国立計画見直さず」伊東さんの代替案に文科相		〃	5.23	特集 フィールドワークとツール 「小さな風景からの学び」での試み	〃	建築雑誌	1665
「伊東建築」先鋭の柱薄くて透明 世界が評価 節第3代、軽さ受け継ぐ	窪田 直子	日経夕刊	7.18	連載 住むことから考えるU-35 3 他所者[よそのもの]と街の専門家	犬塚 恵介	〃	〃
建築家の伊東豊雄さん 米財団のメダルを受賞		毎日夕刊	4.2	展覧会ピックアップ ラ・パレット四人展	井上 克己	職場美術	141
ル・コルビュジェのインドが教えてくれるもの 自由に満ちた建築の強さ 生の喜びにこそ価値	伊東 豊雄	読 売	7.3	第21回 職美協サークル北上展			143
白日会 精神—24人の作品と言葉から「静穏」	伊藤 晴子	新美術新聞	1339	シンポジウム 『戦後民主主義から生まれた職美展』	中橋 肇、坂下 雅道、阿部 正義、井上 克己、遠藤 昭一、パネラー	〃	〃
日々好日 石と共に歩む	伊藤 正人	〃	1353	ニュースの本棚 震災とマンガ 一歩引いた視点に宿る底力[井上きみどり]	南 信長	朝 日	8.3
特集 新人大図鑑 2014 未来のスター450名を一挙紹介! 評論家・ジャーナリストが選ぶ注目の新人13 伊藤真知子	武田 厚	美術の窓	368	井上雄彦 自ら流した越前和紙にバルセロナで深化させたガウディの世界を描く		芸術新潮	775
特集 銅版画家25人新時代を切り開く精鋭たち 伊藤学美	伊藤 学美	版画芸術	165	特集 第91回春陽展 6人の作家と作品	石田 勤一、すずきくみこ、田中 俊行、井上 直子、高浦とみ子、篠田紀美代	ギャラリー一*	348
オトナになった女子たちへ	伊藤 理佐	朝 日	1.26				

純粋なる芸術 アール・ブリュットの世界 井上優「女の人」	中村 政人	東京夕刊	9.10	作家との対話 今井裕之	原田 平作	美術フォーラム21	29
東京国立博物館「特集陳列 人間国宝の現在(いま)」作家インタビューより3 井上萬二 重要無形文化財「白磁」保持者	横山 梓	陶 説	730	Wの未来 キレイになる 1 伝統美磨き 豊かに ドラクローワに並べ[今井陽子]		日 経	5.4
学校と私 有田焼作家 井上萬二さん 海軍で養われた精神と肉体	関東 晋慈 聞き手	毎 日	1.20	特集 銅版画家25人新時代を切り開く精鋭たち 今井庸介	今井 庸介	版画芸術	165
土曜訪問 「自分の絵」を描き続ける 井上洋介さん 「笑い」ないと伝わらず	宮川まどか	東京夕刊	4.19	アニメ深掘り 「キラキラ」 過激で過剰な痛快娯楽作品 [今石洋之]	小黒祐一郎	産 経	4.23
美術新人賞デビュー2014 第2回	井 上 家	美 術*	462	先生を偲び、いま思うこと	今泉今右衛門	視 る	467
丹下健三生誕100周年プロジェクトに伴う調査・研究 香川県庁舎 設計から現在までの「物語」[猪熊弦一郎]	佐藤 竜馬	ミュージアム調査 研究報告	5	人間国宝に7人 落語の柳家小三治さんら[今泉今右衛門]		毎 日	7.19
包み紙に潜む芸術家の魂[猪熊弦一郎]	下前 俊輔	日 経	10.9	美術団体レーダー 100回展へ向かっての新たな決意 第91回春陽展 春陽会賞受賞者 今尾啓吾(絵画部門)		ギャラリー*	349
わたしたちの教室へようこそ 猪俣須美 墨美の会		水 墨 画*	305	作家通信 上越水墨画フェスティバル五周年記念展に参加して	今岡 琴子	水 墨 画*	303
第27回奨学者のレポート 生きること	伊庭 広人	アクリラ ート(別 冊)	2014	わたしたちの教室へようこそ 今岡紫雲 英 現代水墨画 グループ墨		"	300
画家と戦争 日本美術史の空白 戦争を描いた画家たち 伊原宇三郎	迫内 祐司	太陽(別冊)	220	名著の衝撃 18 『デメキング』いましろ たかし著 とにかく何だかすごい	呉 智英	東京夕刊	1.30
特集 美術解剖学からの学び 頭部を描く ④技法講座 技法講座3 講師:井原信次 ハイライトを意識した明暗の効果で頭部の形態や表情を描き出す	井原 信次	美術の窓	373	現代美術の歩き方 今月一品 今田淳子「トスカーナの丘にてー花シリーズー/Sulla collina di Toscana-FIORIー」	坂本 顕子	美術の窓	364
現代の縄文土器を野で焼く 猪風来の豊饒世界	草刈 朋子	芸術新潮	775	無名の画家に光 遺志継ぐ 絵画収集に人生かけた父、地元を支えられ美術館を運営[今西中通]	佐藤 雅子	日 経	11.13
評 建築 大多喜町役場(千葉県) 過去と現在つなぐ試み[今井兼次]	五十嵐太郎	毎日夕刊	6.18	新南面の成立と展開 [今村紫紅]	中野 慎之	鹿島美術財団年報・別冊	31
特集 プロ&通(ツウ)の「イチオシ!」93点 この新人が、欲しい! Part 1 手に入れるなら今のうち! 注目の最新世代34点 今井完眞	今井 完眞 編集部・S	美 術*	467	巻頭特集 再興院展 100年 その歩みと次代の画家たち 院展の巨星 その光と影2 今村紫紅と速水御舟		美 術*	461
フォーカス 毛皮デザインで世界を魅了 フィンランドの獅子勲章を受章	今井 千恵	日経夕刊	8.29				

特集 イチオシ作家 今年の100人2015 Focus on! ネクス トステージへの登竜 門「17th DOMANI ・明日」はイチオシ作 家の宝庫 DOMANI 1 入江明日香	入江明日香 談	美術*	472	「歴史」の眼で「見 つける」こと『ヘ ウレーカ』と『ヒス トリエ』	大谷 哲
平成26年、今美術教育 を考える 美術教育 に関する拡大研究 委員会開催報告 後 編	本郷 寛 田中康二郎 東良雅人 岡田京子 中島千波 船坂芳助 米林雄一 入江観生 佐藤泰貞 山本真 五十嵐芳三	連盟ニユ ース	451	『ヘウレーカ』とシ チリア透視図  ヒストリエに魅せ られて  「面白い」でいいの か?  「ああそうか」  「皮剥ぎ」が露わに するもの 岩明均 の描く「人間」の境 界	ヤマザキマ リ  池辺 葵  恩田 陸  海猫沢めろ ん  原 健一
98歳、歩み続ける「絵 画の道」シルクロ ードの画家・入江さ ん 1時間描いて1 時間眠る 目標は 100歳展[入江一子]	齋藤 智子	朝 日	9.15	岩明均論のための ノート 地球外的 な暴力性について	杉田 俊介
月刊ギャラリー創刊 25周年記念 小川英 晴のアート縦横 No. 48 青木繁の「海の 幸」を描いた家—青 木繁「海の幸」会	入江 観 吉武 研司 吉岡友次郎 小川 英晴	ギャラリ ー*	353	いまこそ語られる べき物語—映画 『寄生獣』製作秘話	山崎 貴 談 泊 貴洋 聞き手・構 成
総特集 岩明均『風 子のいる部屋』『寄 生獣』『七夕の国』 から『ヒストリエ』まで		ユリイカ	654	〈想像力の世界〉の 面白さ	染谷 将太 談 貴洋 泊 聞き手・構 成
晴れた日に、ペン をとり	岩明 均 談 齋藤 宣彦 聞き手			ミギーちゃん遊園 地へ行く	山本 さほ
イラスト・エッセ イ ある意味、最 強の…	福本 伸行			『寄生獣』によせて	施川ユウキ
心に届く人 コースター	須賀原洋行 吉田 戦車			境界線に生きる者 たち	齋藤 環、 杉田 俊介 対談
輪郭線に寄りそい、 輪郭線に笑いあう —	中田健太郎、 野田 謙介 談			無気味さの「環状 島」へ	齋藤 環
岩明均の輪郭、線 パラサイトからマ ング的人間へ	岩下 朋世			No Sex, No Futu- re 異性愛のバイ オ化・クイア化を 夢みることに ついて	小泉 義之
切片と投擲『寄 生獣』のシンボリ ズム	石岡 良治			「共存」の生命観 『寄生獣』の「功利 主義」について	八代 嘉美
芸術家と職人 岩 明均の初期短編に ついて	三輪健太郎			『寄生獣』が融合さ せたのは何か SF (として)読む岩明 均	海老原 豊
彼女は真顔で変わ って	さやわか			その画はどこから 生まれるのか メ ディアの本質のた めの岩明均論	泉 信行
「科学意識」のエ ンタテイナー『七 夕の国』について	都留 泰作			混ざること、問わ れること	高瀬 司
理由と剣客「剣 の舞」を読む	師 茂樹			岩明均作品解題	三輪健太郎



平成26年定期刊行物所載文献(近/作オ)

太陽の塔「第4の顔」 復元へ「地底の太陽」[岡本太郎]		読 売	7.31	巻頭特集 原寸で見る！現代作家の技 鉛筆による細密描写で、世界を再構築する	小川 信治	美術の窓	371
世親への問い—XIX・XX—	岡本 文一	明星大学 研究紀要	22				
現代美術の歩き方 今月の一品 岡本光博「ST #321 LIFE-line」	工藤 健志	美術の窓	370	わたしたちの教室へようこそ 小川夕星 星墨会		水墨画*	299
異聞逸聞 モノグラム美術	岡本 光博	みんぱく	438	現代水墨画作家手本集10 小川夕星 いにしえ	小川 夕星	"	307
カジュアル美術館 狐隊行 小川芋銭 茨城県近代美術館 自然への畏れ 優しく生きものコミカルに、ほのぼのと	森本 智之	東京	10.26	第27回奨学者のレポート 境界を越えて	小川 晴輝	アクリラート(別冊)	2014
コミック すしいち！ 1 小川悦司(作) 読むと握ってみたいくなる	山脇 麻生	朝 日	8.3	『小川博史画集・アークイヴ』画家の芸術観に直接触れる	廣江 泰孝	新美術新聞	1357
研究資料		美術研究		KŌGEIの可能性探る 陶芸・漆・金工、展覧会相次ぐ 枠に当てはめないで	小川 待子 増田 愛子 聞き手	朝日夕刊	1.8
華族写真同人誌『華影』考—明治末期 華族写真愛好家の活動と小川一真・ 黒田清輝との交流を巡って—	齊藤 洋一		411	巻頭特集 デッサンを極める！実践編 ④技法講座 vol.32 case.4 講師：小川満章 木炭とパステルで描く空気感をとらえるデッサン	小川 満章	美術の窓	366
黒田清輝宛小川一真書簡の翻刻と黒田清輝の写真観	田中 淳		412	第27回奨学者のレポート 潜在する感覚	小川 泰生	アクリラート(別冊)	2014
明治期の写真団体と華族—小川一真の事績からの考察—	岡塚 章子		"	RELJINSHA GALLERY 小川泰生展 「Echo in the depths “深層のこだま”」	小川 泰生 談	美術屋・百兵衛	29
黒田清輝宛 小川一真書簡 影印・翻刻・解題	"	"	"	奇想への系譜	小川 リエ	自由美術	2014
江戸博蔵めぐり 東京百花美人鏡 撮影 小川一真 人気芸妓 写真で花添え	橋本由起子	読 売	6.6	アートと世界 第2話 荻太郎先生からの贈りもの	大村 智 編集部	談 文 美術の窓	365
日々好日 琵琶湖との出会い	小川国重起	新美術新聞	1346	練馬のアトリエ村交流史 戦争を駆け抜けた芸術家たち、青春の日々を語り継ぐ [荻太郎]	中井 嘉文	日 経	10.23
巻頭特集 原寸で見る！現代作家の技 並列する無数の線が生む、力強い形	小川 功	美術の窓	371	白日会 of 精神—24人の作品と言葉から「フィレンツェ」	小木曾 誠	新美術新聞	1339
4 [読ん]で知るアート 日本のステンドグラス[小川三知]	田辺 千代	朝日夕刊		巻頭特集 原寸で見る！現代作家の技 油絵具+テンペラによる仕上げで張りのある肌の質感を描く	"	美術の窓	371
三知が吹かせたそよ風			8.6	講演 墨象家 荻野丹雪氏 「書とデザインのはざまで」を聞いて	上田 晋	書道文化	10
100年前のガラスモザイク			8.20				
あすへの話題 小川治兵衛の庭	馬淵 明子	日経夕刊	10.18	美術新人賞デビュー2014 第2回	荻野 夕奈	美術*	462

オピニオン インタビュー 認知症の親の贈り物 濃密な介護の日々 地に足をつけて 自分の生も楽しむ 記憶は途切れても輝いた時代に戻る すごくいじゃん 漫画家 岡野雄一さん	稲垣 えみ子 聞き手	朝 日	11.5			特集 観光立国ジャパン・ウィズ・デザイン 地方から世界基準を目指して アートディレクター 岡本一宣氏の取り組み	高橋 美礼	A X I S	172
特集 日本の国宝 アートのちから 現代作家の作品に見る Part.3 岡野亮介 命の輪廻	岡野 亮介	美術の窓	372			特集1 大正デカダンス デカダンス、京都の日本画[岡本神草]	上 菌 四郎	大正イマジュリイ	9
特集 水墨の美 作品を支える構図の奥義を学ぶ	岡原 大華	水 墨 画*	299			岡本太郎『日本再発見—芸術風土記—』に関する一考察—新たな「日本文化」像構築の手段と狙い—	志賀 祐紀	お茶の水女子大学 人文科学研究	10
作家自選作品集9 岡原大華 《積翠如滴図》	"	"	300			研究発表(要約) 著作者としての岡本太郎と一九五〇年代の美術関連出版	春原 史寛	近代画説	23
特集 日本の世界遺産を描く 山陽道の世界遺産 日本人の精神文化を表現する	"	"	302			岡本太郎『今日の芸術』(1954年)とその読者—美術書出版による専門家からの美術の解放	"	芸 叢	29
わたしたちの教室へ ようこそ 岡原大華 岡原大華水墨画教場	"	"	304			第67回全国大会研究発表要旨 岡本太郎と文庫・新書による美術出版—昭和三〇年前後の美術受容—	"	美術史	177
現代水墨画作家手本集8 岡原大華 秋溪図	"	"	307			足裏の記憶—思想家を旅する 第16回 岡本太郎×石垣島・竹富島(沖縄)	北川フラム	美術手帖	998
日々好日 プナの原生林が私の美意識を作った	岡部 昭	新美術新聞	1344			シンポジウム報告		早大 津会 津八一記念 博紀要*	15
新しいコレクション 岡部嶺男《青織部縄文鼎》	唐澤 昌宏	現代の眼	606			縄文と現代をつなぐもの—岡本太郎をきっかけとして	浅井 慎平 塚原 史		
[口絵図版解説][岡部嶺男]	花里 麻理	陶 説	738			ディスカッション [岡本太郎]	川尻 秋生 総合司会		
視線 岡村昭彦の写真 死ぬことと生きる ことすべて 金子隆一ほか編	北澤 憲昭	朝 日	9.7			第4の顔復元へ「太陽の塔」[岡本太郎]	石田 貴子	朝日夕刊	7.31
美術新人賞デビュー2014 第2回	岡村 翔平	美術*	462			カジュアル美術館 火焰土器 東京国立博物館 エネルギの塊 岡本太郎が見いだした芸術	森本 智之	東京	5.18
中特集 現代の心象 表現を考える 岡村泰成	ワシオ・トシヒコ	美術の窓	369			太陽の塔内部公開 16年度末に延期へ 設計や改修に時間[岡本太郎]		東京夕刊	5.23
特集 日本の国宝 アートのちから 現代作家の作品に見る Part.2 岡村泰成 「へのへのもへじ」の面白人間観察	"	"	372			美の美 土偶の1万年 中 縄文の前衛 奇想天外な姿 躍動する生 巨匠もとりこ[岡本太郎]	田村 広濟	日 経	8.10
作家自選作品集7 岡村南紅 《藤》	岡村 南紅	水 墨 画*	298			芸術と科学のあいだ 38 渦巻く縄文の美、優美に昇華[岡本太郎]	福岡 伸一	"	11.2
現代水墨画作家手本集9 岡村南紅 牡丹	"	"	307						

巻頭特集 再興院展 100年 その歩みと 次代の画家たち 肖像 画に託した師への 思い 我が師とその 作品 3 前田青郎 天才であり、勉強家 だった師の姿	大矢 紀 美術*	461	SPECIAL FEATURE 世界一受きたい！印 象派の授業 課外授 業 若者たちのア ート、印象派の熱狂を 取り戻せ！	岡崎乾二郎 文 高嶋 晋一 編集協力	"	1008	
巻頭特集 原寸で見 る！現代作家の技 ハッチングによるや わらかな肌の表現	大矢 英雄 美術の窓	371	REVIEWS 03 絵画 ＝事件はどこで起こ る？「ヴァロトン ー冷たい炎の画家」	岡崎乾二郎 評	"	1010	
特集 銅版画家25人 新時代を切り開く精 鋭たち 大矢雅章	大矢 雅章 版画芸術	165	特集 現代美術の歴 史学—戦後の日本 1 名を擧げる場所	岡崎乾二郎	美術フ ォーラム21	30	
特集 日本の国宝 アートのちから 現 代作家の作品に見る Part.3 大谷喜男 人生の哀愁	高山 淳 美術の窓	372	この人 バーミヤンの 博物館構想を発表 岡崎甚幸さん	安井 浩美	東京	2.19	
大矢良治氏、近江今 津藝術会館を開設		新美術新 聞	1356	鑄金家 岡崎雪聲に ついて	岩切信一郎	一寸 59	
SPECIAL FEATURE 一生に一度は行きたい！ 世界のアート スポット マイ・フ ェイバリット・スポ ット[大山エンリコ イサム]		美術手帖	1005	史料翻刻『昭忠碑記 録』[岡崎雪聲]	藤井 素彦	新潟市美 ・新潟市 新津美研 究紀要*	2
SPECIAL FEATURE 『かくや姫の物語』の 衝撃。 MAKING 製作現場の挑戦 背 景美術 STAFF IN TERVIEW 02 男鹿 和雄	叶 精二 聞き手・文	"	998	何時の間にか！	岡田 菊恵	女流画家 協会会報	"
平成25年度 新収蔵 品・寄贈作品の紹介 [岡鹿之助]	川谷 承子 アマリリス	114	特輯 石橋コレクシ ョン 日本近代洋画 篇 図版五 岡田三 郎助 水浴の前	松本 誠一	国 華	1425	
こころの玉手箱 画 家 小杉小二郎 3 バリエーションで出会った同志 「絵筆握り続けよう」 誓い合う[岡鹿之助]	小杉小二郎 日経夕刊	9.10	特別展「岡田三郎助 —エレガンス・オブ ・ニッポン—」記念 講演会講演録 「千 紫万紅の夢—岡田三 郎助の世界—」 高 階秀爾		佐賀県立 博物館・ 美術館調 査研究書	38	
早稲田大学図書館所 蔵 岡家旧蔵資料目 録および解題[岡落 葉]	早稲田大学 図書館特別 資料室	早稲田大 学図書館 紀要	61	わたしたちの教室へ ようこそ 岡田潤 秋桜の会		水墨画* 298	
Re view 泥は時間 を巻き戻す[岡崎乾 二郎]	沢山 遼 現代の眼	605	現代水墨画作家手本 集7 岡田潤 桃太 郎の鬼ヶ島	岡田 潤	"	307	
SPECIAL FEATURE 一生に一度は行きたい！ 世界のアート スポット	岡崎乾二郎 美術手帖	1005	アートと世界 第11 話 追憶の女流画家 たち[岡田節子]	大村 智 談 編集 部 文	美術の窓	374	
PART 1 憧れの アートスポット			太田川駅前どんでん 広場	岡田 憲久	名古屋造 形大学紀 要	20	
PART 6 アーティ ストがたどり着く 聖地 COLUMN 5 シュタイナー思想 の集大成。生きた 建築の精神に出会 う			岡田美佳 刺繍画の 世界 ステッチ日和		新美術新 聞	1360	
			純粋なる芸術 ア ール・ブリュットの世 界 岡田美佳「ハー ブの庭」	中村 政人	東京夕刊	7.23	

ロマンチズムから ヒューマニズムへ 一大東元の再評価を めぐって	山田 裕理	東京都写真 美術館 紀要	13	Tokyo Art Navigation NEWS Vol.8 NEWS 1 受賞作が生まれ た背景と、創作にお ける試み[大野修平]	杉瀬 由希	美術手帖	1000
特集 プロ&通[ツウ] の「イチオシ!」93点 この新人が、欲しい! Part 2 見逃せない 最新作も!人気の 若手作家40点 大槻 香奈	大槻 香奈 編集部・S	美 術*	467	美の美 魚との対話 下 近代日本画の冒 険 みなぎる生気生 け捕りに 自由な発 想、新境地開く[大 野麥風]	宮川 匡司	日 経	7.27
作家自選作品集9 大月紅石 《花譜》	大月 紅石	水 墨 画*	300	画材考13 混色の魅 力—それを支えるパ レット	大庭 英治	新美術新 聞	1351
作家通信 大月紅石 「画業四十周年画展」 を終えて	〃	〃	〃	特集 銅版画家25人 新時代を切り開く精 鋭たち 大場咲子	大場 咲子	版画芸術	165
花は笑顔 第一〜五 回、最終回	〃	〃	301~306	「日本のわざと美」展 余話—大場松魚さん のこと	白石 和己	県美協力 会会報	35
現代水墨画作家手本 集6 大月紅石 花 譜(二〇一四・III)	〃	〃	307	第27回奨学者のレポ ート 関係/絵画	大庭 大介	アクリラ ート(別 冊)	2014
大岡信さんの詩をス ペインで絵画に[大 築勇吏仁]	岸 桂子	毎日夕刊	1.8	連載 住むことから 考えるU-35 1 コバン住人記	大庭 早子	建築雑誌	1653
交遊抄 歳の離れた 友人[大辻清司]	畠山 直哉	日 経	10.18	あのときそれから 平凡パンチ創刊 日 本男児を変えた「バ イブル」[大橋歩]	浜田 奈美 横尾 忠則	朝日夕刊	8.23
アート 仙台空港に 陶板レリーフ 逃げ るんじゃなく立ち向 かう 大友克洋さん 原画・監修	篠原 知存	産 経	10.2	連載 住むことから 考えるU-35 6 住んでいる感	大橋 航	建築雑誌	1659
漫画家の大友克洋さ んに仏勲章	〃	毎 日	12.14	民芸の魂 職人が受 け継ぐ なお色あせ ぬ 型絵染の技 芹 沢銑介 没後30年[大 橋秀雄]	富田 律之	日 経	11.22
白日会 of 精神—24人 の作品と言葉から 「淡雪」	大友 義博	新美術新 聞	1339	日々好日 美術のア スリート	大樋 年雄	新美術新 聞	1337
特集 気高く美しく 理想の女性像 表情 の裏側にある物語性	〃	美 術*	466	抄録 第45回日展シ ンポジウム「日本 の美 今 を観る」 [大樋年朗]	日展ニュー ス委員会	日展ニュー ース	151
寄稿 「文化庁新進 芸術家海外研修を終 えて」	大成 哲	新美術新 聞	1339	作家人生—私の仕事 — 私の歩く道	大樋 年朗	〃	152
視点	〃	美術の窓		特集 プロ&通[ツウ] の「イチオシ!」 93点 この新人が、 欲しい! Part 1 手に入れるなら今 のうち!注目の最新世 代34点 大平由香里	大平由香里 丸山 勉	美 術*	467
エゴン・シーレの 窓から視る(前編)			366	日々好日 嘘と創造	大森 暁生	新美術新 聞	1356
エゴン・シーレの 椅子から視る(後 編)			367	REVIEWS 西瓜の香 り、あるいはボクの 知らないオキナワ	大森 克己	美術手帖	1000
伝統のその先へ ミ クロとマクロの視点 は時代を超える 釜 師 十六代目大西清 右衛門さん		瓜生通信	61	課外授業 美術のお 時間 26時間目 パ リ、その良き時代[大 森啓助]	安井 収蔵	美術屋・ 百兵衛	30
連載 住むことから 考えるU-35 3 東京から東北に通う ということ	大西 麻貴	建築雑誌	1655				

特集 プロ&通[ツウ]の「イチオシ!」93点 この新人が、欲しい! Part 1 手に入れるなら今のうち!注目の最新世代34点 鈴木真理子	鈴木真理子 O JUN	美術*	467	横盗[よこと]り物語—ヨコハマトリエンナーレ奮闘記1[大竹伸朗]	森村 泰昌	芸術新潮	776
「O JUN 描く児」展 意味が生まれる前を描く	大西 若人	朝日夕刊	1.15	「景」を生み出す力 大竹伸朗試論	麻生 恵子	REAR	31
O JUN展 府中市美術館「妄想の画家」深く重いテーマ	渋谷 和彦	産経	1.16	座談会 水墨の心とき技が一体となるとき—「水墨玄空」展によせて	小松 謙一、 中野 嘉之、 大竹 卓、 大竹 一騏、 島尾 新、 野地 耕一郎	美術*	470
余白から浮かび出る物語「O JUN 描く児」展	窪田 直子	日経	1.29	作家通信 新学期を迎えて	大竹 卓民	水墨画*	303
評 美術「O JUN 描く児」展 身体的反応に素直に	岸 桂子	毎日夕刊	2.12	特集 プロ&通[ツウ]の「イチオシ!」93点 この新人が、欲しい! Part 2 見逃せない最新作も!人気の若手作家40点 大竹夏紀	大竹 夏紀 田中 龍也	美術*	467
大胆な具象の世界「O JUN 描く児」展		読売夕刊	3.1	アートスクールガイド2015 なりたい職業で選ぶ 学部・学科ガイド 美術 大竹夏紀さん		美術手帖	1009
神宮美術館所蔵 神宮名品解説 漆芸 藍胎蒔薺短冊箱「浅春」[太田儔]	小山 朝子	瑞垣	229	山下裕二の今月の隠し球 Vol.117~119 大竹亮輔(峯) 平成生まれの超絶技巧(上、中、下)	山下 裕二	美術の窓	372~374
連載 EDITORS' CAFE 11 変化するまちづくりの潮流をめぐって	太田 浩史 話し手 梶橋 修、 神吉 優美、 福岡 孝則、 有岡 三恵 聞き手	建築雑誌	1664	巻頭特集 デッサンを極める!実践編 ④技法講座 vol.32 case.5 講師:大谷郁代 木炭とパステルで描く柔らかな女性像	大谷 郁代	〃	366
特集 プロ&通[ツウ]の「イチオシ!」93点 この新人が、欲しい! Part 1 手に入れるなら今のうち!注目の最新世代34点 太田侑子	太田 侑子 編集部・S	美術*	467	第二十四回秀明文化基金賞贈呈式 受賞者の紹介 大谷桃子	大谷 桃子	秀明美術	21
特集 週刊少年サンデーの時代 トキワ荘から『うる星やつら』『タッチ』『名探偵コナン』そして『マギ』『銀の匙』へ—マンガの青春は終わらない サンデーの進化と変容 大高忍『マギ』のすばらしさと「サンデーらしさ」のあいだに関係はあるのかないのか会議	飯田 一史	ユリイカ	641	鹿児島文化考 水墨画家・大谷喜郎 拝啓、水の国から		美術屋・百兵衛	28
特集 新人大図鑑 2014 未来のスター450名を一挙紹介! 評論家・ジャーナリストが選ぶ注目の新人13 大田黒衣美	能勢 陽子	美術の窓	368	大津英敏展 多摩美術大学教授退職を記念して~画学生時代から近作までの全仕事~	大津 英敏 油井 一人 聞き手	新美術新聞	1340
現代美術家 大田黒衣美「命がけの風景画」に触発され	渋谷 和彦	産経	5.29	立ちのぼる生命[いのち] 宮崎進展をみて—圧倒的な力強さと奥深さと優しさ	大津 英敏	〃	1345
				生誕200年 ポストン美術館 ミレー展 5 牛に水を飲ませる農婦、黄昏 労働者への強い共感	〃	東京夕刊	11.5

シンポジウム『戦後民主主義から生まれた職美展』	中橋 肇 司会 坂下 雅道、 阿部 正義、 井上 克己、 遠藤 昭一 パネラー	職場美術	143	特集 日本の国宝 アートのちから 現代作家の作品に見る Part.3 大木美智子 内的な肖像画	高山 淳	美術の窓	372
特集 心に染みる風景 自分だけの山の絵を描くために	遠藤 力	美術*	465	博物館で“忘れられた近代”に出会うとき [大國栢齋/大國寿郎/大國栢庭]	山崎 剛	大阪歴史博物館共同研究成果報告書	8
追悼 村岡三郎 蕎麦を食う人	遠藤 利克	REAR	31	版と色に重ねつづけた想い 大久保澄子 色彩への想い、変わっていくことの大切さを胸に	大久保澄子、 勅使河原純 対談	美術*	466
特集 教育考—暮らしと社会のエンライトメント 第3部 市民教育としての建築教育 建築する力を育てる	遠藤 幹子	建築雑誌	1657	特集 プロ&通[ツウ]の「イチオシ!」93点 この新人が、欲しい! Part.2 見逃せない最新作も! 人気の若手作家40点 大久保智睦	大久保智睦 編集部・W	〃	467
(オ)							
作家通信 澳絵と意識の変遷	及川 聡子	水墨画*	305	特集 日本の国宝 アートのちから 現代作家の作品に見る Part.3 大久保正子 不思議な力	高山 淳	美術の窓	372
特集 魅力ある線を描く ④技法講座 vol.37 日本画 柔らかな毛の質感を描き出す線	〃	美術の窓	374	特輯 明治の彫刻 図版四 大熊氏廣 大村益次郎像	田中 修二	国華	1426
埋まらぬ距離感 何も変わらぬ福島	大石 芳野	東京夕刊	4.7	特集 新人大図鑑 2014 未来のスター 450名を一挙紹介! 油彩表現の最前線 なぜいま写真表現なのか 大熊弘樹	大熊 弘樹 談	美術の窓	368
新・現代日本の作家たち アトリエ寫真 No.025 大内田敬	大内田 敬	美術*	470	「DOMANI・明日展」国立新美術館 未来を担う力作ズラリ [大栗恵]	渋沢 和彦	産経	1.9
INFORMATION MOVIE 大浦信行が挑んだ表現者としての集大成 「靖国」を巡る政治思想・死者の声に向き合うドキュメンタリー作品	小泉 明郎	美術手帖	1008	特集 プロ&通[ツウ]の「イチオシ!」93点 この新人が、欲しい! Part.2 見逃せない最新作も! 人気の若手作家40点 大坂秩加	大坂 秩加 大坂 恵一	美術*	467
ようこそ、新しい先生 大江孝明	大江 孝明	瓜生通信	62	REVIEWS 目の中の世界の在りか	大崎 晴地	美術手帖	1012
各地からの出品者の思い 感謝	大亀 清壽	日展ニュース	153	作家通信 大沢拓也 空間表現としての墨	大沢 拓也	水墨画*	300
純粋なる芸術 アール・ブリュットの世界 大川誠「makoot」	中村 政人	東京夕刊	8.13	作品研究 大下藤次郎の立つところ——〇〇年前の《穂高山の麓》を探して	梶田 倫広	現代の眼	608
ガンダム設計、個性乗せて アニメのメカデザイン40年、リアルさ追いかける	大河原邦男	日経	7.11	交遊抄 僕は書けない	大島 成己	日経	9.27
特集 日本の国宝 アートのちから 現代作家の作品に見る Part.3 大神田礼子 道程	大神田礼子	美術の窓	372	SPECIAL FEATURE バルテュス SPECIAL EDITION 日本のオタクカルチャーと少女 座談会: Mr.×町田ひらく×大嶋優木×岸田メ	さやわか 構成	美術手帖	1004
ようこそ、新しい先生 太木裕子	太木 裕子	瓜生通信	62				

平成26年定期刊行物所載文献(近/作エ)

第5回福岡アジア美術 トリエンナーレ2014 展の地下水脈を見る 「それぞれの近代」と どう向き合うか 再 びアジアと合流する ために	江上賢一郎	あいだ	217	アトリエは待ってい る 女性画家草分け 仏の拠点開放[蛭子 真理央]	南 拡大朗	東 京	11.26
栄久庵さんに伊デザ イン賞[栄久庵憲司]		読 売	7.3	賞を獲った広告写真 2013-2014~アワー ドに見る広告写真の 今~マツダ	戎 康友	COMMER- CIAL PHOTO	611
熱気球[絵獅匡]		東 京	6.26	Cry. Image Book 戎康友		" "	" "
特集 「黒」の新世紀 一若き表現者たちの リアル 枝史織		美 術*	470	思い出す本 忘れな い本 衝撃を受けたヘ ンテコな世界 ねじ 式 つげ義春(作)	蛭子 能収	朝 日	9.21
現代美術の歩き方 今月一品 越後正 志「Under tension」	鷺田めるろ	美術の窓	368	人生は夕方から楽し くなる 漫画家 蛭 子能収さん 飾らず さらけ出す 面白け ればいいや	小林 祥晃	毎日夕刊	10.17
しごと図鑑 化粧品 の容器をデザイン ボーラデザイン研究 室チーフデザイナー 江藤晴代さん 作り 手の思い伝えたい	畑中 麻里	日 経	7.19	海老原喜之助と雑誌 『セルパン』の表紙絵	岩切信一郎	一 寸	57
Tokyo Art Naviga- tion NEWS Vol. 8 NEWS 1 受賞作 が生まれた背景と、 創作における試み [衛藤文俊]	杉瀬 由希	美術手帖	1000	近年の新収蔵品から (2) 海老原喜之助 のデッサン1,005点	谷口 雄三	グリーン ルーフ	75
鹿児島文化考 百兵 衛インタビュー 俳 優・水彩画家 榎木 孝明		美術屋・ 百兵衛	28	鹿児島文化考 鹿児 島の偉大な画家たち 海老原喜之助		美術屋・ 百兵衛	28
京がたり 榎木孝明 さんの水彩画 日本 再発見 描きながら 過去へワーブ 歴史 知るほど作品に反映、 対象には困らない	田村 彰子 聞き手	毎日夕刊	1.15	乾漆による彫刻表現 の可能性-新海竹蔵 ・山本豊市の作品実 見調査を踏まえて-	江村 忠彦	多摩美術 研究	3
The World Wide Artist Vol. 2 榎倉 康二		ギャラリ ー*	355	特集 日本の国宝 アートのちから 現 代作家の作品に見る Part.3 江本智美 美的感覚	高山 淳	美術の窓	372
背後には常に彼の 思考があることが その作品の特徴	熊谷伊佐子			特集 必見!秋の注 目展133!! PICK UP 特別トーク 江里佐 代子の教えた3人の 女性作家が語る 截 金の可能性に賭ける それぞれの思い	飯沼 春子 中村 祐子 鷺尾美陽子	美 術*	469
訪問インタビュー 榎倉充代 今も榎 倉康二の空間が生 きているスペース 23℃	榎倉 充代 談			美術新人賞デビュー 2014 第2回	Eri Tsut- sumy	"	462
榎倉康二の絵画作品	熊谷伊佐子	明星大学 研究紀要	22	総特集 シャーロッ ク・ホームズ コナ ン・ドイルから 『SHERLOCK』へ 漫筆 SHERLOCK	袴沢世衣子	ユリイカ	647
ART WAVE 第49回 主体展特別企画	榎本香菜子	主体美術	95	平成26年 秋の叙勲 ・褒章・地域文化功 労者決まる 旭日双 光章 堀尾信夫氏 瑞宝中綬章 小山硬 氏、高橋彬氏、藤井 知昭氏、紫綬褒章 遠藤彰子氏		新美術新 聞	1361
司修氏 講演「イ メージの迷路」				評 建築 旧三井物 産横浜支店倉庫の解 体危機 近代史の証 言者[遠藤於菟]	五十嵐太郎	毎日夕刊	11.4
ワークショップ「筆 作り」							
日々好日 無名の画 家の美しい絵	蛭子真理央	新美術新 聞	1335				

評論の眼 内海聖史 《あたらしい水》色 彩の記憶	小金沢 智	ギャラリ ー*	351	第18回手塚治虫文化 賞 マンガ大賞	小原 篤 朝 日		
読書 木材と文明 ヨアヒム・ラートカ ウ(著) 人は森とど う付き合ってきたか	内澤 旬子	朝 日	2.23	「3月のライオン」 が受賞 高校生ブ ロ棋士の日常描く [羽海野チカ]			3.25
書庫を建てる 1万 冊の本を収める狭小 住宅プロジェクト 松原隆一郎・堀部安 嗣著 守り継ぐ 先 祖が生きた証しも	〃	〃	4.20	「3月のライオン」 羽海野チカさん 勝負の世界 生き る実感			4.29
美の履歴書 344 なぜそっぽを向くの か 「トランプ」 内 田巖	大西 若人	朝日夕刊	2.26	手塚治虫文化賞大賞 ・羽海野さん 「子 どものそばにいるマ ンガ描けたら」	〃	〃	6.3
史料紹介と研究 モ ーザー(Moser)コレ クション写真について(二) —ウィーン万国博覧会 関係写真 [内田九一]	谷 昭佳	東大画像 史料解析 センター 通信*	65	読書 名人 梅佳代 (写真・文) 日常に ひそむ楽しさとパワ ー	三浦しをん	〃	9.14
内田青虹氏、上智大 学へ絵画寄贈 「細 川ガラシャ 往く道 に光明を！」		新美術新 聞	1344	REVIEWS 爪でえぐ る身体性と、軽妙さ	梅沢 和木	美術手帖	999
昭和の名建築 再生 白金台の旧国立公衆 衛生院 港区が改修 複合施設へ[内田祥 三]	橋田 正城	朝日夕刊	10.21	話題の人 恐怖漫画 の巨匠が映画界へ進 出! 榎図かずお氏		美術の窓	373
わたしたちの教室へ ようこそ 打矢恵 徳墨友会		水 墨 画*	301	名著の衝撃 4 『わ たしは真悟』榎図か ずお著 すごすぎた 究極の人間観	呉 智英	東京夕刊	1.9
特集 日本の世界遺 産を描く 美しい自然 遺産 壮大な自然 美を描く 知床、白 神山地	打矢 恵	〃	304	榎図かずおさん 映 画「マザー」を初監督 ざわーっとした恐怖 の時代		日経夕刊	9.29
作家通信 大作にチ ャレンジして	〃	〃	〃	特集 銅版画家25人 新時代を切り開く精 鋭たち 梅田恭子	梅田 恭子	版画芸術	165
現代水墨画作家手本 集3 打矢恵 鳥海 山	〃	〃	307	特集 女と男のヌード ヌードの現在 3 梅津庸一 自裸 像の美術史	梅津 庸一	芸術新潮	776
白日会 of 精神—24人 の作品と言葉から 「花咲く季節」	内山 芳彦	新美術新 聞	1339	資料紹介 梅村豊撮 影歌舞伎写真(五)	鎌田 紗弓	無形文化 遺産研究 報告	8
作家自選作品集7 畝村石道 《神韻玄 幽》	畝村 石道	水 墨 画*	298	第6回星野真吾賞に 漆原夏樹氏		新美術新 聞	1353
現代水墨画作家手本 集4 畝村石道 清 流	〃	〃	307	明治の細密工芸 驚 異の超絶技巧! 明 治工芸の匠たち 海 野勝珉 多彩な金工 技法を駆使した名人	黒川 廣子	太陽(別冊)	217
所蔵品紹介239 「和」 畝村直久		石川県立 美術館だ より	363	本音のコラム 不世 出の版画家[海野光 弘]	斎藤美奈子	東 京	9.24
特集 日本の国宝 アートのちから 現 代作家の作品に見る Part.3 宇野満寿美 風景が歌う	高山 淳	美術の窓	372	(エ)			
				私の100パーセント を、これからもずつ と。[Amy(エイミー)]	立古 和智	女子美	179
				紙芝居がいま、熱い 「究極のアナログ」若 い作家が創作・上演 [AC部]	多田 明	日経夕刊	12.9



平成26年定期刊行物所載文献(近/作ウ)

操上和美・上田義彦 が選ぶTAPA2014が 決定	COMMER- CIAL PHOTO	611			建築、意匠越えて再 評価 ヴォーリス没 後50周年 健康に配 慮にじむ[ウィリア ム・メレル・ヴォー リス]	日 経	11.15
現代いけばなの最前 線 花いけ LIVIZM 花道家 上野雄次の 花いけ ライブ・パ フォーマンス	鈴木 敏春	R E A R	32		特集 プロ&通[ツ ウ]の「イチオシ!」 93点 この新人が、 欲しい! Part 2 見逃せない最新作 も!人気の若手作家 40点 鶴飼義丈	鶴飼 義丈 編集部・S	美 術* 467
作家との対話 植葉 香澄	原田 平作	美術フォ ーラム21	30				
表紙解説 裏 植葉 香澄《龍山盆栽鉢》	"	"	"				
日々好日 脈脈と響 く声	上松 和夫	新美術新 聞	1350		特集 乱反射する田 名網敬一 リアル 導師の描く、圧倒的 なる恍惚世界	宇川 直宏	瓜生通信 63
舞台裏 テレビ東京 系「池上彰の戦争を 考えるSP—悲劇が 生み出した言葉—」 の模型デザイナー 植松淳さん	大木 隆士	読売夕刊	8.11		SPECIAL FEATURE アンディ・ウォー ホルのABC YOUTH CULTURE 宇川直 宏が語る!!!!!! 「ウォーホルは、イ ーディを人差し指で リツイートしただけ だった」論	安倍 謙一 構成	美術手帖 1000
新春 インタビュー 二人の日本画家に聞 く[上村淳之]		新美術新 聞	1332				
あの人に迫る 上村 淳之 日本画家 自然 を凝視して 胸中 の世界描く	増村 光俊	東 京	9.14		SPECIAL FEATURE ポップアート PART 4 グローバル・ポ ップ CASE STUDY 宇川直宏が語る!! !!!!!![続編] 「脈打つ背徳=AV 監 督・安達かおるこそ、 現代日本のポップ・ アーティストである」 論	宇川 直宏	" 1002
上村松篁 花鳥のこ ころ 後編		美 術*	466			宇川 直宏	" 1002
四代目・純一郎氏 が語る松篁 「内 なる革命」が導いた、 金・銀潜紙での制作	上村純一郎				シリーズ・具体美術 の作家7 浮田要三		ギャラリー 一* 349
近代日本の「花鳥 画」—松篁が遺した もの	上村純一郎 談				すべては『きりん』 から始まっている	編 集 部	
名宝細見 焔 上村 松園筆 女の情念、 曲線が織りなす 東 京国立博物館から	松嶋 雅人	朝 日	5.3		浮田要三は常に子 どもの神髄を知る	金川富紀子	
上村松篁 花鳥のこ ころ 後編		美 術*	466		アトリエUKITAは どんなところだ	森川 敏子	
四代目・純一郎氏 が語る松篁 「内 なる革命」が導いた、 金・銀潜紙での制作	上村純一郎				所蔵品から 宇佐美 圭司《溶解・身体No. 3》	神山 亮子	府中市美 術館だより 39
近代日本の「花鳥 画」—松篁が遺した もの	上村純一郎 談				特集 心に染みる風 景 空海への道 牛 尾武が残したもの	篠原 弘	美 術* 465
桃李下の大道—上村 松篁氏についての私 的ノート	田原由紀雄	視 る	472		戦後の巨匠 23 牛 島憲之・自画像・道 一筋	林 紀一郎	美術屋・ 百兵衛 29
上村松篁が描いたも の	飯尾由貴子	"	"		新収蔵品から 《筑 摩県博覧会》[歌川広 重(三代)]	林 誠	長野県立 歴史館た より 81
神戸女学院の建築 [ウィリアム・メレ ル・ヴォーリス]	山形 政昭	文 化 財*	611		江戸博蔵めぐり 銀 座彩る老舗 壮麗な 姿 東京名所図会 尾張町煉化石 歌川 広重(3代)	小山 周子	読 売 4.18

入門講座 戦後70年と日本の絵本 4 作り手と読者、双方向に 奔放な発想、「アート」に発展[岩井俊雄]	石井 光恵	日経夕刊	12.25	21世紀のアーティスト 岩田俊彦		ギャラリー*	345
中特集 もっとと墨を知らう 現代作家の墨を用いた作品と使用例[岩泉慧]	立島 惠	水墨画*	305	REIJINSHA GALLERY 「思考の層—作家は、何に執着するのか。」	岩田 俊彦 柳 貴美 傍嶋 崇克 湯浅 俊	美術屋・百兵衛	29
マンガで拝見 「日本美術まんが 国宝トゥナイト」いわきりなおとさん		東京夕刊	11.29	中特集 現代の心象表現を考える 岩永勝彦	高山 淳	美術の窓	369
特集 イチオシ作家 今年の100人2015 Focus on! ネクストステージへの登竜門 「17th DOMANI・明日」はイチオシ作家の宝庫 DOMANI 3 岩崎貴宏	岩崎 貴宏	美術*	472	特集 心に染みる風景 湖国旭日について	岩波 昭彦	美術*	465
ちひろを訪ねる旅52〜55[いわさきちひろ]	竹迫 祐子	安曇野ちひろ美術館 美術館だより	77〜80	神宮美術館所蔵 神宮名品解説 手漉和紙 越前生漉奉書 [岩野市兵衛]	中村 潔	瑞垣	228
家族のこと話そう 絵本作家 松本春野さん ちひろの心受け継ぐ使命	吉田 瑠里	東京	4.27	特集 「黒」の新世紀—若き表現者たちのリアル 岩淵華林		美術*	470
いわさきちひろ 最も古い原画か 太平洋戦争中 兵士慰問郵便に 日本青年館で発見		毎日夕刊	9.2	この人に注目 岩間賢 蔵風得水/月出創生計画/月出工舎		美術手帖	1003
先人を訪ねて いわさきちひろ (練馬区) 童画に込めた平和の願い	越村 格	読売	3.11	在朝鮮日本人漫画家の活動について—岩本正二を中心に	高 晟埜	新潟県立近代美術館研究紀要	13
作家通信 岩瀬玉泉水墨画展「私の富士山・私の掛軸」	岩瀬 玉泉	水墨画*	299	写真魂 インベカマリ★「やっぱ月帰るわ、私。」 紛れ込むリアルな痛々しさ	(存)	産経	2.13
わたしたちの教室へようこそ 岩瀬玉泉水墨画会		〃	300		(ウ)		
連載 住むことから考えるU-35 12 ツタンカーメンの種子	岩瀬 諒子	建築雑誌	1665	中特集 現代の心象表現を考える 植地貞夫	磯部 靖	美術の窓	369
「ハイレッド・センター:『直接行動』の軌跡」展(名古屋市美術館/松濤美術館)に われわれが求めたのは「混沌」だった (ゼロ次元)の60年代	岩田 信市	あいだ	215	うさぶろうさん! [上田宇三郎]	吉田 暁子	エスプラナード	174
連載 粋狂花盗人 5〜12	岩田 荘平	美術*	461〜468	純粋なる芸術 アール・ブリュットの世界 上田海登「オ・タ・カ・ラ」	中村 政人	東京夕刊	4.16
スケッチブックに見る岩田藤七の行動範囲	斎藤 晴子	町田市立博物館年報/紀要	2012年度	巻頭特集 デッサンを極める! 実践編 ④技法講座 vol.32 case.1 講師:上田耕造 バステルと墨の線描による量感あふれる女性美	上田 耕造	美術の窓	366
				美の美 日本の家族写真 上 視線のぬくもり映し出す 共に過ごした時間を凝縮 [植田正治]	干場 達矢	日経	9.28
				歴史資料課の窓から 維新前民政資料 園部藩主参勤交代行列図 [上田正延]	大塚 活美	京都府立総合資料館だより	180
				皆川明×上田義彦 対談 風景としての服、結晶としての写真	大城 譲司	A X I S	172

特集 プロ&通〔ツウ〕の「イチオシ！」93点 この新人が、欲しい！ Part 3 無名の新人からスターダムへ。美術新人賞「デビュー」受賞&入選作家19点 荻野夕奈	荻野立島 夕奈恵	〃	467	巻頭特集 デッサンを極める！実践編 ④技法講座 vol. 32 case. 6 講師：奥谷太一 鉛筆で描く静物デッサン	奥谷 太一	美術の窓	366
特輯 明治の彫刻 図版八 荻原守衛 文覚	寺地 亜衣	国 華	1426	第82回 独立展 奥谷博氏に聞く 自由と平等の気風とともに学び、高みを目指す	奥谷 博	新美術新聞	1357
礫山研究 荻原守衛のイタリヤ・エジプト旅行 2 ―フィレンツェ篇―	武井 敏	礫山美術館報	34	巻頭特集 原寸で見る！現代作家の技 陰影描写ではなく自然の実体を把握	〃	美術の窓	371
SPECIAL FEATURE 『かぐや姫の物語』の衝撃。REPORT 宮崎駿のアニメーション表現を徹底解剖！『風立ちぬ』[奥井敦]	野崎聞き手・透文	美術手帖	998	特集 日本の国宝 アートのちから 現代作家の作品に見る Part. 1 奥谷博 地球という星の謎	高山 淳	〃	372
展覧会ピックアップ 隗(かい)展	奥田 明	職場美術	142	神宮美術館所蔵 神宮名品解説 洋画 満の儿〔ひと〕[奥谷博]	中村 潔 瑞 垣		227
明けゆく平和―奥田小由女展―個展に向けた思い、日展理事長就任について聞く 清潔感ある透明な「改組新日展」でありたい		新美術新聞	1353	巻頭特集 再興院展 100年 その歩みと次代の画家たち 肖像画に託した師への思い 我が師とその作品 6 奥村土牛 「絵は人なり」という教えを胸に	西田 俊英	美術*	461
「改組 新 第1回日展」開幕を前に平成26年度各科審査を終えて―新生日展の改革と今後 公益社団法人日展 奥田小由女・理事長、土屋禮一・副理事長/事務局長に聞く		〃	1359	画材考12 京都で描くこと―職人の技に支えられて	奥村 美佳	新美術新聞	1348
座談会「改組 新 第一回日展審査を終えて―明日への期待―」	奥田小由女、土屋禮一、藤森兼明、福田山本富田宮田杭迫市澤司会	日展ニュース	155	小5 画家 こびない似顔絵 福岡の「モンドくん」世界で注目 しお、染みも容赦なく 東京でも実演人気[奥村門土]		東京夕刊	5. 12
神宮美術館所蔵 神宮名品解説 人形朝露[奥田小由女]	本多 久子	瑞 垣	228	月刊ギャラリー創刊 25周年記念 小川英晴のアート縦横 No. 45 芸術と科学のはざままで無心に描く	奥山 小川 対談	民枝、英晴、ギャラリー*	350
奥田修一氏、「北海道水石庵」を開庵 富良野・北海道風景画館内に		新美術新聞	1344	私が行く道 「今日より明日、幸せでいて欲しい」 奥山理子	奥山 理子	瓜生通信	63
道具への視線―ハイデガー的道具観と、例えば明漆会―[奥田達朗]	丸田 健	大阪大学大学院人間科学研究科紀要	40	巻頭特集 再興院展 100年 その歩みと次代の画家たち 肖像画に託した師への思い 我が師とその作品 2 安田暇彦と小倉遊亀 画塾で出会った2人の師	郷倉 和子	美術*	461
日々好日 飛鳥仏への想い	奥田 真澄	新美術新聞	1340	若き大観 資金求める手紙 外遊計画 香川の実業家に[尾崎秀南]		読 売	9. 26
学芸員の視点 奥田善巳の絵画について	出原 均	ART RAMBLE	42				

平成26年定期刊行物所載文献(近/作オ)

技法の現場から25 修復家から見た現代 作家への提言6 修復 家と美術家の対談	歌田 眞介 小作 青史	連盟ニュー ース	452	特集 魅力ある線を描 く(◎技法講座 vol. 37 日本画 繊細な 線の集積が生む濃密 な空気感	美術の窓	374	
写真集 昭和の肖像 (町)[小沢昭一]	原田 マハ	朝 日	2.9	落合芳幾画「春色今 様三十六会席」の画 中画考—酒宴をいろ どる琳派の美	久保佐知恵	サントリ ー美術館 研究紀要	2
特集 日本の国宝 アートのちから 現 代作家の作品に見る Part.3 小沢一 素 材と構想	小沢 一	美術の窓	372	收藏品から《蘇る 山麓・大地》鬼塚満 壽彦	村上 由美	世田谷美 術館だより	94
制作ノート 空地の 神秘性	小澤 啓	武蔵野美 術大学研 究紀要	44	『NEW TEXT』 小野 啓著	日 経		2.23
コミック あとかた の街 1 おざわゆ き(作) 名古屋大空 襲を少女の視点で	山脇 麻生	朝 日	6.22	版をめぐる秋[小野 耕石]	古川 文子	岡山県立 美術館ニ ューズ	106
土曜訪問 戦争と今 は地続き 母の空襲 体験を作品化 おざ わゆきさん	出田 阿生	東京夕刊	12.20	特集 銅版画画家25人 新時代を切り開く精 鋭たち 小野修平	小野 修平	版画芸術	165
日々好日 絵の風景 を訪れて	押元 一敏	新美術新 聞	1357	自作を語る 小野清 三	小野 清三	自由美術	2014
特集 銅版画画家25人 新時代を切り開く精 鋭たち 尾関立子	尾関 立子	版画芸術	165	二つの光の重なる ところ[小野環]		尾道市立 大学芸術 文化学部 紀要	13
美術新人賞デビュー 2014 第2回	遅野井梨絵	美術*	462	特集 心に染みる風 景「旅すれば、風の 形がみえてくる…」 小野竹喬の(奥の細 道)と池田遥郎の山 頭火に想う	勅使河原純	美術*	465
第68回毎日映画コン クール 選考経過と 講評 大藤信郎賞 「海に落ちた月の話」 [織田明]	山口 康男	毎 日	2.1	特集 日本の国宝 アートのちから 現 代作家の作品に見る Part.3 小野月世 光と影	高山 淳	美術の窓	372
第68回 毎日映コン の顔 4 大藤信郎 賞 織田明監督 海 に落ちた月の話 芸 術の神にささげる	鈴木 隆	毎日夕刊	2.25	第27回奨学者のレポ ート 静かな場所	小野有美子	アクリラ ート(別 冊)	2014
第六十回日本伝統工 芸展入選作品	織田 阿奴 荒川 智 石山 哲也 神崎 秀明美術 松田 和子	21		小野有美子 加藤由紀 菅野静香 志世都りも 永原トミヒ ロ 沼田 久雪 村上 紘一 Yogyami	美術屋・ 百兵衛	31	
《資料紹介》野村得 庵の大正四年の写生 旅行—小田雨蛙筆『漫 遊絵日記 はつなり』 を手がかりに—	松尾 敦子	野村美術 館研究紀 要	23	RELJINSHA GAL- LERY FACE 展2013 -2014 選抜作家小 品展 VOL.1			
現代作家の視線09 小田薫		ギャラリー 一*	356	人々の信念 結集す る力 アートのエネ ルギー—信じる アー ティスト オノ・ヨ ーコさん	吉田 俊宏 聞き手	日経夕刊	8.13
展覧会ピックアップ 第43回くれよん展	小田切まり 子	職場美術	143	洋画家 オバガフチ タマダ		美術屋・ 百兵衛	29
巻頭特集 見て楽しむ、 描いて楽しむ風景画 ◎技法講座 vol. 34 インタビュー 小田 野尚之 物語を喚起 する風景		美術の窓	369	もっとも遠い日本の、 いまだ観ぬ美術へ[小 圃千浦]	高嶋雄一郎	岡山県立 美術館ニ ューズ	105
作家通信 水墨画の 普遍的なテーマを探 して	越智波留香	水墨画*	305	存在の美学 第三回 伊達市噴火湾文化研 究所同人展	野田 弘志 永山 優子 小尾 修	新美術新 聞	1342

巻頭特集 原寸で見 る!現代作家の技 油絵具を木材の質に 「化けさせる」	小尾 修	美術の窓	371	郭徳俊の絵画につい て「郭徳俊 ニコ ッとシェー 1960年 代絵画を中心に」に 寄せて	安来 正博	国立国際 美術館ニ ュース	200
平成26年 秋の叙勲 ・褒章・地域文化功 労者決まる 旭日双 光章 堀尾信夫氏 瑞宝中綬章 小山硬 氏、高橋彬氏、藤井 知昭氏、紫綬褒章 遠藤彰子氏		新美術新 聞	1361	時代証言への独歩 郭徳俊の多面性	郭 徳俊 建島 哲	" "	201 "
戦中から戦後へ作家 をたどる 19 小山 田二郎(上、下)	笹木 繁男	美術運動 史研究会 ニュース	145、146	面材考15 多機能な 道具—リュック—	加来 万周	新美術新 聞	1356
戦中から戦後へ作家 をたどる 19 小山 田二郎(上、下)	笹木 繁男	美術運動 史研究会 ニュース	145、146	特集 日本の国宝 アートのちから 現 代作家の作品に見る Part.2 特別対談 吉岡正人×笈本生 同時代の画家たちが 語る、これからの絵 画	一井 建二 司会	美術の窓	372
展覧会レビュー part 1 三つの視 点 野口哲哉展—野 口哲哉の武者分類図 鑑— 歴史画家の視 点 正確さによる驚 きが時空を超越する	折井 宏光	美術*	464	本づくし「開わり の中の身体性」『リ ハビリの夜』熊谷晋 一郎著	笈 康明	A X I S	168
母の介護をアートに 折元立身流 力強い リアルさ写す	窪田 直子	日経夕刊	11.17	美の美 日本の家族 写真 下 帰らぬ人、 ありし日の記憶 喪 失を越えて生きる力 に【影山光洋】	干場 達矢	日 経	10.12
装幀・近代日本文学 を包む—判型・装幀 表現(五葉・非水・ 雪岱・劉生・孝四郎) [恩地孝四郎]	岩切信一郎	一寸	58	特集 心に染みる風 景 頬を伝う風の、 色や匂いを	果醐季乃子	美術*	465
「月映」とは何か?— 100年目に解きほぐ す試み[恩地孝四郎]	熊田 司	和歌山県 立近代美 術館ニ ュース	81	加古里子×辻惟雄 50年ぶりに語る、セ ツルメントの日々		芸術新潮	776
(カ)				あの人に迫る かこ さとし 絵本作家 未来を開く子に僕の 本は応援歌[加古里 子]	古谷 祥子 インタビュー 一	東 京	2.23
亡夫の絵に励まされ 宮城の61歳 日本舞 踊を再び【貝廣】	道下 寛子	毎日夕刊	4.12	展覧会レビュー part 1 三つの視 点 洋画家たちの青 春—白馬会から光風 会へ 画家の視点 作家たちの強い意志、 各々の生きた時代	笠井 誠一	美術*	465
特集1 大正デカダ ンス[甲斐庄楠音]		大正イマ ジュリイ	9	美術新人賞デビュー 2014 第2回	笠井 遥	"	462
デカダンス、京都 の日本画	上菌 四郎			美の美 温泉と絵画 下 近代化が生んだ 旅への夢 失われた 風物 今に伝える[笠 松紫浪]	窪田 直子	日 経	11.16
大正デカダンス— 画家たちの諸相—	瀬尾 典昭			特集 イチオシ作家 今年の100人2015 Focus on! ネクス トステージへの登竜 門 「17th DOMANI ・明日」はイチオシ作 家の宝庫 DOMANI 2 梶浦聖子	梶浦 聖子	美術*	472
空間の探索者 加賀 谷武 第九~十三回、 最終回	三田 晴夫	ギャラリ ー*	345~350	作家通信 日常/オ フレコ展「夜居」制作 ノート	梶岡 俊幸	水墨画*	301
特集 日本の国宝 アートのちから 現 代作家の作品に見る Part.3 垣内宣子 永遠化された時間	刃刀 知子	美術の窓	372				
柿沼康二 書の道 “ばーっ”開かれた 表現メディアとして の可能性	秋元 雄史	書道界	290				
模倣究め 自由な美 書家・柿沼康二の挑 戦	富田 律之	日経夕刊	1.6				

平成26年定期刊行物所載文献(近/作カ)

特集 「黒」の新世紀 一若き表現者たちの リアル 梶岡俊幸		美 術*	470	宮崎 幹子	奈良国立 博物館だ より	91
JPEG 鍛冶谷直記著		日 経	1.19			
資料紹介 榎村白圭 (萩)	大森 潤也	市民と博 物館	112			
コミック 健康で文 化的な最低限度の生 活 1 柏木ハルコ (作) ケースワーカー がみる社会	山脇 麻生	朝 日	9.7	松尾 敏男	美 術*	461
ふたたび、《位相― 大地》をめぐって(前 編)[柏原えつとむ]	G.U.	ソ カ ロ	69	谷口真佐子 インタビュー ー・文	A X I S	168
日々好日 市川先生 のこと	柏本 龍太	新美術新 聞	1358	遠藤彰子展 VIEW POINT	甲田 洋二 勝井 三雄	新美術新 聞 1333
新収資料紹介 春日 野八千代コレクション	太壽堂素子	阪急文化	6	1964 東京五輪 50 年 東京五輪発ピク トグラム 新時代の 「絵文字」模索中[勝 井三雄]	沢田 一朗	東京夕刊 10.8
純粋なる芸術 アー ル・ブリュットの世 界 カズ・スズキ 「滴る魂」	中村 政人	東京夕刊	10.15	表紙の作品 香月泰 男《裏山雪》	(H)	潮 流 118
巻頭特集 再興院展 100年 その歩みと 次代の画家たち 肖 像画に託した師への 思い 我が師とその 作品 7 片岡球子 “面構”を通じて人生 を見つめた師	松村 公嗣	美 術*	461	特集 シベリア抑留 とは何だったのか? 香月泰男とシベリア ・シリーズ	萬屋 健司	歴史地理 教育 823
アートと世界	大村 智 談 編集部 文	美術の窓		仙台藩刀匠考(22)仙 台刀工「淀川重利」及 び「月山重宗」の遺作 との遭遇	佐藤 一典	刀剣美術 685
第9話 片岡球子 さんの思い出			372	北斎門人 葛飾北俊 について	根岸 美佳	北斎研究 53
第11話 追憶の女 流画家たち[片岡 球子]			374	白日会 of 精神―24人 の作品と言葉から 「楓」	勝野 眞言	新美術新 聞 1339
寂聴さんの走馬灯モ ノ語り 第8回 片 岡球子「赤富士」(京 都・寂庵)	瀬戸内寂聴	目 の 眼	453	版画家・勝平得之と ブルーノ・タウト	小笠原 光	国華清話 会会報 23
駅に壁画 潤う街 陶板やステンドグラス、 設置運動ついに 500点達成[片岡球子]	滝 久雄	日 経	4.22	美術新人賞デビュー 2014 第2回	勝俣 喜一	美 術* 462
美の美 片岡球子 火の山のごとく 下 自然の写生常に体当 たり 躍動する色 日本画に革新	窪田 直子	"	7.6	特集 ビルディング ・エンヴェロープ エンヴェロープデザ インの現在地―ウチ ・ソト・ヒトのイン ターフェースとして	井上 隆、 小嶋 一浩、 清家 剛 話し手 佐々木 仁、 勝矢 武之、 近本 智行 聞き手	建築雑誌 1660
夢は明日ひらく 日 帰り写生会「再び中 井へ」	片岡 利朗	職場美術	141	連載 海図の切れ端 ―現代建築批評再考 1 『透明性―虚と 実』コーリン・ロウ +ロバート・スラッ キー(『マニエリスム と近代建築』伊東豊 雄+松永安光訳 所 収)	勝矢 武之	" "
1日デッサン会 バ イオリンの音を聴き ながら	"	"	142	蟲たちのカーニヴァ ル―桂ゆきとミロを めぐって―	関 直子	東京都現 代美術館 年報・研 究紀要 16
日帰り写生会 “君 (職美)といつまで も” 醬油醸造の街 野田へ	"	"	143			

修士論文概要 桂ゆきとコラボージューその成立と着想源について	渡邊 真理	早稲田大学大学院文学研究科紀要	59	特集 日本の国宝 アートのちから 現代作家の作品に見る Part.3 加藤良子 豊穰の神	高山 淳	美術の窓	372
ART TOPICS 加藤泉、パリを魅了		日 経	7.10	鬼才の画人 谷中安規展 下《内田百閒著「冥途」表紙》ユーモアに潜む恐怖	金井田英津子	東京夕刊	10.16
巻頭特集 原寸で見る!現代作家の技物と物のあいだにある空間を整え、モチーフの存在を際立たせる	加藤 勝久 談	美術の窓	371	巻頭特集 はずむ色彩 配色・混色 (秘)技法講座 vol.35 技法講座7 講師:金丸悠児 色鮮やかなマテエールに仕込む	金丸 悠児	美術の窓	370
対談 現代陶芸の在り方—古典と現代を繋ぎ、未来を創造する—	加藤 清之 話し手 森 孝一 聞き手	陶 説	741	シリーズ・具体美術の作家		ギャラリー	
東京国立博物館「特集陳列 人間国宝の現在[いま]」作家インタビューより9 加藤孝造 重要無形文化財「瀬戸黒」保持者	横山 梓	"	731	10 田中敦子 伊藤加奈子さんを訪ねて 金山明、田中敦子が拠点とした大阪・妙法寺 共に歩んだアーティストの出発点・到達点(前編)	編 集 部		352
こころの玉手箱 陶芸家 加藤孝造 1	加藤 孝造	日経夕刊	12.8~12	11 金山明 金山明一吉原治良との隔たりを自覚した具体作家—	加藤 瑞徳		353
こころの玉手箱 陶芸家 加藤孝造 2 加藤幸兵衛先生の筆書き「考陶房」 見守られ 定めた陶芸の道	"	"	12.9	11 金山明 伊藤加奈子さんを訪ねて 金山明、田中敦子が拠点とした大阪・妙法寺 共に歩んだアーティストの出発点・到達点(後編)	編 集 部		"
寄り道シネマ いま、この映画が観たい! [加藤翼]		美術の窓	375	洋画家たちの青春 白馬会から光風会へ 中 岡田三郎助 縫いとり 繊細さと気品満ちる	金山 桂子	東京夕刊	4.3
館蔵資料紹介 日本画「古い壺」[加藤東一]		岐阜市歴史博物館 博物館だより	86	金山平三(1883-1964) 《日清役平壤戦》について	飯尾由貴子	兵庫県立美術館研究紀要	8
陶磁が結ぶ出会いと「縁」—先達三師匠の思い出—[加藤土師萌]	井出 昭一	陶 説	737	急逝の画家 瓜南直子 悠久の神話的世界を渴望	盛田 隆二	東京夕刊	7.9
特集 日本の国宝 アートのちから 現代作家の作品に見る Part.3 加藤瑞恵 奥深い陰翳とロマン	中野 中	美術の窓	372	SPECIAL FEATURE 中原浩大 自己模倣アーティストが語る 中原浩大 金氏徹平 巨大な謎	金氏 徹平	美術手帖	998
特集 プロ&通(ツウ)の「イチオシ!」93点 この新人が、欲しい! Part 1 手に入れるなら今のうち!注目の最新世代34点 加藤由紀	加藤 由紀 編集部・S	美 術*	467	現代美術の歩き方 異論反論・現代美術 ジャパニーズ・コンテンポラリー・アート@シンガポール[金氏徹平]		美術の窓	366
RELJINSHA GAL- LERY FACE 展2013-2014 選抜作家小品展 VOL.1	小野有美子 加藤由紀 菅野静香も志世都りも永原トミヒロ 沼田久雪 村上 紘一 Yogyami	美術屋・百兵衛	31				

特集 プロ&通[ソウ]の「イチオシ!」93点 この新人が、欲しい! Part 1 手に入れるなら今のうち! 注目の最新世代34点 金子英	金子 英 美 術*	467	木彫りの大鵬 銅像の原型お披露目[鎌田俊夫]	日経夕刊	4.22	
中特集 現代の心象表現を考える 金子紀久雄	金子紀久雄	美術の窓	369	爽友記 辰野登恵子さんを悼む 米の幸せな記憶[鎌谷伸一]	柴田 敏雄 日 経	10.17
特集1 目の眼的六古窯の旅 備前の里を訪ねて 備前焼の歴史と未来を語る座談会 温故知新・変革期の備前焼に新しい波をおこすには	藤原 和 金重 晃介 臼井 洋輔 藤原喜久代 木村 英昭 渡邊 琢磨 白洲 信哉	目 の 眼	458	練馬のアトリエ村交流史 戦争を駆け抜けた芸術家たち、青春の日々を語り継ぐ [上崎順一郎]	中井 嘉文	10.23
展覧会ピックアップ 中井典子作品展 一 悠悠閑閑一	金谷 洋枝	職場美術	141	特集 週刊少年サンデーの時代 トキワ荘から『うる星やつら』『タッチ』『名探偵コナン』そして『マンガ銀の匙』へーマンガの青春は終わらない 鮮烈! 清新!! 魅力溢れるイメージ 上條淳士: エイティーズ・コンクレート	天野 昌直 ユリイカ	641
メモント・モリ コンセプト(木彫)	金巻 芳俊	多摩美術大学研究紀要	28	巻頭特集 はずむ色彩 配色・混色 ④ 技法講座 vol.35 技法講座5 講師: 上條喜美子 自然の旬な配色を生かした表現	上條喜美子 美術の窓	370
博物館で“忘れられた近代”に出会うとき[加納夏雄]	山崎 剛	大阪歴史博物館共同研究成果報告書	8	ガザレポート	上條 陽子 連盟ニュース	
明治の細密工芸 驚異の超絶技巧! 明治工芸の匠たち 加納夏雄 写絵的な彫金を得意とした名工	原田 一敏	太陽(別冊)	217	1 パレスチナでの絵画指導 絵は「世界共通言語」		450
芸術と科学のあいだ 21 円銀の龍、時代の奔流と対峙[加納夏雄]	福岡 伸一	日 経	7.6	2 ガザの画家		451
第67回全国大会研究発表要旨 狩野芳崖筆「仁王捉鬼図」の主題一黎明期の美術展覧会における画題の模索一	中谷 有里	美術史	177	4月号(平成26年)第142回誌上コンクール臨画手本 上村篁月「春の風」	水 墨 画*	300
作品 赫奏 瑠璃地金欄手松竹梅間取食籠	叶 道夫	京都市立芸術大学美術学部研究紀要	58	作家通信 輝く子どもの目に	上村 篁月	306
画材考7 目の前にあること	樺山 祐和	新美術新聞	1334	現代水墨画作家手本集11 上村篁月 少女	上村 篁月	307
会津型 庶民生活に彩り 一度途絶えた鳥や緋模様の型紙染め技術、復興へ30年	冠木 昭子	東京夕刊	10.16	レポート墨 OASIS 一描き手を支える裏方の存在一[神山玄]		298
明治時代における簗木清方の作品制作一浮世絵受容の観点から一	新井 美那	美学論究	29	第27回奨学者のレポート 軌跡/残像	上脇田直子 アクリラート(別冊)	2014
美博なう 巨匠が描いたすごろく 鎌倉市簗木清方記念館		朝日夕刊	1.8	時に抗いし者たち一私の小菩薩峠(15) [亀井茲明]	大谷 芳久	一 寸 59
純粋なる芸術 アール・ブリュットの世界 鎌江一美「ひと」	中村 政人	東京夕刊	3.12	作家通信 从会とわたし	亀井三千代 水 墨 画*	301
				美術新人賞デビュー 2014 第2回	亀岡 里美 美 術*	462



特集 プロ&通[ツウ]の「イチオシ!」93点 この新人が、欲しい! Part 3 無名の新人からスターダムへ。美術新人賞「デビュー」受賞&入選作家19点 亀岡里美	亀岡 里美 編集部・1	〃	467	美術団体レーダー 100回展へ向かって の新たな決意 第91 回春陽展 春陽会賞 受賞者 唐沢弥生(絵 画部門)	ギャラリー 一*	349
亀倉雄策のニコン関 連作品・資料につい て(調査報告)	今井 有	新潟県立 近代美術 館研究紀 要	13	河井寛次郎の創作に おける「生命」の循環 :技術観と「生命思 想」の観点から	宮川 智美 文化資源 学	12
こころの玉手箱 グ ラフィックデザイナー 永井一正 4 亀倉雄策さんの東京 五輪ポスター 名作 に興奮、目からウロ コ	永井 一正	日経夕刊	6.5	巨匠に学ぶ水墨画の わざ『日本画実習 帖』の世界 第二回 川合玉堂の瀧	村田 隆志 水墨画*	302
日野原重明のアート で生き生き 第百十 六回 神戸と画家[亀 高文子]	日野原重明	美術*	461	大特集 ほんとうは 教えたくない バリ の小さな美術館	川内 倫子 芸術新潮	773
月刊ギャラリー創刊 25周年記念 小川英 晴のアート縦横 No. 46 美の王道は何処 にあるのか 前編[鴨 居玲]	長谷川智恵 子、 小川 英晴 対談	ギャラリ 一*	351	「天窓からの光、 こちんまりしたス ペースが心地よい」 アンリ・カルティ エ=ブレソン財 団		
Essey 1 彼谷芳水 一創造のあゆみ	宝田 陽子	PATIO	30	「ワンちゃんに誘 われて、優雅な気 分で庭をお散歩」 メゾン・ジャン・ コクトー		
香山小鳥 ゆめの日 のかげ 拾遺	井上 芳子	和歌山県 立近代美 術館ニュ ース	77	建築と美術館13 作 家を触発する	川北 英 美連協ニ ュース	122
続水墨画の風景	島尾 新 紫 珠	水墨画*		制作ノート 混合技 法	川口起美雄 武蔵野美 術大学研 究紀要	44
第十回 加山又造 のオリジナリティ			298	特集 震災とミュー ジウム アーティス ト・インタビュー 河口龍夫 芸術家の 矜持 自身に課した 自由	増田 千恵 R E A R	31
第十一回 たらし 込みについて[加 山又造]			299	美術新人賞デビュー 2014 第2回	川崎 愛子 美術*	462
特集 今あらためて 巨匠に学ぶデッサン の技 日本における 裸婦表現 洋画家・ 安井曾太郎と日本画 家・加山又造の場合		美術の窓	364	作品に「発明」追い求 める デザインに問 題解決の力あり 工 業デザイナー 川崎 和男さん	中野 稔 聞き手 日経夕刊	8.20
茶話マンガ 人生も 笑いのめす境地[唐 沢なをき]	伊藤 剛	朝日夕刊	1.11	視線 日本のおもち や絵 絵師・川崎巨 泉の玩具帖	北澤 憲昭 朝 日	8.3
名著の衝撃 23 『怪 奇版画男』唐沢なを き著 バンコード以 外全部彫った	呉 智英	東京夕刊	2.6	自作を語る 川崎文 雄	川崎 文雄 自由美術	2014
決壊	柄澤 齊	国立国際 美術館ニ ュース	202	美術新人賞 デビュ ー2014 第2回 選 考評 デビュー2014 私はこう見る アン ドロイド的世界の人 工美を内在するグラ ンプリ作品	河嶋 淳司 美術*	462

新・現代日本の作家たち アトリエ写真 No.019 河嶋淳司	河嶋 淳司	美術*	464	欠を補うに余りある美 東京国立博物館・東洋館「日本人が愛した官窯青磁」展を拝見して	川瀬 忍	〃	738
特集 プロ&通[ツウ]の「イチオシ!」93点 この新人が、欲しい! Part 3 無名の新人からスターダムへ。美術新人賞「デビュー」受賞&入選作家19点			467	私と茶の湯 川瀬忍さん(陶芸家) 五感で鑑賞 茶碗の魅力		〃	毎日 6.29
若佐慎一	若佐 慎一 河嶋 淳司			新刊紹介 『川瀬巴水作品集』清水久男:著	小池満紀子	浮世絵芸術	167
土井沙織	土井 沙織 河嶋 淳司			現在通信 From NEW YORK クールジャパンとしての巴水展	富井 玲子	新美術新聞	1362
明治の細密工芸 驚異の超絶技巧! 明治工芸の匠たち 川島甚兵衛(二代) 和洋が融合した染色に尽力	太田 彩	太陽(別冊)	217	川瀬巴水 新版面の背景 「昭和の広重」生誕130年回顧展		読 売	1.16
現代美術の歩き方 異論反論・現代美術 川島秀明にインタビュー デビュー10年後に、再出発する			美術の窓 367	江戸博蔵めぐり 大島波浮之港 川瀬巴水 1937年(昭和12年) 歌の舞台 変わらぬ美しさ	沓沢 博行	〃	6.20
フェイス21世紀188 川島優 心の内面、映すは「女性」	橋爪 勇介	新美術新聞	1356	レポート墨 川瀬伊人氏の水墨画にプロジェクトジョンマッピング			水墨画* 299
レポート墨 「FACE展2014 損保ジャパン美術賞展」 グランプリに川島優氏			水墨画* 299	On view 「王国」展の頃—川田喜久治氏に聞く	増田 玲 文・構成	現代の眼	609
受賞者に関する FACE 2014損保ジャパン美術賞 グランプリ 川島優さん	編集部 構成	美術*	464	本づくし 「一般人をモデルとした非凡な作品」『小森谷くんが決めたこと』中村航著	川田 学	A X I S	172
特集 プロ&通[ツウ]の「イチオシ!」93点 この新人が、欲しい! Part 1 手に入れるなら今のうち!注目の最新世代34点 川島優	川島 優 本江 邦夫	〃	467	純粹なる芸術 アール・ブリュットの世界 川戸由紀「森の音楽レストラン」	中村 政人	東京夕刊	8.27
特集 「黒」の新世界—若き表現者たちのリアル 川島優			470	Go! Artists Go! 55 河名祐二	編集部	美術手帖	1002
戦中から戦後へ作家をたどる 18 川島理一郎	笹木 繁男	美術運動史研究会 ニュース	144	思い出す本 忘れない本 自分でやらない本 駄目さ メカスの映画日記 ジョナス・メカス(著) 映像作家 かわなかのぶひろさん	かわなかの ぶひろ	朝 日	3.23
幻の硯“鳳足硯”の再現	川嶋 涉	京都市立芸術大学 美術学部 研究紀要	58	4[読ん]で知るアート 狩野派 欧米人を驚かせた「運筆」[河鍋曉斎]	安村 敏信	朝日夕刊	5.7
日本陶磁協会賞・金賞受賞をお祝いして [川瀬忍]	菊地 智	陶 説	736	明治の巨匠 川端玉章に学ぶ水墨画 十~十二	村田 隆志	水墨画*	298~300
川瀬忍 青磁一筋の道	林屋 晴三	〃	〃	現代水墨画作家手本集12 川端豊次 白い風	川端 豊次	〃	307

巻頭特集 はずむ色 彩 配色・混色 ⑥ 技法講座 vol. 35 技 法講座 2 講師：川 畑太 色彩の相乗 果で“風のけはい”を 描く	川畑 太	美術の窓	370	ある静岡育英会奨学 生の記録—医師高梨 鎮の生涯と旧幕臣和 多田家の明治「川村 清雄関係資料」から —	落合 則子	”	”
画家と戦争 日本美 術史の空白 戦争を 描いた画家たち 川 端龍子	河田 明久	太陽(別冊)	220	この1点 川村吾蔵 《ジャージ—種乳牛 牡》	Kt. K	Corridart	14
美の美 魚との対話 下 近代日本画の冒 険 みなぎる生気生 け捕りに 自由な発 想、新境地開く[川 端龍子]	宮川 匡司	日 経	7.27	巻頭特集 見て楽し む、描いて楽しむ風 景画 ⑥技法講座vol. 34 実践!風景画を マスターする⑥技法 講座 5 講師：河村 純正 クリアーに描 き出す自然風景	河村 純正	美術の窓	369
近代美術の眼 豪雪 地帯の熱い闘争 角 突之巻(越後二十村 行事)[川端龍子]	都築千重子	読 売	5.16	《追悼》メタ・コミ ュニケーションの時 代へ 河原温につい てのメモランダム	松井 茂	あいだ	216
元気のヒミツ ふる 里の水	川淵 水豊	水墨画*	299	現在通信 From NEW YORK 29771日生き た人[河原温]	富井 玲子	新美術新 聞	1351
收藏品紹介 河辺青 蘭		実践女子 学園香雪 記念資料 館館報	11	INFORMATION ME- MORIAL 体をなく した河原温	山辺 冷	美術手帖	1010
§ 前文 §				遥かなる大河をめぐ る果てしなき旅—河 原温のための未完の テキスト(二〇〇六 年)	山田 論	R E A R	33
1. 態濃意遠図	宮崎 法子			沈黙の一語[河原温]	能勢 陽子	”	”
2. 花鳥図	仲町 啓子			河原温さんとの思い 出	渡辺 真也	”	”
3. 竹・菊図	”			河原温におけるゲー ムの意味	馬場 駿吉	”	”
4. 紅白富貴図	太田 佳鈴			河原温さん死去 概 念芸術 世界的な美 術家	真鍋 弘樹 建島 哲	朝 日	7.12
5. 梅林茅屋図・ 薔薇図	山盛 弥生			観客との対話 徹底 追究 河原温さんを 悼む	富井 玲子	朝日夕刊	7.16
6. 青緑松陰樓観 図	宮崎 法子			河原温さんを悼む 人類の(時間)見つめ る	馬場 駿吉	東京夕刊	”
7. 四季山水図	太田 佳鈴			河原温さん死去 「概 念芸術」の第一人者		毎日夕刊	7.11
8. 墨梅図	山盛 弥生			人間存在の本質突く 河原温さんを悼む	南 雄介	”	7.22
9. 折枝富貴図扇 面	”			追悼・河原温 「To- day」シリーズ 人類 の日記	山田 論	読 売	8.1
10. 薔薇図	太田 佳鈴			第六十回日本伝統工 芸展入選作品	織田 阿奴 荒川 智 石山 哲也 神崎 秀明 松田 策和子	秀明美術	21
特集 プロ&通(ツウ) の「イチオン!」93点 この新人が、欲しい! Part 2 見逃せない 最新作も!人気の 若手作家40点 川又 聡	川又 聡 編集部・S	美 術*	467	北海道文化考 画家 である。農民である。 神田日勝		美術屋・ 百兵衛	30
特集 「黒」の新世紀 —若き表現者たちの リアル 川又聡		”	470				
[公募資料紹介]「明 治美術会のやうなも の」川村清雄関係 新資料紹介	石井 元章	近代画説	23				
川村清雄作品下絵類 の修復—作品解説な らびに関連資料の紹 介とともに—	落合 則子 松村 裕美	東京都江 戸東京博 物館紀要	4				

RELJINSHA GAL- LERY FACE 展2013 -2014 選抜作家小 品展 VOL.1	小野有美子 加藤 由紀 菅野 静香 志世都りも 永原トミヒ ロ 沼田 久雪 村上 紘一 Yogyami	美術屋・ 百兵衛	31	SPECIAL FEATURE バルテュス SPE- CIAL EDITION 日 本のオタクカルチャ ーと少女 座談会: Mr.×町田ひらく× 大嶋優木×岸田メル	さやわか 構成	美術手帖	1004
虞世南(孔子廟堂碑) 原刻拓想定の試み	菅野 智明	筑波大学 芸術研究 報告	62	装幀・近代日本文学 を含む一判型・装幀 表現(五葉・非水・ 雪岱・劉生・孝四郎) [岸田劉生]	岩切信一郎	一寸	58
アートと世界 第11 話 追憶の女流画家 たち[神戸文子]	大村 智 談 編集部 文	美術の窓	374	岸田劉生《静物》		上原近代 美術館だ より	60
(キ)				佐藤惣之助の詩と作 詞[岸田劉生]	佐藤 美子	川崎市市 民ミュー ジアム紀 要	26
明治の細密工芸 驚 異の超絶技巧! 明 治工芸の匠たち 木 内喜八 近代的な木 象嵌技法を確立	諸山 正則	太陽(別冊)	217	Re view 泥は時間 を巻き戻す[岸田劉 生]	沢山 遼	現代の眼	605
「近代建築ステンド グラス制作者木内真 太郎の業績—木内真 太郎の関連資料を中 心として—」に対す る討論 その1~3	松波 秀子	日本建築 学会計画 系論文集	704~706	表紙の作品 岸田劉 生《静物(瓶と皿の静 物)》	(W)	潮流	120
松波秀子氏の討論に 対する回答[木内真 太郎]	金田 美世 清水 隆宏 河田 克博	〃	704	巻頭特集 こだわり の写実表現 ディテ ールが引き出す存在 感 ⑧技法講座 vol. 33		美術の窓	367
松波秀子氏の討論(そ の2)に対する回答 [木内真太郎]	〃	〃	705	この写実が面白い! 存在感を驚嘆みに する岸田劉生の写 実とは?	酒井 忠康 談		
松波秀子氏の討論(そ の3)に対する回答 [木内真太郎]	〃	〃	706	絵を見て学ぼう! 写実とディテール 重要文化財、岸田 劉生の「道路と土 手と塀(切通之写 生)」を展示!	蔵屋 美香		
特集 ビルディング ・エンヴェロープ シミュレーションが 可能にする「事の次 第」的建築モデル	木内 俊克 砂山 太一	建築雑誌	1660	史料散歩 二〇世紀 の都市の記憶遺産— 堺の郷土画家岸谷勢 蔵の記録画史料—	矢内 一磨	日本歴史	797
江戸博蔵めぐり 町 人寄り合う「自身番 屋」江戸府内絵本 風俗往来 下巻 菊 池貴一郎	小酒井大悟	読 売	9.26	巻頭特集 原寸で見 る!現代作家の技 韻律を意識し一枚 一枚の花びらを描く	岸野 圭作	美術の窓	371
市がよい 19~28	菊地 信義	目の眼	448~459	特集 日本の国宝 アートのちから 現 代作家の作品に見る Part.3 岸本恵美 広がるイメージ	高山 淳	〃	372
著者に会いたい 本 棚探偵最後の挨拶 喜国雅彦さん 古本 を見ている人が好き	野波 健祐	朝 日	5.25	ひと 「NARUTO— ナルト—」を完結さ せたマンガ家 岸本 斉史さん	小原 篤 朝 日		11.11
現代書家の眼から	菊山 武士	ジャポニ スム研究	33	ナルトは僕の影だっ てばよ! 週刊少年 ジャンプ連載15年完 結 作者・岸本斉史 さんに聞く	小原 篤 聞き手	〃	〃
共同討議「水墨の交 流とその未来」報告	菊山 武士、 三瀬夏之介、 板倉 聖哲、 水田至摩子、 南 明日香 宮崎 克己 司会 人見 伸子 報告者	〃	〃				

本江邦夫の「今日は、ホンネで」第80回 洋画家 北久美子	北久美子、本江邦夫 対談	美術*	471	現代作家の視線04 北野謙	ギャラリ ー*	351
北蓮蔵の画業と習作について—官展・渡欧期を中心に	奥間 政作	早大會津八一記念博紀要*	15	新しいコレクション 北原千鹿《羊》	北村 仁美	現代の眼 607
北大路魯山人の刻字による一考察	山本 祐司	書芸術研究	7	神宮美術館所蔵 神宮名品解説 漆芸華文玳瑁螺鈿箱[北村昭斎]	本多 久子	瑞 垣 227
收藏品から《雲錦大鉢》北大路魯山人	清水 真砂	世田谷美術館だより	96	特集 住むことから考える		建築雑誌 1653
京ものがたり 魯山人のこだわり 料理 自然の恵みと文化 絶えぬ流れ	前田 智	朝日夕刊	10.21	第2部 対談：今、住むことが変わる、	上野千鶴子、織山和久、篠原山聡子、北山恒、聞き手まるあいきこ	
美術新人賞 デビュー—2014 第2回 奨励賞	北川安季子、久保木桂子 悠	美術*	462	インタビュー：住むことから都市景観を考へる建築が共感の場を生み出す未来へ	植田実、伊藤公文、篠原山聡子、北山真壁、聞き手	
特集 プロ&通[ツウ]の「イチオシ！」93点 この新人が、欲しい！ Part 3 無名の新人からスターダムへ。美術新人賞「デビュー」受賞&入選作家19点 北川安季子	北川安季子、本江邦夫	美術*	467	特集 近代建築再読 ヴェネチア・ピエーナレ 座談「現代建築の倉」に日本型ポストモダンの可能性を見る	植田実、伊藤公文、篠原山聡子、北山真壁、聞き手	1662
現代美術の歩き方 今月一品 北川貴好「floor landscape」	伊藤 匡	美術の窓	372	郷土の作家たち D. D. (ディー・ディー) 北脇昇	笠木日南子、山田 諭	アートペーパー 95
北川民次の絵画技法(5)—かみや美術館所蔵作品の再現研究(彩色層)—	杉原白河、歌田森島、森山田中、池田宮田	愛知県立芸術大学 紀要	43	木津家に伝来する製図道具・建築図面に關する一考察[三代木津宗詮]	酒井 一光	大阪歴史博物館共同研究成果報告書 8
神宮美術館所蔵 神宮名品解説 有職文二階織物小桂[喜多川依二]	平子 裕子	瑞 垣	227	巻頭特集 原寸で見ると！現代作家の技 考えつく限りの画材を駆使しそれぞれのモチーフへと変容させる	木津 文哉	美術の窓 371
特集 「黒」の世紀—若き表現者たちのリアル 北川麻衣子		美術*	470	新しいコレクション 吉川靈華《離騷》	鶴見 香織	現代の眼 606
建築と美術館15 これからの美術館設計 歴史の痕跡を残しつつ変化してゆく建築を	北川原 温	美連協ニュース	124	交遊抄 飄々の写真家[キッチンミノル]	春風亭一之輔	日 経 12.6
表現を超えて「思考」の存在—教育と著作権—	北郷 悟	連盟ニュース	449	中特集 現代の心象表現を考える 木戸征郎	高山 淳	美術の窓 369
新・現代日本の作家たち アトリエ寫眞 No.016 北田克己	北田 克己	美術*	461	中特集 現代の心象表現を考える 鬼頭恭子	〃	〃 〃
本江邦夫の「今日は、ホンネで」第75回 日本画家 北田克己	北田 克己、本江邦夫 対談	美術*	466	特集 日本の国宝 アートのちから 現代作家の作品に見る Part.3 鬼頭恭子 豪奢	〃	〃 372
				スペシャルインタビュー 木梨憲武	イムラアートギャラリ ー 取材協力	美術* 465

平成26年定期刊行物所載文献(近/作キ)

Go! Artists Go! 57 衣川明子	編 集 部	美術手帖	1016	特集 プロ&通(ツウ) の「イチオン!」93点 この新人が、欲しい! Part 2 見逃せない 最新作も! 人気の 若手作家40点 木原 千春	木原 堀	千春 良慶	〃	467
特集 イチオン作家 今年の100人2015 Focus on! 3 網谷 香菜子	網谷香菜子 談	美 術*	472				〃	470
平成26年度文化勲章 に野見山曉治氏 文 化功労者には網谷幸 二氏、黒井千次氏ら		新美術新 聞	1359	特集 「黒」の新世紀 一若き表現者たちの リアル 金理有			〃	470
新・現代日本の作家 たち アトリエ寫眞 No.027 網谷幸二	網谷 幸二	美 術*	472	木村伊兵衛 今日 的写真の先駆 没後40 年に寄せて	瀬戸 正人	朝日夕刊	5.7	
連載 絵空事なれば こそ 1 引きこも り? ニート? それ でもいいじゃないか	〃	〃	〃	美の美 安井とセザ ンヌ 上 激動のバ リで自由に学ぶ 革 新的な画風、日本で 波紋[木村荘八]	小川 敦生	日 経	6.1	
巻頭特集 デッサン を極める! 実践編 ④技法講座 vol.32 巻頭エッセイ 画家 ・網谷幸二が語る デッサンのエスプリ	網谷 幸二 談 編集部 文	美術の窓	366	みやざきアートプロ ジェクト 木村崇人 と宮崎で地球と遊ぶ	梅田 一明	デアルテ	30	
art now 今年度文化 勲章に野見山曉治 ら、文化功労者に網 谷幸二らが決定		〃	375	世界のアート事情 絵を食べ、絵を飲み、 絵と眠る	今津 京子	美連協ニ ュース		
文化功労者 喜びの 声 網谷幸二さん 芸術の可能性 信じ る	岸 桂子	毎 日	10.25	幸子夫人が語る一 木村忠太とパリ 第1回				122
Topics 第6回網谷 幸二賞贈呈式 地方 での真摯な活動に賛 辞 山下耕平、寺林 武洋の両氏に	山下 耕平 寺林 武洋 網谷 幸二 桂子	毎日夕刊	3.19	幸子夫人が語る一 木村忠太とパリ 第2回				123
文化功労者 力感あ ふれる作風 網谷幸 二さん		読 売	10.25	幸子夫人が語る一 木村忠太とパリ 第3回				124
日々好日 マグマの 合掌	網谷 幸太	新美術新 聞	1360	特集1 目の眼的六 古窯の旅 備前の里 を訪ねて 備前焼の 歴史と未来を語る座 談会 温故知新・変 革期の備前焼に新し い波をおこすには	藤原 和 金重 晃介 白井 洋輔 藤原喜久代 木村英昭 渡邊 久 白洲 磨 白洲 信哉	目 の 眼	458	
特集 トーベ・ヤン ソン PART 3 芸 術家 トーベ・ヤン ソンを知る 写真家 ・木之下晃が語る トーベ・ヤンソンの 素顔	白坂 ゆり 聞き手・構 成	美術手帖	1015	作品 Charcoal A Couple of Dice Charcoal Four Houses	木村 秀樹	京都市立 芸術大学 美術学部 研究紀要	58	
特集 いまなお輝く 昭和の洋画家たち 木下孝則先生と女性 像のこと	寺井 重三	美 術*	468	ホテルの客室からア ート発信 パークホ テル東京[木村浩之]		産 経	10.16	
第27回奨学者のレポ ート いつかの日差 しを真似て	木下 令子	アクリラ ート(別 冊)	2014	木村武山による文化 財保護一地方の古美 術発掘の事蹟	中田 智則	茨城県近 代美術館 だより	97	
特集 気高く美しく 理想の女性像 感情 の機微を表す自然な 仕草	木原 和敏	美 術*	466	菱田春草 不熟の天 才画家 五浦で生ま れた名品 木村武山	〃	太陽(別冊)	222	
				美術新人賞 デビュ ー2014 第2回 準 グランプリ	木村まどか 土井 沙織	美 術*	462	

特集 プロ&通[ツウ]の「イチオシ！」93点 この新人が、欲しい！ Part.3 無名の新人からスターダムへ。美術新人賞「デビュー」受賞&入選作家19点 木村まどか	木村まどか 編集部・W	〃	467	戦争を表現する 上 漫画家・今日マチ子 さん「何ともいえない 怖さ」「分からない」 を伝える	中村 陽子	東京夕刊	8.11
特集 日本の国宝 アートのちから 現 代作家の作品に見る Part.3 木村保夫 何故、描くのか	木村 保夫	美術の窓	372	今日マチ子さんの漫 画『いちご戦争』 「お菓子が兵器」の世 界	鶴谷 真	毎日夕刊	8.27
くらしナビ ライフ スタイル 私の好き な場所 ひらめき生 む自然の開放感 絵 本作家 きむらゆう いちさんのテラス	鈴木 敦子	毎 日	10.4	学芸員のアート日記 シリーズ・ふるさと の群星 vol.11 清河 恵美	遠藤 亮平	ど お む	122
子どもたちへ「イク メン」をテーマにし た絵本を刊行 木 村裕一さん お父さ んはスーパーヒーロ ー[きむらゆういち]	(佳)	読売夕刊	4.19	注目の作家 清原啓 子 清原啓子の銅版 画	川俣 高人	版画芸術	166
特集 女と男のヌード ヌードの現在 5 木村了子 イケ メン礼讃 女だって 脱がせたい	木村 了子 談	芸術新潮	776	郷土の作家たち 市 野長之介 清水九兵 衛	山田 諭 保崎 裕徳	アートペ ーパー	97
SPECIAL FEATURE 世界一受けたい！印 象派の授業 がんば れ！ビテ子ちゃん	今日マチ子	美術手帖	1008	連載 次代を拓く建 築展 3 戦後社会 の将来を形にした建 築家エーロ・サーリ ネン	吉良 森子	建築雑誌	1662
「印象派なんて古 くさい？」の巻				ART AND LIFE 彫 刻家 吉良幸弘		クオリア*	23
「印象派の景色へ トリップ！」の巻				桐谷逸夫の一期一絵	桐谷 逸夫	読 売	
INFORMATION BOOK いちごキマ ドレーヌ 今日マチ 子が描く 少女・お 菓子・戦争	福田 里香	〃	1012	生きものの心に触 れる 動物園			8.26
特別掲載 みてきた ものを超えていく 日仏マンガ作戦会議	巴斯ティア ン・ヴィヴ エス、 今日マチ子 対談 鶴野 孝紀 通訳	ユリイカ	643	夢と神秘あふれる 空間 大家さんの 庭			9.23
第18回手塚治虫文化 賞 新生賞「みつ あみの神様」など 今日マチ子さん 社 会派 震災をフワリ	小原 篤 朝	日	4.29	あの人に迫る 金城 実 彫刻家 何も守 らぬ政治 沖縄の怒 り彫る	木原 育子	東 京	8.17
手塚治虫文化賞大賞 ・羽海野さん「子 どものそばにいる マンガ描けたら」[今日 マチ子]	〃	〃	6.3				
						(ク)	
				6歳少女 絵本に生 き続ける 震災で犠 牲 石巻の愛梨ちゃ ん 前橋の作家執筆 出版費募る[空羽フ アティマ]	菅原 洋	東京夕刊	11.14
				草間彌生《レモンズ カッシュ》	熊田 司	えむえむ	8
				自作再訪 草間彌生 さん「水玉」描くこ とで救われた人生 幻覚…見たものをス ケッチブックに描い て、恐怖や驚きを鎮 めた	渋谷 和彦	産 経	7.28
				草間彌生さんデザイ ン 高速バスが新宿 に登場	横井 武昭	東 京	7.10
				純粹なる芸術 アー ル・ブリュットの世 界 具志堅善「病室 から見える我が家」	中村 政人	東京夕刊	10.1

平成26年定期刊行物所載文献(近/作ク)

伝統工芸に現代の息吹 江戸風鈴 客と未来へ 上田紬 新たな意匠 芝山細工 繊細な技継ぐ[具嶋直子]		日 経	5.10		受賞学生インタビュー第11回 プレクション国際学生アニメーション・フェスティバル オンライン部門優秀賞	久保雄太郎	芸大通信	28
あいだのすみっこ不定期漫遊連載 第99回 遺伝子情報の繭に包まれた蛹はなにを考えるか? 工藤哲巳没後25年回顧展によせて	稲賀 繁美	あいだ	210		作家通信 色彩と、質感と 美術新人賞 デビュー2014 第2回 奨励賞	久保木桂子 北川安季子 久保木桂子 悠	水墨画*	298 美術* 462
On view 遅れた追悼—工藤さんへ	千葉 成夫	現代の眼	604		特集 プロ&通[ツウ]の「イチオシ!」93点 この新人が、欲しい! Part 3 無名の新人からスターダムへ。美術新人賞「デビュー」受賞&入選作家19点 久保木桂子	久保木桂子 立島 恵	〃	467
「インボ哲学」小考—工藤哲巳回顧展に寄せて	黒沢 義輝	国立国際美術館ニュース	203		ARTSAT 2 : 深宇宙彫刻 DESPATCH	久保田晃弘	多摩美術大学研究紀要	28
記録者工藤弘子—工藤哲巳回顧展余録	島 敦彦	NACT Review*	1		VIDEO・アーティスト 久保田成子の初期制作について—フルクサスおよびナムジュン・パイクとの関係を中心に—	濱田真由美	鹿島美術財団年報・別冊	31
SPECIAL FEATURE 「あなたの肖像—工藤哲巳回顧展」		美術手帖	999		戦前の福生 日本画に 83歳・窪田さん3年がかり 絵図と絵巻物完成[窪田成司]	柴田 朗	毎日	9.24
CASE STUDY 1 鯨山の巨大彫刻《脱皮の記念碑》やわらかくたっている—工藤哲巳の肯定性	梶田 倫広				特集 日本の国宝 アートのちから 現代作家の作品に見る Part.3 久保田洋子 私にとっての黒	久保田洋子	美術の窓	372
CASE STUDY 2 ポール・マッカーシーとマイク・ケリーへの影響 工藤哲巳は冷酷無比な科学者	飯田 高誉				世界蜂起展—松澤宥「最終美術思考工房」をめぐって 《世界蜂起》いまこそ 松澤宥と詩	窪寺 雄二	あいだ	214
特集 アート・オブ・ザ・イヤーズ2014 社会とアート1 国立競技場の壁画移設問題	工藤 晴也	美術*	471		音楽を結節点に、共創を牽引する試み「レッドブル・ミュージック・アカデミー東京2014」[隈研吾]	深沢 慶太	A X I S	172
純粋なる芸術 アール・ブリュットの世界 国井勇「国井号」	中村 政人	東京夕刊	3.5		やわらかい壁、ザワザワの壁をたてたい	隈 研吾	学 鏡	111-3
自作を語る 國定正彦	國定 正彦	自由美術	2014		大特集 ほんとうは教えたくない パリの小さな美術館 「一個人の脳味噌を通過したものが展示されている」 アルペール=カーン庭園美術館			
研究発表(要約) 国沢新九郎のイギリス滞在中の恩師の解明 ジョン・エドガー・ウィリアムズの経歴と技法	杉原 朱美	近代画説	23		歌舞伎座五代 木挽町風雲録 石山俊彦<著>		朝 日	1.12
記憶をつなぎ、新たな物語を紡ぐ—「飛生アートコミュニティ」[国松希根太]	吉田 圭一 聞き手 若林 朋子 構成	アサヒピュールメセナ	38				芸術新潮	773
ART TOPICS 日系異民族の苦悩[国吉康雄]		日 経	11.13					
特集 心に染みる風景 対象との出会い	久野 和洋	美術*	465					



福島第一原発観光地 化計画「ここにあ るもの」と向き合 う	〃	〃	1. 19	構造デザインマッ プ 東京 構造デ ザインマップ編集 委員会(編著)	〃		8. 3
読書	〃	〃					
銀座にはなぜ超高 層ビルがないのか 竹沢えり子(著)	〃		1. 26	白熱講義 これか らの日本に都市計 画は必要ですか 義原敬ほか(著) 縦割り崩れた今を 刺激的に	〃		8. 10
場所の文化 どう やって守るか							
日本インテリアデ ザイン史 鈴木紀 慶・今村創平(著)	〃		2. 16	空き家問題 牧野 和宏(著)「空き 家」が蝕む日本 長嶋修(著) 人間 が空間を私有す るこわさ	〃		9. 7
闘争から離れ 浮 遊する美しさ							
シェアをデザイン する 猪熊純・成 瀬友梨・門脇耕三 (編著) 私有から の転換 日本に好 機	〃		2. 23	磯崎新インタヴュ ーズ 磯崎新、日 埜直彦(著) 挽歌 集 建築があった 時代へ 磯崎新(著)	〃		11. 2
父 吉田健一 吉 田曉子(著) 悲し みに縁どられ よ り輝く	〃		3. 2	批判的工学主義の 建築 ソーシャル ・アーキテクチャ をめざして 藤村 龍至(著) 既成イ ンフラとの接続を 提案	〃		11. 23
ル・コルビュジェ 生政治としてのユ ルバニスム 八東 はじめ(著) 反転 する地域主義と普 遍主義	〃		3. 23	この1年に会っ た本 書評委員が 選ぶ「今年の3点」	横尾 忠則 隈 研吾		12. 28
驚くべき日本語 ロジャー・バルバ ース(著) 世界言 語にもなりうる可 能性	〃		4. 13	オピニオン 東日本 大震災3年 未来を 描く 人と建物古び て格好いい 隈研吾 さん	隈 研吾 談 伊藤 喜之 聞き手	〃	3. 20
日記で読む文豪の 部屋 柏木博(著) 「私」と自宅の關係 を徹底分析	〃		5. 4	ユビキタス建築登場 人を感じるセンサー 有機的にねじれた壁 面[隈研吾]	大西 若人	朝日夕刊	5. 21
庭師が語る ヴェル サイユ アラン・ バラトン(著) 壮 大だがやわらかく て人間的	〃		5. 18	芸術と科学のあいだ 43 「相補性」保つ千 鳥格子の建築[隈研 吾]	福岡 伸一	日 経	12. 7
フルサトをつくる 帰れば食うに困ら ない場所を持つ暮 らし方 伊藤洋志、 pha(著) 現代の 参勤交代が日本を 救う	〃		7. 13	私の先生 建築家 隈研吾さん 打ち込 む姿 身をもって	広中 正則 聞き手	読 売	1. 16
身体巡礼 ドイツ ・オーストリア・ チェコ編 養老孟 司(著) 連続して いた生死 共同体 消えて分節	〃		7. 20	美博ピックアップ 豊島区立熊谷守一美 術館 常設展	塩見 圭	朝日夕刊	9. 24
浅田孝 つくら ない建築家、日本初 の都市プランナー 笹原克(著) 環境 をテーマに時代を 先取り	〃		7. 27	私の書棚から 遊び の追求[熊谷守一]	横尾 忠則	東 京	9. 29
				ころの玉手箱 陶 芸家 加藤孝造 4 茶わん「茄子」熊谷守 一さんが絵付けよ しあし 自分の物差 して即断	加藤 孝造	日経夕刊	12. 11
				白日会の精神—24人 の作品と言葉から 「兄妹」	熊谷 有展	新美術新 聞	1339

平成26年定期刊行物所載文献(近/作ク)

純粋なる芸術 アール・ブリュットの世界 熊田史康「トイレ」	中村 政人	東京夕刊	6.18	INFORMATION 倉俣史朗デザインの寿司店《きよ友》、香港へ	編集部	美術手帖	1008
自作を語る 隈部直臣	隈部 直臣	自由美術	2014	東京のすし店 丸ごと美術館に收藏 倉俣史朗デザイン 香港「M+」に移設へ	大西 若人	朝 日	6.10
久米桂一郎のスペイン滞在—1888年バルセロナ万博に従事して—	伊藤 史湖	久米美術館館報	31	review 魔法はつかえないけど カードキャプターさくら [CLAMP]	藤井由紀恵	瓜生通信	61
SPECIAL FEATURE ポーイズラブ 10人のマンガ家が語る！ ポーイズラブとマンガ表現 雲田はるこ	ヤマダトモコ 聞き手・文	美術手帖	1016	操上和美・上田義彦が選ぶ TAPA2014が決定		COMMERCIAL PHOTO	611
スケッチから始める風景画 心安らく日本の佳景を描く 第1～5回、最終回	久山 一枝	水墨画*	301～306	特集 日本の国宝 アートのちから 現代作家の作品に見る Part.3 栗崎武成 音楽のように	高山 淳	美術の窓	372
作家通信 茅葺民家保護のチャリティー展	〃	〃	302	武蔵野美術学校と激動の時代 油画と前衛のはざままで 座談会 甲田洋二×佐々木信平×栗原一郎		美術*	471
現代水墨画作家手本集14 久山一枝 萩ノ島にて 新潟県柏崎市	〃	〃	307	特集 魅力ある線を描く 秘技法講座vol.37 絵画における「線」とはなにか?	栗原 一郎	美術の窓	374
作家の目 出会いの道	倉数 和文	美術の窓	367	あの影にはかたよりがありません(絵画)	栗原 一成	多摩美術大学研究紀要	28
中特集 現代の心象表現を考える 倉数 和文	〃	〃	369	制作とその周辺 栗本浩二/今野治/斎藤國靖(司会)		自由美術	2014
青春プレイバック 日本画家 倉島重友 淡々と飄々と着々と、院展画家の道を歩む	能美 栄子	新美術新聞	1348	コミック 薄幸日和とグレゴリ青山(作) 幸福と不幸の狭間で揺れる	南 信長	朝 日	9.14
特集 心に染みる風景 故郷の春を想いながら	倉島 重友	美術*	465	文化の扉 はじめての伊勢物語 人生突き放すダンディズム [黒鉄ヒロシ]	井上 秀樹	〃	1.6
特集 百合文化の現在 倉田嘘『百合男子』に表された百合ファンダムの姿についての一考察	ジェームズ・ウェルカー	ユリイカ	653	「かつ江さん」漫画で復活 黒鉄さん「あまりに不憫…」鳥取市教委 無断使用不問	川瀬慎一朗	毎日夕刊	9.5
1930年代日本における展示デザインの意識と実践—蔵田周忠のドイツ滞在中を中心に—	江口みなみ	鹿島美術財団年報・別冊	31	collecteurs asile しつらい 最終回 人形「芽」 黒川和江作心のしつらい	桑村 祐子	目の眼	450
心地よく秘密めいたふたり クラフト・エヴィング商會		芸術新潮	772	黒川紀章メモリアル INTER-DESIGN FORUM TOKYO 2013 『共生のアジアへ』 Towards Symbiosis of Asia		NACT Review*	1
リレーおびにおん デザインの力 4 作家・デザイナー クラフト・エヴィング商會 作用しあう2人の発想	藤生 京子 聞き手	朝 日	9.17	報告	吉澤 菜摘		
倉俣史朗のデザイン構想に関する一考察—空間としての家具デザインという視点から—	橋本 啓子	美術史論集	14				

シンポジウム「建築と美術館の未来」採録	妹島 和世、 浅田 彰、 南 雄介、 青木 保 モデレータ ー 吉澤 菜摘 編集			学校と私 イラスト レーター 黒田征太 郎さん 漫画の投書 で社会とかがわる	比嘉 洋 聞き手	毎 日	9.22
デザイナーに学ぶ仕事術 建築家の黒崎敏さんに聞く 顧客と並走し、価値生み出す 何かを決め、仕掛け続ける	林 勝 東京	6.20		「文学と女性性」テーマに講演 熊野大学夏期セミナー[黒田征太郎]	棚部 秀行	毎日夕刊	7.9
REVIEW EX 17年間の空白を埋めるもの 「磯崎新 都市ソラリス」展	黒瀬 陽平 評	美術手帖	1002	特集2 黒澤家のお正月 映画監督黒澤明が愛した家庭の味 [黒田辰秋]	黒澤 和子	目の眼	449
REVIEW 04 「震災以後」の太郎賞 「第17回 岡本太郎現代芸術賞」展	〃	〃	1004	京ものがたり 黒田辰秋と進々堂の長テーブル 学園の天国 200年続きますように	浜田 奈美	朝日夕刊	3.18
銀座レトロビル偲ぶ面影 美容室の女主人が住んだ一室を保存、人が出会う場に	黒多 弘文	日 経	1.13	「Jo Kley と学生たちの国際彫刻シンポジウム2013」の考察	朝野 浩行 高橋 来春 荒川 新一郎 黒田 千紘 板垣 大地	東京学芸 大学紀要	66
平成25年度 新収蔵品・寄贈作品の紹介 [黒田清輝]	川谷 承子	アマリリス	114	第27回奨学者のレポート 滲みと暈し	黒宮 菜菜	アクリラ ート(別 冊)	2014
特輯 石橋コレクション 日本近代洋画 図版二 黒田清輝 針仕事	山梨絵美子	国 華	1425	インタビュー画ガール 桑野幾子	笹山 森本	女流画家 協会会報	2
研究資料 華族写真同人誌『華影』考一明治末期華族写真愛好家の活動と小川一真・黒田清輝との交流を巡って一	齊藤 洋一	美術研究	411	美の美 日本の家族写真 下 帰らぬ人、ありし日の記憶 喪失を越えて生きる力に [桑原甲子雄]	干場 達矢	日 経	10.12
研究資料 黒田清輝宛小川一真書簡の翻刻と黒田清輝の写真観	田中 淳	〃	412	ひと 第33回土門拳賞を受賞 桑原史成さん	岸 桂子	毎 日	4.18
黒田清輝宛 小川一真書簡 影印・翻刻・解題	岡塚 章子	〃	〃	フェイス21世紀185 桑原秀栄 目指すは究極の美「人体」	橋爪 勇介	新美術新 聞	1348
特集 光の表情を描く ⑧技法講座 vol.38 黒田記念館リニューアルオープン記念 日本美術に自然光をもたらした 黒田清輝の光を見る眼 インタビュー・山梨絵美子		美術の窓	375	アートと世界 第12話 彫刻家とのご縁一桑原巨守からジュリアーノ・ヴァンジまで	大村 智談 編集部 文	美術の窓	375
鹿児島文化考 鹿児島島の偉大な画家たち 黒田清輝		美術屋・ 百兵衛	28	ポップ 「あたしンチ」作者 けらえいこ 「続きを描きたい」再始動	大西 元博	朝日夕刊	11.22
神秘の画家シャヴァンヌ ビュヴィス・ド・シャヴァンヌと黒田清輝	山梨絵美子	ふらんす	89-2	平成写真館 匠の肖像 摺りの優しい風合い [剣持和也]	服部 夏生	東 京	5.26
鹿児島文化考 鹿児島島の偉大な画家たち 黒田清輝		美術屋・ 百兵衛	28	個の歩みからたどる現代陶芸の四半世紀一伊藤慶二と鯉江良二の軌跡から一 I. 1950年代一1980年代 現代陶芸の高度成長時代	正村 美里	岐阜県美 術館年報 研究紀要	31

平成26年定期刊行物所載文献(近/作コ)

リレーおびにおん デザインの力 8 クリエイティブ・デ イレクター 小池一 子さん もっと違う 道見つかる	藤生 京子 聞き手	朝 日	10.7	1345	肥沼 守 新美術新 聞	1345
本よみうり堂「小 池邦夫の彩墨 富嶽 百景」小池邦夫著	前田 英樹	読 売	10.12	5.10	日 経	5.10
連載 住むことから 考えるU-35 3 新しいパブリックを 設計する	小泉 瑛一	建築雑誌	1655	461	郷倉 和子 美 術*	461
東大寺 桜舞う「ふす ま絵」40面、きょう から公開[小泉淳作]		日 経	4.11			
こころの玉手箱 東 大寺長老 上野道善 4 小泉淳作画伯に よる肖像画 モデル しながらビール無心	上野 道善	日経夕刊	2.27	998	野崎 透 聞き手・文	美術手帖 998
INFORMATION MOVIE 大浦信行が 挑んだ表現者として の集大成「靖国」を 巡る政治思想・死者 の声に向き合うドキ ュメンタリー作品	小泉 明郎	美術手帖	1008	773~780	光嶋 裕介 芸術新潮	773~780
小磯良平全作品集 全1巻 東京美術俱 楽部 カタログ・レ ゾネシリーズ		新美術新 聞	1357	8.28	五十嵐太郎 毎日夕刊	8.28
画家と戦争 日本美 術史の空白 戦争を 描いた画家たち 小 磯良平	奥間 政作	太陽(別冊)	220	471	美 術*	471
小磯良平《彼の休息》 修復報告		東京芸術 大学大学 美術館年 報	H24年度	1.10	呉 智英 東京夕刊	1.10
特集 今あらためて 巨匠に学ぶデッサン の技 私の好きなデ ッサン 小磯良平	中山 忠彦	美術の窓	364	8	高田 紫帆 長野県信 濃美術館 紀要	8
書評 『小磯良平全 作品集』を読む	橋 秀文	美術フォー ラム21	29	96	清家 三智 角田美奈子 アートペ ーパー	96
特輯 石橋コレクシ ョン 日本近代洋面 篇 図版九 小出楯 重 帽子をかぶった 自画像	山野 英嗣	国 華	1425	365	高野 勉 美術の窓	365
文学周遊 429 岩 阪恵子「画家小出楯 重の肖像」大阪市 島之内 純粋の大阪 人である楯重もまた 温気の中毒者である。	小橋 弘之	日経夕刊	9.20	2.27	岸 桂子 山下裕久 原久子 鴻池朋子	2.27
フォーカス カンボ ジアに中学校を建設 した一級建築士 小 出陽子氏 遺跡の地 生徒の日輝く	伊藤 学	〃	2.17	153	興梠 宣伸 日展ニュ ース	153
				26	川崎市市 民ミュー ジウム紀 要	26
面材考11 フレスコ 画の魅力、ストラッ ポのこと						
伝統工芸に現代の息 吹 江戸風鈴 客と 未来へ 上田紬 新 たな意匠 芝山細工 繊細な技継ぐ[小岩 井カリナ]						
巻頭特集 再興院展 100年 その歩みと 次代の画家たち 肖 像画に託した師への 思い 我が師とその 作品2 安田叔彦と 小倉遊亀 画塾で出 会った2人の師						
SPECIAL FEATURE 『かぐや姫の物語』の 衝撃。REPORT 宮崎駿のアニメーシ ョン表現を徹底解析！ 『風立ちぬ』[高坂希 太郎]						
幻の建築 unbuilt dreams 1~8						
評 建築 凱風館 顔が見える家[光嶋 裕介]						
武蔵野美術学校と激 動の時代 油画と前 衛のはざままで 座談 会 甲田洋二×佐々 木信平×栗原一郎						
名著の衝撃 5 『自 虐の詩』業田良家著 魂ゆさぶり涙が溢れ る						
1920~30年代の神津 港人―裸体像の擬人 化表現をとおして						
郷土の作家たち 丹 羽和子 河野次郎						
視点 アートで元気 に一東秩父から世界 へー						
第6回 絹谷幸二賞 山下耕平さん 内な る情念 画面に 奨 励賞 寺林武洋さん 人間くささを追求						
各地からの出品者の 思い 作家であり、 教師であること						
佐藤惣之助の詩と作 詞[古賀春江]						

特集 美術解剖学からの学び 頭部を描く ④技法講座 技法講座4 講師:古河原泉 立体の組み立てと大まかな面で頭部を捉える	古河原 泉	美術の窓	373	いつもそばにガレット	3.8
World New York 「五木田智央」展 NYアート界を賑わす五木田智央の黒と白	藤森 愛実 取材	芸術新潮	771	いける!キノコペースト	3.15
ARTIST INTERVIEW 五木田智央	五所 純子 聞き手	美術手帖	1016	揚げ春雨に肉団子	3.22
鉦山労働厳しき、差別描く 足尾鉦毒テーマ 小口一郎の版画「盤庄に耐えて」を映画化 来春公開目指す	後藤 慎一	東京	7.15	滑らか くずし豆腐スープ	3.29
おくやみ 追悼 國府理さん		瓜生通信	62	菜の花、ソラマメ 親友のよう	4.5
INFORMATION MEMORIAL 追悼 國府理	ヤノベケン ジ	美術手帖	1006	煮てもうまい新タマネギ	4.12
純粹なる芸術 アール・ブリュットの世界 古久保憲満「発展する未来の中国2」	中村 政人	東京夕刊	3.26	ダイコン餅 役者ぞろい	4.19
木楡怨一の家具の大量生産論—大正期生活改善運動との関係から—	敷田 弘子	鹿島美術財団年報・別冊	31	ノビルに手が伸びる春	4.26
デュフィ展 絵筆が奏でる色彩のメロディ—5 マキシムそよ風と清らかな音楽	こぐれひで こ	東京夕刊	6.24	「マジコ」のツミレ汁	5.10
こぐれひでこの食悦画帳	〃	読売夕刊		トマトのムースにため息	5.17
うま味堪能 ハマグリ鍋			1.4	個性いろいろ 豆 豆サラダ	5.24
ポロネギで素朴ポターージュ			1.11	凍り豆腐にグリーンピース	5.31
心にしみるピーマン			1.18	アサリご飯 しみじみ	6.7
豚肉引き立てる二品			1.25	ナスのペーストを再現	6.14
真ダラ「親子」で共演			2.1	ズッキーニ 絹の食感	6.21
「偽ねぎま鍋」は江戸の味			2.8	初物でニンニクスープ	6.28
ひらめのアラでスープ			2.15	スナギモ 下処理が肝心	7.5
リンゴサラダと生ハム 絶妙			2.22	感嘆!マカロニグラタン	7.12
地味なイワシ 華やかに			3.1	豚竜田揚げにエダマメ	7.19
				トウガン そうめん とマッチ	7.26
				手軽にローストビーフ	8.2
				絶品 ミニトマトのマリネ	8.9
				キンシウリ 口の中に涼風	8.16
				パエリア 具材は何でも	8.23
				サバー夜干しを異国風に	8.30
				人気沸騰トウモロコシ	9.6
				「トレボン!」なフリット	9.13

平成26年定期刊行物所載文献(近/作コ)

味付き半熟卵で新発見	9.20	平成25年度新収蔵作品のご紹介[小島喜八郎]	T.S.	ソカロ	69
連載10周年 美味「すぐ書かなきゃ」	9.27	特集 森博嗣『すべてがFになる』			
マツタケ香るパスタ	10.4	『MORI LOG ACAD-EMY』まで…クラフトマンの機知 ジェットプロボストの頃	コジマケン	ユリイカ	652
甘み増す梨のトースト	10.11				
サーモンマリネ 刺し身用で	10.18	日々好日 祈りのかたち	児島新太郎	新美術新聞	1354
トマト煮 タコをイカで代用	10.25	特集 気高く美しく理想の女性像 佇む姿に表れる人間の意志	"	美術*	466
カレーなる四変化 餡色のタルト・タタン	11.1				
11.8		児島善三郎作「道」		絵と布の画廊歳時記	2014年1・2月合併号
11.15					
11.22		児島善三郎「炎天」		"	2014年7・8月合併号
11.29		児島善三郎「箱根秋暉」		"	2014年9・10月合併号
12.6					
12.13		黄色二題[児島善三郎]		"	2014年11・12月合併号
12.20		The World Wide Artist Vol.3 小清水漸		ギャラリー*	356
12.27		存在の理にかなうこと、そして逆らうこと	峯村 敏明		
6.11	中村 政人 東京夕刊	日本人である自分にとっての背負わなくてはいけない文化的、社会的必然はなんだと考えた時に…	小清水 漸談		
12.27	竹島 勇 東京				
214	小坂 真夕 あいだ	巻頭特集 見て楽しむ、描いて楽しむ風景画 ⑧技法講座vol.34 ベテラン作家が描く 心に残る風景画 小杉小二郎	小杉小二郎	美術の窓	369
372	越野 邦夫 美術の窓	シリーズ 私と音楽 39 小杉小二郎	小針 俊郎	日経夕刊	6.26
11.1	コシノヒロコ	こころの玉手箱 画家 小杉小二郎 1 ~5	小杉小二郎	"	9.8~12
		小杉放菴の名勝画冊一石斎筆「黄山八勝画冊」の周辺	出光佐千子	出光美術館研究紀要	19
1660	井上 隆、小嶋 一浩、清家 剛 話し手 佐々木 仁、勝矢 武之、近本 智行 聞き手	巨匠に学ぶ水墨画のわざ『日本画実習帖』の世界 第五回 小杉放菴の石	村田 隆志	水墨画*	305
		文人・小杉放菴研究序一「梅花小禽」襖(出光美術館蔵)の主題をめぐって	出光佐千子	パラゴネ	1

小杉放菴の「東洋趣味」について—東アジア旅行、中国絵画への認識と受容をめぐる	蔡 家丘	美術史	176	コミック 水色の部屋(上) ゴトウユキコ(作) 衝動を優先ゆがんだ思春期	山脇 麻生	"	12.21
明治末のパンカラ主義について—押川春浪の『冒険世界』と小杉未醒【小杉放菴】	佐藤 志乃	横山大観記念館館報	29	特集 プロ&通【ツウ】の「イチオシ！」93点 この新人が、欲しい！ Part 1 手に入れるなら今のうち！注目の最新世代34点 壽堂	壽渡辺 堂航	美術*	467
北海道文化考 生命へのやさしいまなざしが生むあたたかな色彩と独特のフォルム。洋画家・小関恵久子		美術屋・百兵衛	30	INFORMATION mame ×小浪次郎、写真集『Personal Memory』刊行	編集部	美術手帖	1005
白日会の精神—24人の作品と言葉から「小憩」	小関 修一	新美術新聞	1339	SPECIAL FEATURE 『かぐや姫の物語』の衝撃。MAKING 製作現場の挑戦 作画監督 STAFF INTERVIEW 03 小西賢一	叶 精二 聞き手・文	"	998
クリエイターズワーク&ソウル 小関隆一	小関 隆一	A X I S	167	現代美術の歩き方		美術の窓	
SPECIAL FEATURE ポーイズラブ 10人のマンガ家が語る！ポーイズラブとマンガ表現 こだか大麻	山本 文子 聞き手・文	美術手帖	1016	今月の一品 小西紀行「須崎 #42」	川浪 千鶴		371
第27回奨学者のレポート 絵画などとき	児玉 麻緒	アクリラート(別冊)	2014	異論反論・現代美術 絵のリアリティを追求する 小西紀行インタビュー			373
児玉希望と戊辰会(二) 一結成から解散までの軌跡—	永井 明生	広島県立美術館研究紀要	17	特集 日本の国宝 アートのちから 現代作家の作品に見る Part.3 小西豊海 未来への希望	小西 豊海	"	372
石舞台ストーンサークル 〈古代東洋思想を、現代の景観の中で造形する〉【児玉康兵】		尾道市立大学芸術文化学部紀要	13	【3.11以降の視線】コノキ・ミクオの詩と造形(ガンダ)第18~29回【風景の中のガンダ】	コノキ・ミクオ	ギャラリー*	345~356
特輯 明治の彫刻 図版三 高村光雲・後藤貞行ほか 西郷隆盛像	恵美千鶴子	国 華	1426	夭折の日本画家 木島桃村 〈その1 概要〉	宮 毬紗	美術フォーラム21	30
美術史上に現れた馬【後藤貞行】	宮永 孝	文学*	15-1	現代作家紹介 小橋陽介 気ままな逸脱者としての画家	安来 正博	"	"
一日本画と書のしあわせな出会い—後藤純男と日野原重明展 激動を生き 至った悠々たる境地	行定 俊文	新美術新聞	1333	INFORMATION 小林エリカによる、放射能をめぐるマンガ作品	編集部	美術手帖	1000
巻頭特集 再興院展 100年 その歩みと次代の画家たち 肖像画に託した師への思い 我が師とその作品4 田中青坪 進むべき道を示した師の言葉	後藤 純男	美術*	461	紙の虫、生と死を切り出す 1枚の紙とはさみを使い、自然の姿を細部まで再現	小林 和史	日 経	9.18
北海道文化考 日本画家 後藤純男		美術屋・百兵衛	30	第67回全国大会研究発表要旨 小林清親の光線画—人物および大気現象の描写を中心に—	永谷 侑子	美術史	177
102歳私の証 あるがまゝ行く 日本画と書の幸福な出会い【後藤純男】	日野原重明	朝 日	3.8	第67回全国大会研究発表要旨 日清戦争期における小林清親の戦争錦絵	市村 茉莉	"	"

平成26年定期刊行物所載文献(近/作コ)

美の美 片岡球子 火の山のごとく 上 教育も絵も人を見て こそ 異色の画風 厚い情を宿す[小林 古径]	窪田 直子	日 経	6.29	美の美 駒井哲郎 孤独のイメージ 上、下	富田 律之	日 経	6.15、22
7度目の小町「無の 境地で」[小林古径]			日経夕刊	作品 小町谷圭 「Crystallization」 「Dissolution」			札幌大谷 大学紀要* 44
纯粹なる芸術 アー ル・ブリュットの世 界 小林寛「風吹き て」	中村 政人		東京夕刊	座談会 水墨の心と 技が一体となると 一「水墨玄空」展に よせて	小松 謙一、 中野 嘉之、 大竹 卓、 呉 一駒、 島尾 新、 野地 耕一郎		美 術* 470
廃墟写真の表象とし ての生と死、それを 超越するもの—自作 『廃墟サンクチュアリ 』を中心として— [小林伸一郎]	澤井 繭夢		芸術学研 究(京都 造形)				定珍 進行
現代作家の視線08 小林孝亘			ギャラリー 一*	青春プレイバック 洋画家 小松富士子 アーティストとして 社会の一員として自 らの立ち位置を探し た日々	能美 栄子		新美術新 聞 1359
作家自選作品集9 小林東雲《黄鶴》	小林 東雲		水墨画*	伝統×デザイン—手 仕事の日本ふたたび ステキな「福島」見 つけた 会津漆/omoi no mi[小松愛実]			
現代水墨画作家手本 集17 小林東雲 飛 鷹	〃	〃	〃		篠原 知存	産 経	9.4
平成25年度 新収 藏品・寄贈作品の紹介 [小林猶治郎]	川谷 承子		アマリリ ス	オピニオン 2014 衆院選 何のための 選挙か「政治業界」 に幸せ委ねるな 五 味太郎さん 絵本作 家	太田 啓之 聞き手	朝 日	11.20
アートな本 小林正 明写真集『五木歳時 記』			東 京				
特集 女と男のヌー ド スーアの現在 “ 2 小林正人 “こ の星”の恋人たち	小林 正人		芸術新潮	入門講座 戦後70年 と日本の絵本 4 作り手と読者、双方 向に 奔放な発想、 「アート」に発展[五 味太郎]	石井 光恵	日経夕刊	12.25
平成25年度新収 藏品紹介 小林万吾「朽 葉の袖」	菅野 洋人		ザ・ルー フ	作品研究 小宮康助 《清雅地江戸小紋着 物 極鮫》について	内藤 祐子	現代の眼	604
フェイス21世紀184 小林美佐子 蠱惑す るからだ こころの 映し身	和田 圭介		新美術新 聞	装幀・近代日本文学 を包む—判型・装幀 表現(五葉・非水・ 雪岱・劉生・孝四郎) [小村雪岱]	岩切信一郎	一 寸	58
展開する風景(2011- 2013)	小林 亮介		名古屋造 形大学紀 要	鑑賞録 小村雪岱の 挿絵	丸山 才一	国華清話 会会報	24
第45回日展 新入選 者寄稿—喜びと抱負— 自然との関わり 方	小林 良平		日展ニユ ース	漆器を現代生活に再 び 若者が知る機会 を 輪島塗に新風 小森邦衛さんに聞く	小仲 秀幸	日経夕刊	10.11
視線 兜虫 マイク ロプレゼンス4[小 椋山賢二]	大西 若人		朝 日				
特集 プロ&通[ツ ウ]の「イチオシ」 93点 この新人が、 欲しい! Part 3 無名の新人からスタ ーダムへ。美術新人 賞「デビュー」受賞& 入選作家19点 こぺ んなな	こぺんなな 丸山 勉		美 術*	震災後を描く 3.11 と表現者たち 2 住んでこそ感じる変 化 被災地をアート で伝える芸大院生 瀬尾夏美さん 小森 はるかさん			東京夕刊 3.4
				びーぶる 小山司雲 ・篠原雪揚 二人展 にて			書 道 界 291



手塚治虫文化賞大賞 ・羽海野さん「子どものそばにいるマンガ描けたら」[小山宙哉]	小原 篤 朝 日 6.3		制作とその周辺 栗本浩二/今野治/斎藤國靖(司会)	自由美術 2014
作品 今義典「独りゾンビ」[川口のあけみ]「おいらんとこの姐さん」		札幌大谷大学紀要* 44	特集 光の表情を描く ⑩技法講座 vol.38 油彩 技法講座 2 光が映し出す色彩を意識した陰影の表現	齊藤 蕙子 美術の窓 375
インタビュー画ガール 近藤オリガ	遠大 藤塚 2	女流画家協会会報	Resonance 1 一音、アート、身体表現、映像の共振—絵と音のレゾナンス[サイトウケイスケ]	小金沢 智 ギャラリー 349
文化の扉 はじめての春画 物語性や洒落 興味誘う 漫画家 近藤ようこさん		朝 日 3.17	斎藤智《Untitled C》	川谷 承子 アマリリス 114
大波小波 傑作幻想漫画の受賞[近藤ようこ]	船 頭 東京夕刊 12.5		日々好日 すきまのはなし	齋藤 将 新美術新聞 1341
制作とその周辺 栗本浩二/今野治/斎藤國靖(司会)		自由美術 2014	注目 「ほんとうになっちゃうかもよ」笑える戒め 絵本で子供に[斎藤多加子]	(市) 読売夕刊 11.12
今野忠一 自然観想に生きる。		新美術新聞 1357	特集 日本の国宝 アートのちから 現代作家の作品に見る Part.3 齋藤俊子 透明なメロデー	高山 淳 美術の窓 372
	(サ)		所蔵品紹介 齋藤豊作筆 《秋の色》をめぐって—日本における「点描主義」受容の一断面	野地耕一郎 泉屋博古館紀要 30
日々好日 『平々凡々』	齋 正機 新美術新聞 1338		INFORMATION EXHIBITION 30歳の気鋭の写真家が展覧会を開催中! 写真家・齋藤陽道にインタビュー「すべてのものがたいらに立っている世界」をさがして	編集部 美術手帖 1000
美術新人賞 デビュー2014 第2回 選考評 デビュー2014 私はこう見る プロとして生きていくために、日々の“瑞々しい感覚”を自身のスタイルで闊歩し続ける		美術* 462		
特集 プロ&通(ツウ)の「イチオシ!」93点 この新人が、欲しい!		467		
Part 1 手に入れるなら今のうち! 注目の最新世代34点 松崎綾子	松崎 綾子 齋 正機		「増山たづ子 すべて写真になる日」[宝箱 齋藤陽道展] 生きるとは、問いかける	西岡 一正 朝日夕刊 1.22
Part 3 無名の新人からスターダムへ。美術新人賞「デビュー」受賞&入選作家19点 山本雄教	山本 雄教 齋 正機		ART+ 明るい光が印象的な写真群[齋藤陽道]	(睦) 読売夕刊 1.6
ランプの肖像 第22~25回	雑賀 雄二 芸術新潮 769~772		ぎやらりいモール「ワタリウム美術館」[宝箱—齋藤陽道写真展]から『ソラボ』シリーズより 齋藤陽道	森 亜希子 2.25
白日会の精神—24人の作品と言葉から「追憶」	犀川 愛子 新美術新聞 1339		白日会 90年の歴史、これからの10年 90回展に思う	齋藤 秀夫 新美術新聞 1339
生活保護 ひとつとじゃない 実態描いた漫画、単行本に逆風強まる世論契機 [さいきまこ]	久野 隆一 長富由希子 朝日夕刊 1.23		本江邦夫の「今日は、ホンネで」第70回 美術家 サイトウマコト	サイトウマコト、本江 邦夫 美術* 461

平成26年定期刊行物所載文献(近/作サ)

特集 日本の国宝 アートのちから 現代作家の作品に見る Part.3 齊藤昌代 生命[いのち]の源	齊藤 昌代	美術の窓	372			特集 住むことから考える 第3部 住むことから考える一日 住むことの現在 日本の日本じやない土地に暮らす男	建築雑誌	1653	
おみくじ形式のユニークな本刊行 画家の齋藤芽生さん	岸 桂子	毎日夕刊	4.15			日々好日 願い	坂口 健 新美術新聞	1361	
純粹なる芸術 アール・ブリュットの世界 齋藤裕一「ドラえもん」	中村 政人	東京夕刊	2.5			巻頭特集 はずむ色彩 配色・混色 技法講座 vol.35 技法講座4 講師:坂口紀良 絵具本来の彩度を最大限に生かして描く	坂口 紀良 美術の窓	370	
中特集 現代の心象表現を考える 齋藤幸子	高山 淳	美術の窓	369			第27回奨学者のレポート もう一度みたい風景	坂口 竜太	アクリラート(別冊)	2014
中特集 現代の心象表現を考える サイトオビン	小池伊吹里	〃	〃			卒業生に聞く。連載第七回 絵本と図書館が大好きだった子供時代、そしてSuicaのペンギンが生まれるまで。	坂崎 千春	芸大通信	28
対談 ヤンキーにご用心 中 齋藤環×西原理恵子「みんなと同じ」民俗性「仲間や家族、ムラ優先」		東京夕刊	8.20			シンポジウム『戦後民主主義から生まれた職美展』	中橋 肇 司会 坂下 雅道、 阿部 正義、 井上 克己、 遠藤 昭一、 バネラー	職場美術	143
各地からの出品者の思い 周防灘のみえる丘	佐伯 千尋	日展ニュース	153			特集 プロ&通(ツウ)の「イチオシ!」93点 この新人が、欲しい! Part.1 手に入れるなら今のうち!注目の最新世代34点 坂田源平	坂田 源平 編集部・S	美術*	467
連載 住むことから考える U-35 5 生きている建築	酒井みのり	建築雑誌	1658			舞台裏 TBS系「いっぶく!」の美術デザインを担当 坂根洋子さん	田中 誠	読売夕刊	11.10
高村光太郎(倉田雲平胸像)	酒井 良	礪山美術館報	34			BANGKOK-COLOMBO(2013)(絵画)	坂本 佳子	多摩美術大学研究紀要	28
ひと 有田焼の名門窯の15代を襲名した酒井田柿右衛門さん	安楽 秀忠	朝 日	2.6			本よみうり堂 コミック館 今月の3冊『イノサン』4 坂本眞一著		読売夕刊	3.31
この人 名門窯元15代を襲名 酒井田柿右衛門さん	白石 彩乃	東 京	3.6			新収蔵品紹介 坂本善三《静物》	林田 龍太	View	149
フォーカス 有田焼の名門、十五代目を襲名 酒井田柿右衛門氏 伝統を幹に試行錯誤		日経夕刊	3.19			ひと 山伏になったイラストレーター 坂本大三郎さん	前田 洋平	毎 日	9.4
境野三次—伊勢崎織物の職人から工芸作家へ—	定松 晶子	群馬県立近代美術館研究紀要	8			私の中の明るい記憶 坂本繁二郎《郊外》	阪本 博文	瑞 垣	229
RELJINSHA GALLERY 「思考の層—作家は、何に執着するのか。」	岩田 俊彦 榑 貴美 傍 崇 湯 浅 克俊	美術屋・百兵衛	29			特輯 石橋コレクション 日本近代洋画篇 図版八 坂本繁二郎 帽子を持てる女	伊藤絵里子	国 華	1425
寂聴さんの走馬灯モノ語り 第6回 風狂(京都・寂庵)[榑莫山]	瀬戸内寂聴	目の眼	451						
「DOMANI・明日展」国立新美術館 未来を担う力作ズラリ[榑原澄人]	渋谷 和彦	産 経	1.9						
今月のとんぼの本 エデンの迷い道	坂口 恭平	芸術新潮	770						

坂本万七の文化財写真について—明治大学所蔵坂本万七研究所資料を中心に—	白政 晶子	明治大学博物館研究報告	19	現代美術の歩き方 異論反論・現代美術大和日英基金+ART Instituteによる7名の日本人アーティストのグループ展がロンドンで開催[佐々木加奈子]	美術の窓	364	
名著の衝撃 37 『望郷の舞』佐川美代太郎著 唯一無二すさまじい画力	呉 智英	東京夕刊	2.27	REIJINSHA GALLERY かざる。アートとくらす。	佐々木敬介 中村真弥子 山本 大也 わにぶちみき 美術屋・百兵衛	31	
レポート墨 佐久間敬墨象展		水墨画*	299	第27回奨学者のレポート 制作について	佐々木耕太	アクリラート(別冊)	2014
巻頭特集 こだわりの写真表現 ディテールが引き出す存在感 ④技法講座 vol.33 技法講座5 講師:佐久間公憲 白を塗り重ねてチュールの重なりを描く	佐久間公憲	美術の窓	367	中特集 現代の心象表現を考える 佐々木里華	磯部 靖	美術の窓	369
茶話マンガ 「友達いらない」描ききる [佐倉準]	伊藤 剛	朝日夕刊	10.4	武蔵野美術学校と激動の時代 油画と前衛のはざままで 座談会 甲田洋二×佐々木信平×栗原一郎		美術*	471
コミック 満喫漫玉日記 四コマ便 桜玉吉(作) 心に刺さる今の時代の空気	ササキバラ・ゴウ	朝 日	2.16	新しいコレクション 佐々木苑子《絵紺紬着物 風の香》	今井 陽子	現代の眼	605
本づくし 「さくらいさんと桜井さん」『Dreamed The Dream in The Dream 1957-1967 画家にならなかった少女の画集』桜井郁子著	須藤 玲子	A X I S	171	美術新人賞デビュー 2014 第2回	佐々木ひろゆき	美術*	462
第二十三回秀明文化賞贈呈式 受賞者の紹介 桜井貞夫	桜井 貞夫	秀明美術	21	著者に会いたい ノー・シューズ 佐々木マキさん 愛憎の街 おかしくやさしく	鈴木 繁 朝 日	8.3	
伊達藩の紙布 水戸で復活 紙漉き職人と二人三脚、断絶した白石の工芸を次代に	桜井 貞子	日 経	11.11	展覧会レビュー part 1 三つの視点 パルテュス展 画家の視点I 怒るパルテュス	佐々木 豊 美	美術*	466
青春プレイバック 洋画家 櫻井孝美 身近なものへの思いを絵筆に託す	和田 圭介	新美術新聞	1362	特集 アート・オブ・ザ・イヤー2014 私が選ぶアート・オブ・ザ・イヤー 2 新人 福島万里子の華麗なるデビュー	” ”	471	
街角アート 絶作[桜井祐一]	星野 清一	”	1359	日々好日 我思故脳在[われおもうゆえにのうあり]	佐々木里加	新美術新聞	1362
平成25年度京都市芸術新人賞及び芸術振興賞決まる[笹井史恵]	”	”	1340	初の女性報道写真家が講演[笹本恒子]		東 京	11.24
フォーカス・アイ 笹井祐子 自我意識への模索	河野 実	版画芸術	164	特集 プロ&通(ツウ)の「イチオシ!」93点 この新人が、欲しい! Part 1 手に入れるなら今のうち! 注目の最新世代34点 佐竹龍蔵	佐竹 龍蔵 小吹 隆文	美術*	467
特集 新人大図鑑 2014 未来のスター450名を一挙紹介! 評論家・ジャーナリストが選ぶ注目の新人13 笹岡啓子	笹原美智子	美術の窓	368	アート驚く歌舞伎町ポップで明るい街に [サダヒロカズノリ]	横井 武昭	東京夕刊	4.5
林忠彦賞に東京の笹岡さん		毎 日	2.19				

平成26年定期刊行物所載文献(近/作サ)

特集 乱反射する田名網敬一 田名網敬一先生に教わったこと	佐藤 允	瓜生通信	63	京都文化博物館で「生誕100年 佐藤太清展」	産 経	1.26
青春プレイバック 東京藝術大学教授 佐藤一郎 研究者、教育者、画家としての歩み	窪田 元彦	新美術新聞	1332	特集 銅版画家25人新時代を切り開く精鋭たち 佐藤妙子	佐藤 妙子	版画芸術 165
美術と美術館	佐藤可士和	NACT Review*	1	宮城文化考 佐藤忠良	美術屋・百兵衛	29
佐藤可士和のデザイン最前線	〃	朝 日		練馬のアトリエ村交流史 戦争を駆け抜けた芸術家たち、青春の日々を語り継ぐ [佐藤忠良]	中井 嘉文	日 経 10.23
「潔い世界観」が評判に			10.18	Interview 佐藤哲理 理事長 東光会の今—これからの東光会	佐藤 哲	新美術新聞 1342
ほめ言葉は「簡単そう」			11.15		佐藤 時啓	
「大掃除なし」の年末			12.13	佐藤時啓 光—呼吸そこにいる、そこにはいない	タカザワケン ジンタビューアー・構成	E Y E S 81
アンディ・ウォーホル展：永遠の15分「私の1点」3 佐藤可士和さん 最も純粋に「ポップ」	〃	読 売	3.25	モノクロームの世界—佐藤時啓の場合	青木 加苗	和歌山県立近代美術館ニュース 79
中特集 現代の心象表現を考える 佐藤京子	高山 淳	美術の窓	369	愛知県立芸術大学新音楽棟サインデザイン用書体の提案	佐藤 直樹	愛知県立芸術大学紀要 43
SPECIAL FEATURE 一生に一度は行きたい！世界のアートスポット 世界の3大ディーブスポット	佐藤 健寿	美術手帖	1005	支持体と絵画表現 諏訪直樹《波濤図》の考察を通して	佐藤 学	芸術学研究(筑波) 19
視線 夜光[佐藤信太郎]	北澤 憲昭	朝 日	12.21	特集 プロ&通[ツウ]の「イチオシ！」93点 この新人が、欲しい！ Part 1 手に入れるなら今のうち！注目の最新世代34点 佐藤舞梨萌	佐藤舞梨萌 倉林 美 術*	467
青春プレイバック 洋画家 佐藤泰生 スケッチ—手を動かして創造の転機へ	窪田 元彦	新美術新聞	1340	インタビュー画ガール 佐藤みちる	遠 藤 大 塚	女流画家協会会報 2
フェルディナント・ホドラー展を見てホドラー「凝視とリズム」	佐藤 泰生	〃	1359	陶による造形の独自性についての一考察—里中英人が1970年～1976年に制作した作品を手がかりに—	齋藤 敏寿	筑波大学芸術研究報告 63
視点 パリ通信—北と南のド・スタール展	〃	美術の窓	373	茨城の陶芸5 板谷波山と里中英人一産地と産業をめぐって—	花井 久穂	東洋陶磁 43
特集 魅力ある線を描く @技法講座vol.37 Essay 魅力ある線とは。	〃	〃	374			
平成26年、今美術教育を考える 美術教育に関する拡大研究委員会開催報告 後編	本郷 寛 田中康二郎 東良 雅人 岡田京子 中島千波 舩坂芳助 米林 雄一 入江 観 佐藤 泰生 山本 貞 五十嵐 三	連盟ニユース	451	彩り豊かな 理想の世界 緻密なタッチが映す国民性 マンガ家 里中満智子さん	今井 邦彦 聞き手	朝 日 4.17
				奈良県立美術館 語り継ぐココロとコトバ 大古事記展 記念シンポジウム トークショー 私たちの価値観の土台	里中満智子	朝日夕刊 9.25

- |   |          |                  |         |   |       |                  |       |
|---|----------|------------------|---------|---|-------|------------------|-------|
| 人生は夕方から楽しくなる<br>漫画家 里中満智子さん 本「秘密」のテーマ3本あります                                   | 田村 彰子    | 毎日夕刊             | 4. 18   | 茶話マンガ 初恋の手前 揺れる思い[サワミツノ]  | 伊藤 剛  | 朝日夕刊             | 4. 5  |
| 美の扉 日本の建築家 スイスで存在感「コンテクストの中で建てる」展 日本で手掛けたスイス人の建築[SANAA]                       | 黒沢 綾子    | 産 経              | 10. 12  | 道具への視線—ハイデガー的道具観と、例えば明漆会—[澤口滋]  | 丸田 健  | 大阪大学大学院人間科学研究科紀要 | 40    |
| 体験型展示装置「ことばあめ」の開発 巡回展に特化したインタラクティブアートを目指して                                    | 佐野 彰     | 九州産業芸術学会研究報告     | 45      | 4「読ん」で知るアート—アール・ブリュット 心地よいから作る[澤田真一]  | はたよしこ | 朝日夕刊             | 9. 10 |
| MONTHLY ADVERTISING TALK 瀧本幹也 佐野研二郎 高崎卓馬                                      | 佐野 彰     | COMMERCIAL PHOTO | 611     | 特集 日本の国宝 アートのちから 現代作家の作品に見る Part.3 沢藤穂子 夢想  | 高山 淳  | 美術の窓             | 372   |
| 2013毎日デザイン賞受賞者の横顔 アートディレクター 佐野研二郎さん 明るくほがらか持ち味にデザイン活動家 ナガオカケンメイさん ロングライブにこだわり | 永田 晶子    | 毎日夕刊             | 4. 17   | 廃墟写真の表象としての生と死、それを超越するもの—自作『廃墟サンクチュアリー』を中心として—[三五夢]   | 澤井 蘭夢 | 芸術学研究(京都造形)      | 5     |
| 読書 売れる本 坂本ですが? 1 2 佐野菜見(作) 奇跡と愛をもたらす美少年                                       | 佐々木俊尚    | 朝 日              | 5. 25   | 本よみうり堂 コミック館 今月の3冊 『僕だけがいない街』 3 三部けい著   |       | 読売夕刊             | 3. 31 |
| 「立体似顔絵」20年で600体 素材は発泡スチロール、影を頼りに削り色付け   | 佐野文二郎    | 日 経              | 7. 23   | (シ)   |       |                  |       |
| 入門講座 戦後70年と日本の絵本 2 大人の読者もとりこに 個性豊かな作家次々登場[佐野洋子]                               | 石井 光恵    | 日経夕刊             | 12. 11  | 特集 週刊少年サンデーの時代 トキワ荘から『うる星やつら』『タッチ』『名探偵コナン』そして『マガギ』『銀の匙』へ—マンガの青春は終わらない サンデーの時間 亡霊の遺言 『GS美神 極楽大作戦!!』 [椎名高志] | 藤岡 俊博 | ユリイカ             | 641   |
| エロディ・ロワイエ & ヨアン・グルメル『The Play / ザ・プレイ』(二~四)                                   | 橋本 梓     | 国立国際美術館ニュース      | 200~202 | 美術新人賞デビュー 2014 第2回  | 塩崎 綾子 | 美 術*             | 462   |
| 「第1回 PLAY展」   | 橋本 梓     | ''               | 203     | 鹿兒島文化考 洋画家・塩崎敬子の世界  |       | 美術屋・百兵衛          | 28    |
| 卵とプレイ   | ''       | ''               | 204     | 作家通信 元気のヒミツ 創作は心の閑静から   | 塩澤 玉聖 | 水墨画*             | 298   |
| 一九六八年の「ハプニング」[ザ・プレイ]  | ''       | ''               | 205     | Art Information 第56回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展 日本館展示の詳細が決定[塩田千春]   |       | ギャラリー一*          | 351   |
| 4「読ん」で知るアート レコードと美術音楽と陶芸のポップな融合[サマタマサト]                                       | 楠見 清     | 朝日夕刊             | 11. 12  | 第56回ヴェネチア・ビエンナーレ出品作家に塩田千春氏 展示プランは《掌の鍵》  |       | 新美術新聞            | 1346  |
| コミック 春風のスネグラチカ 沙村広明(作) ロシア舞台に描く歴史ドラマ  | ササキバラ・ゴウ | 朝 日              | 8. 17   | コンテンポラリー・ファインアート 第12回 塩田千春との往復書簡  | 大森 俊克 | 美術手帖             | 998   |

INFORMATION NEWS 世界最大の国際美術展 日本館代表決定！ 第56回ヴェネチア・ビエンナーレ、作家は塩田千春、キュレーターは中野仁詞に決定	編集部	美術手帖	1008					特集 銅版画家25人新時代を切り開く精鋭たち 重藤裕子	重藤 裕子	版画芸術	165
現代美術の歩き方 異論反論・現代美術第56回ヴェネチア・ビエンナーレ日本館展示内容発表 塩田千春×中野仁詞「掌の鍵」		美術の窓	370					水墨の最前線31 思い出を刷り込むようなコクのある墨色 重野克明	野地耕一郎	水墨画*	302
記憶の鍵 5万個を紡ぐ 来年のベネチア・ビエンナーレ 塩田千春さん 日本館で個展	西岡 一正	朝日	6.17					特集 銅版画家25人新時代を切り開く精鋭たち 重野克明	重野 克明	版画芸術	165
ベネチア・ビエンナーレの日本館出品作家に塩田千春さん		産経	6.5					第45回日展 新入選者寄稿一喜びと抱負一 私の彫刻	重松 濤	日展ニュース	152
ベネチア・ビエンナーレ 日本館代表に塩田さん	岸 桂子	毎日夕刊	〃					廣瀬慶二著 ペットと暮らす住まいのデザイン	重村 力学	鑑	111-1
ベネチア美術展 出品は塩田さん		読売	5.30					特集 台北國立故宮博物院 PART 3 アーティスト・研究者が語る故宮 中国美術と私1 書家 柴舟	島貫 泰介	美術手帖	1007
巻頭特集 こだわりの写実表現 ディテールが引き出す存在感 ⑧技法講座 vol. 33 技法講座1 講師：塩谷亮 西洋古典技法を応用して描く写実絵画	塩谷 亮	美術の窓	367					ツル籠は世紀を超える 山ブドウが材料、手作業が生む自然な模様と丈夫さ	志田 悠帆	日経	8.27
現代水墨画作家手本集18 潮見冲天 悠久の刻	潮見 冲天	水墨画*	307					特集 フィールドワークとツール フィールドワークとカメラ	下道 基行	建築雑誌	1665
分けないでわかるわかり方(陶)	塩谷 良太	多摩美術大学研究紀要	28					視点 今後の交流のために	〃	美術の窓	370
関西の陶芸展 塩谷良太・山添潤「対話の深度/ものの奥行き」	小吹 隆文	陶説	734					フェイス21世紀181 設楽俊 身近なものに心を寄せて	橋爪 勇介	新美術新聞	1337
問われる必要・必然性 向き合う画家の痛み[志賀理江子]	森本 智之	東京夕刊	3.4					「特別陳列」を見て	篠崎カツミ	職場美術	143
総特集 岩明均『風子のいる部屋』『寄生獣』『七夕の国』から『ヒストリエ』まで『寄生獣』によせて	施川ユウキ	ユリイカ	654					石田 勤一 すすきくみ 田中 俊行 井上 直子 高浦とみ子 篠田紀美代		ギャラリー*	348
第18回手塚治虫文化賞 短編賞「オンノジ」など 施川ユウキさん 愛と希望の終末ライフ	小原 篤	朝日	4.29					特集 第91回春陽展 6人の作家と作品			
手塚治虫文化賞大賞・羽海野さん「子どものそばにいるマンガ描けたら」[施川ユウキ]	〃	〃	6.3					日野原重明のアートで生き生き 第百十九回 篠田桃紅さんの美学	日野原重明	美術*	464
								TOKYO 発 消すことは描くこと 鉛筆画家 篠田教夫さん 漆黒の紙 消しゴムで息吹	荘加 卓嗣	東京	10.16
								特集 プロ&通[ツウ]の「イチオン！」93点 この新人が、欲しい！ Part 2 見逃せない最新作も！人気の若手作家40点 篠原愛	篠原 本江 愛 邦夫	美術*	467

青春プレイバック 篠原有司男 篠原乃 り子 キューティ &ボクサーの舞台裏 ニューヨークの〈青 春〉とインスピレ ーションのアンテナ	富井 玲子	新美術新 聞	1337	寄り道シネマ 話題 の一本 篠原有司男 &乃り子来日インタ ビュー『キューテ ィー&ボクサー』	篠原有司男 篠原乃り子	美術の窓	364
ARTIST INTERVIEW 篠原有司男・乃り子	成相 肇 聞き手	美術手帖	998	美術家夫婦の日常描 いた映画 米アカデ ミー賞候補に[篠原 乃り子]	大西 若人	朝 日	1.21
寄り道シネマ 話題 の一本 篠原有司男 &乃り子来日インタ ビュー『キューテ ィー&ボクサー』	篠原有司男 篠原乃り子	美術の窓	364	結び人 仏さま生む 喜び共に 84歳遅咲 き彫刻家に門下生[篠 原昌子]	和歌山章彦	日 経	5.18
美術家夫婦の日常描 いた映画 米アカデ ミー賞候補に[篠原 有司男]	大西 若人	朝 日	1.21	伝統工芸に現代の息 吹 江戸風鈴 客と 未来へ 上田紬 新 たな意匠 芝山細工 繊細な技継ぐ[篠原 由香]		〃	5.10
ウォーホル 闘いと 消耗と 篠原有司男 と見る大回顧展「ポ ップ文化に利用され た」	増田 愛子 篠原有司男 談	朝日夕刊	3.12	SPECIAL FEATURE バルテュス PART 2 LIFE 対談:節 子・クロソフスカ・ ド・ローラ×篠山紀 信 孤高の画家、そ の伝説と素顔	宮内 構成 周子	美術手帖	1004
特集 近代建築再読 ヴェネチア・ピエン ナーレ 座談「現 代建築の倉」に日本 型ポストモダンの可 能性を見る	植田 実、 伊藤 公文 話し手 篠原 聡子、恒、 北山 智治 真壁 智治 聞き手	建築雑誌	1662	月刊タカラヅカ 紀 信が切り取る多彩な ポスター 自称「写 真専科」攻めの姿勢 で14年	谷辺 晃子	朝日夕刊	2.28
TOKYO 発 シェア ハウスの「かたち」と は「日本建築学会 賞」受賞作に見る テント一枚の玄關 室内は吹き抜け[篠 原聡子]	杉戸 祐子	東 京	5.13	アートな本 篠山紀 信・横尾忠則著『記 憶の遠近術 篠山紀 信、横尾忠則を撮る』		東 京	12.14
ひと メキシコの日 系人らを撮り続ける 写真家 篠原誠二さ ん	庭田 学	毎 日	5.15	大浮世絵展「私の1 点」5 篠山紀信 さん ズドンと心に 響く写楽	篠山 談 紀信	読 売	1.24
びーぶる 小山司雲 ・篠原雪揚 二人展 にて		書 道 界	291	G80周年 篠山さん 激写		〃	3.3
私の作品の構成法 篠原貴之	篠原 貴之	水 墨 画*	299	現代水墨画作家手本 集20 芝龍郎 秋霖	芝 龍郎	水 墨 画*	307
作家通信 渋谷 Bunkamuraギャラ リーでの個展を終えて	〃	〃	301	巻頭特集 はずむ色 彩 配色・混色 秘 技法講座 vol.35 技 法講座9 講師:柴 崎博子 透明水彩で 逆光の中に潜む色彩 を描き出す	柴崎 博子	美術の窓	370
現代水墨画作家手本 集19 篠原貴之 アル ノ川散策 イタリア ア・フィレンツェ	〃	〃	307	純粹なる芸術 アー ル・ブリュットの世 界 柴田鋭一「せつ けんのせ」	中村 政人	東京夕刊	11.12
青春プレイバック 篠原有司男 篠原乃 り子 キューティ &ボクサーの舞台裏 ニューヨークの〈青 春〉とインスピレ ーションのアンテナ	富井 玲子	新美術新 聞	1337	明治の細密工芸 驚 異の超絶技巧! 明 治工芸の匠たち 柴 田是真 江戸っ子気 質の天才蒔絵師	小林 祐子	太陽(別冊)	217
ARTIST INTERVIEW 篠原有司男・乃り子	成相 肇 聞き手	美術手帖	998	INFORMATION ME- MORIAL 追悼 辰 野登恵子	柴田 敏雄	美術手帖	1016

平成26年定期刊行物所載文献(近/作シ)

喪友記 辰野登恵子 さんを悼む 米の幸 せな記憶	柴田 敏雄	日 経	10.17	巻頭特集 原寸で見 る!現代作家の技 形状や質に対する飽 くなき探求がディテ ールの写実性を高め る	島村 信之	"	371
特集 日本の国宝 アートのちから 現 代作家の作品に見る Part.3 柴田百合子 アウフヘーベン	柴田百合子	美術の窓	372	シベリア横断の画家 と小説家によるバリ 美術生活案内-島村 三七雄と林美美子	五十殿利治	美術運動 史研究会 ニュース	145
特集 ムーミンとト ーベ・ヤンソン ム ーミンと私の出会い	柴田ヨクサ ル	ユリイカ	649	特集 週刊少年サン デーの時代 トキワ 荘から『うる星やつ ら』『タッチ』『名探偵 コナン』そして『マ ギ』『銀の匙』へ-マ ンガの青春は終わら ない ロングインタ ビュー 島本和彦 焔然かく語りき『サ ンデー』でぼくらが 学んだこと	島本 和彦 斎藤 宣彦 聞き手	ユリイカ	641
Voice 12 人情のプ ラジル	渋谷 敏志	m u n d i	12	特集1 国宝の力 伝統技術という宝 人間国宝-重要無形 文化財保持者[清水 卯一]	小野 公久	目の眼	459
美の美 日本の家族 写真 中 夫婦は互 いに永遠の他者 視 線に交じる愛着と疎 外[島霞谷/島隆]	干場 達矢	日 経	10.5	月刊ブリドリー 最 終回 有終完美	志水 堅二	美 術*	461
美の美 日本の家族 写真 中 夫婦は互 いに永遠の他者 視 線に交じる愛着と疎 外[島尾伸三]	"	"	"	新・現代日本の作家 たち アトリエ寫眞 No.026 志水堅二	"	"	471
特集 日本の国宝 アートのちから 現 代作家の作品に見る Part.2 嶋田明子 風景の内から外へ	高山 淳	美術の窓	372	特集 デザイン思考 の誤解 「現状」「背 景」「本質」「これか ら」で把握。デザ イン思考は、なぜわ かりにくいのか?	廣川 淳哉 文 清水 淳子 イラスト	A X I S	168
神宮美術館所蔵 神 宮名品解説 洋画 いつもの広場で[島 田章三]	小山 朝子	瑞 垣	227	黒部の息吹切り撮る 13年かけ「八千八谷」 踏査、強く美しい自 然を写真集に	志水 哲也	日 経	2.21
コミック 九月十月 島田虎之介(作) 風景がドラマを予感さ せる	ササキバラ ・ゴウ	朝 日	12.7	画家と戦争 日本美 術史の空白 戦争を 描いた画家たち 清 水登之	追内 祐司	太陽(別冊)	220
芸術も経済も盛り上 げる 二足のわらじ [嶋田日出夫]		日 経	11.17	史料翻刻『昭忠碑記 録』[島田佳実]	藤井 素彦	新潟市美 ・新潟市 新津美研 究紀要*	2
世界蜂起展-松澤宥 「最終美術思考工房」 をめぐる 《世界 蜂起》いまこそネ ットワークとしての アート	嶋田 美子	あいだ	214	作品 島名毅 「初 恋」「突風」「卒業」		札幌大谷 大学紀要*	44
能登文化を紹介 島 袋道浩さん		読 売	2.6	波聞風間 伝統の染 織工芸 色彩への思 い 織りなす縁[志 村ふくみ]	多賀谷克彦	朝 日	12.7
巻頭特集 こだわりの 写実表現 ディテ ールが引き出す存在 感 ④技法講座 vol. 33 島村信之に聞く 写実表現で探る「美」		美術の窓	367	ひと 京都賞を受け た染織の人間国宝 志村ふくみさん	安部美香子	"	12.13



希望の織物 桜色 福島「三島の滝桜」子 孫樹使う[志村ふく み]	小原 智恵	朝日夕刊	9.22	福島県立美術館館蔵 品紹介 下村観山筆 「奇襲」	椎野 晃史	美術館だ より(福 井県美)	141
交遊抄 心に宿る美 [志村ふくみ]	若松 英輔	日 経	11.8	古典を血肉とした技 ・画想 下村観山展	宮川 匡司	日 経	2.5
波聞風問 伝統の染 織工芸 色彩への思 い 織りなす緑[志 村洋子]	多賀谷克彦	朝 日	12.7	アート小路 下村観 山展 挑戦の軌跡	岸 桂子	毎日夕刊	1.27
朝デジジャーナル ネットウォッチ ツ イッターで漫画家デ ビュー[史群アル仙]	丹治 吉順	〃	11.22	朦朧体 椰揄から本 流へ 西洋と日本 最先端行く気概[下 村観山]	井上 晋治	読 売	1.9
下岡蓮杖のキリスト 教絵画―「手本」を中 心とする考察	南 美幸	静岡県立 美術館紀 要	29	収蔵作品から 下村 良之介<月明を翔<ゆ く(哉<や)>>>	丸山多美子	ど お む	123
史料紹介と研究 下 岡蓮杖の最初期写真 ―在外写真コレクシ ョンを中心にして	谷 昭佳	東大画像 史料解析 センター 通信*	67	REVIEWS 爪でえぐ る身体性と、軽妙さ [謝花翔陽]	梅沢 和木	美術手帖	999
視線 下岡蓮杖 日 本写真の開拓者	北澤 憲昭	朝 日	4.13	4 [読ん]で知るア ート アール・ブリュ ット セオリーのな い表現[舛次崇]	はたよしこ	朝日夕刊	9.17
漫画文化醸した醤油 の町 千葉・野田市 在住の作家クラブ、 85年まで闊達な交流 [下川回天]	もろただし	日 経	11.25	琉球の衣ドイツに訪 ねて 明治に海渡つ た王国の染織物、繊 細な技を調査・復元	祝嶺 恭子	日 経	8.12
コミック 中学性日 記 シモダアサミ(作) 第二次性徴の姿に身 もだえ	南 信長	朝 日	3.2	明治の細密工芸 驚 異の超絶技巧! 明 治工芸の匠たち 正 阿弥勝義 新時代に ふさわしい彫金家	黒川 廣子	太陽(別冊)	217
特集 プロ&通(ツウ) の「イチオシ!」93点 この新人が、欲しい! Part 2 見逃せない 最新作も! 人気の 若手作家40点 下田 ひかり	下田ひかり 編集部・S	美 術*	467	特集 弥衛さん 桜 画廊、浅野さんとの 2人展	庄司 達	R E A R	33
街の風景 写し残す 神田の街を描き続け る会 下田祐治さん	石井紀代美	東 京	9.4	賞を獲った広告写真 2013-2014〜アワ ードに見る広告写真の 今〜宝島社	正田 真弘	COMMER- CIAL PHOTO	611
第45回日展 新入選 者寄稿―喜びと抱負― 作品のテーマと 私	下光 康洋	日展ニユ ース	152	極悪人に捨てがたい 魅力 人間の欲望を 描き続ける 漫画家 ジョージ秋山さん	岩崎 貴行	日経夕刊	7.23
館蔵資料紹介91 下 村為山画河東碧梧桐 賛「俳句革新記念 子規庵句会写生図」	上田 一樹	子規博だ より	128	RELJINSHA GAL- LERY FACE 展2013 -2014 選抜作家小 品展 VOL.1	小野有美子 加藤 由紀 菅野 静香 志世都りも 永原トミヒ 沼田 久雪 村上 紘一 Yogyami	美術屋・ 百兵衛	31
近代日本美術におけ る詩歌と文学―明治 期の絵画と和歌との 関わりから―[下村 観山]	小林 真結	鹿島美術 財団年報 ・別冊	31	シリーズ・具体美術 の作家5 白髪一雄		ギャラリー 一*	345
菱田春草 不熟の天 才画家 五浦で生まれ た名品 下村観山	稲葉 睦子	太陽(別冊)	222	革新と伝統 白髪 一雄のアクション ・ペインティング	平井 章一		
				国際的な評価の高 いアーティスト 白髪一雄は郷里・ 尼崎を愛した	編 集 部		

「具体」の中心作家、米国で初の回顧展開催 白髪一雄・元永定正がダラスへ	新美術新聞	1355			SPECIAL FEATURE 杉本博司 PART 2 5つの顔を持つ男 杉本博司について Chapter01 蒐集家 杉本博司先生のお宝 拝見	辛酸なめ子	美術手帖	1006
《泥にいどむ》と初期「具体」の作品構造—「アール・ブリュット」と「童美展」の比較を通じて[白髪一雄]	山本 淳夫	兵庫県立美術館研究紀要	8		歴史のヒーロー・ヒロイン 一休宗純	〃	本郷	112
4 [読ん]で知るアート 美術を楽しむコツ 事前の知識が大切[白髪一雄]	と に ~	朝日夕刊	10.22		村上春樹さん「女のいない男たち」 辛酸なめ子さん 車強い女性不信の念	〃	読売	4.22
作家自選作品集8 白澤恵舟 《涼》	白澤 恵舟	水墨画*	299		辛酸なめ子 の じわじわ時事ワード	〃	読売夕刊	
現代水墨画作家手本集21 白澤恵舟 秋澄む	〃	〃	307		レジェンド			4.2
賞を獲った広告写真 2013~2014~アワードに見る広告写真の今~凸版印刷	白鳥真太郎	COMMERCIAL PHOTO	611		テラハ			4.9
明治の細密工芸 驚異の超絶技巧! 明治工芸の匠たち 白山松哉 精緻な技術力で右に出るものなし	小林 祐子	太陽(別冊)	217		ぼちチャティブ			4.16
春の褒章684人28団体 しりあがり寿さんら受賞 鋭い視線の「へたうま」漫画家 しりあがり寿さん	板垣麻衣子	朝 日	4.28		グソクたん			4.23
新社会人の君へ 私が贈る3カ条 2個性 後から出せばいい しりあがり寿さん	堀口 元	〃	5.2		プリンセス・パン			4.30
春の褒章 都内75人 紫綬褒章 漫画家 しりあがり寿さん 時事漫画 震災に向き合う			4.28		すなば珈琲			5.7
乾漆による彫刻表現の可能性—新海竹蔵・山本豊市の作品実見調査を踏まえて—	江村 忠彦	多摩美術研究	3		伊達マスク			5.14
時に抗いし者たち—私の小菩薩峠(16)[新海竹太郎]	大谷 芳久	一 寸	60		スメハラ			5.28
特輯 明治の彫刻 図版七 新海竹太郎 ゆあみ	齊藤 祐子	国 華	1426		新宇宙服			6.4
対談 風の芸術家	梅原 新宮 猛 晋	美術京都	45		KENDAMA			6.11
風そよぐ彫刻は躍る新宮晋の作品 兵庫にミュージアム 自然感じる生き方を 全国に128点 東京・銀座にも	安部美香子 山田 優	朝日夕刊	7.2		ソーセージパン男子			6.18
					スカイツリー離れ?			6.25
					破れパンツ女子			7.2
					虎ノ門ヒルズ			7.9
					カラーラン			7.16
					徒歩暴走族			7.23
					虫歯ポーズ			7.30
					かつ江さん			8.6
					輪ゴムアクセサリー			8.13
					ノームコア			8.20
					DJ 献血マン			8.27
					リアル・ケン人形			9.3
					きのこたけのこ判別器			9.10
					アイス・バケツ・チャレンジ			9.17
					しゃべるイルカ			9.24
					キティは猫じゃない			10.1
					クロックノール			10.8
					ブラック女子会			10.15
					ウーパールーパー			10.22
					床ドン			10.29

バツ5			11.12	有楽町マリオン 30周年迎え受賞[菅順二]	大西 若人	朝日夕刊	10.15
双子コーデ			11.19				
自撮り棒			11.26				
ランドセルブーム			12.3	総特集 岩明均『風子のいる部屋』『寄生獣』『七夕の国』から『ヒストリエ』まで	須賀原洋行	ユリイカ	654
猫ホイホイ			12.10	心に届く人			
チュリユモフ・ゲラシメンコ彗星			12.17				
YouTuber(ユーチューバー)			12.24	作家通信 プラハ行き	菅原さちよ	水墨画*	304
辛酸なめ子のコンサート体験記 限りない天使のSexy	〃	〃	5.21	交遊抄 美術の応援団長	菅原 健彦	日 経	4.5
辛酸なめ子の民ソクッ学 大阪の参道 占い密集カオス	〃	〃	11.5	インタビュー画ガール 菅原陽子	遠大 藤塚	女流画家協会会報	2
On view 私のやきもの考	神農 巖	現代の眼	608	東京の名店や名所を双六に 東都のれん会[杉井ギサブロー]		東 京	12.29
第二十三回秀明文化賞贈呈式 受賞者の紹介 神農巖	〃	秀明美術	21	半歩遅れの読書術 アートな漫画 時代先取りした杉浦茂	黒川 博行	日 経	11.2
アニメ深掘り 「(物語)シリーズ」 安定したアバンギャルド[新房昭之]	小黒祐一郎	産 経	2.26	特集 プロ&通(ツウ)の「イチオシ!」93点 この新人が、欲しい! Part 2 見逃せない最新作も! 人気の若手作家40点 杉浦功悦	杉浦 功悦 外館 和子	美 術*	467
特集 銅版画家25人 新時代を切り開く精鋭たち 新名安奈	新名 安奈	版画芸術	165	装幀・近代日本文学を包む一判型・装幀表現(五葉・非水・雪岱・劉生・孝四郎)[杉浦非水]	岩切信一郎	一 寸	58
(ス)							
レポート墨 翠酒湖氏が水戸市の小学校で水墨の授業		水墨画*	298	大正時代末期から昭和初期における芸術家と服飾の関わりー杉浦非水を中心にしてー	藤田 麻希	bandaly	13
わたしたちの教室へようこそ 翠酒湖 現代水墨画講座		〃	306	作家自選作品集8 杉谷隆志 《上海蟹》	杉谷 隆志	水墨画*	299
連載(89、90) 近代美術資料 吹田草牧『渡欧日記』(続)	吹田 草牧	視 る	467、468	現代水墨画作家手本集23 杉谷隆志 峨眉 眉山月歌	〃	〃	307
末松正樹と占領下のフランス、そして日本	弘中 智子	近代画説	23	建築と美術館12 ポストモダン美術館のリノベーション[杉戸洋]	五十嵐太郎	美連協ニュース	121
戦後の巨匠 22 末松正樹・人生航路の“寄港地”ーさすらいの船旅の行く先ー	林 紀一郎	美術屋・百兵衛	28	新出の「野分文庫」についてー浅井忠の図案とその作品化をめぐるー[杉林古香]	和田 積希	MUSEUM	650
The World Wide Artist Vol.1 菅木志雄		ギャラリー*	354	美を楽しむ 杉全美帆子のイラストでわかる アート散歩	杉全美帆子	東 京	
菅木志雄が開いたもう一つの造形言語	峯村 敏明			アンディ・ウォーホル展ー永遠の15分 膨大な作品群の秘密 東京・六本木 森美術館			4.8
インタビュー 菅木志雄 2012年ロサンゼルス「もの派」展から、新しい流れが始まった	菅 木志雄	談					

平成26年定期刊行物所載文献(近/作ス)

ポルディ・ベッツ オーリ美術館展 東京・渋谷 Bunkamura ザ・ミ ュージアム 甘い 横顔 見ていたい				5.13	杉本博司インタビュー	三木あき子 聞き手		
こども展 東京・ 六本木 森アーツ センターギャラリー 優しい目に囲 まれて				6.10	SPECIAL FEATURE 杉本博司 PART 2 5つの顔を持つ男 杉本博司について		〃	〃
徒然草展 東京・ 赤坂 サントリー 美術館 兼好法師 の世界描く				7.8	CHRONOLOGY 杉 本博司の人生劇場	中村 水緒、 編集部 構成		
オルセー美術館展 東京・六本木 国 立新美術館 伝統 ・革新 火花散ら す				8.12	Chapter01 蒐集 家 古美術談抄録 田島充×杉本博司	編集部 構成		
ヨコハマトリエン ナーレ2014 横浜 美術館 新港ピア ほか 現代アートの 大冒険				9.9	Chapter01 蒐集 家 杉本博司先生 のお宝拝見	辛酸なめ子		
ウフィツィ美術館 展 東京・上野公 園 東京都美術館 芸術の都を彩る聖 人				11.11	Chapter02 数寄 者 ESSAY 数寄 こそもの上手な れ	千 宗屋		
デ・クーニング展 東京・中央区 プ リヂストン美術館 新しい裸体に挑む				12.9	Chapter02 数寄 者 CRITIQUE 数寄者・杉本のア ナクロニズム	松原 知生		
カバーインタビュー 杉本博司	上條 昌宏 インタビュー ・文	A X I S	171		Chapter03 建築 家	編集部 構成		
通信 J to A アジア へ 7 台湾視察 II 4つの美術館の話題 [杉本博司]	南條 史生	新美術新 聞	1342		Chapter04 演出 家	編集部		
インタビュー 杉本 博司(現代美術作家)	住吉 智恵	東京都庭 園美術館 ニュース	55		Chapter05 現代 美術家 対談 福 岡伸一×杉本博司 アートの起源は人 間の意識の起源な のか?	朽木ゆり子		
パリ公演レポート 杉本文楽 曽根崎心 中					Chapter05 現代 美術家 CRITIQUE 世界の死に方ー杉 本博司とデュシャ ン	建畠 哲		
SPECIAL FEATURE 杉本博司 PART 1 「今日 世界は死ん だ もしかすると昨 日かもしれない」展	杉本 博司		〃	1006	SPECIAL FEATURE 杉本博司 COLUMN 旅の持ち物		〃	〃
SPECIAL FEATURE 杉本博司 PART 1 「今日 世界は死ん だ もしかすると昨 日かもしれない」展					その1 書籍『近 代の超克』	鈴木 芳雄 構成		
INTERVIEW ジャ ン・ド・ロワジー ン構成	内田 伸一 構成				その2 検眼用の 眼鏡	〃		
INTERVIEW 渋谷 慶一郎	編集部 聞き手				その3 ぺんてる のシャープペンシ ル	鈴木 芳雄		
					その4 歌詞カー ド	鈴木 芳雄 構成		
					SPECIAL FEATURE 杉本博司 特別対談 船橋洋一×杉本博司	編集部 構成	〃	〃
					世界のアート事情 「新しい文楽、パリ へ」 伝統と現代美 術の融合に喝采[杉 本博司]	今津 京子 美連協ニ ユース		121

Report HIROSHI SUGIMOTO IN PARIS	目の眼	448	寄稿 星野真吾賞展 に入選して	鈴木 敬三 風 伯	90
ニューヨークで出会う アジアの美 第4回 二つの祖国 番外編 杉本博司「開島庵」 ヴェネツィア・建築ビエンナーレ 関連イベント	朽木ゆり子	"	456	クリエイターズワーク & ソウル 鈴木啓太	鈴木 啓太 A X I S 168
あとがきのもと 「図 説虹の文化史」杉山 久仁彦氏 古今東西 の文献を渉猟	日 経	1.26	英国の日本庭園 100 年後に再評価 明治 後期の留学生 半田 たきデザイン[鈴木 慈什]	増田 愛子 朝日夕刊	4.14
受賞学生インタビュー 第12回 MITSUBI- ISHI CHEMICAL JUNIOR DESIGNER AWARD 2013大賞	杉山 夏実	芸大通信	29	研究ノート 鈴木松 年(日本武尊・素戔 鳴尊図屏風)―右隻 主題の検討を中心 に―	石上 充代 アマリリス 113
特集 日本の国宝 アートのちから 現 代作家の作品に見る Part.2 杉山吉伸 絵という浸透膜	高山 淳	美術の窓	372	美の美 20世紀の美 神―マリリン・モン ロー 下 柔らかなさ しみ、生命力 今 も芸術家を突き動か す[スズキシン]	古賀 重樹 日 経 4.20
日本画家 杉山律夫	美術屋・ 百兵衛	29	作品 鈴木誠子 「EXISTENCE II」 「EXISTENCE IV」 「existence I」	札幌大谷 大学紀要*	44
作者という原因につ いて	祐成 政徳	東京造形 大学研究 報	15	教員は語る 芸大へ の期待・抱負・提言 第20回	鈴木 太郎 亮 芸大通信 28
場所・規則・遊び 鈴木昭男氏とサウン ド・アートを巡って	上村 博	芸術学研 究(京都 造形)	5	来年の干支ヒツジ知 ろう 上野動物園で 企画展[鈴木千晶]	小形 佳奈 東京 12.31
特集 日本の国宝 アートのちから 現 代作家の作品に見る Part.3 鈴木英子 強い想像力	高山 淳	美術の窓	372	特集 日本の国宝 アートのちから 現 代作家の作品に見る Part.1 鈴木竹柏 心のふるさと	高山 淳 美術の窓 372
東京国立博物館「特 集陳列 人間国宝の 現在(いま)」作家 インタビューより6 鈴木蔵 重要無形文 化財「志野」保持者	横山 梓	陶 説	731	明治の細密工芸 驚 異の超絶技巧! 明 治工芸の匠たち 鈴 木長吉 日本の鋳造 技術を海外に知らし めた名工	黒川 廣子 太陽(別冊) 217
鈴木治先生との二十 年	諸山 正則	視 る	467	特集 日本の国宝 アートのちから 現 代作家の作品に見る Part.3 鈴木力 な ぜ制作し続けるのか	鈴木 力 美術の窓 372
先生を偲び、いま思 うこと[鈴木治]	今泉今右衛 門	"	"	特集 光の表情を描 く ④技法講座 vol. 38 光はいかに表現 されたか? フラ・ アンジェリコの現代 性	鈴木 力 談 " 375
地球ギャラリー vol. 72 Iran ペルシャ の誇り	鈴木 革	mundi	12	生と死の循環 自然 と向き合う 震災後 …現実を直視する作 家[鈴木光]	渋沢 和彦 産 経 9.11
今月の一冊 国立国 会図書館の蔵書から 日本イメージの伝達 長谷川武次郎の挿絵 本[鈴木華邨]	大塚奈奈絵	国立国会 図書館月 報	644	特集 トーベ・ヤン ソン 鈴木マサル インタビュー デザ イナーが表現するム ーミンの世界	榎本 市子 美術手帖 1015
特集 第91回春陽展 6人の作家と作品	石田 勤一 すずきくみ こ 田中 俊行 井上 直子 高浦とみ子 篠田紀美代	ギャラリ ー*	348		

4 [読ん]で知るアート アール・ブリュット 作品の発掘と保存[鮎万里絵]	はたよしこ	朝日夕刊	9.24	アニメーションの世界とアート 第8回 心配しているのは、日本で良いアニメーションができなくなること。このままではアニメーターがいなくなるんじゃないか…。[須田正己]	ギャラリー一*	345
特集 プロ&通(ツウ)の「イチオシ!」93点 この新人が、欲しい! Part 1 手に入れるなら今のうち! 注目の最新世代34点 鈴木真理子	鈴木真理子 O JUN	美術*	467	中特集 現代の心象表現を考える 須田美紀子	磯部 靖	美術の窓 369
特別展「望月春江とその時代」講師: 鈴木美江		山梨県立美術館研究紀要	28	特集 国宝のすべて 須田悦弘さんが、国宝《山越阿弥陀図》を観る。	沢田眉香子	美術手帖 1013
コミック ナナのリテラシー 1 鈴木みそ(作) 電子書籍を個人で出してみた	南 信長	朝 日	2.9	本づくし 「さくらいさんと桜井さん」『Dreamed The Dream in The Dream 1957-1967 画家にならなかつた少女の画集』桜井郁子著	須藤 玲子	A X I S 171
街角アート 思い出の縁[鈴木実]	星野 清一	新美術新聞	1334	from the World パリの空の下、鯉の群れはたゆたう[須藤玲子]	淑子フォース田部	" "
まばたきの記憶 第21~26回	鈴木 康広	A X I S	167~172	デュフィ展 鉛筆が奏でる色彩のメロディー 2 たちあおい 輝き放つ 染織デザイン	須藤 玲子	東京夕刊 6.17
特集 森博嗣 『すべてがFになる』『スカイ・クロラ』から『MORI LOG ACADEMY』まで…クラフトマンの機知 女王回想	スズキユカ	ユリイカ	652	フロントランナー 日常ゆさぶる はみ出し女子 マサチューセッツ工科大学助教 スプツニ子!さん 「アートは世界を動かす力を秘めている」	進藤 健一	朝 日 1.4
塑造によるセルフ・ポートレートについて 芯棒の造形的意義と思想的意義	鈴木 雪絵	女子美術大学研究紀要	44	石見美術館わたしのおすすめ The Collection 澄川喜一《そりのあるかたち05》	左近充直美	グラントワニユース 39
SPECIAL FEATURE 一生に一度は行きたい! 世界のアート スポット PART 4 アーティストの美学に触れるアトリエ アトリエのセザンヌ	鈴木 理策	美術手帖	1005	追悼 加藤貞雄氏 人生の助っ人	澄川 喜一	新美術新聞 1343
On view 繰り返す型の造形思考	鈴木 滋人 今井 陽子 構成・文	現代の眼	606	特集 プロ&通(ツウ)の「イチオシ!」93点 この新人が、欲しい! Part 1 手に入れるなら今のうち! 注目の最新世代34点 炭田紗季	炭田 紗季 編集部・W	美術* 467
学芸員ノート 「木版摺更紗」—鈴木滋人氏の技—	水上嘉代子	遠山記念館だより	47	特集 女と男のヌード 1 諏訪敦 モデルという事件を描く		芸術新潮 776
すごしかたファースト。トラフ建築設計事務所・鈴木浩一さんに聞く、これからの住まい方		A X I S	171	あるヌード制作の現場より	編集部	
マンガで拝見 「コウノドリ」 鈴木木ユウさん		東京夕刊	6.28	静けさに満ちた強烈な体感	諏訪 敦	
須田国太郎による動物園での『スケッチブック』その他	橋 秀文	神奈川県立近代美術館年報	2012年度			
人間国宝に7人 落語の柳家小三治さんから[須田賢司]		毎 日	7.19			

諏訪敦的 偏愛ヌード12選	諏訪 敦 選・文			68回職美展 作品研究会(展示会場にて) 満田径子さん(ひばり) 依田八重子さん(水平環)	関上 弘 まとめ	"	143
特集 プロ&通[ツウ]の「イチオシ!」93点 この新人が、欲しい!		美術*	467				
Part 1 手に入れるなら今のうち! 注目の最新世代34点 金子英	金子 英 諏訪	英 敦		純粋なる芸術 アール・ブリュットの世界 関口忠司「つつしみなさい」	中村 政人	東京夕刊	2.12
Part 2 見逃せない最新作も! 人気の若手作家40点 渡辺遼	渡辺 遼 諏訪	遼 敦		白日会 of 精神—24人の作品と言葉から「希望という名の春一番」	関口 雅文	新美術新聞	1339
展覧会レビュー part 1 三つの視点 超絶技巧! 明治工芸の粋 工芸家の誇り、そして純粋なる継承		敦	"	TOKYO 発 カジュアル美術館 三星 関根正二 東京国立近代美術館 謎めく3人の「魔気」 自己陶酔…等身大の心情	出田 阿生	東京	9.21
SPECIAL FEATURE パルテュス Artist meets Balthus 02 諏訪敦 パルテュスが遺したボラロイド写真を読み解く	福住 康 聞き手・文	美術手帖	1004	7度目の小町「無の境地で」[関根祥六]		日経夕刊	2.20
巻頭特集 原寸で見る! 現代作家の技 少女の秘密[諏訪敦]	千早 茜	美術の窓	371	ふたたび、《位相—大地》をめぐって[関根伸夫]	G. U.	ソカロ	
支持体と絵画表現 諏訪直樹[波瀾図]の考察を通して	佐藤 学	芸術学研究(筑波)	19	(前編)			69
				(後編:万博編)			70
	(七)			コミック 火線上のハテルマ 1・2 せきやてつじ(作) 世界駆けるボディーガード	山脇 麻生	朝日	5.18
純粋なる芸術 アール・ブリュットの世界 SEIYA「無題」	中村 政人	東京夕刊	12.17	黒川紀章メモリアル INTER-DESIGN FORUM TOKYO 2013 『共生のアジアへ』 Towards Symbiosis of Asia シンポジウム「建築と美術館の未来」採録	妹島 和世、 浅田 彰、 南 雄介 青木 保 モデレータ 一 吉澤 菜摘 編集	NACT Review*	1
震災後を描く 3.11と表現者たち 2 住んでこそ感じる変化 被災地をアートで伝える芸大院生 瀬尾夏美さん 小森はるかさん		"	3.4	「伊東建築」先鋭の柱 薄くて透明 世界が評価 師弟3代、軽さ受け継ぐ「妹島和世」	窪田 直子	日経夕刊	7.18
純粋なる芸術 アール・ブリュットの世界 瀬尾ひろみ「神さま」	中村 政人	"	7.16	木村伊兵衛 今日の写真の先駆 没後40年に寄せて	瀬戸 正人	朝日夕刊	5.7
国立の彫刻家・関さんの風景画 ヌーボ一のラベルに 懐かしの里山に思いはせ[関頑亭]	明珍 美紀	毎日	11.20	特集 プロ&通[ツウ]の「イチオシ!」93点 この新人が、欲しい! Part 1 手に入れるなら今のうち! 注目の最新世代34点 勢藤明紗子	勢藤明紗子 幕内 政治	美術*	467
ビックアップ 関修一の世界 キャラクターデザイン・ワンダーランド		"	4.22	麦わら細工に思う(麦稈造形)	妹尾めぐみ	多摩美術大学研究紀要	28
展覧会ビックアップ 熊谷イサオ展	関上 弘	職場美術	142	「出雲四曲屏風」一岸 沢銚介作品を旅する	奈良 綾 濱田 淑子	芹沢銚介美術工芸館年報*	5

平成26年定期刊行物所載文献(近/作セ〜タ)

研究資料紹介 芹沢銚介作 絵本『妙好人因幡の源左』	門脇佳代子	芹沢銚介 美術工芸館年報*	5	RELJINSHA GAL- LERY 「思考の層— 作家は、何に執着す るのか。」	岩田 俊彦 榑 貴美 傍嶋 崇 湯浅 克俊	美術屋・ 百兵衛	29
特集1 生誕120年 芹沢銚介 蒐集から 生まれる創造		目の眼	456	特集 ムーミンとト ーベ・ヤンソン 闇 から光へ トーベ・ ヤンソンの画と筆致	祖父江 慎、 西村ツチカ 対談	ユリイカ	649
蒐集から生まれる創 造 芹沢銚介・長介 の思い出がつまった 骨董店		" "	" "	フロントランナー 自由奔放に本のカタ チ探る ブックデザ イナー 祖父江慎さ ん 『『こころ』はホ ラーかも。読み方限 定したくない』	中村真理子	朝 日	9.27
民芸の魂 職人が受け 継ぐ なお色あせぬ 型絵染の技 芹 沢銚介 没後30年	富田 律之	日 経	11.22	近年の新収蔵品から (3) 桜島コレクシ ョン[曾富一念]	松下 幸男	グリーン ルーフ	75
追悼 徳山詳直さん を偲ぶ	千住 博	新美術新聞	1362	特集 プロ&通[ツウ] の「イチオシ!」93点 この新人が、欲しい! Part 2 見逃せない 最新作も!人気の 若手作家40点 染谷 聡	染谷 聡 外館 和子	美 術*	467
【座談会】創造的な能 力とは『芸術を創 る脳』をめぐって	酒井 邦嘉 曾我 大介 羽生 善治 前田 知洋 千住 博	U P	501	特集 新人大図鑑 2014 未来のスター 450名を一挙紹介! 評論家・ジャーナリ ストが選ぶ注目の新 人13 染谷聡	外館 和子	美術の窓	368
美の美 「水」の生命 力 上 流動と落下 波に滝に飛沫に千変 万化 動的リズム、 生き生きと 葛飾、北 斎「諸国流廻り 下 野黒髪山きりふりの 滝」[千住博]	富田 律之	日 経	2.16	交遊抄 心安らぐ水 彩画[征矢野久]	柳澤 勝久	日 経	11.11
	(ソ)			50周年記念 主体展 を迎えて	返町 勝治	主体美術	95
Tokyo Art Naviga- tion NEWS vol.16[五 月女ケイ子]	杉瀬 由希	美術手帖	1014				
思い出す本 忘れない 本 強気な絵を手 に入れた 熊を放つ (上・下) ジョン・ アーヴィング(著)	五月女ケイ 子	朝 日	5.18	特集 気高く美しく 理想の女性像 水彩 でこそ表せる発散す る命のエネルギー	醍醐 芳晴	美 術*	466
アニメーションの世界 とアート 第8回 心配しているのは、 日本で良いアニメー ションができなくな ること。このままでは アニメーターがい なくなるんじゃない か…。[曾根きよ子]		ギャラリー 一*	345	神宮美術館所蔵 神 宮名品解説 染織 芭蕉布着物「風車[カ ジマヤー]」[平良敏 子]	平子 裕子	瑞 垣	228
ARTIST PICK UP 曾根裕	伊東 豊子	美術手帖	999	銅版画家多賀さん 交流展参加で訪問 あこがれの地 アル メニア 来年3月 横浜でも開催[多賀 新]	門田 直人	東 京	6.8
作家通信 色を楽し むワークショップ	園家 誠二	水墨画*	302	特集 第91回春陽展 6人の作家と作品	石田 勤一 すずきくみ こ 田中 俊行 井上 直子 高浦とみ子 篠田紀美代	ギャラリー 一*	348
日々好日 二つの狭 間で	園山 晴巳	新美術新聞	1336	高度成長期のビルに も味 工業的要素・ 職人技の共存が魅力、 仲間と再発見活動	高岡 伸一	日 経	5.20
美の美 片岡球子 火の山のごとく 下 自然の写生常に体当 たり 躍動する色 日本画に革新[園山 晴巳]	窪田 直子	日 経	7.6				



デザイン 高岡陽 《おのみちしぐさ(尾道市マナーキャンペーン/自転車マナー編)》、《「ONOMICHI Central Visitor Pier」サインロゴデザイン》、《「美実子の茶」パッケージデザイン》、《「かみのらぼ1号発刊》	高岡 陽	尾道市立大学芸術部文化学部紀要	13	特集 新人大図鑑 2014 未来のスター450名を一挙紹介! 評論家・ジャーナリストが選ぶ注目の新人13 高田安規子・政子	森 千花	美術の窓	368
文化勲章受章記念		新美術新聞		巻頭特集 原寸で見る! 現代作家の技 身近な素材を生まれ変わらせる細密技巧	高田安規子・政子	〃	371
高木聖鶴展 高木聖鶴さんの文化勲章受章記念展を祝う	菅原 教夫		1345	REVIEWS 03 ピクセルの鉱物を観察する「高谷史郎 明るい部屋」展	池田 剛介	美術手帖	1002
高木聖鶴展を観て	油井 一人		1348	「高谷史郎 明るい部屋」展 安村崇展 スキャンする視覚が導く美	大西 若人	朝日夕刊	1.8
器にうねる デコ盛り技 皿や壺に立体的な絵、名古屋の伝統を守る最後の一人	高木はるゑ	日 経	12.23	視覚を問う原点は写真 メディアアーティスト 高谷史郎	安芸 悟	日経夕刊	4.28
現代作家の視線02 高木優子		ギャラリー一*	349	映像が生まれる瞬間に焦点 高谷史郎さん個展		読 売	1.9
文化往来 女性4人が音楽・ダンス・写真で共演[高木由利子]		日 経	12.12	白日会 90年の歴史、これからの10年 90回展を迎えて	高梨 芳実	新美術新聞	1339
美術新人賞デビュー2014 第2回	高倉 直子	美 術*	462	特集 気高く美しく理想の女性像 絵画性と生々しさの葛藤の中で	〃	美 術*	466
TOPICS 第2回新エコー ドバリ浮世・絵展 大賞受賞 高嶋公康の世界 心地よい緊張感	磯部 靖	美術の窓	369	特集 教育考一暮らしと社会のエンライトメント 第1部 義務教育と建築教育 COLUMN 1 一般教養としての建築 フィンランドの初等教育段階における建築教育	鷹野 敦	建築雑誌	1657
特集 プロ&通(ツウ)の「イチオシ!」93点 この新人が、欲しい! Part 2 見逃せない最新作も! 人気の若手作家40点 高嶋英男	高島加藤 英男 大輔	美 術*	467	宮城文化考 アーティスト・鷹野アツシ		美術屋・百兵衛	29
即興画のインパクト 高島北海のフランスにおける交友と席上画実演	鶴飼 敦子	ジャポニスム研究	33	ARTIST INTERVIEW タカノ綾	北出智恵子 聞き手	美術手帖	1004
ART ESSAY 高島北海作「日本 亜伯楡ヶ岳図屏風」について	斎藤 郁夫	潮 流	120	現代美術の歩き方 異論反論・現代美術 インタビュー タカノ綾 日本では8年ぶりの個展が開催中		美術の窓	367
特集 百合文化の現在 「百合」の栽培に向けた土壌、日本	高嶋 リカ	ユリイカ	653	PICK UP book 8 災厄の後、戦争の前、高野文子は希望を語る。	佐々木 中	芸術新潮	780
〈コラム〉アートシーン ニューヨークとアートと僕1 青い目の浦島太郎	高田壽八郎	連盟ニュース	452	コミック ドミトリーともきんす 高野文子(作) こんなふうにならと会えたら	ササキバラ・ゴウ	朝 日	11.2
日々好日 艶やかな奴ら	高田 卓	新美術新聞	1359				
所蔵品紹介244 女のトルソ 高田博厚		石川県立美術館だより	369				

平成26年定期刊行物所載文献(近/作タ)

科学と融合 新境地の描線 高野文子の漫画「ドミトリーともきんす」余分な感情抑え 幾何学的に	上原 佳久	朝日夕刊	10. 21	古典庭園を起点としたインスタレーションについての研究 作品「育花雨」制作記録(岐阜県現代陶芸美術館の展示より)	高橋 治希	金沢美術工芸大学紀要	58
視線 まなざしに触れる 鷹野隆大著	北澤 憲昭	朝 日	10. 12	作家自選作品集9 高橋英男 《地球：皆のもの》	高橋 英男	水墨画*	300
カメラの目十選 近代フランス絵画より1~10	鷹野 隆大	日 経	4. 28、29、5. 1、2、5、6、9、12、13、15	現代水墨画作家手本集24 高橋英男 仲良し	〃	〃	307
特集 日本の国宝 アートのちから 現代作家の作品に見る Part. 3 高橋かね子空を想う	大澤 景	美術の窓	372	純粋なる芸術 アール・ブリュットの世界 高橋舞は「はつてる感じ」	中村 政人	東京夕刊	2. 19
「Jo Kley と学生たちの国際彫刻シンポジウム2013」の考察	朝野 浩行 高橋 来春 荒川 新一郎 黒田 千紘 板垣 大地	東京学芸大学紀要	66	フェイス21世紀189 高橋舞子 追憶の風景 森々と 深々と	和田 圭介	新美術新聞	1359
『犬と歩行視』展一創造の為のアーカイブ — “Dog and Site-Seeing/Sight-Seeing” — Archives for creation	高橋 悟	京都市立芸術大学美術学部研究紀要	58	名誉館長館話実施報告抄[高橋萬年]	新野 直吉	秋田県立博物館研究報告	39
ヨコハマトリエンナーレ2014 SPECIAL 集中連載第2回 インタビュー 絵本に穴を開ける虫[高橋悟]	勝俣 涼 聞き手・文	美術手帖	1012	写真は役立たずなのか? 震災3年後の問いかけ[高橋宗正]		芸術新潮	772
こんな書店が近所に欲しい 「あの商店街の、本屋の、小さな奥さんのお話」 高橋しん(作)	南 信長	朝 日	1. 19	PICK UP BOOK 2 一葉の過去に見る、失われたかもしれない未来と現在[高橋宗正]	佐々木 中	〃	774
高橋節郎先生の思い出	白石 和己	VOICE	15	INFORMATION VOICE LOST & FOUNDの主催者が語る 写真と死、それから愛	高橋 宗正	美術手帖	1004
高橋節郎研究ノート その地層学的な絵画表現について	北川 智昭	〃	〃	津波、写真、それから 高橋宗正著		日 経	3. 16
特集 プロ&通[ツウ]の「イチオシ!」93点 この新人が、欲しい! Part 2 見逃せない最新作も! 人気の若手作家40点 高橋大輔	高橋 大輔 仲世古佳伸	美 術*	467	修復報告—油彩画[高橋由一]	伊藤 由美	神奈川県立近代美術館年報	2012年度
特集 茶の湯と阿蘭陀焼 京焼の名工、高橋道八家の阿蘭陀写	編 集 部	淡 交	844	換骨奪胎 ホンマタカシの映像リテラシー 6 日本のピク トリアリズム[高橋由一]	ホンマタカシ	芸術新潮	773
視点 純粋に、一途に生きたタカハシノブオ[高橋信夫]	坂上義太郎	美術の窓	374	窓[高橋陽一]		日 経	3. 17
特集 日本の国宝 アートのちから 現代作家の作品に見る Part. 3 高橋信子 明けない夜はない	高橋 信子	〃	372	ポップカルチャーの最前線 まんたんプレス 人気健在「キャプテン翼」現役W杯戦士の憧れ[高橋陽一]	河村 成浩	毎日夕刊	6. 13
				「翼くん」葛飾から応援 作者・高橋さんの地元 バス車体にキャラクター／銅像にミサンガ		読 売	〃

特集 週刊少年サンデーの時代 トキワ荘から『うる星やつら』『タッチ』『名探偵コナン』そして『マギ』『銀の匙』『へーまんガの青春は終わらない 鮮烈! 清新!! 魅力溢れるイメージ』	ユリイカ	641		第68回 毎日映コンの顔 4 アニメーション映画賞 高畑勲監督 かぐや姫の物語 余白の裏側を感じて	広瀬 登	毎日夕刊	2.25
サンデーとは高橋留美子である	斎藤 環			連載 住むことから考えるU-35 2 空間のサイズ	高濱 史子	建築雑誌	1654
呪泉郷の潜勢力 「一みっくわーど」と『らんま1/2』[高橋留美子]	石岡 良治			特集 ビルディング・エンヴェロップ H & deMのエンヴェロップデザイン	〃	〃	1660
SPECIAL FEATURE 『かぐや姫の物語』の衝撃。	美術手帖	998		On view		現代の眼	609
SPECIAL TALK 対談：奈良美智×高畑勲 『かぐや姫の物語』はいかにして描かれたか?	宮村 周子 構成			[思考と制作]あるいは[言葉ともの]—高松次郎のノートの仕事	光田 由里		
SPECIAL TALK 対談：高畑勲×辻惟雄 日本美術とアニメーション	福住 廉 構成			高松次郎—ミステリーという「紐」は解かれるか	森 啓輔		
HISTORY 開拓者・高畑勲とアニメーションの革新史 1968-2013	野崎 透			高松次郎〈No. 162〉	神山 亮子	府中市美術館研究紀要	18
INTERVIEW スタジオジブリプロデューサー鈴木敏夫に聞く アニメーション映画監督 高畑勲とは何者か?	石井 芳征 聞き手・構成			ステージは世界 タニノクロウ 庭劇団ベニノ主宰 現実と幻想 美術でつなぐ高嶺格 演出家・美術家 核実験・原発事故を作品に	井上 秀樹	朝日夕刊	6.12
INFORMATION MEMORIAL 追悼 フレデリック・バック 膨大な手仕事でアニメーションを導いた開拓者	高畑 勲	〃	1000	特輯 明治の彫刻 図版三 高村光雲・後藤貞行ほか 西郷隆盛像	恵美千鶴子	国 華	1426
第15回芸術評論募集人選作発表 次席キャラクターを、見ている。[高畑勲]	塚田 優	〃	1012	作品紹介 高村光雲作《矮鶏置物》について	五味 聖	三の丸尚蔵館年報・紀要	19
文化の扉 はじめての鳥獣人物戯画 動物の謎 色あせぬ漫画のルーツ 想像力を喚起する工夫 アニメーション映画監督 高畑勲さん	朝 日	7.28		明治の細密工芸 驚異の超絶技巧! 明治工芸の匠たち 高村光雲 近代木彫の祖	黒川 廣子	太陽(別冊)	217
第68回毎日映画コンクール 選考経過と講評 アニメーション映画賞 「かぐや姫の物語」[高畑勲]	木船 園子	毎 日	2.1	研究実績修復 東京藝術大学大学美術館 高村光雲作「鷹(寿老)」		東京芸大保存修復彫刻年報*	2013年度
「知る権利侵される」高畑勲監督足立で講演 秘密保護法を考える女子会	藤沢美由紀	〃	3.17	高村光太郎『道程』前期論—巻頭三作品の解釈を中心に—	長尾 建	国語と国文学	1091
				宮沢賢治の受容における高村光太郎の位置に関する考察	松沢 寿重	新潟市美・新潟市新津美研究紀要*	2
				寂聴さんの走馬灯モノ語り 第9回 里見淳先生の形見の光太郎観音(京都・寂庵)	瀬戸内寂聴	目の眼	454
				高村光太郎(倉田雲平胸像)	酒井 良	礪山美術館報	34

## 平成26年定期刊行物所載文献(近/作タ)

礫山忌記念講演会 伯父 高村光太郎の 思い出	高村 規	礫山美術 館報	34	特集 プロ&通[ソウ]の「イチオシ！」93点 この新人が、欲しい！ Part 3 無名の新人からスターダムへ。美術新人賞「デビュー」受賞&入選作家19点 財田翔悟	財田 翔悟 本江 邦夫	〃	467
幻の女優 マダム・ハナコ[高村光太郎]	大野 芳	東京夕刊					
7 探索の旅 6 肉親が驚く花子の 過去			4. 22				
63、64 花子像の 行方 5、6			7. 14、15	自作を語る 田川久美子	田川久美子	自由美術	2014
こころの書 毛筆教育の担い手どう育てる 国学院大 古人手本に基礎を徹底 日本固有の美 多面的に学習[高村光太郎]	金塚 祐司	毎 日	9. 30	戦前期日本におけるマルセル・デュシャン受容について[瀧口修造]	平芳 幸浩	美術史	177
礫山忌記念講演会 伯父 高村光太郎の 思い出	高村 規	礫山美術 館報	34	インタビュー 稗田一穂氏に聞く一美術家の伝統と自由一	滝沢 具幸 聞き手	連盟ニュー ース	450
Global News Berlin ベルリンでも18禁！ 田亀源五郎の SM マンガにファン悶絶	かないみき 取材	芸術新潮	773	モチモチの木 挿絵の芽吹き 滝平二郎の版画 故郷・茨城で発見	長田 寿夫	朝日夕刊	8. 4
SPECIAL FEATURE ボーイズラブ 10人のマンガ家が語る！ ボーイズラブとマンガ表現 田亀源五郎	エスムラルダ 聞き手・文	美術手帖	1016	MONTHLY ADVERTISING TALK 瀧本幹也 佐野研二郎 高崎卓馬		COMMERCIAL PHOTO	611
名著の衝撃 27 『祝福王』たかもちげん著 宗教衝動を内側から描く	呉 智英	東京夕刊	2. 13	特集 プロ&通[ソウ]の「イチオシ！」93点 この新人が、欲しい！ Part 2 見逃せない最新作も！人気の若手作家40点 田口史樹	田口 史樹 編集部・S	美術*	467
生誕百年記念 高山辰雄展―「心の目で描け！」若き高山の挑戦	大神 健二	デアアルテ	30	特集 武井武雄 版 画の宝石		版画芸術	164
芸術と科学のあいだ 40 不確かな輪郭 無限の広がり[高山辰雄]	福岡 伸一	日 経	11. 16	§ 前文 § 武井武雄の刊本作品 武井武雄の版画作品			
《探録》 第8回新池袋モンパルナス西口まちかど美術館 トークショー「二人の芸術家と池袋モンパルナス」わが回想の長崎アトリエ村超・時代差対談	野見山曉治、 高山 登世 千石 英世 司会	あいだ	210	武井武雄―版画家としての生涯	山岸 吉郎		
作品を見る読む 3 ―高山良策―	小 林	かたりべ	114	美術新人賞デビュー2014 第2回	竹内 佳奈	美術*	462
SPECIAL FEATURE ボーイズラブ 10人のマンガ家が語る！ ボーイズラブとマンガ表現 宝井理人	平松 梨沙 聞き手・文	美術手帖	1016	特集 「近代日本画と工芸の流れ1868―1945」展記念シンポジウム 「東西文化の磁場―日本画と工芸の視点から」 竹内栖鳳が描いた西洋風景画―絵画と文学―	廣田 孝	京都国立 近代美術館 研究論 集	6
美術新人賞 デビュー2014 第2回 グランプリ	財田 翔悟	美術*	462	Focus 祇園祭・孟宗山見送り 『白地墨画竹林図』特別展示から[竹内栖鳳]	吉中 充代	京都市美 術館ニュー ース	207

特集 近代和風建築 その魅力と保護の展 望 近代和風建築の 魅力について 巨匠 の山荘一庭屋一如一 [竹内栖鳳]	中村 昌生	文化財*	614	夢二作品のキーワ ード	岡部 昌幸		
美の美 魚との対話 下 近代日本画の冒 険 みなぎる生氣生 け捕りに 自由な発 想、新境地開く[竹 内栖鳳]	宮川 匡司	日 経	7.27	肉筆画 スケッチ	子川さつき		
栖鳳 幻の作品発見 日本画巨匠、唯一の 油絵「スエズ景色」 今秋展示 113年ぶ りに公に		"	8.30	版画	木暮 享		
栖鳳 唯一の油絵発 見 日本画の巨匠 113年ぶり		毎日夕刊	"	デザイン	石川 桂子		
特集 プロ&通(ツウ) の「イチオン！」93点 この新人が、欲しい！ Part 2 見逃せない 最新作も！人気の 若手作家40点 竹内 大祐	竹内 大祐 編集部・S	美 術*	467	レタリングの先駆 者、夢二	"		
有楽町マリオン 30 周年迎え受賞[竹島 健二]	大西 若人	朝日夕刊	10.15	「婦人グラフ」の女 性絵と夢二美人	"		
特集 銅版画家25人 新時代を切り開く精 鋭たち 武田あずみ	武田あずみ	版画芸術	165	「アール・ゲー・ ボーテ」と「婦人グ ラフ」	"		
4 [読ん]で知るア ート 日本のステンド グラス オレンジ色 に輝く壺底[武田五 一]	田辺 千代	朝日夕刊	8.27	湊屋・柳屋の生活 デザイン	山野 英嗣		
純粋なる芸術 ア ール・ブリュットの世 界 武田拓「はし」	中村 政人	東京夕刊	1.29	夢二人形の発表	石川 桂子		
自作を語る 竹永重 矢	竹永 重矢	自由美術	2014	親しき人へー夢二 の手紙	川瀬 千尋		
特輯 明治の彫刻 図版二 竹内久一 伎芸天	古田 亮	国 華	1426	夢二、ついで栖家 [すみか]一少年山 荘	子川さつき		
版をめぐる秋[竹久 夢二]	古川 文子	岡山県立 美術館ニ ュース	106	詩歌と俳句 詩歌	石川 桂子		
論文 竹久夢二から 中原淳一へー人形と の接点から見る一	王 文萱	大正イマ ジュリイ	9	夢二と「宵待草」	"		
竹久夢二の世界 描 いて、旅して、恋を して		太陽(別冊)	221	詩歌と俳句 俳句	木暮 享		
新たな夢二像を求 めてー竹久夢二と 前衛	山野 英嗣			写真	岡部 昌幸		
肉筆画 日本画・ 油彩画・水彩画・ バステル画	小嶋ひろみ 子川さつき			竹久夢二 人生の 旅	編 集 部		
				芸術家コロニーへ の夢 榛名山美術 研究所	山野 英嗣		
				ベルリン、ヨハネ ス・イッテンの美 術学校で	"		
				竹久夢二と民芸	岸田 準二	日本の民 芸	648
				夢二が描いた欧州の 少女 未発表作2点 発見	山田 優 朝	日	9.17
				限定 要チェック！ 今に息づく夢二のロ マン 竹久夢二『黒 船屋』特別公開 10 ～23日 館長らの解 説で鑑賞	村手 久枝 東	京	9.5
				俳人夢二 生死の揺 れ 直筆 最後の句 初公開へ 生誕130 周年 群馬の記念館 発見	三沢 典丈	東京夕刊	5.10
				夢二、渡欧中の未発 表水彩		毎 日	9.17
				ハワイの夢二 何思 う 滞在時の作品見 つかる		読 売	4.4
				夢二 未発表の2点 ベルリンで駐在員に 贈る	"	"	9.17

平成26年定期刊行物所載文献(近/作タ)

ひと 京都精華大の 学長になる漫画家 竹宮恵子さん	佐藤 剛志 朝 日	2.7	追悼 多田美波さん 環境芸術に新たな地 平開く	松村 壽雄 産 経	4.3	
この人 京都精華大 学長に就任する漫画 家 竹宮恵子さん	村越 茜 東 京	2.12	「枠を超えた作家」多 田美波さん偲ぶ会	〃	6.5	
漫画家の卵 大学で 育てよ 漫画家 竹 宮恵子さん 仲間と 鍛え合い個性伸ばす	竹宮 恵子 田村 広济 聞き手	日経夕刊	3.5	幕末の江戸 空から 一望 古い測量図な ど参考、手書き鳥瞰 図で町並み再現	立川 博章 日 経	7.14
ひと 京都精華大の 学長となる漫画家 竹宮恵子さん	亀田 早苗 毎 日	3.14	作家通信 橘京身 鑑賞していただくこ との大切さ	橘 京身 水墨画*	299	
顔 竹宮恵子さん 京都精華大学長に就 任した漫画家	辻田 秀樹 読 売	5.5	特集 新人大図鑑 2014 未来のスター 450名を一挙紹介! 評論家・ジャーナリ ストが選ぶ注目の新 人13 橘京身	立島 恵 美術の窓	368	
ようこそ、新しい先 生 竹村博臣	竹村 博臣 瓜生通信	62				
評 建築 新宿瑠璃 光院白蓮華堂 新し い都市型寺院の姿[竹 山聖]	五十嵐太郎 毎日夕刊	10.8	特集1 大正デカダ ンス 大正デカダ ンス一画家たちの諸相 一[橘小夢]	瀬尾 典昭 大正イマ ジュリイ	9	
水墨の最前線 最終 回 自然への畏怖と 尊厳を水墨に託した 山水画 武山剛士	野地耕一郎 水墨画*	306	白日会 精神—24人 の作品と言葉から 「漂流記(赤いピアノ など)」	立花 博 新美術新 聞	1339	
特集 日本の国宝 アートのちから 現 代作家の作品に見る Part.1 田澤茂 神 仏習合、八百万の神 々	高山 淳 美術の窓	372	時代の証言者 建築 探偵 藤森照信 13 洋式建築「全部見る」 企て[立原道造]	柴田 文隆 読 売	1.28	
純粋なる芸術 アー ル・ブリュットの世 界 田島絵里「まる ちゃん」	中村 政人 東京夕刊	7.2	こころの玉手箱 写 真家 立木義浩 1 ~5	立木 義浩 日経夕刊	9.1~5	
コミック 子供はわ かってあげない (上 下) 田島列島(作) みずみずしい初恋に 悶絶	南 信長 朝 日	10.5	コミック いちえふ 1 竜田一人(作) 原発作業員たちの日 常とは	南 信長 朝 日	6.1	
特集 日本の国宝 アートのちから 現 代作家の作品に見る Part.3 田代久美子 心の振り子	高山 淳 美術の窓	372	MANGA レビュー 「いちえふ」第1巻発 売 「真実」でなく現 実描く[竜田一人]	戸谷 真美 産 経	4.23	
特集 プロ&通[ツ ウ]の「イチオシ」 93点 この新人が、 欲しい! Part 1 手に入れるなら今の うち!注目の最新世 代34点 多田さやか	多田さやか 小金沢 智	美 術*	467	マンガで拝見 「い ちえふ 福島第一原 子力発電所労働記」 竜田一人さん	東京夕刊	5.31
特集 プロ&通[ツ ウ]の「イチオシ」 93点 この新人が、 欲しい! Part 3 無名の新人からスタ ーダムへ。美術新人 賞「デビュー」受賞& 入選作家19点 多田 真理恵	多田真理恵 編集部・W	〃 〃	i活 漫画家は、な ぜ福島を描くのか[竜 田一人]	石戸 論 毎 日	6.13	
			未公刊史料「辰野金 吾氏演説」—辰野金 吾の(美術建築)観—	河上 眞理 近代画説	23	
			十二支「兄弟作」そ ろい踏み 辰野金吾ゆ かり 佐賀から4点、 丸の内に	熊田 明裕 毎 日	2.2	
			時代の証言者 建築 探偵 藤森照信 14 建築史「肉声」掘り出 す[辰野金吾]	柴田 文隆 読 売	1.29	

東京駅舎 設計者・辰野金吾 若き日のアイデア 装飾 渡欧時スケッチに酷似 あす開業100年式典				切り札は日本の伝統文化		4.16
		美術*	12.18	歌姫の心に届いたメール		4.23
				伝統文化のつくりかた		4.30
特集 アート・オブ・ザ・イヤー2014 追悼 辰野登恵子 確かな眼差しで切り開いた絵画の可能性	南 雄介	美術*	471	特集 乱反射する田名網敬一	瓜生通信	63
INFORMATION MEMORIAL 追悼 辰野登恵子	柴田 敏雄	美術手帖	1016	特集 乱反射する田名網敬一	"	"
喪友記 辰野登恵子さんを悼む 米の幸せな記憶	"	日 経	10.17	リアル導師の描く、圧倒的なる恍惚世界	宇川 直宏	
正攻法で開いた新地平 辰野登恵子さんを悼む	三田 晴夫	毎日々刊	10.7	田名網敬一先生に教わったこと	佐藤 允	
「版画アートコレクション」の作家 立堀秀明	松山 龍雄	版画芸術	166	対談 田名網敬一×東亨		
巻頭特集 見て楽しむ、描いて楽しむ風景画 (技法講座vol.34 実践! 風景画をマスターする(技法講座 4 講師:辰巳彰 ブルーを基調にした水辺の風景	辰巳 彰	美術の窓	369	生老病死の旅路 田名網敬一さん 作品に重なる空襲の光景	渡部 恵子 聞き手	読売夕刊 12.8
TATSUMI マンガに革命を起こした男[辰巳ヨシヒロ]	鈴木高橋 隆治	毎日々刊	11.21	シリーズ・具体美術の作家10 田中敦子	ギャラリー*	352
研究発表表(要約) 龍村平蔵の明治・大正における織物に関する考察	堺 若菜	近代画説	23	田中敦子と具体	加藤 瑞穂	
水墨の最前線28 コンテンポラリーな臥遊山水 田鶴濱洋一郎	野地耕一郎	水墨画*	299	伊藤加奈子さんを訪ねて 金山明、田中敦子が拠点とした大阪・妙法寺 共に歩んだアーティストの出発点・到達点(前編)	編集 部	
人・模・様 「描く喜び」支えに病と闘う[立石有美]	松下 英志	毎日々刊	1.11	シリーズ・具体美術の作家11 金山明	"	353
「建島覚造と戦後の彫刻―かたちをさぐる―」展より		和歌山県立近代美術館ニュース	79	金山明一吉原治良との隔たりを自覚した具体作家―[田中敦子]	加藤 瑞穂	
創作の秘密―建島覚造とフェスティバルホール of 壁面レリーフ	宮本 久宣			伊藤加奈子さんを訪ねて 金山明、田中敦子が拠点とした大阪・妙法寺 共に歩んだアーティストの出発点・到達点(後編)	編集 部	
磚子とウェーブをめぐって―建島覚造 生命体的イメージの行方―	浜田 拓志			平成二十五年度 修了生論文要旨 田中一光作「産経観世能」ポスターシリーズに関する考察	欧 翔	美史研ジャーナル 10
4「読ん」で知るアート 花魁文化とガガの靴	笛鼻 則孝	朝日々刊		MADO LIBRARY 田中一村作品集[増補改訂版] 監修・解説:大矢頼音	小森佳代子	美術の窓 364
母から授かったものづくり観			4.9	らいふプラス トラベルナビ 田中一村が愛した自然 鹿兒島・奄美大島 心打つ濃密な緑	鈴木 康浩	日経夕刊 9.10
				展覧会ピックアップ 佐藤幸子個展	田中 栄子	職場美術 142

特集 デザイン思考の誤解「現状」「背景」「本質」「これから」で把握。デザイン思考は、なぜわかりにくいのか? [田仲薫]	廣川 淳哉 文清水 淳子 イラスト	A X I S	168	平成26年、今美術教育を考える 美術教育に関する拡大研究会開催報告 後編	本郷 寛 田中康二郎 東良雅人 岡田京子 中島千波 松坂芳助 米林一雄 江藤泰生 山本貞三 五十嵐芳三	〃	451
ART TOPICS [田中和美]		日 経	10.9				
カプセル玩具 大人夢中「コップのフチ子」700万個の人気撮って見せて交流ユニークさ競う各社 [タナカカツキ]	安齋 耕一	朝日夕刊	11.1	巻頭特集 再興院展100年 その歩みと次代の画家たち 肖像画に託した師への思い 我が師とその作品4 田中青坪進むべき道を示した師の言葉		後藤 純男 美 術*	461
特集1 大正デカダンス 大正デカダンスー画家たちの諸相一 [田中恭吉]	瀬尾 典昭	大正イマジユリイ	9				
香山小島 ゆめの日のかけ 拾遺 [田中恭吉]	井上 芳子	和歌山県立近代美術館ニュース	77	特集 第91回春陽展 6人の作家と作品	石田 勤一 すずきくみ こ 田中 俊行 井上 直子 高浦とみ子 篠田紀美代	ギャラリ	348
「月映」とは何か?—100年目に解きほぐす試み [田中恭吉]	熊田 司	〃	81	レポート墨 VOCA賞に田中望氏「ものおくり」		水墨画*	300
純粋なる芸術 アール・ブリュットの世界 田中啓示「無題(青)」	中村 政人	東京夕刊	9.3	特集 新人大図鑑 2014 未来のスター 450名を一挙紹介! 日本画材を使った表現・VOCA賞受賞ものがたりを紡ぐ 田中望		田中 望 談 美術の窓	368
巻頭特集 原寸で見ると! 現代作家の技 樹木の表面の毛羽立ちと着色が支えるリアリティ	田中 圭介	美術の窓	371	田中ひろみの仏像女子が行く!	田中ひろみ 東 京		
SPECIAL FEATURE 中原浩大 自己模倣アーティストが語る 中原浩大 田中功起 件名: 忘れられたものたちのためにいくつかの輪郭線を描くこと	田中 功起	美術手帖	998	上野大仏 触れて 拜んで 満願成就			4.8
INFORMATION VOICE ドイツ銀行グループ「アーティスト・オブ・ザ・イヤー」選出を、田中功起が語る かたちをつくり、かたちを変える	〃	〃	1010	五百羅漢寺・普賢菩薩 オールバックに優しい顔			5.13
現代美術の歩き方 異論反論・現代美術 大和日英基金+ART Institute による7名の日本人アーティストのグループ展がロンドンで開催 [田中功起]		美術の窓	364	四天王像(勝覚寺) 腰をひねって躍動感			6.10
平成26年、今美術教育を考える 美術教育に関する拡大研究会開催報告 前編	本郷 寛 田中康二郎 東良雅人 岡田京子	連盟ニュース	450	十一面観音立像(弘明寺) 正面だけ横しま			7.8
				阿弥陀如来像(九品仏浄真寺) 9体の仏像 お迎え			8.12
				立木観音(中禅寺) 土石流から生還			9.9
				釈迦如来像(深大寺) 椅子の上 微笑む童顔			11.11
				千手観音(佐白山正福寺) 美しさに目がくぎ付け			12.9
				作家通信 故郷の川	田中みぎわ 水墨画*		302



レポート墨 田中みぎわ氏が場所と作品の関係を語る	〃	303	大特集 大人の修学旅行は、京都国立博物館で。僕らの京博70選！ 京博コラム2 建築[谷口吉生]	編集部	芸術新潮	779	
水墨の最前線34 しみ動く墨が描きゆく水墨 田中みぎわ	野地耕一郎	〃	305	特集 京都国立博物館・平成知新館の全て 平成知新館の設計について	谷口 吉生	文化財*	610
ライトアップ[田中みぎわ]		東京夕刊	6.23	日本の美術館建築における劇的空間是非論—谷口吉郎の東京国立近代美術館設計を中心に—	櫻間 裕子	フィロカリア	31
アクリリックス・ワールド84 田中幹	大島 賛都 取材・文	美術手帖	1014	すごしかたファースト。 suppose design office・谷尻誠さんに聞く、これからの住まい方		A X I S	172
コミック まちあわせ 田中雄一(作) 残酷で美しい奇想のドラマ	南 信長	朝 日	7.6	ステージは世界 タニノクロウ 庭劇団ベニノ主宰 現実と幻想 美術でつなぐ高嶺格 演出家・美術家 核実験・原発事故を作品に	井上 秀樹	朝日夕刊	6.12
田中有美研究(二)	斉藤 全人	三の丸尚蔵館年報・紀要	19	「平成26年度五島記念文化賞」贈呈式行われる 美術新人賞に谷保玲奈氏・宮本佳美氏		新美術新聞	1343
表紙の作品 田中頼璋《疎林残雪図》	関 根 潮 流	117	フェイ ス21世紀183 谷保玲奈 自然から得る感動を描く	橋爪 勇介	〃	〃	〃
フェイ ス21世紀190 田中里奈 「動物」に魅せられて	橋爪 勇介	新美術新聞	1362	レポート墨 第25回五島記念文化賞 美術新人賞に谷保玲奈氏ら		水墨画*	303
青春プレイバック 洋画家田中良 北の大地に佇み、凍える手で筆を握る	能美 栄子	〃	1334	純粋なる芸術 アール・ブリュットの世界 谷本光隆「王の旅路」	中村 政人	東京夕刊	4.2
日々好日 北辺に学ぶ	田中 良	〃	1345	展覧会ピックアップ 第6回 SESSA 展	田沼 達子	職場美術	141
SPECIAL FEATURE 『かぐや姫の物語』の衝撃。 MAKING 製作現場の挑戦 人物造形・作画設計 STAFF INTERVIEW 01 田辺修	叶 精二 聞き手・文	美術手帖	998	第29回館林平和展			143
コミック いちばんいいスカート 谷和野(作) 想像の先にふわりと運ぶ	山脇 麻生	朝 日	4.13	特集 近代建築再読 ヴェネチア・ビエンナーレ 建設と建築の二分化を超えて—「In the Real World」レビュー	田根 剛	建築雑誌	1662
ひと パフォーマンスで「結婚」を問うアーティスト 谷内恒子さん	西岡 一正	〃	9.18	きょうの人 田根剛さん 伊デザイン見本市「ミラノサローネ」参加 「ポジティブに」時計部品8万個で幻想空間	黒沢 綾子	産 経	4.11
雑貨の力	谷川 晃一	日 経	1.26	著者に会いたい 伝説の映画美術監督たち×種田陽平 種田陽平さん 昔の映画の話をする文化を	石飛 徳樹	朝 日	12.14
第1回本郷新記念札幌彫刻賞に谷口顕一郎氏		新美術新聞	1350				
特集 プロ&通[ツウ]の「イチオシ！」93点 この新人が、欲しい！ Part 1 手に入れるなら今のうち！注目の最新世代34点 谷口朋栄	谷口 朋栄 丸山 勉	美 術*	467				
“モダン”と“伝統”を生きた日本画家・谷口富美枝(1910-2001年)	北原 恵	待兼山論叢	48				

平成26年定期刊行物所載文献(近/作タ、チ)

アニメ「思い出のマーニー」美術監督 種田陽平 風景は油絵 光と陰を強調	勝田 友巳	毎日夕刊	7.23	丹下健三生誕100周年プロジェクトに伴う調査・研究	佐藤 竜馬	ミュージアム調査研究報告	5
特集 乱反射する田名網敬一 対談 田名網敬一×東芋		瓜生通信	63	香川県庁舎 設計から現在までの「物語」			
舞台を観る、楽しむダンスと美術の痛快な越境 鏑からでた実[東芋]		" "	" "	神谷宏治氏所蔵の丹下研究室関係写真資料について			
和紙人形が醸す江戸風情 母の教室を継ぎ20年、ジオラマ風の作品で情緒を再現	田端 華扇	日 経	2.6	学問の図像とかたち 159 思考の模型 空中の会所[丹下健三]	松本 文夫	U P	497
茶友[とも]をたずねて 第7回 「萩」 [田原陶兵衛(13代)]	森田 宗円	淡 交	844	芸術と科学のあいだ 8 建築と生物、中心軸を考える[丹下健三]	福岡 伸一	日 経	4.6
顔 東京駅復元の設計を担い、日本イコモス賞受賞 田原幸夫さん	辻本 芳孝	読 売	12.29	木の作家を訪ねて21 一木エクラフトの新世代 丹野雅景	村山 史歩	氷 華	56
新春 インタビュー 二人の日本画家に聞く[田淵俊夫]		新美術新聞	1332	作家通信 「雪中昇仙峡」制作ノート	団野 雅子	水墨画*	303
元気のひみつ 漫画家 田淵由美子さん 47歳でフルマラソン	佐々波幸子	朝 日	2.15	(チ)			
純粹なる芸術 アール・ブリュットの世界 玉浦航太「5月9日～7月30日」	中村 政人	東京夕刊	4.23	シンガポール・ビエンナーレ2013 チームラボの新作が大反響!!	編集部	美術手帖	998
生誕200年 ポストン美術館 ミレー展 2 刈入れ人たちの休息(ルツとボアズ) 光の中 ぐったりした気だるさ	玉村 豊男	" "	10.30	現代美術の歩き方 異論反論・現代美術 teamLab の快進撃 シンガポールでも大人気		美術の窓	366
特集 魅力ある線を描く ④技法講座vol.37 パステル・油彩 パステルの線を生かした街角スケッチ	田村 公男	美術の窓	374	現代美術の歩き方 異論反論・現代美術 チームラボのデジタルアート 日本、ニューヨークをはじめ、世界各地で展開する		"	371
私のお気に入り Vol.1 タムラサトルさん《ハートマシーン～#14》	タムラサトル	すずかけの庭	112	美しい日本語が降る 来月、恵比寿で[チームラボ]		東京	7.22
連載 風のざわめき 時のささやき 第2～12回	田村能里子	美術*	461～471	連載 未来にココにあってほしいから一名建築を支える名オーナーたち 4 インタビュー 近角真一 求道学舎		建築雑誌	1657
本江邦夫の「今日は、ホンネで」 第81回 洋画家 田村能里子	田村能里子、本江 邦夫	対談	472	特集 プロ&通[ツウ]の「イチオシ！」 93点 この新人が、欲しい! Part 1 手に入れるなら今のうち! 注目の最新世代34点 地藏ゆかり	地藏ゆかり 武内 竜一	美術*	467
美食の場で「実りの谷の風を聴く」 日本橋高島屋[田村能里子]		産 経	5.1	レポート墨 OASIS 一描き手を支える裏方の存在-[千々岩修]		水墨画*	298
丹下健三の都市軸構想と階層構造法に関する考察 丹下健三の都市デザイン その1	荻谷 哲朗	日本建築学会計画系論文集	696				

INFORMATION BOOK 時代を超えた前衛コ ラボレーション『す てたろう』 粟津潔 の劇画×秩父前衛派 の音楽	編集部	美術手帖	1014	評 建築 大多喜町 役場(千葉県) 過去 と現在つなぐ試み[千 葉学]	五十嵐太郎	毎日夕刊	6.18
巻頭特集 原寸で見 る!現代作家の技 ハッチングと金箔が 織りなす桃源空間	智内 兄助	美術の窓	371	連載 海図の切れ端 —現代建築批評再考 5 「批判的地域主 義に向けて—抵抗の 建築に関する六つの 考察」ケネス・フラ ンプトン(ハル・フ ォスター編『反美学 —ポストモダンの諸 相』所収)	千葉 元生	建築雑誌	1664
現代水墨画作家手本 集25 千野曜生 海 霧	千野 曜生	水墨画*	307	成田市の写真家・古 庄さん 航空156社 搭乗 ギネス記録認 定 「もっと伸ばし たい」[チャーリー古 庄]		東京夕刊	6.18
問われる必要・必然 性 向き合う画家の 痛み[千葉和成]	森本 智之	東京夕刊	3.4	オンリーワン 茶園 勝彦の砂像彫刻 は かなさに込める「精 神」	市原 尚士	読 売	12.21
作家自選作品集7 千葉玄象 《映影 No.1 No.2》	千葉 玄象	水墨画*	298	木彫り熊、伝統刻み 継ぐ 発祥地とされ る道南八雲町で手彫 り技の講座	千代 昇 日 経		6.18
現代水墨画作家手本 集26 千葉玄象 溪 谷(秩父)	〃	〃	307	入門講座 戦後70年 と日本の絵本 2 大人の読者もとりこ に 個性豊かな作家 次々登場[長新太]	石井 光恵	日経夕刊	12.11
文化功労者 文化勲 章 喜びの7人 ち ばてつや氏 漫画認 められ喜び		朝 日	10.25	Re view 震災後の 「国立・近代・美術 館」[Chim ↑ Pom]	相馬 千秋	現代の眼	607
文化功労者 喜びの 声 文化勲章 日本 人の生き方を描き残 す 漫画家 ちばて つやさん		産 経	〃	問われる必要・必然 性 向き合う画家の 痛み[Chim ↑ Pom]	森本 智之	東京夕刊	3.4
名著の衝撃 9 『餓 鬼』ちばてつや著 最後まで救いがなく	呉 智英	東京夕刊	1.17				
文化 土曜訪問 漫 画界をけん引する ちばてつやさん(漫 画家) 法の網広がり が怖い	岩岡 千景	〃	2.1				
児童ポルノ 6年連 続 被害最悪 スマ ホ普及で流通増加 改正児童ポルノ禁止 法 成立 自由の犠 牲は甚大 漫画家の ちばてつやさんの話		〃	6.18				
文化勲章・功労者 喜びの声 漫画家 ちばてつやさん 文 化の一つと認めてく れた		〃	10.24				
文化功労者 喜びの 声 ちばてつやさん 隠れて読み とりこ に	猪飼 健史	毎 日	10.25				
東北に耳を傾けて 岩手、酒田、南相馬 で	千葉奈穂子	あ い だ	211				
特集 フィールドワ ークとツール 地図 と自転車	千葉 学	建築雑誌	1665				
						(ツ)	
				築城則子 「小倉織 は融通が利かない織 物。その制約が魅力 なんです」		芸術新潮	778
				新しいコレクション		現代の眼	
				二十代堆朱楊成《彫 漆六華式平卓》	北村 仁美		604
				二十代堆朱楊成《彫 漆視箱 玄鶴》	内藤 裕子		609
				群馬文化考 洋画家 ・塚越仁慈		美術屋・ 百兵衛	31
				ART WAVE 第49回 主体展特別企画 司 修氏 講演「イメー ジの迷路」	榎本香菜子	主体美術	95
				特集 住宅と都市の あいだで 建築の産 業化がもたらしたも の	塚本 由晴	建築雑誌	1661

特集 百合文化の現在 それが恋なら必然—『彼女とカメラと彼女の季節』の写した彼女と彼女と彼女について	月 子 玉木 サナ 聞き手 ユリイカ	653	関東の陶芸展 笠間焼ソースポット、大子漆皿製作発表会[辻徹]	外館 和子 陶 説 730
連載 震災復興プロジェクト 「失われた街」模型復元プロジェクト	規橋 修	建築雑誌 1654	特集 日本の国宝アートの中から現代作家の作品に見るPart.3 辻みどり ロマン	高山 淳 美術の窓 372
連載 EDITORS' CAFE 11 変化するまちづくりの潮流をめぐって	太田 浩史 話し手 規橋 修、 規橋 優美、 神吉 孝則、 福岡 三恵 聞き手	1664	特集 「黒」の新世紀—若き表現者たちのリアル 辻恵	美 術* 470
特集 フィールドワークとツール「記憶の模型」によるフィールドワーク	規橋 修	1665	「版画アートコレクション」の作家 辻元子 「絵画」となったリトグラフ	松山 龍雄 版画芸術 165
かぞくの肖像 消しゴムはんこ作家 津久井智子さん 梅子柚子 などでだけで気分転換	水野 梓	朝日夕刊 3.20	修復家の仕事台から—津田青楓が補筆した平福百穂の双鶴図	山領 まり 美術運動史研究会 ニュース 146
コミック 少女終末旅行 1 つくみず(作) 何もない世界さまよう2人	山脇 麻生 朝 日	11.16	津田直、石川直樹が語り合う 異色の修道院 ドキュメンタリー映画を今、私たちが見るべき理由	芸術新潮 776
大特集 デビュー60周年 つげ義春 マンガ表現の開拓者		芸術新潮 769	作品研究 土田麦僊《島の女》再考—[その1]部分と全体	三輪 健仁 現代の眼 609
グラフ 「つげ式」名場面	山下 裕二 選		この人に注目 土谷享 湖[うみ]の飛行機	美術手帖 1003
We Love TSUGE 1 「やなぎ屋主人」に一目惚れ	東村アキコ		「改組 新 第1回 日展」開幕を前に—平成26年度各科審査を終えて—新生日展の改革と今後 公益社団法人日展 奥田小由女・理事長、土屋禮一・副理事長/事務局長に聞く	新美術新聞 1359
We Love TSUGE 2 多摩川で、つげさんとすれ違いたい	戎井 昭人		座談会「改組新 第一回日展審査を終えて—明日への期待—」	奥田小由女、土屋禮一、藤森兼明、福本千恵、山本眞輔、宮田亮平、宮田亮平、杭迫柏樹、市澤静山 日展ニュース 155
総解説 初めての人のためのつげ義春 Q & A	山下 裕二 答える人		巻頭特集 原寸で見ると！現代作家の技 たらしこみで水の淀みと揺らぎを表現する	土屋 禮一 美術の窓 371
ロング・インタビュー つげ義春、語る。	山下 裕二 聞く人		大矢柄音対談シリーズ 「画家たちの夏」第2回 土屋禮一	” ”
つげ義春ワールドへ誘うために『つげ義春コレクション ねじ式/夜が掴む』	山下 裕二 紫 明	34	個人に戻り、感じ、表現 日本画の活性化と日展改革 日本画家 土屋禮一さん	宮川 匡司 日経夕刊 10.15
日本美術史不案内 62 速度に背いて[つげ義春]	佐藤 康宏 U P	500		
思い出す本 忘れない本 衝撃を受けたヘンテコな世界 ねじ式 つげ義春(作)	蛭子 能収 朝 日	9.21		
連載 住むことから考えるU-35 8 都市に住まう	辻 琢磨 建築雑誌	1661		

特集 日本の国宝 アートのちから 現 代作家の作品に見る Part.3 筒井スミ子 心の歌	高山 淳	美術の窓	372	戦後の巨匠 25 鶴 岡政男の“手”の仕事 を見る	林 紀一郎	美術屋・ 百兵衛	31
特集 日本の国宝 アートのちから 現 代作家の作品に見る Part.3 筒井義明 そのためのささやかな 事情	筒井 義明	”	”	純粹なる芸術 アール ・ブリュットの世 界 鶴川弘二「無題」	中村 政人	東京夕刊	8.6
大特集 ほんとうは 教えたくない パリの 小さな美術館	都築 響一	芸術新潮	773	画家と戦争 日本美 術史の空白 戦争を 描いた画家たち 鶴 田吾郎	追内 祐司	太陽(別冊)	220
「アフリカ美術に やられてしまい」 ダッペール美術館							
「辺境の地で、逆風 のなかで、あくま で先鋭的」 cneai [国立複製出版芸 術センター]							
著者に会いたい 都 築響一さん ひとり で生きて何が悪い!	大上 朝美 朝	日	2.23	郷土の作家たち D. D. (ディー・ディ ー) 北脇昇	笠木日南子 山田 諭	アートペ ーパー	95
ニュースの扉 都築 響一さんと見る日展 新生? 変わらぬレ トロな空間 都築の 目 見ておくべき日 本美術の「現実」	大西 若人	”	11.24	巻頭特集 原寸で見 る!現代作家の技 色彩のグラデーショ ンと無数の顔が生む 幸福感[できやよい]	編 集 部	美術の窓	371
ART WAVE 第49回 主体展特別企画 主 体美術神奈川作家展 報告—45回の節目を 迎えて—	續橋 守 藤原 アツ	主体美術	95	日々好日 めぐりあ う	手銭 吾郎	新美術新 聞	1348
慶応義塾所蔵作品調 査・保存活動[椿貞 雄]		慶応義塾 大学アー ト・セン ター年報	21	角田文衛博士と岸本 綾夫將軍市長そして 「マンガの神様」手塚 治虫	山田 邦和	土 車	127
額縁の調査と保存修 復 米沢市上杉博物 館所蔵 椿貞雄「自 画像」の額縁を例に	森 直義 大場詩野子	東北芸工 大保存修 復センタ ー年報*	5	手塚遺稿25年ぶりの 目覚め 机の引き出 しから発見	小原 篤	朝日夕刊	4.11
思い出す本 忘れな い本 大人の「真剣 さ」にひかれ 怪獣 画報 円谷英二(監 修) イラストレー ター、エッセイスト みうらじゅんさん	みうらじゅ ん	朝 日	7.20	手塚治虫さん「火の 鳥」愛蔵版 羽ばた く「命」の象徴 没後 25年 各地でイベン ト	戸谷 真美 産 経		1.8
コミック ムシユン 1 都留泰作(作) SFか、エロか、ギ ャグか!?	南 信長	”	8.24	日本史に手塚漫画登 場 やや難問、近現 代問う		東 京	1.19
特集 気高く美しく 理想の女性像 飾り 立てないありのまま の女性らしさ	鶴 友那 美	術*	466	名著の衝撃 38 『ラ イオンブックス』手 塚治虫著 時代先取 りしたSF 短篇	呉 智英	東京夕刊	2.28
作品ひとつ[鶴岡政 男]	徳江 康行	群馬の森 美術館ニ ュース	156	ライトアップ[手塚 治虫]		”	5.23
				思うままに 『火の 鳥』を読む(四) 思 想は宇宙人[手塚治 虫]	梅原 猛	”	12.1
				手塚治虫さん机 25 年ぶり開く 中から 遺作原稿や好物のチ ョコ		毎日夕刊	4.2
				巻頭特集 再興院展 100年 その歩みと 次代の画家たち 肖 像画に託した師への 思い 我が師とその 作品 8 平山郁夫 指導者となつたいま 思う、師の偉大さ	手塚 雄二 美 術*		461

(テ)

巻頭特集 見て楽しむ、描いて楽しむ風景画 ⑧技法講座vol.34 ベテラン作家が描く心に残る風景画 手塚雄二	編集部	美術の窓	369							「第6回網谷幸二賞」贈呈式行われる 山下耕平氏と寺林武洋氏 受賞の喜び語る 3年ぶりに男性、しかもダブルで	新美術新聞	1340	
旧長崎大司教館における建築工事の実態 [鉄川与助]	喜田 信代 羽深 久夫	日本建築学会計画系論文集	703							第6回 網谷幸二賞 山下耕平さん 内なる情念 画面に奨励賞 寺林武洋さん 人間くささを追求	岸 桂子 山下 裕二 原 久子 鴻池 朋子	毎日	2.27
特集 いまなお輝く昭和の洋画家たち 木下孝則先生と女性像のこと	寺井 重三	美術*	468							Topics 第6回 網谷幸二賞贈呈式 地方での真摯な活動に賛辞 山下耕平、寺林武洋の両氏に	山下 耕平 寺林 武洋 谷 幸二 岸 桂子	毎日夕刊	3.19
陶彫家寺内信一に関する先行研究とその問題点	西村佳菜子	崇城大学芸術学部研究紀要	7							茨城の陶芸1 作家自身を語る 笠間の地に自由を求めて	寺本 守	東洋陶磁	43
柳行李伝統枯らさぬ 兵庫県豊岡市で1200年の歴史 変わらぬ製法伝える	寺内 卓己	日 経	8.14							4 [読ん]で知るアート 沖縄の表現 既存の美術に風穴[照屋勇賢]	翁長 直樹	朝日夕刊	2.26
白日会 90年の歴史、これからの10年 九十周年を迎えて思う	寺久保文宣	新美術新聞	1339							特集 新人大図鑑 2014 未来のスター 450名を一挙紹介! 評論家・ジャーナリストが選ぶ注目の新人13 出和絵理	大長 智広	美術の窓	368
特集 今あらためて巨匠に学ぶデッサンの技 デッサンとは何か?伊藤廉の定義をめぐって	〃	美術の窓	364							原点 落書き 美は「過剰な装飾」の中に 天明屋尚さん 現代美術家	井上 晋治	読売夕刊	11.15
光風会展100回記念会員相和し、基本を重んじ、1世紀[寺坂公雄]		新美術新聞	1338										
抄録 第45回日展シンポジウム「日本の美 今を観る」 [寺坂公雄]	日展ニュー ス委員会	日展ニュー ース	151										
光風会展100回の歩みと展望 寺坂公雄×藤田一人	寺坂 公雄、 藤田 一人	美 術*	463							美術新人賞 デビュー2014 第2回 準グランプリ	木村まどか 土井 沙織	美 術*	462
特集 心に染みる風景 今、描き残したい山麓の風景	寺坂 公雄	〃	465							特集 プロ&通[ツウ]の「イチオシ!」 93点 この新人が、欲しい! Part 3 無名の新人からスターダムへ。美術新人賞「デビュー」受賞&入選作家19点 土井沙織	土井 沙織 河嶋 淳司	〃	467
中特集 光風会 第100回記念展 光風会理事長・寺坂公雄氏に聞く「100回展を迎えて」	編集部	美術の窓	367							賞を獲った広告写真 2013-2014~アワードに見る広告写真の今~レコチョク	土井 文雄	COMMERCIAL PHOTO	611
洋画家たちの青春 白馬会から光風会へ下 杉浦非水 非水創作圖案集(文雅堂)より 今も斬新な装飾性	寺坂 公雄	東京夕刊	4.4							鹿児島文化考 鹿児島島の偉大な画家たち 東郷青児		美術屋・百兵衛	28
ダイオウイカ「再び」国立科学博物館で企画展[寺田克也]	原 尚子	東 京	7.4							現代作家紹介 唐仁原希一遊戯する内なる子供たち	吉岡 洋	美術フォーラム21	29
作品を見る読む 1 寺田政明	小 林	かたりべ	112							SPECIAL FEATURE ボーイズラブ 10人のマンガ家が語る! ボーイズラブとマンガ表現 トウテムポール	横井 周子 関き手・文	美術手帖	1016

(ト)

今川焼き	東野 光生	日 経	6.1	美を楽しむ 水が彩る 禪の境地 染色ふすま絵、建仁寺に 禪寺=水墨画 イメージ破る[鳥羽美花]	野村由美子	東 京	12.23
4 [読ん]で知るアート 日本のステンドグラス オレンジ色に輝く壇底[東畑謙三]	田辺 千代	朝日夕刊	8.27				
日々好日 今日この頃	東樋口 徹	新美術新聞	1351	わたしたちの教室へようこそ 飛田硯水 日退協水墨会			水墨画* 306
特集 プロ&通[ツウ]の「イチオシ!」93点 この新人が、欲しい! Part 1 手に入れるなら今のうち!注目の最新世代34点 道甫	道添田 甫 達人	美術*	467	SPECIAL FEATURE 中原浩大 自己模倣アーティストが語る 中原浩大 富井大裕 中原浩大の造形	富井 大裕	美術手帖	998
堂本印象の線描にみる岩絵具の使用法とその表現効果 法然院襖絵を中心に	中尾 泰斗	芸術学研究(筑波)	19	現代美術の歩き方 異論反論・現代美術大和日英基金+ART Institute による7名の日本人アーティストのグループ展がロンドンで開催[富井大裕]		美術の窓	364
景気も上がれ 千葉・風作り最盛期[土岐幹男]	喜屋武真之介	毎日夕刊	12.4	アートとわいせつ 狭間で 3Dプリンター用性器データ送信[富井大裕]	大西 若人	朝 日	7.23
純粋なる芸術 アール・ブリュットの世界 時枝和美[無題]	中村 政人	東京夕刊	10.22	第292回水曜講演会「鉄斎の山水、近代の山水」[富岡鉄斎]	鶴見 香織	出光美術館館報	168
歴史手帖 徳川慶勝と明治の写真師	白根 孝胤	日本歴史	789	丹青閑話 第39話一富岡鉄斎「蓬萊仙境図」	島尾 新	美術の窓	370
与謝野晶子「幻の直筆短歌」親交洋画家 遺品から発見[徳永柳洲]	小林 一彦	毎 日	4.6	リレーエッセイ51 浴室の瞑想あるいは迷想 「こわ可愛いラッキーじいさん」[富岡鉄斎]	木本 文平	美連協ニュース	122
包み紙に潜む芸術家の魂[土佐信道]	下前 俊輔	日 経	10.9	洋画家・富田郁子		美術屋・百兵衛	28
巻頭特集 はずむ色彩 配色・混色 ④ 技法講座 vol.35 Interview 歳島洋一朗 光の表情を捉える色彩と配色			370	巨匠に学ぶ水墨画のわざ 『日本画実習帖』の世界 第三回 富田溪仙の清水寺	村田 隆志	水墨画*	303
コミック SK8RS 1 (スケーターズ) トジツキハジメ(作) クールに熱い今風の青春譚	南 信長	朝 日	4.20	美の季想 若菜摘み春の命に託す祈り[富田溪仙]	高階 秀爾	朝日夕刊	1.15
小倉正史の現代美術講座 その14[豊島壮六]	小倉 正史	ギャラリー一*	349	ガンダム Gのレコンギスタ 子どもたちへタネ込めた[富野由悠季]	小原 篤	〃	8.23
「工芸な人」に聞く 第二十三回 「現代美術アーティスト」 棚原敏子さん	高濱登代子 聞き手	五風十雨	76	「アニメの枠壊した」伝説巨神イデオン WOWOWプライムで来月16日から[富野由悠季]	土屋 溪	毎日夕刊	2.13
民芸の魂 職人が受け継ぐ なおおあせぬ 型絵染の技 芹沢銈介 没後30年[土手武彦]	富田 律之	日 経	11.22	遺品写真から検証する 富本憲吉再考1: 留学時代-1909(明治42)年の留学時代のアルバムを中心に	森谷 美保	実践女子大学美学美術史学	28
特集「民藝」 外村吉之介の歩いた道	栗田 邦江	紫 明	35				

平成26年定期刊行物所載文献(近/作ト、ナ)

富本憲吉 あれこれ	岸田 準二	日本の民芸	652	特集 東日本大震災から3年 第1部 復興3年の道程 対談(岩手・宮城) 曾有的の3年間:復興のパースペクティブ	小野田泰明、内藤手修、榎橋敏雄、大月敏平、小林聞き手	東京都庭園美術館 ニュース	1655
研究資料 富本憲吉の増田三男宛書簡(I)	丹尾 安典	早大會津八一記念博紀要*	15				
こころの玉手箱 写真家 立木義浩 4 新人賞のトロフィー 大きなステップアップに[土門拳]	立木 義浩	日経夕刊	9.4	内藤礼 信の感情対談 内藤礼(アーティスト)×八巻香澄(東京都庭園美術館学芸員)		東京都庭園美術館 ニュース	54
評論の眼『戸谷成雄 彫刻と言葉1974-2013』スリリングな思索の集大成	三田 晴夫	ギャラリー*	353	美博ピックアップ 光のある場所[とところ] 神奈川県立近代美術館 鎌倉[内藤礼]	塩見 圭	朝日夕刊	1.8
今月の一冊 戸谷成雄 彫刻と言葉1974-2013 彫刻家が語る40年分の言葉の重み	松崎 未来	美術手帖	1005	特集 教育考一暮らしと社会のエンライメント 第3部 市民教育としての建築教育 建築の教育何かを実現し、何かがわかる	伊東 豊雄、木下 綾子、仲 綾子、藤原 徹平、石黒いずみ、聞き手	建築雑誌	1657
建築家豊田勉之の経歴と建築活動について	李石丸 明紀興	日本建築学会計画系論文集	703	私は103歳の挿絵画家 戦前から時代小説を中心に、原稿の面白さと相乗効果	中 一弥	日 経	12.26
ネット時代 異色の合作漫画 ヤマザキマリ×とり・みき 古代ローマの学者に焦点 趣異なる世界観溶け合う	鈴木 繁	朝日夕刊	9.9	103歳の挿絵画家 中一弥 世の中うまくできている	村田 雅幸	読 売	9.15
インタビュー画ガール 鳥居隆子	笹山 森本	女流画家協会会報	2	特集 日本の国宝 アートのちから 現代作家の作品に見る Part.3 中敬子 いのちのちから	高山 淳	美術の窓	372
温かき内院	鳥居 禮	瑞 垣	228	連載 日本画家のアトリエ訪問 第9回 仲裕行	大澤 景	〃	368
コミック 先生の白い嘘 1 鳥飼茜(作) 性的本能と意識の関係描く	山脇 麻生	朝 日	3.9	所蔵品紹介245 付下小紋訪問着 中儀延		石川県立美術館だより	370
SPECIAL FEATURE ポーズラブ 10人のマンガ家が語る! ポーズラブとマンガ表現 鳥人ヒロミ	千田 有紀 聞き手・文	美術手帖	1016	カバーインタビュー 永井一正&永井一史	深沢 慶太	A X I S	169
(ナ)				こころの玉手箱 グラフィックデザイナー 永井一正 1~5	永井 一正	日経夕刊	6.2~6
特集 新人大図鑑 2014 未来のスター450名を一挙紹介! 評論家・ジャーナリストが選ぶ注目の新人13 内藤重澄	本江 邦夫	美術の窓	368	日本国宝展 私の1点 1 永井一正さん 象の上に菩薩 着想の妙	永井 一正	読 売	11.6
レポート墨 内藤絹子展 闇からの伝言板		水墨画*	299	職美協 春の写生会 No.96 「佐原・春の写生会」に参加して	中井 典子	職場美術	142
11月号を読んで「建築家」が問われるとき—自己規定の軌跡と現在—安全地帯を出でて発言せよ	内藤 廣	建築雑誌	1653	理屈抜き画家 松田正平という人	仲井 義晶	〃	141
				大正癸丑の京都蘭亭会と長尾雨山・山本寛山—関西大学図書館内藤文庫所蔵の書簡を中心として—	杉村 邦彦	書道文化	10



特集 プロ&通(ツウ)の「イチオシ！」93点 この新人が、欲しい！ Part 2 見逃せない最新作も！人気の若手作家40点 長尾和典	長尾和典 編集部・S 美術*	467	神宮美術館所蔵 神宮名品解説 木工芸 神代杉木画四方箱 神代杉木画平卓[中川清司]	平子 裕子 瑞 垣	229
特集 イチオシ作家 今年の100人2015 Focus on! 4 中尾直貴	中尾直貴 談	472	描いて伝える仕事— イラストという視覚伝達を通して—	中川 未子 民具マン スリー	550
聞きたい。 ナガオカケンメイさん デザイン物産2014 「感覚の進化をみてみたかった」	黒沢 綾子 産 経	10.5	モノでしかないモノ を作る 中川佳宜の 潮岬での展示と美術館でのワークショップから	宮本 久宣 和歌山県立近代美術館ニュース	78
2013毎日デザイン賞 受賞者の横顔 アートディレクター 佐野研二郎さん 明るくほがらか持ち味にデザイン活動家 ナガオカケンメイさん ロングライフにこだわり	永田 晶子 毎日夕刊	4.17	毎日写真コンテスト あふれる若い感性	長倉 洋海 毎 日	12.17
明日も喋ろう 下 黙れ、に抗う 彫刻家 中垣克久さん 消された平和の造形 戦争と芸術	千種 辰弥 朝 日	5.8	特集 日本の国宝 アートのちから 現代作家の作品に見る Part.3 中畔千嘉 「交換」	中畔 千嘉 美術の窓	372
「政治的」作品 撤去を 都美術館「クレーム心配」 渋々手直し 作者「暴力的」 [中垣克久]	大平 樹 東 京	2.19	空海が歩んだ道を撮る ゆかりの地を写真に収め40年、信仰の源流に迫る	永坂 嘉光 日 経	12.12
撤回求め署名活動 都美術館 作品撤去要請 表現の自由 広がる波紋[中垣克久]	"	2.22	特集 プロ&通(ツウ)の「イチオシ！」93点 この新人が、欲しい！ Part 1 手に入れるなら今のうち！注目の最新世代34点 中里勇太	中里 勇太 隆 美 術*	467
都美術館の撤去要請 作品 独で来月完全展示 作者の中垣さん「危うい空気感じて」[中垣克久]	"	9.2	第9回手島右卿賞 中澤希水さん(36)に決定	新美術新聞	1344
特集 気高く美しく理想の女性像 類型を超えた一期一会の美しさ	中上 誠章 美 術*	466	フェイス21世紀187 中澤希水 「解体」と「再生」 新時代の書	和田 圭介 "	1353
特集 日本の国宝 アートのちから 現代作家の作品に見る Part.3 中神ふみ子 無限	中神ふみ子 高山 淳 美術の窓	372	世界と日本 大図解 シリーズ No.1158 生きる力伝える はだしのゲン[中沢啓治]	石原 真樹 東 京	8.3
シリーズ 私と音楽 39 小杉小二郎[中川一政]	小針 俊郎 日経夕刊	6.26	特集 銅版画家25人 新時代を切り開く精鋭たち ながさわたかひろ	ながさわたかひろ 版画芸術	165
こころの玉手箱 陶芸家 加藤孝造 4茶わん「茄子」熊谷守一さんが絵付け よしあし 自分の物差しで即断[中川一政]	加藤 孝造 "	12.11	SPECIAL FEATURE アンディ・ウォーホルのABC DIARY ウォーホルの遺伝子を継ぐ、日本の記録芸術の現在	中ザワヒデキ 美術手帖	1000
			美の美 温泉と絵画 下 近代化が生んだ旅への夢 失われた風物 今に伝える[中澤弘光]	窪田 直子 日 経	11.16
			作家人生—私の仕事— 美を求めて近江から洛中へ	中路 融人 日展ニュース	152

巻頭特集 こだわりの写実表現 ディテールが引き出す存在感 ④技法講座 vol. 33 技法講座2 講師：ナカジマカツ	ナカジマカツ	美術の窓	367	京ものがたり やなせたかしと永田萌の桂川 水と歩め! もらった愛と勇氣	河合真美江	朝日夕刊	4. 22
美の美 片岡球子 火の山のごとく 上 教育も絵も人を見てこそ 異色の画風 厚い情を宿す[中島清之]	窪田 直子	日 経	6. 29	古色に同調した絵画—中谷泰展その後	田中 善明	HILL WIND	34
巻頭特集 こだわりの写実表現 ディテールが引き出す存在感 ④技法講座 vol. 33 技法講座3 講師：中島健太 印象的な女性の口元を描く	中島 健太	美術の窓	367	特集 魅力ある線を描く ④技法講座vol. 37 油彩 線と色面構成による風景画を描く	中谷 時男	美術の窓	374
私の視点 震災復興事業 原風景生かす町づくりを	長島 孝一	朝 日	7. 24	美術新人賞デビュー2014 第2回	長登 数久	美 術*	462
「20年後の横の会展」講演会の記録—日本画研究グループ「横の会」の軌跡—[中島千波]	小熊千佳子	新潟市美・新潟市新津美研究紀要*	2	特集 プロ&通[ツウ]の「イチオシ!」93点 この新人が、欲しい! Part. 3 無名の新人からスターダムへ。美術新人賞「デビュー」受賞&入選作家19点 長登数久	長登 数久 編集部・W	”	467
大矢朝音対談シリーズ 「画家たちの夏」第3回 中島千波		美術の窓	372	《採録》「ハイレッド・センター:『直接行動』の軌跡展」併催:特別講演会「中西夏之,ハイレッド・センターを語る!」から (HRC)一揺れのある場所からの報告(前、後編)	中西 夏之論 山田 聞き手	あいだ	215、216
平成26年、今美術教育を考える 美術教育に関する拡大研究委員会開催報告 後編	本郷 寛 田中康二郎 東良 雅子 岡田 千波 中島 千波 船坂 芳助 米林 雄一 入江 観生 佐藤 泰生 山本 貞 五十嵐 芳三	連盟ニュース	451	慶応義塾所蔵作品調査・保存活動[中西夏之]		慶応義塾 大学ア ート・セ ンター年 報	21
特集 日本の国宝 アートのちから 現代作家の作品に見る Part. 3 中島敏明 悲哀と慈愛	中島 敏明	美術の窓	372	新しいコレクション 中西夏之《コンパクト・オブジェ》	鈴木 勝雄	現代の眼	609
東京国立博物館「特集陳列 人間国宝の現在(いま)」作家インタビューより5 中島宏 重要無形文化財「青磁」保持者	横山 梓	陶 説	730	中西夏之さん NY 個展		読 売	6. 20
支配の構造かき乱したい 男性目線の写真に違和感 写真家 長島有里枝さん	干場 達矢	日経夕刊	6. 18	現代美術の歩き方 異論反論・現代美術 中西信洋にインタビュー 皮膚を超え、物事を感知する	中西 信洋	美術の窓	364
所蔵品紹介247 淡青釉裏銀彩四方鉢 中田一於	石川県立美術館だより		373	特集 心に染みる風景 見慣れた風景が特別なものになるとき	中西 良	美 術*	465
				特輯 明治の彫刻 図版五 長沼守敬老夫	迫内 祐司	国 華	1426
				人間発見 ガラスの美未来へ 1~5	中根 櫻龜	日経夕刊	4. 7~11
				特集 銅版画家25人 新時代を切り開く精鋭たち 中野彩愛	中野 彩愛	版画芸術	165
				思い出す本 忘れない本 読めば読むほど発見がある モリミテ 中野シズカ(作)	南 信長	朝 日	4. 6

特集 銅版画家25人 新時代を切り開く精 鋭たち 長野順子	長野 順子	版画芸術	165	Go! Artists Go! 56 永畑智大	編 集 部	美術手帖	1008
亜洲狂詩曲 アジアン ラブソディ 中 野正貴著		日 経	3.9	特集 イチオシ作家 今年の100人2015 Focus on! 1 中原 亜梨沙	中原亜梨沙 談	美 術*	472
第45回日展 新入選 者寄稿一喜びと抱負 一 新入選作品と私 の日展	永野八重子	日展ニュー ース	152	SPECIAL FEATURE 中原浩大 自己模倣 INTERVIEW 中原 浩大に触れるもの	編 集 部 聞き手	美術手帖	998
日々好日 出合えた 墨と紙	中野 嘉之	新美術新 聞	1332	SPECIAL FEATURE 中原浩大 自己模倣 アーティストが語る 中原浩大		" "	" "
座談会 水墨の心と 技が一体となるとき 一「水墨玄空」展によ せて	小松 謙一、 中野 嘉之、 大竹 卓、 呉 一、 島尾 新、 野地 耕一郎 談 顧 定珍 進 行	美 術*	470	金氏徹平 巨大な 謎	金氏 徹平		
銀幕一刻	長野亮之介	読売夕刊		富井大裕 中原浩 大の造形	富井 大裕		
ミニワンピースと ソウル			1.29	田中功起 件名： 忘れられたものた ちのためにいくつ かの輪郭線を描く こと	田中 功起		
クネクネ踊る「聖 職者」たち			2.19	SPECIAL FEATURE ポップアート		"	1002
よれよれのジーン ズ			3.12	CROSS TALK 始 まりは1992年、何 が語られたのか？ [中原浩大]	福住 廉		
祈り託したペンダ ント			4.2	文化庁メディア芸 術祭シンポジウム 記録 座談会：中 原浩大×村上隆× ヤノベケンジ「ポッ プ/ネオポップ」 の現在地	楠見 清 モデレータ 一 福住 廉 構成		
常識人のステンカ ラーコート			4.23	論文 竹久夢二から 中原淳一へ一人形と の接点から見る一	王 文萱	大正イマ ジュリイ	9
人それぞれの香り			5.14	REIJINSHA GAL- LERY FACE 展2013 -2014 選抜作家小 品展 VOL.1	小野 美子 加藤 由紀 菅野 静香 志世 都りも 永原 トミヒ 沼田 久雪 村上 紘一 Yogyami	美術屋・ 百兵衛	31
手ぬぐいが意外な 役割			6.4	ぼくの採点症 第37 ~40回	中原 昌也	芸術新潮	769~772
京劇衣装 時代超 え共感			6.25	特集 現代美術の歴 史学一戦後の日本 8 中平卓馬と反ツ ーリズムの思考	倉石 信乃	美術フオ ーラム21	30
赤いサリー 結婚 式の定番			7.16	TOKYO 発 73歳建 築家しようわ30年代 の記憶スケッチ 井 の頭線原風景の色[中 間荘介]	北浜 修 東 京		2.7
ユダヤ教とカツラ			8.6	茶話マンガ ゆる～ いギャグの価値[仲 間りよう]	伊藤 剛	朝日夕刊	8.2
フラメンコに夢中 の5歳			9.10				
新人舞妓の「われ しのぶ」			10.1				
乗馬服にも正統な 装い			10.29				
「仕事人」の愛する 腕時計			11.19				
戦場のクルー・カ ット			12.10				
シンポジウム 『戦 後民主主義から生ま れた職美展』	中橋 肇 司会 坂下 雅道、 阿部 正義、 井上 克己、 遠藤 昭一、 パネラー	職場美術	143				

平成26年定期刊行物所載文献(近/作ナ)

純粋なる芸術 アール・ブリュットの世界 中道一輝「ハカリ」	中村 政人	東京夕刊	6.4						巻頭特集 再興院展100年 その歩みと次代の画家たち 肖像画に託した師への思い 我が師とその作品5 中村貞以合掌描きを貫いた師の強さ	清水 達三 美術*	461
SPECIAL FEATURE ボーイズラブ 10人のマンガ家が語る! ボーイズラブとマンガ表現 中村明日美子	千田 有紀 聞き手・文	美術手帖	1016						第45回日展 新入選者寄稿一喜びと抱負一 竹工芸と出会って	中村 朋紀 日展ニュース	152
特集 日本の国宝 アートのちから 現代作家の作品に見る Part.2 中村英 現代人の心	高山 淳	美術の窓	372						中村至男がドットでつくる「みえた!」のよろこび		芸術新潮 773
伝統×デザインー手仕事の日本ふたたび ホームスパン 英国生まれの「スローな織物」[中村和正]	黒沢 綾子	産 経	1.30						伝統×デザインー手仕事の日本ふたたび ホームスパン 英国生まれの「スローな織物」[中村博行]	黒沢 綾子 産 経	1.30
ARTIST INTERVIEW 中村一美	沢山 遼 聞き手・構成	美術手帖	1005						研究報告 明治三陸地震津波の新聞報道と絵画ー洋画家・中村不折による『日本』の挿画から	林 誠	長野県立歴史館研究紀要 20
所蔵品紹介242 カーネーション図皿 中村研一		石川県立美術館だより	367						東日本大震災3年 アートができること ものづくりの力 世界に伝える わわプロジェクト 中村政人	大西 若人	朝日夕刊 3.5
昭和期官展洋画の研究ー中村研一を中心にー	高山 百合	鹿島美術財団年報・別冊	31						支え続ける 上 復興の歩み アートで伝え アーツ千代田3331統括ディレクター 中村政人さん	鈴木久美子	東京 3.9
画家と戦争 日本美術史の空白 戦争を描いた画家たち 中村研一	迫内 祐司	太陽(別冊)	220						人間の魅力詰まったアート 中村政人さん連載「純粋なる芸術」 毎週水曜日に		東京夕刊 1.15
スペシャル対談 名碗のこころを知る	林屋 晴三、 中村 康平 対談	目の眼	452						純粋なる芸術 アール・ブリュットの世界	中村 政人	〃
近代日本におけるフランス建築理論の受容に関する研究	林 要次	日本建築学会計画系論文集							宮川佑理子「無題」		1.22
その1 中村順平にみるエドワー・アルノーの影響			699						武田拓「はし」		1.29
その2 中村順平の「『建築学』草稿」にみるフランス建築理論			706						齋藤裕一「ドラえもん」		2.5
鹿児島文化考 彫刻家・中村晋也		美術屋・百兵衛	28						関口忠司「つつしみなさい」		2.12
時に抗いし者たちー私の小菩薩峠(13) [中村彝]	大谷 芳久	一寸	57						高橋舞「はってる感じ」		2.19
中村彝のサクラに感慨 アトリエ記念館近くで見頃迎え 新宿	杉戸 祐子	東京	4.2						国井勇「国井号」		3.5
									鎌江一美「ひと」		3.12
									東本憲子「無題I」		3.19
									古久保憲満「発展する未来の中国2」		3.26
									谷本光隆「王の旅路」		4.2

## 平成26年定期刊行物所載文献(近/作ナ)

平野智之「美保さんシリーズ」	4.9	赤松直樹「えがお」				11.19
上田海登「オ・タ・カ・ラ」	4.16	穂積一樹『緑色印刷のダイヤグラム「9-113-2」』				12.3
玉浦航太「5月9日～7月30日」	4.23	伊東鉄也「無題」				12.10
長谷川昌彦「ハンダの延べ棒」	4.30	SEIYA「無題」				12.17
磯部涼「つるべえ」	5.7	宮下宜績「相棒」 「tさん」「eさん」				12.24
西岡弘治「SONATINE 6」	5.14	收藏品紹介 舞妓 中村正義	丸地加奈子	風 伯		90
藤田雄「雄WORLD」	5.21	特集 日本の国宝				
西山友浩「日記」	5.28	アートのちから 現代作家の作品に見る Part.3 中村マヤ	中村 マヤ	美術の窓		372
中道一輝「ハカリ」	6.4	心の糧				
荅百虫ちろ「おぼといとこたち」	6.11					
熊田史康「トイレ」	6.18	REIJINSHA GALLERY かざる。アートとくらす。	佐々木敬介 中村真弥子 山本 大也 わにぶちみき	美術屋・百兵衛		31
吉原長次郎「太陽とハタ」	6.25					
田島絵里「まるちゃん」	7.2	洋画家 中村光幸		〃		30
吉川秀昭「目・目・鼻・口」	7.9	展覧会ピックアップ 14夏 平和を愛するあなたへ展II	中村 守男	職場美術		143
瀬尾ひろみ「神さま」	7.16	白日会の精神—24人の作品と言葉から「風音」	中村 優子	新美術新聞		1339
岡田美佳「ハーブの庭」	7.23					
渡邊大士「魚宴」	7.30	特集 必見！秋の注目展133!! PICK UP				
鶴川弘二「無題」	8.6	特別トーク 江里佐代子の教えた3人の女性作家が語る 截金の可能性に賭けるそれぞれの思い	飯沼 春子 中村 祐子 鷺尾美陽子	美術*		469
大川誠「makoot」	8.13					
松本美千代「生き物」	8.20					
川戸由紀「森の音楽レストラン」	8.27	21世紀のアーティスト 中村友紀		ギャラリー*		347
田中啓示「無題(青)」	9.3					
井上優「女の人」	9.10	日本画 中村護 《夜間操業》、《春節祭》		尾道市立大学芸術文化学部 紀要		13
三ツ木竜朗「牙」	9.17					
小林覚「風吹きて」	9.24	建築家ピエール・シヤローとガラスの家下 「ロベール・マレ=ステヴァンス」	中村 好文	東京夕刊		8.8
具志堅 誉「病室から見える我が家」	10.1	モデルの机 「回転」に心惹かれて				
伏木庸平「無題」	10.8					
カズ・スズキ「滴る魂」	10.15					
時枝和美「無題」	10.22	特集 新人大図鑑 2014 未来のスター450名を一挙紹介！ 評論家・ジャーナリストが選ぶ注目の新人13 中村航	橋本 梓	美術の窓		368
ラックスミ・ダス・マガイヤ「日本の川のイメージより」	10.29					
市川航也「森世界」	11.5	Global News New Cannan 霧の彫刻とガラスの家 夢の競演[中谷芙二子]	藤森 愛実 取材	芸術新潮		776
柴田鋭一「せっけんのせ」	11.12					

平成26年定期刊行物所載文献(近/作ナ)

WORLD NEWS ニューヨーク 待望のジグナル・ホルケ MoMA 展が開幕 ニューケイナンには中谷芙二子の「霧」登場	藤森 愛実	美術手帖	1006	存在の美学 第三回 伊達市噴火湾文化研究所同人展	野田 弘志 永山 優子 小尾 修	新美術新聞	1342
第45回日展 新入選者寄稿—喜びと抱負—彫刻との出会いと、これから	永山佳寿美	日展ニュース	152	特集 気高く美しく理想の女性像 自分にはない憧れとしての女性、それを創る癒し	永山 裕子	美術*	466
「20年後の横の会展」講演会の記録—日本画研究グループ「横の会」の軌跡—[仲山計介]	小熊千佳子	新潟市美・新潟市新津美術研究紀要*	2	こころの玉手箱 写真家 立木義浩 4 新人賞のトロフィー 大きなステップアップに[流政之]	立木 義浩	日経夕刊	9.4
特別対談 中山忠彦 野田弘志 写真絵画をめぐる、ふたりの問いかけ		新美術新聞	1339	生と死の循環 自然と向き合う 震災後…現実を直視する作家[流麻二果]	渋谷 和彦	産 経	9.11
白日会 90年の歴史、これからの10年 白日会九十周年を迎えて	中山 忠彦	〃	〃	味なソフトクリーム看板 形に微妙な違い・豊かな独自性、内外で写真に	名久井直子	日 経	8.26
作家人生—私の仕事— 来し方断片	〃	日展ニュース	152	特集 ムーミンとトーベ・ヤンソン アニメーションのムーミン谷[名倉靖博]	石井ゆかり	ユリイカ	649
特集 気高く美しく理想の女性像 女性像の核心に触れるために—想像力、感情、愛	〃	美術*	466	本江邦夫の「今日は、ホンネで」 第77回 現代美術家 名坂有子	名坂 有子、 本江 邦夫	美術*	468
特集 今あらためて巨匠に学ぶデッサンの技 私の好きなデッサン	〃	美術の窓	364	大矢柄音対談シリーズ 「画家たちの夏」 第4回 那波多目功一		美術の窓	375
エドガー・ドガ				明治の細密工芸 驚異の超絶技巧! 明治工芸の匠たち 濤川惣助 無線七宝技法を確立	武藤夕佳里	太陽(別冊)	217
ドミニク・アングル				明治の細密工芸 驚異の超絶技巧! 明治工芸の匠たち	〃	〃	〃
ミケランジェロ				並河靖之 世界を魅了した並河七宝			
ラファエルロ・サンティ				コラム 《桜蝶図平皿》と下図[並河靖之]			
レオナルド・ダ・ヴィンチ				コラム 並河靖之と京都			
グスタフ・クリムト				作家自選作品集7 並木功 《月下浅間》	並木 功	水墨画*	298
小磯良平				特集 日本の世界遺産を描く 富士山を描く 写生から表現へ 1 自分の目と感情を通しての表現	〃	〃	303
教員は語る 藝大への期待・抱負・提言 第21回	中山 英之 中木 健二	芸大通信	29	作家通信 月刊「水墨画」への感謝	〃	〃	306
特集 建築の臨床性を問う 巻頭対談 建築における「臨床性」とは何か	驚田 清一、 中山 英之 話し手 智治、 真壁 修、 榎橋 爽、 厳 優美 神吉 聞き手	建築雑誌	1659	巻頭特集 原寸で見ると! 現代作家の技 卵殻のホワイトと黒漆によるコントラスト	並木 恒延	美術の窓	371
すごしかたファースト。 建築家・永山祐子さんに聞く、これからの住まい方		A X I S	170				

新しいコレクション 奈良美智《Harmless Kitty》	保坂健二郎	現代の眼	604	WORLD NEWS サ ンパウロ、リオ・デ ・ジャネイロ、ほか ブラジル「トロピカ リア」の立役者 エ リオ・オイチシカの 映画が封切り	〃	〃	1012
SPECIAL FEATURE 『かぐや姫の物語』の衝 撃。SPECIAL TALK 対談：奈良美智×高 畑勲 『かぐや姫の 物語』はいかにして 描かれたか？	宮村 構成	周子 美術手帖	998	THE LAST INTER- VIEW 二度目の生 を前に見せた、新生 NIGO®像の片鱗	岩渕 貞哉 聞き手・文	〃	〃
奈良美智の 10代の 頃、僕はレコードジ ャケットで美術を学 んだ。 第16～27回	奈良 美智	〃	998～ 1000、 1002、 1004～ 1006、 1008、 1010、 1012、 1014、 1016	ニュースの本棚 震 災とマンガ 一歩引 いた視点に宿る底力 [ニコ・ニコルソン]	南 信長 朝 日		8.3
視線 奈良美智 NO WAR!	大西 若人	朝 日	12.7	特集 百合文化の現 在 read between the lines	西 UKO ユリイカ		653
本よみうり堂 成田 亨著「成田亨作品集」	青木 淳	読 売	9.28	純粋なる芸術 アー ル・プリュットの世 界 西岡弘治 「SONATINE 6」	中村 政人	東京夕刊	5.14
コミック さよなら 金太郎 伊達家の人 々 成松幸世(作) 生きる喜び増進させ る家族	南 信長	朝 日	3.16	巻頭特集 はずむ色 彩 配色・混色 ④ 技法講座 vol.35 技 法講座6 講師：西 川克己 混色の応用 から彩り溢れる画面 を生み出す	西川 克己	美術の窓	370
背守りに縫った母心 子供着につける魔よ けの飾り収集、息災 祈る文化伝える	鳴海 友子	日 経	8.5	「工芸な人」に聞く 第二十二回 「造形 作家」 西川都子さ ん	高濱登代子 聞き手	五風十雨	75
境界を溶かすものづく りの場 SANDWICH というプラットフォーム [名和晃平]	平塚 桂	A X I S	168	街かど人物館 世界 の児童画紹介 「素 顔」の異文化化学び合 う[西川直見]		日 経	5.19
先生のこだわり 画 面の中にも、本物の 手応えを	名和 晃平	瓜生通信	62	「版画アートコレク ション」の作家 西 川洋一郎 輝けるデ ジタルの光の空間	松山 龍雄	版画芸術	164
特集 住宅と都市の あいだで 国家と建 築の(間)をめぐる 一機能という視点、 物化という視点	難波 和彦、 西沢 大良、 山本 理顕 話し手 大月 敏雄	建築雑誌	1661	特集 住宅と都市の あいだで 国家と建 築の(間)をめぐる 一機能という視点、 物化という視点	難波 和彦、 西沢 大良、 山本 理顕 話し手 大月 敏雄	建築雑誌	1661
龍起と峻介—その交 友の軌跡—[難波田 龍起]	小林 俊介	ガス燈	103	建築と美術館14 美 術館を設計するにあ たって	西沢 立衛	美連協ニ ュース	123
(ニ)				「伊東建築」先鋭の柱 薄くて透明 世界が 評価 師弟3代、軽 さ受け継ぐ[西沢立 衛]	窪田 直子	日経夕刊	7.18
SPECIAL FEATURE 一生に一度は行きたい！ 世界のアート スポット	仁尾 帯刀	美術手帖	1005	SPECIAL FEATURE ティム・バートンの 世界へ、ようこそ！ バートン偏愛 2 西島大介	編 集 部	美術手帖	1014
PART 1 憧れの アートスポット				popstyle vol.403 ALL ABOUT アレ ハンドロ・ホドロフ スキー 精神世界に ようこそ[西島大介]	小堀 勝男 市原 尚士	読売夕刊	6.4

連載 震災復興プレ イクスルー 6 復 興のソーシャルディ ベロップメント 「ISHINOMAKI 2.0」	西田 司	建築雑誌	165	日本の白い壁—石灰 がつくり出す多様な 世界	西本 剛己	明星大学 研究紀要	22
巻頭特集 再興院展 100年 その歩みと 次代の画家たち 肖 像画に託した師への 思い 我が師とその 作品6 奥村土牛「絵 は人なり」という教 えを胸に	西田 俊英	美術*	461	純粋なる芸術 アー ル・ブリュットの世 界 西山友浩「日記」	中村 政人	東京夕刊	5.28
巻頭特集 原寸で見 る!現代作家の技 面相筆で繊細な毛の 質感を描き分ける	〃	美術の窓	371	駅に壁画 潤う街 陶板やステンドグ ラス、設置運動つい に500点達成[西山英雄]	滝 久雄	日 経	4.22
特集 気高く美しく 理想の女性像 神秘 性を感じさせる光と 角度	西田 陽二	美術*	466	特集 プロ&通[ツ ウ]の「イチオン! 93点 この新人が、 欲しい! Part 1 手に入れるなら今 のうち!注目最新世 代34点 仁田原誠	仁田原 誠 編集部・N	美術*	467
所蔵品紹介240 截 金彩色木彫合子「華 鳥」 西出大三		石川県立 美術館だ より	364	戦争を表現する 下 漫画家・新田たつお さん きれいごとの 裏を見て	岩岡 千景	東京夕刊	8.13
SPECIAL FEATURE 一生に一度は行きた い!世界のアート スポット マイ・フ エイバリット・スポ ット[西野壮平]		美術手帖	1005	茶話マンガ 古都め ぐる怪異ドラマ[二 星天]	伊藤 剛	朝日夕刊	6.7
光あやつる縮緬アー ト 長浜産絹織物の 端切れ使用し、美し い貼り絵作る	にしぼり紗 布	日 経	8.22	郷土の作家たち 丹 羽和子 河野次郎	清家 三智 角田美奈子	アートペ ーパー	96
日本のデザインのモ ダニズム(6~8)一 小さき美しきもの・ 西村伊作のデザイン	柏木 博	学 鏡	111-2~ 111-4	(ヌ)			
人と作品 西村伊作 —西村記念館(旧西 村伊作自邸)	田中 修司	紫 明	34	味な純喫茶 全国ツ アー レトロな個性 にひきこまれ、1300 店を巡り歩き[沼田 元氣]	難波 里奈	日 経	11.26
美術新人賞デビュー 2014 第2回	西村 一成	美術*	462	REIJINSHA GAL- LERY FACE 展2013 -2014 選抜作家小 品展 VOL.1	小野有美子 加藤由紀 菅野静香 志世都りも 永原トミヒ ロ 沼田 久雪 村上 紘一 Yogyami	美術屋・ 百兵衛	31
特集 銅版画家25人 新時代を切り開く精 鋭たち 西村沙由里	西村沙由里	版画芸術	165	(ネ)			
明治の細密工芸 驚 異の超絶技巧! 明 治工芸の匠たち 西 村總左衛門 近代染 織のバイオニア	太田 彩	太陽(別冊)	217	限定 要チェック! 命吹き込まれた迫力 映像 プロジェクシ ョンマッピング 11 月末まで 映画、水 族館とコラボ[ネイ キッド]	村手 久枝	東 京	8.8
特集 ムーミンとト ーベ・ヤンソン 闇 から光へ トーベ・ ヤンソンの画と筆致	祖父江 慎、 西村ツチカ 対談	ユリイカ	649	特集 水墨の美 墨 色を駆使して創作に 挑もう	根岸嘉一郎	水墨画*	300
作家自選作品集9 西村蘭子 《皓皓》	西村 蘭子	水墨画*	300	特集 日本の世界遺 産を描く 日光を描 く 日光二荒山神社 華厳滝から小田代ヶ 原をめぐる自然美と ともに	〃	〃	305
コミック ハルロッ ク 1 西餅(作) 電子工作女子の情熱 の日々	南 信長	朝 日	8.10				



現代水墨画作家手本集27 根岸嘉一郎 湧霧上高地	〃	〃	307	吉沢家寄贈「野澤如洋作品」の紹介	對馬恵美子	青森県立郷土館研究紀要	38
展覧会ピックアップ さきやあきら・みつえ二人展	根木山和子	職場美術	142	池田孤邨研究一暮末から明治における江戸琳派の展開の一例として一[野沢堤雨]	太田 佳鈴	鹿島美術財団年報・別冊	31
(ノ)							
作家人生—私の仕事— 私の彫刻人生	能島 征二	日展ニュース	152	特集 銅版画家25人新時代を切り開く精鋭たち 野嶋革	野嶋 革	版画芸術	165
上野の杜の波瀾万丈第十七回 サールナートの壁画[野生司香雪]	吉田千鶴子	芸大通信	28	展覧会とアーティスト1 日記は記録性と日常性、そして歴史性を持つ[野田哲也]		ギャラリー*	352
青春ブレイバック 洋画家 野上邦彦 人生を貫く、絵描きとしての矜持	和田 圭介	新美術新聞	1343	展覧会レポート 大英博物館野田哲也特別展	後藤真理子	版画芸術	165
事象の地平面を越えて(日本画)	野川 恭平	多摩美術大学研究紀要	28	巻頭特集 アートと暮らそう コレクション上級者に聞く極意 堀良慶さん 版画コレクション思い出の一点 野田哲也の「鎌倉」		美術*	462
平成二十五(二〇一三)年度 日本及び東洋美術の調査研究報告 野口小瀨《美人図》(関西大学図書館蔵)	荒井菜穂美	関西大学博物館紀要	20	本江邦夫の「今日は、ホンネで」第76回 版画家 野田哲也	野田 哲也、 本江 邦夫	〃	467
日下部鶴鳴書「三木氏先世遺徳碑」について[野口小瀨]	太田 剛	書道文化	10	交遊抄 ふたりの哲也	野田 哲也	日 経	9.13
野口小瀨の画業 花鳥画の展開	荒井菜穂美	東アジア文化交渉研究	7	版画家・野田哲也さん 英国で作品特別展示 東京でも個展開催	岸 桂子	毎日夕刊	6.25
野口小瀨の下図について—『写生下図帖』『縮図帖』『花木図屏風』の考察—	平林 彰	山梨県立美術館研究紀要	28	野田弘志 リアリズムの究極は「魂を描くこと」 写真へのあくなき探求		芸術新潮	777
21世紀のアーティスト 野口哲哉		ギャラリー*	346	特別対談 中山忠彦 野田弘志 写真絵画をめぐる、ふたりの問いかけ		新美術新聞	1339
フェイス21世紀182 野口哲哉 あはれとおかしが身を包み	和田 圭介	新美術新聞	1340	存在の美学 第三回 伊達市噴火湾文化研究所同人展	野田 弘志 永山 小尾 小尾 俊修	〃	1342
野口ポスター 欧州の香り 映画「望郷」 「第三の男」…没後20年バリエーション展覧会[野口久光]	根本隆一郎	日 経	12.2	巻頭特集 原寸で見える!現代作家の技 画家 野田弘志 絵を描くことの過酷 インタビュー・日向寺太郎		美術の窓	371
復興への思い オブジェに重ね 「よみがえろう被災地も」 廃棄寸前→大船渡のホテルへ[野口真里]		日経夕刊	9.5	問われる必要・必然性 向き合う画家の痛み[野又穫]	森本 智之	東京夕刊	3.4
洋画家・野崎謙 モデルの内面を見つめ、その生命力を描き出す。		美術屋・百兵衛	30	World special Roma 野町和嘉「聖地巡礼」ヴァチカンのお膝元に至る	高橋 恵理	芸術新潮	771
河童—筋我が陶街道着想を求めて全国転々、民話や童謡を陶芸作品に[野崎遊河童]	野崎遊河童	日 経	2.17				

《採録》第8回新池袋モンパルナス西口まちかど美術館トークショー「二人の芸術家と池袋モンパルナス」わが回想の長崎アトリエ村超・時代差対談	野見山暁治、高山英世、千石司会	あいだ	210	《採録》「ハイレッド・センター：『直接行動』の軌跡展」併催：特別講演会「中西夏之、ハイレッド・センターを語る！」から〈HRC〉一掃れのある場所からの報告(前、後編)	中西夏之論、山田聞き手	215、216
平成26年度文化勲章に野見山暁治氏文化功労者には絹谷幸二氏、黒井千次氏ら		新美術新聞	1359	「ハイレッド・センター：『直接行動』の軌跡」展(名古屋市美術館/松濤美術館)にわれわれが求めていたのは「混沌」だった〈ゼロ次元〉の60年代	岩田信市	215
アトリエ日記 122～133	野見山暁治	美術の窓	364～375			
中特集 野見山暁治	野見山暁治、一井建二対談	〃	368			
PREVIEW 装幀＝菊地信義とある「著書50人の本」展 菊地信義のパレット	野見山暁治	〃	369	作家解説 芳賀俣	長門佐季	たいせつな風景 19
art now 今年度文化勲章に野見山暁治ら、文化功労者に絹谷幸二らが決定		〃	375	特集 東日本大震災から3年 第3部 福島、再生へ向けて福島における復興に向けた住環境づくりの考察	浦部智義、芳賀沼整	建築雑誌 1655
駅に壁画 潤う街陶板ヤステンドグラス、設置運動について500点達成[野見山暁治]	滝久雄	日経	4.22	特集 森博嗣『すべてがFになる』『スカイ・クロラ』から『MORI LOG ACADEMY』まで…クラフトマンの機知 森博嗣さんはラララ科学の子	萩尾望都	ユリイカ 652
文化勲章受章者 喜びの声 野見山暁治さん 絵の探求心増す一方	岸桂子	毎日々刊	10.24	表紙の解説 萩原英雄〈三十六富士 石和早春〉	大田智子	県美協力会会報 35
現代美術の歩き方 今月一品 野村和弘「笑う祭壇」	小澤慶介	美術の窓	375	「20年後の横の会展」講演会の記録—日本画研究グループ「横の会」の軌跡—[箱崎睦昌]	小熊千佳子	新潟市美・新潟市新津美研究紀要* 2
特集 プロ&通(ツウ)の「イチオシ」!93点 この新人が、欲しい! Part 2 見逃せない最新作も!人気の若手作家40点 野村直城	野村直城、マルテル坂本牧子	美術*	467	装幀・近代日本文学を包む一判型・装幀表現(五葉・非水・雷岱・劉生・孝四郎)[橋口五葉]	岩切信一郎	一寸 58
(ハ)				表紙の作品 橋口五葉《孔雀と印度女》	山西健夫	グリーンルーフ 75
ニュースの扉 ハービー・山口さんと歩いた総文祭 心のピント 合わせる場 山口の目 人生の可能性 カメラで広げて	鈴木繁、ハービー・山口	朝日	8.25	近年の新収蔵品から(1) 橋口五葉の作品・資料	〃	〃
梅素玄魚考—その生涯と芸術性—	山本野理子	人文論究	63-4	日々好日 四季彩々	橋詰正英	新美術新聞 1349
「ハイレッド・センター：『直接行動』の軌跡」展(名古屋市美術館/松濤美術館)にPLAY IT COOL in Tokyo (HRC)式回転木馬に乗ってみた(前、後)	成相松井、駿、茂	あいだ	213、214	美術新人賞デビュー2014 第2回	橋野仁史	美術* 462
				本よみうり堂 コミック館 今月の3冊『ニーチェ先生』1 ハシモト著、松駒・原作		読売夕刊 3.31
				徳富蘇峰記念館所蔵橋本雅邦《四季山水》—雅邦晩期の水墨山水画について—	田中純一朗	哲学会誌 38

特別寄稿 画家の教養一橋本関雪《失意》を読む	西原 大輔	ART RAMBLE	41	長谷川竹葉の画業について	鈴木 京	浮世絵芸術	168
巨匠に学ぶ水墨画のわざ『日本画実習帖』の世界 第一回 橋本関雪の富士	村田 隆志	水墨画*	301	特集 日本の国宝 アートのちから 現代作家の作品に見る Part.3 長谷川仿 歴史と現在	高山 淳	美術の窓	372
画家と戦争 日本美術史の空白 戦争を描いた画家たち 橋本関雪	河田 明久	太陽(別冊)	220	カジュアル美術館 カフェ・パウリスタ 長谷川利行 東京国立近代美術館 光と影が交錯した時代	森本 智之	東京 京	1.19
特集 近代和風建築 その魅力と保護の展望 近代和風建築の魅力について 巨匠の山荘一庭屋一如一 [橋本関雪]	中村 昌生	文化財*	614	ヤギとの交流 第2弾を刊行 児童の奮闘、ダンスなど 長谷川さん絵本で描く [長谷川知子]	小林 由比	〃	9.28
展覧会ピックアップ 館林平和美術展	橋本 茂夫	職場美術	141	純粋なる芸術 アール・ブリュットの世界 長谷川昌彦「ハンダの延べ棒」	中村 政人	東京夕刊	4.30
SPECIAL FEATURE 『かくや姫の物語』の衝撃。 MAKING 製作現場の挑戦 原画 STAFF INTERVIEW 04 橋本晋治	叶 精二 聞き手・文	美術手帖	998	「いじわるばあさん」からみえる世界 [長谷川町子]	相澤 弘子	SAZAE 通信	34
特集 光の表情を描く ⑧技法講座 vol.38 油彩 技法講座 4 隣り合う光と影の境目の表現に迫る	橋本 清一	美術の窓	375	「サザエさん絵あわせ」の世界 [長谷川町子]	橋本野乃子	〃	35
橋本利夫の COLORFUL WORLD		美術屋・百兵衛	28,29	「サザエさん」にみる季節 [長谷川町子]	相澤 弘子	〃	36
橋本利夫の写真 1、2		〃	30,31	「まんが童謡かるた」に見えるもの [長谷川町子]	橋本野乃子	〃	37
第67回全国大会研究発表要旨 橋本平八《裸形少年像》の鑿跡をめぐって	福江 良純	美術史	177	「エプロンおばさん」の世界 [長谷川町子]	相澤 弘子	〃	38
画家と戦争 日本美術史の空白 戦争を描いた画家たち 橋本八百二	足立 元	太陽(別冊)	220	思い出す本 忘れない本 家族みんなの共通の話題に サザエさん 長谷川町子〈作〉	片桐はいり 朝 日		10.19
岩淵水門の壁にデジタル掛け軸 花火大会で投影 [長谷川章]	日 経		10.8	本づくし 「ぶれない思想」『建築家の名言』Softunion 著	長谷川 豊	A X I S	171
特集 いまなお輝く昭和の洋画家たち マニエール・ノワールだけじゃない 長谷川潔の油彩画の魅力とは?		美術*	468	錯綜する思惑	長谷部 昇	自由美術	2014
美の美 駒井哲郎 孤独のイメージ 上 様々な技法挑んだ先駆者 自らの想念込め描いた夢 [長谷川潔]	富田 律之	日 経	6.15	視点 現代の若手表現者と「窓から見る」ということ	畑 正太	美術の窓	375
中特集 もっと墨を知ろう 現代作家の墨を用いた作品と使用例 [長谷川早由]	立島 恵 文・構成	水墨画*	305	特集1 大正デカダンス デカダンス、京都の日本画 [秦テラ]	上 蘭 四郎	大正イマジユリイ	9
				作家通信 意識と想像を越えて	羽田 雄貴	水墨画*	304
				4 [読ん]で知るアート アール・ブリュット	はたよしこ	朝日夕刊	
				注目される 「生 [き]の芸術」			9.3
				心地よいから作る			9.10

平成26年定期刊行物所載文献(近/作ハ)

セオリーのない表現		9.17	特集 プロ&通[ツウ]の「イチオン！」93点この新人が、欲しい！	服部 憲明	大石 憲明	〃	467
作品の発掘と保存		9.24	Part 2 見逃せない最新作も！人気の若手作家40点	服部 憲明			
REVIEWS 04 ありありと見えてくる日本	島山直哉	美術手帖	1000	画家と戦争 日本美術史の空白 戦争を描いた画家たち	奥間 政作	太陽(別冊)	220
増山たづ子「すべて写真になる日まで」展	島山直哉			トータル・リコール 羽永光利の仕事	羽永 太郎	R E A R	32
特集 震災とミュージアム アーティストインタビュー	島山直哉	世界とアート：伸び縮みする境界	楠本 重紀	R E A R	31		
故郷を撮り続ける島山直哉さん「陸前高田」「巻き込まれ3年…つきあわないと」	篠原 知存	産 経	3.6	ニュースの本棚 震災とマンガ 一歩引いた視点に宿る底力	南 信長	朝 日	8.3
交遊抄 歳の離れた友人	島山直哉	日 経	10.18	i活 漫画家は、なぜ福島を描くのか	石戸 論	〃	6.13
科学写真 息づく火星の地表・骨格…未知の姿が心打つ	干場 達矢	日経夕刊	1.7	特集 銅版画家25人 新時代を切り開く精鋭たち	馬場 知子	版画芸術	165
日本画家 島中光享 法相宗ゆかりの14祖師像 揮毫 インド無著・世親 中国玄奘三蔵 日本の貞慶ら 再建進む奈良・興福寺中金堂「法相柱」に	島山直哉	新美術新聞	1358	フォーカス・アイ 馬場知子 “素材”の声を聞く色彩銅版画家	坂口 亮介	〃	166
「20年後の横の会展」講演会の記録—日本画研究グループ「横の会」の軌跡—	島中光享	新潟市美・新潟市新津美研究紀要*	2	特集 プロ&通[ツウ]の「イチオン！」93点この新人が、欲しい！	馬場 洋悦	美 術*	467
島中光享 興福寺に高僧画 中金堂の柱に、和紙に描き貼る	岡松 卓也	日経夕刊	6.3	Part 2 見逃せない最新作も！人気の若手作家40点	馬場 洋		
特集 プロ&通[ツウ]の「イチオン！」93点 この新人が、欲しい！	初田 有以	美 術*	467	Part 3 無名の新人からスターダムへ。美術新人賞「デビュー」受賞&入選作家19点	初田 有以		
特集 プロ&通[ツウ]の「イチオン！」93点 この新人が、欲しい！	服部しほり	〃	〃	特集 日本の国宝 アートのちから 現代作家の作品に見る	高山 淳	美術の窓	372
Part 1 手に入れるなら今のうち！注目の最新世代34点	服部しほり			Part.3 濱貫 内界の景	濱岡 満明	東洋陶磁	43
服部しほり 「理に適う」美が、日本画の未来を拓く	服部しほり、田島 達也	〃	470	茨城の陶芸3 作家自身を語る 黒の器に込めた想い	浜岡 満明	東洋陶磁	43
				浜田浄年譜	笹木 繁男	美術運動史研究会	ニュース
				1 1937~1990年			141
				2 1991~2014年			143

造本・装幀文化の保存と伝承 造本装幀コンクールと原裝保存の意義	浜田 桂子	国立国会図書館月報	639	特集 新人大図鑑 2014 未来のスター450名を一挙紹介！ 評論家・ジャーナリストが選ぶ注目の新人13 林晃司	中村 隆夫 美術の窓	368
神宮美術館所蔵 神宮名品解説 手漉和紙 土佐典具帖紙 [濱田幸雄]	中村 潔	瑞 垣	229	明治の細密工芸 驚異の超絶技巧！ 明治工芸の匠たち 林小傳治 尾張七宝を代表する七宝家	武藤夕佳里 太陽(別冊)	217
益子焼シンボル 復活へ 人間国宝・故浜田庄司の登り窯 来年2月 40年ぶり火		東京夕刊	8.2	時代の証言者 建築探偵 藤森照信 19 純粋で不思議な仲間 [林丈二]	柴田 文隆 読 売	2.5
第45回日展 新入選者寄稿—喜びと抱負— 入選通知が届いて	濱田 卓也	日展ニュース	152	林静一の美人画中米へ 初の海外個展、CG 表現も	西岡 一正 朝日夕刊	9.17
連載 未来にココがあってほしいから— 一名建築を支える名オーナーたち 11 インタビュー— 濱田友緒 濱田庄司記念益子参考館		建築雑誌	1664	近代美術の眼 太宰治 太宰の自意識 切り取る [林忠彦]	増田 玲 読 売	7.11
特集 銅版画家25人 新時代を切り開く精鋭たち 濱田富貴	濱田 富貴	版画芸術	165	本よみうり堂 「林忠彦写真集 日本の作家」	上野 誠 評 〃	11.16
レポート墨 濱中応彦水墨画展〜風・光・韻〜でギャラリートーク		水墨画*	298	読書 キルギスの誘拐結婚 林典子(著) 蛮行を写す 静かで断固たる怒り	本郷 和人 朝 日	8.17
特集 日本の世界遺産を描く 古都を描く 写生から表現へ II 作品との対話を生むストーリー性が表現の要諦	濱中 応彦	〃	306	聞きたい。 フォトジャーナリスト 林典子さん キルギスの誘拐結婚 非人道的な慣習と「女性の生き方」	篠原 知存 産 経	6.15
現代水墨画作家手本集28 濱中応彦 御堂筋	〃	〃	307	名峰カレンダー 山嶽写真家 林三樹生さん出版 自然環境や歴史、登山案内付き 噴火前の御岳も「山をよく知って」	五十住和樹 東 京	11.23
明治の細密工芸 驚異の超絶技巧！ 明治工芸の匠たち 早川尚古斎(初代) 竹工芸の近代化の先駆者	諸山 正則	太陽(別冊)	217	巻頭特集 再興院展 100年 その歩みと次代の画家たち 院展の巨星 その光と影2 今村紫紅と速水御舟		美 術* 461
匠のかたち 獅子頭 [早川高師]	石黒 知子	A X I S	167	視点	速水 史朗 美術の窓	
賞を獲った広告写真 2013-2014〜アワードに見る広告写真の今〜日本航空	早川 倫永	COMMERCIAL PHOTO	611	ギンザのカンカン石		364
My Life 前を向いて「心を和ませ元氣もらえる そういう力があるんです」100歳の笑顔 撮り続ける [林明]	田中 俊之	産 経	9.22	新年は梅田から 出会いの場		365 369
『犬と歩行視』展—創造の為のアーカイブ— “Dog and Site—Seeing/Sight—Seeing”—Archives for creation [林剛]	高橋 悟	京都市立芸術大学美術学部研究紀要	58	日本の国宝 アートのちから 現代作家の作品に見る Part. 1 速水史朗 土と礫の対話	〃 〃	372
				東京国立博物館「特集陳列 人間国宝の現在 [いま]」 作家インタビューより4 原清 重要無形文化財「鉄釉陶器」保持者	横山 粹 陶 説	730

特集 クルマは想像を加速させる！デザイナー、原研哉の提言「未来のサービスから、クルマを捉え直そう」	廣川 淳哉	A X I S	167	特集 日本の国宝アートのちから 現代作家の作品に見る Part.3 原田規美恵癒す	高山 淳	美術の窓	372
特集 観光立国ジャパン・ウィズ・デザイン 原研哉氏インタビュー 観光で日本の国土を再構成する	長谷川香苗 インタビュー 一・文	"	172	『新装版 原田泰治心のふる里を描く ぼくの[夢]・[道]・[詩]・[風]』原田泰治著	白田 捷治	書道界	290
リレーおびにおんデザインの力 11 グラフィックデザイナー・武蔵野美術大学教授 原研哉さん日本の価値、見える形に	藤生 京子 聞き手	朝 日	10.21	展覧会レビュー part 1 三つの視点 菱田春草展 若手美術家の視点《落葉》の視点と「日本」の自画像	原田 裕規	美術*	470
特集 プロ&通[ツウ]の「イチオシ！」93点 この新人が、欲しい！ Part 1 手に入れるなら今のうち！注目の最新世代34点 原菜央	原松村 菜央	美術*	467	特別連載 「中原佑介を読む」を読む	"	美術手帖	
特集 バルテュス 20世紀最後の画家 受験とバルテュス	原 久路	ユリイカ	642	第6回 態度が形にならない、人間と物質のあいだ			998
特集 フィールドワークとツール 環境をうつつと一身体と環境の間・集落調査・写経	原 広司 話し手 真壁 智治、 槻橋 修、 南後 由和、 栢木まどか 聞き手	建築雑誌	1665	第10回(最終回) 偶然と「人間と物質」について			1005
「建築の危機」打開せよ 建築界のリーダー3氏が公開討論 情報化の波 都市との接点に変化[原広司]	大西 若人	朝日夕刊	1.22	SPECIAL FEATURE バルテュス PART 2 LIFE バルテュスの画業と人生	"	"	1004
巻頭特集 見て楽しむ、描いて楽しむ風景画 ⑧技法講座vol.34 ベテラン作家が描く 心に残る風景画 原雅幸	原 雅幸	美術の窓	369	REVIEWS 05 フィクションは疑いを晴らすか「非日常からの呼び声 平野啓一郎が選ぶ西洋美術の名品」展	原田 裕規 評	"	1006
第27回奨学者のレポート ゆびふし	原 夕希子	アクリラート(別冊)	2014	REVIEWS EX レセプタとしての大地 立ちのぼる生命[いのち] 宮崎進展	"	"	1008
特集 銅版画家25人新時代を切り開く精鋭たち 原陽子	原 陽子	版画芸術	165	REVIEWS 04 歪み一坂本夏子の絵画「坂本夏子の世界展」	"	"	1016
SPECIAL FEATURE ポーイズラブ 10人のマンガ家が語る！ ポーイズラブとマンガ表現 はらだ	金田 淳子 聞き手・文	美術手帖	1016	特集 バルテュス 20世紀最後の画家 批評の無限後退 バルテュスをめぐる言説から	原田 裕規	ユリイカ	642
A La Meiji-mura 札幌 石の建築探訪一故原田栄三氏作 建築模型コレクションから一		明治村だより	77	連載 住むことから考えるU-35 1 味噌味のキス	原田 雄次	建築雑誌	1653
				SPECIAL FEATURE アートのお仕事図鑑 STEP2 やりたい仕事に就くためには？就職へのプロセスと必要なスキル デザインの発想を生かしたい 原田祐馬	沢田眉香子	美術手帖	999
				美術新人賞 デビュー2014 第2回 奨励賞	北川安季子 久保木桂子 悠	美術*	462

特集 プロ&通[ツウ]の「イチオシ!」93点 この新人が、欲しい! Part 3 無名の新人からスターダムへ。美術新人賞「デビュー」受賞&入選作家19点 悠	悠 ミヤケマイ	〃	467	顔 番匠あつみさん 絵で福島を元気にしよう と活動する美術教師	増満 浩志	〃	5.6
美術新人賞デビュー2014 第2回	春 太 郎	〃	462	英国の日本庭園 100年後に再評価 明治後期の留学生 半田たきデザイン	増田 愛子	朝日夕刊	4.14
青春プレイバック 金属造形作家 春山文典 小布施という場所 空間造形としての金属	袴田 智彦	新美術新聞	1353	レポート墨 伴戸玲伊子展 moon light flow		水墨画*	300
所蔵品紹介241 待春 判三教		石川県立美術館だより	365	特集 心に染みる風景 水の叙事詩を紡ぐように、風景を繋いでいけたら	伴戸玲伊子	美 術*	465
特集 国境なき建築家 坂茂 支援と創造と革新		瓜生通信	61	白日会の精神—24人の作品と言葉から「永劫の破片」	阪東 佳代	新美術新聞	1339
京都市文化芸術表彰「きらめき大賞」に坂茂氏		新美術新聞	1349	巻頭特集 はずむ色彩 配色・混色 (秘)技法講座 vol.35 技法講座3 講師:阪東佳代 グレーズによって表現する色の深み	〃	美術の窓	370
医者のように役に立つ建築家に プリツカー賞 坂茂 異能の証明	大西 若人	朝 日	4.2	特集 住むことから考える 第3部 住むことから考える一住むことの現在 神山町における二拠点住居のあり方	阪東 幸輔	建築雑誌	1653
坂茂さん、建築のノーベル賞 プリツカー賞	〃	朝日夕刊	3.25				
坂茂流 貫く建築の道 創造性と社会性を両立 W杯を語る場も	〃	〃	6.18				
坂茂さん プリツカー賞 素材の可能性 切り開く建築家	黒沢 綾子	産 経	4.3			読 売	1.22
美を楽しむ アラキーのニッポン 宇宙の図書館か! 知を刺激するガラスの惑星[坂茂]		東 京	5.27			〃	2.14
「被災地のため」貫く坂茂さんに米建築賞授与		東京夕刊	6.14	インタビュー 稗田一穂氏に聞く—美術家の伝統と自由—	滝沢 具幸 聞き手	連盟ニュース	450
文化往来 ブラジル大使館、坂茂設計のW杯パビリオン		日 経	6.19	群馬文化考 アーティスト 東素子		美術屋・百兵衛	31
建築界のノーベル賞 坂茂さん受賞 紙の筒など使い住宅 世界で被災地支援		日経夕刊	3.25	マンガで拝見 「ナイチンゲールの市街戦」原作の鈴木洋文さん[東裏友希]		東京夕刊	12.27
米プリツカー賞 坂茂さん授賞式 建築界の権威		〃	6.14	ミュージアム・インタビュー「アーティストの東島毅さんと本田健さんに関わりました」の巻		aprire	25
子供の感性磨くシンボル 相馬に教育施設 ヴィトンが工事費寄付[坂茂]		読 売	7.3	レポート墨 OASIS 一描き手を支える裏方の存在—[東園基昭]		水墨画*	298

(ヒ)

平成26年定期刊行物所載文献(近/作ヒ)

大特集 デビュー60周年 つげ義春 マンガ表現の開拓者 We Love TSUGE 1 「やなぎ屋主人」に一目惚れ	東村アキコ	芸術新潮	769	不熟の“天才”画家	古田 亮
“弱者”の強さ描きたい オタクが文化を生んでいる 漫画家東村アキコさん	東村アキコ 瀬崎久見子 聞き手	日経夕刊	12.10	古画を模写する	渡辺 美保
純粋なる芸術 アール・ブリュットの世界 東本憲子「無題I」	中村 政人	東京夕刊	3.19	資金集めに奔走！ 真真会	”
探訪 名画の舞台は農業ため池 長野県茅野市「御射鹿池」[東山魁夷]	松本 健吾	産 経	6.22	写真の中の春草作品	佐々木美帆
美の美 「水」の生命力 下 静寂と反射 景色も空も光も吸い込み 鏡面が描き出す心の風景[東山魁夷]	富田 律之	日 経	2.23	西大井久太郎という男	”
芸術と科学のあいだ 36 降りつもるのは、時間そのもの[東山魁夷]	福岡 伸一	”	10.19	春草画にみる中国画的要素	板倉 聖哲
伝統のその先へ 歳月と手わざが生む、さんぐりとした風合い 一閑張り細工師十六代目飛来一閑さん		瓜生通信	62	春草のみち	小島 淳
特集 プロ&通[ツウ]の「イチオシ！」 93点 この新人が、欲しい！ Part 3 無名の新人からスターダムへ。美術新人賞「デビュー」受賞&入選作家19点 樋口新	樋口 新 編集部・T	美 術*	467	春草のバトロンたち—秋元酒汀と細川護立—	塩谷 純
特集 日本の国宝 アートのちから 現代作家の作品に見る Part.3 樋口純 対話	樋口 純	美術の窓	372	春草とともに、そしてその後	古田 亮
特集 弥衛さん 浅野弥衛先生と私	久田 修	R E A R	33	画家たちの研鑽の場「絵画団体」	栗林 陵
特集 日本の国宝 アートのちから 現代作家の作品に見る Part.3 飛澤龍神 春のひかり	高山 淳	美術の窓	372	春草のお値段事情	編集部
On view 菱田春草が冒険的渡航でつかんだもの	佐々木美帆	現代の眼	608	春草と飯田	
Re view 屏風の折れ構造と「距離」—菱田春草《落葉》・《早春》を見る	平倉 圭	”	609	春草の手紙	
菱田春草 不熟の天才画家		太陽(別冊)	222	菱田春草 不熟の天才画家 春草の世界	” ”
				近代日本画の誕生 “新しい日本画”を目指して	古田 亮
				画家人生の原点 東京美術学校に学ぶ	小島 淳
				問題作!?《寡婦と孤児》論争を呼んだ卒業制作	古田 亮
				いよいよ面壇へ 日本画改革の急先鋒	槇村 洋介
				朦朧体への挑戦 情感や思想をイメージ化する	佐藤 志乃
				朦朧体での挑戦作 《菊慈童》 流れゆく時、止まった時間	槇村 洋介
				インドでの朦朧体への反応 現地での文化人との交流	佐藤 志乃
				欧米に渡った朦朧体作品 和様の見事な融合で西洋人を魅了	佐々木美帆
				外遊を経て得たもの 余白、暗示性という伝統的な美意識	佐藤 志乃
				色彩研究宣言 色への興味、新たな挑戦	鶴見 香織



色彩研究の裏「賢首菩薩」これまでになかった配色の冒険	〃											SPECIAL FEATURE アートのお仕事図鑑 STEP 2 やりたい仕事に就くためには？ 就職へのプロセスと必要なスキル アーティストとともに製作したい 依藤ひでと	猪熊 尚司	美術手帖	999
《落葉》に至る道のり 永青文庫の《落葉》と四つの《落葉》と関係作品	三宅 秀和											自作を語る 兵藤寛司	兵藤 寛司	自由美術	2014
琳派と春草 その構成美は琳派から	〃											子どもと共鳴 うなるコマ 端午の節句 彩る宮崎「神代独楽」 唯一の職人	兵頭 正一	日 経	5.5
《黒き猫》の描き方 写真と装飾の融合で実現した傑作	林田 龍太											特集 プロ&通〔ソウ〕の「イチオシ！」 93点 この新人が、欲しい！ Part 3 無名の新人からスターダムへ。美術新人賞「デビュー」受賞&入選作家19点 平岡良	平岡 良 編集部・W	美術*	467
発展途上の中の死 空間から造形表現へ	小島 淳											第27回奨学者のレポート 葉を挟むそのくらい	ヒラカワ ツヤ	アクリラ ート(別 冊)	2014
創造の源泉、春草の下絵とスケッチ	〃											現代作家の視線03 平川恒太		ギャラリー 一*	350
巻頭特集 再興院展 100年 その歩みと次代の画家たち 院展の巨星 その光と影 1 横山大観と菱田春草						美術*	461					アクリリックス・ワールド82 平川恒太	杉瀬 由希 取材・文	美術手帖	1006
Loeil 美は語る19 菱田春草 最新科学が解き明かす、新たな世界 インタビュー 荒井経						美術の窓	373					賽銭箱 匠の技求め 巡礼 これまで1500台調査、デザイナーの視点で10種に分類	平川 義浩	日 経	11.18
交遊抄 恐るべき行動力【菱田雄介】	飯沢耕太郎	日 経	8.9									白日会 精神—24人の作品と言葉から「rosa・rosa/bianco」	平澤 篤	新美術新聞	1339
評 美術 日高理恵子展 木と空の距離描く	岸 桂子	毎日夕刊	1.15									特集 光の表情を描く ④技法講座 vol.38 水彩 技法講座5 透明水彩でさらめく光の表情を捉える	平澤 薫	美術の窓	375
自作を語る 日名子金一郎	日名子金一郎	自由美術	2014									イチョウ研究 日本の雄 精子を確認した 平瀬作五郎、大発見に至る道たどる もともと植物画の画工論文の詳細調査へ渡欧 美術にも興味芽生える	長田 敏行	日 経	4.8
特集 近代建築再読 ヴェネチア・ビエンナーレ ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展と日本館	日埜 直彦	建築雑誌	1662									平田暁夫さん死去 帽子デザイナー デザイナーの三宅一生さんの話		朝 日	3.25
questions 8 日比野克彦		日 経	2.13									惜別 帽子デザイナー 平田暁夫さん 巴りの技 軽やかにひとすじに	高橋 牧子	朝日夕刊	5.24
人間発見 アートで人の輪つなぐ 1~5 アーティスト 日比野克彦さん	日比野克彦	日経夕刊	9.29~ 10.3									連載 住むことから考える U-35 9 もうひとつの家	平辻 里佳	建築雑誌	1662
美術新人賞デビュー 2014 第2回	日比野晋一	美術*	462												
マンガで拝見 「ギャングース」鈴木大介さん×肥谷圭さん						東京夕刊	7.26								
特輯 石橋コレクション 日本近代洋画 篇 図版一 百武兼行 臥裸婦	森山 秀子	国 華	1425												

平成26年定期刊行物所載文献(近/作ヒ)

平野恵理子の身边雑貨	平野恵理子	読売夕刊		SPECIAL FEATURE アンディ・ウォーホルのABC DIARY ウォーホルの遺伝子を継ぐ、日本の記録芸術の現在[平間貴大]	中ザワヒデキ	美術手帖	1000
柄足袋 着物姿に遊び心			1.15				
心和むハイチのフック			2.5				
革製品のお手入れクリーム			2.26	「平松礼二展 睡蓮画・モネへのオマージュ」がベルリン国立アジア美術館にて開催 日本画は世界に通用しうるのかー日本画家・平松礼二に思いを聞く		新美術新聞	1347
アイロンで付けるアップリケ			3.19				
心弾むエスバドリーユ			4.9				
念願のパーバリーのコート			4.30	話題 ベルリン国立アジア美術館で個展開催 日本画家・平松礼二さんに聞く		美術*	465
キャミソール 着心地うっとり			5.21	平松礼二展《睡蓮画・モネへのオマージュ》in ベルリン国立アジア美術館		”	467
優雅な京花紙 色々使え便利			6.11				
色石ネックレスで大変身			7.2	日本画から世界へグローバルスタンダードとなった平松芸術	成川 實		
藍の浴衣 小物でキメる			7.23	早くも西欧コレクターから熱視線 制作依頼も殺到し大ブレイクの予感	浅田 淳一		
ズックで怪やか			8.27				
北欧のカンケンバッグ			9.17	四季折々の情趣がドイツ人を魅了〜『平松礼二展 睡蓮画・モネへのオマージュ』を見て	石川 健次		
うっとり 京の防虫香			10.15				
ブランケットの季節			11.5	ベルリンで開催 平松礼二展 印象派と和の伝統が育む清新な美	”	産 経	7.10
幸せ カシミアニット帽			11.26				
「ひと針」が光るクッション			12.17	独で日本画家作品展 [平松礼二]	宮本 隆彦	東 京	6.13
純粋なる芸術 アール・ブリュットの世界 平野智之「美保さんシリーズ」	中村 政人	東京夕刊	4.9	投稿・技法の現場から エゾ鹿を使った膠の開発について	平向 功一	連盟ニュース	452
特集 日本の国宝 アートのちから 現代作家の作品に見る Part.3 平野雅子 生命の行方	平野 雅子	美術の窓	372	平成25年度 新収藏品・寄贈作品の紹介 [平山郁夫]	川谷 承子	アマリリス	114
SPECIAL FEATURE ティム・バートンの世界へ、ようこそ！ 対談 土居伸彰×ひらのりょう 境界を越えるためのアニメーション	岡澤浩太郎、編集部、構成	美術手帖	1014	「シルクロード」世界遺産へ 国境を越えて伸びる壮大な夢 [平山郁夫]	野口 昇	絲綢之路	76
修復家の仕事台から 一津田青楓が補筆した平福百穂の双鶴図	山領 まり	美術運動史研究会 ニュース	146	巻頭特集 再興院展 100年 その歩みと次代の画家たち 肖像画に託した師への思い 我が師とその作品8 平山郁夫 指導者となつたいま思う、師の偉大さ	手塚 雄二	美術*	461
日本画と短歌 平福百穂の画業		読 売	1.30	駅に壁画 潤う街 陶板やステンドグラス、設置運動ついに500点達成 [平山郁夫]	滝 久雄	日 経	4.22

メディアに表現される東京タワーの情景に関する研究「島耕作シリーズ」に描かれた東京タワーの考察[弘兼憲史]	大竹 由夏	芸術学研究(筑波)	19	インタビュー画ガール 深井富美子	笹山 森本	女流画家協会会報	2
Re ライフ EXTRA 競争はもう卒業 団塊世代よ、楽しもう 漫画家 弘兼憲史さん	坂井 浩和	朝 日	2.19	ジャワ更紗に和の彩り デザインした布地を本場で生産、日本で服やバックに	深川 芳子	日 経	10.28
INTERVIEW HIRO KIMURA 「人間」のドラマを切り取りたい		COMMERCIAL PHOTO	611	眼と脳がアートを創造「つく」る 第二十五~三十六回	深作 秀春	美術の窓	364~375
廣瀬慶二著 ベットと暮らす住まいのデザイン	重村 力	学 鏡	111-1	PREVIEW 深作秀春展	深作秀	" "	366
白日会の精神—24人の作品と言葉から「Dance」	広田 稔	新美術新聞	1339	本づくし	深澤 直人	A X I S	
色鉛筆で描く 心の詩[うた] 奇跡の出会いから始まったコラボレーション	広田友部 稔、正人	美 術*	470	「今、立ち止まって」『HELLO WORLD「デザイン」が私たちに必要な理由』アリス・ローソン著、石原薫訳			167
巻頭特集 はずむ色彩 配色・混色(秘)技法講座 vol.35 技法講座1 講師:広田稔 黄色と青紫の対比で光と影の光景を描く	広田 稔	美術の窓	370	「秩序としての自然」『アルヴァロ・シザの建築』TOHO 出版編			168
廣村正彰の Junglin' 第15~19回、最終回	廣村 正彰	A X I S	167~172	「美を全うする人への想い」『利休にたずねよ』山本兼一			169
「狼煙」と「忍者」 廣村正彰が考える、アナログで超感覚的な手法	" "	" "	169	「心という抽象」『脳はなぜ「心」を作ったのか—「私」の謎を解く受動意識仮説』			170
(フ)				「夏の家の日常」『火山のふもとで』松家仁之著			172
巻頭特集 原寸で見る!現代作家の技術物語を紡ぎ出すドローイングの力	風能 奈々	美術の窓	371	リレーおびにおん デザインの力 1 工業デザイナー・日本民芸館長 深澤直人さん 心地よいものを先取り	尾沢 智史 聞き手	朝 日	9.2
受賞教員インタビュー 第10回 木彫の新たな可能性を切り開くとともに後進育成に取り組むなど幅広い活動が芸術文化の発展に大きく貢献したとして紫綬褒章を受章。	深井 隆	芸大通信	29	新・現代日本の作家たち アトリエ寫眞 No.017 深澤幸雄	深澤 幸雄	美 術*	462
特集 プロ&通(ツウ)の「イチオシ!」93点 この新人が、欲しい! Part 1 手に入れるなら今のうち!注目!最新世代34点 中里勇太	中里 深井 勇太 隆	美 術*	467	インタビュー 深澤幸雄氏に聞く—草創期の銅版画家たち—	吹田 文明 聞き手	連盟ニュース	452
新・現代日本の作家たち アトリエ寫眞 No.022 深井隆	深井 隆	" "	" "	泳げ金魚 迫真の3D画法 絵と樹脂の積層、本物と誤解されることもしばしば	深堀 隆介	日 経	12.3
				絵を観る人も好き好き この一品[いっぽん]第13~24回[深見東州]	松井 武夫	ギャラリー一*	345~356
				連載 わがまま絵画点評—深見東州の世界 1~4、6	ワシオ・トシヒコ	美 術*	466~469、471
				連載 わがまま絵画点評—深見東州の世界 5、7	松井 武利	" "	470、472

話題の展覧会より 絢爛たる木版画家、 米寿を超えて 吹田 文明 吹田文明氏の 仕事	酒井 忠康	版画芸術	165	第67回全国大会研究 発表要旨 福島秀子 の絵画一戦後の人間 像と抽象の方法—	中嶋 泉	美術史	177
インタビュー 深沢 幸雄氏に聞く—草創 期の銅版画家たち—	吹田 文明 聞き手	連盟ニュー ース	452	特集 イチオン作家 今年の100人2015 Focus on! 2 福島 万里子	福島万里子 談	美術*	472
白日会の精神—24人 の作品と言葉から 「魅惑の泉」	福井 欧夏	新美術新 聞	1339	各科審査主任より 制作に心をこめて	福田 千恵	日展ニュー ース	154
特集 気高く美しく 理想の女性像 女性 像とは人物がもつ謎 や神祕へ近づき試み	"	美術*	466	奥田小由女、 土屋禮一、 藤森兼明、 福田千恵、 福山眞輔、 山本亮平、 宮田杭樹、 市澤静山	"	"	155
巻頭特集 こだわりの 写実表現 ディテ ールが引き出す存在 感 ④技法講座 vol. 33 技法講座6 講 師：福井欧夏 装飾 性に磨きをかけるレ ースの表現	"	美術の窓	367	座談会「改組新第一 回日展審査を終えて —明日への期待—」	日本画家 福田千恵	美術屋・ 百兵衛	30
レポート墨 OASIS —描き手を支える裏 方の存在—[福井江 太郎]		水墨画*	298	画家と戦争 日本美 術史の空白 戦争を 描いた画家たち 福 田豊四郎	迫内 祐司	太陽(別冊)	220
特集 魅力ある線を 描く ④技法講座vol. 37 生きた線が生ま れる瞬間 ライブペ インティングにおけ る線の表現	福井江太郎	美術の窓	374	福田平八郎—生命力 の色と形—	吉田 俊英	豊田市美 術館紀要	7
こころの玉手箱 日 本画家 福井爽人 1~4	福井 爽人	日経夕刊	3.17~20	美の美 魚との対話 下 近代日本画の冒 険 みなぎる生気生 け捕りに 自由な発 想、新境地開く[福 田平八郎]	宮川 匡司	日 経	7.27
追悼 三好正嗣氏 ともに見た残雪の月 山風景	福王寺一彦	新美術新 聞	1357	特集 プロ&通[ツ ウ]の「イチオン!」 93点 この新人が、 欲しい! Part 3 無名の新人からスタ ーダムへ。美術新人 賞「デビュー」受賞& 入選作家19点 福田 真規	福田 真規 本江 邦夫	美術*	467
戦後の巨匠 24 福 沢一郎・“地獄絵”・ レアリスム	林 紀一郎	美術屋・ 百兵衛	30	平成25年度新収蔵作 品のご紹介[福田美 蘭]	T.S.	ソカロ	69
駅に壁画 潤う街 陶板やステンドグラス、設置運動ついに 500点達成[福沢一郎]	滝 久雄	日 経	4.22	収蔵作品から 福田 美蘭《世界貿易セン タービルの展望台》	渡辺希利子	ど お む	122
人生の贈りもの 報 道写真家 福島菊次 郎 1~5	山根由起子 聞き手	朝日夕刊	5.26~30	イメージを遊ぶ 進 化するだまし絵 4 ルネ・マグリット 「赤いモデル」 現実 と非現実の境界	福田 美蘭	東京夕刊	8.28
特集 アートコンペ ディションが切り拓 く地平 第15回高校 生国際美術展 絵画 の部 内閣総理大臣 賞 福島志保さん	中村 俊介	陶 説	736	是枝監督ら文科大臣 賞 画家 福田美蘭 さん「ゼロ」に戻し 創作	岸 桂子	毎 日	3.14
福島善三さんという 人	大長 智広	"	"	絵画制作におけるマ チエールの可能性に ついて	福満正志郎	筑波大学 芸術研究 報告	63
小石原の地でつくる 陶芸家・福島善三	福島 唯史	新美術新 聞	1339				
日々好日 油絵の魅 力							

総特集 岩明均『風子のいる部屋』『寄生獣』『セタの園』から『ヒストリエ』までイラスト・エッセイある意味、最強の…	福本 伸行	ユリイカ	654	絵画技術史から見た日本への印象派紹介者再考[藤島武二]	森田 恒之	近代画説	23
ニューヨークで出会うアジアの美 第4回 二つの祖国[福本双紅]	朽木ゆり子	目の眼	456	特輯 石橋コレクション 日本近代洋画篇 図版四 藤島武二 天平の面影	佐藤 道信	国 華	1425
特集 近代建築再読 ヴェネチア・ピエンナーレ ヴェネチア・ピエンナーレ現地レポート―「ファンダメンタルズ」で問われたもの	福屋 粧子	建築雑誌	1662	鹿児島文化考 鹿児島島の偉大な画家たち 藤島武二		美術屋・百兵衛	28
技法講座79 藤井美加子 白抜き剤と和紙コラーージュを使った日本画表現 前、後編		美術の窓	374、375	REVIEWS 崇高な無意味、その向こう	藤城 嘘	美術手帖	1002
巻頭特集 見て楽しむ、描いて楽しむ風景画 ⑥技法講座vol.34 実践!風景画をマスターする(⑥技法講座 2 講師:藤井路夫 力強い大地の表現	藤井 路夫	"	369	鶴ヶ城プロジェクト マッピングはるか2014[藤城清治]		COMMERCIAL PHOTO	611
幻の女優 マダム・ハナコ 64 花子像の行方 6 手放したくはなかった[藤川勇造]	大野 芳	東京夕刊	7.15	特集 「黒」の新世紀―若き表現者たちのリアル 藤城正晴		美術*	470
名著の衝撃 8 『ミノタウロスの皿』藤子・F・不二雄 人間と家畜が入れ替わった星	呉 智英	"	1.16	「版画アートコレクション」の作家 藤田修 光と影の「映像」が絵画になるとき	松山 龍雄	版画芸術	163
第18回手塚治虫文化賞 特別賞 「まんが道」愛…しりそめし頃に… 藤子不二雄(A)さん トキワ荘に集った青春群像	小原 篤 朝 日	4.29		ようこそ、新しい先生 藤田修平	藤田 修平	瓜生通信	62
手塚治虫文化賞大賞・羽海野さん 「子どものそばにいるマンガ描けたら」[藤子不二雄(A)]	"	"	6.3	レオナルド=ツグハル・フジタ再考―初期資料の検証を中心に―渡仏100周年を契機として―[藤田嗣治]	村上 哲	鹿島美術財団年報・別冊	31
本よみうり堂 愛ぬすびと 愛たずねびと 藤子不二雄(A)著	平松 洋子	読 売	1.5	藤田嗣治 初期絵画制作におけるギリシア舞踊習得の影響―藤田留学、妻とみ宛て書簡資料を手がかりに―	佐野 勝也	"	"
今月から読み始める人のための はじめの一歩	藤崎 千雲	水墨画*	298	画家と戦争 日本美術史の空白 戦争を描いた画家たち 藤田嗣治	奥間 政作	太陽(別冊)	220
花姿容 第一～五回、最終回	"	"	301～306	INFORMATION 国際的アーティスト 藤田嗣治の画業を総覧	清水 敏男	美術手帖	1004
現代水墨画作家手本集29 藤崎千雲 清韻	"	"	307	SPECIAL FEATURE 一生に一度は行きたい! 世界のアート スポット PART 6 アーティストがたどり着く聖地[藤田嗣治]	林 洋子	"	1005
				特集 魅力ある線を描く ⑥技法講座vol.37 巨匠たちの線 藤田嗣治の線 藤田嗣治の線 藤田嗣治の線 藤田嗣治の線 藤田嗣治の線 藤田嗣治の線 藤田嗣治の線 藤田嗣治の線 藤田嗣治の線 藤田嗣治の線	原 唯	美術の窓	374
				特集 本をとどけるcolumn 画集を編むこと 小学館・藤田嗣治画集の刊行を終えて	林 洋子	REAR	32

平成26年定期刊行物所載文献(近/作フ)

視線 藤田嗣治画集全3巻	北澤 憲昭 朝 日	5.18	特集 気高く美しく理想の女性像 女性像にこそ託せる画家自身の情感	藤森 兼明 美術*	466
文化の扉 はじめての藤田嗣治 反対独自の独自のスタイル確立	安部美香子 オダギリジョー	" 12.1	新・現代日本の作家たち アトリエ寫眞 No.021 藤森兼明	" " "	"
世界の街 海外リポート 仏ランス 藤田の心宿る礼拝堂	渡辺 泰之 東京夕刊	11.14	本江邦夫の「今日は、ホンネで」第78回 洋画家 藤森兼明	藤森 兼明、本江 邦夫	" 469
藤田嗣治、旅絵師の足跡 中南米巡り残した作品など、資料から探し研究 異国情緒漂う絵 30年代移動最も多く 欧州でも戦争体験	林 洋子 日 経	4.3	中特集 藤森兼明「永遠の祈り」の到達点	若松 基 美術の窓	373
Topics 『藤田嗣治画集』刊行 作戦記録画全点を初収録 監修の林洋子さん「歴史化が可能に」	岸 桂子 毎日夕刊	4.14	洋画家たちの青春 白馬会から光風会へ上 中村研一 秋花色彩は剛直 太く強い線	藤森 兼明 東京夕刊	4.2
純粋なる芸術 アール・ブリュットの世界 藤田雄「雄 WORLD」	中村 政人 東京夕刊	5.21	「月映」とは何か?—100年目に解きほぐす試み[藤森静雄]	熊田 司 和歌山県立近代美術館ニュース	81
イギリスの展覧会 人間国宝四人展[藤沼昇]	外館 和子 陶 説	730	細川家の建築13~15	藤森 照信 永青文庫	86~88
美博ピックアップ 光のある場所[ところ] 神奈川県立近代美術館 鎌倉[藤牧義夫]	塩見 圭 朝日夕刊	1.8	国分寺ニューギャラリー棟上げ[藤森照信]	藤森 照信 瑞 垣	2014年1・2月合併号 228
特集ワイド 孤高の木版漫画家 藤宮史さん 6畳間からの憂い 貧乏人は戦争やろうとは思わない 原発ひとつ止められない意志薄弱	鈴木 琢磨 毎日夕刊	8.28	柱を立てて太陽神を祭る伊勢	藤森 照信 朝 日	10.27
現代作家の視線07 藤本明洋	ギャラリー*	354	赤瀬川原平さん死去 77歳 画家・作家「老人力」全力で面白いこと 言語化 天才だった[藤森照信]	藤森 照信 " "	12.7
作品 藤本和彦 「端緒・循環」「端緒・起点」「端緒・2014 S」	札幌大谷大学紀要*	44	ニュースの本棚 建築史家・建築家 藤森照信 赤瀬川原平の目 目玉でザラリと触るように	" 朝日夕刊	2.12
ひと 第15回上野彦馬賞を受賞した 藤元敬二さん	黒澤敬太郎 毎 日	11.18	古い建築、都市に生かした 建築史家 鈴木博之さんを悼む	" " "	7.1
近年の新収蔵品から(3) 桜島コレクション[藤本東一良]	松下 幸男 グリーンルーフ	75	オトコの別腹 藤森照信さん 「たねや」のたねや寒天トマト	" 東京夕刊	8.5
各科審査主任より 二科洋画の審査にあたって	藤森 兼明 日展ニュース	154	建築家ピエール・シャローとガラスの家 現代建築の潮流生む	" 日 経	11.7
座談会「改組新第一回日展審査を終えて 一明日への期待」	奥田小由女、土屋禮一、藤森福山、本宮田亮平、杭迫市澤静山	" 155	喪友記 赤瀬川原平さんを悼む 画家・作家、職人	" 毎日夕刊	10.30
			視覚表現の究極求める 赤瀬川原平さんを悼む	"	1.11、13~16、18、20~23、25、27~30、2.1、3~6.8、10~13
			時代の証言者 建築探偵 藤森照信 1~25	柴田 文隆 読 売	

ART WAVE 第49回 主体展特別企画 主体美術神奈川作家展 報告—45回の節目を 迎えて—	藤原 守 アツ	主体美術	95	本郷 寛 田中康二郎 東良雅人 岡田京子 中島千波 松坂芳助 米林雄一 江藤一観 山本泰生 五十嵐貞三	連盟ニユ ース	451
特集1 目の眼的六 古窯の旅 備前の里 を訪ねて		目 の 眼	458	平成26年、今美術教育を 考える美術教育の拡大研究 委員会開催報告 後編		
備前焼の歴史と未 来を語る座談会 温故知新・変革期 の備前焼に新しい 波をおこすには	藤原 和 金重晃介 臼井洋輔 藤原喜久代 木村英昭 渡邊琢磨 白洲信哉			この社会に漂う「放 射能」愛知芸術文 化センター・オリジ ナル映像作品第22弾 『放射能』 監督：船 橋淳	中沢 あき	REAR 32
備前の里からもの づくりの楽しさを 伝えたい	藤原 和			ひと 書評欄コラム の「切り絵」デザイナ ー 舟橋全二さん	須藤 唯哉	毎 日 1.11
特集1 目の眼的六 古窯の旅 備前の里 を訪ねて 備前焼の 歴史と未来を語る座 談会 温故知新・変 革期の備前焼に新し い波をおこすには	藤原 和 金重晃介 臼井洋輔 藤原喜久代 木村英昭 渡邊琢磨 白洲信哉	" "		障害者アート 写真 集が話題に 誇りを 持って自己表現[PR -y]	河嶋 浩司	" 12.12
黄君、スニーカーの 紐が解けているよ 藤原新也が見た「雨 傘革命」@香港 平凡な少年突き動か した危機感	藤原 新也	朝 日	12.2	連載 住むことから 考える東京2020 2 未来のアジア型都市 を目指して	古市 徹雄	建築雑誌 1663
純粋なる芸術 アー ル・ブリュットの世 界 伏木庸平「無題」	中村 政人	東京夕刊	10.8	画材考17 46億年の 師—地球とそこに生 きる生命	古澤 洋子	新美術新聞 1362
研究ノート 二見彰 一と日本の戦後現代 版画について(抄)	新田 建史	アマリス	115	作家通信 直感巡礼	古舘 興	水墨画* 298
未乾素描(2~5) [船川未乾]	丹尾 安典	一 寸	57~60	第27回奨学者のレポ ート 脱臼絵画論	古橋 香	アクリラ ート(別 冊) 2014
特集 気高く美しく 理想の女性像 どん なに綺麗な衣装も美 しい裸体には敵わな い	舟木誠一郎	美 術*	466	クリエイターズワー ク&ソウル 古屋絵 菜	古屋 絵菜	A X I S 169
現代美術の歩き方 異論反論・現代美術 インタビュー 舟越 桂 新しい形を探し て		美術の窓	369	美術評	古谷 利裕	東京夕刊
練馬のアトリエ村交 流史 戦争を駆け抜 けた芸術家たち、青 春の日々を語り継ぐ [舟越保武]	中井 嘉文	日 経	10.23	「さわひらき Under the BOX, Beyond the Bounds」展 映像 がつくる迷宮空間		2.21
				「泥とジェリー」展 絵の具が絵になる 時		4.4
				オランダ・ハーグ 派展 光の往環、 閉じ込める		5.9
				バランプセスト 飯嶋桃代展 衣服 だった記憶を解体		6.13
				「オルセー美術館 展 印象派の誕生 —描くことの自由 —」 マネ 明快 とはかなさ		7.18

「戦後日本住宅伝説一挑発する家・内省する家」展 生活と表現 スレを内包	8. 22		開館20周年 清里フォトアートミュージアムと現代写真の20年[細江英公]	島貫 泰介	美術手帖	1008	
「だまし絵2 進化するだまし絵」展 答えを知っても謎持続	9. 26		学校で写真の授業をものをとらえ、発信する力を養う 写真家 細江英公さん	干場 達矢	日経夕刊	9. 17	
「小林耕平 透・明・人・間」展 「用途の創造」求め彷徨う	10. 31		大型展評 FOCUS 細川勝展	松本由美子	美術の窓	367	
東京国立近代美術館「MOMATコレクション」絡み合い 自然を表現	12. 5		細川護熙 建仁寺正伝永源院の襖絵を描く	細川 護熙	国華清話会会報	23	
			「アニメの粹壊した」伝説巨神イデオンのWOWOWプライムで来月16日から[細田守]	土屋 溪	毎日夕刊	2. 13	
(ヘ)							
SPECIAL FEATURE アンディ・ウォーホルのABC DIARY ウォーホルの遺伝子を継ぐ、日本の記録芸術の現在[戸來貴規]		中ザワヒデキ	美術手帖	1000			
特集 日本の国宝 アートのちから 現代作家の作品に見る Part. 3 逸見有輝く生命[いのち]		磯部 靖	美術の窓	372			
古民家模型ぬくもり宿す 全国歩き回り住人と交渉、構造調べ上げ精功に再現	8. 18	逸見 雄一	日 経				
			茶話マンガ 読むだけでなく楽しい[ほったゆみ]	伊藤 剛	朝日夕刊	2. 8	
			純粋なる芸術 アール・ブリュットの世界 穂積一樹『緑色印刷のダイアグラム「9-113-2」』	中村 政人	東京夕刊	12. 3	
			インスピレーション建築	ぼむ 企画	A X I S		
			リニューアルで生まれ変わった2つの美術館			167	
			MUJI×UR、団地リノベーションの展開			168	
			オーナー目線の保存運動、住宅遺産トラスットの試み			169	
			設計・施工プロセスの組み換えが建築を変える			170	
			賃貸住宅の普通を底上げする、新しいサービス			171	
			LINE 新社屋の計画と、福岡市の都市戦略			172	
			野生のトラ撮り探検記 美しさ・危うさ持つ姿に魅了、インドに通い写真に収める	堀 明日	日 経	9. 26	
			復興の祈り込め、福島空港にレリーフ 日本画家・堀文子	増田 愛子	朝日夕刊	2. 19	
			駅に壁画 潤う街陶板やステンドグラス、設置運動ついに500点達成[堀文子]	滝 久雄	日 経	4. 22	
(ホ)							
北海道文化考 洋画家 鈴木直作			美術屋・百兵衛	30			
コミック 逢沢りく(上下) ほしよりこ(作) 美少女と関西人の人情喜劇	11. 9	南 信長	朝 日				
日々好日 黒と光	1333	保科 豊巳	新美術新聞				
わたしたちの教室へようこそ 星野栄華 栄華墨友会	302		水墨画*				
大雪が降った日	12. 28	星野 博美	日 経				
山下裕二の今月の隠し球 Vol. 115、116 小山久美子 星野有紀 セーラー服と三白眼(上、下)	370、371	山下 裕二	美術の窓				
芸術新潮特別企画 清里フォトアートミュージアム 若手支援20年が培った後世への希望[細江英公]	779		芸術新潮				



繕い いまむかし いま 使い捨て 社 会の反動で、直した い人々。	大 寛 郷 康 中 二 東 郎 岡 雅 田 人 島 千 米 波 江 助 佐 雄 藤 一 山 観 本 生 五 貞 十 三 嵐 芳	文彦 カムラク ニオ 道広	芸術新潮	778					
優美 Excel 絵画 パ ソコンで映かせた第 2の人生 群馬の74 歳 堀内さん[堀内 辰男]		荘加 卓嗣	東 京	11.28	平成26年、今美術教育を 考える美術教育に関する 拡大研究委員会開催報告 編			〃	451
特集 心に染みる風 景 凛としてたたず む桜島にひかれて		堀江 孝	美 術*	465	美術団体レーダー 100回展へ向かって の新たな決意 第91 回春陽展 春陽会賞 受賞者 本荘鎮夫(絵 画部門)			ギャラリー 一*	349
現代水墨画作家手本 集30 堀江春美 時 空		堀江 春美	水 墨 画*	307					
堀尾さんからの便り [堀尾貞治]		熊田 司	えむえむ	7	府中美術散歩2 大 国魂神社参道[本多 錦吉郎]	志賀 秀孝	府中市美 術館だよ り		40
〈あたりまえのこと〉 一堀尾貞治について		坂上義太郎	美術運動 史研究会 ニュース	141	特集 日本の国宝 アートのちから 現 代作家の作品に見る Part.3 本多耕一 イメージの原点	本多 耕一	美術の窓		372
視点 「空気」を可視 化し、「生きること」 とは何かを問う[堀 尾貞治]		坂上義太郎	美術の窓	366					
表紙の作品 堀尾卓 司《華》		(W)	潮 流	119	ミュージアム・イン タビュー「アーティ ストの東島毅さんと 本田健さんに聞いま した」の巻			aprire	25
平成26年 秋の叙勲 ・褒章・地域文化功 労者決まる 旭日双 光章 堀尾信夫氏 瑞宝中綬章 小山硬 氏、高橋彬氏、藤井 知昭氏、紫綬褒章 遠藤彰子氏			新美術新 聞	1361	津波の怖さ 絵本に 石巻の漁師がモデル ベイエフエム リス ナー寄付で700冊作 製[本多豊國]		東 京		4.22
堀口捨己の建築思想 における「炭組み」に ついて		近藤 康	日本建築 学会計画 系論文集	703	特輯 明治の彫刻 図版六 本保義太郎 若葉壳	藤井 素彦	国 華		1426
時代の証言者 建築 探偵 藤森照信 13 洋式建築「全部見る」 企て[堀口捨己]		柴田 文隆	読 売	1.28	換骨奪胎 ホンマタ カシの映像リテラシ ー 4~8	ホンマタカ シ	芸術新潮		769、771、 773、777、 779
伝統×デザイン 手 仕事の日本ふたたび 江戸切子 時代に寄 り添う自由度と技術 力[堀口徹]		篠原 知存	産 経	6.26	特集 もっと素敵に ジャポニスム なぜ 日本文化は世界で人 気なの? PHOTO- GRAPHY 換骨奪胎 ホンマタカシの映像 リテラシー 番外篇 特別対談 写真のジ ャポニスム	ホンマタカ シ、榎木 野衣 対談	〃		775
顔 スペインの文民 功労章を受章した画 家 堀越千秋さん		藤原 善晴	読 売	9.23	華麗な人 ただ見る だけでなく 眼 視 力低いからこそ働く 勘 写真家 ホンマ タカシさん	宮坂 麻子	朝日夕刊		4.17
顔 スペインの巡礼 路に観音菩薩像を彫 った仏師 凡海さん		藤本 幸大	〃	9.11					
平成26年、今美術教 育を考える美術教 育に関する拡大研究 委員会開催報告 前 編		本郷 寛 田中 康 東 二 岡 郎 田 雅 京 子	連盟ニュ ース	450	レポート墨 第9回 合同水墨画展で前英 里子氏が揮毫会を開 催				301

(マ)

神宮美術館所蔵 神宮名品解説 漆芸 沈金箱「十六夜」 沈金箱「里山」[前史雄]	小山 朝子 瑞 垣	228	特集 住むことから考える インタビュー：住むことから都市景観を考える 建築が共感の場を生み出す未来へ	横手 文彦 恒 恒 北山 恒 聞き手	建築雑誌	1653	
1960年代の言説を中心にみる「技術」と「人間精神」について 前川國男の制作論に関する研究 1	中尾沙矢香 河田 智成	日本建築学会 計画系 論文 集	700	「建築の危機」打開せよ 建築界のリーダー3氏が公開討論 情報化の波 都市との接点に変化[横文彦]	大西 若人	朝日夕刊	1.22
美の美 温泉と絵画 下 近代化が生んだ旅への夢 失われた風物 今に伝える[前川千帆]	窪田 直子	日 経	11.16	白日会 精神—24人の作品と言葉から「朱夏 黒蝶」	牧内 則雄	新美術新聞	1339
表紙の言葉 黒漆菱螺鈿耳付丸鉢[前田孝允]	當 山 きよらさ	73	大川美術館によせて	馬越 陽子	ガス燈	100	
巻頭特集 再興院展 100年 その歩みと次代の画家たち 肖像画に託した師への思い 我が師とその作品 3 前田青邨 天才であり、勉強家だった師の姿	大矢 紀 美 術*	461	特集 日本の国宝 アートのちから 現代作家の作品に見る Part.2 馬越陽子 運命の歌	高山 淳	美術の窓	372	
美の美 片岡球子 火の山のごとく 上 教育も絵も人を見てこそ 異色の画風 厚い情を宿す[前田青邨]	窪田 直子	日 経	6.29	特集 プロ&通[ツウ]の「イチオシ！」93点 この新人が、欲しい！ Part.2 見逃せない最新作も！人気の若手作家40点 馬籠伸郎	馬籠 伸郎 木村 悦雄	美 術*	467
前田哲明 迫力ある 黒いオブジェ		産 経	1.9	作家通信 Cosmic garden「水中山水」	間島 秀徳	水墨画*	298
画材考16 地球の骨 一炭酸カルシウム一	前田 昌彦	新美術新聞	1359	異聞逸聞 絵にさわる「体」で感じるGF 絵画の魅力[間島秀徳]	広瀬浩二郎	みんぱく	446
アダブテーション論から見たメディアミックス—前田真宏の『巖窟王』を例に—	コピローワ・オーリガ	京都精華大学紀要	45	本づくし 「偶然生まれる泡に惹かれて」『泡の物理』デニス・ウェイアー、ステファン・ハツラー著、大塚正久・佐藤英一・北園幸一訳	増子 由美	A X I S	167
特集 日本の国宝 アートのちから 現代作家の作品に見る Part.3 前田麻里 原点は父のアトリエ	前田 麻里	美術の窓	372	建築家 増田清の思い出	阿川佐和子	アプローチ*	206
美術新人賞デビュー 2014 第2回	前田 龍一	美 術*	462	SPECIAL FEATURE ティム・バートンの世界へ、ようこそ！ バートン偏愛 1 増田セバスチャン	編集部	美術手帖	1014
展覧会レビュー part 1 三つの視点 超絶技巧！明治工芸の粹 超絶技巧！明治工芸の粹に思う 彫刻画家の視点	前原 冬樹	〃	467	建築史学会二〇一四年度大会 研究発表会報告 四 建築論と建築史の対話の場としての『歴史的環境保存』—稲垣栄三の増田友也追悼講演(一九九三)から考える—	市川 秀和	建築史学	63
人形アニメ手仕事の美 CGで出せぬ人間の匂い 日本が育んだ技を次世代に	真賀里文子	日 経	1.27	特集 アートコンペティションが切り拓く地平 受賞者「TURNER AWARD 2013」大賞 増田将大さん		ギャラリー 一*	352
popstyle vol. 428 ALL ABOUT 真賀里文子 人形に吹き込む魔法	市原 尚士	読売夕刊	11.26				

アクリリクス・ワールド79 増田将大	石井 芳征 取材・文	美術手帖	998	松井冬子、匠の技で帯に転生	芸術新潮	772
研究資料 富本憲吉の増田三男宛書簡(I)	丹尾 安典	早大會津八一記念博紀要*	15	現代アーティスト松井冬子の「主体的なスード」に見る美術における女性及び女性の身体イメージをめぐる現状の考察	原口 有紗 bandaly	13
かるた遊びで地元に着る 調布と三鷹で販売[升ノ内朝子]	竹島 勇	東京	12.27			
特集 「黒」の新世紀一若き表現者たちのリアル 益村千鶴		美術*	470	特集 パルテュス 20世紀最後の画家 絵画の夢、画家の術	松井 冬子 談 阿部 真弓 聞き手 ユリイカ	642
賞を獲った広告写真 2013-2014〜アワードに見る広告写真の今〜YKK AP	舛本 晋一	COMMERCIAL PHOTO	611	学校と私 日本画家松井冬子さん 6浪して憧れの芸大入学	三木 陽介 聞き手 毎日	1.13
増山たづ子 すべて写真になる日まで	楠本 亜紀	R E A R	32	作家通信 松井陽水 個展開催に向けて	松井 陽水	水墨画* 300
視線 増山たづ子 すべて写真になる日まで	原田 マハ	朝 日	6.1	現代水墨画作家手本集33 松井陽水 淵の森の初雪	" "	307
「増山たづ子 すべて写真になる日まで」 「宝箱 斎藤陽道展」 生きるとは、問いかける	西岡 一正	朝日夕刊	1.22	巻頭特集 見て楽しむ、描いて楽しむ風景画 ⑥技法講座vol.34 ベテラン作家が描く 心に残る風景画 松浦安弘	松浦 安弘	美術の窓 369
増山たづ子 すべて写真になる日まで 沈んだ村の記憶	篠原 知存	産 経	1.9	巻頭言 再興院展 「白寿」の年に思う	松尾 敏男	絲綢之路 76
沈む村 写真へ「移転」 増山たづ子展	森田 睦	読 売	1.23	巻頭特集 再興院展 100年 その歩みと次代の画家たち 肖像画に託した師への思い 我が師とその作品1 横山大観と堅山南風	"	美術* 461
コミック デモクラティア 1 間瀬元朗(作) ネットの民意が混じり合い…	山脇 麻生	朝 日	2.2	大矢頼音対談シリーズ 「画家たちの夏」 第1回 松尾敏男		美術の窓 370
レポート墨 第24回 タカシマヤ美術賞に町田久美氏ら三氏		水墨画*	300	吾が思い出の映画史 29	松尾 敏男	美じょん新報 173
プロから学ぶ 風景画 上達の極意10~12	町田 泰宣	"	298~300	作品 松隈康夫 「笑うかどには Laugh and get fat」「結 Together」		札幌大谷大学紀要* 44
現代水墨画作家手本集32 町田泰宣 塔韻	"	"	307			
SPECIAL FEATURE パルテュス SPECIAL EDITION 日本のオタクカルチャーと少女 座談会: Mr.×町田ひらく×大嶋優木×岸田メル	さやわか 構成	美術手帖	1004	特集 プロ&通「ツウ」の「イチオシ!」93点 この新人が、欲しい! Part 1 手に入れるなら今のうち! 注目の最新世代34点 松崎綾子	松崎 齋 綾子 正機	美術* 467
特集 銅版画家25人 新時代を切り開く精鋭たち 松井亜希子	松井亜希子	版画芸術	165	蠟人形 偽物に宿る本質 作り続けて千体超 その人に抱く「幻想」を形に	松崎 覚 日 経	11.6
茨城の陶芸2 作家自身を語る 練上による作陶	松井 康陽	東洋陶磁	43	連載 日本画家のアトリエ訪問 第8回 松崎十朗	大澤 景	美術の窓 365
伊勢神宮とロボット〜日本デザインの原形と未来〜	松井 龍哉	瑞 垣	227	世界蜂起展—松澤宥「最終美術思考工房」をめぐるって 《世界蜂起》いまこそ		あいだ 214

平成26年定期刊行物所載文献(近/作マ)

40年ぶりのメール展	小坂 真夕			美術というより人間と違うかな 松田昌子が語る、夫・松田豊の眼差し。	編集部		
松澤宥一—その思考の原点	伊丹 裕						
松澤宥と詩	窪寺 雄二			特集 まちづくりのタイムライン 大阪市空堀地区10年間のまちづくり—ペイフワードのまちづくり	松富 謙一	建築雑誌	1664
ネットワークとしてのアート	嶋田 美子						
小倉正史の現代美術講座 その13[松澤宥]	小倉 正史	ギャラリー一*	348				
松澤宥の「概念芸術」における“消滅”	能勢 陽子	豊田市美術館紀要	7	特集 英国ヴィクトリア朝美術の陶酔[エクスタシー] ラファエル前派から唯美主義まで インタビュー 少女マンガ家はラファエル前派の夢を見るか	松苗あけみ 藤本由香里 聞き手	芸術新潮	770
見えないトラウマ—松澤宥を原点から再考察する	富井 玲子	美術運動史研究会ニュース	146				
photographers' gallery press 誌 「爆心地の写真 1945—1952」 広島特集 凝視すべき極限下[松重美人]	田中 純	読 売	12.25	仲間の窯再開後押し 焼き物 息子と継承・革新 大堀相馬焼 窯元 松永和生氏	松永 和生 談 中丸 亮夫 聞き手	日 経	5.24
わたしたちの教室へようこそ 松下黄沙沙墨画 GROUP82		水墨画*	303	巨匠に学ぶ水墨画のわざ『日本画実習帖』の世界 第四回 松林桂月の冬景山水	村田 隆志	水墨画*	304
特集 「黒」の新世紀—若き表現者たちのリアル 松下雅寿		美術*	470	丹青閑話 第37話—松林桂月「十声詩意」	島尾 新	美術の窓	368
二〇一三年春季展 古代ガラスとの対話	松島 巖、 松島みちよ 談 東 容子 インタビュー	秀明美術	21	Interview with Famous Artist 愛知県立芸術大学学長 画家・松村公嗣に聞く		ギャラリー一*	346
特集 「黒」の新世紀—若き表現者たちのリアル 松島純		美術*	470	巻頭特集 再興院展 100年 その歩みと次代の画家たち 肖像画に託した師への思い 我が師とその作品 7 片岡球子 “面構”を通じて人生を見つめた師	松村 公嗣	美術*	461
第六十回日本伝統工芸展入選作品	織田 阿奴智 荒川 哲也 石山 秀策 神崎 和子 松田	秀明美術	21	特集 心に染みる風景 いにしへの雅を想いながら	〃	〃	465
水墨の最前線33 入墨のように沈み、被膜のようにゆらめく水墨 マツダジュンイチ	野地耕一郎	水墨画*	304	特集 光の表情を描く ⑧技法講座 vol. 38 日本画 技法講座 1 夕暮れの太陽光を反射する水辺の情景を描く	松村 公太	美術の窓	375
理屈抜きの画家 松田正平という人	仲井 義晶	職場美術	141	作品 松村繁 「Lamina」「海向」		札幌大谷大学紀要*	44
新収蔵品紹介 松田澄夫《6・26大水害スケッチ》	井上 正敏	View	150	日々好日 絵の自分に勝つために	松村 浩之	新美術新聞	1352
学生記者6人が選ぶ「この1冊」 重版出来[松田奈緒子]	山崎 杏子	毎 日	4.18	もう一人の自分とともに	〃	多摩美術研究	3
シリーズ・具体美術の作家6 松田豊		ギャラリー一*	347	展覧会ピックアップ 第31回グループ11展	松本 明子	職場美術	142
松田豊さんの〈偶然〉と〈冒険〉	今田 純子			道に描く 私の道 チョークを手に路上がキャンパス…イタリア仕込みのプロ	松本かなこ	日 経	12.16

新収蔵品紹介 松本喜三郎興行刷物(鎮西八郎嶋廻り生人形細工)	宮川 聖子	V i e w	148	大波小波 地球詩人 まど・みちお	オサルノラクガキ	東京夕刊	3.5
龍起と竣介—その交友の軌跡—[松本竣介]	小林 俊介	ガ ス 燈	103	生涯現役 命をうたう まど・みちおさん 老いもユーモラスに		読 売	3.1
ひと 毎日写真コンテストで2度目の内閣総理大臣賞 松本末子さん	香取 泰行	毎 日	12.17	HON ライン倶楽部 まど・みちおの巻 全てを慈しむ感性の詩人 「？」と「！」を楽しむ	待田 晋哉 中村 桂子	"	4.27
特集 日本の国宝 アートのちから 現代作家の作品に見る Part.3 松本信子 私見の視覚化	松本 信子	美術の窓	372	名著の衝撃 32『関金ウシジマくん』真鍋昌平著 現代日本心の荒廃リアルに	呉 智英	東京夕刊	2.20
福島に生きる子 絵本に いわさきちひろさんの子・孫[松本春野]	清野有希子	朝日夕刊	10.28	SPECIAL FEATURE アートのお仕事図鑑 STEP1 トップランナーに聞く アートの仕事の魅力とは? ライゾマティクス 真鍋大度	内田 伸一	美術手帖	999
家族のこと話そう 絵本作家 松本春野さん ちひろの心受け継ぐ使命	吉田 瑠里 聞き手	東 京	4.27	変質する「平和」 第1部 封印される広島 中「南京」見学 二の足 多様な視点 持つ機会を [丸木位里/丸木俊]	大平 樹	東 京	3.31
本づくし 「人は、頑張っている人に共感し、勇気をもたらす」『創造の狂気 ウォルト・ディズニー』ニール・ゲイブラー 著、中谷和男訳	松本 博子	A X I S	170	「原爆の図」語りだす米詩人 触発され紙芝居に 「核と生命 共存できない」[丸木位里/丸木俊]	出田 阿生	東京夕刊	12.18
純粹なる芸術 アール・ブリュットの世界 松本美千代「生き物」	中村 政人	東京夕刊	8.20	著者に会いたい 東京幻風景 丸田祥三さん 老いてゆく姿に宿る美	山根由起子	朝 日	5.18
作家通信 月刊「水墨画」に学んだ20年	松本 深雪	水 墨 画*	306	幻風景	丸田 祥三	朝日夕刊	
現代水墨画作家手本集34 松本深雪 選に翡翠	"	"	307	浜名湖畔の飛行機 (浜松市)			3.18
関東の陶芸展 笠間焼ソースポット、大子漆皿製作発表会[松本良太]	外館 和子	陶 説	730	町の遺産(千葉県野田市)			4.1
私のグッとムービー 松本零士さん「わが青春のマリアヌ」美しく 強く 私の作品の原点	永井 美帆 聞き手	朝日夕刊	1.10	現役の文化財(山梨県大月市)			5.20
巻頭特集 デッサンを極める! 実践編 ④技法講座 vol.32 case.3 講師:松谷千夏子 鉛筆で描く線の魅力あふれるデッサン	松谷千夏子	美術の窓	366	霧信号所(千葉県南房総市)			5.27
現代作家の視線05 松山賢		ギャラリー	352	海辺の洋館(千葉市稲毛区)			7.1
評伝 まっすぐ届いた言葉 まど・みちおさん 広い世代に勇気 100歳過ぎてても初々しい日々	白石 明彦	朝 日	3.1	空を支える橋げた (千葉県富津市)			9.9
				1964年生まれ風景	"	日 経	11.2
				戦争遺跡など47カ所 丸田祥三さんが撮影『東京幻風景』刊行	鶴谷 真	毎日夕刊	5.20
				創作ノート 島尻層泥岩(クチャ)について	丸田 勉	沖縄県立芸術大学紀要	22

特集 魅力ある線を描く(技法講座vol.37) 水墨・その他墨を用いて白い線を浮かび上がらせる人物表現	丸茂 湛祥	美術の窓	374	画材考9 シルバー・ポイント	三浦 明範	新美術新聞	1340
特集 日本の国宝 アートのちから 現代作家の作品に見る Part.3 丸山司瑠アートの魅力	丸山 司瑠 高山 淳	"	372	読解絵画鑑賞講座26 対象を無重力化、バゼリッツよりクール—三浦明範「ICARUS」(2014年)	ワシオ・トシヒコ	美術屋・百兵衛	30
白日会の精神—24人の作品と言葉から「小春」	丸山 勉	新美術新聞	1339	特集 国宝のすべて勝手に楽しむ国宝鑑賞のススメ 対談 山下裕二×みうらじゅん	永峰 美佳	美術手帖	1013
美術新人賞 デビュー—2014 第2回 日本画作品の台頭に注目	本江 邦夫、 立島 恵、 丸山 勉 丸山 座談 編 集 部 進行	美術*	462	思い出す本 忘れない本 大人の「真剣さ」にひかれ 怪獣画報 円谷英二(監修) イラストレーター、エッセイスト みうらじゅんさん	みうらじゅん	朝 日	7.20
特集 気高く美しく理想の女性像 人間の心栄えを通じてしみ出てくる美	丸山 勉	"	466	収集癖と発表癖 みうらじゅん 海女人形 集め NEVER ならない	"	産 経	1.8
特集 プロ&通[ツウ]の「イチオシ!」93点 この新人が、欲しい! Part 1 手に入れるなら今のうち! 注目の最新世代34点		"	467	高野山の名宝 私の1点 上 みうらじゅんさん 今にも動き出しそう	"	読 売	11.19
大平由香里	大平由香里 丸山 勉			特集 日本の国宝 アートのちから 現代作家の作品に見る Part.3 三浦敏和構成する力	三浦 敏和 高山 淳	美術の窓	372
谷口朋栄	谷口 朋栄 丸山 勉			私の作品の構成法 三浦ひろみ	三浦ひろみ	水墨画*	299
特集 プロ&通[ツウ]の「イチオシ!」93点 この新人が、欲しい! Part 3 無名の新人からスターダムへ。美術新人賞「デビュー」受賞&入選作家19点 こべんな	こべんな 丸山 勉	"	"	現代水墨画作家手本集36 三浦ひろみ 葡萄	"	"	307
わたしたちの教室へようこそ 丸山東子湖東会		水墨画*	301	特集 日本の国宝 アートのちから 現代作家の作品に見る Part.2 三浦裕子本物の馬以上の馬を	三浦 裕子	美術の窓	372
現代水墨画作家手本集35 丸山東子 彩実	丸山 東子	"	307	生命の絵画、三木成夫論	多田 夏雄	文星紀要	25
始めま専科 縮緬細工 古布使って美サイクル[丸山ヤス子]	(N)	東 京	4.3	青春プレイバック 彫刻家 三木俊治「彫刻に何ができるか」を見つめる旅	星野 清一	新美術新聞	1351
	(ミ)			特集「間」 絵画空間のなかの西洋と東洋—三岸好太郎《海と射光》について	速水 豊 紫 明		34
おやじのせなか「車の免許は取るな」が遺言 美内すずえさん	芳垣 文子	朝 日	6.19	北海道文化考 札幌生まれの天才モダニスト 三岸好太郎		美術屋・百兵衛	30
マイ・ヒロイン 滝乃みわこさん 月影千草 美内すずえ「ガラスの仮面」	滝乃みわこ	読売夕刊	3.31	アトリエは待っている 女性画家草分けの拠点開放[三岸節子]	南 拡大朗	東 京	11.26

コミック 珈琲と白昼夢 右田いこい(作)「共に生きること」の手ごたえ	ササキバラ・ゴウ	朝 日	7.13	ニュースな人ヒト 尽きぬ発想で我が道歩く 91歳で漫画の新連載開始—水木しげるさん	堀 大介	日経夕刊	1.30
特集 美術解剖学からの学び 頭部を描く ④技法講座 技法講座5 講師：三國芳郎 同じ骨格から複数のキャラクターを描き分ける	三國 芳郎	美術の窓	373	本づくし 「徹底的な人間考察」『心の社会』マーヴィン・ミンスキー著、安西祐一郎訳	水口 哲也	A X I S	167
白日会の精神—24人の作品と言葉から「牟礼の丘」	三沢 忠	新美術新聞	1339	窓[水島新司]		日 経	2.6
特集 気高く美しく理想の女性像 描きたいのは人物の「物」の部分	三澤 寛志	美術*	466	特集1 大正デカダンス 大正デカダンス—画家たちの諸相—[水島爾保布]	瀬尾 典昭	大正イマジユリイ	9
特集 プロ&通[ツウ]の「イチオシ!」93点 この新人が、欲しい! Part 2 見逃せない最新作も! 人気の若手作家40点 美島菊名	美島新井 菊名 まる	〃	467	Topics 第64回ベルリン国際映画祭 日本短編アニメに存在感 水江未来、水尻自子作品などに注目集まる	広瀬 登	毎日夕刊	3.17
コミック レストー夫人 三島芳治(作) 怖く美しく温かい不条理劇	南 信長	朝 日	6.15	SPECIAL FEATURE パルテュス SPECIAL EDITION 日本のオタクカルチャーと少女 座談会：Mr.×町田ひらく×大嶋優木×岸田メル	さやわか 構成	美術手帖	1004
茶話マンガ 簡素な物語に宿る感情[三島芳治]	伊藤 剛	朝日夕刊	7.5	Mr.X 全てが謎である。Secret。	庄司 恵一	美術屋・百兵衛	30
連続対談 クラシック・モダンを描くミズ・テツオの世界 No.1~6	ミズテツオ、小川 英晴	ギャラリー*	349~354	平成二十五(二〇一三)年度 日本及び東洋美術の調査研究報告 水野年方《大日本帝国万々歳 成欲襲撃和軍大捷之図》	市村 茉莉	関西大学博物館紀要	20
月刊ギャラリー創刊25周年記念 小川英晴のアート縦横 No.50、51 特別編 表現における達成感を求めて 前、後編	竹中 直人、ミズテツオ、小川 英晴	〃	355、356	水野英男さんのこと	横村 洋介	伊 那	1039
本江邦夫の「今日は、ホンネで」第72回 画家 ミズテツオ	ミズテツオ、本江 邦夫	美術*	463	リレーおびにおん デザインの力 6 ぐまモンの生みの親 水野学さん 機能も美しさも備えてこそ	辻 篤子 聞き手	朝 日	9.30
となりのアートさん vol.10 水江未来	ヤマザキ ユミ	美術屋・百兵衛	30	追悼 水野恭子さん	高尾 みつ	女流画家協会会報	2
Topics 第64回ベルリン国際映画祭 日本短編アニメに存在感 水江未来、水尻自子作品などに注目集まる	広瀬 登	毎日夕刊	3.17	コミック 近づいたり 離れたたり 水元ローラ(作) 名前をめぐってあれこれと	南 信長	朝 日	5.11
京極夏彦さん 「俺の作品と思えた」 水木しげる漫画大全集 刊行記念イベント	戸谷 真美	産 経	2.26	水墨画は可能か?	三瀬夏之介	ジャポニスム研究	33
名著の衝撃 14 貸本版『河童の三平』水木しげる著 生と死の境も地続き	呉 智英	東京夕刊	1.24	共同討議「水墨の交流とその未来」報告	菊山 武士、三瀬夏之介、板倉 聖哲、水田至摩子、南 明日香、宮崎 克己、司会 人見 伸子 報告者	〃	〃

東北画は可能か?	三瀬夏之介	東北芸術 工科大学 紀要	21	アートの根底に鎮魂 ニューギニア戦線で 生存 三橋國民さん	黒川 晋史	毎 日	5.22	
特集 「黒」の新世紀 一若き表現者たちの リアル 「いくつもの 日本」「いくつもの 東北」を目指して 感情を抑制する墨は 自然と手を結ぶ	三瀬夏之介 談	美 術*	470	特集 日本の国宝 アートのちから 現 代作家の作品に見る Part.3 三森千恵子 重厚さと静謐さ	大沢 景	美術の窓	372	
三嶽伊紗—目に見え るものはすべて、見 えないものに…	吉原美恵子	美術運動 史研究会 ニュース	141	卒業生からのメッセ ージ 繋がりが生ん だ未来 写真家 三 戸心平		瓜生通信	61	
注釈なし オール筑 豊弁マンガ でたく そ人気やん[美月う さぎ]		東 京	11.25	人間発見 鉄道の旅 に豊かさを 1~5 工業デザイナー 水 戸岡鋭治さん	榎木 聞き手	誠 日経夕刊	2.3~7	
純粋なる芸術 アー ル・ブリュットの世 界 三ツ木竜朗「牙」	中村 政人	東京夕刊	9.17	ひと コンテスト設 立で若手芸術家を支 えるデザイナー 三 通治子さん	北出 昭	毎 日	10.17	
68回職美展 作品研 究会(展示会場にて) 満田 笹子さん(ひば り) 依田八重子さ ん(水平環)	関上 弘 まとめ	職場美術	143	皆川明×上田義彦 対談 風景としての 服、結晶としての写 真	大城 譲司	A X I S	172	
特集 週刊少年サン デーの時代 トキワ 荘から『うる星やつ ら』『タッチ』『名探偵 コナン』そして『マ ギ』『銀の匙』へマ ンガの青春は終わら ない サンデーの進 化と変容 “ぼっち ゃりヒロイン”は伊 達じゃない 満田拓 也『BUYUDEN』にみ る『少年サンデー』ス ポーツマンガの現在 形	岩下 朋世	ユリイカ	641	Re view 遊動する 精神の記録	港 千尋	現代の眼	604	
展覧会レビュー part 1 三つの視 点 野口哲哉展—野 口哲哉の武者分類図 鑑— 自在置物師の 視点 「汚れ」に見る 途方もない知識と労 力と愛	満田 晴穂	美 術*	464	考景2014 風景と権 力(台北) 建物なき 政治の形	〃	読 売	5.1	
特集 プロ&通[ツ ウ]の「イチオシ」 93点 この新人が、 欲しい! Part 1 手に入れるなら今 のうち! 注目の最新世 代34点 石野平四郎	石野平四郎 満田 晴穂	〃	467	本よみうり堂 「小 さい星みつけた」写 真・南健二、文・南 笑子	(雅)	〃	11.2	
現代美術の歩き方 異論反論・現代美術 インタビュー 満田 晴穂 自在置物 と死のイメージ	満田 晴穂 談	美術の窓	364	赤瀬川原平さん死去 77歳 画家・作家「老 人力」 全力で面白 いこと 言語化 天 才だった[南伸坊]		朝 日	10.27	
名誉都民に3氏 戦 争で命落とした友に も 造形美術家 三 橋國民さん	松澤 憲司	朝 日	10.2	赤瀬川原平氏 死去 前衛芸術家で作家「老 人力」 77歳 「よく 観察する」表現の根 本[南伸坊]		産 経	〃	
				赤瀬川さんのこと 冗談から発明 たの しんだ	南 伸坊	東京夕刊	11.4	
				「赤瀬川原平の芸術 原論展」 3人の思 い入れ [南伸坊]	井上 渡部	晋治 恵子	読 売	11.13
				展覧会ピックアップ 第46回絵画サークル 諏訪 作品展	峯 ゆみ枝	職場美術	142	
				4 [読ん]で知るアー ト 震災とアート活 動 展覧会にみる住 民の心の復興[峰丘]	佐々木吉晴	朝日夕刊	3.26	
				東京セレクト いち 押しの一品 MIYA- BICA(ミヤビカ) カ プスボタン 堆漆の 魅力 伝える[峰岸 奈津子]	服部 夏生	東 京	9.28	



白日会 90年の歴史、 これからの10年 90 年という時間	峯田 義郎	新美術新 聞	1339	こころの玉手箱 グ ラフィックデザイナー 永井一正 5 三宅一生さんがデザ インしたベスト コ ラボの服にワクワク	永井 一正	日経夕刊	6.6
特集 日本の国宝 アートのちから 現 代作家の作品に見る Part.3 峰松アエ子 懐かしい音色	高山 淳	美術の窓	372	三宅克己の画業と生 涯(四)一鐘美術館時 代から第一回渡来まで	森 芳功	徳島県立 近代美術 館研究紀 要	15
注目 イカ、タコに 恋して 見せたかった 神秘の色[峯水亮]	(市)	読売夕刊	8.6	美術新人賞 デビュ ー2014 第2回 選 考評 デビュー2014 私はこう見る 技術 力、制作方法以前に 作品としての魅力の 有無が大前提	ミヤケマイ	美 術*	462
自作を語る 美濃部 民子	美濃部民子	自由美術	2014	特集 プロ&通[ツウ] の「イチオシ!」 93点 この新人が、 欲しい! Part 3 無名の新人からスタ ーダムへ。美術新人 賞「デビュー」受賞& 入選作家19点 悠	悠 ミヤケマイ	〃	467
特集 銅版画家25人 新時代を切り開く精 鋭たち 箕輪千絵子	箕輪千絵子	版画芸術	165	アクリリックス・ワ ールド80 三宅瑠人	石井 芳征 取材・文	美術手帖	1000
三村幸一が撮った民 俗写真から50年	吉野なつこ	阡 陵	68	美術新人賞デビュー 2014 第2回	宮崎 和彦	美 術*	462
特集 日本の国宝 アートのちから 現 代作家の作品に見る Part.3 三村浩二 コンポジションの力	高山 淳	美術の窓	372	月刊ギャラリー創刊 25周年記念 小川英 晴のアート縦横 No. 42 神奈川県立近代 美術館館長に聴く[宮 崎進]	水沢 勉 小川 英晴	ギャラリ ー*	347
明治の細密工芸 驚 異の超絶技巧! 明 治工芸の匠たち 宮 川香山(初代) 眞葛 焼の創始者	佐藤 一信	太陽(別冊)	217	宮崎駿の『紅の豚』一 登場人物たちはどの ようにつくりあげら れたか(1)一	青木 研二	茨城大人 文学部紀 要(2)*	17
純粹なる芸術 アー ル・ブリュットの世 界 宮川佑理子「無 題」	中村 政人	東京夕刊	1.22	スワッシュバックラ ー映画としての『ル パン三世 カリオス トロの城』: 宮崎駿 における古典的ハリ ウッド映画の伝統の 影響	木村 建哉	成城美学 美術史	20
美術新人賞デビュー 2014 第2回	宮木沙知子	美 術*	462	SPECIAL FEATURE 『かぐや姫の物語』の 衝撃。REPORT 宮崎駿のアニメーシ ョン表現を徹底解 析! 『風立ちぬ』	野崎 透 聞き手・文	美術手帖	998
Bodies of Water	ミヤギフト シ	美術手帖	1006	ぐりとぐら展 ふん わりカステラから物 語 絵本誕生50年記 念 中川「ごちそう したくて」 山脇「標 本見て色決めた」[宮 崎駿]	中川李枝子 山脇百合子	朝日夕刊	2.26
特集 ルー・リード New York 変容と 乱交 ニューヨーク のクィアカルチャー をめぐる	〃	ユリイカ	639	「不戦が大きな力に」 宮崎駿監督にアカデ ミー名誉賞		日経夕刊	11.10
スクリーンプリント 制作 2011-2013	宮城 正作	筑波大学 芸術研究 報告	62				
巻頭特集 原寸で見 る! 現代作家の技 偶然現れるマチエー ルを生かした手触り のある画面づくり	宮北 千織	美術の窓	371				
特集 プロ&通[ツウ] の「イチオシ!」93点 この新人が、欲しい! Part.2 見逃せない 最新作も! 人気の 若手作家40点 麻生 知子	麻生 知子 三宅 一樹	美 術*	467				
開かれた美術館	三宅 一生	NACT Review*	1				
平田暁夫さん死去 帽子デザイナー デ ザイナーの三宅一生 さんの話	朝 日		3.25				

平成26年定期刊行物所載文献(近/作ミ)

著者・中川李枝子さん 宮崎駿監督と特別対談「ぐりとぐら」カステラは子どもたちへの贈り物	山崎 明子	毎 日	2.7	宮田亮平学長 贈る言葉「怒」思いやりの心 東京藝大 平成25年度卒業式	新美術新聞	1343
宮崎監督にアカデミー名誉賞 功績評価に「ご苦労さん賞でしよ」	堀山 明子	"	11.11	各科審査主任より 第四科 審査をするにあたり	宮田 亮平 日展ニュース	154
TSUTAYA映画ファン賞2013 零戦生みの親モデル「風立ちぬ」(日本映画部門)興業成績100億円を超える[宮崎駿]	広瀬 登	毎 日 夕 刊	1.24	座談会「改組新第一回日展審査を終えて一明日への期待」	奥田由女、土屋兼一、藤森千恵、山本真輔、宮田亮平、杭迫樹市、澤山静	" 155
チェック 風 立つか アカデミー賞3日発表[宮崎駿]	堀山 明子	"	3.1	華麗な人 まなざし母のように 創作も教育も温かく包む 金属工芸作家・東京芸術大学学長 宮田亮平さん	畑川 剛毅	朝日夕刊 12.18
宮崎駿氏に名誉賞 米アカデミー賞 日本人監督2人目	"	"	8.29	こころの書 卒業生に贈る一文字 東京芸大・宮田亮平学長に聞く「心に伝えること大事に」	金塚 祐司 聞き手	毎 日 4.18
宮崎監督アカデミー名誉賞 50年間戦争しなかったことが力に	堀山 明子	"	11.10	平成25年度京都市芸術新人賞及び芸術振興賞決まる[宮永愛子]	新美術新聞	1340
宮崎駿×養老孟司「第2の人生」論	近藤 孝 構成	読 売	1.1	芸術と科学のあいだ 41 「時計」昇華、まさに万物流転[宮永愛子]	福岡 伸一	日 経 11.23
日本アニメ 存在感示す「ノミネートで十分」 宮崎駿監督	清川 仁	"	3.7	現代美術家・宮永愛子 英で個展 消えゆく時と記憶 表現	小橋 弘之	日経夕刊 7.1
宮崎監督が名誉賞受賞 米映画アカデミー「フィルムと付き合え幸運」 黒沢監督以来、24年ぶり日本人2人目	加藤 賢治	読売夕刊	11.10	第45回日展 新入選者寄稿一喜びと抱負一 塑像と私	宮本 温子	日展ニュース 152
アクリリックス・ワールド81 宮崎雄樹	小吹 隆文 取材・文	美術手帖	1004	画家と戦争 日本美術史の空白 戦争を描いた画家たち 宮本三郎	奥間 政作	太陽(別冊) 220
巻頭特集 見て楽しむ、描いて楽しむ風景画 ⑧技法講座vol.34 ベテラン作家が描く 心に残る風景画 宮廻正明	編 集 部	美術の窓	369	「平成26年度五島記念文化賞」贈呈式行われる 美術新人賞に谷保玲奈氏・宮本佳美氏	新美術新聞	1343
日本の技 ミャンマー外交に一役 東京芸大が壁画複製 ASEAN首脳会議お土産に[宮廻正明]	安斎 耕一	朝 日	11.12	レポート墨 第25回五島記念文化賞 美術新人賞に谷保玲奈氏ら[宮本佳美]	水 墨 画*	303
純粹なる芸術 アール・ブリュットの世界 宮下宜嗣「相棒」「tさん」「eさん」	中村 政人	東京夕刊	12.24	特集 「黒」の新世紀一若き表現者たちのリアル 宮本佳美	美 術*	470
カジュアル美術館 「それは変化しつつける それはあらゆるものと関係を結ぶ それは永遠に続く」 宮島達男 東京都現代美術館 奇妙な夢の中のよう 「鑑賞」ではなく「体験」して	出田 阿生 東 京	11.16	廃墟写真の表象としての生と死、それを超越するもの一自作『廃墟サンクチュアリ』を中心として一[宮本隆司]	澤井 蘭夢	芸術学研究(京都造形)	5

街角アート 竹と羅漢と「うつろひ」と[宮脇愛子]	星野 清一	新美術新聞	1362	【特別対談】(美術館)向井修二×澤原一志(高梁市成羽美術館館長)	向井 修二 澤原 一志	ギャラリー 一*	348
抽象彫刻「うつろひ」宮脇愛子さん死去		朝 日	8.24	本江邦夫の「今日は、ホンネで」第79回現代美術家	向井 修二、 本江 邦夫 対談	美 術*	470
イメージ新する表象性 彫刻家・宮脇愛子さんを悼む	酒井 忠康	朝日夕刊	8.27	向井潤吉『模写に就いての手記』—翻刻III 1929年2月23日から1929年12月25日まで	橋本 善八	世田谷美術館紀要	15
宮脇愛子さん死去 抽象彫刻「うつろひ」		毎 日	8.24	画家と戦争 日本美術史の空白 戦争を描いた画家たち 向井潤吉	足立 元	太陽(別冊)	220
姫路伝統の技21 宮脇檀〜工芸館を設計した建築家〜	岡崎 美穂	五風十雨	74	美術団体レーダー 100回展へ向かっての新たな決意 第91回春陽展 春陽会賞受賞者 務川めぐみ(絵画部門)		ギャラリー 一*	349
三好応岸筆《宇和島・江戸図屏風》考	梶岡 秀一	愛媛県美術館年報・研究紀要	13	中特集 現代の心象表現を考える 向吉文男	向吉 文男 高山 淳	美術の窓	369
IMARI/伊万里 ヨーロッパの宮殿を飾った日本磁器 25日サントリー美術館で開幕 国産の美 世界を席卷 17〜18世紀 室内装飾品に黄金に映す豪華な夢 写真家 三好和義さん	三好 和義 談	読 売	1.23	所蔵資料から「伊豆長岡より見た富士」「富士山」[武者小路実篤]	福島さとみ	美 愛 眞	26
高野山の名宝 私 の 1 点 中 三好和義さん	〃	〃	11.20	所蔵資料から 武者小路安子「桔梗」家族スケッチ「絵を見せる」	伊藤 陽子	〃	27
三好木屑一平瀬露香に愛された名人指物師一	内藤 直子	大阪歴史博物館共同研究成果報告書	8	美の棲むところ3〜14	六田 知弘	美術の窓	364〜375
本よみうり堂 ミロコマチコ画集「けだらけ」	(史)	読 売	11.9	時のアイコン 六田知弘著		日 経	1.26
華麗な人 粘土に込める「命」 手力強く繊細 ぬくもり生む 陶芸家 三輪和彦さん	平出 義明	朝日夕刊	1.16	時のアイコン 東日本大震災の記憶 六田知弘著	(唯)	毎 日	3.9
	(ム)			特集 プロ&通(ツウ)の「イチオシ!」93点 この新人が、欲しい! Part 1 手に入れるなら今のうち! 注目の最新世代34点 牟田陽日	牟田 陽日 編集部・S	美 術*	467
無縁寺心澄 年譜と資料	藁科 英也	採 蓮*	17	ミュージアム・コレクション 故郷への想い[棟方志功]	天内 敬子	本 郷	114
わたしたちの教室へようこそ 向井五十年代 友墨会		水墨画*	299	特集 プロ&通(ツウ)の「イチオシ!」93点 この新人が、欲しい! Part 3 無名の新人からスターダムへ。美術新人賞「デビュー」受賞&入選作家19点 宗像裕作	宗像 裕作 編集部・W	美 術*	467
続 だるまさんが笑った 向井五十年代 絵、向井俊博文		〃	305	視点 日本人の基層心理(二十〜二十二)	宗雪 孝夫	美術の窓	364〜366
那須森を守る「ナスラー」 原発事故刻印アート 地元彫刻家ら 全長20メートル「3.11」完成[向井勝実]	大野 暢子	東京夕刊	1.18				

平成26年定期刊行物所載文献(近/作ム)

視点 絵本の文化(一 〜三) アメリカ絵 本	宗雪 孝夫	美術の窓	367〜369	CROSS TALK 始 まりは1992年、何 が語られたのか? [村上隆]	福住 廉		
石耕(せっこう)彫刻 という作物(彫刻)	村井 進吾	多摩美術 大学研究 紀要	28	文化庁メディア芸 術祭シンポジウム 記録 座談会:中 原浩大×村上隆× ヤノベケンジ「ポ ップ/ネオポップ」 の現在地	楠見 清 モデレータ 一 福住 廉 構成		
賞を獲った広告写真 2013-2014〜アワード に見る広告写真の 今〜味の素	村井 真哉	COMMER- CIAL PHOTO	611				
版画について考える たとえば、画家・村 井正誠の場合	植野比佐見	和歌山県 立近代美 術館ニュー ース	78	TOKYO 発 「オタク の聖地」アートの風 ギャラリー集結、中 野ブロードウェイ[村 上隆]	杉戸 祐子	東 京	3. 11
画材考8 無くなっ て行く絵具	村岡貴美男	新美術新 聞	1337				
追悼 村岡三郎		R E A R	31	震災転機に宗教への 意識 村上隆さんNY 新作展 絶望と希望 の隣接	前田 恭二	読 売	12. 18
蕎麦を食う人	遠藤 利克						
追悼・村岡三郎	千葉 成夫						
村岡三郎と私	滝 顕治			コミック 死んで生 き返りましたれば 村上竹尾(作) 知覚 を巧みにビジュアル 化	南 信長	朝 日	11. 23
「鉄の墳墓」から「鉄 の墓」まで	真武真喜子						
蔵出し 水墨画の逸 品23 村上華岳《寒 柳之図》	小林 優子	水 墨 画*	298	MANGA の時間 生 きる意味に気づく奇 跡の本[村上竹尾]	藤本由香里	産 経	12. 24
特集 銅版画家25人 新時代を切り開く精 鋭たち 村上暁子	村上 暁子	版画芸術	165	本江邦夫の「今日は、 ホンネで」第73回 日本画家 村上裕二 対談	村上 裕二、 本江 邦夫	美 術*	464
ひと 平等院鳳凰堂 の国宝菩薩像を模刻 した 村上清さん	小山 琢	朝 日	11. 13	連載 ぼくたちは何 のために絵を描くの だろう 第一〜九回	村上 裕二	"	464〜472
RELINSHA GAL- LERY FACE 展2013 -2014 選抜作家小 品展 VOL. 1	小野有美子 加藤 由紀 菅野 静香 志世都りも 永原トミヒ ロ 沼田 久雪 村上 紘一 Yogyami	美術屋・ 百兵衛	31	展覧会レビュー part 1 三つの視 点 菱田春草展 日 本画家の視点 菱田 春草=先輩の絵を観 て	"	"	470
シリーズ・具体美術 の作家9 村上三郎		ギャラリ ー*	351	1964 東京五輪 50 年 東京五輪発ピク トグラム 新時代の 「絵文字」模索中[村 越愛策]	沢田 一朗	東京夕刊	10. 8
村上三郎、一瞬に して鮮やかに成立 してしまう“美”が ある	山本 淳夫			現代作家の視線06 村越としや		ギャラリ ー*	353
長男・村上知彦氏 を訪ねて「紙破 り」の再制作、そ して村上三郎の語 り部として				特集 日本の国宝 アートのちから 現 代作家の作品に見る Part. 3 村越正己 師の教え	村越 正己	美術の窓	372
INFORMATION 中野 ブロードウェイを借 景にコーヒーを啜む 村上隆が「Bar Zin- garo」をオープン	本橋 康治	美術手帖	998	特集 日本の国宝 アートのちから 現 代作家の作品に見る Part. 3 村里佳代子 巨樹の生命力	村里佳代子	"	"
SPECIAL FEATURE ポップアート		"	1002	青春プレイバック 洋画家 村田省蔵 「風景の王道を」一 日 本人洋画家の気骨	袴田 智彦	新美術新 聞	1345

村野藤吾の建築作品の外形にみられる複曲面の特徴	森本 順子	日本建築学会計画系論文集	696	なぜか引かれる茂田井武 不思議な印象の童画、展覧会を担当し画集も出版	広松由希子	日 経	2.24
村野藤吾の設計手法に関する一考察「残月亭写し」および「如庵写し」を対象として	加藤 伸康 柳瀬 亮太	〃	702	記録と考察「コレクション×フオーマ」の画家 母袋俊也 世界の切り取り方一縦長か横長か、それが問題だ」	母袋 俊也	東京造形大学研究報	15
所蔵品紹介 村山槐多《風景(農家)》	村松 和明	アルカディア	60	特別展「望月春江とその時代」講師：鈴木美江		山梨県立美術館研究紀要	28
特集1 大正デカダンス 大正デカダンス—画家たちの諸相—[村山槐多]	瀬尾 典昭	大正イマジユリイ	9	作家通信 望月洋史 個展雑感	望月 洋史	水墨画*	299
現代水墨画作家手本集37 村山華風 寒牡丹	村山 華風	水墨画*	307	コミック W7 新世紀ワイルド7 望月三起也(作) 躍動感あふれる娯楽活劇大作	南 信長 朝	日	12.14
現代美術の歩き方 異論反論・現代美術大和日英基金+ART Instituteによる7名の日本人アーティストのグループ展がロンドンで開催[村山悟郎]		美術の窓	364	特集 銅版画家25人 新時代を切り開く精鋭たち 本岡千尋	本岡 千尋	版画芸術	165
第27回奨学者のレポート「同じことを二度言う」こと	村山 之都	アクリラート(別冊)	2014	巻頭特集 原寸で見ると！現代作家の技 油絵具を重ね、“存在”について探る	本木ひかり	美術の窓	371
新・現代日本の作家たち アトリエ写真 No.023 村山直儀	村山 直儀	美術*	468	特集 教育考—暮らしと社会のエンライトメント 第2部 建築専門教育の導入教育としての建築教育 東京藝術大学建築科における導入教育について—(木の椅子)の課題を中心に	元倉 眞琴	建築雑誌	1657
特集 日本の国宝 アートのちから 現代作家の作品に見る Part.3 村山晴美 希望ある未来へ	磯部 靖	美術の窓	372	「具体」の中心作家、米国で初の回顧展開催 白髪一雄・元永定正がダラスへ		新美術新聞	1355
イギリスの展覧会 人間国宝四人展[室瀬和美]	外館 和子	陶 説	730	第1回 くない忌		美術屋・百兵衛	28
ひと 「あさりちゃん」がギネス記録になった姉妹のマンガ家 室山まゆみさん	高重 治香	朝 日	11.22	世界の GUTAI 元永定正と芸術			
「あさりちゃん」ありがとネ 姉と妹二人三脚で描いてきたギャグ漫画、100巻で幕	室山まゆみ	日 経	2.28	世界の GUTAI 元永定正と芸術 発起人代表の挨拶—発起人を代表して	安藤 忠雄		
(メ)							
夜空におじさんの顔 [目[め]]	猪飼 健史	毎日夕刊	12.22	入門講座 戦後70年と日本の絵本 3 赤ちゃんが魅力発見 ユニークな抽象画、言葉のリズム…[元永定正]	石井 光恵	日経夕刊	12.18
(モ)							
「モレモレ」から見える自然と人間の関係 [毛利悠子]	塩澤 賢一 聞き手 坂口 千秋 構成	アサヒピールメセナ	37	流行写真通信 第29回 木村伊兵衛写真賞と商業写真の狭間で[森栄喜]	菅付 雅信	COMMERCIAL PHOTO	611

INFORMATION AWARD 第39回木 村伊兵衛写真賞 森 栄喜が受賞 森栄喜 が写す、何も起きな いという幸福のかた ち	桐谷麗了子	美術手帖	1002	インスピレーション グラフィック 伝統 を革新するシンボル の試み—三越の新シ ョッピングバッグ[森 口邦彦]	深沢 慶太	A X I S	170
ひと 第39回木村伊 兵衛写真賞を受賞し た 森栄喜さん	西岡 一正 朝	日	2.5	イギリスの展覧会 人間国宝四人展[森 口邦彦]	外館 和子	陶 説	730
視線 intimacy[森栄 喜]	原田 マハ	〃	3.16	この人 我谷盆を伝 える木工芸家 森口 信一さん	中山 洋子	東 京	2.8
木村伊兵衛写真賞の 森さん「親密さ」一 瞬をいとおしむ	西岡 一正	〃	3.19	Interview 森下裕美 さん 普通に生きる 努力を描く『なのな フォトゴロー』を出 版	内藤麻里子	毎日夕刊	6.11
この人 木村伊兵衛 写真賞を受賞 森栄 喜さん	押川恵理子	東 京	3.16	第67回全国大会研究 発表要旨 森田子龍 の古典回帰について —革新的な書の礎と しての古典研究—	向井 晃子	美 術 史	177
クリップ 第39回木 村伊兵衛写真賞(朝 日新聞社など主催) [森栄喜]			毎日夕刊	2.13			
マンガ大賞に森薫さ んの「乙嫁語り」		毎 日	3.28	明治の細密工芸 驚 異の超絶技巧! 明 治工芸の匠たち 森 田薫己 海外コレク ターが夢中、極小の 美を成す男	村田 理如	太陽(別冊)	217
本よみうり堂 コミ ック館 マンガ大賞 森薫さん「乙嫁語り」 中央アジア文化と壮 大さ	増田 真郷	読売夕刊	3.31	はんなり、こうとな 「花暦」 第十二回 (最終回) 香花	森田りえ子	美 術*	461
森堯茂インタビュー : 洲之内徹との関係 を中心に	高木 貞重、 神内 有理、 鴨原 悠 インタビュー アー	愛媛県美 術館年報 ・研究紀 要	13	「喜久」 延命寿命の 効ある仙花	〃	日 経	1.1
展覧会レビュー part 1 三つの視 点 O JUN—描く見 アーティストの視点 山・海・O JUN	森 千裕	美 術*	463	転居された森田隆一 さんのアトリエへ行 ってきました	吉田 正美	職場美術	142
作品紹介 森英恵の 衣裳作品	南目 美輝 廣田 理紗	島根県立 石見美術 館研究紀 要	8	特集 日本の国宝 アートのちから 現 代作家の作品に見る Part.3 森久杏子 春日の白鹿	森久 杏子	美術の窓	372
第27回奨学者のレポ ート 出会いの必然 性	森 洋史	アクリラ ート(別 冊)	2014	特集 女と男のヌー ド 特別対談 女体 を實踐し、模っ糊り を研究する	森村 泰昌、 木下 直之	芸術新潮	776
注目 発言小町の人 気投稿書籍化 心温 まる絵日記風イラスト [森ゆみ子]	(淑)	読売夕刊	8.13	横盗[よことり]物語 —ヨコハマトリエン ナーレ奮闘記1~3	森村 泰昌	〃	776~778
特集 日本の国宝 アートのちから 現 代作家の作品に見る Part.3 森相實「描 くってなあと?」— 私の風影画	森相 實	美術の窓	372	ひと ヨコハマトリ エンナーレのアーテ ィスティック・ディ レクター 森村泰昌 さん	大西 若人	朝 日	1.15
震災後を描く 3.11 と表現者たち 1 まだ見えぬ答え探し て ドキュメンタリ ー漫画を刊行 森川 ジョージさん		東京夕刊	3.3	アートな本『森村 泰昌』		東 京	10.5
				駿 2014 提案性を 持った国際展に 現 代美術家 森村泰昌 さん	森田 睦	読 売	1.9
				追悼 水墨画家、森 本紫雪さんを悼む	安井 収蔵	新美術新 聞	1360

巻頭特集 見て楽しむ、描いて楽しむ風景画 ④技法講座vol.34 ベテラン作家が描く 心に残る風景画 森本草介	森本 草介	美術の窓	369	特集 新人大図鑑 2014 未来のスター450名を一挙紹介! 評論家・ジャーナリストが選ぶ注目の新人13 矢島史織	ワシオ・トシヒコ	〃	368
洋画家 森本草介さんに聴く 叙情的写真の真骨頂	〃	美じょん新報	173	絵本作家・八島太郎を生んだ『ニューカナディアン』新聞交換書簡群とパッチャル公共空間一	田村 紀雄	コミュニケーション科学	39
賞を獲った広告写真 2013-2014〜アワードに見る広告写真の今〜	森本 美絵	COMMERCIAL PHOTO	611	特輯 石橋コレクション 日本近代洋画篇 図版一〇 安井曾太郎 薔薇	貝塚 健	国 華	1425
サントリー食品インターナショナル トヨタ自動車				学芸員ノート 安井曾太郎 寄居への疎開と細川護立	佐藤 香里	埼玉県立歴史と民俗の博物館だより	24
連載 住むことから考えるU-35 4 イメージ	森山 茜	建築雑誌	1657	特集 今あらためて巨匠に学ぶデッサンの技 日本における裸婦表現 洋画家・安井曾太郎と日本画家・加山又造の場合		美術の窓	364
自作を語る 森山誠	森山 誠	自由美術	2014	研究報告 安井曾太郎《F 夫人像》について	貝塚 健	ブリヂストン・石橋美術館報*	62
宇宙芸術による新領域プラットフォームの構築と地域実践に関する研究II	森脇 裕之	多摩美術大学研究紀要	28	美の美 安井とセザンヌ 上、下	小川 敦生	日 経	6.1,8
漫画文化醸した醤油の町 千葉・野田市在住の作家クラブ、85年まで関連な交流	もろただし	日 経	11.25	安島太佳由さん 戦争遺跡写真集 中国・韓国・台湾での50点	栗原 俊雄	毎日夕刊	8.26
(ヤ)				北海道文化考 アルテピアッツァ美瑛[安田侃]		美術屋・百兵衛	30
「20年後の横の会展」講演会の記録ー日本画研究グループ「横の会」の軌跡ー[八木幾朗]	小熊千佳子	新潟市美・新潟市新津美研究紀要*	2	安田侃彦 風神雷神図	小野 恵	国 華	1423
クリエイターズワーク&ソウル 八木啓太	八木 啓太	A X I S	170	巻頭特集 再興院展100年 その歩みと次代の画家たち 肖像画に託した師への思い 我が師とその作品 2 安田侃彦と小倉遊亀 画塾で出会った2人の師	郷倉 和子	美術*	461
現代美術の歩き方 異論反論・現代美術大和日英基金+ART Institute による7名の日本人アーティストのグループ展がロンドンで開催[八木良太]		美術の窓	364	美の美 片岡球子 火の山のごとく 上 教育も絵も人を見てこそ 異色の画風 厚い情を宿す[安田侃彦]	窪田 直子	日 経	6.29
4 [読ん]で知るアート レコードと美術音楽を可視化させる表現[八木良太]	楠見 清	朝日夕刊	10.29	特集 「黒」の新世紀ー若き表現者たちのリアル 安富洋貴		美術*	470
週刊 テレビ評 「1964から2020へ オリンピックをデザインした男たち」今でもホレボレ 大会シンボルマーク	やくみつる	毎日夕刊	10.17	咲くのも撮るのも命懸け 山奥や都会に自生する花撮り30年、出した写真集30冊	安原 修次	日 経	12.15
山下裕二の今月の隠し球 Vol.120 谷下田朋美 静かに、密かに培養する心象風景(上)	山下 裕二	美術の窓	375				

「高谷史郎 明るい部屋」展 安村崇展 スキャンする視覚が導く美	大西 若人	朝日夕刊	1.8	新・旧刊案内	青木 茂 一 寸		
レポート墨 ホテルの客室に墨絵の動物たちが出現[安元亮祐]		水墨画*	305	59 三人の出生地 生年月日生いたちと、四人の死亡年月日・土方さんの訳書一冊・柳瀬年譜その(1)[柳瀬正夢]			59
海外通信 @モスクワ 双曲面が続くモダンタワー シューホフのラジオ塔	八東はじめ	朝日夕刊	5.28	60 柳瀬正夢年譜 II その他			60
箭内道彦 「月刊風とロック」100号の軌跡		COMMERCIAL PHOTO	611	柳瀬正夢の図書装丁原画資料	岩田 郁子	東京都現代美術館年報・研究紀要	16
《特別記事》 すべての人が夜空に共に輝く星のようにあるために―山里の美術館「共星の里」が歩んできた14年間[柳和暢]	竹口 浩司	あいだ	216	美の履歴書 340 ゴチャゴチャなわけ「無題III」 柳瀬正夢	安斎 耕一	朝日夕刊	1.29
特集 やなぎみわの翼。 ロングインタビュー		瓜生通信	62	柳瀬正夢の回顧展 文化人と交流 表現多彩に	白石 知子	読 売	1.9
思い出す本 忘れない本 「路地」を出て天翔る七老婆 日輪の翼 中上健次(著)	やなぎみわ	朝 日	2.16	伝統工芸 若手が新風 和紙のドレス 「変身」たんす… 福井の7職人が団結 [柳瀬靖博]		日経夕刊	11.22
小倉正史の現代美術講座 その17[柳幸典]	小倉 正史	ギャラリー*	352	経文刷り師 伝承の営み 330年前の版木、手作業で数万枚の印刷手掛け37年	矢野 俊行	日 経	10.31
新・現代日本の作家たち アトリエ写真 No.020 柳沢正人	柳沢 正人	美 術*	465	瓜生山レポート 現代アートと笑いが初のコラボ 吉本新喜劇×ヤノベケンジ		瓜生通信	61
美博ピックアップ 関口美術館[柳原義達]	塩田麻衣子	朝日夕刊	10.29	INFORMATION NEWS 吉本新喜劇×ヤノベケンジ 吉本新喜劇座長・内場勝則とヤノベケンジが語る 笑いとアートが生み出す、爆笑の新喜劇!	小吹 隆文	美術手帖	999
街角アート レトロな街のレトロなレリーフ[柳原良平]	星野 清一	新美術新聞	1351	SPECIAL FEATURE ポップアート CROSS TALK 始まりは1992年、何が語られたのか?[ヤノベケンジ]	福住 廉	"	1002
惜別 漫画家・絵本作家 やなせたかしさん 明るく力強い言葉の裏には	中村真理子	朝日夕刊	2.15	INFORMATION MEMORIAL 追悼 國府理	ヤノベケンジ	"	1006
京ものがたり やなせたかしと永田萌の桂川 水と歩め! もらった愛と勇氣	河合真美江	"	4.22	生誕60年 ゴジラを語ろう 現代美術作家 ヤノベケンジさん 「美の核」宿す存在	大森 雅弥 聞き手	東 京	6.21
ありがとうやなせさん 95歳誕生日 お別れの会		東京夕刊	2.6	アイヌ魂刺繍に込め 着物に文様縫い付け 40年 伝統を後世に伝える	八幡 智子	日 経	4.10
包み紙に潜む芸術家の魂[やなせたかし]	下前 俊輔	日 経	10.9				
Topics やなせたかしさん企画「生前葬」にぎやかに別れを震災で刊行延期 『詩とファンタジー』最新号に	中澤 雄大	毎日夕刊	1.23				
福永聖二の映画三昧 やなせ原作 最後の作品	編集委員	読売夕刊	7.2				



博物館で“忘れられた近代”に出会うとき[藪明山]	山崎 剛	大阪歴史博物館共同研究成果報告書	8	「線」の魅力 「金」の工夫 画家 山口晃さん 「日本国宝展」来月7日まで 上野・東京国立博物館	〃	読売夕刊	11.6
“湯床吹き技法”による金属材料の可能性	藪内 公美	金沢美術工芸大学紀要	58	自作再現 対話する「眼のオルゴール」 山口勝弘「ヴィトリノス No.1」	大西 若人 聞き手	朝日夕刊	4.16
現代作家の視線07 藤本明洋[藪内佐斗司]		ギャラリー一*	354	「不思議な動き キネティック・アート展」平面や立体から映像へ	山口 勝弘	読 売	7.24
交遊抄 古風な同期生[藪内佐斗司]	嶋本 正 日 経		11.13				
奈良・薬師寺の東京別院改築10周年 日光、月光菩薩 近く完成 「せんとくん」作者 藪内教授が監修	須藤 晃 毎 日		5.12	月刊ギャラリー創刊25周年記念 小川英晴の「アート縦横 No.41 過去の記憶 未来の記憶—原発、箱舟、3・11—」	山口小川 啓介、英晴 談	ギャラリー一*	346
特集 心に染みる風景 街にいる人々の気配を画中に	山内 和則	美術*	465	特集 震災とミュージアム		REAR	31
日々好日 春に思う	山内 滋夫	新美術新聞	1343	山口啓介プロジェクト 《歩く方舟》いわきへ。瀬戸内より	植田 玲子		
特集 プロ&通(ツウ)の「イチオシ!」93点 この新人が、欲しい! Part 3 無名の新人からスターダムへ。美術新人賞「デビュー」受賞&入選作家19点 山内大介	山内 大介 編集部・N	美術*	467	アーティスト・インタビュー 山口啓介 カナリアの沈黙と役割	高橋 綾子		
追悼 画家 山内龍雄	須藤 一實	ギャラリー一*	346	視線 時軸[山口保]	北澤 憲昭 朝 日	6.22	
日の出富士から撮る雲平線に黄金の光…天と地の躍動に感慨無量	山内 悠 日 経		1.1	土曜訪問 墨の濃淡 空気感表す 写真のように細密な水墨画 山口英紀さん(書画篆刻家)	森本 智之	東京夕刊	4.12
美術新人賞デビュー2014 第2回	山影 広野	美術*	462	重力、密度、回転(写真)	山口 祐子	多摩美術大学研究紀要	28
作品 山川真一「YOKOHAMA」「TOKYO」「STREET」		札幌大谷大学紀要*	44	キティ 進化するアイドル サイン会・数々のコラボ…こう見えて、仕事は選んでいます	〃	日 経	10.17
特集 ルー・リード The Door 「肉声」の人	山川 冬樹	ユリイカ	639	伝統工芸 若手が新風 和紙のドレス 「変身」たんす… 福井の7職人が団結[山口祐弘]		日経夕刊	11.22
ARTIST INTERVIEW 山口晃	藤原えりみ 聞き手	美術手帖	999	TOKYO 発 八王子 光景 山岳写真家 都市を歩く[山口芳男]	村松権主 磨	東 京	5.14
群馬文化考 百兵衛 インタビュー 画家・山口晃		美術屋・百兵衛	31	グラフィックデザイナーの美しすぎる朝食のひみつ[山崎佳]		芸術新潮	772
すゞしる日記106~117回	山口 晃 U P		495~506	中特集 もっと墨を知ろう 現代作家の墨を用いた作品と使用例 [山崎千智]	立島 恵 文・構成	水 墨 画*	305
オルセー美術館展 私の1点5 山口晃さん(画家) 新しさ写す土台	〃	読 売	9.27	絵師紹介 山崎年信 略伝	中村 茂生	浮世絵芸術	168

特集 イタリア・ルネサンスの宝石箱 ウフィツィ美術館ものがたり interview 私のフィレンツェ「美術系移民」時代	ヤマザキマリ	芸術新潮	778	山下菊二その人が語る—《特別再録》『絵の具箱からの手紙』38号(1986)から作家訪問 山下菊二					212
特集 ガルシア=マルケス『百年の孤独』は語りつづける ラテンアメリカというアマルガム—ガルシア=マルケスと世界をつなぐ	野谷 文昭、ヤマザキマリ 対談	ユリイカ	646	新しいコレクション 山下菊二《あけぼの村物語》	鈴木 勝雄	現代の眼			605
総特集 岩明均『風子のいる部屋』『寄生獣』『七夕の国』から『ヒストリエ』まで『ヘウレーカ』とシチリア透視図	ヤマザキマリ		654	TOKYO 発 ラジコン元祖 山下清が愛した玩具メーカー ブリキ再び	横井 武昭	東京			4.10
著者に会いたい 男性論 ECCE HOMO ヤマザキマリさん 他人の価値基準から離れて	加来 由子	朝日	1.12	「第6回網谷幸二賞」贈呈式行われる 山下耕平氏と寺林武洋氏 受賞の喜び語る 3年ぶりに男性、しかもダブルで		新美術新聞			1340
地球を感じる、空の旅 漫画家 ヤマザキマリさん 予想外のこと起きて自分と向き合える	伊東 絵美 インタビュー		3.12	フェイス21世紀186 山下耕平 平面絵画への想い「顔」に込め	橋爪 勇介				1351
ニュースの扉 ヤマザキマリさんと訪ねる 沖繩 戦争 日本はただ忘れるのか ヤマザキの目 人間の欠点と向き合う覚悟を	守 真弓		3.24	山下裕二の今月の隠し球 Vol.111、112 山下耕平 密やかに充填したエネルギーが、絵で爆発する(上、下)	山下 裕二	美術の窓			366、367
ネット時代 異色の合作漫画 ヤマザキマリ×とり・みき 古代ローマの学者に焦点 趣異なる世界観溶け合う	鈴木 繁	朝日夕刊	9.9	第6回 網谷幸二賞 山下耕平さん 内なる情念 画面に奨励賞 寺林武洋さん 人間くささを追求	岸 山下 桂子 原 鴻池 裕二 朋子	毎日			2.27
交遊抄 へべれけ勘三郎	ヤマザキマリ	日経	6.28	Topics 第6回網谷幸二賞贈呈式 地方での真摯な活動に賛辞 山下耕平、寺林武洋の両氏に	山下 耕平 寺林 綱谷 岸 桂子 武洋 幸桂子	毎日夕刊			3.19
こころの玉手箱 漫画家 ヤマザキマリ 1~5		日経夕刊	1.27~31	特輯 石橋コレクション 日本近代洋画篇 図版六 山下新太郎 供物	田中 淳 国 華				1425
となりのアートさん vol.8~11	ヤマザキマリ	美術屋・百兵衛	28~31	茶話マンガ 異様なまでに生々しく[ヤマシタトモコ]	伊藤 剛	朝日夕刊			3.8
特集 「黒」の新世紀—若き表現者たちのリアル 山崎鈴子	ヤマザキマリ	美術*	470	連載 震災復興プロジェクトスルー 11 笑顔の再生「モバイル・すまいる」プロジェクト	山下 保博	建築雑誌			1664
特集 百合文化の現在 同じ物語なのになぜレズビアンが疎外感を味わうのか 『LOVE MY LIFE』映画版の謎を分析する [やまじえびね]	溝口 彰子	ユリイカ	653	Unspeakable Bodies of Memory : Performance and Pre-carity in Recent Works by Yamashiro Chikako [山城知佳子]	Rebecca JENNISON	京都精華大学紀要			44
《特別記事 短期連載 III~V》 画家の妻 山下菊二夫人・昌子さんに聞く	長門 佐季 聞き手	あいだ	210~212	4 [読ん]で知るアート 沖繩の表現 既存の美術に風穴 [山城知佳子]	翁長 直樹	朝日夕刊			2.26

時代の証言者 建築 探偵 藤森照信 11 設計捨て 歴史の道 に[山添喜三郎]	柴田 文隆	読 売	1.25	新・現代日本の作家 たち アトリエ寫眞 No.024 山田嘉彦	" "	469
関西の陶芸展 塩谷 良太・山添潤「対話 の深度/ものの奥行 き」	小吹 隆文	陶 説	734	巻頭特集 見て楽し む、描いて楽しむ風 景画 ④技法講座vol. 34 ベテラン作家が 描く 心に残る風景 画 山田嘉彦	"	美術の窓 369
特集 森博嗣 『す べてがFになる』『ス カイ・クロラ』から 『MORI LOG ACAD- EMY』まで…クラフ トマンの機知 消去 されない まどろむ 森さん	山田 章博	ユリイカ	652	特集 日本の国宝 アートのちから 現 代作家の作品に見る Part.3 山中さとゑ 来し方行く末	山中さとゑ	" 372
巻頭特集 こだわり の写実表現 ディテ ールが引き出す存在 感 ④技法講座 vol. 33 技法講座4 講 師：山田恵美里 光 の描きわけで子供 の祭囃気を作る	山田恵美里	美術の窓	367	奄美の宝 100歳 のぬくもり 言葉遣い や食生活、魅力あふ れる高齢者撮り14年	山中 順子	日 経 5.13
第45回日展 新入選 者寄稿一喜びと抱負 一 心はいつも幼児 のまま	山田 和司	日展ニュー ース	152	画材考10 諸刃の剣 ・混合技法	山中 宣明	新美術新 聞 1343
青春プレイバック 現代美術作家 山田 強一 不撓不屈一名 古屋の「ドン・キホ ーテ」	和田 圭介	新美術新 聞	1356	群馬文化考 洋画家 ・山中のり子		美術屋・ 百兵衛 31
バナナ彫刻 多彩な 顔 滋賀の山田さん 作 世界で大反響 4年で数百本 食べ て彫って[山田恵輔]	辻井 勇太	東京夕刊	5.30	画材考6 溢れゆく 画材	山根須磨子	新美術新 聞 1332
コミック あれよ星 屑 1 山田参助(作) 欲と虚しさの戦後鮮 やかに	ササキバラ ・ゴウ	朝 日	5.4	元気のヒミツ アホ になりきれないアホ な老人のひとりごと	山根 峰雲	水墨画* 300
幕府お抱え蒔絵師の 正体 山田常嘉8代 目の経歴、解明して 論文に 作品あるが 文献残らず 折り畳 まれた継紙発見 望 まれる再評価	高尾 曜	日 経	4.11	著者に会いたい 自 分史ときどき昭和史 山藤章二さん 志ん 朝と談志、和田誠と 僕	石田 祐樹 朝 日	5.11
明治の細密工芸 驚 異の超絶技巧! 明 治工芸の匠たち 山 田宗美 一塊の鉄を 芸術品に変えた鍛金 家	原田 一敏	太陽(別冊)	217	特集 ウェス・アン ダーソン 『グラン ド・ブダベスト・ホ テル』へようこそ! 理性から野生へ ア ニメーションの動物 的無時間の世界	山村 浩二	ユリイカ 645
特集 古都奈良 悠 久の風を墨で彩る	山田 大作	水墨画*	301	第19回 MOA 岡田 茂 吉賞 大賞に金工の 山本晃氏		新美術新 聞 1352
現代水墨画作家手本 集38 山田大作 寒 村	"	"	307	口絵解説 切嵌象嵌 箱「白光」[山本晃]	佐藤 直子	文化財* 612
特集 心に染みる風 景 私と風景	山田 嘉彦	美術*	465	人間国宝に7人 落 語の柳家小三治さん ら[山本晃]		毎 日 7.19
				ニュースの本棚 震 災とマンガ 一歩引 いた視点に宿る底力 [山本おさむ]	南 信長 朝 日	8.3
				i活 漫画家は、な ぜ福島を描くのか[山 本おさむ]	石戸 論 毎 日	6.13
				ART AND LIFE 彫 刻家 吉良幸弘[山 本恪二]		クオリア* 23
				農民美術の種育てる 山本鼎が築いた「自 由な創作」にひかれ、 記念館の講師に	清水 義博 日 経	2.14

平成26年定期刊行物所載文献(近/作ヤ)

大正癸丑の京都蘭亭会と長尾雨山・山本寛山一関西大学図書館内藤文庫所蔵の書簡を中心として一	杉村 邦彦	書道文化	10					本郷 寛 田中康二 東良雅人 岡田京子 中島千波 松坂助一 米林芳雄 林入江一 佐藤泰生 山本貞三 五十嵐芳三			
総特集 岩明均『風子のいる部屋』『寄生獣』『七夕の国』から『ヒストリエ』までミギーちゃん遊園地へ行く	山本 さほ	ユリイカ	654					平成26年、今美術教育を考える美術教育に関する拡大研究委員会開催報告 後編		451	
特集 近代和風建築その魅力と保護の展望 近代和風建築の魅力について 巨匠の山荘一庭屋一如一 [山元春挙]	中村 昌生	文化財*	614					理事長再任のごあいさつ	山本 貞	" "	
白日会 90年の歴史、これからの10年 白日会90回記念展によせて	山本 眞輔	新美術新聞	1339					乾漆による彫刻表現の可能性一新海竹蔵・山本豊市の作品実見調査を踏まえて一	江村 忠彦	多摩美術研究	3
各科審査主任より改組新第一回日展審査に向けて	"	日展ニュース	154					美の美 片岡球子 火の山のごとく 上、下 [山本直彰]	窪田 直子	日 経	6.29, 7.6
座談会「改組新第一回日展審査を終えて一明日への期待一」	奥田小由女、土屋禮一、藤森兼明、福田千恵、山本眞輔、宮田亮平、杭迫柏樹、市澤静山	"	155					「押忍！pray」について	山本 直樹	京都嵯峨芸術大学 紀要	39
RELJINSHA GAL- LERY かざる。アートとくらす。	佐々木敬介、中村眞弥子、山本大也、わにぶちみき	美術屋・百兵衛	31					耕論 道徳に成績？「理念の共有」うさぐさい 山本直樹さん エロ漫画家	太田 啓之、聞き手	朝 日	2.18
特集 イチオシ作家今年の100人2015 Focus on! Special 山本太郎	山本 太郎	美 術*	472					4 [読ん]で知るアート 震災とアート活動 美術の力で新しいまちづくり [山本伸樹]	佐々木吉晴	朝日夕刊	4.2
美術新人賞デビュー2014 第2回	山本 千尋	"	462					窓 [山本伸樹]		日 経	1.10
特集 震災から3年一東北、そして福島の現在 [いま] 1000日ののちに	山本 貞	新美術新聞	1338					各地からの出品者の思い 描く幸せ	山本 英夫	日展ニュース	153
第28回 二紀展 山本貞氏に聞く 具象の可能性を追求 仲間という幸福感も享受	山本 貞	"	1357					白日会の精神—24人の作品と言葉から「静寂の声」	山本 大貴	新美術新聞	1339
巻頭特集 見て楽しむ、描いて楽しむ風景画 @技法講座vol.34 ベテラン作家が描く 心に残る風景画 山本貞	"	美術の窓	369					コミック ハウアーユー？ 山本美希(作) ある日突然、夫が失踪して	山脇 麻生	朝 日	10.12
新年のごあいさつ	"	連盟ニュース	449					斬り絵七宝焼 縁刻む 病身での制作、人との関わりが支えに	山本 道子	日 経	4.29
芸術の国ニッポン2014 対談	青木 保 山本 貞	"	"					特集 プロ&通 [ツウ]の「イチオシ！」93点 この新人が、欲しい！ Part 3 無名の新人からスターダムへ。美術新人賞「デビュー」受賞&入選作家19点 山本雄教	山本 齋 雄教 正機	美 術*	467
								日々好日 故郷へ	山本 雄三	新美術新聞	1355
								巻頭特集 デッサンを極める！実践編 @技法講座 vol.32 case.2 講師：山本雄三 鉛筆で描く愛らしい少女の姿	"	美術の窓	366

京ものがたり 山本容子 昭和に 戻る二年坂 変わらぬ空 気受け継ぐ 甘味	大西 元博	朝日夕刊	6.24	特集 気高く美しく理想の女性像 形の厳しさへの欲求が人物を描かせた	"	美術*	466
アートで病院に癒やしを 版画家・山本容子さんが取り組み	田村 佳子	毎 日	6.13	巻頭特集 見て楽しむ、描いて楽しむ風景画 ④技法講座vol.34 実践!風景画をマスターする④技法講座 3 講師:弓手研平	弓手 研平	美術の窓	369
特集 住宅と都市のあいだで 国家と建築の(間)をめぐって一機能という視点、物化という視点	難波 和彦、西沢 大良、山本 理顕、手話 敏雄	建築雑誌	1661	手研平 ささまざまな画材で描く風景スケッチ			
個人と国家の(間)を設計せよ—第一〜第五章	山本 理顕	思想	1077~1079、1083、1085		(ヨ)		
絵画技術史から見た日本への印象派紹介者再考[山脇信徳]	森田 恒之	近代画説	23	美博ピックアップ 北鎌倉 葉祥明美術館 常設展	竹越 萌子	朝日夕刊	10.1
ぐりとぐら展 ふんわりカステラから物語 絵本誕生50年記念 中川「ごちそうしたくて」 山脇「標本見て色決めた」	中川 李枝子、山脇 百合子	朝日夕刊	2.26	REIJINSHA GALLERY FACE 展2013-2014 選抜作家小品展 VOL.1	小野有美子、加藤 由紀、菅野 静香、志世都りも、永原トミヒロ、沼田 久雪、村上 紘一、Yogyami	美術屋・百兵衛	31
(ユ)							
RELJINSHA GALLERY 「思考の層—作家は、何に執着するのか。」	岩田 俊彦、榎 貴美、傍嶋 崇、湯浅 克俊	美術屋・百兵衛	29	横尾忠則 110点の肖像画を描き切った100日間	横尾 忠則	芸術新潮	777
特集 銅版画家25人新時代を切り開く精鋭たち 結城泰介	結城 泰介	版画芸術	165	横尾忠則の新作について	山本 淳夫	国立国際美術館ニュース	203
フェイス21世紀179 結城唯善 繰り返す変化 貫徹する想い	和田 圭介	新美術新聞	1332	読書		朝 日	
茶話マンガ 旧作に通じる新境地[ゆうきまさみ]	伊藤 剛	朝日夕刊	5.10	呵呵大将 竹邑類(著) 自由で無邪気 素の三島由紀夫	横尾 忠則		1.26
ひと 骨の美しさを振り続ける写真家 湯沢英治さん	上原 佳久	朝 日	2.10	図説 滝と人間の歴史 プライアン・J・ハドソン(著) 原始と文明 イメージの変化は	"		2.23
科学写真 息づく火星の地表・骨格…未知の姿が心打つ[湯沢英治]	干場 達矢	日経夕刊	1.7	睡眠のはなし 快眠のためのヒント 内山真(著) 眠れる、眠れぬ それの問題だ	"		3.9
本よみうり堂 「REAL BONES」写真 湯沢英治、構成・文 東野晃典	(多)	読 売	10.12	世界で一番美しい猫の図鑑 タムシン・ビッケラル(著) 芸術家の霊性を引き出す力も	"		8.17
柚木沙弥郎 憧れのフランスに住処をきめた愉快な布作品たち		芸術新潮	779	奇想の発見 ある美術史家の回想 辻惟雄(著) 「奇異の人」と画家 端の出会い	"		9.7
白日会の精神—24人の作品と言葉から「惜春」	湯山 俊久	新美術新聞	1339				

平成26年定期刊行物所載文献(近/作ヨ)

フリープレイ 人生と芸術におけるインプロヴィゼーション スティーヴン・ナハマノヴィッチ(著) やつてに成りきる	横尾 忠則		10.26	アンディ・ウォーホル展:永遠の15分 私の見たウォーホル 横尾忠則さん「虚無」禅に通じる 秋山祐徳太子さん 静かで地味な印象 会田誠さん 自虐的な役割 自覚	横尾 忠則 秋山祐徳太 子 会田 誠	読売夕刊	4.3
日本人の身体 安田登(著) 境界が曖昧「能」で自在に展開	"		11.2	特集 日本の国宝 アートのちから 現代作家の作品に見る Part.3 横前裕子 私の女人源氏「女三の宮」	横前 裕子	美術の窓	372
この1年に出会った本 書評委員が選ぶ「今年の3点」	横尾 忠則 隈 研吾		12.28				
心の流浪 挿絵画家・権島勝一「ペン面の神様」の生涯と時代	横尾 忠則 朝 日		5.4	巨匠に学ぶ水墨画のわざ『日本画実習帖』の世界 最終回 横山大観の松	村田 隆志	水墨画*	306
評伝 バルテュス クロード・ロワ(著) 秘められた鏡の向こうに...	"	"	5.25	画家と戦争 日本美術史の空白 戦争を描いた画家たち 横山大観	奥間 政作	太陽(別冊)	220
日本中が、背中で泣いています 高倉健さんを悼む 美術家・横尾忠則	大西 若人 聞き手	"	11.19	菱田春草 不熟の天才画家 五浦で生まれた名品 横山大観	井野 功一	"	222
ネコ学入門 猫言語・幼猫体験・尿スプレー クレア・ベサント(著) 実は人がしつけられている	横尾 忠則	"	11.23	表紙作品解説 来館者が選んだベスト・コレクションは横山大観「雨晴義経岩」	山本 成子	PATIO	30
あのとときそれから 平凡パンチ創刊 日本男児を変えた「パイブル」	浜田 奈美 横尾 忠則	朝日夕刊	8.23	巻頭特集 再興院展 100年 その歩みと次代の画家たち		美術*	461
惜別 デザイナー ヨーガン・レールさん 服や日用品に込めた自然への敬意[横尾忠則]	帯金 真弓	"	12.20	院展の巨星 その光と影1 横山大観と菱田春草			
私の書棚から 「神曲」はドキュメント	横尾 忠則	東 京	9.1	肖像画に託した師への思い 我が師とその作品1 横山大観と壺山南風	松尾 敏男		
葉の代わりに『養生訓』			9.8	コラム 横山大観の海外展での人気作	佐々木美帆	美術館だより(福井県美)	142
興味津々 他人の日記			9.22	丹青閑話 第34話 横山大観「霊峰一文字」	島尾 新	美術の窓	365
遊びの追求			9.29	明治末期・大正前期の横山大観一池大雅・与謝蕪村の評価と大観における画風の変化一	植田彩芳子	LOTUS	34
アートな本 篠山紀信・横尾忠則著『記憶の遠近術 篠山紀信、横尾忠則を撮る』		"	12.14	若き大観 資金求める手紙 外遊計画 香川の実業家に		読 売	9.26
美の美 20世紀の美神—マリリン・モンロー—上 女優の死とポップアート 謎に包まれた2人の聖像[横尾忠則]	古賀 重樹	日 経	4.6	史料紹介と研究 モーザー(Moser)コレクション写真について(二)—ウィーン万国博覧会関係写真[横山松三郎]	谷 昭佳	東大画像史料解析センター通信*	65

On view 花展を準備しながら考えたこと—二代横山彌左衛門の《菊花文飾盃》を見て	木田 拓也	現代の眼	605	名著の衝撃 19『ギャル男VS宇宙人』吉沢潤一著 すさまじい心の底の飢え	呉 智英	東京夕刊	1.31
《連載》戦時下日本の美術家たち 第61回「吉井忠日記」註解(12) 1945年	飯野 正仁	あいだ	210	吉沢家寄贈「野澤如洋作品」の紹介[吉沢仙洋]	對馬恵美子	青森県立郷土館研究紀要	38
作品を見る読む 2—吉井忠—	清 水	かたりべ	113	白日会 of 精神—24人の作品と言葉から「ミモザのある風景」	吉住 裕美	新美術新聞	1339
私の濃墨とぼかしでの作品づくり グラデーション(ぼかし)は朝霧と光、時間への私なりの表現	吉井 東人	水墨画*	298	吉田五十八の住宅作品を通してみる中上流住宅の起居様式 室名表記と接続方法に着目して	大井 隆弘 光井 渉	日本建築学会計画系論文集	697
わたしたちの教室へようこそ 吉井東人国際墨絵協会		"	303	吉田五十八の住宅作品を通してみる近代住宅の出入口 勝手口の減少および内玄関と勝手口の近接傾向について	大井 隆弘	"	704
現代水墨画作家手本集40 吉井東人 富士	吉井 東人	"	307	北海道文化考 アーティスト 吉田英子		美術屋・百兵衛	30
画家と戦争 日本美術史の空白 戦争を描いた画家たち 吉岡堅二	迫内 祐司	太陽(別冊)	220	日々好日 夢中	吉田宏太郎	新美術新聞	1342
特別寄稿 消せない出目が消してしまった『桜井版名作選書』[吉岡堅二]	大貫 伸樹	夢香山	6	特集 「黒」の新世紀—若き表現者たちのリアル 吉田潤		美術*	470
美の美 日本の家族写真 上 視線のぬくもり映し出す 共に過ごした時間を凝縮[吉岡専造]	干場 達矢	日経	9.28	水墨の最前線29 深い黒を醸す表現の探求 吉田翔	立島 恵	水墨画*	300
第45回日展 新入選者寄稿—喜びと抱負— 制作過程はオフロード	吉岡 珠恵	日展ニュース	152	作家通信 ニューヨークでの作品展示と欧米での現代中国水墨画事情	吉田 翔	"	303
月刊ギャラリー創刊25周年記念 小川英晴のアート縦横 No.48 青木繁の「海の幸」を描いた家—青木繁「海の幸」会	入江 観 吉武 研司 吉岡 友次郎 小川 英晴	ギャラリー*	353	総特集 岩明均『風子のいる部屋』『寄生獣』『七夕の国』から『ヒストリエ』まで コースター	吉田 戦車	ユリイカ	654
特集 日本の国宝 アートのちから 現代作家の作品に見る Part.2 特別対談 吉岡正人×寛本生 同時代の画家たちが語る、これからの絵画	一井 建二 司会	美術の窓	372	新・現代日本の作家たち アトリエ写真 No.018 吉田多最	吉田 多最	美術*	463
純粋なる芸術 アール・ブリュットの世界 吉川秀昭「目・鼻・口」	中村 政人	東京夕刊	7.9	特集 心に染みる風景 師とともに写生した風景	"	"	465
時代の証言者 建築探偵 藤森照信 20 初設計 突き抜けた発想[吉阪隆正]	柴田 文隆	読売	2.6	原図分析による吉田鉄郎の設計プロセスに関する研究	山崎 徹 川向 正人	日本建築学会計画系論文集	701
				資料紹介：平成25年度購入資料について～吉田初三郎関係資料～	佐藤 良宣	青森県立郷土館研究紀要	38
				Topics 小窓 1930年(昭和5)、礼拝堂周辺[吉田初三郎]	三好 唯義	神戸市立小磯記念美術館だより	40
				兵庫県立博物館所蔵の吉田初三郎関連資料について	鈴木 敬二	塵界	25

平成26年定期刊行物所載文献(近/作ヨ)

美の美 温泉と絵画 下 近代化が生んだ旅への夢 失われた風物 今に伝える[吉田初三郎]	窪田 直子 日 経 11.16				SPECIAL FEATURE ボーイズラブ 10人のマンガ家が語る！ ボーイズラブとマンガ表現 よしながふみ	松井みどり 聞き手・文 美術手帖 1016
photographers' gallery press 誌「爆心地の写真 1945—1952」 広島特集 凝視すべき極限下[吉田初三郎]	田中 純 読 売 12.25				第9回前田寛治大賞展 大賞受賞作家は吉中裕也氏	新美術新聞 1347
当館のイチオシ 縦横の直線が生み出すリズム 吉田政次[地の泉 No. 1] 和歌山県立近代美術館		ギャラリ一*	345		若手育成が開くアニメのミライ 文化庁助成が作品のゆりかごに 世界から反響に 続編制作後押し 手が技術指導 オリジナル競う[吉成曜]	三沢 典丈 東京 11.3
クリエイターズワーク&ソウル 吉田昌弘	吉田 昌弘 A X I S 171				生と死の循環 自然と向き合う 震災後…現実を直視する作家[吉野辰海]	渋谷 和彦 産 経 9.11
転居された森田隆一さんのアトリエへ行って来ました	吉田 正美 職場美術 142				シリーズ・具体美術の作家	ギャラリ一*
展覧会ビックアップ「平和を愛するあなたへ」展	" " "				7 浮田要三 オベては『きりん』から始まっている[吉原治良]	編集部 349
神宮美術館所蔵 神宮名品解説 陶芸 釉裏金彩葡萄文花瓶 釉裏金彩大山蓮華文飾皿 釉裏金彩牡丹唐草瑞鳥文飾皿[吉田美統]	本多 久子 瑞 垣 229				8 吉原通雄 描くということよりも素材と方法が重視される作家・吉原通雄[吉原治良]	河崎 晃一 350
神雛よみがえる 江戸から明治期 人気の今戸人形 かつての作品から型 浅草橋の土で再現 北区の吉田さん[吉田義和]	奥野 斐 東京夕刊 8.29				11 金山明 金山明一吉原治良との隔たりを自覚した具体作家一	加藤 瑞穂 353
いまどきの今戸人形作り 江戸時代、浅草で作られた土人形 地元の土使い再現	吉田 義和 日 経 6.16				表紙解説 表 吉原治良《白い円》	原田 平作 美術フォーラム21 30
收藏品から《白化粧しのぎ手鉢》吉田喜彦	石井 幸彦 世田谷美術館だより 95				純粹なる芸術 アール・ブリュットの世界 吉原長次郎「太陽とハタ」	中村 政人 東京夕刊 6.25
沿線から疑問噴出 JR東海 着工へ減速せず 岐阜 住民「自宅分断 寝耳に水」[吉田喜彦]	出田 阿生 東京 5.6				シリーズ・具体美術の作家8 吉原通雄	ギャラリ一* 350
月刊ギャラリイ創刊25周年記念 小川英晴のアート縦横 No. 48 青木繁の「海の幸」を描いた家一青木繁「海の幸」会	入江 観 吉武 研司 小川 英晴 ギャラリ一* 353				描くということよりも素材と方法が重視される作家・吉原通雄	河崎 晃一
NPO 法人青木繁「海の幸」会レポート	吉武 研司 連盟ニュース 450				「具体」発祥の地・芦屋に吉原通雄夫人の尚美さんを訪ねて	編集部
顔 よしながこうたくさん ウルトラマンの読み聞かせが人気の絵本作家	海谷 道隆 読 売 5.13				3月号(平成26年)第141回誌上コンクール 臨画手本 吉見公子「春陽の郷」	水墨画* 299
					現代水墨画作家手本 集41 吉見公子 早苗の頃	吉見 公子 " 307



連載 次代を拓く建築展4 航路としての建築展—松風荘と日本建築写真展[吉村順三]	山崎 泰寛	建築雑誌	1663	特集 プロ&通[ツウ]の「イチオン!」93点 この新人が、欲しい! 特別編 KEN + JULIA YONETANI をご存知ですか?	米谷 健、米谷ジュリア、朴 順梨、インタビュー	美 術*	467
惜別 画家・版画家吉村芳生さん 描き写した新聞 時代切り取る	安田 桂子	朝日夕刊	1.18	文化往来 ジブリ新作、宮崎駿・高畑勲両監督抜きで[米林宏昌]		日 経	5.13
悼む 吉村芳生さん 画家 圧巻の細密描写	河野 通孝	毎 日	1.20	思い出のマーニー悩める少女 幻想的に[米林宏昌]	(勝)(金)(広)(渡)	毎日夕刊	7.18
特集 弥衛さん 職人的文人とおじいちゃんの落書き	吉本 作次	R E A R	33				
「DOMANI・明日展」国立新美術館 未来を担う力作ズラリ[吉本直子]	渋谷 和彦	産 経	1.9	平成26年、今美術教育を考える 美術教育に関する拡大研究委員会開催報告 後編	本郷 寛、田中康二郎、東良 雅人、岡田京子、中島千波、船坂芳助、米林江雄、佐藤入江 泰生、山本貞一、五十嵐芳三	連盟ニュース	451
暗い色調がゴッホの本質 オランダに里帰りした作品	吉屋 敬	毎日夕刊	4.9	特集 美術解剖学からの学び 頭部を描く(秘)技法講座 技法講座2 講師:頼住美根生 陰影により頭部の立体感を把握する	頼住美根生	美術の窓	373
展覧会ピックアップ 片岡利朗油絵展	依田八重子	職場美術	141	カバーインタビュー 寄藤文平	深沢 慶太、インタビュー・文	A X I S	167
68回職美展 作品研究会(展示会場にて) 満田径子さん(ひばり) 依田八重子さん(水平環)	関上 弘 まとめ	〃	143		(ラ)		
視線 SIMONDOLL 四谷シモン	大西 若人	朝 日	6.8				
生老病死の旅路 四谷シモンさん 人の魂とかかわる人形	井上 晋治 聞き手	読売夕刊	5.12				
仙台藩刀匠考(22) 仙台刀工「淀川重利」及び「月山重宗」の遺作との遭遇	佐藤 一典	刀剣美術	685				
演劇、絵本…反戦の思い結実 反骨の生涯 米倉齊加年さん 死去	安田 信博	東 京	8.28	特集 金融の新たな UX を切り拓く試み ライゾマティクス「traders(トレーダーズ)」[ライゾマティクス・リサーチ]	深沢 慶太	A X I S	167
追悼録 生活者のための芝居と絵本 米倉齊加年さん	内田 洋一	日経夕刊	10.17	特集 桃山のやきもの 利休と長次郎—ある表現者の宿命—	樂吉左衛門(15代)	聚 美	12
米倉齊加年さん死去 俳優、演出家、絵本作家		毎日夕刊	8.27	特集 「黒」の新世紀—若き表現者たちのリアル 樂雅臣		美 術*	470
日々好日 星宿の地	米田 和秀	新美術新聞	1347	学校と私 漫画家 ラズウェル細木さん「漫研」目的に早稲田大進学	ラズウェル細木、澤 圭一郎、聞き手	毎 日	2.10
SPECIAL FEATURE ボーイズラブ 10人のマンガ家が語る! ボーイズラブとマンガ表現 ヨネダコウ	川原 和子 聞き手・文	美術手帖	1016	Re view 「マルセル・ブロータース」から始めてみる。何度も。	良知 暁	現代の眼	607
視線 After the Thaw 雪解けのあとに[米田知子]	大西 若人	朝 日	7.13				

	(リ)				水墨の最前線32 寂 びの効いた水墨樹石 山水画 若狭悌尚	野地耕一郎	水墨画*	303
RELINSHA GAL- LERY 李慶子展 「Keiko Lee Glass- work Exhibition」		李慶子 談	美術屋・ 百兵衛	30	宮城文化考 我妻正 史		美術屋・ 百兵衛	29
この人 世界中の笑 顔を描くアーティスト RIE さん		神谷 円香	東京	7.1	修復報告一彫刻[若 林奮]	宮崎 安章	神奈川県 立近代美 術館年報	2012年度
雷氷の滝つぼ 空撮 横浜の写真家、白山 山麓で[林明輝]			日 経	5.6	若林奮「多くの川を 渡り 再び森の中へ」 (神慈秀明会蔵)をめぐって	辻 惟雄	MIHO MUSEUM 研究紀要	15
	(ロ)				流行るかな? 散歩 寺社彫刻 見上げて ごらん…[若林純]	宮田 珠己	産 経	10.15
REVIEWS 01 楳木 野衣 月評第73回 性器と流通 ろくで なし子「わいせつ電 磁的記録頒布容疑」 問題		楳木 野衣	美術手帖	1010	特集 必見! 秋の注 目展133!! PICK UP 特別トーク 江里佐 代子の教えた3人の 女性作家が語る 截 金の可能性に賭ける それぞれの思い	飯沼 春子 中村 祐子 鷺尾美陽子	美 術*	469
ニュースQ3 性器 かたどった作品 芸 術かわいせつか[ろ くでなし子]			朝 日	12.17	対話の痕跡(版画)	鷺野佐知子	多摩美術 大学研究 紀要	28
3Dデータもわいせ つ物? 警視庁 女 性芸術家を逮捕 数字 と文字の羅列だが …模倣防止狙いか[ろ くでなし子]		荒井 六貴	東京	7.20	4 [読ん]で知るア ート レコードと美術 天と地をつなぐ音の 芸術家[和田永]	楠見 清	朝日夕刊	11.19
週刊誌を読む わい せつとは何か ろく でなし子さん逮捕		篠田 博之	〃	8.3	慶応義塾所蔵作品調 査・保存活動[和田 英作]		慶応義塾 大学ア ート・セン ター年報	21
女性漫画家を再逮捕 わいせつ物頒布容疑 捜査の妥当性に批判 も[ろくでなし子]			東京夕刊	12.3	和田英作《こだま》と アレクサンドル・カ パネルをめぐる一考 察	岩瀬 慧	NACT Review*	1
女性器モチーフの芸 術作品をわいせつ認 定 女性の性を貶め る逮捕[ろくでなし 子]		後藤 弘子	〃	12.12	鹿児島文化考 鹿児 島の偉大な画家たち 和田英作		美術屋・ 百兵衛	28
特集 建築の臨床性 を問う 第2部 建 築はいかに人に寄り 添えるか 臨床美術 と建築		六角 鬼丈 話し手 智治、爽、 真壁 智治、爽、 神吉 優美 聞き手	建築雑誌	1659	生誕200年 ミレー 再発見 下 生涯の 神話化 日本に影響 画壇超え文学・社会 にまで[和田英作]	宮川 匡司	日 経	12.7
	(ワ)				作家通信 社中展を 終えて	和田 恍珀	水墨画*	304
					現代水墨画作家手本 集42 和田恍珀 浜 名湖夕照	〃	〃	307
特集 プロ&通[ツ ウ]の「イチオシ!」 93点 この新人が、 欲しい! Part 3 無名の新人からスタ ーダムへ。美術新人 賞「デビュー」受賞& 入選作家19点 若佐 慎一		若佐 慎一 河嶋 淳司	美 術*	467	現代美術の歩き方 今月一品 和田典 子「birthday cake 9」	能勢 陽子	美術の窓	366
					著者に会いたい 自 分史ときどき昭和史 山藤章二さん 志ん 朝と談志、和田誠と 僕	石田 祐樹	朝 日	5.11

現代美術の歩き方 異論反論・現代美術 大和日英基金+ART Instituteによる7名 の日本人アーティスト のグループ展がロ ンドンで開催[和田 昌宏]		美術の窓	364	特集 プロ&通[ツウ] の「イチオシ!」93点 この新人が、欲しい! Part 2 見逃せない 最新作も!人気の若 手作家40点 渡辺遼	渡辺 諏訪	遼 敦	美 術*	467
collection-vol.84 地 座 CHI-ZA 和太守 卑良	松本 教仁	KENBI LETTER	84	巻頭特集 原寸で見 る!現代作家の技 光の効果を生かした モデリング	渡抜	亮	美術の窓	371
山下裕二の今月の隠 し球 Vol.113、114 和田裕美子 OL 生 活の夜、彼女の密か な営み(上、下)	山下 裕二	美術の窓	368、369	思い出す本 忘れない本 作者の矜持を 教えられた 手のな かのこころ 綿引展 子(著)	文月	悠光	朝 日	9.14
絵・わたせせいぞう、 文・村岡恵理『ア ンを抱きしめて 村 岡花子物語』	(雅)	読 売	3.30	第27回奨学者のレポ ート Boundary Line	わにぶちみ き	アクリラ ート(別 冊)		2014
新しいコレクション 渡辺克己《ゲイボー イ、新宿》	増田 玲	現代の眼	607	RELJINSHA GAL- LERY かざる。ア ートとくらす。	佐々木敬介 中村真弥子 山本 大也 わにぶちみ き	美術屋・ 百兵衛		31
ふるさと再訪 石川 ・奥能登 4 移り 住む外国人たち 珠 洲焼、漆芸、食愛す [渡辺キャロライン]		日経夕刊	4.26					
特集 デザイン思考 の誤解 「現状」「背 景」「本質」「これか ら」で把握。デザ イン思考は、なぜわ かりにくいのか? [渡邊康太郎]	廣川 淳哉 文 清水 淳子 イラスト	A X I S	168	幻の建築 unbuilt dreams 6 アーキ グラム 都市からの 逃亡	光嶋 裕介	芸術新潮		778
70歳工芸家 姉妹に 恩返しできぬまま[渡 辺昇次郎]	永山 陽平	東 京	4.16	平成25年度 新収蔵 品・寄贈作品の紹介 [ダレン・アーモン ド]	川谷 承子	アマリリ ス		114
純粋なる芸術 アー ル・ブリュットの世 界 渡邊大士「魚宴」	中村 政人	東京夕刊	7.30	「ダレン・アーモン ド 追考」展 悠久 の時間で文明とらえ る	西岡 一正	朝日夕刊		1.15
特集1 目の眼的六 古窯の旅 備前の里 を訪ねて 備前焼の 歴史と未来を語る座 談会 温故知新・変 革期の備前焼に新し い波をおこすには	藤原 和 金重 晃介 白井 洋輔 藤原喜久代 木村 英昭 渡邊 琢磨 白洲 信哉	目 の 眼	458	エーロ・アールニオ とエリック・ブルン フィンランドの巨匠 たちに見る企業家精 神	中島 恭子	A X I S		172
特集 日本の国宝 アートのちから 現 代作家の作品に見る Part.3 渡邊正博 命が宿る	高山 淳	美術の窓	372	アートは現実を引き ずっていく 第55回 ヴェネツィア・ビエ ンナーレでの艾未未 とFUCK OFF展2(II)	宮本真左美	あいだ		210
展覧会ピックアップ 第11回結展	渡辺美代子	職場美術	141					
特集 新人大図鑑 2014 未来のスター 450名を一挙紹介! 評論家・ジャーナ リストが選ぶ注目の新 人13 渡辺元佳	清水 敏男	美術の窓	368	《海外の話題》監獄島 に囚人再び―ただし、 ポートレイトとして 艾未未 Ai Weiwei の挑戦	編 集 部	〃		216
KOMA(木版画)	渡邊 悠子	多摩美術 大学研究 紀要	28	Global News Wake- field 中国で軟禁中 電子メールで個展[艾 未未]	内田 さり 取材	芸術新潮		776

WORLD NEWS ベルリン1 アイ・ウェイウェイ史上最大の個展がオープン作品の真価やいかに?	河合 純枝	美術手帖	1005	シンポジウム ヴェルサイユ宮とその芸術 建築家フランソワ・マンサール、そして、J・アルドワン・マンサールとヴェルサイユ宮の芸術 [ジュール・アルドゥアン=マンサール]	クロード・ミニヨ 小林亜起子 通訳・要約	日仏美術 学会会報	33
寄り道シネマ「表現の自由」をめぐる闘いの記録『アイ・ウェイウェイは謝らない』		美術の窓	364	WORLD NEWS ロサンジェルス LA アートシーンを牽引するのは誰? 今夏開催の2つの展覧会から考える [ジョン・アルトゥーン]	廣 李果	美術手帖	1012
4 [読ん]で知るアート 政治とアート 人権を訴える芸術家たち [艾未未]	茂木健一郎	朝日夕刊	6.4	中村順平にみるエドワー・アルノーの影響 近代日本におけるフランス建築理論の受容に関する研究 その1	林 要次	日本建築 学会計画 系論文集	699
ART TOPICS 反骨の魂が問う中国 [艾未未]		日 経	6.12	ジャンノッツォ・マネッティの『世俗と教皇庁の式典について』における建築的描写について [レオン・パッティスタ・アルベルティ]	北岡 一孝	” ”	” ”
美の美 「水」の生命力 上 流動と落下 波に滝に飛沫に千変万化 動的リズム、生き生きと 葛飾北斎「諸国滝廻り」 下 野黒髪山きりふりの滝 [イヴァン・アイヴァゾフスキー]	富田 律之	”	2.16	アルベルティの建築理論における line-amentum の建築設計上の表現媒体としての側面について lineamentum の基本的性質をもとに	三木 勲 中川 理	” ”	” ”
四国の山のニュータウン 高知県梶原町に住んでみる オランダ人の紙漉き作家 土佐和紙の伝統継ぐ [ロギール・アウテンボーガルト]	岩田 三代	日経夕刊	2.8	学問の図像とかたち 166 思考の機型 理論と実践 [レオン・パッティスタ・アルベルティ]	松本 文夫	U P	504
Art Report in Asia 国際アートシーンを駆け抜ける作家たち モンゴルの作家たち No.1 アディアバザル	水間 敏隆	ギャラリー	346	連載 海図の切れ端 一現代建築批評再考 3 『形の合成に関するノート』クリストファー・アレグザンダー	連 勇太朗	建築雑誌	1662
WORLD NEWS ロンドン アブラモヴィッチにアトキンス、サーペンタインで異色のパフォーマンス!? [エド・アトキンス]	伊東 豊子	美術手帖	1008	資料紹介 C. W. アレルス『オペレッタ・ミカドの舞台裏』にみるミカドの衣裳 [クリスチャン・ウィリアム・アレルス]	小山 勝美	ジャポニ スム研究	34
WORLD NEWS ロンドン アブラモヴィッチにアトキンス、サーペンタインで異色のパフォーマンス!? [マリーナ・アブラモヴィッチ]	”	”	”	特集 今あらためて 巨匠に学ぶデッサンの技 私の好きなデッサン ドミニク・アングル [ジャン=オーギュスト・ドミニク・アングル]	中山 忠彦	美術の窓	364
World New York 「パヴェル・アルタメル 隣人たち」展 顔だけリアルな、ミイラ? ゾンビ? パヴェル・アルタメルのちょいキモ彫刻	藤森 愛実 取材	芸術新潮	772	特集 ウェス・アンダーソン 『グランド・ブダペスト・ホテル』へようこそ! 理性から野生へ アニメーションの動物的無時間の世界	山村 浩二	ユリイカ	645

第67回全国大会研究発表要旨 アントネッロ・ダ・メッシーナ作《受胎告知のマリア》—肖像画とアイコンのあわい—	衣笠 弥生	美術史	177	近代インド美術における民族主義とアカデミズム[ラジャ・ラヴィ・ヴァルマ]	安見明季香	日本女子大学大学院紀要(人)*	20
バルトロメオ・アンマナーティ作《ユノの泉》と画像助言者コジモ・バルトリ[バルトロメオ・アンマナーティ]	友岡 真秀	#	176	小特集 スイスのふたり 2 懐疑、恐れ、そして夢想—19世紀生まれの現代画家ヴァロットン[フェリックス・ヴァロットン]	高橋 明也	芸術新潮	772
WORLD NEWS ロンドン シュタインバッハとアンロ。ディスプレイ美学が光る2つの展示[カミーユ・アンロ]	伊東 豊子	美術手帖	1004	注目の作家 F・ヴァロットン モノクロームの情景に込めた欲望と葛藤	杉山奈穂子	版画芸術	164
				アートと世界 第12話 彫刻家とのご縁—桑原巨守からジュリアーノ・ヴァンジまで	大村 智談 編集部 文	美術の窓	375
(イ)				例会・研究発表会要旨 東部会 平成二五年度第四回例会 アンソニー・ヴァン・ダイク《ティツィアーノとその情婦》(版画、一六三〇年頃)について	柏 智久	美学	244
アートと世界 第10話 海外で活躍する女子美大の卒業生達[李張鳳]	大村 智談 編集部 文	美術の窓	373	入門講座 絵を買う人々 2 君主・王たち 自らの威光アピール[アンソニー・ヴァン・ダイク]	中野 京子	日経夕刊	5.8
評 演劇 劇団文化座「旅立つ家族」 画家の運命、熱く[李仲燮]	木村 光則	毎日夕刊	10.9	ベルギーの画家ジュール・ヴァン・ド・レーヌの日本での紹介について	山田真規子	姫路市立美術館研究紀要	14
アートと世界 第10話 海外で活躍する女子美大の卒業生達[李淑鐘]	大村 智談 編集部 文	美術の窓	373	小倉正史の現代美術講座 その17[ローレンス・ウィーナー]	小倉 正史	ギャラリー一*	352
竹久夢二の世界 描いて、旅して、恋をして ベルリン、ヨハネス・イッテンの美術学校で	山野 英嗣	太陽(別冊)	221				
(ウ)				特別掲載 みてきたものを超えていく 日仏マンガ作戦会議	バスティアン・ヴィウエス、今日マチ子 対談 鶴野 孝紀 通訳	ユリイカ	643
近代日本におけるジョルジョ・ヴァザーリの受容	石井 元章	芸術文化研究	18	WORLD NEWS パリ ルーチョ・フォンタナとビル・ヴィオラに見る近現代と「拡大」「降下」「浮上」	三木あき子	美術手帖	1008
追悼の建築としての伝記集—ヴァザーリ『芸術家列伝』再考—	古川 萌	美学	244	ART TOPICS 映像の向こうの生死[ビル・ヴィオラ]		日 経	5.8
特集 本をとどけるいま、なぜヴァザーリなのか	森田 義之	R E A R	32	WORLD NEWS ロンドン 写真界の期待の新星 ヴィットウーリとインスタレーション・アートの草分けウエイクリー[ロレンツォ・ヴィットウーリ]	伊東 豊子	美術手帖	1012
アンドレ・ブルトンと画家ワトー[ジャン=アントワヌ・ヴァトー]	原田 操	慶応義塾大学日吉紀要	59				
傾城阿古屋：カール・ヴァルサーの歌舞伎絵について	奥田 修	京都国立近代美術館研究論集	6				
ART TOPICS ヴァルダ監督が個展[アニエス・ヴァルダ]		日 経	3.13				

平成26年定期刊行物所載文献(近/外ウ)

ヤコボ・ヴィニャー リとサンタ・マリア ・ノヴェッラ修道院	坂本 篤史	美術史	177	酒屋の前で	〃	〃	2.6
				男の憧れ	〃	〃	2.13
論文要旨《博士》ヤ コボ・ヴィニャーリ 研究	〃	美術史論 集	14	雪の夜の謎	〃	〃	2.20
				三角地	〃	〃	3.6
WORLD NEWS ニ ューヨーク ジェフ ・クーンズ世代の回 顧ブーム到来 アメ リカ現代美術の厚み、 見せつける[クリス トファー・ウィリア ムズ]	藤森 愛美	美術手帖	1012	お猿3匹	〃	〃	3.13
				ホームの上の職人	〃	〃	3.20
				谷中の寒がりや	〃	〃	3.27
				昌平橋の橋灯	〃	〃	4.3
				お坊さん	〃	〃	4.10
				一瞬のアーチ	〃	〃	4.17
研究発表(要約) 国 沢新九郎のイギリス 滞在中の恩師の解明 ジョン・エドガー・ ウィリアムズの経歴 と技法	杉原 朱美	近代画説	23	皇居の緑	〃	〃	4.24
				こだわりの箱	〃	〃	5.8
				木造の駅舎	〃	〃	5.15
				レンガ橋	〃	〃	5.22
				百貨店	〃	〃	5.29
アートがアートにな るために一オルタナ ティブ・スペースの 実践にみるアーティ ストと芸術作品の関 係[マーサ・ウィル ソン]	登 久希子	NACT Review*	1	消防出張所	〃	〃	6.5
				かっぱ橋の休日	〃	〃	6.12
				木陰で読書	〃	〃	6.26
				ほうきと自転車	〃	〃	7.3
				西浅草の路地	〃	〃	7.10
				ロマンスカー	〃	〃	7.17
				変化の波	〃	〃	7.24
				上野の占い師	〃	〃	7.31
				上野のダンディー	〃	〃	8.28
				路上のエビ	〃	〃	9.4
				看板建築	〃	〃	9.11
				江戸橋	〃	〃	9.18
				かっぱ橋のオアシス	〃	〃	9.25
				ハモニカ横丁	〃	〃	10.2
				飛び出す看板	〃	〃	10.16
				上野公園で一休み	〃	〃	10.23
				上京	〃	〃	10.30
				神楽坂の寿司屋	〃	〃	11.6
				2人だけの話	〃	〃	11.13
				ソフトクリームと落 ち葉	〃	〃	11.20
				九段下の雨	〃	〃	11.27
				道玄坂ののれん	〃	〃	12.11
				新幹線	〃	〃	12.18
				美の美 三島由紀夫 のローマ 中 絢爛 好みと破壊への憧憬 矛盾する心が向かう 先は[パオロ・ヴェ ロネーゼ]	干場 達矢	日 経	5.4
現代美術の歩き方 異論反論・現代美術 呉達坤[ウーダーク ン]にインタビュー アジア・アナキー ・アライアンスの発 起人		美術の窓	368				
WORLD NEWS ニ ューヨーク 活況の 現代美術オークシ ョンと物故・年配作 家の見直しの動き[ クリストファー・ウ ール]	藤森 愛実	美術手帖	998				
Art Report in Asia 中国・最新アーティ スト事情第24回 中 国油絵界の次代を担 う作家たち[専加]	梶川 強	ギャラリ ー*	347				
WORLD NEWS ロ ンドン 写真界の期 待の新星ウィットウ ーリとインスタレー ション・アートの草 分けウエイクリー[シ ェーラ・ウエイクリ ー]	伊東 豊子	美術手帖	1012				
ART TOPICS 破綻 都市に生きる力[ブ ルース・ウェーバ ー]		日 経	7.10				
道ばたのタコ	Johnny Wales	読 売	1.9				
縄のれんの向こう	〃	〃	1.16				
お寺の山門	〃	〃	1.23				
これもリサイクル	〃	〃	1.30				

ARTIST INTERVIEW ヤン・ヴォー	松井みどり 聞き手	美術手帖	1008	GREEN BILLS ア ートをビジネスに 変えたウォーホル は、お金をどう愛 したか?	藤森 愛実
Global News New York 製糖工場に出 現した巨大スフィン クス[カラ・ウォー カー]	藤森 愛実 取材	芸術新潮	775	GREEN BILLS INTERVIEW ウ ォーホルに通じた 二人のディーラー アルベルト・ムグ ラビ、吉井和人に 聞く	藤森 愛実 取材・文
WORLD NEWS ニ ューヨーク カラ・ ウォーカーの巨大ス フィンクス登場! 突きつけられるリア ルに賛否両論	藤森 愛実	美術手帖	1008	INTERVIEW MAGAZINE 『イ ンタビュー』誌の 元編集長、ボブ・ コラチエーロが語 る、ウォーホルの 編集哲学	〃
REVIEWS 06 近藤 亮介 新人月評9回 いつもピンチ リチ ャード・T・ウォー カー 「常という窮 地(そのまま)」展	近藤 亮介	〃	1016	JULIA 生涯をと もにした母ジュリ アの存在	藤森 愛実
時代の証言者 建築 探偵 藤森照信 12 「神話の時代」の流 れ者[トーマス・ウ ォーホルス]	柴田 文隆	読 売	1.27	THE KENNEDYS 死をめぐる、ケネ ディー族との運命 的な関係とは?	宮下規久朗
横尾忠則の新作につ いて[アンディ・ウ ォーホル]	山本 淳夫	国立国際 美術館ニ ュース	203	THE LAST SUPPER 絶筆は「最後の晩 餐」。知られざる、 熱心なキリスト教 信者としての顔	〃
SPECIAL FEATURE アンディ・ウォーホ ルのABC		美術手帖	1000	MARILYN MON- ROE マリリンも モナ・リザも自分 も。マス・イメー ジ時代のポर्टレ ート革命	楠見 清
ANDY WARHOL 最後の証言者、ウ インセント・フリ モントに聞く。ア ンディ・ウォーホ ルとは何者だっ たのか?	藤森 愛実 構成			[コラム] MUSIC ウォーホルと音楽	〃
BRILLO BOX ウ ォーホル研究者・ 宮下規久朗さんに 聞く 作品の革新 性と見どころ	宮下規久朗			OSAKA ウォー ホルが見たニッポ ン、日本が見たウ ォーホル	近藤 健一
CAR CRASH 「死 と惨事」シリーズ が体現する 20世 紀の究極の“虚無” とは?	沢山 遼			INTERVIEW モ ーリス・タックマ ンが語る《レイン ・マシン》誕生秘 話	藤森 愛実
DIARY ウォーホ ルの遺伝子を継ぐ、 日本の記録芸術の 現在	中ザワヒデ キ			PISS PAINTING 後期の抽象絵画、 オシッコで描いた 「酸化絵画」はボロ ックのパロディー なのか?	中野 勉
EMPIRE 絵画か らフィルムの時代 へ。実験的な映像 に現れるウォーホ ル作品の神髄	松井みどり			QUEER あから さまな振る舞いの 一方で見え隠れす る不安定さ。その クィア性をどう読 むか	ミヤギフト シ
FACTORY アート とドラッグとスー パースターが入り 乱れる、世界一刺 激的なポップの聖 地	近藤 健一			RED 赤色の画面 に現れる政治性。そ の真意はいかに?	宮下規久朗

SILVER 銀色に見るウォールホルの個性	井上 康彦			美の美 アンリ・カルティエ=ブレッソンの眼下世界を見つめ形切り取る計算の奥に人間への敬意[パオロ・ウッチェロ]	窪田 直子 日 経	3.9
TIME CAPSULE INTERVIEW マット・ウォーピカンが語るタイム・カプセル	編集部 構成			ヨーン・ウッツォンの言説における鍵語およびその類型からみた建築思想	脇坂 圭一 夏目 欣昇	日本建築学会計画系論文集 699
ULTRA VIOLET 超紫色の反逆パワー! 初代スーパースター、ウルトラ・ヴァイオレットの生きざま	藤原えりみ			エドゥアール・ヴェイヤールによる演劇プログラムの挿絵—一八九四年上演のイブセン劇『棟梁ソルネス』の挿絵をめぐって—	袴田 紘代	美術史 177
THE VELVET UNDERGROUND & NICO 前衛ロックバンドを世に出した、敏腕プロデューサーとしての一面	楠見 清			(エ)		
WINDOW DISPLAY アーティスト前夜。売れっ子コマースナル・アーティスト時代	宮下規久朗			視点 絵本の文化(三) アメリカ絵本 マリー・ホール・エッツ	宗雪 孝夫	美術の窓 369
YOUTH CULTURE 宇川直宏が語る!!!!!! 「ウォールホルは、イーディを人差し指でリツイートしただけだった」論	安倍 謙一 構成			破壊と再構築、そして新たな統合へ M/M(Paris)の広告表現	大城 譲司	美術手帖 1014
ウォールホルとクリスティーズの歩み	藤高 晃右 取材・文			ART TOPICS LVMH が文化施設[オラファール・エリアソン]		日 経 12.11
美の美 20世紀の美神—マリリン・モンロー— 女優の死とポップアート 謎に包まれた2人の聖像[アンディ・ウォールホル]	古賀 重樹	日 経	4.6	WORLD NEWS ニューヨーク ジェフ・クーンズ世代の回顧ブーム到来 アメリカ現代美術の厚み、見せつける[ケイト・エリクソン]	藤森 愛美	美術手帖 1012
WORLD NEWS ロンドン1 ターナー賞展30周年 映像に音声に、グラスゴウ勢が健闘[トリス・ヴォナ=ミシエル]	伊東 豊子	美術手帖	1016	クレイグ・エルウッドの住宅建築の開放性にみる空間構成の類型とその移行	増岡 亮 末包 伸吾	日本建築学会計画系論文集 706
WORLD NEWS ニューヨーク 大注目の新星ウルフソンとペティボンの多彩なサーフ絵画[ジョーダン・ウォルフソン]	藤森 愛実	"	1005	SPECIAL FEATURE 一生に一度は行きたい! 世界のアートスポット PART 2 自然の中で体感するアート[エルムグリーン&ドラグセット]	吉田 実果	美術手帖 1005
展覧会評 「ドナテッロからリッピへ—プラートの芸術工房」展[パオロ・ウッチェロ]	桑原 夏子	芸術学	17	マックス・エルンストのオシレーション—ドリッピングへの影響論を超えて	長名 大地	NACT Review* 1
				第六十五回美学会全国大会報告 発表要旨 ハンス・ベルメール作品における〈交換可能性interchangeability〉をめぐって—ミル收容所でのマックス・エルンストとの共同制作から—	松岡 佳世	美学 245
				マックス・エルンスト作《子どものミネルヴァ》をめぐって	中村 尚明	横浜美術館研究紀要 15



美の美 大戦下 画家たちの南フランス 中命の輝かしき、 生き生きと 惨劇の さなかな冷静に描く[マ ックス・エルンスト]	窪田 直子	日 経	1.12	ジョージア・オキー フとアルフレッド・ スティーグリッツに 関する一考察——九 二四年の共同展再考 —	〃	美術史研 究	52
ヤコポ・ダ・エンボ リの複製制作と17世 紀メディチ家の収集 活動—フィリッポ・ バルディヌッチ『素 描家消息』の記述を 中心として—	伊藤 拓真	美術史論 叢	30	視線 ジョージア・ オキーフ	保坂健二朗	朝 日	8.24
(オ)				日常の中の自画像と ユートピア—ニコラ ス・ボルンとフラン ク・オハラ	杵渕 博樹	宮崎大学 教育文化 学部紀要	31
現代日本におけるテ キスタイル・アート —呉夏枝[OH Haji] の作品をめぐる「記 憶」の表象	山崎 明子	美術運動 史研究会 ニュース	144	第六十五回美学会全 国大会報告 発表要 旨 ヴィクトール・ オルタ作《ブルグマ ン病院》—外観のデ ザインに関する考察 —	小田 藍生	美 学	245
WORLD NEWS サン パウロ、リオ・デ ・ジャネイロ、ほか ブラジル「トロピカ リア」の立役者 エ リオ・オイチシカの 映画が封切り	仁尾 帯刀	美術手帖	1012	(カ)			
アートと世界 第7 話 忘れ得ぬ人々— 王森然先生を巡って	大村 智 談 編集 部 文	美術の窓	370	東アジア文化研究会 報告 第7回東アジ ア文化研究会 何香 凝と日本留学—革命 への関わりと美術と の出会い	竹内 理樺	The Newslet- ter I. J. S	20
わたしたちの教室へ ようこそ 王子江 雄原堂グループ		水 墨 画*	298	アートと世界 第10 話 海外で活躍する 女子美大の卒業生達 [何香凝]	大村 智 談 編集 部 文	美術の窓	373
作家自選作品集8 王子江 《江南水郷 人家》	王 子江	〃	299	注目 現代映す「草 食系」総統 ヒトラ ー青年を痛烈風刺の 漫画[ジェイムズ・ カー]	(市)	読売夕刊	12.10
レポート墨 第17回 日本水墨院研修会で 王子江氏が揮毫と講 演		〃	〃	例会発表要旨 第129 回例会：文学と庭園、 写真と演劇—交差す る芸術 セルフポー トレートにおける演 劇性—クロード・カ ーンと前衛劇との交 差[クロード・カー アン]	長野 順子	日仏美術 学会会報	33
現代水墨画作家手本 集5 王子江 福寿 幸楽図	〃	〃	307	視点 絵本の文化(一) アメリカ絵本 ワン ダ・ガアグ	宗雪 孝夫	美術の窓	367
第32回上野の森美術 館大賞展 絵画大賞 は王青氏に決定		新美術新 聞	1340	小特集 フリーダ・ カーロとの対話inメ キシコ 石内都、原 田マハーカメラとペ ンを携えて	原田 マハ	芸術新潮	778
風刺漫画家、中国帰 国を断念 5月に来 日 日本の良さ ネット で紹介…当局から 圧力[王立銘]	米村 耕一	毎 日	12.23	ART TOPICS 「フリ ーダ」後を検証		日 経	9.11
現代美術の歩き方 異論反論・現代美術 インタビュー 大岩 オスカル イメー ジのもつ力で自己世 界を描く	大岩オスカ ール	日 経	5.17	息づく女性表現者の 日常 フリーダ・カ ーロを撮る 石内都 物語でもロマンスで もなく	石内 都	読 売	5.15
交遊抄 2つの国							
ジョージア・オキー フと水墨画	玉井 貴子	ジャポニ スム研究	33				

Global News Yerres カインボットが描いた イエール[ギュスターヴ・ カインボット]	永島 章雄 取材	芸術新潮	774	第67回全国大会研究 発表要旨 ジョルジュ ユ・ド・ラ・トゥール 作《いかさま師》と 《女占い師》への一考 察—カラヴァッジョ 作への挑戦という視 座より—	平泉 千枝	美術史	177
第67回全国大会研究 発表要旨 ギュスター ヴ・カインボットの 「洗濯物連作」に関 する一考察	山口めぐみ	美術史	177	SPECIAL FEATURE 一生に一度は行きた い! 世界のアート スポット PART 2 自然の中で体感する アート[ダニ・カラ ヴァン]	高嶋雄一郎	美術手帖	1005
SPECIAL FEATURE 世界一受けたい! 印 象派の授業 2時間 目 科学 絵画制作 の秘密を科学の力で 解き明かす[ギュス ターヴ・カインボッ ト]	菅野 晶	美術手帖	1008	アンニーバレ・カラ ッチ作《分かれ道の ヘラクレス》の引用 源について	渡辺 晋輔	国立西洋 美術館研 究紀要	18
入門講座 絵を買う 人々 1 教会・信 心会 壮麗な世界、 信者を魅了[ジョ ヴァンニ=パティス タ・ガウリ]	中野 京子	日経夕刊	5.1	シチリア・バロック とロザリオ・ガリア ルディー=再建された 都市ノート(Noto) から—	本杉 郁樹	日本女子 大学大学 院紀要 (人)*	20
海外アート info- maniac 12 Washing- ton DC 変人ドガ と進歩的女性カサッ ト 作品から見るふ たりの愛憎[メアリ ー・カサット]	前橋 重二	芸術新潮	776	新しいコレクション アレクサンダー・カ ルダ=《モンスター》	蔵屋 美香	現代の眼	608
ART TOPICS 名物 写真家が見たNY[ピ ル・カニンガム]		日 経	4.10	美の美 アンリ・カ ルティエ=プレッソ ンの眼 上、下	窪田 直子	日 経	3.2,9
Global News Wash- ington DC 米国首 都の挑発的アート展 [グレン・カノイ]	藤森 愛実 取材	芸術新潮	779	表紙作品解 エミール ・ガレ《花器「蜻 蛉」》	土田ルリ子	ジャポニ スム研究	34
和田英作《こだま》と アレクサンドル・カ バネルをめぐる一考 察	岩瀬 慧	NACT Review*	1	巻頭特集 人類史上、 最高のガラスアート ガレを集める。		美 術*	464
例会発表要旨 第130 回例会: 19世紀フラ ンス絵画における文 学的主題 —ドラク ロワとカバネルの作 品から アレクサン ドル・カバネル作《パ オロとフランチェス カの死》(1870年)の 作品論		日仏美術 学会会報	33	至高の「北澤コレ クション」にみる ガレ、空前絶後の 3つの革命	池田まゆみ		
4 [読ん]で知るアート 政治とアート 人権を訴える芸術家 たち[アニッシュ・ カプア]	茂木健一郎	朝日夕刊	6.4	「オリジナル作品」 と「工房作品」とい う分類の誤解につ いて エミール・ ガレの作品制作の 実態を正しく理解 するために	山根 郁信		
韓国大好き ダナ・ ラモン・カベリアン 「女性たちが快く心 を開いてくれたこと に驚きました」	ベン・ジャ クソン	コリアナ	21-3	コレクションを始 めるその前に—ト ップディーラーが ズバリ答える、ガ レへの疑問×9	野依 良之		
				やはり、ガレ人気 は強し! サザビ ーズ「マルシャッ クコレクション」 レポート	〃		
				まずはこんな小品 から、いかがでし ょう? その多彩 な世界と楽しみ方 ミニガイド	泉 大輔		

美博ピックアップ 岩崎博物館(ゲーテ 座記念)[エミール・ ガレ]	西村 和美	朝日夕刊	7.2	ロレンツォ・ギベル ティ作《天国の門》— 「シバの女王とソロ モン王の会見」その 源泉をめぐって—	長沢 朝代	鹿島美術 財団年報 ・別冊	31
INFORMATION ME- MORIAL 追悼 ア ンソニー・カロ 伝 統芸術のルールを破 り続けた新表現の開 拓者	伊東 豊子	美術手帖	998	フォーカス・アイ 金昭希 愛情に満ち たユーモラスな風刺	栗本 寛子	版画芸術	163
第45回日展 新入選 者寄稿—喜びと抱負— 初入選の気持ち	韓 宇	日展ニュー ース	152	韓国再発見 写真で 時代を記録する 写 真家 キム・ニヨン マン[金寧万]	尹 世鈴	コリアナ	21-2
海外アート info- maniac 16 London 巨匠は太陽とどう向 き合ったのか カン スタブルとターナー [ジョン・カンスタ ブル]	前橋 重二	芸術新潮	780	ヨコハマトリエンナ ーレ2014 SPECIAL 集中連載第2回 イ ンタビュー キム・ ヨンイク	古川 美佳 聞き手・文	美術手帖	1012
海外通信 @バリ コンスタブル:傑作 を描く 英国で2番 目に人気の絵画[ジ ョン・カンスタブル]	菅 伸子	朝日夕刊	12.17	換骨奪胎 ホンマタ カシの映像リテラシ ー 7 ドキュメン タリーを考える	ホンマタカ シ ルーシアン ・キャスト ーヌ=テイ ラー	芸術新潮	777
美の美 第1次大戦 と青騎士の画家たち 上、下[ヴァシリー ・カンディンスキー]	小川 敦生	日 経	10.19、 11.2	キャバ、メーデー取 材中 60年前[ロバ ート・キャバ]	鬼室 黎	朝日夕刊	5.2
(キ)				こころの玉手箱 写 真家 立木義浩 2 ロバート・フラン クの写真 どう撮る か 先人が示す手本 [ロバート・キャバ]	立木 義浩	日経夕刊	9.2
デザイン季評 「エ イリアン」描き出し た男[ハンス・ルド ルフ・ギーガー]	生井 英考	読 売	5.29	WORLD NEWS ロ ンドン1 ターナー 賞展30周年 映像に 音声に、グラスゴー 勢が健闘[ダンカン ・キャンベル]	伊東 豊子	美術手帖	1016
もうひとつの大ガラ ス論—フレデリック ・キースラー「デザ イン・コルリレーシ ョン」を読む	瀧上 華	NACT Review*	1	ARTIST INTERVIEW リアム・ギリック	大森 俊克 聞き手	”	1000
SPECIAL FEATURE 贋作ってなに? PART 1 贋作の物 語から考える 世界 を騙した!贋作の巨 匠たち[トム・キー ティング]	内田 伸一	美術手帖	1010	Global News London 生きた彫刻 2人組 の新作展[ギルバー ト&ジョージ]	内田 さり 取材	芸術新潮	777
WORLD NEWS ロ ンドン2 ドイツそ して人類の歴史へ 巨匠キーファーの40 年を超える歩み[ア ンゼラム・キーファ ー]	伊東 豊子	”	1016	現在通信 From NEW YORK 色彩人間、 キルヒナー[エルン スト・ルートヴィヒ ・キルヒナー]	富井 玲子	新美術新 聞	1348
特集 キスリング《新 聞のある静物》と二 人の男[モイーズ・ キスリング]	深谷 克典	アートペ ーパー	97	現代水墨画作家手本 集13 金醒石 玄艶	金 醒石	水墨画*	307
コミック フォトグ ラフ エマニュエル ・ギベール(作) 緊 迫のアフガニスタン ルポ	ササキバラ ・ゴウ	朝 日	3.23	特集 未来の“撮り 方” 撮像デバイス がもたらす新たな価 値 どれだけ遊び、 どれだけ実験を繰り 返すか ジョナス・ ギンターのチャレン ジ	瀧口 範子	A X I S	171

		(ク)					
TATSUMI マンガに革命を起こした男[エリック・クーン]	鈴木 隆 高橋 論治	毎日夕刊	11.21	ジェフリー・ダイチ	藤森 愛実 聞き手 相磯 展子 翻訳		
Re view 遊動する精神の記録[ジョセフ・クーデルカ]	港 千尋	現代の眼	604	クーンズ年表：1995～2014	熊倉 晴子、 編集部 構成		
WORLD NEWS ニューヨーク時代はチェルシーからLESへ？新展開を予感させる、若手の躍進[アンディ・クルクウィット]	藤森 愛実	美術手帖	1014	レベッカ・スターンサル	藤森 愛実 聞き手 相磯 展子 翻訳		
Global News New York 超高額作家クーンズの回顧展[ジェフ・クーンズ]	藤森 愛実 取材	芸術新潮	777	アートマーケットの寵児！クーンズを知る4つのQ&A	ケリー・デ イヴィアン ・トーマス		
SPECIAL FEATURE ジェフ・クーンズ PART 1 ホイットニー美術館での大回顧展		美術手帖	1012	「ザ・ニュー」、「凡庸」、そして「セレブレーション」：ジェフ・クーンズのアートの発展の指標となる3シリーズ	ラファエル・ブービエ 梅宮 典子、 中野満美子 翻訳		
Works Guide デビュー作から最新作まで全シリーズ完全ガイド！				海外通信 @ニューヨーク ジェフ・クーンズ回顧展 アートの問題児 堅実な顔	富井 玲子	朝日夕刊	8.27
INTERVIEW 最新インタビュー	藤森 愛実 聞き手			ブランド研究 85 インテリア店から出版[イブ・クエロン]	大石由佳子	読 売	2.17
回顧展を成功に導いたキュレーターに聞く	スコット・ロスコフ 藤森 愛実 聞き手			文化遺産の継承者 タルハンアリの名人 クォン・テソフ 白磁の究極「満月の壺」[権大燮]	都 在基	コリアナ	21-3
真夏のニューヨークを彩る《スプリット・ロッカー》のお披露目をレポート	藤森 愛実			海外通信 @ニューヨーク MoMAのパフォーマンスアート [ヤニス・クネリス]	富井 玲子	朝日夕刊	3.26
REVIEW 01 ジェフ・クーンズ、美術界の輝ける白い希望	ベン・デイ ヴィス ミヤザキフ トシ 翻訳			フランティシェク・クプカ《灰色と黄金の展開》(二)	古田 浩俊	愛知県美術館研究紀要	20
REVIEW 02 道化者ジェフ・クーンズ、ホイットニーを徘徊	クリスチャ ン・ヴィヴ エロス＝フ アウネ 河野 晴子 翻訳			注目 現代映す「草食系」総統 ヒトラ一青年を痛烈風刺の漫画[アルチャナ・クマール]	(市)	読売夕刊	12.10
REVIEW 03 セールスポイント	ピーター・シュレダー 奥村 雄樹 翻訳			「Jo Kley と学生たちの国際彫刻シンポジウム2013」の考察	朝野 浩行 高橋 来春 荒川 新一郎 黒田 千紘 板垣 大地	東京学芸大学紀要	66
SPECIAL FEATURE ジェフ・クーンズ PART 2 スーパースター、ジェフ・クーンズができるまで		” ”		美の美 新印象派 点描の冒険 下 革新技法 ベルギーに衝撃 肖像画の伝統と結びつく[エミール・クラウス]	窪田 直子	日 経	9.21
				本よみうり堂 「Gravity」マイケル・グラブ著	唯川 恵	読 売	12.7

マーガレット・キャベンディッシュと「魔女論争」[グランヴィール]	高橋 誠	国学院雑誌	1291	学問の図像とかたち 161 思考の模型 枠組と逸脱[マイケル・グレイヴス]	松本 文夫	U P	499
World London 「マーティン・クリード 一体、何のために？」展 この不快感、最後まで耐えられるか？ マーティン・クリードの上品上等！	内田 さり	芸術新潮	772	海外アート info-maniac 7 London パウル・クレー最晩年の闘病画をたどる	前橋 重二	芸術新潮	771
WORLD NEWS ロンドン マーティン・クリードと UVA。演出の腕が冴える2つの盛大な個展	伊東 豊子	美術手帖	1002	二十世紀美術断想 第二十九～三十三回 クレーの日記I～V	粟津 則雄	美術の窓	371～375
特集 住宅と都市のあいだで、都市育成の基盤—シンガポール、上海、深圳、そしてバンコクにある創造的な近隣空間	ケース・クリスチャーレンセ	建築雑誌	1661	美の美 第1次大戦と青騎士の画家たち 中、下[パウル・クレー]	小川 敦生	日 経	10.26、11.2
現代美術の歩き方 今月の一品 ヴェンザ・クリスト 対話するヴェンザ・クリストと阿東地域(山口市)農家の吉松さん	阿部 一直	美術の窓	369	カミーユ・クロデル《波》	南 美幸	アマリリス	115
グスタフ・クリムトの《ユディトI》《ユディトII》をめぐる考察	樋口真理子	芸術学研究(京都造形)	5	民芸運動草創期の記録フィルム カナダ人映像作家が修復[マーティ・グロス]		読 売	7.10
聚美冬題 ナチス・ドイツと名画の運命 1 [グスタフ・クリムト]	千足 伸行	聚 美	10	ドナルド・キーン×節子・クロソフスカ・ド・ローラ 忘れ得ぬ「日本のこころ」		芸術新潮	777
グスタフ・クリムト作《ペーターヴェン・フリーズ》と《法学》に関連する素描の役割	前田 朋美	高梨学術奨励基金 年報	H25年度	SPECIAL FEATURE パルテュス PART 2 LIFE 対談：節子・クロソフスカ・ド・ローラ×篠山紀信 孤高の画家、その伝説と素顔	宮内 構成	周子	美術手帖 1004
特集 今あらためて巨匠に学ぶデッサンの技 私の好きなデッサン グスタフ・クリムト	中山 忠彦	美術の窓	364	現代美術の歩き方 今月の一品 マルタ・クロノフスカ 「Lady Walking Her Dog after Claude Louis Desrais Sculpture object by Marta Klonowska」	村田 大輔	美術の窓	374
WORLD NEWS ベルゲン 国家を越えて現れるもの—郵便制度をキーとする2つの展覧会[オトリス・グループ]	かないみき	美術手帖	1004	1920年代後半ヴァルター・グロビウスのジードルンクにおける水平連続窓の展開 ジードルンク・デッサウ=テルテンとダマーシュトックの比較を通して	海老澤模奈人	日本建築学会 計画系論文集	701
「アンドレアス・グルスキー展」に寄せて	植松 由佳	国立国際美術館 ニュース	200	(ケ)			
未来に向けての無数の問いかけ「コンスタンティン・グルッチー パノラマ」展	マテオ・クリリス、コンスタンティン・グルッチー 対談 小町 英恵 インタビュー・文	A X I S	169	WORLD NEWS ニューヨーク カラ・ウォーカーの巨大スフィンクス登場！ 突きつけられるリアルに賛否両論[ニック・ケイヴ]	藤森 愛実	美術手帖	1008
				ART TOPICS LVMH が文化施設[フランク・オーウェン・ゲリー]		日 経	12.11

海外通信 @パリ アール・ブリュットの の現在 創ることへの のひたむきさ[ダルト ン・ゲティ]	岡部あおみ	朝日夕刊	2.26	作家自選作品集7 呉斉旺 《雪国》	呉 斉旺	〃	〃
科学写真 息づく美 火星の地表・骨格… 未知の姿が心打つ [ジョージ・ケペッ シュ]	干場 達矢	日経夕刊	1.7	現代水墨画作家手本 集16 呉斉旺 如意 輪観音像	〃	〃	307
SPECIAL FEATURE 「あなたの肖像—工藤 哲巳回顧展」 CASE STUDY 2 ポール ・マッカーシーと マイク・ケリーへの影 響 工藤哲巳は冷酷 無比な科学者	飯田 高誉	美術手帖	999	ポール・ゴーギャン 《木靴職人》について	森 美樹	鹿島美術 財団年報 ・別冊	31
World New York 「イ ザ・ゲンツケン 回 顧展」 ミニマル彫 刻からジャンクな立 体まで 過激にわが 道をゆくイザ・ゲン ツケン	藤森 愛実 取材	芸術新潮	770	海外アート info- maniac 10 New York 版画なのに1点もの！ ゴーギャンが目指し たアドリブ表現	前橋 重二	芸術新潮	774
美術新人賞デビュー 2014 第2回	顧 亜婷	美術*	462	Global News New York あまりにも刺 激的 R・ゴーパー 回顧展[ロバート・ ゴーパー]	藤森 愛実 取材	〃	780
私の濃墨とぼかしで の作品づくり 心に 感じる形象、光、気 その単純化象徴化に よって作品の深遠さ を	呉 一騏	水墨画*	298	SPECIAL FEATURE 一生に一度は行きたい！ 世界のアート スポット PART 2 自然の中で体感する アート[アンディ・ ゴールズワージー]	高嶋雄一郎	美術手帖	1005
続水墨画の風景 第 十二回 墨を動かす [呉一騏]	島尾 新珠 紫	〃	300	WORLD NEWS ハ ンブルグ ハンブル グ出身のエヴァ・ヘ ス&グゴ、初のカミ ングホーム展[ゲル トルート・ゴールド シュミット]	河合 純枝	〃	1002
水墨の最前線30 山 水の気脈に存在する 光を水墨で 呉一騏	野地耕一郎	〃	301	建築の「根本」 見つ め直す ベネチア・ ビエンナーレ国際建 築展 アート性避け 歴史焦点[レム・コ ールハース]	大西 若人	朝日夕刊	8.27
現代水墨画作家手本 集15 呉一騏 煙雲 黄山	呉 一騏	〃	307	オスカー・ココシュ カ『夢見る少年たち』 —テキストとイメージ をめぐって	佐藤 聖子	群馬県立 近代美術 館研究紀 要	8
座談会 水墨の心と 技が一体となるとき —「水墨玄空」展によ せて	小松 謙一、 中野 嘉之、 大竹 卓、 呉 一騏、 島尾 新、 野地耕一郎 談 顧 定珍 進行	美術*	470	第67回全国大会研究 発表要旨 抽象表現 主義の初期作品にお ける神話的モチーフ —目と英雄—[アド ルフ・ゴットリーブ]	武笠由以子	美術史	177
日本における呉昌碩 の受容—大正・昭和 編(六)	松村 茂樹	中国近現 代文化研 究	15	SPECIAL FEATURE 世界一受けたい！印 象派の授業 修学旅 行2 画家たちを癒 した美しき風景を訪 ねる[フィンセント ・ファン・ゴッホ]	編集部	美術手帖	1008
最後の文人、呉昌碩 の足跡		目の眼	453	巻頭特集 見て楽し む、描いて楽しむ風 景画 ⑧技法講座vol. 34 構図で学ぶ風景 画 「鳥のいる麦畑」 にみるゴッホの構成 力	布施 英利	美術の窓	369
2月号(平成26年)第 140回誌上コンク ール臨画手本 呉斉旺 「寒山拾得」		水墨画*	298				

(コ)

フィンセント・ファン・ゴッホの作品における色の数量分析	上田 晴奈	文化情報学	9-2(別冊)	Art Report in Asia 国際アートシーンを駆け抜ける作家たち モンゴルの作家たち No.3 ザヤ[サンブウ・ザヤサイハン]	水間 敏隆	ギャラリー*	348
英国立美術館 ゴッホ「ひまわり」再会 2点並べて公開		日 経	1.26	ひと 現代美術を通して平和貢献し、ヒロシマ賞を受賞した ドリス・サルセドさん	中崎 太郎	朝 日	7.22
生誕200年 ミレー再発見 中 働く農民に見る人の真実 力強い表現 ゴッホが傾倒	宮川 匡司	〃	11.30	ガザレポート2 ガザの画家[ソヘイル・サレム]	上條 陽子	連盟ニュース	451
暗い色調がゴッホの本質 オランダに里帰りした作品	吉屋 敬	毎日夕刊	4.9	26歳でガス室に消えた シャルロットの遺作—《人生?あるいは劇場?》[シャルロット・サロモン]	藤井 建男	美術運動史研究会 ニュース	144
ブランド研究 85 インテリア店から出発[クリスチャンヌ・ゴトロ]	大石由佳子	読 売	2.17	ART TOPICS 「星の王子さま」展[アントワヌ・ド・サンテグジュペリ]		日 経	2.13
特集 ニュークラフティ—新たなクラフトへのアプローチ ガラス表現に新たな息吹を吹き込む結節点—ガラスワークス [マテオ・ゴネ]	鴨澤 章子	A X I S	170	幻の建築 unbuilt dreams 7 アントニオ・サンテリア メトロポリスへの想像力	光嶋 裕介	芸術新潮	779
新刊紹介 ルーシー・リー&ハンス・コパー 二十世紀陶芸の静かなる革新 監修・責任編集 乾由明	森 孝一	陶 説	732				
Global News London 中南米&アフリカ 15人のエネルギー[ラファエル・ゴメスパロス]	内田 取材	さり	芸術新潮 774	日本におけるジョージ・シーガル作品の評価についての考察—日本の芸術との比較を通して—	原田 紀子	芸術文化研究	18
特集 今あらためて 巨匠に学ぶ デッサンの技 ゴヤのヴィジョン[フランシスコ・デ・ゴヤ]		美術の窓	364	WORLD NEWS ニューヨーク ジェフ・クーンズ世代の回顧ブーム到来 アメリカ現代美術の厚み、見せつける[メル・ジーグラー]	藤森 愛美	美術手帖	1012
バルマ、サン・ジョヴァンニ・エヴァンジェリスタ聖堂の天井画についての一解釈—典礼における機能とコレッジョの創意との関わりから—	百合草真理子	美術史	177	エゴン・シーレの身体表現と構図	菊池夏乃子	学習院大学哲学学会報	27
時代の証言者 建築探偵 藤森照信 12 「神話の時代」の流れ者[ジョサイア・コンドル]	柴田 文隆	読 売	1.27	平成25年度 研究発表会発表梗概 エゴン・シーレの身体表現と構図	〃	〃	〃
				第67回全国大会研究発表要旨 エゴン・シーレ作品における現存しない絵画《孤独な修道士》の一考察	金田 佳子	美術史	177
				視点	大成 哲	美術の窓	
				エゴン・シーレの窓から視る(前編)			366
				エゴン・シーレの椅子から視る(後編)			367

(シ)

(サ)

World London 「ジ エイク&ディノス・ チャップマン 観に おいで」展 大人に なんかなるもんか! エログロを超えたチ ャップマン兄弟[ジ エイク・アンド・デ イノス・チャップマ ン]	内田 さり 取材	芸術新潮	770	SPECIAL FEATURE 世界一受けたい! 印 象派の授業 2時間 目 科学 絵画制作 の秘密を科学の力で 解き明かす[ポール ・シニャック]	菅野 晶	美術手帖	1008	
WORLD NEWS ロ ンドン 痛快なブラ ックユーモアが冴え るチャップマン兄弟 のロンドン個展	伊東 豊子	美術手帖	1000	美の美 新印象派 点描の冒険 上 均 衡と規律が創る色彩 美 細密を極め新た な地平へ[ポール・ シニャック]	窪田 直子	日 経	9.14	
ART TOPICS NY の 海岸線を撮影[アッ クラ・シエツプ]			日 経	3.13	秦 明子	美術史	176	
シンポジウム ヴェ ルサイユ宮とその芸 術 フランソワ・ジ ェラル《パリに入 城するアンリ4世》 一王政復古期の歴史 図像	安室可奈子	日仏美術 学会会報	33	アポロンとパンーシ ニョレリ《パンの 王国》についての一 試論[ルカ・シニョ レリ]	伊東 誠	東京	3.26	
学芸員コラム vol.3 『ポスターの巨匠た ち (Les Maitres de l’Affiche)』[ジュー ル・シエレ]	H・N	ミュシヤ ・ミユ ・ジアム・ ニュース*	3	この人 国際漫画賞 で最優秀賞 プレー マー・ジャートウガ ンヤーブラティープ さん	近藤 亮介	美術手帖	1005	
トゥールーズ=ロー トレックとシエレの ジャポニズム	杉山菜穂子	鹿島美術 財団年報 ・別冊	31	REVIEWS 06 近藤 亮介 新人月評第3 回 耕前地[ガン・ チャン・ディ] 「蕭 昱:地」展	石崎 尚	A A C	79	
インスピレーション インテリア シグー の現代性が意味する もの	土田 貴宏	A X I S	167	特集 多彩なシャガ ールを横断的に紹介 [マルク・シャガ ール]	奥野 克仁	KENBI LETTER	85	
本づくし 「秩序と しての自然」『アル ヴァロ・シザの建築』 TOHO 出版編	深澤 直人	〃	168	collection-vol.85 版 画集『聖書』全105点 マルク・シャガール	寂聴さんの走馬灯モ ノ語り 第5回 シ ャガールの絵(京都 ・寂庵)	瀬戸内寂聴	目の眼	450
現代美術の歩き方 異論反論・現代美術 ヴィクトリア・ジッ トマンにインタビュ ー 時空を超え、「美」 を追及する		美術の窓	369	美の美 大戦下 画 家たちの南フランス 下 まぶたに残る破 壊と犯罪 文明の回 復に祈り込める[マ ルク・シャガール]	窪田 直子	日 経	1.19	
黒人アフリカ絵画の 誕生—一九二九年パ リにおけるカリファ ラ・シディベの展覧 会を中心に—	柳沢 史明	美 学	244	館藏品紹介 《男》 一九五六 アルベル ト・ジャコメッティ	山梨 俊夫	国立国際 美術館ニ ユース	204	
オスマン帝国ドーム 式モスク建築におけ る装飾の重要性:ス イナンのセリミイェ ・ジャーミイを中心 に[ミマール・シナ ン]	瀧川 美生	成城美学 美術史	20	特集 今あらためて 巨匠に学ぶデッサン の技 ジャコメッテ ィの形態把握		美術の窓	364	
史料翻訳 ポール・ シニャック『ウジェ ーヌ・ドラクロワから 新印象主義まで』 (1)	齊藤 陽介	美術史学	35	ジャコメッティの(終 わりなきパリ)	小林 康夫	みんぱく	439	
				SPECIAL FEATURE 一生に一度は行きた い! 世界のアート スポット[ドナルド ・ジャッド]		美術手帖	1005	
				PART 1 憧れの アートスポット	岡崎乾二郎			



PART 4 アーティストの美学に触れるアトリエ	杉原 環樹				現代美術の歩き方 今月の一品 ケヴィン・シュミット 「Epic Journey」	角 奈緒子	美術の窓	365
戦没画学生に光 長野の「無言館」 記憶収集 風化させぬ 海外からも[アルベルト・シャモーニ]	武藤 周吉	東京	9.28		ハンス・シュミットの1920年代の鉄骨軸組住宅	法澤 龍宝 田路 貴浩	日本建築学会計画系論文集	696
シャルダン後期の小型静物画と自国美術の愛好趣味—1757年のラ・リヴ・ド・ジュリの絵画蒐集室を中心に—[ジャン＝パティスト＝シメオン・シャルダン]	船岡美穂子	東京芸術大学美術学部論叢	10		WORLD NEWS ベルリン 挑発的な作品に、彼は何を残したのか。クリストフ・シュリンゲンジーフ回顧展	河合 純枝	美術手帖	999
海外通信 @北京 粘土とぼかしの風景 絵巻 東洋的な風景 新視点で再構成[徐冰]	多田 麻美	朝日夕刊	11.26		現代中国巧藝事情91～102 二十世紀中国絵画の父・徐悲鴻 9～20	仲 佑樹	書道界	290～301
WORLD NEWS 北京 中国ブーム? アメリカ資本? 急成長の徐震が打ち出す第三項	近藤 亮介	美術手帖	1005		土方定一・周作人・蔣兆和のことなど	酒井 忠康	世田谷美術館紀要	15
海外通信 @モスクワ 双曲面が続くモダンタワー シューホフのラジオ塔[ウラジーミル・シューホフ]	八東はじめ	朝日夕刊	5.28		ART TOPICS アニメの天才を回顧[チャック・ジョーンズ]		日 経	9.11
SPECIAL FEATURE 一生に一度は行きたい! 世界のアートのスポット PART 6 アーティストがたどり着く聖地 COLUMN 5 シュタイナー思想の集大成。生きた建築の精神に出会う[ルドルフ・シュタイナー]	岡崎乾二郎	美術手帖	1005		美の美 三島由紀夫のローマ 上 滅びゆく古典美への哀惜 青年を捉えた官能と均整[アントニオ・ジョルジュエッティ]	干場 達矢	〃	4.27
WORLD NEWS ロンドン シュタインパッハとアンロ。ディスプレイ美学が光る2つの展示[ハイム・シュタインパッハ]	伊東 豊子	〃	1004		例会・研究会発表要旨 西部会 第二九八回研究発表会 「～の手法による a maniera di」絵画—ルカ・ジョルダノと一七世紀イタリア絵画のコレクション・市場・批評	小松 浩之	美 学	245
World Basel 「トーマス・シュッテ」展 トーマス・シュッテの人体彫刻 キモカワがいっぱい!	かないみき 取材	芸術新潮	770		特集 観光立国ジャパン・ウィズ・デザイン 日本の魅力と歩き方 外国人クリエイターの視点 ステファン・ショルテン 日本のクラフトを世界のメインストリームに	瀧口 範子	A X I S	172
ヨコハマトリエンナーレ2014 SPECIAL ARTIST INTERVIEW グレゴール・シュナイダー	大森 俊克 聞き手	美術手帖	1014		作家通信 五十回目の個展を迎えて	沈 強	水墨画*	298
ヨルク・シュマイサーの《変化II》シリーズに関する研究 多版多色刷り銅版画における版の応用的使用法について	小野 修平	芸術学研究(筑波)	19		水墨花ごよみ 第10～12回	沈 和年	〃	298～300
					これからの制作のための 水墨画上達塾 第一～五回、最終回紙の特性を理解し使い分ける	〃	〃	301～306
					作家通信 国際水墨芸術大展2014	〃	〃	301
					現代水墨画作家手本集22 沈和年 涼風	〃	〃	307

K. F. シンケルによる「アルテス・ムゼウム」階段ホール透視図について CG 再表現を通じた構図の検証[カール・フリードリヒ・シンケル]	宮川 杉本 壮大 俊多	日本建築学会計画系論文集	705	ジョージア・オキーフとアルフレッド・スティューグリッツに関する一考察——九二四年の共同展再考	玉井 貴子	美術史研究	52
(ス)				抽象表現主義とカラー・フィールド・ペインティングの関係性をめぐって[クリフォード・スティール]	芦田 彩葵	鹿島美術財団年報・別冊	31
第67回全国大会研究発表要旨 ジョルジュ・スーラ作《ポーズする女たち》に関する一考察—モデルを中心に—	小野寺 結	美術史	177	WORLD NEWS ニューヨーク 活況の現代美術オークションと物故・年配作家の見直しの動き[アニタ・ステッケル]	藤森 愛実	美術手帖	998
美の美 「水」の生命力 下 静寂と反射 景色も空も光も吸い込み 鏡面が描き出す心の風景[ジョルジュ・スーラ]	富田 律之 日 経		2.23	顔 東京の家を撮影し写真集にまとめたフランス人写真家 ジェレミー・ステラさん	住友 堅一 読 売		10.9
美の美 新印象派 点描の冒険 上 均衡と規律が創る色彩美 細密を極め新たな地平へ[ジョルジュ・スーラ]	窪田 直子	〃	9.14	駅に壁画 潤う街 陶板やステンダグラス、設置運動ついに500点達成[フランク・ステラ]	滝 久雄 日 経		4.22
研究報告 ビエール・スーラージュへの6つの質問	新畑 泰秀	ブリヂストン・石橋美術館報*	62	特集 建築の臨床性を問う 第1部 今、なぜ臨床性なのか 美と建築—ヘルスケア環境の場合	フレヤ・ストールベリ =アールト	建築雑誌	1659
ARTIST PICK UP ヒュー・スコット =ダグラス	近藤 亮介	美術手帖	1002	第67回全国大会研究発表要旨 狩猟塔トレ・デ・ラ・バラーダと君主教育論—スネイエルスの狩猟画とベラスケスの哲学者の肖像画を中心に—[ピーテル・スネイエルス]	山田のぞみ	美術史	177
十七世紀前半のローマにおける美術市場に関する一試論—彫刻家スターティ父子のディーラーとしての活動から—[クリストフォロ・スターティ/フランチェスコ・スターティ]	加藤奈保子	美術史学	35	新世界文学ナビ 北米編19 アート・スピーゲルマン 現実への怒りと理想への愛	波戸岡景太	毎日夕刊	10.1
SPECIAL FEATURE 贋作ってなに? PART 3 模倣の美学から考える 2 剽窃・引用の現代美術史 同時代美術における批評的営為と再生産—追悼エレーネ・スターテヴァント	大森 俊克	美術手帖	1010	論文要旨《修士》 ルドルフ二世の宮廷におけるヘルマテナ画像—バルトロメウス・スプランゲル《知恵の勝利》を中心に—	川上 恵理	美術史論集	14
ARTIST INTERVIEW サイモン・スターリング	松井みどり 聞き手	〃	1012	ロバート・スミッソン再起動: 彫刻家	小西 信之	愛知県立芸術大学紀要	43
美の美 三島由紀夫のローマ 中 絢爛好み[ヤコポ・ズッキ]	干場 達矢 日 経		5.4	SPECIAL FEATURE 一生に一度は行きたい! 世界のアート スポット PART 1 憧れのアートスポット [ロバート・スミッソン]	廣 李果	美術手帖	1005



平成26年定期刊行物所載文献(近/外タ、チ)

6 Greenwich きみはターナーの海を見たか				770	彼らの“痛み”を見よ！ 世界中の闇を撮る写真家 アントワーヌ・ダガタ			芸術新潮	776
15 London あまりに斬新すぎた最晩年のターナーを再発見				779	視線 抗体 ANTI-CORPUS[アントワーヌ・ダガタ]	保坂健二郎	朝 日		6.15
16 London 巨匠は太陽とどう向き合ったのか カンスタブルとターナー				780	近代インド美術における民族主義とアカデミズム[アバニンドラナート・タゴール]	安見明季香		日本女子大学大学院紀要(人)*	20
JMW ターナー作《トムソンのアイオロスの堅琴》の主題と着想	出羽 尚	国学院大学紀要		52	Global News New York エロチック・フェチアート[ドロテア・タニング]	藤森 愛実 取材		芸術新潮	778
海外通信 @ロンドン 「晩年のターナー」展 「実験」への衰えぬエネルギー	菅 伸子	朝日夕刊		10.1	「幻想美術の王様ダリ」1964年のダリ展から知る[サルバドール・ダリ]	糸瀬 ふみ		bandaly	13
WORLD NEWS ウトヤ ノルウェー連続テロ事件記念碑プロジェクト、賛否両論を巻き起こしながら進行中[ヨナス・ダールベリ]	河合 純枝	美術手帖		1005	眼と脳がアートを創造[つく]る 第三十一～三十三回[サルバドール・ダリ]	深作 秀春		美術の窓	370～372
巻頭特集 こだわりの写真表現 デイテールが引き出す存在感 @技法講座 vol.33 歴史的な事件の「今この時」を描き出すデイテール表現—ナポレオン戴冠210周年記念コラム—[ジャック・ルイ・ダヴィッド]	阿部明日香	美術の窓		367	包み紙に潜む芸術家の魂[サルバドール・ダリ]	下前 俊輔	日 経		10.9
入門講座 絵を買う人々 2 君主・王たち 自らの威光アビール[ジャック・ルイ・ダヴィッド]	中野 京子	日経夕刊		5.8	寄稿エッセイ ジェームズ・タレルとの出会い 貧乏時代、米国での最初の友人 今、現代アートを代表する存在に	宮内 勝典		美連協ニュース	121
版画家・勝平得之とブルーノ・タウト	小笠原 光	国華清話会会報		23	フィオナ・タン まなざしの詩学	フィオナ・タン 岡村 恵子 インタビュー・構成		E Y E S	82
ブルーノ・タウト『日向別邸』と日本近代工芸—「民」の時代とドイツ神秘主義の世界観	長谷川 章	東京造形大学研究報		15	フィオナ・タンの映像作品について	中井 康之		国立国際美術館ニュース	205
ブルーノ・タウト著『都市の解体』に見られる分散的都市像における有機的形態モデルに関する研究	赤木 良子 杉本 俊多	日本建築学会論文集		695	現代美術の歩き方 異論反論・現代美術インタビュー：フィオナ・タン	後藤 繁雄 聞き手		美術の窓	372
タウト 仙台にまいた種 「近代デザイン発祥の地」での業績研究、発信 実質2カ月ほどの顧問身体の特徴生かす家具 自然や習俗に親しむ	庄子 晃子	日 経		3.27	この人に注目 レオニート・チシコフ 芭蕉の月/デ・キリコの月/ガルシア・ロルカの月ほか		(チ)	美術手帖	1003
					Art Report in Asia 中国・最新アーティスト事情第33回 張浩	梶川 強		ギャラリー一*	356
					通信 J to A アジアへ 10 台東の現在 [ピエール・チャン]	南條 史生		新美術新聞	1358
					作家自選作品集8 趙恩生 《路地裏の灯り》	趙 恩生		水墨画*	299

文化遺産の継承者 民族が共有する視 覚的な思惟の原形を 守る潤松コレクション 3代の物語[全展雨 ／全喚雨]	高 美錫	コリアナ	21-2	マンショ肖像 制作 の曲折 えり 派手 な形式に描き直し [ティントレット/ ドメニコ・ティント レット]	前田 恭二 辻本 芳孝	読 売	3.20
アートと世界 第10 話 海外で活躍する 女子美大の卒業生達 [陳進]	大村 智談 編集部	美術の窓	373	横尾忠則の新作につ いて[ジョルジョ・ デ・キリコ]	山本 淳夫	国立国際 美術館ニ ュース	203
(ツ)				美の美 20世紀の美 神—マリリン・モン ロー 上 女優の死 とポップアート 謎 に包まれた2人の聖 像[ウィレム・デク ーニング]	古賀 重樹	日 経	4.6
海外通信 @北京 粘土とぼかしの風景 絵巻 東洋的な風景 新視点で再構成[蔡 広斌]	多田 麻美	朝日夕刊	11.26	美の美 三島由紀夫 のローマ 中 絢爛 好みと破壊への憧憬 矛盾する心が向かう 先は[モンズ・デジ デリオ]	干場 達矢	〃	5.4
(テ)				SPECIAL FEATURE 贋作ってなに? PART 1 贋作の物 語から考える 世界 を騙した!贋作の巨 匠たち[エルミア・ デ・ホーリー]	内田 伸一	美術手帖	1010
デザイン・インダバ ー新しいアフリカを 築く3人のクリエイ ター[イッサ・ディ アバテ]	中島 恭子	A X I S	169	SPECIAL FEATURE 一生に一度は行きた い! 世界のアートの スポット PART 2 自然の中で体感する アート[ウォルター ・デ・マリア]	廣 李果	〃	1005
翻訳 ティツィアー ノとそのパトロンた ち[ティツィアーノ ・ヴェチェリオ]	チャールズ ・ホープ 森田 義之、 平松 直 訳	五浦論叢	21	海外アート info- maniac 9 London デューラーが目撃し た「天変」は隕石、そ れとも彗星?[アル ブレヒト・デューラ ー]	前橋 重二	芸術新潮	773
ティツィアーノの「性 愛と俗愛」の解釈に 寄せて—	エルヴィン ・パノフス キー 昌史 高木 昌史 訳	ヨーロッ パ文化研 究	33	展覧会評 「マクシ ミリアン1世とデュー ラー時代の芸術」 展 「初期デューラー」 展 「デューラー、 芸術—芸術家—コン テキスト」展	佐藤 直樹	西洋美術 研究	18
美の美 三島由紀夫 のローマ 下 死し てこそ永遠の生命 夭折の青年に見た理 想[ティツィアーノ ・ヴェチェリオ]	干場 達矢	日 経	5.11	SPECIAL FEATURE 贋作ってなに? PART 3 模倣の美 学から考える 1 模倣・複製の美術史 ことのはじめからイ メージは盗まれてい た—デューラーに見 る複製のジレンマ	新藤 淳	美術手帖	1010
ART TOPICS ティ ファニー展開催[ル イス・コンフォート ・ティファニー]		〃	2.13	芸術と科学のあいだ [アルブレヒト・デ ューラー]	福岡 伸一	日 経	
小倉正史の現代美術 講座 その14[ブラ コ・ディミトリエヴ イッチ]	小倉 正史	ギャラリー*	349	9 すべて500年 前の絵の中に?			4.13
視線 海底美術館 [ジェイソン・デカ イレス・テイラー]	大西 若人	朝 日	1.12				
視点としてのユート ピア: ガイ・ティリ ムのドキュメンタリ ー写真「Jo'burg」シ リーズに歴史の地層を 読む	栗栖 美樹	東京都写 真美術館 紀要	13				
Art Report in Asia 中国・最新アートの 事情第25回 貴州 作家事情[丁凱]	梶川 強	ギャラリー*	348				

平成26年定期刊行物所載文献(近/外テ、ト)

14 脱ぎ捨てられたサイの甲冑	5.18			現在通信 From NEW YORK メニル・コレクション[サイ・トゥオンブリー]	富井 玲子	新美術新聞	1345
ニューヨーク・ダダにおけるオブジェ・ポートレート・マルセル・デュシャン、マン・レイ、エルザ・フォン・フライターク＝ローリングホーフエン	31	富内 裕美	鹿島美術財団年報・別冊	読解絵画鑑賞講座24 良きものは“軽い”ーサイ・トゥオンブリー「ボルセーナ」	ワシオ・トシヒコ	美術屋・百兵衛	28
換骨奪胎 ホンマタカシの映像リテラシー 5 運動:マレーからデュシャン、リヒターへ	771	ホンマタカシ	芸術新潮	WORLD NEWS ボン非物質化した“物”が生み出す異空間 タチアナ・トゥルーヴェ展	河合 純枝	美術手帖	1004
Global News Paris セザンヌ風も描いていたデュシャン	780	羽生のり子	取材	美の美 新印象派 点描の冒険 下 革新技法 ベルギーに衝撃 肖像画の伝統と結びつく[ヤン・トロープ]	窪田 直子	日 経	9.21
マルセル・デュシャンとチェス(2)ー高次元の対立ー	3	中尾 拓哉	多摩美術研究	海外アート info-maniac 12 Washington DC 変人ドガと進歩的女性カサット 作品から見るふたりの愛憎[エドガー・ドガ]	前橋 重二	芸術新潮	776
もうひとつの大ガラス論ーフレデリック・キースラー「デザイン・コルリレーション」を読む[マルセル・デュシャン]	1	瀧上 華	NACT Review*	特集 今あらためて 巨匠に学ぶデッサンの技 私の好きなデッサン エドガー・ドガ	中山 忠彦	美術の窓	364
マルセル・デュシャンにおけるレディ・メイド概念の変遷	245	岩見 亮	美 学	視点 パリ通信ー北と南のド・スタール展[ニコラ・ド・スタール]	佐藤 泰生	”	373
戦前期日本におけるマルセル・デュシャン受容について	177	平芳 幸浩	美術史	展覧会評 「ドナテッロからリッピへープラートの芸術工房」展	桑原 夏子	芸術学	17
SPECIAL FEATURE 杉本博司 PART 2 5つの顔を持つ男 杉本博司について Chapter05 現代美術家 CRITIQUE 世界の死に方ー杉本博司とデュシャン	1006	建畠 哲	美術手帖	美術館の学芸普及課長による連載コラム 大野課長のアート・コラム ケイト・トムソンの《Moon Dance》	大 野	aprire	25
美の仕事を追うー脳科学者、骨董街を奔る! 10 記念特別編 青山二郎とマルセル・デュシャン	448	茂木健一郎	目の眼	コリンヌあるいはスタール夫人のシビルー『コリンヌあるいはイタリア』におけるドメニキョーのシビルをめぐるー	小林 亜美	美術史論集	14
研究ノート ラウル・デュフィのテキスタイル制作ーその実践と絵画作品への影響ー	18	矢野ゆかり	国立西洋美術館研究紀要	ドラクロワ作《トラヤヌス帝の正義》ー知的文化的潮流から絵画へー[ウジェーヌ・ドラクロワ]	西嶋 亜美	鹿島美術財団年報・別冊	31
デ・ラランデの京城都市構想図と景福宮敷地平面図に関する研究[ゲオルグ・デ・ラランデ]	699	徐 東帝 西垣安比古	日本建築学会計画系論文集	ドラクロワ「平和の間」天井画をめぐる素描研究	陳岡めぐみ	”	”
		(ト)		エティエンヌ＝リュシアン・ミショーについてーウジェーヌ・ドラクロワ《聖ステパノ(埼玉)》の最初の所有者ー	渋谷 拓	埼玉県立歴史と民俗の博物館紀要	8
ゾフィー・トイバーー1910-20年代のデザイン理論	1	米田 高輝	NACT Review*				

報告 2013年度収蔵 作品について[ウジ ェヌ・ドラクロワ]	陳岡めぐみ	ゼフェロ ス	61	(ヌ)			
例会発表要旨 第130 回例会：19世紀フラ ンス絵画における文 学的主題 ードラク ロワとカパネルの作 品から ウジェヌ ・ドラクロワによる パイロン作『邪宗徒』 諸作品の再考	西嶋 亜美	日仏美術 学会会報	33	(ノ)	ニューヨークで出 会 うアジアの美 第5 回 秋のアジア美術 シーン[ブルー ン・ ヌリー]	朽木ゆり子	目の眼 459
史料翻訳 ポール・ シニャック『ウジ ェヌ・ドラクロワ から新印象主義 まで』 (1)	齊藤 陽介	美術史学	35		第67回全国大会研究 発表要旨 イサム・ ノグチ《広島 の亡き 人々 のための 記念物 [メモ リアル]》、 その 構想の 推移に ついて	越前 俊也	美術史 177
美の美 新印象派 点描の冒険 上 均 衡と規律が創る色 彩 美 細密を極め 新たな地平へ[アン ドレ ・ドラ ン]	窪田 直子	日 経	9.14		SPECIAL FEATURE 一生に一度は行 きたい！ 世界 のアー トス ポッ ト PART 4 アー ティ スト の美 学に 触れ るア トリ エ[イ サム ・ノ グチ]	高嶋雄一郎	美術手帖 1005
World Paris 「ギ ュ スター ヴ・ド レ想 像の 力」展 マル チ ・ア ー ティ スト ギ ュ スター ヴ・ド レ再 評価	羽生のり子 取材	芸術新潮	772		北海道文化考 モ エ レ 沼公 園[イ サム ・ノ グチ]		美術屋・ 百兵衛 30
PARIS 発 フランス 抽象絵画の先駆者 ドロー ネー 夫妻 [ソニ ア・ド ロー ネー/ ロベ ール・ ドロー ネー]	安部 雅延	新美術新 聞	1362		ニューヨークで出 会 うア ジ アの 美 第 4回 二つ の祖 国[イ サム ・ノ グチ]	朽木ゆり子	目の眼 456
(二)					京ものがたり イ サ ム・ ノ グ チと 京石 工 芸 頭 下 げ た 巨 匠 職 人 の 心 は 割 れ ず	足立 耕作	朝日夕刊 4.1
SPECIAL FEATURE 一生に一度は行 きたい！ 世界 のアー トス ポッ ト PART 2 自然 の中 で体 感す るア ー ト[オ ス カ ー・ ニ ー マ イ ヤ ー]	仁尾 帯刀	美術手帖	1005		芸術と科学のあい だ 46 内 面 の 虚 空 見 つ め た 美 術 家 の 魂 [イ サ ム ・ ノ グ チ]	福岡 伸一	日 経 12.28
研究小話 ベン・ニ コ ル ソ ン の エ ッ チ ン グ — 制 作 の プ ロ セ ス か ら	松下 由里	群馬の森 美術館ニ ュース	155		デザイン・インダ バ ー 新 し い ア フ リ カ を 築 く 3 人 の ク リ エ イ タ ー [イ ジ ェ ・ ノ コ ー リ]	中島 恭子	A X I S 169
伝統×デザイン—手 仕事 の 日 本 ふ た た び aikuchi 東 北 の 職 人 技 を 結 集 し た 日 本 刀 [マ ー ク ・ ニ ュ ー ソ ン]	黒沢 綾子	産 経	4.10		ブランド研究 85 イン テ リ ア 店 か ら 出 発 [デ ス モ ン ド ・ ノ ッ ク ス =リ ー ト]	大石由佳子	読 売 2.17
抽象表現主義とカラ ー・ フ ィ ー ル ド ・ ペ イ ン テ ィ ン グ の 関 係 性 を め ぐ つ て [パ ー ネ ッ ト ・ ニ ュ ー マ ン]	芦田 彩葵	鹿島美術 財団年報 ・別冊	31		Art Report in Asia モン ゴ ル の 作 家 た ち No.4 ノ ル マ ー ジ ヤ ウ	水間 敏隆	ギャラ リ ー* 350
					(ハ)		
					Global News Paris ロシア 人写 真家 の鮮 烈パ リデ ビュ ー[テ ィ ム ・ パ ー シ コ フ]	羽生のり子 取材	芸術新潮 779
					SPECIAL FEATURE ティ ム ・ パ ー ト ン の 世 界 へ 、 よ う こ そ ！		美術手帖 1014

パートンさんにと ってハロウィンと はなんですか?	ティム・パートン インタビュー	宮村 周子 構成			特集 英国ヴィクト リア朝美術の陶酔[エ クスタシー] ラフ アエル前派から唯美 主義まで 恋愛なく して芸術は生まれな い[エドワード・コ ーリー・パーン=ジ ョーンズ]	編 集 部	芸術新潮	770
転機で知るティム ・パートンの歩み		岡澤浩太郎			ビデオ・アーティ スト 久保田成子の 初期制作について— フルクサスおよびナ ムジュン・バイクと の関係を中心に—	濱田真由美	鹿島美術 財団年報 ・別冊	31
対談 土居伸彰× ひらのりよう 境 界を越えるための アニメーション		岡澤浩太郎、 編 集 部 構成			SPECIAL FEATURE 一生に一度は行きた い! 世界のアートの スポット PART 2 自然の中で体感する アート[マイケル・ ハイザー]	廣 李果	美術手帖	1005
パートンに影響を 与えた作品たち		杉原 環樹			WORLD NEWS ニ ューヨーク 財政破 綻のデトロイトに再 び注目 その歴史と 文化は厚く[ジェー ムズ・リー・バイヤ ース]			
SPECIAL FEATURE ティム・パートンの 世界へ、ようこそ! 4つのキーワードで 映画作品を解析!			美術手帖	1014				
1 一軒家 そび える一軒家にみる ティム・パートン の心象風景		尾之上浩司			展覧紀行 自画像[マ リ・バシユキルツェ フ]	藤森 愛実	"	1010
2 郊外 パステ ルカラーの郊外と ゴシックホラーを めぐる物語		大場 正明			ART TOPICS パシ ユケ作品一堂に[エ ド・バシユケ]			8.7
3 仮面 仮面の 背後に現れるのは 素顔か、非人間性 か		北小路隆志			特集 ジュール・パ スキンの優しい空間	中村 暁子	アートペ ーパー	96
4 ツギハギ ツ ギハギの怪物たち の不器用な縫い目		塚田 優			評論の眼 「天地逆 転」パゼリッツ展を ぜひ日本で[ゲオル グ・パゼリッツ]	ワシオ・ト シヒコ	ギャラリ ー*	354
SPECIAL FEATURE ティム・パートンの 世界へ、ようこそ! パートン偏愛		編 集 部	"	"	読解絵画鑑賞講座27 天地逆転絵画、日本 初公開—G・パゼリ ツ「イゴール」(1971 年)	"	美術屋・ 百兵衛	31
1 増田セバスチ ヤン					INFORMATION ME- MORIAL 追悼 フ レデリック・バック 膨大な手仕事でアニ メーションを導いた 開拓者	高畑 勲	美術手帖	1000
2 西島大介					甲乙閑話 世の中を 変えるために[フレ デリック・バック]	小原 篤 朝	日	1.8
映画界の鬼才 ティ ム・パートン監督 11 月から東京で展覧会 イラストなど500点 描く=人生そのもの		森本 智之	東京夕刊	5.21	悼む フレデリック ・バックさん アニ メーション作家 自 然への敬意表現	明珍 美紀	毎 日	2.3
WORLD NEWS ロ ンドン 若手健闘の ドイチェ・ベルゼ写 真賞に大御所活躍の デート・ブリテン、 コミッション展[フ ィリダ・パーロウ]		伊東 豊子	美術手帖	1006				



Art Report in Asia 国際アートシーンを 駆け抜ける作家たち モンゴルの作家たち No.2 パットウム ル	水間 敏隆	ギャラリー 一*	347	7つのキーワード から読み解く バル テュスの聖と俗	藤原えりみ 構成・文		
				バルテュスと聖なる もの	谷川 渥		
from the World ス ペースシップのよう なランドマーク「東 大門デザインプラザ」 [ザハ・ハディド]	石橋 勝利	A X I S	169	SPECIAL FEATURE バルテュス PART 2 LIFE		”	”
幻の建築 unbuilt dreams 1 ザハ・ ハディド モダニズ ムの先にあるもの	光嶋 裕介	芸術新潮	773	対談：節子・クロ ソフスカ・ド・ロ ーラ×篠山紀信 孤高の画家、その 伝説と素顔	宮内 周子 構成		
大波小波 五輪開催 と景観[ザハ・ハデ イド]	博 之	東京夕刊	7.12	バルテュスの画業 と人生	原田 裕規		
Topics 新国立競技 場 選考過程公表 審査員「高コスト」懸 念 来月から解体予 定[ザハ・ハディド]	永田 晶子	毎日夕刊	6.12	バルテュス年表	中島 水緒 構成		
建築季評 都市デザ インとの運動[ザハ ・ハディド]	中川 理 読 売		3.27	SPECIAL FEATURE バルテュス PART 3 MODELS		”	”
Global News New York エロチック・ フェチアート[アン セア・ハミルトン]	藤森 愛実 取材	芸術新潮	778	6人のモデルでた どる バルテュス と少女	河本 真理		
海外通信 @ロンド ン リチャード・ハ ミルトン展 反発し た「ポップアートの 父」	菅 伸子	朝日夕刊	5.7	バルテュスと少女 論 「神の身体」と しての少女	斎藤 環		
WORLD NEWS リ バプール ホイッス ラーにクロード・バ ラン。巨匠が大活躍 のリバプール・ピエ ンナーレ	伊東 豊子	美術手帖	1010	SPECIAL FEATURE バルテュス Artist meets Balthus		”	”
読書 世界で一番美 しい猫の図鑑 タム シン・ピッケラル(著) 芸術家の霊性を引き 出す力も[アストリ ッド・ハリソン]	横尾 忠則 朝 日		8.17	02 諏訪敦 バル テュスが遺したボ ラロイド写真を読 み解く	福住 廉 聞き手・文		
World special New York, Rossinière 初公開! バルテュ スが撮った秘密のボ ラロイド		芸術新潮	769	03 会田誠 バル テュスと僕	会田 誠		
小特集 スイスのふ たり 1 美の求道 者、バルテュスの遺 香を求めて		”	772	SPECIAL FEATURE バルテュス SPE CIAL EDITION 日 本のオタクカルチャ ーと少女 座談会： Mr.×町田ひらく× 大嶋優木×岸田メル	さやわか 構成	”	”
ドナルド・キーン× 節子・クロソフスカ ・ド・ローラ 忘れ 得ぬ「日本のこころ」 [バルテュス]		”	777	眼と脳がアートを創 造[つく]る 第二十五 ~二十七回[バル テュス]	深作 秀春	美術の窓	364~366
SPECIAL FEATURE バルテュス PART 1 WORKS		美術手帖	1004	中特集 現代の心象 表現を考える[バル テュス]		”	369
				特集 バルテュス 20世紀最後の画家		ユリイカ	642
				真に高貴なるロマ ン主義者バルテュ ス	スタニスラ ス・クロソ ウスキー・ ドーラ 松田 和也 訳		

メールインタビュー バルテュスの ティータイム	春美・クロ ソフスカ・ ド・ローラ 談 編 集 部 聞き手	こころの玉手箱 画 家 小杉小二郎 5 バルテュスの絵 本 画なのか…消しゴム で確認	小杉小二郎	日経夕刊	9.12
《樹木のある大き な風景》を訪ねて	與謝野文子	石見美術館わたしの おすすめ The Col- lection ジョルジュ ・バルビエ《テオル ボを奏でる人》	廣田 理紗	グラント ワニユー ス	40
バルテュス、魂と いう具象的な資料 について	丹生谷貴志	世界いまを刻む ペ ット大国の現実描く 犬の肖像画で飼育責 任訴え 米画家、殺 処分にNO[マーク・ パロン]	河内 真帆	日 経	6.29
「裂け目[クラック]」 の画家バルテュス	江澤健一郎	海外通信 @パリ 「IN SITU-1」 過 程も公開、社会への 意識喚起[アンドレ ア・パワーズ]	飯田 真実	朝日夕刊	10.29
バルテュスにおけ る「宗教性」	木俣 元一	PICK UP book 3 いまは笑ってろよ。 いつかは俺たちの番 だけ。(バンクシー)	佐々木 中	芸術新潮	775
バルテュスの素描 の変容	石谷 治寛	視線 BANKSY YOU ARE AN ACCEPT- ABLE LEVEL OF THREAT パトリッ ク・ボッター著、毛 利嘉孝・鈴木杏子訳	大西 若人	朝 日	2.16
バルテュスのパサ ージュ 《街路》か ら《部屋》へ	桑田 光平	展覧会評 バッチョ ・バンディネリ展 ／ポントルモとロッ ソ・フィオレンティ ーノ展	甲斐 教行	五浦論叢	21
バルテュス絵画の 現地調査と立体化 による作品考察	近藤 達雄	(ヒ)			
絵画の夢、画家の 術	松井 冬子 談 阿部 真弓 聞き手	視線 ピアズリー怪 奇幻想名品集[オー プリー・ヴィンセン ト・ピアズリー]	原田 マハ	朝 日	4.20
受験とバルテュス	原 久路	美の美 三島由紀夫 のローマ 中 絢爛 好みと破壊への憧憬 矛盾する心が向かう 先は[オープリー・ ヴィンセント・ピア ズリー]	干場 達矢	日 経	5.4
光 Mitsou 夢の なかのひとつの部 屋	阿部 真弓	Global News Berlin 開幕の日に逝った深 夜のピーネ展[ロッ ト・ピーネ]	かないみき 取材	芸術新潮	778
〈子どもの眼〉を持 ちつづけた画家 『ミツ バルテュ スによる四十枚の 絵』にはじまる	寺村摩耶子	WORLD NEWS ベ ルリン 逝去したオ ットー・ピーネの回 顧展と“ヴァニタス” がテーマの展覧会	河合 純枝	美術手帖	1012
バルテュスとリル ケ	神品 芳夫				
身体への眼差し、 あるいは「光の身 体」 バルテュス とアルトー	森島 章人				
芸術のY字路 ク ロソウスキーとバ ルテュス	大森 晋輔				
「バルテュスはシ ュルレアリストで はない、だが…」	副田 一穂				
増殖と消費の螺旋 の中で	永山 薫				
批評の無限後退 バルテュスをめぐ る言説から	原田 裕規				
バルテュス主要作 品解題	松野 敬文				

特集 ムーミンとト ーベ・ヤンソン 最 後に始めた新しいこ と トーベとトゥー リッキの共同作業[ト ウリッキ・ビエテ ィラ]	リーツカ・ タンネル 榎子 中丸 圭子 聞き手 森下 通訳	ユリイカ	649	ARTIST PICK UP ニコラ・ビュフ	島田浩太郎	美術手帖	1008
パブロ・ピカソ《煙 草を吸う男》につい て 来歴と自画像と しての役割	町田つかさ	和泉市久 保惣記念 美術館紀 要	19	特集 魅力ある線を 描く ⑥技法講座vol. 37 巨匠たちの線 ベルナルド・ビュフ エ 変わりゆく「黒 い線」	雨宮 千嘉	美術の窓	374
PARIS 発 陶芸家ピ カソと地中海	安部 雅延	新美術新 聞	1338	第六十五回美学会全 国大会報告 発表要 旨 作品性、展示空 間、観者を意識化さ せること：ダニエル ・ビュレンの《分裂 小屋》シリーズ	中村 泰士	美 学	245
素描教育から革新的 身体表象の成立へー 美術解剖学の知識と パブロ・ピカソの初 期キュビズム作品	松井 裕美	日仏美術 学会会報	33	平成25年度京都市芸 術新人賞及び芸術振 興賞決まる[Hyon Gyon]		新美術新 聞	1340
特集 今あらためて 巨匠に学ぶデッサン の技 ピカソ 驚異 のデッサン力		美術の窓	364	幻の建築 unbuilt dreams 2 ジョヴ アンニ・パッティス タ・ピラネージ 自 由な創造を求めて	光嶋 裕介	芸術新潮	774
二十世紀美術断想 第二十二～二十八回 ピカソ XXI～XXVII	粟津 則雄	〃	364～370	ビリーピンとロシア 絵本の黄金時代 田 中友子(著)[イワン ・ビリーピン]		朝 日	11.23
眼と脳がアートを創 造[つく]る 第二十 八～三十回[パブロ ・ピカソ]	深作 秀春	〃	367～369	現在通信 From NEW YORK 個人スパー スの試み[CJ・ヒル]	富井 玲子	新美術新 聞	1343
美の美 大戦下 画 家たちの南フランス 下 まぶたに残る破 壊と犯罪 文明の回 復に祈り込める[パ ブロ・ピカソ]	窪田 直子	日 経	1.19	(フ)			
ART TOPICS ピカ ソ最後のミューズ		〃	12.11	小倉正史の現代美術 講座 その17[ファ ストウルムス]	小倉 正史	ギャラリー 一*	352
INFORMATION BOOK シュールと ポップの視覚的融合 ーヒプノシス作品集 伝説のデザイン集団 奇跡の蔵出し作品集	楠見 清	美術手帖	1016	アート・レビュー アートフルな絹の花 の饗宴「朝鮮宮中綵 花」[黄水路]	崔 成子	コリアナ	21-3
ピエール・ピュヴィ ・ド・シャヴァンヌ 作《眠る街を見守る 聖ジュヌヴィエー ヴ》再考ーバンテ オン壁面の連関を通 してー[ピエール・ピ ュヴィス=ド=シャ ヴァンヌ]	江澤菜櫻子	美 学	244	「ナーヘレ計画」にお けるアルド・ファン ・アイクの設計手法 に関する研究	井上 宗則 石田 壽一	日本建築 学会計画 系論文集	703
神秘の画家シャヴァ ンヌ		ふらんす	89-2	修士論文 ヤン・ ファン・エイク作《宰 相ロランの聖母子》 に関する考察	秋元真奈帆	美史研ジ ャーナル	10
「水辺のアルカデ ィア」ピュヴィ ス・ド・シャヴァ ンヌの神話世界	宮澤 政男			ヤン・ファン・エイ ク作《ファン・デル ・パーレの聖母子》 ー注文主の救済願望 と鸚鵡の象徴性ー	杉山美耶子	美 術 史	176
壁画家シャヴァン ヌの誕生	中山ゆかり			第67回全国大会研究 発表要旨 ヤン・フ ァン・エイク作《ロ ランの聖母》につい てー下絵の変更に 関する考察ー	佐藤龍一郎	〃	177
ピュヴィス・ド・ シャヴァンヌと黒 田清輝	山梨絵美子						

SPECIAL FEATURE 廣作ってなに? PART 1 廣作の物語から考える 世界を騙した! 廣作の巨匠たち[ハン・ファン・メーヘレン]	内田 伸一	美術手帖	1010	聚美冬題[ヨハネス・フェルメール]	千足 伸行 聚 美		
展覧会評 バッチョ・バンディネッリ展 / ポントルモとロッソ・フィオレンティノ展	甲斐 教行	五浦論叢	21	ナチス・ドイツと名画の運命 1		11	
Global News Firenze イタリア・ルネサンス最後の輝き マニエリスムの担い手となったふたりの画家 [ロッソ・フィオレンティノ]	高橋 恵理	芸術新潮	773	十一億円のフェルメール		13	
クリエーターズワーク&ソウル ベドリータ[ペドロ・フィヒラ]	中島 恭子	A X I S	169	フェルメール作品の魅力と女性—17世紀オランダの女性像—	富川 朋子	文化情報学	9-2(別冊)
WORLD NEWS ロンドン1 ターナー賞展30周年 映像に音声に、グラスゴウ勢が健闘[キアラ・フィリップス]	伊東 豊子	美術手帖	1016	芸術と科学のあいだ [ヨハネス・フェルメール]	福岡 伸一	日 経	
現代美術の歩き方 今月の一品 下権(ブー・ホア) 「未来荒 / The Last Phases of the Future」	五十嵐理奈	美術の窓	367	2 地理学者は画家の友か		2.23	
ブーシェのタピスリー連作 (高貴なパストラル)とポンパドゥール夫人—下絵と関連素描に基づく考察—[フランソワ・ブーシェ]	小林亜起子	五浦論叢	21	3 観察スケッチ描いたのは…		3.2	
街角アート 作曲家と肖像[エミールニアントワーヌ・ブルデル]	星野 清一	新美術新聞	1345	19 競売に出る まだ見ぬ「聖女」		6.22	
ロダン研究 IX—ブールデルのロダン—	高橋 幸次	日本大学芸術学部紀要	59	24 色褪せた名画の背景にある哲学		7.27	
学問の図像とかたち 163 思考の模型 時間の重層[スヴェレ・フェーン]	松本 文夫	U P	501	39 注がれた牛乳は途切れるか		11.9	
靴づくりからアートへの挑戦 サルヴァトーレ フェラガモが探求する「平衡」	高橋 恵理	美術手帖	1008	美の美 「水」の生命力 下 静寂と反射 景色も空も光も吸い込み 鏡面が描き出す心の風景[ヨハネス・フェルメール]	富田 律之	〃	2.23
海外アート info-maniac 13 London フェルメール真筆? 10億円落札作品の科学分析[ヨハネス・フェルメール]	前橋 重二	芸術新潮	777	原典資料紹介 ジャン・フォートリエの6つのテキスト	鈴木 俊晴	豊田市美術館紀要	7
				ジャン・フォートリエの「人質」の連作再考—顔のイメージとヴェロニカの聖顔布	山田由佳子	美 学	245
				通信 J to A アジアへ パンコクの『美術と建築展』[ノーマン・フォスター]	青木 保	新美術新聞	1344
				ルーチョ・フォンターナの作品制作とミラノ・トリエンナーレ	巖谷 睦月	東京芸術大学美術学部論叢	10
				ルーチョ・フォンターナのネオン作品と未来派の記憶—エンリコ・プランボリーニによる展示装置との関係を中心に	〃	日伊文化研究	52
				WORLD NEWS パリ ルーチョ・フォンターナとビル・ヴィオラに見る近現代と「拡大」「降下」「浮上」	三木あき子	美術手帖	1008
				主題としての徳川家霊廟—黎明期近代日本美術の「死の島」と墓碑的表現—[アントニオ・フォンターネー]	牟田 行秀	LOTUS	34

Global News Berlin 絵画の中に放たれた 動物たち[レンブラ ント・ブガッティ]	かないみき 取材	芸術新潮	774	入門講座 絵を買う 人々 4 宮廷周辺 の貴族・教養人 誇 示する消費 芸術支 える[ジャン・オノ レ・フラゴナール]	中野 京子	日経夕刊	5.22
読書タイム GOLDEN SEA マコトフジム ラ作品集		水墨画*	302	視点 絵本の文化(二) アメリカ絵本 マー ジョリー・フラック	宗雪 孝夫	美術の窓	368
WORLD NEWS ベ ルリン2 「地元の アーティスト」が笑 いで暴く注目の若手 作家、カシャ・フダ コウスキの個展	かないみき	美術手帖	1005	ART TOPICS ブラ ッサイの写真展		日 経	2.13
Notes on Poussin's use of antique sources in his early works[ニコラ・プッ ッサンの初期作品にお ける古代美術からの 図像借用について]	宮島 綾子	NACT Review*	1	こころの玉手箱 写 真家 立木義浩 2 ロバート・フランク らの写真 どう撮る か 先人が示す手本	立木 義浩	日経夕刊	9.2
ニコラ・プッサンの 初期神話画における 場面選択の特異性— ミダス、エンディミ オン、パエトンの主 題表現—	福田 恭子	美術史	177	特別連載 「中原佑 介を読む」を読む 第7回 彫刻による 物質文明の超克[コ ンスタンティン・ブ ランクーシ]	近藤 亮介	美術手帖	999
ヘンリー・フェース リのキアロスクーロ に見られる超自然現 象の視覚的文脈[ヨ ハン・ハインリヒ・ フェースリ]	松下 哲也	美 学	244	SPECIAL FEATURE 一生に一度は行きた い! 世界のアートの スポット PART 4 アーティストの美学 に触れるアトリエ[コ ンスタンティン・ブ ランクーシ]	鈴木 俊晴	〃	1005
フラ・アンジェリコ 作「銀器収納棚」装飾 パネル試論—「受胎 告知」の解釈と「Lex Amoris(愛の掟)」の 銘文検証を中心に—	細川 瑛梨	芸術学研 究(京都 造形)	5	WORLD NEWS ウ イーン 「デュシャ ン以降」のコンテン ポラリー・アート 現実社会との仲介と してのオブジェクト を再考[コンスタン ティン・ブランクー シ]	かないみき	〃	1014
特集 光の表情を描 く ⑧技法講座 vol. 38 光はいかに表現 されたか? フラ・ アンジェリコの現代 性	鈴木 力談	美術の窓	375	注目の画材紹介 ホ ルペイン×フランシ ス真悟 アクリリッ ク カラー[フルイ ド]	編 集 部	〃	1016
ART TOPICS[フラ ・アンジェリコ]		日 経	10.9	WORLD NEWS ウ イーン 「デュシャ ン以降」のコンテン ポラリー・アート 現実社会との仲介と してのオブジェクト を再考[ジェラルド ・フランセスキ]	かないみき	〃	1014
ニューヨーク・ダダ におけるオブジェ・ ポートレート—マル セル・デュシャン、 マン・レイ、エルザ ・フォン・フライタ ーク=ローリングホ ーフェン	宮内 裕美	鹿島美術 財団年報 ・別冊	31	駅に壁画 潤う街 陶板やステンドグラ ス、設置運動ついに 500点達成[ルイス・ フランセン]	滝 久雄	日 経	4.22
連載 稀人 美を出 [いづ]る国をゆく 第一回 縄文育ちの シャトー・マルゴ ー	エバレット ・ブラウ ン	美 術*	472	ルーチョ・フォンタ ーナのネオン作品と 未来派の記憶—エン リコ・プランボリー ニによる展示装置と の関係を中心に	巖谷 睦月	日伊文化 研究	52
特集 デザイン思考 の誤解 「創造的自 信がなければデザ イン思考には臨め ない」IDO CEO テ ィム・ブラウン氏 インタビュー	瀧口 範子	A X I S	168				

カスパー・ダーウィ ト・フリードリヒの 油彩画における空の 表現についての一考 察[カスパー・ダー ウィット・フリード リヒ]	湯沢 美麻	芸術学研 究(筑波)	19	On view フィクシ ョンに取り込まれた 現実 マルセル・ブ ローターズの《セク ション・シネマ》	牧口 千夏	現代の眼	605
ピーテル・ブリュー ゲル(父)のイタリア 旅行とその意義に関 する一考察	廣川 暁生	国学院雑 誌	1291	Re view 「マルセル ・ブローターズ」か ら始めてみる。何度 も。	良知 暁	〃	607
芸術と科学のあいだ 26 らせんの塔が表 す傲慢さ[ピーテル ・ブリューゲル]	福岡 伸一	日 経	8.10	(へ)			
入門講座 絵を買う 人々 4 宮廷周辺 の貴族・教養人 誇 示する消費 芸術支 える[ピーテル・ブ リューゲル]	中野 京子	日経夕刊	5.22	ARTIST PICK UP 何翔宇	熊倉 晴子	美術手帖	998
教員随想 アーウィ ン・ブルーメンフェ ルドの《ミノタウロ ス》	田中 正之	美史研ジ ャーナル	10	幻の建築 unbuilt dreams 8 ジョン ・ヘイダック 描か れた建築のポエジー	光嶋 裕介	芸術新潮	780
史料紹介と研究 下 岡蓮杖の最初期写真 一在外写真コレクシ ョンを中心にして[ヴ イルヘルム・ブルガ ー]	谷 昭佳	東大画像 史料解析 センター 通信*	67	例会・研究発表会要 旨 東部会 平成二 五年度第四回例会 リテラル・イメージ の行方 ーマイケル ・フリードによる『フ ランシス・ベーコン の達成』の読解を通 じてー	榊田 倫広	美 学	244
海外通信 @ニュー ヨーク MoMAのパ フォーマンスアート [フルクサス]	富井 玲子	朝日夕刊	3.26	SPECIAL FEATURE 一生に一度は行きた い! 世界のアートの スポット PART 4 アーティストの美学 に触れるアトリエ[フ ランシス・ベーコン]	鈴木 俊晴	美術手帖	1005
特集 クルマは想像 を加速させる! ク ルマはそれでも、パ ーソナルなものであ り続けるーロナン& エルワン・ブルレック [ロナン・ブルレ ック]	貴田奈津子	A X I S	167	ヘザウィック・スタ ジオ、その成功の理 由 ロンドン五輪の 聖火台から、最新作 のゼイス現代アフリ カ美術館まで[トマ ス・ヘザウィック]	中島 恭子	A X I S	171
エーロ・アールニオ とエリック・ブルン フィンランドの巨匠 たちに見る企業家精 神	中島 恭子	〃	172	WORLD NEWS ハ ンブルグ ハンブル グ出身のエヴァ・ヘ ス&ゲゴ、初のカミ ングホーム展	河合 純枝	美術手帖	1002
現在通信 From NEW YORK メニル・コ レクション[ダン・ フレヴィン]	富井 玲子	新美術新 聞	1345	オットー・ヘスラー のジードルンク・プ ルムレーガー・フェ ルトにおける最小 限住居の成立と変遷	海老澤模奈 人	日本建築 学会計画 系論文集	696
8 言語ちりばめ大型 彫刻 虎の門ヒルズ [ジャウメ・プレ ンサ]		日 経	12.2	美の美 大戦下 画 家たちの南フランス 上 陽光あふれる芸 術の聖地 戦争の惨 禍暗い影を落とす[マ ックス・ベックマン]	窪田 直子	日 経	1.5
イメージの記憶 38 キンボウグを掴むベ ンヤミン・ジゼル・ フロイントの一枚の 写真について	田中 純	U P	506	作品ひとつ[バーバ ラ・ハップワース]	松下 由里	群馬の森 美術館ニ ュース	157

WORLD NEWS ニューヨーク 大注目の新星ウルフソンとペティボンの多彩なサーフ絵画[レイモンド・ペティボン]	藤森 愛実	美術手帖	1005	パロックの吐息—ジャン・ロレンツォ・ペルニーニの《アポロとダフネ》—[ジャン・ロレンツォ・ペルニーニ]	金山 弘昌	ART LIBRARY	15
第26回「高松宮殿下記念世界文化賞」受賞者 絵画：マルシヤル・レイス氏 彫刻：ジュゼッペ・ペノーネ氏 建築：ステューヴン・ホール氏など5部門5名決まる		新美術新聞	1351	第六十五回美学会全国大会報告 発表要旨 ハンス・ベルメール作品における(交換可能性interchangeability)をめぐる一ミル収容所でのマックス・エルンストとの共同制作から一	松岡 佳世 美 学		245
美の扉 自然から作り出す恒久性 高松宮殿下記念世界文化賞 彫刻部門 ジュゼッペ・ペノーネさん	正木 利和	産 経	10.5	学問の図像とかたち 165 思考の模型 光のコンクリート[オーギュスト・ペレ]	松本 文夫 U P		503
世界文化賞 ジュゼッペ・ペノーネさん 受賞記念対談 彫刻は考えるための方法論	〃	〃	10.23	こころの玉手箱 写真家 立木義浩 2 ロバート・フランクらの写真 どう撮るか 先人が示す手本 [アーネスト・ジェームス・ペロック]	立木 義浩	日経夕刊	9.2
イタリアの彫刻家 ジュゼッペ・ペノーネさん 素材の中の精神性見せる	井上 晋治	読 売	11.20	無人探査機が激写した宇宙の彼方の抽象美[マイケル・ベンソン]		芸術新潮	770
SPECIAL FEATURE 贋作ってなに? PART2 真贋の現場から考える スキヤンダラスな天才贋作絵師、エリック・ヘボン秘伝! 贋作テクニック10	相磯 展子 筒井 展子 宏樹	美術手帖	1010	特集 観光立国ジャパン・ウィズ・デザイン 日本の魅力と歩き方 外国人クリエイターの視点 ジェド・ヘンリー 浮世絵は、現代のコンピュータゲームだったはず	瀧口 範子 A X I S		172
十七世紀ヨーロッパ 絵画の新しい影[ディエゴ・ロドリゲス・デ・シルバ・イ・ベラスケス]	齊藤 栄一	芸術学研究(明学)	24				
第67回全国大会研究発表要旨 狩猟塔トーレ・デ・ラ・バラダと君主教育論—スネイエルスの狩猟塔とベラスケスの哲学者の肖像画を中心に—	山田のぞみ	美術史	177	例会・研究会発表要旨 西部会 第二九九回研究発表会 拡張する彫刻とその限界—ヨーゼフ・ボイスの理念と実践をめぐる—	福元 崇志 美 学		245
ベラスケスと“狩猟塔”の絵画装飾：王家のトポスの理念と機能	大高保二郎	早稲田大学大学院文学研究科紀要	59	注目の作家 J・McN・ホイッスラー ホイッスラーのエッチング[ジェイムズ・アボット・マクニール・ホイッスラー]	小野 文子	版画芸術	165
ヘルツェルからパウハウスへ—色彩理論に見る調和と全体性の概念[アードルフ・ヘルツェル]	青木 加苗	京都市立芸術大学美術学部研究紀要	58				
連載 次代を拓く建築展 5 展示空間という建築 ヘルツォーク&ド・ムローンの建築展	保坂健二郎	建築雑誌	1664	WORLD NEWS リバプールのホイッスラーにクロード・バラン。巨匠が大活躍のリバプールのピエンナーレ	伊東 豊子	美術手帖	1010

(ホ)

WORLD NEWS ベルゲン 国家を越えて現れるもの一郵便制度をキーとする2つの展覧会[エリック・ボードレール]	かないみき	美術手帖	1004			「ピーターラビット」浮世絵と縁? 水彩画に二代広重の絵手本 作者が少女時代の作品 大東大教授特定[ピアトリクス・ポター]	読売夕刊	5.26
ヨコハマトリエンナーレ2014 SPECIAL 短期連載インタビュー第3回 対談 エリック・ボードレール×足立正生	編集部 聞き手・構成 相磯 展子 翻訳・編集協力	''	1014			市がよい 25 The Pot Boiling[デイヴィット・ボックニー]	菊池 信義	目の眼 454
イルマ・ボーム一感覚に訴えかける本のつくり方	樋口 歩	A X I S	168			第67回全国大会研究発表要旨 ポッチョーニの記憶—第一次世界大戦後の未来派運動の展開をめぐる—[ウンベルト・ポッチョーニ]	太田 岳人	美術史 177
第26回「高松宮殿下記念世界文化賞」受賞者 絵画:マルシャル・レイス氏 彫刻:ジュゼッペ・ペノーネ氏 建築:ステイヴン・ホール氏など5部門5名決まる		新美術新聞	1351			特別連載 「中原佑介を読む」を読む 第7回 彫刻による物質文明の超克[ウンベルト・ポッチョーニ]	近藤 亮介	美術手帖 999
特集 ニュークラフティ—新たなクラフトへのアプローチ—トード・ボンチエの考える「クラフトマンとアーティザン」	トード・ボンチエ	A X I S	170			研究ノート サンドロ・ポッティチェリ作《ウェヌスとマールス》のウェヌスにおける《ファルネーゼの盆杯》のイシスの受容と15世紀当時のイシスの主題解釈—ロレンツォ・デ・メディチの古代彫玉蒐集を手掛かりに—[サンドロ・ポッティチェリ]	西川しずか	イタリア学会誌 64
清水登之とホガース[ウィリアム・ホガース]	杉村 浩哉	美術運動史研究会 ニュース	146			特集 イタリア・ルネサンスの宝石箱 ウフィツィ美術館ものがたり フィレンツェ・ルネサンスの輝き ポッティチェリ	京谷 啓徳	芸術新潮 778
特集 中世の大画家 ヒエロニムス・ボスの奇想天国		芸術新潮	777			第六十五回美学会全国大会報告 発表要旨 共作と競作のはざま—15世紀のシステイーナ礼拝堂壁画装飾事業におけるポッティチェリ作《モーセの試練》と《反逆者たちの懲罰》	荒木 文果	美学 245
ヒエロニムス・ボス 全真作はこれだ!	小池 寿子	解説				第67回全国大会研究発表要旨 シュテューデル美術研究所収蔵 サンドロ・ポッティチェリ《女性の肖像》—髪飾りの象徴性とメディチ家—	西川しずか	美術史 177
画像の意味は? 時代背景は? パトロンの…? 全20点の奇想ワールドを読み解く	''					ART TOPICS[サンドロ・ポッティチェリ]	日 経	10.9
Column 1 ヒエロニムス・ボス、謎の生涯に迫る!	編集部							
Column 2 最新調査でわかった 失われた祭壇画の真相	''							
Column 3 ボスの奇想絵画を愛してしまつた男たち	''							
Column 4 アイディアスケッチを覗いてみよう(素描真作全8点)	''							



エドワード・ホッパーの『ナイトホークス』	青木 保	NACT Review*	1	ジャクソン・ポロックにおける書芸術—ブラック・ペインティング成立に関する一考察—	寛 葉奈子 美 学	244
ART TOPICS 素描が作品になるまで[エドワード・ホッパー]			日 経 5.8			
popstyle vol. 403 ALL ABOUT アレハンドロ・ホドロフスキー 精神世界によるこそ	小梶市原 勝男 高士	読売夕刊	6.4	平成二十五年度 修了生論文要旨 ジャクソン・ポロック研究—描かれた「眼」—	田口 貴洋 美史研ジャーナル	10
美の美 大戦下 画家たちの南フランス 中 命の輝かしさ、生き生きと 惨劇のさなか冷静に描く[ピエール・ボナール]	窪田 直子	日 経	1.12	眼と脳がアートを創造[つく]る 第三十四~三十六回[ジャクソン・ポロック]	深作 秀春 美術の窓	373~375
仏絵画史の空気に触れる クリスチャン・ボヌフォア展	宝玉 正彦	〃	1.8	WORLD NEWS 光州 光州ビエンナーレ2014特別展 表現の自由と光州の精神を巡る問いかけ[ホン・ソングム]	稲葉 真以 美術手帖	1014
第67回全国大会研究発表要旨 ハンス・ホフマンの作品におけるイメージ再考—《偶像崇拜者I》の象徴的意味について—	竹田 訓子	美術史	177	Art Report in Asia 中国・最新アーティスト事情第23回 洪凌 Hong Ling 油彩と水墨の融合	梶川 強 ギャラリー一*	346
WORLD NEWS ベルリン 国の現状を映し出す ウクライナ人作家のグループ展[ボリス・ミハイロフ&ファスト・リアクション・グループ]	河合 純枝	美術手帖	1010	現在通信 From NEW YORK メニル・コレクシオン[リー・ボンテクー]	富井 玲子 新美術新聞	1345
WORLD NEWS ニューヨーク 時代はチェルシーからLESへ?新展開を予感させる、若手の躍進[ストラウス・ボルク=ラフランス]	藤森 愛実	〃	1014	展覧会評 バッチョ・バンディネリ展/ポントルモとロッソ・フィオレンティーノ展	甲斐 教行 五浦論叢	21
WORLD NEWS ニューヨーク 待望のジグマール・ボルケ MoMA 展が開幕 ニューケイナンには中谷芙二子の「霧」登場 [ジグマール・ボルケ]				Global News Firenze イタリア・ルネサンス最後の輝き マニエリスムの担い手となったふたりの画家 [ポントルモ]	高橋 恵理 芸術新潮	773
クリエーターズワーク&ソウル ホルメン・ロイター・サンドマン・アーキテクト	長谷川香苗	A X I S	167	(マ)		
ARTIST INTERVIEW ミヒャエル・ボレマンス	桑久保 徹 聞き手	美術手帖	1002	わたしたちの教室へようこそ 馬艶 馬 駿水墨画会		水墨画* 302
ジャクソン・ポロック「線ならぬ線」の芸術	大島 徹也	愛知県美術館研究紀要	20	特展 水墨の美 超濃墨「焦墨」で筆技の幅を広げる	馬 駿	〃 298
Global News Firenze ポロック vs. ミケランジェロ	高橋 恵理 取材	芸術新潮	775	続水墨画の風景 第十二回 墨を動かす [馬駿]	島尾 新珠	〃 300
				現代水墨画作家手本集31 馬駿 雪晴	馬 駿	〃 307
				クリエーターズワーク&ソウル ジョン・マーシャル	長谷川香苗 A X I S	170
				WORLD NEWS ニューヨーク スカルプチャー・センターに新たな息吹 NYの注目アート・スポットへ[クリス・マーティン]	藤森 愛実 美術手帖	1016

平成26年定期刊行物所載文献(近/外マ)

注目 世界一うつく しい昆虫図鑑 構図 の妙 まるでアート 作品[クリストフ ァー・マーレー]	(市)	読売夕刊	5.7	ARTIST INTERVIEW ステイーヴ・マック イーン	岡村 恵子 聞き手	〃	1006
フランクフルトにお けるエルンスト・マ イの住居形式の展開 と最小住居への取り 組み	海老澤模奈 人	日本建築 学会計画 系論文集	700	コミック リトル・ ニモ 1905—1914 ウインザー・マック イ(作) 100年以上 前の先進性に驚嘆	ササキバラ ・ゴウ	朝 日	9.21
SPECIAL FEATURE 贋作ってなに? PART 1 贋作の物 語から考える 贋作 師ジョン・マイアッ トを訪ねて	伊東 豊子	美術手帖	1010	WORLD NEWS チ ューリッヒ 「何が イメージをつくるの か?」を問う ビエ トロ・マッティオー リの写真	北出智恵子	美術手帖	1008
インゴ・マウラー— 火の温もりが宿るハ イテクな光を	米津誠太郎	A X I S	170	SPECIAL FEATURE 一生に一度は行きた い! 世界のアーツ スポット PART 6 アーティストがたど り着く聖地[アンリ ・マティス]	林 洋子	〃	1005
純粋なる芸術 アー ル・ブリュットの世 界 ラックスミ・ダ ス・マガイヤ「日本 の川のイメージより」	中村 政人	東京夕刊	10.29	修士論文概要 アン リ・マティス《川辺 の浴女たち》をめぐ って 絵画と彫刻の 成立と背景	古賀 公子	早稲田大 学大学院 文学研究 科紀要	59
アニメーションの概 念はいかにして確立 されたか—1950年代 におけるノーマン・ マクラレンの受容を 中心に	西村 智弘	多摩美術 大学研究 紀要	28	美の美 大戦下 画 家たちの南フランス 上、中、下[アンリ ・マティス]	窪田 直子	日 経	1.5、12、 19
第67回全国大会研究 発表要旨 ルネ・マ グリットの印象派的 作品群(一九四〇年 代)における墓の形 象—《彼岸》(一九三 八年)との関連につ いて—	吹田 映子	美術史	177	第67回全国大会研究 発表要旨 「モニエ 街」連作にみるマネ のレアリスム—近代 都市パリとその社会 への画家の眼差し— [エドゥアール・マ ネ]	松田冬桜子	美術史	177
ART TOPICS ルネ ・マグリット展			日 経 4.10	SPECIAL FEATURE 世界一受けたい! 印 象派の授業 1時間 目 美術史 過激で 自由! 印象派の先輩 マネからはじめる美 術史入門[エドゥア ール・マネ]	三浦 篤	美術手帖	1008
ブルース・マクレー ン「1日だけの王様」 リスト訳出及び解題	渡部 葉子 ローザ・フ アン・ヘン スパーゲン	慶応義塾 大学アー ト・セン ター年報	21	105年ぶりマネの「春」 来月5日、NYでオ ークション	黒沢 綾子	産 経	10.16
SPECIAL FEATURE 「あなたの肖像—工藤 哲巳回顧展」 CASE STUDY 2 ポール ・マッカーシーとマ イク・ケリーへの影 響 工藤哲巳は冷酷 無比な科学者	飯田 高誉	美術手帖	999	美の美 安井とセザ ンヌ 上 激動のバ リで自由に学ぶ 革 新的な画風、日本で 波紋[エドゥアール ・マネ]	小川 敦生	日 経	6.1
学問の図像とかたち 158 思考の模型 次代の表現[チャー ルズ・レニー・マッ キントッシュ]	松本 文夫	U P	496	シリア 廃材で巨大 壁画 「戦争下でも 子ども笑顔に」[モ アファク・マフル]		東京夕刊	5.19
INFORMATION ス ティーフ・マック イーンが描く奴隷制 度の真実。映画『そ れでも夜は明ける』	住友 文彦	美術手帖	1002	廃材壁画「子供に笑 顔を」 内戦下のシ リア 面積最大でギ ネス認定[モアファ ク・マフル]		日経夕刊	〃

美の美 第1次大戦と青騎士の画家たち上、中、下[フランツ・マルク]	小川 敦生	日 経	10.19、26、11.2	美の美 三島由紀夫のローマ 上 滅びゆく古典美への哀惜青年を捉えた官能と均整[ミケランジェロ・ブオナローティ]	干場 達矢	日 経	4.27
換骨奪胎 ホンマタカシの映像リテラシー 5 運動:マレーからデュシャン、リヒターへ[エディエンヌ=ジュール・マレー]	ホンマタカシ	芸術新潮	771	作品紹介 ジョブジスモンダ クオ・ヴァディス[アルフォンス・ミュシャ]	A.O. H.N.	ミュシャ・ミュージアム・ニューズ*	3
シンポジウム ヴェルサイユ宮とその芸術 建築家フランソワ・マンサール、そして、J・アルドヴァン・マンサールとヴェルサイユ宮の芸術	クロード・ミニョ 小林亜起子 通訳・要約	日仏美術学会会報	33	World Berlin 「ミュシャ・マンガ・ミステリー アルフォンス・ミュシャの画期的なグラフィック」展 ベルリンの観客も興味津々 ミュシャとマンガの深い関係	かないみき 取材	芸術新潮	771
第67回全国大会研究発表要旨 マンテーニャ作《夫婦の間》再解釈―ヘラクレス神話受容にみるフィレンツェへの対抗心―[アンドレア・マンテーニャ]	小松原 郁	美術史	177	研究ノート 《同胞のスラヴ》 総合芸術家としてのアルフォンス・ムハ[アルフォンス・ミュシャ]	小野 尚子	西洋美術研究	18
ニューヨーク・ダダにおけるオブジェ・ポートレート―マルセル・デュシャン、マン・レイ、エルザ・フォン・フライターク=ローリングホーフエン	宮内 裕美	鹿島美術財団年報・別冊	31	ニコードイム・コンダコフとアルフォンス・ミュシャ	高 晟峻	新潟県立近代美術館研究紀要	13
「指標的類似」、「類像的類似」から考察するシュルレアリスム写真とマン・レイのレイオグラフ	木水 千里	美学	245	特集 英国ヴィクトリア朝美術の陶酔[エクスタシー] ラファエル前派から唯美主義まで 恋愛なくして芸術は生まれない[ジョン・エヴァレット・ミレイ]	編集部	芸術新潮	770
(ミ)				特集 ラファエル前派 PART 1 ラファエル前派徹底解剖 主要作品解説 《オフィーリア》に見るラファエル前派の特徴[ジョン・エヴァレット・ミレイ]	山口恵里子 解説	美術手帖	1001
ミース・ファン・デル・ローエの建築理念としての「オーダー」[ルートヴィヒ・ミース・ファン・デル・ローエ]	佐野 潤一	日本建築学会計画系論文集	696	美のことごと 8 ミレーの人と作品をめぐって[ジャン=フランソワ・ミレー]	中野 中	美術屋・百兵衛	30
ミース・ファン・デル・ローエによるITTキャンパスの作品における「オーダー」と黄金比	〃	〃	703	生誕200年 ミレー再発見 上、中、下	富川 匡司	日 経	11.23、30、12.7
連載 フレスコ八景 第八景[ミケランジェロ・ブオナローティ]	宮下 孝晴	フレスコ壁画研究センターニュース*	8	蟲たちのカーニヴァル―桂ゆきとミロをめぐって―[ジョアン・ミロ]	関 直子	東京都現代美術館年報・研究紀要	16
教皇ウルバヌス8世とミケランジェロの《ピエタ》をめぐって	佐藤 仁	成城美学美術史	20	収蔵作品から ヘンリー・ムーア《ふたつのかたちによる横たわる人体:2重円》	麻生 恵子	ど お む	121
特集 今あらためて巨匠に学ぶデッサンの技 私の好きなデッサン ミケランジェロ	中山 忠彦	美術の窓	364				

本づくし「真実を突いた言葉たち」『ムナーリのことば』ブルーノ・ムナーリ著、阿部雅世訳	安積 朋子	A X I S	172	SPECIAL FEATURE 世界一受けたい！印象派の授業[クロード・モネ]	〃	1008
美博ピックアップ 出光美術館 ムンク展示室[エドワード・ムンク]	塩見 圭	朝日夕刊	11.26	2時間目 科学 絵画制作の秘密を科学の力で解き明かす	菅野 晶	
小説家 平野啓一郎が見た美術展「エドヴァルド・ムンク版画展」	平野啓一郎	日 経	2.13	修学旅行1 モネが描いた景色を旅する	編集部	
(メ)				モネ 風景画を超えた地平へ 実験の軌跡	増田 愛子	朝日夕刊 2.26
ART TOPICS メイプルソープに光[ロバート・メイプルソープ]		日 経	1.9	モネさん、これは晩秋の朝ですね？ 米学者ら太陽の位置などから日時推定	小池 竜太	〃 9.10
カバーインタビュー アルベルト・メダ	上條 昌宏	A X I S	172	美術評「モネ 風景を見る眼」展 水面に異なる力の混在	古谷 利裕	東京夕刊 1.10
入門講座 絵を買う人々 3 17世紀オランダ市民 日常描く画家育てる[ハブリエル・メッツ]	中野 京子	日経夕刊	5.15	美の美「水」の生命力 下 静寂と反射 景色も空も光も吸い込み 鏡面が描き出す心の風景[クロード・モネ]	富田 律之	日 経 2.23
二〇一二年度同志社大学大学院修士論文 梗概 メムリンク作《グレフェラーデ祭壇画》—磔刑圖像の生成とドイツ的特質—[ハンス・メムリンク]	糸井 彩佳	美術芸術学	29	特集 英国ヴィクトリア朝美術の陶酔[エクスタシー] ラファエル前派から唯美主義まで 恋愛なくして芸術は生まれない[ウィリアム・モリス]	編集部	芸術新潮 770
(モ)				ウィリアム・モリスと大槻憲二	勝俣 好充	純心人文研究 20
史料紹介と研究 モーザー(Moser)コレクション写真について(二)—ウィーン万国博覧会関係写真[ミヒャエル・モーザー]	谷 昭佳	東大画像史料解析センター通信*	65	ウィリアム・モリスの書物論の構造 アーツ・アンド・クラフツ運動における生命論の一元流として	杉山 真魚	日本建築学会計画系論文集 699
注目の作家 Ph・モーリッツ モーリッツ頌[フィリップ・モーリッツ]	松浦 寿輝	版画芸術	163	秘められた録音—ロバート・モリス《作られたときの音がする箱》	金子智太郎	東京芸術大学美術学部紀要 52
WORLD NEWS ロンドン 若手健闘のドイツ・ベルゼ写真賞に大御所活躍のデート・ブリテン、コミッション展[リチャード・モス]	伊東 豊子	美術手帖	1006	ベルト・モリゾと日本美術(1)—扇・団扇のジャポニスムから1890年ビングの「日本版画展」まで	吉田 典子	近代 111
表紙の解説 クロード・モネ《睡蓮》	谷口 雄三	グリーンルーフ	76	ギュスターヴ・モローと浮世絵芸術	隠岐由紀子	ジャポニスム研究 34
SPECIAL FEATURE 一生に一度は行きたい！世界のアートスポット PART 1 憧れのアートスポット[クロード・モネ]	林 洋子	美術手帖	1005	新たななる審判図—ギュスターヴ・モロー作《展開を観想する大神オパン》について—	金岡 直子	フィロカリア 31

美の美 三島由紀夫 のローマ下死し てこそ永遠の生命理 夭折の青年に見た理 想[ギュスターヴ・ モロー]	干場 達矢	日 経	5.11	地球最後の日を予 兆する寓話、その 自然観	芦田みゆき 文 白坂 ゆり 構成		
ギュスターヴ・モロ ーの父ルイ・モロー の芸術論、趣味と、 その影響について	藤原 啓	美術史論 叢	30	特集 トーベ・ヤン ソン PART 3 芸 術家 トーベ・ヤン ソンを知る		”	”
ARTIST PICK UP ジョナサン・モンク	熊倉 晴子	美術手帖	1012	トーベ・ヤンソン 作品の変遷	ソインツ・ フリッツエ 解説 榎本 市子 構成		
(ヤ)				ヘルシンキ・アテ ネウム美術館「ト ーベ・ヤンソン」 展	榎本 市子		
特集 台北国立故宮 博物院 PART 3 アーティスト・研究 者が語る故宮 中国 美術と私 3 美術家 姚瑞中	岩切 滯	”	1007	「働け、そして愛 せよ」芸術と歩 んだ人生 トウー ラ・カルヤライネ インタビュー	編 集 部 構成		
芸術と科学のあいだ 7 NYの空、対の 均衡が消えた[ミノ ル・ヤマサキ]	福岡 伸一	日 経	3.30	トーベ・ヤンソン 年譜	山本 麻美 文・構成		
WORLD NEWS ベ ルゲン 政治的な歴 史の中で鼓動するヤ ン・ヘギユの個展開 催	かないみき	美術手帖	999	写真家・木之下晃 が語る トーベ・ ヤンソンの素顔	白坂 ゆり 聞き手・構 成		
日中を結ぶ職人の「技」 渋谷で「おとなのか がく」上映 反日デ モにも動じぬ 付録 作りの現場記録[テ オ・ヤンセン]		朝 日	5.8	トーベ・ヤンソン の手紙	榎本 市子 山本 麻美		
一〇〇年後のトーヴ ェ・ヤンソン―若き 芸術家の成型	富原 眞弓	思 想	1078	ムーミンの生の哲 学を物語る、絵画 の世界	橋本 優子		
特集 トーベ・ヤン ソン PART 1 フ ィンランドへの旅		美術手帖	1015	世界中に広まった もうひとつの「ム ーミン」	岸野 雄一		
海の孤島、クルー ヴ島[ハル]のサマ ーハウス	榎本 市子			「ねえムーミン」と 呼ばれ、彼は動き だした。	足立 守正		
ベッリング群島の 人々が語る トー ベ・ヤンソンが暮 らした日のこと				特集 トーベ・ヤン ソン 鈴木マサル インタビュー デザ イナーが表現するム ーミンの世界	榎本 市子	”	”
特集 トーベ・ヤン ソン PART 2 な ぜ世界中に愛されて いるの? 「ムーミ ン」の魅力		”	”	特集 ムーミンとト ーベ・ヤンソン	ユリイカ	649	
原画とともにたど る ムーミン物語	山本 麻美 文・構成			ポートと私	トーベ・ヤ ンソン 富原 眞弓 訳		
個の確立、仲間と のつながり	池田 文人 談 白坂 ゆり 構成			子ども/大人がは じめて出会うムー ミン物語	富原 眞弓、 川上 弘美 対談		
				トーヴェ・ヤンソ ンの絵本にみる子 ども時代と家族	レナ・コー レランド 酒井 もえ 訳		
				彫刻家の娘の絵本	寺村摩耶子		

フィンランド文学にみる複数の眼差し カレワラ、ヤンソン、そして現代作家へ	末延 弘子	トーベ・ヤンソン生誕100年 活発・多才 素顔明らかに「孤高」の芸術家像 広重の浮世絵好き	瀬崎久見子	日経夕刊	2.17
ちゃんと知りながら、へんなことをやる	大崎 清夏	popstyle vol. 416 ALL ABOUT ムーミン&トーベ・ヤンソン 童話の国を巡ろう	小間井藍子	読売夕刊	9.3
フィンランド、ムーミン紀行	森下 圭子	注目 DVD「ハル、孤独の島」「トーベとトゥーディの欧州旅行」子どものような好奇心		" "	" "
最後に始めた新しいこと トーベとトゥーリックの共同作業	リーッカ・タンネル 中丸 禎子 聞き手 森下 圭子 通訳	(ユ)			
北の孤島の家族の形 海、自分だけの部屋、モラン	中丸 禎子	特集 台北國立故宮博物院 PART 3 アーティスト・研究者が語る故宮 中国美術と私2 画家 袁旃	岩切 滯	美術手帖	1007
戦争から生まれたもの	北川美由季	WORLD NEWS ロンドン マーティン・クリードとUVA。演出の腕が冴える2つの盛大な個展[ユニテッド・ビジュアル・アーティスト]	伊東 豊子	"	1002
トーベとその時代 人物像とフィンランドの文芸史の視点から	五十嵐 淳	(ヨ)			
孤立し、消えていく ムーミン・シリーズとヤンソンの一般小説	杉江 松恋	現代水墨画作家手本集39 姚小全 月下美人	姚 小全	水墨画*	307
ムーミンと私の出会い	柴田ヨクサル	WORLD NEWS ウィーン 「デュシャン以降」のコンテンポラリー・アート 現実社会との仲介としてのオブジェクトを再考[アスガー・ヨルン]	かないみき	美術手帖	1014
闇から光へ トーベ・ヤンソンの画と筆致	祖父江 慎、西村ツチカ 対談	(ラ)			
画家/舫い綱[ペインター]の考察/鏡像[リフレクション] トーヴェ・ヤンソンの自己表象	ボウエル・ウェステイン 酒井 もえ 訳	海外アート infomaniac 8 Bath 温泉社交都市とキャンドルライト絵画[ジョゼフ・ライト]	前橋 重二	芸術新潮	772
アニメーションのムーミン谷	石井ゆかり	プレイリー・ハウスの生成システム フランク・ロイド・ライトの思索と制作	水上 優	日本建築学会計画系論文集	700
ファンタジー作家と画作のクロスオーバー トーヴェ・ヤンソンの『ホビット』挿絵再評価	伊藤 盡	学問の図像とかたち 167 思考の模型 模型の思考[フランク・ロイド・ライト]	松本 文夫	U P	505
トーベ・ヤンソン年表	中丸 禎子	芸術と科学のあいだ [フランク・ロイド・ライト]	福岡 伸一	日経	
ムーミン 平和がいね ヤンソン生誕100年 戦時生きた作者願ひ込める「大人向け」ショップ人気	渡辺 志帆 石原 孝			朝日夕刊	9.16
世界の文学 フィンランド「自分の居場所」求めて[トーヴェ・ヤンソン]	五十嵐 淳			東京夕刊	10.16

30	らせん建築、 流れゆく動線	9.7				(リ)		
31	建物と溪流の 滝が生む吸引力	9.14			PARIS 発 ヴェルサイ ユの李禹煥	安部 雅延	新美術新聞	1351
ART TOPICS	ライ トの住宅引っ越し	12.11	〃		WORLD NEWS ヴ ェルサイユ もの派 の巨匠、李禹煥が宮 殿に架ける虹、庭園 に掘る墓穴	村上 華子	美術手帖	1014
WORLD NEWS	ニ ューヨーク ハリケ ーン・サンディの悲 劇から1年 300人 以上が出品したチャ リティ展開催[ア ド・ラインハート]	1000	藤森 愛実	美術手帖	年1度の宮殿個展に 李禹煥 ベルサイユ に吹くノマドの風	建島 哲	朝日夕刊	7.23
特集	ビルディング ・エンヴェロップ ラカトン&ヴァッサ ル：生活を継ぐ	1660	アンドレア ス・ルビー	建築雑誌	ART TOPICS ヴ ェルサイユに新景[李 禹煥]		日 経	9.11
特輯	明治の彫刻 図版一 ウィンチェ ンツォ・ラグーザ 日本婦人	1426	河上 眞理	国 華	完璧を超える「無限」 ベルサイユ宮殿で李 禹煥展 人為尽くし た庭園に潜む自然	井上 晋治	読 売	9.25
Global News New	ヨコハマトリエンナ ーレ2014 SPECIAL 短期連載インタビュー 第3回 マイケル ・ラコウィッツ	1014	神谷 幸江 聞き手・文	美術手帖	巻頭特集 はずむ色 彩 配色・混色 ④ 技法講座 vol.35 技 法講座8 講師：李 志宏 混色を多用し た色面によるスケッ チ	李 志宏	美術の窓	370
Global News New	York マリア・ラス ニク94歳 老女パワ ー炸裂の虹色自画像	773	藤森 愛美 取材	芸術新潮	特集 気高く美しく 理想の女性像 外見 の再現に終わらない 品格の表現を	李 暁剛	美 術*	466
ジョルジュ・ド・ラ ・トゥール研究「盲 目のヴィエル弾き」 作品群に関して	44	谷口 依子	女子美術 大学研究 紀要	ARTIST PICK UP 李傑(リー・キット)	木村絵理子	美術手帖	1004	
第67回全国大会研究 発表要旨 ジョルジ ュ・ド・ラ・トゥール 作《いかさま師》と 《女占い師》への一考 察—カラヴァッジョ 作への挑戦という視 座より—	177	平泉 千枝	美術史	現代美術の歩き方 異論反論・現代美術 李傑にインタビュー 空間・ムード・距離 感	李 傑 談	美術の窓	366	
特集 今あらためて 巨匠に学ぶデッサン の技 私の好きなデ ッサン ラファエロ ・サンティ[ラファ エロ・サンツィオ]	364	中山 忠彦	美術の窓	Art Report in Asia 中国・最新アーティ スト事情第26回 李 曦 Li Xi	梶川 強	ギャラリ ー*	349	
学問の図像とかたち 160 思考の模型 内部からの革新[ア ンリ・ラブルースト]	498	松本 文夫	U P	Art Report in Asia 中国・最新アーティ スト事情第24回 中 国油絵界の次代を担 う作家たち[李繼开]	〃	〃	347	
三度の「発見」を経て —マルティン・ラミ レス、そのイメージ の源泉	15	加藤 絢	世田谷美 術館紀要	千宗屋の飲みたい茶 碗、点てたい茶碗 第5回 ルーシー・ リー黄釉「古月」	千 宗屋	芸術新潮	777	
横盗[よこと]り物語 —ヨコハマトリエン ナーレ奮闘記1[マイ ケル・ランディ]	776	森村 泰昌 談	芸術新潮	新刊紹介 ルーシー ・リー&ハンス・コ パー 二十世紀陶芸 の静かなる革新 監 修・責任編集 乾由 明	森 孝一	陶 説	732	
				寂聴さんの走馬灯モ ノ語り 第7回 ル ーシー・リーの白い 鉢(京都・寂庵)	瀬戸内寂聴	目の眼	452	

人と作品 パーナー ド・リーチー—暮らし を創る悦び—	鈴木 禎宏 紫 明	35	海外通信 @北京 粘土とぼかしの風景 絵巻 東洋的な風景 新視点で再構成[梁 碩]	多田 麻美	朝日夕刊	11.26	
第六十五回美学会全 国大会報告 発表要 旨 不機嫌な女、余 裕のない女—ロイ・ リキデンスタインの 一九六〇年代前半に おける女性表象につ いて	高久 馨 美 学	245	劉錦堂(王悦之)再考	羽田ジェシ カ	デアアルテ	30	
アンドレアス・リン ズ(リッツォス)作 「キリスト昇天」イコ ンの図像プログラム	益田 朋幸	早稲田大 学大学院 文学研究 科紀要	59	美の美 新印象派 点描の冒険 下 革 新技法 ベルギーに 衝撃 肖像画の伝統 と結びつく[マクシ ミリアン・リュス]	窪田 直子	日 経	9.21
WORLD NEWS ロン ドン1 ターナー 賞展30周年 映像に 音声に、グラスゴー 勢が健闘[ジェイム ズ・リチャーズ]	伊東 豊子	美術手帖	1016	換骨奪胎 ホンマタ カシの映像リテラシ ー 4 リュミエー ルと映像の自生性[ル イ・リュミエール/ オーギュスト・リュ ミエール]	ホンマタカ シ	芸術新潮	769
フラ・フィリップ・ リッピとブラート大 聖堂の内陣壁画—洗 礼者と聖ステパノの 組み合わせの図像と その歴史的・政治的 背景	渡辺 有美	芸術学	17	小倉正史の現代美術 講座 その13[リン ・イリン]	小倉 正史	ギャラリ ー*	348
展覧会評 「ドナテ ッロからリッピへ— ブラートの芸術工房」 展	桑原 夏子	〃	〃	デザイン季評 戦争 の記憶の表し方[マ ヤ・リン]	生井 英考	読 売	11.27
換骨奪胎 ホンマタ カシの映像リテラシ ー 5 運動:マレ ーからデュシヤン、 リヒターへ[ゲルハ ルト・リヒター]	ホンマタカ シ	芸術新潮	771	海外通信 @北京 粘土とぼかしの風景 絵巻 東洋的な風景 新視点で再構成[林 于思]	多田 麻美	朝日夕刊	11.26
On view ゲルハルト ・リヒターの二作 品について	浅沼 敬子	現代の眼	606	(ル)			
SPECIAL FEATURE 一生に一度は行きた い! 世界のアート スポット PART 6 アーティストがたど り着く聖地[ゲルハ ルト・リヒター]	かないみき	美術手帖	1005	世界のアート事情 ルアンパの気概— インドネシアアート 事情—	橋本 歩	美連協ニ ュース	124
幻の建築 unbuilt dreams 3 ダニエ ル・リベスキンド 記号に込められた想 い	光嶋 裕介	芸術新潮	775	マイケル・ルー 今 再び 天真爛漫!心 和むハッピーワール ド		美 術*	469
第67回全国大会研究 発表要旨 ディエゴ ・リベラの「パン・ アメリカ主義」—《こ の大陸にある北と南 の芸術表現の結婚》 (一九四〇)における メキシコ文明の表象 —	中山 龍一	美術史	177	カジュアル美術館 眠る二人の子供 ベ ーテル・パウル・ル ーベンス 小品の優 しいまなざし 自由 な筆運び 大作と違 う魅力[ピーテル・ パウル・ルーベンス]	森本 智之	東 京	7.20
				入門講座 絵を買う 人々 4 宮廷周辺 の貴族・教養人 誇 示する消費 芸術支 える[ピーテル・パ ウル・ルーベンス]	中野 京子	日経夕刊	5.22



Bonjour! Georges 第二十一～二十三話 [ジョルジュ・ルオー]	増	子	Shiodome Museum REVUE	23～25	講演会 日仏美術学 会講演会報告 共通 タイトル:『15世紀 から19世紀のヨーロ ッパ絵画における伝 統と革新—ファン・ エイクからルノワール まで』講演レジュ メ 第2部 「ル ノワールの色彩と技 法—絵画技法のフラ ンドル伝統とルノワ ールによる革新」[ピ エール＝オーギュス ト・ルノワール]	内呂 博之	日仏美術 学会会報	33
アルフォンス・ルグ ロによる裸婦像の生 成—《キュービッド とプシユケ》をめぐ って—	安藤	智子	国学院大 学紀要	52				
アルフォンス・ルグ ロとオーギュスト・ ロダン—イギリスで のロダン作品の普及 活動とC・アイオニ ディス・コレクション の形成をめぐって—	〃		美術史	176	SPECIAL FEATURE 世界一受けたい!印 象派の授業—修学旅 行2 画家たちを癒 した美しき風景を訪 ねる[ピエール＝オー ギュスト・ルノワ ール]	編集部	美術手帖	1008
ル・コルビュジエの インドが教えてくれ るもの 自由に満ち た建築の強さ 生の 喜びにこそ価値	伊東	豊雄	読 売	7.3	印象派を超えて 後 半期に注目 ポーラ 美術館「ルノワール 礼讃」展		産 経	3.6
西洋美術館3度目挑 戦 世界遺産推薦 コルビュジエ建築で			〃	9.12				
ちきゅう 時の散歩 インド ル・コルビ ュジエ in チャン ディガル 都市構造 人体イメージ	田原	徳容	読売夕刊	11.21	美の美 大戦下 画 家たちの南フランス 上 陽光あふれる芸 術の聖地 戦争の惨 禍暗い影を落とす [ピエール＝オーギ ュスト・ルノワール]	窪田 直子	日 経	1.5
換骨奪胎 ホンマタ カシの映像リテラシ ー 8 エド・ルシ ェとアーティストブ ック	ホンマタ	カ シ	芸術新潮	779	ぎゃらりいモール ポーラ美術館「ルノ ワール礼讃」から「髪 かざり」 ピエール ・オーギュスト・ル ノワール	工藤 弘二	読売夕刊	2.4
〈史料紹介〉 アメリ カ女性下士官が撮し た占領下の横浜 メ アリー・ルジェーリ ・コレクション[メア リー・キディ・ルジ ェーリ]	大西比呂志		国際交流 研究	16	ARTIST PICK UP スターリング・ルピ ー	後藤 桜子	美術手帖	1016
アンリ・ルソーと音 楽—《ワルト「クレマ ンス》》を巡って	遠藤	望	世田谷美 術館紀要	15	入門講座 絵を買う 人々 1 教会・信 心会 壮麗な世界、 信者を魅了[ファン ・バルデス・レアル]	中野 京子	日経夕刊	5.1
現在通信 From NEW YORK 個人スベー スの試み[ST・ルッ ク]	富井	玲子	新美術新 聞	1343	第26回「高松宮殿下 記念世界文化賞」受 賞者 絵画:マルシ ヤル・レイス氏 彫 刻:ジュゼッペ・ペ ノーネ氏 建築:ス ティーヴン・ホール 氏など5部門5名決 まる		新美術新 聞	1351
通信 J to A アジア へ「ハノイにて」 [ファミ・ルック]	青木	保	〃	1361				
オディロン・ルドン 作《キリスト》につ いての一考察—イメ ージのゆらぎにみる 多義性と両義性—	小田絵理子		関西大学 哲学	32	話の肖像画 世界文 化賞(絵画部門)受賞 者 マルシャル・レ イス 2 先端を行 った豊かな60年代	正木 利和 聞き手	産 経	9.9

(レ)

美の扉 アートは世界で通じる言葉 高松宮殿下記念世界文化賞 絵画部門 マルシャル・レイスさん	正木 利和 産 経	9.28	翻訳[レオナルド・ダ・ヴィンチ]	カルロ・デ ル・ブラー ヴォ 甲斐 教行 訳・註解	五浦論叢	21	
美の美 新印象派 点描の冒険 下 革新技法 ベルギーに衝撃 肖像画の伝統と結びつく[テオ・ファン・レイセルベルヘ]	窪田 直子 日 経	9.21	レオナルドの人間性 レオナルドとレオナルド派における岩窟モチーフの意味				
WORLD NEWS ニューヨーク 活況の現代美術オークションと物故・年記作家の見直しの動き[イレヌ・レイチェク]	藤森 愛実 美術手帖	998	レオナルド・ダ・ヴィンチ作《音楽家の肖像》再考—スフォルツァ宮廷との関わりから	小林 明子	東京都美術館紀要	20	
第67回全国大会研究発表要旨 十九世紀後半のセイレーン図像—フレデリック・レイトン《漁夫とセイレーン》を中心に	豊嶋 乃女 美術史	177	レオナルド・ダ・ヴィンチ「アンギアーリの戦い」の画稿タヴォラ・ドーリア Tavola Doria—Lotta per lo stendardo=戦旗をめぐる戦い	高草 茂	日伊文化研究	52	
美の美 三島由紀夫のローマ 上 滅びゆく古典美への哀惜 青年を捉えた官能と均整[グイド・レーニ]	干場 達矢 日 経	4.27	特集 今あらためて巨匠に学ぶデッサンの技 私の好きなデッサン レオナルド・ダ・ヴィンチ	中山 忠彦	美術の窓	364	
イリヤ・レーピンの絵画の特質について—《皇女ソフィヤ》と《新兵の見送り》を中心に	初山 昌夫 神奈川県立近代美術館年報	2012年度	ダビンチ作? 国内初公開へ 真作か否か…鑑定論争中 来年5月東京で	安齋 耕一朝	日	12.5	
美の美 「水」の生命力 上 流動と落下波に滝に飛沫に千変万化 動的リズム、生き生きと 葛飾北斎「諸国滝廻り 下野黒髪山きりふりの滝」[イリヤ・レーピン]	富田 律之 日 経	2.16	ダビンチ真作? 議論紛々 日本で長年眠った板絵 4「読ん」で知るアート 美術を楽しむコツ 「わからない」も立派な感想[レオナルド・ダ・ヴィンチ]	藤生 昭	朝日夕刊	5.23	
H. ハンターを施主とする建築 5 作品における A. レーモンドの設計手法に関する一考察—戦前期における施主と建築家の関係性に着目して—[アントニン・レーモンド]	伊藤 教子 日本建築学会計画文集	695	美の美 「水」の生命力 上 流動と落下波に滝に飛沫に千変万化 動的リズム、生き生きと 葛飾北斎「諸国滝廻り 下野黒髪山きりふりの滝」[レオナルド・ダ・ヴィンチ]	富田 律之	日 経	2.16	
キャンパス新発見 美しいチャペルに憧れ 東京女子大 チェコ出身建築家の傑作[アントニン・レーモンド]		日 経	8.4	芸術と科学のあいだ 17 鏡文字に込めた天才の思惑[レオナルド・ダ・ヴィンチ]	福岡 伸一	〃	6.8
惜別 デザイナー ヨーガン・レールさん 服や日用品に込めた自然への敬意	帯金 真弓 朝日夕刊	12.20	「白貂を抱く貴婦人」ダビンチ2度大幅描きかえ 仏研究者 透過度の異なる光で解明	宮川 裕章	毎 日	9.13	

レオナルド・ダビンチ研究 新たな一石のいない「白貂を抱く貴婦人」2度描きかえの謎 多角的考察が必要	宮川 裕章 高階 秀爾 岸 桂子 聞き手	〃	9.20	ふるさと再訪 石川・奥能登 4 移り住む外国人たち 珠洲焼、漆芸、食愛す [スーザン・ロス]	日経夕刊	4.26
アート・トーキング レオ・レオニ 「フレデリック」 専門家からひと言	長峰真奈美	日 経	1.9	抽象表現主義とカラー・フィールド・ペインティングの関係性をめぐって[マーク・ロスコ]	芦田 彩葵 鹿島美術財団年報・別冊	31
WORLD NEWS ベルリン 国の現状を映し出す ウクライナ人作家のグループ展[R. E. P(Revolutionary Experimental Space)]	河合 純枝	美術手帖	1010	第67回全国大会研究発表要旨 抽象表現主義の初期作品における神話的モチーフ―目と英雄―[マーク・ロスコ]	武笠由以子	美術史 177
十七世紀ヨーロッパ絵画の新しい影[レンブラント・ハルメンス・ファン・レイン]	齊藤 栄一	芸術学研究(明学)	24	論文要旨《博士》 マーク・ロスコ研究	芦田 彩葵	美術史論集 14
研究ノート レンブラントのスペクタクル 「受難」連作にみる「情念」の絵画化の射程	尾崎 彰宏	西洋美術研究	18	SPECIAL FEATURE 一生に一度は行きたい! 世界のアート スポット PART 6 アーティストがたどり着く聖地[マーク・ロスコ]	林 寿美	美術手帖 1005
第六十五回美学会全国大会報告 発表要旨 レンブラント「トビト記連作」における盲目性の表象	国清 景子	美学	245	特集 英国ヴィクトリア朝美術の陶酔[エクスタシー] ラファエル前派から唯美主義まで 恋愛なくして芸術は生まれない[ダンテ・ゲイブリエル・ロセッティ]	編集部	芸術新潮 770
古典探遊 多様な「われ」自画像で表す レンブラント×歌人・佐佐木幸綱	伊佐 恭子 聞き手	朝日夕刊	3.11	ロダン研究 IX―ブールデルのロダン― [オーギュスト・ロダン]	高橋 幸次	日本大学芸術学部紀要 59
越前和紙 レンブラント愛用? 福井県、調査結果心待ち		東京夕刊	4.17	アルフォンス・ルグロとオーギュスト・ロダン―イギリスでのロダン作品の普及活動とC・アイオニデイス・コレクションの形成をめぐって―	安藤 智子	美術史 176
オランダの「光の魔術師」 レンブラント越前和紙愛用? 福井県、調査に乗り出す		日経夕刊	4.21	美博ピックアップ 西山美術館[オーギュスト・ロダン]	中村茉莉花	朝日夕刊 7.16
入門講座 絵を買う人々 3 17世紀オランダ市民 日常描く画家育てる[レンブラント・ハルメンス・ファン・レイン]	中野 京子	〃	5.15	幻の女優 マダム・ハナコ[オーギュスト・ロダン]	大野 芳	東京夕刊
(ロ)				1 プロローグ ドナルド・キーンと三島との出会い		4.14
トゥールーズ=ロートレックとシュレのジャポニズム[アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック]	杉山菜穂子	鹿島美術財団年報・別冊	31	4 探索の旅 3 鷗外の誤算		4.17
美の季想 七夕に思う 「本を読む女」の誕生[アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック]	高階 秀爾	朝日夕刊	7.9	8 探索の旅 7 岐阜、そして英仏へ		4.23
				29 ロダンと花子 1 踊り子に夢中		5.27

平成26年定期刊行物所載文献(近/外ロ、ワ)

30	ロダンと花子 2 モデルへの誘 い	5.28	64	花子像の行方 6 手放したくは なかった	7.15	
31	ロダンと花子 3 不払いの末 解散	5.29	65	花子像の行方 7 彫刻の価値	7.16	
33	ロダンと花子 5 団十郎の姪!?	6.2	66	花子像の行方 8 どんでん返し	7.17	
34	ロダンと花子 6 日曜の昼食に 招待	6.3	67	花子像の行方 9 戦禍を越え今 に	7.18	
35	ロダンと花子 7 貴婦人のよう な生活	6.4	カール・ロットマン の『ギリシャ風景画』 サイクル(一)	大原まゆみ 芸術学研 究(明学)	24	
36	ロダンと花子 8 この顔だけは	6.5	SPECIAL FEATURE 一生に一度は行きた い! 世界のアートの スポット PART 6 アーティストがたど り着く聖地 COL- UMN 4 街の人々に 愛された闘争のシ ンボルを目撃する[サ イモン・ロディア]	廣 李果 美術手帖	1005	
37	ロダンと花子 9 アメリカに渡 る	6.6	デザイン・インダバ ー新しいアフリカを 築く3人のクリエイ ター[ジュリアナ・ ロディッチ]	中島 恭子 A X I S	169	
38	ロダンと花子 10 夫・吉川の吐 血	6.9	クリエイターズワー ク&ソウル エード リアン・ロペーロ	エードリア ン・ロペー ロ	” 171	
39	ロダンと花子 11 フラーにご用 心	6.10	アントニオ・ロベス へのインタビュー	森園 敦 成 聞き手・構 成 吉本 由江 通訳 豊田 唯 テキスト翻 訳	長崎県美 術館研究 紀要	6
40	ロダンと花子 12 皇帝ヨーゼフ の行幸	6.11	研究ノート クロー ド・ロランとボロー ニャ派の画家たちー 《エルミニアと羊飼 い》から考えるー	小針由紀隆	アマリリ ス	112
42	ロダンと花子 14 パリに戻る	6.13	現代美術の歩き方 異論反論・現代美術 榮榮&映里にインタ ビュー 関係性と存 在を表現する新たな 出発		美術の窓	371
43	ロダンと花子 15 裸になってく れないか	6.16				
44	ロダンと花子 16 フラーの意趣 返し	6.17				
47	ロダンと花子 19 資金援助を懇 願	6.20				
48	世界大戦 1 白鳥がマネージャ ー役に	6.23				
51	世界大戦 4 消えた彫刻	6.26				
55	世界大戦 8 関西出身の二人	7.2				
59	花子像の行方 1 狙われるロダ ン作品	7.8				
60	花子像の行方 2 ロダンとの約 束	7.9				
62	花子像の行方 4 大篝火籠を寄 贈	7.11				
63	花子像の行方 5 突然の客人	7.14				
				(ワ)		
			「抽象画家」ワイエス 再評価 米で企画展 「モダニズム、定義 広がっている」[アン ドリュエ・ワイエス]	山脇 岳志	朝日夕刊	10.29
			明治の細密工芸 驚 異の超絶技巧! 明 治工芸の匠たち コ ラム ワグネルと旭 焼[ゴットフリート ・ワグネル]	佐藤 一信	太陽(別冊)	217

現在通信 From NEW YORK 個人スペースの試み[ミッジ・ワトルズ]	富井 玲子	新美術新聞	1343
中国独自のスタイルで世界に対峙する孤高の建築家、王澐	サウザー美帆	A X I S	171
評 建築 12年ブリツカー賞受賞 中国・王澐の作品 国家と距離 地域や伝統意識	五十嵐太郎	毎日夕刊	4.2
レポート墨 王舒野展—分別なき世界・反造形の視覚		水墨画*	298
Art Report in Asia 中国・最新アーティスト事情第25回 貴州 作家事情[王榮植]	梶川 強	ギャラリー一*	348
作家自選作品集8 王俊宇瀟 《甲斐駒ヶ岳残雪》	王俊 宇瀟	水墨画*	299
作家通信 王俊宇瀟 水墨画普及活動の二十五年を振り返って	〃	〃	〃
現代水墨画作家手本集43 王俊宇瀟 酔芙蓉に誘われて…	〃	〃	307
from the World 交錯する2つのペルソナ「マルセル・ワンダース: ビンド・アップ」展	樋口 歩	A X I S	169

そ の 他		高麗美術館研究講座 ・抄録		高麗美術 館館報	97
美術関係者			朝鮮総督府博物館 から国立博物館へ —有光教—先生の 果たした役割—	吉井 秀夫	
日 本			朝鮮考古学を受け 継ぐ—有光教—先 生が遺したもの—	西谷 正	
	(ア行)		SPECIAL FEATURE アートのお仕事図鑑 STEP2 やりたいた 仕事に就くためには? 就職へのプロセスと 必要なスキル 時代 や地域性を生かした 展覧会をつくりたい 飯田志保子	内田 伸一	美術手帖 999
五輪とわたし 文化 や美術 魅力伝えたい 国立新美術館館 長 青木保さん	青木 保	日経夕刊	10.17		
読書の部屋 文化 と文明のあり方を考 える 文化庁長官 青柳正規氏	吉田 俊宏 聞き手	日 経	1.5		
生きる語る 赤レン ガ 妥協なき復元 「東京駅再建 厳し い要求は人々の思い の表れ」「建物を残 せば、また新しい物 語が生まれる」[赤井 祐二]	大沢 帝治	読 売	12.21		
東日本大震災3年 アートができること 「鎮魂と再生の祭り」 膨らむ構想 みちの くアート巡礼 赤坂 憲雄	西岡 一正	朝日夕刊	3.5		
SPECIAL FEATURE アートのお仕事図鑑 STEP2 やりたいた 仕事に就くためには? 就職へのプロセスと 必要なスキル 作家 の活動の場をつくり たい 芦立さやか	酒井 千穂	美術手帖	999		
「悪所」の美学—阿部 次郎『徳川時代の藝 術と社会』から—	神林 恒道	LOTUS	34		
キトラ壁画 東へ 2 研究のバトン 教え子へ[綱千善教]	今井 邦彦	朝日夕刊	1.7		
SPECIAL FEATURE アートのお仕事図鑑 STEP2 やりたいた 仕事に就くためには? 就職へのプロセスと 必要なスキル 地域 とアートをつなぎた い 甘利彩子	永峰 美佳	美術手帖	999		
父の遺志継ぎ 幻の 色復元 修復師の荒 木さん 職人のこだ わり伝える[荒木か おり]		東京夕刊	4.3		
第26回「倫雅美術奨 励賞」決まる 美術 史研究部門 田中修 二氏 美術評論部門 荒木夏実氏		新美術新 聞	1361		
				河野 元昭 聞き手 山口万里子 構成	国华清話 会会報 23
				若手起業家・石川康 晴は現代アートで岡 山をレバレッジ	芸術新潮 774
				特集 震災とミュー ジウム あいちトリ エンナーレ2013 震 災という主題	五十嵐太郎 R E A R 31
				COLLECTOR PICK UP 石川康晴 論 理性と創造性を兼ね 備える 未来を見据 えた戦略家	内田 伸一 美術手帖 1010
				巻頭特集 アートと 暮らそう コレクシ ョン上級者に聞く極 意 石鍋博子さん 家族の一員のように 暮らしの中に溶け込 むアート	美 術* 462
				特輯 石橋コレクシ ョン 日本近代洋画 篇 石橋コレクショ ンと日本近代洋画[石 橋正二郎]	森山 秀子 国 華 1425
				第二十四回秀明文化 基金賞贈呈式 ごあ いさつ	石丸 正運 秀明美術 21
				第二十三回秀明文化 賞贈呈式 ごあいさ つ	” ” ”
				SPECIAL FEATURE アートのお仕事図鑑 STEP1 トップラン ナーに聞く アート の仕事の魅力とは? アーティストと一緒 に作品をつくる YCAM InterLab 伊 藤隆之	内田 伸一 美術手帖 999

漆塗り 新境地 相性悪いプラスチックへ可能に 愛知の塗師 伝統×フィギュア [伊藤広之]	中野 祐紀	東京夕刊	11.18	大谷光瑞の業績—探検隊収集将来品をめぐって	片山 彰雄		
眼の人 井上正先生	安藤 佳香	伊 那	1039	農は国の本なり—二楽荘・南洋・トルコの 大谷光瑞と農業	エルダール・キュチュン ヤルチュン		
井上正先生を偲ぶ	櫻井 弘人	〃	〃	『図本叢刊』の刊行に関する研究 [大村西崖]	田中 伝	鹿島美術財団年報・別冊	31
先生からいただいた宿題—井上正先生を偲んで—	織田 颯行	〃	〃	大屋美那・国立西洋美術館主任研究員業績目録	川口 雅子 編	国立西洋美術館研究紀要	18
雲の上の学匠—追悼・井上正先生—	〃	〃	〃	岡倉覚三の英文著作—明治維新観を中心として [岡倉天心]	清水恵美子	五浦論叢	21
井上正館長の行基仏調査 立石寺・十一面観音像	林 英壽	〃	〃	映画「天心」を観て	河野 元昭	国華清話会会報	23
井上家と兄・井上正のこと	清水 好子	〃	〃	研究ノート フランス領インドシナにおける『東洋の理想』 『日本の覚醒』 『茶の本』 —ファム・クインの書評とその解題— [岡倉天心]			
On view 「EOS ART BOOKS」という書店—井上憲彦・靖子氏に聞く	井上 憲彦 井上 靖子	現代の眼	607	Preview 年末年始に楽しみたい芸術シネマ 天心 岡倉天心の生涯を描く		目の眼	448
ようこそ、新しい先生 今村信隆	今村 信隆	瓜生通信	63	岡倉天心による近世絵画の評価—大坂画壇に言及して—	中谷 伸生	LOTUS	34
ひと エキスパートたちとつくる「美しい仕事」 井村優三さん	井村 優三	美 術*	464	フェノロサ夫妻と岡倉覚三—再来日期、メアリー夫人の日記を中心に— (1) はじめに—フェノロサと岡倉	村形 明子	〃	〃
美術批評家・岩村透と初期社会主義(上、下)—大逆事件下の「美術と社会」—	今橋 映子	思想	1081、1082	中国をめぐる岡倉覚三の洞察と東邦協会—明治二六年の清末中国旅行について—	岡本 佳子	〃	〃
しごと図鑑 神社や寺の設計・建築 竹中工務店伝統建築対応チーム 上田忠司さん 最新技術を駆使、伝統守る	石塚由紀夫	日 経	7.5	ひと メセナ大賞のギャラリーを切り盛りする主任学芸員 岡部三知代さん	大西 若人	朝 日	12.29
惜別 元京都国立近代美術館長 内山武夫さん 「余白の美」 操る 京都画壇の生き字引	森本 俊司	朝日夕刊	5.24	信濃路の石仏 みな拝見 8万点の石造文化財調べ歩き、地域のため一念発起 馬頭観音に導かれて 墓盗つ人と誤解され 記録を図書館へ収蔵	岡村 知彦	日 経	3.7
巻頭特集 アートと暮らそう コレクション上級者に聞く極意 内山浩さん		美 術*	462	近代台湾における文人趣味と展示—尾崎秀真を中心に	邱 函妮	B I	7
月刊ギャラリー創刊25周年記念 小川英晴のアート縦横 No. 40 本物を見る目 見抜く目	浦上 小川 英晴	ギャラリ	345				
アートディレクター・太田英茂の仕事—戦後の活動を中心に—	渡辺 美保	長野県信濃美術館紀要	8				
特別企画 二楽荘と大谷探検隊—シルクロード研究の原点と隊員たちの思い		聚 美	13				

SPECIAL FEATURE  
アートのお仕事図鑑  
STEP2 やりたい仕事に就くためには？就職へのプロセスと必要なスキル 人々をつなぐ場づくりがしたい 長内綾子

白坂 ゆり 美術手帖 999

「和紙」無形文化遺産へ 細川紙・本美濃紙・石州半紙 ユネスコ補助機関登録を勧告 将来に「大きな責任」喜び語る3職人[川平正男]

毎日夕刊 10.28

(カ行)

SPECIAL FEATURE  
アートのお仕事図鑑  
STEP1 トップランナーに聞く アートの仕事の魅力とは？カイカイキキ 笠原ちあき

岡澤浩太郎 構成 " "

昭和戦前期における岸田日出刀の「建築計画」の講義方針とその理論的特質—講義原稿「建築計画論」(昭和12年)と東京帝国大学工学部講義要目の分析を中心として—

菊池惺堂とその家系 下田 章平 中国近現代文化研究 15

勝原大川 基三雄 日本建築学会論文系論文集 702

SPECIAL FEATURE  
アートのお仕事図鑑  
STEP1 トップランナーに聞く アートの仕事の魅力とは？森美術館 片岡真実

内田 伸一 " "

アート×地域活性 千葉・市原市で国際芸術祭を指揮 北川フラムさん 日本特有の現象 他と差別化必要

暮沢 剛巳 朝 日 4.8

片桐正夫先生の逝去を悼む

重枝 豊 建築史学 63

人間発見 アートで地方再生 1~5 アートディレクター 北川フラムさん

北川フラム 日経夕刊 8.25~29

追悼 加藤貞雄氏 茨城県近代美術館の舵取り

小泉 晋弥 新美術新聞 1343

巻頭特集 人類史上、最高のガラスアート ガレを集める。北澤利男(北沢美術館創設者)は、なぜこれほど「ガレを集める」ことができたのか？

岡野 或男 美術\* 464

SPECIAL FEATURE  
アートのお仕事図鑑  
STEP2 やりたい仕事に就くためには？就職へのプロセスと必要なスキル 海外のネットワークを生かしたい かないみき

島貫 泰介 美術手帖 999

埼玉「細川紙」、無形文化遺産に 文化若手が奮闘 デザイナーと仕事・海外に販路[久保孝正]

中里 宏 東京 10.29

古美術 明治の辛口取材帳 近畿一円の調査に密着、記者・金子静枝の足跡追う

竹居 明男 日 経 1.29

琉球大学附属図書館所蔵の鳩居堂熊谷信吉宛尚順書翰に関する文書学的考察

川島 淳 壺屋焼物博物館紀要 15

SPECIAL FEATURE  
アートのお仕事図鑑  
STEP2 やりたい仕事に就くためには？就職へのプロセスと必要なスキル 展覧会を技術で支えたい 金築浩史

島貫 泰介 美術手帖 999

一九六六年前後  
・神戸月見山界限 7  
・神戸/西宮 8

特集1 藤田美術館 白鶴美術館 関西の二大実業家が護った東洋の宝 藤田家・嘉納家 古美術を通じての交流を探る 二人の勾玉長者[嘉納治兵衛]

目の眼 457

インタビュー連載 原田マハ、美のパイオニアに会いに行く 2 小池一子

芸術新潮 776

特集 美の人—小林一三の心[小林逸翁]

淡 交 850

小林一三の茶の湯

仙海 義之

「ソツロン」について

狩野 博幸 同志社大学博物館学年報 45

宝塚歌劇一〇〇周年記念対談 小林一三先生を語る

植田 伸爾 轟 悠



らいふプラス トラベルナビ 逸翁が愛した町並み 大阪・池田市 阪急創業者の足跡たどる	海野 太郎	日経夕刊	8.13	棚橋源太郎先生の思い出	嶋崎 丞	ムゼイオン	59
フロントランナーよみがえる古の色彩 デジタル復元師・彩色家 小林泰三さん「色が宿れば時代の空気を感じることもできる」	進藤 健一	朝 日	5.24	人 肩の荷下りた館長退任[島田紀夫]		読 売	4.24
小林秀雄先生と壺	池田 雅延	陶 説	737	研究者紹介72 島津美子 技法材料からみる十九世紀の油彩画 アジアの壁画、そして日本の彩色資料	島津 美子	歴 博	185
追悼 近藤幸夫氏月に100件見て歩いた思い出	南條 史生	新美術新聞	1342	つながってます、東北芸術工科大学 風のようにやって来て、山形の魅力を褒め讃える	志村 直愛	瓜生通信	62
歴史資料課の窓から 近藤豊撮影写真資料		京都府立総合資料館だより	179	祝い事彩る藍木綿バリエーション展示 下重暁子さん「筒描き」紹介	内藤麻里子	毎日夕刊	8.12
(サ行)				琉球大学附属図書館所蔵の鳩居堂熊谷信吉宛尚順書翰に関する文書学的考察	川島 淳	壺屋焼物博物館紀要	15
遺品の思い出 斎藤忠さんの如来像	多可 政史	読売夕刊	7.12	酒器遣遺 白洲正子との思い出 唐津盃	青柳 惠介、白洲 信哉	目の眼	454
SPECIAL FEATURE アートのお仕事図鑑 STEP1 トップランナーに聞く アートの仕事の魅力とは？ ルイ・ヴィトン ジャパン 齋藤牧里	内山 宏泰	美術手帖	999	京ものがたり 白洲正子と木津川の十一面観音 山と水と体感する仏の心	大村 治郎	朝日夕刊	5.13
レポート墨 第64回 芸術選奨 文部科学大臣新人賞に佐藤志乃氏		水墨画*	302	鈴木博之先生を偲ぶ	中島 智章、横手 義洋	建築史学	63
気鋭新鋭 博物館や寺社のカビ対策 東京文化財研究所 佐藤嘉則さん	(辻)	読売夕刊	5.31	古い建築、都市に生かした 建築史家 鈴木博之さんを悼む	藤森 照信	朝日夕刊	2.12
新・学芸員の企画術 キュレーションの壺 第80回 川崎市岡本太郎美術館学芸員 佐藤玲子	斎藤 博美	ギャラリー*	348	建築史家・東京大名 誉教授 鈴木博之さん 都市の本質に迫る端正な剛腕	大西 若人	"	3.22
ミュンヘン 1914— 沢木四方吉の前衛美術批評	森山 緑	慶応義塾大学アート・センター年報	21	鈴木博之さん(建築史家) 闘病中も東京駅復元に尽力	窪田 直子	日経夕刊	3.28
「和紙」無形文化遺産へ 細川紙・本美濃紙・石州半紙 ユネスコ補助機関 登録を勧告 将来に「大きな責任」 喜び語る 3職人[沢村正]		毎日夕刊	10.28	孤独を恐れぬ情熱家 建築史家、鈴木博之氏を悼む	石山 修武	毎日夕刊	2.12
地域の宝 世界が認めた 和紙 無形文化遺産登録 喜ぶ地元「伝統継承」[沢村正]	中山 信勝、立松 将宏、江田 将宏	"	11.27	遺品の思い出 鈴木博之さんの文鎮	水戸部絵美	読売夕刊	7.26
はじめまして美術館	篠原 資明	国立国際美術館ニュース	205	SPECIAL FEATURE アートのお仕事図鑑 STEP2 やりたい仕事に就くためには？ 就職へのプロセスと必要なスキル 編集という手段で美術を表現したい 鈴木芳雄	内田 伸一	美術手帖	999
				須磨コレクションの返還歴—スペイン時代の友人ルイス・ニエトからの書簡をもとに—[須磨彌吉郎]	森園 敦	鹿島美術財団年報・別冊	31

		(夕行)			実験工房—アートの創造 —アートの創造 —実験工房と瀧口修造	湯浅 譲二	ARTLET	41
SPECIAL FEATURE アートのお仕事図鑑 STEP2 やりたい仕事に就くためには? 就職へのプロセスと必要なスキル 展覧会の魅力を多くの人に届けたい 平昌子	岡澤浩太郎	美術手帖	999		巻頭特集 アートと暮らそう コレクション上級者に聞く極意 武内竜一さん 自分のスタイルとは違うアートが新しい発見をくれる		美術*	462
特別対談 高階秀爾×原田マハ「美術史とミステリーには共通点がある」		芸術新潮	770		第26回「倫雅美術奨励賞」決まる 美術史研究部門 田中修二氏 美術評論部門 荒木夏実氏		新美術新聞	1361
リーダーの本棚 日本のあり方、複眼的に 大原美術館館長 高階秀爾氏	高階 秀爾 中野 稔 聞き手	日 経	6.1		逝きて甦れず—田中淡氏追悼	藤井 恵介	建築史学	62
SPECIAL FEATURE アートのお仕事図鑑 STEP2 やりたい仕事に就くためには? 就職へのプロセスと必要なスキル 地域の中でアートの価値を示したい 高田彩	白坂 ゆり	美術手帖	999		酒器を愛した偉人たち 3 田中丸善八	白洲 信哉	目の眼	448
追悼 高津伊兵衛氏を偲んで	長井 裕子	浮世絵芸術	168		棚橋源太郎先生の思い出	嶋崎 丞	ムゼイオン	59
手すき技術つないで「和紙」無形遺産決定 細川紙 人材育成訴え[鷹野禎三]	中里 宏	東京	11.28		巻頭特集 アートと暮らそう コレクション上級者に聞く極意 田野口巖さん		美術*	462
「和紙」無形文化遺産へ 細川紙・本美濃紙・石州半紙 ユネスコ補助機関 登録を勧告 将来に「大きな責任」喜び語る 3職人[鷹野禎三]		毎日夕刊	10.28		ひと アーティストの創造力[クリエイティビティ]で新たなスキームと、未来をつくる 田村吾郎さん	田村 吾郎	「	465
地域の宝 世界が認めた 和紙 無形文化遺産登録 喜ぶ地元「伝統継承」[鷹野禎三]	中山 信勝 立松 将宏 江田	「	11.27		連載 奇想の発見 ある美術史家の回想 第19回 完 定年後の転々 その二	辻 惟雄	芸術新潮	769
「和紙」無形文化遺産に ユネスコが11月登録へ「石州半紙」「本美濃紙」「細川紙」地元自治体 祝賀ムード「技術者に大きな励み」 埼玉・東秩父の鷹野さん		読売夕刊	10.28		人生の贈りもの 美術史家 辻惟雄 1 ~4	辻 惟雄 増田 愛子 聞き手	朝日夕刊	3.17~20
浮世絵図鑑 江戸文化の万華鏡 高橋誠一郎とそのコレクション	樋口 一貴	太陽(別冊)	214		この人 アイヌの伝統衣装研究で博士号 津田命子さん	渡辺 清香	東京	11.27
巻頭特集 アートと暮らそう コレクション上級者に聞く極意 インタビュー 高橋龍太郎氏に聞く	編集部	美術*	462		特集 堤清二/辻井喬 西武百貨店からセゾングループへ… 詩人経営者の戦後史 都市を仕立てる 文化—資本の(場)としての渋谷	吉見 俊哉、 北田 暁大 対談	ユリイカ	640
交遊抄 ひばりさん [鷹山ひばり]	高田 邦洋	日 経	11.6		特集 堤清二/辻井喬 西武百貨店からセゾングループへ… 詩人経営者の戦後史 尽き果てぬ詩語をもって		「	「
					ゆとり、ゆりもどし	藤井 貞和		
					特叙事詩としての 堤清二 辻井喬へのオマージュ	建昌 哲		

緑色の、双頭の、蛇？ 堤清二さんをおくる	小林 康夫	百貨店という箱庭 西武百貨店とリプロの入れ子構造	中村 文孝 田口久美子 聞き手				
自伝詩へのアクセスポイント 辻井喬のボエジーを読む	水無田気流	インフラについて (身体)を取り戻す	松浦 寿夫 宮沢 章夫				
辻井様宛の秘密文書	今唯ケンタロウ	セゾン文化財団とわたし	岡田 利規				
特集 堤清二/辻井喬 西武百貨店からセゾングループへ… 詩人経営者の戦後史 ふたつの肖像	〃 〃	特集 堤清二/辻井喬 西武百貨店からセゾングループへ… 詩人経営者の戦後史 ひとつの帰着点		〃	〃		
1984 モスクワ	小池 一子	「裏切り」の瘡蓋をはがす営み 「戦後知識人」としての辻井喬	成田 龍一				
表に堤清二、裏には辻井喬。	浅葉 克己	堤清二における「伝統」と血のメーデー事件	千野 帽子				
経営の詩人	日暮 真三	経営者としての堤清二 幻想殺しのための三章	飯田 一史				
カリスマそして知の巨人	林 真理子	交遊抄 退職のはなむけ	勅使河原純 日 経			3.4	
最後まで堤清二でいてほしかった	水野 誠一	本江邦夫の「今日は、ホンネで」 第71回 東京オペラシティアートギャラリー名誉館長 寺田小太郎	寺田小太郎、 本江 邦夫 美 術*			462	
捨て身の生涯の回顧 堤清二氏の他界を悼んで	由井 常彦	当津武彦先生を追悼する	森谷 宇一	フィロカリア			31
堤清二という志士	難波 英夫	訃報 本学創立者 徳山詳直学園長(前理事長)					63
堤清二=辻井喬・ところどころ	八木 忠栄	新・学芸員の企画術 キュレーションの壺 第79回 北海道立三岸好太郎美術館学芸員 苦名直子	編集部	ギャラリー*			346
堤清二とオーラル・ヒストリー	御厨 貴						
朝鮮高校での辻井喬	四方田犬彦						
特集 堤清二/辻井喬 西武百貨店からセゾングループへ… 詩人経営者の戦後史 不易流行	〃 〃						
消費の超克—堤清二と増田通二の街づくりをめぐる	三浦 展 南後 由和 聞き手						
「社会」を語る文体とセゾンの広告 「作者の死」と糸井重里の居場所	加島 卓						
時代に衣裳をまとう わせる 堤清二は日本モードに何をもたらしたのか	成実 弘至	論文 鈴木春信の幻想曲—永井荷風美術批評における比喩としての〈音楽〉をめぐる—	林 信蔵	大正イマジユリイ			9
ファッション・ブランドと堤清二 西武百貨店SEED館が示すもの	田中 里尚	発表要旨 第十回全国大会・第二十八回研究会 荷風における比喩としての「音楽」—『江戸芸術論』を手がかりとして—	〃	〃	〃		
空中庭園をあとにして	小沼 純一	華麗な人 コンコン鑑定 いい仕事 指お宝を見抜く一瞬の技 古美術鑑定家 中島誠之助さん 中島さんへ ありがとう	中島 秀憲	朝日夕刊			4.3
特集 堤清二/辻井喬 西武百貨店からセゾングループへ… 詩人経営者の戦後史 “文化事業”の相克	〃 〃						

(ナ行)

絵画鑑賞の楽しみ 中野京子さんに聞く 歴史を知れば見方も 変わる	渋沢 和彦 産 経	3.13	SPECIAL FEATURE アートのお仕事図鑑 STEP1 トップラン ナーに聞く アート の仕事の魅力とは? Take Ninagawa 蜷 川敦子	内田 伸一 美術手帖	999
本会顧問 中野玄三 先生の御逝去を悼ん で	中野 亨 史迹と美 術	847			
新・学芸員の企画術 キュレーションの壺 第84回 博物館明治 村主任学芸員 中野 裕子	斉藤 博美 ギャラリ ー*	356		(ハ行)	
新・学芸員の企画術 キュレーションの壺 第83回 東京都美術 館事業係長 中原淳 行	" "	354	「橋本コレクション 指輪」展 寄贈者・ 橋本貫志さんの思い 持ち主の歴史秘めた 遺物	橋本 貫志 東京夕刊	7.23
特別連載 「中原祐 介を読む」を読む	島田浩太郎 美術手帖		日仏文化協力90周年 インタビュー 日動 画廊副社長 長谷川 智恵子さんに聞く一 日仏文化協力への思 い	新美術新 聞	1343
第8回 新しい「て わざ」を求めて		1000			
第9回 虚と実一 入り交じる(飛行 感覚)		1002	しごと図鑑 美術館 を支える学芸員 東 京都現代美術館 チ ーフキュレーター 長谷川祐子さん 研 究・管理…展示の演 出も	鈴木 康浩 日 経	3.8
明日を呼ぶ私の記憶 批評の役割を考える 1~3	中村 英樹 アートペ ーパー	95~97			
月刊ギャラリー創刊 25周年記念 小川英 晴のアート縦横 No. 49 現代美術に手厳 しい一石を投じる名 古屋覚の生き方	名古屋 覚、 小川 英晴、 対談	ギャラリ ー*	特集 もっとと素敵に ジャポニスム なぜ 日本文化は世界で人気 なの? special issue 教えて! ジャポニス ム column 1 キー ・パーソンはこの人 たち! [林忠正]	宮崎 解説 克己 芸術新潮	775
美のことごと 6、 7 漱石の絵と「自 己表現」(中、下)[夏 目漱石]	中野 中 美術屋・ 百兵衛	28、29	原三溪 お宝売却し てた	長谷 義隆 東京夕刊	11.13
新・学芸員の企画術 キュレーションの壺 第82回 台東区立書 道博物館主任研究員 鍋島稲子	斉藤 博美 ギャラリ ー*	352	顔 アート写真を展 示販売するフェアを 東京で開く 原田知 大さん	鈴木 竜三 読 売	10.1
地域の宝 世界が認 めた 和紙 無形文 化遺産登録 喜ぶ地 元「伝統継承」[西田 誠吉]	中山 信 立松 勝 江田 将宏	毎日夕刊	SPECIAL FEATURE アートのお仕事図鑑 INTERVIEW 原田 マハに聞く アート を支えるもうひとつ の方法	内田 伸一 聞き手・文 美術手帖	999
人間発見 彩り豊か な未来を描く 1~ 5 サクラクレパス 会長 西村貞一	西村 貞一 日経夕刊	10.6~10	新・旧刊案内57、58 土方定一年譜II、III	青木 茂 一 寸	57、58
SPECIAL FEATURE 『かぐや姫の物語』の 衝撃。 MAKING 製作現場の挑戦 プロ デューサー STAFF INTERVIEW 05 西 村義明	石井 芳征 聞き手・構 成	美術手帖	第34回(2013年度)ジ ャポニスム学会賞 廣瀬緑氏	ジャポニ スム研究	34
生きる 奈良と仏教 と私上 博物館か ら大学へ 過去、今、 そして未来学ぶ	西山 厚 東 京	5.3	小特集 ネーデルラ ント美術紀行 フェ ルメールおたく 本 家本元からお声がか かる	福岡 伸一 芸術新潮	777
			顔 キトラ古墳壁画 の内部を電磁波で調 査した 福永香さん	多可 政史 読 売	5.17

インタビュー連載 原田マハ、美のバイ オニアに会いに行く 1 福原義春		芸術新潮	774						(マ行)			
福原義春の道しるべ をさがして 私の「写 真人生」		朝 日	10.25						追悼 松井英男・晴 江ご夫妻の思い出	佐藤 悟	浮世絵芸 術	168
本物の美には命が宿 る「生」に触れて感 受性磨く 資生堂名 誉会長 福原義春さ ん	干場 達矢 聞き手	日経夕刊	4.2						巻頭特集 アートと 暮らし コレクシ ョン上級者に聞く極 意 松村宗亮さん 現代の数寄者たちの 感性が集う今様の茶 道		美 術*	462
企業メセナ協・福原 会長が退任 社会へ 「お返し」多様な形	井上 晋治	読 売	4.3						美術資料をめぐる回 想 松本武氏に聞く	谷口 英理、 伊村 靖子、 長名 大地 聞き手	NACT Review*	1
Re view 「現代」に おけるコレクターに ついて一宮津大輔氏、 藤城里香氏に聞く	保坂健二朗 文・構成	現代の眼	608						インタビュー連載 原田マハ、美のバイ オニアに会いに行く 3 馬淵明子		芸術新潮	780
ひと 100年ぶりの 正倉院の大規模修理 を指揮した 藤沢雅 人さん	上栗 崇	朝 日	11.25						館長の作家対談 ゲ スト 馬淵明子	菅野 昭正 聞き手	世田谷文 学館ニュー ース	57
特集1 藤田美術館 白鶴美術館 関西の 二大実業家が護った 東洋の宝 藤田家・ 嘉納家 古美術を通 じての交流を探る 二人の勾玉長者[藤 田傳三郎]		目の眼	457						郷土玩具蒐集家の時 代一船健之助の活動 と京都府所蔵「船コ レクション」から一	橋本 章	朱 雀	26
ひと 京都に現代美 術の工芸ギャラリー 『舂居』を開廊した 藤田裕一さん	藤田 裕一 談	美 術*	467						第1回(2013年度)ジ ャポニスム学会奨励 賞 三谷理華氏		ジャポニ スム研究	34
SPECIAL FEATURE アートのお仕事図鑑 STEP2 やりたい仕 事に就くためには? 就職へのプロセスと 必要なスキル 国境 を越えてアートシー ンを盛り上げたい 藤高晃右	島貫 泰介	美術手帖	999						源豊宗の漢画研究に ついて一宋元絵画の 日本化にいたる経緯 を中心に一	施 燕	東アジア 文化交渉 研究	7
清く正しく自然な照 明 美術館照明のプロ が教える 1〜12	藤原 工	目の眼	448~459						交遊抄 カラヴァッ ジョ	宮下規久朗	日 経	11.1
現代鍛冶技法の保存 調査報告 その2 [舟弘]銘・船津祐司 の鑿制作	石社 修一	竹中大工 道具館研 究紀要	25						Re view 「現代」に おけるコレクターに ついて一宮津大輔氏、 藤城里香氏に聞く	保坂健二朗 文・構成	現代の眼	608
SPECIAL FEATURE アートのお仕事図鑑 STEP2 やりたい仕 事に就くためには? 就職へのプロセスと 必要なスキル アー トを社会に根付かせ たい 帆足重紀	白坂 ゆり	美術手帖	999						ひと 3Dプリンタ ーで「魔鏡」のなぞに 迫った 村上隆さん	佐藤 剛志	朝 日	4.19
多彩な色 墨作りに 熱 松を燃やしてス スを採る「松煙墨」 の製法復活	堀池 雅夫	日 経	5.8						ようこそ、新しい先 生 百々徹	百々 徹	瓜生通信	62
									森郁夫先生ご略歴〜 瓦博士と称される〜		帝塚山学 校考古学 研究所研 究報告	16
									エーテル三様一鷗外 美学のオカルティズ ム一[森鷗外]	日野 由希	国語と国 文学	1085
									構成的外部への理路 一森鷗外と識関下一	新井 正人	〃	1090
												(ヤ行)
									特集「民藝」		紫 明	35
									晩年の柳宗悦と古 丹波一その「自然」 をめぐる思索	松井 健		

柳宗悦の蒐集一眼の遍歴と美術館への夢	杉山 享司				「日本人作家をアジアに紹介したい」クリスティーズ・アジア社長に聞く[レベッカ・ウェイ]	黒沢 綾子 産 経	7.3
「師弟の縁」鈴木大拙と柳宗悦	猪谷 聡						
特集2 「민화(MINHWA)」と大津絵—(民画)という思想— 柳宗悦の(民画)観—大津絵を事例として—	入江 繁樹	大正イマジユリイ	9		特集 もっと素敵にジャポニスム なぜ日本文化は世界で人気なの? special issue 教えて! ジャポニスム column1 キー・パーソンはこの人たち! [ラザフォード・オールコック]	宮崎 克己 芸術新潮	775
歴史の証人 写真による収蔵品紹介 柳田國男が集めた石器と土器	設楽 博己	歴 博	187		CURATOR PICK UP ハンス・ウルリッヒ・オプリスト	村上 華子 聞き手・文 美術手帖	1005
文化財保存に大きく貢献した大和智さんの急逝を悼む	村田 健一	建築史学	63		ひと ラスコー洞窟壁画展の責任者 ベルナル・カソール	栗原 俊雄 毎 日	10.30
1,700点を買集めたコレクター 山本冬彦氏に18の質問	佐々木 豊 構成・質問	連盟ニュース	451		追想録 イブ・カルセルさん(元レイ・ヴィトン会長兼 CEO) 伝統・前衛 融合させ新風[イヴ・カルセル]	小林 明 日経夕刊	11.7
あの人に迫る 山領まり 絵画修復家 芸術の力を戻す 知的な知恵比べ	坂口 千夏	東 京	11.30				
SPECIAL FEATURE アートのお仕事図鑑 STEP2 やりたい仕事に就くためには? 就職へのプロセスと必要なスキル アーティストをプロデュースしたい 結城加代子	岡澤浩太郎	美術手帖	999		現在通信 From NEW YORK 豪州の先達 学究[ジョン・クラーク]	富井 玲子 新美術新聞	1332
(ワ行)					特集 観光立国ジャパン・ウィズ・デザイン 日本の魅力と歩き方 外国人クリエイターの視点 パトリシア・グラハム 混沌の中に感じられる文化	瀧口 範子 A X I S	172
交遊抄 カラヴァッジョ[若桑みどり]	宮下規久朗	日 経	11.1		戦後の在日欧米人ネットワーク—エリーゼ・グリリを中心に	桑原 規子 美術運動史研究会 ニュース	142
SPECIAL FEATURE アートのお仕事図鑑 STEP2 やりたい仕事に就くためには? 就職へのプロセスと必要なスキル ジャーナルを超えたものづくりがしたい 渡邊康太郎	岡澤浩太郎	美術手帖	999		特集 もっと素敵にジャポニスム なぜ日本文化は世界で人気なの? special issue 教えて! ジャポニスム column1 キー・パーソンはこの人たち! [エドモン・ド・ゴンクール]	宮崎 克己 芸術新潮	775
海 外					評論の眼 東日本大震災3周年 釜石はなぜ、サルトルの『嘔吐』に登場するのか [ジャン・ポール・サルトル]	ワシオ・ト シヒコ ギャラリー*	348
SPECIAL FEATURE アートのお仕事図鑑 STEP2 やりたい仕事に就くためには? 就職へのプロセスと必要なスキル 写真の面白さを新しい方法で広めたい アイヴァン・ヴァルタニアン	〃	〃	〃		視覚のタイムトラベル—ガートルード・スタイン、アルフレッド・パー Jr.、ドロシー・ミラーとともに	横山由季子 NACT Review*	1

進化を続けるアート バーゼル・マイアミ ビーチ INTERVIEW 01 マーク・スピー グラ	藤高 晃右 聞き手・文	美術手帖	1000	海外通信 @北京 ハンス・ファンダイ ク回顧展 中国現代 アート支えた企画者	多田 麻美	朝日夕刊	7.30
カレル・タイゲの 1930年代後半から 1940年代のシュルレ アリズム運動期の建 築思想の変遷と論稿 「自然と建築の序説」 に見る彼の晩年の建 築思想 カレル・タ イゲ研究(3)	岩澤 錠児 入江 正之	日本建築 学会計画 系論文集	701	INFORMATION ME- MORIAL 追悼 ヤ ン・フート	長谷川祐子	美術手帖	1004
INFORMATION ME- MORIAL 追悼 ア ーサー・ダント「芸 術の終焉」を唱えた 知の巨人	林 道郎	美術手帖	998	「画商・コレクター」 フェリックス・フェ ネオンの20世紀	北村 陽子	早稲田大 学大学院 文学研究 科紀要	59
「同時的なイメージ」 とは何かーエリー・ デュering講演から	武田 宙也	R E A R	33	特集 もっと素敵に ジャポニスム なぜ 日本文化は世界で人気 なの? special issue 教えて! ジャポニス ム column1 キー ・パーソンはこの人 たち! [アーネスト ・フェノロサ]	宮崎 解説 克己	芸術新潮	775
特集 もっと素敵に ジャポニスム なぜ 日本文化は世界で人気 なの? special issue 教えて! ジャポニス ム column1 キー ・パーソンはこの人 たち! [テオドール ・デュレ]	宮崎 解説 克己	芸術新潮	775	フェノロサ夫妻と岡 倉覚三ー再来日期、 メアリー夫人の日記 を中心にー(1)は じめにーフェノロサ と岡倉	村形 明子	LOTUS	34
視覚のタイムトラベ ルーガートルード・ スタイン、アルフレ ッド・パーJr.、ド ロシー・ミラーとと もに	横山由季子	NACT Review*	1	フェノロサの文学的 価値ー『漢字考』と能 楽論の芸術的文化史 的位置づけー	宗像 衣子	" "	" "
史料紹介 バイエル ン王子の日本美術論 ーバイエルン王子ル ープレヒト(1869年ー 1955年)著 『東アジ ア旅行回顧録』(1906 年)よりー[ループレ ヒト・フォン・バイ エルン]	柏 智久	東風西声*	9	GALLERIST PICK UP ブラム・アンド・ポ ー[ティモシー・ブ ラム]	内田 伸一	美術手帖	1014
ジョルジュ・バタイ ユ『マネ』における 「沈黙」の様相	井岡 詩子	美 学	244	例会・研究会発表要 旨 東部会 平成二 六年度第一回例会 物語の外在化と心の 表出ードレスデン探 訪に寄せて、ヘーゲ ルにおける絵画論の 成立を考えるー[ゲ オルク・ヴィルヘル ム・フリードリヒ・ ヘーゲル]	栗原 隆美	学 学	245
ロレンス・ビニョン と柳宗悦ーブレイク 研究者による比較文 化研究	佐藤 光	超域文化 科学紀要	19	GALLERIST PICK UP ブラム・アンド・ポ ー[ジェフリー・ポ ー]	内田 伸一	美術手帖	1014
特集 もっと素敵に ジャポニスム なぜ 日本文化は世界で人気 なの? special issue 教えて! ジャポニス ム column1 キー ・パーソンはこの人 たち! [ジークフリ ート・ピング]	宮崎 解説 克己	芸術新潮	775	進化を続けるアート バーゼル・マイアミ ビーチ INTERVIEW 02 ニコラス・ポー ム	藤高 晃右 聞き手・文	" "	1000
				ジャンバッティスタ ・マリーノ『ガレリア』 にみられるcapriccio	日塔理恵子	日伊文化 研究	52
				CURATOR PICK UP ジャン=ユベール・ マルタン	岡部あおみ 聞き手・文	美術手帖	1000









『心の流浪 挿絵画家・権島勝一』大橋博之著	横尾 忠則	朝 日	5.4	『写真講義』ルイジ・ギッリ著、萱野有美訳	近藤 亮介	美術手帖	1012
''	大日方公男	東 京	4.20	''	青木 淳	評 読 売	8.24
''		日 経	4.13	『写楽の深層』秋田巖著		日 経	2.23
『古鎮の光と風』多田碩佳著		''	2.16	『蒐集道楽 わが絵蒐[あつ]めの道』窪島誠一郎著		水 墨 画*	304
『ゴッホのひまわり 全点謎解きの旅』朽木ゆり子著		''	4.6	『酒飯論絵巻』の世界 日仏共同研究』阿部泰郎・伊藤信博編	千足 伸行	東 京	12.28
『小林一茶一時代を詠んだ俳諧師』青木美智男著	瀬戸口龍一	歴史評論	769	『少女マンガの世界 原画'(ダッシュ)10年の軌跡』竹宮恵子総合監修	吉間 仁子	国会図書館月報	642
『コンテンポラリー・アート・セオリー』筒井宏樹編、石田圭子・エレナ・フィリポヴィッチ・奥村雄樹・河田亜也子・沢山遼・星野太著	大森 俊克	美術手帖	1000	『〈肖像〉文化考』平瀬礼太著	下川 耿史	東 京	9.21
『こんな写真があったのか 幕末明治の歴史風俗写真館』石黒敬章著	臼田 捷治	書 道 界	295	''	安藤 礼二	日 経	9.28
『コンパクト建築設計資料集成 都市再生』日本建築学会編	山崎 亮	学 鏡	111-3	『少年少女 昭和SF美術館』大橋博之編著	須藤 靖	読 売	1.5
『最後の版元 浮世絵再興を夢見た男・渡邊庄三郎』高木凛著	山本ゆかり	浮世絵芸術	167	『情報社会の情念 クリエイティブの条件を問う』黒瀬陽平著	近藤 亮介	美術手帖	1002
『薩摩・朝鮮陶工村の四百年』久留島浩・須田努・趙景遠編	泊 次郎	U P	505	『尚友倶楽部所蔵 貴族院・研究会 写真集』千葉功監修、尚友倶楽部・長谷川怜編	栗原 俊雄	毎日夕刊	1.29
『シェアをデザインする 変わるコミュニティ、ビジネス、クリエーションの現場』猪熊純・成瀬友梨・門脇耕三編著	隈 研吾	朝 日	2.23	『書庫を建てる 1万冊の本を収める狭小住宅プロジェクト』松原隆一郎・堀部安嗣著	内澤 句子	朝 日	4.20
『視覚と心象の日本美術史 作家・作品・鑑賞者のはざま』古田亮著	中島 水緒	美術手帖	1014	『白洲正子 ひたすら確かなものが見たい』挾本佳代著	田中 優子	''	1.26
『視覚文化「超」講義』石岡良治著	高山 宏	日 経	8.10	『史料としての猫絵』藤原重雄著	本郷 和人	''	8.31
『死と復活「狂気の母」の図像から読むキリスト教』池上英洋著		芸術新潮	772	『新解さんの謎』赤瀬川原平著	森本 智之	東 京	12.29
『ジブリの世界を創る』種田陽平著		朝 日	8.31	『新国立競技場、何が問題か、オリンピックの17日間と神宮の杜の100年』楨文彦・大野秀敏編著	隈 研吾	朝 日	12.28
『写真家が捉えた昭和の子ども』木村伊兵衛他19人著	平松 洋子	読 売	10.19	『神社博物館事典』青木豊編	中村 浩	国学院雑誌	1287
『写真経験の社会史一写真史料研究の出版』緒川直人・後藤真編	葦名 ふみ	史学雑誌	123-4	『身体巡礼 ドイツ・オーストリア・チェコ編』養老孟司著	隈 研吾	朝 日	7.20
				『すゞしろ日記 武』山口晃著	平松 洋子	読 売	1.12

平成26年定期刊行物所載文献(他/書評)

『図説 人体イメージの変遷—西洋と日本 古代ギリシャから現代まで』坂井建雄著	佐倉 統 朝 日	4.20	『大仏はなぜこれほど巨大なのか 権力者たちの宗教建築』武澤秀一著	日 経	12.7
〃		東 京 6.1	『高島屋美術部百年史 1909—2010』高島屋美術部百年史編集室・講談社エディトリアル編	河合 将彦 国立国会図書館月報	643
『図説 滝と人間の歴史』ブライアン・J・ハドソン著	横尾 忠則 朝 日	2.23	『高山樗牛 歴史をめぐる芸術と論争』花澤哲文著	山本 良 国学院雑誌	1282
『水墨画競作シリーズ 墨技の発見 樹木を描く』日貿出版社編		水墨画* 303	『たのしい写真3 ワークショップ篇』ホンマタカシ著		芸術新潮 772
『「生活の芸術」と周作人 中国のデカダンス=モダニティ』伊藤徳也著	郷 双双 東北アジア研究	18	『旅のスケッチ トーベ・ヤンソン初期短篇集』トーベ・ヤンソン著、富原真弓訳	石井 敬 東京夕刊	6.14
『西洋近代の都市と芸術(2)・パリI 19世紀の首都』喜多崎親編	千足 伸行 東 京	12.28	『民のモラル—ホーガースと18世紀イギリス—』近藤和彦著	坂巻 清 立正史学	116
『西洋の書物工房』貴田庄氏著		日 経 3.9	『田村画廊ノート あるアホの一生』山岸信郎著		あいだ 210
『世界で一番美しい名画の解剖図鑑』カレン・ホサック・ジヤネス、イアン・ザクチェフ、イアン・シルヴァーズ著	市原 尚士 読売夕刊	11.19	『歴博フォーラム 民俗展示の新構築 地域開発と文化資源』国立歴史民俗博物館・青木隆浩編	俵木 悟 歴 博	182
『ゼロから始める 西洋絵画入門』田中久美子監修		東 京 11.16	『「地域歴史遺産」の可能性』神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター編	坂本 亮太 史学雑誌	123-10
『戦後日本住宅伝説 挑発する家・内省する家』五十嵐太郎監修	大西 若人 朝 日	8.17	『地下からの贈り物 新出土資料が語るいにしへの中国』中国出土資料学会編	本郷 和人 朝 日	8.10
『戦争という見世物 日清戦争祝捷大会潜入記』木下直之著	長山 靖生 東 京	1.12	『知覚を刺激するミュージアム—見て、触って、感じる博物館のつくりかた』平井康之・藤智亮・野林厚志・真鍋徹・川窪伸光・三島美佐子著	平井 康之 民博通信	146
『創造の狂気 ウォルト・ディズニー』ニール・ゲイブラー著、中谷和男訳	松本 博子 A X I S	170	『地球の音、地球の信号 芸術におけるエネルギーと地球的広がり』ダグラス・カーン著	中川 克志 美 学	245
『続・親鸞と真宗絵伝』小山正文著	松金 直美 同朋大学 仏教文化研究所報	27	『地球の細道』安西水丸著		読 売 10.2
『第一ポップ時代 ハミルトン、リクテンスタイン、ウォーホル、リヒター、ルジエー、あるいはポップアートをめぐる五つのイメージ』ハル・フォスター著、中野勉訳	中島 水緒 美術手帖	1006	『ちばてつやが語る「ちばてつや」』ちばてつや著		日 経 6.1
『大学生のための博物館学芸員入門』真家生・小川義和・熊野正也・吉田優編著	桑原 功一 地方史研究	371	『中国絵画入門』宇佐美文理著	白田 捷治 書 道 界	298
			〃		水墨画* 305
			〃		朝 日 7.20

〃		日 経	6.29	『伝説の映画美術監督たち×種田陽平』種田陽平著	種田 陽平 談 石飛 徳樹	朝 日	12.14
〃	張 競	毎 日	8.3				
〃	松山 巖	読 売	〃	『天体建築論 レオニドフとソ連邦の紙上建築時代』本田晃子著	青木 淳	読 売	4.27
『忠臣蔵 第七巻』浅野秀剛監修	服部 仁	浮世絵芸術	168				
『中世後期シエナにおける都市美の表象』片山伸也著	黒田 泰介	建築史学	62	『天皇アート論 その美、“天”に通ず』アライ=ヒロユキ著	北原 恵	あいだ	217
『関口欣也著作集1 中世禅宗様建築の研究』関口欣也著	鈴木 智大	〃	〃	『東欧のかわいい陶器』誠文堂新光社編	保坂健二郎	朝 日	5.11
『中世びとの信仰社会史』大喜直彦著	斉藤 研一	日本歴史	791	『東京ミキサー計画【ハイレッド・センター直接行動の記録】』赤瀬川原平著	藤森 照信	〃	12.7
『超芸術トマソン』赤瀬川原平著	藤森 照信	朝 日	12.7	『銅像時代』木下直之著	井上 章一	日経夕刊	5.7
〃	松尾 貴史	〃	12.14	『東大寺続要録』筒井寛秀監修、東大寺続要録研究会編纂・校訂	島山 聡	日本歴史	791
『つげ義春 夢と旅の世界』つげ義春・戌井昭人・東村アキコ・山下裕二著	原田 マハ	〃	11.23	『唐代龍門石窟の研究—造形の思想的背景について—』久野美樹著	倉本 尚徳	史学雑誌	123-12
〃		東京夕刊	10.12				
『ボーダー新書010 壺屋焼入門』倉成多郎著	後藤 修 評	陶 説	739	『東北地方太平洋沖地震被災文化財等救援委員会平成23年度活動報告書』東北地方太平洋沖地震被災文化財等救援委員会編	竹内 秀樹	国立国会図書館月報	636
『強く生きる言葉』岡本太郎著	玉井美由紀	A X I S	169	『東北地方太平洋沖地震被災文化財等救援委員会平成24年度活動報告書』東北地方太平洋沖地震被災文化財等救援委員会編	〃	〃	〃
『庭園のコスモロジー 描かれたイメージと記憶』小林頼子著		芸術新潮	772	『東京国立博物館 東洋館 東洋美術をめぐる旅』東京国立博物館編著		水墨画*	300
『帝国劇場100年のあゆみ 1911—2011』編纂委員会・東宝株式会社総務部編	都筑 志麻	国立国会図書館月報	639	『特講 漱石の美術世界』古田亮著	奥平 俊六	紫 明	35
『定本 誰でも描ける 馬の描き方』高橋英男著		水墨画*	298	『鳥居』谷田博幸著		日 経	3.30
『現代建築家コンセプト・シリーズ18 デザイン・イノベーションの振り子』田川欣哉ほか著	延岡健太郎	日 経	12.14	『日記で読む文豪の部屋』柏木博著	隈 研吾	朝 日	5.4
『デザインがイノベーションを伝える デザインの力を活かす新しい経営戦略の模索』鷺田祐一著	〃	〃	12.14	『日本インテリアデザイン史』鈴木紀慶・今村創平著	〃	〃	2.16
〃	〃	〃	12.14	『日本古代の国家と造営事業』十川陽一著	堀部 猛	日本歴史	791
『デザインマネジメント』田子學ほか著		〃	8.31	『日本古代の寺院・官衙造営—長屋王政権の国家構想』須田勉著	荒井 秀規	歴史評論	775
『デジタル人文学のすすめ』楊曉捷・小松和彦・荒木浩編	古賀 崇	アート・ドキュメンテーション通信	100	『日本写真史 上・下』島原学著	飯沢耕太郎	日 経	1.26
『寺山修司未発表詩集 秋たちぬ』寺山修司著、田中未知編	山内 則史	読 売	11.6				

平成26年定期刊行物所載文献(他／書評)

『日本の色の十二カ 月 古代色の歴史と よしか工房の仕事』 吉岡幸雄著	三浦しをん	朝 日	8.31	『反芸術アンパン』赤 瀬川原平著	藤森 照信	朝 日	12.7
『日本のデザイン』原 研哉著	上田 善弘	A X I S	168	『美 「見えないもの をみる」ということ』 福原義春著		水墨画*	303
『日本の美V 富士 山』高階秀爾監修		日 経	1.12	''		産 経	2.16
『日本美術史夜話』田 中 日佐夫著	中島 理壽	新美術新 聞	1363	''		東 京	4.20
『日本美術全集』辻惟 雄・泉武夫・山下裕 二・板倉聖哲編集委 員	増田 愛子 高階 辻 秀爾 惟雄	朝日夕刊	1.29	''		日 経	2.2
『日本美術における 「書」の造形史』笠嶋 忠幸著	臼田 捷治	書 道 界	290	『引き裂かれた絵の 真相 天折の天才 村山槐多の謎』村松 和明著		水墨画*	299
''		水墨画*	301	『ひこばえに咲く』玉 岡かおる著	窪島誠一郎	日 経	1.5
『庭師とあるく 京 の隠れ庭』小埜雅章 著	原田 マハ	朝 日	9.14	『美術、応答せよ!』 森村泰昌著	宮川 匡司	''	9.7
『スードと愛国』池川 玲子著		''	12.21	『美術の日本近現代 史 制度・言説・造 型』北澤憲昭・佐藤 道信・森仁史編		栗田 大輔	美術手帖 1004
''		日 経	11.2	''		前田 恭二	読 売 5.14
''	井上 章一	日経夕刊	11.12	『美術の物語[ポケッ ト版]』E. H. ゴン ブリッチ著、天野衛 他訳	片野 遼	瓜生通信	63
''	開沼 博	読 売	12.7	『美術は地域をひら く 大地の芸術祭10 の思想』北川フラム 著		藤田 一人	東 京 3.2
『寝そべる建築』鈴木 了二著	杉田 敦	朝 日	8.10	『美との対話 私の 空想美術館』栗津則 雄著		新美術新 聞	1360
''	松山 巖	読 売	8.31	''		日 経	7.13
『はじめての土偶』武 藤康弘監修		新美術新 聞	1357	『ひとりよがりのもの のさし』坂田和實著	堀切 和久	A X I S	170
『「はだしのゲン」創 作の真実』大村克巳 著	(佐)	読 売	1.5	『美の侵犯 蕪村× 西洋美術』北川健次 著	齊藤 慎爾	東 京	9.14
『話す写真 見えない ものに向かって』 畠山直哉著	笠木日南子	アートペ ーパー	97	『批判的工学主義の 建築 ソーシャル・ アーキテクチャをめ ざして』藤村龍至著	隈 研吾	朝 日	11.23
『パブリックアート について語り合う。 日本に「1%フォー ・アーツ」の実現を くれあーれにゆーす 座談録』滝久雄編		新美術新 聞	1360	『表具を楽しむ』池修 著	保坂健二郎	''	3.2
『HELLO WORLD 「デザイン」が私たち に必要な理由』アリス ・ローソーン著、 石原薫訳	深澤 直人	A X I S	167	『評伝 石黒宗麿 異端に徹す』小野公 久著	後藤 修 評 陶 説	739	
『挽歌集 建築があ った時代へ』磯崎新 著	隈 研吾	朝 日	11.2	『評伝 バルテュス』 クロード・ロワ著、 與謝野文子訳	横尾 忠則	朝 日	5.25
『バンクシー ユー ・アー・アン・アク セプタブル・レペル ・オブ・スレット』 パトリック・ポッター 著、毛利嘉孝・鈴 木杏子訳	佐々木 中	芸術新潮	775	''	中村 隆夫	東 京	6.1
				『屏風をひらくとき どこからでも読める 日本絵画史入門』奥 平俊六著	山下 裕二	紫 明	35

『50 years of galerie 16 1962-2012』伊藤治美・坂上しのぶ・塩田京子編	編集部	あいだ	214						『北斎漫画 日本マンガの原点』清水勲著		水墨画*	306
''			215						''	秋 竜山	東京	8.24
『フーコーの美学 生と芸術のあいだで』武田宙也著	篠原 資明	東京	12.28						『芸術家たちの素顔 1 僕はウォーホル』キャサリン・イングラム著、アンドリュー・レイ絵、岩崎重矢監訳、安納令奈訳	横尾 忠則	朝 日	12.28
『諷刺画家グランヴィル テクストとイメージの19世紀』野村正人著	山川 志保	歴史と地理	679						『芸術家たちの素顔 2 僕はダリ』キャサリン・イングラム著、アンドリュー・レイ絵、岩崎重矢監訳、小俣鐘子訳	''	''	''
『フェルメールの帽子 作品から読み解くグローバル化の夜明け』ティモシー・ブルック著、本野英一訳	樽沼 範久	東京夕刊	10.12						『芸術家たちの素顔 4 僕はベーコン』キティ・ハウザー著、クリスティナ・クリストフォロウ絵、岩崎重矢監修、金成希翻訳	保坂健二郎	''	12.14
''	川北 稔	日 経	9.21						『芸術家たちの素顔 3 僕はポロック』キャサリン・イングラム著、ピーター・アングル絵、岩崎重矢監訳、木村高子訳	横尾 忠則	''	12.28
『ふくしま再生と歴史・文化遺産』阿部浩一・福島大学つくしまふくしま未来支援センター編	町田 哲	史学雑誌	123-9						『ポップ中毒者 最後の旅』川勝正幸著	藤井 克郎	産 経	12.21
『藤子不二雄論 Fと(A)の方程式』米沢嘉博著		東京	4.20						『盆栽の誕生』依田徹著		日 経	5.18
『普段使いの器を探してやきもの』永峰美佳著	編集部	陶 説	736						『まなぎしのエクササイズ ポートレイト写真を撮るための批評と実践』ロズウェル・アンジェ著、大坂直史訳	竹葉 丈	アートペーパー	96
『フリープレイ 人生と芸術におけるインプロヴィゼーション』ステイヴン・ナハマノヴィッチ著、若尾裕訳	横尾 忠則	朝日夕刊	10.26						『ミッキーはなぜ口笛を吹くのか アニメーションの表現史』細馬宏通著		芸術新潮	770
『ペットと暮らす住まいのデザイン』廣瀬慶二著	重村 力	学 鏡	111-1						『宮崎駿論 神々と子どもたちの物語』杉田俊介著	中島 岳志	毎 日	5.18
『ヘンな日本美術史』山口晃著	深谷 克典	アートペーパー	95						『見る悦び一形の生態誌』杉本秀太郎著	松山 巖	読 売	11.9
『豊国祭礼図を読む』黒田日出男著		芸術新潮	770						『民藝の擁護 基点としての(柳宗悦)』松井健著	若松 英輔	''	12.7
『〈報道写真〉と戦争 1930-1960』白山眞理著	吉岡 桂子	朝 日	12.21						『ムーミンを生んだ芸術家 トーヴェ・ヤンソン』富原眞弓著	青木 淳	''	5.18
''	上野 昂志	東京	11.23						『ムナーリのことば』ブルーノ・ムナーリ著、阿部雅世訳	安積 朋子	A X I S	172
『法然上人絵伝の研究』中井真孝著	祢津 宗伸	日本歴史	797						『棟方志功の眼』石井頼子著		読 売	3.7
『法隆寺建築の設計技術』溝口明則著	村田 健一	建築史学	62						''	平松 洋子	''	3.23
『北斎と応為 上・下』キャサリン・ゴヴィエ著、モーゲンスタン陽子訳	丹治早智子 島田賢太郎 竹内 淳夫	東京	6.11									
''	木瀬 武	読 売	7.12									

平成26年定期刊行物所載文献(他/書評)

『名画カード 海外編1』木村重信監修	市原 尚士	読売夕刊	11.19	『ルーシー・リー モダニズムの陶芸家』 エマニュエル・クーパー著、西マリーヤ訳	西 マリーヤ	陶 説	738
『迷宮としての世界 マニエリスム美術 上』グスタフ・ルネ ・ホッケ著、種村季 弘・矢川澄子訳	坂崎 重盛	朝 日	12.7	『ル・コルビュジエ 生政治としてのユル パニスム』八束はじ め著	隈 研吾	朝 日	3.23
『明治の刺繍絵画名 品集』村田理如著	明珍 美紀	毎日夕刊	11.8	『レンズが撮らえた 幕末明治 日本の風 景』小沢健志・山本 光正監修	三井 圭司	歴史と地 理	677
『明治の東京計画』藤 森照信著	柴田 文隆	読 売	2.3	『路上観察学入門』赤 瀬川原平・藤森照信 ・南伸坊編	藤森 照信	朝 日	12.7
『木版画を読む 占 星術・「死の舞踏」そ して宗教改革』森田 安一著	踊 共二	史学雑誌	123-8	『わが生涯のすべて』 マリオ・ジャコメッ リ著、シモーナ・グ エッラ編、和田忠彦 ・石田聖子訳	大竹 昭子	産 経	11.23
''	野々瀬浩司	歴史学研究	918	''	松山 巖	読 売	9.28
''	角田 展子	歴史と地 理	671	『私は写真機』片岡義 男著		日 経	2.9
『模索する美学 ア ヴァンギャルド社会 思想史』塚原史著	千足 伸行	東 京	12.28	<b>海外刊行書</b>			
『デザインの言葉 文字の靈力』杉浦康 平著	臼田 捷治	書 道 界	301	Akasegawa Genpei, Bjorn Norgaard, Elaine Summers, Al- ice Maude-Roxby, Joan Giroux, ANTI- ACADEMY (UK : John Hansard Gal- lery, Southamp- ton, 2014).	編 集 部	あいだ	214
''	武田 雅哉	東 京	11.9	Phaidon, <i>Art &amp; Place Site-specific Art of the Americas</i> (UK : Phaidon Press, 2013).		芸術新潮	769
『物数寄考 骨董と 葛藤』松原知生著	梶井 純	''	4.6	<i>Artista Critica dell'arte in Toscana</i> (Italy : Casa editrice Le Lettre, 2012).	甲斐 教行	五浦論叢	21
''	高山 宏	日 経	''	Donald W. Olson, <i>Celestial Sleuth Us- ing Astoronomy to Solve Mysteries in Art, History and Literature</i> (USA : Springer, 2013).	前橋 重二	芸術新潮	769
『保田龍門・保田春 彦 往復書簡 1958 -1965』保田龍門・保 田春彦著		芸術新潮	770	Léon-Paul van Geenen, <i>De tijdloze schoonheid van Delftsch Wit</i> (Neth- erlands : Uitgeverij Polder Vondsten, 2013).	小野 公久	目の眼	448
『やっぱりアトリエ 日記』野見山暁治著	岸 桂子	毎日夕刊	4.22				
『屋根の日本建築』今 里隆著		新美術新 聞	1357				
''		日 経	6.15				
『山下清と昭和の美 術 「裸の大将」の神 話を超えて』服部正 ・藤原貞朗著	染谷 滋	ガ ス 燈	102				
''	佐倉 統	朝 日	5.11				
''	木下 直之	東 京	12.28				
『遊印ギャラリー 自由に彫って、自由 に表現する《遊印》の 世界』深沢紅爐著、 日本遊印アート協会 監修、芸術新聞出版 部編集	丹治早智子	''	4.12				
『「らしい」建築批判』 飯島洋一著	隈 研吾	朝 日	12.28				
''	高島 直之	東 京	10.19				
『ラテンアメリカ 越境する美術』岡田 裕成著	加藤 隆浩	日 経	11.16				



Kazuko Todate, Anne Nishimura Morse, *FIRE D EARTH, WOVEN BAMBOO Contemporary Japanese Ceramics and Bamboo Art* (USA : Museum of Fine Arts Boston, 2013).

陶 説 731

Paul von Naredi-Rainer(ed.), Johann Konrad Eberlein, Gotz Pochat (co-op.), *Hauptwerke der Kunstgeschichte* (Germany, 2010).

千速 敏男 アート・ドキュメンテーション研究 21

Ofer Shagan, *Japanese erotic art The Hidden World of Shunga* (USA : Thames & Hudson, 2013).

目の眼 448

William Marotti, *MONEY, TRAINS, AND GUILLOTINES ART AND REVOLUTION IN 1960s JAPAN* (USA : Duke University Press Books, 2013).

あいだ 216

James Cahill, *The Compelling Image Nature and Style in Seventeenth-Century Chinese Painting* (USA : Harvard University Press, 1982).

佐藤 康宏 U P 499

François Villemin, *The Golden Age of KARATSU STONEWARE* (USA : Schiffer, 2013).

目の眼 450

『中国美術全輯』(全60巻)中国美術全輯編輯委員會編

井波 律子 日経夕刊 4.22

時 評

前年度分

2013年の歴史学界—回顧と展望—日本 史学雑誌 123-5

古代 九 加島 勝

中世 七 美術 伊藤 大輔

近世 一八 美術 江村 知子

近現代 一四 美術 大谷 省吾

2013年下半年期 美術賞・コンクール総覧 美術\* 462

国内オークションのこの一年 美術品競売主要各社の年間統計から 2013年国内オークション総覧 1月~12月

清水 秀作 " "

当年度分

名古屋覚の管見ギャラリー11 見続ける楽しみ—ことし前半の展覧会から 名古屋 覚 ギャラリー\* 351

美術市場、今年感じたこと 三谷 忠彦 新美術新聞 1363

通信 J to A アジアへ 11 2014年を回顧する 南條 史生 " "

高まるアール・ブリュットへの関心 保坂健二郎 " "

日本の世界遺産ニュース・この一年の動き 編集部 世界遺産年報 20

2014年上半年期 美術賞・コンクール総覧 美術\* 468

回顧2014 美術 不自由さを超えて 抑圧や介入 向き合う試み 大西 若人 朝日夕刊 12.17

回顧 平成26年 美術 産 経 12.25

アートで地域振興ブーム 黒沢 綾子

保守化…目立つ工芸的作品 渋谷 和彦

回顧2014 美術 地域の再生 担う意欲 窪田 直子 日 経 12.1

この1年 毎日夕刊

写真 融通無碍の境地 達した荒木経惟 飯沢耕太郎 12.9

漫画 幅広い表現の豊かさ いしかわじゅん 12.10

文化財 都塚古墳「飛鳥のピラミッド」が判明 富岡製糸場、和紙…遺産登録相次ぐ 栗原 俊雄 12.11

書 台北から「中華文明の神髓」大ベテランの高い境地示す個展 桐山 正寿 12.17

美術 世の風潮にあらがう 一層充実したコレクション展 岸 桂子 12.25

回顧2014 東アジア の中の日本 再認識 中国へのまなざし 歴史遡る 本質を正 面から問う姿勢	井上 晋治 読 売	12. 11	平成26年 秋の叙勲 ・褒章・地域文化功 労者決まる 旭日双 光章 堀尾信夫氏 瑞宝中綬章 小山硬 氏、高橋彬氏、藤井 知昭氏 紫綬褒章 遠藤彰子氏		1361
<b>受賞・美術賞</b>					
世の中が幸せになる アイデアを「コク ヨデザインアワード 2013」	高橋 美礼 A X I S	167	平成二十五年度 日 本陶磁協会賞・金賞 受賞者選考結果報告	陶 説	733
from the World	石橋 勝利	〃	美術新人賞 デビュ ー2014 第2回	財田 翔悟 美 術* ほか	462
PVC デザインアワ ード2013 「ソフ トPVCで日本の力 を試す」		〃	第17回文化庁メディ ア芸術祭の受賞作[前、 後編]	竹見洋一郎 美術手帖	998、999
61年目のグッドデ ザイン「IF デザイ ンアワード 2014」		169	WORLD NEWS デ リー+ロンドン 北 アイルランドのター ナー賞発表から今を 伝えるテートの絵画 展まで	伊東 豊子	〃 999
ガラスの新しいか たちへ「AGC 旭 硝子 化学強化特 殊ガラス デザイ ンコンペ2014」		170	「マンガ大賞」候補に 10作品	朝 日	3. 4
東京ビジネスデザイ ンアワード ものづ くり中小企業とデザ イナーの真の協働と は?	長谷川香苗	171	國華賞4氏 喜び語 る	西岡 一正 朝日夕刊	11. 12
特集 アートコンペ ティションが切り拓 く地平	ギャラリー 一*	352	「日本イコモス賞」創 設 文化遺産保存の 貢献者対象	藤井 裕介	〃 12. 22
TERADA ART AWARD(テラダ・ アート・アウォー ド)			人江泰吉氏の写真賞 を創設 出身地の奈 良市	日 経	2. 25
第1回飯田弥生賞			メセナ大賞決まる	日経夕刊	11. 5
絵具メーカー主催 のコンペティショ ン			芸術院賞 選考待っ た 日展「書」不正で 美術系部門 文科省 「改革が先」	岸 桂子 眞 鶴谷	毎日夕刊 5. 12
第26回高松宮殿下記 念世界文化賞 各部 門の受賞者が決定	〃	〃	東京 YPC 作品審査 自由部門	読 売	7. 2
第2回(2014年度)ジ ャポニスム学会展覧 会賞 受賞展覧会: 「没後100年 徳川慶 喜」	ジャポニ スム研究	34	<b>美術市場</b>		
平成25年度(第64回) 芸術選奨文部科学大 臣賞・同新人賞決ま る	新美術新 聞	1341	報告 第二十四回 浮世絵オークション	山本ゆかり 浮世絵芸 術	167
「メセナアワード 2014」大賞に 公益 財団法人ギャラリー エークワッド	〃	1358	Art Report in Asia 中国・最新アーティ スト事情	梶川 強 ギャラリー 一*	
第26回「國華賞」受賞 者 決まる	〃	1360	第22回 欧米・日 本・中国それぞれの マーケット事情		345
			第27回 ART BEIJING 2014		350
			第30回 アートコ レクションとプラ イスリーダー		353
			第31回 Bo- lognaFiere SH コンテンツボラリー 2014		354
			第32回 WEST BUND & DESIGN		355

「バリフォト2013@ グランパレ」レポー ト	奥野富久子	〃	345	2014東美アートフェ ア 絵画・近代美術 ・古美術・茶道具・ 工芸	〃	1356
Art Report in Asia ポーリーインターナ ショナルオークシヨ ン(北京保利国際拍 売有限公司) 趙旭 社長 来日インタビ ュー		〃	346	レポート墨 アート フェア東京2014 水 墨画の現在を国内外 にアピール	水墨画*	301
Art Information 世 界に通じる美術品を エスト・ウエストオ ークションズ		〃	348	台湾最高級ホテル へ躍進		463
Art Report in Asia モンゴル最新アート 事情 特集 日モン ゴルで開催された新 月紫紺大展と美術市 場の将来	水間 敏隆	〃	354	現代アートとクラ シックが融合する 中国最大のフェア		〃
特集 東京美術倶楽 部、大阪美術倶楽部 それぞれの展望～老 舗が見据える今と未 来		〃	〃	アペノミクス効果? 駆け込み需要? 来 場5万人。売り上 げも好調見せた今 年のフェア	美術*	464
2014東美アートフ ェア 東京美術俱 楽部				3331 ART FAIR		〃
2014東美アートフ ェア、大美アート フェア出店美術商 に聞く 美術界の 今と未来				最高級ホテルが舞 台に		465
第1回大美アート フェア 大阪美術 倶楽部				アート・バーゼル 香港2014	アライ=ヒ ロユキ	466
World special New York 世界一高い絵 と伝説のアート・デ ィーラーークリス ティーズ秋のオーク シヨンより		芸術新潮	770	アート北京2014	江上 越	〃
あらゆるアートを呑 みこんで成熟へと向 かう アートフェア 東京2014	山本 豊津、 小山登美夫、 金島 隆弘 談	〃	771	特集 いまなお輝く 昭和の洋画家たち オークション市場か ら見た昭和の物故洋 画作品の動き	清水 秀作	〃 468
特集 もっと素敵に ジャポニスム なぜ 日本文化は世界で人 気なの? ネオ・ジ ャポニスムの到来 現代美術 ムラカミ からグタイへ…NY 市場がアツい!!	藤森 愛実	〃	775	東美アートフェア 2014 上質の美を集 めて		〃 469
Global News Amster dam 日本の若手写 真家に注目! アム ステルダムのフォト 見本市	かないみき 取材	〃	779	海外レポート in 韓国 KOREA 2014 グローバリズムの歪 みに対する問題提起 国際的美術市場の脱 一元化を KIAF/14	藤田 一人	〃 470
ART FAIR TOKYO 2014		新美術新 聞	1337	レビュー 東美ア ートフェア2014 最上 級を一同に		〃 471
				WORLD NEWS	美術手帖	
				ロンドン 絵画と 20世紀美術がリバ イバル? 11のフ ェアが同時開催し たフリーズ・ウィ ーク	伊東 豊子	998
				ベルリン ベルリ ン・ギャラリー主 導の「abc」は試行 錯誤を重ねる手作 りフェア	かないみき	〃
				台北 20周年を迎 えた「アート台北」 成熟したアジアの アートフェアに	金島 隆弘	〃

Players in Art Market PR会社、Fiz & Coの創業者に聞く 人を動かす、アート界を活性化する方法	藤高 晃右	1002	美の仕事を追う～脳科学者、骨董街を奔る! 15 まどか(東京) 天啓の古染付	茂木健一郎	〃	453	
Players in Art Market 鑑定会社 ウィンストン・アート・グループに聞く アートの資産運用の方法	〃	1004	3年目を迎えて活気をみせる東京アンティークフェア2014	〃	〃	454	
香港 アートバーゼル香港が開催。アジア・アートシーンに安定の存在感	編集部	1006	大美アートフェアのあるき方 大阪美術倶楽部が提案する新しい古美術の楽しみ方・求め方	戸田 博	〃	458	
バーゼル ライブ・パフォーマンスで活気を増したアート・バーゼル	〃	1010	買って応援 深く楽しむ 若手作家×美術ファン 今どきアート市場 作品評価決める新しい動きにも	西岡 一正	朝日夕刊	3.19	
Players in Art Market 日本の若手作家をNYで見せる チェルシーの画廊ディレクターに聞く	藤高 晃右	1016	美の扉 ミラノサローネ 本場で勝負 日本のデザイン家具メーカーも存在感	〃	産 経	4.20	
アムステルダム作家が主体となるアートフェア 新しいIDを求めて	かないみき	〃	日本アニメ 中国で人気健在 国際フェス「関係悪化感じゃない」	〃	東京夕刊	4.30	
KISS THE HEART #3 オークションのススメ	友川 綾子	美術手帖	1000	教えてちょーだい! アートフェアなら気軽に 絵を飾ってステキな部屋に 家具の色と調和とうろ	高田 哲生	日 経	6.7
SPECIAL FEATURE 世界一受けたい! 印象派の授業	〃	1008	<b>美術館・博物館・画廊</b>				
クリスティーズにみる印象派市場の成長	編集部	〃	<b>一 般</b>				
4時間目 経済学ルノワールの《棧敷席》、あなたならいくらで買う?	フィリップ・フック 伊東 豊子 聞き手・文	〃	中学美術と美術館の連携による鑑賞教育の方向性	桑村佐和子 西澤 明	金沢美術 工芸大学 紀要	58	
百兵衛の眼 アートフェア東京2014	美術屋・百兵衛	28	特集 SNSが拓くミュージアムリテラシー	〃	Cultivate	43	
第一回大美アートフェア 美術展示・即売会	〃	31	ミュージアムにおける SNS 活用の現在とこれから	高橋 徹 渡邊 信 インタビュー	〃	〃	
特集 目の眼的、香港オークションの旅	目の眼	448	SNS によるミュージアムと社会の新たな関わりとは?	岡本 真 亀山 裕市 インタビュー	〃	〃	
現代と古美術	白洲 信哉	〃	特別インタビュー ミュージアム×SNS一分解と再構築から生まれる新たな空間	本間 浩一 高橋 信裕、 齊藤 恵理 インタビュー	〃	〃	
collecteurs asile オークション 1 オークション紀行 オークションを楽しむ	大聖 雄幸	〃	小倉正史の現代美術講座 その15、16、19	小倉 正史	ギャラリー	350、351、 355	
〃	〃	449	名古屋覚の管見ギャラリー14 利益相反	名古屋 覚	〃	354	

博物館におけるX線CTスキャナを利用した研究の課題と展望	加藤 和哉	九州歴史資料館研究論集	39	現代美術のコレクションが語りかけること	山梨 俊夫	国立国際美術館ニュース	202
大特集 ほんとうは教えたくないパリの小さな美術館 男性ヌードと赤壁とフランス革命	高橋野明也、藤野可織	芸術新潮	773	特集：文化を展示すること—日本とヨーロッパの遠近法を考える 序：文化を展示することについて比較の視点から考える	森 明子	国立民族学博物館研究報告	38-4
芸術新潮特別企画 銀座で見つけた！「画廊の夜会」という夏の夢 パリから銀座へ 画廊は大人の散歩道	長谷川智恵子、原田裕介、に	〃	774	チェコ・ポーランドの産業遺産・ミュージアムとツーリズム	根本 敏行	静岡文化芸術大学研究紀要	14
小特集 ネーデルラント美術紀行 新装マウリッツハイスから世紀末美術館“OPEN”まで	〃	〃	777	数寄の文化誌 9 数寄の深淵	熊倉 功夫	聚 美	13
教育普及 動き続ける美術館を目指して	齊藤 佳代	現代の眼	604	美術館・博物館の最適視環境に対する照明の影響に関する色彩科学的考察	中島 潤田、由貴隆義	女子美術大学研究紀要	44
Re view	〃	〃	〃	ミニ展示会について 博物館実習における展示実習の一例	鈴木 泉	〃	〃
いま、美術館がないうること	藪前 知子	〃	606	通信 J to A アジアへ	〃	新美術新聞	〃
震災後の「国立・近代・美術館」	相馬 千秋	〃	607	「ソウル、ジャカルタ、シンガポール」	青木 保	〃	1333
郷土博物館・地域博物館における野外展示空間の必要性	青木 豊	国学院雑誌	1288	7 台湾視察II 4つの美術館の話題	南條 史生	〃	1342
日本刀展示に於けるLED照明の問題点について	井本 悠紀	〃	〃	「イコム年次大会に参加して」	青木 保	〃	1350
博物館と教育事業計画の策定	大貫 英明	〃	〃	美術館に求められる新しい大きな役割	〃	〃	1355
中国における野外博物館の現状と課題	落合 知子	〃	〃	—NMAO 国際シンポジウム「現代美術をコレクションするとは？」を実施して問題共有のためのネットワーク作りの重要性	植松 由佳	〃	1341
我が国の博物館法制度の現状と課題	栗原 祐司	〃	〃	〃	〃	〃	〃
歴史系博物館と地域文化遺産の相関	駒見 和夫	〃	〃	〃	〃	〃	〃
社会教育施設における連携の取り組み—MLA から MULTI 連携へ—	下湯 直樹	〃	〃	新装よみうり大手町ホール会場に「美術館連絡協議会2014年度総会」開かれる 酒井理事長 挨拶「ロジャー・パルバースの『驚くべき日本語』に驚嘆」	〃	〃	1360
博物館と学芸員に関する認識と意識—国学院大学学芸員課程受講生にみる—	杉山 正司	〃	〃	ブロック報告	〃	ZENBI	〃
博物館専門職の養成	鷹野 光行	〃	〃	北海道ブロック 美術博物館の自覚と矜持	中村 聖司	〃	5
遺跡博物館での学習に関する諸問題	中島金太郎	〃	〃	〃	〃	〃	〃
博物館学の諸問題	矢島 國雄	〃	〃	東北ブロック 青森にて芸術祭の機運	飯田 高誉	〃	〃
博物館における教育と“楽しみ”の関係性	山口加奈子	〃	〃	〃	〃	〃	〃
美術館の課題—美術資料の芸術性と歴史性	前川 公秀	〃	〃	関東ブロック 展覧会における人、資料、作品	中村 尚明	〃	〃

平成26年定期刊行物所載文献(他/美博)

東京ブロック「空 想の美術館」を越 えて	藪前 知子	5	言葉を磨いて外へ —イギリスのミュ ージアム・エデュ ケーションの現在	塚田 美紀	”	
北信越ブロック 移動とネットワー ク	芹川 貞夫	”	動向 博物館・資料 館問題 第一—回日 本の地域博物館シン ポジウム「学芸員 はどのような地域博 物館を望んだのか」 に参加して	茂木 健緒	地方史研 究	368
東海ブロック つ れづれに思うこと	毛利伊知郎	”				
近畿ブロック 工 芸の展覧会につい て	出川 哲朗	”				
中国ブロック 岡 山の美術界—アー トイベント花盛り —	上菌 四郎	”	シンポジウム 基礎 的自治体の博物館・ 資料館の使命と役割 2		”	369
九州ブロック そ れぞれの戦後、回 顧して何を思う	那須 孝幸	”	「シンポジウム 基礎的自治体の博 物館・資料館の使 命と役割2—地方 史研究協議会版 地域博物館指標を 考える—」開催に あたって	地方史研究 協議会博物館 資料館・資料館 問題検討委 員会		
北海道ブロック 冬ニモ負ケズ—学 芸員のネットワー ク	地家 光二	6				
東北ブロック 震 災から3年	佐藤 秀彦	”	地方史研究協議会 版 地域博物館指 標(素案)			
関東ブロック 足 元を見つめて	染谷 滋	”				
東京ブロック「レ ガシー」を見据え て—2020東京オリ ンピック文化プロ グラム—	岡部 友子	”		乾 賢太郎		
北信越ブロック 30年後の第二次美 術館建設ラッシュ	橋本 文良	”	常設展示の更新と 地域博物館の使命 —展示改装事業か ら5年を経て—	萩谷 良太		
東海ブロック 作 品の最適化をはか る	中村 史子	”	地方自治体と博物 館—泉佐野市の事 例から—	森 昌俊		
近畿ブロック 現 代美術コレクション の保存/美術館 の未来	牧口 千夏	”	「地方史研究協議 会版 地域博物館 指標(素案)」につ いてのコメント	小島 道裕		
中国ブロック「美術 をほぐしていく美 術	三浦 努	”	「地方史研究協議 会版 地域博物館 指標(素案)」を読 んで	秋山 伸一		
九州ブロック 変 わらずに在るため に変わってゆくこ と、風を呼ぶこと	竹口 浩司	”	「シンポジウム 基礎的自治体の博 物館・資料館の使 命と役割2」参加 記	外山 徹		
全美フォーラム	ZENBI					
瀬戸内アートエレ ジー	毛利 義嗣	5	「地方史研究協議 会版 地域博物館 指標(素案)」作成 への期待	宮川 充史		
「美術館関係者の 行動基準」とは?	山梨 俊夫	6				
「美術館基準(案)」 彼方で	大嶋 貴明	”	ドイツ・フォークト ラント地方の地域再 生にとつての野外博 物館	加賀美雅弘	東京学芸 大学紀要	65
ICOM(国際博物館 会議) 2019年大 会の京都招致につ いて	安田 篤生	”	ヨーロッパ野外博物 館会議参加および視 察報告	小林 克久 高橋 英久	東京都江 戸東京博 物館紀要	4

人文系博物館をめぐる目下の問題と将来の課題	宮島 新一	東風西声*	9	ジョン・デューイの教育哲学に学ぶ、美術館における教育普及の在り方	井上絵美子	"	"
本山慈恩寺 秘仏展および御開帳に関する展示設計	岡田 靖一郎 長坂 城治 長田	東北芸工 大保存修 復センター 一年報*	5	海外の美術館を訪問して	水野 元洋	"	"
イギリス博物館界におけるインターンシップ及びキャリア・ボランティア活動の現状について	西 記代子	徳島県立 博物館研 究報告	24	現代の美術館におけるトップライトによる展示室への採光手法の形態的特徴	内藤 誠人 鈴木 春奈 村田 幸一 安田	日本建築 学会計画 系論文集	701
展覧会と美術資料 Materializing Six Years : Lucy R. Lip- pard and the Emer- gence of Conceptual Art を例に	伊村 靖子	NACT Review*	1	新年特集 この博物館がすごい!		日本歴史	788
美術と美術館	青柳 正規	"	"	「展示」と「箱」と「土地」	小沢 朝江		
美術と出会う次善の場	山梨 俊夫	"	"	「戦争」展示の博物館	岩壁 義光		
美術的症候群	柳原 正樹	"	"	地域博物館は「人」でもつ	西岡 芳文		
文化の十字路—美術館の役割	高階 秀爾	"	"	小布施 一長野県で一番小さな町の取組み—	柳田 直美		
美術館—本物の価値の触れる場所	福原 義春	"	"	古い男のモノローグ	井上 智勝		
美術と美術館—開かれた扉	ブルース・ミラー	"	"	巻頭特集 アートと暮らそう 戦後日本コレクター列伝 日本を代表する美術館はいかにして成ったのか	藤田 一人	美 術*	462
美術館が街に果たす役割	森 佳子	"	"	SINGAPORE ART WEEK シンガポールの画廊が連携、アート・イン・モーション	編集部 F	"	"
専門分化の功罪	建昌 哲	"	"	特集 アート・オブ・ザ・イヤー2014 8 美術館 美術館の常設と団体展の二作家について	本江 邦夫	"	471
美術館は作品を展示すれば足りるのか?	松本 透	"	"	WORLD NEWS ニューヨーク 不思議な名前のギャラリーが急増! それぞれにユニークな試みを展開	藤森 愛実	美術手帖	1002
美術館の思い出	千足 伸行	"	"	コンテンポラリー・ファインアート 第13回 キュレーティング・セオリーの現在	大森 俊克	"	"
「美術館」について考えること	三浦 篤	"	"	SPECIAL FEATURE 一生に一度は行きたい! 世界のアートスポット		"	1005
よく生きられた美術館	大西 若人	"	"	PART 2 自然の中で体感するアート	伊東 豊子 かないみき		
画家がくれた考えるヒント	三田 晴夫	"	"	PART 3 コレクターの個性が見える美術館	かないみき 伊東 豊子 廣 李 鈴木 芳雄		
美術と美術館	宝玉 正彦	"	"				
美術と美術館	菅原 教夫	"	"				
美術館と博物館	春日 直樹	"	"				
コレクションとアーカイヴ	蔵屋 美香	"	"				
国立美術館と建築展	保坂健二郎	"	"				
アメリカの美術館経営について思うこと	西野 華子	"	"				
美術と美術館と美術情報	室屋 泰三	"	"				
日韓的美術館の領分	日比野民蓉	"	"				

PART 3 コレクターの個性が見える美術館 COLUMN 1 上海の新オープン美術館でアジアの勢いを知る	鳥本 健太			特集 地域博物館とボランティア		ミュージアム多摩	35
PART 3 コレクターの個性が見える美術館 COLUMN 2 ベルリンの3つの美術館でコレクターと対話する	かないみき			市民活動の成果を博物館の資産にしていこうためには?	菅井 薫		
PART 5 作品を見るための最高の美術館	鈴木 芳雄 高嶋雄一郎 かないみき 杉原 環樹 上田 洋子			三多摩地域の博物館ボランティア活動～市民活動の成果を継承し、博物館の資産にしていこうには～	齊藤有里加		
PART 7 日本を再発見する厳選スポット	筒井 宏樹			トルコの博物館で考える	中村 友代	MUSE- OLOGY	33
未来の美術館・博物館のあり方を考える	永峰 美佳	美術手帖	1014	特集・日本の地域博物館シンポジウム11 学芸員はどのような地域博物館を望んだのか 現代のなかの学芸員の隘路	吉田 優	MUSE- OLOGIST	29
アートと世界 第5、6話 海外の美術館巡り(前、後編)	大村 智談 編集 部 文	美術の窓	368、369	ミュージアムと建築	青木 保	みんなく	437
視点				地球ミュージアム紀行 未来世紀のミュージアム	野林 厚志	〃	438
鉄道で巡るヨーロッパの美術	竹澤 雄三		371	異聞逸聞 国境を越えて運営されるミュージアム	出口 正之	〃	440
最新の収藏品管理システムをリリース	千野 亮		372	「さわる展示」の深化と応用2 観光のユニバーサルデザインを考える	廣瀬浩二郎	民博通信	145
課外授業 美術のお時間 25時間目 幻の民族学博物館	安井 収蔵	美術屋・百兵衛	29	評論・展望 民博の国際協力ー博物館学国際研修の20年	園田 直子	〃	147
世界のアート事情 中東の新しい文化圏 UAE カタール 美術館開館ラッシュ 短期間で大規模な文化圏を生み出す	富山 達子	美連協ニュース	122	骨董市場と博物館	長谷川修一	ムゼイオン	59
阪神・淡路大震災、東日本大震災・大津波を経験した日本の博物館の災害対策	越智裕二郎	広島県立美術館研究紀要	17	特集1 目の眼的 春の京都をめぐる旅 春の京都 桜めぐり		〃	451
「博学連携」の構築へ向けてー平成25年度教員免許状更新講習報告ー	八幡 浩二 鈴木 康之 岡野 将士	広島県立歴史博物館研究紀要	16	特集1 日本一の骨董街 日本橋・京橋をあるく	名取裕子さんとあるく	〃	452
コレクションの制度化とミュージアムの思想	松宮 秀治	文化資源学	12	特別座談会 骨董街のいまむかし	三谷 忠彦 瀬津 吉平 飯田 國宏		
ミュージアム展示における「関わり」の考察	亀山 裕市	文環研レポート	34	特集1 国宝の力 おすすめ国宝スポット		〃	459
棚橋源太郎と郷土博物館的施設	清水 玲子	MUSEUM STUDY	25	特集 本をとどける column 美術館と一体化した出版活動をスタート	森 陽子	R E A R	32
企画展示の構成と研究動向の相関ー中世史企画展の現状からー	駒見 敬祐	〃	〃	ニュースQ3 アートか政治宣伝か 美術館ビリビリ	中村 真理 朝 日		4.4
				社説 国立博物館 普段の顔も見に行こう		〃	11.2



4〔読ん〕で知るアート 震災とアート活動 展覧会開催へのダメージ	佐々木吉晴	朝日夕刊	3.12	学芸員と図書館司書 大学で取れる人気資格 その実態は結構多い必修科目 博物館で実習 ひたすらパソコン検索 極端に少ない採用枠 大学院から再挑戦の人も	原子奈津実	毎日夕刊	10.31
アジア 美術館の未来は 中国 足りぬ 専門家 日本 資金 集めに課題	増田 愛子	〃	4.2	生活調べ隊		読 売	11.18
4〔読ん〕で知るアート 政治とアート 芸術の聖地となった島	茂木健一郎	〃	6.25	大学博物館 より身近に 発信力高める工夫続々	斉藤 保		
子連れ、アートの休息 美術館・音楽フェス 託児所続々 集客アップ期待 育児世代に移行	山田 優 河村 能宏	〃	7.12	社会に向けた「顔」 担う 展示内容の充実が必須			
美術、図表…新たな楽しみ 広がる「触る」世界	服部 素子 産 経		2.5	寄贈の山 博物館バンク 収集家ら「高齢で管理難しく」		読売夕刊	7.3
「ミナコレ」人気 港区の美術館など29館 参加 感想文など賞 制定 スタンプラリーも	中村 信也 鈴木久美子	東 京	8.17	日 本			
コンパス		東京夕刊		(ア行)			
美術館運営の効率化	森本 智之		2.15	群馬文化考 アーツ前橋		美術屋・百兵衛	31
所蔵美術品の厚み	三沢 典丈		8.2	評 美術 アーツ前橋開館記念展「カゼイロノハナ」新時代」つくる意志	岸 桂子	毎日夕刊	1.8
文化人我が街にぎわす 美術館や文学館 葛飾北斎 作品展示 や図書館 吉村昭 自宅の書斎を再現 長期維持、企画展の充実カギ		日 経	3.5	評 建築 アーツ前橋 開放的なまちなか美術館	五十嵐太郎	〃	1.20
何でもランキング ミュージアムショップでお買い物 雑貨店感覚で巡ってみよう		〃	6.7	特集1 目の眼的 春の京都をめぐる旅 古美術店案内 02 アートディーラー虚白		目の眼	451
ART TOPICS 全米5万カ所で展示		〃	6.12	特集 動きだした秋の美術 アートファクトリー城南島		ギャラリー一*	353
何でもランキング 印象派の世界に浸れる美術館		〃	11.22	新規会員館紹介 no.2 愛知県陶磁美術館 愛知県陶磁資料館から愛知県陶磁美術館へ	佐久間真子	ZENBI	6
らいふプラス 博物館で体感 異空間の旅 キトラ古墳や古代宮殿、デジタル技術で再現	若狭 美緒	日経夕刊	5.31	夏休み事業「こどものくに」について[青森県立郷土館]	伊丸岡政彦	青森県立郷土館研究紀要	38
ふるさと再訪 青森・十和田 9 アート、街に飛び出す 地中美術館	工藤 憲雄	〃	9.13	特集 震災とミュージアム 今をよくみるために 「種差一よみがえれ 浜の記憶」展を終えて[青森県立美術館]	高橋しげみ	REAR	31
あすへの話題 ミュージアム・フィルム	馬淵 明子	〃	11.15	特集 プレ創刊30周年企画1 銀座界限 最新マニュアル2014 Part 2 [あかね画廊]		ギャラリー一*	346

公立美術館個性で勝負 改装契機、全国から集客 秋田県立藤田嗣治に特化 千葉・市原館内から湖展望 半年で8万人 独創アート充実[秋田県立美術館]	田村 広済 日 経	3.29	特集1 台北 國立故宮博物院の名宝をみる 国内愛蔵 中国美術の名品を訪ねて 池正	目の眼	453
特集 美術大学を歩こう 2 アキバタマビ21		ギャラリ	特集 (かがやき) 広がるエリア—金沢、富山の美術探訪— 石川県立美術館	ギャラリ	356
学芸員談話室10 アサヒビル大山崎山荘美術館の教育普及事業について	芦刈 歩	同志社大学博物館 学年報	宮城文化考 石ノ森 萬画館	美術屋・百兵衛	29
談論誘発 「富岡」の次は足尾銅山 負の遺産と共に近代化に貢献[足尾歴史館]	長井 一雄	東京	郷土ゆかりの名画もお別れ 福岡・久留米の石橋美術館 作品を東京移管	山崎 聡亮 朝 日	11.26
シリーズ 新自由主義時代の博物館と文化財 公立ミュージアムの果たすべき役割—芦屋市立美術館での体験をもとに—	明尾 圭造	日本史研究	公立美術館個性で勝負 改装契機、全国から集客 秋田県立藤田嗣治に特化 千葉・市原館内から湖展望 半年で8万人 独創アート充実[市原湖畔美術館]	田村 広済 日 経	3.29
山岳画 現場主義の名作 美は山中にあり、安曇野の美術館 30周年[安曇野山岳美術館]	水上久美子	日 経	書の鑑賞教育プログラムIII—高等学校・芸術科(書道)における実践と課題[出光美術館]	笠嶋 忠幸	出光美術館研究紀要 19
アチックミュージアムが目指したもう一つのコレクション—旧八基村収集資料と『蒐集物目録』、『民具蒐集調査要目』—[アチックミュージアム]	内田 幸彦	埼玉県立歴史と民俗博物館紀要	学芸員から 光をさがして[出光美術館]	柏木 麻里	国華清話会会報 24
新規会員館紹介 no. 8 あべのハルカス美術館 Art×Human—あらゆるアートを、あらゆる人に	高見 陽仁	ZENBI	親子でぶらり 学べるスポット 異能の人 隠居後に大仕事 [伊能忠敬記念館]	(仁) 東京	5.1
誰もが気軽に芸術・文化を楽しめる 最新の都市型美術館[あべのハルカス美術館]		美術屋・百兵衛	アート写真ぐっと身近に イベントやランチ通じて出合う [IMA CONCEPT STORE]	窪田 直子	日経夕刊 4.15
特集 プレ創刊30周年企画 1 銀座界限 最新マニュアル2014 Part 1 銀座界限の語り部たち 写実絵画を紹介し続けて40年 飯田美術 飯田功		ギャラリ	美の仕事を追う〜脳科学者、骨董街を奔る! 16 豊堂(東京) 古美術の「バンテオン」	茂木健一郎	目の眼 454
特集 画廊健在なり! 独自の活動を貫き、今年40周年を迎えた画廊 飯田美術		美術屋・百兵衛	特集 武井武雄 版画の宝石 武井武雄の世界 イルフ童画館		版画芸術 164
美博ピックアップ 池田20世紀美術館	塩見 圭	朝日夕刊	4 [読ん]で知るアート 震災とアート活動 美術家たちの反応 [いわき市立美術館]	佐々木吉晴	朝日夕刊 3.19
池大雅美術館旧蔵 佐々木米行コレクションについて	畑 智子	朱雀	おじゃったもんせ! かごんまミュージアム 5 岩崎美術館	美術屋・百兵衛	28
			わが町の宝、岩瀬文庫 古典籍や名著をじかに触れ読める、元は私設図書館	佐野三樹雄	日 経 2.19
			活動レポート 本県博物館の現状 [岩手県立博物館]	中山 敏	岩手県立博物館だより 141

特集 震災とミュージアム アートのチカラ、いわてのチカラ 3.11以後、私たちがしてきたこと[岩手県立美術館]	大野 正勝	REAR	31	リレーエッセイ52 展示資料は成長する歴史の事実の経過 実物大模型で再現[江戸東京博物館]	竹内 誠	美連協ニュース	123
美博ピックアップ 印刷博物館	大野紗弥佳	朝日夕刊	7.23	都内の美術館・博物館 芸術の秋 若者に照準[江戸東京博物館]		日 経	10.10
美博ピックアップ ヴァンジ彫刻庭園美術館	竹越 萌子	"	8.6	愛媛県西予市城川町野井川地区の民家調査とその活用[愛媛県歴史文化博物館]	富本 春樹 酒井 純孝 松井 寿	愛媛県歴史文化博物館研究紀要	19
新規会員館紹介 no.3 上田市立美術館人を育み、文化を育み、まちを育む	瀬川 智恵	ZENBI	6	学習支援キット「貸出キット」の現状—愛媛県歴史文化博物館の事例から—	安田 幸世	MUSEOLOGIST	29
上田市立美術館 OPEN		美術屋・百兵衛	31	何でもランキング 廃校で土地の魅力再発見 アートを感じる[絵本と木の実の美術館]		日 経	5.24
美の仕事を追う～脳科学者、骨董街を奔る! 19 上原永山堂(東京)「名残」を継いでいく	茂木健一郎	目の眼	457	ENTRANCE LOUNGE 学生に未来を示したい—徳山豊専務理事が語る	鈴木 美夏 企画・編集	瓜生通信	61
美博ピックアップ うつのみや妖精ミュージアム	中村和歌葉	朝日夕刊	10.8	秋季企画展「江戸への旅—一年貢米と上乗人—」[大分県立先哲史料館]	大津 祐司	大分県立先哲史料館研究紀要	18
微不至負ケズ 鏝ニモ負ケズ 四年目の被災地から 1 仮移転した博物館 文化財31万点洗浄へ奮闘[海と貝のミュージアム]	佐藤 航	東京夕刊	5.14	Art Information 9年ぶりに新設される県立美術館、来春オープン[大分県立美術館]		ギャラリー*	356
美の仕事を追う—脳科学者、骨董街を奔る! 11 浦上蒼穹堂(東京) ラブ&ピース	茂木健一郎	目の眼	449	大分県立美術館が完成 来年4月開館へ		産 経	11.13
美術館案内 永青文庫 都会の森で名品に会う	三宅 秀和	衆 美	12	五感で楽しめる施設に 大分県立美術館 来年4月開館	永田 晶子	毎日夕刊	11.12
特集1 文房四宝の世界 東洋の心を知る 永青文庫 文人愛玩の美硯		目の眼	454	創る、美術と展示～「おやこでえほんづくり」展の現場から～[大垣市スイトピアセンター・アートギャラリー]	菊池 真健 村瀬	ムゼイオン	59
美博ピックアップ 東京都歴史文化財団 江戸東京たても園	永井 美帆	朝日夕刊	12.17	群馬文化考 大川美術館		美術屋・百兵衛	31
平成25年度新収蔵品の紹介[江戸東京博物館]		江戸東京博物館 NEWS	85	平成23年度 大阪城天守閣新収蔵資料紹介	北川 央裕 宮本 裕次 跡部 信	大阪城天守閣紀要	41
企画展 「雑誌に見る東京の20世紀—館蔵資料紹介—」実施報告[江戸東京博物館]	行吉 正一	東京都江戸東京博物館紀要	4	中国を魅了したIMARI/伊万里—「江戸名瓷—伊万里展」を振り返って—[大阪市立東洋陶磁美術館]	小林 仁	陶 説	737
江戸東京博物館の常設展示「生活革命」と東京の電化生活	松井かおる	"	"	特集1 台北 國立故宮博物院の名宝をみる 国内愛蔵 中国美術の名品を訪ねて 大阪市立東洋陶磁美術館		目の眼	453

芸能資料どう残す 保存施設に「効率化」 の逆風 展示・出版 …文化継承探る[大 阪府立上方演芸資料 館]	中沢 義則	日 経	4.5	守れるか、現代建築 の源流 神奈川県立 近代美術館「鎌倉館」 が存続の危機 問わ れる文化への姿勢	大西 若人 朝 日	1.28
探訪ミュージアム57 大阪府立近つ飛鳥博 物館	植木 武	歴史地理 教育	818	傑作「鎌近」解体危機 八幡宮内 改修保存 に法の壁 15年度で 幕 日本初の公立近 代美術館[神奈川県 立近代美術館(鎌倉)]	森本 智之 東京夕刊	3.22
博物館における資料 保存のための施設管 理覚え書き[大阪歴 史博物館]	文珠 省三	大阪歴史 博物館研 究紀要	12	ルボ 神奈川県立近 美鎌倉館 閉館でシ ンボ 名建築 保存 求める声 坂倉準三 設計 文化的価値も	永田 晶子 毎日夕刊	1.15
ブロック報告 四国 ブロック「瀬戸内 国際芸術祭」と「大塚 国際美術館」の現状 報告	安東 七瀬	ZENBI	5	坂倉準三設計の神奈 川県立近代美術館 閉館方針 建物の保 存懸念 鶴岡八幡宮 と借地契約終了へ	高野 清見 読 売	1.16
「芦屋のひまわり」 陶板画で再現 空襲 で焼失 徳島で常設 展示[大塚国際美術 館]	藤波 優	朝日夕刊	10.15	特集 〈かがやき〉広 がるエリアー金沢、 富山の美術探訪ー 金沢21世紀美術館	ギャラリ ー*	356
幻の「ひまわり」再現 ゴッホ代表作、空襲 で焼失 徳島の美術 館、陶板で[大塚国 際美術館]		日経夕刊	9.18	新年特集 この博物 館がすごい! 博物 館・フィールド・ひ と[金沢21世紀美術 館]	若狭 徹 日本歴史	788
旅 鳴門(徳島) 海 の難所 絶景に歓声 [大塚国際美術館]	西條 耕一	読売夕刊	2.27	何でもランキング 青空の下、アートに 触れよう、子どもと 楽しめる作品多く[金 沢21世紀美術館]	日 経	4.5
モダンかつレトロ、 倉敷の町に美を訪ね る列車の旅。[大原 美術館]		芸術新潮	772	現代アート 街に溶 け込む 金沢21世紀 美術館10周年 来館 者増え特区構想も 地元若手とビル改装 /飲食店は割引	日経夕刊	10.25
特集 連休に訪ねる 個性派美術館 岡田 美術館		ギャラリ ー*	349	夏の館巡り 7 気 軽に現代アート 金 沢21世紀美術館(金 沢市) 建物、食材、 感じ方いろいろ	岩浅 憲史 読 売	8.1
Art Topics 岡田美 術館が中国劉海粟美 術館と姉妹提携		"	351	特集 文明開化パノ ラマ浮世絵 幕末・ 明治の東京・横浜 公益社団法人川崎・ 砂子の里資料館	小池満紀子 版面芸術	166
一輝く磁器の花園ー 岡田美術館の清朝陶 磁室	小林 優子 福永 愛 口絵図版解 説	陶 説	734	博物館・美術館にお けるブランディング について[川崎市市 民ミュージアム]	石澤 志津 川崎市市 民ミュージ アム紀 要	26
探訪ミュージアム59 お茶の郷博物館	匂坂裕一郎	歴史地理 教育	820	ART SPOT 2014 春 春爛漫 アートスポ ット日和 DIC 川村 記念美術館	大島 徹也 ZENBI	6
	(力行)			全美フォーラム コ レクションはいま[川 村記念美術館]	美術屋・ 百兵衛	29
「アジアを学ぶー近 代学習院の教育から」 展 アンケートから 見る展覧会の諸問題 と新たな試みについ て[学習院大学史料 館]	橋本 佐保	学習院大 学史料館 紀要	20	宮城文化考 感覚ミ ュージアム		
おじゃったもんせ! かごんまミュージア ム 2 鹿児島市立 美術館		美術屋・ 百兵衛	28			

特別名勝松島と伊達家の歴史遺産 観瀾亭・松島博物館	"	"	京都国立近代美術館で行われた二つの教員研修	朴 鈴子	京都国立近代美術館研究論集	6
回想法を取り入れた出張プログラムおよび展示の実践[北区飛鳥山博物館]	久保 企美子	北区飛鳥山博物館研究報告	16	京都国立博物館の写真について	金井 杜男	学 叢 36
特集・日本の地域博物館シンポジウム11 学芸員はどのような地域博物館を望んだのか 共感の場としての地域博物館[北区飛鳥山博物館]	石倉 孝祐	MUSE-OLOGIST	29	よみもの 新たな京博のすがた	松本 伸之	京都国立博物館だより 184
美の仕事を追う～脳科学者、骨董街を奔る! 18 北山美術店(東京) 芸術は長く、人生は短い	茂木 健一郎	目の眼	456	大特集 大人の修学旅行は、京都国立博物館で。	山下 裕二、 千 宗屋、 対談 晃 画	芸術新潮 779
展示批評 東日本大震災後の博物館における災害史展示を考える[君津市久留里城址資料館]	梶本 直子	地方史研究	368	構想から16年～5年がかりの工事を経て京博「平成知新館」完成 館内外を公開 9・13オープン記念『京へのいざない』展は国宝・重文160点含め史上最大規模		新美術新聞 1340
特集 プレ創刊30周年企画1 銀座界限最新マニュアル2014 Part 2 [ギャラリー一現]		ギャラリー一*	346	口絵解説 京都国立博物館新館「平成知新館」	北條 敦子	文化財* 610
特集 動きだした秋の美術 ギャラリー古今		"	353	特集 京都国立博物館・平成知新館の全て		" "
芸術新潮特別企画 銀座で見つけた! 「画廊の夜会」という夏の夢 ギャラリー一広田美術		芸術新潮	774	京都国立博物館新館「平成知新館」リニューアルオープンにあたって	佐々木 丞平	
特集1 台北 国立故宮博物院の名宝をみる 国内愛蔵 中国美術の名品を訪ねて ギャラリー一柳井		目の眼	453	京都国立博物館の歴史と収蔵品	羽田 聡	
芸術新潮特別企画 銀座で見つけた! 「画廊の夜会」という夏の夢 ギャラリー一ためなが		"	774	20年間の軌跡	北條 敦子	
国宝桜ヶ丘銅鐸を中心とした共同研究および活用への取り組み[九州国立博物館]	進村 真之 橋詰 清孝 土屋 和美 池内 一誠	東風西声*	9	リニューアル後の新しいコンテンツ		
特別展における教育普及解説ツールに関する実践的考察一読まれるパネル、読まれないパネル一[九州国立博物館]	西島 重木子 山下 久美子 鮫島 由佳	"	"	平成知新館の建築と設備	佐藤 俊一	
博物館研究におけるX線CTスキャナ活用の可能性[九州国立博物館]	今津 節生 鳥越 俊行 輪田 慧	"	"	表紙解説 平成知新館と明治古都館[京都国立博物館]	宮川 禎一	" "
探訪ミュージアム60 九州歴史資料館	新山 了一	歴史地理教育	821	特集2 京都国立博物館 平成知新館開館 最新設備で京博の名品を インタビュー 京都国立博物館上席研究員 山本英男さん		目の眼 457
				京都国立博物館に新館	木村 未来	読 売 9.24
				コレスポンダンス～私の永青文庫～ 細川家と京都の接点に注目し、永青文庫所蔵品を紹介している。[京都文化博物館]	村野 正景	永青文庫 86
				おじゃったもんせ! かごんまミュージアム 1 霧島アートの森		美術屋・百兵衛 28

群馬文化考 桐生織物記念館		美術屋・百兵衛	31	新規会員館紹介 no. 6 CCGA 現代グラフィックアートセンター 21世紀の創発的な社会に貢献する	木戸 英行	ZENBI	6
芸術新潮特別企画 銀座で見つけた! 「画廊の夜会」という夏の夢 銀座ジャンセンギャラリー		芸術新潮	774	美術館紹介12 原爆の凶丸木美術館	岡村 幸宣	連盟ニュース	451
芸術新潮特別企画 銀座で見つけた! 「画廊の夜会」という夏の夢 銀座柳画廊		"	"	全美フォーラム 石元泰博コレクションと石元泰博フォトセンターのこれから[高知県立美術館石元泰博フォトセンター]	川浪 千鶴	ZENBI	5
画廊探訪 銀座レトロギャラリー MUSEE		美術屋・百兵衛	29	熱気球[興福寺国宝館]		東京	9.18
新年特集 この博物館がすごい! 展示資料(本物)に埋没できる幸せ[熊本県立美術館]	福原 透	日本歴史	788	神戸歴史見聞録 24 入館者900万人と博物館の建物—登録有形文化財 神戸市立博物館—	田井 玲子	神戸市立博物館だより	105
群馬県立近代美術館 ボランティア20年の足跡	熊谷ゆう子	群馬県立近代美術館研究紀要	8	学芸員の仕事 博物館資料の保存—補修について—[神戸市立博物館]	勝盛 典子	"	106
群馬文化考 文化都市・高崎の3つの美術館 群馬県立近代美術館		美術屋・百兵衛	31	国宝桜ヶ丘銅鐸を中心とした共同研究および活用への取り組み[神戸市立博物館]	進村 真之 橋詰 清孝 土屋 和美 池内 一誠	東風西声*	9
群馬文化考 群馬県立館林美術館		"	"	新年特集 この博物館がすごい! 博物館は「浮き世離れ」した場所か?[高麗博物館]	宮瀧 交二	日本歴史	788
群馬県立歴史博物館 改修工事に関する取り組み—使命書の策定と展示の基本方針—	黒田日出男 岡部 清 小池 浩平 築瀬 大輔 中山 剛志	群馬県立歴史博物館紀要	35	リレーエッセイ53 大震災からよみがえる 萎えた心を解放できる「安心な場所」に[郡山市立美術館]	佐治ゆかり	美連協ニュース	124
3. 本館の通史展示における「東国論」の位置づけ[群馬県立歴史博物館]		"	"	特集 震災とミュージアム 3.11と美術館 福島県立美術館、郡山市立美術館の場合	"	REAR	31
(1)「東国」・「東国文化」と常設展示	黒田日出男			博物館展示のいま 35 古賀歴史博物館 固定しない常設展示 常設展示を補完するテーマ展	立石 尚之	歴博	183
(2)アヅマにおける上毛野—毛野の意味をめぐって—	小池 浩平			大学博物館としての教育普及プログラムの試み—ミュージアムトークからワークショップ「探検! ミュージアム」まで— [國学院大学博物館]	加藤 里美	国学院学術資料センター研究報告*	30
(3)「東国」の八幡信仰と八幡八幡宮—『将門記』の巫女の託宣と八幡八幡宮—	黒田日出男			芸能資料どう残す 保存施設に「効率化」の逆風 展示・出版…文化継承探る[国立演芸場]	中沢 義則	日経	4.5
(4)厩橋城からみた東国	築瀬 大輔			モデルは恐竜 デッサン教室 上野・国立科学博物館		読売	1.17
(5)交通史から見る近世上州と関東の地域性	中山 剛志						
[プロジェクト・ノート]研究所とウェブサイト(前編)—ウェブサイトを再構築プロジェクト2012[慶應義塾大学アート・センター]	本間 友	慶應義塾大学アート・センター一年報	21				

アジア・世界を反映した国立新美術館の1年	青木 保	新美術新聞	1363		(サ行)			
新美スタートの頃あれこれ[国立新美術館]	加茂川幸夫	NACT Review*	1	常設展示の活性化と調査研究[埼玉県立歴史と民俗の博物館]	杉山 正司	埼玉県立歴史と民俗の博物館紀要	8	
美術館の役割分担—準備室の経験から[国立新美術館]	福永 治	"	"	歴史のしおり 金錯銘鉄剣の復元品が寄贈されました!![埼玉県立歴史と民俗の博物館]	杉崎 茂樹	埼玉県立歴史と民俗の博物館だより	24	
国立新美術館情報資料室の活動について	阿部 陽子	"	"					
国立新美術館の管理運営業務	国立新美術館総務課	"	"	特集 プレ創刊30周年企画1 銀座界限最新マニュアル2014 Part1 銀座界限の語り部たち 既成画壇と現代美術の架け橋を担う 彩鳳堂画廊 本庄俊男		ギャラリー一*	345	
美術館という機能について[国立西洋美術館]	馬淵 明子	ゼフュロス	61					
特集:文化を展示すること—日本とヨーロッパの遠近法を考える		国立民族学博物館研究報告	38-4	新年特集 この博物館がすごい! 展示資料(本物)に埋没できる幸せ[佐賀県立九州陶磁文化館]	福原 透	日本歴史	788	
国立民族学博物館のヨーロッパ文化展示	森 明子							
国立民族学博物館における日本文化の展示	日高 真吾			芸術新潮特別企画 銀座で見つけた! 「画廊の夜会」という夏の夢 相模屋美術店		芸術新潮	774	
日本民族学会附属民族学博物館の収集資料[国立民族学博物館]	齋藤 玲子	民博通信	145	詩人・真民の思いを後世に 娘婿として愛媛の町営記念館担う、独特の詩墨作品展示[坂村真民記念館]	西澤 孝一	日 経	2.20	
評論・展望 フォーラム型情報ミュージアムの構築—国立民族学博物館における新たな展開	岸上 伸啓	"	146	美術館紹介13 佐喜真美術館	佐喜真道夫	連盟ニュース	452	
展示批評 東日本大震災後の博物館における災害史展示を考える[国立歴史民俗博物館]	橋本 直子	地方史研究	368	北海道文化考 札幌大通地下ギャラリー500m 美術館		美術屋・百兵衛	30	
特集 連休に訪ねる個性派美術館 心の花美術館		ギャラリー一*	349	北海道文化考 札幌宮の森美術館		"	"	
美術館紹介10 小杉放庵記念日光美術館	同館学芸課	連盟ニュース	449	特集 連休に訪ねる個性派美術館 郷さくら美術館 郡山 東京		ギャラリー一*	349	
特集1 文房四宝の世界 東洋の心を知る 五島美術館 書家遺愛の文房古玩		目の眼	454	ライトアップ[讃岐漆芸美術館]		東京夕刊	4.19	
小林一三記念館についての一考察	塩田 昌弘	大手前大学論集	14	サントリー美術館の軌跡—館長・鳥井信吾氏聞き書き—	河野 元昭 聞き手 山口万里子 構成	国華清話会会報	24	
新規会員館紹介 no.7 小林古径記念美術館 古径芸術をより深く、より多角的に	笹川 修一	ZENBI	6	美術鑑賞を「おもしろく」するために—鑑賞支援ツールの振り返りとその展開[サントリー美術館]	関 香澄	サントリー美術館研究紀要	2	

公立美術館個性で勝負 改装契機、全国から集客 秋田県立藤田嗣治に特化 千葉・市原館内から湖展望 半年で8万人 独創アート充実[滋賀県立近代美術館]	田村 広済 日 経	3.29	特集 プレ創刊30周年企画1 銀座界限最新マニュアル2014 Part 1 銀座界限の語り部たち 一代で45年以上続けて得た信頼 シロタ画廊 白田貞夫	ギャラリー一*	345
仙台市博物館における巡回展「滋賀県立琵琶湖文化館が守り伝える美 近江巡礼祈りの至宝展」の開催とその展示構成	井上ひろ美	滋賀県立琵琶湖文化館研究紀要	風と遊ぶ彫刻 兵庫・三田に新宮晋のミュージアム[新宮晋風のミュージアム]	正木 利和 産 経	7.10
探訪ミュージアム61 式年遷宮記念せんぐう館	新田 康二	歴史地理教育	神宮徴古館特別展「おおみやうつし」開催	石垣 仁久 瑞 垣	229
美の仕事を追う～脳科学者、骨董街を奔る! 20 自在屋(東京) 骨董品の非売品	茂木健一郎	目の眼	特別名勝松島と伊達家の歴史遺産 国宝瑞巖寺[瑞巖寺清龍殿]	美術屋・百兵衛	29
TOPICS 「ロダン館」の遠い遠い由来[静岡県立美術館]	芳賀 徹	アマリリス	地域と古文書 杉並区立郷土博物館 みおつくしの会	大橋 毅顕 古文書研究	76
文化往来 東洋一のロダン展示、20周年 迎えイベント[静岡県立美術館]		日 経	展示批評 杉並区立郷土博物館特別展 甲州道中へのいざない 行き交う人・モノ	野本 楨司 地方史研究	368
特集 動きだした秋の美術 Change 信濃デッサン館、無言館		ギャラリー一*	特集 動きだした秋の美術 Renewal 東京都庭園美術館/東京都写真美術館/すみだ北斎美術館	ギャラリー一*	353
美術館紹介11 信濃デッサン館 無言館	窪島誠一郎	連盟ニュース	墨田区 北斎美術館 着工へ 計画から25年 16年度開館を予定	近藤 浩之 毎 日	7.18
芸術新潮特別企画 銀座で見つけた! 「画廊の夜会」という夏の夢 至峰堂画廊 銀座店		芸術新潮	芸術新潮特別企画 銀座で見つけた! 「画廊の夜会」という夏の夢 靖山画廊	芸術新潮	774
美の仕事を追う～脳科学者、骨董街を奔る! 17 古美術 下條(東京) 知らないものを知る	茂木健一郎	目の眼	探訪ミュージアム65 関ヶ原町歴史民俗資料館	草野 道雄 歴史地理教育	828
首里城公園開園20周年記念特別展 「首里城に魂を! 一国内唯一の赤い城 二十年のストーリー」 実施結果報告[首里城公園南殿]	大城 樹	首里城公園管理センター年報*	新年特集 この博物館がすごい! 世田谷の代官屋敷が郷土資料館[世田谷区立郷土資料館]	松尾 正人 日本歴史	788
4 [読ん]で知るアート 政治とアート 近代日本の歩みを描いた絵画[聖徳記念絵画館]	茂木健一郎	朝日夕刊	「ぶる・ま・しゅり〜こどもといっしょに〜」幼児と保護者を対象とする五感体験を通じたプログラム—その紹介と考察[世田谷美術館]	渡辺 慎子 世田谷美術館紀要	15
女子美術大学美術館におけるユニバーシティ・ミュージアムの実践2013	須藤 良子 足立 圭 澤井 智実 小磯 かつお 笠原光咲子 深津 裕子	女子美術大学研究紀要	卒業生による活動報告 世田谷美術館	嶋田 紗千 MUSE- OLOGY	33
			小説家 平野啓一郎が見た美術展 「実験工房展 戦後芸術を切り拓く」[世田谷美術館]	平野啓一郎 日 経	1.9



美術館案内 泉屋博古館 古都で東洋の美と出会う	実方 葉子 聚 美 10	群馬文化考 文化都市・高崎の3つの美術館 高崎市タワー美術館	美術屋・百兵衛	31
特集1 文房四宝の世界 東洋の心を知る 泉屋博古館 数寄者が集めた机上の美	目の眼 454	卒業生による活動報告 高崎市タワー美術館	小倉絵里子 MUSE- OLOGY	33
仙台市縄文の森広場の学校利用	平塚 幸人 地底の森 ミュージアム研究 報告*	群馬文化考 文化都市・高崎の3つの美術館 高崎市美術館	美術屋・百兵衛	31
仙台市博物館における巡回展「滋賀県立琵琶湖文化館が守り伝える美 近江巡礼祈りの至宝展」の開催とその展示構成	井上ひろ美 滋賀県立 琵琶湖文化館研究 紀要	企業アーカイブズとしての高島屋史料館に関する一考察	渡辺 美喜 GCAS Report*	3
二〇一三年開催の南蛮漆器に関する展覧会から—Lucas Namban展(マドリッド)と「伊達政宗の夢」展(仙台)—[仙台市博物館]	小林 公治 美術研究 413	特集 動きだした秋の美術 Open 竹中大工道具館	ギャラリー一*	353
宮城文化考 仙台市博物館	美術屋・百兵衛 29	視点 メセナ大賞を受賞して[竹中大工道具館]	川北 英 美術の窓	375
宮城文化考 せんだいメディアテーク	” ”	探訪ミュージアム62 竹原市歴史民俗資料館	是垣 高志 歴史地理 教育	824
特集 震災とミュージアム[せんだいメディアテーク]	R E A R 31	群馬文化考 竹久夢二伊香保記念館	美術屋・百兵衛	31
せんだいメディアテークと震災	佐藤 泰	東京セレクト いち押しの一品 日常に夢ニティスト 竹久夢二美術館 夢ニレターセット	服部 夏生 東京	2.23
レポート「わすれん！」市民と寄り添うメディアエーターの役割	高橋 綾子	解体現場 タイル救出隊 最大産地・笠原の有志と敢行、先人の作品を後世に[多治見市モザイクタイルミュージアム]	各務 寛治 日 経	6.12
特集1 目の眼的 春の京都をめぐる旅 古美術店案内 01 善田昌運堂	目の眼 451	美の仕事を追う一脳科学者、骨董街を奔る! 13 谷庄(金沢) 加賀百万石のめぐみ。	茂木健一郎 目の眼	451
女流画家協会秋田角館展[仙北市立角館町平福記念美術館]	(岸) 小松亜希子 女流画家 協会会報	特集 美術大学を歩こう 3 多摩美術大学美術館	ギャラリー一*	351
美術館・博物館新時代33 『FACE展』の挑戦[損保ジャパン 東郷青児美術館]	五十嵐 卓 紫 明 35	特集 地域博物館とボランティア 多摩六都科学館の市民連携活動としてのボランティア活動	安倍 覚子 ミュージアム多摩	35
(タ行)				
新年特集 この博物館がすごい! 個人博物館の愉しみと命運—「西域」への夢と書道博物館[台東区立書道博物館]	中見 立夫 日本歴史 788	固有の発信 丹波古陶館と古丹波一開館 四十五周年に思う	中西 薫 紫 明	35
Essey 2 博 勞 小学校卒業制作コレクションのご紹介[高岡市美術館]	竹内 唯 PATIO 30	茅ヶ崎市文化資料館と学校教育について一学習利用に関する小中学校教職員アンケート調査の報告 2013—	須藤 格 文化資料 館調査研 究報告	23

変容する、遺跡博物館への期待—2013年度地底の森ミュージアム来館者アンケート分析—	中谷 可奈	地底の森ミュージアム研究報告*	2013	特集1 台北 國立故宮博物院の名宝をみる 国内愛蔵 中国美術の名品を訪ねて 東京国立博物館 東洋館	目の眼	453		
何でもランキング 青空の下、アートに触れよう 子どもと楽しめる作品多く [彫刻の森美術館]			日 経	4.5				
道の駅に常設ギャラリー 北海道雨竜町辻井京雲さんの書作品 [辻井京雲ギャラリー 墨響]	桐山 正寿		毎日夕刊	5.27				
「土浦市立博物館テーマ展 城下町土浦の祭礼—江戸の文化と土浦—」を観て	松岡 薫	地方史研究		372				
探訪ミュージアム58 津山洋学資料館	平島 正司	歴史地理教育		819				
東京藝術大学大学美術館の展覧会活動	松下 倫子	東京藝術大学大学美術館年報		H24年度				
教育普及 「こども美術館」—参加者の過ごした時間から学ぶ [東京国立近代美術館]	細谷 美宇	現代の眼		605				
On view 工芸館のコレクションの基礎となった文化庁からの管理換作品に係ることについて [東京国立近代美術館工芸館]	佐々木正直			609				
〈映画保存運動〉前夜 日本において映画フィルムの納入義務が免除されたとき [東京国立近代美術館フィルムセンター]	石原 香絵	GCAS Report*		3				
美博ピックアップ 小津安二郎の画像学 東京国立近代美術館フィルムセンター	塩田麻衣子		朝日夕刊	1.22				
国立近代美術館フィルムセンター 「重要級」保存棟が完成			東 京	7.20				
福永聖二の映画三昧 フィルムの保存・修復に力を [東京国立近代美術館フィルムセンター]	編集委員		読売夕刊	8.6				
全美フォーラム 東京国立博物館の SNS	小林 牧	ZENBI		5				
研究ノート 東京国立博物館の題箋の英語情報に関する分類と考察—作品名称の英訳方法について—	デービッド・ミラー	MU-SEUM		648				
					限定 要チェック! 上野の桜は、裏手の花園で 東京国立博物館 春の庭園開放 来月13日まで 応挙の障壁画の茶室も	村手 久枝 東 京	3.14	
					親子でぶらり! 学べるスポット 東京国立博物館 マンネリなきトーハク	(門)	12.18	
					都内の美術館・博物館 芸術の秋 若者に照準 [東京国立博物館]	日 経	10.10	
					東京国立博物館が一部リニューアル チケット売り場など	岸 桂子 毎日夕刊	4.16	
					美の仕事を追う〜脳科学者、骨董街を奔る! 14 「美しい花」に向き合う不安をこそ [東京ステーションギャラリー]	茂木健一郎 目の眼	452	
					—高絵画コレクションの概要— 高の教育理念と「歴史画」をめぐって— [東京大学駒場博物館]	井戸 美里 B I	7	
					博物資源の価値 より高く、どんな場所でもミュージアムに 東大総合研究博物館館長 西野嘉章さん [東京大学総合研究博物館]	西野 嘉章 松岡 資明 聞き手	日経夕刊	11.5
					美博ピックアップ 建築ミュージアム/東京大学総合研究博物館小石川分館 [東京大学総合研究博物館小石川分館建築ミュージアム]	相田 香織 朝日夕刊	9.3	
					特集 動きだした秋の美術 Renewal 東京都庭園美術館/東京都写真美術館/すみだ北斎美術館	ギャラリー*	353	
					東京都写真美術館のワークショップ 暗室での現像体験の意義	徳本 宏子 東京都写真美術館 紀要	13	

コンパス 続おもてなし[東京都写真美術館]	加古 陽治	東京夕刊	6.14						
東京都写真美術館改修工事2年休館		読 売	9.25						
特集 動きだした秋の美術 Renewal 東京都庭園美術館/東京都写真美術館/すみだ北斎美術館		ギャラリー一*	353						
東京都庭園美術館リニューアルオープン11/22 本館は建設当初の姿へ、新館にはホワイト・キューブも		新美術新聞	1356						
都庭園美術館、11月に再開館 2011年から耐震改修		朝 日	9.23						
港区の都庭園美術館1933年当時の姿に近づく 22日リニューアルオープン	松村 裕子	東 京	11.6						
庭園美術館 旧宮家の趣 昭和初期の居間復元 白金台展示室1.6倍、今秋にも現代美術展も、若者		日 経	7.23						
都内の美術館・博物館 芸術の秋 若者に照準[東京都庭園美術館]		"	10.10						
都庭園美術館リニューアル 11月22日オープン 本館は創建当初の状態に 新館はギャラリーを新設	和田 浩幸	毎 日	9.22						
都庭園美術館きょう再開館 壁紙やカーテン復元		読 売	11.22						
東京都庭園美術館改修工事終え再開	渡部 恵子	"	12.11						
東京都美術館のアート・コミュニケーション事業と学校連携	稲庭彩和子	東京都美術館紀要	20						
公募特集 公募展と美術館の新しい関係 PART 1 東京都美術館と公募展	竹見洋一郎	美術手帖	1004						
都美術館が託児サービス 子育てババママもじっくり芸術鑑賞 日曜・祝日中心		東 京	4.3						
記者ノート 公立美術館の中立性とは[東京都美術館]	井上 晋治	読 売	3.13						
特集 地域博物館とボランティア 支援団体との協力～大学附属博物館としての課題と試み～[東京農工大学科学博物館]	高木 愛子	ミュージアム多摩	35						
特集 1 ニッポン男児の日本刀入門 ミュージアムで名刀を鑑る 刀剣博物館		目 の 眼	455						
私の履歴書 29 発信拠点 東大寺の宝物を間近で 博物館や図書館・研究所併設[東大寺ミュージアム]	森本 公誠	日 経	8.30						
資料紹介 東洋民俗博物館所蔵のポスター・コレクションについて	田島奈都子	大正イマジユリイ	9						
北海道文化考 十勝千年の森		美術屋・百兵衛	30						
シュルレアリスム展における体験的な取り組みと学校等への拡がり[徳島県立近代美術館]	友井 伸一 亀井 幸子	徳島県立近代美術館研究紀要	15						
栃木県立博物館の教育普及事業―特に民俗部門について―	宮田 妙子	栃木県立博物館研究紀要	31						
栃木県立博物館の博学連携実践報告―普及資料課の取り組みから―	加藤 正人	"	"						
新規会員館紹介 no. 4 富岡市立美術館博物館・福沢一郎記念美術館 地域に根ざした、かまぼこ屋根の美術館	染谷 滋	ZENBI	6						
群馬文化考 富岡市立美術館博物館・福沢一郎記念美術館		美術屋・百兵衛	31						
特集 (かがやき)広がるエリア―金沢、富山の美術探訪― 富山県水墨美術館		ギャラリー一*	356						
特集 (かがやき)広がるエリア―金沢、富山の美術探訪― 富山県立近代美術館		"	"						
富山市ガラス美術館(仮称)が2015年8月22日開館		新美術新聞	1358						
何でもランキン グ 青空の下、アートに触れよう 子どもと楽しめる作品多く[十和田市現代美術館]		日 経	4.5						
ふるさと再訪 青森・十和田 8 異次元の体験、人呼ぶ十和田市現代美術館	工藤 憲雄	日経夕刊	9.6						

(ナ行)							
美術新潮特別企画 銀座で見つけた！ 「画廊の夜会」という 夏の夢 永井画廊	美術新潮	774		美術館と学校との連 携に関する一考察[新 潟県立近代美術館]	青木 善治	新潟県立 近代美術 館研究紀 要	13
北海道文化考 中札 内美術村	美術屋・ 百兵衛	30		特集 画廊健在なり！ 独自の活動を貫き、 今年40周年を迎えた 画廊 西村画廊		ギャラリ ー*	350
おじゃったもんせ！ かごんまミュージア ム 3 長島美術館	〃	28		特集 画廊健在なり！ 独自の活動を貫き、 今年40周年を迎えた 画廊 西邑画廊		〃	〃
長野県信濃美術館に おけるコレクション 形成の初期段階につ いて	石井 絵美	長野県信 濃美術館 紀要	8	美博ピックアップ 人間国宝美術館	中村和歌菜	朝日夕刊	11.19
「鑑賞」についての素 描一言葉を超えてあ るものへー[長野県 信濃美術館]	岸田 恵理	〃	〃	レポート墨「山水」 のお香とうつわで癒 しのひとときを[根 津美術館]		水墨画*	304
鹿児島文化考 中村 晋也美術館	美術屋・ 百兵衛	28		(ハ行)			
特集 動きだした秋 の美術 Open 中村 屋サロン美術館	ギャラリ ー*	353		特集1 藤田美術館 白鶴美術館 関西の 二大実業家が護った 東洋の宝		目の眼	457
新宿に新たな文化拠 点、中村屋サロン美 術館がオープン 伝 統の継承と新たな芸 術活動を支援 イン タビュー 柴谷省三	編集部 聞き手	美術*	471	白鶴コレクション を読み解く五点	山中 理、 海原 靖子 案内人		
中村屋サロン美術館 が開館 新宿駅東口		読 売	11.20	解説 嘉納鶴翁と 白鶴コレクション	海原 靖子		
建築と美術館12 ポ ストモダン美術館の リノベーション[名 古屋市美術館]	五十嵐太郎	美連協ニ ュース	121	編集長インタビュー ー 美術の継承と 社会貢献への取り 組み	嘉納 健二 白洲 信哉 インタビュー		
平城宮跡資料館夏期 企画展における新た な試み[奈良文化財 研究所平城宮跡資料 館]	中川 あや 渡邊 淳子	奈良文化 財研究所 紀要	2014	新年特集 この博物 館がすごい！ 明治 の総合博物館[博物 館明治村]	鈴木 淳	日本歴史	788
平城宮跡資料館来館 者を対象とした展示 評価調査と都城関連 遺跡展示の現状と課 題	渡邊 淳子 黒岩 啓子 中川 あや	〃	〃	アートのスポットわ くわく案内 箱根ガラ スの森美術館		芸術新潮	778
博物館展示のいま 37 奈良文化財研究 所平城宮跡資料館 出土品をアートとし て眺め・楽しむ試み	中川 あや	歴 博	185	INFORMATION NEWS アール・ブリュット の美術館 福島県に オープン 美術館に できることを問う、 挑戦のはじまり[は じまりの美術館]	五十嵐太郎	美術手帖	1010
探訪ミュージアム56 南山大学人類学博物 館(愛知県名古屋市)	中尾 宏康	歴史地理 教育	816	美の仕事を追うー脳 科学者、骨董街を奔 る！ 12 はせべや (東京) 骨董とは、 「人」である。	茂木健一郎	目の眼	450
特集 プレ創刊30周 年企画1 銀座界限 最新マニュアル2014 Part 1 銀座界限の 語り部たち 画廊の 伝統と時代の傾向と … 南天子画廊 青 木康彦		ギャラリ ー*	345	美術館案内 島山記 念館 都心で茶の湯 を楽しむ	水田至摩子	聚 美	11
				博物館展示のいま 39 八戸市埋蔵文化 財センター 是川縄 文館 縄文の美と謎 を探る	小久保拓也	歴 博	187

新規会員館紹介 no. 5 林原美術館 日本近世大名コレクション	浅利 尚民	ZENBI	6	全美フォーラム 備忘三年[福島県立美術館]	堀 宜雄	ZENBI	6
美博ピックアップ 原美術館	相田 香織	朝日夕刊	7.9	特集 震災とミュージアム		REAR	31
群馬文化考 ハラミュージアム アーク		美術屋・百兵衛	31	震災とミュージアム 福島県立美術館の場合	伊藤 匡		
美博ピックアップ 狩野派の障壁画 原六郎コレクション ハラミュージアムアーク	塩見 圭	朝日夕刊	4.30	3.11と美術館 福島県立美術館、郡山市立美術館の場合	佐治ゆかり		
特集 地域博物館とボランティア パルテノン多摩植物標本整理ボランティア[パルテノン多摩歴史ミュージアム]	仙仁 径	ミュージアム多摩	35	新規会員館紹介 no. 1 福島美術館 仙台・街のちいさな福島美術館として	尾暮まゆみ	ZENBI	6
展示批評 東日本大震災後の博物館における災害史展示を考える[飯能市郷土館]	橋本 直子	地方史研究	368	美術館案内 藤田美術館—藤田伝三郎と美術館—	前野 絵里 聚 美		13
小連載 表御殿のみどころ 1 復元された表御殿[彦根城博物館]	野田 浩子	彦根城博物館だより	106	特集1 藤田美術館 白鶴美術館 関西の二大実業家が護った東洋の宝		目の眼	457
特集 受け継がれる久松真一の心 故郷にのこる久松の心 久松真一記念館から		淡 交	840	藤田コレクションを読み解く五点	藤田 清、 戸田博、 案内人		
学芸ノート 館蔵品による教育普及型展覧会「姫路市民美術館」の実施について[姫路市立美術館]	本丸 生野	姫路市立美術館だより	122	解説 藤田傳三郎と藤田コレクション	"		
リレーエッセイ50 30年が経って 間断なく続く市民と美術館との交わり[姫路市立美術館]	岸野 裕人	美連協ニュース	121	特集 地域博物館とボランティア “学び”から“協働”へ～「古文書整理班」の活動について～[府中市郷土の森博物館]	花木 知子	ミュージアム多摩	35
ひょうご歴史文化フォーラムの軌跡—会員制による組織運営の記録—[兵庫県立歴史博物館]	鈴木 敬二	塵 界	25	特集 地域博物館とボランティア 文化財・史跡ガイドボランティアの立ち上げにかかわって[福生市郷土資料室]	青海 伸一	"	"
特集・日本の地域博物館シンポジウム11 学芸員はどのような地域博物館を望んだのか これからの地域博物館像の模索—平塚市博物館の理念検証作業と新事業—	早田 旅人	MUSE-OLOGIST	29	米の著名ギャラリー東京・原宿に進出[プラム&ポー]	岸 桂子	毎日夕刊	10.1
ガンゴウ・ヴィレッジと一九八〇年代・ミャンマーの実験美術—もっと自由に！[福岡アジア美術館]	五十嵐理奈	デアアルテ	30	織部の大胆さに憧れ 漫画・茶会・美術館 秩序崩す美 脚光[古田織部美術館]	木村 未来	読 売	6.26
美術館と動物園の連携：「美術館でZoo」の教育普及[福岡市美術館]	神保 明香	福岡市美術館研究 紀要	2	画廊探訪 ポエム・デ・リラ		美術屋・百兵衛	28
				美博ピックアップ ホキ美術館	西村 和美	朝日夕刊	10.15
				北荘画廊をめぐる一戦前と戦後をむすぶ場所	大谷 省吾	近代画説	23
				探訪ミュージアム63 星の降る里百年記念館	佐藤 広也	歴史地理教育	825
				画廊探訪 北海道画廊		美術屋・百兵衛	30

北海道文化考 北海道立近代美術館		美術屋・百兵衛	30	特集 プレ創刊30周年企画1 銀座界限最新マニュアル2014 Part 2 [みゆき画廊]	ギャラリー	346
(マ行)						
探訪ミュージアム54 舞鶴引揚記念館(京都府舞鶴市)	田中 仁	歴史地理教育	814	特集 動きだした秋の美術 Open ミュゼ・マミ	〃	353
新年特集 この博物館がすごい! 古代玉作をテーマとする全国唯一の資料館の現在[松江市立出雲玉作資料館]	菊地 照夫	日本歴史	788	特集 動きだした秋の美術 Change 信濃デッサン館、無言館	〃	〃
特集1 台北 国立故宮博物院の名宝をみる 国内愛蔵 中国美術の名品を訪ねて 松岡美術館		日の眼	453	美術館紹介11 信濃デッサン館 無言館	窪島誠一郎 連盟ニュース	450
松戸徳川家伝来美術品の機能と価値一調度品・日用品の分類と水戸徳川家御讓品を中心に―[松戸市戸定歴史館]	小寺 瑛広	国学院雑誌	1283	戦没画学生に光 長野の「無言館」 記憶収集 風化させぬ 海外からも	武藤 周吉 東京	9.28
博物館展示のいま 38 松戸市立博物館 地域の拠点・開かれた博物館をめざして	小林 孝秀	歴 博	186	美博ピックアップ 武蔵野美術大学美術館・図書館 椅子ギャラリー	相田 香織 朝日夕刊	11.5
視点 高校生プロジェクトと猪熊弦一郎 現代美術館[丸亀市猪熊弦一郎現代美術館]	佐柳 理奈	美術の窓	367	芸術新潮特別企画 銀座で見つけた! 「画廊の夜会」という夏の夢 村越画廊		774
日本史のひろば 三重県総合博物館の現状と課題―交流創造エリアと公文書館機能―	藤谷 彰	歴史と地理	680	新年特集 この博物館がすごい! 中学校が本格的な博物館に变身[めぐろ歴史資料館]	有富由紀子 日本歴史	788
特集 震災とミュージアム メール・インタビュー 抗いよのない「忘却」に備えて[水戸芸術館]	竹久 侑	R E A R	31	刑部人・鈴木千久馬・橘原健三… 埋もれた名画 もう一度世に 豊島の高島さん ネットオークション活用 個人で美術館[目白美術館]	重政 紀元 朝 日	9.8
平成二十五年度 MIHO MUSEUM 事業		秀明美術	21	(ヤ行)		
MIHO MUSEUM 友の会事業				山形県立博物館資料紹介「山形の伝統風」	秋葉 正任 山形県立博物館研究報告	32
宮城文化考 日本で初めて大西洋を渡った男たちの夢 宮城県慶長使節船ミュージアム サン・ファン館		美術屋・百兵衛	29	探訪ミュージアム64 山形県立博物館	稲垣 聡一 歴史地理教育	826
宮城文化考 宮城県美術館		〃	〃	何でもランキング 廃校で土地の魅力再発見 アートを感じる [山里の美術館・共星の里]	日 経	5.24
おじやっただもんせ! かごんまミュージアム 4 三宅美術館		〃	28	アートと世界 第8話 山梨県立美術館の誕生秘話	大村 智 談 文 美術の窓	371
				学ぶ育む 地域から世界から 美術館小6が名画解説 山梨[山梨県立美術館]	渡辺 友理 読 売	12.12
				弥生博の記憶[弥生文化博物館]	合田 幸美 弥生文化博物館研究報告	7

親子でぶらり！学べるスポット いや誤算[1853]、ベリー来航 横浜開港資料館(横浜市中区) (仁) 東京 7.10

「今日の作家展」の記録 1996〜2006年[横浜市民ギャラリー] 大塚 真弓 横浜美術館研究紀要 15

横浜美術館と横浜トリエンナーレ 逢坂恵理子 NACT Review\* 1

鑑賞プログラム「夏休みこどもフェスタ」、その始まりと展開について(記録と考察)[横浜美術館] 山崎 優 横浜美術館研究紀要 15

博物館展示のいま 36 横浜みなと博物館 歴史と暮らしのなかの博物館 志澤 政勝 歴博 184

(ラ行)

新年特集 この博物館がすごい！ 博物館は「浮き世離れ」した場所か？[リアス・アーク美術館] 宮瀧 交二 日本歴史 788

宮城文化考 リアス・アーク美術館 美術屋・百兵衛 29

シリーズ3.11からの歴史学 史料と展示「未来を守るために」ーリアス・アーク美術館常設展示「東日本大震災の記録と津波の災害史」ー 山内 宏泰 歴史学研究 916

博物館展示のいま 34 リアス・アーク美術館 博物館における表現の課題についてーリアス・アーク美術館常設展示『東日本大震災の記録と津波の災害史』での試みー // 歴博 182

微ニモ負ケズ 鏽ニモ負ケズ 四年目の被災地から 1 仮移転した博物館 文化財31万点洗浄へ奮闘[陸前高田市立博物館] 佐藤 航 東京夕刊 5.14

文書館・史料館めぐり 立命館大学アート・リサーチセンター 越川 綾子 日本歴史 792

視点 六甲山の上美術館「さわるみゅーじあむ」美術館で触って観る鑑賞法 矢野 茂樹 美術の窓 367

美の仕事を追う〜脳科学者、骨董街を奔る！ 21 LONDON GALLERY[ロンドンギャラリー](東京)アイデアが実体化すること。

茂木健一郎 目の眼 459

(ワ行)

博物館・美術館新時代32 曲がり角の「公立美術館」から[和歌山県立近代美術館] 熊田 司 紫 明 34

「和歌山県立近代美術館・博物館 建築の魅力をさぐる」(1〜3) 吉田 行雄、和歌山県立近代美術館ニュース 78〜80  
長谷川 勉、拓志 編

鑑賞教育は誰のためかー「たまごせんせい」の目指すもの[和歌山県立近代美術館] 青木 加苗 // 80

「和歌山県立近代美術館・博物館 建築の魅力をさぐる」(1〜3)[和歌山県立博物館] 吉田 行雄、長谷川 勉、拓志 編 // 78〜80

美術館めぐり ワグナー・ナンドール アートギャラリー 前芝 武史 ART LIBRARY 15

芸能資料どう残す 保存施設に「効率化」の逆風 展示・出版…文化継承探る[早稲田大学演劇博物館] 中沢 義則 日 経 4.5

視点 TURN という視座一障がい者支援施設での体験から見えるもの[薬工ミュージアム] 松本志帆子 美術の窓 374

海外

特集 イタリア・ルネサンスの宝石箱 ウフィツィ美術館ものがたり フィレンツェ 美術を歩く 厳選！寄り道アート・スポット[アカデミア美術館] 編集部 芸術新潮 778

新美術時評 台湾・故宮博物院が建設中の「亜細芸術文化博物館」 島尾 新 新美術新聞 1358

INFORMATION 10年もの歳月をかけた美術館改修の舞台裏に迫る、映画『みんなの阿姆斯特ダム 国立美術館へ』 熊倉 晴子 美術手帖 1016

みんなに開かれた美術館とは オランダ「美の殿堂」大改修 紆余曲折の10年を映画化[アムステルダム国立美術館]	黒沢 綾子 産 経	12.18	ウフィツィ美術館で出会う 名品の名品たち	小佐野重利 選		
			ウフィツィ美術館小史	編集部		
大特集 ほんとうは教えたくない パリの小さな美術館 アラブの意匠を歩く アラブ世界研究所		芸術新潮 773	ウフィツィ美術館を歩こう	〃		
SPECIAL FEATURE アンディ・ウォーホルのABC [コラム] MUSEUM ウォーホルの美術館[アンディ・ウォーホル美術館]		美術手帖 1000	interview アントニオ・ナターリ	アントニオ・ナターリ		
			column ヴァザリーの回廊—アルノ川に臨む自画像の殿堂	編集部		
大特集 ほんとうは教えたくない パリの小さな美術館 伝説のリトグラフ工房は今日も イデム・パリ		芸術新潮 773	研究ノート 展覧会評「大公子フェルディナンド(一六六三—一七三三):コレクター/パトロン」について[ウフィツィ美術館]	坂本 篤史	美術史論集	14
大特集 ほんとうは教えたくない パリの小さな美術館 郊外で羽を伸ばす現代アート MACVAL[ヴァル＝ド＝マルヌ県立現代美術館]		〃 〃	大特集 ほんとうは教えたくない パリの小さな美術館 ワイン倉の奥のレトロ・ワールド 緑日博物館		芸術新潮	773
from the World V&A エキシビション・ロード—増改築が進むロンドンのミュージアム建築[ヴィクトリア&アルバート美術館]	中島 恭子	A X I S 167	Global News Paris その数8万点! 眠れるデッサンの森[オランジュリー美術館]	永島 取材 章雄	〃	775
新美術時評 8年ぶりのロンドン訪問[ヴィクトリア&アルバート美術館]	島尾 新	新美術新聞 1361	WORLD NEWS 重慶 金融危機以後の、中国現代美術における新しい波[オルガンハウス・アールスペース]	倪 昆	美術手帖	1005
特集 ラファエル前派 PART 2 ラファエル前派 第二世代から唯美主義へ 芸術とデザインの殿堂 ヴィクトリア・アンド・アルバート博物館	近藤 彩音	美術手帖 1001	Global News Paris その数8万点! 眠れるデッサンの森[オルセー美術館]	永島 取材 章雄	芸術新潮	775
REVIEWS 06 近藤亮介 新人月評6回 崩壊の「美術」館 「メジヒリアのCODEックス」展[ウクライナ国立美術館]	近藤 亮介	〃 1010	展覧会評 「せめぎあうヴィジョン—ス페인植民地世界」展[カウンティ美術館]	岡田 裕成	西洋美術研究	18
大特集 ほんとうは教えたくない パリの小さな美術館 画家の終の住処へ ウジェーヌ＝ドラクロワ美術館		芸術新潮 773	WORLD NEWS ロサンジェルス サッカーとスキー。スポーツを扱った2つの展覧会[カウンティ美術館]	廣 李果	美術手帖	1005
特集 イタリア・ルネサンスの宝石箱 ウフィツィ美術館ものがたり		〃 778	Global News New York 高級画廊 ガゴシアン 挑戦!? [ガゴシアン画廊]	藤森 取材 愛実	芸術新潮	774
			大特集 ほんとうは教えたくない パリの小さな美術館 モンパルナスの前衛 カルティエ財団現代美術館		〃	773



大特集 ほんとうは教えたくない パリの小さな美術館「嫉妬で気が狂いそうになる美術館」カルナヴァレ美術館	鹿島 茂	” ”	国立故宫博物院&台北めぐりガイド	岩切 滯、 永峰 美佳、 文島 泰介、 構成		
最初のハワイ移民出発地に建てられた韓国移民史博物館	趙坂野 宇星 訳 慎治	コリアナ 21-1	国立故宫博物院の歴史	永峰 美佳		
韓国国立中央博物館企画展 朝鮮青花一その藍に染まる		陶 説 738	特集1 台北 国立故宫博物院の名宝をみる 台北 故宫の美をたずねる	白洲 信哉	目の眼	453
大特集 ほんとうは教えたくない パリの小さな美術館		芸術新潮 773	台北故宫 新時代イデオロギー・政治対立から脱却の動き アジアにも視野を広げる「中華の殿堂」	中村 俊介	朝 日	6.10
フジノ流 パリの美術館見楽[けんがく]記[ギュスターヴ・モロー美術館]	藤野 可織		イマ推しっ! アート 台北、美術品巡りの旅[故宫博物院(台北)]	市原 尚士	読売夕刊	8.13
描きかけもあるけど、我が家へようこそ ギュスターヴ・モロー美術館			Global News Roma 女性の身体、130通りの描かれ方[国立近代美術館(ローマ)]	高橋 恵理 取材	芸術新潮	776
ART TOPICS イタリア未来派を発掘[グッゲンハイム美術館]		日 経 7.10	文化フォーカス 国立現代美術館ソウル館がオープン	高 美 錫 趙 祥恩 訳	コリアナ	21-1
大特集 ほんとうは教えたくない パリの小さな美術館 フジノ流 パリの美術館見楽[けんがく]記[クリュニー中世美術館]	”	芸術新潮 773	WORLD NEWS ソウル 古都に浮かぶ現代美術の箱舟-韓国国立現代美術館ソウル館がオープン	金 恵信	美術手帖	999
World Paris 「カナック アートは言葉」展 独立か否か? 住民投票の前に振り返る ニューカレドニアの先住民カナックの文化[ケ・ブランリー美術館]	羽生のり子 取材	” ” 769	二〇一三年開催の南蛮漆器に関する展覧会から-Lacas Namban展(マドリッド)と「伊達政宗の夢」展(仙台)-[国立装飾美術博物館]	小林 公治	美術研究	413
大特集 ほんとうは教えたくない パリの小さな美術館 なんちゃってフランス建築周遊の旅 建築文化財博物館		” ” 773	アート・レビュウ 韓国の道教文化 幸福への道[国立中央博物館]	安 京淑	コリアナ	21-2
大特集 ほんとうは教えたくない パリの小さな美術館 元修道院に発明品が大集合 工芸技術博物館		” ”	創造の原点 魅せる空間 「歩く」を突き詰め フェラガモ博物館@フィレンツェ [サルヴァトーレ・フェラガモ博物館]	帯金 真弓	朝日夕刊	8.21
大特集 ほんとうは教えたくない パリの小さな美術館 元修道院に発明品が大集合 工芸技術博物館		” ”	現代中国書法事情 266 山東省石刻芸術博物館	種谷 萬城	書 道 界	292
展覧会の壺 1 「明時代年[イヤー]到来! 明四大家特展 台北 国立故宫博物院[故宫博物院(台北)]	板倉 聖哲	” ”	現代中国書法事情 264 山東大学博物館	”	”	290
大特集 ほんとうは教えたくない パリの小さな美術館 元修道院に発明品が大集合 工芸技術博物館		” ”	現代中国書法事情 265 山東博物館	”	”	291
特集 台北国立故宫博物院 PART 4 台北		美術手帖 1007	アジアを“つながり”によって捉える[サンフランシスコ・アジア美術館]	シェイ・シュー 瀧口 紀子 インタビュー・文	A X I S	169

特集：文化を展示すること—日本とヨーロッパの遠近法を考える 生きている民族誌の博物館実験—ロンドンにおける「日本の家のくつろぎの空間」展[ジェフリー博物館]	インゲ・ダニエルズ	国立民族学博物館 研究報告	38-4	記者の目 英国で人気 日本の春画展 国内でも本格展示を [大英博物館]	野宮 珠里	毎日	1.21
大特集 ほんとうは教えたくない パリの小さな美術館		芸術新潮	773	慰安婦漫画展をソウルでも開催[大韓民国歴史博物館]		東京	3.3
邸宅で親しむ極私的コレクション ジャックマール=アンドレ美術館				イマ推しっ！ アート 台北、美術品巡りの旅[台北市立美術館]	市原 尚士	読売夕刊	8.13
フジノ流 パリの美術館見楽[けんがく]記[ジャックマール=アンドレ美術館]	藤野 可織			イマ推しっ！ アート 台北、美術品巡りの旅[台北当代美術館]	"	"	"
大特集 ほんとうは教えたくない パリの小さな美術館 古城に封じられた門外不出の王家の遺品 シャンティイ城コンデ美術館		"	"	トラウマの心象風景と芸術—豪州メルボルン、ダックス・センターでの出会いから	宮坂 敬造	慶応義塾大学アート・センター年報	21
Art Report in Asia 中国・最新アーティスト事情第28回 瀋陽久麗美術館	梶川 強	ギャラリー一*	351	大特集 ほんとうは教えたくない パリの小さな美術館 東洋の愉快的な仲間に見える場所 チェルヌスキ美術館		芸術新潮	773
事業報告—シュプレングル美術館とのプログラム交流	竹内 利夫	徳島県立近代美術館研究紀要	15	イマ推しっ！ アート 台北、美術品巡りの旅[中正記念堂]	市原 尚士	読売夕刊	8.13
大特集 ほんとうは教えたくない パリの小さな美術館 マレの小路でアート狩り 狩猟自然博物館		芸術新潮	773	Global News London 第一次大戦の真実と記憶[帝国戦争博物館]	内田 取り	さり	芸術新潮 778
イマ推しっ！ アート 台北、美術品巡りの旅[信義公民会館]	市原 尚士	読売夕刊	8.13	World London 「アート・アンダー・アタック イギリス偶像破壊の歴史」展 蛮行の背景に嫌悪あり 襲われた美術品たち[テート・ブリテン]	"	"	769
地球ミュージアム紀行 仮面と人形の待つ家—インドネシア・バリ島[スティア・ダルマ仮面と操り人形の家]	吉田ゆか子	みんなぼく	436	Global News London 人を引き付けてやまない“廃墟なるもの”の美とは？[テート・ブリテン]	"	"	773
ART TOPICS[スミソニアン国立アフリカ美術館]		日 経	10.9	展覧会「シュタイデルとの本の作り方」について[デリム美術館]	伊藤 貴弘	東京都写真美術館 紀要	13
海外アート info-maniac 11 London 最新解析でここまでわかった！ミイラ8体、それぞれの人生 [大英博物館]	前橋 重二	芸術新潮	775	地球ミュージアム紀行 翻弄される博物館 [トゥリアアラ大学 付属博物館]	飯田 卓	みんなぼく	437
新美術時評 8年ぶりのロンドン訪問[大英博物館]	島尾 新	新美術新聞	1361	Global News London ルネサンスに見る建築と絵画の関係[ナショナル・ギャラリー(ロンドン)]	内田 取り	さり	芸術新潮 775
大英博物館を訪れて	安武 真隆	阡 陵	69	美術館という機能について[ナショナル・ギャラリー(ロンドン)]	馬淵 明子	ゼフユロス	61

パリで訪ねる日本の画廊 日動画廊パリ店 パリでの制作もプロデュース	芸術新潮	773	Global News Wien バロックの宮殿で見る鏡のアート[ベルヴェデーレ美術館]	かないみき 取材	芸術新潮	777	
文化往来 NY 近代美術館の所蔵映画、フィルムで上映[ニューヨーク近代美術館]	日 経	10.20	買った! 人気漫画グッズ豊富 プリュッセル[ベルギー漫画センター]	三好 益史	読売夕刊	10.17	
SPECIAL FEATURE 一生に一度は行きたい! 世界のアート スポット PART 4 アーティストの美学に触れるアトリエ[ペーパー・ヘップワース美術館&彫刻庭園]	伊東 豊子	美術手帖	1005	World Bern 「脆弱な性 アートはどのように新しい男性を描くのか」展 男の性とはいかなるもの? アートの中の男性像を探る[ベルン美術館]	かないみき 取材	芸術新潮	770
特集 イタリア・ルネサンスの宝石箱 ウフィツィ美術館ものがたり フィレンツェ 美術を歩く 厳選! 寄り道アート・スポット[バラティエナ美術館]	編 集 部	芸術新潮	778	WORLD NEWS ベルン 変わりゆく男性像「男らしさ」を再考する[ベルン美術館]	かないみき	美術手帖	1000
World Paris 「射程内 フランス現代ジュエリーの世界」展 原点へと「進化」する現代ジュエリー[パリ装飾芸術美術館]	羽生のり子 取材	〃	771	SPECIAL FEATURE 一生に一度は行きたい! 世界のアート スポット PART 2 自然の中で体感するアート[ヘンリー・ムーア彫刻庭園 ペリー・グリーン]	伊東 豊子	〃	1005
美術の窓128 展示のしかた[フィラデルフィア美術館]	浅野 秀剛	美のたより	186	Global News Paris ボンビドゥーセンター 常設展がリニューアル	羽生のり子 取材	芸術新潮	777
SPECIAL FEATURE 贋作ってなに? PART 1 贋作の物語から考える 潜入! ウィーン・フェイク美術館 贋作コレクションの極意とは?	かないみき 取材・文	美術手帖	1010	新しくなったマウリッツハイム王立美術館で「真珠の耳飾りの少女」に出会う	伊東 豊子	美術手帖	1010
パリ、ブローネの森に現代アートミュージアム、フォンダシオン ルイ・ヴィトンがオープン!	家名田馨子	美 術*	472	大特集 ほんとうは教えたくない パリの小さな美術館 印象派の日出[ひいづ]るところ マルモッタン・モネ美術館		芸術新潮	773
大特集 ほんとうは教えたくない パリの小さな美術館 マニエリスムの森をさまよう フォンテーヌブロー城美術館		芸術新潮	773	PARIS 発 印象派プライベート・コレクション[マルモッタン・モネ美術館]	安部 雅延	新美術新聞	1341
Global News Prato 傑作たちの出会いと競演[プレトリオ宮博物館]	高橋 恵理 取材	〃	780	通信J to A アジアへ 8 一香港とタスマニア[Museum of Old and New Art]	南條 史生	〃	1347
Art Report in Asia モンゴル最新アート事情 ギャラリー紹介No.1 BEST ART Gallery	水間 敏隆	ギャラリー*	355	ニューヨークで会おうアジアの美 2 メトロポリタン美術館	朽木ゆり子	目の眼	450
				ART TOPICS 知られざる王国の美[メトロポリタン美術館]		日 経	5.8
				ART TOPICS モード激動の時代体感[モード美術館]		〃	8.7

		海外展				
芸術と科学のあいだ 16 活字の聖書、知 の革命起こす[モル ガン・ライブラリー]	福岡 伸一	日 経	6.1			
特集 目の眼的、香 港オークションの旅 香港の骨董街・ハリ ウッド・ロードの店 主に聞く[有明堂(MY GALLERY)]	アンディ・ レン	目 の 眼	448	World Wolfsburg 「ア ート&テキスタイル クリムトから現在ま でのモダン・アート における、素材とコ ンセプトとしてのフ ァブリック」展 古 今東西、手を携えて 歩んできたアートと 織物の親密な関係[ヴ ォルフスブルク美術 館、2013/10/12— 2014/3/2]	かないみき 取材	芸術新潮 769
大特集 ほんとうは 教えたくない パリ の小さな美術館 写 真最前線は18世紀の 館で ヨーロッパ写 真美術館		芸術新潮	773			
特集：文化を展示す ること—日本とヨー ロッパの遠近法を考 える ドイツ、ベル リンでヨーロッパ文 化を展示すること[ヨ ーロッパ文化博物館]	エリザベス ・ティート マイヤー	国立民族 学博物館 研究報告	38-4	SINGAPORE ART WEEK 世界の最先 端アートを展示販売、 アート・ステージ・ シンガポール2014[マ リーナ・ベイ・サン ズ エキスポ&コン ベンションセンター、 1/16—1/19]	編集部 F	美術* 462
パリで訪ねる日本の 画廊 吉井画廊パリ 店 日本の伝統の技 をパリで発信		芸術新潮	773			
Art Topics 岡田美 術館が中国劉海粟美 術館と姉妹提携		ギャラリ ー*	351	現代美術の歩き方 異論反論・現代美術 「Impacts! 勢み」JA- PAN ART FESTIVAL アメリカのサンタフ ェから発信する日本 の現代美術[ゼーン ・ベネット・コンテ ンポラリーアート、 7/25—8/24]		美術の窓 370
PARIS 発 「夢」とル ネッサンスの芸術家 たち[リュクサンブ ール美術館]	安部 雅延	新美術新 聞	1332			
大特集 ほんとうは 教えたくない パリ の小さな美術館 パ リ通たちの偏愛美術 館 「あそこは夜に行 く美術館でしょう？」 ルーヴル美術館	原田 マハ	芸術新潮	773	WORLD NEWS ベ ルリン 逝去したオ ットー・ビーネの回 顧展と“ヴァニタス” がテーマの展覧会[ヴ ァニタス—永久なる ものは何もない、ゲ オルク・コルベ美術 館、6/15—8/31]	河合 純枝	美術手帖 1012
文化の値段—美術館 の入場料から—[ル ーヴル美術館]	大野 博人	国華清話 会会報	23			
ルーブルなど3美術 館 毎日開館します 17年までに		日経夕刊	10.2	第14回ヴェネチア・ ビエンナーレ国際建 築展 レム・コール ハースによる現代建 築の再考[第14回ヴ ェネツィア・ビエン ナーレ国際建築展、 ジャルディーニ/ア ルセナーレ他、6/ 7—11/23]		
Global News Munchen ナチス因縁の絵画の お披露目[レンバッ ハハウス美術館]	福田 直子 取材	芸術新潮	778		関 康子	A X I S 171
Art Report in Asia 国際アートシーンを 駆け抜ける作家たち モンゴル最新アート 事情 第2回 先駆 けてモンゴルに注力 する韓国美術界[ロ ッテギャラリー]	水間 敏隆	ギャラリ ー*	346	特集 近代建築再読 ヴェネチア・ビエン ナーレ ヴェネチア ・ビエンナーレ国際 建築展—ファンダメ ンタルな改革	太田佳代子	建築雑誌 1662

水の都にガラスの茶室 杉本博司、国内外で個性的発信[第14回ヴェネツィア・ビエンナーレ国際建築展、ジャルディーニ/アルセナーレ他、6/7—11/23]	大西 若人	朝日夕刊	9.24						
近代史100年の歩み検証 ベネチア国際建築展、各国に共通テーマ	窪田 直子	日経夕刊	8.12						
ベネチア・ビエンナーレ国際建築展、来月開幕 100年の変化を展示	永田 晶子	毎日夕刊	5.29						
ルポ ベネチア・ビエンナーレ国際建築展 均質化に警鐘 歴史に焦点 北朝鮮との対比表現 韓国館が金獅子賞	"	"	9.17						
アニメと武具 意外な親和性 侍の「出撃体勢」 「エヴァ」の刀再現[エヴァンゲリオンと日本刀展、パリ日本文化会館(ABCミュージアム)、4/30—6/21]	森田 睦 読 売		3.27						
from the World 「エクスペリメンタデザイン」—イベントは誰のためにあるのか[エクスペリメンタデザイン・ビエンナーレ 8回、リスボン、2013/11/7—12/22]	中島 恭子	A X I S	167						
現在通信 From NEW YORK 元祖アーモリー・ショウ[江戸絵画の奇跡—ファッションパーク・コレクション展、メトロポリタン美術館、2/1—9/7]	富井 玲子	新美術新聞	1337						
(カ行)									
日本作家初 パリで川端康成展「俳句のような美学」人気[川端康成と「日本の美」、パリ日本文化会館、9/16—10/31]	出田 阿生	東京夕刊	8.25						
文化往来 川端康成と「日本の美」、今秋パリで博覧会		日 経	8.21						
ART TOPICS 着物にみる近現代史[KIMONO A MODERN HISTORY、メトロポリタン美術館、9/27—2015/1/19]	"	"	11.13						
平成二十四年度報告 アメリカにおける伊藤若冲・酒井抱一・琳派デザイン展—平成二十四年度国内研究員報告の一節—[銀の風 酒井抱一(1761—1828)の美術展、ジャパン・ソサエティギャラリー、2012/9/29—2013/1/6]	玉蟲 敏子	美史研ジャーナル	10						
World London 「空間を感じる—建築の再考」展 縮小模型は一切なし! 本気度全開の“体感する”建築展[ロイヤル・アカデミー・オブ・アーツ、1/25—4/6]	内田 取材	さり 芸術新潮	772						
現代日本の書 代表作家パリ展 創造的瞬間 世界へ 欧州各国から参加[現代日本の書 代表作家パリ展 SHO2、フランス国立ギメ東洋美術館、2013/10/23—2014/1/13]	桐山 正寿	毎 日	2.26						
伝統と変革 日本の特性新発見 仏国立ギメ東洋美術館 ソフィー・マカリウー館長[現代日本の書 代表作家パリ展 SHO2、フランス国立ギメ東洋美術館、2013/10/23—2014/1/13]	ソフィー・マカリウー 談	"	"						
海外レポート in 韓国 KOREA 2014 グローバリズムの歪みに対する問題提起 光州に根付く政治的主張 光州ビエンナーレ2014[第10回光州ビエンナーレ、光州ビエンナーレ展示館/光州市立美術館他、9/5—11/9]	藤田 一人 美 術*		470						
ひりひり 人体表現 韓国・光州ビエンナーレ10回展 セウォル号沈没事故重ねた作品 修正要請も	大西 若人	朝 日	11.4						
3つの韓国国際美術祭 社会のゆがみ前面に[第10回光州ビエンナーレ、光州ビエンナーレ展示館/光州市立美術館他、9/5—11/9]	藤田 一人	東京夕刊	10.22						

(サ行)

- WORLD NEWS ジ  
ヤカルタ+ジョグジ  
ヤカルタ インドネ  
シア国際展が相次ぎ  
開催 三つどもえの  
バトル? [SEA+ト  
リエンナーレ2013 グ  
ローバル・アート、  
アジアをめぐる道、  
国立美術ギャラリー、  
ジャカルタ、2013/  
11/13-12/11]
- 平成二十四年度報告  
アメリカにおける伊  
藤若沖・酒井抱一・  
琳派デザイン展—平  
成二十四年度国内研  
究員報告の一節—[色  
彩浄土 伊藤若沖  
(1716-1800)—日本  
の花鳥画展、ナショ  
ナル・ギャラリー(ワ  
シントン)、2012/3  
/30-4/29]
- 特集3 ロンドンで  
大評判!! 大英博物  
館へ春画を見に行く  
[春画—日本美術に  
おける性とたのしみ、  
大英博物館、2013/  
10/3-2014/1/5]
- SINGAPORE ART  
WEEK アジア最大  
級の芸術祭、シンガ  
ポール・ビエンナー  
レ2013[シンガポ  
ール美術館/シンガ  
ポール国立博物館など  
9会場、2013/10/26  
-2014/2/16]
- シンガポール・ビ  
エンナーレ2013 RE-  
VIEW 開かれた議  
論、プラットフォーム  
としてのビエンナー  
レ
- 現代美術の歩き方  
異論反論・現代美術  
シンガポール・ビ  
エンナーレ2013
- 海外通信 @北京  
粘土とぼかしの風景  
絵巻 東洋的な風景  
新視点で再構成[第  
二回『新・朦朧主義』  
展、東京画廊+BTAP  
(北京)/798芸術工  
場、10/12-11/30]
- よみがえる25年の歩  
み NYで「世界文化  
賞」受賞者の写真展  
[創作現場における  
28人の偉大な芸術家、  
舞台芸術図書館、1  
/15-2/22]
- 黒田 雷児 美術手帖 1000
- 玉蟲 敏子 美史研ジ  
ャーナル 10
- ティモシー  
・クラーク、  
アンドリュ  
ー・ガース  
トル、  
矢野 明子  
鼎談 目の眼 449
- 編集部 F 美 術\* 462
- 木村絵里子  
評 美術手帖 998
- 美術の窓 366
- 多田 麻美 朝日夕刊 11.26
- 黒沢 潤 産 経 1.23

(タ行)

- ニューヨークで出  
会 うアジアの美 番外  
編 「千種と茶の湯」  
展[フリーア美術館、  
2/22-7/27]
- 展覧会レポート 中  
国・杭州第4回居室  
版画展「詩意家居」と  
版画公社[白馬湖生  
態創意国際会展セン  
ター、10/16-10/20]
- 顔 パリで「藍木綿  
の筒描き」展を開く  
下重暁子さん[筒描  
き(下重暁子コレク  
ション)展、パリ日  
本文化会館、6/3  
-6/21]
- 平成二十四年度報告  
アメリカにおける伊  
藤若沖・酒井抱一・  
琳派デザイン展—平  
成二十四年度国内研  
究員報告の一節—[デ  
ザイン・ネイチャー  
日本美術における琳  
派の美学、メトロポ  
リタン美術館、2012  
/5/26-2013/1/  
31]
- 平成25年度海外展報  
告—開催前夜からた  
どる—「日本文化」展  
in ハノイ[ベトナム  
国立歴史博物館、1  
/16-3/9]
- 「日本文化」展がベト  
ナムで開幕
- 朽木ゆり子 目の眼 453
- 松山 龍雄 版画芸術 166
- 井上 晋治 読 売 5.18
- 玉蟲 敏子 美史研ジ  
ャーナル 10
- 藤田 励夫 文化財\* 610
- 伊藤 学 日 経 1.17

(ナ行)

(ハ行)

- ニューヨークで出  
会 うアジアの美[屏風  
の煌めき、イェール  
大学美術館、2/7  
-7/6]
- 「釜山ビエンナーレ  
2014」開催迫る テ  
マは「Inhabiting the  
World」[2014釜山ビ  
エンナーレ、釜山市  
立美術館/釜山文化  
会館/KISWIRE  
Sooyoung Factory  
他、9/20-11/22]
- 朽木ゆり子 目の眼 453
- 新美術新聞 1354

- 海外レポート in 韓国 KOREA 2014 現代性と国際性求めつつ歴史と近隣のアートも網羅する総合展[2014釜山ビエンナーレ、釜山市立美術館/釜山文化会館/KISWIRE Sooyoung Factory 他、9/20-11/22]
- 編集部 美術\* 470
- 現代美術の歩き方 異論反論・現代美術 釜山ビエンナーレ 2014 「世界に居住する」をテーマにアートを再考する
- 美術の窓 371
- 現代アート アジアに焦点 韓国 各地でビエンナーレ ソウル ナショナルリズム台頭を意識 釜山「海」通して国のつながり考える[2014釜山ビエンナーレ、釜山市立美術館/釜山文化会館/KISWIRE Sooyoung Factory 他、9/20-11/22]
- 大西 若人 朝日夕刊 11.12
- 3つの韓国国際美術展 社会のゆがみ 前面に[2014釜山ビエンナーレ、釜山市立美術館/釜山文化会館/KISWIRE Sooyoung Factory 他、9/20-11/22]
- 藤田 一人 東京夕刊 10.22
- イマ推しっ! アート 芸術に科学、自然が融合[2014釜山ビエンナーレ、釜山市立美術館/釜山文化会館/KISWIRE Sooyoung Factory 他、9/20-11/22]
- 市原 尚士 読売夕刊 10.29
- WORLD NEWS ベルリン 政治的な便宜主義は、アートの目的にあらざる 第8回ベルリン・ビエンナーレ開幕[クンスト・ヴェルケ現代美術館/ハウス・アム・ヴァルトゼー/ダーレム美術館、5/29-8/3]
- かないみき 美術手帖 1008
- 現在通信 From NEW YORK ホイットニー・バイエニアル [WHITNEY BIENNIAL 2014、ホイットニー美術館、3/7-5/25]
- 富井 玲子 新美術新聞 1340
- WORLD NEWS ニューヨーク ホイットニー・バイエニアルが開催 3人のキュレーターが多彩に展開
- 藤森 愛実 美術手帖 1004
- PARIS 発 パリの北斎展[北斎、国立グランパレ美術館、10/1-2015/1/18]
- 安部 雅延 新美術新聞 1354
- 北斎、パリでイメージ新た 作品多彩、デッサンで魅了 大回顧展の入場者、異例の多さ
- 宮川 匡司 日 経 12.13
- 遠みち近みち 北斎漫画200年、パリで大型展
- 日経夕刊 7.5
- 仏グラン・パレで「北斎」展 10月から
- 永田 晶子 毎日夕刊 6.12
- Global News Paris 入れ墨はアートだ! その美と歴史[彫り師、入れ墨展、ケ・ブランリ美術館、5/6-2015/10/18]
- 羽生のり子 芸術新潮 776
- 海外通信 @パリ 彫り師、入れ墨展 肌に刻まれた文化と個性
- 飯田 真実 朝日夕刊 7.2
- (マ行)
- 現代美術展「マニフェスタ10」 エルミターージュ美術館 美術と社会の結節点は政治性前面に出さず 新たな混交の試みも [エルミターージュ美術館、6/28-10/31]
- 大西 若人 朝 日 7.22
- 連続する過去と現在 ロシアで現代美術展「マニフェスタ10」
- 鴻野わか菜 読 売 10.9
- WORLD NEWS ニューヨーク スカルプチャー・センターに新たな息吹 NYの注目アート・スポットへ[水たまり、穴ぼこ、入り口展、10/2-2015/1/5]
- 藤森 愛実 美術手帖 1016
- 「未来への回路」展に寄せて[未来への回路-日本の新世代アーティスト、ネバダ大学ラスベガス校マジョリー・パリック・ミュージアム、2013/10/17-10/18]
- 南 雄介 NACT Review\* 1

海外レポート in  
韓国 KOREA 2014  
グローバリズムの歪  
みに対する問題提起  
深層の民族性と歴史  
を見つめる メディア  
シティ・ソウル2014 藤田 一人 美術\* 470  
[メディア・シティ  
・ソウル2014 第8  
回SeMA ビエンナー  
レ、ソウル市立美術  
館/韓国映画資料院、  
9/2-11/23]

現代アート アジア  
に焦点 韓国 各地  
でビエンナーレ ソ  
ウル ナショナリス  
ム台頭を意識 釜山  
「海」通して国のつな  
がり考える[メディ  
ア・シティ・ソウル  
2014 第8回 SeMA  
ビエンナーレ、ソウ  
ル市立美術館/韓国  
映画資料院、9/2  
-11/23]

3つの韓国国際美術  
展 社会のゆがみ  
前面に[メディア・  
シティ・ソウル2014  
第8回 SeMA ビエン  
ナーレ、ソウル市立  
美術館/韓国映画資  
料院、9/2-11/23]

ART TOPICS 芸術  
家と対話の30年[メ  
モワールビープ、カ  
ルティエ現代美術財  
団、5/10-9/21]

(ラ行)

WORLD NEWS リ  
ヨン+パリ 秋のフ  
ランスからレポート。  
リヨン・ビエンナー  
レとパリの注目展覧  
会[第12回リヨンビ  
エンナーレ、リヨン現  
代美術館/ブルキア  
ン財団/サン・ジュ  
スト教会他、2013/  
9/12-2014/1/5]

三木あき子 美術手帖 998



## 美術展覧会図録所載文献

企画展					
		10年目の「街かど美術館」—街かど美術館はどこに向かうのか	平澤 広	「アート土沢展を終えて」	渡辺 豊重
		展覧会の視線	菅沼 緑	「イッポンイチョウ図／一本公孫樹図」	増子 博子
	(ア行)	「美術と景色」	〃	「わかこワールド」	渡邊 若子
アートアイランズ TOKYO 国際現代美術展2014 4回 大島/新島		「おゝ、りんご!?!」	菊池 俊通	「でんわ」	柳田 陽一
§ 作家の言葉 §	李 容旭	「つちざわ夢物語」	倉島 光	「記憶の時間について・Y-7」	小笠原卓雄
〃	岩崎幸之助	「Five Gradation Nets : Yellow to Violet」	百瀬 寿	「アース@つちざわ」	田舎 labo
〃	内海 仁	作家コメント	吉増 剛造	「いるのかも」	鎌田 紀子
〃	大谷 早苗	「ヘキクッショ筋肉室」	浅倉 伸	「オイルプール」	原口 典之
〃	勝田 徳朗	「じぞ、じぞさん(おかえり地藏さん)」	とがし夕慧	「富山からの糸でんわ」	いとつむぎとやま
〃	門井 幸子	「浸食蒼茫」	一ノ瀬恵平	「みちばたの童話」	三浦 弘恵
〃	かとうかずみ	「落花流水・往にし方」	犬飼三千子	街の中へ	橋本 尚恣
〃	貴依 秀行	「浮遊する記憶」	宮本 和雄	「青竜、猿ヶ石サマ、来臨ス。」	山本 英治
〃	後藤 章子	「OUT・in」	中谷 欣也	「constellation : towa」	さいとうよしもと
〃	小林ナオコ	3作品を俯瞰して思うこと	作間 敏宏	「森のしずく」	長谷川 誠
〃	駒ヶ嶺三彩 平間磨理夫	「糸へんの遊び現在(いま)」	ふおーサークル	「空の立方体2014(ソラ・クウ・カラのふりがな)」	吉本 義人
〃	佐々木愛美	「ねたろうパラダイス(千年寝太郎とふゆうそうの方々)」	榊原 勝敏	「Ima-地 tsuchi-zawa・I」「Ima-地 tsuchi-zawa・II」	五十嵐 彰
〃	柴田 智明	「夜のウラジオクラシーバ」	大宮 政郎	「tsuchizawa」	石田 貴裕
〃	菅原 史也	「いるのかも」	鎌田 紀子	「北国の心情」	川杉 雅江
〃	堅川 可奈	「内面の日常」	あめのゆみ	「夢の中」	齊藤 未来
〃	戸野倉あゆみ	「Tsuchizawa Zone」	川口 直子	「ヨロイズム」	鈴木 桂
〃	野田 収	「漆喰鏝絵かんばんプロジェクト in 岩手、つちざわ」	村尾かずこ	「2つの違い稜線」	虎尾 裕
〃	林 舞衣子	「Sound Theater Tsuchizawa」	松本 秋則	「森のおくりもの2014」	小原 陽子
〃	原 博史	「つちざわけんちく新聞3たびあわかる」	柳田 亮	「無題179番」	アニエス・ワイルダー
〃	ヒグマ春夫	「color+half」	高杉 隆	「産土(うぶすな)」	阿部 龍一
〃	広田 美穂	「とき、ちくせき、かたち、ひかり(2)」	しもかわらさとこ	「鬼の宴」	佐藤真智香
〃	本多真理子	「新しき原始のとき」「丘のみち」	千葉菜穂子	「HOURGLASS」	高橋 あい
〃	三木サチコ			「無題」	原口 典之
〃	望月 厚介			「楢円」	菅沼 緑
アート@つちざわ(土澤) 街かど美術館2014 岩手県花巻市東和町土沢地区・東晴山地区・谷内地区・田瀬地区42カ所				街かど美術館2014 シンポジウム「街かど美術館を語り尽くす」	作間 敏宏、山本 英治、渡辺 豊重、パネリスト 武政 文彦 司会
「想像力」に刺激されて	中村 光紀				
街かど美術館雑感	武政 文彦				

アートプログラム青梅2014 まなざしを織る 青梅市立美術館／青梅織物工業協同組合施設／吉川英治記念館

まなざしを織る—意味のある作品 大橋 紀生

絵そらごとかな…アートプログラム 青梅と青梅 原田 丕

アートプログラム2014「まなざしを織る」展評—美術で繋がる緩やかな協働 山村 仁志

§作家の言葉§ 酒井 祐二

” 川越 悟

” 中津川浩章

インスタレーション《TA・ASAM》《壁面ドローイング》《枠窓》制作覚書 母袋 俊也

「眼に見えない粒子」 小滝 雅道

§作家の言葉§ マルティン・ファウゼ

” 原田 丕

” カナイサワコ

KEHAI-so KEHAI-yo 大隅 秀雄

「漢詩的-II」について 戸谷 成雄

§作家の言葉§ 木村 幸恵

「意識の身体としての彫刻」 浅野 彌弦

§作家の言葉§ 作間 敏宏

” 塩野 麻理

” 渋谷 和良

アーティスト・トーク 原田 丕

シンポジウム「まなざしを織る」基調講演 作品の社会性 松本 透

” 中津川浩章、木村幸恵、浅野彌弦、渋谷和良、松本透、大橋紀生

シンポジウム「まなざしを織る」座談会 作品の社会性

ワークショップ「フシギいきものフラッグをつくろう！」 成清 北斗

アーティスト交流授業「自画像を描こう」 渋谷 和良、鈴木世喜子

アーティスト交流授業「思いを言葉にして…、小学生鑑賞教室」 鈴木 斉、大野 直美

青梅座談会「アートをめぐるコミュニティの可能性」 野村 正明、國村 純子、野村 公一、山本 篤、原田 丕、藤 瑞穂、司会

アール・ヌーヴォーとアール・デコ ヨーロッパのデザインと工芸 東京国立近代美術館工芸館所蔵名品巡回展(アール・ヌーヴォーとアール・デコ ヨーロッパのデザインと工芸 東京国立近代美術館工芸館所蔵名品巡回展 主要作品による鑑賞ガイド) 横須賀美術館

往還する東と西—日本の工芸とヨーロッパのデザイン 木田 拓也

COLLUMN01 ドレッサーと日本 富田 康子

COLLUMN02 ガラスのモダニズム ”

COLLUMN03 ロシア・アヴァンギャルドの陶芸 ”

COLLUMN04 日本のアール・ヌーヴォー ”

COLLUMN05 アール・デコ博 ”

アイヌの工芸—東北のコレクションを中心に— 文化庁・北海道補助事業アイヌ工芸品展 福島県立博物館 他

東北地方と交差するアイヌ文化のかたち—津軽・下北を中心に— 長谷部一弘

蝦夷錦と北方の先住民族 中村 和之

会津藩とアイヌ—文化5年の接点を基軸として— 阿部 綾子

青森県のアイヌ資料について 成田 敏

会津に遺されたアイヌの資料—渡部つとむコレクションから— 佐々木長生

田中忠三郎という人間 田中 智子

安芸の刀工—正光 広島城

概説「安芸の刀工—正光」 大室 謙二

秋吉台国際芸術村レジデンス・サポート・プログラム Trans 2013—2014「この土地の魅力」 秋吉台国際芸術村

秋吉台国際芸術村レジデンス・サポート・プログラム trans\_2013—2014 大谷 友花

滞在制作プロジェクト「風景の運ぶ人」 アイザック・エマニュエル

滞在制作プロジェクト「秋吉台を感じ取る」 ジョセフィーヌ・ヴェジリッチ

滞在制作プロジェクト「I want to go out」 吉開 菜央

滞在制作プロジェクト「さよならを告げる—わづかな練習」 周 東彦

滞在制作プロジェクト「あなた」 ホ・テウォン

滞在制作プロジェクト「ダーク・マター：未来の歴史」 イアン・カルロ・ハウシャン

浅川伯教をよむ～朝鮮古陶磁の神さま・その源流～ 没後50年特別展 浅川伯教・巧兄弟資料館

陶片を読む—浅川伯教の方法— 飯野 正仁

あしたのジョー、の時代展 練馬区立美術館

ご挨拶 ちばてつや

隣りには、いつも「ジョー」がいた。 藤森 益弘

寺山修司と「あしたのジョー」 高取 英

高森朝雄による「あしたのジョー」 ”

「あしたのジョー」にひろがる戦後の風景—「山谷」と「アリの町」 喜夢 孝臣

AJAC 展40回 東京都美術館

「ウェルカムボード」 「LIFE！」 中里 晃徳

「風を待つ」 永田 清富

「輪舞曲(ロンド)」	長濱有希子
「アニバーサリー、2014 晩夏」	中村 光一
「おとな幼稚園の首飾り」	中村 玲子
「『3.11』のふくしまはー。」	深谷 滉
「天変地異の図」	藤田 忠寿
「受難」	星河 秀雄
「ココディ」	山田ひろ美
「規格外品」	吉村眞理子
「素描(両手)」	渡部 正俊
「スプラウト(緩慢な日々)」	アカガワヒロユキ
「街角I」	姉川佳代子
「宇宙「あ」」	榎田 典子
「砂塵」	大西 彪
「記憶と虹」	片桐 有紀
「オクルウちゃん」	加藤 栄子
「風の華」	川口 文子
「啓示」	黒松 勉
「花園」	佐藤ひろみ
「回帰」	鈴山 市郎
「苛酷フクシマ」	須藤 健
「不忍池」	竹之内みどり
「わきや しま3」	田中 拓次
「母」	児島 正俊
「ありがとう Aiko」	鶴田 勉
「柔らかない船」	荒井 喜好
飛鳥宮と難波宮・大津宮	奈良県立
橿原考古学研究所付属博物館	
コラム1 「飛鳥寺の西」の饗宴場所は石神遺跡?	
コラム4 大津宮の姿	
コラム5 方形の丸瓦?	
飛鳥浄御原宮と天武天皇の「新城」構想	重見 泰
ア・テーブル!ーごはんだよ!食をめぐる美の饗宴ー ART FEAST	
三重県立美術館	
美の饗宴つまみぐいガイド	吉田 映子
《酒飯論絵巻》文化庁本について	伊藤 信博

テーブルスケープー光景のなかの食卓	吉田 映子
レストラン「ミューゼ・ボンヴィヴァン」のスペシャルランチ	〃
design と cookー「テーブル」を彩るために	holiday
新たな系譜学を求めて 跳躍/痕跡/身体	東京アートミーティング5
回(新たな系譜学を求めて アート・身体・パフォーマンス)	東京都現代美術館
ラディカルな「型」の存在、非存在をめぐる対話ー21世紀の狂言師とメデイアアーティストの間で	野村 萬齋、高谷 史郎 対談 長谷川祐子 聞き手
身体のリズムー動きの無駄を削ぎ落とし、最後に残るもの	仲田 英寿 談 長谷川祐子 聞き手
演じることと身体	岡田 利則
§ 作家の言葉 §	ジュリー・メーレトウ
〃	シャロン・ロックハート
〃	岡田 利則
〃	金氏 徹平
〃	エルネスト・ネット
〃	高谷 史郎
〃	真鍋 大度
〃	チョイ・カフェイ
〃	長谷川祐子
新たな系譜学を求めてー跳躍/痕跡/身体	
拘束された身体が表すものーインバル・ピント&アウシャロム・ボラック・ダンスカンパニーの身体動作表現から	細馬 宏通
戦後の舞台芸術における伝統と前衛	岡本 章
イタリア・ボローニャ国際絵本原画展2014 (Illustrators annual 2014)	
板橋区立美術館他	
三浦太郎インタビュー	松岡希代子 聞き手

刀根里衣インタビュー	〃
2014年ボローニャ国際絵本原画展国際審査団 アンナ・カスタンヨーリ	アンナ・カスタンヨーリ
2014年ボローニャ国際絵本原画展国際審査団 キティ・クローザー	キティ・クローザー
審査報告	アンナ・カスタンヨーリ キティ・クローザー イザベル・ミニョース・マルティンス エロル・ヴァン・ドット・ヴェルト
祈りの道へー四国遍路と土佐のほとけー 四国霊場開創1200年記念	多摩美術大学美術館
土佐の古仏とその地方的展開ー平安時代から鎌倉時代へー	青木 淳
修理報告 須崎市上分笹野大日堂大日如来像 修理報告(抄録)	
調査報告 竹林寺所蔵 阿弥陀如来立像の科学調査	松島 朝秀
コラム2 関東に伝わる中世の遍路記録ー八菅神社の碑伝ー	淵田 雄
コラム3 仁平元年(一一五一)の「ふたつの顔」	青木 淳
コラム5 土佐の祈りと天平の覺	山本 哲也
IMARI/伊万里 ヨーロッパの宮殿を飾った日本磁器	サントリー美術館他
ヨーロッパの宮殿を飾った日本の伊万里磁器	出川 哲朗
日本磁器の精華 有田磁器(伊万里焼)	鈴田由紀夫 焼
輸出伊万里に見る美人文についてーIMARIに描かれた浮世絵ー	小林 仁

平成26年美術展覧会図録所載文献(企ア行)

伊万里のティーセ ットのデザインに ついて	安河内幸絵	〃	むらこしな おこ	1950-60年代の日 本のデザイン—機 能主義をめぐる—	河野 克彦
イメージのカー ンレクションにさ ぐる	国立民族学博物 館 国立民族博物 館創設40周年記念 日本文化人類学 会50周年記念 国立新美術館他	上野の森美術館大賞展入賞者展31 回(第32回明日をひらく絵画 上野 の森美術館大賞展) 上野の森美術 館	上野の森美術 館	戦後日本デザイン の成り立ち—1960 年世界デザイン会 議から—	森 仁史
イメージの力をさ ぐる	吉田 憲司	VOCA2014 現代美術の展望 新し い平面の作家たち 上野の森美術館	上野の森美術 館	私のデザイン記— 1950~60年代—	木村 一男
イメージのカー ン美術館からの視 点	長屋 光枝	選考所感	高階 秀爾	美しさの新機軸〜日本画 過去から 未来へ〜 公益財団法人芳泉文化財 団文化財保存学日本画研究発表展 2 回 東京藝術大学大学美術館陳列館	過去から 未来へ
視点の逆転、親密 な相交	足羽興志子	〃	笠原美智子		
新しい存在への変 容	春日 直樹	〃	片岡 真実		
時のとらえ方、描 かれ方	山中由里子	〃	酒井 忠康		
光と色が放つイメ ージ	上羽 陽子	不思議さ、奇抜さ	建畠 哲	平成23年助成研究 巻子装における総 裏紙の研究	五十嵐有紀
精霊世界とつなが る—アポリジニの 儀式用ボール	窪田 幸子	不透明について	本江 邦夫	平成23年助成研究 金剛寺「弘法大師 像」の現状模写及 び部分復元研究	加藤 清香
かたちを楽しむ	上羽 陽子	浮世絵・雑誌・絵はがきに見る幕末 ・明治の戦争イメージ	北海道立函 館美術館	平成23年助成研究 智積院所蔵「楓図 壁貼付絵」の現状 模写及び検証	安原 成美
記憶の痕跡と武器 アート:《いのちの 輪だち》(2012年) をめぐって	山田由佳子	昭和13年に函館で 開催された「日清 日露戦役回顧錦絵 展覧会」での出来 事	小栗 祐美	平成23・24年助成 研究 古典絵画に おける墨の研究 付論:伊藤若冲紙 本墨画作品の復元 模写による検証	宇高健太郎
商品としての新た な意味づけ	齋藤 玲子	写真イメージの変 遷〜あるいはそこ に隠れているもの について〜	木下 智一		
芸術における非芸 術—その文脈	南 雄介	浮世絵に描かれた子どもたち へようこそ!	千葉市美術 館	平成23・25年助成 研究 李迪筆国宝 「紅白芙蓉図」につ いての研究	石井 恭子
あとがき—アート と人類学	小泉 潤二	絵画史料から江戸 子ども文化をさぐ る	中城 正堯	平成24年助成研究 本證寺本「聖徳太 子絵伝」における 技法研究及び部分 復元模写	安井 彩子
上野の森美術館大賞展32回(第32回 明日をひらく絵画 上野の森美術館 大賞展) 上野の森美術館他		江戸時代の子 どもの髪型につ いて	村田 孝子		
入賞作品	王 青	錦絵出版の発達と 子ども浮世絵	田辺 昌子	平成24年助成研究 日本文人画の花弁 画における制作工 程の研究〜「花籠 図」椿椿山筆 栃木 県立美術館蔵の現 状模写及び装潢を 通して〜	谷中美佳子
〃	柏木久美子	浮世絵の美 平木コレク ションの名 品 島根県立美術 館他			
〃	吉田 沙織	平木コレク ション について	佐藤 光信		
〃	伊庭 広人	浮世絵小史—平木 コレクションの名 品でたどる—	大久保純一	平成24・25年助成 研究 ポストン美 術館所蔵「法華堂 根本曼陀羅」にお ける表現技法の研 究	久下 有貴
〃	茂木 瑠	役者絵をめぐる	石橋健一郎		
審査所感	岡田 修二 千住 博 土屋 禮 福王 寺一彦 保科 豊巳 山本 文彦	歌川広重 江戸近 郊八景について	森山 悦乃		
第31回上野の森美 術館大賞展・入賞 者展	山口由佳子	座舖八景について —その成立と継承 —	松村真佐子	平成24・25年助成 研究 青蓮院所蔵 国宝「不動明王二 童子像」の表現技 法に関する研究〜 造形表現と技法材 料の関連性につ いて〜	森田 早織
〃	胡 日査	美しい日本のデザイン 見美術館	島根県立石		
〃	清水 航				
〃	池内 悦子				

特別出品 3つの作例のゴールドサンドイッチガラス碗における截金について 並木 秀俊

ウフィツィ美術館展 黄金のルネサンス ボッティチェリからブロンズイーンまで 東京都美術館

フィレンツェにおける「マニエラ・モデルナ(新時代様式)」の誕生 アントニオ・ナターリ 伊藤 拓真 訳

フレンツェの大工房の時代—15世紀後半における美術の都の隆盛 小佐野重利

フィレンツェ美術とメディチ家—ウフィツィ美術館の誕生まで 小林 明子

梅の美術 百花のさきがけ 三館連携「松・竹・梅」展(三館連携展 松・竹・梅 鑑賞の手引) 泉屋博古館

コラム 仏教と松 竹浪 遠

コラム 松風 川見 典久

コラム 竹の聖性と観音 瀧 朝子

コラム 庭園・書斎で愛でる竹 植松 瑞希

コラム 梅伝説の人々 実方 葉子

コラム 海を渡った梅—伊万里からマイセンへ— 外山 潔

うるしの近代—京都、「工芸」前夜から 京都国立近代美術館

うるしの近代—京都、「工芸」前夜から 中尾 優衣

江戸東京における近代漆芸 黒川 廣子

古都の近代と京都イメージ 高木 博志

麗のとき 川口の匠 vol.4 川口市立アートギャラリー・アトリア

インタビュー 匠の作品に寄せて 齋藤美洲の作品を愛用する根付愛好家 内山 浩

インタビュー 匠の作品に寄せて 関芳次の筆を愛用する人形師 井野 守也

インタビュー 匠の作品に寄せて 田中昭夫と親交の深い染め師 菅原 匠

インタビュー 匠の作品に寄せて 豊平翠香の作品を愛用する表千家茶道教授 山岡 宋珠

描かれたチャイナドレス 藤島武二から梅原龍三郎まで プリヂェストン美術館

描かれたチャイナドレス—中国への憧憬と欲望 貝塚 健

江上波夫のシルクロード(シルクロード) 京都造形芸術大学芸術館

芸術館所蔵 シルクロードコレクションについて 巽 善信

江戸絵画の19世紀 府中市美術館

一九世紀江戸時代絵画の固定観念が出来るまで 音 ゆみ子

江戸の異国万華鏡—更紗・びいどろ・阿蘭陀 MIHO MUSEUM

近世日本におけるインド更紗の受容 吉岡 幸雄

日本に渡来したインド発祥の染め文様木綿布を見る—渡来初期のインド更紗の周辺 梶谷 宣子

茶の湯の中の異国趣味 熊倉 功夫

阿蘭陀とびいどろ—オランダ人持ち帰りの陶器とガラスの実像 岡 泰正

江戸の衣装競べ—国立歴史民俗博物館 野村コレクション— 町田市立博物館

野村コレクションについて 澤田 和人

江戸の面影 浮世絵は何を描いてきたのか 千葉市美術館

浮世絵の世界に親しむ—黄金期・天明年間を軸として 内藤 正人

踊子におどれと留守居わりをい—『誹風柳多留』天明二年 田辺 昌子

江戸娘の闊達さ 村田 孝子

駿河町と富士山 樋口 一貴

お江戸の名物三千両—吉原の場合 田辺 昌子

江戸の相撲と力士たち—石黒和義コレクション 太田記念美術館

今、相撲と浮世絵について思うこと 石黒 和義

対談 相撲錦絵の蒐集と世界に広がる浮世絵の魅力 石黒 和義、及川 茂 対談 村田 博文 司会

浮世絵における相撲絵の歴史 日野原健司

江戸の街道[みち]—絵図でたどる宿場と関所— につぼん歴史街道 埼玉県立歴史と民俗の博物館

五街道分間延絵図—将軍献上本と道中奉行所実務本— 加藤 光男

コラム 五街道分間延絵図と宿村大概帳の謎 杉山 正司

コラム 分間延絵図が作成される以前—以降の街道絵図— 加藤 光男

江戸文人画の彩り—高久靄厓とその師友— 栃木県立博物館

コラム 幕末の靄厓評—『流行諸名家唐紙半切並短冊類備附』— 本田 諭

安政三年の大展覧会—『宇都宮清厳精舎四大家展観幅目』の紹介— //

江戸妖怪大図鑑 太田記念美術館

浮世絵版画に描かれた妖怪たち 日野原健司

江戸の妖怪文化 香川 雅信

役者の演じた化け物・幽霊 横山 泰子

物語のなかの妖術使い 佐藤 至子

児雷也の妖術—怪魚大鰐鮫— 服部 仁

恵比寿映像祭6回 トゥルー・カラーズ 東京都写真美術館

第6回総合テーマ トゥルー・カラーズ 北澤ひろみ

トランス・ローカリティの映像的未來—トゥルー・カラーズの世界へ— 毛利 嘉孝、分藤 大翼、下道 基行、北澤ひろみ 座談

特別寄稿 映像がもういちど窓、扉となつて	管 啓次郎	上田 暁子、佐藤 翠、彦坂 敏昭、田中 正之	齋藤裕一	〃
艶美の競演—東西の美しき女性	木原文庫より— 笠岡市立竹喬美術館	アーティストトーク #1	佐々木省伍	〃
線描の極致にひかれて	木原 真人	アーティストトーク #2	西川泰弘	〃
艶美の競演—東西の美しき女性—	木原文庫について 上蘭 四郎	アーティストトーク #3	横山涼	〃
おいしいアート展 食と美術の出会い	おいしいアート 横須賀美術館	アーティストトーク #4	杉浦公治	〃
美術における飲食	宮下規久朗	インタビュー	前田貴	〃
おいしいアート—食と美術の出会いと未来—	古屋 梨奈	おかえりなさい、伊藤若冲《菜蟲譜》—光学調査・修理完了披露展(伊藤若冲《菜蟲譜》—光学調査・修理を終えて)	渡辺孝雄	〃
近江三都物語—大津宮・紫香楽宮・保良宮—	滋賀県立安土城考古博物館	おかえりなさい、伊藤若冲《菜蟲譜》の光学調査の概要	栗原和秀	〃
特論 大津宮選地と寺院配置	葛野 泰樹	伊藤若冲《菜蟲譜》の修理の概要	中津川浩章	〃
大江戸と洛中〜アジアのなかの都市景観〜	江戸東京博物館開館20周年記念特別展 江戸東京博物館	岡本太郎とアール・ブリュット 生の芸術の地平へ	ワークショップ 岡本太郎美術館ワークショップ《太郎と描こう!》について	〃
「大江戸と洛中〜アジアのなかの都市景観〜」展の視角	齋藤 慎一	源泉の水辺に	ワークショップ 川崎市中央支援学校・ワークショップについて	〃
大阪遺産 難波宮—遺跡を読み解くキーワード—	難波宮発掘調査60周年記念 大阪歴史博物館	「岡本太郎とアール・ブリュット 生の芸術の地平へ」展に寄せて	今日のワークショップ—自分の中に全体性を取り戻す	三ツ木紀英
前期・後期難波宮の「重なり」をめぐる	李 陽浩	「何だ、これは!」岡本太郎、人間の表現の本質を問う	小山の仏教美術—仏像・仏画展—	〃
オオハラ・コンテンポラリー・アート・ムサビ	武蔵野美術大学美術館・図書館(美術館)	アトリエ・コーナース	小山市制60周年・車屋美術館開館5周年記念 小山市立車屋美術館	〃
トークイベント #1	浅見 貴子、栢原 由佳、三瀬夏之介、北澤 憲昭、尾長 良範	西岡弘治	小山の仏教美術	北口 英雄
トークイベント #2	大月 ヒロコ、柳沢 秀行、杉浦 幸子	大川誠	オルセー美術館展 印象派の誕生—描くことの自由—	国立新美術館
トークイベント #3	辰野登恵子、東島 毅、赤塚 祐二、是枝 開、沢山 遼	やまなみ工房	ヌーヴェル・オルセー、生まれ変わるオルセー美術館—古くからのコレクションに新しい衣装が着せられる	ギィ・コジ ユヴァル 関口 涼子 訳
	モデルレータ	大川裕也	印象派の誕生—描くことの自由	カロリーヌ・マチュー 山上 紀子 訳
		熊田史康	落選者たち	横山由季子
		鎌江一美	尾張徳川家の名宝—優美なる茶と香の世界—	開館25周年記念 広島県立歴史博物館
		清水千秋	徳川美術館の茶の湯・香のコレクション	四辻 秀紀
		工房集	おん祭と春日信仰の美術 威儀物—神前のかざり—	奈良国立博物館
			特論 おん祭の威儀物	岡本 彰夫

(力行)  
**開館40周年記念展1974 第1部**  
**1974年二生マレテ** 群馬県立近代  
 美術館

私たちが生まれた  
 1974年から現在に  
 至るまで 藤田 千彩  
 〈境〉にて 宮本 武典  
 インスタレーショ  
 ン|結晶のうまれ  
 たところ 宮永 愛子  
 『L字とミミズ』 小林 耕平  
 §作家の言葉§ 水野 暁  
 " 土屋 貴哉  
 " 春木麻衣子  
 " 末永 史尚

**開館40周年記念展1974 第2部**  
**1974年一戦後日本美術の転換点**  
 群馬県立近代美術館

1974年/美術に見  
 る転換期の諸相—  
 崩れゆくものと生  
 まれいずるものの  
 境界に立って— 谷 新  
 1974年一戦後日本  
 美術の転換点 田中 龍也  
 1974年群馬県立近  
 代美術館 その前  
 史をふりかえる—  
 旧陸軍岩鼻火薬製  
 造跡地に「群馬の  
 森」ができるまで  
 — 松下 由里

**甲斐の黒駒—歴史を動かした馬たち**  
 — 山梨県立博物館

描かれた甲斐の黒  
 駒—聖徳太子信仰  
 とともに— 井澤英理子

**加賀蒔絵と京蒔絵—工芸教育の精華**  
 — 金沢美術工芸大学美術工芸研究  
 所展示室

加賀蒔絵の近世と  
 近代 山崎 剛  
 京都高等工芸学校  
 の教育 並木 誠士  
 浅井忠の漆工と杉  
 林古香の塗工の関  
 係について  
 野分蒔絵文庫と浅  
 井忠の図案教育に  
 ついて 和田 積希  
 蒔絵の技術革新と  
 教育について 山村 慎哉

**輝ける金と銀—琳派から加山又造ま  
 で—** 山種美術館

金銀で描く—絵画  
 表現にみる金属材  
 料の活用法— 三戸 信恵  
 —コラム— 琳派  
 における金銀の装  
 飾 " "  
 —コラム— 横山  
 大観の金地への意  
 識 南雲有紀栄  
 —コラム— 速水  
 御舟の金地 三戸 信恵  
 —コラム— 竹内  
 栖鳳が用いた金と  
 銀 塙 萌衣  
 —コラム— 川端  
 龍子の金への意識 南雲有紀栄  
 —コラム— 摺物  
 の中の輝き " "  
 —コラム— 山本  
 丘一箔で描いた  
 絵画 塙 萌衣

西田俊英の言葉  
 小山硬の言葉  
 松村公嗣の言葉  
 川崎鈴彦の言葉  
 牧進の言葉  
 田淵俊夫の言葉

**拡張するファッション** 水戸芸術館  
 現代美術ギャラリー他

作家たちと林央子  
 との対話 Q & A パステル・  
 ガテン  
 " ホンマタカ  
 シ  
 " ミランダ・  
 ジュライ  
 " 青木 陵子  
 " 長嶋有里枝  
 " スーザン・  
 チャンチオ  
 ロ  
 " 前田 征紀  
 " 横尾香央留  
 " BLESS

**拡張するファッ  
 ション展** 小金沢健人

作家たちと林央子  
 との対話 Q & A 神田 恵介  
 " FROM ON  
 WORDS

美しさは分かち合  
 うもの。私たちが  
 自分自身であるこ  
 とが美しい。「拡  
 張するファッショ  
 ン」展オープニン  
 グトーク

困難を感じて不安  
 になることは、本  
 当はとてもしいサ  
 インなの。ただ、  
 イヤな気持ちがす  
 だけのことで。「ザ  
 ・フューチャー」  
 アフタートーク

あの日からの出発。  
 神田恵介と浅田政  
 志による卒業写真  
 ふたつのプロジェ  
 クト 神田恵介×  
 浅田政志トーク

ファッションは人  
 生の伴走者

**型紙の美 幕末から明治の染の世界**  
**—武蔵大学蔵朝田家型紙コレクショ  
 ン—** 練馬区立石神井公園ふるさと  
 文化館

型と版との縁(え  
 にし) 岩崎 均史  
 江戸時代の小紋 丸山 伸彦  
 型紙が過ぎた時  
 間 彫刻師・増井  
 一平氏聞き取り 山城千恵子、  
 川口 友子  
 聞き手

**朝田家型紙コレク  
 ション** 川口 友子

練馬区域の藍作り 渡邊 嘉之

**鎌倉の仏像 武家のみやこ 追真と  
 エキゾチシズム** 奈良国立博物館

総論 渚の青磁  
 「鎌倉の仏像」に見  
 る多様性 清水 眞澄  
 各論 中世彫刻史  
 上の奈良と鎌倉 岩田 茂樹  
 各論 中世律宗の  
 鎌倉進出と善派仏  
 師—神奈川・浄光  
 明寺両脇侍像を中  
 心に— 山口 隆介

各論 鎌倉地方か  
 らみた肖像彫刻 内藤 浩之

**鎌倉ゆかりの天神さま 荏柄天神社  
 宝物と常盤山文庫コレクション** 鎌  
 倉国宝館

天神マニア—常盤  
 山文庫の天神さま 島尾 新

高橋 瑞木  
 進行  
 パステル・  
 ガテン、  
 林 央子、  
 山口ゆかり、  
 山内 未央  
 対話  
 須川 咲子  
 通訳

高橋 瑞木  
 進行  
 ホンマタカ  
 シ、  
 林 央子  
 対話

林 央子

高橋 瑞木

荏柄天神社本殿について	浪川 幹夫	ジョン・ラファージにみるジャポニスム	〃	館蔵 近世絵画名品展 九州国立博物館
荏柄天神社の東帯天神像について	高橋 真作	Column 3 ニッポンを訪れた欧米人	〃	総論「館蔵近世絵画名品展」によせて 宮島 新一
荏柄天神社所蔵の版本について	坪内 綾子	Column 4 《ラ・ジャポネーズ》を読み解く	遠藤 望	各論 九州国立博物館の近世絵画コレクション 鷺頭 桂
上方の浮世絵—大阪・京都の粋[すい]と技[わざ]— 大阪歴史博物館他		《ラ・ジャポネーズ》の保存修復	アイリーン・コネファル 出羽 尚 訳	官展にみる近代美術 東京・ソウル・台北・長春 福岡アジア美術館他
眠りから覚めた上方浮世絵	北川 博子	Column 5 モードとなったキモノ	遠藤 望	日本における官設美術展覧会について 飯尾由貴子
カミノ/クマノ—聖なる場所へ 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」登録10周年記念 三重県立美術館		Column 6 舞台の上の日本、日本女性	〃	官展と在野—南画化をめぐるそれぞれの交差 志賀 秀孝
カミノ/クマノ 名もない道の風景	吉田 映子	文明開化の日本風俗	鏡味 千佳	朝鮮美術展覧会とはどんな展覧会だったのか 金 炫淑 晟埭 韓文抄訳
作品趣旨	ミエケンジンカイ	Column 7 ドガのジャポニスム	遠藤 望	植民地時代の官展美術と韓国近代の書についての一考察 李 東拳 晟埭 韓文抄訳
作家インタビュー：ミエケンジンカイ		Column 8 世紀末のグラフィック・アート	〃	金環永研究—韓国最初のモダニスト美術家 金 炫淑 金 惠信 韓文抄訳
作家インタビュー：城戸保		Column 9 ラフカディオ・ハーンと日本	鏡味 千佳	帝展と台展—植民地画家における作風の二面性 顔 貞 娟英 孟晋 中文和訳
作家インタビュー：荒川朋子		Column 10 唯美主義とその広がり—イギリスからアメリカへ	遠藤 望	遊離した在野性—日本統治期における台展以外の芸術団体 林 育淳
作家インタビュー：渡部裕二		Column 11 アール・ヌーヴォー	〃	満州国美術展覧会をめぐる二つの事柄 江川 佳秀
作家インタビュー：水野勝規		Column 12 ホイッスラーのジャポニスムとアメリカ	〃	エッセイ 官展の時代 ラワンチャイクン 寿子
華麗なるジャポニスム展 ポストン美術館 印象派を魅了した日本の美術 世田谷美術館他		ゴッホ模写《広重作、亀戸梅屋舗のトレース素描》19行からみると	尾崎 真人	エッセイ 朝鮮美術展覧会の日本人審査員と朝鮮郷土色—西洋画部を中心に 金 正善
イントロダクション：魅了する日本	ヘレン・バーナム、ジェーン・E・ブラウン 遠藤 望 訳	写真とジャポニスム—絵画主義[ピクトリアリズム]からの展開	加藤 絢	エッセイ 異域の旅—日本統治期に日本から台湾に来た画家の遊歴の足跡とその作品をめぐる初歩的研究 薛 燕玲 多田 麻美 中文和訳
Looking East：ポストン美術館発ジャポニスムから見えて来るもの	遠藤 望	Column 13 イギリスとアメリカの木版画—浮世絵のもうひとつの影響	遠藤 望	エッセイ 朝鮮美術展覧会、台湾美術展覧会の「内地」からの審査員について 児島 薫
日本人の姿をしたパリエンス	エミリー・A・ビーニー 出羽 尚 訳	Column 14 モネと日本	〃	エッセイ 東南アジアにおける日本軍政と公的な美術活動 後小路雅弘
Column 1 フィラデルフィア万国博覧会とシカゴ博覧会	遠藤 望	Kawaii[かわいい]日本美術—若冲・栖鳳・松園から熊谷守一まで— 山種美術館		
Column 2 日本に魅せられたポストニアン	井上 瞳	日本美術にみる「かわいい」の諸相	三戸 信恵	



観音の里の祈りとくらし展—びわ湖・長浜のホトケたち— 東京藝術大学美術学

湖北の観音像に寄せて 薩摩 雅登  
 鷄足寺木心乾漆造十二神将像について 芹生 春菜  
 湖北の観音像の造形的特色 秀平 文忠  
 村々のホトケと村落共同体 太田 浩司  
 観音オコナイ—仏と人を結ぶもの— 中島 誠一

喜多川歌麿 深川の雪 岡田美術館

再発見 幻の歌麿大画「深川の雪」 小林 忠  
 対談 歌麿「深川の雪」をめぐる 浅野 秀剛、小林 忠、堀内 信久、司 稲、稲 朋子、稲 朋子  
 「雪月花」三部作の来歴 稲 朋子  
 「深川の雪」再発見について 寺元晴一郎

キトラ古墳壁画 東京国立博物館

キトラ古墳の発掘調査 若杉 智宏、水野 敏典、長谷川 透  
 キトラ古墳壁画 筒井 忠仁  
 コラム キトラ古墳の名前の由来 相原 嘉之  
 コラム 東アジアにおける十二支 川瀬 由照  
 コラム キトラ古墳壁画の複製陶板の製作 建石 徹、大杉 栄嗣  
 コラム キトラ古墳壁画のフォトマップ撮影 井上 直夫  
 コラム キトラ古墳壁画の取り外し道具 川野邊 渉  
 コラム 壁画の下の漆喰を見たい！ 福永 香、高妻 洋成  
 コラム 高松塚古墳 林 正憲、横須賀倫達  
 コラム 明日香まると博物館 森川 裕一  
 キトラ古墳壁画の材料調査 高妻 洋成

キトラ古墳出土遺物とその意義 橋本 英将

キトラ古墳の保護の経緯と現状 建石 徹、相原 嘉之

キトラ古墳壁画の修理と保存 川野邊 渉

キネティック・アート 山梨県立美術館他

イタリアにおけるキネティック・アート：再発見されるべき傾向 マルコ・メネグッツォ、巖谷 睦月 訳

イタリアのキネティックアートの起源とその展開：ブルーノ・ムナリーを中心として 谷藤 史彦

キャプテン・クック探検航海と『バンクスタ花譜集』展 Bunkamura ザ・ミュージアム

キャプテン・クック第一回航海と『バンクスタ花譜集』 ナイジェル・エルスキソン、三谷 知子 訳

スペシャル・インタビュー 白幡洋三郎氏に聞く ジョゼフ・バンクスタとプラントハンターの世界

コラム オーストラリアの植物学的発見：ポタニー・ペイの心躍る新しい植物群 ダグ・ベンソン、廣川 暁生 訳

コラム ジョゼフ・バンクスタ(1743-1820)の業績 御巫 由紀

キャプテン・クック探検航海と『バンクスタ花譜集』展 開催記念プレ・イベント 植物学者パトリック・ブランドン氏 講演会 §抄訳 § 遠藤 浩子 翻訳・編集

ギヤマン あこがれの輸入ガラスと日本 神戸市立博物館

和製ギヤマンは輸入ギヤマンを超えたか 岡 泰正

ギヤマン 渡りと和製 棚橋 淳二

江戸時代後期におけるオランダ船のガラス器輸入について 石田 千尋

アンナ&キティ・ラメリス 奥田 祐子 訳、岡 泰正 監訳

日本におけるヨーロッパ製ガラス

箱書一覧 主な箱書の翻刻

九州古陶の美「食の器」 田中丸コレクション(九州古陶の美「食の器」田中丸コレクション 解説第3号) 福岡市美術館

§ 解説 § 久保山 炎

九州の戦国 大分県立歴史博物館

コラム1 豊後に於ける「乱妨取り」 村上 博秋

コラム2 中世大友府内町跡出土の東南アジア産陶磁器 後藤 晃一

キラキラ・ざわざわ・ハラハラ展

こどもと美術を楽しみたい！ 井上 涼／重田 佑介／tupera tupera／西村 正徳／ミロコマチコ 横須賀美術館

レポート トークセッション 井上 涼(ハイパーメディアクリエイター)× 亀山 達矢(tupera tupera/絵本作家)

§ 作家の言葉 § 井上 涼

〃 重田 佑介

〃 turera tupera

〃 西村 正徳

〃 ミロコマチコ

キラキラ・ざわざわ・ハラハラはどこから？ 中村 貴絵

煌めきの美—東洋の金属工芸—(煌めきの美—東洋の金属工芸—特集展示パンフレット) 大和文華館

唐から宋時代にかけての金銀器 瀧 朝子

きらめく日本画コレクション 高島 屋(大阪)

近代日本画の完成に向かって—東京、京都そして大阪— 島田 康寛

美術都市・大阪と近代日本画 小川 知子

大阪市の新しい美術館、その経緯とコレクション	菅谷 富夫	渡辺崋山と写真鏡	松嶋 雅人	「アートとともに生活すること」—アートをコレクションする方法 ヤゲオ財団(台湾)からのメッセージ	
クインテット—五つ星の作家たち		変幻自在! 雪村の龍	畑 靖紀	ヤゲオ財団(台湾)理事長ビュール・チェンへのインタビュー	保坂健二郎 聞き手
損保ジャパン東郷青児美術館		まだまだある、クリーブランド美術館の日本美術	鷺頭 桂	なぜ美術館でコレクターの展覧会が行われ、現代美術が「世界の宝」と呼ばれたのか?	保坂健二郎
クインテット—五つ星作家たちの“風景”表現	五十嵐 卓	琴棋書画いろいろ	本田 光子	工芸王国の実力! 魅惑の120選	
§ 作家の言葉 §	児玉 靖枝	蕨の紅葉のなぞ—深江蘆舟の「蕨の細道図」—	土屋 貴裕	北陸新幹線開業記念イベント	
〃	川田 祐子	付論 クリーブランド美術館の中国絵画コレクションと日本	塚本 鷹充	(石川の近現代工芸2014 石川県立美術館企画展「工芸王国の実力!」図録目録) 石川県立美術館	
〃	金田 実生			石川の近現代工芸 西田 孝司	
〃	森川 美紀			弘法大師空海展 四国霊場開創	
〃	浅見 貴子			1200年記念 愛媛県歴史文化博物館	
国宝久能山東照宮展 家康と静岡ゆかりの名宝 徳川家康公顕彰四〇〇年記念事業 静岡市文化振興財団設立二〇周年記念事業 静岡市美術館		黒田家の美術 きらめきの大名道具 大河ドラマ軍師官兵衛記念 福岡市美術館		阿波国分寺「靈驗譚奉納額」にみる明治後期の四国遍路	今村 賢司
国宝・久能山東照宮展—家康と静岡ゆかりの名宝—に よせて	宮崎 隆旨	黒田家の屏風をめぐる回想	中山喜一郎	公募団体ベストセレクション 美術 2014 東京都美術館	
徳川家康の甲冑と御具足師岩井与左衛門	〃	化粧—美の演出、社会的シンボル、コミュニケーション手段—	厚木市 郷土資料館	「公募団体ベストセレクション 美術 2014」を迎えて	真室 佳武
久能山東照宮伝世の御神宝装束—東照宮大権現神服としての白地有文の袍を中心に—	田中 潤	「化粧」とは何か	村田 孝子	多様化する美術のなかで—公募団体ベストセレクション 美術 2014に よせて	大谷 省吾
熊野—聖地への旅— 10周年記念特別展 和歌山県立博物館		身体彩色/フェイス・ボディペインティング—美、身嗜み、医療、祝祭、魔除け、権勢—	川添 裕子	高野山の名宝 高野山開創1200年記念 サントリー美術館他	
熊野—聖地への旅—	大河内智之	さまざまな美の基準—ヒグと審美眼—	〃	高野山の歴史と文化財	静 慈圓
世界遺産「熊野参詣道」の特徴と変遷	小田誠太郎	「丁髷」から「ザンギリ」へ—浮世絵、絵草子にみるザンギリいろいろ—		四天王・執金剛神・深沙大将像と快慶—新出納入品の紹介を兼ねて—	奥 健夫
クリーブランド美術館展 名画でたどる日本の美 東京国立博物館		再び「化粧」とは何か—グローバル時代の特徴—	川添 裕子	八大童子像と運慶—主に群像表現に着目して—	佐々木康之
総論 日本絵画の奥義	松嶋 雅人	現代形の陶芸 萩大賞展 III 山口県立萩美術館・浦上記念館		光琳を慕う中村芳中 他	千葉市美術館
各論 約束された救済の情景—二河白道図	土屋 貴裕	審査員講評	金子 賢治	中村芳中について	木村 重圭
各論 クリーブランド美術館所蔵 厩図屏風に関する一考察	鷺頭 桂	現代・陶芸現象 茨城県陶芸美術館		光琳追慕の諸相 中村芳中と酒井抱一	伊藤 紫織
各論 雲山図のひらがり—憧れの米法山水	畑 靖紀	現代・陶芸現象— 試的「陶芸の現代史」四段階	金子 賢治		
失われた絵巻を求めて—絵巻模本の底力—	土屋 貴裕	現代・陶芸現象— 日本的マルチスタンダードの展開	柳田 高志		
		現代美術のハードコアはじつは世界の宝である展 ヤゲオ財団コレクションより 東京国立近代美術館他			

芳中画の魅力「光琳風」が示すもの 福井 麻純

中村芳中と交流した備讃ゆかりの大坂画人 大原東野・淵上旭上らの活動に注目して 中村麻里子

ゴー・ビトゥイーンズ 子どもの通して見る世界 森美術館他

ゴー・ビトゥイーンズ：境界を超える子どもの力 荒木 夏実

ゴー・ビトゥイーンズからイン=ビトゥイーンズ、そしてハイフン付アメリカ人へ サンドラ・J・ホルス・ティン

ミドルネームは言わないで ジャクリーン・リーム・サッローム

個性のはじまり 金 仁淑

狭間の景色、根付く足跡 須本エドワード

古代官道 山陽道と駅家〔うまや〕 律令国家を支えた道と駅 風土記 1300年記念特別展 阪神・淡路大震災20年展 兵庫県立考古博物館

VII 今里幾次先生の足跡—古代山陽道駅家研究の先達—

古代の住まい—今と昔を結ぶ家のカタチを探る— 島根県立八雲立つ風土記の丘資料館

山陰の家形埴輪 東方 仁史

後藤家文書 刀装金工の鑑定と記録 2 東京藝術大学附属図書館貴重資料展 公益財団法人出光文化福祉財団助成・修復事業報告 東京藝術大学附属図書館

後藤家の装剣金工の技(わざ) 原田 一敏

後藤家文書 極帳について—出光文化福祉財団修復事業助成による修復文書を中心に— 酒井 元樹

近衛家の国宝 京都・陽明文庫展 華麗なる宮廷文化 九州国立博物館

陽明文庫の沿革 名和 修

藤原道長の『御堂関白記』と世界記憶遺産への道程 倉本 一宏

『御堂関白記』と具注暦 渡部 史之

天皇と公家の書のあいだ 丸山 猶計

近衛信尹と薩摩 荒木 和憲

江戸の大教養人・近衛家熙 酒井 芳司

個の原点5回 高島屋(大阪)他

〈個の原点〉に期待する 島田 章三

「待っている時間」 伊東 浩一

§作家の言葉§ 岩岡 航路

〃 大内田 敬

〃 大森 啓

〃 掛川 孝夫

〃 久保田 裕

〃 肥沼 守

“絵描きのことば” 東方 達志

§作家の言葉§ 西川ひろみ

〃 半田 強

〃 前田 昌彦

これからの写真 光源はいくつもある 愛知県美術館

光源はいくつもある—写真の多義性をめぐって— 中村 史子

発見のための写真 甲斐 義明

コンダンサシオン：アーティスト・イン・レジデンス エルメスのアトリエにて メゾンエルメス8階フォーラム

経験の夜明けと塩 ガエル・シャルポー

(サ行)

再興 對州窯展 ぎやらりい思文閣

御挨拶 小林 東五

〃 阿比留梅仁

サッカー展、イメージのゆくえ。開館15周年記念 うらわ美術館

サッカー、大衆の中のイメージのゆくえ。 森田 一

サッカーマンガを通して考える芸術のこと 滝口 明子

イメージのゆくえ。その先にあるもの、背後にあるもの。 森田 一

ザ・ビューティフル—英国の唯美主義1860—1900 三菱一号館美術館 他

はじまり：新たな美を求めて ステイーヴン・キャロウェイ

この硬い、宝石のような炎で—モリス・ペイター・ワイルド— 川端 康雄

E.W.ゴドウィン—生活空間をデザインする— 小野 文子

アルバート・ムーアの近代性—革新のための古典復興— 加藤 明子

侍アート・甲冑—戦国甲冑と兜の魅力— 日本甲冑武具研究保存会近畿支部協力展 高槻市立しろあと歴史館

甲冑の歴史 千田 康治

更紗の時代 福岡市美術館

総論 更紗の時代 岩永 悦子

論考 17—18世紀の記録に残る貿易布の名称について—サルピカード、ギンガム、ササーグンタスとは何か 〃

論考 ナショナル・コスチューム=トレード・テキスタイル?—更紗とアフリカを考えるために 正路佐知子

インタビュー 新たな市場への参入と挑戦、アフリカ向けプリント布と日本企業—西澤株式会社、富江文雄さんに聞く 正路佐知子 聞き手

三英傑と名古屋 名古屋市博物館

桶狭間の戦い…合戦と配陣 岡村 弘子

洛中洛外図屏風を読み解く。 津田 卓子

耳庵と茶道具展 戦前の収集品を探る 福岡市美術館

戦前の収集品と『黄林閣藏品帳』 岩永 悦子

シェル美術賞展2014 国立新美術館

転倒する現実 本江 邦夫

美しき誤解を招き、 饒舌にさせる絵画	木ノ下智恵子	§ 作家の言葉 §	赤塚 一三	樹木礼賛 日本絵画に描かれた木と 花の美 仙台市博物館
雑感以上批評未満 2	保坂健二郎	〃	井手尾撰子	「樹木礼賛」展と松 樋口 智之 の絵画
しかけ絵本Ⅱ 江戸から明治に見る あそびのしかけ 武蔵野美術大学美術 館・図書館(図書館)		〃	大村 光	荘園の景観と絵図 和歌山市立博物 館
近世絵双紙考一武 蔵野美術大学美術 館・図書館展覧会 「しかけ絵Ⅱ」に寄 せて一	アン・ヘリ ング	〃	谷神 健二	コラム 日根荘の 荘園絵図の作成を めぐって 廣田 浩治
遊びは「歌舞伎」か らやってきた	堀尾 幸男	〃	福井 洋一	コラム 峠田荘東 部の開発と文覚井 一ノ井 前田 正明
たてばんこの水脈	佐久間保明	〃	堀江 孝	絵図に描かれた荘 園景観とその保全 に向けて 吉田 敏弘
四国へんろ展 空海の足音[徳島編] 四国霊場開創一〇〇〇年記念四県連 携事業 徳島県立博物館		〃	山内 滋夫	荘園の立地環境と 絵図 額田 雅裕
四国霊場と遍路道 の調査一世界遺産 登録に向けた取り 組み一	早瀬 隆人	紙片の宇宙 シャガール、マティス、 ミロ、ダリの挿絵本	ポーラ美術館	障害者アート企画展 うふっ。どう しちゃったの、これ!? えへっ。こ うしちゃったよ、これ!! 無条件な 幸福 埼玉会館
近世の札所寺院の 存在基盤	町田 哲	紙/詩片の宇宙	今井 敬子	「うふっ。どうし ちゃったの、これ !」「えへっ。こ うしちゃったよ、こ れ!!」無条件な幸 福によせて 中津川浩章
祈りの「かたち」・ 文化財を守り伝え るといふこと一木 造の弘法大師像と 真言七祖像(薬王 寺蔵)の修理に関 わって一	須藤 茂樹	ジョアン・ミロと 挿絵本『あらゆる 試み』を中心に	東海林 洋	Column 1 19世 紀の挿絵本 岩崎余帆子
四国遍路 ぐるり今昔 愛媛県歴史 文化博物館		Column 2 「芸 術家による挿絵本」 の出版者 ヴォラ ール、テリアード、 スキラ	今井 敬子	Column 3 挿絵 本の版画工房 ラ クリエールとムル ロ
絵図・古写真等に 見る四国遍路と四 国霊場の変遷	今村 賢司	JAALA 国際交流展19回一2014 川 崎市市民ミュージアム	川崎 裕子	概説 正倉院宝物 の成立と特徴 内藤 栄
獅子と狛犬 神獣が来たはるかな道 MIHO MUSEUM		人が人として生き られるアジア探し 一第19回JAALA国 際交流展を観て一	ワシオ・ト シニコ	宝物寸描 正倉院 宝物の科学的調査 中村 力也
獅子狛犬の成立、 それ以前・以後	伊東 史朗	お礼	Ts. tsegmed	宝物寸描 古密教 の三鈔杵について 内藤 栄
鎮墓獣の進化論	市元 豊	澄んだ青い空のよ うに…一JAALA国 際交流展の持続的 な発展を祈念して 一	朴 珍華	宝物寸描 鳥毛立 女屏風と唐墓壁画 樹下人物図屏風 谷口 耕生
聖獣の遙かなる歩 み	稲垣 肇	国境なき友達を作 る	陳 世憲	縄文! 岩手10000年のたび 大阪 府立弥生文化博物館
コラム 五百井神 社の男神坐像と獅 子・狛犬	佐々木 進	ガザの子どもたち は	上條 陽子	土偶、その祀り方 の変遷一握る・吊 る・立てる・掲げ る一 黒崎 直
コラム 東北地方 の獅子狛犬像 断 章	政次 浩	JAALAトークセッ ション「アトリ エの本音」一海外 参加者を中心とし て一	Michelle Blakeney、 陳 世憲、 E. Ariun- bold、 朴 珍華、 稲垣 三郎 司会	縄文コンテンポラリー展 in ふなば し14回 縄文の手・現代の手 船 橋市飛ノ台史跡公園博物館
自然と生命への讃歌 寺田コレクシ ョン 茨城県天心記念五浦美術館		社寺の風景一宮曼茶羅から祭礼図へ 一 大和文華館	古川 攝一	イノチを生む動く 線とリクツが生む 複雑な形一第14回 縄文コンテンポラ リー展の飛躍一 古谷 嘉章
自然と生命への讃 歌	中田 智則	社寺の風景一宮曼 茶羅から祭礼図へ 一		「もようでつくっ たかたち」 山内 啓司 大内 公公 柴田美千里 小堤製作所
實の会3回 美と存在 (本橋)	高島屋(日 本橋)			

「ジョウモンにオモウツボ」	大川 和宏
「縄文の貝を運ぶ箱舟」	酒井 清一
「平野さん」	柴田美千里
「しずく土器—記憶と循環」	清水 雄一
「船橋の縄文メッセージ」	正法寺 健
「表紙を飾った土器たち」	神保 君雄
「月の種」	須藤ありさ
「(あか から あかへ)『グダリ沼』青森八甲田山中『荒川(Arakawa)』」	辻 けい
「どぐうの陽だまり」	土偶の日運営委員会
世界初の本格「アイヌ・アニメ」	丹菊 逸治
縄文アート座談会 § 抜粋記録 §	石原 道知司会
<b>縄文土器展 デコボコかざりのはじまり</b> 長野県立歴史館	
VIII 「縄文土器展にあたって」 1. 縄文文化を今に!	原 明芳
VIII 「縄文土器展にあたって」 2. 縄文土器の鑑賞と展示	林 誠
<b>助手展2014 武蔵野美術大学助手研究発表</b> 武蔵野美術大学美術館・図書館(美術館)	
展示作品について 遺影についての考察	いしかわみちこ
展示作品について bunga biru poppy クレマチス	市川みづ樹
展示作品について 影になる街	白田 桃子
展示作品について 蓄積と足跡	内田阿紗子
展示作品について 水面詩	国沢 知海
展示作品について Pear Chair	齋藤大路朗
展示作品について だれのものなのか(作品)	松田 優
展示作品について post	小崎 慎介
展示作品について 聞こえる	佐藤 希

展示作品について つづく	福士 遙
展示作品について 篠原の戦い	田村 佳丈
展示作品について succession of moments	藤森 研悟
展示作品について もののえ	山本麻璃絵
展示作品について 呼吸、吸気	稲垣 遊
展示作品について 落下する鳥	大野 洋平
展示作品について The Veil	土屋 由貴
展示作品について _mirage	開田ひかり
展示作品について カスタムペイント 兜	星野 曜
展示作品について parrot	森田 洋生
展示作品について 美大と助手	山崎 連基
展示作品について ごウオッチsystem	井上 泰一
展示作品について 府中市の住宅	入江 剛史
展示作品について untitled 4	小林なつみ
展示作品について 早川祐太×高石晃×加納俊輔[三つの体、約百八十兆の細胞]	早川 祐太
展示作品について The Ark	日比谷泰一郎
展示作品について FROME_Study_Underground-Groundline	深谷 美里
展示作品について 来た道を帰る	星野 耕史
展示作品について Strangler fig marks (raven)	八木 貴史
展示作品について Roralice	上村 尚子
展示作品について Uncertain Objects	赤羽 佑樹
展示作品について Valeur (2014)	大原 崇嘉柳川 智之
展示作品について ○○祭!	矢野恵利子
展示作品について insert	渡辺真太郎

<b>シルクロードの記憶</b> 秋田県・甘肅省友好提携30周年記念文化交流展 秋田県立美術館	
シルクロードと甘肅の古代文化	菅谷 文則
中日合同磨嘴子遺跡発掘調査の意義	王 輝
文化交流事業の成果	佐々木人美
<b>白き黄金—有田・伊万里・武雄・嬉野の磁器の美と技—</b> 有田焼創業400年事業特別企画展 佐賀県立九州陶磁文化館	
佐賀県の磁器生産の歴史と特色について	鈴田由紀夫
有田の磁器 美と技の創造	山本 文子
伊万里の磁器 誇り高き伝統 鍋島藩窯と大川大内の典雅	藤原 友子
武雄の磁器 断絶と再興、新たな創成	徳永 貞紹
嬉野の磁器 新奇と優美のデザイン	家田 淳一
<b>新印象派 光と色のドラマ</b> あべのハルカス美術館他	
新印象派—光と色のドラマ	マリーナ・フェレッティ・ボキヨン 船岡美穂子 訳
新印象主義運動の理論とその美学的意義	クリストフ・デュヴィヴィエ 小林亜起子 訳
新印象派とモネ、ルノワール—印象派を超える挑戦	大橋菜都子
<b>新紀元 革新の視座—加賀谷武、木下晋、久世建二、庄田雷寛、蓮田修吾郎の創造—</b> 石川県立美術館	
金属造型作家 蓮田修吾郎(1915~2010)の世界	嶋崎 丞
土とともに「手で考え心でつくる」—久世健二のクレイワーク	寺尾 健一
空に描く 加賀谷武の空間生態	二木伸一郎
木下晋 祈りの塔	〃

平成26年美術展覧会図録所載文献(企サ行)

異形の正統 庄田 雷寛一画鬼の咆吼 二木伸一郎	芽吹く、そして根を張る 古家 昌伸	一乗谷に至る日本のガラス 谷一 尚
信州大学×長野県信濃美術館コラボ展 長野県信濃美術館	Sprouting Garden 一萌ゆる森一の由来と意義 佐藤 康平	一乗谷朝倉氏遺跡出土ガラスの分析 中井 泉
風景一面と出会う 金井 直	スリーピング・ビューティー 開館25周年記念特別展 広島市現代美術館	化学分析された一乗谷のガラス玉 田村 朋美
知ることは、楽しい 小野 文子	美の正体についての考察 藤野 可織	戦国時代の金を中心とする非鉄金属生産と一乗谷朝倉氏遺跡 沓名 貴彦
コラボ展による邂逅—信州大学のコレクションと長野県信濃美術館所蔵作品 伊藤 羊子	深奥で密かに瞬く美を目覚めさせるために 角 奈緒子	戦後日本住宅伝説 挑発する家・内省する家 埼玉県立近代美術館他
真宗の美 親鸞と福井、ゆかりの名宝 福井県立美術館	世紀の日本画 日本美術院再興100年特別展 東京都美術館	住宅の神話 建島 哲
真宗の美術へのまなざし 津田 徹英	日本美術院再興100年を迎えて 松尾 敏男	建築家にとって住宅とは何だったのか 五十嵐太郎
コラム1 新出の本覚寺所蔵 木造親鸞聖人像の位相 //	「世紀の日本画」展によせて 古田 亮	戦後日本住宅への一視点—白の意味 伊豆井秀一
存覚袖日記の記事と専信坊専海 小山 正文	青磁のいま 受け継がれた技と美 南宋から現代まで 東京国立近代美術館工芸館他	全日本アートサロン 絵画大賞展23回 国立新美術館他
スサノヲの到来 いのち、いかり、いのり 足利市立美術館他	「青磁」—古陶磁鑑賞から創作への歩み 唐澤 昌宏	審査講評 自由表現部門 建島 哲
スサノヲの到来 江尻 潔	西洋近代絵画と松方コレクション 鹿児島市制125周年・新生鹿児島市10周年記念 鹿児島市立美術館	// 日比野克彦
スサノヲと近代 赤松 祐樹	松方コレクションの100年 湊 典子	// 山本 容子
素戔嗚命の姿の造形化について 平塚 泰三	松方幸次郎と鹿児島をめぐる2つの接点 安永めぐみ	審査講評 写真表現部門 岸 ユキ
北にみるスサノヲあるいは古層の神のひろがりについて 大下 智一	西洋への憧れ 個のめざめ 日本近代洋画の東西 国立美術館巡回展 川越市立美術館他	// 絹谷 幸二
いわとあわいのかみ 黒須 信雄	西洋の憧れ 個のめざめ 山野 英嗣	// 山本 文彦
日本に於ける土俗信仰系書画遺産の今日的意義について 橋本 倫	世界とつながる本当の方法 みて・きいて・かんじる陶芸 岐阜県現代陶芸美術館	造形衝動の一万年 縄文の宇宙 円空の衝撃 アール・ブリュットの情熱 滋賀県立安土城考古博物館
スサノヲのいる風景のために 矢崎 秀行	「虚構の約束」と曖昧さの美学、そしてつながるということ 山口 敦子	論考一 縄文人の感性と衝動—土偶に表現されたその精神世界— 瀬口 眞司
天津神算木の現象的色彩の研究(序) 藤白 尊	戦国時代の金とガラス～きらめく一乗谷の文化と技術～ 福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館	論考二 異形の木彫を辿る旅—円空作品から鈍彫・荒彫へ、そして神像彫刻へ— 山下 立
スピリチュアル・ワールド 平成26年度東京都写真美術館コレクション展 東京都写真美術館	戦国時代の金とガラス [Gold]とガラス [Glass]～きらめく一乗谷の文化と技術～ 川越 光洋	論考三 縄文土器とアール・ブリュットの時空を超えたコラボレーション はたよしこ
神々を透視する—精神性の領域へ 石田 哲朗		想像しなおし IN SEARCH OF CRITICAL IMAGINATION 福岡市美術館
Sprouting Garden 萌ゆる森 札幌芸術の森(屋外スペース/佐藤忠良記念子どもアトリエ/野外美術館)/関口雄揮記念美術館		世界を再想像する テッサ・モリス=スズキ
森林と芸術の間に共通接線を引き 北村 清彦		美術、世界を再想像するための 正路佐知子

続・上黒岩陰遺跡とその時代—縄文時代早期の世界— 愛媛県歴史文化博物館

北四国地域における縄文時代早期の様相 兵頭 勲

存星—漆芸の彩り— 五島美術館

存星「稀なるもの」の系譜 福島 修

宋代彫彩漆の再発見 小池 富雄

「網目地庭鳥図堆黒香合」に用いられた繊維素材の識別 渡邊 裕香

存星と紗地紋—禪宗の伝法衣から遡る 佐藤 留実

(タ行)

大浮世絵展 国際浮世絵学会創立50周年記念 江戸東京博物館他

浮世絵の歴史とその魅力 小林 忠

浮世絵を楽しむために 神谷 浩

大おにぎり展 出土資料からみた穀物の歴史 横浜市歴史博物館

Column 06 北川表の上遺跡のお弁当復元に向けて 高宮 紀子

REPRODUCE 復元を終えて //

大織部展 古田織部400年忌 岐阜県現代陶芸美術館

古田織部の茶の湯 谷端 昭夫

茶室「燕庵」と古田織部の茶風 中村 昌生

手紙に読み解く古田織部の書 増田 孝

織部という人物 丸山幸太郎

古田織部と同時代のやきもの 榎本 徹

織部様式の誕生 その展開と意味について 伊藤 嘉章

COLUMN 1 古田織部とへうげものの茶碗 立花 昭

織部400年に思う 藪内 紹由

COLUMN 2 萩焼と織部 榎本 徹

COLUMN 3 志野陶片の発見と美濃焼再興

参考 関連資料(釈文) 参考1 墨蹟 平石如砥筆 古田織部消息 六月三日付 松井康之宛

参考 関連資料(釈文) 参考2 竹一重切花入 銘音曲 伝千利休作 千利休消息 七月九日付 古田織部宛

参考 関連資料(釈文) 参考3 竹茶杓 古田織部作 久田宗也消息 五月二日付 北村久右衛門宛

参考 関連資料(釈文) 参考4 古天命笠 千利休消息 古田織部宛

参考 関連資料(釈文) 参考5 伊賀水指 銘破袋 古田織部消息 十一月二日付 大野主馬宛

参考 関連資料(釈文) 参考6 猿曳棚 伝狩野元信筆 猿曳棚之記 堀田撰津守筆

大観・春草・御舟と日本美術院の画家たち 開館一周年記念展 岡田美術館

日本画近代化の旗手 日本美術院の画家たち 小林 忠

安田叔彦の古陶磁愛好と絵画制作 小林 優子

国宝 醍醐寺のすべて—密教のほとけと聖教— 醍醐寺文書聖教7万点 国宝指定記念特別展 奈良国立博物館

各論 醍醐寺の文化財—文書と聖教— 永村 眞

各論 醍醐寺の舍利・宝珠信仰 内藤 栄

各論 醍醐寺聖教としての白描図像 谷口 耕生

各論 五重塔壁面の両界曼荼羅諸尊—金胎同等の均斉配置— 原 瑛莉子

正村 美里

増田 孝 釈文監修

//

//

//

//

//

各論 醍醐寺三宝院弥勒菩薩像と仏師伏慶—後白河院追善像としての側面に注目して— 山口 隆介

台北國立故宮博物院 神品至宝 東京国立博物館他

國立故宮博物院の歴史とコレクション 何 傳馨

序章総論 中国皇帝コレクションの淵源—青銅器・玉器と祭礼 川村 佳男

一章総論 中国士大夫の精神—宋・元時代の書画 富田 淳

二章総論 天と人との競合—宋・元・明・清の工芸品 三笠 景子

三章総論 中国伝統文化の再編—清朝皇帝の世界 塚本 鷹充

コラム1 青銅器の銘文 谷 豊信

コラム2 王羲之と太宰府 丸山 猶計

コラム3 孫過庭の草書譜卷 富田 淳

コラム4 唐代から五代・北宋山水への発展 塚本 鷹充

コラム5 蘇軾の行書黃州寒食詩卷 富田 淳

コラム6 徽宗のコレクション 塚本 鷹充

コラム7 洗練された眼差し—南宋宮廷絵画に親しむためのヒント 畑 靖紀

コラム8 趙孟頫と元末四大家—反俗・友人・故郷へのまなざしと筆墨文化 塚本 鷹充

コラム9 北宋絵画の幻影 畑 靖紀

コラム10 皇帝が愛したやきもの—汝窯青磁— 三笠 景子

コラム11 南宋官窯とは—東京国立博物館所藏品との比較にみる //

コラム12 色彩と彫技の豊穡—明代漆芸の魅力— 竹内美奈子

コラム13 染織で表された「絵画」—中国絵画、知られざる伝統	小山弓弦葉	タケミヤからの招待状 アート・アート・スペース	アート・アート・スペース	探幽3兄弟展 狩野探幽・尚信・安信 板橋区立美術館他	
コラム14 粉彩・琺瑯彩	三笠 景子	タケミヤからの招待状を求めて	高城 靖之	探幽3兄弟展の意義と展望	安村 敏信
コラム15 「傲古」とは何か—古代青銅器・玉器がもつ「第二の歴史」	川村 佳男	アヴァンギャルド揺籃 タケミヤ画廊の7年	森山 緑	狩野尚信・安信の伝記と作品	佐々木英理子
コラム16 乾隆帝と永楽・宣徳漆器	川畑 憲子	種村季弘の眼 迷宮の美術家たち		探幽3兄弟の画風形成に関する一考察—父・孝信、師・興以をめぐる諸問題	野田 麻美
コラム17 乾隆帝のコレクション	富田 淳	20世紀検証シリーズ No. 4 板橋区立美術館		茶の湯釜の美 泉屋博古館他	
コラム18 四庫全書	〃	はじめに	柿沼 裕朋	京釜について	大西清右衛門
コラム19 多宝格	川村 佳男	タネムラ流批評 甲虫のいる病院	種村 季弘	室町時代以前の茶の湯釜の歴史—芦屋釜と天明釜—	新郷 英弘
コラム20 翠玉白菜	〃	だまし絵II Bunkamura ザ・ミュージアム他		住友家の茶の湯菟集	廣川 守
コラム21 肉形石	川畑 憲子	北方派未詳の画家作品《風景／顔》についての感想	木島 俊介	春翠と茶の湯	森下 愛子
国立故宮博物院開院の以前と以後	塚本 鷹充	現代のだまし絵? —n 次元的アプローチ	速水 豊	茶の湯釜を科学の眼で観る	
大名茶人松平不味の數寄—「雲州蔵張」の名茶器— 畠山記念館		多摩美術大学博士課程展2014 多摩美術大学美術館		Challenge Art in Japan 2014 韓国人留学生による現代アート展 文化院	韓国 韓国
畠山記念館所蔵の「雲州蔵帳」記載品	水田至摩子	方法の発見	本江 邦夫	「生」	金 利朱
コラム 不味のメッセージ—保存への配慮	〃	§ 作家の言葉 §	イ・ウオンスク	「時を刻む(two, three)」	韓 廷旻
コラム 中興名物とは・箱書にみる遠州追慕	〃	〃	キム・イジュ	「ジンベエザメの記憶II」	宋 奕妹
コラム 不味隠退後の茶会	〃	〃	澤田 将哉	「隠れる場所」	李 リラ
積文		〃	鈴木 元彦	「僕のバニーガール」	金 泰亨
宝塚歌劇100年展 夢、かがやきつづけて 宝塚歌劇100周年記念 松坂屋(名古屋)他		〃	ムーニー・スザンヌ	「eternity face #1 #2」	申 圭恒
column 小磯良平と小出楯重		〃	モク・ジョンフン	「呼吸と鼓動に集中した身体リズムの線」	徐 慧
column 大劇場の建築に見るモダニズム		〃	栗本 高行	「バニラアイスクリーム」	元 保允
竹の美 三館連携「松・竹・梅」展(三館連携展 松・竹・梅 鑑賞の手引) 大和文華館		TARO 賞の作家II 大巻伸嗣 天明屋尚 タムラサトル 藤井健仁 ヤマガミユキヒロ 開館15周年記念展 川崎市岡本太郎美術館		「same or different」	金 振兒
竹のめざめ 栃木竹工芸の精華 栃木県立美術館		§ 作家の言葉 §	タムラサトル	「SEEDS」	金 智園
近代竹工芸の揺籃期—飯塚琅玕齋と栃木	鈴木さとみ	〃	大巻 伸嗣	「Do dream ピンクイルカ」	韓 惠軫
		〃	ヤマガミユキヒロ	「真実も定義もない」	朴 美順
		〃	藤井 健仁	「The origin」	李 炯俊
		〃	天明屋 尚	「出かけたらドアは明けといて」	金 東玉
		丹波今昔物語 兵庫陶芸美術館		中国を旅した禅僧の足跡 旅の中の夢、夢の中の旅。時を歩む禅僧、無夢一清。九州国立博物館	
		丹波焼	長谷川 眞		



墨蹟読解 野口 善敬	「染象牙果菜置物」(安藤緑山作)の観察結果 園田 直子	堤清二・辻井喬＝歴史時代終焉の危機に 中西 夏之
抽象の楽しみ 寺田コレクションより 収蔵品展 No. 049 東京オペラシティアートギャラリー	安藤緑山作「染象牙果菜置物」・「染象牙貝尽くし置物」の蛍光X線分析 日高 真吾	セゾン現代美術館と私 山本 富章
抽象の楽しみ 福士 理	ちよっとパリまで、ず～っとパリで 渡欧日本人画家たちの逸品 住友グループの企業文化力Ⅱ 泉屋博古館分館他	朝 霜崩れる 横尾 忠則
中世密教と〈玉体安穩〉の祈り 神奈川県立金沢文庫	パリへ、そしてパリから—画家たちの洋行と住友コレクション 野地耕一郎	椿会展2014—初心—ラリー 資生堂ギャラリー
遊行寺に伝わる後醍醐天皇像にまつわる史料たち 遠山 元浩	堤清二／辻井喬 オマージュ展(堤清二／辻井喬さんへ) セゾン現代美術館	芸術のうねりと闇からの飛翔 岡部あおみ
チューリヒ美術館展 印象派からシュルレアリスムまで 国立新美術館 他	ひとつの幸運 赤塚 祐二	いくつもの「私」 水沢 勉
チューリヒ芸術協会とチューリヒ美術館 フィリップ・ビュトナー 長屋 光枝 翻訳	堤清二／辻井喬さんのこと 石川 順恵	赤瀬川原平「よく見る」のか、「よく見る」のか 山下 裕二
チューリヒ美術館のコレクションに探る20世紀美術の展開 山田由佳子	無辺の星座を想う 團 紀彦	作家の言葉 島山 直哉
アンリ・ルソー《X氏の肖像(ビエール・ロティ)》をめぐる 廣田 生馬	清廉な覚悟 岡崎乾二郎	「徒然草 美術で楽しむ古典文学」サントリー美術館
重源と東大寺 鎌倉時代の復興を支えた人びと 大阪府立狭山池博物館	§ 無題 § 安田佐智種	響き合い、映じ合う『徒然草』 島内 裕子
各論 東大寺復興の瓦 東影 友美	美術館の美 堤さんの夢 田中信太郎	『徒然草』の絵画化—『なぐさみ草』との関係を中心に— 塩出貴美子
各論 鎌倉時代の復興を支えた宋人石工集団 橋上 猛雄	形成期 吉澤 美香	四季絵としての徒然絵 上野 友愛
国宝 鳥獣戯画と高山寺 修理完成記念 京都国立博物館	堤さんへのオマージュ 篠田 守男	海北友雪「徒然草 絵巻」の魅力 鬼原 俊枝
明恵上人と高山寺の文化財 石塚 晴通	八〇年代、池袋西武百貨店の光 小林 正人	「徒然草」の筆者、海北友雪の画業について 石田 佳也
「鳥獣人物戯画」の保存修理について 鬼原 俊枝	ひとつの回顧から 伊藤 誠	徒然草と兼好法師 神奈川県立金沢文庫
「鳥獣人物戯画」修理時に判明した新発見について 大山 昭子	受け継がれるべき言葉 水上 央子	徒然草と兼好法師 高橋 悠介
超絶技巧! 明治工芸の粋 村田コレクション—挙公開— 三井記念美術館 他	§ 無題 § 磯崎 新	徒然草の奈良絵本・絵巻について 石川 透
明治の工芸に魅せられて 村田 理如	高原を渡る風のように 山本 正道	兼好法師の姿—県立金沢文庫所蔵品を中心に— 向坂 卓也
超絶技巧の逆襲—明治工芸の再評価に向けて— 山下 裕二	辻井喬氏への言葉 中村 一美	ディスカバー、ディスカバー・ジャパン 「遠く」へ行きたい 東京ステーションギャラリー
安藤緑山の牙彫—研究序説として— 小林 祐子	流れる風の中で 前川寿々子	まえがき—ディスカバー、ディスカバー・ジャパン
	鈴あらば 鈴鳴らせ りん凛と 岡田 修二	「どこか遠く」へ行きたい日本人たち—一七〇年代文化的装置としてのディスカバー・ジャパン・キャンペーン 広告— 川勝 麻里
	食の旬から始まりメディアの旬への思い出話 山口 勝弘	
	堤会長追悼 石川 洋	
	懐かしい日々 依田 寿久	
	The Obvious Place 渡邊 野子	
	グリーン・スパイダーマン 篠原有司男	
	辻井喬+堤清二 篠原乃り子	
	堤清二様 依田洋一朗	

D・JとDA	成相 肇	西洋磁器の生産とその伝播	伊藤 京子	東欧の広場 海外都市広場調査21年間の足跡	昭和女子大学光葉博物館
「黒い国鉄」をカラフルに 川原司郎インタビュー	成相 肇 聞き手	コレクターの素顔に迫る—鈴木康裕・登美子夫妻	小林 祐子	東欧の広場形態	芦川 智
D・Jポスターの特徴と変遷	成相 肇	近代日本の輸出陶磁とカップ&ソーサー	山田 博規	東京駅100年の記憶 開業百年記念	東京ステーションギャラリー
Make Your Country 東北	成相 肇	天下の伊達 武将のモードと文化〜大徳寺・高台寺の名宝を中心に〜		東京駅危機一髪	富田 章
作る方も作らせる方も時代を読む 長谷川好男インタビュー	成相 肇 聞き手	開館40周年記念特別展 宇和島市立伊達博物館		東京駅が目撃した建築と都市の一〇〇年をめぐって	松隈 洋
あたりまえの手法を古い世界に 長沢岳夫インタビュー	成相 肇	特筆 武将と寺—文武の舞台—	木村 宗慎	辰野金吾と東京駅丸の内駅舎	大内田史郎
寅さんはディスカバーするか?	成相 肇	点からはじまる墨の世界 あつまれ墨画アーティスト		鉄道建築技術者と東京駅丸の内駅舎の戦災復興工事	若村 耕平
はじめまして! アンアンです	成相 肇	館15周年記念 富山県水墨美術館		使い続ける重要文化財・東京駅丸の内駅舎	田原 幸夫
絵葉書とのたたかい	成相 肇	いのちがざわめく…浅見貴子の「点」	稲田 智子	東京駅丸の内駅舎保存・復原工事を楽しむ	清水 正人
「アルバム」は語る—『カメラ毎日』と旅の写真	成相 肇	天心の思い描いたもの—ぼかしの彼方へ— 岡倉天心没後100年記念展		文学の中の東京駅	坪内 祐三
発見から離れて—白岡順と秋山亮二	成相 肇	茨城県近代美術館		東京駅の視覚的記憶	富田 章
ディスカバー・ジャパンとテレビ	成相 肇	展覧会によせて—「聞」の人、岡倉天心と五浦	市川 政憲	とととと? きおく×キロク=福岡県文化会館建設50周年記念	福岡県立美術館
流通するイメージとメディアの中の風景 今野勉インタビュー	成相 肇 聞き手 松井 編集	天心の思い描いたこと	井野 功一	§ 作家の言葉 §	泉山 朗士
発見された日本 大崎紀夫インタビュー	成相 肇 聞き手	東欧アニメをめぐる旅	ポーランド 神奈川県立近代美術館(葉山)	酒井 咲帆	
自分で考えるドキュメンタリーを 北井一夫インタビュー	成相 肇	ポーランド・アニメーションの歴史	アンナ・ゴドレフスカ、ミェチスワフ・クズミツキ 編	菱川 辰也	
すべてが白日夢のように—中平卓馬、エンツェンスベルガー、今野勉	成相 肇	吉田 和泉、久堀 由衣 翻訳		今岡 昌子	
鉄道がきた! —舟運・海運・馬車道・鉄道— 大阪〜神戸鉄道開通140年記念特別展 阪神・淡路大震災20年展 兵庫県立考古博物館	成相 肇	カレル・ゼマンと映画音楽	ジャン・ガスパール・パーレニー チェク 高松・パーレニー チェク 美織 翻訳	寺江圭一朗	
ピックアップ4 汽車茶瓶雑感	岡田 章一	チェコのアニメーション映画	ミハエラ・メルトヴァー 宮崎 淳史 翻訳	森田加奈子	
デミタス コスモス 宝石のきらめき☆カップ&ソーサー 岐阜県現代陶芸美術館他	立花 昭	かわいい・こわい? / クロアチアのアニメーション	越村 勲	都美セレクション 新鋭美術家 2014 東京都美術館	
デミタスの登場と展開について	立花 昭			「都美セレクション 新鋭美術家 2014」展について	真室 佳武
				身近な世界へのまなざし—出品作品紹介	大橋菜都子
				都美セレクショングループ展 3回 東京都美術館	
				「第3回都美セレクショングループ展」をふりかえって	大谷 省吾
				「第3回都美セレクショングループ展」に思う	大橋 修一



平成26年美術展覧会図録所載文献(企ナ、ハ行)

§作家の言葉§	富田 大裕	日本国宝展—「祈り、信じる力」の造形	伊藤 信二	コラム5 京のやきもの美—木器・土肌・光の形	〃
ニイガタ・クリエーションは可能か?	荒井 直美	国宝元興寺五重小塔と元興寺極楽坊近世中興の住持尊寛春賢和上のこと	高橋 平明	ねこ・猫・ネコ リニューアル記念特別展 渋谷区立松濤美術館	
日中韓 棟梁の技と心 竹中大工道具館開館30周年記念巡回展 Gallery A'他		日本の仮面 能面 創作と写し 東京国立博物館	東	漱石先生、猫見る会ぞなもし	田中 貴子
日本の建築技術と意匠—中国・韓国との比較から—	藤井 恵介	裏まで写す—1	川岸 瀬里	中国絵画の中の猫	味岡 義人
官式古建築营造技法—北京故宫大木作を中心に—	李 永革、 王 儼穎、 李 暉 翻訳	裏まで写す—2	〃	「見立女三宮図」について	平塚 泰三
中国伝統大工道具の種類と特徴	李 手瀆、 李 暉 翻訳	面打特定の手がかり 焼印、知らせ 鈿	〃	猫の話あれこれ	味岡 義人
韓国の宮殿建築と大木匠—千年の宮殿を建てるためには千年の木が必要—	中鷹 秀 金 銀眞、 崔 ゴウン 翻訳	日本ファッション：不連続の連続 FUTURE BEAUTY 京都国立近代美術館		ノスタルジー&ファンタジー 現代美術の想像力とその源泉 国立国際美術館	現代 国立国際美術館
朝鮮王朝における大木匠の歴史	金 東旭、 金 銀眞、 崔 ゴウン 翻訳	不連続の連続：日本ファッションの細胞	深井 晃子	世界の片隅で現代美術が見る夢	安来 正博
韓国の伝統建築道具	李 王基、 金 柄鎮、 崔 ゴウン 翻訳	人間国宝展 生み出された美、伝えゆくわざ 日本伝統工芸展60回記念 東京国立博物館		§作家の言葉§	北辻 良央
江戸時代の大工と大工道具	西 和夫	「人間国宝展」への祈り	小山弓弦葉	〃	柄澤 齊
日本絵画の魅惑 日本的美・発見 IX 出光美術館		コラムA 刀剣研磨	酒井 元樹	〃	山本 桂輔
魅せられて、惑わされて…私的日本人絵画鑑賞法	黒田 泰三	コラムB 和紙	高橋 裕次	〃	小西 紀行
ニホンガ研究会 日本画〔ニホンガ〕っておもしろい! 長野県信濃美術館		コラムC 重要無形文化財制度について	近藤都代子	〃	橋爪 彩
「ニホンガ」に興味を持っていただくための随筆、数編。	渡辺 美保	日本の工芸文化 日本工芸会の役割とこれから	室瀬 和美	〃	小橋 陽介
コラム 盛りだくさんの画面構成	〃	仁清・乾山と京の工芸—風雅のうつわ 出光美術館		〃	須藤由希子
コラム 画面の構図	〃	仁清・乾山の京焼と「蒔絵」の力—「象徴[シンボル]から「媒体[メディア]」へ	柏木 麻里	〃	棚田 康司
コラム 灯による見え方	〃	コラム1 仁清の白軸—眠れるやきもの美	〃	〃	横尾 忠則
日本近代洋画への道 山岡コレクションと高橋由一の名品を中心に 栃木県立美術館他		コラム2 仁清色絵と蒔絵・屏風絵	〃	〃	淀川テクニク
日本近代洋画への道の歩き方	杉村 浩哉	コラム3 十二か月の花を詠む—京焼と清朝官窯の共時性	〃	のぞいてびっくり江戸絵画 科学の眼、視覚のふしぎ サントリー美術館	
日本国宝展 東京国立博物館		コラム4 遊びの時を待つ、うつわ—乾山焼の懐石具	〃	江戸人たちの驚きの世界	田中 優子
				江戸の視覚革命再考：井上政重と海禁以降の視覚文化交流	タイモン・スクリーチ
				「江戸の科学力」—その政治的・社会的基盤—	大石 学
				〈遊び心〉の江戸美術—(科学の眼)が生んだ見世物興行—	池田 美美
				(ハ行)	
				Perspective-MEXICO 正木 基	Plaza Gallery & sagio
				Perspective-MEXICO 展—造ることの立脚点から	正木 基

幕末動乱—開国から攘夷へ— 四館  
共同企画 土浦市立博物館他

新選組伝説の創造  
—土方歳三肖像写真を繞って— 藤井 和夫

箸墓以降—邪馬台国連合から初期ヤマト政権へ— 大阪府立近つ飛鳥博物館

もっと知りたい！  
特殊器台・特殊器台形埴輪 市村慎太郎

もっと知りたい！  
円筒埴輪・楕円筒埴輪・鱗付円筒埴輪 永山はるか

もっと知りたい！  
前期古墳の副葬品～鏡 鈴 千夏

もっと知りたい！  
前期古墳の土製品 飯田 浩光

コラム 河内出土の特殊器台・特殊器台形埴輪 廣瀬 時習

特殊壺と二重口縁壺、壺形埴輪 市村慎太郎

はちコレ 八幡のコレクション—松花堂美術館の収蔵品から— 八幡市立松花堂美術館

八幡市立松花堂美術館の成り立ちと収蔵品 川畑 薫

風俗画の展開にみる「東山遊楽図屏風」 並木 晴香

松花堂昭乗の好み物 杉 志努布

釈文 川畑 薫  
翻刻・編集

播磨と本願寺—親鸞・蓮如と念仏の世界— 兵庫県立歴史博物館

浄土真宗の木仏本尊の授与について 神戸 佳文

東アジアの華 陶磁名品展 2014  
年日中韓国立博物館合同企画 東京国立博物館

日本の陶磁史概説 横山 梓

古代中国陶磁の流れ—出品作品を中心に— 蘇 生文

韓国陶磁略史 具 一會

コラム1 日本陶磁—中国、朝鮮半島からの「影響」を考える— 横山 梓

コラム2 白磁完成への道のり 三笠 景子

東山御物の美—足利將軍家の至宝—

三井記念美術館

東山御物の美—中国絵画を中心に— 板倉 聖哲

東山御物における「六祖破経図」と「六祖截竹図」—コレクション研究の視点から— 樋口 一貴

足利將軍家の調度と茶具 赤沼 多佳

『君台観左右帳記』に見る唐物漆器の受容 小池 富雄

応仁・文明の乱前後の將軍家御物と同朋衆 藤原 重雄

『室町殿行幸御飴記』翻刻 玉川 潤子  
翻刻

光の時代 レイヨグラフを中心としたマン・レイと三條廣道辺り 石原輝雄・純子コレクション ギャラリー16

マン・レイ 未発表テキスト

レイヨグラフと三條廣道辺り 石原 輝雄

彦根藩士の甲冑—赤備えの家臣団— 彦根城博物館

彦根藩士の甲冑—赤備えの家臣団— 古幡 昇子

美術と印刷物 1960—70年代を中心に コレクションを中心とした小企画 東京国立近代美術館

「美術と印刷物」記録集の刊行にあたって 鈴木 勝雄

美術と印刷物 1960—70年代を中心に //

日本における「概念芸術」の系譜 1964—1974年 鈴木 勝雄、遠藤みゆき 編

美術の冒険 国立国際美術館コレクション 新潟県立万代島美術館他

美術の冒険とともにあるのは… 山梨 俊夫

関西の現代アートに対する雑感—郭徳俊、榎忠、森村泰昌を中心に— 高 晟埭

「私」の感覚にはじまる 永松 左知

美術は友だち ミュージアム大コレクション展2014 香川県立ミュージアム

香川美術事情とコレクション 窪美西嘉子

人ノ性、酒ヲ嗜ム 神を招き、人を結ぶ 滋賀県立安土城考古博物館

コラム「酒の文化史」2 あの世界でも楽しく酒を飲みたい 山下 立

ひな人形の世界 徳島市立徳島城博物館

岡本玉水の雛人形 小川 裕久

大伏真淵の雛図とその画業 //

新に寄贈された守住貫魚筆《源氏物語図》について //

非日常からの呼び声 平野啓一郎が選ぶ西洋美術の名品 国立西洋美術館

非日常からの呼び声 平野啓一郎

微の美術 日本・中国の小ささと緻密さの造形 和泉市久保惣記念美術館

特別展「微の美術」日本と中国の小さなものへの趣向 橋詰 文之

兵庫の陶磁 多彩な窯場、その成立と発展を探る 阪神・淡路大震災20周年展 兵庫陶芸美術館

ひょうごの京焼系産地—考古学的成果を中心に— 長谷川 眞

ファッション史の愉しみ—石山彰ブック・コレクションより— 神戸ファッション美術館他

ファッション史に生きる 能澤 慧子

デザインから西洋服飾史へ 深井 晃子

資料としてのファッション・プレート：版面の文字を読む 徳井 淑子

ファッション史の愉しみ—石山彰ブック・コレクションより—(「ファッション史の愉しみ」読本) 世田谷美術館

未発表草稿より 服飾美学	石山 彰 野田 尚稔 解題	総説 福岡の神仏 の世界—九州北部 に華開いた信仰と 造形—	井形 進	コレクションを組 み替えよ—英国の 美術館における近 年の試み	高木 友絵
ファッション・プ レートとファッシ ョン・ブックの歴 史	能沢 慧子	福岡の初期寺院の 造形遺品	杉原 敏之	ブラティスラヴァ世界絵本原画展 絵本をめぐる世界の旅	平塚市美術 館他
モード・音楽・サ ロン—音楽からみ た一九世紀パリ・ サロン	浦久 俊彦	木彫象と X 線 CT 仏像の修理につい て	加藤 和歳 小林 貴代	第24回 BIB 我々 のアイデンティテ ィの今日	ズザナ・ヤ ロソヴァー 安藤さおり 訳
建築と衣服—装飾 をめぐるアンビヴ ァレンス	小澤 京子	福岡県の文化財指 定—彫刻について	國生 知子	第24回 BIB と日本 巡回展の意義	広松由希子
一九世紀の版画と ファッション・プ レート	和南城愛理	富士山—その景観と信仰・芸術— 國學院大學博物館			
ファッション史の 展示に不可欠なマ ネキンを創るとい うこと—経緯と現 状	浜田久仁雄	富士山とかぐや姫 —「かぐや姫の罪 と罰」を通して—	三橋 健	「大洪水」	エヴェリー ネ・ラオベ、 ニーナ・ヴ ェアーレ 山根 佳奈 翻訳・編集
『服飾史のスタイ ルブック』を巡っ て	野田 尚稔	工芸品に見る富士 山意匠	内川 隆志	「雲みたいなの九官 鳥」	ユ・ロン 山根 佳奈 翻訳・編集
福岡アジア美術トリエンナーレ2014 5回 未来世界のパノラマ—ほころ ぶ時代のなかへ 福岡アジア美術館 ／他周辺地域		我々には不二之山 がある	井賀 孝	「きこえる？」	はいじまの ぶひこ
FT 5 の新しい試 み—地域主義×メ ディア発信=?	黒田 雷児	復古やまと絵 新たななる王朝美の世界 —訥言・一蕙・為恭・清— 徳 川美術館		「しろねこくろね こ」	きくちちき
FT 5 テーマ「未来 世界のパノラマ— ほころぶ時代のな かへ」について	中尾 智路	田中訥言と復古や まと絵	吉川 美穂	「ぞうのおじさん と100つぶのしず く」	ノ・インギ ョン 山根 佳奈 翻訳・編集
モンゴル画の新時 代	山本 裕子	浮田一蕙の生涯と 画業	薄田 大輔	「読書 本への賛 美と読書の喜びの 称賛」	イルマ・バ スティダ= エレラ 山根 佳奈 翻訳・編集
「モンゴル画の新 時代」開催にあた って	ツルテミン ・ナルマン ダハ	冷泉為恭墨絵試論	〃	「グリム童話の旅 さがし絵」	ステラ・ド ライス 山根 佳奈 翻訳・編集
2000年以降の伝統 的なモンゴル画に みる変化	バドバヤリ ン・ツェツ ェグバダム	渡辺清の画業と作 品	吉川 美穂	「もうおねむり、 ちいさなラクダ」 「ライオンがいつ ばい！」	レナーテ・ ハビンガー 山根 佳奈 翻訳・編集
数歩前へ—FT 6 に向けて	黒田 雷児	プライベート・ユートピア ここだ けの場所	高嶋雄一郎	「13歳」「西瓜糖 の日々」	ダニエラ・ オレイニー コヴァー 山根 佳奈 翻訳・編集
福岡市美術展48回 福岡市美術館		スカulptチャー 様々な枠を超えて —1990年以降の英 国の作品から	柚花 文	「ハーメルン」	アンヘラ・ カブレラ 山根 佳奈 翻訳・編集
選評	工藤 啓子 阿部 直昭 世良 伸幸 白水 英章 野田 正行 百瀬 俊哉 かねこしん ぞう	最近の英国の映像 表現—「ターナー 賞」受賞者を中心 に	奥野 克仁	「お月さまが目を さましたから」	イライア・ オキナ 山根 佳奈 翻訳・編集
福岡の神仏の世界—九州北部に華開 いた信仰と造形— 九州歴史資料館		「差異」と「諷刺」— 英国美術における 「ブラック・ユー モア」をめぐる	藤巻 和恵		

「麒麟のジェリーと巨大なバタークッキー」	マリア・ロス・アンヘレス=バルガス 山根 佳奈 翻訳・編集	「大そうな一般概念をもつ男」	カミーユ・ペロシエ 山根 佳奈 翻訳・編集	「アルフレッド・H・サリバンのゾウノート」	ロサナ・メサニスムデイオ 山根 佳奈 翻訳・編集
「見えないおはなし」	ウェン・シユウ=チェン 山根 佳奈 翻訳・編集	「摩天楼」	アルベルテイース 山根 佳奈 翻訳・編集	「ゼソツラ」	リチャルド・セラ 山根 佳奈 翻訳・編集
「金にまさる塩」	ペテル・ウフナル 山根 佳奈 翻訳・編集	「赤いバスケットシューズ」	トピラス・クレイチ 山根 佳奈 翻訳・編集	第24回 BIB 国際シンポジウムについて グローバリゼーションにおけるアイデンティティと、アイデンティティにおけるグローバリゼーション	ヴィエラ・アノキシノヴァー 山田志麻子 訳
子ども審査員賞	七海子 談	「いたずらカラスのハンス」	ヨナス・ラウシュトレア 山根 佳奈 翻訳・編集	文化庁メディア芸術祭受賞作品展 17回(平成25年度[第17回]文化庁メディア芸術祭 受賞作品集) 国立新美術館/シネマート六本木/東京ミッドタウン/スーパー・デラックス	
「新世界へ」	あべ 弘士	「擬態の達人—サバイバル上手な生きものたち」	アンニカ・ジームス 山根 佳奈 翻訳・編集	総評	建島 哲 古川 タク
「馬の草子」	井上 洋介	「クマみたいに強く」	カトリン・シュタンゲル 山根 佳奈 翻訳・編集	審査講評:アート部門 よりアクチュアルに展開するメディアアート	植松 由佳
「まんげつのこどもたち」	怪部 武宏	「おうちとおにわから」	ヨッヘン・シュトゥワーアマン 山根 佳奈 翻訳・編集	審査講評:アート部門 愛の記憶をつなぎ、抵抗の歌を共に	岡部あおみ
「あかにんじゃ」	木内 達朗	「風物語—妖精や森の生きものの神話と伝説」	エヴァ・ヴォルフ 山根 佳奈 翻訳・編集	審査講評:アート部門 「現在」芸術としてのメディア芸術	後々田寿徳
「ぼくのこえがきこえますか」	田島 征三	「四つの器」	ズデンコ・バンチ 山根 佳奈 翻訳・編集	審査講評:アート部門 意識の最深部に突き刺さる芸術への探求	高谷 史郎
「よるのむこう」	nakaban	「カフカと旅する人形」	イヴォナ・フミエレフスカ 山根 佳奈 翻訳・編集	審査講評:アート部門 テクノロジーから視た人間世界	三輪 眞弘
「マルマくん かえるになる」	広瀬ひかり	「アウグスト・タムの日記」	ギタ・トレイス 山根 佳奈 翻訳・編集	鼎談:アート部門 覚醒をうながすメディアアート	岡部あおみ 三輪 眞弘 松井 茂
「おうさまのおひっこし」	牡丹 靖佳	「命のしずく」	ウルマス・ヴィーク 山根 佳奈 翻訳・編集	審査講評:エンターテイメント部門 物飛び交う供宴、物と者と喪の	飯田 和敏
「たがいに見つめる」	イ・ユジョン 山根 佳奈 翻訳・編集	「アステカ帝国征服を助けた王女 マリンチェの物語」	ニコライ・ティーツネン 山根 佳奈 翻訳・編集	審査講評:エンターテイメント部門 表現素材と表現手法の再認識	岩谷 徹
「戦争と平和のお話 ホダーイーさんのおんどりとヘイリーエさんのおんどり」	モハンマド=アリー・バニーアサディ 山根 佳奈 翻訳・編集		パブロ・セラーノ 山根 佳奈 翻訳・編集	審査講評:エンターテイメント部門 「秩序とノイズ」の対立する概念	宇川 直宏
「馬みたいで二本足の自転車」	アティーエ・ボゾルク=ソフラービー 山根 佳奈 翻訳・編集				
「ピージャンとマニージェの結婚」	マルジャーアン・ヴァフアーイヤーン 山根 佳奈 翻訳・編集				
「途方もなくささやかなもの」	ベアトリーチェ・アレマーニヤ 山根 佳奈 翻訳・編集				
「エグベリアーバスクのクリスマス風習と物語」	エレナ・オドリオンラ 山根 佳奈 翻訳・編集				

審査講評：エンターテイメント部門 メディア芸術祭だからこそこできること	久保田晃弘	法隆寺一祈りとかたち 東日本大震災復興祈念・新潟県中越地震復興10年 仙台市博物館他		(マ行)	松一美と徳の造形— 三館連携「松・竹・梅」展(三館連携展 松・竹・梅 鑑賞の手引) 黒川古文化研究所
審査講評：エンターテイメント部門 祭りと手芸	中村 勇吾	法隆寺の美術と聖徳太子信仰	水野敬三郎		松山城下図屏風の世界 愛媛県歴史文化博物館
対談：エンターテイメント部門 遊び心が感じられるメディア芸術を探して	岩谷 徹 久保田晃弘	法隆寺と東京美術学校—二つの「上宮太子祭典」を中心に	芹生 春菜		絵図にみる松山城下の変遷 井上 淳
審査講評：アニメーション部門 予測不可能な方向への新たな可能性	大井 文雄	コラム1 岡倉天心の『奈良古社寺調査手録』	薩摩 雅登		松山城下図屏風の景観年代 ”
審査講評：アニメーション部門 審査を終えて思ういくつかのこと	小出 忠重	コラム2 鈴木空如のこと	細川 良隆		松山城下図屏風にみる松山城 ”
審査講評：アニメーション部門 日本のエンターテイメント作品の白秋挑戦に	森本 晃司	法隆寺展 聖徳太子と平和への祈り 福岡市美術館他			松山城下図屏風にみる城下町松山 ”
審査講評：アニメーション部門 アニメーションの自由さ	和田 敏克	法隆寺と聖徳太子	東野 治之		都市図としての松山城下図屏風 ”
対談：アニメーション部門 多様なアニメーション作品を体験できるメディア芸術祭	森本 晃司 和田 敏克	法隆寺と聖徳太子信仰の美術	湯山 賢一		中学生まるびいアートスクール 2013年度 魔法の home(魔法の home 中学生まるびいアートスクール「考え方を考える」) 金沢21世紀美術館
審査講評：マンガ部門 マンガの表現の多様化とともに	伊藤 剛	ポーランドのポスター フェイスあるいはマスク 武蔵野美術大学美術館・図書館(美術館)			グレイト・グッド・ブレイス! 黒澤 浩美
審査講評：マンガ部門 独立した表現であるということ	斎藤 宣彦	ポーランドのポスター フェイスあるいはマスク	今井 良朗		スペシャル対談「こたつでつがく」 椿 昇、 シロくま先生、 廣瀬 純 ヘメンディンガー綾 文章
審査講評：マンガ部門 ジャンルと表現の枠を超えるマンガの裾野	すがやみつる	20世紀のポーランドのポスター	ズジスワフ・シュベルト ジョンデク なぎさ 訳		ホームポジション 椿 昇
審査講評：マンガ部門 変化の潮流の中に垣間見えるマンガのパワー	みなもと太朗	ワルシャワ国際ポスター・ビエンナーレ	マリア・クルピク 平岩 理恵 訳		I never read, シロくま先生
審査講評：マンガ部門 私たちの日常に、これからの作品があつてよかった	ヤマダトモコ	ボヘミアン・グラス 耀きの静と動 ブラハ国立美術工芸博物館所蔵 サントリー美術館他			円山応挙の門人たち 黒川古文化研究所
鼎談：マンガ部門 次世代の作家、来るべきマンガへ向けて	斎藤 宣彦 すがやみつる みなもと太朗	中世から19世紀末の歴史主義様式期までのボヘミア、モラヴィア、シレジアにおけるガラス製造の発展	ヤン・シェトナー		1 総説 円山応挙の門人について 杉本 欣久
		20-21世紀のガラス	ミラン・フラヴェシュ		未知なる世界への憧れと挑戦～大航海時代から伊能忠敬、ペリーまで～ 守屋壽コレクションの粋【すい】 愛託記念 広島県立歴史博物館
		盆山一屏風に息づく中世の盆栽 いたま市大宮盆栽美術館			コレクションの概要
		論考一 盆山とは何か—その名称と姿とかたち	田口 文哉		見つめてシェイクスピア! 美しき装丁本と絵で見る愛の世界 練馬区立美術館他
		論考二 盆栽図屏風の時代	黒田 泰三		絵画になったシェイクスピア 河村錠一郎
		論考三 室町時代の盆山と山水河原者	飛田 範夫		



描かれたハムレット—ドラクロワからマネへ 小野 寛子

南信州の煙火—火の芸術に魅せられた男たち—(南信州の煙火—火の芸術に魅せられた男たち—(「綿五」原家コレクションを中心として)) 飯田市美術博物館

解説・参考資料 南信州の煙火—その歴史と特徴— 櫻井 弘人

南山城の古寺巡礼 京都国立博物館

南山城の古寺巡礼 富川 禎一

コラム1 内藤湖南と秦テルヲの南山城・瓶原 呉 孟晋

コラム2 廃寺・灯明寺と三溪園 大原 嘉豊

コラム3 南山城の古寺伝来の文化財調査 富川 禎一

南山城古仏巡礼 浅湫 毅

流転の仏画—南山城地域伝存仏画から見える歴史の断片— 大原 嘉豊

御法に守られし醍醐寺 リニューアル記念特別展 滋谷区立松崎美術館

御法に守られし醍醐寺展に寄せて—「醍醐寺のあゆみ」— 仲田 順和

醍醐寺本「過去現在絵因果経」について 平塚 泰三

三原の仏像展 瀬戸内海の十字路口 三原リージョンプラザ

沼田川流域の歴史と仏像 濱田 恒志

ミラノ ボルディ・ベッツォーリ美術館所蔵 華麗なる貴族コレクション Bunkamura ザ・ミュージアム他

ジャン・ジャコモ・ボルディ・ベッツォーリ—あるコレクターの生涯、過去と未来の間— アンナリーザ・ザンニ松原 知生訳

ラファエッロの修業時代—再考— 小佐野重利

武器甲冑は何を語るか 京谷 啓徳

ジョルジョーネからティツィアーノへ—ボルディ・ベッツォーリ美術館における近年の発見について— ラヴィニア・M・ガッリ・ミケーロ

「見ること・描くこと」—油画技法材料研究室とその周辺の作家たち 佐藤一郎退任記念展関連特別企画 東京藝術大学大学美術館／東京藝術大学大学美術館陳列館／東京藝術大学学生会館

佐藤一郎退任展関連企画の展覧会「見ること・描くこと」—油画技法材料研究室とその周辺の作家たち— を開催するにあたって 佐藤 一郎

魅惑のコスチューム：パレエ・リュス展 現代の芸術・ファッションの源泉 ピカソ、マティスを魅了した伝説のロシア・パレエ 国立新美術館

パレエ・リュスの衣装という遺産 ロバート・ベル太田 聡 翻訳

見果てぬ夢：パレエ・リュスを想う ロバート・ベル西野 華子 翻訳

スペクタクルとしての公演：パレエ・リュス—歴史、古典主義的伝統— ヘレナ・ハモンド太田 聡 翻訳

モダン・アート、モダン・パレエ クリスティーン・ディクソン西野 華子 翻訳

日本におけるパレエ・リュスの受容—1910—1920年代を中心に— 本橋 弥生

看過された事実：タグ、スタンプ、汚れ デビー・ウオード出羽 尚 翻訳

珉平焼と蜂須賀家 徳島市立徳島城博物館

珉平焼と御用窯について 東條 英機

珉平焼と蜂須賀家のかかわり 小川 裕久

武者塚古墳とその時代 重要文化財指定記念 上高津貝塚ふるさと歴史の広場

武者塚古墳出土品の語るもの 横須賀倫達

武者塚古墳出土の遺体の埋葬仕様と経緯について 澤田むつ代

武者塚古墳出土の銀帯状金具と宝珠形中心飾の源流 三田 覚之

宗像大社国宝展 神の島・沖ノ島と大社の神宝 出光美術館

「敬神愛人」の人・出光佐三と宗像大社 八波 浩一

コラム 古代から今に息づく律令祭祀—沖ノ島奉獻品と伊勢内宮神宝— 福嶋真貴子

コラム 宗像大社の南宋交易 河窪奈津子

コラム 三十六歌仙凶扁額 黒田 泰三

名画を切り、名器を継ぐ 美術にみる愛蔵のかたち 根津美術館

書画の切断と再生 松原 茂

道具への愛着—工芸にみる作品の修理と復元、改造— 多比羅菜美子

メイド・イン・ジャパン 南部鉄器 伝統から現代まで、400年の歴史 バナソニック汐留ミュージアム

「南部鉄器」について—盛岡を中心に— 佐々木繁美

メタルズ！ 変容する金属の美 高岡市美術館他

「メタルズ！—変容する金属の美—」に寄せて 村上 隆

新潟県の蠟型鑄金 鉄の歴史 横山 秀樹 松井 和幸

ブロンズによる人の姿 土生 和彦

林忠正と《十二の鷹》 山本 成子

メトロポリタン美術館古代エジプト展 女王と女神 東京都美術館他

「ジュセル・ジュセルウ」と呼ばれるハトシェプスト女王葬祭殿 キャサリン・H・レーリ

平成26年美術展覧会図録所載文献(企マ、ヤ行)

マルカタ王宮址、アメンヘテプ3世の王宮都市	キャサリン・H・レーリ	コラム 近世の磯関経塚	山形県高島町の新たな魅力 石とともに生きる 伝統の石切技術と「持続的資源利用」の景観	北野 博司 長田 城治
王族の装身具	ダイアナ・クレイグ・パッチ	コラム 城下図に描かれた窯場のけむり	山の神仏 吉野・熊野・高野 「紀伊山地の霊場と参拝道」世界遺産登録10周年記念 大阪市立美術館	
トトメス3世の三人の外国人の妻の墓	〃	(ヤ行)	神仏のすがたを求めて 齋藤 龍一	
化粧道具	ジャンヌ・キヤムリン	柳澤吉保とその時代—柳沢文庫伝来の品々を中心に— 没後300年記念 川越市立博物館/川越市立美術館	指輪 神々の時代から現代まで—時を超える輝き 橋本コレクション 国立西洋美術館	
カノボス容器	イザベル・シュトゥンケル	画中の天—泰平の世を映す 榊原 悟		
真岡発：瑛九と前衛画家たち展—久保貞次郎と宇佐美コレクションを中心に 栃木県立美術館		積文		
久保貞次郎と美術の出会い—三上英生、瑛九を中心として	小勝 禮子	ヤマト王権と葛城氏 考古学からみた古代氏族の盛衰 開館20周年記念特別展 大阪府立近つ飛鳥博物館	橋本コレクションの魅力	ダイアナ・スカリスブリック 西川しずか 翻訳
アバングール序章	加藤 正	もっと知りたい 「場」からみた形象 埴輪 飯田 浩光	1 指輪の400年 中田明日佳	
文字のチカラ 古代東海の文字世界 名古屋博物館		もっと知りたい 陶質土器と船形土器 森本 徹	アール・デコの果実と花々 陳岡めぐみ	
コラム 羊形硯 木澤 尚久		もっと知りたい 家形埴輪と叙形埴輪 廣瀬 時習	イエスの名を記した指輪 中田明日佳	
コラム 陀羅尼とは何か 柴田 憲良		大和の仏たち—奈良博写真技師の眼— 仏像写真展 奈良国立博物館	チャールズ1世の処刑と美術 川瀬 佑介	
百万塔に記された文字 丸山裕美子		文化財を撮る—写真真が語り継ぐもの— 佐々木香輔	18世紀から20世紀前半までのファッション史 熊澤 慧子	
MOT アニュアル2014 フラグメント—未完のはじまり 東京都現代美術館		博物館と文化財写真—奈良国立博物館における蓄積と公開のあゆみ— 宮崎 幹子	夢見るフランス絵画 印象派からエコール・ド・パリへ 兵庫県立美術館他	印象派からエ
フラグメント—未	森 千花	ヤマノカタチノモノガタリ—地域文化遺産の保存と伝承— 東北芸術工科大学文化財保存修復研究センター 研究成果展 山形県郷土館	フランス絵画の黄金時代：印象派からエコール・ド・パリへ 千足 伸行	
§ 作家の言葉 §	高田安規子 高田 政子	糸と紙の再考 大山 龍顕	コラム ジヴェルニーのモネの庭 宮澤 政男	
〃	宮永 亮	蚕と絹と神様と 森田 早織	コラム ルノワールのミュージズたち 小野 尚子	
〃	青田 真也	小さな祈りの交差点 大山 龍顕	コラム 福島繁太郎の『エコール・ド・パリ』にみる素顔のルオーとドラン	西田 桐子
独白	福田 尚代	歴史のはざまに 高橋源吉と山形 大場詩野子	コラム ドランと 舞踏 中村 聖司	
§ 作家の言葉 §	吉田 夏奈	仏師の系譜 岡田 靖	コラム ヴァラドンとユトリロ 松宮 秀治	
〃	林 泰彦	隠された湯殿信仰と御沢仏にみる復興 〃	コラム シャガールの夢とサーカス 藤原 啓	
〃	中野 裕介	文化遺産に影響を与える環境要因と予防保存 米村 祥英	洋画家たちの青春 白馬会から光風会へ 光風会100回展記念 東京ステーションギャラリー他	
もののふの美と心〜八代城主・松井家の刀剣と刀装具〜 八代市立博物館 未来の森ミュージアム				
総論「松井家の歴史と刀剣」 石原 浩				
もりおか発掘物語 盛岡市遺跡の学び館開館10周年特別展 盛岡市遺跡の学び館				

光風会の歴史と伝 統―寺坂公雄氏に 聞く	富田 章 聞き手
洋画家たちの青春 ―光風会をめぐる 日本近代洋画史の 一断面	富田 章
<b>栄西と建仁寺 開山・栄西禅師800 年遠忌</b> 東京国立博物館	
総論 栄西と建仁 寺の品々	田沢 裕賀
海北友松の伝記と 作風―建仁寺の友 松筆障壁面の位置 づけ	〃
建仁寺ゆかりの宝 物―工芸品	齊藤 孝正
コラム 蘭溪道隆 坐像蔵内納入の頭 部残欠	浅見 龍介
コラム 正伝院に 伝来した二つの肖 像画をめぐる	田沢 裕賀
コラム 正伝院障 壁面(狩野山楽筆) を復元する	山下 善也
コラム 六道珍皇 寺の小野篁・冥官 ・獄卒立像	浅見 龍介
<b>横芝光町の絵馬 祈りの絵画</b> 横芝 光町 町民ギャラリー	
解説1 絵馬の歴 史	道澤 明
解説2 横芝光町 の絵馬の概要	〃
<b>甕の鉄剣</b> 埼玉県立歴史と民俗の博 物館	
飾り大刀の世界― 象嵌装大刀を中心 に―	瀧瀬 芳之
(ラ行)	
<b>「楽園としての芸術」展</b> 東京都美術 館	
楽園としての芸術 ―アトリエ・エレ マン・プレザンと しょうぶ学園―	中原 淳行
<b>歴史にみる震災</b> 国立歴史民俗博物 館	
コラム7 中島待 乳アルバムの明治 三陸津波写真	沼田 清

コラム8 いち早 く明治三陸津波を 撮った末崎仁平	〃
コラム17 東日本 大震災における歴 史資料保全活動に ついて	蝦名 裕一
コラム18 地域の 生活文化を救う― 国立歴史民俗博物 館の活動から―	葉山 茂 川村 清志
コラム22 宮城前 避難群衆パノラマ 写真の解明と復元	沼田 清
コラム28 山本権 兵衛内閣親任式	土田 宏成
コラム33 徳永柳 洲の震災画	高野 宏康
<b>ロイヤル・アカデミー展</b> 石川県立 美術館他	
ロイヤル・アカデ ミー・オブ・アー ツ1768-1918	マリアン・ ステイヴ ンズ 堀川 麗子 翻訳
ロイヤル・アカデミ ー・スクール1768 -1918	ヘレン・ヴ アレンタイ ン、 アネット・ ウィッカム 平谷美華子 翻訳
世界に開くアカデ ミーの窓―1768- 1918のロイヤル・ アカデミーのライ ブラリー	ニコラス・ サヴィッジ 小川 かい 翻訳
ロイヤル・アカデ ミーの多層性	河村錠一郎
<b>六甲ミーツ・アート芸術散歩2014</b> 六甲ガーデンテラス/自然体感展望 台六甲枝垂れ/六甲カンツリーハウ ス/六甲高山植物園/六甲オルゴール ミュージアム/六甲山ホテル/六 甲ケーブル/六甲山天覧台/六甲有 馬ロープウェー六甲山頂駅	
インタビュー Nadegata Instant Party	中崎 透 山城 大督 野田 智子
六甲ミーツ・アー ト芸術散歩2014 公募大賞&特別賞 「公募大賞」審査報 告	森 司 談

(ワ行)	
<b>早稲田のなかの韓国美術</b> 早稲田大 学會津八一記念博物館	
コラム 池部政次 コレクションの金 応元「蘭石図」につ いて	糸永はづき 金 志虎
コラム 朝鮮半島 における墓誌銘文 化と李潤亀墓誌銘	植田喜兵成 智
コラム 服部コレ クションの木造如 來坐像について	萬納 恵介 金 志虎
<b>倭の五王と出雲の豪族</b> ヤマト王権 を支えた出雲の豪族たち 島根県立 古代出雲歴史博物館	
特別寄稿 埴輪か らみた日本海沿岸 の地域間関係	東方 仁史
コラム 出雲にお ける中期の円筒埴 輪	田中 大
コラム 石屋古墳 出土埴輪の復元	椿 真治
特別寄稿 人物埴 輪の登場と大和政 権	高橋 克壽
コラム 倭国の武 装	仁木 聡
コラム 平所埴輪 窯跡の発見と課題	松本 岩雄
コラム 須恵器生 産の導入と展開	丹羽野 裕
コラム 出雲の玉 作―意宇で確立し た出雲ブランド―	〃
<b>ワンダフルワールド</b> こどものワク ワク、いっしょにたのしもう ・はなす そして発見!の美術展 東京都現代美術館	
ワンダフルワ ールド こどものワク ワク、いっしょに たのしもう みる ・はなす、そして 発見!の美術展	山本 雅美
作家展	
(ア行)	
<b>ヒトのカタチ、彫刻</b> 津田亜紀子/ 藤原彩人/青木千絵 Shizubi Pro- ject 4 静岡市美術館	

平成26年美術展覧会図録所載文献(作ア行)

チョウコク ある いは、弱い触覚	金井 直	赤瀬川原平について 関係者の証言 「笑い」の芸術	南 伸坊	金子 奈央
人体と人体彫刻	阿久津裕彦	赤瀬川原平について 関係者の証言 赤瀬川原平のこと	田中 耕平	森田加奈子
ヒトのカタチと「彫刻」 津田亜紀子・藤原彩人・青木千絵 3人の彫刻家について	以倉 新	赤瀬川原平について 関係者の証言 『ウィークエンドスーパー』は純文学の修業の場だった。	末井 昭	山本 愛 箕輪亜希子 武山 剛士
イカチとソザイー 3作家の素材の選択について	伊藤 鮎	赤瀬川原平について 関係者の証言 赤瀬川さんとの思い出	久住 昌之	麻田家の三人一辨自・鷹司・浩一 (麻田家の三人一辨自・鷹司・浩一 麻田辨自没後30年・平成26年度春季特別展) [麻田鷹司/麻田浩/麻田辨自] 南丹市立文化博物館
赤木明登 「茶の箱」展 思文閣	ぎやらりい	赤瀬川原平について 関係者の証言 赤瀬川さんとの思い出	久住 昌之	麻田家の三人一辨自・鷹司・浩一 井尻 智道
§作家の言葉§	赤木 明登	赤瀬川原平について 関係者の証言 赤瀬川原平さんちで風水を見た頃	荒俣 宏	コラム 上村直園 (麻田鶴) "
赤瀬川原平の芸術原論 1960年代 から現在まで 千葉市美術館他		赤瀬川原平について 関係者の証言 原平さんからのお年玉	秋山祐徳太子	麻田辨自のもうひとつの素顔(麻田家の三人一辨自・鷹司・浩一 麻田辨自没後30年・平成26年度春季特別展) 南丹市日吉町郷土資料館
「赤瀬川原平」とは 何者か	山下 裕二	赤瀬川原平について 関係者の証言 皮をかぶった	藤森 照信	麻生三郎の装幀・挿画展 美術と文学の交流 神奈川県立近代美術館 (鎌倉別館)
オブジェを持った 無産者：1960年代における赤瀬川の 政治性[ポリティックス]	ウィリアム・マロツティ	赤瀬川原平について 関係者の証言 赤瀬川原平の偶然力	坪内 祐三	麻生さんの本を制作して 森 登 麻生さんの画室 近藤 信行
赤瀬川原平の根源 [ルーツ] 60年代の前衛とその終焉	菅 章	赤瀬川原平について 関係者の証言 別のセンサー	中村 政人	アトリエ・ワン マイクロ・パブリック・スペース 広島市現代美術館
赤瀬川原平 1968-74	水沼 啓和	赤瀬川原平について 関係者の証言 浴うと云う事	山口 晃	マイクロ・パブリック・スペース アトリエ・ワン
赤瀬川原平による トマソン、路上観察、そして芸術原論	松岡 剛	佐倉学 浅井忠展 佐倉市立美術館		パブリック・スペースの内側、美術館の内側 松岡 剛
赤瀬川原平について 関係者の証言 ホワイトハウスの ゴンボー汁	篠原有司男	佐倉学・浅井忠と 浅井家の人々	前川 公秀	ふるまいの場：アトリエ・ワンの建築実践と思考 篠原 雅武
赤瀬川原平について 関係者の証言 三人は真摯である	中西 夏之	洋画家・浅井忠について	木邨かおり	
赤瀬川原平について 関係者の証言 レメイドの配色	谷川 晃一	新世代への視点2014 画廊からの 発言[朝倉優佳/飯島花奈/金子奈央/ 佐竹真紀子/武山剛士/立原真理子/ 長沼基樹/深尾尚子/古井彩夏/ 箕輪亜希子/森田加奈子/山本愛] コバヤシ画廊		新井深 個展 養清堂画廊
赤瀬川原平について 関係者の証言 原平さんに挑発され続けた!	足立 正生	§作家の言葉§	古井 彩夏	蝶の絵 岡田 朝雄
赤瀬川原平について 関係者の証言 原平さんと千円札 裁判	杉本 昌純	"	朝倉 優佳	薄明のポイエーシス 小岡 明裕
赤瀬川原平について 関係者の証言 原平さんとの思い出	林 静一	"	深尾 尚子	サイキ、息、魂 中本 道代
赤瀬川原平について 関係者の証言 赤瀬川原平文章史 序説	松田 哲夫	"	飯島 花奈	降誕 Herm Fukushima Arai gewidmen 布川 鶴
		"	佐竹真紀子	新井深氏の絵 Papillon 橋口 守人
		"	立原真理子	新井深さんと私 平野 充
		"	長沼 基樹	あとがき 新井 深
				荒川修作の軌跡一天命反転、その先へ 早稲田大学津八二記念博物館

荒川修作の軌跡への接近—初期作品から Diagram へ	塚原 史	三岸好太郎と池田満寿夫—奇オアーティストの系譜	著名 直子	伊藤廉《セザンヌ 涅槃》	浅野 泰子
荒川修作と建築	古谷 誠章	池田光宏 HOMEMADE LANDSCAPE 公開制作62	府中市美術館	井上耐子 時空を越えて 武蔵野美術大学美術館・図書館(美術館)	
荒川修作と日本—桜、徳川公から龍安寺まで	坂上 桂子	私たちの風景—池田光宏(Homemade Landscape)	神山 亮子	「井上耐子 時空を越えて」展による	川口 直宜
荒川修作と早稲田大学	本間 桃世	イクムラレイコ PLOON	ヴァンジ彫刻庭園美術館	風土の香り	井上 耐子
新世代への視点2014 画廊からの発言[飯島花奈/朝倉優佳/金子奈央/佐竹真紀子/武山剛士/立原真理子/長沼基樹/深尾尚子/古井彩夏/箕輪亜希子/森田加奈子/山本愛] ギャラリー現		イクムラレイコ Sculpture Works 1987-2014	森 啓輔	瀬戸の秋風によせて	〃
パランプセスト 重ね書きされた記憶(パランプセスト 重ね書きされた記憶 αM プロジェクト2014[飯嶋桃代/井上雅之/岩熊力也]) ギャラリーαM		無常と有情の間: イクムラレイコの精神風景	松井みどり	パランプセスト 重ね書きされた記憶(パランプセスト 重ね書きされた記憶 αM プロジェクト2014[飯嶋桃代/井上雅之/岩熊力也]) ギャラリーαM	
重ね書きされた記憶	北澤 憲昭	夢、断片、女性 イクムラレイコの描く身体の心像	ドナルド・カスピット	shiseido art egg vol. 8 今井俊介 range finder(第8回 shiseido art egg 加納俊輔 今井俊介 古橋まどか) 資生堂ギャラリー	
「歴史」と「記憶」の関係をめぐる覚書—パランプセストの書記の試み—	〃	形をとる—イクムラレイコの作品にみる境界	エリザベス・ブロンフエン	第8回shiseido art egg賞 審査結果	堀江 敏幸 三田村光土 里 山本 直彰
Home Bittersweet Home—飯嶋桃代のインスタレーション	〃	メッセージ、でもある。—イクムラレイコの詩的営為をめぐって、	田野倉康一	パランプセスト 重ね書きされた記憶(パランプセスト 重ね書きされた記憶 αM プロジェクト2014[飯嶋桃代/井上雅之/岩熊力也]) ギャラリーαM	
私の制作はモノを蒐めることから始まる。	飯嶋 桃代	「跳躍」のメソッド—イクムラレイコのうさぎと彫刻	森 啓輔	没後50年 岩崎勝平(岩崎勝平読本) 川越市立美術館	
アーティストトーク 飯嶋桃代×北澤憲昭		石田亘・征希・知史 パート・ド・ヴェール作品展—ガラス幻想の美— [石田征希/石田知史] 高島屋(横浜)	石田 亘 石田 征希 石田 知史	岩崎勝平覚え書き—戦前期を中心に	折井 貴恵
亡者たちのとまどい—岩熊力也の肖像群をめぐって	北澤 憲昭	板谷波山の夢みたもの 〈至福〉の近代日本陶芸 没後50年・大回顧 出光美術館		萩原元四・姉上宛葉書(昭和5年9月30日付)	岩崎 勝平
αMの展示にむけて	岩熊 力也	板谷波山の夢みたもの—(幸[プリズ])の陶芸家	柏木 麻里	萩原元四・姉上宛葉書(昭和6年8月16日付)	〃
アーティストトーク 岩熊力也×北澤憲昭		市野長之介—フォーヴィスムの名古屋— 生誕110年 名古屋画廊		萩原元四・姉上宛葉書(昭和7年9月5日付)	〃
手の記憶—井上雅之のために	北澤 憲昭	市野長之介の芸術について	山田 論	「ある親子」モデル(左の男の子) 高橋眞人さん(当時5歳)の話	高橋 眞人
描くように造りたいと思う。	井上 雅之	市野長之介さんとその周辺の画家たちのことども	寛 忠治 談	「裁縫」モデル 森田郁子さんの話	森田 郁子
アーティストトーク 井上雅之×北澤憲昭		伊藤廉 もうひとつの『絵の話』 碧南市藤井達吉現代美術館		「真知子巻の女」モデル 滝澄江さん(当時19歳)の話	滝 澄江
三岸好太郎と池田満寿夫 奇オアーティストの系譜 北海道立三岸好太郎美術館		知情意の画家・伊藤廉の歩み	木本 文平		

平成26年美術展覧会図録所載文献(作ア行)

「赤衣着物の女」「シヨールの女」モデル 高野きみ子さん(当時21~22歳頃)の話	高野きみ子	ヴァロトンは氷の人であったのか?	マリナ・デユクレ 福満 葉子 訳	国貞による最も成功した揃物「役者見立東海道五十三次」とその基となる「見立役者五十三対ノ内」について	アンドレアス・マークス 小谷 暢子 翻訳
「三味線を弾く女」「三味線の稽古」モデル 今井君子さん(当時20代半ば)の話	今井 君子	「私の根はパリにある」—パリにおける認知 1892-1899	カティア・ボレットイ 東 美緒 訳	国貞の揃物	岩田 秀行
《ある家族》のための習作「ある家族」モデル(左の女の子) 岡田みどりさん(当時小学2年生くらい)の話	岡田みどり	パリの秋: ヴァロトトンとサロン・ドートンヌ 1903-1925	イザベル・カーン 中津海裕子 訳	「江戸美人尽」について	渡邊 晃
日曜絵画教室生徒作品講評	岩崎 勝平	ヴァロトトン—ジャポニズムの画家?	杉山菜穂子	海老原喜之助展 生誕110年	鹿児 島市立美術館他
§ 後藤雄雄宛書簡(昭和35年3月8日付) §	〃	植木茂 生誕100年	島根県立美術館	海老原喜之助の芸術的軌跡をたどって	山西 健夫
§ 伊藤庸之助宛葉書(昭和10年10月10日付) §	〃	植木茂生誕100年展によせて	小林未魚子	海老原喜之助と『コードモノクニ』	工藤 香澄
§ 伊藤庸之助宛葉書(昭和11年9月6日付) §	〃	はじめに	長谷川三郎	海老原喜之助、逗子での日々—朝井閑右衛門らとの交流	立浪佐和子
岩田正巳展 生誕120年—新興大和絵、その清澄なる世界— 新潟県立近代美術館		Column 1 初期の抽象彫刻	上野小麻里	資料(ヨーロッパで開催された展覧会目録の転載と解題)	F. フォスカ、M. v. d. V 谷口 雄三 訳 山西 健夫 解題
むかしのものを描いても、生きたものをかきたい—岩田正巳の人と作品	長嶋 圭哉	Column 2 表紙デザイン	〃	レアンドロ・エルリッヒ—ありきたりの? 開館10周年記念 金沢21世紀美術館	郷田 まみ 聞き手
岩村秀巖と近代日本画 知恵の環館 芳賀町総合情報館	知恵の環館	Column 4 遊具・家具・インテリア	帯刀 菜緒	新しい世界の作り手—レアンドロ・エルリッヒ	黒澤 浩美
近代日本画と岩村秀巖の作品	五月女仁美	展覧会に寄せて—植木茂と下関—	濱本 聡	虚偽・架空	ニコラ・ブオーリ 郷田 まみ 翻訳
エヴァ・ヴァリエ FIBERS&FRAGMENTS Selected works 1998-2014 城西国際大学水田美術館アートギャラリー		植木茂と木の造形	毛利伊知郎	知覚の転換をめぐる冒険: エルリッヒとベレック	塩塚秀一郎
紙—ある生き方	エヴァ・ヴァリエ	抽象彫刻の再出発—植木茂と昆野恆の時代	三上 満良	Selected Works	レアンドロ・エルリッヒ フリア・ナビエール
ヴァロトトン展 冷たい炎の画家 [フェリックス・ヴァロトトン] 三菱一号館美術館		資料 植木茂手記・原稿・談話		遠藤彰子展 魂の深淵をひらく 上野の森美術館	世界を再び眠らせないために—遠藤彰子の絵画世界
ある引き裂かれた画家の復活—ヴァロトトン回顧展に寄せて	高橋 明也	四神の書 上田桑鳩 手島右卿 金子鷗亭 桑原翠邦 比田井天来門下 四書家の足跡を辿る 釧路市立美術館他	金 手島右卿 金子鷗亭 桑原翠邦 比田井天来門下 釧路市立美術館	水彩画家 大下藤次郎 島根県立石見美術館所蔵 千葉市美術館	『菱花湾日記』を見る
ヴァロトトン—アンダーグラウンドのスイス人	ギ・コジュヴァル 船岡美穂子 訳	疑問? から始める、「現代書」の愉しみ 方	齊藤千鶴子		
		上村松篁展 京都国立近代美術館他			
		上村松篁展によせて	上村 淳之		
		上村松篁の画業—精神風景としての花鳥画—	柳原 正樹		
		上村松篁一人と作品	小倉 実子		
		歌川国貞 没後150年記念 太田記念美術館			
		国貞とがく	新藤 茂		

描くよるこび、伝えるよるこび	川西 由里
大下藤次郎と水彩画の時代『みづゑ』発刊のころ	佐々木静一
大下藤次郎『海と山 西総地方の紀行』、『安房の冬』	今井 公子 解説
大津鎮雄展～西欧の誘惑・少年時代から辿る画家の生涯～	サトエ記念 21世紀美術館
主人・大津鎮雄の想い出	大津 富世
西欧の誘惑～画家・大津鎮雄の欧州風景画への考察～	江口 健
画家たちの上京物語	熊本⇄東京
坂本善三、大塚耕二、浜田知明の軌跡。熊本県立美術館	浜田知明の軌跡
絵画の光跡 大塚耕二・浜田知明・坂本善三の作品をたどって	小沢 節子
column-1 「軍都」のパブリック・アート—佐野昭《征清記念碑》	林田 龍太
column-2 小グループの時代	〃
column-3 《内乱の予感》と画学生たち、そして浜田知明	〃
column-4 坂本善三の壁画制作	〃
「受容器」としての都市、「媒体」としての画家たち	〃
坂本善三戦前期・戦中期自筆文献資料	
大塚耕二自筆文献資料	
浜田知明インタビュー	林田 龍太 聞き手
おおとひでお展 鹿追町民ホール	
おおとひでお展に寄せて	大戸 秀夫
めぐるりアート静岡	ワタシとアート
はきつとどこかでつながっている [大橋史人/奥中章人/寛有子/ウィルフリド・ゴンザレス/鈴木まさこ/深澤孝史/松澤有子/持塚三樹]	静岡県立美術館

ワタシとアートはきつとどこかでつながっている	白井 嘉尚
作家紹介 松澤有子 空に昇る透明な舟	以倉 新
作家紹介 寛有子 穏やかな日々	〃
作家紹介 持塚三樹 往還の創造性	柚木 康裕
作家紹介 Wilfrido S. A. Gonzales ラタンの彫刻	白井 嘉尚
作家紹介 深澤孝史 ふるまいの詩学	柚木 康裕
作家紹介 鈴木まさこ 生の震え	〃
奥中章人+大橋史人 ネットノ螺旋 in 県民ギャラリー	堀切 正人
§作家の言葉§	松澤 有子
〃	寛 有子
〃	持塚 三樹
〃	ウィルフリド・ゴンザレス
〃	深澤 孝史
〃	鈴木まさこ
〃	奥中 章人
〃	大橋 史人
田中信太郎 岡崎乾二郎 中原浩大	
かたちの発語展 BankART Studio NYK	
田中信太郎×光田ゆり	田中信太郎 談 光田 ゆり 聞き手
まっすぐな線 田中信太郎インタビューの余白に	光田 ゆり
丘	田中信太郎
岡崎乾二郎のパラダイズム	中村 麗
制作のための12の注意事項	岡崎乾二郎
岡崎乾二郎×中村麗 インタビューより §抄録§	
中原浩大×上村卓大	中原 浩大 談 上村 卓大 聞き手

岡田三郎助—エレガンス・オブ・ニッポン— 佐賀県立美術館	
和と洋の万華鏡—二人の文学者(鷗外・鏡花)をめぐる岡田芸術	松本 誠一
essay 01 岡田三郎助のアトリエと美術村	岩永 重季
essay 02 芸術家のサロン—麻布龍土軒のこと	宇治 章
essay 03 岡田三郎助と佐賀美術協会	野中 耕介
essay 04 切手になった絵画	松本 誠一
essay 05 お手本(モデル)について	〃
essay 06 三越の広告戦略	岩永 重季
essay 07 東京勸業博覧会での美術展	宇治 章
essay 08 岡田三郎助のパンフレット	野中 耕介
岡田三郎助と女性画家、および妻八千代との関わりについて	児島 薫
日本の裸婦像の創造—岡田三郎助の「水浴図」をめぐる	高山 百合
「人形」と「表現」のあいだ—岡田三郎助が描いた肖像画について—	野中 耕介
帝国の画題—岡田三郎助と近代日本	松本 誠一
岡部嶺男 火に生き土に生き 寛実記念智美術館	菊池
岡部嶺男の陶芸試論「土、造形、軸の、火による相互浸透」について	花里 麻理
§作家の手記(1963-64年頃執筆)§	岡部 嶺男
§作家の手記(執筆年不詳)§	〃
岡村昭彦の写真 生きること死ぬこと	東京都写真美術館
目のなかの傷—岡村昭彦の写真—	戸田 昌子

貴種流離譚のまなざし	中川 道夫	小倉遊亀作品私論「物みな仏」の眼差し	山口真有香	めぐりアート静岡 ワタシとアートはきつとどこかでつながっている	ワタシとアートはきつとどこかでつながっている
「写真」は誰のものかー岡村昭彦の作家性ー	金子 隆一	「水木の太福帳」所見ー水木要太郎と画家たちー	國賀由美子	[寛有子/大橋史人/奥中章人/ウィルフリド・ゴンザレス/鈴木まさこ/深澤孝史/松澤有子/持塚三樹]	静岡市美術館
岡本太郎と潜在的イメージ	川崎市岡本太郎美術館	小田薫の彫刻ー記憶の住処ー	平塚市美術館	笠井誠ー静物[もの]とのかたらいー	高島屋(日本橋)他
アブストラクション・クレアシオン 1931-36	グラディス・ファープル 太田 雅子 翻訳	下りていく鉄	名古屋 覚	§作家の言葉§	笠井 誠一
岡本太郎と潜在的イメージ	佐々木秀憲	小田薫の世界	土方 明司	門脇俊一 生誕100年	香川県立ミュージアム
小川千穂 縦横無尽に生きる(縦横無尽ー小川千穂という生き方)	福島県立美術館他	自作を語る	小田 薫	ごあいさつ	門脇 兼
写生のゆくえ~小川千穂の芸術	増渕 鏡子	新発見、再発見の竹喬[小野竹喬]	笠岡市立竹喬美術館	金子孝信展 1930年代、青春、東京、日本画、戦争。	新潟市美術館
コラム「千穂の仏画」	植田彩芳子	汲めども尽きぬ魅力ー竹喬の新出作品をめぐって	上園 四郎	藤井 素彦 解題 山岸亜友美、 藤井 素彦、 星野 立子 翻刻	
特集3 千穂、福島へ行く	増渕 鏡子	資料紹介2 竹喬がヨーロッパで購入した美術品の写真について	徳山亜希子	金子孝信と新潟の美術界	山浦 健夫
小川千穂筆《西洋風俗大津絵》考~浅井忠と大津絵をめぐって~	植田彩芳子	小山田二郎 生誕100年	府中市美術館	問題圏としての金子孝信	藤井 素彦
私の絵は地面に足の付いた俗画だ、と千穂は云った。	野地耕一郎	野蠻ギャルドファンキー小山田二郎	ねじめ正一	新世代への視点2014 画廊からの発言[金子奈央/朝倉優佳/飯島花奈/佐竹真紀子/武山剛士/立原真理子/長沼基樹/深尾尚子/古井彩夏/箕輪亜希子/森田加奈子/山本愛]	ギャラリーQ
荻野令子展 KABURIMONO	ギャラリー・ブス	凝視[みつ]める画家ー小山田二郎を取り巻いた世界	小林 真結	shiseido art egg vol. 8	加納俊輔
迫り出す異形：荻野令子の漆造形	金子 賢治	小山田二郎《手》	神山 亮子	ジェンガと噴水(第8回 shiseido art egg)	加納俊輔 今井俊介 古橋まどか
無意識の中の造形	荻野 令子	『月映』田中恭吉・藤森静雄・恩地孝四郎	宇都宮美術館他	加納俊輔 今井俊介 古橋まどか	資生堂ギャラリー
めぐりアート静岡 ワタシとアートはきつとどこかでつながっている	ワタシとアートはきつとどこかでつながっている	『月映』ノート 百年の青春	井上 芳子	鑑木清方と江戸の風情	千葉市美術館
[奥中章人/大橋史人/寛有子/ウィルフリド・ゴンザレス/鈴木まさこ/深澤孝史/松澤有子/持塚三樹]	静岡県立美術館	『月映』出版事情	寺口 淳治	鑑木清方の江戸趣味と明治趣味	宮崎 徹
遊亀と靱彦一師からのたまもの・受け継がれた美ー	安田靱彦生誕130年、小倉遊亀生誕120年	藤森静雄の宇宙	伊藤 伸子	展覧会「鑑木清方と江戸の風情」について	西山 純子
滋賀県立近代美術館他		『月映』前史ー東京美術学校と田中恭吉を中心に	藤本真名美	GABOMI クリテリオム89	水戸芸術館現代美術ギャラリー
遊亀と靱彦 師から弟子に伝えられるもの	尾崎 正明	『月映』の詩歌	木股 知史	水面の向こう側	浅井 俊裕
奈良女子高等師範学校と小倉遊亀	高木 博志	『月映』のひかる紙について	坂本 雅美	上村卓大展 東アジアの夢	Bank-ART Life IV 東アジア文化都市
考証と構想ー安田靱彦筆《古事記》考	梶岡 秀一	(カ行)		2014横浜 UNDER35/2014	Bank-ART Studio NYK
		隠崎隆一 事に仕えて	菊池寛実記	念智美術館	
		隠崎隆一：心の造形としての備前焼	唐澤 昌宏	マイアミー「なぜ無駄は彫刻か」	おかざき乾 じろ



ジャック・カロ リアリズムと奇想の劇場 国立西洋美術館

ジャック・カローリアリズムと奇想の劇場 中田明日佳  
ジャック・カロと17世紀の版画 マキシム・ブレオ 中田明日佳 訳

カロ対レンブラント—17世紀のエッチングを代表するふたりの版画家 保井 亜弓

川上澄生 東西のものがたり 鹿沼市立川上澄生美術館

幻の絵本『龍涎喚』 臼井佐知子

永瀬義郎と川上澄生—愛と浪漫と詩情— 鹿沼市立川上澄生美術館

『版画を作る人へ』を読む 小池 智子  
永瀬義郎と川上澄生—創作版画運動の隆盛とともに— 早川 未央

iichiko デザイン30年展 地下鉄10年を走りぬけて 河北秀也 東京藝術大学退任記念 東京藝術大学大学美術館

地下鉄10年を走りぬけてiichikoデザイン30年 河北 秀也

陶の空間・草木の空間 川崎毅と関島寿子展 菊池寛実記念智美術館

陶の空間・草木の空間 川崎毅と関島寿子—素材と技法への私的なアプローチについて— 花里 麻理

思考の軌跡を示す造形—川崎毅と関島寿子— 島崎 慶子

「やまなしの戦後美術—四人の革新者たち」展 橋田尚之 松田富彌 河内成幸 深沢軍治 山梨県立美術館

やまなしの戦後美術と四人の革新者たち 向山富士雄

私の立体 橋田 尚之  
橋田尚之理解のための試論 高野早代子

作家の遺した言葉 §「日常と非日常」より § 松田 富彌

松田富彌—模索の果てに辿り着いた作陶の境地

作家の手記 §「過去の前衛」より / 「陶物園開園準備室」より / 「日常の中の非日常」 / 「遠かなる縄文」 §

作家の言葉 河内 成幸

河内 成幸 談・監修 雨宮 千鶴 聞き手・編集

河内成幸と木版画 雨宮 千鶴

作家の言葉 深沢 軍治

深沢軍治の芸術—絵画が絵画であるために— 向山富士雄

深沢軍治 追記・インタビュー — 絵画の実験と終わりになき探求について— 向山富士雄 聞き手

佳麗なる近代京焼—有栖川宮家伝来、幹山伝七の逸品 宮内庁三の丸尚蔵館

有栖川宮家伝来《色絵四季草花図食器》について 岡本 隆志

幕末明治の煎茶文化と幹山伝七 //

幹山伝七—京焼の革新者— //

神田日勝の造形思考—キュビズム的多視点— 神田日勝記念美術館

神田日勝の造形思考—キュビズム的多視点— 釜澤 恵子

岸田吟香・劉生・麗子 知られざる精神の系譜[岸田劉生/岸田麗子] 世田谷美術館他

はじまりの吟香と美術 鍵岡 正謹

劉生の初個展まで 酒井 忠康  
描かれた吟香像 青木 茂

内国勲業博覧会を遊歩する—岸田吟香の「博覧会の記」とともに— 高嶋雄一郎

吟香、劉生、そして小林清親—銀座をめぐる人々— 坪内 祐三

森川もなみ

松田 富彌

河内 成幸

河内 成幸 談・監修 雨宮 千鶴 聞き手・編集

雨宮 千鶴

深沢 軍治

向山富士雄

向山富士雄 聞き手

岸田劉生『芸術と人生』についての手記』より 杉山 悦子

麗子と麗子像のあいだに生まれた絵 岸田 夏子

岸田麗子—自己と劉生に向き合って— 野田 尚稔

北蓮蔵 渡欧期の肖像画 早稲田大学津八一記念博物館

二代目芳翠北蓮蔵 丹尾 安典  
滯仏記

北蓮蔵作品の寄贈経緯について 井上 由理

北蓮蔵の生涯と渡仏記の習作について 奥間 政作

北蓮蔵略年譜 //

ミュージアムコレクションII 北大路魯山人展 塩田コレクション 世田谷美術館

北大路魯山人 塩田コレクションに 清水 真砂 について

「やまなしの戦後美術—四人の革新者たち」展 橋田尚之 松田富彌 河内成幸 深沢軍治 山梨県立美術館

金光男 White light White heat アペルト01 金沢21世紀美術館

§作家の言葉 § 金 光男  
§解説 § 立松由美子

金理有 Hypothalamaniac 高島屋(日本橋)

§作家の言葉 § 金 理有

印刷と美術のあいだ キヨッソーネとフォンタネージと明治の日本[エドアルド・キヨッソーネ/アントニオ・フォンタネージ] 印刷博物館

序論 お雇いのイタリア人芸術家たち 榊山 紘一

論文1 キヨッソーネと印刷局 植村 岐

論文2 印刷局と工部美術学校の狭間で 森 登

論文3 印刷と美術と交流と新技術の台頭 本多真紀子

河合辰太郎宛書簡 作者:浅井忠 §1 §

河合辰太郎宛書簡 作者：浅井忠 § 2 §	桑原甲子雄の写真 酒井 忠康	書簡 § 釈文 § 五姓田芳柳 (二世)
河合辰太郎宛絵葉書 作者：浅井忠 § 1 §	桑原甲子雄 トー キョー・スケッチ 塚田美由紀 60年	ゴッホの《ひまわり》展 特別公開 東日本大震災復興支援[フィンセン ト=ファン・ゴッホ] 宮城県美術 館
河合辰太郎宛絵葉書 作者：浅井忠 § 2 §	小磯良平展 稲沢市荻須記念美術館	ゴッホの《ひまわり》とその周辺 千足 伸行
国本泰英 ベイスギャラリー	小磯良平について 島田 康寛 思うこと	パランプセスト 記憶の重ね書き (パランプセスト 記憶の重ね書き αM プロジェクト2014[小林耕平/ 志村信裕]) ギャラリー αM
§ 作家の言葉 § 国本 泰英	西洋との出会いから—1930年代の作 品を中心に— 河合 志穂	パランプセスト= 記憶の重ね書き 和田 浩一
忘れられた画家シリーズ—35 久 保田米僊遺作展 明治日本画の鬼才 星野画廊(京都)	甲谷武展 三重県立美術館	パランプセスト— 記憶の「重ね書き」 ”
久保田米僊—明治 丹青界の覇才 星野万美子	甲谷武のこと 毛利伊知郎	重層化する発話 ”
後記 星野 桂三	作家の言葉 甲谷 武	透・明・人・間 伊藤 亜紗
熊谷守一展 守一のいる場所 岐阜 県美術館	河野次郎と明治・大正の画人ネット ワーク 足利市立美術館他	パランプセスト： 小林 耕平
守一のいる場所 廣江 泰孝	河野次郎—時代の 分水嶺を生きた画 家 江尻 潔	アーティストトー ク 小林耕平×和 田浩一
《轢死》と《蠟燭》の 暗色化について 松岡 未紗	河野次郎—教育者 として、キリスト 者として 木村理恵子	光の諸層に巻き込 まれる 和田 浩一
木村定三と熊谷守 一 石崎 尚	河野里枝の風船旅行 ファンタステ ィックイメージの交響詩 池田20世 紀美術館	§ 作家の言葉 § 志村 信裕
倉重光則 未完の地図 奈義町現代 美術館	あとがき 河野 里枝	アーティストトー ク 志村信裕×和 田浩一
光と砂の時空 「い まこころ」を二重 化する倉重光則 中村 英樹	コンラッド・ヨン・ゴードリー展 ぎやらりい思文閣他	絵画のエクササイ ズ、身のこなしの 軽さ 和田 浩一
光を生きる光、ふ れる関ぎあい射 して 菊井 崇史	油彩山水画の誕生 —コンラッド・ヨ ン・ゴードリー氏 の作品に寄せて 山下 裕二	心訓 西原 功織
まんさくの花 倉 重光則の新作絵画 についての覚え書 吉岡まさみ	五木田智央 TOMOO GOKITA THE GREAT CIRCUS 川村記念美術館	アーティストトー ク 西原功織×和 田浩一
それは美術ではな い。創造力である。 宮田 徹也	波打ち際に佇むひ と 鈴木 尊志	他者を飲み込んだ キメラ 和田 浩一
未完の地図 倉重 光則	小杉小二郎展 窓辺の物がたり 高 島屋(日本橋)他	やってきたこと・ やっていること 青野 文昭
告発する美術2 ジョージ・グロス とオットー・ディックス 福岡市美 術館	§ 作家の言葉 § 小杉小二郎	アーティストトー ク 青野文昭×和 田浩一
解説 正路佐知子	茶堦 ”	小林孝亘展 私たちを夢見る夢 横 須賀美術館
黒田征太郎 コヨーテ展 ぎやらり い思文閣他	二世五姓田芳柳—その知られざる画 業— さしま郷土館ミュージズ 坂東 市立猿島資料館	§ 作家の言葉 1 § 小林 孝亘
§ 作家の言葉 § 黒田征太郎	倉持子之吉から二 世五姓田芳柳へ 「知られざる画家」 となったわけ 角田 拓朗	§ 作家の言葉 2 § ”
桑原甲子雄の写真 トーキョー・ス ケッチ60年(桑原甲子雄の写真 ト ーキョー・スケッチ60年 世田谷 美術館コレクション選集) 世田谷 美術館	「花房義質子爵古 希祝賀詞画冊」 § 詞書釈文 § 池辺 義象	§ 作家の言葉 3 § ”
	「大工耕作図」 § 賛 釈文 § 五姓田芳柳 (二世)	§ 作家の言葉 4 § ”
	芳柳先生逸話	§ 作家の言葉 5 § ”
		§ 作家の言葉 6 § ”
		§ 作家の言葉 7 § ”

小林孝亘さんの絵  
に見つめられて O JUN  
私たちを夢見る夢  
—小林孝亘の作品 工藤 香澄  
めぐりアート静岡 ワタシとア  
トはきつとどこかでつながっている  
[ウィルフリド・ゴンザレス/大橋  
史人/奥中章人/寛有子/鈴木まさ  
こ/深澤孝史/松澤有子/持塚三  
樹] サールナートホール

(サ行)

酒井抱一—江戸情緒の精華— 大和  
文華館

抱一作品の魅力—  
江戸文化に咲いた 宮崎 もも  
華—

坂本一道展 アスクエア神田ギャラ  
リー

解(ほつ)れる 坂本 一道

画家たちの上京物語 熊本⇄東京  
坂本善三、大塚耕二、浜田知明の軌  
跡。 熊本県立美術館

彫刻家桜井祐一 生命[いのち]の造  
形 木彫・ブロンズの世界 生誕  
100年 米沢市上杉博物館

§ 作家の言葉 1 § 桜井 祐一

§ 作家の言葉 2 § ”

新世代への視点2014 画廊からの  
発言[佐竹真紀子/朝倉優佳/飯島  
花奈/金子奈央/武山剛士/立原真  
理子/長沼基樹/深尾尚子/古井彩  
夏/箕輪亜希子/森田加奈子/山本  
愛] ギャラリー東京ユマニテ

佐藤一郎 退任記念展 東京藝術大  
学大学美術館

佐藤一郎先生 退  
任によせて 宮田 亮平

佐藤一郎退任記念  
展によせて 保科 豊己

佐藤一郎先生ご退  
任記念展によせて 関 出

「ふりかえれば」 木島 隆康

「オムニバス」 佐  
藤一郎先生に送る 秋本 貴透

「佐藤一郎退任展」  
を開催するにあた  
って 佐藤 一郎

佐藤大寛展 富士と対峙した孤高の  
画家 小田原市郷土文化館分館松永  
記念館

寄稿 孤高にして 島尾 新  
独住之画人

寄稿 佐藤大寛先  
生と私 伊東秀次郎

寄稿 龍吟虎嘯縁 岸 達志  
起

寄稿 素心にして 夏村 充  
素尚、一子相伝の  
世界—佐藤大寛画  
伯を想う—

自然への思い—大 佐藤北久山  
寛晩年の境地—

佐藤時啓 光—呼吸 そこにいる、  
そこにはない 東京都写真美術館

透徹した光の詩学 三田 晴夫

佐藤時啓：目には  
けつて見えない  
もの マーティン  
・バーンズ  
岩本 正恵  
翻訳

写真のなかだけに  
存在しうる世界—  
うつるものとうつ  
らないもの 鈴木 佳子

佐藤英行展 第30回上野の森美術  
館大賞展絵画大賞 上野の森美術館

私の絵画の原点 佐藤 英行

佐藤有紀子—遺作展— みゆき画廊

§ 序文 § 勝矢 拓巳

” 内山 隆

§ 遺族の言葉 § 佐藤菜穂子

ドリス・サルセド ヒロシマ賞受賞  
記念9回 広島市現代美術館

序文 高階 秀爾

沈黙の祈り ドリス・サ  
ルセド

ドリス・サルセド  
：傷つけられた素  
材 メアリー・  
シュナイダ  
ー・エンリ  
ケ

誰でもない者のた  
めに 州濱 元子

コレクション・クッキング 近くを  
視ること/遠くに思いを馳せること  
—対話と創造[三瓶光夫/three/高  
野正晃/古川弓子] 福島県立美術  
館

夢みる美術館 夢  
をひらくコレクシ  
ョン—コレクショ  
ン・クッキングに  
よせて 早川 博明

§ 作家の言葉 § 古川 弓子

” three

” 三瓶 光夫

” 高野 正晃

古川弓子インタビ  
ュー 荒木 康子  
聞き手

three インタビュ  
ー 荒木 康子、  
白木ゆう美  
聞き手

三瓶光夫インタビ  
ュー 荒木 康子  
聞き手

高野正晃インタビ  
ュー ”

対話と創造—4組  
の作家たちととも  
に 荒木 康子

設楽享良展 中長小西

§ 作家の言葉 § 設楽享良

生きるものたちへ 現代郷土作家展  
藤原向意・松田一戯・清水浄・東影  
智裕 姫路市立美術館

「現代郷土作家展  
藤原向意・松田一  
戯・清水浄・東影  
智裕 生きるもの  
たちへ」について 高瀬 晴之

作家からの メッ  
セージ 藤原 向意

” 松田 一戯

” 清水 浄

” 東影 智裕

パランブセスト 記憶の重ね書き  
(パランブセスト 記憶の重ね書き  
αM プロジェクト2014[小林耕平/  
志村信裕]) ギャラリー αM

下岡蓮杖 日本写真の開拓者 東京  
都写真美術館他

幕末明治の写真師  
下岡蓮杖 森重 和雄

下田・浦賀・横浜  
時代の下岡蓮杖 斎藤多喜夫

下岡蓮杖のスード  
写真 石黒 敬章

ジョン・ウィルソ  
ン(1816—1868)  
「ウンシン」と呼ば  
れた写真師 セヴァステ  
イアン・ド  
ブソン

絵師・下岡蓮杖に関する一考察 西洋的手法から見る作画態度	南 美幸	日本子どもたちへ	ビネッテ・シュレーダー 岡 志乃婦 翻訳	コラム5 谷崎潤一郎との交遊	〃
日本写真の開拓者 下岡蓮杖 写真史における位置とその作例	三井 圭司	白川昌生 ダダ、ダダ、ダ 地域に生きる想像☆の力	アーツ前橋	画家としての菅橋彦	〃
山口オー太郎「写真事歴」現代語訳	天野 圭悟	赤城山のみもとに生きる	白川 昌生	浪速の町絵師一菅橋彦とその絵画表現一	明尾 圭造
マルク・シャガール展 語るシャガール、語られるシャガール	宇都宮美術館	地域に生きる想像の力	住友 文彦	菅橋彦 倉吉からみつめたこと	前田 明範
宇都宮美術館におけるシャガール・コレクションの成立と展開	谷 新	マイナー芸術のために	毛利 嘉孝	菅橋彦と妻・美記子	伊藤 泉美
第I章 ヴィテブスクを飛び出して	藤原 啓	マース券と握手する手—未来からありがとう	森野 榮一	杉浦康益展 陶の博物誌—自然をつくる	西宮市大谷記念美術館
第II章 ユダヤ人画家として	〃	幻想[キマイラ] アジアを離れヨーロッパへ—更新された「あいまいさ」	アストリッド・ハンダニガニャール 桑田 光平 翻訳	杉浦康益の世界	乾 由明
第III章 「愛」を描く画家	〃	白川昌生を語る	富井 大裕、 藤井 光、 中崎 鼎談	作家の言葉1	杉浦 康益
第IV章 語られるシャガール、語るシャガール	〃	日本現代美術序説 その端緒的覚書	白川 芳夫	作家の言葉2	〃
青の愛について、再び—マルク・シャガール《青い恋人たち》をめぐって—	石川 潤	進藤環 飛び越える、道をつないで	ギャラリー・アートアンリミテッド	作家の言葉3	〃
デザインとして語る「シャガールのポスター」、「ポスターのシャガール」から見えて来るデザイン	橋本 優子	花園神社の境内を抜けたらまた花園	木下 直之	作家の言葉4	〃
日本におけるシャガール受容の一端—展覧会タイトルと戦前の美術雑誌にみるシャガール・イメージ—	伊藤 伸子	人工と楽園—進藤環のカラージュ	松本 透	自然をつくる—「陶の博物誌」への道程	下村 朝香
もの言わずして語る人—アラゴンとシャガールの関係をめぐる一考察—	藤原 啓	遠くの森	藤村 里美	鱸利彦 生誕120周年	都城市立美術館
ジャック・シャルティエ Testing ベイスギャラリー	ジャック・シャルティエ	末永史尚「ミュージアムピース」	APMoA Project, ARCH vol. 11	鱸利彦の画業	祝迫 眞澄
Testing	ジャック・シャルティエ	額縁考	副田 一穂	めぐるリアート静岡	ワタシとアートはきつとどこかでつながっている
ビネッテ・シュレーダー 美しく不思議な世界 小さな絵本美術館(本館/八ヶ岳館)他	〃	菅橋彦展 没後50年	浪速の粋	「鈴木まさこ/大橋史人/奥中章人/筑有子/ウィルフリド・ゴンザレス/深澤孝史/松澤有子/持塚三樹」	Gallery PSYS
		雅人のこころ	鳥取県立博物館	鈴木康広「見立て」の実験室	金沢21世紀美術館
		菅橋彦の魅力とその評価—マンガ・アニメーションと東アジアの文化的伝統—	中谷 伸生	鈴木室長から研究員へ	鈴木 康広
		コラム1 菅橋彦の妻・美記子(富田屋八千代)	林野 雅人	「見立て」の実験室への館長のカンソウ	秋元 雄史
		コラム2 皇后冊立図	〃	室長から研究員へのメール 2014. 9. 26	鈴木 康広
		コラム3 龍村平蔵との交遊	〃	室長から研究員へのメール 2014. 11. 9	〃
		コラム4 橋彦の画友たち	〃	鈴木室長 総評	〃
				日常と非日常をつなぐ: 鈴木康広「見立て」の実験室	吉備久美子
				須山昇華 茶陶展	可憐なる色彩と愛らしいモチーフたち
				高島屋(岐阜)他	〃
				ごあいさつ	須山 昇華

コレクション・クッキング 近くを  
 視ること／遠くに思いを馳せること  
 一対話と創造[three/三瓶光夫/高  
 野正晃/古川弓子] 福島県立美術  
 館

好奇心のあじわい 好奇心のミュ  
 ジアム フードクリエイション+東  
 京大学総合研究博物館[諏訪綾子]  
 (フードクリエイション|感覚であ  
 じわう 感情のテイスト) 金沢21  
 世紀美術館

§ 作家の言葉 § 諏訪 綾子  
 感覚であじわう 感情のテイスト 〃  
 グリラレストラン 〃  
 ジャーニー・オン  
 ・ザ・テーブル 〃  
 体験としてのテイ  
 スト 〃  
 記憶 〃  
 生々しく、艶やし  
 くー味覚で感じる  
 コンセプト 高橋 律子

陶の空間・草木の空間 川崎毅と関  
 島寿子展 菊池寛実記念智美術館  
 ムサビのデザイン IV 1980-1990's  
 エットレ・ソットサスとヌオーヴォ  
 ・デザイン 武蔵野美術大学美術館  
 ・図書館(美術館)

かえりみれば ポ  
 ストモダン・デザ  
 インの時代 柏木 博  
 消費からエブリデ  
 ー・カルチュアへ  
 都市と建築のポスト  
 ・モダンが目指  
 したもの 松葉 一清

外林道子 體と臓 東京画廊+Btap  
 外林道子の挑戦 山本 豊津

(タ行)

コレクション・クッキング 近くを  
 視ること／遠くに思いを馳せること  
 一対話と創造[高野正晃/三瓶光夫  
 /three/古川弓子] 福島県立美術  
 館

高橋節郎展 生誕百年 安曇野市豊  
 科近代美術館/安曇野高橋節郎記念  
 美術館他

漆芸美の可能性を  
 求めて我が道を往  
 く〜高橋節郎の作  
 品について〜

高橋節郎の漆芸

高橋芸術に見る表  
 現と技術解析、芸  
 術としての力

「生誕百年 高橋  
 節郎展」開催に際  
 して

書簡に見る高橋節  
 郎とその時代  
 (1930〜40年代)

高橋節郎の赤

タカハシノブオ あるがままに生き  
 た画家 叫ぶ原色・ものがたる黒  
 三浦徹コレクション 生誕100年記  
 念[高橋信夫] BB プラザ美術館

挨拶に代えて 純  
 粋に、一途に生き  
 たタカハシノブオ

神戸に生きた異端  
 の画家 タカハシ  
 ノブオ 作品と私

高島依子 Project N 58 東京オペ  
 ラシティアートギャラリー

不可視のヴェール  
 —高島依子の絵画

高松次郎 ミステリーズ 東京国立  
 近代美術館

「点」、たとえば、  
 一つの迷宮事件  
 1960-1963

標的は決してその  
 姿をあらわさない  
 1964-1970s

それは「絵画」では  
 なかった 1970s  
 -1998

竹内栖鳳 生誕150年記念 海の見  
 える杜美術館他

栖鳳芸術における  
 西欧と日本

関西洋画壇と栖鳳

竹内栖鳳と中国

竹内栖鳳と関東

竹内栖鳳と藤井達  
 吉の写生

竹内栖鳳と芸術—  
 その背景からのア  
 プローチ

モニカ・コ  
 プリーン

白石 和己

三田村有純

横山 勝彦

三澤 新弥

西崎 紀衣

坂上義太郎

三浦 徹

榊田 倫広

蔵屋 美香

保坂健二郎

高階 秀爾

平瀬 礼太

田中 伝

田中 正史

土生 和彦

青木 隆幸

新世代への視点2014 画廊からの  
 発言[武山剛士/朝倉優佳/飯島花  
 奈/金子奈央/佐竹真紀子/立原真  
 理子/長沼基樹/深尾尚子/古井彩  
 夏/箕輪亜希子/森田加奈子/山本  
 愛] ギャラリー川船

田崎廣助 没後30年 九州芸文館

コラム 作品が生  
 き続ける場所—田  
 崎美術館について

コラム 往還する  
 絵画と壁画—田崎  
 廣助《海(博多湾)》  
 と《山(宝満山)》と  
 福岡県庁壁画

風土と芸術—田崎  
 廣助の生涯—

昭和洋画史におけ  
 る田崎廣助の位置

新世代への視点2014 画廊からの  
 発言[立原真理子/朝倉優佳/飯島  
 花奈/金子奈央/佐竹真紀子/武山  
 剛士/長沼基樹/深尾尚子/古井彩  
 夏/箕輪亜希子/森田加奈子/山本  
 愛] 藍画廊

『月映』 田中恭吉・藤森静雄・恩地  
 孝四郎 宇都宮美術館他

田中信太郎 岡崎乾二郎 中原浩大  
 かたちの発語展 BankART Studio  
 NYK

田中岑 いろいろ、そうそう 川崎  
 市市民ミュージアム

色彩のヴェール—  
 田中岑を包むもの

田中岑と土方定一

コンさんと豊重さ  
 ん

田中岑—その色と  
 画業の「堆積」

フィールド・リフレクション[田中  
 みぎわ/伴美里/本橋成一] 川口  
 市立アートギャラリー・アトリア

窓のような仕事

フィールドへの姿  
 勢と意思

§ 作家の言葉 §

〃

〃

三糸実美と岩倉具視 一代絵巻が物語る幕末維新 明治天皇を支えた二人[田中有美] 宮内庁三の丸尚蔵館	フィオナ・タン まなざしの詩学 東京都写真美術館他	コラム デュフィとボワレーモードを作り出すこと //
三糸実美と岩倉具視 一代絵巻制作の背景を探って 齊藤 全人	「まなざしの詩学」によせるノート 岡村 恵子	コラム デュフィの陶芸 //
絵巻の装飾意匠—父・有美から息子・親美への継承 太田 彩	ジョン・ヨンドウ 地上の道のように 水戸芸術館現代美術ギャラリー	コラム 家具「パリ」 ジェラルド・レミ 宮澤 政男 訳
大和絵師田中有美の画業について 齊藤 全人	ファンタジーとリアリティのあいだ—危機の時代の想像力 徐 京植	現代の美を描く画家ラウル・デュフィ ブリジット・レアル 宮澤 政男 訳
谷内恒子展 ミクロ・イヴェント メゾンエルメス8階フォーラム	ブラインド・パーイ・キョグ 高橋 瑞木 翻訳	「非売品」—デュフィのアトリエに遺された素描群 クリスティアン・ブリアン 宮澤 政男 訳
§作家の言葉§ 谷内 恒子	地上の道のように 高橋 瑞木	ラウル・デュフィ 描く喜び—同一主題の二つのヴァージョンとその制作プロセス《森の騎手たち》と《馬に乗ったクヌラー一家》を中心に 森 美樹
谷中安規 1930年代の夢と現実 鬼才の画人 町田市立国際版画美術館他	十五代沈壽官展 高島屋(米子)他	寺坂公雄展 三越(日本橋)
谷中安規の見た夢と現実 滝沢 恭司	ごあいさつ 沈壽官(15代)	ごあいさつ 寺坂 公雄
表現することが、それ自体でうれしい 原田 光	築城則子—縞の今— 小倉織復元 30周年 北九州市立美術館開館40周年記念 北九州市立美術館分館	鉄斎 TESSAI 没後90年[富岡鉄斎] 出光美術館
谷本真理展 東アジアの夢 Bank-ART Life IV 東アジア文化都市 2014横浜 UNDER35/2014 Bank-ART Studio NYK	縞と私 築城 則子	鉄斎の太秦牛祭について 奥田 素子
遠くの手触り/気前よくボタンをかけ違えること 菊川 亜騎	築城則子の縞 今井 陽子	水墨神韻 柏木 知子
《投げける部屋》の実験 中原 浩大	築城則子の伝統と革新 奥田亜希子	奇跡の画業 鉄斎 画の不可思議な魅力 笠嶋 忠幸
刺激 中原浩大×谷本真理×菊川亜騎 中原 浩大、真理、亜騎 談	ヒトのカタチ、彫刻 津田亜紀子/藤原彩人/青木千絵 Shizubi Project4 静岡市美術館	富岡鉄斎と近代日本の中国趣味 大和文華館
田淵安一 知られざる世界 神奈川 県立近代美術館(鎌倉)	津田洋 大和の美仏に魅せられて 奈良文化財研究所飛鳥資料館	近藤家旧蔵作品に見る鉄斎と中国 植松 瑞希
現代の文人画家田淵安一の知られざる世界—グローバルに展開した画家の軌跡— 橋 秀文	ごあいさつ 津田 洋	文人画の根本—鉄斎が享受した中国 柏木 知子
タムラサトル《真夏の遊園地》 親と子と孫で楽しむ栃木国際芸術祭 2014 栃木県立美術館	告発する美術2 ジョージ・グロスとオットー・ディックス 福岡市美術館	鳥居洋治 顔景展 ギャラリーAo §作家の言葉§ 鳥居 洋治
タムラサトル—人間と機械とのしなやかな関係について 山本 和弘	四神の書 上田桑鳩 手島右脚 金子鷗亭 桑原翠邦 比田井天来門下 四書家の足跡を辿る 釧路市立美術館他	(ナ行)
俵有作展—水墨の波動— レオナルドを慕い、山水に遊び、ミシヨを想う 練馬区立美術館	デュフィ展 絵筆が奏でる色彩のメロディー[ラウル・デュフィ] Bunkamura ザ・ミュージアム他	永井一正 POSTER LIFE 1957—2014 富山県立近代美術館
俵有作さんの世界 尾久 彰三	デュフィの風景画 ソフィ・クレス 宮澤 政男 訳	生と宇宙と私 原 研哉
	コラム ギョーム・アポリネール『動物詩集あるいはオルフェウスとのお共たち』のための挿絵制作 森 美樹	世界に類ない50余年の歩み、「現在形」として目のあたりにできる慶び 白田 捷治

創ることは生きる  
こと 永井一正 片岸 昭二  
ポスター・ライブ

中澤弘光展—知られざる画家の軌跡  
生誕140年 三重県立美術館他

中澤弘光展によせ  
て 中澤 允信  
三井 弦

中澤弘光—自然体  
の柱石の画家 田中 善明

中澤弘光の装幀と  
挿絵 舟串 彩

画家の蒐集品—中  
澤弘光の場合 森谷 美保

永瀬義郎と川上澄生—愛と浪漫と詩  
情— 鹿沼市立川上澄生美術館

中西夏之 キアスム/chiasme  
(Natsuyuki Nakanishi : chiasme)

SCAL THE BATHHOUSE

§ 作家の言葉1 § 中西 夏之

§ 作家の言葉2 § ”

§ 作家の言葉3 § ”

§ 作家の言葉4 § ”

§ 作家の言葉5 § ”

§ 作家の言葉6 § ”

§ 作家の言葉7 § ”

§ 作家の言葉8 § ”

§ 作家の言葉9 § ”

§ 作家の言葉10 § ”

Natsuyuki Naka-  
nishi—chiasme 飯田 高誉

新世代への視点2014 画廊からの  
発言[長沼基樹/朝倉優佳/飯島花  
奈/金子奈央/佐竹真紀子/武山剛  
士/立原真理子/深尾尚子/古井彩  
夏/箕輪亜希子/森田加奈子/山本  
愛] なびす画廊

田中信太郎 岡崎乾二郎 中原浩大  
かたちの発語展 BankART Studio  
NYK

中村一美展 国立新美術館

可能性の形式—中  
村一美の絵画につ 南 雄介  
いて

中村一美展 M画廊25周年記念 M  
画廊

ミムゼミ 中村一 三村 栄介  
美論

インタビュー 中 三村 栄介  
村一美 聞き手

《ユーロパリア  
JAPAN '89展》 中村 一美

《セマンティック  
ス・パターン》 ”

1983年7月17日

《斜行線とY型の  
オーバーラップ》 ”

1983年8月26日

《番記外—初期絵  
画②》 ”

心に残る 中村一 三村 栄介  
美作品

中村誠の資生堂 美人を創る 資生  
堂ギャラリー

中村誠のグラフィ  
ック=資生堂のメ  
ッセージ 柏木 博

化粧品広告とファ  
ッションの緊密な  
関係 深井 晃子

資生堂スタイルと  
中村誠さんのクリ  
エーション 福原 義春

宣伝部長・中村誠  
さんと資生堂の女  
性像 澁谷 克彦

中谷有逸 碑を刻み、生命を謳う。  
北海道立帯広美術館

展覧会にあたって 中谷 有逸

美術対談「碑[い  
しぶみ]」のこと、  
版画のこと 中谷 有逸、  
柴橋 伴夫、  
藤原乃里子  
編集

碑[いしぶみ]を刻  
み、生命を謳う。 藤原乃里子

存在の美学3回 伊達市噴火湾文  
化研究所同人展[永山優子/野田弘  
志/廣戸絵美] 高島屋(日本橋)他

美とは何か 野田 原  
弘志の絵について

「存在の美学」考 野田 弘志

§ 作家の言葉 § 永山 優子

” 今村 圭吾

” 小尾 修

” 松永瑠璃子

” 松村 卓志

” 森永 昌司

” 李 曉剛

” 渡抜 亮

「生命」を描くとい  
うこと 佐藤 友哉

存在の美学 南城 守

ある回想・絵画と 保苺 瑞穂  
小説

奈良原一高 王国 東京国立近代美  
術館

「王国」について 増田 玲

難波田龍起展 Tコレクションを中  
心に 大川美術館

ごあいさつ 寺田 勝彦

師・難波田龍起 みのわ 淳

難波田龍起のギリ  
シア—古代/女性 小林 俊介  
への憧憬—

難波田史男の世界 イメージの冒険  
(難波田史男の世界 イメージの冒  
険 世田谷美術館コレクション選  
集) 世田谷美術館

擦れ違った画家— 酒井 忠康  
難波田史男

難波田史男作品と 清水 真砂  
世田谷美術館

難波田史男の世界  
—「裸形された意 杉山 悦子  
識」が描く

西田藤夫展 静けさが形となる時  
イタリア三十五年 池田20世紀美術  
館

ひそやかに、けざ 夏目 典子  
やかに、

[一問一答]西田藤  
夫×村田慶之輔

静けさが形となる 西田 藤夫  
時

西村千太郎展—「日本的フォーブ」か  
ら20世紀の人間像へ— 没後20年  
名古屋画廊

西村千太郎の芸術  
：市井に生きる 山田 論  
人々を見つめて

ジョージ・ネルソン展 建築家・ラ  
イター・デザイナー・教育者 目黒  
区美術館

ジョージ・ネルソ  
ン：建築家・ライ  
ター・デザイナー  
・教育者 目黒区美術  
館  
加筆・翻訳

人が創りし世界の  
ガイドブッカー—ネ  
ルソンの『HOW TO  
SEE』をめぐる— 藤崎圭一郎

建築家としてのジョージ・ネルソン	岩岡 竜夫	菅原典子(旧姓:鈴木)様インタビュー	バルテュスの「少女」試論 同一化されぬ近代自我の終焉或いは早熟な自己実現	尾崎 真人
グランドデザインからディテールという視座	柳本 浩市	画家たちの上京物語 熊本⇔東京 坂本善三、大塚耕二、浜田知明の軌跡。 熊本県立美術館	フィールド・リフレクション[伴美里/田中みぎわ/本橋成一] 川口市立アートギャラリー・アトリア	
最適化を目指したネルソンのシステムデザイン	和田菜穂子	水辺の記憶—写真家 林辰雄のまなざし— 千葉県立中央博物館	生きるものたちへ 現代郷土作家展 藤原向意・松田一戯・清水浄・東影智裕 姫路市立美術館	
イームズ展からネルソン展への視覚の旅	降旗千賀子	父との思い出 林 光一	ピカソの陶芸 地中海にはぐくまれて[パブロ・ピカソ] 埼玉県立近代美術館	
野口哲哉 野口哲哉の武者分類[むしゃぶるい] 図鑑(野口哲哉ノ作品集侍達ノ居ル処。) 練馬区立美術館		原田裕規展 lighthouse vol. 9 switch point	陶芸をめぐるピカソの戦後 平野 到	
はじめに 野口 哲哉		机上の空論とデスクトップ・キュレーション 石崎 尚	パブロ・ピカソ—版画の線とフォルム— 町田市立国際版画美術館他	
§ 作品解説 §	〃	原田裕規展と「パロック」(神は副詞を愛し給う) 上崎 千	版画を通して見るピカソとスペインの関係 松田 健児	
野口哲哉の武者分類[むしゃぶるい] 図鑑	加藤 陽介	再生のための墓碑銘 上田 和彦	ピカソの版画と刷り師たち 高木 幸枝	
解き難い謎—遺物とキャプション—	野口 哲哉	構想なき構想画 梅津 庸一	ピカソ一本の仕事、さらなる解体の試み 福島 直	
歴史とSF—仮想現実の中で—	〃	密室の体温 勝俣 涼		
武装と現実—栄光は誰の為に—	〃	原田裕規は常々、原理的な態度をとる。 gnck		
合戦場での目立ち方	藤本 正行	「照り」へのコンパスへ(エッセー) 土居下太意		
野口哲哉ノ自筆参考資料	野口 哲哉	当然のことをすることによって何を得、何を失うのか		
自筆年譜	〃	“しないでおく”ことの当事者性 中島 智		
§ 作家の謝辞 §	〃	キュレーションを開放せよ 成相 肇		
存在の美学 3回 伊達市噴火湾文化研究所同人展[野田弘志/永山優子/廣戸絵美] 高島屋(日本橋)他		網羅的に併置すること(Juxtaposition) 原田 裕規		
野見山暁治展 いつかは会える ニューオータニ美術館		バルテュス展 東京都美術館他		
野見山暁治からのメッセージ	野見山暁治	バルテュス展開催に寄せて 節子・クロソフスカ・ド・ローラ		
野見山暁治の芸術、その精神性	太田美喜子	バルテュスの多様な日本 ドミニク・ラドリツァーニ		
「はじめまして百貨店です。」 高島屋(大阪)他	野見山暁治	バルテュス—もうひとつの20世紀、東西の親和力 河本 真理		
§ 作家の言葉 §	野見山暁治	バルテュスを訪ねて 河本 真理 翻訳		
(ハ行)		バルテュスとピエロ・デッラ・フランチェスカ 小林 明子		
長谷川利行展 フクヤマ画廊他		孤独のピュヴィス・ド・シャヴァンヌ、決してひとりではない		
利行さんと鈴木家の助けられたり助けたり	鈴木 大吉	ピュヴィス・ド・シャヴァンヌとアルカディアニズム		
「富士」	鈴木 大吉 談			



水辺のアルカディア ビュヴィス・ド・シャヴァンヌ 壁画習作《休息》をめぐって 蔦谷 典子

Minoru Hirata ACTION, the 1960s [平田実] タカ・イシイギャラリー フォトグラフィー／フィルム § 作家の言葉 § 平田 実

平田実の《ACTION, the 1960s》—(フォトアート)の理論的考察 富田 玲子

存在の美学3回 伊達市噴火湾文化研究所同人展[廣戸絵美／永山優子／野田弘志] 高島屋(日本橋)他

ジャン・フォートリエ展 絵画なのか 東京ステーションギャラリー他

ジャン・フォートリエ、レアリスムからアンフォルメルへ：再創造のための破壊 ジャン＝ポール・アムリウス

絵画の現実性[リアリテ]を求めて—フォートリエの軌跡 山梨 俊夫

「石と語る」—日本とフォートリエ 天野 一夫

印刷と美術のあいだ キヨッソーネとフォンタネージと明治の日本[アントニオ・フォンタネージ／エドアルド・キヨッソーネ] 印刷博物館

新世代への視点2014 画廊からの発言[深尾尚子／朝倉優佳／飯島花奈／金子奈央／佐竹真紀子／武山剛士／立原真理子／長沼基樹／古井彩夏／箕輪亜希子／森田加奈子／山本愛] ギャラリーIK

「やまなしの戦後美術—四人の革新者たち」展 橘田尚之 松田富彌 河内成幸 深沢軍治 山梨県立美術館

めぐりアート静岡 ワタシとアートはきつとどこかでつながっている [深澤孝史／大橋史人／奥中章人／寛有子／ウィルフリド・ゴンザレス／鈴木まさこ／松澤有子／持塚三樹] ギャラリーとりこ

福田豊四郎 描いても思っても尽きないふるさと 三重県立美術館

「福田豊四郎展」によせて 堀 文子

福田豊四郎のこと 毛利伊知郎

彫刻家藤井浩祐の世界 ジャパニーズ・ヴィーナス 井原市立田中美術館他

藤井浩祐の彫刻と生涯 藤井 明

藤井浩祐の彫刻観—穏やかで純真な自然の見方 田中 修二

近代日本彫刻における人体表現の受容と展開 藤井 明

資料《平櫛田中宛藤井浩祐書簡》 青木 寛明 編

作品名、制作年、銘について 青木 寛明

藤森兼明展 永遠の祈り 富山県立近代美術館 § 作家のあいさつ § 藤森 兼明

藤森兼明の画業—「祈り」と「願い」の間で 若松 基

『月映』 田中恭吉・藤森静雄・恩地孝四郎 宇都宮美術館他

ヒトのカタチ、彫刻 津田亜紀子／藤原彩人／青木千絵 Shizubi Project4 静岡市美術館

生きるものたちへ 現代郷土作家展 藤原向意・松田一戯・清水浄・東影智裕 姫路市立美術館

二木直巳 願望を求めて—小杉放菴とともに— 小杉放菴記念日光美術館

秩序について—二木直巳のために 本江 邦夫

境界と全体—二木直巳の《見晴らし台》について 松本 透

「見ることを通してもう一度見るための場所」—作家との往復書簡 寺門 寿明 二木 直巳

二木直巳の「眺望」 田中 正史

舟越保武彫刻展 まなざしの向こうに 岩手県立美術館他

光を見る者—舟越保武と芸術の秘儀 若松 英輔

父のことをすこし 舟越 桂

永遠の時を求めて 大野 正勝

舟越保武、その人 吉田 尊子

新世代への視点2014 画廊からの発言[古井彩夏／朝倉優佳／飯島花奈／金子奈央／佐竹真紀子／武山剛士／立原真理子／長沼基樹／深尾尚子／箕輪亜希子／森田加奈子／山本愛] ギャラリーなつか

コレクション・クッキング 近くを視ること／遠くに思いを馳せること—対話と創造[古川弓子／三瓶光夫／three／高野正晃] 福島県立美術館

古田恵美子展 何処へ DOKO e 東御市梅野記念絵画館

遠く呼び声 佐藤 修 DOKO e・・・ 牛木 秀和

shiseido art egg vol. 8 古橋まどか 木偶ノ坊窟穴(第8回 shiseido art egg 加納俊輔 今井俊介 古橋まどか) 資生堂ギャラリー

ホイッスラー展[ジェイムズ・アボット・マクニール・ホイッスラー] 京都国立近代美術館他

マーガレット・F.マクドナルド 木下 哲夫 翻訳

ホイッスラー 油彩画・版画・素描の巨匠

Column 1 エッチング・リヴァイヴァル 小野 文子

Column 2 『12点の写生エッチング集』(「フレンチ・セット」) "

Column 3 F.R.レイランドとその家族 "

Column 4 ホイッスラーのリトグラフ "

Column 7 『ヴェニス、12点のエッチング集』(「ファースト・ヴェニス・セット」)と『26点のエッチング集』(「セカンド・ヴェニス・セット」) "

Column 8 1880年以降の風景画と「ノーツ、ハーモニーズ、ノクターンズ」展 "

Column 9 《青と金色のハーモニー：ピーコック・ルーム》—ホイッスラーの「作品」となった部屋—	小野 文子	フェルディナント・ホドラーとリズム	エミール・ジャック＝ダルクローズ 袴田 紘代 翻訳	光の画家松井守男展 現代フランスを代表する日本人アーティスト 長崎県美術館 松井守男の「光」 野中 明
Column 10 「ノクターン」とラスキン裁判	〃	アレッサンドラ・マリア・ボナノッテ写真展 ギャラリー正観堂		めぐりアート静岡 ワタシとアートはきっとどこかでつながっている [松澤有子/大橋史人/奥中章人/笥有子/ウィルフリド・ゴンザレス/鈴木まさこ/深澤孝史/持塚三樹] 静岡市美術館
ホイッスラーのジャポニスムとその広がり	〃	アレッサンドラ・マリア・ボナノッテ写真展に寄せて	松久保秀胤	生きるものたちへ 現代郷土作家展 藤原向意・松田一戯・清水浄・東影智裕 姫路市立美術館
1890年代のホイッスラー展について：名声と報賞	パトリシア・ド・モントフォールト 木下 哲夫 翻訳	堀浩哉 起源 多摩美術大学美術館 堀浩哉展に寄せて 藤谷 宣人 堀浩哉論—起源に線を引け、暴風(かぜ)が吹く 榎木 野衣		「やまなしの戦後美術—四人の革新者たち」展 橋田尚之 松田富彌 河内成幸 深沢軍治 山梨県立美術館
アメリカにおけるホイッスラー	リー・グレイザー 木下 哲夫 翻訳	「絵画」を絵に描く—堀浩哉の作品 光田 由里		幕末下田の仏師 松本雲松 上原仏教美術館 松本雲松の生涯と作品 田島 整
格別の敬意：ホイッスラーとスコットランド	パメラ・ロバートソン 木下 哲夫 翻訳	ロングインタビュー—堀浩哉 今、自らを語る 島中 実、土屋 誠一 聞き手		イエラ・マリ 字のない絵本の世界 板橋区立美術館他
黒部と槍 冠松次郎と穂苅三寿雄 東京都写真美術館		堀尾貞治 あたりまえのこと 2000—2013の記録 BB プラザ美術館 挨拶に代えて 坂上 義太郎 あたりまえのこと 堀尾 貞治		制作中の母 アゴスティーナ・マリ・ミケーレ・マリ ジョルダナーナ・ピッチニニ、イラリア・トントルデイーニ 森泉 文美 翻訳
真摯に山と向き合った人たち 水越 武		(マ行)		静かなる会話 エリザベット・ロルテイ、アニー・ピサール 伏見 操 翻訳
冠松次郎の十字峡発見に思いを馳せ 志水 哲也		孤高の道 馬越舛太郎 町立久万美術館 馬越舛太郎～未解説の暗号 阿部 信雄 私的馬越舛太郎追跡記「洲之内さんの忘れもの」あるいは「『気まぐれ美術館』の書き残し」 後藤 洋明		ふたりで作った絵本たち：イエラ・マリのインタビュー エンメ出版とロゼッリーナ・アルキント 高木 佳子 日本人デザイナーとの交流 森泉 文美
黒部と槍 冠松次郎と穂苅三寿雄 関次 和子		町田博文油絵展 エキゾチズム際だつ美 三越(日本橋) ごあいさつ 町田 博文		ミケーレ・マリの作品に見る母イエラ 〃
フェルディナント・ホドラー展 日本・スイス国交樹立150周年記念 国立西洋美術館他		松井智恵 プルシャ 平成26年春の有隣荘特別公開 大原美術館 有隣荘 作品について 松井 智恵 作家の言葉1 § 〃 作家の言葉2 § 〃		イエラ・マリ略年譜 松岡希代子、森泉 文美、高木 佳子 編
「栄光のホドラー」—ベルン美術館の主要象徴主義作品	マティアス・フレナー 岩谷 秋美 翻訳			
フェルディナント・ホドラー：人物のコンポジション	オスカー・ベツチュマン 柿沼万里江 翻訳			
舞踏の言語—フェルディナント・ホドラーとエミール・ジャックダルクローズ	フェレナー・ゼンティニ シュミットリン 新藤 淳 翻訳			
現実と象徴性—ホドラーの作品におけるヴァランティエヌ・ゴデ＝ダレルの死にいたる400日	ローランス・マドリーヌ 村上 博哉 翻訳			
日本におけるホドラーの受容について	相良 周作			

生きものゝいる感星	ジュリア・ミランドラ 森泉 文美 翻訳
「開かれた絵本」イ エラ・マリの絵本 とその周辺	森泉 文美
つながっていく絵 本—イエラ・マリ と日本	松岡希代子
三岸好太郎と池田満寿夫 奇オア ーティストの系譜 北海道立三岸好太 郎美術館	
三沢厚彦 ANIMALS 2014 in 岩 手 岩手県立美術館	
Animalsをつくる	三沢 厚彦
三嶋りつ恵 競へ 思文閣(銀座)	
§作家の言葉§	三嶋りつ恵
三嶽伊紗のしごと みているもの のむこう 徳島県立近代美術館	
鏡／微分する眼	三嶽 伊紗
§作家の言葉§	〃
キリ ノ ハナ ヲ ミル	〃
アオイ本	〃
イロ	〃
温度計	〃
ハイ ヲ ミル	〃
犬の眼で探す	〃
ゆるる水	〃
ユリ／あしたの記 憶	〃
アサギマダラ	〃
イケル／ツユクサ	〃
イケル／カタツム リ	〃
ニワ ヲ ミル	〃
あしたの記憶	〃
雪 2010-01／微 分する眼	〃
ユキ—2012	〃
三嶽伊紗のしごと とみているもの のむこう	吉原美恵子

新世代への視点2014 画廊からの 発言[箕輪亜希子／朝倉優佳／飯島 花奈／金子奈央／佐竹真紀子／武山 剛士／立原真理子／長沼基樹／深尾 尚子／古井彩夏／森田加奈子／山本 愛] gallery 21yo-j	
三宅克己回顧展 水彩表現の開拓者 生誕140年・没後60年記念 徳島県 立近代美術館	
三宅克己とイギリ ス水彩画	潮江 宏三
水彩表現の開拓者、 三宅克己が求めた もの	森 芳功
三宅克己の水彩画 普及と石版画	岩切信一郎
三宅克己と「趣味」 の写真	増田 玲
宮崎進展 立ちのぼる生命[いのち] 神奈川県立近代美術館(葉山)	
§作家の言葉§	宮崎 進
宮崎進 立ちのぼ る生命[いのち]	水沢 勉
宮崎進《祭りの夜》 についての準備制 作による考察	初山 昌夫
宮下圭介1970—2013 透視するま なざし モンミューゼ沼津 沼津市庄 司美術館	
宮下圭介 透視す るまなざし	石村 実
制作メモより	宮下 圭介
宮脇晴の周辺 愛・知のリアリズム 豊田市美術館	
愛美社時代の宮脇 晴 大澤鉦一郎と 岸田劉生の存在—	山田 論
1930年代以降の宮 脇晴—愛しきもの の表現—	吉田 俊英
ポストン美術館ミレー展[ジャン＝ フランソワ・ミレー] 高知県立美 術館他	
序文	マルコム・ ロジャース 井口 智子 訳
I. 巨匠ミレー序 論	マーサ・ク ローソン 比戸奈津子 訳

II. フォンテーヌ ブローの森	マーサ・ク ローソン 井口 智子 訳
III. バルビゾン村	マーサ・ク ローソン 比戸奈津子 訳
IV. 家庭の情景	マーサ・ク ローソン 奥野 克仁 訳
V. ミレーの遺産	〃
ミレー展—愛しきものたちへのまな ざし— 生誕200年 山梨県立美術 館他	
生誕200年 ミレ ー展—愛しきもの たちへのまなざし — 序文 ジャン ＝フランソワ・ミ レー(1814—1875) —「農民画」家から 「親密画」家へ—	井出洋一郎
修業場としての美 術館 シェルプ ールにおけるミレー の形成期(1833— 1836)	ルイーズ・ ル・ギャル 小椋山祐幹 訳
人物の「描き方」か ら見るミレー	音 ゆみ子
伝播するイメージ —ミレーの複製版 画	小椋山祐幹
ミレーとその家族	小坂井 玲
美の宝庫～油井コレクションにみる 実篤作品～[武者小路実篤] 調布市 武者小路実篤記念館	
平成二六年度春の 特別展 美の宝庫 ～油井コレクショ ンにみる実篤作品 ～	石井めぐみ
棟方志功 安川電気カレンダーにみ る九州の姿 北九州市立小倉城庭園	
棟方志功と海道板 画	石井 頼子
棟方志功・安川カ レンダーの誕生	立島 敦子
棟方志功の九州初 個展と関門民藝会	富岡 優子
村上華岳展 霊と艶をもとめて 笠 岡市立竹喬美術館	
華岳が求めた世界	上菌 四郎

村野藤吾 やわらかな建築とインテリア 大阪歴史博物館	「基俊太郎先輩。覚書。」 横田 修英 「稀有の人」 基 俊子 あとがきにかえて 武井 敏	矢崎博信の帝国美術学校時代「アニメマ」動向」出品作品を中心に 弘中 智子
概説 建築家・村野藤吾と本展覧会について 酒井 一光	フィールド・リフレクション[本橋成一/田中みぎわ/伴美里] 川口市立アートギャラリー・アトリア	矢崎博信作品が生まれた社会背景とその意味 大島 浩
インタビュー「素顔の村野藤吾」 村野美千子、三輪サツ子 話し手 酒井 一光 聞き手	百瀬文展 サンプルボイス 横浜美術館若手作家支援事業 横浜美術館	矢崎再録 壽宣 矢崎寄稿 俊作 矢崎厚子、伊東もこ、矢崎孟伯、伊東昭登、小川善弘、篠原昭登、今井千浩、井談 忠史 前田 忠史
村野藤吾と大阪の出会い 石田潤一郎	§ 作家の言葉 § 百瀬 文 § 展覧会解説 § 庄司 尚子	関係者のことば
村野藤吾のキャンパスに棲む 橋寺 知子	森真吾 汽水域に生きる 碧南市藤井達吉現代美術館	矢崎博信と諏訪一 前田 忠史 帰郷後を中心に
村野藤吾の立っている場所 松隈 洋	展覧会によせて 森 真吾	安井曾太郎の世界—人物画を中心に— 谷藤 史彦 ふくやま美術館他
村野藤吾のハードコア 笠原 一人	汽水域に生きる画家 森真吾—その線描について— 木本 文平	序にかえて—安井曾太郎の京都時代における不思議な縁について 谷藤 史彦
捉える視点 村野 永	§ 作家の言葉 § 森 真吾	《手袋》にみる安井曾太郎の様式美 大前 勝信
たよりない現実、この世界の在りか [目] 資生堂ギャラリー	森真吾の芸術 汽水域をめぐって 鏑本 悠子	聖護院洋画研究所・関西美術院について 木邨かおり
§ 作家の言葉 1 § 荒神 明香	新世代への視点2014 画廊からの発言[森田加奈子/朝倉優佳/飯島花奈/金子奈央/佐竹真紀子/武山剛士/立原真理子/長沼基樹/深尾尚子/古井彩夏/箕輪亜希子/山本愛] ギャラリー58	安喜万佐子 風景 LANDSCAPE SUICIDE アートコンプレックス・センター 安喜万佐子
§ 作家の言葉 2 § //	森田りえ子展 きよけく 花と人、生命[いのち]に潜む美しきもの— 宮市三岸節子記念美術館	§ 研究者の言葉 § 宮田 徹也
§ 作家の言葉 3 § //	展覧会によせて 森田りえ子	遊亀と靱彦—師からのたまもの・受け継がれた美— 安田靱彦生誕130年、小倉遊亀生誕120年 滋賀県立近代美術館他
めぐりアート静岡 ワタシとアートはきつとどこかでつながっている [持塚三樹/大橋史人/奥中章人/寛有子/ウィルフリド・ゴンザレス/鈴木まさこ/深澤孝史/松澤有子] GALLERY UDONOS	百花繚乱の人物・花鳥画—森田りえ子の絵画世界— 川口 直宜	山下拓也展 東アジアの夢 Bank-ART Life IV 東アジア文化都市 2014横浜 UNDER35/2014 Bank-ART Studio NYK
モディリアーニを探して—アヴァンギャルドから古典主義へ—[アメデオ・モディリアーニ] ポーラ美術館	森田りえ子—もっとと舞妓を、もっとと女を、もっとと人物を— 佐々木 豊	ごっこ遊びと大人の事情—ネクロマンサーとしての山下拓也 副田 一穂
モディリアーニ：神に愛された画家 深谷 克典	日本画家 森田りえ子—作品に見る西洋美術の要素と現代日本画の融合— 堤 祐子	
COLUMN モディリアーニとイタリア 島本 英明		
COLUMN 芸術家たちの集うところ—バリのアトリエ、シテ、カフェ 岩崎余帆子		
COLUMN 戦時下の前衛芸術展—「サロン・ダンタン」と「堅琴とパレット」 島本 英明		
COLUMN 《ルニア・チェホフスカの肖像》—人物の個性と表現様式 岩崎余帆子		
彫刻家 基俊太郎展(基俊太郎作品集) 磯山美術館	(ヤ行)	
	矢崎博信展 幻想の彼方へ 生誕100年 茅野市美術館	
	白昼に夜を見つめた人—矢崎博信の絵画と思想 大谷 省吾	

新世代への視点2014 画廊からの  
発言[山本愛/朝倉優佳/飯島花奈  
/金子奈央/佐竹真紀子/武山剛士  
/原真真理子/長沼基樹/深尾尚子  
/古井彩夏/箕輪亜希子/森田加奈  
子] GALERIE SOL

ありがとう!山本県記念館 山本県  
記念館閉館特別展 山本県記念館

解説 「意匠—山  
本県の小宇宙」 藤城 優子

資料 座談会「農  
民美術の現在・過  
去・未来」 中村 昭一、  
徳武 忠造、  
中村実(3  
代)、  
清水 義博、  
茂木 文雄、  
鈴木 良知  
藤城 優子  
司会

寄稿 山本県記念  
館と私 大井 喜久

寄稿 山本県記念  
館洋画教室を担当  
して 宮下 倬實

寄稿 「山本県記念  
館木彫A教室を担  
当して」 中村実(3  
代)

寄稿 山本県記念  
館木彫A教室を担  
当して 鈴木 良知

寄稿 山本県記念  
館 木彫教室を担  
当して 清水 義博

寄稿 山本県記念  
館木彫講師の思い  
出 徳武 忠造

寄稿 山本県記念  
館の夏休み子ども  
絵画教室とは 近藤 恒昭  
談 藤城 優子  
聞き手

寄稿 夏休み子ども  
木彫り教室を担  
当して 中村実(3  
代)

寄稿 山本県記念  
館閉館によせて 中村 昭一

寄稿 山本県と上  
小美術教育研究会 酒井 弘幸

寄稿 山本県記念  
館は私の美術学校  
だった 米津 福祐

寄稿 私と山本県 立川 公子

寄稿 山本県によ  
せて 東 弘治

寄稿 山本県を思  
う いしだふみ

寄稿 山本県版画  
大賞展2002年から  
今思うこと 桂川 成美

寄稿 「私と山本  
県(版画を始めた  
頃)」 山下 武美

寄稿 山本県《漁  
夫》の視線の先  
にあるもの カドノアキ  
ラ

寄稿 『創作版画  
との出会い』 鈴木 敏靖

山本県記念館の思  
い出 「山本県記  
念館」誕生秘話 堀込 捷雄

山本県記念館の思  
い出 記念館のむ  
こうに 東井 邦夫

山本県記念館の思  
い出 山本県記念  
館での篆刻講習会 尾崎 蒼石  
(健治)

山本県のすべて展 「自分が直接感  
じたものが尊い」の実像に迫る 上  
田市立美術館

§ 作家の言葉 § 山本 鼎

信念に生きた芸術  
家 小笠原 正

山本県の版画一渡  
欧後を中心に 西山 純子

油彩画家としての  
山本県 自然を追  
究し自然に立脚す  
る 小林未央子

「ヨソ者」万歳—山  
本県と上田 窪島誠一郎

山本県の批評的感  
性と思考 金子 一夫

山本県と自由学園  
—教育=運動の現  
場に立ちつづけた  
鼎— 村上 民

農民美術百年 清水 義博

いとほしきかな「子  
守人形」達よ 山口 畑一

ぐりとぐら展 誕生50周年記念[山  
脇百合子] 松屋(銀座)他

「いやいやえん」 中川李枝子  
山脇百合子

「ぐりとぐら」 "

「ぐりとぐらのお  
きやくさま」 "

「ぐりとぐらのか  
いすいよく」 "

「ぐりとぐらのえ  
んそく」 "

「ぐりとぐらとく  
るりくら」 "

「ぐりとぐらとす  
みれちゃん」 "

「ぐりとぐらのお  
おそうじ」 "

作者インタビュー 石田 純子  
「ぐりとぐら」の生  
みの親 中川李枝  
子×山脇百合子 インタビ  
ュー・対談構  
成

インタビュー 「ぐ  
りとぐら」を世に  
送り出した編集者  
松居直 石田 純子  
インタビ  
ュー

対談 作品を通じ  
て交流を深めたふ  
たり 中川李枝子  
×宮崎駿 古川 信夫  
司会進行

横山裕一展 これがそれだがふれて  
みよ 美術の中のかたち一手で見る  
造形 県美プレミアム館外品を中心  
とした小企画展 兵庫県立美術館

横山裕一氏による 横山 裕一  
自作解説

吉川民仁「rain or shine」 鎌倉画廊  
吉川民仁の絵画 大島 徹也

ヨシダミノルの絵画 1964—1967  
京都国立近代美術館

ヨシダミノルと 平井 章一  
1960年代の絵画

ミュージアムコレクション I 陶芸  
家・吉田喜彦 世田谷美術館

吉田喜彦氏インタ  
ビュー 酒井 忠康、  
清水 真砂、  
石井 幸彦、  
聞き手 嶋田  
紗千  
記録

(ラ行)

リギオン 逆転移 メゾンエルメス  
8階フォーラム

Countertransfer-  
ence/逆転移 リギオン

マリー・ローランサン展〜女の一生  
〜 三鷹市美術ギャラリー

マリー・ローラン  
サン その芸術と 吉澤 公寿  
生涯

(ワ行)

渡辺千尋の仕事 長崎県美術館

平成26年美術展覧会図録所載文献(作ワ行、団ア行)

ピュランについてのお話	渡辺 千尋	祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」 ガラス絵に魅せられて「未知へ」	古賀 敦子	祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」 ツルの恩返し	藤本 元美
対談 渡辺千尋×門坂流	福満 葉子 構成	祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」 楽団「ケセラ」	やまぐちか ずお	祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」 絵と老犬と私	三原 路子
「象の風景」、あるいは災厄の表象—別役実「象」との関わりから	福満 葉子	祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」 一陽会と高島屋	山下 潤志	祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」 最近思うこと	榎 江里子
渡辺豊重展 画楽60年 岩手県立美術館他	岩手県立	祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」 橋のある風景(追憶)	河井 一郎	祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」 カレンダー	白石 寛子
渡辺豊重 エロスのかたちと人間と	佐藤 美子	祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」 織物の村	大久保綾子	祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」 制作しながら	田沼 和夫
「鬼」から「動刻」へ—渡辺豊重の果てしないのちの躍動	小勝 禮子	祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」 千住のお化け煙突	萩原 興作	祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」 初出品	川邊 嘉章
渡辺豊重と岩手	加藤 俊明 佐藤 美子、 小勝 禮子、 加藤 俊明 聞き手・編集 飯村 直久 第二章書き 起こし	祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」 日常生活と絵	棚倉 英雄	祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」 出会いの大切さ	坂井 幸子
渡辺豊重インタビュー	加藤 俊明	祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」 絵を描く事	北嶋三智子	祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」 作家の言葉	大場 吉美
団体展		祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」 時の流れの中で	中嶋美瑛子	祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」 作家の言葉	新井田捨策
(ア行)		祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」 私と一陽展	山本 文郎	祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」 作家の言葉	宇留野信章
一陽展60回 国立新美術館他		祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」 鶴田猛先生の思い出	横須賀康子	祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」 一陽会に思いを込めて	前田 睦
祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」 感無量	小木曾雅子	祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」 始まりは	小嶋 英子	祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」 大雪	吉田 光雄
祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」 思い出、60周年	田所 満雄	祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」 ビッキ美術館の川上さん	小林 一夫	祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」 植物に寄せて	小澤 美雪
祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」 雄感	岡田 彌生				
祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」 迷いの一歩から確かな一歩へ	若杉美智子				
祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」 思い出の作品	石川三知代				
祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」 六拾年に思うこと	垣内カツア キ				

祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」絵と音となががいおつきあい	中野久賀子	祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」命の輝きを描く	畑野 昭子	祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」初出品の頃	碓田 順彦
祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」「創造」の理念	竹田 明男	祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」石に関わって	小林 達也	祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」ひとすじの途	関野 初代
祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」初入選の思い出	平田 慎一	祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」一陽会への思い	白井 正浩	祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」振り返れば…	坂口かほる
祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」初出品の頃	対馬久世喜	祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」憧れのローズガーデン	林 裕子	祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」まだクチバシが黄色い	末田 光一
祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」	大川きよ子	祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」会報原稿担当に携わって	山田 久子	祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」これから…	水谷喜美子
祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」一陽会に出品して	中村 義孝	祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」ひと、作品、一陽会…還暦を出発点に	福家 省造	祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」変わらないもの	山田 幸彦
祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」旬	雨谷 達夫	祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」初めての「水彩色鉛筆アート展」をして	河野緋紗子	祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」魚拓	佐野 儀雄
祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」パレット	久保田正剛	祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」episode	市橋 哲夫	祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」なぜかイタリア	秀島 有子
祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」私の老後	森田多美子	祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」の出会い	千坂 健	祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」相棒	塩川 慧子
祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」の出会い突然に	小松富士子	祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」風船を膨らませる場	岡崎 昭夫	祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」ハートのある毎日	永井 泰子
祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」石とミント	安田 操	祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」いぬふぐり	宇野富美代	祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」恩師のノミ	池田美津恵
祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」初入選の頃	高岡 徹	祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」一陽会宣言と私	木村 保夫		鈴木 利久
祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」の出会い	濱田 清				土井 敬真

平成26年美術展覧会図録所載文献(団ア、力行)

祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」森代表からの電話	石川 恭子	祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」すばらしき出会い	三輪 乙彦	祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」入選通知	萩中 幸雄
祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」作品テーマとしての『銀河鉄道の夜』	矢野 真	祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」自分の絵は、自分でしか画けない	小島 鐵男	祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」守られて60年	六崎 敏光
祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」顔	神山 茂樹	祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」我がふるりの夢幻の時空に生きる	神部 修成	祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」身辺雑草記	館野 弘
祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」蛙と散歩	岡村 順一	祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」安曇野風景	玉田 健二	祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」少女の絵	細川 尚
祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」中村輝先生	高木 和文	祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」画室の相棒	三阪 雅彦	(力行)	
祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」宝庫の墓(つる)	沢 オイ	祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」絵画とデザインをやってき	杉山 司	瓦・造形展19回 国立新美術館	
祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」地元から発信できる新しい作品の構築をめざして	北村五十一	祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」陽のあたる岡	泉谷 淑夫	第19回展審査委員会報告	蒔塚 作次 堀越 英嗣 有賀 敬子 薄井 幸夫 小林 秋穂 成田 清生 登里 康生 菊地 陽一郎 林 隆史
祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」一陽会の日本化とは?~2つの展覧会から	松井 勅尚	祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」わたしの人生と祭り	宿澤 浩	審査委員特別賞・グランプリ「漂泊の彼方へ」蒔塚作次	蒔塚 作次
祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」初夏の思い出	茶畑 顕子	祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」私の制作活動の支点・力点	安田 淳	来場者投票大賞「月読みバトス」醍醐孝徳 室町勉	醍醐 孝徳 室町 勉
祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」一陽会での出会い	棚瀬 修次	祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」切れない仲	佐川 文子	アート大賞「そこに立つ」富田健一	富田 健一
祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」ふりかえって	亜衣 千里	祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」ホームページ	大北 節子	現代瓦造形賞「ルーブ&プロッキング」神谷晋	神谷 晋
祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」私と猫の時間軸	小畑 恭子	祝一陽会創立60周年 第60回展記念特集「一陽会とわたし」出会いに感謝	清水 正男	全国日本瓦工業連盟賞「魁 Jass × 201512」請川和英	請川 和英
				全国陶器瓦工業組合連合会賞「温故知新」石原史也	石原 史也
				日本屋根外装工事協会賞「ひろがる」藤井良信	藤井 良信
				伝統技能賞「日本の犬小屋」道上定幸 興津龍二	道上 定幸 興津 龍二
				現代鬼瓦造形賞「鬼こぞう三兄弟」畑中隆雄	畑中 隆雄



日本屋根経済新聞社賞「瓦語らず」齋藤義則	齋藤 義則	アトリエの独り言ひとりごと	梅野 顕司	アトリエの独り言未来のアルバムを持つとう	黒川 洋孝
「招待席」(招待作家) 深田充夫「水と大地・環」	深田 充夫	アトリエの独り言それどころじゃない。	大久保宏美	アトリエの独り言空気を読まず風を読みたい	小久保 裕
第19回展作品、コメント	菫塚 作次	アトリエの独り言“大震災からの脱却”から「形象」へ	大地 康雄	アトリエの独り言アトリエの独り言	権藤 信隆
現代版画40回 東京都美術館		アトリエの独り言「少年時代」について	大津 英敏	アトリエの独り言仕事場で	齋藤 研
初心、忘れることなく	安井 収蔵	アトリエの独り言アトリエの独り言	大塚 恵美	アトリエの独り言アトリエは私の城です	齋藤 吾朗
光耀展Ⅱ 2回[光風会] 三越(日本橋)		アトリエの独り言アトリエ以外での独り言	大塚 利典	アトリエの独り言描くこと	齋藤 将
§ 作家の言葉 §	大竹 正治	アトリエの独り言プールの効用	大場 再生	アトリエの独り言音楽と制作	桜井 寛
”	児島新太郎	アトリエの独り言娘に聞くと	岡田 忠明	アトリエの独り言アトリエからのひとりごと	佐々木里加
”	小林 理恵	アトリエの独り言ふと感ずること	奥谷 太一	アトリエの独り言恐怖の夏休み	島崎 陽子
”	関野 智子	アトリエの独り言ちゃまですよ	奥谷 博	アトリエの独り言制作過程の独り言	白野 文敏
”	高山 博子	アトリエの独り言アトリエの独り言ブイヨン城	乙丸 哲延	アトリエの独り言夢に向かう	須藤 美保
”	田所 雅子	アトリエの独り言今を語り継ぐ	加藤 啓治	アトリエの独り言幸せな画家	瀬川富紀男
”	茶谷 雄司	アトリエの独り言回遊	金井 訓志	アトリエの独り言?の繰り返し	関口 聖子
”	中土居正記	アトリエの独り言アトリエの独り言	金森 良泰	アトリエの独り言アトリエの独り言	世利 徹郎
”	西田 陽二	アトリエの独り言アトリエ	金子 亨	アトリエの独り言高見の場所	高澤 哲明
”	橋浦 尚美	アトリエの独り言独立展と私	貴志 絃美	アトリエの独り言画室のポスター	高橋 正敏
”	橋本 一貫	アトリエの独り言One Day…	喜多万紀子	アトリエの独り言忘れぬ画廊	高橋 雅史
”	本山 二郎	アトリエの独り言黙想のち黙禱	北島 治樹	アトリエの独り言苦勞する事が重要?	高松 和樹
(タ行)		アトリエの独り言風景を描く	木梨 修	アトリエの独り言駆け込み寺	田口 貴大
独立展82回 国立新美術館他		アトリエの独り言本年出品作「不動明王・阿吽」について	網谷 幸二	アトリエの独り言ひとりごと	竹岡 羊子
追悼 鈴木雅博 鈴木雅博さんの「ふう」	齋藤 吾朗	アトリエの独り言アトリエのひとりごと	木村小百合	アトリエの独り言つかれた脚へとんぼとまった	田中 茂
アトリエの独り言アトリエの独り言	相田 幸男	アトリエの独り言8月のアトリエで	木村 富秋	アトリエの独り言自己顕示欲	田伏 勉
アトリエの独り言紫のコサージュ	安達 時彦	アトリエの独り言ミガカヌ カガミ	久我 修	アトリエの独り言アトリエの独り言	多見谷恭子
アトリエの独り言好きな曲を聞きながら	阿部 栄一	アトリエの独り言アトリエの独り言	日下部淑子	アトリエの独り言白いキャンバスを前にして思うこと	塚本 總
アトリエの独り言§ 作家の言葉 §	五十里雅子				
アトリエの独り言アトリエの独り言	石井 武夫				
アトリエの独り言制作雑感	石川 和男				
アトリエの独り言ある日の出来事	磯貝 四郎				
アトリエの独り言これからはじまる	伊東 茂広				
アトリエの独り言百歳は関所	入江 一子				

平成26年美術展覧会図録所載文献(団タ〜ハ行)

アトリエの独り言 絵を前にして想う こと	出口 佳子	アトリエの独り言 リアル独立	吉田宏太郎
アトリエの独り言 アトリエの中の現 実	中嶋 明	アトリエの独り言 独立のことをつづ やく	吉武 研司
アトリエの独り言 芸術と会計	中村 光幸	アトリエの独り言 星宿る地	米田 和秀
アトリエの独り言 模倣と独立	浜松 繁雄	アトリエの独り言 画狂のつづやき・ たわごと	輪島 進一
アトリエの独り言 アトリエができて	早矢仕素子		
アトリエの独り言 メタボリックシン ドルーム	廣田 政生		
アトリエの独り言 病とアトリエ	福岡 奉彦		
アトリエの独り言 アトリエの独白	福島 瑞穂		
アトリエの独り言 アトリエ・シジフ オス・ドラマ	福満正志郎		
アトリエの独り言 思考停止の7・8 月	本田 希枝		
アトリエの独り言 喜びの樹々	馬越 陽子		
アトリエの独り言 皆中見舞い	松井 通央		
アトリエの独り言 宇宙と交信	松尾 健一		
アトリエの独り言 ことばの力	松永 久		
アトリエの独り言 日本の夏	松原 潤		
アトリエの独り言 夢のアトリエに向 けて	松村 浩之		
アトリエの独り言 物の溢れるアトリエ	松山 敏彦		
アトリエの独り言 アトリエの独り言	向井 隆豊		
アトリエの独り言 極彩色の大銀杏	村上 佐恵		
アトリエの独り言 深夜のアトリエ	目黒 礼子		
アトリエの独り言 ウナギの蒲焼き	山内 和則		
アトリエの独り言 弱虫のつ・ぶ・や ・き	山田 依子		
アトリエの独り言 §作家の言葉§	山本 恵三		
アトリエの独り言 アトリエの独り言	山本 雄三		

(ナ行)

日展 改組新1回 国立新美術館他

審査所感  
福田 千恵  
藤森 兼明  
山本 眞輔  
宮田 亮平  
杭迫 柏樹  
顧問  
理事  
監事  
改組新第1回 日展  
アートガイド2014  
作家のことば  
審査員経験者(3回以上)  
審査員  
日展会員賞  
・特選受賞者

(ハ行)

从展38回 東京都美術館

从展・从会に 中村 正義  
特別陳列 高橋美  
子の世界「物語  
る」高橋美子 美濃 瓢吾

「物故者」 ページ (485～516 ページ)

個人情報保護のため非公開

Pages of the Articles of the Deceased (pp.485-516)

Cut for protection of the personal information

~~~~~  
印刷 平成29年3月11日

発行 平成29年3月25日

---

日本美術年鑑 ©

——平成27年版——

編集者 東京文化財研究所文化財情報資料部

発行者 独立行政法人国立文化財機構  
東京文化財研究所  
東京都台東区上野公園13-43  
電話 (03) 3823-2241

製作 中央公論美術出版  
東京都千代田区神田神保町1-10-1 IVYビル6F  
電話 (03) 5577-4797

~~~~~  
出版助成 株式会社 東京美術倶楽部  
東京美術商協同組合

